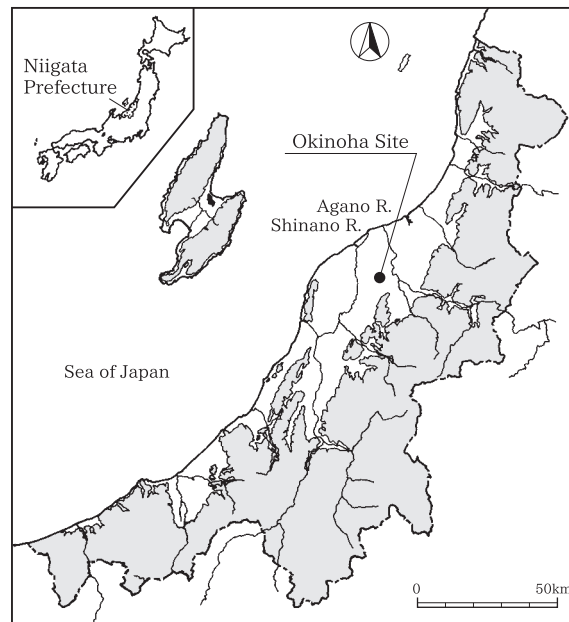


おきの は
沖ノ羽遺跡Ⅵ 第19・22・24次調査

— 県営ほ場整備事業（担い手育成型）満日地区に伴う沖ノ羽遺跡第12・15・17次発掘調査報告書 —

本文編



2016

新潟市教育委員会

例 言

- 1 本書は新潟県新潟市秋葉区七日町字沖ノ羽^{あきはくなのかまちあざおきの} 5518 番地他に所在する沖ノ羽遺跡^{おきの}（新潟市遺跡番号 149）の発掘調査記録である。
- 2 調査は県営ほ場整備事業（担い手育成型）満日地区造成に伴い、新潟県から新潟市が受託した。調査は新潟市教育委員会（以下、市教委という）が調査主体となり、新潟市文化観光・スポーツ部歴史文化課埋蔵文化財センター（以下、市埋蔵文化財センターという）、平成 23 年 7 月より新潟市文化観光・スポーツ部文化財センター、平成 26 年 4 月より文化スポーツ部文化財センター（以下、市文化財センターという）が補助執行した。
- 3 平成 18～20 年度に発掘調査と整理作業、平成 21・24～26 年度に整理作業、平成 27 年度に整理作業および報告書刊行を行った。発掘調査整理作業の体制は第三章に記した。
- 4 出土遺物及び調査・整理作業に係る記録類は、一括して市文化財センターが保管・管理している。
- 5 本書の編集は遠藤恭雄・澤野慶子（市文化財センター）が行い、図版・写真図版のレイアウトは澤野が行った。
本書の執筆は第 I～III 章・第七章第 1 節・2 節 D を遠藤、第 IV・V 章・第七章第 2 節 A～C・4 節を澤野、第七章第 5・6 節を遠藤・澤野が行った。なお、第 VI 章自然科学分析の第 1 節については日鉄住金テクノロジー（株）八幡営業所 TAC センター、第 2～5 節 A・6 節 A については（株）火山灰考古学研究所、第 6 節 B を（財）元興寺文化財研究所、第 5 節 B・6 節 C・7 節は（株）加速器分析研究所にそれぞれ委託した。また、第七章第 3 節の墨書土器および木簡については帝京大学相澤央氏から読解いただき、原稿をいただいた。
- 6 出土品のうち、鍛冶関連遺物については、整理作業を穴澤義功氏に委託するとともに、全般にわたり指導を得た。また、これに関連する表、挿図はすべて穴澤氏の指導によるものである。第七章第 4 節は穴澤氏の表類をもとに澤野が執筆した。
- 7 第 I 章第 1 節・第 II 章第 1・3 節を『沖ノ羽遺跡 IV 第 15 次調査』〔立木・澤野ほか 2008〕および『沖ノ羽遺跡 V 第 18・19 次調査』〔遠藤・澤野ほか 2014〕から、第 II 章第 2 節を『中谷内遺跡発掘調査報告書 II』〔渡邊ほか 2002〕から引用、一部加筆した。
- 8 本書で用いた写真は、遺跡写真は前山精明・立木宏明・遠藤・澤野・池田ひろ子・八藤後智人（市文化財センター）が撮影し、遺物写真は佐藤俊英氏（ビッグヘッド）に撮影を依頼した。ただし、写真図版 1 は国土地理院が、写真図版 2 は（株）オリスが、写真図版 3 は（株）シン技術コンサルが撮影したものを使用した。
- 9 遺構図のトレースと各種図版作成・編集に関しては、（有）不二出版に委託してデジタルトレースと DTP ソフトによる編集を実施し、完成データを印刷業者へ入稿して印刷した。
- 10 遺物のうち施釉陶器については尾野善裕氏（京都国立博物館）、井上喜久男氏（愛知県陶磁美術館）、須恵器・土師器については、春日真実氏（公財 新潟県埋蔵文化財調査事業団）、陶磁器全般について笹澤正史氏（株式会社吉田建設）からそれぞれ年代・産地等についてご教示いただいた。
- 11 調査から本書の作成に至るまで下記の方々・機関より御指導・御協力を賜った。ここに記して厚く御礼申し上げる。
石川智紀・伊藤秀和・井上喜久男・尾野善裕・春日真実・笹澤正史・澤田 敦・関 雅之・高橋 保・高橋保雄・田中耕作・寺崎裕助・鶴巻康志・土橋由理子・福原圭一・古澤妥史・前島 敏・増子正三・水澤幸一・矢田俊文・吉井雅勇・四柳嘉章
新潟県教育庁文化行政課・（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団・新潟県新潟地域振興局新津農業振興部・新津郷土地改良区
（所属・敬称略、五十音順）

凡 例

- 1 本書は本冊本文編（観察表含む）と別冊図面図版編・写真図版編からなる。
- 2 本書で示す方位は全て真北である。磁北は真北から西偏約 7 度である。
- 3 掲載図面のうち、既存の地形図等を使用したものは原図の作成者・作成年を示した。
- 4 本文中の注は各章の末尾に記した。引用文献は著者と発行年（西暦）を〔 〕中に示し、巻末に一括して掲載した。
- 5 遺構番号は現場で付したものを扱い、調査年次ごとに、さらに調査区ごとに 1 からの通し番号を付した。遺構の種別ごとに付さず、通し番号とし、本文および観察表・図面図版・写真図版の番号は同一番号とした。
- 6 各遺構の名称については、以下の略称を使用した。掘立柱建物 SB、小土坑 Pit (P)、井戸 SE、土坑 SK、溝 SD、不明遺構 SX とし、旧河川については河、河跡とした。
- 7 土層の土色観察は『新版 標準土色帖』〔小山・竹原 1967〕を用いた。
- 8 遺物の注記は「沖ノ羽」とし、出土地点や層位を続けて記した。平成 18（2006）年度出土遺物は略記号の前に「06」、平成 19（2007）年度出土遺物は略号の前に「07」、平成 20（2008）年度出土遺物は略号の前に「08」を付した。
- 9 遺物番号は種別ごとの通し番号とし、本文および観察表・図面図版・写真図版の番号は同一番号とした。
- 10 遺構の新旧関係を表現する際に「<」や「>」を用いた。例えば、SK1<SK2 となる場合は SK1 が古く、SK2 が新しいことを示す。「=」は近接するが新旧関係が不明な場合とした。

目 次

| | |
|-----------------|----|
| 第I章 序 章 | 1 |
| 第1節 遺跡概観 | 1 |
| 第2節 発掘調査に至る経緯 | 1 |
| 第II章 遺跡の位置と環境 | 4 |
| 第1節 遺跡の位置と地理的環境 | 4 |
| 第2節 周辺の遺跡 | 4 |
| 第3節 歴史的環境 | 10 |
| 第III章 調査の概要 | 12 |
| 第1節 試掘・確認調査 | 12 |
| 第2節 本発掘調査 | 12 |
| A 調査方法 | 12 |
| B 調査経過 | 14 |
| C 調査体制 | 15 |
| 第3節 整理作業 | 16 |
| A 整理方法 | 16 |
| B 整理経過 | 16 |
| C 整理体制 | 16 |
| 第IV章 遺 跡 | 18 |
| 第1節 概 要 | 18 |
| 第2節 層 序 | 18 |
| 第3節 遺 構 | 19 |
| 第4節 第19次調査 | 20 |
| A 遺構の概要 | 20 |
| B 5区西の遺構 | 20 |
| C 5区東の遺構 | 21 |
| D 6区の遺構 | 23 |
| 第5節 第22次調査 | 23 |
| A 遺構の概要 | 23 |
| B 1区の遺構 | 24 |
| C 2区の遺構 | 67 |
| D 3区の遺構 | 76 |
| E 4区の遺構 | 81 |

| | |
|--------------------------|-----|
| 第6節 第24次調査 | 82 |
| A 遺構の概要 | 82 |
| B 1区の遺構 | 82 |
| C 2区東の遺構 | 83 |
| D 2区西の遺構 | 109 |
| E 4区の遺構 | 132 |
| | |
| 第V章 遺物 | 133 |
| 第1節 土器・陶磁器 | 133 |
| A 古墳時代の土器 | 133 |
| B 古代の土器 | 134 |
| C 中世の土器・陶磁器 | 140 |
| D 第19次調査出土土器・陶磁器各説 | 142 |
| E 第22次調査出土土器・陶磁器各説 | 145 |
| F 第24次調査出土土器・陶磁器各説 | 164 |
| 第2節 土製品 | 184 |
| A 第19次調査5区東出土土製品 | 184 |
| B 第22次調査出土土製品 | 184 |
| C 第24次調査出土土製品 | 185 |
| 第3節 石製品 | 186 |
| A 第19次調査出土石製品 | 187 |
| B 第22次調査出土石製品 | 187 |
| C 第24次調査出土石製品 | 189 |
| 第4節 木製品 | 191 |
| A 第19次調査出土木製品 | 191 |
| B 第22次調査1区出土木製品 | 191 |
| C 第24次調査出土木製品 | 194 |
| D 満日地区ほ場整備北地区確認調査 | 195 |
| 第5節 金属製品・銭貨 | 195 |
| A 第22次調査出土金属製品 | 195 |
| B 第24次調査出土銭貨 | 198 |
| 第6節 第24次調査鍛冶関連遺物 | 198 |
| | |
| 第VI章 自然科学分析 | 226 |
| 第1節 沖ノ羽遺跡出土鍛冶関連遺物の金属学的調査 | 226 |
| 第2節 沖ノ羽遺跡におけるテフラ分析 | 250 |
| 第3節 沖ノ羽遺跡における植物珪酸体分析 | 251 |
| 第4節 沖ノ羽遺跡における花粉分析 | 256 |
| 第5節 沖ノ羽遺跡における種実同定 | 261 |
| 第6節 沖ノ羽遺跡における樹種同定 | 273 |
| 第7節 沖ノ羽遺跡における放射性炭素年代測定 | 277 |

| | |
|---------------------------|-----|
| 第Ⅶ章 総括 | 284 |
| 第1節 沖ノ羽遺跡の遺構について | 284 |
| A 掘立柱建物について | 284 |
| B 井戸・土坑・性格不明遺構・畝状遺構・溝について | 288 |
| 第2節 沖ノ羽遺跡の土器・陶磁器について | 290 |
| A 古墳時代の土器について | 290 |
| B 古代の土器について | 291 |
| C 中世の土器・陶磁器について | 294 |
| D 三耳瓶（三耳形双耳瓶 986）について | 295 |
| 第3節 文字資料 | 301 |
| A 墨書 | 301 |
| B 木簡 | 303 |
| 第4節 沖ノ羽遺跡の鍛冶関連遺物と遺構について | 304 |
| 第5節 沖ノ羽遺跡の位置付け | 314 |
| A 古墳時代 | 314 |
| B 古代 | 314 |
| C 中世 | 319 |
| 第6節 沖ノ羽遺跡の性格 | 320 |
| 引用・参考文献 | 323 |
| 別表 | 332 |
| 報告書抄録・奥付 | |
| 附図 | |

挿図目次

| | | | |
|-----------------------------------|-----|--------------------------------------|-----|
| 第1図 新津丘陵周辺地形分類図 | 5 | 第16図 第24次調査 鍛冶関連遺物構成図(3) | 205 |
| 第2図 沖ノ羽遺跡周辺の遺跡分布図 | 8 | 第17図 第24次調査 鍛冶関連遺物分析資料 切断分析位置図 | 225 |
| 第3図 遺構形態模式図 | 19 | 第18図 椀形鍛冶滓の顕微鏡組織 (OKH-1・2) | 239 |
| 第4図 沖ノ羽遺跡古墳時代土師器分類図 | 134 | 第19図 椀形鍛冶滓の顕微鏡組織 (OKH-3・4) | 240 |
| 第5図 沖ノ羽遺跡古代須恵器分類図1 | 135 | 第20図 木炭・炉壁の顕微鏡組織 (OKH-5・6) | 241 |
| 第6図 沖ノ羽遺跡古代須恵器分類図2 | 136 | 第21図 羽口・椀形鍛冶滓の顕微鏡組織 (OKH-7・8) | 242 |
| 第7図 沖ノ羽遺跡古代土師器分類図1 | 138 | 第22図 椀形鍛冶滓の顕微鏡組織 (OKH-9) | 243 |
| 第8図 沖ノ羽遺跡古代土師器分類図2 | 139 | 第23図 椀形鍛冶滓・粒状滓の顕微鏡組織 (OKH-10・11) | 244 |
| 第9図 沖ノ羽遺跡古代黒色土器・緑釉陶器分類図 | 140 | 第24図 粒状滓・鍛造剥片の顕微鏡組織 (OKH-11・12) | 245 |
| 第10図 沖ノ羽遺跡中世土器・陶磁器分類図 | 141 | 第25図 鍛造剥片の顕微鏡組織 (OKH-12) | 246 |
| 第11図 第22次調査1区 鍛冶関連遺物出土 重量分布図 | 196 | 第26図 鍛造剥片・鉄製品の顕微鏡組織 (OKH-12・13) | 247 |
| 第12図 第22次調査2・3区 鍛冶関連遺物出土 重量分布図 | 197 | 第27図 鉄製品の顕微鏡組織・EPMA 調査結果 (OKH-13) | 248 |
| 第13図 第24次調査2区 鍛冶関連遺物出土 重量分布図 | 200 | | |
| 第14図 第24次調査 鍛冶関連遺物構成図(1) | 203 | | |
| 第15図 第24次調査 鍛冶関連遺物構成図(2) | 204 | | |

| | | | | | |
|--------|---|-----|--------|------------------------------------|-----|
| 第 28 図 | 梶形鍛冶滓の顕微鏡組織 (OKH-14・15) …… | 249 | 第 45 図 | 第 24 次調査の種実遺体 …… | 271 |
| 第 29 図 | 第 24 次調査 2 区東基本層序断面の 土層柱状図 …… | 250 | 第 46 図 | 第 22 次調査の木材 …… | 273 |
| 第 30 図 | 第 24 次調査 2 区東 SD98 埋土の 土層柱状図 …… | 250 | 第 47 図 | 第 24 次調査の木材 …… | 274 |
| 第 31 図 | 第 22 次調査 1 区 15G-3G3 南壁断面における 植物珪酸体分析結果 …… | 255 | 第 48 図 | 第 24 次調査の炭化材 …… | 276 |
| 第 32 図 | 第 22 次調査 1 区遺構内推積物における 植物珪酸体分析結果 …… | 255 | 第 49 図 | 第 22 次調査の暦年較正年代グラフ (種実) (参考) …… | 280 |
| 第 33 図 | 第 24 次調査 2 区東基本層序断面における 植物珪酸体分析結果 …… | 255 | 第 50 図 | 第 24 次調査暦年較正年代グラフ (種実) (参考) …… | 281 |
| 第 34 図 | 第 24 次調査 2 区東 SD98 内推積物における 植物珪酸体分析結果 …… | 255 | 第 51 図 | 第 24 次調査暦年較正年代グラフ (木炭) (参考) …… | 283 |
| 第 35 図 | 第 22 次調査の植物珪酸体 (プラント・オパール) …… | 255 | 第 52 図 | 第 22 次調査 1 区 掘立柱建物の主軸方向 …… | 285 |
| 第 36 図 | 第 24 次調査の植物珪酸体 (プラント・オパール) …… | 255 | 第 53 図 | 第 22 次調査 1 区 掘立柱建物配置図 …… | 285 |
| 第 37 図 | 第 22 次調査 1 区 15G-3G3 南壁断面 における花粉ダイアグラム …… | 259 | 第 54 図 | 第 24 次調査 2 区 掘立柱建物の主軸方向 …… | 287 |
| 第 38 図 | 第 24 次調査 2 区東基本層序断面 における花粉ダイアグラム …… | 259 | 第 55 図 | 第 24 次調査 2 区 掘立柱建物方向配置図 …… | 287 |
| 第 39 図 | 第 24 次調査 2 区東 SD98 埋土断面 における花粉ダイアグラム …… | 259 | 第 56 図 | 井戸の規模 …… | 288 |
| 第 40 図 | 第 22 次調査の花粉・孢子 …… | 260 | 第 57 図 | 沖ノ羽遺跡古代土器変遷図 …… | 292 |
| 第 41 図 | 第 24 次調査の花粉・孢子 …… | 260 | 第 58 図 | 主要遺構別器種組成図 …… | 293 |
| 第 42 図 | 第 22 次調査の種実遺体 (1 区 SE1406) …… | 262 | 第 59 図 | 三耳形双耳瓶の分布 …… | 297 |
| 第 43 図 | 第 22 次調査の種実遺体 (1 区 SE201 ほか) …… | 265 | 第 60 図 | 県内の双耳瓶出土遺跡 …… | 298 |
| 第 44 図 | 第 24 次調査における種実出土状況 …… | 265 | 第 61 図 | 三耳瓶他出土位置図 …… | 300 |
| | | | 第 62 図 | 沖ノ羽遺跡出土墨書土器集成 …… | 302 |
| | | | 第 63 図 | 沖ノ羽遺跡出土墨書土器 …… | 302 |
| | | | 第 64 図 | 第 24 次調査 2 区 鍛冶関連遺物出土 重量分布図 …… | 305 |
| | | | 第 65 図 | 古代・中世の鉄関連遺跡と砂鉄採取地の 予測分布図 …… | 310 |
| | | | 第 66 図 | 沖ノ羽遺跡周辺の製錬炉集成図 …… | 313 |
| | | | 第 67 図 | 第 22 次調査 1 区遺構変遷図 …… | 315 |
| | | | 第 68 図 | 第 24 次調査 2 区遺構変遷図 …… | 317 |

表 目 次

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------|-----|--------|---|-----|
| 第 1 表 | 沖ノ羽遺跡調査履歴 …… | 3 | 第 13 表 | 第 22 次調査における植物珪酸体分析結果 …… | 253 |
| 第 2 表 | 周辺の遺跡一覧表 …… | 9 | 第 14 表 | 第 24 次調査における植物珪酸体分析結果 …… | 254 |
| 第 3 表 | 第 24 次調査沖ノ羽遺跡鍛冶関連遺物 集計表 …… | 201 | 第 15 表 | 第 22 次調査における花粉分析結果 …… | 257 |
| 第 4 表 | 第 24 次調査沖ノ羽遺跡鍛冶関連遺物 観察表 …… | 206 | 第 16 表 | 第 24 次調査における花粉分析結果 …… | 258 |
| 第 5 表 | 第 24 次調査鍛冶関連遺物分析資料一覧表 …… | 216 | 第 17 表 | 第 22 次調査における種実同定結果 (1 区 SE1406) …… | 261 |
| 第 6 表 | 第 24 次調査沖ノ羽遺跡鍛冶関連遺物 分析資料詳細観察表 …… | 217 | 第 18 表 | 第 22 次調査における種実同定結果 (1 区 SE201 ほか) …… | 264 |
| 第 7 表 | 供試材の履歴と調査項目 …… | 226 | 第 19 表 | 第 24 次調査における種実同定結果 (1) …… | 267 |
| 第 8 表 | 供試材の化学組成 …… | 236 | 第 20 表 | 第 24 次調査における種実同定結果 (2) …… | 268 |
| 第 9 表 | 木炭の性状 …… | 236 | 第 21 表 | 第 24 次調査における種実同定結果 (3) …… | 269 |
| 第 10 表 | 出土遺物の調査結果のまとめ …… | 236 | 第 22 表 | 第 24 次調査における種実同定結果 (4) …… | 270 |
| 第 11 表 | 梶形鍛冶滓重量とチタン含有量からみた 鍛冶工程覚書 …… | 237 | 第 23 表 | 第 24 次調査における炭化材の 樹種同定結果 …… | 275 |
| 第 12 表 | 第 24 次調査におけるテフラ検出分析結果 …… | 251 | 第 24 表 | 第 22 次調査における放射性炭素 年代測定結果 (種実 1) …… | 279 |

| | | | | | |
|--------|--|-----|--------|--|-----|
| 第 25 表 | 第 22 次調査における放射性炭素 年代測定結果（種実 2）…………… | 279 | 第 31 表 | 沖ノ羽遺跡出土木簡一覧表…………… | 303 |
| 第 26 表 | 第 24 次調査における放射性炭素 年代測定結果（種実 1）…………… | 281 | 第 32 表 | 第 24 次調査沖ノ羽遺跡鍛冶関連遺構・ 遺物の主要要素一覧表（1）…………… | 307 |
| 第 27 表 | 第 24 次調査における放射性炭素 年代測定結果（種実 2）…………… | 281 | 第 33 表 | 第 24 次調査沖ノ羽遺跡鍛冶関連遺構・ 遺物の主要要素一覧表（2）…………… | 308 |
| 第 28 表 | 第 24 次調査における放射性炭素 年代測定結果（木炭 1）…………… | 282 | 第 34 表 | 第 24 次調査沖ノ羽遺跡鍛冶関連遺構・ 遺物の主要要素一覧表（3）…………… | 309 |
| 第 29 表 | 第 24 次調査における放射性炭素 年代測定結果（木炭 2）…………… | 282 | 第 35 表 | 沖ノ羽遺跡周辺の鉄関連遺物出土遺跡一覧表 （1）…………… | 311 |
| 第 30 表 | 沖ノ羽遺跡出土墨書土器一覧表…………… | 301 | 第 36 表 | 沖ノ羽遺跡周辺の鉄関連遺物出土遺跡一覧表 （2）…………… | 312 |

別表目次

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|-----|-------|--|-----|
| 別表 1 | 第 19 次調査沖ノ羽遺跡遺構計測表…………… | 332 | 別表 8 | 第 22・24 次調査金属製品・銭貨観察表…………… | 403 |
| 別表 2 | 第 22 次調査沖ノ羽遺跡遺構計測表…………… | 332 | 別表 9 | 第 19・22 次調査沖ノ羽遺跡 遺構出土古墳時代土器器種構成率…………… | 403 |
| 別表 3 | 第 24 次調査沖ノ羽遺跡遺構計測表…………… | 345 | 別表 10 | 第 19 次調査沖ノ羽遺跡遺構出土古代土器 器種構成率…………… | 404 |
| 別表 4 | 第 19・22・24 次調査沖ノ羽遺跡 土器・陶磁器観察表…………… | 357 | 別表 11 | 第 22 次調査沖ノ羽遺跡遺構出土古代土器 器種構成率…………… | 405 |
| 別表 5 | 第 19・22・24 次調査沖ノ羽遺跡 土製品観察表…………… | 400 | 別表 12 | 第 24 次調査沖ノ羽遺跡遺構出土古代土器 器種構成率…………… | 437 |
| 別表 6 | 第 19・22・24 次調査沖ノ羽遺跡 石製品観察表…………… | 400 | 別表 13 | 第 22・24 次調査沖ノ羽遺跡遺構出土 中世土器・陶磁器器種構成率…………… | 463 |
| 別表 7 | 第 19・22・24 次調査沖ノ羽遺跡 木製品観察表…………… | 401 | | | |

第 I 章 序 章

第 1 節 遺 跡 概 観 (第 1 表)

沖ノ羽遺跡は昭和 60 年 8 月に行われた新潟県教育委員会（以下、県教委という）主催の遺跡詳細分布調査の折に、古代・中世の遺跡として遺跡登録された。その後、発掘調査は本調査および確認調査を含め、25 回調査が行われている（第 1 表）。昭和 62 年・63 年に行われた「磐越自動車道建設」に伴う県教委が行った試掘・確認調査により、遺跡範囲が一部拡大した。平成元年に刊行された『新津市史資料編第 1 巻 原始・古代・中世編』では寺島遺跡別名「沖ノ羽遺跡」と記載され、平安時代の須恵器が紹介されている（川上・木村・鈴木 1989）。また、同書によると新発田藩の朱子学者、丹羽恵が記述した道中日記『随徳随録二』には、文化 14 年（1816）に七日町村の屋敷内を掘削中、古井戸を発見したとの記述がある。発見物は 2 尺 5・6 寸の井戸輪用の曲物と曲物の釣瓶、その下に薄鼠色径 4 寸 3 分、深 1 寸 1 分のかわらけ肌古皿を 5 枚掘り出したとされる。井戸輪用と釣瓶用の曲物は、当時の曲物と違い内側に鋸目を入れて曲げたものだとし、江戸時代から数百年前のものであるとその特徴が詳細に記載されている。これらの遺物は現代の観点から見ると、おそらく古代・中世に相当するものと考えられる。江戸時代には沖ノ羽遺跡の大部分は七日町村に所属するが、出土地点の詳細は不明であるため、遺跡名は特定できないものの、考古前史として貴重な記載である。

平成 10 年 10 月には満日地区ほ場整備に伴う確認調査が行われ、さらに遺跡範囲は拡大した。その後の平成 11 年以降に後述（第 III 章第 1 節）する確認調査（図版 4）が行われ、遺跡の詳細な範囲が明らかになった。

沖ノ羽遺跡においては、平成 2～4 年度にかけて県教委が磐越自動車道建設に伴い計 96,069m² を本発掘調査している。その結果、微高地上に古墳時代から中世に至る集落跡・ほ場跡などが検出されている〔石川ほか 1994、星野ほか 1996、春日 2003a〕。特筆されるものとしては、古墳時代中期の土器および古代の集落跡、さらに中世のほ場跡などである。

平成 13 年度に「鮭川排水機場建設」に伴う本発掘調査が旧新津市教育委員会が主体となって行われ、2,332m² が調査された。平安時代（9 世紀後半）の集落域が確認され〔細野ほか 2002〕、短期間に営まれた集落跡で遺物の出土状況も良好であり、編年研究のうえで重要な調査例となった。

平成 15～20 年度まではほ場整備事業に伴う沖ノ羽遺跡の本発掘調査が行われた。平成 15 年度調査では、古代の旧河道や集落の一部などが確認されている〔立木・澤野ほか 2005〕。同年度には東北電力（株）の「平成 15 年度東北電力西新潟線鉄塔建替工事」に伴う本発掘調査をほ場整備事業対象外範囲で実施し、沖ノ羽遺跡の一部 121.36m² を調査した結果、古代の溝と少量の土器が出土している〔北村・菊地ほか 2004〕。平成 16 年度調査では、10 世紀初頭の集落の一部が確認された。磐越自動車道の隣接地からは、古墳時代中期の遺構・遺物が古代・中世の遺構確認面の下層から確認された〔立木・澤野ほか 2008〕。平成 17・18 年度調査では、調査対象地が磐越道北側に移動し、古代・中世の集落を確認した。旧河道および河岸部を中心に 9 世紀後半を主体とする土器や仏具などが出土している〔遠藤・澤野ほか 2014〕。

第 2 節 発掘調査に至る経緯

平成 7 年度に、新潟市新津地区旧満日村区域における県営ほ場整備事業の計画が旧新津市生涯学習課に知らされた。旧新津市生涯学習課は、新津東土地改良区および旧新津市農産業振興課と協議を重ね、平成 7 年度か

ら平成8年度にかけて対象面積440haの分布調査を実施した。その結果、遺物が多量に採集され、県教委が平成2～4年度に磐越自動車道建設に伴い本発掘調査を実施した沖ノ羽遺跡〔石川ほか1994、星野ほか1996、春日2003a〕の範囲とあわせて多くの遺跡の存在が予想された。

平成10年度に入り、事業計画が見直され、県営ほ場整備事業（担い手育成型）満日地区として約170haが対象になり、新潟県新津農地事務所（以下、新津農地という）と協議を行い、全区域を対象とした確認・試掘調査を平成10～13年度に実施した。その結果、ほ場整備事業範囲内に中谷内遺跡、内野遺跡、沖ノ羽遺跡、山王浦遺跡の4遺跡が確認された。

そのうち、山王浦遺跡については平成14年度に本発掘調査を終了している〔立木・澤野ほか2004b〕。沖ノ羽遺跡については、平成15年度からほ場面工事に伴う本発掘調査が行われ、平成15～17年度および平成18年度の5・6区を除く調査については報告を完了している〔立木・澤野ほか2005・2008、遠藤・澤野2014〕。

本報告の調査は平成17年度に続き4～6年目の本発掘調査となる。平成17年3月の市町村合併により事業主体は新潟市教育委員となった。本発掘調査対象範囲の設定は、平成16年度に、新津農地・新津東土地改良区・新潟県教育庁文化行政課・旧新津市生涯学習課の4者で遺跡の取扱いを巡って協議を重ねた結果、平成11年9月10日付け教文第578号で新潟県教育委員会教育長から通知された「発掘調査の要否の判断基準について（通知）」の基準により、保護層（工事の施工に際して埋蔵文化財を保護するために設ける一定の厚さの土層、樹脂等による緩衝層）を確保できない場合には本発掘調査を実施するとしたものである。

新津農地は平成18年度より新潟県新潟地域振興局新津支局農業振興部（以下、新津支局農業振興部という）に改組された。

平成18年度は、保護層が確保できない用・排水路管部分および畑部分の約4,500m²の本発掘調査を実施することで合意した。新津支局農業振興部から平成18年5月16日付け新振津農第116号-1で文化財保護法第94条の第1項の通知と合わせて平成18年5月16日付け新振津農117号で本調査の依頼が提出され、新潟県教育委員会教育長から新津支局農業振興部長へ、平成18年5月30日付け教文第295号の2で本発掘調査を実施するように指示文が出された。それを受けて、新潟市教育委員会教育長から新潟県教育委員会教育長へ、平成18年7月12日付け新歴第249号の13で文化財保護法第99条第1項による発掘調査の通知を提出して本発掘調査を実施した。

平成19年度は、保護層が確保できない用・排水路管部分および畑部分の5,171m²の本発掘調査を実施することで合意した。新津支局農業振興部から平成19年4月10日付け新振津農第11号で文化財保護法第94条の第1項の通知と合わせて平成19年4月10日付け新振津農12号で本調査の依頼が提出され、新潟県教育委員会教育長から新津支局農業振興部長へ、平成19年4月23日付け教文第83号の2で本発掘調査を実施するように指示文が出された。それを受けて、新潟市教育委員会教育長から新潟県教育委員会教育長へ、平成19年6月6日付け新歴第5005号の11で文化財保護法第99条第1項による発掘調査の通知を提出して本発掘調査を実施した。

新潟県新潟地域振興局新津支局農業振興部は平成20年度より新潟県新潟地域振興局新津農業振興部に改組された（以下、新津農業振興部という）。

平成20年度は、保護層が確保できない用・排水路管部分および畑部分の3,625m²の本発掘調査を実施することで合意した。新津農業振興部から平成20年4月18日付け新振津農第48号で文化財保護法第94条の第1項の通知と合わせて平成20年4月18日付け新振津農49号で本調査の依頼が提出され、新潟県教育委員会教育長から新潟地域振興局長へ、平成20年5月9日付け教文第140号の2で本発掘調査を実施するように指示文が出された。それを受けて、新潟市教育委員会教育長から新潟県教育委員会教育長へ、平成20年6月9日付け新歴第5023号の11で文化財保護法第99条第1項による発掘調査の通知を提出して本発掘調査を実施した。

第 1 表 沖ノ羽遺跡調査履歴

| 通算調査回数 | 県営ほ場整備事業満日地区に伴う発掘調査回数 | 調査年次 | 主な成果 | 調査種別 | 調査原因 | 担当 | 調査区 | 調査面積 | ほ場トレんチ番号 | 文献 |
|--------|-----------------------|-----------------------------------|---|-------|-----------------------------|--------------------|---|-------------------|---------------------|--------------------|
| | | 1985年 (S60) 8.4 | 遺跡の確認および新潟県埋蔵包蔵地カードへの登録 | 分布調査 | 新潟県遺跡詳細分布調査 | 県文化行政課 横山勝栄 | | | | |
| | | 1989年 (H1) | 新津市史に古代の遺跡として掲載され、一般に周知される。寺島遺跡別名「沖ノ羽遺跡」として記載。遺跡周辺で曲物が発見された江戸時代の文献記録を紹介。 | 分布調査 | 「新津市史料編 第1巻 原始・古代・中世編」に伴う調査 | 川上貞雄 | | | | 〔川上・木村・鈴木 1989〕 |
| 1次 | | 1990年 (H2) 4.12～6.30 | 古代・中世の遺構・遺物が広範囲に広がる事が確認された。東西約1km 南北100mほどに遺跡範囲が拡大した。 | 確認調査 | 磐越自動車道建設 | 県文化行政課 寺崎裕助 平澤秀昭 | | | | |
| 2次 | | 1991年 (H3) 4.15～12.19 | A地区一灌漑用の溝で区画された古代のほ場跡(田)が検出された。B地区一古代・中世の集落跡およびほ場跡(田・畑)が検出された。5・13区下層より古墳時代前・中基期の遺構・遺物が出土した。C地区一上層は中世、下層からは古代の遺構・遺物が濃密に検出された。1991(H3)年9月24～27日に高速北側工事用道路(高速2期線分)の確認調査(担当 北村 亮 40トレんチ)が本調査と並行して行われ、古代の遺構・遺物が確認されている。 | 本発掘調査 | 磐越自動車道建設 | | H3年-A地区 [1～4区]、C地区(7区(一部)・8区) | A地区 42,853㎡ | | 〔石川ほか 1994〕 |
| 3次 | | 1992年 (H4) 4.9～12.10 | | 本発掘調査 | 磐越自動車道建設 | 県文化行政課 高橋保雄 | H4年-A地区 [6区]、B地区 [5・9～13区]、C地区 [7区(一部)] | B地区 41,016㎡ | | 〔星野ほか 1996〕 |
| | | 1996年 (H8) 3.26～4.19 | 沖ノ羽遺跡を含む満日地区ほぼ全域で行った分布調査。沖ノ羽遺跡近隣の中谷内遺跡・内野遺跡・無頭遺跡・大下遺跡・久保遺跡などが発見された。 | 分布調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 渡邊朋和 | | 4,400,000㎡ (対象面積) | | |
| 4次 | 1次 | 1998年 (H10) 10.5～10.28 | 磐越自動車道より南側の試掘・確認調査。高速道路から南側に古代を中心とした遺跡範囲が広がることが確認された。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 渡邊朋和 | | 869㎡ | 南1～207T | |
| 5次 | | 1998年 (H10) 10.8・27 | 古代の包含層を確認し、遺跡本調査が必要と判断される。 | 確認調査 | 排水機場建設 | 新津市教育委員会 渡邊朋和 | | 12.6㎡ | 南44・200・201T | |
| 6次 | 2次 | 2000年 (H12) 10.23～11.7 | 磐越自動車道より北側の試掘・確認調査。高速道路から北側に古代を中心とした遺跡範囲が広がることが確認された。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 立木宏明 | | 565㎡ | 北1～157T | |
| 7次 | 3次 | 2001年 (H13) 10.5～10.30 | 現状が畑部分を中心とした確認調査。現在の畑部分には田部分より良好に古代・中世の遺構が保存されていることを確認した。沖ノ羽遺跡より南に新たに遺跡が確認され山王浦遺跡として登録された。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 立木宏明 | | 348.6㎡ | 北158～303T 南208～257T | |
| 8次 | | 2001年 (H13) 8.29～2002年 (H14) 1.25 | 古代の区画溝を持つ規格的な掘立柱建物跡を3棟検出した。 | 本発掘調査 | 排水機場建設 | (株)シン技術コンサル 細野高伯 | 北区、本区 | 2,102.69㎡ | | 〔細野ほか 2002〕 |
| 9次 | | 2002年 (H14) 10.16～10.24 | 古代の遺物検出。遺跡範囲は北東側に拡大。 | 確認調査 | 鉄塔建設工事 | 新津市教育委員会 立木宏明 | | 21.6㎡ | | |
| 10次 | 4次 | 2002年 (H14) 10.25～12.25 | 磐越自動車道より南側の現況、農道部分の本調査範囲を絞り込むための確認調査。農道下の後世の破壊の度合いは小さく、本調査範囲に隣接する部分では良好に包含層が残ることを確認した。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 立木宏明 | | 432㎡ | 南258～353T | |
| 11次 | 5次 | 2003年 (H15) 5.30～9.30 | 3区一古代の旧河道が検出され、その周辺に建物跡が検出された。 | 本発掘調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 立木宏明 | 1～3区 (03沖ノ羽) | 1858.8㎡ | | 〔立木・澤野ほか 2005〕 |
| 12次 | 6次 | 2003年 (H15) 6.16 | 平成15年度の調査途中に本発掘調査範囲の絞り込みのために確認調査を再度行った。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 立木宏明 | | 22.5㎡ | 南354～359T | |
| 13次 | | 2003年 (H15) 9.5～12.19 | 鉄塔部分、1か所の調査。古代の遺構・遺物を検出。 | 本発掘調査 | 鉄塔建設工事 | (株)シン技術コンサル 北村 淳 | | 121.8㎡ | | 〔北村・菊池ほか 2004〕 |
| 14次 | 7次 | 2003年 (H15) 10.31～12.4 | 磐越自動車道より北側の現況、農道部分の本調査範囲を絞り込むための確認調査。農道下の後世の破壊の度合いは小さく、本調査範囲に隣接する部分では良好に包含層が残ることを確認した。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 立木宏明 | | 216㎡ | 北304～351T | |
| 15次 | 8次 | 2004年 (H16) 6.15～11.24 | 1区一古代の集落域、3区一古代の溝状遺構を多数検出(畑)。5区一下層から古墳時代前～中期の遺構・遺物を検出。 | 本発掘調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 立木宏明 | 1～5区 (04沖ノ羽) | 3092.6㎡ | | 〔立木・澤野ほか 2008〕 |
| 16次 | 9次 | 2004年 (H16) 11.2～12.5 | 磐越自動車道より北側の現況、農道部分の本調査範囲を絞り込むための確認調査。農道下の後世の破壊の度合いは小さく、本調査範囲に隣接する部分では良好に包含層が残ることを確認した。413Tから古墳時代後期の須恵器が出土した。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 立木宏明 | | 522㎡ | 北352～467T | |
| 17次 | 10次 | 2004年 (H16) 11.30 | 溝状遺構の検出。土師器(古代)出土。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新津市教育委員会 立木宏明 | 6区 (04沖ノ羽) | 244㎡ | | |
| 18次 | 11次 | 2005年 (H17) 6.30～12.20 | 3区で古代の旧河道および川岸にある古代から中世にいたる集落跡を検出。旧河道から多量の古代遺物(土師器・須恵器・緑釉陶器・瓦塔等)が確認される。4区下層から古墳時代後期の遺物が出土した。 | 本発掘調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新潟市埋蔵文化財センター 立木宏明 | 1～4区 (05沖ノ羽) | 3947.9㎡ | | 〔遠藤・澤野ほか 2014〕 |
| 19次 | 12次 | 2006年 (H18) 7.20～12.20 | 1・2区から古代・中世の集落跡の一部を検出した。 | 本発掘調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新潟市埋蔵文化財センター 遠藤恭雄 | 1～7区 (06沖ノ羽) | 4104.3㎡ | | 〔遠藤・澤野ほか 2014〕〔本書〕 |
| 20次 | 13次 | 2006年 (H18) 10.30～11.2 | 磐越自動車道より北側の追加確認調査。古代の遺構・遺物が出土している。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 県文化行政課 澤田 敦 | | 90㎡ | 北468～493T | |
| 21次 | 14次 | 2007年 (H19) 3.1 | 平成19年度の調査途中に本発掘調査範囲の絞り込みのために確認調査を再度行った。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新潟市埋蔵文化財センター 遠藤恭雄 | | 16㎡ | 北494～503T | |
| 22次 | 15次 | 2007年 (H19) 6.9～12.28 | 古代・中世の集落跡で中世を主体とする。掘立柱建物10棟以上、井戸85基、土坑249基、溝178基、P12000基以上など遺構密度が高い。遺物は土師器・須恵器、珠洲焼、青磁、鉄製品(刀子等)、木製品(中世木簡、漆器類、曲物等)、石製品(砥石等)が出土している。 | 本発掘調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新潟市埋蔵文化財センター 遠藤恭雄 | 1～4区 (07沖ノ羽) | 4,692㎡ | | 〔本書〕 |
| 23次 | 16次 | 2007年 (H19) 10.9～10.11 | 磐越自動車道より北側の追加確認調査。古墳時代・平安時代の遺物が出土している。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新潟市埋蔵文化財センター 今井さやか | | 42㎡ | 北507～514T、516～522T | |
| 24次 | 17次 | 2008年 (H20) 6.9～12.3 | 古代・中世の集落跡。掘立柱建物10棟以上・井戸36基、土坑196基・溝164基、など多数の遺構を検出。遺物は土師器・須恵器を主体に珠洲焼、青磁、鍛冶関連遺物(鉄滓・羽口)が出土している。 | 本発掘調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新潟市埋蔵文化財センター 遠藤恭雄 | 1～4区 (08沖ノ羽) | 3321.5㎡ | | 〔本書〕 |
| 25次 | 18次 | 2009年 (H21) 10.22 | ほ場整備事業に伴う仮排水路掘削に先立って確認調査を実施した。 | 確認調査 | 満日地区ほ場整備事業 | 新潟市埋蔵文化財センター 遠藤恭雄 | | 24㎡ | 北579～584T | |

*ほ場トレんチ番号は、磐越自動車道の北側と南側に分けてそれぞれ通し番号としている。

第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

第1節 遺跡の位置と地理的環境（第1図、図版1・2）

新潟市は、越後平野を貫流する信濃川・阿賀野川の下流域に位置する。平成17年に周辺12市町村（新津市・白根市・豊栄市・小須戸町・横越町・亀田町・西川町・巻町・味方村・潟東村・月潟村・中之口村）と合併し、総面積726.45km²、人口80万人余りを数える。平成19年4月1日には日本海側初となる政令指定都市となっている。

越後平野は、信濃川と阿賀野川が運搬する土砂が堆積して形成された日本有数の沖積平野である。東を朝日・飯豊連峰、南を新津丘陵、西を角田・弥彦山地に囲まれ、面積は約2,000km²である。海岸部には海岸線と平行に砂丘列が並び、その内陸側は丘陵地縁辺部まで後背低地が広がっている。

遺跡のある新潟市秋葉区（以下、秋葉区という）満日・両新地区（旧新津市域）は越後平野のほぼ中央に位置し、新津丘陵を中心として東に阿賀野川、西に信濃川が北流する。近世初頭、信濃川以北の河川は砂丘列を越えることができず、加治川が阿賀野川に、阿賀野川が現在の新潟港付近で信濃川に合流していた。水はけが悪く、度々水害に見舞われ開墾が困難な状況であったため、享保15年（1730）に新発田藩が松ヶ崎掘割を開削した。翌年の雪解け水による洪水と出水によって掘割は現阿賀野川の本流となって水位が下がり、新田開墾が一気に進んだ。秋葉区満日・両新地区では、下新付近で五泉市域を北流してきた早出川が阿賀野川に合流する。また、七日町付近では阿賀野川から分岐した小阿賀野川が西流し、覚路津付近で信濃川に合流する。新津丘陵東縁を北流する能代川は、太平洋戦争後に水害対策の河川改修が行われた。これにより五泉市千原～秋葉区大関間の蛇行部分が直線化し、秋葉区新津地区の市街地を貫流していた本来の流路から分流が東方に作られ、現在の能代川・新津川となっている。能代川と新津川は下興野付近で再び合流し、荻島付近で小阿賀野川に注いでいる。

秋葉区付近の地形は丘陵とその縁辺の段丘、沖積地から成っている。南南西～北北東に走る新津丘陵は加茂川を南限に標高278mの高立山が最も高く、北に行くに従い標高を下げて北端で70～80mとなり、その周囲には段丘が標高10～70m間に4段見られる。沖積地は信濃川・阿賀野川の二大河川により形成され、自然堤防や旧河道・後背湿地・三角州などの地形が見られる。阿賀野川が流路を東遷させてきた結果、秋葉区域では新津丘陵北端～小阿賀野川間に自然堤防が形成され、現在起伏の極少ない微高地が断続的に残存している。遺跡は能代川右岸の微高地上に存在する。

遺跡景観は周辺に水田・畑地帯が広がり、地形の起伏はほとんど認められない。この景観は大正末期から昭和20年代に行われた耕地整理事業によって形成されたものである。耕地整理以前の地図（図版2）からは微高地の多くは畑として、微高地周辺は水田として利用されている。いわゆる「堀田」として利用されたようである。遺跡は河川が形成した自然堤防・微高地上または、微高地の周縁部に立地しており、今回の調査成果と合致する。

第2節 周辺の遺跡（第2図、第2表、図版3）

市内の遺跡数は平成26年12月31日現在731か所を数える。時代別の遺跡の分布は旧石器時代では丘陵部に限定される。縄文・弥生時代では丘陵・段丘上および砂丘地に集中し、古墳時代には丘陵や段丘の縁辺部や平野部微高地・砂丘地、奈良・平安時代になるとさらに平野部微高地に多くの分布が見られるようになる。具体的には古代までは丘陵上に弥生後期の環壕集落・円墳などが展開し、丘陵裾部には奈良・平安時代の製鉄・須恵器（土師器）窯などの生産遺跡が集中している。



第1図 新津丘陵周辺地形分類図

以下に第2図の範囲を中心として時代ごとに記述する。

旧石器時代の遺跡 市内では新津丘陵に2か所、角田山麓に1か所の3遺跡が確認されている。秋葉区内では、段丘上の古津八幡山遺跡〔渡邊・立木ほか2001・2004〕と、丘陵の尾根に立地する草水町2丁目窯跡がある。いずれも遺構は発見されず、ナイフ形石器・石刃などが散発的に出土したのみで、旧石器時代の様相は不明な点が多い。

縄文時代の遺跡 草創期～晩期の遺跡が確認されている。後期までは主に丘陵部に分布する。市内で最も早い例として草創期前半の愛宕澤遺跡〔立木・澤野ほか2004a〕があげられる。中・後期には新津丘陵の丘陵平坦面に平遺跡〔川上・遠藤1983〕、原遺跡（中～晩期）、秋葉遺跡（中～後期）などが存在する。また、砂丘上には前期前半の砂崩遺跡〔酒井・廣野2002〕がある。晩期には大沢谷内遺跡〔細野・伊比ほか2012〕、鳥屋遺跡〔関ほか1980〕、緒立遺跡〔金子ほか1983〕、御井戸遺跡〔前山1994〕など、砂丘上や沖積地に立地する遺跡が多くなる。

弥生時代の遺跡 弥生時代前期の遺跡としては緒立遺跡〔金子ほか1983〕が代表例である。そのほか、砂丘上や沖積地に多くの遺跡が存在する。中期の遺跡としては旧横越町小丸山遺跡〔家田1987、酒井2000a〕、山ん家遺跡〔川上1993、酒井2000b〕などがある。秋葉区内では平成15年度の立会調査で秋葉遺跡から中期前半、塩辛遺跡から中期後半の土器が出土している〔渡邊・立木ほか2004〕。後期の遺跡としては新津丘陵沿いの古津八幡山遺跡〔川上1994、渡邊・立木ほか2001〕とその周辺の居村C遺跡（D・E地点）〔川上1996b、渡邊ほか1997〕がある。古津八幡山遺跡は一定期間定住していた拠点集落と見られる高地性環濠集落で、二重の環濠・竪穴住居・炉跡・方形周溝墓が確認されている。遺物は東北系と北陸系の弥生土器が出土しており、当該地域の弥生時代を考える上で重要な遺跡である。砂丘上の遺跡としては六地山遺跡〔寺村1960・1961〕、石動遺跡〔廣野1996〕がある。近年、江南区（旧亀田町）の砂丘および砂丘間低地で養海山遺跡〔新潟市2007〕や西郷遺跡〔土橋2009〕などの前・中期の遺跡が確認されている。

古墳時代の遺跡 前期の古墳としては、角田山麓の前方後方墳である山谷古墳〔甘粕・小野ほか1993〕、前方後円墳である菖蒲塚古墳〔相田・前山2003・2005〕がある。それに隣接して同期の南赤坂遺跡〔前山・相田2002〕、御井戸遺跡〔前山・相田2003・2004・2005〕がある。砂丘上や沖積地には緒立C遺跡〔渡邊1994〕や東園遺跡〔朝岡・諫山2003〕、正尺C遺跡〔土橋ほか2006〕などがある。新津丘陵では古津八幡山遺跡の北西端に古津八幡山古墳が造営される（墳丘約60m円墳）〔甘粕・川村ほか1992、相田・渡邊ほか2014〕。古墳に隣接する舟戸遺跡〔川上1995〕・高矢C遺跡は中期の遺跡であり、丘陵縁辺や端部に立地する。舟戸遺跡では中期頃の竪穴住居跡が検出され、古墳との関連が注目されている。平野部の沖ノ羽遺跡〔星野ほか1996、立木・澤野ほか2008〕・上浦A遺跡〔坂上2003〕・結七島遺跡〔田中・丹下ほか2004〕では古墳時代前・中期の遺構・遺物が、中田遺跡〔諫山2009〕では、後期の竪穴建物などが検出されている。近年、沖積地の微高地から古墳時代の遺跡が多く見つかっており、平野部への遺跡進出の様相が明らかになりつつある。

古代の遺跡 古代（飛鳥～平安時代）になると低地への進出が本格化する。特に9世紀中頃以降、平野部の自然堤防上に立地する集落遺跡は著しい増加を見せる。丘陵部は生産活動の場として利用されるようになり、新津丘陵や角田山麓では、鉄や須恵器・土師器を供給する生産遺跡が集中する。市域およびその周辺では、的場遺跡〔小池・藤塚1993〕、緒立C遺跡〔渡邊1994〕、新発田市曾根遺跡〔家田ほか1981・1982、川上1997a〕、阿賀野市発久遺跡〔川上ほか1991〕といった官衙に関連する遺跡がみられる。さらに近年、九九木簡や律令祭祀具が出土し、7世紀後半に位置づけられる大沢谷内遺跡〔細野・伊比ほか2012〕や火葬墓に伴って帯金具が出土した四十石遺跡〔渡邊・奈良ほか2012〕などが新たに発見され、市域周辺の地方官衙の様相が少しずつ明らかになってきている。

以下沖ノ羽遺跡周辺に限定して記述する。

生産遺跡としては、新津丘陵窯跡群が新津丘陵北東斜面に分布し、七本松窯跡〔中川・倉田1956〕・草水町2丁目窯跡・滝谷窯跡〔川上・木村・鈴木1989〕などが代表的である。平成18年度の下水道工事に伴う立会調査で七本松窯跡に隣接する地点で、新たに秋葉2丁目窯跡（9世紀前半）が発見された。昭和27年に出版された『新

『津市誌』では新津丘陵に18か所の窯跡が存在すると記載されており〔小林1952〕、近隣に未知の窯跡がまだ多数存在すると考えられる。新津丘陵窯跡群の存続時期は、8世紀から9世紀中葉と考えられている〔春日1999〕。製鉄遺跡は新津丘陵西斜面に居村A・B・C遺跡・大入遺跡などがあり、8世紀後半以降に操業していたとされる〔渡邊ほか1997・1998〕。

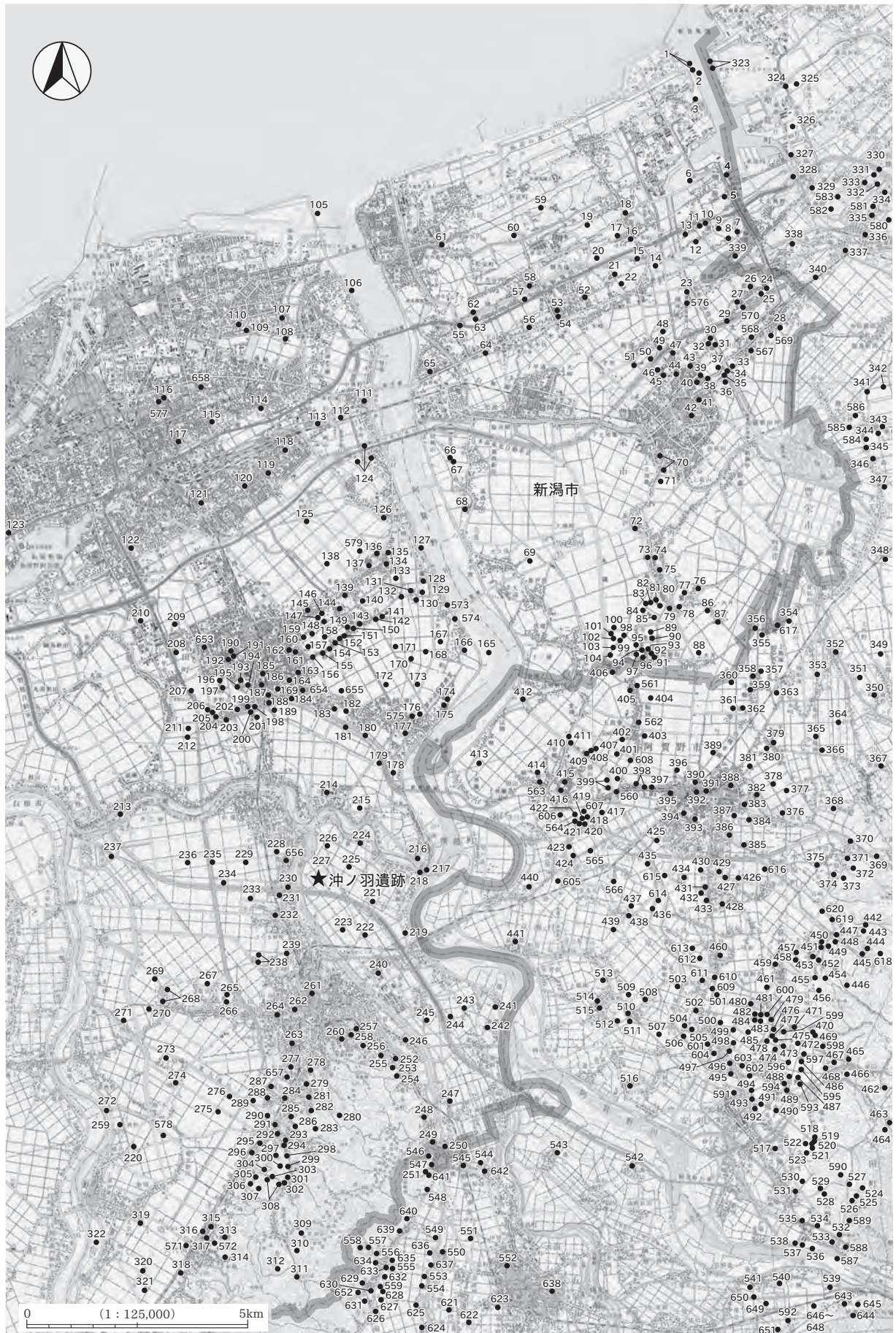
次に沖積地に立地する集落遺跡を古い時期からみていく。長沼遺跡は、非ロクロの土師器やかえりのある須恵器杯蓋が定量出土した7世紀末～8世紀の遺跡である〔渡邊1991〕。萱免遺跡は、8世紀中葉から9世紀前半に位置づけられ、焼成不良や焼きゆがみのある新津丘陵産須恵器が多く出土していることから、須恵器生産に関わる集落であった可能性が指摘されている〔立木・八藤後ほか2009〕。上浦A遺跡では堀立柱建物が発見され〔川上1997b、坂上2003〕、円面硯や多量の墨書土器が出土している。上浦A遺跡の年代は出土遺物の年代観から7世紀末～10世紀と考えられ存続時期の長い遺跡である。隣接する、上浦B遺跡〔新潟市2007〕からは周囲を溝で囲まれた総柱建物跡1棟と掘立柱建物2棟が方向を揃えて検出された。建物周辺では井戸や畑跡も検出されている。9世紀後半の短期間に営まれた遺跡で、希少なものとしては奈良三彩の小壺が1点出土している。

沖ノ羽遺跡〔石川ほか1994、星野ほか1996、細野ほか2002、春日2003a、北村・菊池ほか2004、立木・澤野ほか2005・2008、遠藤・澤野ほか2014〕を含む秋葉区満日地区では、山王浦遺跡〔立木・澤野ほか2004b〕、中谷内遺跡〔立木ほか1999、渡邊ほか2002、遠藤・笹澤ほか2015〕、内野遺跡〔立木・高野ほか2002、遠藤・笹澤ほか2015〕、無頭遺跡〔長澤ほか2002〕、大下遺跡、久保遺跡など9世紀後半を中心とする遺跡が多く確認されている。山王浦遺跡からは9世紀後半の雨落溝を伴う掘立柱建物が3棟検出されており、井戸や土坑など周辺施設が併設する建物小群がいくつかつ並存する「住耕一体型」の集落の一部と考えられる。中谷内遺跡からは平安時代に流れた旧流路に沿って、集落の一部が確認された。旧河道の覆土中からは多くの祭祀に伴う墨書土器が出土した。土器は上層と下層で様相を異にし、9世紀第3四半世紀～第4四半世紀の概ね2～3時期に分けられる。緑釉陶器有台碗など希少品も出土している。内野遺跡からは溝・小土坑などが検出され、9世紀後半の集落の一部が確認された。無頭遺跡は狭小な調査区で不明な部分が多いが、9世紀後半の土器が少量出土している。

中世の遺跡 在地領主層の勢力伸長に伴って、丘陵裾部や平野部の微高地に城館が築かれるようになる。新津丘陵周辺では、山城として東鳥城・金津城〔横山・竹田ほか1987〕があり、丘陵裾部には程島館・西島館・五本田館・丸田館、平野部の自然堤防上に新津城跡・大関館・下条館・五泉城などの存在が知られる。いずれも本格的な調査は行われておらず、実態は不明である。西蒲区和納館〔川上1997c〕や阿賀野市堀越館跡〔小田ほか2001〕では、部分的に中世館跡の調査が行われ、館をめぐる堀の一部や多量の貿易陶磁、茶具などが出土している。

集落遺跡の多くは、平野部の自然堤防や砂丘に立地し、古代遺跡と重複する場合も多い。阿賀野市大坪遺跡〔荒川ほか2006〕では、11世紀後半～12世紀を中心とする大規模な集落跡が検出されている。白河荘内にあった有力者の居館跡と想定される貴重な例である。阿賀野川下流域の川べりで確認された山木戸遺跡〔諫山2004〕、下前川原遺跡〔遠藤2004〕は、概ね13世紀から15世紀に営まれ、内水面交通に関わる集落であったと想定されている。亀田砂丘上の中の山遺跡〔川上1983〕、荒木前遺跡〔渡邊ますみ1991、川上1996a〕、三王山遺跡〔酒井1980〕では、多数の井戸や溝、掘立柱建物跡が検出されており、中国産の青磁・白磁、瀬戸・美濃焼などの出土遺物の内容から、周辺地に在地領主層の存在が指摘されている。

当遺跡周辺の集落遺跡として、14～15世紀の集落の一部が発見された江内遺跡〔春日ほか1996〕がある。細池遺跡（現、細池寺道上遺跡）〔小池ほか1994〕では、中世以降のほ場の各単位施設と思われる遺構が検出されている。沖ノ羽遺跡では12～14世紀の集落およびほ場の一部が確認され〔星野ほか1996、春日2003a、遠藤・澤野ほか2014〕、県内初となる烏帽子が出土している。内野遺跡の調査では14～15世紀を中心とする集落の様相が明らかとなった〔立木・高野ほか2002〕。遺構としては掘立柱建物・井戸・溝があり、陶磁器とともに井戸内より鉄鍋が出土した。リサイクルを基本とする当時の社会で鉄製品が残ったということは、祭祀行為等で埋納されたと考えられる例である。そのほかに井戸底から大形犬の骨の一部が検出され、食用の可能性が指摘されており、中



第2図 沖ノ羽遺跡周辺の遺跡分布図

第2表 周辺の遺跡一覧表

Table with 13 columns: No., 名称, 時代, No., 名称, 時代, No., 名称, 時代, No., 名称, 時代, No., 名称, 時代. The table lists various archaeological sites and their corresponding time periods across multiple columns.

世の食文化を考える上で貴重な資料である。

近世の遺跡 集落跡は中世と同じ平野部微高地に立地しており、現在の住宅地が存続して立地することが多く実態は不明な点が多い。発掘調査例も少ないが、秋葉区新津地区では江内遺跡で17世紀前半からの集落の一部が明らかにされている〔春日ほか1996〕。近年、湊町新潟の「近世新潟町跡」〔佐藤ほか2008〕が調査され、幾層も重なる生活面を確認した。備前系を中心とする各地の陶磁器も多量に出土している。部分的な調査ではあるが、17～19世紀の町屋の実態に迫る重要な調査例である。

第3節 歴史的環境

古墳時代の越後国については文献史料では不明な点が多い。越後平野に立地する古墳は秋葉区の古津八幡山古墳をはじめ、西蒲区の菖蒲塚古墳・山谷古墳、西区の緒立神社古墳や三条市の保内三王山古墳群などいずれも前期のもので、5世紀代には越後平野で古墳の実態は不明瞭である。5世紀後半以降は高田平野・魚野川流域に古墳が造営されるようになる。

越後の領域については第1段階(3～4世紀)は旧越前国(越前・加賀・能登)、第2段階(5～6世紀)は旧越中国(頸城・古志・魚沼・蒲原4郡まで含む)まで、第3段階(7世紀中～)は淳足・磐舟柵までとし、次第に北上していく様が伺える〔米沢1965・1980〕。『続日本紀』大宝2年(702)3月条には、越中国4郡を割いて越後国に編入するとあり、頸城・古志・魚沼・蒲原の4郡がこれに当たるとされ、これにより越中国の領域が確定した。最終的に越後国の領域が確定するのは、和銅5年(712)にそれまで越後国に属していた出羽郡を分割して出羽国を建国したことによる。

古代の秋葉区域は蒲原郡に属し、その郡域は概ね三条市以北阿賀野川以西の越後平野と推定され、中世南北朝に蒲原郡の郡域が旧沼垂郡を含む領域に拡大するまでは大幅な変更はないと思われる。7世紀段階には旧越中国の淳足柵に属する領域として整備され、8世紀には蒲原郡として成立したと見られる。蒲原郡内には10世紀成立の『和名類聚抄』に桜井・勇礼・青海・小伏・日置の5郷が見られ、桜井・勇礼・青海・小伏の4郷については所在地が比定できることから、秋葉区域は日置郷に当たると考えられていた。郷域は新津丘陵の北端部を中心に阿賀野川以西信濃川以東、概ね現在の秋葉区・五泉市・田上町の範囲と推定される。

宝亀11年(780)の「西大寺資財流記帳」(『寧楽遺文』中巻)には、西大寺の荘園として蒲原郡に鶉橋庄・槐田庄が見られる。同史料に「越後国水田并墾田地帳景雲三年」とあることから、成立はいずれもそれ以前の8世紀中葉と見られる。所在地については式内社名から、鶉橋庄は五泉市橋田、槐田庄は三条市周辺とされている。これらの荘園に秋葉区域が含まれていたのかは不明である。

新津丘陵における須恵器生産は、早ければ7世紀後半に始まり、8世紀前半～9世紀中頃が主な操業時期である。これは越後国内の他地域の須恵器生産動向とほぼ一致しており、いわゆる「一郡一窯体制」であった。しかし9世紀前半～中葉には、佐渡小泊窯の製品が越後国全域に流通するという画期的変化が生じる〔坂井1996〕。一方、金津丘陵製鉄遺跡群は新津丘陵北西側の金津地区にあり、窯跡と近接するのは燃料が薪や木炭と共通するためである。古代の秋葉区域の産業は新津丘陵の製鉄・窯跡群が中心で、低湿地や潟湖が大部分を占めていた越後平野の中で新津丘陵は重要な位置にあったと思われる。文献史料上は確認できないが、沼垂柵や国府津である蒲原津とも何らかの関係があった可能性がある。

11世紀後半に各地で成立し始めた公領のひとつである金津保は、秋葉区域に所在したとされる。金津保の初見は建武3年(1336)11月18日「羽黒義成軍忠状写」で、「同二日、引籠于金津保新津城、对于小国政光以下御敵等、到散々合戦畢」(『新潟県史』資料編4-1935〔新潟県1983〕)とあり、北朝方である三浦和田(羽黒)義成は金津保にあった新津城に籠り、南朝方の小国政光らと戦ったとある。この史料によって金津保には新津城が含まれていたことがわかり、この新津城とは新津城・程島館・東島城のいずれかであろうとされる〔木村1989〕。

また天正5年(1577)「三条衆給分帳」に「金津保之内遊川」(『新潟県史』資料編5-2704〔新潟県1984〕)とあり、遊川は田上町湯川と見られ、さらに天文13年(1544)10月10日「上杉玄清定実知行宛行状」・同「長尾晴景副状」(『新潟県史』資料編4-1495・1496〔新潟県1983〕)に「金津保下条村」とあるのは、五泉市下条に当たるとされる。以上のことから金津保の領域は年代によって若干の違いがあった可能性はあるが、秋葉区～田上町北部と新津丘陵の五泉市側までを含む範囲であったと推定する。

院政期～鎌倉初期には建仁元年(1203)3月4日に「城四郎長茂并伴類新津四郎已下、於吉野奥被誅畢」(『吾妻鏡』)とあり、新津四郎はおそらく金津保に何らかの関連をもつ人物と見られるが、阿賀野川以北に勢力を持ち国衙勢力と対峙する城長茂と行動をともにしている。このことから公領である金津保は国衙勢力と城氏との間で不安定な状況であったことが予想される。また南北朝動乱期には阿賀野川以北の北朝方佐々木加地景綱らと、刈羽・魚沼地域に勢力を置く南朝方の小国氏らの蒲原津をめぐる攻防が続き、阿賀野川流域である金津保(つまり秋葉区域)は、その中で拠点の一つとして注目されていた。その後も越後守護となった上杉氏・守護代長尾氏にとって、その支配に抵抗する阿賀野川以北の国人層や本庄・色部・中条・佐々木加地氏らを統制するために金津保は地理的に極めて重要な拠点であった。そのため金津保は国衙領として守護の支配下に置かれることとなる。

天正6年(1578)3月に上杉謙信が死去し、養子である景勝・景虎の間で後継争い「御館の乱」がおこる。この乱に景勝方として参戦した新津氏は、以後それまで金津保の勢力であった平賀氏に替わり領主となった。そして慶長3年(1598)に景勝とともに会津へと国替えさせられるまで、新津氏が金津保を中心に発展することとなった。

中世における金津保を中心とした秋葉区域は、阿賀野川流域であり、蒲原津に近いという地理的環境や越後平野を一望することができる新津丘陵の存在から、常に不安定な政治状況に置かれていた。先に金津保の領域に推定した範囲に、新津丘陵を中心に中世城館が常に置かれていたのはそのことを示しているのだろう。

近世に入り、越後平野では新発田藩によって新田開発に伴う治水工事が行われるようになった。また近世後期には町人請負による新田開発が盛んになり、潟の干拓が行われた。阿賀野川などの河川も水害対策のために掘割を堀削するなどの普請がなされた。沖ノ羽遺跡の所在する古田ノ内大野開は江戸時代に新発田藩により開発された古田新田の枝郷である。享保3年(1718)の新発田藩「御領分郷村鑑」によれば、「高149石余、田23町部、畑2町余、無民戸」とあり、江戸時代以来、無住の地であったことが伺える。現在の遺跡周辺の景観はこの開発に基づいて形成されているが、古代から中世にかけては広大な潟湖や湿地が存在し、その中で微高地上の遺跡は当時の生活を知る上で非常に重要である。

第Ⅲ章 調査の概要

第1節 試掘・確認調査（図版4）

満日地区ほ場整備事業に伴って、平成10・12年度に事業区域全域の田部分、平成13年度には畑部分と田部分を対象とした試掘・確認調査を行っている。平成10年度には869.4m²（1.4m×3m×207トレンチ）、平成12年度に659.4m²（1.4m×3m×157トレンチ）を行い、平成13年度には823.2m²（1.4m×3m×196トレンチ）を調査した。その後の協議結果で用・排水路部分および未調査地の調査を行うこととなり、平成14年～16年度、平成18・19・21年度に確認調査を行い、ほ場全体面積のほぼ全域の調査が終了している。

第19次調査で5区とした農道部分の352～376トレンチでは現地表下-0.60～1.70m、6区とした付近の381～384トレンチでは現地表下-1.35～1.50mで黒褐色～黒褐灰色土層の古代遺物包含層および相当層が確認されている。特に5区中央部分の365・366トレンチで遺構および古代土器がまとまって出土しており、包含層の広がり予想された。保護層が確保されない本発掘調査範囲は、5区が1,166m²、6区が280m²となった。

第22次調査で1区とした畑部分については、1区東側の140・142・176・471・472・494・495・497トレンチで現地表下-0.20～0.75m、1区西側の74・76・175・177トレンチで現地表下-0.20～0.45mで黒褐色～暗灰色の古代遺物包含層および相当層が確認された。2区とした409～416トレンチでは現地表下-0.30～0.90mで黒褐～暗灰褐色の古墳時代・古代の遺物包含層および相当層が確認され、409～414トレンチでは古代土器がまとまって出土している。3区とした166・392・393・394～400トレンチでは、現地表下-0.30～1.20mで暗灰～暗茶褐色の古代遺物包含層および相当層が確認されている。特に3区路線部分の396・398トレンチでは、100点以上の古代遺物と溝・柱穴が確認された。4区とした地点は、第19次調査5区に隣接し、包含層の広がり予想された。以上の結果から、第22次調査における保護層が確保されない本発掘調査予定面積は、1区3,999m²、2区373m²、3区709m²、4区9m²×10か所90m²、合計5,171m²となった。

第24次調査で1区とした水田および畑部分については、304～311トレンチにおいて現地表下-0.15～0.30mで黒褐～茶褐色の古代遺物包含層および相当層が確認された。2区とした水田部分の91トレンチと畑部分の173・174・179トレンチでは、現地表下-0.20～0.70mで黒褐色～暗褐色の古代遺物包含層が確認された。179トレンチでは100点を超える古代遺物出土しており、包含層の広がり予想された。4区とした地点は第19次調査5区および第22次調査4区に隣接し、包含層の広がり予想された。以上の結果から、第24次調査において保護層が確保されない本発掘調査面積は、1区248m²、2区2,849m²、4区9m²×12か所108m²、合計3,205m²となった。

第2節 本発掘調査

A 調査方法

1) グリッドの設定（図版5～7）

当該地域については、平成17年度より新たに磐越自動車道北側の県営満日地区ほ場整備事業予定範囲に世界測地系（測地成果2000）を用いたグリッド設定を行った。なお、当該地域では、平成23年の東日本大震災による地殻変動に対応するため、三角点位置および水準点標高の改定が行われているが（測地成果2011）、特に断り

がない場合には、調査実施時に用いた測地成果 2000 による座標値を掲載している。

その基準点は X 座標：203770.000、Y 座標：54590.000、緯度：27° 50′ 04″ 96025、経度 139° 07′ 12″ 69803 を 1A-1A 杭とした。基準点に対し国土地理院の第 8 系座標軸を用いて 100m の方眼を組み、これを大グリッドとした。大グリッドの名称は北西隅の杭を基点として南北方向をアラビア数字、東西方向をアルファベットとし、この組み合わせによって表示した。この大グリッドに 10m の方眼を組み、これを中グリッドとした。中グリッドも大グリッド同様の表示方法とし、1A から 10J に分割した。この中グリッドをさらに 2m 方眼に区分して 1 から 25 の小グリッドに分割し、大グリッドと中グリッドの間にハイフン (-) を用い「17H-2B12」のように呼称した。基準杭の打設は測量業者に委託した。

第 19 次調査 5 区・6 区については、測量基準杭の打設のみ業者委託し、グリッド杭の設置を行っていない。

第 22 次調査区 3 点の座標は次のとおりである。

1 区 15G-7E (X 座標：202310.000、Y 座標：55230.000、緯度：37° 49′ 17″ 4655、経度：139° 07′ 38″ 4712)

2 区 13C-8B (X 座標：202500.000、Y 座標：54800.000、緯度：37° 49′ 23″ 7216、経度：139° 07′ 20″ 9403)

3 区 14D-1H (X 座標：202470.000、Y 座標：54960.000、緯度：37° 49′ 22″ 7139、経度：139° 07′ 27″ 4747)

4 区については、小グリッドの設定のみ行い、グリッド杭の設置を行っていない。

1 区 15G-7E 杭で長軸方向を座標北の 0 度 0 分 0 秒とし、座標北は真北に対し 0 度 23 分 05 秒東偏し、磁北は真北に対し 7 度 45 分西偏する。

第 24 次調査区 3 点の座標は次のとおりである。

1 区 17H-2I (X 座標：202160.000、Y 座標：55370.000、緯度：37° 49′ 12″ 5696、経度：139° 07′ 44″ 1545)

2 区 13F-4E (X 座標：202540.000、Y 座標：55130.000、緯度：37° 49′ 24″ 9475、経度：139° 07′ 34″ 4453)

4 区 14G-5A (X 座標：202430.000、Y 座標：55190.000、緯度：37° 49′ 21″ 3665、経度：139° 07′ 36″ 8686)

2 区 13F-4E 杭で長軸方向を座標北の 0 度 0 分 0 秒とし、座標北は真北に対し 0 度 23 分 02 秒東偏し、磁北は真北に対し 7 度 45 分西偏する

2) 調査方法

① 表土剥ぎ：確認調査によって遺物の出土が多量であると予想されたことから、遺物包含層 (IV層) 上面まで、遺物の出土に注意しながら重機 (バックホウ) により除去した。排土は横置きした。法面は安全面を考慮して一分の勾配とした。また、湛水防止のために、表土剥ぎと並行して調査区の周囲に土側溝を掘り、2 インチのポンプで強制排水を行った。土側溝は人力で掘削し、幅 20cm・深さ 20cm 程の溝で、壁面を垂直に掘ると崩壊する恐れがあるために緩く傾斜をつけた V 字の溝を掘削した。土側溝により遺構の破壊が考えられたが、湛水により調査が不能になることを防ぐ処置である。

② 包含層掘削・遺構検出・発掘：重機で掘削後、ジョレン等を用いて人力で精査を行い、包含層の掘削・遺構の検出・掘削にあたった。排土は人力およびベルトコンベアで調査区外へ搬出した。

③ 実測・写真：実測図は断面図を 1/20 で作成した。平面図・断面図や各種測量点は測量業者に委託してトータルステーションを用いて作成し、あわせて俯瞰写真を撮影した。写真撮影は 35mm 版、6×7 版のカメラを用い、白黒フィルム・カラーポジフィルムを適宜併用した。さらにデジタルカメラでの撮影も行った。

④ 遺物取り上げ：包含層出土遺物は小グリッド単位として取り上げた。遺構出土遺物は点数が少ない地点が多く、層位・小グリッド単位ごとに一括で取り上げた。

⑤ 自然科学分析：鍛冶関連遺物分析・土壌分析・植物珪酸体分析・花粉分析・種実同定・樹種同定・放射性炭素年代測定科学分析を行った。

B 調査経過

1) 第19次調査の経過

平成18年9月25日～10月20日に5区西、10月23日～11月1日に6区、11月2日～12月12日に5区東の調査を行った。詳細は『沖ノ羽遺跡Ⅴ 第18・19次調査』〔遠藤・澤野ほか2014〕で記述しているため、省略する。

最終的な調査面積は、5区西側上端面積190.9m²、5区東側上端面積523.2m²、6区上端面積69.8m²である。

2) 第22次調査の経過

平成19年6月11日より諸準備を行い、6月12・13日に着手前写真を撮影した。6月14日から順次機材を搬入して調査を開始した。調査員は当初3名体制で、主に畑部分の切り下げに伴う1区と、用・排水路設置工事に伴う2～4区の路線部分との2班に分かれて調査を行った。

1区については、調査区を東西に分け、調査員2名で6月14日～7月14日まで1区西側→1区東側の順番で重機によってⅠ～Ⅲ層を除去する作業を行った。作業員約10名で表土剥ぎと並行して排水路掘削、法面仕上げを行った。7月9日から人力による包含層掘削および遺構検出作業を行い、徐々に人員を増やしながら7月27日から並行して遺構掘削・記録作業を進めた。1区西側では規模の大きい井戸が多数検出されるなど中世を主体とする遺構の密度が極めて高く、井戸内から木簡や漆器碗、刀子の出土がみられた。工程に遅れが生じる見込みとなり、8月21日より調査員1名を増員した。調査員3名と作業員30名程度で1区西側の遺構掘削を進めた。11月初旬には1区西側の遺構掘削・記録をほぼ終了した。この間、10月29日から1区東側の遺構検出作業を開始した。調査区北側では遺構密度が低くなり、11月末には遺構の掘削・記録作業をほぼ完了した。11月30日に高所作業車を使用した1区の全体完掘写真、12月1日にラジコンヘリコプターによる空中写真撮影を行った。12月18日までに残りの遺構の精査および測量を行い1区の調査を終了した。

路線部分については、3区西側および北側（6月27日～8月25日）→2区（8月29日～10月25日）→3区南側（11月7日～11月9日）→4区（11月14日～11月26日）の順番で調査を行った。調査員1名と作業員6名程度で、重機による表土掘削ののち、人力による包含層掘削および遺構検出・精査作業を行った。2区中央部で権状錘、3区西側で平安時代の土師器・須恵器がまとまって出土している。精査作業終了後、8月25日に3区、10月25日には2区の高所作業車による完掘写真を撮影した。3区南側については、本調査と範囲確認調査結果をもとに掘削範囲から南東側では遺構・遺物の検出される可能性が極めて低いと判断し、当初計画から調査範囲を縮小した。

この間、9月5・6日には動く市政教室の一環で調査地の見学があり、64名の参加があった。11月3日には現地説明会を開催し、130名の参加があった。

12月上旬に井戸埋土のフルイがけ作業を行い、12月13日に機材、12月30日までにプレハブ等を撤去し調査を終了した。

最終的な調査面積は、1区上端面積3,769.46m²、下端面積3,620.29m²、2区上端面積396.33m²、下端面積320.7m²、3区上端面積449.19m²、下端面積342.68m²、4区10か所合計で上端面積81.55m²、下端面積48.42m²である。合計は上端面積4,696.53m²、下端面積4,332.09m²である。

3) 第24次調査の経過

平成20年6月2日より諸準備を行い、6月7日から順次機材を搬入して調査を開始した。調査員は3名体制で、当初、畑部分の切り下げに伴う2区と、用・排水路設置工事に伴う1・4区の路線部分との2班に分かれて調査を行った。

1区については、6月4日に着手前写真を撮影し、調査員1名、作業員約6名の体制で6月12・13日に重機による表土掘削、その後に遺構検出・掘削・記録作業を行った。遺物包含層は削平を受けてほとんど残存せず、

遺構・遺物とも少ない状況であった。6月24日に完掘状況撮影、7月3日に高所作業車による全体撮影を行って調査を完了した。

4区は、用排水路に接続するユニット部3m×3mの範囲12か所に1～12の番号を付け、1箇所ごとに表土掘削から完掘・記録までの作業を行った。6月16日に2区への通路確保の必要から8・12を先行して調査した。その後、6月25日に着手前写真の撮影を行い、6月27日11・10・9・7、6月30日に6～3、7月1日に3・2、7月2日に1、7月3日に全景撮影を行って調査を終了した。西寄りの4区-3を中心に須恵器・土師器がまとまって出土した。

2区については調査区を東西に分け、調査員2名で6月17日～7月7日まで2区東→2区西の順番で重機によってI～III層を除去する作業を行った。作業員約10名で表土剥ぎと並行して排水路掘削、法面仕上げを行った。7月9日から1・4区担当の調査員が合流し、調査員3名体制で2区東より人力による包含層掘削および遺構検出を行い、並行して遺構掘削・記録作業を進めた。8月22日には燼火山灰考古学研究所の早田氏に来跡いただき、土層のサンプリングを行った。8月25日から2区西の包含層掘削および遺構検出に着手した。10月上旬に2区西で鍛冶関連とみられる遺構が検出されたため、10月17日に穴澤義功氏に来跡いただき、調査方法について指導を受けた。10月20日から2区の全体清掃を行い、22日にラジコンヘリコプターによる2・4区の空中写真撮影、23日には高所作業車を使用して2区の全体撮影を行った。11月1日に現地説明会を開催し、約100名の参加があった。11月下旬までに記録作業を終了し、12月3日までに機材および仮設設備等の撤収を完了して調査を終了した。

最終的な調査面積は、1区上端291.6m²、下端251.4m²、2区上端2,694.9m²、下端2,506.1m²、4区12か所合計で上端188.0m²、下端87.5m²である。合計は上端面積3,174.5m²、下端面積2,845.0m²である。

C 調査体制

【平成18年度：第19次調査】

| | |
|------|---|
| 調査主体 | 新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫） |
| 所管課 | 新潟市文化スポーツ部歴史文化課（課長：倉地一則 課長補佐：山田一雄 埋蔵文化財係長：渡邊朋和） |
| 事務局 | 新潟市埋蔵文化財センター（所長：山田光行 埋蔵文化財係長兼主任：渡邊朋和） |
| 調査担当 | 遠藤恭雄（新潟市埋蔵文化財センター主査） |
| 調査員 | 前山精明（同上 副主幹） 澤野慶子（同上 専門臨時職員） 池田ひろ子（同上 専門臨時職員） |

【平成19年度：第22次調査】

| | |
|------|---|
| 調査主体 | 新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫） |
| 所管課 | 新潟市文化スポーツ部歴史文化課（課長：倉地一則 課長補佐：山田一雄 埋蔵文化財係長：渡邊朋和） |
| 事務局 | 新潟市埋蔵文化財センター（所長：山田光行 埋蔵文化財係長兼主任：渡邊朋和） |
| 調査担当 | 遠藤恭雄（新潟市埋蔵文化財センター 主査） |
| 調査員 | 立木宏明（同上） 澤野慶子（同上 専門臨時職員） 池田ひろ子（同上 専門臨時職員） |

【平成20年度 第24次調査】

| | |
|------|---|
| 調査主体 | 新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫） |
| 所管課 | 新潟市文化スポーツ部歴史文化課（課長：倉地一則 課長補佐：山田一雄 埋蔵文化財係長：渡邊朋和） |
| 事務局 | 新潟市埋蔵文化財センター（所長：山田光行 埋蔵文化財係長兼主任：渡邊朋和） |
| 調査担当 | 遠藤恭雄（新潟市埋蔵文化財センター 主査） |
| 調査員 | 澤野慶子（同上 専門臨時職員） 八藤後智人（同上 専門臨時職員） |

第3節 整理作業

A 整理方法

1) 遺物

遺物量はコンテナ（内径54.5×33.6×10.0cm）にして776箱である。内訳は第19次調査5・6区26箱、第22次調査400箱、第24次調査350箱である。古墳時代・奈良・平安時代・中世の土器・陶磁器・石製品・土製品・木製品・金属製品・鍛冶関連遺物など各種におよぶ遺物がある。

遺物の整理作業は次の手順で行った。①洗浄。②注記。③包含層：グリッド別の種別の重量計測。④遺構：遺物の器種別の重量・個体数計測。⑤接合。⑥報告書掲載遺物の抽出。⑦実測図、観察表作成。⑧トレース図作成。⑨版下作成。実測図は整理補助員が原寸で作成し、トレース図と版下作成は、業者に委託してデジタル編集を行った。

2) 遺構

平面図を作成するにあたっては、まず測量業者に委託した1/40の遺構平面図と手取り断面図との校正作業を行った。報告書の1/100と1/40の遺構平面図は測量業者が作成し、デジタルデータとした。

B 整理経過

平成18～20年度は発掘調査終了後、引き続き整理作業を開始した。出土遺物の水洗・注記と、写真・図面整理を行い、併せて測量業者に委託した遺構平面図の校正作業を行った。

遺物の接合・実測から報告書作成編集作業は主に平成24～26年度に行った。遺物の接合・実測は整理作業員が行い、調査員は、図版のレイアウト・報告書の執筆・編集にあたった。遺物写真の撮影、遺物トレース図作成・遺構・遺物図版データ編集は業者委託した。また、平成25・26年度に第24次調査の鍛冶関連遺物の整理・分析、第22・24次調査井戸出土種実の同定と放射性炭素年代測定を委託して実施した。

整理作業の実施年次と主な内容は下表のとおりである。平成27年度に最終校正および報告書の印刷・刊行を行った。

| 年 度 | 主な整理作業の内容 |
|--------|--|
| 平成21年度 | 第22次調査 遺構図版・遺構写真図版作成編集 |
| 平成24年度 | 第19・22・24次調査 遺物接合・実測・トレース図作成 |
| 平成25年度 | 第19・24次調査 遺構図版・遺構写真図版作成編集 第19・22・24次調査 遺物写真撮影 遺物図版・遺物写真図版作成編集 |
| 平成26年度 | 遺構・遺物図版・写真図版全体編集 本文執筆・編集 |
| 平成27年度 | 報告書全体編集 印刷刊行 出土遺物・記録類の整理収蔵 |

C 整理体制

【平成21年度】

| | |
|-------|--|
| 調査主体 | 新潟市教育委員会（教育長 鈴木廣志） |
| 所 管 課 | 新潟市文化観光・スポーツ部歴史文化課 （課長：倉地一則 課長補佐：頓所洋一 埋蔵文化財係長：渡邊朋和） |
| 事 務 局 | 新潟市埋蔵文化財センター（所長：山田光行 埋蔵文化財係長兼主任：渡邊朋和） |
| 整理担当 | 遠藤恭雄（新潟市埋蔵文化財センター 主査） |
| 調 査 員 | 澤野慶子（新潟市埋蔵文化財センター 専門臨時職員） |

【平成 24 年度】

| | |
|---------|------------------------------------|
| 調査主体 | 新潟市教育委員会（教育長 阿部愛子） |
| 所管課・事務局 | 文化財センター（所長：高橋 保 所長補佐：丸山徳幸 主任：渡邊朋和） |
| 整理担当 | 遠藤恭雄（新潟市文化財センター 主査） |
| 調査員 | 澤野慶子（新潟市文化財センター 非常勤嘱託） |

【平成 25・26 年度】

| | |
|---------|--|
| 調査主体 | 新潟市教育委員会（教育長 阿部愛子） |
| 所管課・事務局 | 文化財センター（所長：中野俊一 所長補佐：丸山徳幸（平成 25 年度） 福地康郎（平成 26 年度） 主任：渡邊朋和 本間敏則 遠藤恭雄） |
| 整理担当 | 遠藤恭雄（新潟市文化財センター 主任） |
| 調査員 | 澤野慶子（新潟市文化財センター 非常勤嘱託） |

第Ⅳ章 遺 跡

第 1 節 概 要

沖ノ羽遺跡では古墳時代、奈良・平安時代（以下、古代）、鎌倉・室町時代（以下、中世）の遺物が出土し、各時代の遺構が検出された。遺構確認面は 1 面で各時代の遺構が重複して検出された。

遺物量は発掘調査終了時で遺物収納コンテナ（内寸 54.5×33.6×10.0cm）にして第 19 次調査 5 区・6 区で 26 箱、第 22 次調査では 400 箱、第 24 次調査で 350 箱、合わせて 776 箱である。

総数 776 箱のうち 4 箱が古墳時代の土器、644 箱が古代の土器、39 箱が中世の土器、その他、石製品・木製品・金属製品・鍛冶関連遺物等が 89 箱である。

遺構数は第 19 次調査では 5 区・6 区で井戸（SE）1 基、土坑（SK）9 基、性格不明遺構（SX）1 基、溝（SD）13 基、小土坑（Pit）19 基、旧河道 3 基である。遺構確認面は概ね 1 層である。5 区東で上層から古代・中世の遺構が、下層から古墳時代の遺物が出土しているが、明確な 2 層の確認面は認められなかった。第 22 次調査では 1～4 区を含めて掘立柱建物（SB）10 基、井戸（SE）85 基、土坑（SK）247 基、性格不明遺構（SX）29 基、溝（SD）180 基、小土坑（Pit）4556 基、旧河道 2 基である。確認面は概ね 1 層である。第 24 次調査では 1・2・4 区を含めて掘立柱建物（SB）12 基、井戸（SE）36 基、土坑（SK）196 基、性格不明遺構（SX）29 基、溝（SD）169 基、小土坑（Pit）4319 基である。

第 2 節 層 序（図版 8・13・36・93・102・112・119）

沖ノ羽遺跡の基本層序は、第 22 次調査 3 区の成果を基準とし、その他の調査区の状況も加味して調査区全体に対応させた。遺構確認面は 3.3～4.3m の標高で推移している。遺跡の基本層序は大きく 5 層に分けられ、最大で 15 層に細分される。以下には主要な基本層序を記す。

- I a 層 褐灰色シルト（10YR5/1） 粘性あり、しまりあり。褐灰色（7.5YR5/6）シルトを斑状に含む。
- I b 層 黄褐色シルト（2.5Y5/3） 粘性ややあり、しまりあり。
- I c 層 灰黄褐色（シルト 10YR4/2） 粘性あり、しまりあり。褐灰色（10YR5/1）シルトを斑状に含む。
- II a 層 褐灰色シルト（10YR6/1） 粘性強い、しまりあり。
- II b 層 暗灰黄色シルト（2.5Y4/2） 粘性あり、しまりあり。
- III a 層 黒褐色シルト（10YR3/1） 粘性あり、しまりあり。φ1～2mm の炭化物を多く含む。
- III b 層 黒褐色シルト（2.5Y3/2） 粘性あり、しまりあり。φ1～2mm の炭化物を少量含む。
- IV a 層 黒褐色シルト（10YR3/1） 粘性あり、しまりあり。φ1～2mm の炭化物を多く含む。遺物包含層。
- IV b 層 灰黄褐色シルト（10YR5/2） 粘性強い、しまりあり。φ1～2mm の炭化物を多く含む。遺物包含層。
- IV c 層 灰白色砂質土（2.5Y8/1） 粘性ややあり、しまり弱い。一部に同色のシルトを含む。遺物包含層。
- V 層 灰色砂質シルト（5Y6/1） 粘性ややあり、しまりあり。褐色シルトを斑状に含む。基盤層。

I・II 層は畑耕作土および水田床土面である。III 層からの遺物の出土はほとんどない。IV 層は概ね 3 層、最大 5 層に細分したが、遺構が密集する微高地などでは細分できない層位も多く、一括して「IV 層」とした場合もある。包含層とした IV 層からは古代を主体とする遺物が出土しているが、第 22 次調査 1 区を中心に、古代・

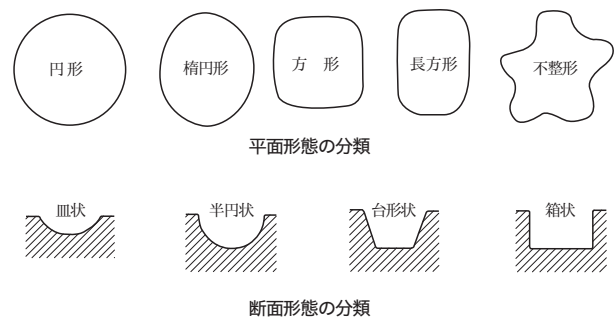
中世の遺物が混合して出土する場合もある。上面が中世の遺物包含層に相当する部分もあると考えられるが、層位的な確認はできなかつた。ほとんどの遺構はIV層からV層上面を切って掘り込まれており、現地表面から0.5～1.2m程で遺構確認面に達する。V層以下は古代基盤層とした層であるが、第19次調査の5区東ではVa層中から古墳時代後期の土器が出土している。また、第19次調査5区東以外でも古墳時代の土器が各区で少量出土しているが、明確な下層は確認できなかつた。V層は地点によって粘性土の部分と砂質土の部分があり、土質も粘性の強弱が認められる。V層の下層に行くに従って砂質土が多く含まれる傾向がある。

隣接する調査区である第18次調査〔遠藤・澤野ほか2014〕との基本層序対比を記すと、第18次調査I・II・III層→本報告I・II層、第18次調査IV層→本報告III層、第18次調査V層→本報告IV層、第18次調査VI層→本報告V層である。

また、新潟県教育委員会が行った磐越自動車道建設に伴う沖ノ羽遺跡第3次調査〔星野ほか1996〕との基本層序対比を記すと、県調査地点（以下、県とする）I層→市調査地点（以下、市とする）I・II層、県II層→市III層、県IIIa・IIIb層→市IV層、県IIIc層→市Va層、県IV・V層→市Vb層である。出土遺物と記載された土層の特徴から区別したため、市V層との区別が不明瞭な部分があるが概ねの対比は首肯されよう。

第3節 遺 構

遺構番号は、調査回数・区ごとに遺構の種類にかかわらず1から通し番号を付した。ただし、掘立柱建物については調査終了後に再検討を行ったため、別途通し番号を付した。記述は、調査回数・区の順とし、さらに遺構の各説を掘立柱建物（以下、SBとする）、井戸（以下、SEとする）、土坑（以下、SKとする）・性格不明遺構（以下、SXとする）、溝（以下、SDとする）、旧河道（以下、河とする）、小土坑（以下、Pitとする）の順に記す。同一調査区内の同種遺構については、検出地点・想定時期の別にか



第3図 遺構形態模式図
（〔北村ほか2004〕から転載・一部改変）

かわらず、番号の昇順に記述する。遺構の形態分類はSE、SK、SX、SDについては大まかに、平面形は円形・楕円形・方形・長方形・不整形の5種類に、断面形は皿状・半円状・台形状・箱状の4種類に分類した(第3図)。出土した炭化物や種実について加速器質量分析(AMS)法により放射性炭素(^{14}C)年代測定を実施した遺構は、暦年較正年代を記載した。なお、複数の年代可能性があるものについては、最も確率が高いもののみ記載した。SBについては、春日真実氏の論考〔春日2009〕や周辺遺跡等の報告例〔伊藤2005、渡邊ほか2009、土橋ほか2011〕を参考とした。外回りにのみ柱穴が配置され、身舎内部に柱穴を伴わないものを側柱建物、建物内部にも外回りと同じ規模の柱穴が基盤目状に配置されるものを総柱建物に分類した。建物内部に外回りよりも規模の小さい柱穴が配置される束柱建物は確認されていない。記述にあたっては、柱間の多い方向を「桁行」(長軸)、少ない方向を「梁行」(短軸)とし、規模を示す際は3間(長軸)×2間(短軸)などとした。計測値は最大値をとった。

第19・22・24次調査とも、ほとんどの遺構は古代を主体とする遺物包含層IV層からV層上面を切って掘り込まれている。各時代の遺構確認面を層位的に確認することができなかつたため、時期識別は主に出土遺物によった。ただし、遺構の重複が激しく遺物の混入も想定されることから、切り合い状況も考慮し時期を設定した。

第4節 第19次調査

A 遺構の概要

第19次調査区は1区から7区まで設定した。1～4区・7区は『沖ノ羽遺跡V』〔遠藤・澤野ほか2014〕で報告しており、本書では『沖ノ羽遺跡V』に掲載しなかった5・6区について報告する。5区については総延長が約500mと長い中央付近の農道部分で分割し、南西側を5区西、北東側を5区東とした。記述は5区西→5区東→6区の順に行い、詳しい遺構の計測値等は別表1に示した。主要な遺構の土器構成については、別表9・10に示しており、遺構の記述では一部省略している。検出された遺構総数は46基あり、SE1基、SK9基、SX1基、SD13条、Pit19基、旧河道3基である。

B 5区西の概要

1) 5区西の概要

5区西は道路部分の幅約2m、長さ約150mの調査区である。確認調査のトレンチを避けて設定したため、調査区は分断されている。区切られた調査区には北東側から番号を付し、5区西-1～8とした。調査区の中央から北東よりが標高3.6～3.7mとやや高く、両端に向かって低くなっていく。遺構総数は12基と少なく、その内訳はSK3基、SD5条、Pit3基、旧河道1基である。出土遺物から古代の遺構であると考えられる。Pitについては建物等を構築するものが確認できなかったため、個別の記載を省略する。調査面積は上端面積190.9m²である。

2) 5区西遺構各説

a 土 坑 (SK)

SK7 (図版10、写真図版5)

5区西-4、15E-8D15、8E6・11に位置し、平面形は不明、断面形は台形状である。確認面で現存短軸0.49m、深さ0.12mを測る。埋土は1層に分かれる。遺物は出土していない。

SK8 (図版10、写真図版5)

5区西-4、15E-8D21、9D1に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.80m、短軸0.56m、深さ0.09mを測る。須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗が出土している(図版174)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK9 (図版10、写真図版5)

5区西-4、15E-9C5、9D1に位置する遺構で、SD10を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で現存短軸0.86m、深さ0.39mを測り、埋土は4層に分かれる。土師器無台碗・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

b 溝 (SD)

SD1 (図版9、写真図版4)

5区西-2、15E-6F20、6G16・17・21に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-56°-W)。確認面で最大幅1.94m、深さは0.45m前後である。断面形は皿状で、埋土は6層に分かれる。土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SD2 (図版9、写真図版4)

5区西-2、15E-6F25、6G21に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-72°-W)。確認面で最大幅0.46m、深さは0.25m前後である。断面形は半円状で、土師器無台碗が出土したことから、古代の遺構とした。

SD6 (図版 10、写真図版 5)

5区西-4、15E-8D9・10・13～15・18・19・22・23、8E6に位置する。軸方向は北東～南西に延びる(N-34°-E)。確認面で最大幅0.80m、深さは0.24m前後である。断面形は皿状で、埋土は4層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、石製品(叩石)が出土している(図版174)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD10 (図版 10、写真図版 6)

5区西-4、15E-9C5・10、9D1に位置する遺構で、SK9に切られる。軸方向は北東～南西に延びる(N-22°-E)。断面形は台形状で、埋土は1層である。確認面で最大幅0.24m、深さは0.10m前後である。土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD11 (図版 11、写真図版 6)

5区西-6、15E-10A24・25に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-73°-W)。断面形は皿状である。確認面で最大幅1.08m、深さは0.24m前後である。埋土は1層で、土師器長甕が出土している(図版174)。出土遺物から古代の遺構とした。

c 旧 河 道

河 12 (図版 10)

5区西-4、15E-8D21・22、9D2に位置する旧河道である。軸方向は北西～南東に延び(N-57°-W)、断面形は皿状である。確認面で最大幅0.45m、深さは0.15m前後である。埋土は1層で、須恵器有台杯・杯蓋・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している(図版174)。出土遺物から古代の遺構とした。

d 小 土 坑 (Pit)

5区西-3で、3基のPitが隣接して確認された。いずれも小規模で掘立柱建物や杭列等の構成は確認できなかった。また、柱根等の木質遺物も検出されなかった。ただ、Pitを検出した地点は5区西で標高が最も高く、周辺が居住域として利用されていた可能性がある。

C 5 区 東 の 遺 構

1) 5 区 東 の 概 要

5区東は5区西から続く道路部分の北東側で、幅約2m、長さ約330mの調査区である。5区西同様、確認調査のトレンチを避けて調査区を設定した。区切られた調査区には南西側から番号を付し、5区東-1～14とした。調査区の北東端が最も高く、標高3.8m前後の微高地を形成しており、遺構も集中して検出する。南西に向かって低くなり、標高は3.2～3.5mを推移する。遺構総数は33基で、その内訳はSE1基、SK5基、SX1基、SD8条、Pit16基、旧河道2基である。出土遺物から、主体となるのは古代の遺構であると考えられる。調査区北東端で古墳時代の土器が一定量出土しているが、層位的に確認することはできなかった。調査面積は上端面積523.2m²である。

2) 5 区 東 遺 構 各 説

a 井 戸 (SE)

SE17 (図版 19・20、写真図版 11・12)

5区東-14、13H-3F22、4F1・2に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で現存短軸0.55m、深さ0.65mを測り、埋土は5層に分かれる。古墳時代の土師器甕、古代の土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

b 土坑 (SK)、性格不明遺構 (SX)

SK2 (図版 15、写真図版 9)

5区東-5、14G-8G11・12・16・17に位置する遺構で、平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で短

軸 1.43m、深さ 0.21m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器無台碗・蓋・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、軽石製石製品が出土している(図版 175・176・257)。出土遺物から古代の遺構とした。
SK6 (図版 17)

5 区東-12、13G-9I11 に位置する遺構で、平面形は楕円形である。確認面で短軸 0.45m を測る。遺物は出土していない。

SK25 (図版 19・20、写真図版 12)

5 区東-14、13H-4E17・18 に位置する。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で現存短軸 0.18m、深さ 0.30m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK26 (図版 19・20、写真図版 12)

5 区東-14、13H-4E13・18 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で現存短軸 0.10m、深さ 0.22m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK27 (図版 19・20、写真図版 12)

5 区東-14、13H-4E14 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で現存短軸 0.27m、深さ 0.30m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SX19 (図版 19・20、写真図版 12)

5 区東-14、13H-3F21・22、4F1 に位置する。SD15・30 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で短軸 10.08m、深さ 0.31m を測り、埋土は 1 層である。包含層最下層である IVc 層から掘り込まれていることから古墳時代の遺構とした。古墳時代の土師器杯・高杯・甕が出土している(図版 176)。古代の土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗も出土しているが、これらは上層からの流れ込みであると考えられる。

c 溝 (SD)

SD3 (図版 16、写真図版 10)

5 区東-10、14G-3D2・7・8 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-22° -W)、断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.38m、深さは 0.10m 前後である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD4 (図版 17、写真図版 10)

5 区東-12、13G-9I2・3・7・8 に位置する。軸方向は北西～南東に延びる (N-44° -W)。断面形は皿状である。確認面で最大幅 2.60m、深さは 0.40m 前後である。埋土は 1 層であるが、中央付近に噴砂の痕が確認された。須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕が出土している(図版 176)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD5 (図版 17、写真図版 10)

5 区東-12、13G-8I20・24・25、9I4・5 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-52° -W)、断面形は皿状である。確認面で最大幅 1.45m、深さは 0.27m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋・鉢、石製品(磨石)が出土している(図版 176・177・256・257)。出土土器から古代の遺構とした。

SD7 (図版 17、写真図版 11)

5 区東-12、13G-9I3～5 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-72° -W)、断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.74m、深さは 0.12m 前後である。埋土は 1 層で、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD8 (図版 17、写真図版 11)

5 区東-12、13G-8J11・17 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-37° -W)。確認面で最大幅 0.90m、深さは 0.43m 前後である。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕・甌、軽石製石製品が出土している(図版 177)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD12 (図版 19・20、写真図版 12)

5区東-14、13H-4E9・10・14に位置する。軸方向は北東～南西に延び(N-53°-E)、断面形は皿状である。確認面で最大幅0.32m、深さは0.18m前後である。埋土は1層で、須恵器長頸瓶が出土していることから古代の遺構とした。

SD15 (図版 19・20、写真図版 12・13)

5区東-14、13H-4E5・10、4F1・6に位置する遺構で、SX19を切る。軸方向は北～南に延び(N-8°-E)、断面形は皿状である。確認面で最大幅0.21m、深さは0.12m前後である。埋土は1層で、古墳時代の土師器甕が出土している(図版177)。出土遺物と切り合い関係から古墳時代の遺構とした。

SD30 (図版 19・20、写真図版 12)

5区東-14、13H-3F21に位置する遺構である。平面形は確認できず、調査区北西壁を精査した際に検出した。SX19を切る。IVa層から掘り込まれており、確認面で最大幅10.70m、深さは0.45m前後である。断面形は皿状で、埋土は4層に分かれる。遺物は出土していない。

d 旧 河 道

河 32 (図版 14、写真図版 11)

5区東-13、13H-7A9・13・14に位置する旧河道である。軸方向は北東～南西に延び(N-58°-E)、断面形は皿状である。確認面で最大幅1.12m、深さは0.20m前後である。埋土は1層で、遺物は出土していない。

河 33 (図版 18、写真図版 13)

5区東-14、13H-5C15・20、5D3・6～9・11～13・16・17に位置する旧河道である。軸方向は北西～南西に延び(N-59°-W)、断面形は皿状である。最大幅は4.98m前後、深さは0.35m前後である。埋土は1層で、遺物は出土していない。

e 小 土 坑 (Pit)

16基確認されている。このうち5区東-5 Pit1では須恵器無台杯や大型の柱根(図版177・264)を検出したが、遺構の平面形は確認できなかった。他の15基は調査区北東端の5区東-14、13H-4E周辺に集中している。調査区が狭いため、建物等の構成は確認できなかった。

D 6 区 の 遺 構

1) 6 区 の 概 要

6区は5区西の西側に位置する道路部分の幅約2m、長さ約45mの調査区である。5区同様、確認調査のトレンチを避けて設定した。遺構確認面の標高は低く、概ね2.9m前後を推移する。遺構はSKが1基のみ検出された。調査面積は上端面積69.8m²である。

2) 6 区 遺 構 各 説

a 土 坑 (SK)

SK1 (図版 21、写真図版 14)

16G-2G11・16に位置する遺構で、平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で短軸1.02m、深さ0.44mを測り、埋土は2層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

第5節 第22次調査

A 遺 構 の 概 要

第22次調査区は1区から4区まで設定した。記述は1区から順に行い、詳しい遺構の計測値等は別表2に示した。4区については本節で記したが、調査区が第19次調査5区東・第24次調査4区と隣接するため、

遺構図版はこれらと共に掲載している（図版12～20）。主要な遺構の土器構成については別表9・11・13に示しており、遺構の記述では一部省略している。検出された遺構総数は5109基あり、SB10基、SE85基、SK247基、SX29基、SD180条、Pit4556基、旧河道2である。

B 1 区 の 遺 構

1) 1 区 の 概 要

1区は農道を挟んだ二つの畑部分を合わせた調査区である。調査区南側から北東方向に伸びる標高4.05～4.15mにかけての微高地上に遺構が集中して存在する。遺構総数は4772基あり、その内訳は掘立柱建物（SB）10基、SE84基、SK187基、SX22基、SD113条、Pit4354基、河跡1基である。包含層からは古代の土器が多数出土しているが、遺構からの出土遺物と切り合い関係から、中世に比定される遺構も多いと考える。中世の遺構は調査区中央付近の大型遺構が中心で、調査区南西側には古代の土坑群が展開している。一方、調査区の東側には近代以降の堀田と思われる攪乱が見られる。調査面積は上端面積3.769.46m²、下端面積3.620.29m²である。

2) 1 区 遺 構 各 説

a 掘立柱建物（SB）

SB1（図版34・81、写真図版109）

15G-1G21～24、2G1～9・12～14に位置する、2間（6.56m）×1間（4.88m）の側柱建物で、平面積32.01m²を測る。主軸はN-68°-Wを示し、平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が3.16～3.32m、梁行が4.82～4.88mを測る。Pitの掘り方は方形が主体で、長径が0.32～0.43m、深さは0.31～0.42mを測る。SD1967・1971（いずれも中世）→本遺構の順に構築される。SB1を構成するPitから遺物は出土していないが、遺構の切り合いから中世の遺構と考えられる。

SB2（図版32・81）

15G-4E24・25、4F21・22、5E4・5・9・10、5F1・2・6・7に位置する、4間（6.56m）×2間（3.26m）の側柱建物で、平面積21.39m²を測る。主軸はN-79°-Wを示し、平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が1.24～1.96m、梁行が1.40～1.76mを測る。Pitの掘り方は楕円形が主体で、長径が0.26～0.49m、深さは0.23～0.43mを測る。SB2を構成するPit1818で中世土師器皿が出土していることから中世の遺構と考えられる。

SB3（図版28・82）

15G-4D14・19・20・23～25、5D4・5に位置する。2間（4.10m）×1間（2.76m）、平面積11.32m²を測る小規模な側柱建物である。主軸はN-17°-Eを示す南北棟で、平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が1.84～2.20m、梁行が2.60～2.76mを測る。Pitの掘り方は楕円形が主体で、長径が0.29～0.48m、深さは0.37～0.44mを測る。SB3を構成するPitから中世の珠洲焼甕と土師器皿が出土していることから中世の所産と考えられる。

SB4（図版30・82）

15G-5E23～25、6E2～5・7～10に位置する。2間（5.22m）×2間（4.20m）の側柱建物で、主軸はN-75°-Wを示す。近現代の水路により一部が削られており、東側に身舎部分が、北側に庇が延長する可能性がある。平面積21.92m²以上を測り、平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が2.42～2.62m、梁行は東側で1.88～2.40m、西側では棟持柱が検出されておらず、4.20mを測る。構成するPitはほかの建物よりも大きく、大きさから3か所を土坑（SK）のままとしている。掘り方は楕円形が主体で、長径が0.23～0.85m、深さは0.21～0.58mを測る。SD1562→本遺構→SE159、SK1633、SD117の順に構築される。SB4を構成するPitから古代の土師器長甕・小甕が出土しているが、遺構の切り合い関係から中世の所産である。

SB5 (図版 30・83)

15G-6E11・12・16・17・22 に位置する 2 間 (2.82m) × 1 間 (2.66m) の側柱建物である。平面積 7.50m² を測り、主軸は N-75° -W を示す。平面形態はほぼ正方形を呈する。柱間寸法は桁行が 1.28 ~ 1.50m、梁行は 2.66m を測る。掘り方は楕円形が主体で、長径が 0.28 ~ 0.42m、深さは 0.31 ~ 0.52m を測る。他の遺構との切り合い関係はない。SB5 を構成する Pit から古代の土師器無台椀・長甕・小甕が出土しているが、主軸方向が一致することから、SB6・7 と同時期の所産と考えておきたい。

SB6 (図版 30・83)

15G-6D6・11 ~ 13・16 ~ 18・21・22、7C5、7D1・2 に位置する 3 間 (6.96m) × 1 間 (3.28m) の側柱建物である。平面積 22.83m² を測り、主軸は N-17° -E を示す南北棟で、平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が 2.00 ~ 2.82m、梁行は南側で 1.60 ~ 1.68m、北側では SE1586 で切られているためか棟持柱が検出されておらず、3.12m を測る。Pit の掘り方は方形が主体で、長径が 0.29 ~ 0.44m、深さは 0.33 ~ 0.52m を測る。若干方向が異なるものの、SD1673 は本遺構と組み合わさった区画的な溝の可能性はある。SB6 を構成する Pit から古代の土師器無台椀・長甕が出土しているが、SE1602 (中世) → 本遺構の順に構築され、SB5・7 と主軸方向がほぼ直角となることから、この群に含まれる遺構であろう。

SB7 (図版 30・84)

15G-7D8・9・12 ~ 15・17 ~ 20・22 ~ 25、7E11・16・21、8D3 ~ 5 に位置する。南側の Pit に一部不明部分を残すが、3 間 (6.94m) × 3 間 (6.42m) を身舎とし、南側に 1 間以上 (4.5m 以上) × 1 間 (1.22m) の庇が付く。第 22 次調査では唯一の総柱建物である。身舎平面積 38.59m²、庇部分を含めた平面積 44.55m² となり、平面形態はほぼ正方形を呈する。柱間寸法は桁行が 1.90 ~ 2.66m、梁行は 1.22 ~ 2.24m を測る。Pit の掘り方は楕円形が主体で、長径が 0.19 ~ 0.87m、深さは 0.22 ~ 0.66m を測る。主軸は N-70° -W で、SB1 ~ SB6 の群に含まれる。構築順は、SD495 (古代)、SX1640 (中世) → 本遺構 → SE599・1517 となり、SE599 で手づくね成形、SE1517 でロクロ成形底部糸切りの中世土師器皿が出土している。本遺構を構成する SK597 で珠洲 I 期及び II 期の片口鉢、Pit991 でロクロ成形底部回転糸切りの中世土師器皿が出土していることから、13 世紀前半の遺構と考えられる。

SB8 (図版 31・85)

15G-8D21、9C5・10、9D1 ~ 3・6 ~ 9・11 ~ 13・17 に位置する 2 間 (6.64m) × 1 間 (4.26m) の側柱建物である。平面積 28.29m² を測る。主軸は N-59° -W を示し、SB7 を中心とする群とは方位が異なる。平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が 3.12 ~ 3.34m、梁行は 3.99 ~ 4.26m を測る。Pit の掘り方は楕円形が主体で、長径が 0.46 ~ 0.82m、深さは 0.36 ~ 0.79m を測る。SD2022 (古代) → 本遺構の順に構築される。SB8 を構成する Pit880 からロクロ成形底部糸切りの中世土師器皿が出土していることから、13 世紀代の遺構と考えられる。

SB9 (図版 31・85)

15G-9D1 ~ 3・6 ~ 9・11 ~ 13・17 に位置する 2 間 (4.26m) × 2 間 (4.04m) の側柱建物である。平面積 17.21m² を測る。主軸は N-26° -W を示し、SB7 を中心とする群とは方位が異なり、SB10 に近い。平面形態はほぼ正方形を呈する。柱間寸法は桁行が 1.90 ~ 2.18m、梁行は 1.74 ~ 2.30m を測る。Pit の掘り方は楕円形が主体で、長径が 0.26 ~ 0.72m、深さは 0.16 ~ 0.50m を測る。SB8 と重複するが、前後関係は不明である。構築順は SD1729 → 本遺構 → SD1213 となる。SB9 を構成する Pit1253 でロクロ成形底部糸切りの中世土師器皿が出土しており、13 世紀代の遺構と考えられる。

SB10 (図版 31・86)

15G-8D10・15・19・20・25、8E11・16・17・21・22、9E1 に位置する 2 間 (5.16m) × 1 間 (2.78m) の側柱建物である。平面積 14.34m² を測る。主軸は N-37° -W を示し、SB7 を中心とする群とは方位が異なり、

SB9に近い。平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が2.20～2.96m、梁行は2.76～2.78mを測る。Pitの掘り方は楕円形が主体で、長径が0.29～0.56m、深さは0.28～0.48mを測る。SX1352→本遺構→SD1392→SK1408・SE1337の順に構築される。SB10を構成するPitから古代の須恵器杯蓋が出土しており、中世の遺物は出土していないが、SB9との主軸方位が近いこと、本遺構の後に構築されるSE1337において、ロクロ成形で底径が小さく底部が厚い中世土師器皿が出土していることから、13世紀代を下限とする中世の遺構と推定される。

b 井戸 (SE)

SE92 (図版28・36、写真図版19)

15G-5D5・10、5E1・6に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.60m、短軸0.49m、深さ0.74mを測る。埋土は3層に分かれる。古代の須恵器大甕、土師器小甕・鍋、中世の珠洲焼片口鉢が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE96 (図版28・36、写真図版19)

15G-5E2・3・7・8に位置する。SE106と並んで検出され、SK107を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.96m、短軸0.92m、深さ0.95mを測り、埋土は4層に分かれる。古代の土師器長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼片口鉢・土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE106 (図版28・36、写真図版19)

15G-5E2に位置する。SE106と並んで検出され、SD1694を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で現存長軸1.21m、短軸1.60m、深さ1.08mを測り、埋土は6層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE125 (図版28・30・37、写真図版19)

15G-5D23・24、6D3に位置する遺構で、SD117を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.19m、短軸1.16m、深さ0.88mを測り、埋土は4層に分かれる。古代の須恵器大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼片口鉢が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE126 (図版28・30・37、写真図版20)

15G-5D24、6D4に位置する遺構で、SD117を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.92m、短軸1.38m、深さ1.35mを測り、埋土は5層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼壺T種・甕・片口鉢、土師器皿、石製品(石硯・磨石)が出土している(図版181・257)。出土遺物と切り合い関係から中世の遺構とした。

SE138 (図版28・37、写真図版20)

15G-5D14・15に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸1.25m、短軸1.25m、深さ1.15mを測る。埋土は5層に分かれる。古代の須恵器長頸瓶、土師器長甕、中世の土師器皿、土製品、鍛冶関連遺物が出土している(図版181)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE159 (図版30・37、写真図版20)

15G-6E5・10に位置する遺構で、SD117とSB4を構成するPit158を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.30m、短軸1.07m、深さ0.93mを測り、埋土は6層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼甕、土師器皿、石製品(台石)が出土している。出土遺物と切り合い関係から中世の遺構とした。

SE201 (図版30・38、写真図版20)

15G-6D5・10・15、5E22、6E1・2・6・7・11・12に位置する遺構で、SD117に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸5.57m、深さ1.07mを測り、埋土は8層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の青磁碗、珠洲焼片口鉢、土師器

皿、土製品（紡錘車）、石製品（砥石・石硯・磨石・叩石・台石・軽石製石製品）、木製品（部材片・板状・箸状）、鍛冶関連遺物（鍛冶滓・炉壁）、金属製品（釘・板状）が出土している（図版 181・257・267・282）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE300（図版 30・37、写真図版 21）

15G-7E15・20 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.98m、短軸 0.91m、深さ 0.52m を測る。埋土は 3 層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕、中世の珠洲焼甕、石製品（砥石）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE301（図版 30・39、写真図版 21）

15G-7E14・15・19・20・24・25 に位置する遺構で、SD1476 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 2.44m、短軸 2.34m、深さ 0.70m を測り、埋土は 9 層に分かれる。古墳時代の土師器甕、古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗、石製品（台石）、金属製品（釘）が出土している（図版 181）。出土土器から古代の遺構とした。

SE315（図版 30・39、写真図版 21）

15G-7E7・8 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.18m、短軸 1.01m、深さ 0.52m を測る。埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土土器から中世の遺構とした。

SE342（図版 30・39、写真図版 21・45）

15G-6E25、7E5 に位置する遺構で、SK343 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.85m、短軸 0.75m、深さ 0.64m を測り、埋土は 3 層に分かれる。土師器長甕・小甕、土製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SE353（図版 30・39、写真図版 22）

15G-6E25 に位置する遺構で、SD354 に切られる。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.67m、短軸 0.43m、深さ 0.59m を測り、埋土は 4 層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、軽石製石製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SE375（図版 30・39、写真図版 22）

15G-6D25、6E21、7E1 に位置する。SD1559 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 2.19m、短軸 1.90m、深さ 1.47m を測り、埋土は 8 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の珠洲焼甕、土師器皿、石製品（砥石）、木製品（棒状木製品・板状木製品・漆器皿・箸状木製品・草履芯）、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している（図版 257・267）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE385（図版 30・40、写真図版 22）

15G-7D10・15、7E6・11 に位置する。SE1514 と SK1502 に切られ、SK1622 と SD1447・1543 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 2.72m、短軸 1.97m、深さ 1.29m を測り、埋土は 10 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の青磁碗、珠洲焼片口鉢、石製品、木製品（曲物側板・板状・箸状・刷毛状）、鍛冶関連遺物、金属製品（棒状）が出土している（図版 181・257・267・282）。出土遺物から中世の遺構とした。8 層で出土したモモの核について、加速器質量分析（AMS）法により放射性炭素（¹⁴C）年代測定を実施したところ、種子 2-1 が補正 ¹⁴C 年代（yrBP）で（794±23yrBP）、種子 2-2 が（826±22yrBP）と測定された。暦年較正年代は種子 2-1 が 2σ：1211～1274calAD、1σ：1224～1260calAD、種子 2-2 が 2σ：1169～1259calAD、1σ：1205～1255calAD の歴年代幅を示す。

SE412（図版 31・40、写真図版 22・23）

15G-9B10・15、9C6・11 に位置する遺構で、SD411 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確

認面で長軸 2.47m、短軸 2.29m、深さ 1.14m を測り、埋土は 8 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、緑釉陶器有台椀、中世の珠洲焼壺 T 種、土師器皿、石製品（台石・軽石製石製品）、木製品（部材片）、鍛冶関連遺物（椀形鍛冶滓）が出土している（図版 181・258）。出土遺物と切り合い関係から中世の遺構とした。

SE415（図版 31・40、写真図版 23）

15G-8C22 に位置する遺構で、SX534 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.24m、短軸 0.91m、深さ 0.96m を測り、埋土は 6 層に分かれる。古代の須恵器有台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀・中世の土師器皿、石製品（砥石・磨石・叩石）、木製品（棒状・炭化材・草履芯・箸状・削片・串）が出土している（図版 258・267）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE429（図版 31・40、写真図版 23）

15G-8B15・20、8C11・16 に位置する遺構で、SD430 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.50m、短軸 1.44m、深さ 1.48m を測り、埋土は 9 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕、中世の土師器皿、木製品（竹材・円板・板状）が出土している（図版 268）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE433（図版 30・41、写真図版 23・24）

15G-8C6・7・11・12 に位置する遺構で、SD434・609 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.39m、短軸 1.34m、深さ 1.15m を測り、埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、中世の珠洲焼片口鉢、土師器皿、石製品、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している（図版 181）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE490（図版 30・41、写真図版 24）

15G-7B4・5・9・10 に位置する。SK487 に切られ、SD486 を切る。平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.86m、短軸 1.29m、深さ 1.26m を測り、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼甕、石製品（台石）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE500（図版 30・41、写真図版 24）

15G-6C22・23、7C2・3・7・8 に位置する遺構で、SD506 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 3.25m、短軸 2.83m、深さ 1.22m を測り、埋土は 17 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕、中世の珠洲焼壺 T 種・片口鉢、土師器皿、土製品（土錘）、石製品（磨石・叩石・軽石製石製品・不明石製品）、木製品（木筒・漆器椀）、金属製品（刀子）、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している（図版 182・256・258・268・282）。出土遺物から中世の遺構とした。本遺構で出土したモモの核について、加速器質量分析（AMS）法により放射性炭素（ ^{14}C ）年代測定を実施したところ、種子 4-1（16 層出土）が補正 ^{14}C 年代（yrBP）で (710 ± 22) 、種子 4-2（出土層位不明）が (769 ± 23) と推定された。暦年校正年代は種子 4-1 が $2\sigma : 1262 \sim 1299\text{calAD}$ 、 $1\sigma : 1272 \sim 1290\text{calAD}$ 、種子 4-2 が $2\sigma : 1222 \sim 1279\text{calAD}$ 、 $1\sigma : 1246 \sim 1275\text{calAD}$ の歴年代幅を示す。

SE502（図版 30・41・75、写真図版 24・25）

15G-7B5、7C1 に位置する遺構で、SD495・503 を切る。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.83m、短軸 0.76m、深さ 1.07m を測り、埋土は 7 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・広口壺、土師器無台椀・長甕・鍋、中世の珠洲焼壺 T 種、北越窯産陶器片口鉢、土師器皿、石製品（砥石）、木製品（削片）が出土している（図版 182）。出土遺物と切り合い関係から中世の遺構とした。

SE511（図版 30・42、写真図版 25）

15G-7C9・14 に位置する遺構で、SD506 を切る。SK783 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.83m、短軸 1.56m、深さ 1.33m を測り、埋土は 5 層に分かれる。

須恵器無台杯・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕、土製品、石製品（磨石）、鍛冶関連遺物（炉壁）が出土している（図版 182）。出土遺物から古代の遺構とした。

SE536（図版 31・42、写真図版 25）

15G-9C3・4 に位置する遺構で、SD1072 を切る。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.40m、短軸 1.26m、深さ 0.88m を測り、埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼壺 R 種・甕・片口鉢、北越窯産陶器片口鉢、土師器皿、石製品（磨石・軽石製石製品）、鍛冶関連遺物（鍛冶滓・碗形鍛冶滓）が出土している（図版 182）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE540（図版 31・42、写真図版 25）

15G-8C19・20・24・25 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.74m、短軸 1.67m、深さ 1.28m を測る。埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼壺 R 種・壺 T 種、北越窯産陶器片口鉢、土師器皿、石製品（砥石）が出土している（図版 182）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE547（図版 31・42、写真図版 26）

15G-8C25、8D21 に位置する遺構で、SD546・1072 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.25m、短軸 1.04m、深さ 1.39m を測り、埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿、石製品（磨石）、木製品（部材片・板状・折敷・削片・ヒョウタン）が出土している（図版 268）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE551（図版 31・42、写真図版 26）

15G-8C15、8D11 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.18m、短軸 1.06m、深さ 1.22m を測る。埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器長甕、中世の珠洲焼壺 T 種、土師器皿、土製品、石製品（砥石）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE552（図版 30・43、写真図版 26）

15G-8C10、8D1・6 に位置する遺構で、SE556 に切られる。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.71m、短軸 1.68m、深さ 1.10m を測り、埋土は 7 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼壺 T 種・甕、土師器皿、土製品、石製品（叩石・台石）が出土している（図版 182）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE556（図版 30・43、写真図版 26）

15G-8C10・8D6 に位置する遺構で、SE552 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.91m、短軸 0.80m、深さ 1.22m を測り、埋土は 5 層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼壺、石製品（台石・軽石製石製品）が出土している。出土遺物と切り合い関係から中世の遺構とした。

SE557（図版 30・43、写真図版 26・27）

15G-8C4・5・9・10 に位置する遺構で、SK559 と SD566 に切られる。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 2.28m、深さ 1.38m を測り、埋土は 6 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の珠洲焼壺 R 種・壺 T 種・甕、土師器皿、土製品、石製品（磨石・台石・軽石製石製品）、木製品（棒状・板状）が出土している（図版 182）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE558（図版 30・43、写真図版 27）

15G-7C25、8C5 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.28m、短軸 1.14m、深さ 0.60m を測る。埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土している（図版 182）。出土遺物から古代の遺構とした。

SE565（図版 30・44、写真図版 27）

15G-8C3・8・9 に位置する遺構で、SK1251 と SX564 を切る。SK567 と隣接するが、切り合い関係は不明。

平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 2.28m、短軸 2.08m、深さ 1.36m を測り、埋土は 6 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の青磁椀、珠洲焼壺 R 種・甕・片口鉢、土師器皿、土製品、石製品（砥石・台石）、木製品（部材片・棒状・板状）、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）、金属製品（棒状）が出土している（図版 182・183・269・282）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE572（図版 30・43、写真図版 28）

15G-8D7・8・12・13 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.72m、短軸 1.41m、深さ 1.40m を測る。埋土は 4 層に分かれる。古代の土師器無台椀・長甕・小甕、中世の珠洲焼壺 T 種、石製品（台石）、木製品（部材片・曲物側板・炭化材）、鍛冶関連遺物（羽口）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE573（図版 30・44、写真図版 28）

15G-8D6・7 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.36m、短軸 1.33m、深さ 1.48m を測る。埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器有台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀、中世の珠洲焼壺 T 種、土製品、木製品（箸状木製品）、金属製品（釘）が出土している（図版 183・269）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE579（図版 30・44、写真図版 28）

15G-7C24・25 に位置する遺構で、SK580 と SD486 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.98m、短軸 0.88m、深さ 0.67m を測り、埋土は 3 層に分かれる。古代の土師器無台椀・長甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE586（図版 30・45、写真図版 28）

15G-7C15、7D11・16 に位置する遺構で、SK588 と SD506・1150 を切る。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.49m、短軸 1.37m、深さ 1.31m を測り、埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼片口鉢、石製品（磨石・叩石）が出土している（図版 183）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE590（図版 30・45、写真図版 29）

15G-7D21・22 に位置する遺構で、SD495 を切る。平面形は長方形、断面形は箱状である。確認面で長軸 1.18m、短軸 0.91m、深さ 1.29m を測り、埋土は 4 層に分かれる。土師器無台椀・小甕、黒色土器無台椀、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）、金属製品（釘）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SE599（図版 30・45、写真図版 29）

15G-8D4・5・9・10 に位置する遺構で、SE600 に切られる。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.46m、深さ 1.30m を測り、埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、中世の土師器皿、石製品（砥石・台石）、木製品（部材片）が出土している（図版 183）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE600（図版 30・45、写真図版 29）

15G-8D4・5・9・10 に位置する遺構で、SE599 を切る。SD495 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.24m、短軸 1.18m、深さ 0.74m を測り、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SE601（図版 30・45、写真図版 29・30）

15G-8D9・10・14・15 に位置する遺構で、SD495 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.52m、短軸 1.38m、深さ 1.44m を測り、埋土は 4 層に分かれる。水溜施設として大型の円形曲物を持つ。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕、中世の珠洲焼甕・片口鉢、土師器皿、石製品（台石）、

木製品（部材片・曲物・板状・杭状・下駄・削片）が出土している（図版 183・258・269～271）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE606（図版 31・45・70、写真図版 30）

15G-9B5 に位置する遺構で、SX409 と SD411 を切る。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.86m、短軸 0.75m、深さ 0.52m を測り、埋土は 4 層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿が出土している。出土土器から中世の遺構とした。

SE785（図版 30・46、写真図版 30）

15G-7C10、7D6 に位置する。SD508 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.59m、短軸 1.31m、深さ 1.00m を測り、埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器杯蓋・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土土器から中世の遺構とした。本遺構で出土したモモの核について、加速器質量分析（AMS）法により放射性炭素（ ^{14}C ）年代測定を実施したところ、種子 8-1 が補正 ^{14}C 年代（yrBP）で (745 ± 23) 、種子 8-2 が (763 ± 23) と推定された。暦年較正年代は種子 8-1 が $2\sigma : 1244 \sim 1288\text{calAD}$ 、 $1\sigma : 1261 \sim 1281\text{calAD}$ 、種子 8-2 が $2\sigma : 1223 \sim 1280\text{calAD}$ 、 $1\sigma : 1249 \sim 1278\text{calAD}$ の歴年代幅を示す。

SE813（図版 29・46、写真図版 30）

15G-8B8・13 に位置する遺構で、SK730 と SD518 を切る。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.12m、短軸 1.11m、深さ 0.57m を測り、埋土は 5 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、鍛冶関連遺物、金属製品（釘）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SE868（図版 30・46、写真図版 30・31）

15G-7C15・19・20 に位置する遺構で、SD495 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.70m、短軸 0.59m、深さ 0.86m を測り、埋土は 3 層に分かれる。土師器無台碗・小甕、黒色土器無台碗、石製品（砥石・石硯）、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している（図版 258）。出土土器から古代の遺構とした。

SE1228（図版 31・46、写真図版 31）

15G-9D22、10D2 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.35m、短軸 1.34m、深さ 1.04m を測る。埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器長甕、中世の土師器皿、土製品、石製品（磨石）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1244（図版 31・46、写真図版 31）

15G-9D5・10・15、9E1・6・11 に位置する遺構で、SD1391 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 2.64m、短軸 2.57m、深さ 1.32m を測り、埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の青磁碗、珠洲焼片口鉢、土師器皿、石製品（磨石・軽石製石製品）が出土している（図版 183・258・259）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1283（図版 31・47、写真図版 31）

15G-8D24・25、9D4・5 に位置する遺構で、SD1414・1459 を切る。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 2.11m、短軸 1.64m、深さ 1.17m を測り、埋土は 7 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・長頸瓶、土師器長甕・鍋、中世の土師器皿、石製品（台石）、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1337（図版 31・47、写真図版 31・32）

15G-8E22・23、9E3 に位置する遺構で、SK1408 と SD1392 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.06m、短軸 0.62m、深さ 0.94m を測り、埋土は 3 層に分かれる。古代の土師器長甕・小甕、中世の土師器皿、石製品（磨石）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1406 (図版 30・47、写真図版 32)

15G-8E6・7・12 に位置する遺構で、SE1435 に切られる。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 2.17m、短軸 1.41m、深さ 1.37m を測り、埋土は 10 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の土師器皿、木製品（部材片・棒状・板状・箸状・削片・柄状・杭状）、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している（図版 271）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1420 (図版 30・47、写真図版 32)

15G-7E24・25、8E4・5 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.93m、短軸 0.80m、深さ 0.67m を測る。埋土は 3 層に分かれる。古代の土師器無台碗・小甕、中世の土師器皿、石製品（台石）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1435 (図版 31・47、写真図版 32)

15G-8E12・13 に位置する。SK1434 に切れ、SE1406 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.96m、短軸 1.34m、深さ 0.68m を測り、埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕、中世の土師器皿、土製品（土錘）が出土している（図版 256）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1454 (図版 30・48、写真図版 32・33)

15G-7E21・22、8E1・2 に位置する遺構で、SE1590 と SD1449 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 2.11m、短軸 1.91m、深さ 1.35m を測り、埋土は 12 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕・長頸瓶・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼甕、土師器皿、石製品（砥石・磨石・叩石・台石）が出土している（図版 183・259）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1504 (図版 30・48、写真図版 33)

15G-7D25 に位置する遺構で、SD1505 を切る。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 1.16m、短軸 0.86m、深さ 0.85m を測り、埋土は 6 層に分かれる。古代の土師器長甕・小甕、中世の土師器皿、石製品（紡錘車）が出土している（図版 259）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1508 (図版 30・48、写真図版 33)

15G-6E24 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.04m、短軸 1.03m、深さ 1.22m を測る。埋土は 5 層に分かれる。土師器長甕、木製品（炭化材）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SE1514 (図版 30・40、写真図版 22)

15G-7D10・15 に位置する遺構で、SE385 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.00m、短軸 0.86m、深さ 0.70m を測り、埋土は 5 層に分かれる。須恵器長頸瓶、土師器無台碗・長甕・鍋、石製品が出土している。古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SE1517 (図版 30・48、写真図版 33)

15G-7E11 に位置する遺構で、SD1447・1543 と SB7 を構成する Pit1532 を切る。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.59m、短軸 1.37m、深さ 1.12m を測り、埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕、中世の珠洲焼片口鉢、土師器皿、石製品（磨石・台石）が出土している（図版 183）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1520 (図版 30・48、写真図版 33・34)

15G-7E2・7 に位置する遺構で、SD352 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.72m、短軸 1.47m、深さ 1.03m を測り、埋土は 6 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼壺 T 種・甕、土師器皿、土製品、石製品（磨石）、木製品（竹材・板状・箸状）、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している（図版 183）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1534 (図版 30・49、写真図版 34)

15G-7D3・8に位置する遺構で、SE1551・1593とSX1640を切る。SE1602と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.28m、短軸1.11m、深さ1.00mを測り、埋土は4層に分かれる。古代の須恵器有台杯・杯蓋・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼片口鉢、土師器皿、土製品、石製品(叩石・台石)が出土している(図版183)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1535 (図版 30・50、写真図版 34)

15G-6D24・25に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.56m、短軸1.50m、深さ1.13mを測る。埋土は9層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕、中世の土師器皿、石製品(砥石・磨石・叩石)、木製品、鍛冶関連遺物(碗形鍛冶滓)が出土している(図版259)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1536 (図版 30・50、写真図版 34)

15G-6D15・20、6E11・16に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.75m、短軸1.62m、深さ1.43mを測る。埋土は5層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、土製品、石製品(砥石・磨石・軽石製石製品)、木製品(木簡・部材片・曲物側板・棒状・箸状)が出土している(図版183・271)。出土遺物から中世の遺構とした。5層で出土したモモの核(種子9-1)と出土層位不明のキカラスウリ種子(種子9-2)について、加速器質量分析(AMS)法により放射性炭素(^{14}C)年代測定を実施したところ、種子9-1が補正 ^{14}C 年代(yrBP)で(857 \pm 23)、種子9-2が(877 \pm 23)と推定された。暦年校正年代は種子9-1が 2σ :1154~1250calAD、 1σ :1167~1214calAD、種子9-2が 2σ :1148~1220calAD、 1σ :1155~1213calADの歴年代幅を示す。

SE1551 (図版 30・49、写真図版 35)

15G-6D23・24、7D3・4に位置する。SE1534に切られ、SE1602とSX1640を切る。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸2.20m、短軸1.90m、深さ1.15mを測り、埋土は10層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の珠洲焼甕、土師器皿、石製品(砥石)が出土している(図版184)。出土遺物と切り合い関係から中世の遺構とした。

SE1586 (図版 30・50、写真図版 35)

15G-6D11~13・16~18に位置する遺構で、SK1615に切られる。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸2.85m、短軸2.70m、深さ1.16mを測り、埋土は8層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿、石製品(磨石・叩石)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1590 (図版 30・50、写真図版 100)

15G-8E1に位置する。SE1454に切られ、SD1449を切る。平面形は不明、断面形は台形状である。確認面で現存長軸0.70m、深さ0.52mを測り、埋土は3層に分かれる。古代の土師器小甕、中世の土師器皿が出土していることから、中世の遺構とした。

SE1593 (図版 30・49、写真図版 35)

15G-7D8・9に位置する。SE1534に切られ、SX1640を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.54m、短軸1.48m、深さ1.37mを測り、埋土は7層に分かれる。古代の須恵器杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼片口鉢、土師器皿、石製品(砥石・磨石・台石)、木製品(板状・箸状・削片・ヒョウタン・杭状・串)が出土している(図版259・272)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1602 (図版 30・51、写真図版 35)

15G-7D2・3・7に位置する。SE1551とSB6を構成するPit1572に切られ、SX1640とSD1604を切る。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.87m、短軸1.51m、深さ1.45mを測り、埋土は7層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の珠洲焼片口鉢、土師器皿、石製品

(叩石・台石)、木製品、金属製品(釘)が出土している(図版184)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1616 (図版30・51、写真図版36)

15G-6D9・10・14・15に位置する。SK1629に切られ、SD1627を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.09m、短軸0.98m、深さ1.00mを測り、埋土は5層に分かれる。古代の須恵器有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼片口鉢、土師器皿、石製品(磨石・叩石・台石)が出土している(図版184)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1617 (図版30・50・52、写真図版36)

15G-5D21～23、6D1～3・6～8に位置する。SE1626、SD117に切られ、SD509・1673を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸5.21m、深さ1.35mを測り、埋土は10層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼壺T種・甕・片口鉢、土師器皿、土製品(土錘)、石製品(砥石・磨石・台石)、木製品(曲物側板・板状・漆器碗・削片)、金属製品(釘・柄付刀子)が出土している(図版184・256・272・282)。出土遺物から中世の遺構とした。曲物側板の破片が出土していることから、遺構底面に水溜施設が設置されていた可能性がある。

SE1626 (図版30・51、写真図版37)

15G-6C5・10、6D1・6に位置する遺構で、SE1617を切る。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面は長軸1.59m、短軸1.54m、深さ1.22mを測る。埋土は7層に分かれる。出土遺物須恵器大甕、土師器無台碗・長甕、石製品(叩石・台石)、木製品が出土している。切り合い関係から中世の遺構とした。

SE1628 (図版30・51、写真図版37)

15G-6C20に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.29m、短軸1.22m、深さ0.87mを測る。埋土は6層に分かれる。古代の土師器長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1691 (図版28・51、写真図版37)

15G-5D4・5・9・10に位置する遺構で、SD108に切られる。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸1.72m、短軸1.43m、深さ0.80mを測り、埋土は4層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕、中世の珠洲焼甕・片口鉢、土師器皿、石製品(磨石・台石)が出土している(図版184)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1695 (図版27・28・52、写真図版37)

15G-4C25、4D21に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で現存長軸0.61m、短軸0.60m、深さ0.72mを測る。埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SE1717 (図版27・52、写真図版38)

15G-3C9・14・15に位置する。SX1719の底面で検出した。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.74m、短軸1.62m、深さ1.01mを測り、埋土は5層に分かれる。礫が1点出土している。

SE1718 (図版28・53、写真図版38)

15G-5C25、5D21に位置する遺構で、SD117を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.83m、短軸1.70m、深さ1.05mを測り、埋土は5層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕、中世の土師器皿、木製品(棒状)が出土している。出土遺物と切り合い関係から中世の遺構とした。

SE1754 (図版32・53、写真図版38)

15G-5F17・18・22・23に位置する遺構で、SK1740、SD1747・1837・1847を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸2.55m、短軸2.26m、深さ1.20mを測り、埋土は5層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器長甕・鍋、中世の青磁碗・青磁坏、珠洲焼甕、片口鉢、土師器皿、木製品(部材片)が出土している(図版184)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1769 (図版 32・53、写真図版 38)

15G-4F19・20 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.30m、短軸 1.19m、深さ 1.14m を測る。埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕、中世の珠洲焼片口鉢、土師器皿、石製品（砥石・磨石・台石・紡錘車）が出土している（図版 259）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1770 (図版 32・53、写真図版 39)

15G-4F20、4G16・21 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.59m、短軸 1.58m、深さ 1.12m を測る。埋土は 6 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼甕、土師器皿、石製品（磨石）、木製品（箸状）、鍛冶関連遺物が出土している（図版 272）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1774 (図版 32・54、写真図版 39)

15G-4F9・10・14・15、4G6・11 に位置する遺構で、SD1777 を切る。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 3.47m、短軸 3.00m、深さ 1.25m を測り、埋土は 5 層である。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼壺 R 種、土師器皿、軽石製石製品、木製品（部材片・炭化材・板状・漆器碗・箸状・草履芯）、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）、金属製品（釘）が出土している（図版 184・256・272・273）。出土遺物や埋土の様相から中世の遺構とした。本遺構で出土したモモの核について、加速器質量分析（AMS）法により放射性炭素（ ^{14}C ）年代測定を実施したところ、種子 11-1（5 層出土）が補正 ^{14}C 年代（yrBP）で（653±22）、種子 11-2（出土層位不明）が（652±23）と推定された。暦年較正年代は種子 11-1 が 2σ : 1351～1391calAD、 1σ : 1364～1385calAD、種子 11-2 が 2σ : 1350～1392calAD、 1σ : 1363～1385calAD の歴年代幅を示す。

SE1775 (図版 32・54、写真図版 39)

15G-4F9 に位置する遺構で、SE1774 を切る。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.98m、短軸 0.92m、深さ 0.83m を測り、埋土は 4 層に分かれる。須恵器杯蓋、土師器長甕・小甕、黒色土器無台碗、土製品が出土している（図版 184）。出土土器は古代であるが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SE1780 (図版 33・54、写真図版 39・40)

15G-3G23・24、4G3・4 に位置する。遺構平面図では古代の SD1779 に切られるとしたが、出土遺物や埋土の様相から中世の遺構とした。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.34m、短軸 1.24m、深さ 1.32m を測り、埋土は 6 層に分かれる。古代の須恵器大甕、土師器長甕、中世の珠洲焼甕、石製品（磨石・台石）、木製品（削片）が出土している。

SE1784 (図版 32・54、写真図版 40)

15G-4F24・25、5F4・5 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.26m、短軸 0.93m、深さ 0.70m を測る。埋土は 3 層に分かれる。土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、石製品（砥石）が出土していることから、古代の遺構とした。

SE1906 (図版 32・54、写真図版 40)

15G-4E10・15 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で短軸 1.08m、深さ 1.53m を測る。埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕、中世の珠洲焼壺 T 種・甕、土師器皿、土製品、石製品（砥石・台石）、木製品（部材片）、金属製品（釘）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1937 (図版 32・55、写真図版 40)

15G-4E10、4F1・6 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で深さ 0.92m を測る。埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕、中世の珠洲焼甕、土師器皿、石製品（砥

石・叩石)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1949 (図版33・55、写真図版40)

15G-4G4・5に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で現存長軸1.13m、短軸1.13m、深さ0.74mを測る。埋土は2層に分かれる。古代の土師器長甕・小甕、中世の珠洲焼甕、土師器皿、石製品(砥石)が出土している(図版259)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE1965 (図版35・55、写真図版41)

15G-2H7・12に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.87m、短軸0.70m、深さ1.12mを測る。埋土は4層に分かれる。須恵器有台杯が出土していることから、古代の遺構とした。

c 土坑(SK)・性格不明遺構(SX)

SK32 (図版27・28・55、写真図版41)

15G-4D16に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.70m、短軸0.68m、深さ0.10mを測る。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK43 (図版27・55、写真図版41)

15G-5C4・5に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.54m、短軸0.49m、深さ0.13mを測る。埋土は1層で、中世の土師器皿が出土している(図版185)。出土遺物から中世の遺構とした。

SK67 (図版28・55、写真図版41)

15G-5D17に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.53m、短軸0.38m、深さ0.14mを測る。埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK107 (図版28・55、写真図版42)

15G-5E2・7に位置する遺構で、SE96に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.55m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で、遺物は出土していない。

SK110 (図版28・55、写真図版42)

15G-5D18に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸0.70m、短軸0.38m、深さ0.10mを測る。埋土は1層で、土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK143 (図版28・55、写真図版42)

15G-5D20に位置する遺構で、SK144を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.75m、短軸0.62m、深さ0.39mを測る。埋土は1層で、土師器無台碗・長甕、石製品(磨石)が出土している。出土遺物から古代の遺構とした。

SK144 (図版28・55、写真図版42)

15G-5D20に位置する遺構で、SK143に切られる。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で短軸0.47m、深さ0.50mを測り、埋土は3層に分かれる。土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK150 (図版28・55、写真図版42)

15G-5E12に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.92m、短軸0.60m、深さ0.20mを測る。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK151 (図版28・55、写真図版43)

15G-5E12・13に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.82m、短軸0.62m、深さ0.36mを測る。埋土は1層で、古代の土師器無台碗・長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK157 (図版30・56、写真図版43)

15G-6E4・5・9・10に位置する遺構で、SD117・1562を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。

確認面で長軸 1.77m、短軸 0.90m、深さ 0.29m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK172 (図版 30・56、写真図版 43)

15G-6E8・9 に位置する。SB4 を構成する遺構で、SD117 に切られる。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.85m、短軸 0.64m、深さ 0.30m を測り、埋土は 1 層である。土師器無台碗・長甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK178 (図版 30・56、写真図版 43・44)

15G-6E7・8 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.52m、短軸 0.42m、深さ 0.21m を測る。埋土は 3 層に分かれる。土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK206 (図版 28・30・56、写真図版 44)

15G-5E22 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.52m、短軸 0.50m、深さ 0.17m を測る。埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK210 (図版 30・56、写真図版 44)

15G-6E17・18 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.64m、短軸 0.60m、深さ 0.21m を測る。埋土は 3 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK231 (図版 30・56、写真図版 44)

15G-6E16 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.75m、短軸 0.55m、深さ 0.19m を測る。埋土は 1 層で、土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK232 (図版 30・56、写真図版 44・45)

15G-6E16・17 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.67m、短軸 0.55m、深さ 0.10m を測る。埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK256 (図版 30・37、写真図版 45)

15G-6E10・15 に位置する。SB4 を構成する遺構で、SD1562 を切る。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.78m、短軸 0.51m、深さ 0.45m を測り、埋土は 3 層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK263 (図版 30・56、写真図版 45)

15G-6F11 に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.94m、短軸 0.53m、深さ 0.31m を測る。埋土は 1 層である。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK341 (図版 30・56、写真図版 45)

15G-7E5、7F1 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.83m、短軸 0.77m、深さ 0.25m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK343 (図版 30・56、写真図版 45)

15G-6E25 に位置する遺構で、SE342 に切られる。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.96m、短軸 0.53m、深さ 0.24m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK351 (図版 30・56、写真図版 46)

15G-7F1 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.75m、短軸 0.66m、深さ 0.23m を測る。埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK365 (図版 30・57、写真図版 46)

15G-6E22・23 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.81m、短軸 0.54m、深さ 0.27m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK410 (図版31・57、写真図版46)

15G-9C1・2・6・7に位置する遺構である。SD411と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.37m、短軸1.29m、深さ0.38mを測り、埋土は3層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK414 (図版31・57、写真図版46)

15G-9B14に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.23m、短軸0.83m、深さ0.18mを測る。埋土は2層に分かれる。古代の土師器無台碗、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK422 (図版29・57、写真図版47)

15G-7B18・19に位置する遺構で、SK423とSD609を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.18m、短軸0.94m、深さ0.16mを測り、埋土は1層である。須恵器無台杯・有台杯、土師器長甕・小甕、土製品(筒形土製品)が出土している。古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK423 (図版29・57、写真図版47)

15G-7B18・19・23・24に位置する遺構である。SK422に切られ、SD609を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.15m、短軸1.12m、深さ0.22mを測り、埋土は2層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿が出土している(図版185)。出土遺物から中世の遺構とした。

SK427 (図版30・57、写真図版47)

15G-8B10・15に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.93m、短軸0.86m、深さ0.16mを測る。埋土は2層に分かれる。土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK428 (図版30・57、写真図版47)

15G-8B10、8C6に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.93m、短軸0.78m、深さ0.17mを測る。埋土は2層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK431 (図版31・57、写真図版47)

15G-8C11・12・16・17に位置する遺構で、SX2032を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.88m、短軸0.67m、深さ0.18mを測る。埋土は1層で、古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK485 (図版30・57、写真図版48)

15G-7B15・20、7C11・16に位置する遺構で、SD484を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.74m、短軸0.57m、深さ0.10mを測る。埋土は1層で、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK487 (図版30・41、写真図版24)

15G-7B9・10に位置する遺構で、SE490を切る。平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.73m、現存短軸0.41m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で、古代の土師器小甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK491 (図版30・57、写真図版48)

15G-6B24・25、7B4・5に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.80m、短軸0.74m、深さ0.16mを測る。埋土は1層で、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK492 (図版30・58、写真図版48)

15G-7B10、7C6に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.58m、短軸0.55m、深さ0.10mを測る。埋土は2層に分かれる。土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK494 (図版 30・58、写真図版 48)

15G-7B10、7C6 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.63m、短軸 0.35m、深さ 0.06m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK505 (図版 29・58、写真図版 48)

15G-8A22・23、9A3 に位置する遺構で、平面形は不明、断面形は台形状である。確認面がⅢ層で、河 82 を切っ
て検出しているため、中世以降の遺構とした。深さ 0.98m で、埋土は 6 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器
無台碗・長甕が出土している (図版 185)。

SK510 (図版 30・58、写真図版 49)

15G-6C13・14・18・19 に位置する遺構で、SD509 を切る。平面形は方形、断面形は皿状である。確認面
で長軸 1.11m、短軸 1.06m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、古代の土師器無台碗・長甕が出土しているが、
切り合い関係から中世の遺構とした。

SK513 (図版 29・58)

15G-7B7・8 に位置する遺構である。SX408 の底面で SD512 と隣接して検出したが、切り合い関係は不明。
平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.66m、短軸 0.45m、深さ 0.22m を測る。土師器長甕、
鍛冶関連遺物 (羽口) が出土している。出土遺物から古代の遺構とした。

SK516 (図版 29・58)

15G-8B1・2 に位置する遺構で、SX408 の底面で検出した。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認
面で長軸 1.13m、短軸 0.47m、深さ 0.34m を測る。遺物は出土していない。

SK520 (図版 31・58、写真図版 49)

15G-8B20・25 に位置する遺構で、SK521 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸
0.78m、短軸 0.69m、深さ 0.17m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器有台杯、土師器長甕が出土している
ことから、古代の遺構とした。

SK521 (図版 31・58、写真図版 49)

15G-8B20・25 に位置する遺構で、SK520 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長
軸 0.70m、深さ 0.10m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK522 (図版 31・58、写真図版 49)

15G-8C16 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.55m、短軸 0.51m、
深さ 0.20m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、
古代の遺構とした。

SK523 (図版 31・57、写真図版 47)

15G-8C17 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で現存長軸 0.63m、深さ 0.14m
を測る。埋土は 1 層である。土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗・蓋、金属製品 (釘) が出土している (図
版 185)。出土土器から古代の遺構とした。

SK528 (図版 30・58・65、写真図版 49)

15G-8C1・6 に位置する遺構で、SD609 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.78m、
短軸 0.73m、深さ 0.19m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕が出土して
いることから、古代の遺構とした。

SK529 (図版 30・58、写真図版 49・50)

15G-8C2 に位置する遺構で、SD896 を切る。SK530・531 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は
不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.99m、短軸 0.67m、深さ 0.13m を測る。埋土は 1 層で、古代
の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器有台皿、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から

中世の遺構とした。

SK530 (図版30・59、写真図版50)

15G-8C2に位置する遺構である。SK529と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.60m、短軸0.56m、深さ0.14mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・小甕、軽石製石製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SK531 (図版30・59、写真図版50)

15G-8C2・3・7・8に位置する遺構で、SD896を切る。SK529と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.64m、短軸0.63m、深さ0.18mを測る。埋土は1層で、古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK537 (図版31・59、写真図版50)

15G-8C13・14・18・19に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.12m、短軸1.03m、深さ0.16mを測る。埋土は2層に分かれる。土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK545 (図版31・59、写真図版50)

15G-9C4・5に位置する遺構で、SK1069に切られる。SD546と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸0.78m、深さ0.18mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土している(図版185)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK550 (図版31・59、写真図版50・51)

15G-8C15・20に位置する遺構で、SD1729を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.84m、短軸0.74m、深さ0.40mを測り、埋土は5層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼甕、土師器皿、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK559 (図版30・43、写真図版26・27)

15G-8C4・5に位置する遺構で、SE557、SD566を切る。SK560と隣接しているが、切り合い関係は不明である。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.95m、短軸0.82m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で、古代の須恵器有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK560 (図版30・59、写真図版51)

15G-8C4に位置する遺構である。SK559、SD566と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.65m、短軸0.47m、深さ0.20mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK567 (図版30・59、写真図版51)

15G-8C9に位置する遺構で、SK1251、SX564、SD566を切る。SE565と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.13m、短軸1.03m、深さ0.31mを測り、埋土は2層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・鍋、中世の青磁碗、土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK568 (図版30・59、写真図版51)

15G-8C9・10・14・15に位置する遺構で、SD539を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.73m、短軸0.49m、深さ0.05mを測る。埋土は1層で、土師器無台碗・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK575 (図版 30・59、写真図版 51・52)

15G-8D1・2・6 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.10m、短軸 0.84m、深さ 0.44m を測る。埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼片口鉢、石製品(台石)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK578 (図版 30・59、写真図版 52)

15G-7C25 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.82m、短軸 0.46m、深さ 0.24m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、石製品(砥石)が出土している。出土遺物から古代の遺構とした。

SK580 (図版 30・44、写真図版 28)

15G-7C24・25 に位置する遺構である。SE579 に切られ、SD486 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.87m、短軸 0.78m、深さ 0.07m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕、石製品(磨石)が出土している。出土遺物から古代の遺構とした。

SK585 (図版 30・60、写真図版 52)

15G-7C19 に位置する遺構で、SD539 に切られる。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.95m、短軸 0.86m、深さ 0.27m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK587 (図版 30・60・71、写真図版 52)

15G-7C20、7D16 に位置する遺構で、SX911 と SD495 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.88m、短軸 0.67m、深さ 0.18m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK588 (図版 30・60、写真図版 52・53)

15G-7D16 に位置する遺構である。SE586 に切られ、SX911 を切る。平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.87m、短軸 0.71m、深さ 0.14m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK592 (図版 30・60、写真図版 53)

15G-7D17 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.75m、短軸 0.71m、深さ 0.15m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK594 (図版 30・60・80、写真図版 53)

15G-7D22 に位置する遺構で、SD495 を切る。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.82m、短軸 0.57m、深さ 0.26m を測り、埋土は 3 層に分かれる。土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK597 (図版 30・60、写真図版 53)

15G-7D23 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.87m、短軸 0.63m、深さ 0.18m を測る。埋土は 1 層である。古代の土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼甕・片口鉢が出土している(図版 185)。出土遺物から中世の遺構とした。

SK611 (図版 30・60、写真図版 53・54)

15G-6C24、7C4 に位置する遺構で、SD508 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.69m、短軸 0.41m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK633 (図版 30)

15G-6C21 に位置する遺構で、平面形は円形である。確認面で現存長軸 0.55m を測る。須恵器有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK701 (図版 31・60、写真図版 54)

15G-9C11 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.78m、短軸 0.58m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、古代の土師器長甕、中世の土師器皿、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK702 (図版 29・31・60、写真図版 54)

15G-8B17 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.59m、短軸 0.43m、深さ 0.11m を測る。埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK724 (図版 30・60、写真図版 54)

15G-7C21・22、8C1 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.69m、短軸 0.97m、深さ 0.15m を測る。埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK730 (図版 29・46、写真図版 30)

15G-8B7・8・12・13 に位置する遺構で、SE813 に切られる。切り合い関係等から、古代に所属する遺構と考える。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.90m、短軸 1.03m、深さ 0.15m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、土製品、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している（図版 185）。このほかに中世の珠洲焼甕が出土しているが、後世の混入とした。

SK743 (図版 30・60、写真図版 54・55)

15G-7C22、8C2 に位置する遺構で、SD896 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.74m、短軸 0.85m、深さ 0.09m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK752 (図版 30・61、写真図版 55)

15G-8C4 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.43m、短軸 0.40m、深さ 0.05m を測る。埋土は 1 層である。中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK769 (図版 30・61、写真図版 55)

15G-8B5 に位置する遺構である。SD609 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.61m、短軸 0.51m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕、金属製品が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK777 (図版 29・58、写真図版 55)

15G-7B7 に位置する遺構で、SX408 の底面で検出した。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.73m、短軸 0.62m、深さ 0.17m を測る。遺物は出土していない。

SK780 (図版 30・61、写真図版 55)

15G-7C17・22 に位置する遺構で、SD484 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.26m、短軸 1.09m、深さ 0.16m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台椀・長甕が出土している（図版 185）。出土遺物から古代の遺構とした。

SK783 (図版 30・61、写真図版 56)

15G-7C14 に位置する。平面形は楕円形、断面形は台形状である。SE511 と隣接するが切り合い関係は不明。確認面で長軸 0.82m、短軸 0.62m、深さ 0.21m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の土師器長甕、中世の土師器皿が出土していることから、中世の遺構とした。

SK794 (図版 30・61、写真図版 56)

15G-7D1 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.86m、短軸 0.82m、深さ 0.22m を測る。埋土は 1 層である。土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、金属製品（釘）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK832 (図版 30・61、写真図版 56)

15G-8B9・10 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.72m、短軸 0.43m、深さ 0.12m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗 (図版 185) が出土していることから、古代の遺構とした。

SK885 (図版 29・61)

15G-7B13 に位置する遺構で、SD514 の底面で検出した。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.55m、短軸 0.45m、深さ 0.32m を測る。遺物は出土していない。

SK912 (図版 30・61、写真図版 56)

15G-7C15・20 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.68m、短軸 0.60m、深さ 0.22m を測る。埋土は 1 層である。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK993 (図版 31・61、写真図版 57)

15G-8C14・15 に位置する遺構で、SD1729 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.12m、短軸 0.58m、深さ 0.17m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1010 (図版 30・61、写真図版 57)

15G-7D12・13 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.96m、短軸 0.66m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層である。土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1069 (図版 31・59、写真図版 50)

15G-9C4・5・9・10 に位置する遺構で、SK545 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.84m、短軸 0.55m、深さ 0.26m を測る。埋土は 1 層で、古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1097 (図版 30・31・61、写真図版 57)

15G-8D13 に位置する遺構で、SK1098 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.65m、短軸 0.47m、深さ 0.16m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1098 (図版 31・61、写真図版 57)

15G-8D13 に位置する遺構で、SK1097 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.72m、短軸 0.68m、深さ 0.32m を測る。埋土は 1 層で、古代の土師器無台碗・長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1114 (図版 31・61、写真図版 57)

15G-8D21 に位置する遺構で、SD1729 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.78m、短軸 0.77m、深さ 0.21m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・鍋、中世の土師器皿、土製品、金属製品 (釘) が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1116 (図版 30・62、写真図版 58)

15G-8D11 に位置する遺構で、SD570 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.67m、短軸 0.44m、深さ 0.22m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1179 (図版 31・62、写真図版 58)

15G-10C9 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.78m、短軸 0.77m、深さ 0.25m を測る。遺物は出土していない。

SK1183 (図版31・62、写真図版58)

15G-8D22に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.64m、短軸0.52m、深さ0.17mを測る。埋土は1層で、遺物は出土していない。

SK1210 (図版31・62、写真図版58)

15G-10C4・9に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.82m、短軸0.59m、深さ0.30mを測る。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1215 (図版31・62、写真図版58・59)

15G-9C20・25に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.78m、短軸0.65m、深さ0.56mを測る。埋土は2層に分かれる。須恵器大甕・広口壺、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1220 (図版31・62、写真図版59)

15G-10C15、10D11に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.78m、短軸0.55m、深さ0.20mを測る。埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1227 (図版31・62、写真図版59)

15G-10D6・11に位置する遺構で、SD1258を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.52m、短軸0.90m、深さ0.27mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1229 (図版31・62、写真図版59)

15G-9D8・13に位置する遺構で、SK1269に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.63m、深さ0.18mを測る。埋土は1層で、珠洲焼片口鉢が出土していることから、中世の遺構とした。

SK1232 (図版31・62、写真図版59・60)

15G-9D7に位置する遺構で、SK1233に切られる。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.99m、短軸0.69m、深さ0.25mを測る。埋土は1層で、須恵器大甕、土師器無台椀・長甕が出土している。出土遺物から古代の遺構とした。

SK1233 (図版31・62、写真図版59・60)

15G-9D7に位置する遺構で、SK1232を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.79m、短軸0.70m、深さ0.16mを測る。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1240 (図版31・62、写真図版60)

15G-9D13に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.02m、短軸0.86m、深さ0.36mを測る。埋土は2層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1249 (図版31・62、写真図版60)

15G-9D9に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.68m、短軸0.61m、深さ0.24mを測る。埋土は2層に分かれる。古代の土師器小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1251 (図版30・62、写真図版60)

15G-8C9に位置する遺構である。SE565、SK567に切られ、SX564を切る。平面形は長方形、断面形は半円状である。確認面で深さ0.38mを測る。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1268 (図版31・63、写真図版60)

15G-9D21・22に位置する遺構で、SD1213に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で

長軸 0.73m、深さ 0.16m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1269 (図版 31・62、写真図版 59)

15G-9D8・13 に位置する遺構で、SK1229 を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.83m、短軸 0.67m、深さ 0.33m を測り、埋土は 2 層に分かれる。中世土師器の皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1273 (図版 31・63、写真図版 61)

15G-8D22・23、9D2・3 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.99m、短軸 0.76m、深さ 0.10m を測る。埋土は 1 層である。古代の土師器長甕・小甕、中世の土師器皿、石製品(台石)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1302 (図版 31・63、写真図版 61)

15G-8D13・14・18・19 に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.38m、短軸 0.52m、深さ 0.34m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗・長甕・鍋、石製品(磨石)、鍛冶関連遺物が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK1304 (図版 31・63、写真図版 61)

15G-9C17・22 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.55m、短軸 0.75m、深さ 0.30m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・仏鉢が出土している(図版 185)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK1330 (図版 31・63、写真図版 61)

15G-8D19・24 に位置する遺構で、SK1331 を切る。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.65m、短軸 0.39m、深さ 0.20m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1331 (図版 31・63、写真図版 61)

15G-8D24 に位置し、SK1330 に切られる。平面形は不整形、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.58m、深さ 0.26m を測り、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していないが、切り合い関係から古代の遺構とした。

SK1338 (図版 31・63、写真図版 62)

15G-9D19 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.14m、短軸 0.80m、深さ 0.38m を測る。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1342 (図版 31・63、写真図版 62)

15G-9D3・8 に位置する遺構で、SD1239 を切る。平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.49m、短軸 0.44m、深さ 0.13m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1387 (図版 31・63、写真図版 62)

15G-8E17・22 に位置する遺構で、SD1384 を切る。平面形は長方形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.03m、短軸 0.66m、深さ 0.37m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1389 (図版 31・63、写真図版 62)

15G-8D25 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.68m、短軸 0.65m、深さ 0.19m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1396 (図版 31・63、写真図版 62・63)

15G-8D25、8E21 に位置する遺構で、SK1397 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.92m、短軸 0.73m、深さ 0.18m を測り、埋土は 3 層に分かれる。古代の土師器長甕、中世の土師器皿

が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1397 (図版 31・63、写真図版 62・63)

15G-8D25、9D5 に位置する遺構で、SK1396 に切られる。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で短軸 1.07m、深さ 0.19m を測り、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1408 (図版 31・47、写真図版 31・32)

15G-8E23 に位置する遺構で、SE1337 に切られ、SD1392 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.61m、短軸 0.27m、深さ 0.95m を測り、埋土は 3 層に分かれる。石製品(叩石)が出土している。切り合い関係から中世の遺構とした。

SK1434 (図版 31・47、写真図版 32)

15G-8E11・12・17 に位置する遺構で、SE1435 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.50m、短軸 1.01m、深さ 0.27m を測る。埋土は 1 層で、古代の須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1502 (図版 30・63、写真図版 63)

15G-7D10 に位置する遺構で、SE385 と SK1622 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.94m、短軸 0.80m、深さ 0.20m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK1527 (図版 30・63、写真図版 63)

15G-7D14 に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.47m、短軸 0.48m、深さ 0.39m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台碗・長甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1541 (図版 30・64、写真図版 63)

15G-7E22 に位置する遺構で、SD1524 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.17m、短軸 1.08m、深さ 0.23m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1565 (図版 30・64、写真図版 63・64)

15G-6D22・23 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.81m、短軸 0.75m、深さ 0.36m を測る。埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼片口鉢が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1578 (図版 30・64、写真図版 64)

15G-6D16 に位置する遺構で、SK1580 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.53m、短軸 0.45m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1579 (図版 30・64、写真図版 64)

15G-6D11・16 に位置する遺構で、SK1580 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.65m、短軸 0.63m、深さ 0.42m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1580 (図版 30・64、写真図版 64)

15G-6C20、6D16 に位置する遺構で、SK1578・1579 に切られる。平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.00m、短軸 0.73m、深さ 0.30m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1607 (図版 30・64、写真図版 64・65)

15G-6D8・13 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.49m、短軸 0.45m、

深さ 0.13m を測る。埋土は 1 層である。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1609 (図版 30・64、写真図版 65)

15G-6D18・19 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.40m、短軸 0.93m、深さ 0.49m を測る。埋土は 3 層に分かれる。古代の土師器無台椀・長甕、中世の珠洲焼壺 T 種、石製品(磨石)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1610 (図版 28・64、写真図版 65)

15G-5E18・23 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.65m、短軸 0.61m、深さ 0.50m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1615 (図版 30・50、写真図版 65)

15G-6D7・12 に位置し、SE1586 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.85m、短軸 0.75m、深さ 0.41m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕、中世の土師器皿が出土している(図版 185)。切り合い関係と出土遺物から中世の遺構とした。

SK1619 (図版 30・64、写真図版 65・66)

15G-6D17・22 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.39m、短軸 0.52m、深さ 0.20m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1622 (図版 30・64、写真図版 66)

15G-7D5・10、7E6 に位置する遺構で、SE385 と SK1502 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.39m、短軸 0.72m、深さ 0.10m を測り、埋土は 1 層である。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1629 (図版 30・51、写真図版 36)

15G-6D14・15 に位置し、SE1616 を切る。平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.59m、短軸 0.54m、深さ 0.13m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の土師器無台椀が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK1633 (図版 30・32・64、写真図版 66)

15G-5E24 に位置する遺構で、SB4 を構成する Pit1632 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.77m、短軸 0.44m、深さ 0.30m を測る。埋土は 1 層である。遺物は出土していない。

SK1636 (図版 28・65、写真図版 66)

15G-5E17・18・22・23 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.14m、短軸 0.83m、深さ 0.10m を測る。埋土は 1 層である。古墳時代の土師器甕、古代の土師器無台椀・長甕が出土している(図版 185)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK1642 (図版 32・65、写真図版 66・67)

15G-5E25 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.65m、短軸 0.64m、深さ 0.10m を測る。埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1647 (図版 32・65、写真図版 67)

15G-5E14・19 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で現存長軸 0.68m、短軸 0.52m、深さ 0.09m を測る。埋土は 1 層である。須恵器無台杯・長頸瓶が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1649 (図版 28・32・65、写真図版 67)

15G-5E8・13 に位置する遺構で、SD1687 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.65m、短軸 0.49m、深さ 0.12m を測り、埋土は 2 層に分かれる。金属製品(釘)が出土している。出土遺物

から中世の遺構とした。

SK1660 (図版 30・56、写真図版 43)

15G-6E4・9に位置し、SD117・1562を切る。平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.82m、短軸0.45m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で、古代の土師器長甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK1666 (図版 28・30・65、写真図版 67)

15G-6D5に位置する遺構である。SK1667に切られ、SD117を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.61m、短軸0.52m、深さ0.57mを測り、埋土は2層に分かれる。古代の須恵器長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1667 (図版 28・30・65、写真図版 67)

15G-5D25、6D5に位置し、SK1666とSD117を切る。平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.62m、短軸0.35m、深さ0.27mを測る。埋土は1層で、古代の須恵器無台杯、土師器長甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK1670 (図版 30・65、写真図版 67・68)

15G-6D9に位置する遺構で、SD1673を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.66m、短軸0.45m、深さ0.13mを測る。埋土は1層で、古代の土師器長甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK1690 (図版 27・65、写真図版 68)

15G-5C4に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で現存長軸0.68m、短軸0.58m、深さ0.11mを測る。埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1715 (図版 28・30・65、写真図版 68)

15G-6D4に位置する遺構で、SD1714を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.65m、短軸0.61m、深さ0.30mを測り、埋土は3層に分かれる。須恵器大甕、土師器長甕・鍋、軽石製石製品が出土している。出土遺物から古代の遺構とした。

SK1725 (図版 30・65、写真図版 68)

15G-8C1・2に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.41m、短軸1.23m、深さ0.30mを測る。埋土は1層である。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK1732 (図版 32・65、写真図版 68・69)

15G-5F16・17・21・22に位置する遺構で、SD1736を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.78m、短軸0.41m、深さ0.15mを測り、埋土は2層に分かれる。古代の土師器長甕・小甕、中世の土師器皿、土製品、石製品(磨石)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1734 (図版 28・32・65、写真図版 69)

15G-4E18・23に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.05m、短軸0.94m、深さ0.40mを測る。埋土は2層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕、中世の珠洲焼壺T種、土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1740 (図版 32・66、写真図版 69)

15G-5F18・23に位置する遺構で、SE1754とSD1747に切られる。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.62m、短軸0.53m、深さ0.12mを測り、埋土は2層に分かれる。土師器長甕、石製品(砥石)が出土している。出土遺物から古代の遺構とした。

SK1760 (図版 28・32・66、写真図版 69)

15G-4E23、5E3 に位置する遺構で、SD1902 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.96m、短軸 0.54m、深さ 0.41m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿、石製品(磨石)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1765 (図版 32・66、写真図版 69・70)

15G-4E24、5E3・4 に位置する遺構で、SK1881 と SD1836 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.95m、短軸 0.79m、深さ 0.14m を測り、埋土は 1 層である。古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台椀・長甕が出土している(図版 185)が、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK1766 (図版 32・66、写真図版 70)

15G-5F9・10 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.65m、短軸 0.78m、深さ 0.45m を測る。埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、黒色土器無台椀、中世の珠洲焼甕、土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1773 (図版 32・33・66、写真図版 70)

15G-5G1・2 に位置する遺構で、SD1772 を切る。平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.39m、短軸 1.29m、深さ 0.19m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1782 (図版 33・66、写真図版 70)

15G-3G21・22 に位置する遺構で、SX2017 と SD2006 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.85m、現存短軸 0.74m、深さ 0.58m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1787 (図版 32・66、写真図版 70・71)

15G-4F8・9・13・14 に位置する遺構で、SK1921 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.68m、短軸 0.54m、深さ 0.18m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕が出土している(図版 185)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK1788 (図版 32・66、写真図版 71)

15G-4F7・8・12・13 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.71m、短軸 0.69m、深さ 0.37m を測る。埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器長甕、中世の珠洲焼甕、土師器皿、軽石製石製品が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1800 (図版 32・66、写真図版 71)

15G-5E10 に位置する遺構で、SK1810 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.84m、短軸 0.45m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1803 (図版 32・66、写真図版 71)

15G-5F16 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.72m、短軸 0.60m、深さ 0.09m を測る。埋土は 1 層である。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1810 (図版 32・67、写真図版 71)

15G-5E10、5F6 に位置する遺構で、SK1800、SB2-P2733 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.08m、短軸 0.70m、深さ 0.10m を測り、埋土は 1 層である。遺物は出土していないが、切り合い関係から古代の遺構とした。

SK1819 (図版 32・67、写真図版 72)

15G-4E18・19 に位置する遺構で、SD1836 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.15m、短軸 1.14m、深さ 0.42m を測り、埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕、

中世の珠洲焼壺T種、土師器皿が出土している（図版186）。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1826（図版32・67、写真図版72）

15G-5F19に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.57m、短軸0.48m、深さ0.07mを測る。埋土は1層である。遺物は出土していない。

SK1827（図版32・67、写真図版72）

15G-5F18・19に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.55m、短軸0.41m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で、遺物は出土していない。

SK1834（図版32・67、写真図版72）

15G-4E19・20・24に位置する遺構である。SD1836と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.94m、短軸0.78m、深さ0.30mを測り、埋土は2層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している（図版186）。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1845（図版32・67、写真図版73）

15G-4F23、5F3に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.85m、短軸0.38m、深さ0.15mを測る。埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1850（図版32・67、写真図版73）

15G-4F11・12に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.62m、短軸0.54m、深さ0.10mを測る。埋土は1層である。須恵器無台杯、土師器鍋が出土している（図版186）。出土遺物から古代の遺構とした。

SK1853（図版32・67、写真図版73）

15G-4F21、5F1に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.55m、短軸0.39m、深さ0.17mを測る。埋土は2層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1858（図版32・67、写真図版73）

15G-5E20に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.72m、短軸0.42m、深さ0.16mを測る。埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1873（図版32・67、写真図版74）

15G-6F3・4に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.69m、短軸0.72m、深さ0.17mを測る。埋土は1層で、遺物は出土していない。

SK1880（図版32・67、写真図版74）

15G-4F3・8に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.67m、短軸0.55m、深さ0.24mを測る。埋土は3層に分かれる。古代の須恵器大甕、土師器長甕・小甕、中世の土師器皿、石製品（磨石）、金属製品（釘）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1881（図版32・66、写真図版69・70）

15G-5E4に位置する遺構で、SK1765に切られ、SD1836を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.58m、短軸0.31m、深さ0.27mを測り、埋土は2層に分かれる。遺物は出土していないが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK1888（図版33・67、写真図版74）

15G-4G22に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸0.67m、短軸0.51m、深さ0.25mを測る。埋土は1層である。土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1889（図版33・67、写真図版74）

15G-4G22に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.61m、短軸0.60m、

深さ 0.51m を測る。埋土は 3 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1898 (図版 32・67、写真図版 75)

15G-3F24、4F4 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.80m、短軸 0.76m、深さ 0.27m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器大甕、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1903 (図版 32・68、写真図版 75)

15G-4F23 に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.06m、短軸 0.49m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層である。須恵器無台杯、土師器長甕・鍋が出土している (図版 186)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK1910 (図版 32・68、写真図版 75)

15G-4F4 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.09m、短軸 0.85m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層である。土師器鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1916 (図版 33・68、写真図版 75)

15G-4G12 に位置する遺構で、SD1777 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.01m、短軸 0.93m、深さ 0.13m を測る。古代の土師器長甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK1921 (図版 32・66、写真図版 70・71)

15G-4F9 に位置する遺構で、SK1787 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.50m、短軸 0.46m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台椀が出土している (図版 186)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK1934 (図版 32・68・78、写真図版 75・76)

15G-5F13・14 に位置する遺構で、SD1847 に切られる。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で短軸 0.90m、深さ 0.20m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK1944 (図版 30・32・68、写真図版 76)

15G-6F2 に位置する。SK1945 と隣接するが、切り合い関係は不明である。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.65m、現存短軸 0.49m、深さ 0.43m を測り、埋土は 3 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1945 (図版 30・68、写真図版 76)

15G-6F2 に位置する。SK1944 と隣接するが、切り合い関係は不明である。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.88m、現存短軸 0.61m、深さ 0.30m を測り、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1961 (図版 33・68、写真図版 76)

15G-4G17・18 に位置する遺構で、SD1777 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.19m、短軸 1.04m、深さ 0.13m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK1966 (図版 34・68、写真図版 76)

15G-1G7・8 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.30m、短軸 1.28m、深さ 0.23m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1972 (図版 32・68、写真図版 77)

15G-4F17 に位置する。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.70m、短軸 0.40m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層である。遺物は出土していない。

SK1976 (図版 34・68、写真図版 77)

15G-1F25 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.69m、短軸 0.67m、深さ 0.17m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1977 (図版 34・68、写真図版 77)

15G-1G6・11 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.77m、短軸 0.77m、深さ 0.13m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1986 (図版 33・68、写真図版 77)

15G-3G16 に位置する遺構で、SX2017 を切る。平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.49m、短軸 0.48m、深さ 0.10m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK1987 (図版 32・68、写真図版 78)

15G-3F19・24 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.90m、短軸 0.89m、深さ 0.18m を測る。埋土は 1 層である。須恵器大甕、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK1996 (図版 32・69、写真図版 78)

15G-3F15・19・20 に位置する遺構で、SD1779 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.87m、深さ 0.17m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK1999 (図版 34・69、写真図版 78)

15G-2G16・17・21・22 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.76m、深さ 0.20m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK2004 (図版 34・69、写真図版 78)

15G-1F20 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.56m、短軸 0.44m、深さ 0.32m を測る。埋土は 1 層である。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK2005 (図版 34・69、写真図版 78・79)

15G-1G16 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面は長軸 0.53m、短軸 0.33m、深さ 0.20m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK2007 (図版 34・35・69、写真図版 79)

15G-1G10・15、1H6・11 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.51m、短軸 0.44m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台碗・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK2018 (図版 32・69、写真図版 79)

15G-3F22 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.62m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層である。遺物は出土していない。

SK2021 (図版 29・69、写真図版 79)

15G-8B9 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.66m、短軸 0.40m、深さ 0.30m を測る。埋土は 1 層である。土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK3063 (図版 31)

15G-8B14・15・19・20 に位置する遺構で、SD413・419・518 に切られる。平面形は不整形である。確認面で現存長軸 2.80m、現存短軸 1.60m を測る。遺物は出土していないが、切り合い関係から古代の遺構とした。

SX109 (図版 28・69、写真図版 79・80)

15G-5D7・8・12・13 に位置する遺構で、SD1689 に切られる。平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で現存長軸 3.63m、短軸 3.16m、深さ 0.25m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗が出土している (図版 186)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX408 (図版 29・61・70・74、写真図版 80)

15G-6B23・24、7A15・19・20・23～25、7B2～4・6～9・11～14・16～18・21～23、8A4・5・10、8B1・2・6 に位置する遺構である。SD503 に切られ、SK513・516・777、SD407・419・420・484・486・512・514・609 を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.28m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・鉢・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の珠洲焼壺 R 種・壺 T 種・甕、土師器皿、土製品 (筒形土製品)、石製品 (砥石・磨石・叩石・台石・軽石製石製品)、鍛冶関連遺物 (鍛冶滓・羽口)、金属製品 (釘) が出土している (図版 186・259)。出土遺物から中世の遺構とした。

SX409 (図版 31・70、写真図版 80・81)

15G-9B5、9C1・6 に位置する遺構で、SE606 と SD411 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.53m、短軸 1.17m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層で、古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼壺 R 種、土製品 (筒形土製品) が出土している (図版 187・256)。出土遺物から中世の遺構とした。

SX524 (図版 29・31・70、写真図版 81)

15G-8B12・17 に位置する遺構で、SD411 を切る。平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.92m、短軸 0.82m、深さ 0.10m を測る。埋土は 1 層で、古代の土師器無台碗・長甕・小甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SX534 (図版 31・40・71、写真図版 23・81)

15G-8C21～23、9C1～3 に位置する遺構で、SE415 に切られる。SD535・1072 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 2.90m、短軸 2.37m、深さ 0.16m を測り、埋土は 1 層である。須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、土製品 (筒形土製品) が出土している (図版 187)。出土遺物と埋土の様相から古代の遺構とした。中世の珠洲焼片口鉢が 1 点出土しているが、後世の流れ込みと考える。

SX564 (図版 30・31・44、写真図版 27)

15G-8C7～9・12～14・17・18 に位置する遺構である。SE565、SK567・1251 に切られ、SD1729 を切る。SD896 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 3.24m、深さ 0.30m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋・鉢、黒色土器無台碗、石製品 (砥石・台石・軽石製石製品) が出土している (図版 187・188)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX765 (図版 29・31・71、写真図版 81)

15G-8B24、9B3・4 に位置する遺構で、SD411 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.64m、短軸 1.18m、深さ 0.10m を測り、埋土は 1 層である。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕、鍛冶関連遺物 (鍛冶滓) が出土している (図版 188)。出土土器から古代の遺構とした。

SX911 (図版 30・71、写真図版 82)

15G-7C20、7D16 に位置する遺構である。SK587・588 に切られ、SD495 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 2.09m、現存短軸 1.17m、深さ 0.25m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、軽石製石製品が出土している (図版 189)。出土遺物から古

代の遺構とした。

SX1147 (図版 30・71、写真図版 82)

15G-7D22、8D1・2 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.98m、短軸 1.48m、深さ 0.26m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・小甕、土製品が出土している (図版 189)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX1200 (図版 31・71、写真図版 82・83)

15G-10C19 に位置する遺構で、SD1138 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で現存短軸 1.70m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台椀・長甕・鍋が出土している (図版 189)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX1238 (図版 31・71、写真図版 82)

15G-10C19・24・25 に位置する遺構で、SD1138・1248 に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.50m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SX1352 (図版 31・72、写真図版 83)

15G-8D14・15・19・20、8E16 に位置する遺構である。SB10 を構成する Pit4067 に切られ SD1414 を切る。平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 2.68m、短軸 0.98m、深さ 0.23m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕、石製品 (磨石) が出土している。出土遺物から古代の遺構とした。

SX1638 (図版 28・72、写真図版 83)

15G-5D20・25、5E16・21・22 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 3.30m、短軸 1.80m、深さ 0.27m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・長頸瓶・壺蓋・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀、石製品 (磨石・軽石製石製品) が出土している (図版 189・190)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX1640 (図版 30・49、写真図版 84)

15G-7D3・4・7～9 に位置する遺構で、SE1534・1551・1593・1602 と SB7 を構成する Pit1557 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.39m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、中世の土師器皿が出土している (図版 190)。出土遺物から中世の遺構とした。

SX1648 (図版 28・65、写真図版 84)

15G-5E13・14 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で現存長軸 1.24m、短軸 1.01m、深さ 0.20m を測る。埋土は 2 層である。古代の須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、中世の土師器皿、石製品、木製品 (部材片) が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SX1719 (図版 27・72、写真図版 84)

15G-3C4・5・8～10・12～15・17～19 に位置する遺構で、SE1717 と SD1 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.30m を測り、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していないが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SX1783 (図版 32・33・72、写真図版 84)

15G-4G21、5G1 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.83m、短軸 0.74m、深さ 0.30m を測る。埋土は 2 層に分かれる。古代の土師器長甕・小甕・鉢、中世の土師器皿、石製品 (磨石) が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SX1785 (図版 32・54、写真図版 85)

15G-4F19・24・25 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.21m、短軸 0.99m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、古代の須恵器杯蓋・大甕、土師器無台椀、中世の土師器皿が出土

している。出土遺物から中世の遺構とした。

SX1789 (図版 32・72、写真図版 85)

15G-4E15・20、4F11・16 に位置する遺構で、平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.13m、短軸 0.77m、深さ 0.10m を測る。埋土は 1 層である。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SX1805 (図版 32・73、写真図版 85)

15G-5F19・20・24・25 に位置する遺構で、SD1935 を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.96m、短軸 1.72m、深さ 0.44m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、中世の土師器皿、石製品(砥石)、鍛冶関連遺物(炉壁)が出土している(図版 190・256)。出土遺物から中世の遺構とした。

SX2017 (図版 33・73、写真図版 85)

15G-3F20・25、3G11・16・17・21・22、4G2 に位置する遺構で、SK1782・1986、SD1779・1781・2006 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で短軸 3.90m、深さ 0.08m を測る。須恵器無台杯・大甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、金属製品(釘)が出土している(図版 282)。出土土器から古代の遺構とした。

SX2032 (図版 31・57、写真図版 47)

15G-8C12・16・17 に位置する遺構である。SK431 に切れ、SD525 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.66m、短軸 1.32m、深さ 0.18m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

d 溝 (SD)

SD1 (図版 27・73、写真図版 85・86)

15G-3C17・18・22・23、4C1・2・6・7・11・12・16・21、5C1 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-20°-E)、SX1719 に切られる。確認面で最大幅 1.50m、深さは 0.36m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。古代の土師器長甕、中世の珠洲焼壺 T 種、石製品(磨石・台石)が出土していることから、中世の遺構とした。

SD108 (図版 28・51・73、写真図版 37・86)

15G-4D15・19・20・24・25、5D4・5 に位置する遺構で、軸方向は北～南に延び(N-17°-E)、SE1691 を切る。確認面で最大幅 1.14m、深さは 0.39m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の青磁椀、珠洲焼甕・片口鉢、土師器皿、軽石製石製品、木製品(円板)、鍛冶関連遺物(炉壁)が出土している(図版 190・273)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD117 (図版 28・30・37・38・52・56・74、写真図版 19・36・43・45・86・87)

15G-5C24・25、5D21～24、6D3～5、6E1～3、7～10、6F6・7・11・12 に位置する。軸方向は東～西に延びる(N-78°-W)。SE125・126・159・1718、SK157・256・1660・1666・1667 に切れ、SE201・1617、SK172 (SB6)、SD1562・1714 を切る。確認面で最大幅 0.84m、深さは 0.38m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 7 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の青磁椀、珠洲焼壺 R 種、土師器皿、石製品(砥石・磨石・台石)、鍛冶関連遺物が出土している(図版 190)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD352 (図版 30・39、写真図版 87)

15G-7E2・3・8・9 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-61°-W)、SE1520 に切られる。確認面で最大幅 0.53m、深さは 0.08m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕・小甕、土製品(不明)、石製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SD354 (図版30・39、写真図版22・87)

15G-6E19・20・24・25に位置する遺構である。SD1521と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-61°-W)。SE353を切る。平面形は不整形、断面形は半円状である。確認面で最大幅0.30m、深さは0.14m前後である。埋土は1層で、古代の土師器小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SD406 (図版29・70・74・79、写真図版87・88)

15G-7A23・24、8A4・9・10・15・20、8B16・21に位置する遺構で、SD407と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-27°-W)。確認面で最大幅0.63m、深さは0.24m前後である。断面形は皿状で、埋土は3層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、鍛冶関連遺物(鍛冶滓・羽口・炉壁)が出土している(図版190)。出土土器から古代の遺構とした。

SD407 (図版29・70・74・79、写真図版80・87・88)

15G-7A18・19・23～25、8A4・5・10・15、8B6・11・16に位置する遺構で、SD406と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-28°-W)。SX408に切られ、SD411を切る。SD512と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.80m、深さは0.42m前後である。断面形は皿状で、埋土は3層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼片口鉢、土製品(筒形土製品)、鍛冶関連遺物(鍛冶滓・炉壁)が出土している(図版190)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD411 (図版29・31・40・45・70・74、写真図版30・88)

15G-8B6・11・16～18・22～24、9B4・5・10、9C1・6～8・12～14・19に位置する。軸方向は北西～南東に延びる(N-60°-W)。SE412・606、SX524、SD407に切られ、SX409・765、SD413・931を切る。SK410と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.67m、深さは0.24m前後である。断面形は皿状で、埋土は3層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿、軽石製石製品が出土している(図版190)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD413 (図版31・74、写真図版88・89)

15G-8B18～20・23～25、9B4・5に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-54°-W)。確認面で長軸5.13m、短軸1.74m、深さは0.25mである。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。SD411・518に切られ、SK3063を切る。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、石製品(台石)が出土している(図版190)。出土遺物と切り合い関係から、古代の遺構とした。

SD419 (図版29・74、写真図版89)

15G-8B2・3・7～9・14に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-54°-W)、湾曲して北～南に流れる。SX408とSD518に切られ、SK3063を切る。断面形は台形状である。確認面で最大幅0.40m、深さは0.13m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD420 (図版29・74、写真図版89)

15G-8B6・11に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる(N-15°-W)。確認面で長軸1.68m、短軸0.57m、深さは0.11mである。断面形は台形状で、埋土は1層である。SX408に切られ、SD803を切る。土師器無台碗・長甕・小甕、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している。出土土器と切り合い関係から、古代の遺構とした。

SD430 (図版31・40、写真図版23)

15G-8B15に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-58°-W)、SE429に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.38m、深さは0.04m前後である。埋土は1層で、土師器無台碗・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD434 (図版30・31・41)

15G-8C12に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び、(N-23°-W)、SE433に切られる。断面形は台形

状である。確認面で最大幅 0.34m、深さは 0.10m 前後である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD462 (図版 29・74、写真図版 90)

15G-7B23、8B3 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-26° -W)、湾曲して北東～南西に流れる。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.27m、深さは 0.20m 前後である。須恵器無台杯、土師器無台碗・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD484 (図版 29・30・74、写真図版 90)

15G-7B9・14・15・20、7C16・17・21～24、8C3・4 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-59° -W)。SK485・780、SX408 に切られる。SD896 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.58m、深さは 0.15m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器有台皿が出土している (図版 190)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD486 (図版 29・30・60・70・74、写真図版 90)

15G-6B23、7B3・4・9・10・15、7C6・11・12・17～19・24・25 に位置する。軸方向は北西～南東に延びる (N-59° -W)。SE490・579、SK580、SX408、SD553・584 に切られ、SD539 を切る。SD1181 と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅 0.94m、深さは 0.19m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、鍛冶関連遺物が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD495 (図版 30・45・57・60・61・74、写真図版 48・90・92)

15G-6B24・25、7B5、7C1・6～8・12～14・19・20、7D16・21～23、8D2～4・8～10・15 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-57° -W)。SE502・590・601・868、SK587・594、SX911 と SB7 を構成する Pit991 に切られる。SE600、SD553 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.62m、深さは 0.19m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・有台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗が出土している (図版 191)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD503 (図版 30・36・41・75、写真図版 90・91)

15G-6B24・25、6C11・12・16・17・21・22、7B5、7C1 に位置する。軸方向は北～南に延び (N-62° -W)、湾曲して北西～南東に流れる。SE502 に切られ、SX408、SD506・508 を切る。確認面で最大幅 1.43m 前後、深さは 0.34m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼甕、土師器皿、石製品 (磨石) が出土している (図版 191)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD504 (図版 30・75、写真図版 92)

15G-6C22・23 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-68° -W)、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.24m、短軸 0.40m 前後、深さは 0.09m である。埋土は 1 層で、土師器無台碗・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD506 (図版 30・36・75、写真図版 91・92)

15G-6B20・25、6C16・21・22、7C1・2・8～10・15、7D11 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-53° -W)、SE500・511・586、SD503 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.57m、深さは 0.25m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・杯蓋・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD508 (図版 30・46・75、写真図版 30・91・92)

15G-6C11・16～18・22～24、7C3～5・10、7D1・6・7・12 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-54° -W)、SK611、SD503・509 に切られる。SE785 と隣接するが、切り合い関係は不明。確

認面で最大幅0.55m、深さは0.25m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している(図版191)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD509 (図版30・36・58・75、写真図版49・92)

15G-6C4・5・9・14・19・23・24、6D1、7C3・4・8・9に位置する遺構である。軸方向は北～南に延び(N-8°-E)、湾曲して東～西に流れる。SE1617とSK510に切られ、SD508を切る。確認面で最大幅1.00m、深さは0.39m前後である。断面形は台形状で、埋土は3層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台椀・長甕、中世の土師器皿、石製品(砥石)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SD512 (図版29・58・70・75、写真図版80)

15G-7A25、7B3・7・8・11・12・16・17・21、8A5に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-33°-E)、SX408とSD514に切られる。SD407と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.74m、深さは0.15m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、石製品(砥石・磨石)、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD514 (図版29・61・70・75、写真図版80)

15G-7A19・20・24・25、7B2・3・8・12・13・16～18・21・22に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-42°-E)、湾曲して北西～南東に流れる。SX408に切られ、SD512を切る。確認面で最大幅1.55m、深さは0.21m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・鉢・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、軽石製石製品、鍛冶関連遺物(鍛冶滓・羽口・炉壁)が出土している(図版191)。出土土器から古代の遺構とした。

SD518 (図版29・46・74、写真図版30・89)

15G-8B7・8・13・14・18・19に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-39°-W)。SE813に切られ、SK3063とSD413・419を切る。確認面で最大幅0.80m、深さは0.25m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、土製品、鍛冶関連遺物(羽口)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD525 (図版31・75、写真図版92)

15G-8C17・18・23～25に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び(N-63°-W)、SX2032に切られる。確認面で最大幅0.55m、深さは0.29m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼片口鉢が出土していることから、中世の遺構とした。

SD535 (図版31・75、写真図版93)

15G-9C2・3・7～9・13・14に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-42°-W)、SD1072を切る。SX534、SD931と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は台形状である。確認面で最大幅0.35m、深さは0.17m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯・有台杯・鉢・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀が出土している(図版191)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD539 (図版30・31・59～61・74・75、写真図版51・52・90)

15G-7B10、7C6・11～14・19・20・25、7D21、8C14・19に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-61°-W)、東～西に流れる。SK568、SD486・553に切られ、SK585、SD1729を切る。SD1181と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.57m、深さは0.16m前後を測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕、金属製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SD546 (図版31・75、写真図版93)

15G-8C25、9C5に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-28°-E)、SE547に切られる。SK545

と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.26m、深さは 0.11m 前後である。埋土は 1 層で、土師器小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD553 (図版 30・75、写真図版 93)

15G-7C13・17・18 に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び (N-39° -E)、SD486・539 を切る。SD495 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.14m 前後である。土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD566 (図版 30・75、写真図版 93)

15G-8C4・9 に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる (N-16° -E)。SK559・567 に切られ、SE557 を切る。SK560 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.36m、深さは 0.08m 前後である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD569 (図版 31・75、写真図版 93・94)

15G-8D11・12 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-73° -W)。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.52m、深さは 0.12m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD570 (図版 31・75、写真図版 94)

15G-8D11～13・17・18 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-70° -W)、SK1116 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.12m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土している (図版 191)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD584 (図版 30・76、写真図版 94)

15G-7C19・24 に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び (N-20° -E)、SD486 を切る。確認面で長軸 1.84m、短軸 0.41m、深さは 0.12m である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD609 (図版 29・30・65・76、写真図版 94)

15G-7B18・19・24・25、8B5、8C1・6・7 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-50° -W)、SE433、SK422・423・528、SX408 に切られる。SK769・1725 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は台形状である。確認面で最大幅 1.24m、深さは 0.26m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物が出土している (図版 191)。出土土器から古代の遺構とした。

SD803 (図版 29・76、写真図版 89)

15G-8B6・7・12 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-40° -W)、SD420 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.38m、深さは 0.19m 前後である。埋土は 1 層で、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD896 (図版 30・58・76、写真図版 49・94・95)

15G-7C22、8C2・3・7・8 に位置する遺構である。軸方向は北～南に延び (N-5° -W)、SK529・531・743 に切られる。SX564、SD484 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.69m、深さは 0.23m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、石製品 (砥石) が出土している (図版 191・259)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD931 (図版 31・76、写真図版 95)

15G-9C8・13 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び (N-28° -E)、SD411 に切られる。SD535 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.26m、深さは 0.10m 前後あり、埋土は 1 層で、土師器無台碗・長甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1072 (図版 31・76、写真図版 95)

15G-8C24・25、8D16・17・21、9C2～5・7・8に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び(N-64°-E)、SE536・547とSD535に切られる。SX534、SD1729・2022と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.46m、深さは0.27m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1138 (図版 31・71・76、写真図版 82・83)

15G-10C12・13・17～20・24・25に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び(N-64°-W)、SX1200・1238を切る。SD1248と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は半円状である。確認面で最大幅0.93m、深さは0.25m前後である。埋土は1層で、古代の須恵器無台杯・大甕、土師器長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿、石製品(磨石)が出土していることから、中世の遺構とした。

SD1150 (図版 30・76、写真図版 95)

15G-7D6・11に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-19°-E)、SE586に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.35m、深さは0.06m前後である。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1181 (図版 30・76、写真図版 95)

15G-7C25、7D21に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる(N-11°-E)。SD486・539と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は台形状である。確認面で最大幅0.44m、深さは0.18m前後である。須恵器長頸瓶が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1194 (図版 31・76、写真図版 96)

15G-9C18・22・23、10C2・3・7に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-25°-E)。SD1219と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.52m、深さは0.16m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器有台杯、土師器無台碗・長甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1213 (図版 31・63・76、写真図版 60・96)

15G-9D12・13・16・17・21・22、10C5・10・14・15、10D1に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び(N-33°-E)、SK1268、SD1247・1258とSB9を構成するPit1260を切る。断面形は台形状である。確認面で最大幅0.52m、深さは0.29m前後である。埋土は1層で、古代の須恵器無台杯・有台杯、土師器長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿、土製品、石製品(磨石)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1219 (図版 31・76、写真図版 96)

15G-10C2・3・7・8に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び(N-29°-E)、湾曲して北西～南東に流れる。SD1194と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.33m、深さは0.08m前後である。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1239 (図版 31・63、写真図版 62)

15G-9D2・3・7～9に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-75°-W)、SK1342に切られる。確認面で最大幅0.54m、深さは0.40m前後である。断面形は台形状で、埋土は3層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台碗・長甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1247 (図版 31・46・76、写真図版 96・97)

15G-9D16・17・22～24、10D4・5に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-63°-W)、SD1213に切られる。確認面で最大幅0.86m、深さは0.23m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼壺R種、土師器皿、軽石製石製品が出土している(図版192)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1248 (図版 31・71、写真図版 82)

15G-10C19・20・24 に位置する遺構で、SX1238 を切る。SD1138 と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で深さは 0.42m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼壺 T 種、石製品（磨石）が出土していることから、中世の遺構とした。

SD1258 (図版 31・76、写真図版 97)

15G-10C10、10D6 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-56° -W)、SK1227 と SD1213 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.25m、深さは 0.04m 前後である。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1375 (図版 31・76、写真図版 97)

15G-8D23、9D3・4 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-69° -W)。確認面で最大幅 0.28m、深さは 0.25m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している (図版 192)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD1384 (図版 31・76、写真図版 97)

15G-8E16・17 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-62° -W)、SK1387 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.23m、深さは 0.20m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器長頸瓶、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1391 (図版 31・76、写真図版 98)

15G-9E6・7・12 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-44° -W)、SE1244 に切られる。確認面で最大幅 0.35m、深さは 0.18m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 3 層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1392 (図版 31・76、写真図版 98)

15G-8E16・21～23 に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる (N-86° -W)。SE1337 と SK1408 に切られ、SD1433 と SB10 を構成する Pit1335 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.89m、深さは 0.16m 前後である。埋土は 1 層で、古代の土師器無台椀・長甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1394 (図版 31・76、写真図版 98)

15G-8E22 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-34° -W)。断面形は台形状である。確認面で長軸 0.96m、短軸 0.30m、深さは 0.06m である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD1407 (図版 31・76、写真図版 98)

15G-8D15・20、8E11・16 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-75° -W)。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.29m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1414 (図版 31・76、写真図版 99)

15G-8D15・20・24・25、9D4 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び (N-20° -E)、SE1283 と SX1352 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.15m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、石製品（台石）が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1433 (図版 31・76、写真図版 99)

15G-8E16・17・22 に位置する遺構である。軸方向は北～南に延び (N-18° -W)、SD1392 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.37m、深さは 0.06m 前後である。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1447 (図版30・77、写真図版99)

15G-7D15、7E11・16～18・22・23に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-57°-W)、SE385・1517に切られる。確認面で最大幅0.90m、深さは0.16m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。古墳時代の土師器高杯、古代の須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀、中世の土師器皿、土製品、石製品(叩石)が出土している(図版192)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1449 (図版30・50、写真図版100)

15G-7E21・22、8E1・6に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-23°-E)、SE1454・1590に切られる。確認面で最大幅0.88m、深さは0.34m前後である。断面形は台形状で、埋土は3層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、中世の土師器皿、石製品が出土していることから、中世の遺構とした。

SD1459 (図版31・77、写真図版100)

15G-9D5、9E1に位置する遺構で、軸方向は東～西に延び(N-71°-W)、SE1283に切られる。確認面で最大幅0.52m、深さは0.17m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1476 (図版30・77、写真図版100)

15G-7E18・19に位置する遺構で、軸方向は東～西に延び(N-80°-W)、SE301に切られる。確認面で最大幅0.64m、深さは0.27m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器大甕、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1505 (図版30・48・77、写真図版33・100)

15G-7D20・25、8D5に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-18°-E)、SE1504に切られる。確認面で最大幅0.40m、深さは0.20m前後である。断面形は台形状で、埋土は3層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器長甕、中世の珠洲焼壺R種、土師器皿、石製品が出土していることから、中世の遺構とした。

SD1521 (図版30・39、写真図版22・87)

15G-6E19・20・25、6F21に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-60°-W)、SD354に切られる。確認面で最大幅0.59m、深さは0.15m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。土師器無台椀・長甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1524 (図版30・77、写真図版101)

15G-7E22～24に位置する遺構である。軸方向は東～西に延び(N-82°-W)、SK1541に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.53m、深さは0.11m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1543 (図版30・77、写真図版99)

15G-7E11に位置する。軸方向は北西～南東に延び(N-50°-W)、SE385・1517に切られる。確認面で最大幅0.64m、深さは0.19m前後である。断面形は台形状で、埋土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

SD1559 (図版30・77、写真図版101)

15G-6E21・22に位置する。軸方向は北西～南東に延び(N-68°-W)、SE375に切られる。断面形は半円状である。確認面で長軸0.98m、短軸0.30m、深さは0.15mである。埋土は1層で、遺物は出土していない。

SD1562 (図版30・37・56、写真図版43・45・86)

15G-6E9・10、6F6・7・11・12に位置する遺構で、SD117と平行し、軸方向は北西～南東に延び(N-78°-W)。SK157・256(SB4)・1660、SD117に切られる。確認面で最大幅0.38m、深さは0.25m前後である。断面形は半円状で、埋土は1層である。古代の土師器長甕・小甕、中世の青磁椀、石製品(磨石)が出土していることから、中世の遺構とした。

SD1604 (図版 30・77、写真図版 101)

15G-6D21・22、7D1・2 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-32° -W)、SE1602 に切られる。確認面で最大幅 0.80m、深さは 0.35m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 4 層に分かれる。古代の土師器長甕・小甕、中世の珠洲焼甕が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1627 (図版 30・51、写真図版 36)

15G-6D9・10・14・15 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-76° -W)、SE1616 に切られる。確認面で長軸 1.50m、短軸 0.58m、深さは 0.37m である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。古代の土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼甕が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1630 (図版 30・32・77、写真図版 101)

15G-5E25、6E5 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる (N-20° -E)。確認面で最大幅 0.42m、深さは 0.13m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1646 (図版 30・77、写真図版 102)

15G-6D9・13・14 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる (N-23° -E)。断面形は半円状である。確認面で長軸 2.38m、短軸 0.20m、深さは 0.05m である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD1673 (図版 30・65・77、写真図版 67・102)

15G-6D3・4・8～10 に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる (N-74° -W)。SE1617 と SK1670 に切れ、SD1714 を切る。確認面で最大幅 0.84m、深さは 0.34m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器大甕、土師器無台碗・長甕、中世の土師器皿が出土していることから、中世の遺構とした。

SD1687 (図版 28・77、写真図版 102)

15G-5E13 に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる (N-70° -E)。断面形は台形状で、SK1649 に切られる。確認面で最大幅 0.32m、深さは 0.12m 前後である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD1689 (図版 28・77、写真図版 79・80)

15G-5D13・14・18・19 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-43° -W)、SX109 を切る。確認面で最大幅 0.83m、深さは 0.40m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1694 (図版 28・36・77、写真図版 102)

15G-4D25、4E21、5E1・2 に位置し、軸方向は北西～南東に延びる (N-50° -W)。断面形は皿状である。確認面で長軸 4.03m、短軸 0.68m、深さは 0.12m である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕、軽石製石製品が出土している。出土遺物から古代の遺構とした。

SD1714 (図版 28・30・65・77、写真図版 68・103)

15G-6D3・4 に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び (N-35° -E)、SK1715 と SD117・1673 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.44m、深さは 0.13m 前後である。埋土は 1 層で、土師器無台碗・長甕、土製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1729 (図版 31・77、写真図版 97)

15G-8C9・14・15・20、8D16・21・22、9D2 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-52° -W)。SK550・993・1114、SX564、SD539 と SB9 を構成する Pit1303 に切られる。SD1072・2019・2022 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状である。確認面で長軸 0.29m、深さは 0.06m である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1736 (図版 32・77、写真図版 69)

15G-5F21・22 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-54° -W)、SK1732 に切られる。断面

形は皿状である。確認面で最大幅0.37m、深さは0.10m前後である。埋土は1層で、土師器長甕・鉢が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1737 (図版30・77、写真図版103)

15G-5F21・22、6F2・3・8に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-50°-W)、SD1952を切る。確認面で最大幅1.20m、深さは0.42m前後である。断面形は台形状で、埋土は3層に分かれる。古代の須恵器大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋・鉢、中世の珠洲焼壺T種、土師器皿、土製品、石製品(砥石・磨石・台石)、金属製品(釘)が出土している(図版259)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1747 (図版32・53・66・78、写真図版38・69・103)

15G-5F18・22～24に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-68°-W)。SE1754に切られ、SK1740とSD1952を切る。確認面で最大幅0.78m、深さは0.66m前後である。断面形は台形状で、埋土は5層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼壺T種、土師器皿、石製品(磨石)が出土していることから、中世の遺構とした。

SD1771 (図版32・78、写真図版104)

15G-5F4・5、5G1に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-67°-W)。SD1812と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.40m、深さは0.30m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器大甕、土師器長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1772 (図版32・78、写真図版104)

15G-4F25、5F5、5G1に位置する。軸方向は北西～南東に延び(N-60°-W)、SK1773に切られる。確認面で最大幅0.29m、深さは0.08m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SD1777 (図版33・78、写真図版104)

15G-4G11・12・17・18に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-62°-W)。SE1774、SK1916に切られ、SK1961を切る。確認面で最大幅0.46m、深さは0.09m前後である。断面形は皿状で、埋土は1層である。土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1778 (図版33・78、写真図版104)

15G-3G22・23、4G2・7・12に位置する遺構で、軸方向は北～南に延び(N-16°-E)、SD1779に切られる。SD2006と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.51m、深さは0.15m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土している(図版192)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD1779 (図版32・33・69・73・78、写真図版78・105)

15G-3F19・20・25、3G16・21～23、4G3に位置する。軸方向は北西～南東に延び(N-66°-W)、SE1780、SK1996、SX2017、SD1778を切る。SK1782と隣接するが、切り合い関係は不明である。遺構平面図では中世のSE1780を切るとしたが、他の遺構との切り合い関係や出土遺物から古代の遺構とした。断面形は台形状である。確認面で最大幅0.65m、深さは0.26m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯・大甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕が出土している(図版192)。

SD1781 (図版33・73・78、写真図版105)

15G-3E20、3G16～19・22～25、3H21に位置する遺構で、軸方向は東～西に延び(N-86°-W)、SX2017を切る。SD2006と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.60m、深さは0.09m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1812 (図版32・78、写真図版105・106)

15G-5F4・8・9・13・14に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-38°-E)、SD1847に切られる。

SD1771 と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅 0.64m、深さは 0.38m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の珠洲焼片口鉢、土師器皿、石製品（磨石）、鍛冶関連遺物（炉壁）が出土している（図版 192）。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1836（図版 32・67・78、写真図版 72・105）

15G-4E14・15・19・24、5E3・4・8 に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる（N-17° -E）。SK1765・1819・1881 に切られ、SD1902 を切る。SK1834 と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅 0.60m、深さは 0.12m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 2 層に分かれる。古代の土師器長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1837（図版 32・78、写真図版 76）

15G-5F13・18 に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び（N-31° -E）、SE1754、SD1935 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.33m、深さは 0.06m 前後である。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1847（図版 32・68・78、写真図版 75・76・105・106）

15G-5F8・12～15・17・18 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び（N-73° -W）、屈曲して北東～南西に流れる。SE1754 に切られ、SK1934、SD1812・1935 を切る。確認面で最大幅 0.83m、深さは 0.61m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器大甕・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼壺 T 種、土師器皿が出土している（図版 192）。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1869（図版 32・78、写真図版 106）

15G-4E24・25 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる（N-67° -W）。SB2-P1790 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.45m、深さは 0.37m 前後である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD1902（図版 32・78、写真図版 106）

15G-4E23～25、5E4・5 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び（N-70° -W）、SK1760 と SD1836 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.42m、深さは 0.14m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土している（図版 192）。出土遺物から古代の遺構とした。

SD1935（図版 32・78、写真図版 106）

15G-5F13・14・18・19 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる（N-60° -W）。SX1805 と SD1847 に切られ、SD1837 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.51m、深さは 0.05m 前後である。埋土は 1 層で、土師器長甕・小甕、石製品（磨石）が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1950（図版 33・78、写真図版 107）

15G-3G2・3・7～10・13～15、3H11・16 に位置する遺構で、SD1994 と平行し、軸方向は北西～南東に延びる（N-66° -W）。確認面で最大幅 2.05m、深さは 0.50m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の珠洲焼壺 R 種・壺 T 種・甕・片口鉢、土師器皿、石製品（砥石・磨石）が出土していることから、中世の遺構とした。

SD1952（図版 32・79、写真図版 107）

15G-5F22・23、6F2・3 に位置する遺構で、軸方向は北～南に延び（N-11° -E）、SD1737・1747 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 1.02m、深さは 0.29m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器横瓶、土師器無台碗・長甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1962（図版 34・79、写真図版 107）

15G-2G17・22 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる（N-57° -W）。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.19m、深さは 0.21m 前後である。遺物は出土していない。

SD1963 (図版 34・79、写真図版 78)

15G-2G12・17に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-21°-E)、断面形は皿状である。確認面で最大幅0.73m、深さは0.10m前後である。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1967 (図版 34・79、写真図版 107)

15G-2F5・10、2G1・6～8・12～14に位置する遺構で、SD1969と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-61°-W)。SB1を構成するPit2217・2229に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅1.25m、深さは0.14m前後である。埋土は1層で、古代の須恵器有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の青磁碗が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1968 (図版 35、写真図版 107)

15G-2G14・15、2H11・16・17に位置する遺構で、SD1969と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-66°-W)。確認面で最大幅0.75mである。土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1969 (図版 34・35・79、写真図版 107)

15G-1G21、2G1～3・7～10・15、2H11・12・17に位置する遺構で、SD1967・1968・1970と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-65°-W)。確認面で最大幅0.54m、深さは0.23m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1970 (図版 34・79、写真図版 107)

15G-1G21・22、2G1～3・8・9に位置する遺構で、SD1969・1971と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-60°-W)。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.56m、深さは0.09m前後である。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1971 (図版 34・79、写真図版 107)

15G-1G16・17・21～24、2G3～5に位置する遺構で、SD1970・1973と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-64°-W)。SB1を構成するPit2099・2104に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅1.26m、深さは0.19m前後である。埋土は1層で、古代の土師器長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SD1973 (図版 34・79、写真図版 107)

15G-1G12・16～19・23～25に位置する遺構で、SD1971・1974と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-64°-W)。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.98m、深さは0.12m前後である。埋土は1層で、古代の土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、中世の珠洲焼片口鉢、土師器皿が出土していることから、中世の遺構とした。

SD1974 (図版 34・79、写真図版 107)

15G-1G12・13・17～20に位置する遺構で、SD1973と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-66°-W)。確認面で最大幅0.60m、深さは0.09m前後である。断面形は皿状で、埋土は1層である。土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1975 (図版 34・79、写真図版 107・108)

15G-1G2・3・7に位置する遺構で、断面形は皿状である。確認面で深さは0.06m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器長甕が出土している(図版 192)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD1978 (図版 34・79、写真図版 108)

15G-1F13・14に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-50°-W)。確認面で最大幅0.62m、深さは0.32m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕・鍋が出土している(図版 192)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD1985 (図版 32・79、写真図版 108)

15G-5F2 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-65° -W)。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.48m、深さは 0.08m 前後である。埋土は 1 層で、土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SD1994 (図版 33・78、写真図版 107)

15G-3G3・4・8～10、3H6・11 に位置する遺構である。SD1950 と平行し、軸方向は北西～南東に延びる (N-64° -W)。確認面で最大幅 0.67m、深さは 0.70m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 1 層である。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SD2006 (図版 33、写真図版 105)

15G-3G22 に位置し、軸方向は北東～南西に延びる (N-74° -E)。SK1782 に切られ、SX2017 を切る。SD1778・1781 と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅 0.17m である。遺物は出土していない。

SD2008 (図版 35・79、写真図版 108)

15G-1H17・18・22・23 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-39° -W)。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.29m、深さは 0.08m 前後である。埋土は 1 層で、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD2015 (図版 35・79、写真図版 108・109)

14G-10H6・7・12・13 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-61° -W)。確認面で最大幅 0.85m、深さは 0.34m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SD2019 (図版 31・79、写真図版 109)

15G-8D16・21 に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる (N-19° -W)。SD1729 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.32m、深さは 0.07m 前後である。遺物は出土していない。

SD2022 (図版 31・79、写真図版 109)

15G-8D21、9C5・10・15・20、9D1・6 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる (N-16° -E)。SD1072・1729 と隣接するが、切り合い関係は不明。SB8 を構成する Pit1104 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.48m、深さは 0.08m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

e 旧 河 道

河 82 (図版 29・31・58・79、写真図版 109)

調査区南西端に位置する。一部が検出されたのみで、全体の規模は不明である。南西壁で SK505 が河 82 を切っ
て検出している。埋土の堆積状況から中世以降の河跡と推定される。遺物は出土していない。

f 小 土 坑 (Pit)

1 区全体で 4556 基確認されている。このうち 19 基から柱根等の木質遺物を検出した。Pit は調査区全体に分布しているが、特に 15G-8D 周辺に集中している。掘立柱建物は 10 棟を確認したが、Pit の総数から他にも建物が存在した可能性が高い。

C 2 区 の 遺 構

1) 2 区 の 概 要

2 区は沖ノ羽遺跡の西端に位置し、幅 2m、長さ 150m の用排水路管埋設部分と、それに伴う施設部分として 4m×4m の 7 箇所を合わせた調査区である。調査区中央部分が高く標高 3.20～3.25m で、両端に向かって低くなる。遺構は中央部分で集中して検出され、SE 1 基、SK 30 基、SX 1 基、SD 49 条、Pit 108 基の計 189 基を検出した。一部の遺構から古墳時代の土器が出土したため下層を検討したが、明確な遺構確認面は検出できなかった。調査面積は上端面積 396.33m²、下端面積 320.7m² である。

2) 2区遺構各説

a 井 戸 (SE)

SE119 (図版91・93、写真図版116)

13B-9I24に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で現存長軸0.76m、短軸0.71m、深さ0.63mを測る。埋土は4層に分かれる。須恵器有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・鍋、黒色土器無台碗が出土している(図版203)。出土遺物から古代の遺構とした。

b 土坑 (SK)・性格不明遺構 (SX)

SK8 (図版89・93、写真図版117)

13C-5E3・4・8・9に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.09m、短軸0.65m、深さ0.13mを測る。埋土は2層に分かれる。土師器鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK15 (図版89・93、写真図版117)

13C-4E22、5E2に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.11m、短軸0.84m、深さ0.44mを測る。埋土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

SK17 (図版89・93、写真図版117)

13C-5E1に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.15m、短軸1.00m、深さ0.30mを測る。埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK24 (図版90・93、写真図版117)

13C-8A15、8B11・12に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で現存長軸0.52m、深さ0.17mを測る。埋土は2層に分かれる。古墳時代の土師器杯・甕、古代の須恵器無台杯・杯蓋・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土している(図版203)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK38 (図版90・93、写真図版118)

13C-8A5・10、8B1・6に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.53m、短軸0.32m、深さ0.36mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK39 (図版90・93、写真図版118)

13C-8A5、8B1に位置する遺構で、SD28に切られる。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸0.55m、短軸0.24m、深さ0.35mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK40 (図版90・93、写真図版118)

13C-8A10に位置する遺構で、SD30に切られる。平面形は方形、断面形は箱状である。確認面で現存長軸0.52m、深さ0.53mを測る。埋土は1層で、古墳時代の土師器甕、古代の須恵器無台杯、土師器小甕が出土している(図版203)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK41 (図版90・94、写真図版118)

13C-7B21、8B1に位置する遺構で、SD26に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.70m、深さ0.16mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器無台碗が出土している(図版203)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK43 (図版90・94、写真図版118・119)

13C-8A6に位置する遺構で、SK49を切る。平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.62m、短軸0.59m、深さ0.14mを測る。埋土は1層で、須恵器大甕、土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK44 (図版 90・94、写真図版 119)

13C-8B1 に位置する遺構で、SD26 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.83m、深さ 0.17m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK45 (図版 90・94、写真図版 119)

13C-8A6・11 に位置する遺構で、SD29 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.85m、深さ 0.15m を測る。埋土は 1 層で、須恵器有台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀が出土している (図版 203)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK46 (図版 90・94、写真図版 120)

13C-8A12 に位置する遺構で、SD33 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.66m、短軸 0.51m、深さ 0.39m を測る。須恵器無台杯・有台杯・横瓶、土師器長甕・小甕が出土している (図版 203)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK49 (図版 90・94、写真図版 118・119)

13C-8A6・7 に位置する遺構で、SK43 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.75m、短軸 0.60m、深さ 0.15m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台椀・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK53 (図版 90・94、写真図版 120)

13C-8A9 に位置する遺構である。SK55 と SD54 に切られ、SK182・186、SD187 を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.15m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK55 (図版 90・94、写真図版 120)

13C-8A8・9・14 に位置する。SD54 に切られ、SK53・57、SD181 を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.18m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古墳時代の土師器杯、古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している (図版 203)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK57 (図版 90・94、写真図版 120)

13C-8A8・9・13・14 に位置する遺構である。SK55・58 に切られ、SD152 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.15m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK58 (図版 90・94、写真図版 120)

13C-8A8・9・13・14 に位置する遺構で、SK57 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.64m、短軸 0.31m、深さ 0.18m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK83 (図版 90・94・96、写真図版 120)

13C-8A12 に位置する遺構で、SD33 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.67m、短軸 0.60m、深さ 0.20m を測る。埋土は 1 層で、須恵器長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕、土製品 (土鍾) が出土している (図版 203)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK104 (図版 90・94、写真図版 120)

13C-8A8 に位置する遺構で、SX180 と SD152 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.60m、深さ 0.14m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器長甕が出土している (図版 203)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK106 (図版90・91・94、写真図版121)

13B-9J7・12に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で現存短軸0.69m、深さ0.09mを測る。埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK114 (図版90・91・94、写真図版121)

13B-9J11に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.56m、短軸0.40m、深さ0.11mを測る。埋土は1層で、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK121 (図版91・95、写真図版121)

13B-10I10に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で現存長軸0.54m、短軸0.30m、深さ0.34mを測る。埋土は3層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK127 (図版91・95、写真図版121)

13B-10I6・11に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で短軸0.98m、深さ0.40mを測る。埋土は4層に分かれる。土師器無台椀・長甕、軽石製石製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SK137 (図版91・95)

13B-10H19に位置する遺構で、SD156を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.18m、深さ0.32mを測り、埋土は3層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀、軽石製石製品が出土している(図版203)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK172 (図版92・95、写真図版121)

14B-1F25、1G21、2F5、2G1に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.60m、短軸0.33m、深さ0.17mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK173 (図版92・95、写真図版122)

14B-2E25に位置する遺構で、SK174を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で短軸0.88m、深さ0.14mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している(図版203)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK174 (図版92・95、写真図版122)

14B-2E24・25に位置する遺構で、SK173に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸1.03m、深さ0.11mを測る。埋土は1層で、遺物は出土していない。

SK182 (図版90・95、写真図版122)

13C-8A4・9に位置する遺構で、SK53に切られる。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.73m、短軸0.49m、深さ0.31mを測る。古墳時代の土師器甕、石製品(磨石)が出土している。切り合い関係と出土遺物から古墳時代の遺構とした。

SK184 (図版92・95、写真図版122)

14B-1G18に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.96m、深さ0.18mを測る。埋土は1層で、須恵器有台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK186 (図版90、写真図版120)

13C-8A9に位置する遺構で、SK53とSD54に切られる。平面形は楕円形である。確認面で長軸0.55m、短軸0.47mを測る。古墳時代の土師器杯が出土している。切り合い関係と出土遺物から古墳時代の遺構とした。

SX180 (図版90・94、写真図版120)

13C-8A8・9に位置する遺構で、SK104に切られる。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

c 溝 (SD)

SD20 (図版 89・95、写真図版 122)

13C-7B14・15 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-67° -W)。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.38m、深さは 0.15m 前後である。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器長甕・小甕、軽石製石製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SD26 (図版 90・94・95、写真図版 119)

13C-8B1・6 に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる (N-10° -W)。SK44 に切られ、SK41、SD27・28 を切る。確認面で最大幅 0.58m、深さは 0.20m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、石製品、鍛冶関連遺物が出土している (図版 203・204)。出土土器から古代の遺構とした。

SD27 (図版 90・95、写真図版 119)

13C-8B6・7 に位置する遺構で、軸方向は東～西に延び (N-87° -W)、SD26 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.30m、深さ 0.10m 前後である。埋土は 1 層で、土師器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SD28 (図版 90・93・94、写真図版 118・119)

13C-7A25、7B21、8A5、8B1 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-31° -W)。SD26 に切られ、SK39 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.43m、深さ 0.11m 前後である。埋土は 1 層で、古墳時代の土師器杯、古代の須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している (図版 204)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD29 (図版 90・94・95、写真図版 119)

13B-8J10・15、13C-8A1・6・11・12・16・17・21 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-30° -W)、SK45 と SD100 を切る。確認面で最大幅 1.92m、深さは 0.40m である。断面形は半円状で、埋土は 4 層に分かれる。古墳時代の土師器甕、古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋・鉢、黒色土器無台椀、土製品 (土錘) が出土している (図版 204)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD30 (図版 90・93・96、写真図版 118・122・123)

13C-8A5・10 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-30° -W)。SD31 に切られ、SK40 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.29m、深さ 0.08m 前後である。埋土は 1 層で、古墳時代の土師器甕、古代の須恵器無台杯・有台杯、土師器無台椀・長甕が出土している (図版 204)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD31 (図版 90・96、写真図版 122・123)

13C-8A10、8B6 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び (N-37° -E)、SD30 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.44m、深さ 0.09m 前後である。埋土は 1 層で、石製品 (砥石) が出土していることから、古代の遺構とした。

SD32 (図版 90・96、写真図版 120)

13C-8A12・13 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-26° -W)、SD33 に切られる。確認面で最大幅 0.45m、深さは 0.29m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕、土製品 (土錘) が出土している (図版 204・256)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD33 (図版 90・94、写真図版 120)

13C-8A12・13・17・18 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-63° -W)。SD32 を切り、SK46・83 に切られる。確認面で最大幅 0.73m、深さは 0.21m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕・鍋、土製品 (土錘) が出土している (図版 204・256)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD42 (図版 90・94・96、写真図版 120・123)

13C-8A8・13 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-34° -W)、SD152 を切る。確認面で最大幅 0.34m、深さは 0.34m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。古墳時代の土師器甕、古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器長甕・小甕、土製品 (土錘)、鍛冶関連遺物が出土している (図版 204・256)。出土土器から古代の遺構とした。

SD54 (図版 90・94、写真図版 120)

13C-8A8・9 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-58° -W)、SK53・55・186 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.63m、深さは 0.08m 前後である。埋土は 1 層で、古墳時代の土師器杯・甕、古代の須恵器無台杯・大甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕が出土している (図版 204)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD59 (図版 90・91・96、写真図版 123)

13B-9J6・11・12 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-44° -W)、SD96 を切る。確認面で最大幅 0.96m、深さは 0.12m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 2 層に分かれる。古墳時代の土師器杯、古代の土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗が出土している (図版 204)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD60 (図版 91・96、写真図版 123)

13B-9I20 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-51° -W)、SD97 に切られる。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.22m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・蓋・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、石製品 (砥石)、鍛冶関連遺物が出土している (図版 204)。出土土器から古代の遺構とした。

SD96 (図版 90・91・96、写真図版 123)

13B-9J12 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-69° -W)、SD59 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.08m 前後である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD97 (図版 91・96、写真図版 123)

13B-9I20、9J16 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-73° -W)、SD60 を切る。確認面で最大幅 0.75m、深さは 0.19m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD99 (図版 90・96、写真図版 123・124)

13B-8J20・25、13C-8A16・21 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-65° -W)、SD100 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.31m、深さ 0.14m 前後である。埋土は 1 層で、土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD100 (図版 90・96、写真図版 124)

13C-8A16・21 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び (N-18° -E)、SD29・99 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.39m、深さは 0.10m 前後である。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD126 (図版 91・96、写真図版 124)

13B-10I6・7 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-56° -W)。確認面で最大幅 0.51m、深さは 0.31m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 4 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鉢が出土している (図版 205)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD128 (図版 91・95・96、写真図版 121・124)

13B-10H10、10I6・11 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-36° -W)。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.23m、深さ 0.15m 前後である。埋土は 1 層で、土師器無台碗が出土していることから、古代

の遺構とした。

SD129 (図版 91・96、写真図版 124)

13B-10H15、10I11 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-50° -W)。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.35m、深さは 0.12m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SD130 (図版 91・96、写真図版 124・125)

13B-10H15 に位置する遺構で、軸方向は北～南に延び (N-0° -S)、SD131 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.20m、深さは 0.07m 前後である。埋土は 1 層で、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD131 (図版 91・96、写真図版 125)

13B-10H14・15・19・20 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-58° -W)、SD130・156 を切る。確認面で最大幅 0.71m、深さは 0.19m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台碗・長甕が出土している (図版 205)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD141 (図版 92・96、写真図版 125)

14B-1G21・23、2G1～3 に位置する古代の遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-60° -W)、SD142 に切られる。確認面で最大幅 0.59m、深さ 0.19m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。南西側に SD153・154 が続いている。検出の際に別遺構として設定したが、軸方向等から同一遺構の可能性が高い。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD142 (図版 92・96、写真図版 125)

14B-1G22・23、2G2 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び (N-37° -E)、SD141 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.23m、深さは 0.10m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD143 (図版 91・96、写真図版 125・126)

13B-10H18・19・23 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び (N-27° -E)、SD144 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.19m、深さは 0.10m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD144 (図版 91・96、写真図版 125・126)

13B-10H18・23 に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる。(N-13° -E)。SD162 に切れ、SD143 を切る。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.21m、深さは 0.10m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯が出土していることから、古代の遺構とした。

SD147 (図版 92・97、写真図版 126)

14B-2F9 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-45° -W)。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.34m、深さは 0.20m 前後である。埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD148 (図版 92・97、写真図版 126)

14B-2F4・9・10 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-50° -W)。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.48m、深さは 0.21m 前後を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕が出土している (図版 205)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD149 (図版 92・97、写真図版 126)

14B-2F4・5・10 に位置する遺構で、軸方向は南東～北西に延びる (N-44° -W)。確認面で最大幅 0.32m、深

さは0.28m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD150 (図版92・97、写真図版126・127)

14B-2F4・5に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-63°-W)。断面形は台形状である。確認面で最大幅0.40m、深さは0.16m前後である。埋土は3層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕が出土している(図版205)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD151 (図版92・97、写真図版127)

14B-1F25、1G21、2G1に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-60°-W)。SD153と平行し、SD159を切る。確認面で最大幅0.39m、深さは0.14m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD152 (図版90・94、写真図版120)

13C-8A8に位置する遺構で、軸方向は東～西に延び(N-85°-W)、SK57・104とSD42に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.45m、深さは0.09m前後である。埋土は1層で、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD153 (図版92・97、写真図版127)

14B-1F25、1G21に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-60°-W)。SD151・154と平行し、SD159を切る。確認面で最大幅0.36m、深さは0.15m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。SD154と共にSD141の延長の可能性が高い。須恵器無台杯・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD154 (図版92・97、写真図版127)

14B-1G21に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-60°-W)。SD153・158と平行し、SD159を切る。確認面で最大幅0.20m、深さは0.13m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。SD153と共にSD141の延長の可能性が高い。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している(図版205)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD155 (図版92・97、写真図版127・128)

14B-1G16・17・21・22に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-56°-W)。SD158と平行し、SD159に切られる。確認面で最大幅0.54m、深さは0.28m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・壺蓋、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している(図版205)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD156 (図版91・95・96、写真図版128)

13B-10H14・19に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-15°-E)、SK137とSD131に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.30m、深さは0.18m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD158 (図版92・97、写真図版127・128)

14B-1G16・21・22に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び(N-65°-W)、SD154・155と平行する。確認面で最大幅0.21m、深さは0.17m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD159 (図版92・97、写真図版127・128)

14B-1F25、1G21～23に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる(N-88°-W)。SD151・153・154に切られ、SD155を切る。確認面で最大幅0.71m、深さは0.10m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土している(図版205)。出土遺物か

ら古代の遺構とした。

SD160 (図版 91・97、写真図版 128)

13B-10H22、14B-1H2 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-50° -W)。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.61m、深さは 0.22m 前後である。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯が出土していることから、古代の遺構とした。

SD162 (図版 91・97、写真図版 129)

13B-10H17・18・22・23 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-72° -W)、SD144・163 を切る。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.34m、深さは 0.15m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯が出土している (図版 205)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD163 (図版 91・97、写真図版 129)

13B-10H17・22 に位置する。軸方向は北～南に延び (N-9° -E)、SD162 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.29m、深さは 0.15m 前後である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD165 (図版 91・97、写真図版 129)

13B-10H21・22、14B-1H1・2 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-50° -W)。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.18m 前後である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD166 (図版 91・97、写真図版 129)

14B-1H1 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-55° -W)。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.34m、深さは 0.26m 前後である。埋土は 2 層に分かれる。須恵器杯蓋が出土している (図版 205)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD170 (図版 92)

14B-1G13・14 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-39° -W)、湾曲して北東～南西に流れる。断面形は不明である。須恵器杯蓋、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD171 (図版 92・97、写真図版 128)

14B-1G23、2G3・4 に位置するで、軸方向は北西～南東に延びる (N-75° -W)。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.28m、深さは 0.09m 前後である。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・有台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD178 (図版 92・97、写真図版 130)

14B-2F11・12・17 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-53° -W)。確認面で最大幅 0.36m、深さは 0.20m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD179 (図版 92)

14B-2G2・3・7・8 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-75° -W)。断面形は不明である。確認面で最大幅 0.36m である。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD181 (図版 90、写真図版 120)

13C-8A8・9 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-35° -W)、SK55 に切られる。断面形は不明である。確認面で最大幅 0.26m である。須恵器無台杯、土師器長甕が出土している (図版 205)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD187 (図版 90、写真図版 120)

13C-8A4・9 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-35° -W)、SK53 に切られる。断面形は不明である。確認面で最大幅 0.27m である。遺物は出土していない。

d 小土坑 (Pit)

2区全体で108基確認されている。柱根は検出されなかった。調査区の中央付近に比較的集中して分布するが、調査区が狭小のため、建物跡等の構成は確認できなかった。

D 3区の遺構

1) 3区の概要

3区は2区の北東側に位置し、幅約2m、長さ約160mの用排水路部分と、約7m×22mの畑部分を合わせた調査区である。遺構総数は145基あり、その内訳はSK30基、SX6基、SD16条、Pit93基である。出土遺物からほとんどが古代の遺構と考えられる。畑部分の標高が最も高く3.40～3.50mで、用排水路部分の北西端と南東端に向かい低地になっている。遺構は畑部分を中心に検出した。調査面積は上端面積449.19m²、下端面積342.68m²である。

2) 3区遺構各説

a 土坑 (SK)・性格不明遺構 (SX)

SK81 (図版101・103、写真図版133)

14D-1G23に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸0.47m、短軸0.46m、深さ0.19mを測る。埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK84 (図版101・103、写真図版133)

14D-1G17に位置する遺構で、SK131を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.65m、短軸0.31m、深さ0.08mを測る。埋土は1層で、土師器無台碗・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK85 (図版101・103、写真図版133)

14D-1G12・13・17・18に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.72m、短軸0.41m、深さ0.10mを測る。埋土は1層である。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK86 (図版101・103、写真図版133)

14D-1G13に位置する遺構で、SK95とSD91を切る。平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.65m、短軸0.48m、深さ0.18mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK87 (図版101・103、写真図版134)

14D-1G13・14に位置する遺構で、SK95に切られる。SK133と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.72m、短軸0.53m、深さ0.13mを測る。埋土は1層で、須恵器有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土している (図版209)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK90 (図版101・103、写真図版134)

14D-1G13・17～19・23に位置する遺構で、SK121・131、SD82に切られ、SK95を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸2.41m、短軸2.19m、深さ0.22mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器無台碗・有台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、土製品、軽石製石製品が出土している (図版209・261)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK94 (図版101・103、写真図版134)

14D-1G13に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.86m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器長甕が出土している (図版209)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK95 (図版 101・103、写真図版 134)

14D-1G13・18 に位置する遺構で、SK86・90 に切られ、SK87 を切る。平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.83m、短軸 0.68m、深さ 0.10m を測る。埋土は 1 層で、須恵器有台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK96 (図版 101・103、写真図版 134)

14D-1G19 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.53m、短軸 0.50m、深さ 0.23m を測る。埋土は 1 層である。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK97 (図版 101・103、写真図版 135)

14D-1G15・19・20 に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.53m、深さ 0.17m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK98 (図版 101・103、写真図版 135)

14D-1G14・15 に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.32m、短軸 0.61m、深さ 0.16m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している (図版 210)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK99 (図版 101・103、写真図版 135)

14D-1G15 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.64m、短軸 0.60m、深さ 0.32m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、石製品 (砥石) が出土している (図版 210)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK101 (図版 101・103、写真図版 135・136)

14D-1G9 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.70m、短軸 0.37m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層である。土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK103 (図版 101・103、写真図版 136)

14D-1G9・10 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.29m、短軸 0.45m、深さ 0.13m を測る。埋土は 1 層である。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、軽石製石製品が出土している (図版 210)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK108 (図版 101・103、写真図版 136)

14D-1G5、1H1 に位置する遺構で、SD106 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.42m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK109 (図版 101・104、写真図版 137)

14D-1H7 に位置する遺構で、SK141 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.17m、短軸 0.85m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK114 (図版 100・101・104、写真図版 137)

13D-10H19 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.17m、短軸 1.04m、深さ 0.15m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、鉄製品が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK116 (図版 100・106、写真図版 140)

13D-8G1・6 に位置する遺構で、SD68 に切られる。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で深さ 0.15m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK119 (図版 101・104、写真図版 137)

14D-1F25 に位置する遺構で、SX142 に切られる。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で現存長軸 1.13m、深さ 0.35m を測り、埋土は 3 層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK121 (図版 101・103、写真図版 134)

14D-1G18 に位置する遺構で、SK90 と SD82 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で短軸 0.54m、深さ 0.59m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK126 (図版 101・104、写真図版 137)

14D-1G14 に位置する遺構で、SD100 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.58m、短軸 0.42m、深さ 0.20m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK127 (図版 101・104、写真図版 136)

14D-1G5・10 に位置する遺構で、SD123 に切られる。SK129、SX105 と隣接するが、切り合い関係は不明である。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.02m、深さ 0.25m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK129 (図版 101・104、写真図版 136)

14D-1G5・10 に位置する遺構で、SD123 に切られる。SK127、SX105 と隣接するが、切り合い関係は不明である。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.01m、深さ 0.31m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK131 (図版 101・103・104、写真図版 138)

14D-1G17 に位置する遺構で、SK84 に切られ、SK90 と SD82 を切る。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.76m、短軸 0.52m、深さ 0.25m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している (図版 210)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK133 (図版 101・104、写真図版 138)

14D-1G13・14 に位置する。SK87 と隣接するが、切り合い関係は不明である。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で短軸 0.32m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK137 (図版 101・104、写真図版 138)

14D-1G20、1H16 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.73m、深さ 0.29m を測る。埋土は 1 層である。土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SK138 (図版 100・104、写真図版 138)

14D-1I7・8 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.68m、短軸 0.41m、深さ 0.29m を測る。埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK139 (図版 101・104、写真図版 138)

14D-1G23・24 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で現存長軸 0.44m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、須恵器大甕、土師器無台椀が出土している (図版 210)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK140 (図版 101・104、写真図版 138)

14D-1G23 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で深さ 0.35m を測る。埋土は

2層に分かれる。土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK141 (図版 101・104、写真図版 138)

14D-1H7に位置する遺構で、SK109に切られる。平面形は不整形、断面形は半円状である。確認面で短軸0.38m、深さ0.19mを測る。埋土は1層で、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SX71 (図版 100・105、写真図版 139)

13D-8G12・16～18・22・23に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸3.75m、深さ0.17mを測る。埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・大甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀・有台皿、土製品、金属製品(刀子)が出土している(図版 210・211・282)。出土土器から古代の遺構とした。

SX73 (図版 100・105、写真図版 139)

13D-9G4・5・10に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸3.44m、短軸3.21m、深さ0.15mを測る。埋土は2層に分かれる。須恵器長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している(図版 211)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX105 (図版 101・105、写真図版 136)

14D-1G10・15、1H1・6・11・12に位置する遺構で、SD123に切られ、SD106を切る。SK129と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不整形、断面形は半円状である。確認面で短軸2.33m、深さ0.28mを測り、埋土は3層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、土製品、石製品(砥石・軽石製石製品)が出土している(図版 211～213)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX117 (図版 100・105、写真図版 139)

13D-8G23、9G3に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.80m、深さ0.10mを測る。埋土は1層である。須恵器無台杯・有台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SX120 (図版 100・105、写真図版 139)

13D-9G3・4に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で現存長軸1.24m、深さ0.19mを測る。埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土している(図版 213)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX142 (図版 101・104、写真図版 137)

14D-1F20・25に位置する。SD77に切られ、SK119を切る。調査区北東壁を調査中に確認されたため、平面形は不明である。確認面で深さ0.20mを測り、断面形は皿状である。埋土は1層で、遺物は出土していない。

b 溝 (SD)

SD54 (図版 99・105、写真図版 140)

13D-5D20、5E16・21に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる(N-5°-E)。断面形は皿状である。確認面で最大幅1.22m、深さは0.12m前後である。埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、土製品、石製品(磨石)が出土していることから、古代の遺構とした。

SD66 (図版 100・105、写真図版 140)

13D-7F18・19・23・24に位置する遺構で、SD67と平行し、軸方向は北東～南西に延びる(N-53°-E)。確認面で最大幅0.46m、深さは0.20m前後である。断面形は台形状で、埋土は4層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している(図版 213)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD67 (図版 100・106、写真図版 140)

13D-7F19・24・25に位置する遺構で、SD66と平行し、軸方向は北東～南西に延びる(N-55°-E)。確認面で最大幅0.76m、深さは0.57m前後である。断面形は台形状で、埋土は4層に分かれる。須恵器無台杯、土師

器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD68 (図版 100・106、写真図版 140・141)

13D-8F10、8G6 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる (N-72° -E)。SD69 と平行し、SK116 を切る。確認面で最大幅 0.56m、深さは 0.15m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している(図版 213)。出土土器から古代の遺構とした。

SD69 (図版 100・106、写真図版 140・141)

13D-8F10、8G6 に位置する遺構で、SD68 と平行し、軸方向は北東～南西に延びる (N-80° -E)。確認面で最大幅 0.65m、深さは 0.18m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD74 (図版 100・106、写真図版 141)

13D-9H16・17・21・22 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び (N-61° -E)、SD113 を切る。確認面で最大幅 1.65m、深さは 0.46m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 5 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD77 (図版 101・104、写真図版 137)

14D-1F20・25、1G16 に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び (N-80° -E)、SX142 を切る。確認面で最大幅 1.05m、深さは 0.32m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土している(図版 214)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD78 (図版 101・106、写真図版 141)

14D-1G11・12・16・17・21・22、2G1・2・7 に位置する。SD80 と平行し、軸方向は北～南に延びる (N-10° -W)。確認面で最大幅 1.33m、深さは 0.23m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 3 層に分かれる。古墳時代の土師器甕、古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、土製品、石製品(砥石・磨石)、鍛冶関連遺物が出土している(図版 214)。出土土器から古代の遺構とした。

SD80 (図版 101・104・106、写真図版 138・141・142)

14D-1G12・17・22・23、1G2・3 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-22° -W)。SD78 と平行し、SD82 を切る。確認面で最大幅 0.70m、深さは 0.22m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している(図版 214)。出土土器から古代の遺構とした。

SD82 (図版 101・103・104、写真図版 134・138)

14D-1G17・18・23 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-61° -W)。SK121・131 と SD80 に切られ、SK90 を切る。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.22m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕が出土している(図版 214)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD91 (図版 101・103・106、写真図版 142)

14D-1G8・13 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-22° -W)、SK86 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.46m、深さは 0.17m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土している(図版 214)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD100 (図版 101・104・106、写真図版 137)

14D-1G4・9・14 に位置する。軸方向は北～南に延び(N-16° -W)、SK126 に切られる。確認面で最大幅 0.34m、深さは 0.20m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・

長甕・小甕が出土している（図版 214）。出土遺物から古代の遺構とした。

SD104（図版 101・106、写真図版 142）

14D-1G4・9 に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる（N-12° -W）。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.43m、深さは 0.08m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土している（図版 214）。出土遺物から古代の遺構とした。

SD106（図版 101・103・106、写真図版 136）

13D-10G25、14D-1G5、1H1・6 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる（N-25° -W）。SX105 に切られ、SK108 を切る。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.21m、深さは 0.14m 前後である。埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD113（図版 100・106、写真図版 141・142）

13D-9H11・16・17 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び（N-55° -W）、SD74 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.41m、深さは 0.19m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD123（図版 101・104・105、写真図版 136）

14D-1G5・10 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び（N-26° -W）、SK127・129、SX105 を切る。確認面で最大幅 0.53m、深さは 0.30m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

c 小 土 坑 (Pit)

93 基の Pit が確認された。調査区用排水路部分の北西側に多く分布している。柱根等は確認されなかった。3 区でも 2 区同様、調査区が狭小のため、建物跡等の構成は確認できなかった。

E 4 区 の 遺 構

1) 4 区 の 概 要

4 区は第 19 次調査 5 区東の南東側に位置し、約 2×5m のトレンチを約 25m 毎に設置した調査区である。南西側から 4 区 -1 とし、4 区 -10 まで設定した。19 次 5 区東同様、北東に向かって高くなる。調査面積が狭いため遺構は少なく、SD 2 条、Pit 1 基のほか、旧河道 1 基を検出した。調査面積は 10 箇所合計で上端面積 81.55m²、下端面積 48.42m² である。

2) 4 区 遺 構 各 説

a 溝 (SD)

SD2（図版 15、写真図版 145）

4 区 -3、14F-9F14・15・19・20 に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる（N-81° -W）。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.71m 前後、深さは 0.18m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕・鉢が出土している（図版 219）。出土遺物から古代の遺構とした。

SD3（図版 19、写真図版 146）

4 区 -10、13H-4E22、5E1・2 に位置する遺構で、断面形は皿状である。川幅は 1.25m 前後、深さは 0.43m 前後である。埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない

b 旧 河 道

河 1（図版 13、写真図版 144）

15F-1D8・9・13・14、3A10・15 に位置する旧河道である。4 区 -1・2 で検出した。南東側の壁面すべてが河 1 であったため、平面形・断面形ともに確認できなかった。遺物は出土していない。

c 小土坑 (Pit)

Pit4 (図版 19、写真図版 146)

4区-10、13H-5E3に位置する。平面形は確認できず、調査区南東壁を精査した際に検出した。遺物は出土していない。

第6節 第24次調査

A 遺構の概要

第24次調査では調査開始当初、1区から4区までを設定していたが、協議の結果3区は調査から除外された。しかし他の区ですでに調査が進んでいたため、調査区設定当初の区名で調査を進めることとした。また、2区では中央の用排水路で分けし、東地区と西地区を設定した。よって記述は1区→2区東→2区西→4区の順に行い、詳しい遺構の計測値等は別表3に示した。4区の記述はこの節で記したが、調査区が第19次調査5区東・第22次調査4区と隣接するため、遺構図版はこれらと共に掲載している(図版12～20)。主要な遺構の出土遺物の構成については別表12・13に示しており、遺構の記述では一部省略している。検出された遺構総数は4761基あり、内訳はSB12基、SE36基、SK196基、SX29基、SD169条、Pit4319基である。

B 1区の遺構

1) 1区の概要

1区は第22次調査1区の南東側約150mの位置にあり、幅約2m、長さ約130mの調査区である。遺構総数は17基と少なく、内訳はSK2基、SX1基、SD5条、Pit9基である。調査区は中央付近が最も高く標高4.00～4.10mで、両端に向かって低くなる。Pitについては建物等を構築するものが確認できなかったため、記載を省略する。調査面積は上端面積291.6m²、下端面積251.4m²である。

2) 1区遺構各説

a 土坑(SK)・性格不明遺構(SX)

SK1 (図版109・112、写真図版152)

16H-10G10、10H6に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で現存長軸1.25m、深さ0.08mを測る。埋土は1層である。遺物は出土していない。

SK13 (図版110・112、写真図版152)

17I-5B23に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸0.52m、短軸0.43m、深さ0.19mを測る。埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SX10 (図版110・112、写真図版152)

17I-4A25、5A4・5に位置する遺構で、平面形は不明、断面形は台形状である。確認面で短軸1.50m、深さ0.12mを測る。埋土は1層で、土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

b 溝(SD)

SD11 (図版110・112、写真図版152)

17I-5B11・12に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-63°-E)。断面形は半円状である。確認面で最大幅1.09m、深さは0.34m前後である。埋土は7層に分かれる。遺物は出土していない。

SD12 (図版110・112、写真図版153)

17I-5B12・17・18・22・23に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-25°-E)。確認面で最大幅1.46m、深さは0.18m前後である。断面形は皿状で、埋土は3層に分かれる。土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD15 (図版 111・112、写真図版 153)

17I-7C15・20・25 に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる (N-5° -E)。確認面で最大幅 1.15m、深さは 0.39m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 4 層に分かれる。遺物は出土していない。

SD16 (図版 111・112、写真図版 153)

17I-7D21、8D1～3・7 に位置する遺構で、断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.53m、深さは 0.11m 前後である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD17 (図版 111・112、写真図版 153・154)

17I-8D13・18～20・24・25 に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる (N-82° -W)。確認面で最大幅 1.49m、深さは 0.44m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 3 層に分かれる。遺物は出土していない。

c 小 土 坑 (Pit)

9 基を確認した。調査区北西端付近に集中する。柱根等は検出されなかった。

C 2 区東の遺構

1) 2 区東の概要

2 区は約 35m×80m の畑部分で、中央に用排水路が走る。この用排水路を挟んで北東側を 2 区東、南西側を 2 区西とした。2 区東の遺構総数は 2494 基と多く、その内訳は掘立柱建物 (SB) 7 棟、SE 12 基、SK 100 基、SX 13 基、SD 99 条、Pit 2263 基である。調査区中央には大型の溝状遺構 SD98 が伸び、その南西側で特に遺構の重複が激しい。2 区西にも同様の溝状遺構があり、この溝状遺構 2 条の間に遺構が集中している。2 区東からは一部で中世の遺物が出土しているが、出土遺物と層位的見解から遺構は概ね古代 (奈良・平安時代) であると考えられる。調査面積は 2 区全体で上端面積 2.694.9m²、下端面積 2506.1m² である。

2) 2 区東遺構各説

a 掘立柱建物 (SB)

SB1 (図版 117・142)

13F-1D25、1E21～23、2D5・10、2E1～3・6～8・11～13・16～18 に位置する。南西側が調査範囲外に延びるため、不明な部分を残すが、3 間 (8.02m)×2 間 (3.94m) を身舎とし、北側に 3 間 (5.22m)×1 間 (0.74m)、東側に 4 間 (8.04m)×1 間 (1.4m) の庇が付く総柱建物である。身舎平面積 28.84m²、庇部分を含めた平面積は 41.86m² となる。主軸は N-12° -W を示し、平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が 2.32～2.54m、梁行が 1.92～1.98m を測る。Pit の掘り方は円形が主体で、長径は 0.15～0.92m、深さは 0.30～0.75m を測る。SD144・163 (古代春日編年 V～VI 期) →本遺構→SD156 (中世) の構築順となり、SB1 を構成する Pit からは古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから古代の遺構と考えられる。Pit145 では胎土 B 群の須恵器無台杯口縁部が出土しており、春日編年 V～VI 期に位置付けられよう。

SB2 (図版 117・143)

13F-2E8～10・14・15・19・20・24・25、2F11・16・21 に位置する。南東側隅が SK208 に切られ、不明な部分を残すが、Pit409 が隅柱になると推定される。3 間 (5.32m)×2 間 (2.64m)、東側に 3 間 (5.12m)×1 間 (0.96m) の庇が付く側柱建物である。身舎平面積 14.04m²、庇部分を含めた平面積は 16.44m² 以上となる。主軸は N-12° -W を示し、平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が 1.60～1.90m、梁行が 2.62～2.64m を測る。Pit の掘り方は円形が主体で、長径は 0.28～0.62m、深さは 0.25～0.45m を測る。SB3 と一部重複するが、新旧関係は不明である。SB1 と同軸であること、構築順が SD204 (古代) →本遺構→SK208 (古代) となり、構成する Pit で古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕が出土しており、Pit353 で出土した土師器小甕 (図版 232) から春日編年 V～VI 期に位置付けられる。

SB3 (図版 117・137・143)

13F-2E18・19・23～25、3E4・5・9・10、3F6に位置する。主軸はN-25°-Wを示し、南西側は調査範囲外に延びる可能性がある。現状では4間(6.30m)×1間(2.38m)以上、平面形態長方形を呈する側柱建物であるが、北西側の柱間が狭く、北側に庇の付く総柱建物の可能性もある。平面積は14.99m²以上である。柱間寸法は桁行が1.34～3.00m、梁行が2.30～2.38mを測る。Pitの掘り方は円形が主体で、長径は0.21～0.63m、深さは0.20～0.48mを測る。SB2と一部が重複するが、新旧関係は不明である。構築順がSX929・958(古代春日編年Ⅲ～Ⅳ期)→本遺構→SD156(中世)となり、構成するPit228では春日編年Ⅴ～Ⅵ期に位置付けられる土師器小甕が出土していることから同時期の可能性が高い。

SB4 (図版 117・118・144)

13F-2F21・22、3E5・10・15、3F1・2・6～8に位置する2間(5.54m)×1間(2.38m)の側柱建物である。平面積は19.72m²で、平面形態は長方形を呈する。主軸はN-79°-Wを示す。柱間寸法は桁行が2.08～3.46m、梁行が3.56～3.62mを測る。Pitの掘り方は円形が主体で、長径は0.36～0.60m、深さは0.18～0.55mを測る。構築順はSX209・958(古代)→本遺構→SD225(中世)となる。平面図上では本遺構を構成するPit234がSD191(中世)を切る形になっているが、Pit281で胎土B群の須恵器無台杯口縁部が出土しており、主軸方向からもSB1・2と同時期の遺構と考えられる。

SB5 (図版 118・144)

13F-3F19・20・23～25、4F3～5・9に位置する。2間(4.3m)×2間(2.92m)の側柱建物で、平面積は12.56m²と小規模である。平面形態は長方形を呈し、主軸はN-40°-Eを示す。柱間寸法は桁行が南東側で1.86～2.44m、北西側は中間の柱が確認されず4.26mを測り、梁行が北東側で1.20～1.62m、南西側では棟持柱に相当するPitはなく2.92mを測る。Pitの掘り方は円形が主体で、長径は0.30～0.70m、深さは0.20～0.46mを測る。構築順はSE835、SK927・937、SD127・355・930(いずれも古代)→本遺構となる。SB6とも重複するが、直接の切り合い関係はなく新旧関係は不明である。構成するPit577で出土した土師器小甕(図版232)は春日編年Ⅲ～Ⅳ1期に位置付けられるが、同遺構では中世土師器皿も出土しており、中世の遺構と考えられる。

SB6 (図版 118・127・145)

13F-3F19・20・24・25、4F3～5に位置する2間(3.76m)×1間(2.38m)の側柱建物で、平面積は8.95m²と小規模である。平面形態は長方形を呈し、主軸はN-31°-Eを示す。柱間寸法は桁行が1.74～2.00m、梁行が2.32～2.38mを測る。Pitの掘り方は円形が主体で、長径は0.23～0.38m、深さは0.15～0.35mを測る。SE835、SK402・927、SD403(いずれも古代)→本遺構となる。構成するPitから須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕が出土しているが、切り合い状況と主軸方向から中世の遺構と考えられる。

SB7 (図版 118・145)

本調査区東端部の13F-1H17・22・23、2H1～4・7・8に位置する2間(3.24m)×1間(2.76m)の側柱建物である。平面積は8.94m²と小規模である。平面形態は長方形を呈し、主軸はN-42°-Wである。柱間寸法は桁行が3.24m、梁行が1.36～1.40mを測る。Pitの掘り方は円形が主体で、長径は0.19～0.61m、深さは0.10～0.55mを測る。他遺構との重複関係はないが、構成するPit752でロクロ成形の中世土師器皿が出土していることから、中世の遺構と考えられる。

b 井戸 (SE)

SE12 (図版 117・120、写真図版 155)

12F-10F10・15、10G6・11に位置する遺構で、SX3とSD11を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.47m、短軸1.40m、深さ1.02mを測り、埋土は8層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、石製品(叩石・台石)、木製品(部材片・棒状・板状・漆器碗・漆製品・箸状・柄杓)が出土している(図版277)。出土遺物から中世の遺構とした。4層で出土した種実について、加速器質量分析(AMS)

法により放射性炭素 (^{14}C) 年代測定を実施したところ、種子 11 が補正 ^{14}C 年代 (yrBP) で (700±20)、と推定された。暦年較正年代は 2σ : 1268 ~ 1300calAD、 1σ : 1276 ~ 1292calAD の歴年代幅を示す。

SE20 (図版 117・120、写真図版 155)

12F-10G7・11・12 に位置する遺構で、SX3、SD11・31 を切る。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 1.90m、短軸 1.83m、深さ 0.94m を測り、埋土は 10 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕・長頸瓶・壺蓋・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿、土製品 (紡錘車)、石製品 (磨石・台石)、木製品 (円板・炭化材)、鍛冶関連遺物 (炉壁・椀形鍛冶滓・鍛冶滓) が出土している (図版 256・261・277)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE65 (図版 117・121、写真図版 155・156)

12F-10F17 ~ 19・22 ~ 24 に位置する遺構で、SX18 に切られ、SD66 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 2.50m、短軸 2.42m、深さ 1.26m を測り、埋土は 6 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢・大甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼片口鉢、土製品、石製品 (叩石・台石)、木製品 (板状)、鍛冶関連遺物 (椀形鍛冶滓) が出土している (図版 220・256・283)。出土遺物から中世の遺構とした。本遺構で出土した種実について、加速器質量分析 (AMS) 法により放射性炭素 (^{14}C) 年代測定を実施したところ、種子 15 が補正 ^{14}C 年代 (yrBP) で (683±22) と推定された。暦年較正年代は 2σ : 1273 ~ 1306calAD、 1σ : 1279 ~ 1299calAD の歴年代幅を示す。

SE77 (図版 117・120、写真図版 156)

12F-10F19・20 に位置する遺構で、SD91 を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.26m、短軸 1.14m、深さ 1.10m を測り、埋土は 5 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕、木製品 (炭化材・板状・箸状)、鍛冶関連遺物 (炉壁) が出土している (図版 277)。出土土器から古代の遺構とした。

SE162 (図版 117・120、写真図版 156)

13F-1E14 に位置する遺構で、SD15 の底面で検出した。平面形は方形、断面形は箱状である。確認面で長軸 1.20m、短軸 1.00m、深さ 1.44m を測る。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕、石製品 (台石)、木製品 (円板) が出土している (図版 220・277)。出土遺物から古代の遺構とした。

SE203 (図版 117・120、写真図版 156)

13F-2F1・6 に位置する遺構で、SD128・243 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.00m、短軸 0.98m、深さ 0.85m を測り、埋土は 6 層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SE221 (図版 117・118・121・127・139、写真図版 156・157)

13F-3F12・13・17・18 に位置する遺構で、SK222・347・950、SD190・345・348・368 を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 2.36m、短軸 1.98m、深さ 0.94m を測り、埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀・有台皿、中世の土師器皿、石製品 (砥石)、木製品が出土している (図版 220・261)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE650 (図版 117・118・122、写真図版 157)

13F-2H2・3 に位置する遺構で、SD643 を切る。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.78m、短軸 0.73m、深さ 0.79m を測り、埋土は 3 層に分かれる。中世土師器皿が出土している (図版 220) ことから、中世の遺構とした。

SE654 (図版 118・122、写真図版 157)

13F-3G17・22・23 に位置する遺構で、SD404・405 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.74m、短軸 1.67m、深さ 0.59m を測り、埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、

土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、中世の土師器皿、鍛冶関連遺物（粘土質溶解物）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE704（図版 118・122、写真図版 157）

13F-3G9・10・14・15 に位置する遺構で、SK795 と SD636 に切られる。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.70m、深さ 0.65m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SE813（図版 117・118・122・131、写真図版 158・174）

13F-1G19・20・24・25 に位置する遺構で、SK849 と SX911 を切る。SD812 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は方形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.07m、短軸 1.05m、深さ 0.94m を測り、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の土師器皿が出土している（図版 220）。出土遺物から中世の遺構とした。

SE835（図版 118・122、写真図版 158）

13F-3F25、3G21、4F5、4G1 に位置する遺構で、SD403・404 と SB5 を構成する Pit584、SB6 を構成する Pit597 に切れ、SD924 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.90m、現存短軸 1.70m、深さ 0.62m を測り、埋土は 4 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕、石製品（磨石）、鍛冶関連遺物（炉壁）が出土している（図版 220）。出土土器から古代の遺構とした。

c 土坑 (SK)・性格不明遺構 (SX)

SK8（図版 117・123、写真図版 158）

12F-10G5 に位置する遺構で、SD6 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.63m、短軸 0.48m、深さ 0.22m を測る。埋土は 3 層で、須恵器横瓶が出土していることから、古代の遺構とした。

SK9（図版 117・123、写真図版 158）

12F-10G10、10H6 に位置する遺構で、SK10 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.56m、短軸 0.46m、深さ 0.27m を測る。埋土は 1 層で、須恵器大甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK10（図版 117・123、写真図版 158）

12F-10G10 に位置する遺構で、SK9 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.48m、短軸 0.42m、深さ 0.26m を測る。埋土は 1 層で、須恵器杯蓋、土師器小甕が出土している（図版 221）。出土遺物から古代の遺構とした。

SK40（図版 117・123、写真図版 158・159）

12F-10G23・24 に位置する遺構で、SD15 に切れ、SX940 を切る。平面形は不明、断面形は台形状である。確認面で短軸 0.81m、深さ 0.08m を測り、埋土は 2 層である。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK43（図版 117・123、写真図版 159）

12F-10G12・13・17 に位置する遺構で、SD31 に切れ、SD14 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.58m、深さ 0.08m を測り、埋土は 1 層である。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK63（図版 117・123、写真図版 159）

12F-10G22 に位置する遺構で、SD15 に切られる。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で短軸 0.43m、深さ 0.28m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕、石製品（叩石）が出土していることから、古代の遺構とした。

SK68 (図版 117・123、写真図版 183)

12F-9G17・18・22・23 に位置する遺構で、SD2 に切られる。平面形は不明、断面形は台形状である。確認面で短軸 1.03m、深さ 0.18m を測る。埋土は 1 層で、礫が 1 点出土している。

SK80 (図版 117・123、写真図版 159)

13F-1G6 に位置する。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.40m、深さ 0.09m を測り、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK81 (図版 117・123、写真図版 159・160)

13F-1F15、1G6・11 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.80m、短軸 0.51m、深さ 0.06m を測る。埋土は 2 層で、遺物は出土していない。

SK83 (図版 117・123、写真図版 160)

13F-1G6 に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.83m、短軸 0.43m、深さ 0.14m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、石製品(砥石)が出土していることから、古代の遺構とした。

SK88 (図版 117・123、写真図版 160)

13F-1F8・9 に位置する遺構で、SK89 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.71m、短軸 0.69m、深さ 0.14m を測る。埋土は 1 層で、須恵器大甕、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK89 (図版 117・123、写真図版 160)

13F-1F9・14 に位置する遺構で、SK88 に切られる。平面形は長方形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.72m、深さ 0.18m を測り、埋土は 2 層である。須恵器無台杯、土師器小甕・鍋が出土している(図版 221)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK121 (図版 117・124、写真図版 160)

13F-1G5 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.84m、現存短軸 0.60m、深さ 0.06m を測る。埋土は 1 層である。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK129 (図版 117・124、写真図版 160・161)

13F-2E6・7・11・12 に位置する遺構で、SD144 を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.47m、短軸 1.18m、深さ 0.18m を測る。埋土は 2 層で、古代の須恵器無台杯・杯蓋・鉢、土師器長甕・小甕、中世の白磁椀、土師器皿、石製品(磨石)が出土している(図版 221)。出土遺物から中世の遺構とした。

SK154 (図版 117・124、写真図版 161)

13F-2E14 に位置する遺構で、SD180 を切る。SD127 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.07m、短軸 0.95m、深さ 0.26m を測り、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器長頸瓶、土師器長甕・小甕、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK172 (図版 117・124、写真図版 161)

13F-1E3・4・8・9 に位置する遺構で、SD94 を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で深さ 0.46m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、石製品(台石)が出土している(図版 221)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK177 (図版 117・118・124、写真図版 161・162)

13F-2F3・7・8・12・13 に位置する遺構で、SD98 に切られ、SD128・511 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で短軸 2.35m、深さ 0.46m を測り、埋土は 4 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・

杯蓋・大甕・長頸瓶・壺蓋・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋・鉢、黒色土器無台碗、土製品（土錘）、石製品（台石）、鍛冶関連遺物（炉壁・椀形鍛冶滓・粘土質溶解物）が出土している（図版 221・222）。出土土器から古代の遺構とした。

SK178（図版 117・118・124、写真図版 161・162）

13F-2F8・9・14 に位置する遺構で、SD98 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.75m、短軸 1.37m、深さ 0.18m を測る。埋土は 1 層で、古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の青磁椀、土師器皿、土製品、軽石製石製品、鍛冶関連遺物（炉壁）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK198（図版 117・125、写真図版 185）

13F-1F7・8 に位置する遺構で、SD15 を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で現存短軸 0.53m、深さ 0.10m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK208（図版 117・118・125、写真図版 162）

13F-2F16・21 に位置する遺構で、SD190 に切られ、SB2 を構成する Pit409 を切る。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.98m、深さ 0.33m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK210（図版 117・118・125、写真図版 162）

13F-3F1・2・6・7 に位置する遺構で、SX209 に切られ、SX929 を切る。SD190 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.02m、深さ 0.14m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK215（図版 117・118・125、写真図版 162）

13F-2F24・25 に位置する遺構で、SD98 に切られる。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.89m、深さ 0.19m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・鉢が出土していることから、古代の遺構とした。

SK216（図版 117・118・126、写真図版 163）

13F-3F3・4 に位置する。SD211・225 に切られているため、平面形・断面形はいずれも不明である。確認面で長軸 0.79m、深さ 0.16m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK217（図版 117・118・126、写真図版 163）

13F-3F8 に位置する遺構で、SD225 に切られる。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.98m、短軸 0.77m、深さ 0.33m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK222（図版 117・118・121、写真図版 156・157）

13F-3F13 に位置する遺構で、SE221 と SD348 に切られる。SK950 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.36m、深さ 0.22m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK223（図版 117・118・126、写真図版 163）

13F-3F9・10 に位置する遺構で、SK895・907 を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.18m、短軸 0.50m、深さ 0.22m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋・仏鉢が出土していることから、古代の遺構とした。

SK224（図版 117・118・126・128、写真図版 163）

13F-3F11・12 に位置する遺構で、SK457、SD127・368 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。

確認で長軸 1.11m、短軸 1.06m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK226 (図版 117・118・126、写真図版 164)

13F-2F17・21・22 に位置する古代の遺構で、SD243 に切られる。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で現存長軸 1.29m、深さ 0.22m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕、鍛冶関連遺物(羽口・鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK227 (図版 118・126、写真図版 164)

13F-3F9・10・14・15 に位置する古代の遺構である。SK356、SD214 に切れ、SK907、SD348・358 を切る。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.81m、短軸 1.47m、深さ 0.34m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、石製品(砥石)、鍛冶関連遺物(炉壁・碗形鍛冶滓・鍛冶滓・粘土質溶解物)が出土している(図版 222)。出土土器から古代の遺構とした。

SK273 (図版 117・118・127、写真図版 164)

13F-2F12 に位置する古代の遺構で、SD243 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.58m、短軸 0.47m、深さ 0.10m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK290 (図版 117・118・136、写真図版 164)

13F-3E4 に位置する遺構で、SX392、SD156 に切られる。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.68m、深さ 0.37m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK302 (図版 117・118・127、写真図版 164・165)

13F-2F13・14 に位置する遺構で、SD98 の上面で検出された。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 1.15m、短軸 0.35m、深さ 0.18m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK316 (図版 117・118・127、写真図版 165)

13F-2E25、2F21 に位置する遺構で、SD127 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.83m、短軸 0.77m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、須恵器有台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕が出土している(図版 223)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK346 (図版 118・127、写真図版 165)

13F-3F18・23・24 に位置する遺構で、SD344・930 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.25m、短軸 0.75m、深さ 0.18m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器有台杯・大甕、土師器長甕・小甕が出土している。(図版 223)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK347 (図版 117・118・127、写真図版 165)

13F-3F18 に位置する。SE221 に切れ、SK950 を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.63m、深さ 0.17m を測り、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK356 (図版 118・126、写真図版 164)

13F-3F14・15 に位置する遺構で、SK227 と SD930 を切る。SD348 と隣接しているが、切り合い関係は不明である。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.05m、短軸 0.70m、深さ 0.27m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗・長甕・小甕、鍛冶関連遺物(炉壁・粘土質溶解物)が出土している(図版 283)。出土土器から古代の遺構とした。

SK357 (図版 118・127、写真図版 165・166)

13F-3G6・11 に位置する遺構で、SD470・938 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.42m、短軸 1.18m、深さ 0.16m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器

無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK402（図版118・127、写真図版166）

13F-3F23・24、4F3・4に位置する遺構で、SB6を構成するPit616に切られ、SK615、SD401・406を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.90m、短軸0.82m、深さ0.09mを測る。埋土は1層で、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物（炉壁・羽口・鍛冶滓）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK446（図版117・118・127、写真図版166）

13F-3F16に位置する遺構で、SD422・512を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で深さ0.32mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、土製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SK457（図版117・118・128、写真図版166）

13F-3F11・16に位置する遺構で、SK224とSD422に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で短軸0.74m、深さ0.24mを測り、埋土は2層に分かれる。土師器長甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK500（図版117・118）

13F-3E9・10に位置する遺構で、SX958を切る。平面形・断面形はいずれも不明である。確認面で現存短軸1.10mを測る。須恵器横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK523（図版118・128・134、写真図版166・167）

13F-3F22に位置する遺構で、SD422・512を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で深さ0.22mを測り、埋土は2層に分かれる。土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器有台皿が出土していることから、古代の遺構とした。

SK557（図版118・128・132、写真図版167）

13F-3F20、3G16に位置する遺構で、SK886とSD214を切る。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸0.77m、短軸0.63m、深さ0.33mを測り、埋土は3層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK571（図版118・128、写真図版167）

13F-3F20に位置する遺構で、SK886を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.70m、短軸0.68m、深さ0.14mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK581（図版118・128、写真図版167）

13F-3F15に位置する遺構で、SD214・348に切られ、SK907を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で深さ0.09mを測る。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK590（図版118・128、写真図版167・168）

13F-3F23、4F3に位置する遺構で、SD930を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.71m、短軸0.50m、深さ0.17mを測る。埋土は1層で、土師器長甕・小甕、土製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SK599（図版118・128、写真図版168）

13F-4F8に位置する遺構で、平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で短軸0.50m、深さ0.07mを測る。埋土は2層に分かれる。古代の土師器長甕・小甕、黒色土器無台碗、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK615 (図版 118・127、写真図版 166)

13F-4F3 に位置する遺構で、SK402 に切られ、SD127 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.64m、深さ 0.14m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK624 (図版 118・128、写真図版 168)

13F-3G8・9・13・14 に位置する遺構で、SD529 に切られ、SD497 を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.72m、深さ 0.36m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している (図版 223)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK625 (図版 117・118・129、写真図版 168)

13F-2G7 に位置する遺構で、SD288 に切られる。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.50m、深さ 0.14m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK627 (図版 118・129、写真図版 168・169)

13F-3G21 に位置する遺構で、SD403 に切られる。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.75m、深さ 0.13m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SK628 (図版 118・129、写真図版 169)

13F-3G21、4G1 に位置する遺構で、SD404・405 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.10m、短軸 0.80m、深さ 0.19m を測る。埋土は 1 層で、須恵器長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK631 (図版 118・129、写真図版 169)

13F-4F14 に位置する遺構で、SD127 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.75m、現存短軸 0.40m、深さ 0.16m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK641 (図版 118・129、写真図版 169)

13F-2G20、2H16 に位置する遺構で、SK642 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.38m、深さ 0.07m を測り、埋土は 1 層である。土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK642 (図版 118・129、写真図版 169)

13F-2H11・16 に位置する遺構で、SK641 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.18m、短軸 1.10m、深さ 0.28m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK645 (図版 117・118・129、写真図版 169・170)

13F-2G15 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.85m、短軸 0.48m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK646 (図版 117・118・129、写真図版 170)

13F-2G14 に位置する遺構で、SD749 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.88m、短軸 0.80m、深さ 0.19m を測り、埋土は 4 層である。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕が出土している (図版 223)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK658 (図版 118・129、写真図版 170)

13F-4F9・10 に位置する遺構で、SD786 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.35m、短軸 0.68m、深さ 0.20m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器長甕・小甕が出土し

ている(図版223)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK662(図版118・130、写真図版170)

13F-4F10、4G6に位置する遺構で、SD924を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸0.67m、短軸0.60m、深さ0.28mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK675(図版118・130、写真図版171)

13F-2H8・9・13・14に位置する遺構で、SD635に切られる。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.74m、短軸0.63m、深さ0.11mを測り、埋土は1層である。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK690(図版118・130、写真図版171)

13F-2H13・18に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸0.87m、短軸0.81m、深さ0.14mを測る。埋土は1層である。須恵器大甕、土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK695(図版118・130、写真図版171)

13F-4G6に位置する遺構で、SD663に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で現存短軸0.62m、深さ0.07mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK729(図版118・130、写真図版171)

13F-2G24・25、3G4に位置する遺構で、SD651に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸0.88m、深さ0.14mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器小甕、鍛冶関連遺物(粘土質溶解物)が出土している(図版223)。出土土器から古代の遺構とした。

SK745(図版117・118・130、写真図版172)

13F-2H1に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸0.62m、短軸0.59m、深さ0.38mを測る。埋土は3層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・鉢、土師器長甕が出土している(図版223)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK762(図版118・130、写真図版172)

13F-2H7・8に位置する遺構で、SD13に切られる。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸0.47m、深さ0.19mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯が出土していることから、古代の遺構とした。

SK766(図版117・118・130、写真図版172)

13F-2G3・8に位置する遺構で、SD918を切る。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸0.87m、短軸0.78m、深さ0.31mを測り、埋土は2層に分かれる。古代の須恵器杯蓋・鉢・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の土師器皿、土製品(土錘)が出土していることから、中世の遺構とした。

SK781(図版117・118・130・140、写真図版172)

13F-2G14・19に位置する。SD288と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸2.00m、短軸0.80m、深さ0.14mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK787(図版118・130、写真図版173)

13F-2G23、3G3に位置する遺構で、SD756を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸0.77m、短軸0.70m、深さ0.38mを測り、埋土は3層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、土製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SK790(図版118・131、写真図版173)

13F-2G25に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸0.82m、短軸0.45m、

深さ 0.18m を測る。埋土は 1 層である。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK795 (図版 118・131、写真図版 173)

13F-3G14・15 に位置する。SD636 に切られ、SE704 を切る。SD651 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.82m、深さ 0.42m を測り、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK807 (図版 117・118・131、写真図版 173)

13F-3F5、3G1 に位置する遺構で、SD98 に切られ、SK895、SD938 を切る。SD225 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で深さ 0.18m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕、土製品、石製品(砥石)が出土していることから、古代の遺構とした。

SK823 (図版 117・118・131、写真図版 174)

13F-1G24 に位置する遺構で、SX911 と SD812 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.28m、短軸 1.08m、深さ 0.23m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器有台杯・杯蓋・鉢、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK829 (図版 117・118・131・136、写真図版 174)

13F-1G25、1H21、2G5、2H1 に位置する遺構で、SX648、SD647 に切られ、SX911 を切る。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で現存長軸 1.10m、短軸 1.08m、深さ 0.36m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器有台杯・杯蓋・鉢・大甕、土師器長甕・小甕、鉄製品(棒状)が出土していることから、古代の遺構とした。

SK833 (図版 117・118・131、写真図版 174・175)

13F-1G25、1H21 に位置する遺構で、SK834 に切られ、SX911 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で短軸 0.50m、深さ 0.17m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK834 (図版 117・118・131、写真図版 174・175)

13F-1H21 に位置する遺構で、SD13 に切られ、SK833、SX911 を切る。平面形は不明、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.62m、深さ 0.17m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台碗・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK849 (図版 117・118・132、写真図版 174・175)

13F-1G20・25 に位置する遺構で、SE813、SD13 に切られ、SX911 を切る。平面形は不明、断面形は台形状である。確認面で深さ 0.16m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK854 (図版 117・118・132、写真図版 175)

13F-2G17 に位置する遺構で、SD853 に切られる。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.47m、深さ 0.14m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・有台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK857 (図版 117・118・132、写真図版 175)

13F-1H21 に位置する遺構で、SD13・810 に切られ、SX911 を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で深さ 0.11m を測り、埋土は 1 層である。土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK859 (図版 117・118・132、写真図版 175)

13F-1H17 に位置する遺構で、SX911 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.93m、短軸 0.53m、深さ 0.24m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK865 (図版 117・118・132、写真図版 175・176)

13F-1H17・18 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.85m、現存短軸 0.70m、深さ 0.36m を測る。埋土は 3 層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK880 (図版 117・118・132、写真図版 176)

13F-1H12・13・17・18 に位置する遺構で、平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.26m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK881 (図版 117・118・132、写真図版 176)

13F-1H11 に位置する遺構で、SX882 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.30m、短軸 1.13m、深さ 0.22m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕が出土している (図版 223)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK886 (図版 118・132、写真図版 176)

13F-3F15・20、3G16 に位置する遺構で、SK557・571・887、SD214 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.35m、深さ 0.10m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK887 (図版 118・132、写真図版 176)

13F-3G11・16・17 に位置する遺構で、SD401・470 に切られ、SK886 を切る。SK888 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.78m、短軸 1.20m、深さ 0.29m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土している (図版 223)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK888 (図版 118・133、写真図版 177)

13F-3G11・12・16・17 に位置する遺構で、SD98・470 に切られる。SK887、SD401 と隣接するが、切り合い関係は不明である。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で短軸 1.12m、深さ 0.36m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器有台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK890 (図版 118・133、写真図版 177)

13F-3G14 に位置する遺構で、SD651 に切られ、SD497 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.96m、短軸 0.95m、深さ 0.15m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK891 (図版 117・118・133、写真図版 177)

13F-1G10・15、1H6・11 に位置する遺構で、SK897 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.30m、短軸 1.02m、深さ 0.12m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK893 (図版 117・118・133、写真図版 177)

13F-3E4・5・9・10 に位置する遺構で、SX958 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.52m、短軸 1.25m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・大甕・横瓶、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK895 (図版 117・118・133、写真図版 178)

13F-3F4・5・9・10 に位置する遺構で、SK223・807、SD225 に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸 2.07m、深さ 0.14m を測り、埋土は 1 層である。須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・仏鉢、軽石製石製品が出土している (図版 223)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK897 (図版 117・118・133、写真図版 178)

13F-1G10、1H6 に位置する遺構で、SK891 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で現存長軸 1.75m、短軸 1.01m、深さ 0.24m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器杯蓋、土師器長甕、土製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SK906 (図版 117・118・133、写真図版 178)

13F-2G11・12・16・17 に位置する遺構で、SD184 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.10m、短軸 0.75m、深さ 0.13m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・杯蓋・鉢・大甕、土師器長甕・小甕、土製品(土錘)、軽石製石製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SK907 (図版 118・134、写真図版 178)

13F-3F9・10・15 に位置する遺構で、SK223・227・581、SD214・348 に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸 3.10m、深さ 0.24m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、石製品(台石)が出土している(図版 223)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK927 (図版 118・134、写真図版 179)

13F-3F19・20 に位置する遺構である。SD355 と SB5 を構成する Pit533、SB6 を構成する Pit490 に切られ、SD930 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.19m、短軸 1.08m、深さ 0.20m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・大甕、土師器長甕・小甕・鍋、鉄製品(刀子)が出土している(図版 224・283)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK928 (図版 117・118・134、写真図版 179)

13F-2F18・19・23・24 に位置する遺構で、SD214 に切られる。SD213 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.86m、深さ 0.11m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK935 (図版 118・134、写真図版 179)

13F-3F17・22・23 に位置する遺構で、SD127 に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.34m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK936 (図版 118・134、写真図版 179)

13F-3F23 に位置する遺構で、SK937 に切られる。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.70m、深さ 0.24m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕・鍋、軽石製石製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SK937 (図版 118・134、写真図版 179・180)

13F-3F22・23、4F3 に位置する遺構で、SD127 と SB5 を構成する Pit537 に切られ、SK936 を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.20m、短軸 0.46m、深さ 0.24m を測る。埋土は 1 層で、須恵器有台杯、土師器長甕・小甕、土製品、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK943 (図版 117・135、写真図版 180)

13F-1E20・25、1F16・21 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 2.25m、短軸 1.18m、深さ 0.16m を測る。埋土は 1 層である。須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、石製品(磨石)が出土していることから、古代の遺構とした。

SK944 (図版 117・135、写真図版 180)

13F-1E15・20 に位置する遺構で、SD15 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 1.20m、深さ 0.18m を測る。埋土は 2 層で、須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕、鉄製品(棒

状不明)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK950 (図版118・135、写真図版180)

13F-3F13・14・18・19に位置する遺構である。SE221、SK347、SD344・345に切られ、SD930を切るSK222と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で短軸1.15m、深さ0.31mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・壺蓋、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、土製品が出土している(図版224)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX3 (図版117・135、写真図版159・180)

12F-10G6～8・11～13に位置する遺構で、SE12・20、SD11・31に切られ、SD37を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で深さ0.08mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SX18 (図版117・119・121、写真図版155・156・181・187)

12F-10F12～14・16～19・21～24、13F-1F2～4に位置する。SD11に切られ、SE65、SD14・66・94・140を切る。古代の遺物が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸5.60m、深さ0.26mを測り、埋土は3層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕・壺蓋、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、石製品(台石)が出土している(図版261)。

SX114 (図版117・135、写真図版181)

12F-10G24・25、13F-1G4・5に位置する遺構である。SD15に切られ、SX940を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で長軸2.40m、深さ0.14mを測り、埋土は1層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕、土師器長甕・小甕・鍋、軽石製石製品、鍛冶関連遺物(炉壁)が出土している(図版224)。出土土器から古代の遺構とした。

SX209 (図版117・118・125、写真図版162)

13F-2F21・22、3F1・2・6に位置する遺構で、SB4を構成するPit261に切られ、SK210、SX929、SD127・190を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸2.58m、短軸2.49m、深さ0.16mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋・仏鉢、黒色土器無台碗が出土している(図版224)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX392 (図版117・136、写真図版181)

13F-2E18・22～24、3E3・4に位置する遺構で、SD156・163に切られ、SK290、SD144を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸3.85m、深さ0.36mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・壺蓋、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、軽石製石製品、鍛冶関連遺物(粘土質溶解物)が出土している(図版224)。出土土器から古代の遺構とした。

SX640 (図版118・136、写真図版181)

13F-2H21・22、3H1・2に位置する遺構で、SD636に切られる。平面形は長方形、断面形は台形状である。確認面で短軸0.88m、深さ0.24mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、鍛冶関連遺物(炉壁)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SX648 (図版117・118・136、写真図版174)

13F-1G24・25、2G4・5・10に位置する遺構である。SD647に切られ、SK829、SX911、SD812を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で短軸1.33m、深さ0.12mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・鉢、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SX882 (図版117・118・132、写真図版181)

13F-1H11・12に位置する遺構で、SK881に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸1.39m、短軸1.02m、深さ0.17mを測る。埋土は1層で、土師器長甕・小甕、石製品(台石)、鍛冶関連遺物(羽

口)が出土している(図版224・283)。出土土器から古代の遺構とした。

SX889 (図版117・137、写真図版181・182・199)

12F-10H1・2・6・7に位置する遺構で、SD898を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸2.24m、短軸2.11m、深さ0.24mを測り、埋土は2層に分かれる。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SX911 (図版117・118・122・137、写真図版158・182・199)

13F-1G12・14・15・17～20・22～25、1H11・12・16・17・21・22、2G3～5・10に位置する遺構である。SE813、SK823・829・833・834・849・857・859、SX648、SD13・647・810・812に切られ、SD916・917を切る。SD918と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸10.27m、短軸5.60m、深さ0.18mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢・大甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋・鉢、土製品(土錘)、石製品(砥石・磨石・叩石)、鍛冶関連遺物(炉壁)、鉄製品(棒状)が出土している(図版224)。出土土器から古代の遺構とした。

SX929 (図版117・118・137、写真図版182)

13F-3E10、3F6・7・11に位置する遺構で、SK210、SX209、SD127・225とSB3を構成するPit527に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸3.32m、深さ0.26mを測り、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、土製品(土錘)、石製品が出土している(図版224)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX940 (図版117・137、写真図版182)

12F-10G19・22～25、13F-1G2～5・8・9に位置する遺構で、SK40、SX114、SD13・15に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で深さ0.16mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、石製品(台石)が出土していることから、古代の遺構とした。

SX958 (図版117・118・137、写真図版183)

13F-3E4・5・9・10・15に位置する遺構で、SK500・893、SD225とSB3を構成するPit543、SB4を構成するPit553に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で短軸2.90m、深さ0.23mを測る。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、石製品(台石)が出土している(図版225)。出土遺物から古代の遺構とした。

d 溝 (SD)

SD1 (図版117・137、写真図版183)

12F-9H16～19・21～24に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-86°-W)。SD5に切られ、SD4・16・898を切る。SD32と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で長軸5.70m、短軸1.40m、深さは0.12m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土している(図版225)。古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SD2 (図版117・123・137、写真図版183)

12F-9G22～25、9H21～24、10G5、10H1～4に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び(N-83°-W)、SK68、SD4～7・16・37・898を切る。確認面で最大幅1.00m、深さは0.27m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。古代の須恵器無台杯・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の土師器皿、石製品(台石)が出土していることから、中世の遺構とした。

SD4 (図版117・137、写真図版183)

12F-9H18・22に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-38°-E)。SD5と平行し、SD1・2に切られる。切り合い関係から中世の遺構とした。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.20m、深さ0.04m前後である。埋土は1層で、遺物は出土していない。

SD5 (図版 117・137、写真図版 183)

12F-9H17・18・22・23 に位置する中世の遺構である。SD4 と平行し、軸方向は北東～南西に延びる (N-30° -E)。SD2 に切られ、SD1 を切る。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.18m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 1 層である。土師器無台椀・長甕が出土している。古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SD6 (図版 117・119・123、写真図版 158・184)

12F-9G14・15・19・20・24・25、10G5・10・15 に位置する遺構である。SD7 と平行し、北～南に延びる (N-7° -W)。SK8 と SD2 に切られる。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.15m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 1 層である。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD7 (図版 117・119・137・138、写真図版 183・184)

12F-9G14・18・19・23・24、10G4・9・10・14・15 に位置する遺構である。SD6 と平行し、軸方向は北～南に延びる (N-11° -W)。SD2・31 に切られる。確認面で最大幅 0.90m、深さは 0.19m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD11 (図版 117・119・120・138、写真図版 155・181・184)

12F-10F13～15、10G-11 に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる (N-90° -W)。SE12・20 に切られ、SX3・18 を切る。確認面で最大幅 0.60m、深さは 0.25m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SD13 (図版 117・118・130～132・137・138・141、写真図版 172・174・184・185・197)

12F-10G11・16・17・22、13F-1G2・3・8・9・14・15・20・25、1H21、2H1・2・7・8・13・14・18・19 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延びる (N-34° -W)。SD14・15・50・636 に切られ、SK762・834・849・857、SX911・940、SD635・643 を切る。SD51・647 と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.10m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、石製品 (台石) が出土していることから、古代の遺構とした。

SD14 (図版 117・120・138、写真図版 184・185)

12F-10F19・20・24・25、10G13～19・21 に位置する遺構である。軸方向は東～西に延びる (N-76° -E)。SK43、SX18、SD31 に切られ、SD13・51・91 を切る。確認面で最大幅 0.90m、深さは 0.18m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、鍛冶関連遺物 (羽口・粘土質溶解物) が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD15 (図版 117・120・123・125・135・138、写真図版 158・159・181・185)

12F-10G19・21～25、13F-1G1～3、1F3～9・11・12、1E10・12～19・21、1D20・24・25 に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延びる (N-72° -E)。SK198 に切られ、SK40・63・944、SX114・940、SD13・78・91・99・101・102・108・127・184 を切る。確認面で最大幅 1.30m、深さは 0.40m 前後である。平面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶・短頸壺・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋・鉢、黒色土器無台椀・有台皿、石製品 (砥石・叩石・台石・軽石製石製品)、鍛冶関連遺物 (炉壁・羽口・椀形鍛冶滓)、鉄製品 (刀子状) が出土している (図版 225・261・262・283)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD16 (図版 117・137、写真図版 183)

12F-9H21・22 に位置し、軸方向は東～西に延びる (N-83° -E)。SD1・2 に切られ、SD898 を切る。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.07m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕・鍋が出土している。古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SD27 (図版 117・119・138、写真図版 185)

12F-8H23・24、9H3～5・9・10、9I6・11・12に位置する遺構で、SD39と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-55°-W)。SD29・32に切られ、SD28・39を切る。確認面で最大幅1.00m、深さは0.74m前後である。断面形は皿状で、埋土は5層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD28 (図版 117・138、写真図版 186)

12F-8H22・23、9H2・3に位置する遺構である。SD27に切られ、SD39を切る。軸方向は北西～南東に延びる(N-65°-W)。確認面で最大幅0.60m、深さは0.15m前後である。断面形は台形状で、埋土は1層である。土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD29 (図版 117・119・138、写真図版 186)

12F-8H19・23～25、9H5に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び(N-54°-W)、SD27を切る。確認面で深さは0.67mである。断面形は箱状で、埋土は3層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD31 (図版 117・139、写真図版 186)

12F-10G12～15に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる(N-90°-W)。SE20に切られ、SK43、SX3、SD7・14・37を切る。確認面で最大幅0.60m、深さは0.18m前後である。断面形は半円状で、埋土は1層である。西側にSD11が続いており、主軸方向が同一であることから、連続した遺構の可能性はある。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、軽石製石製品が出土しているが、主軸方向から中世の遺構とした。

SD32 (図版 117・138、写真図版 186)

12F-9G10、9H1～3・6～9・11～15・18～20・24・25、9I11・16に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-55°-W)、SD27・39を切る。SD1と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で深さは0.80mである。断面形は台形状で、埋土は4層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台椀・長甕・鍋・鉢が出土している(図版225)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD37 (図版 117・135、写真図版 159・180・186)

12F-9G23、10G3・8・13に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる(N-8°-W)。SX3、SD2・31に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.30m、深さは0.06m前後である。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD39 (図版 117・138、写真図版 186)

12F-9H2・3・8～10・14・15、9I11・16に位置する遺構である。SD27・32と平行して、軸方向は北西～南東に延びる(N-55°-W)。SD27・28・32に切られる。確認面で最大幅0.80m、深さは0.30m前後である。断面形は皿状で、埋土は1層である。須恵器無台杯・大甕、土師器長甕、石製品(台石)が出土していることから、古代の遺構とした。

SD50 (図版 117・138・139、写真図版 184・187)

13F-1G7～9・12に位置する遺構で、軸方向は東～西に延び(N-79°-E)、SD13を切る。確認面で深さは0.22mである。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD51 (図版 117・138、写真図版 184・187)

12F-10F15・20、10G16に位置する遺構で、軸方向は東～西に延び(N-70°-W)、一旦屈曲して北西～南東に延びる(N-30°-W)。SD13と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状で、SD14に切られる。確認面で最大幅0.40m、深さは0.04m前後である。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺

構とした。

SD66 (図版 117・121、写真図版 156・187)

12F-10F17～19・22～24、13F-1F3 に位置する遺構で、SE65 の周囲を囲うように延びる。SE65 と SX18 に切られる。確認面で長軸 3.00m、短軸 0.40m、深さは 0.14m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 1 層である。須恵器無台杯、土師器長甕が出土しているが、SE65 と一連の遺構である可能性が高い。

SD78 (図版 117・138・139、写真図版 185・187)

13F-1F9・10・14・15 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-33° -W)、SD15 に切られる。断面形は皿状である。確認面で長軸 5.40m、短軸 0.50m、深さは 0.09m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕、土製品 (土錘)、鍛冶関連遺物 (鍛冶滓) が出土している (図版 283)。出土土器から古代の遺構とした。

SD91 (図版 117・139、写真図版 187・188)

12F-10F19・24、13F-1F4・5・10 に位置する遺構である。軸方向は北～南に延びる (N-5° -W)。断面形は半円状で、SE77、SD14・15 に切られる。確認面で長軸 6.30m、短軸 0.40m、深さは 0.08m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器杯蓋・大甕、土師器長甕、石製品 (磨石) が出土している (図版 262)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD94 (図版 117・139、写真図版 188)

12F-10F22、13F-1E4・5・8～10、1F1・2 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる (N-70° -E)。SK172、SX18 に切れ、SD101・102・108 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.06m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD98 (図版 117・118・124・125・128・131・139・141、写真図版 161・162・168・173・188・197)

13F-1F12・13・17・18・22～24、2F3・4・8～10・13～15・19・20・24・25、2G16・21、3F5、3G1・2・6～8・11～13・17～19・24 に位置する遺構で、SD497・529 と平行し、軸方向は北西～南東に延びる (N-29° -W)。SK178・302、SD636 に切れ、SK177・215・807・888、SD99・101・211・225・288・401・404・405・439・497・529・808・938 を切る。確認面で最大幅 2.30m、深さは 0.47m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢・大甕・長頸瓶・壺蓋、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋・鉢、黒色土器無台碗・有台皿、中世の青磁碗、珠洲焼壺 R 種・壺 T 種・甕・片口鉢、土師器皿、土製品 (土錘)、石製品 (叩石・台石・軽石製石製品・紡錘車・不明石製品)、鍛冶関連遺物 (炉壁・羽口・碗形鍛冶滓・鍛冶滓・粘土質溶解物)、鉄製品 (刀子・棒状・釘状) が出土している (図版 225・226・256・262・283)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD99 (図版 117・125、写真図版 185・189)

13F-1F7・8・12・13 に位置する遺構である。軸方向は北～南に延び (N-9° -W)、SD15・98・184 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.12m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD101 (図版 117・139、写真図版 188・189)

13F-1E10、1F6・11・12 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-50° -W)、SD15・94・98 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.10m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD102 (図版 117・139、写真図版 188・189)

13F-1F1・6・7 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-36° -W)、SD15・94 に切られる。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.08m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕が出土している (図版 226)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD106 (図版 117・139、写真図版 189)

13F-1F11・16 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-37° -W)。断面形は半円状である。確認面で長軸 1.40m、短軸 0.30m、深さは 0.06m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・杯蓋、土師器鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD108 (図版 117・125・139、写真図版 185・189)

12F-10F21、13F-1F1・2・7 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-34° -W)、SD15・94 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.19m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD127 (図版 117・118・127・129・134・138・139、写真図版 165・169・185・189・190)

13F-1E13・18・23・24、2E3・4・9・14・15・19・20・25、3E5・10、3F1・6・11・12・16・17・22・23、4F2・3・14 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延びる (N-18° -W)。SK224・316・615・631、SX209、SD15・180・225 と SB5 を構成する Pit537 に切られ、SK935・937、SX929、SD149・300・401・512・539 を切る。SK154 と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で長軸 29.40m、短軸 0.50m、深さは 0.20m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・大甕・壺蓋・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、鍛冶関連遺物 (炉壁・粘土質溶解物) が出土している (図版 226・227)。出土土器から古代の遺構とした。

SD128 (図版 117・139、写真図版 190)

13F-1E18・19・24・25、2E5、2F1・6・7 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-48° -W)、SE203、SK177、SD146 に切られる。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.34m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶・三耳瓶・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀・有台皿、土製品、石製品 (叩石・台石)、鍛冶関連遺物 (炉壁・椀形鍛冶滓)、鉄製品 (釘状) が出土している (図版 227・283)。出土土器から古代の遺構とした。出土した木炭について、加速器質量分析 (AMS) 法により放射性炭素 (^{14}C) 年代測定を実施したところ、No.1 が補正 ^{14}C 年代 (yrBP) で (1287±24)、No.2 が (1209±25) と推定された。暦年較正年代は No.1 が 2σ : 667 ~ 770calAD、 1σ : 680 ~ 713calAD、No.2 が 2σ : 766 ~ 889calAD、 1σ : 789 ~ 870calAD の歴年代幅を示す。

SD140 (図版 117・119、写真図版 181・190)

12F-10F16・17・22 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-21° -W)、SX18 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.04m 前後である。埋土は 1 層で、軽石製石製品が出土している。

SD144 (図版 117・139、写真図版 190・191)

13F-1E21、2E1・6・12・17・18・22・23 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-22° -W)、SK129、SX392 と SB1 を構成する Pit1566 に切られる。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.14m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器長甕・小甕、黒色土器無台椀、鍛冶関連遺物 (椀形鍛冶滓・粘土質溶解物) が出土している (図版 228)。出土土器から古代の遺構とした。

SD146 (図版 117・139、写真図版 190)

13F-1E24 に位置する遺構で、軸方向は東～西に延び (N-84° -E)、SD128 を切る。断面形は半円状である。確認面で長軸 1.80m、短軸 0.30m、深さは 0.14m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器杯蓋、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD149 (図版 117・139、写真図版 189・191)

13F-2E3・4・9 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-53° -W)、SD127 に切られる。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.11m 前後である。埋土は 1 層で、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD156 (図版 117・136・139、写真図版 191)

13F-2E3・8・13・18・19・23・24、3E4・9に位置する。軸方向は北～南に延び(N-10°-W)、SK290、SX392、SD163・168とSB1を構成するPit237・1743・1978、SB3を構成するPit2040を切る。SD300と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.60m、深さは0.25m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、中世の青磁椀、土製品、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している(図版228)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD163 (図版 117・139、写真図版 191)

13F-2E18・23に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-35°-W)。SD156とSB1を構成するPit914に切られ、SX392を切る。確認面で最大幅0.50m、深さは0.18m前後である。断面形は半円状で、埋土は1層である。須恵器大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、鍛冶関連遺物(炉壁)が出土している(図版228)。出土土器から古代の遺構とした。

SD168 (図版 117・139、写真図版 191)

13F-2E2・7・8に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-47°-W)、SD156に切られる。断面形は半円状である。確認面で最大幅0.30m、深さは0.09m前後である。埋土は1層で、土師器無台椀・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD180 (図版 117・124、写真図版 161)

13F-2E9・10・14・15に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる(N-76°-E)。SK154に切られ、SD127を切る。確認面で長軸2.60m、短軸0.40m、深さは0.26m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕、土製品、石製品(砥石)が出土している(図版262)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD184 (図版 117・139・141、写真図版 191)

13F-1F8・13・14・18～20・24・25、2F5・10、2G1・6・11・12・17に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-33°-W)。SD15・288に切られ、SK906、SD99・853・905を切る。確認面で最大幅1.20m、深さは0.23m前後である。断面形は皿状で、埋土は1層である。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、石製品(磨石)、鍛冶関連遺物(炉壁)、鉄製品(釘状)が出土している(図版228・229)。出土土器から古代の遺構とした。

SD190 (図版 117・118・125・139、写真図版 162・191・192)

13F-2F16・21・22、3F2・7・12に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-20°-W)。SE221、SX209、SD225に切られ、SK208、SD368を切る。確認面で最大幅0.50m、深さは0.16m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層である。須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の青白磁合子、土製品(土錘)、石製品(叩石)、鉄製品(釘状)が出土している(図版229・256)。青白磁が出土しているが後世の流れ込みと考え、軸方向と切り合い関係から古代の遺構とした。

SD191 (図版 117・118・140、写真図版 192)

13F-2F22・23、3F2・3に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び(N-66°-E)、SD243を切る。断面形は半円状である。確認面で長軸3.30m、短軸0.40m、深さは0.19m前後である。埋土は1層で、古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕、土師器無台椀・長甕・鍋、中世の青磁椀が出土している(図版229)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD204 (図版 117・140、写真図版 192)

13F-2E5・10・15、2F11・16に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-21°-W)。SB2を構成するPit236・1957に切られる。確認面で長軸5.80m、短軸0.30m、深さは0.09m前後である。断面形は台

形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、石製品（台石）が出土している。出土遺物から古代の遺構とした。

SD211（図版 117・118・126、写真図版 163・193）

13F-2F24・25、3F2～5に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる（N-70°-E）。SD98に切られ、SK216、SD214・243を切る。確認面で最大幅0.30m、深さは0.15m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD213（図版 117・118・134・140、写真図版 192）

13F-2F18・19に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び（N-41°-E）、SD214に切られる。SK928と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.50m、深さは0.18m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、が出土している（図版 229）。出土遺物から古代の遺構とした。

SD214（図版 118・126・128・134・140、写真図版 164・167・193）

13F-2F18・23・24、3F4・9・10・15・20、3G16に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる（N-25°-W）。SK557、SD211・225・401に切られ、SK227・581・886・907・928、SD213・348・397を切る。確認面で最大幅0.30m、深さは0.12m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物（炉壁・鍛冶滓）が出土している（図版 229）。出土土器から古代の遺構とした。

SD225（図版 117・118・125・126、写真図版 163・193）

13F-3E10・15、3F2～8・11に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる（N-66°-E）。SD98に切られ、SK216・217・895、SX929・958、SD127・190・214・422とSB4を構成するPit2270を切る。SK807と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.60m、深さは0.33m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の土師器皿、土製品、石製品、鍛冶関連遺物（炉壁・粘土質溶解物）が出土している（図版 229）。出土遺物から中世の遺構とした。

SD243（図版 117・127、写真図版 164）

13F-2F6・11・12・17・22・23、3F3に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる（N-26°-W）。SE203、SK273、SD191・211に切られ、SK226を切る。確認面で最大幅0.40m、深さは0.10m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・大甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、土製品（土錘）、石製品（砥石）が出土している（図版 229・256・262）。出土遺物から古代の遺構とした。

SD268（図版 117・140、写真図版 193）

13F-2E19に位置する遺構で、軸方向は北～南に延びる（N-14°-W）。断面形は半円状である。確認面で最大幅0.20m、深さは0.06m前後である。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD288（図版 117・139・140、写真図版 188・193）

13F-1F18・19・23～25、2F5、2G1・6・7・12～14・18・19に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延びる（N-53°-W）。SD98・647・743に切られ、SK625、SD184・788を切る。SK781と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.50m、深さは0.14m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土している（図版 229）。出土遺物から古代の遺構とした。

SD300（図版 117・140、写真図版 194）

13F-2E8・9に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる(N-75°-E)。SD127に切られ、SD315を切る。SD156と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.20m、深さは0.10m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している(図版230)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD315 (図版117・140、写真図版191・194)

13F-2E3・8・9に位置する遺構で、軸方向は北～南に延び(N-11°-W)、SD300に切られる。確認面で最大幅0.30m、深さは0.14m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯が出土していることから、古代の遺構とした。

SD344 (図版118・140、写真図版194)

13F-3F18・23・24に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-26°-W)。SK346に切られ、SK950、SD345・930を切る。SD401と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅0.30m、深さは0.07m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。土師器長甕、鍛冶関連遺物(炉壁・鍛冶滓・粘土質溶解物)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD345 (図版118・140、写真図版194)

13F-3F13・18・23に位置する遺構で、軸方向は北～南に延び(N-10°-W)、湾曲して北東～南西に流れる(N-40°-E)。SE221、SD344に切られ、SK950を切る。断面形は半円状である。確認面で最大幅0.20m、深さは0.05m前後である。埋土は1層で、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SD348 (図版117・118・140、写真図版194・195)

13F-3F13～15、3G11に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる(N-83°-W)。SE221、SK227、SD214・355・470に切られ、SK222・581・907、SD930を切る。SK356と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は半円状である。確認面で最大幅0.30m、深さは0.08m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、石製品(叩石)、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD355 (図版118・126・140、写真図版194・195)

13F-3F8・9・13・14・19・20・24・25に位置し、軸方向は北西～南東に延びる(N-27°-W)。SB5を構成するPit533に切られ、SK927、SD348・358・401・930を切る。断面形は半円状である。確認面で長軸7.00m、短軸0.30m、深さは0.17m前後である。埋土は1層で、古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋・仏鉢、土製品(土錘)、石製品(不明石製品)が出土している(図版230・262)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD358 (図版117・118・140、写真図版194・195)

13F-3F8・9に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-56°-W)、SK227、SD355に切られる。確認面で最大幅0.40m、深さは0.13m前後である。断面形は皿状で、埋土は1層である。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・仏鉢・黒色土器無台椀、鍛冶関連遺物(粘土質溶解物)が出土している(図版230)。出土土器から古代の遺構とした。

SD368 (図版117・118・139、写真図版191・192)

13F-3F11・12に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-70°-E)。SE221、SK224、SD190に切られる。断面形は半円状である。確認面で最大幅0.30m、深さは0.19m前後である。埋土は2層で、須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕、軽石製石製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SD397 (図版117・118・140、写真図版195)

13F-2F18・23に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-45°-W)、SD214に切られる。確認面で最大幅0.50m、深さは0.14m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・鉢、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD401 (図版 118・128・132・133・140、写真図版 168・195)

13F-3F20・24・25、3G12・16・17、4F3・4・8 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる (N-57° -E)。SK402、SD98・127・355 に切られ、SK887、SD214・470・924 を切る。SK888、SD344 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.09m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、石製品 (台石)、鍛冶関連遺物 (炉壁・粘土質溶解物) が出土している (図版 230)。出土土器から古代の遺構とした。

SD403 (図版 118・129・140、写真図版 168・169・195・196)

13F-3F25、3G21、4F4・5・9 に位置する遺構である。SD404 と平行し、軸方向は北東～南西に延びる (N-57° -E)。SD404・470 と SB6 を構成する Pit738 に切られ、SE835、SK627、SD406・786・924 を切る。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.08m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・鉢、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD404 (図版 118・129・140、写真図版 168・169・195・196)

13F-3F25、3G17・18・21、4F5・9・10、4G1 に位置する。SD403 と平行し、軸方向は北東～南西に延びる (N-48° -E)。SE654、SK628、SD98・470 に切られ、SE835、SD403・405・786・924 を切る。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.14m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層である。須恵器大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋・仏鉢、黒色土器無台椀、石製品 (台石)、鍛冶関連遺物 (椀形鍛冶滓・鍛冶滓)、鉄製品 (釘状) が出土している (図版 283)。出土土器から古代の遺構とした。

SD405 (図版 118・122・140、写真図版 157・169・195・196)

13F-3G17・18・21～23、4F5、4G1・2 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる (N-56° -E)。SE654、SK628、SD98・404・470 に切られ、SD924 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.09m 前後である。埋土は 1 層で、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、石製品 (台石)、鍛冶関連遺物 (粘土質溶解物) が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD406 (図版 118・140、写真図版 196)

13F-4F4・5 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-74° -W)、SK402 と SD403 に切られる。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.15m 前後である。埋土は 1 層で、土師器無台椀・長甕、鍛冶関連遺物 (炉壁・鍛冶滓) が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD422 (図版 117・118・128・141、写真図版 166・196)

13F-3E15・20、3F11・16・21・22 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-38° -W)。SK446・523、SD225 に切られ、SK457、SD512 を切る。確認面で深さは 0.18m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層である。須恵器無台杯・有台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、鉄製品 (棒状) が出土している (図版 230・283)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD439 (図版 117・141、写真図版 193・196)

13F-1F23・24、2F4・5・9・10 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-33° -W)、SD98 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.12m 前後である。埋土は 1 層で、古代の須恵器無台杯・有台杯・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、中世の土師器皿、鍛冶関連遺物 (炉壁) が出土している。出土土器から中世の遺構とした。

SD470 (図版 118・122・127・129・132・140・141、写真図版 157・165・195～197)

13F-3G11・16・21・22、4F5・8～10、4G1・2 に位置する。軸方向は北～南に延び (N-7° -W)、湾曲して北東～南西に流れる (N-75° -E)。SK357、SD401 に切られ、SK887・888、SD348・403～405・622・663・786・924 を切る。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.19m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層である。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕、鍛冶関連遺物 (粘土質溶解物) が出土している。出土土器

から古代の遺構とした。

SD497 (図版 118・125・128・131、写真図版 162・168・173・188)

13F-2F9・10・15・20、2G11・16・21・22、3G2・3・7～9・13・14 に位置する。SD98・529 と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-32°-W)。SK624・890、SD98・636・651 に切られる。SD529 と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.22m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層である。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、土製品(土錘)、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)、鉄製品(釘状)が出土している(図版 230)。出土土器から古代の遺構とした。

SD511 (図版 117・141、写真図版 197)

13F-2F2・7・8 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-45°-W)、SK177 に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.18m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・有台杯、土師器長甕・鍋、土製品(土錘)が出土している(図版 230)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD512 (図版 118・139、写真図版 189・196)

13F-3F16・21・22、4F2・3 に位置する遺構で、SD422 と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-43°-W)。SK446・523、SD127・422・539 に切られる。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.12m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層である。須恵器杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗が出土していることから古代の遺構とした。

SD529 (図版 118・128・131、写真図版 168・173・188)

13F-2G21・22、3G1・2・7・8・13・14・18・19 に位置する遺構である。SD98・497 と平行し、軸方向は北西～南東に延び(N-30°-W)、屈曲して北東～南西に流れる(N-75°-E)。SD98・636 に切られ、SK624、SD808 を切る。SD497 と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で最大幅 0.60m、深さは 0.34m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、中世の珠洲焼壺 R 種・片口鉢、土製品(土錘)、軽石製石製品、鍛冶関連遺物(碗形鍛冶滓)が出土している(図版 256)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD539 (図版 118・139、写真図版 189・196)

13F-3F22、4F2・3 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-50°-W)。SD127 に切られ、SD512 を切る。断面形は台形状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.14m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・大甕・長頸瓶・壺蓋、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、土製品、石製品(台石)、鍛冶関連遺物(羽口・碗形鍛冶滓)が出土している(図版 231)。出土土器から古代の遺構とした。

SD622 (図版 118・129、写真図版 196・197)

13F-4G1 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-38°-E)、SD470 に切られる。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.20m、深さは 0.13m 前後である。埋土は 1 層で、土師器小甕、石製品(台石)が出土していることから、古代の遺構とした。

SD635 (図版 118・130、写真図版 171・197)

13F-2H4・5・8・9・13 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-31°-E)。SD13 に切られ、SK675 を切る。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.13m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器大甕、土師器長甕、鍛冶関連遺物(粘土質溶解物)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD636 (図版 118・122・131・141、写真図版 173・197)

13F-2H10・14・15・18～20・22～24、2I6・11、3G10・14・15・18・19・23・24、3H1・2・6・7・11、4G2・3 に位置する。軸方向は北東～南西に延びる(N-47°-E)。SE704、SK795、SX640、SD13・98・497・529・962 を切る。確認面で最大幅 0.80m、深さは 0.44m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・鉢・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、土製

品、石製品(叩石・台石)、鍛冶関連遺物(炉壁・羽口・椀形鍛冶滓・鍛冶滓)が出土している(図版283)。古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SD643 (図版118・122・141、写真図版157・198)

13F-1H23・24、2H2・3・6・7・11・12・17に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-47°-E)、湾曲して北西～南東に流れる(N-35°-W)。SE650、SD13に切られ、SD798を切る。確認面で最大幅0.70m、深さは0.13m前後である。断面形は皿状で、埋土は1層である。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・小甕、鍛冶関連遺物(椀形鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD647 (図版117・118、写真図版198)

13F-1H21、2G5・9・10・13・14・18、2H1に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-42°-E)。SK829、SX648・911、SD288・749・756・916・917を切る。SD13と隣接するが、切り合い関係は不明である。確認面で長軸9.20m、短軸0.90mである。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼片口鉢、鉄製品(刀子状)が出土している(図版231)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD651 (図版118・122・130・131、写真図版171)

13F-2G24・25、3G5・9・10・14に位置する。軸方向は北西～南東に延び(N-40°-W)、湾曲して北東～南西に流れる(N-31°-E)。SK729・890、SD497を切る。SK795、SD743と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は半円状である。確認面で長軸5.50m、短軸0.30m、深さは0.13m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀、土製品(土鍾)が出土していることから古代の遺構とした。

SD663 (図版118・130、写真図版171・196)

13F-4G1・6に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-31°-W)。SD470に切られ、SK695、SD924を切る。確認面で最大幅0.50m、深さは0.22m前後である。断面形は半円形で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから古代の遺構とした。

SD743 (図版118・140、写真図版193・198)

13F-2G18・19・24に位置する。軸方向は北西～南東に延び(N-37°-W)、SD288を切る。SD651と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は皿状である。確認面で長軸2.00m、短軸0.50m、深さは0.12m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕・鍋、鍛冶関連遺物(羽口)、鉄製品(鎌・刀子状)が出土している(図版283)。出土土器から古代の遺構とした。

SD749 (図版117・118・129、写真図版170)

13F-2G8・9・13～15に位置する。軸方向は北西～南東に延び(N-64°-W)、SK646、SD647に切られる。断面形は皿状である。確認面で長軸3.10m、短軸0.60m、深さは0.09m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢、土師器無台椀・長甕・小甕、石製品(砥石・軽石製石製品)、鍛冶関連遺物(炉壁・鍛冶滓)が出土している(図版231)。出土土器から古代の遺構とした。

SD756 (図版118・130・141、写真図版173・198)

13F-2G17・18・22・23、3G3に位置する。軸方向は北東～南西に延び(N-37°-E)、湾曲して北西～南東に流れる(N-30°-W)。SK787、SD647に切られる。確認面で長軸2.70m、短軸0.40m、深さは0.13m前後である。断面形は半円状で、埋土は1層である。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD786 (図版118・141、写真図版198)

13F-4F9・10・15に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び(N-35°-W)、SK658、SD403・404・470に切られる。確認面で最大幅0.40m、深さは0.28m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。

須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、石製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SD788 (図版 117・118)

13F-2G7・8・12・13 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-45° -W)。SD288 に切られる。須恵器無台杯・鉢・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕、土製品 (土錘) が出土していることから、古代の遺構とした。

SD798 (図版 118・141、写真図版 199)

13F-2H6・7 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-44° -W)、SD643 に切られる。断面形は半円状である。確認面で長軸 2.20m、短軸 0.20m、深さは 0.08m 前後である。土師器長甕、石製品 (砥石) が出土していることから、古代の遺構とした。

SD808 (図版 117・118・125・131、写真図版 162・173・188)

13F-2G16・21、3G1・2 に位置する。SD98 と平行し、SD98・529 に切られる。軸方向は北西～南東に延び (N-30° -W)、断面形は半円状である。確認面で深さは 0.36m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器杯蓋、土師器小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD810 (図版 117・118・141、写真図版 198)

13F-1H21・22 に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び (N-55° -E)、SK857、SX911 を切る。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.39m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、石製品 (台石) が出土していることから、古代の遺構とした。

SD812 (図版 117・118・131・141、写真図版 174・199)

13F-1G12・13・17～19・23～25 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-44° -W)。SK823、SX648 に切れ、SX911、SD916 を切る。SE813 と隣接するが、切り合い関係は不明。断面形は台形状である。確認面で最大幅 1.20m、深さは 0.13m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・杯蓋・鉢・長頸瓶・短頸壺、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土している (図版 231)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD853 (図版 117・118・132、写真図版 175)

13F-2G17 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる (N-56° -E)。SD184 に切れ、SK854 を切る。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.12m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD898 (図版 117・137、写真図版 199)

12F-9H21・22、10H2・7 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-17° -W)、SX889、SD1・2・16 に切られる。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.16m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層である。須恵器無台杯・有台杯、土師器長甕・小甕、土製品 (土錘)、石製品 (砥石) が出土している (図版 231・256・262)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD905 (図版 117・118・141、写真図版 199)

13F-2G12・17・18 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-35° -W)、SD184 に切られる。確認面で長軸 2.10m、短軸 0.60m、深さは 0.18m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・鉢、土師器無台椀・長甕・小甕、土製品 (土錘)、鍛冶関連遺物 (炉壁) が出土している (図版 256)。出土土器から古代の遺構とした。

SD916 (図版 117・118・137、写真図版 199)

13F-1G17・18・23・24、2G3・4・9・10・15、2H11 に位置する。SD917 と平行し、軸方向は北西～南東に延びる (N-35° -W)。SX911、SD647・812 に切られる。確認面で長軸 10.90m、短軸 0.50m、深さは 0.26m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器長甕・小甕・鍋が出土している (図版 231)。切り合い関係と出土遺物から古代の遺構とした。

SD917 (図版 117・118・137、写真図版 199)

13F-1G17・22・23、2G3・4・8・9に位置する遺構で、SD916と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-33°-W)。SX911、SD647に切られる。確認面で最大幅0.50m、深さは0.15m前後である。断面形は台形状で、埋土は1層である。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢・大甕、土師器長甕・小甕・鍋、土製品(土錘)が出土していることから、古代の遺構とした。

SD918 (図版 117・118・141、写真図版 200)

13F-1G22、2G2・3・7・8に位置する。軸方向は北西～南東に延び(N-20°-W)、SK766に切られる。SX911と隣接するが、切り合い関係は不明。確認面で長軸3.30m、深さは0.30m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、鍛冶関連遺物(粘土質溶解物)が出土している(図版 231)。出土土器から古代の遺構とした。

SD924 (図版 118・141、写真図版 200)

13F-3F19・24・25、4F5・10、4G1・6に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-32°-W)。SE835、SK662、SD401・403～405・470・663に切られる。確認面で長軸6.10m、短軸0.50m、深さは0.18m前後である。断面形は半円状で、埋土は1層である。須恵器大甕、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD930 (図版 118・134、写真図版 179・200)

13F-3F14・18・19・23・24に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-25°-E)。SK346・356・590・927・950、SD344・348・355とSB5を構成するPit533に切られる。断面形は台形状である。確認面で最大幅0.80m、深さは0.48m前後である。埋土は3層で、須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・小甕、石製品(叩石)、鍛冶関連遺物(炉壁)が出土している(図版 231)。出土土器から古代の遺構とした。

SD938 (図版 118・141、写真図版 200)

13F-3F5、3G1・6に位置する。SD98と平行し、軸方向は北～南に延び(N-15°-W)、SK357・807、SD98に切られる。断面形は半円状である。確認面で深さは0.18m前後である。埋土は1層で、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD962 (図版 118・141、写真図版 200・201)

13F-3H6に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-45°-W)。SD636に切られる。確認面で最大幅0.30m、深さは0.21m前後である。断面形は半円状で、埋土は1層である。遺物は出土していない。

e 小土坑(Pit)

2区東全体で2263基確認されている。柱根は検出されなかった。Pitは調査区全体に分布するが、他の遺構同様、13F-3F周辺に特に集中している。掘立柱建物は7棟確認されたが、Pitの総数から他にも建物が存在した可能性が高い。

C 2区西の遺構

1) 2区西の概要

2区西は2区東の南西側に用排水路を挟んで隣接する約35m×40mの調査区である。遺構総数は2245基で、その内訳は掘立柱建物(SB)5基、SE24基、SK94基、SX15基、SD63条、Pit2044基である。調査区の中央に幅広の溝であるSD54・143が走っており、その北東側で遺構が集中する。出土遺物から大半は古代の遺構と考えられるが、大型の遺構を中心に中世も一定数存在する。また、調査区中央付近で遺構内や包含層から鍛冶関連遺物が多く出土しており、周辺の掘立柱建物と併せて鍛冶工房の存在が推定される。

2) 2区西遺構各説

a 掘立柱建物 (SB)

SB1 (図版 147・170)

13F-3C10・15、3D2・3・6～9・11～14に位置する。2間(6.60m)×1間(3.36m)の側柱建物である。平面積は22.18m²である。主軸はN-80°-Eを示し、平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が2.32～3.88m、梁行が3.12～3.36mを測る。Pitの掘り方はすべて円形で、長径は0.23～0.33m、深さは0.15～0.30mを測る。本遺構→SD318・324(古代)・359(中世)の順で構築されており、構成するPitから古代の須恵器大甕、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構と考えられる。

SB2 (図版 147・171)

13F-3D11～13・16～18・21～23に位置する。2間(4.58m)×2間(3.72m)の側柱建物で、平面積は17.04m²である。主軸はN-8°-Wを示し、一部が重複するSB1とほぼ直交する。平面形態は長方形を呈し、柱間寸法は桁行が2.16～2.33m、梁行が南側で1.84～1.88m、北側では棟持柱に相当するPitがなく、3.64mを測る。Pitの掘り方はすべて円形で、長径は0.28～0.37m、深さは0.23～0.53mを測る。他の遺構との重複はなく、構成するPitから古代の土師器長甕が出土していることから、古代の遺構と考えられる。

SB3 (図版 147・172、写真図版 249)

2区西調査区の西端部付近、13F-3B22～24、4B2～5・7～10・13～15・18～20・23・24、4C11・16に位置する。3間(8.36m)×2間(3.68m)を身舎とし、西側に3間(8.21m)×1間(0.96m)の庇が付く総柱建物である。身舎平面積30.76m²、庇部分を含めた平面積は38.79m²となる。主軸はN-22°-Wを示し、平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が2.56～3.12m、梁行が1.79～1.88mを測る。Pitの掘り方は円形が主体で、長径は0.32～0.42m、深さは0.34～0.65mを測る。南側および西側の一部に周溝を有する。南溝SD403は全長5.50m、最大幅0.30m前後、深さは0.15m前後である。西溝SD397は全長4.30m、最大幅0.30m前後、深さは0.20m前後で、春日編年VI期の遺物が出土しているSD519を切る。SX494、SD463・519(いずれも古代)→本遺構→SE457(中世)、SK393(古代)、SD54(中世)の構築順となる。構成するPitから古代の須恵器無台杯、土師器長甕が出土しており、遺構の重複関係から春日編年VI期以降に位置付けられる。

SB4 (図版 147・148・171、写真図版 249)

13F-3C24・25、4C3～5・8～10・14・15・20、4D6・11・16に位置する。北東隅のPitが不明であるが、2間(6.14m)×1間(2.80m)の側柱建物で、推定平面積は17.19m²である。主軸はN-31°-Wを示し、平面形態は長方形を呈する。柱間寸法は桁行が1.62～2.40m、梁行で2.80mを測る。Pitの掘り方はすべて円形で、長径は0.22～0.43m、深さは0.20～0.40mを測る。北西隅のPit1027とPit441の柱間が狭くなることから、北側は廂または下屋部分にあたる可能性もある。SB4範囲内に位置するSK522では、青磁椀片を伴って鉄滓や韃の羽口がまとまって出土していることから、本遺構は中世の鍛冶関連遺構と考えられる。

SB5 (図版 148・156・170・173、写真図版 247～249)

13F-4C25、4D7・12～14・16～25、4E21、5C5、5D1～10・12～14・18、5E1に位置する。主軸はN-55°-Wを示す。北西隅の柱が検出されていないが、4間(8.97m)×2間(5.24m)を身舎とし、北東側に4間(8.90m)×1間(1.60m)、南西側に3間以上(6.73m以上)×1間(1.81m)の庇が付く総柱建物である。身舎平面積48.98m²、庇部分を含めた平面積は79.56m²となる。平面形態はほぼ正方形を呈する。柱間寸法は桁行が2.16～2.27m、梁行が2.46～2.78mを測る。Pitの掘り方は円形が主体で、長径は0.29～0.67m、深さは0.11～0.68mを測る。SK533(古代)、SK90(中世)→本遺構→SK43、SD7・425・454・455(中世)の構築順となり、構成するPit330からロクロ成形の中世土師器皿が出土していることから、中世の遺構と考えられる。

b 井 戸 (SE)

SE4 (図版 148・149、写真図版 202)

13F-4E15・20、4F16 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.81m、深さ 1.00m を測る。埋土は 8 層に分かれる。須恵器大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗、石製品(台石)、鍛冶関連遺物(羽口)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SE9 (図版 147～150・155・157、写真図版 202・203)

13F-4D9・10・14・15 に位置する遺構で、SE63、SK8・151、SX323、SD3 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 3.20m、短軸 2.84m、深さ 1.34m を測り、埋土は 13 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋・鉢・大甕・長頸瓶・短頸壺・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の青磁碗、珠洲焼片口鉢、土師器皿、土製品、石製品(砥石・叩石・台石・軽石製石製品)、木製品(曲物側板・箸状)、鍛冶関連遺物(羽口・碗形鍛冶滓・鍛冶滓・粘土質溶解物)、鉄製品(包丁又は鉞・棒状不明)が出土している(図版 236・262・284)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE14 (図版 148・149・159、写真図版 202)

13F-4E11・12・16・17 に位置する遺構で、SK17、SX323 を切る。SK291、SX383 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は方形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.25m、短軸 1.04m、深さ 0.49m を測り、埋土は 6 層に分かれる。古代の須恵器有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・鍋、中世の珠洲焼片口鉢が出土している(図版 236)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE39 (図版 147～149、写真図版 202)

13F-4E6・7・11・12 に位置する。SK76 に切られ、SK46、SD65・726 を切る。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で短軸 1.47m、深さ 1.32m を測り、埋土は 9 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋・大甕・短頸壺・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼片口鉢、土師器皿、石製品(砥石・台石・軽石製石製品)、鍛冶関連遺物(羽口・碗形鍛冶滓)、鉄製品(鎌)が出土している(図版 236・237・262・284)。出土土器から中世の遺構とした。

SE63 (図版 147・148・150・155、写真図版 203・218)

13F-4D15・20、4E16 に位置する遺構で、SE9、SK89・319、SX323 に切られ、SD3 を切る。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で深さ 1.24m を測り、埋土は 11 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・鉢・大甕・長頸瓶・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗・有台皿、土製品、石製品(砥石)、木製品(棒状)、鍛冶関連遺物(羽口・碗形鍛冶滓)が出土している(図版 237)。切り合い関係から中世の遺構とした。

SE86 (図版 147・150、写真図版 203)

13F-3C22・23、4C1～3・7・8 に位置する遺構で、SD143 に切られる。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 3.67m、深さ 1.16m を測り、埋土は 17 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼壺 R 種・甕・片口鉢、石製品(台石・軽石製石製品)、木製品、鍛冶関連遺物(碗形鍛冶滓)が出土している(図版 238・284)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE187 (図版 147・148・151、写真図版 203)

13F-4E1 に位置する遺構で、SK171 を切る。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 1.06m、短軸 1.02m、深さ 0.86m を測り、埋土は 8 層に分かれる。土師器無台碗・長甕・小甕・鍋・鉢、鍛冶関連遺物(炉壁・碗形鍛冶滓)が出土している(図版 284)。出土土器から古代の遺構とした。

SE200 (図版 147・148・151、写真図版 204)

13F-3D9・10・14・15 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.19m、短軸 1.06m、深さ 0.60m を測り、埋土は 4 層に分かれる。土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SE226 (図版 147・151、写真図版 204)

13F-3D6・7・11・12 に位置する遺構で、SD275 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 2.08m、短軸 1.88m、深さ 1.20m を測り、埋土は 8 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の土師器皿、石製品(砥石・叩石・台石)、木製品(棒状・板状・箸状)、鍛冶関連遺物(炉壁・碗形鍛冶滓)が出土している(図版 262・277・284)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE230 (図版 147・148・151、写真図版 204)

13F-3D14・15・18～20・23～25 に位置する。SK271、SD359 を切る。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 2.73m、短軸 2.44m、深さ 1.32m を測り、埋土は 8 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・杯蓋・鉢・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の青磁碗、白磁碗、珠洲焼甕、土師器皿、土製品(土錘)、石製品(砥石・台石)、木製品(部材片・曲物側板・棒状・板状・箸状・削片)、鍛冶関連遺物(炉壁・碗形鍛冶滓・鍛冶滓)が出土している(図版 238・256・277・284)。出土遺物から中世の遺構とした。本遺構で出土した種実について、加速器質量分析(AMS)法により放射性炭素(¹⁴C)年代測定を実施したところ、種子 13 が補正 ¹⁴C 年代(yrBP)で(795±21)と推定された。暦年較正年代は 2σ:1215～1271calAD、1σ:1224～1259calAD の歴年代幅を示す。

SE234 (図版 147・152、写真図版 204・205)

13F-3D7・8・13 に位置する遺構で、SD246 を切る。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で現存長軸 2.08m、短軸 1.98m、深さ 1.23m を測り、埋土は 8 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗、中世の青磁碗、土師器皿、土製品、木製品(部材・棒状・板状・折敷)、鍛冶関連遺物(炉壁・碗形鍛冶滓・粘土質溶解物)が出土している(図版 278)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE286 (図版 147・152、写真図版 205)

13F-2C22・23、3C2・3 に位置する遺構で、SD300 を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で現存長軸 3.01m、深さは 1.00m を測り、埋土は 7 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SE298 (図版 147・152、写真図版 205)

13F-2D12・13・17・18 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で現存長軸 1.22m、深さは 0.93m を測る。埋土は 4 層に分かれる。須恵器大甕、土師器小甕、石製品(台石)、木製品、鍛冶関連遺物(羽口・碗形鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SE301 (図版 147・152、写真図版 205)

13F-3C5 に位置する遺構で、SD300 に切られる。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 1.24m、短軸 0.92m、深さ 1.10m を測り、埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器大甕、土師器小甕、中世の土師器皿、石製品(台石)、木製品(円板)、鍛冶関連遺物(碗形鍛冶滓)が出土している(図版 279)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE348 (図版 147・153、写真図版 205)

13F-3C12・13・17・18 に位置する遺構で、SD297 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.82m、短軸 0.78m、深さ 0.84m を測り、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SE392 (図版 147・148・153、写真図版 205・206)

13F-4C11・12 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.10m、短軸 0.90m、深さ 1.25m を測る。埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼壺 T 種が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE398 (図版 147・153、写真図版 206)

13F-4B4 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.94m、短軸 0.78m、深さ

0.71mを測る。埋土は3層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕・短頸壺、土師器無台碗・長甕・鍋、中世の土師器皿、石製品(叩石)が出土していることから、中世の遺構とした。

SE400 (図版147・148・153、写真図版206)

13F-5B4・5・9・10に位置する。SK401に切られる。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸2.14m、短軸2.02m、深さ1.70mを測り、埋土は9層に分かれる。水溜施設として大型の円形曲物を持つ。古代の須恵器無台杯・大甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、中世の珠洲焼壺T種・片口鉢、土師器皿、土製品、石製品(台石)、木製品(曲物・棒状・板状・箸状・草履芯・杭状・櫛)が出土している(図版279)。出土遺物から中世の遺構とした。出土した種実について、加速器質量分析(AMS)法により放射性炭素(^{14}C)年代測定を実施したところ、種子14が補正 ^{14}C 年代(yrBP)で(752±20)と推定された。暦年較正年代は 2σ :1243~1284calAD、 1σ :1260~1278calADの歴年代幅を示す。

SE431 (図版147・148・153、写真図版206・207)

13F-3C24・25、4C4・5に位置する遺構で、SD420を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.22m、短軸1.14m、深さ0.70mを測り、埋土は4層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器長甕、中世の土師器皿、土製品、鍛冶関連遺物(羽口・碗形鍛冶滓・鍛冶滓・粘土質溶解物)が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SE433 (図版147・148・153、写真図版207)

13F-4D1に位置する遺構で、SK565・679を切る。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸0.90m、短軸0.82m、深さ0.86mを測り、埋土は5層に分かれる。古代の須恵器大甕、土師器無台碗・長甕、中世の青磁碗、土師器皿、石製品(叩石)、木製品、鍛冶関連遺物(羽口・碗形鍛冶滓)が出土している(図版238・263)。出土遺物から中世の遺構とした。

SE444 (図版148・154、写真図版207)

13F-6C18・23に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.46m、短軸1.15m、深さ1.27mを測る。埋土は4層に分かれる。須恵器大甕・長頸瓶、土師器長甕、石製品(台石)、木製品(棒状)、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SE457 (図版147・154、写真図版207)

13F-3B22・23、4B2・3に位置する遺構で、SD359・478とSB3を構成するPit966を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸1.12m、短軸1.04m、深さ1.14mを測り、埋土は4層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、石製品(台石)が出土している。古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SE499 (図版147・148・154・166、写真図版207・208)

13F-4D3~5・8~10に位置する。SK600に切られ、SD3・329・349を切る。切り合い関係から中世の遺構とした。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸2.67m、短軸2.38m、深さ1.18mを測り、埋土は9層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・鉢・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、土製品、石製品(砥石・台石・軽石製石製品)、木製品(板状・箸状・削片)、鍛冶関連遺物(炉壁・碗形鍛冶滓・鍛冶滓)、鉄製品(棒状)が出土している(図版238・263・280)。本遺構で出土した種実について、加速器質量分析(AMS)法により放射性炭素(^{14}C)年代測定を実施したところ、種子12が補正 ^{14}C 年代(yrBP)で(671±22)と推定された。暦年較正年代は 2σ :1277~1311calAD、 1σ :1283~1300calADの歴年代幅を示す。

SE547 (図版147・148・154、写真図版208)

13F-4C22に位置する遺構で、SD422を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸1.03m、短軸0.94m、深さ0.67mを測り、埋土は2層に分かれる。古代の須恵器大甕、土師器小甕・鉢、中世の白磁碗、

珠洲焼甕・片口鉢、鍛冶関連遺物（椀形鍛冶滓）が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

c 土坑 (SK)・性格不明遺構 (SX)

SK1 (図版 148・154・161、写真図版 208)

13F-4E23・24 に位置する。SK5 に切られ、SK503 を切る。平面形は方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.53m、短軸 1.26m、深さ 0.12m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀が出土している(図版 238)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK5 (図版 148・154、写真図版 208)

13F-4E23 に位置する遺構で、SK1 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.68m、短軸 0.44m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層で、須恵器長頸瓶、土師器無台椀・長甕が出土している(図版 238)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK8 (図版 147～149、写真図版 202)

13F-4D14 に位置する遺構で、SE9 に切られる。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.73m、深さ 0.48m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台椀・長甕、黒色土器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SK15 (図版 148・155、写真図版 208)

13F-4E19 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.07m、深さ 0.44m を測る。埋土は 6 層に分かれる。須恵器有台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・小甕、石製品(台石)が出土している(図版 238)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK17 (図版 148・149・155、写真図版 209)

13F-4E16 に位置する。SE14 に切られ、SX323・352 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 1.19m、深さ 0.18m を測り、埋土は 1 層である。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀・有台皿、石製品(砥石)が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK18 (図版 147・148・155、写真図版 209)

13F-4E3・4 に位置する遺構で、SX11 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.43m、深さ 0.03m を測る。埋土は 1 層、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK40 (図版 148・155、写真図版 209)

13F-4E22・23 に位置する遺構で、SK41 を切る。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.98m、短軸 0.65m、深さ 0.42m を測り、埋土は 8 層に分かれる。古代の須恵器有台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK41 (図版 148・155・164、写真図版 209)

13F-4E17・22・23 に位置する遺構である。SK40 に切られ、SX383・475 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 1.25m、深さ 0.26m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器有台杯・杯蓋・大甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SK43 (図版 147・148・156、写真図版 209)

13F-4D14・15・19・20 に位置する遺構で、SB5 を構成する Pit707 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.79m、短軸 0.78m、深さ 0.28m を測る。埋土は 5 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・大甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕、石製品(台石)が出土しているが、切り合い関係から、中世の遺構とした。

SK46 (図版 147～149、写真図版 202)

13F-4E7・12 に位置する遺構である。SE39 に切られ、SD65 を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.44m、深さ 0.37m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、

古代の遺構とした。

SK75 (図版 148・156、写真図版 209・210)

13F-5E6・7 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.99m、短軸 0.38m、深さ 0.09m を測る。埋土は 3 層に分かれる。土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK76 (図版 147・148・156、写真図版 210)

13F-4E12 に位置する遺構で、SE39 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.49m、深さ 0.07m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕が出土している。古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK87 (図版 148・156、写真図版 210)

13F-5E11 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.63m、短軸 0.48m、深さ 0.12m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK89 (図版 147・148・156、写真図版 210)

13F-4D19・20 に位置する遺構で、SE63、SK90、SD7 を切る。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.11m、短軸 0.92m、深さ 0.64m を測り、埋土は 11 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀、中世の青磁椀、珠洲焼片口鉢、鍛冶関連遺物(鍛冶滓)が出土している(図版 238)。出土遺物から中世の遺構とした。

SK90 (図版 147・148・156、写真図版 210)

13F-4D20 に位置する。SK89 と SB5 を構成する Pit195 に切られ、SK319 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.08m、深さ 0.22m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀・有台皿、中世の青磁椀、鍛冶関連遺物(羽口)が出土している(図版 238・239)。出土遺物から中世の遺構とした。

SK91 (図版 148・156、写真図版 210・211)

13F-5E5 に位置する遺構で、SK92 に切られる。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.54m、短軸 0.50m、深さ 0.14m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK92 (図版 148・156、写真図版 210・211)

13F-5E5 に位置する遺構で、SK91 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.74m、短軸 0.37m、深さ 0.14m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK95 (図版 148・156、写真図版 211)

13F-5D10・15、5E6・11 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.86m、短軸 0.78m、深さ 0.32m を測る。埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK106 (図版 148・156、写真図版 211)

13F-4E9・10 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で深さ 0.31m を測り、埋土は 3 層に分かれる。土師器無台椀・長甕、黒色土器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SK123 (図版 148・156、写真図版 211)

13F-4E25 に位置する遺構で、SK124 に切られる。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.62m、深さ 0.13m を測り、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK124 (図版 148・156、写真図版 211)

13F-4E25 に位置する遺構で、SK123 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.72m、

短軸 0.63m、深さ 0.14m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗、鍛冶関連遺物（炉壁）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK151（図版 147・148・155・157、写真図版 211）

13F-4D15、4E11 に位置する遺構である。SE9、SD198 に切られ、SX323 を切る。平面形は円形、断面形は皿形である。確認面で短軸 1.08m、深さ 0.24m を測り、埋土は 4 層に分かれる。須恵器無台杯・鉢、土師器無台碗・小甕、鍛冶関連遺物（羽口）が出土している。切り合い関係から中世の遺構とした。

SK152（図版 147・148・157、写真図版 212）

13F-3E21・22 に位置する遺構で、SD721 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.12m、短軸 0.84m、深さ 0.17m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物（碗形鍛冶滓）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK154（図版 148・157、写真図版 212）

13F-4E12・17 に位置する遺構で、SD606・726 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.64m、短軸 0.59m、深さ 0.15m を測り、埋土は 2 層に分かれる。古代の土師器無台碗、中世の青磁碗が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK167（図版 147・148・157、写真図版 212）

13F-3E22 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.59m、現存短軸 0.47m、深さ 0.28m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK171（図版 147・148・151、写真図版 203）

13F-3E21、4E1 に位置する遺構で、SE187 に切られる。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.47m、深さ 0.25m を測り、埋土は 4 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK173（図版 147・148・157、写真図版 212・213）

13F-3D24・25 に位置する遺構で、SK216 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.57m、深さ 0.23m を測る。埋土は 1 層で、須恵器長頸瓶、土師器長甕、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK177（図版 147・148・157、写真図版 213）

13F-3E22 に位置する。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.54m、短軸 0.43m、深さ 0.07m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK199（図版 147・148・157、写真図版 211・212）

13F-4E11 に位置する遺構で、SD198 を切る。平面形は方形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.62m、短軸 0.52m、深さ 0.22m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、鍛冶関連遺物（粘土質溶解物）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK203（図版 147・148・157、写真図版 213）

13F-3D20、3E16 に位置する遺構で、SK215 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.06m、短軸 0.78m、深さ 0.29m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器杯蓋・鉢、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK207（図版 148・157、写真図版 213）

13F-4E24 に位置する遺構で、SK503 を切る。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.56m、短軸 0.50m、深さ 0.11m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物（鍛冶滓）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK211 (図版 147・148・157、写真図版 213・214)

13F-3E16・21 に位置する。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.87m、短軸 0.50m、深さ 0.18m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀・長甕、黒色土器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SK215 (図版 147・148・158、写真図版 214)

13F-3E11・16 に位置する遺構で、SK203 に切られる。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.46m、深さ 0.28m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK216 (図版 147・148・157、写真図版 212・213)

13F-3D24・25、4D4・5 に位置する遺構で、SK173 に切られる。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.54m、深さ 0.29m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・大甕、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK228 (図版 147・148・158、写真図版 214)

13F-4E1・2・6・7 に位置する遺構で、SK328 を切る。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.58m、深さ 0.25m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器有台杯・大甕、土師器無台椀・長甕、黒色土器無台椀、石製品(台石・軽石製石製品)、鉄製品(鎌・鋸)が出土している(図版 285)。出土土器から古代の遺構とした。

SK242 (図版 147・158、写真図版 214)

13F-3D2・7 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.80m、短軸 0.70m、深さ 0.18m を測る。埋土は 1 層である。土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK243 (図版 147・158、写真図版 214・215)

13F-3D1・2 に位置する。平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.56m、短軸 0.49m、深さ 0.16m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器長頸瓶、土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK244 (図版 147・158、写真図版 215)

13F-2D21・22 に位置する。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.65m、短軸 0.46m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK245 (図版 147・158、写真図版 215)

13F-2D17・18 に位置する遺構で、平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で現存短軸 0.90m、深さ 0.18m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器杯蓋、土師器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SK248 (図版 147・158、写真図版 215)

13F-3C10 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.87m、短軸 0.69m、深さ 0.18m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台椀・長甕、鍛冶関連遺物(炉壁・椀形鍛冶滓・鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK271 (図版 147・148・151、写真図版 215・216)

13F-3D20・25 に位置する遺構で、SE230 に切られる。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.60m、短軸 0.52m、深さ 0.50m を測り、埋土は 2 層である。須恵器大甕、土師器長甕・小甕、黒色土器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SK279 (図版 147・148・158、写真図版 216)

13F-4C13・14・18・19 に位置する遺構である。SD143 に切れ、SD450・572 を切る。SD593 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 1.50m、深さ 0.17m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器大甕・横瓶、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK280 (図版 148・159、写真図版 216)

13F-4E8 に位置する。SK310 を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で現存長軸 1.04m、深さ 0.12m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK288 (図版 147・148・159、写真図版 216)

13F-3E17 に位置する遺構で、SD721 を切る。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.00m、現存短軸 0.52m、深さ 0.35m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕・小甕、黒色土器無台碗が出土している (図版 280)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK291 (図版 148・159、写真図版 217)

13F-4E16・17 に位置する遺構である。SK311 に切られ、SX383 を切る。SE14 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.24m、短軸 1.12m、深さは 0.24m を測り、埋土は 5 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK293 (図版 147・159、写真図版 217)

13F-2D16 に位置する。SD292・300 に切られ、SK294 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 1.06m、深さ 0.06m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK294 (図版 147・159、写真図版 217)

13F-2D16・17 に位置する。SK293、SD292 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.86m、深さ 0.14m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器長頸瓶が出土していることから、古代の遺構とした。

SK307 (図版 147・159、写真図版 217)

13F-2D16 に位置する遺構で、平面形は方形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.55m、短軸 0.52m、深さ 0.22m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK308 (図版 147・159、写真図版 217)

13F-3C14・19 に位置する遺構で、SD275・297 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.83m、短軸 0.72m、深さ 0.35m を測り、埋土は 3 層に分かれる。土師器長甕、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物 (碗形鍛冶滓) が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK310 (図版 148・159、写真図版 218)

13F-4E8・13 に位置する遺構である。SK280 に切られ、SD278 を切る。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.50m、深さ 0.21m を測る。土師器無台碗・長甕、鍛冶関連遺物 (鉄塊系遺物) が出土している (図版 285)。出土土器から古代の遺構とした。

SK311 (図版 148・159、写真図版 217)

13F-4E17 に位置する遺構で、SK291、SX383 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.55m、短軸 0.54m、深さ 0.35m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・大甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕、鍛冶関連遺物 (羽口・鍛冶滓) が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK319 (図版 147・148・150・159、写真図版 203・218)

13F-4D20、4E16 に位置する。SK90 に切られ、SE63、SD3 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.23m、短軸 1.04m、深さ 0.24m を測り、埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・鉢・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕、中世の珠洲焼片口鉢、鍛冶関連遺物 (羽口) が出土している。出土土器から中世の遺構とした。

SK320 (図版 147・148・160、写真図版 218)

13F-3D9 に位置する遺構で、SD246・309 に切られる。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で深

さ 0.32m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗、石製品が出土していることから、古代の遺構とした。

SK328 (図版 147・148・158、写真図版 214)

13F-4E6・7 に位置する。SK228 に切られ、SD65 を切る。平面形は不明、断面形は箱状である。確認面で短軸 0.42m、深さ 0.26m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK334 (図版 148・160、写真図版 218)

13F-5D5 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.80m、短軸 0.48m、深さ 0.06m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK347 (図版 148・160、写真図版 218・219)

13F-5D3 に位置する遺構で、SD622 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.67m、短軸 0.52m、深さ 0.15m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SK351 (図版 147・148・160、写真図版 219)

13F-4D23、5D3 に位置する遺構で、SD622 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.74m、短軸 0.65m、深さ 0.15m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗、石製品(台石・軽石製石製品)、鍛冶関連遺物(羽口・鍛冶滓)が出土している(図版 239)。出土土器から古代の遺構とした。

SK356 (図版 147・148・160、写真図版 219)

13F-4D5 に位置する遺構である。SD329 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で短軸 0.36m、深さ 0.19m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器杯蓋、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK378 (図版 147・148・160、写真図版 219)

13F-3D23・24 に位置する遺構で、SD358・359 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.78m、短軸 0.58m、深さ 0.35m を測る。遺物は出土していない。

SK387 (図版 147・160、写真図版 219・220)

13F-3C17 に位置する遺構で、SD388 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.58m、短軸 0.35m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層で、中世の土師器皿が出土している。出土遺物から中世の遺構とした。

SK393 (図版 147・160、写真図版 220)

13F-4B4・5 に位置する遺構で、SD394・463・519 と SB3 を構成する Pit493 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.82m、短軸 0.75m、深さ 0.22m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK395 (図版 147・160、写真図版 220)

13F-4A10、4B6 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.60m、深さ 0.23m を測る。埋土は 1 層である。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK396 (図版 147・160、写真図版 220)

13F-4A10・15 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 1.33m、短軸 1.06m、深さ 0.44m を測る。埋土は 4 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器長甕・小甕・鍋が出土している(図版 239)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK401 (図版 147・148・153・160、写真図版 220・221)

13F-5B9 に位置する遺構で、SE400 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.05m、

短軸 0.93m、深さ 0.07m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・大甕、土師器長甕・小甕が出土している。古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK404 (図版 147・148・161、写真図版 221)

13F-4D7・12 に位置する遺構で、SD420・425 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.76m、短軸 0.74m、深さ 0.54m を測り、埋土は 5 層に分かれる。古代の須恵器無台杯、土師器長甕、中世の珠洲焼壺 T 種が出土していることから、中世の遺構とした。

SK408 (図版 147・148・161、写真図版 221)

13F-6B3 に位置する遺構で、SD406・407 を切る。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.49m、短軸 0.40m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、土師器小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK426 (図版 147・148・161、写真図版 221)

13F-4D7・8 に位置する遺構で、SD425 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.70m、短軸 0.54m、深さ 0.16m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK428 (図版 147・148・161、写真図版 221・222)

13F-3D18 に位置する遺構で、SD358・359 に切られる。平面形は不整形、断面形は箱状である。確認面で現存長軸 0.74m、現存短軸 0.64m、深さ 0.32m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SK447 (図版 148・161、写真図版 222)

13F-6B19・20・24・25、6C21、7B5 に位置する遺構で、SX666 を切る。SK448 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で短軸 2.34m、深さ 0.19m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕・横瓶、土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗が出土している (図版 239)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK448 (図版 148・161、写真図版 222)

13F-6B25、6C21、7C1 に位置する遺構である。SK447 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.83m、短軸 0.74m、深さ 0.12m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・長頸瓶が出土していることから、古代の遺構とした。

SK469 (図版 148・161、写真図版 222)

13F-4E24・25、5E4・5 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.53m、深さ 0.08m を測る。埋土は 1 層である。須恵器無台杯・鉢、土師器小甕が出土している (図版 239)。出土遺物から古代の遺構とした。

SK474 (図版 147・148・153、写真図版 222・223)

13F-3D21・22、4D1・2 に位置し、SK565 と SD483 に切られる。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、木炭が大量に出土した。5m 西で鍛冶関連遺物が詰まった SK522 が検出されたことから、鍛冶工房の存在が推察される。SK474 はこれに関連した鍛冶関連遺構で、鍛冶炭の廃棄坑である可能性が考えられる。出土した木炭について、加速器質量分析 (AMS) 法により放射性炭素 (^{14}C) 年代測定を実施したところ、No.3 が補正 ^{14}C 年代 (yrBP) で (1237 ± 24) 、No.4 が (1199 ± 25) と推定された。暦年較正年代は No.3 が $2\sigma : 687 \sim 780\text{calAD}$ 、 $1\sigma : 693 \sim 748\text{calAD}$ 、No.4 が $2\sigma : 767 \sim 891\text{calAD}$ 、 $1\sigma : 789 \sim 869\text{calAD}$ の歴年代幅を示す。

SK503 (図版 148・161、写真図版 223)

13F-4E24 に位置する遺構で、SK1・207 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.13m、深さ 0.06m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕が出土していることから、古

代の遺構とした。

SK514 (図版 147・161、写真図版 223)

13F-2D24、3D4 に位置する遺構で、SD318 を切る。平面形は方形、断面形は台形状である。確認面で短軸 0.80m、深さ 0.42m を測り、埋土は 5 層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK522 (図版 147・148・162、写真図版 223・224)

13F-4C4・9 に位置する。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 1.31m、短軸 0.84m、深さ 0.28m を測る。埋土は 3 層である。鍛冶関連遺物が大量に検出されたため、鍛冶炉かとも思われたが、鍛冶工程の各段階の廃棄物が混在して出土していることから、鍛冶工房の廃棄土坑であると考え。この SK522 を内包する SB4 が鍛冶工房であった可能性が高い。SK522 の 2～5m 東で複数の土坑から木炭が検出されており、これらは工房に伴う鍛冶炭の廃棄坑群であると考え。古代の須恵器無台杯・有台杯・鉢、土師器長甕、中世の青磁椀、土製品、石製品(台石)、鍛冶関連遺物(炉壁・羽口・椀形鍛冶滓・鍛冶滓・工具付着滓・流動滓・粘土質溶解物・粒状の滓・粒状滓・鍛造剥片・再結合滓・含鉄鉄滓・鉄塊系遺物・金床石・木炭・炉床土・マグネタイト系遺物)が出土している(図版 239・285～287)。出土土器から中世の遺構とした。出土した木炭について、加速器質量分析(AMS)法により放射性炭素(^{14}C)年代測定を実施したところ、No.5 が補正 ^{14}C 年代(yrBP)で(954±24)、No.6 が(1191±24)と推定された。暦年較正年代は No.5 が 2σ : 1065～1154calAD、 1σ : 1085～1124calAD、No.6 が 2σ : 769～894calAD、 1σ : 800～877calAD の歴年代幅を示す。

SK533 (図版 148・162、写真図版 224)

13F-5D13・14 に位置する遺構で、SD603 を切り、SD2257 と SB5 を構成する Pit1711 に切られる。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.27m、深さ 0.07m を測り、埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK534 (図版 147・148・162、写真図版 224)

13F-5B10 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.70m、短軸 0.50m、深さ 0.14m を測る。埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK535 (図版 147・148・162、写真図版 224・225)

13F-5B13 に位置する。平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.83m、短軸 0.54m、深さ 0.26m を測る。埋土は 1 層である。土師器無台椀、石製品(砥石)が出土していることから、古代の遺構とした。

SK545 (図版 147・148・162、写真図版 225)

13F-4D21 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.66m、短軸 0.34m、深さ 0.17m を測る。埋土は 1 層である。須恵器長頸瓶がほぼ完形の状態で出土した(図版 239)。高台は欠損しているが、意図的に打ち欠いている様子が見て取れる。SK545 の約 1m 東にある Pit557 からも長頸瓶が出土した。胴部は完形で、頸部を丁寧に打ち欠いている。SK545 ではこの他に土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK565 (図版 147・148・153、写真図版 207・225)

13F-3D21、4D1・2 に位置する。SE433、SD483 に切られ、SK474・679 を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で深さ 0.26m を測る。埋土は 1 層で、古代の土師器無台椀が出土している。このほかに鍛冶関連遺物の木炭が出土しており、隣接する SK474 と一連の鍛冶関連遺構であると推察されることから、中世の遺構とした。

SK600 (図版 147・148・162、写真図版 225)

13F-4D4・5・9・10 に位置する遺構で、SE499 を切る。平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で長軸 0.68m、短軸 0.60m、深さ 0.45m を測り、埋土は 4 層に分かれる。須恵器無台杯・長頸瓶、土師器無台椀・

長甕・小甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK621 (図版 147・148・162、写真図版 226)

13F-4D16 に位置する遺構で、SB5 を構成する遺構の一つである。平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.53m、深さ 0.11m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台椀・長甕が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SK628 (図版 148・162、写真図版 226)

13F-6C4・5・9・10 に位置する遺構で、SD629 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.65m、短軸 0.89m、深さ 0.18m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器有台杯、土師器無台椀・長甕、土製品、鍛冶関連遺物(炉壁)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SK633 (図版 148・162、写真図版 226)

13F-6C13 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.78m、短軸 0.40m、深さ 0.10m を測る。埋土は 1 層である。遺物は出土していない。

SK636 (図版 147・162、写真図版 226)

13F-3B10・15 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は台形状である。確認面で現存長軸 0.74m、現存短軸 0.62m、深さ 0.20m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SK637 (図版 147・163、写真図版 227)

13F-3B10、3C6 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で現存長軸 0.83m、現存短軸 0.50m、深さ 0.15m を測る。埋土は 1 層である。遺物は出土していない。

SK640 (図版 148・163、写真図版 227)

13F-5C19・20 に位置する遺構で、SD422 を切る。平面形は楕円形、断面形は台形状である。確認面で現存長軸 1.68m、短軸 0.75m、深さ 0.14m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SK668 (図版 148・163、写真図版 227)

13F-6D2 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.60m、短軸 0.41m、深さ 0.19m を測る。埋土は 2 層に分かれる。土師器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SK679 (図版 147・148・163・165、写真図版 227・231)

13F-4D1 に位置し、SE433、SK565、SX634 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.18m、深さ 0.13m を測り、埋土は 1 層である。鍛冶関連遺物の木炭が出土しており、隣接する SK474 同様、鍛冶炭の廃棄土坑であると考えられる。木炭のほかに古代の須恵器無台杯・土師器鍋が出土しているが、一連の鍛冶関連遺構との関係から中世の遺構とした。本遺構から出土した木炭について、加速器質量分析(AMS)法により放射性炭素(^{14}C)年代測定を実施したところ、No.9 が補正 ^{14}C 年代(yrBP)で (1215 ± 25) 、No.10 が (1354 ± 23) と推定された。暦年較正年代は No.9 が $2\sigma : 764 \sim 889\text{calAD}$ 、 $1\sigma : 789 \sim 869\text{calAD}$ 、No.10 が $2\sigma : 640 \sim 690\text{calAD}$ 、 $1\sigma : 652 \sim 672\text{calAD}$ の歴年代幅を示す。

SK693 (図版 148・163、写真図版 228)

13F-5C25 に位置する遺構で、平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 0.72m、短軸 0.41m、深さ 0.09m を測る。埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK718 (図版 147・148・163、写真図版 228)

13F-3E23、4E3 に位置する遺構で、SD728 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 1.00m、深さ 0.21m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器横瓶、土師器長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、石製品(台石)が出土していることから、古代の遺構とした。

SK720 (図版 148・163、写真図版 228)

13F-5D7・8 に位置する。SD732 を切る。平面形は楕円形、断面形は箱状である。確認面で長軸 0.85m、短軸 0.50m、深さ 0.36m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯が出土していることから、古代の遺構とした。

SK734 (図版 148・163、写真図版 228)

13F-4E18・23 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は半円状である。確認面で長軸 0.70m、短軸 0.56m、深さ 0.22m を測る。埋土は 3 層に分かれる。土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SK937 (図版 147・166、写真図版 229)

13F-3C21 に位置する遺構で、SD359 に切られる。平面形は長方形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.32m、短軸 0.60m、深さ 0.14m を測る。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SX11 (図版 148・155、写真図版 209)

13F-4E4・9 に位置する遺構である。SX32 に切られ、SK18 を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.26m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・鉢・大甕・壺蓋・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、石製品(台石)、鉄製品(毛抜・刀子状)が出土している(図版 239・289)。出土土器から古代の遺構とした。

SX32 (図版 148・155、写真図版 209)

13F-4E4・9 に位置する遺構で、SX11 を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で短軸 0.66m、深さ 0.36m を測り、埋土は 3 層に分かれる。遺物は出土していない。

SX185 (図版 148・163、写真図版 229)

13F-5E6・7 に位置する遺構で、平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.19m、短軸 1.00m、深さ 0.10m を測る。埋土は 3 層に分かれる。土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SX323 (図版 147・148・155、写真図版 203・229)

13F-4D15・20、4E11・16 に位置する遺構である。SE9・14、SK17・151 に切られ、SE63 を切る。平面形は円形、断面形は皿状である。確認面で短軸 1.47m、深さ 0.30m を測り、埋土は 4 層に分かれる。須恵器無台杯・鉢・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、石製品(台石・軽石製石製品)が出土している。切り合い関係から中世の遺構とした。

SX352 (図版 148・163、写真図版 229)

13F-4E16・17・21 に位置する遺構である。SK17、SD3 に切られ、SX383 を切る。平面形は楕円形、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.21m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、土製品(土鍾)、鍛冶関連遺物(粘土質溶解物)が出土している(図版 239・256)。出土土器から古代の遺構とした。

SX354 (図版 147・148・164、写真図版 229)

13F-4E6 に位置する遺構で、SD65 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で短軸 0.93m、深さ 0.16m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、石製品(台石)が出土している(図版 240)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX383 (図版 148・164、写真図版 230)

13F-4E16・17 に位置する遺構で、SK41・291・311、SX352 に切られる。SE14 と隣接するが、切り合い関係は不明。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で深さ 0.35m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・鉢・短頸壺・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、石製品(台石)が出土している(図版 240)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX439 (図版 148・164、写真図版 230)

13F-5E4・5・9・10 に位置する遺構で、SD34 に切られる。平面形は不整形、断面形は台形状である。確認面で短軸 2.20m、深さ 0.25m を測り、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、土製品が出土している (図版 240)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX445 (図版 147・165、写真図版 230)

13F-3B17・18・22・23 に位置する遺構で、SD478 を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で現存短軸 2.09m、深さ 0.27m を測り、埋土は 3 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、鉄製品 (刀子) が出土している (図版 240)。出土土器から古代の遺構とした。

SX446 (図版 147・148・165、写真図版 230)

13F-5B20 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.79m、短軸 1.00m、深さ 0.13m を測る。埋土は 1 層で、土師器長甕、石製品 (不明石製品)、鍛冶関連遺物 (碗形鍛冶滓) が出土している (図版 263)。出土土器から古代の遺構とした。

SX475 (図版 148・164、写真図版 231)

13F-4E21・22、5E2 に位置する遺構で、SK41、SD3 に切られ、SD506 を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.94m、深さ 0.08m を測り、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SX494 (図版 147・164、写真図版 231)

13F-4B7・9・12・13 に位置する遺構で、SD463・478 と SB3 を構成する Pit1063 に切られる。平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で短軸 1.82m、深さ 0.23m を測る。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕・鍋、土製品 (土錘) が出土している (図版 240)。出土遺物から古代の遺構とした。

SX634 (図版 147・148・165、写真図版 227・231・239)

13F-4C5・10、4D1 に位置する遺構である。SD420 に切られ、SK679 を切る。平面形は不明、断面形は半円状である。確認面で現存長軸 1.70m、深さ 0.21m を測り、埋土は 2 層である。古代の須恵器大甕、土師器無台碗・長甕、石製品 (台石) のほか、鍛冶関連遺物の木炭が出土しており、隣接する SK474 と同様の鍛冶炭の廃棄土坑であると推察される。古代の土器が出土しているが、一連の鍛冶関連遺構との関係から中世の遺構とした。出土した木炭について、加速器質量分析 (AMS) 法により放射性炭素 (^{14}C) 年代測定を実施したところ、No.7 が補正 ^{14}C 年代 (yrBP) で (1234 ± 25) 、No.8 が (1289 ± 25) と推定された。暦年較正年代は No.7 が $2\sigma : 787 \sim 878\text{calAD}$ 、 $1\sigma : 710 \sim 745\text{calAD}$ 、No.8 が $2\sigma : 666 \sim 770\text{calAD}$ 、 $1\sigma : 677 \sim 714\text{calAD}$ の歴年代幅を示す。

SX666 (図版 148・165、写真図版 231)

13F-6B8・9・12・14・18・20・24 に位置する遺構である。SK447 に切られ、SD674 を切る。平面形は不明、断面形は皿状である。確認面で深さ 0.16m を測る。埋土は 1 層で、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SX680 (図版 148・166、写真図版 231・232)

13F-5C22・23、6C2・3 に位置する遺構で、平面形は不整形、断面形は皿状である。確認面で長軸 1.80m、短軸 1.73m、深さ 0.10m を測る。埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕・壺蓋、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土している (図版 240)。出土遺物から古代の遺構とした。

d 溝 (SD)

SD3 (図版 148・150・159・163・164・166、写真図版 218・229・231・232)

13F-4D8・9・14・20、4E16・21・22、5D5、5E1・2・6 に位置する。軸方向は北西～南東に延び ($\text{N-}46^\circ\text{-W}$)、湾曲して北東～南西に流れる ($\text{N-}35^\circ\text{-E}$)。SE9・499、SK8・17・319 に切られ、SX352・475、SD349・425・483・536 を切る。確認面で最大幅 1.00m、深さは 0.53m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 7 層

に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢・大甕・長頸瓶・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗・有台皿、中世の青磁碗、珠洲焼甕・片口鉢、土師器皿、土製品、石製品（砥石・叩石）、鍛冶関連遺物（碗形鍛冶滓）、鉄製品（鏝）が出土している（図版 241・287）。出土遺物から中世の遺構とした。

SD7（図版 147・148・166、写真図版 232）

13F-4D14・19 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び（N-29° -W）、屈曲して北東～南西に流れる（N-80° -E）。SK89 に切られ、SB5 を構成する Pit707 を切る。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.11m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層である。須恵器有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕が出土しているが、切り合い関係から、中世の遺構とした。

SD34（図版 148・166、写真図版 232）

13F-5E9 に位置する。軸方向は北東～南西に延び（N-59° -E）、SX439 を切る。断面形は半円状である。確認面で長軸 1.05m、短軸 0.30m、深さは 0.25m 前後である。埋土は 2 層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD54（図版 147・148・150・158・166、写真図版 233）

13F-3B13・14・18～20・24・25、3C21、4B5、4C1・6・7・11～13・17・18・23・24、5C3～5・9・10・15、5D6・11・12・16・17・21～23、6D2～4・8・9 に位置する。SD143 と平行し、軸方向は北西～南東に延びる（N-36° -W）。SD359 に切られ、SD143・394・463・519・538 と SB3 を構成する Pit611 を切る。確認面で最大幅 1.45m、深さは 0.36m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・鉢・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の青磁碗、土師器皿、土製品、石製品（砥石・磨石・台石・軽石製石製品）、鍛冶関連遺物（炉壁・羽口・碗形鍛冶滓・鍛冶滓・粘土質溶解物）が出土している（図版 241・288）。出土遺物から中世の遺構とした。

SD65（図版 148・149・158・164・166・170、写真図版 202・214・233・247）

13F-4E1・6・7・12・13 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる（N-46° -W）。SE39、SK46・328 に切られ、SX354 を切る。確認面で長軸 7.30m、短軸 0.40m、深さは 0.19m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・鉢・大甕・短頸壺・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕、鍋、鍛冶関連遺物（炉壁・鍛冶滓）が出土している（図版 241・256）。出土土器から古代の遺構とした。

SD143（図版 147・148・150・158・166、写真図版 233）

13F-3B14・15・19・20・25、3C21、4C1・2・6～8・12・13・18・19・23～25、5C4・5・10、5D6・11・12・17・18・22・23、6D3・4・9 に位置する遺構である。SD54 と平行し、軸方向は北西～南東に延びる（N-37° -W）。SD54・359 に切られ、SE86、SK279、SD463・519 を切る。確認面で最大幅 0.80m、深さは 0.29m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 2 層である。古代の須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・鉢・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器有台皿、中世の青磁碗、珠洲焼甕・片口鉢、土師器皿、石製品（磨石・叩石・台石）、鍛冶関連遺物（羽口・碗形鍛冶滓・鍛冶滓・粘土質溶解物）、金属製品（銭貨）が出土している（図版 241・256・263・282・288・289）。出土遺物から中世の遺構とした。

SD198（図版 147・148・157・167、写真図版 211・234）

13F-4D10、4E6・11 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる（N-38° -W）。SK199 に切られ、SK151 を切る。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.18m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・鉢、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物（粘土質溶解物）が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD246（図版 147・148）

13F-3D8～10・13 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる（N-65° -E）。SE234 に切られ、SK320、SD309 を切る。確認面で最大幅 0.30m で、断面形は不明である。須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・

小甕・鍋、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物（碗形鍛冶滓）が出土している（図版242・289）。出土土器から古代の遺構とした。

SD275（図版147・151・167、写真図版204・234）

13F-3C10・14・15、3D6・7・11に位置する。軸方向は北東～南西に延び（N-62°-E）、SE226、SK308、SD297に切られる。確認面で長軸6.20m、短軸0.60m、深さは0.15m前後である。断面形は皿状で、埋土は1層である。土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗、土製品、石製品（台石）が出土していることから、古代の遺構とした。

SD278（図版148・167、写真図版234）

13F-4E8・13に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び（N-55°-W）、SK310に切られる。確認面で最大幅0.30m、深さは0.05m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器大甕、土師器無台碗・長甕、石製品（台石・軽石製石製品）が出土している（図版263）。出土遺物から古代の遺構とした。

SD292（図版147・159、写真図版217・234）

13F-2C15、2D11・16・17・22に位置する。軸方向は北西～南東に延び（N-47°-W）、SK293・294を切る。確認面で最大幅0.30m、深さは0.05m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SD297（図版147・153・160・167、写真図版205・234・235）

13F-3C6・7・11・12・14・17～19に位置する。軸方向は北西～南東に延び（N-40°-W）、湾曲して北東～南西に流れる（N-64°-E）。SE348、SK308に切られ、SD275・372・388を切る。確認面で最大幅1.00m、深さは0.09m前後である。断面形は皿状で、埋土は1層である。須恵器無台杯・大甕・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SD300（図版147・152・167、写真図版205・235）

13F-2C19・20・23・24、2D16・21、3C3～5、3D1に位置する遺構である。軸方向はU字状に屈曲し（N-10°-E）、北東～南西に延びる（N-71°-E）。SE286に切られ、SE301、SK293を切る。確認面で最大幅0.50m、深さは0.07m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器長頸瓶、土師器無台碗・長甕といった古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SD309（図版147・160・167、写真図版218・235）

13F-2D22、3D2・3・8・9に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる（N-45°-W）。SD246・318に切られ、SK320、SD516を切る。確認面で長軸5.40m、短軸0.70m、深さは0.21m前後である。断面形は箱状で、埋土は1層である。須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、石製品（台石・軽石製石製品）、鍛冶関連遺物（碗形鍛冶滓・鍛冶滓）が出土している（図版242）。出土土器から古代の遺構とした。

SD318（図版147・152・161・167、写真図版235）

13F-3D2～5・7・8に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる（N-66°-E）。SK514に切られ、SD309・516とSB1を構成するPit798を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.75m、深さは0.07m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・鍋、黒色土器無台碗が出土していることから、古代の遺構とした。

SD324（図版147・148・167、写真図版236）

13F-3D8・9・13・14に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる（N-48°-W）。SB1を構成するPit178を切る。断面形は半円状である。確認面で長軸1.60m、短軸0.40m、深さは0.21m前後である。埋土は1層で、須恵器大甕、土師器無台碗・長甕、黒色土器無台碗・有台皿が出土していることから、古代の遺構とした。

SD329 (図版 147・148・160・167、写真図版 236)

13F-3D25、4D4・5 に位置する。軸方向は北東～南西に延び (N-50° -E)、SE449 に切られる。SK356 と隣接しているが、切り合い関係は不明。断面形は箱状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.10m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、石製品 (台石) が出土していることから、古代の遺構とした。

SD349 (図版 147・148・167・168、写真図版 236・242)

13F-3D16・17・22・23、4D3・8 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延びる (N-27° -W)。SE499、SD3・359 に切れ、SD536 を切る。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.19m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、黒色土器無台碗、石製品 (台石) が出土していることから、古代の遺構とした。

SD358 (図版 147・148・161・167、写真図版 236・237)

13F-3D13・18・23 に位置する遺構である。軸方向は北～南に延びる (N-10° -W)。SK378、SD359 に切れ、SK428 を切る。確認面で深さは 0.09m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 1 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕、鍛冶関連遺物 (鍛冶滓・粘土質溶解物) が出土している (図版 289)。出土土器から古代の遺構とした。

SD359 (図版 147・161・165～167、写真図版 221・229・233・236・237)

13F-3B21～25、3C17～24、3D11～13・16～18・23、4B1～4 に位置する中世の遺構である。軸方向は北東～南西に延び (N-75° -E)、湾曲して北西～南東に流れる (N-27° -W)。SE230・457、SK378 に切れ、SK428・937、SD54・143・349・358・374・394・420・478 と SB1 を構成する Pit841 を切る。確認面で最大幅 0.70m、深さは 0.30m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 4 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、中世の土師器皿、軽石製石製品、鍛冶関連遺物 (炉壁・碗形鍛冶滓・粘土質溶解物) が出土している。出土土器から中世の遺構とした。

SD372 (図版 147・167、写真図版 234)

13F-3C13・14・18 に位置する。軸方向は北東～南西に延び (N-55° -E)、SD297 に切られる。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.06m 前後である。埋土は 1 層で、礫が 1 点出土している。

SD374 (図版 147・166・167、写真図版 237)

13F-3B20、3C16・21 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-53° -W)。SD359 に切れ、SD463・519 を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.14m 前後である。埋土は 1 層で、遺物は出土していない。

SD388 (図版 147・160・167、写真図版 219・235・237)

13F-3C11・12・17・18 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-37° -W)、湾曲して東～西に流れる (N-87° -E)。SK387、SD297 に切られる。確認面で最大幅 0.20m、深さは 0.07m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層である。須恵器無台杯が出土していることから、古代の遺構とした。

SD394 (図版 147・167、写真図版 237・238)

13F-3B18・23・24、4B4・5・10、4C6 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-50° -W)、SK393、SD54・359・463・519 に切られる。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.16m 前後である。埋土は 2 層で、須恵器無台杯・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土している (図版 242)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD397 (図版 147・167、写真図版 238)

13F-4B12・17・18・23 に位置する SB3 の西側周溝である。軸方向は北西～南東に延び (N-19° -W)、SD463・519 を切る。確認面で長軸 4.30m、短軸 0.30m、深さは 0.20m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層に分かれる。須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD403 (図版 147・148・168、写真図版 238)

13F-4B24・25、4C16・21 に位置する SB3 の南側周溝である。軸方向は北東～南西に延びる (N-68° -E)。確認面で長軸 5.50m、短軸 0.30m、深さは 0.13m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 2 層に分かれる。土師器長甕、石製品 (台石) が出土していることから、古代の遺構とした。

SD405 (図版 148・165・168、写真図版 238・239)

13F-5B21・22、6B2・3・8・9・14・15・20、6C16・21・22、7C2・3 に位置する。SD406 と平行し、軸方向は北西～南東に延びる (N-46° -W)。SD673・674 を切る。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.19m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層である。須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD406 (図版 148・165・168、写真図版 238・239)

13F-5B22、6B2～4・8～10・14・15・20、6C11・16・17・22・23、7C3 に位置する遺構である。SD405・407 と隣接して平行し、軸方向は北西～南東に延びる (N-47° -W)。SK408 に切られ、SD673・674 を切る。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.20m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層である。須恵器無台杯・大甕、土師器長甕・鍋が出土している (図版 242)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD407 (図版 148・165・168、写真図版 238・239)

13F-5B22・23、6B3・4・9・10・15、6C11・16・17・22・23、7C3・4 に位置する遺構である。SD406 と隣接して平行し、軸方向は北西～南東に延びる (N-47° -W)。SK408 に切られ、SD673 を切る。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.18m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層である。須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕、石製品 (叩石) が出土している (図版 263)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD420 (図版 147・161・165・167・168、写真図版 221・231・237・239)

13F-3C23・24、4C4・5・10、4D1・6・7・12 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-51° -W)。SE431、SK404、SD359 に切られ、SX634、SD450 を切る。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.21m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・大甕・横瓶、土師器長甕・鍋、鍛冶関連遺物 (木炭) が出土している。古代の土器が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SD422 (図版 147・148・154・166・168、写真図版 208・233・239・240)

13F-4C22・23、5C1・2・7・8・13・14・19 に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び (N-40° -E)、湾曲して北西～南東に流れる (N-44° -W)。SE547、SK640、SD538 に切られる。確認面で最大幅 0.75m、深さは 0.21m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。古代の須恵器無台杯・有台杯・鉢・大甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀、石製品 (磨石・台石・軽石製石製品)、鍛冶関連遺物 (炉壁・椀形鍛冶滓・粘土質溶解物)、鉄製品 (鎌) が出土している (図版 242・243・289)。出土土器から古代の遺構とした。

SD425 (図版 147・148・161・168、写真図版 221・240)

13F-4D7・8・11・12 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる (N-60° -E)。SK404・426、SD3 に切られ、SD483 と SB5 を構成する Pit1116 を切る。確認面で最大幅 0.20m、深さは 0.12m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SD438 (図版 148・168、写真図版 240)

13F-4E25、4F21、5E5、5F1 に位置する遺構で、方向は北西～南東に延びる (N-41° -W)。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.19m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している (図版 243)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD450 (図版 147・148・158・168、写真図版 216・240)

13F-4C5・9・10・13・14 に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる (N-38° -E)。SK279、SD420 に切られ、SD572 を切る。確認面で最大幅 0.60m、深さは 0.21m 前後である。断面形は台形状で、埋土は

3層に分かれる。須恵器無台杯・鉢・大甕、土師器無台碗・長甕・鉢、黒色土器無台碗が出土している（図版243）。出土遺物から古代の遺構とした。

SD454（図版147・148・168、写真図版241）

13F-5D1・2・7に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び（N-49°-W）、SD623とSB5を構成するPit1582を切る。確認面で最大幅0.70m、深さは0.49m前後である。断面形は台形状で、埋土は3層に分かれる。須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、石製品（台石）が出土している（図版244）。古代の遺物が出土しているが、切り合い関係から中世の遺構とした。

SD455（図版148・168、写真図版241）

13F-5D6・7・11・12に位置する。軸方向は北西～南東に延び（N-38°-W）、SD732とSB5を構成するPit735を切る。確認面は長軸3.10m、短軸0.40m、深さは0.43m前後である。断面形は箱状で、埋土は4層に分かれる。須恵器鉢、土師器無台碗・長甕が出土しているが、切り合い関係から、中世の遺構とした。

SD463（図版147・167・168、写真図版237・238・241）

13F-3B25、4B4・5・9・13・14・17・18・22・23、5B1・2に位置する遺構である。SD519と平行し、軸方向は北東～南西に延びる（N-30°-E）。SK393、SD54・143・374・397とSB3を構成するPit1165に切られ、SX494、SD394・478・519を切る。確認面で最大幅0.35m、深さは0.26m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・大甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD478（図版147・164・165・168、写真図版230・231・241・242）

13F-3B21～23、4B2～4・8・9に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延びる（N-47°-W）。SE457、SX445、SD359・463・519に切られ、SX494を切る。確認面で最大幅1.10m、深さは0.24m前後である。断面形は台形状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯・大甕・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD483（図版147・148・166・168、写真図版232・242）

13F-4D1～3・7・8・9・13・14に位置する。SD536と平行し、軸方向は北西～南東に延びる（N-51°-W）。SD3・425に切られ、SK474・565、SD536を切る。切り合い関係から中世の遺構とした。確認面で最大幅1.40m、深さは0.38m前後である。断面形は皿状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・鉢・大甕・長頸瓶・短頸壺・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、鍛冶関連遺物（粘土質溶解物・木炭）が出土している（図版244）。

SD506（図版148・168、写真図版242）

13F-4E22、5E2・3・8に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び（N-57°-W）、SX475に切られる。確認面で最大幅0.75m、深さは0.20m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋・大甕・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD516（図版147・167、写真図版235）

13F-3D2・3に位置する。SD309と平行し、軸方向は北西～南東に延びる（N-44°-W）。SD309・318に切られる。断面形は半円状である。確認面で深さは0.20m前後である。埋土は1層で、遺物は出土していない。

SD519（図版147・167・168、写真図版237・238・241）

13F-4B4・5・9・13・14・18・22・23、5B2・7に位置する遺構である。SD463と平行し、軸方向は北東～南西に延びる（N-31°-E）。SK393、SD54・143・374・397・463とSB3を構成するPit1165に切られ、SD394・478を切る。確認面で最大幅0.50m、深さは0.18m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋が出土している（図版244）。出土遺物から古代の遺構とした。

SD536 (図版 147・148・168、写真図版 242)

13F-4D2・3・8に位置する。SD483と平行し、軸方向は北西～南東に延びる(N-40°-W)。SD3・349・483に切られる。確認面で深さは0.11m前後である。断面形は不明で、埋土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SD538 (図版 147・148・166、写真図版 233・242)

13F-4C17・18・22・23、5C3・4に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-52°-W)。SD54に切れ、SD422を切る。確認面で最大幅0.55m、深さは0.07m前後である。断面形は皿状で、埋土は1層である。須恵器横瓶、土師器無台碗・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD564 (図版 147・148・162・169、写真図版 226・242・243)

13F-4C14・15・20、4D16・17・21・22に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び(N-47°-W)、SK621、SD622・623を切る。確認面で最大幅0.80m、深さは0.32m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器無台杯・大甕・長頸瓶・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗・有台皿、鍛冶関連遺物(粘土質溶解物)が出土している(図版244・245)。出土土器から古代の遺構とした。

SD572 (図版 147・148・169、写真図版 243)

13F-4C14・19に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる(N-37°-W)。SK279、SD450に切れ、SD593を切る。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.40m、深さは0.05m前後である。埋土は1層で、土師器無台碗・小甕、鍛冶関連遺物(碗形鍛冶滓)が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD574 (図版 147・148・169、写真図版 243)

13F-5B7・8に位置する遺構で、軸方向は東～西に延びる(N-84°-W)。確認面で長軸1.70m、短軸0.30m、深さは0.20m前後である。断面形は半円状で、埋土は2層に分かれる。須恵器大甕、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD593 (図版 147・148・169、写真図版 243・244)

13F-4C14に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-61°-E)。SD572に切られる。SK279と隣接しているが、切り合い関係は不明。断面形は半円状である。確認面で最大幅0.25m、深さは0.07m前後である。埋土は1層で、遺物は出土していない。

SD603 (図版 148・169、写真図版 244)

13F-5D14・19・20に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び(N-47°-W)、SK533に切られる。断面形は半円状である。確認面で最大幅0.50m、深さは0.17m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯・大甕、土師器無台碗・長甕・鍋、黒色土器無台碗が出土している(図版245)。出土遺物から古代の遺構とした。

SD606 (図版 148・169、写真図版 244)

13F-4E17に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び(N-55°-W)、SK154に切られる。断面形は半円状である。確認面で最大幅0.20m、深さは0.11m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器長甕・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD622 (図版 147・148、写真図版 244)

13F-4D22・23、5D3に位置する遺構である。軸方向は北～南に延び(N-10°-W)、北西～南東に流れる(N-57°-W)。SK347・351、SD564に切られる。確認面で最大幅0.35mである。土師器無台碗・小甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD623 (図版 147・148・169、写真図版 244)

13F-4D22、5D2に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延び(N-32°-E)、SD454・564に切られる。断面形は半円状である。確認面で最大幅0.25m、深さは0.10m前後である。埋土は1層で、須恵器無台杯、土師器長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD629 (図版 148・169、写真図版 244・245)

13F-5C23・24、6C4・5・9・10 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-37° -W)、SK628 に切られる。確認面で長軸 6.75m、短軸 0.80m、深さは 0.19m 前後である。断面形は皿状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・大甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀が出土していることから、古代の遺構とした。

SD630 (図版 148・169、写真図版 245)

13F-6C10、6D6・11・12 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延びる (N-48° -W)。断面形は半円状である。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.12m 前後である。埋土は 1 層で、古代の須恵器横瓶、土師器無台椀・長甕、中世の土師器皿、土製品 (土錘) が出土している (図版 256)。出土遺物から中世の遺構とした。

SD631 (図版 148・169、写真図版 245・246)

13F-5C25、5D21・22、6D1・2 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-52° -W)、SD632 に切られる。確認面で最大幅 0.50m、深さは 0.22m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 1 層である。須恵器無台杯・大甕、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀、鍛冶関連遺物 (粘土質溶解物)、鉄製品 (刀子状) が出土している (図版 289)。出土土器から古代の遺構とした。

SD632 (図版 148・169、写真図版 245・246)

13F-5C24・25、5D21、6C5、6D1 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-49° -W)、北東～南西に流れる (N-51° -E)。SD631 を切る。確認面で長軸 3.90m、短軸 0.70m、深さは 0.18m 前後である。断面形は台形状で、埋土は 1 層である。須恵器有台杯・大甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀、石製品 (台石)、鍛冶関連遺物 (羽口) が出土している。出土土器から古代の遺構とした。

SD673 (図版 147・148・169、写真図版 246)

13F-6B2～4・9 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-57° -W)、北東～南西に流れる (N-48° -E)。SD405～407・674 に切られる。断面形は半円状である。確認面で長軸 5.00m、短軸 0.30m、深さは 0.09m 前後である。埋土は 1 層で、須恵器無台杯が出土していることから、古代の遺構とした。

SD674 (図版 147・148・168・169、写真図版 238・246)

13F-6B2・3・7・8 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-43° -W)、北東～南西に流れる (N-27° -E)。SX666、SD405・406 に切れ、SD673 を切る。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.12m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SD721 (図版 147・148・169、写真図版 246)

13F-3E17・21・22 に位置する遺構である。軸方向は北東～南西に延び (N-52° -E)、SK152・288 に切られる。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.16m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋が出土していることから、古代の遺構とした。

SD726 (図版 148・169、写真図版 246・247)

13F-4E12・13・17・18 に位置する遺構である。軸方向は北西～南東に延び (N-39° -W)、SE39、SK154 に切られる。確認面で最大幅 0.40m、深さは 0.20m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器有台杯、土師器長甕・小甕・鍋、石製品 (台石) が出土していることから、古代の遺構とした。

SD728 (図版 147・148・169、写真図版 247)

13F-3E22・23 に位置する遺構で、軸方向は北西～南東に延び (N-50° -W)、SK718 に切られる。確認面で最大幅 0.30m、深さは 0.12m 前後である。断面形は半円状で、埋土は 2 層に分かれる。須恵器横瓶、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD732 (図版 148・169、写真図版 247)

13F-5D6～8・13 に位置する。軸方向は北西～南東に延び (N-50° -W)、湾曲して東～西に流れる (N-85° -W)。

SK720、SD455・2257に切られる。確認面で最大幅0.40m、深さは0.37m前後である。断面形は箱状で、埋土は3層に分かれる。須恵器大甕・横瓶、土師器無台椀・長甕が出土していることから、古代の遺構とした。

SD2257 (図版148・162・169、写真図版224・232・247)

13F-5D5・9・10・13～15、5E1・6に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-58°-E)。当初はSD3と一連の溝状遺構としていたが、別遺構と考え、SD2257と設定した。SK533、SD732を切る。SD3との実際の切り合い関係は確認できなかった。確認面で最大幅0.85m、深さは0.55m前後である。断面形は台形状で、埋土は7層に分かれる。須恵器無台杯・大甕・長頸瓶、土師器無台椀・長甕・小甕が出土している(図版245)。出土遺物や軸方向から古代の遺構とした。

e 小土坑(Pit)

2区西全体で2044基のPitが確認された。分布は調査区全体に及ぶが、特に調査区東側に集中する。このうち4基から柱根等の木質遺物が検出された。掘立柱建物は5棟確認されたが、Pitの総数から他にも建物が存在した可能性が高い。

D 4区の遺構

1) 4区の概要

4区は第19次調査5区東・第22次調査4区の北西側に位置する調査区である。約4×4mのトレンチを22次4区同様、約25m毎に設置、南西側から4区-1とし、4区-12まで設定した。19次5区東・22次4区同様、北東に向かって高くなる。遺構は少なく、SD2条、Pit3基のみである。出土遺物も全体に少ないが、4区-3では古代の土器が集中して出土している。調査面積は12箇所合計で上端面積188.0m²、下端面積87.5m²である。

2) 4区遺構各説

a 溝(SD)

SD1 (図版19・20、写真図版253)

4区-12、13H-3E22・23、4E2に位置する遺構で、軸方向は北東～南西に延びる(N-25°-E)。断面形は皿状である。確認面で最大幅0.32m、深さは0.12m前後である。埋土は1層で、遺物は出土していない。

SD3 (図版15、写真図版250)

4区-3、14F-9E4・5・10、9F1・6に位置する遺構である。調査区の壁面で検出したため、平面形は不明であるが、南東壁・南西壁で検出され、軸方向は東～西に延びると推定される(N-80°-W)。確認面で深さは0.50m前後である。断面形は皿状で、埋土は5層に分かれる。須恵器無台杯・有台杯、土師器長甕・小甕が出土している(図版252)。出土遺物から古代の遺構とした。

b 小土坑(Pit)

Pit2 (図版19・20)

4区-12、13H-4E3に位置する。平面形は円形、断面形は不明である。遺物は出土していない。

Pit4 (図版15、写真図版251)

4区-3、14F-9F1に位置する。Pit5と隣接する。柱根(図版280)を検出したためPitとしたが、遺構の平面形は確認できなかった。

Pit5 (図版15、写真図版251)

4区-3、14F-8F21、9F1に位置する。Pit4と隣接する。柱根(図版281)を検出したためPitとしたが、平面形は確認できなかった。

第V章 遺 物

沖ノ羽遺跡では土器・陶磁器・土製品・石製品・木製品・金属製品・鍛冶関連遺物が出土している。遺物出土総量は第19・22・24次調査を合わせてコンテナ（内径54.5×33.6×10.0cm）に776箱出土した。遺物の内容は第19次調査5・6区が古墳時代の土器2箱、古代の土器17箱、中世の土器・陶磁器1箱、土製品1箱、石製品1箱、木製品3箱、金属製品・鍛冶関連遺物1箱である。第22次調査は古墳時代の土器2箱、古代の土器319箱、中世の土器・陶磁器30箱、土製品2箱、石製品16箱、木製品40箱、金属製品・鍛冶関連遺物1箱である。第24次調査では古代の土器303箱、中世の土器・陶磁器8箱、土製品2箱、石製品9箱、木製品11箱、金属製品・鍛冶関連遺物17箱であった。遺物包含層は主にIV層である。IV層からは各時代の遺物が混在して出土したが、層位的な時期区分はできなかった。

出土遺物の記述については、種別ごとに土器・陶磁器、土製品、石製品、木製品、金属製品、鍛冶関連遺物の順に、さらに調査回数、調査区、遺構種別（井戸SE、土坑SK、性格不明遺構SX、溝SD、旧河道、小土坑Pit）の順で行う。

第1節 土器・陶磁器

始めに時代ごとの概要と分類を示し、次に調査年度別に各区の遺構・包含層から出土した土器・陶磁器を記述する。同一の遺構から出土した土器は異なる時代であっても並列して掲載した。詳細な計測値は別表4の観察表に示している。

A 古墳時代の土器

1) 概 要

古墳時代の土器は第19次調査5区東と第22次調査1～3区で出土している。土師器のみが出土しており、須恵器は見られなかった。今回の調査では第19次調査5区東で最も多く出土しており、点数は294点、重量3,759gであった。第22次調査出土の総点数は274点、総重量は2,692gである。1区は点数123点、重量1,295g、2区は点数136点、重量1,240g、3区は点数15点、重量157gが出土している。包含層から出土した古墳時代の土器の重量を小グリッドごとに合計し、図版12・24・88・98に示した。第19次調査5区東では調査区北東端で、第22次調査2区では調査区中央付近を中心にまとまって出土しており、古墳時代に属する遺構も検出されている。第22次調査の1・3区では散発的な出土であった。出土土器は大半が古墳時代後期に属すると考える。

2) 土器の分類と記述（第4図）

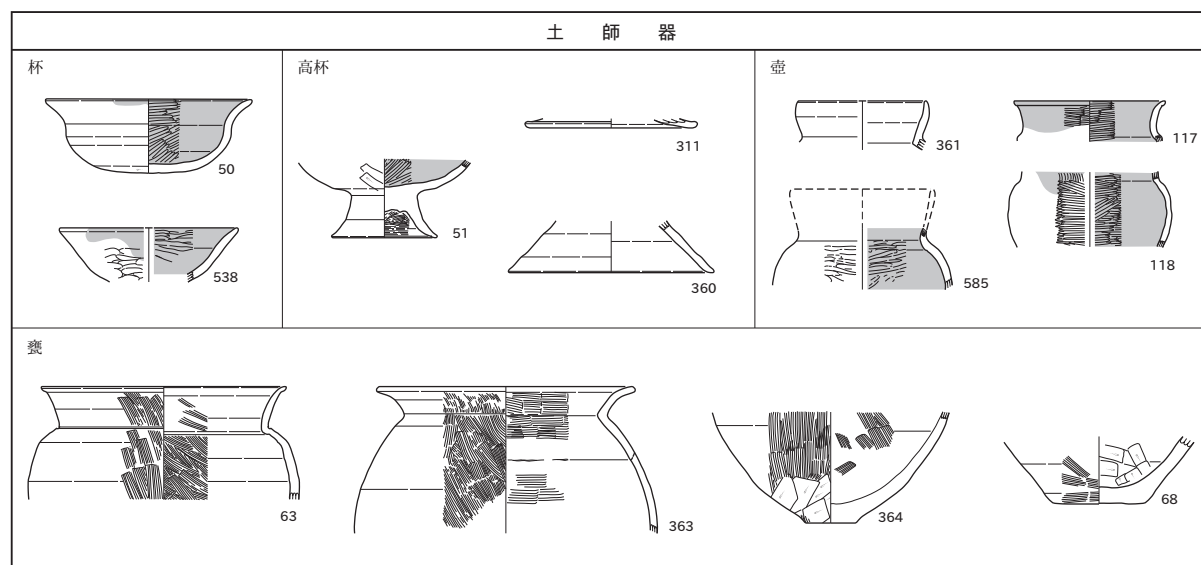
土器の分類は出土点数が少ないため、同一器種での細分類は行っていない。成形・調整の表現・名称は後述する古代の記述に準じた。

土師器

杯 丸底の底部に体部中位や上位で屈曲し外へ開く口縁部が付く。内面を黒色処理した「内黒」の土器である。
高杯 杯に脚部が付くものを一括した。上記の「内黒」の杯に脚が付くものが1点出土しているほかは、杯部や脚部の破片資料であった。

壺 球胴の体部に広口の口縁を持つ。黒色処理されたものが多い。完形のものはなく、いずれも破片資料である。

甕 完形のものはなく、すべて破片資料である。口縁部は「く」の字状に屈曲し、端部は丸く収まる。底部



第4図 沖ノ羽遺跡古墳時代土師器分類図 (S=1/6)

はすべて平底である。

B 古代の土器

1) 概 要

沖ノ羽遺跡から出土した古代の土器の総量は891,487g、155,287点出土しており、重量比で全体の9割を占める。このうち遺構出土が約342,000g、包含層出土が約550,000gであった。調査次数別に見ると、第19次調査では重量が38,890g、点数が3,689点、第22次調査で重量411,111g、点数で80,370点、第24次調査では重量が441,486g、点数で71,228点を数える。出土量が多いのは第22次調査1区であるが、調査区の面積から考えると、最も出土密度が高いのは第22次調査3区であった。須恵器・土師器・黒色土器・施釉陶器が出土しており、重量比で土師器が75%を占める。今回の調査では8世紀から10世紀の土器が確認されたが、主体となる時期は9世紀代である。包含層から出土した古代の土器の重量を小グリッドごとに合計し、第19次調査は図版8・12に、第22次調査は図版12・25・88・98に、第24次調査は図版12・108・114にそれぞれ示した。

後述する古代土器の編年的位置付けや時代区分については春日真実氏による編年〔春日1999〕を基本とした。

2) 土器の分類と記述 (第5～9図)

成形・調整の表現・名称は山三賀Ⅱ遺跡〔坂井ほか1989〕を参考に以下の通りとした。

1. 「ロクロナデ」-ロクロ回転使用、「ヨコナデ」-回転台使用、「ナデ」-ロクロ・回転台未使用。
 2. 黒色土器等に見られるロクロ回転を使用しない篋磨きを「ミガキ」とした。
 3. ロクロ・回転台を使用したハケ目を「カキメ」、ロクロ・回転台を使用しないハケ目を「ハケメ」とした。
 4. ロクロ・回転台を使用した削りを「ケズリ」、ロクロ・回転台を使用しない削りを「ヘラケズリ」とした。
 5. 「ハケメ」・「ヘラケズリ」と同様の板状工具を使用すると想定されるが、工具の幅のみ残り条線が認められず、砂粒の移動も見られないものを「ヘラナデ」とした。
 6. 土器の外面に残る叩板工具を用いた成形痕を「タタキメ」、内面に残る当て具の痕跡を「当て具痕」とした。
- 内堀信雄氏・柿田裕司氏の論考〔内堀1988・柿田2001〕を参考に、平行線文をH類、同心円文をD類とした。
7. 底部切り離し技法について、糸によるものを「糸切り」、ヘラ状工具を用いたものを「ヘラ切り」とした。いずれも切り離しの際にロクロの回転を利用したものである。ロクロ等の回転を伴わない場合は「静止糸切り」とした。

須恵器の胎土はこれまでの研究成果〔坂井ほか1989、春日2000・2001など〕を参考にA～D群に分類した。

A群：胎土そのものが相対的に粗く、石英・長石・金雲母を多く含む。器面はざらついたものが一般的で、小礫が露出する。笹神丘陵の笹神・真木山窯跡群を中心とする阿賀北地方の須恵器と推定される一群である。

B群：胎土そのものが精良で、白色小粒子を多く含む。器面に黒色の斑点、吹き出しが見られる。佐渡の小泊窯跡群の須恵器と推定される一群である。

C群：胎土そのものは比較的精良であり、石英・長石の小粒子を少量含む。器面は滑らかである。新津丘陵窯跡群の須恵器と推定される。

D群：A～C群以外のものを一括した。今回の調査では主に信濃川左岸の窯跡（西古志窯跡群・旧三島町・角田山麓等）で作られたものと推定される。

次に器種分類を行う。器種ごとの細分類について、形態や手法による分類はアルファベットの大きくと小文字（A・B…、a・b…）を、法量による分類はローマ数字と算用数字（Ⅰ・Ⅱ…、1・2…）を用い、その組み合わせで表した。

須恵器 食膳具と貯蔵具が出土している。

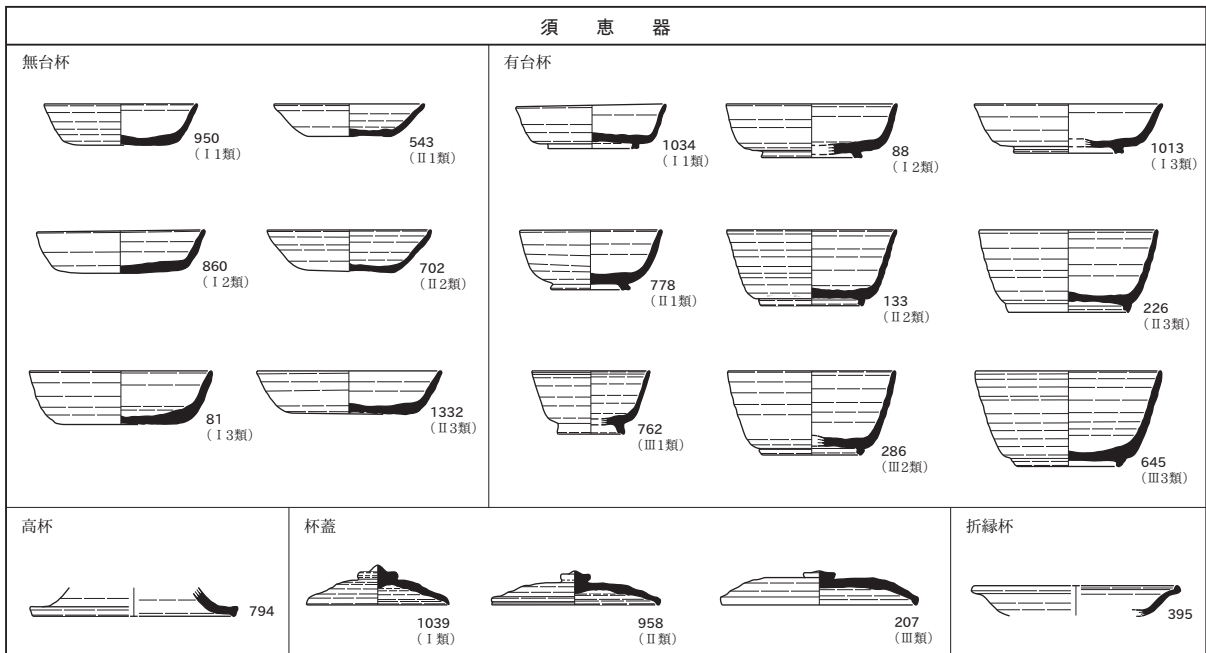
無台杯 底径指数（Ⅰ・Ⅱ）と口径（1～3）の組み合わせで分類した。底径指数は65以上をⅠ類、64以下をⅡ類とした。Ⅰ類は体部の立ち上がりが急で箱型になるもの多く、Ⅱ類は体部が大きく開く杯型の形態が多い。口径は3分類し、12cm以下を1類、12.1～13.9cmを2類、14cm以上を3類とした。底部の切り離し技法は概ねヘラ切りであるが、糸切り技法のものが数点見られた。

有台杯 器高指数（Ⅰ～Ⅲ）と口径（1～3）の組み合わせで分類した。器高指数は35以下をⅠ類、36～50をⅡ類、51以上をⅢ類とした。Ⅰ類は浅身、Ⅲ類は深身を指向する。口径は無台杯と同様に3分類した。

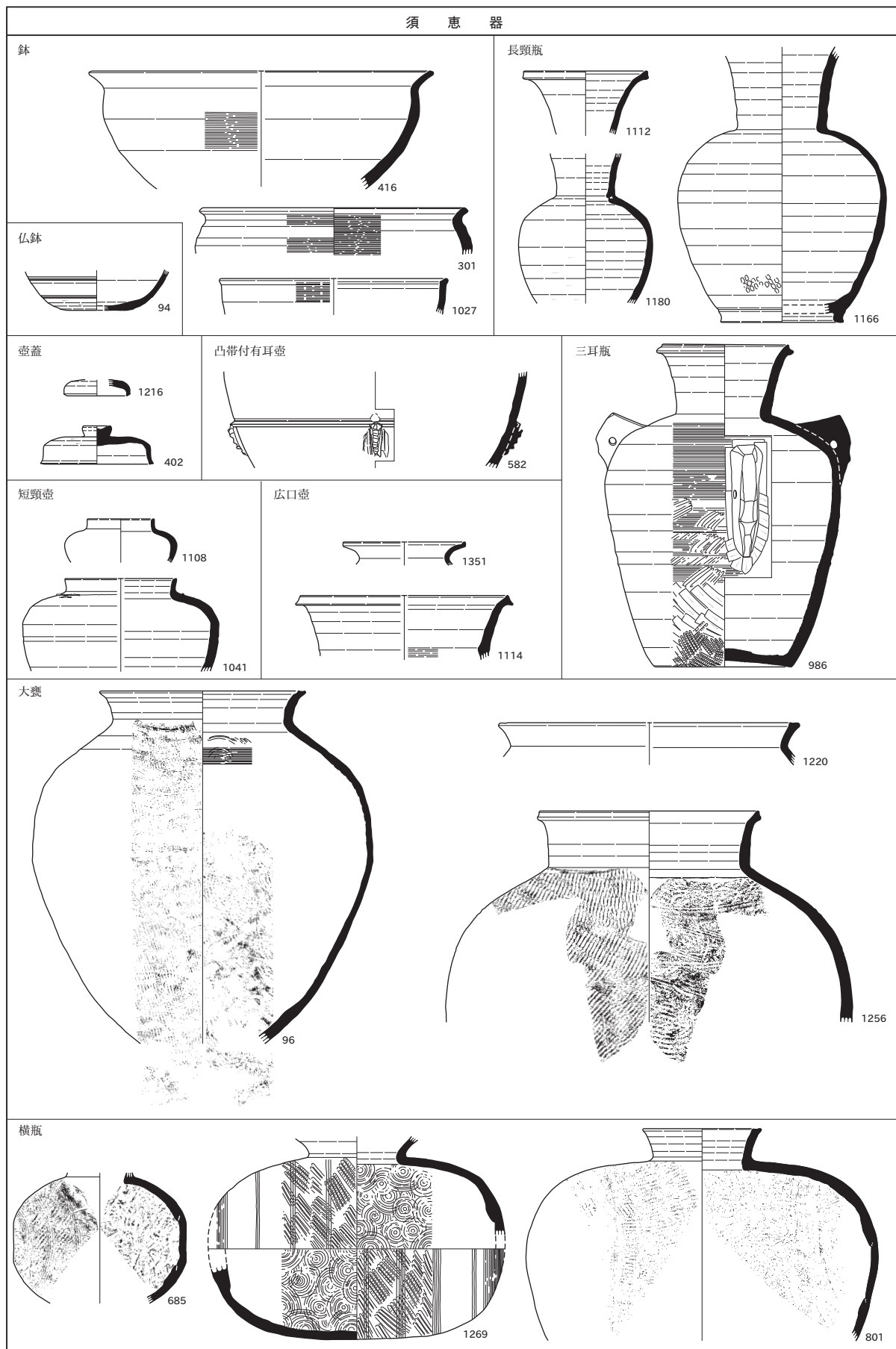
杯 蓋 有台杯に伴う蓋である。口径により3分類した。Ⅰ類は口径12cm以下、Ⅱ類は12.1～13.9cm、Ⅲ類は14cm以上とした。有台杯の1～3類に概ね対応すると考えられる。

折縁杯 口縁部を外側に折り、端部が上方を向くもの。口縁部の破片資料のみの出土であるが、高台を持つと考える。

高 杯 脚部の破片が出土した。全体形は不明であるが、底径の大きい杯部が付くと考える。



第5図 沖ノ羽遺跡古代須恵器分類図1 (S=1/6)



第6図 沖ノ羽遺跡古代須恵器分類図2 (S=1/6、96のみS=1/8)

鉢 口縁部が大きく開くものを一括した。形態は様々で、口縁部が短く屈曲し、肩が張る形態や、頸部の括れがないものなどが見られる。底部は平底であろう。把手の破片も出土しており、鉢に伴うと考える。

仏鉢 仏具である金属器を模倣したものと考えられる。1点のみ出土した。口縁部の形状は不明であるが、体部と底部に沈線が巡る。

短頸壺 口縁部が短く直立し、体部は肩部が張る形態である。底部には高台が付く。法量は大・小の2種類がある。

壺蓋 短頸壺に伴う蓋である。法量は大・小の2種類あり、短頸壺の法量に概ね対応すると考えられる。

広口壺 頸部から大きく開く口縁を持つ。出土数は少なくすべて口縁部破片資料であるが、短頸壺同様、法量は大・小の2種類が見られた。

長頸瓶 長い頸部を持つものを一括した。体部は球胴傾向のものと長胴気味のものがある。

三耳瓶 体部の三方に耳を持つ瓶である。ほぼ完形品となる資料が1点のみ出土した。

凸帯付有耳壺 胴部に凸帯と耳を持つ壺である。胴部の破片資料のみで全形は不明であるが、高台を持ち、複数の耳が付くと推定される。

大甕 大型で丸底の甕を一括した。破片数は多いが全形がわかる資料が少なく、細分は行っていない。

横瓶 俵状の体部に短めの口縁部が付くもの。大・小2種類の法量がある。

土師器 食膳具と煮炊具と貯蔵具がある。

無台椀 体部形態(A～C)・器高指数(I～Ⅲ)・口径(1～3)の組み合わせで分類した。体部の分類は、底部から体部が内湾気味に立ち上がるものをA類、底部から体部が直線的に立ち上がるものをB類、底部から体部が内湾気味に立ち上がり口縁端部で外反するものをC類とした。器高指数は3分類し、34以下をI類、35～39をII類、40以上をIII類とした。口径は12cm以下を1類、12.1cm～13.9cmを2類、14cm以上を3類とした。底部切り離し技法は糸切りを基本とするが、ヘラ切りも少数見られた。また、体部や底部にミガキやケズリ等の追加調整を行う一群もあるが、少数のため細分はしていない。

これらに先行する器種として、外面または内外面を赤彩した無台椀と非ロクロ成形の無台椀がある。出土数が少なく大別はしていないが、赤彩した無台椀は底径が大きく、身の浅いものが多い。非ロクロ成形の無台椀は外面をミガキ調整しており、内面に暗文が施されるものもある。

有台椀 高台の付く椀。底部や体部の破片資料のみで、全形のわかる資料は出土していない。

有台皿 体部が大きく開くもの。1点出土した。

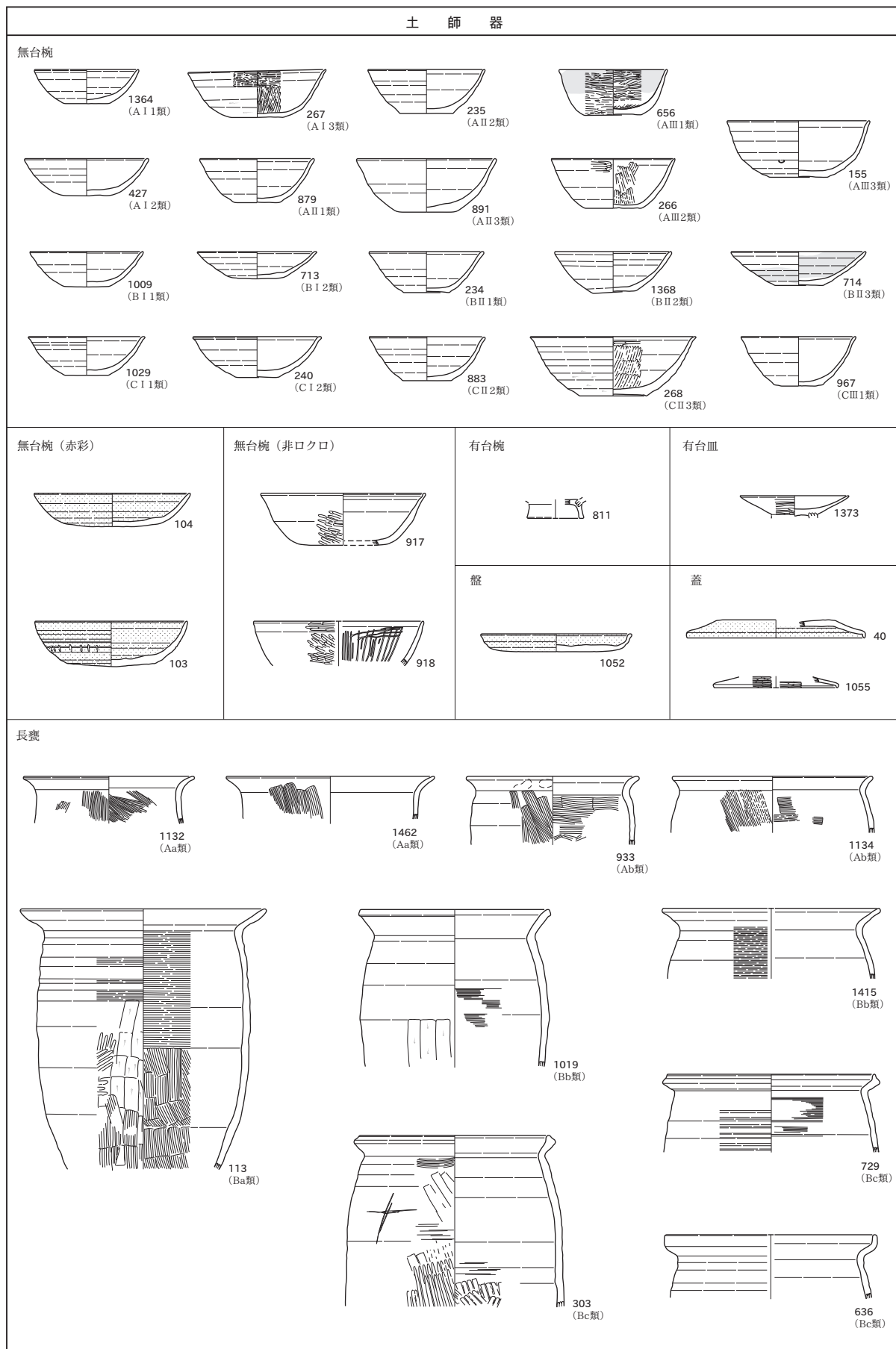
盤 底径が大きく体部が浅い形態のもの。非ロクロ成形で、外面はヘラミガキで調整している。

蓋 須恵器杯蓋に類似するものや、内外面が磨かれているものなど、様々な形態がある。どのような器種に伴うかは不明である。

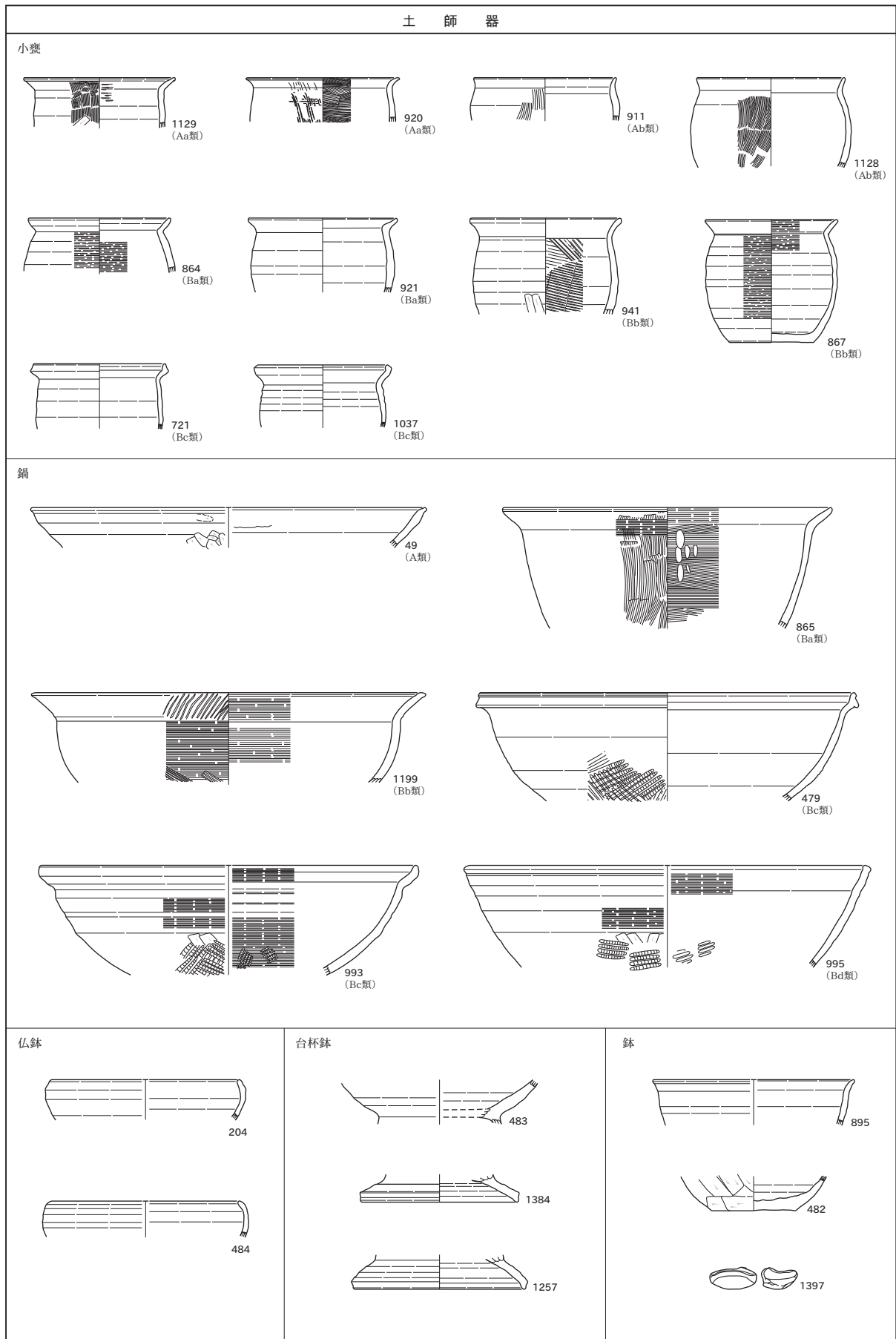
長甕 非ロクロ成形をA類、ロクロ成形をB類に大別した。さらに口縁部・体部の形態で細別した。非ロクロ成形のA類のうち頸部から体部が直線的に伸びる形態をAa類、体部が球胴気味に伸びる、もしくは肩部がやや張る形態をAb類とした。ロクロ成形のB類では口縁端部が丸く収まる形態をBa類、口縁端部が面取りされるものをBb類、口縁端部が屈曲して伸びる、もしくは上方に摘まれるものをBc類とした。B類の体部はBa・Bb類がハケメやヘラケズリで成形されるものが目立つのに対し、Bc類はタタキ・当て具を用いて成形されるものが主体である。底部は平底・丸底ともに認められる。

小甕 非ロクロ成形のもの(A類)、ロクロ成形のもの(B類)に大別した。さらに口縁部・体部の形態で細別した。非ロクロ成形のA類のうち頸部から体部が直線的に伸びる形態をAa類、体部が球胴気味に伸びる、もしくは肩部がやや張る形態をAb類とした。ロクロ成形のB類では口縁端部が丸く収まる形態をBa類、口縁端部が面取りされるものをBb類、口縁端部が屈曲して伸びる、もしくは上方に摘まれるものをBc類とした。

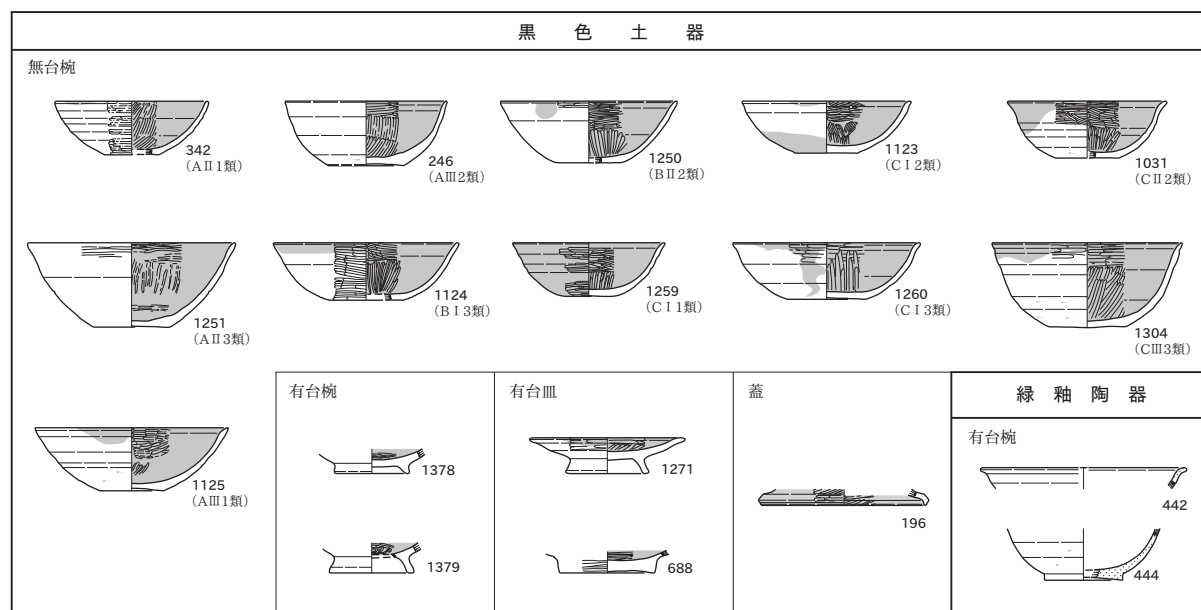
鍋 非ロクロ成形のもの(A類)、ロクロ成形のもの(B類)に大別した。さらにB類を口縁部・体部の形態



第7図 沖ノ羽遺跡古代土師器分類図1 (S=1/6)



第 8 図 沖ノ羽遺跡古代土師器分類図 2 (S=1/6)



第9図 沖ノ羽遺跡古代黒色土器・緑釉陶器分類図 (S=1/6)

で細別した。ロクロ成形のB類では口縁端部が丸く収まる形態をBa類、口縁端部が面取りされるものをBb類、口縁端部が屈曲して伸びる、もしくは上方に摘まれるものをBc類、頸部が屈曲せず、そのまま伸びる形態をBd類とした。

台付鉢 大きく開く体部に「ハ」の字状に伸びる脚部が付く。全形のわかる資料は出土していない。

鉢 底部から口縁が大きく開く形態を一括した。取手のみの出土があり、鉢に付随すると考える。

仏鉢 仏具である金属器を模倣したもの。口縁端部は内湾する。

黒色土器 食膳具と貯蔵具が出土している。主に内面を黒化処理した「内黒」の土器である。

無台碗 体部外面下半にケズリ、内面はミガキを施す。底部は糸切り後ケズリまたはミガキ調整を行う。体部のミガキは外面の口縁端部まで及ぶこともある。また、内外面を黒色処理するものも一定量存在する。分類は土師器無台碗同様、体部形態・器高指数・口径の組み合わせで行った。

有台碗 底部資料のため全体形は不明であるが、立ち上がりの角度から有台碗とした。出土数は少ない。

有台皿 大きく開く体部に、高台が付く。口縁部のみの資料は立ち上がりの角度から推定し分類した。

蓋 口縁端部の破片資料が1点のみ出土した。内外面が黒色処理されている。どのような器種に伴うかは不明である。

緑釉陶器 第22次調査1区と、第24次調査2区東で出土した。出土数は28点、総重量は105gである。小破片が多く、全形がわかる資料は少ない。有台碗のみが出土した。

有台碗 端部で外反する口縁部資料と、削り出し高台を持つ底部資料がある。掲載資料は接合はしなかったが、一部は同一個体の可能性がある。

C 中世の土器・陶磁器

1) 概要

中世の土器・陶磁器は第19次調査5・6区、第22次調査1区、第24次調査1・2区で出土している。総出土量は48,715g、3,118点で、このうち第22次調査1区では36,727g、2,429点が出土しており、全体の

75%以上を占めている。第19次調査は436g、26点、第24次調査では11,552g、665点が出土している。包含層出土状況を第22次調査1区は図版26に、第24次調査1区は図版108に、2区は図版115にそれぞれ示した。第19次調査は出土数が少なかったため掲載していない。

中世の土器・陶磁器は青白磁、白磁、青磁、瀬戸・美濃焼、珠洲焼、珠洲系陶器、中世土師器がある。種類別の比率は破片数で輸入陶磁器3.36%、珠洲焼・珠洲系陶器18.90%、瀬戸・美濃焼0.03%、中世土師器77.71%

| 青磁 | | 白磁 | 青白磁 | 瀬戸・美濃焼 |
|----------------|-----------------|------------|--------|-------------------|
| 碗 | 杯 | 碗 | 合子 | 平碗 |
| 中世土師器 | | | | |
| ロクロ成形底部糸切り | ロクロ成形底部ヘラ切り | 手づくね成形 | | |
| 珠洲焼 | | | | |
| 壺R種 | 壺T種 | 甕 | | |
| 片口鉢 | | | | 北越窯産陶器 片口鉢 |

第10図 沖ノ羽遺跡中世土器・陶磁器分類図 (S=1/6)

と、中世土師器が大半を占める。

本遺跡では12世紀から15世紀の遺物が出土しているが、主体となる時期は13～14世紀である。

2) 土器・陶磁器の分類と記述 (第10図)

青磁・白磁は山本信夫氏の研究〔山本2000〕、瀬戸・美濃焼は藤澤良裕氏の研究〔藤澤2008〕、中世土師器は水澤幸一氏の研究〔水澤2005〕、珠洲焼は吉岡康暢氏の研究〔吉岡1994〕を参考とした。

青磁 碗が86点、杯が1点出土している。このうち碗20点、杯1点を図化した。碗のうち6点が同安窯系で、その他はすべて龍泉窯系である。龍泉窯系の中には高台内部まで施釉する優品も見られた。

白磁 碗が14点、皿が1点出土している。このうち碗4点、皿1点を図化した。碗は口縁部が残存する資料はすべて口禿げの碗皿類であった。皿は底部から体部にかけての資料であるが、形態から碗皿類とセットになる口禿げの皿皿類であると推定される。

青白磁 合子の蓋が1個体出土している。

瀬戸・美濃焼 1点出土している。包含層出土資料ではあるが、完形の平碗である。

中世土師器 皿が破片数で2000点以上出土しているが、破片資料が多く、図化できたのは73個体である。手づくね成形を15個体、ロクロ成形を58個体図化した。それぞれ法量に大小がある。また、ロクロ成形では底部の切り離し技法で糸切りとヘラ切りに分けられる。

珠洲焼 壺R種が49点、壺T種が100点、壺K種が1点、甕が213点、片口鉢が212点出土している。このうち壺R種を4個体、壺T種を2個体、甕を7個体、片口鉢を34個体図化した。壺K種は小破片のため図化していない。

北越窯産陶器 北越窯のうち、北沢窯産と推定される片口鉢を2個体、図化した。

D 第19次調査出土土器・陶磁器各説

1) 第19次調査5区西出土土器・陶磁器

a 遺構出土土器

SK8 (図版174、写真図版259)

須恵器無台杯(1)・杯蓋(2)、黒色土器無台碗(3)を図化した。須恵器無台杯1は薄手の作りで分類はⅡ1類、胎土はB群である。杯蓋2は胎土C群である。黒色土器無台碗3は口縁端部が欠損している大型品で、推定口径は16cm以上を測る。底部は糸切り後ミガキ調整されている。須恵器杯蓋2がやや古手の様相を示すが、無台杯と黒色土器無台碗の形態からSK8は春日編年Ⅵ期の範疇と考える。

SD6 (図版174、写真図版259)

須恵器有台杯(4)・杯蓋(5)、土師器無台碗(6・7)を図化した。須恵器有台杯4は胎土C群、杯蓋5はB群である。土師器無台碗6はAⅠ2類で、7とともに薄手の器形である。時期は春日編年Ⅵ期であろう。

SD11 (図版174、写真図版259)

土師器長甕(8)を図化した。非ロクロ成形の底部資料で、外面に磨いたような調整が見られる。春日編年Ⅲ～Ⅳ1期に比定されると考える。

河12 (図版174、写真図版259)

須恵器有台杯(9)・杯蓋(10)、土師器小甕(11～13)を図化した。須恵器有台杯9はⅡ2類で胎土はD群である。外面にはケズリが施されている。杯蓋10は胎土B群である。土師器小甕11は口縁端部がつまみ出されるBc類で、12・13はB類の底部資料である。時期は9がやや古手の様相を示すが、遺構としては概ね春日編年Ⅴ～Ⅵ期に収まると考える。

b 包含層出土土器 (図版 174・175、写真図版 259・260)

須恵器無台杯 (14～18)・有台杯 (19)・杯蓋 (20)・大甕 (21)・横瓶 (22)、土師器無台碗 (23・24)、黒色土器無台碗 (25)、土師器小甕 (26・27)・長甕 (28・29) を図化した。須恵器無台杯 14 はⅡ1 類、15・16 はⅡ2 類、17・18 はⅠ3 類に分類した。底部切り離しはいずれもヘラ切りである。17 は底部外面にヘラ記号「++」が施される。18 の底部外面にも「×」のヘラ記号が残り、体部外面には倒位に「三」の墨書が確認された。杯蓋 20 は口径が大きいⅢ類で、小さい摘みが付く。大甕 21・横瓶 22 はいずれも体部資料で、タタキ成形されている。22 は側部にまでカキメを施している。須恵器の胎土は 16 が A 群、14・15・21 が B 群、17～20・22 が C 群であった。23・24 は土師器無台碗の底部資料である。24 は底径がやや大きく、底部からの立ち上がりは緩やかである。25 は黒色土器無台碗の底部資料で、糸切り後ミガキが施される。土師器小甕 26・27 は Bb 類、長甕 28 は Bc 類、29 は Ba 類である。

5 区西包含層出土土器では異なる二時期のまとまりが見られた。一方は 16～20 の須恵器食膳具に 26・27・29 の土師器煮炊具が伴う、主に春日編年Ⅳ1 期を中心とした一群で、もう一方は 14・15 の須恵器無台杯に 23～25 の土師器食膳具と長甕 28 が付随する春日編年Ⅵ期を中心とした一群である。5 区西遺構出土土器も概ねこの二つの時期に分かれると考える。

c 工事立会出土土器 (図版 175、写真図版 260)

須恵器短頸壺 (30) を図化した。肩部に沈線が巡る。胎土は C 群である。

2) 第 19 次調査 5 区東出土土器・陶磁器

a 遺構出土土器

SK2 (図版 175・176、写真図版 260)

須恵器無台杯 (31～35)・杯蓋 (36～38)、土師器無台碗 (39)・蓋 (40)、黒色土器無台碗 (41)、土師器小甕 (42～44)・長甕 (45～48)・鍋 (49) を図化した。須恵器無台杯 31 は口縁部資料で、32～34 は底部資料である。33 は底部が厚く、底径が小さい。34 は口径が 15cm 前後と推定され、Ⅰ類に分類できるであろう。35 はⅠ2 類とした。内面底部にヘラ記号「||」が認められる。杯蓋 36 は外面全体に自然釉が厚くかかる。37・38 は口縁部の破片資料で、37 は外面にケズリが施されている。須恵器の胎土はすべて C 群であった。土師器無台碗 39 は内外面が赤彩され、外面・底部調整にはケズリが観察される。40 は土師器蓋で内外面が赤彩されている。製作技法は須恵器杯蓋と同様で外面にはケズリが施される。黒色土器無台碗 41 は底部から体部にかけての資料である。内外面を黒色処理し、ミガキも内外面とも丁寧に施されている。これらの様相から仏鉢の可能性も考えられる。土師器小甕 42 は Bb 類、43 は Ba 類に分類した。44 は B 類で内外面とも底部付近までカキメを施す。長甕 45・47 は Ba 類、46・48 は Bb 類とした。いずれも口縁部が長く伸びる。47 は外面にコゲ、48 は内外面にススが付着している。土師器鍋 49 は A 類で、口縁部はそのまま丸く収まる。体部外面はヘラケズリで整形される。第 24 次調査 4 区-3 出土土器と接合した。時期は春日編年Ⅳ1 期に収まると考える。

SX19 (図版 176、写真図版 260)

古墳時代の土師器杯 (50)・高杯 (51)、甕 (52) を図化した。杯 50・高杯 51 は内黒の土器で、内面にミガキを施す。甕 52 は外面をミガキ、内面はヘラケズリで調整される。時期は古墳時代後期、6 世紀後半に位置付けられると考える。

SD4 (図版 176、写真図版 260)

須恵器無台杯 (53・54)、土師器長甕 (55) を図化した。須恵器無台杯 53 はⅠ2 類、54 はⅠ3 類に分類した。胎土はどちらも C 群で、53 は SD8 と接合関係にある。土師器長甕 55 は Ba 類で、外面にススが付着している。時期は春日編年Ⅳ2 期に収まると考える。

SD5 (図版 176・177、写真図版 260・261)

須恵器無台杯 (56・57)・有台杯 (58)、土師器長甕 (59)・小甕 (60・61) を図化した。須恵器の胎土はすべ

てC群で、無台杯56はI2類に分類した。有台杯58は口縁部が外反し端部内面に沈線が巡ることから稜腕の可能性もある。土師器長甕59は長甕底部で、外面をハケメ、内面をヘラケズリで調整する。小甕60はAa類で、内外面をハケメで調整する。61はBa類である。長甕59がやや古手の様相を示すが、遺構の時期としては春日編年IV2期でSK2に後続する土器群と考える。

SD8 (図版177、写真図版261)

須恵器杯蓋(62)を図化した。胎土はD群で春日編年IV2期に比定される。

SD15 (図版177、写真図版261)

古墳時代の土師器甕(63・64)を図化した。土師器甕63は口縁部が大きく開き、体部と頸部の境目に段を持つ。体部は肩部が張り、内外面はハケメ調整される。これは古墳時代後期の東北地方の甕の形態と類似する。64は小型の甕である。体部から口縁部が直線的に伸び、平底の底部が付くと推定される。体部内外面はハケメ調整され、Pit16と接合関係にある。時期は古墳時代後期、6世紀代と考える。

Pit1 (図版177、写真図版261)

須恵器無台杯(65)を図化した。胎土はC群でI2類に分類した。春日編年IV2期に比定される。

b 包含層出土土器 (図版177～180、写真図版261～263)

古墳時代 (図版177、写真図版261) 土師器甕(66～69)を図化した。66の口縁端部は面を持つ。67～69は体部から底部の資料である。体部外面をハケメ、内面をヘラケズリで調整する。古墳時代後期の土器群と考える。

古代 (図版177～180、写真図版261～263) 須恵器無台杯(70～84)・有台杯(85～91)・杯蓋(92・93)・仏鉢(94)・短頸壺(95)・大甕(96)、土師器無台碗(97～104)・小甕(105～110)・長甕(111～115)を図化した。須恵器無台杯71・73・75～77・79はI2類、78・80～82はI3類、72・74はII2類、70・84はII3類である。83は口縁部が欠損しているが、II類と推定される。いずれも底部切り離しはヘラ切りで、74に「U」、77に「×」、78に「/」のヘラ記号が底部外面に残る。78にはさらに底部外面に「三」の墨書が2箇所を確認された。81は酸化炎焼成である。有台杯は88がI2類、89・90はI3類、85・87はII1類、91はII3類とした。85・87はやや小型で、91は深身の器形である。杯蓋92・93はIII類である。このうち92は器高が高い。また、内面に墨痕があり転用硯として使用されたと考える。外面にはヘラ記号「×」がある。94は仏鉢としたが、体部外面や底部に沈線が巡ることから「銅碗」を模倣したものとする。95は短頸壺で肩部に沈線が巡る。大甕96は外面にタタキメH類、内面に当て具痕D類が施される。また、内外面ともカキメやハケメ調整が見られる。須恵器の胎土は90がA群で、そのほかはすべてC群であった。

土師器無台碗97～104は磨耗や剥落のため判別できないものもあるが、大部分は内外面に赤彩されている。器高指数が30以下の浅身の器形で、底部切り離しは概ねヘラ切りである。ただ、102は糸切りと推定され、その後ケズリで調整している。100は口縁端部外面に沈線が巡る。103・104は一部にミガキが施されており、103は底部ヘラ切り後ケズリ調整される。小甕105はA類で外面をヘラケズリ、内面をハケメで調整する。106・107はBa類、108はBc類に分類した。小甕の底部資料109・110はB類で、底部は無調整である。長甕111は肩部が張るAb類、112～114はBa類に分類される。112は直立気味の口縁が大きく外反する形態で、113は内外面をハケメやヘラケズリで調整している。115は平底の底部資料で、111と胎土が類似している。この2点が同一とすると、器種は壺の可能性も考えられる。

5区東包含層出土の古代の土器群は時期的にまとまりが見られる。須恵器食膳具をみると概ね春日編年IV1期に比定されると考えるが、小型の有台杯が見られることから、やや新しい様相も含まれる。土師器は全体としてIV期に収まる形態である。よって、この土器群は春日編年IV1～IV2期の範疇で、主体となるのはIV1期であるとする。

中世 (図版180、写真図版263) 5区東では中世の土師器皿が1点のみ出土した。116は小型のロクロ成形皿で底部切り離しは糸切りである。口縁端部は内湾気味に伸びる。時期は13世紀前半のものとする。

c 工事立会出土土器 (図版 180、写真図版 263)

古墳時代の土師器壺 (117・118)、古代の土師器無台椀 (119)、を図化した。古墳時代の土師器壺 117・118 は同一個体と推察される内黒の土器で、内外面にミガキが施されている。口縁部は外反して伸びる。体部はやや扁平な球形で、古墳時代後期に比定されると考える。

古代の土師器無台椀 119 は内外面に赤彩され、ミガキも施されているようである。底部切り離し技法はヘラ切りで、回転方向は左である。時期は 5 区東包含層と同様、春日編年Ⅳ期と考える。

3) 第 19 次調査 6 区出土土器

a 包含層出土土器 (図版 180、写真図版 263)

中世の珠洲焼片口鉢 (120・121) と表採の珠洲焼甕 (122) を図化した。いずれも残存率が低く口径は不明であるが、口縁端部の形態から珠洲吉岡編年Ⅰ～Ⅱ期に収まると考える。

E 第 22 次調査出土土器・陶磁器各説

1) 第 22 次調査 1 区出土土器・陶磁器

a 遺構出土土器・陶磁器

SE126 (図版 181、写真図版 264)

中世の土師器皿 (123)、珠洲焼片口鉢 (124) を図化した。土師器皿 123 は手づくね成形で口縁端部に面を持つ。体部のヨコナデは 2 段見られる。時期は 13 世紀代であろう。珠洲焼片口鉢 124 の内面には 1 単位 6 目の卸目が施され、SE201 と接合関係にある。時期は珠洲Ⅲ～Ⅳ1 期と考える。

SE138 (図版 181、写真図版 264)

中世の土師器皿 (125) を図化した。ロクロ成形で底部はヘラ切りである。内外面にススが付着している。14 世紀代に比定されると考える。

SE201 (図版 181、写真図版 256・264)

須恵器横瓶 (126)、土師器長甕 (127)、中世の青磁椀 (128)、土師器皿 (129・130)、珠洲焼片口鉢 (131) を図化した。須恵器横瓶 126 の体部外面は隙間なくカキメが施されており、側部にもカキメが巡る。胎土は A 群であった。土師器長甕 127 は口縁端部を上方につまみ上げる Bc 類で、春日編年Ⅵ期の資料である。

中世の青磁椀 128 は体部の破片資料である。外面に鎚連弁文があるⅡ-b 類で、E 期 (13 世紀前後～13 世紀前半) に相当する。土師器皿 129 は手づくね成形の小皿で、内外面に指頭圧痕が残る。130 はロクロ成形の皿で底部切り離しは糸切りである。内外面にはススが付着している。珠洲焼片口鉢 131 は内面に 1 単位 9 目の卸目が施されており、SE96・1517 と接合関係にある。時期は珠洲Ⅳ1 期に比定され、128～130 もほぼ同時期の資料であると考えられる。

SE301 (図版 181、写真図版 264)

古墳時代の土師器甕 (132) を図化した。口縁部資料であるが長胴の体部が付くと考える。古墳時代後期の資料であろう。

SE385 (図版 181、写真図版 264)

須恵器有台杯 (133)、土師器小甕 (134)、中世の珠洲焼片口鉢 (135) を図化した。須恵器有台杯 133 はⅡ2 類で胎土は B 群である。SX564 と接合関係にあった。時期は春日編年Ⅴ期に比定される。134 は見込み付近にわずかに段が見られたため、土師器小甕とした。春日編年Ⅵ期以降の資料であろう。珠洲焼片口鉢 135 は内外面にススが付着する。時期は珠洲Ⅱ期である。

SE412 (図版 181、写真図版 264)

土師器無台椀 (136)、緑釉陶器有台椀 (137) を図化した。土師器無台椀 136 は底部から内湾して立ち上がる、春日編年Ⅵ期の資料である。緑釉陶器有台椀 137 は口縁端部が外反する形態で、内外面にミガキを施す。胎土

は軟質で、京都の洛北産の資料であろう。9世紀後半に比定されると考える。

SE433 (図版 181、写真図版 264)

中世の珠洲焼片口鉢(138)を図化した。内面に1単位13目の卸目が施されており、Pit439と接合関係にある。時期は珠洲Ⅳ期である。焼成は酸化気味で「珠洲系陶器」の可能性もある。

SE500 (図版 182、写真図版 264)

中世の土師器皿(139)を図化した。ロクロ成形で底部はヘラ切りである。阿賀北地方に特徴的な器形で、14世紀代の資料と考える。

SE502 (図版 182、写真図版 264)

須恵器有台杯(140)・広口壺(141)、中世の北越窯産陶器片口鉢(142)を図化した。須恵器有台杯140は胎土C群で春日編年Ⅴ期の資料である。141は小型の広口壺で、胎土はD群であった。142は北越窯産陶器片口鉢の体部資料で、内面にヘラ書きされている。北沢窯産と考える。

SE511 (図版 182、写真図版 264)

須恵器短頸壺(143)を図化した。底部の破面が磨耗しており、砥石に転用されたと考える。胎土はC群である。

SE536 (図版 182、写真図版 264)

中世の土師器皿(144・145)、北越窯産陶器片口鉢(146)、珠洲焼片口鉢(147)・壺R種(148)を図化した。土師器皿144・145は小型のロクロ成形皿で底部は糸切りである。146はやや小型の北越窯産陶器片口鉢で北沢窯産と考える。底部は静止糸切りでSE540と接合関係にある。珠洲焼片口鉢147は口縁部資料であるが、内面に卸目は見られない。148は珠洲焼壺R種の底部資料で切り離しは糸切りである。時期は147が珠洲Ⅰ期で、他の資料も同時期の12世紀後半に位置付けられると考える。

SE540 (図版 182、写真図版 264)

中世の珠洲焼片口鉢(149)を図化した。内面に1単位8目の卸目を施す。珠洲Ⅱ期の資料である。

SE552 (図版 182、写真図版 264)

中世の土師器皿(150)を図化した。ロクロ成形の底部資料で切り離しは糸切りである。12世紀に位置付けられると考える。

SE557 (図版 182、写真図版 264)

土師器無台椀(151)、黒色土器無台椀(152)を図化した。どちらも口縁部資料で、春日編年Ⅵ期の土器である。

SE558 (図版 182、写真図版 264)

須恵器有台杯(153)を図化した。足高高台の破片で、胎土はC群である。

SE565 (図版 182・183、写真図版 264)

土師器無台椀(154・155)・鍋(156)、中世の青磁椀(157)、珠洲焼壺R種(158)・甕(159)を図化した。土師器無台椀154は口縁部資料である。155はAⅢ3類に分類され、SX564と接合関係にある。154・155はともに体部外面に判読不明の墨書が確認された。いずれも春日編年Ⅵ期の範疇である。鍋156はBb類である。カキメの範囲が広く、古手の様相を示す。春日編年Ⅳ～Ⅴ期に収まると考える。

青磁椀157は同安窯系で内面に沈線と点描文を有する。D期(12世紀中～後半)に相当する。珠洲焼壺R種158は口縁部資料で、珠洲Ⅰ～Ⅱ期に比定される。甕159は底部から体部にかけての資料である。SX408と接合関係にある。

SE573 (図版 183、写真図版 265)

須恵器有台杯(160)を図化した。胎土はB群で高台がやや高めである。春日編年Ⅴ期に位置付けられる。

SE586 (図版 183、写真図版 265)

土師器鍋(161)を図化した。口縁端部が面を持つBb類に分類される。直立気味の体部にカキメが広く施されることから、春日編年Ⅴ期の範疇と考える。

SE599 (図版 183、写真図版 265)

中世の土師器皿 (162) を図化した。手づくね成形の小型の皿で、13 世紀前半に位置付けられると考える。

SE601 (図版 183、写真図版 265)

中世の土師器皿 (163)、珠洲焼片口鉢 (164・165) を図化した。163 はロクロ成形の土師器皿で 13 世紀代の資料であろう。珠洲焼片口鉢 164 は内面に卸目が見られない。165 は口縁部資料で時期は珠洲Ⅱ期である。

SE1244 (図版 183、写真図版 265)

中世の土師器皿 (166) を図化した。小型の皿でロクロナデが強く残る。

SE1454 (図版 183、写真図版 265)

中世の土師器皿 (167) を図化した。小型の皿で、ロクロ成形底部糸切りである。底部は厚く、口縁は短い。13 世紀代の資料であると考ええる。

SE1517 (図版 183、写真図版 265)

中世の土師器皿 (168) を図化した。小型の皿で、ロクロ成形底部糸切りである。底部は薄く、短い口縁が直立する。時期は 13 世紀に収まると考える。

SE1520 (図版 183、写真図版 265)

中世の土師器皿 (169)、珠洲焼甕 (170) を図化した。中世土師器皿 169 は手づくね成形で底部が柱状に厚い。珠洲焼甕 170 は口縁部が長く伸びる形態で、珠洲Ⅰ～Ⅱ期に位置付けられる。

SE1534 (図版 183、写真図版 265)

中世の珠洲焼片口鉢 (171) を図化した。内面に 1 単位 9 目の卸目が施されており、外面口縁部と内面にススが付着している。珠洲Ⅲ～Ⅳ期の資料である。

SE1536 (図版 183、写真図版 265)

土師器無台椀 (172)、須恵器短頸壺 (173)・長頸瓶 (174) を図化した。土師器無台椀 172 はやや厚手の作りで A I 2 類に分類した。173・174 はどちらも須恵器壺類の底部資料であるが、高台の形態から、173 は短頸壺、174 は長頸瓶と推定した。胎土は B 群である。土師器無台椀 172 は春日編年Ⅵ期に比定されるが、須恵器短頸壺 173 は春日編年Ⅴ期に多く見られる形態である。

SE1551 (図版 184、写真図版 265)

土師器無台椀 (175)・長甕 (176)・鍋 (177) を図化した。土師器無台椀 175 は B I 3 類で、口径が大きく浅い形態である。長甕 176・鍋 177 はともに Bc 類であるが、上方への摘み上げは小さい。いずれも春日編年Ⅴに収まると考える。

SE1602 (図版 184、写真図版 265)

土師器鍋 (178)、中世の珠洲焼片口鉢 (179) を図化した。土師器鍋 178 は Bc 類で口縁端部は肥厚する。春日編年Ⅴ～Ⅵ期の範疇と考える。中世の珠洲焼片口鉢 179 は内面に推定で 1 単位 13 目の卸目を施すが、使用により摩滅が著しい。珠洲ⅣⅠ期に位置付けられる。

SE1616 (図版 184、写真図版 265)

須恵器有台杯 (180) を図化した。胎土は B 群で SE201 と接合関係にある。春日編年Ⅴ期に相当する。

SE1617 (図版 184、写真図版 265)

中世の土師器皿 (181～184) を図化した。181 は手づくね成形で、182～184 はロクロ成形である。182～184 は内外面にススが付着している。底部が残る 183・184 はヘラ切りであった。13 世紀後半～14 世紀に位置付けられると考える。

SE1691 (図版 184、写真図版 265)

中世の土師器皿 (185～187) を図化した。185・186 は手づくね成形、187 はロクロ成形である。185 は小型の皿で、全体的に厚手の器壁を持つ。186 も小型の皿で、口縁端部に面を持つ。187 は厚手の底部から体部

が大きく広がる形態で、底部切り離しは糸切りである。187は12世紀後半に比定され、186も同様の時期と考える。185は14世紀代の資料であろう。

SE1754 (図版 184、写真図版 265)

中世の青磁杯(188)を図化した。高台は細く尖り気味で高台内部まで施釉される。内面は底部と体部の境に沈線が巡り、体部には線状の削りを縦方向に入れ花卉文としている。龍泉窯系の優品であるⅢ-3b類と推定され、F期(13世紀中頃～14世紀初頭前後)に位置付けられる。

SE1774 (図版 184、写真図版 265)

土師器小甕(189)、中世土師器皿(190)を図化した。土師器小甕189はBc類で、春日編年Ⅴ～Ⅵ期の資料である。中世の土師器皿190はロクロ成形で底部は糸切りである。13世紀に収まると考える。

SE1775 (図版 184、写真図版 265)

土師器小甕(191)を図化した。小型の小甕で切り離し技法は糸切り、回転方向は右である。時期は春日編年Ⅴ～Ⅵ期である。

SK43 (図版 185、写真図版 265)

中世の土師器皿(192)を図化した。口縁から体部にかけての資料で、ロクロ成形である。13世紀前半に位置付けられると考える。

SK423 (図版 185、写真図版 265)

土師器無台椀(193)、中世土師器皿(194)を図化した。土師器無台椀193は底部資料でやや厚手の作りである。春日編年Ⅵ期に収まる。中世土師器皿194は小型のロクロ成形皿でSE429と接合関係にある。13世紀前半に比定されると考える。

SK505 (図版 185、写真図版 265)

須恵器無台杯(195)を図化した。小振りで薄手の作りである。I1類に分類され胎土はC群である。時期は春日編年Ⅴ期とした。

SK523 (図版 185、写真図版 265)

黒色土器蓋(196)を図化した。内外面ともミガキと黒色処理を施す。端部の形態は須恵器杯蓋に類似しているが、どのような器種に伴うかは不明である。

SK545 (図版 185、写真図版 266)

須恵器短頸壺(197)、土師器小甕(198)を図化した。須恵器短頸壺197の胎土はD群で口縁端部から肩部にかけて自然釉がかかる。土師器小甕198は底部資料で、わずかに残る体部の外面にはケズリが施されている。いずれも時期は春日編年Ⅴ期に収まると考える。

SK597 (図版 185、写真図版 256・266)

中世の珠洲焼片口鉢(199・200)を図化した。199は内面に1単位8目の卸目を施す。200は口縁端部が水平で、内面に卸目が見られない。時期は199が珠洲Ⅱ期、200が珠洲Ⅰ期に比定される。

SK730 (図版 185、写真図版 266)

須恵器無台杯(201)を図化した。薄手の作りであるが胎土はC群とした。Ⅱ2類に分類する。形態から春日編年Ⅴ期に比定される。

SK780 (図版 185、写真図版 266)

土師器無台椀(202)を図化した。体部が丸みを持って立ち上がる。春日編年Ⅵ期に収まると考える。

SK832 (図版 185、写真図版 266)

土師器無台椀(203)を図化した。BI1類に分類される。外面のロクロナデは強く残るが、内面は丁寧な作りである。よって時期は春日編年Ⅵ2・3期に比定される。

SK1304 (図版 185、写真図版 266)

土師器仏鉢(204)を図化した。体部から内湾して立ち上がり、端部は丸く収まる。春日編年VI期の範疇と考える。

SK1615 (図版 185、写真図版 266)

土師器無台椀(205)を図化した。底部からの立ち上がりが緩やかである。AI1 類に分類した。春日編年VI期に収まる。

SK1636 (図版 185、写真図版 266)

古墳時代の土師器甕(206)を図化した。頸部が鋭く「くの字」に屈曲する。古墳時代後期の資料と考える。

SK1765 (図版 185、写真図版 266)

須恵器杯蓋(207)を図化した。胎土はC群で、外面全体に自然釉がかかる。III類に分類した。春日編年IV2～V期の範疇と考える。

SK1787 (図版 185、写真図版 266)

土師器長甕(208)を図化した。口縁端部が上方に摘まれるBc類である。上方への伸びは短く、春日編年V期に比定される。

SK1819 (図版 186、写真図版 266)

須恵器無台杯(209)を図化した。II類に分類され、胎土はB群である。立ち上がりの角度は急で春日編年V期に比定される。

SK1834 (図版 186、写真図版 266)

須恵器無台杯(210)を図化した。胎土はB群でII1類に分類した。底部が厚い作りになっており、春日編年V期の範疇と捉える。

SK1850 (図版 186、写真図版 266)

須恵器無台杯(211)、土師器鍋(212)を図化した。須恵器無台杯211はI2類で胎土はB群である。体部の立ち上がりは急である。土師器鍋212は口縁端部をつまみ上げるBc類である。いずれも時期は春日編年V期に収まると考える。

SK1903 (図版 186、写真図版 266)

土師器長甕(213)を図化した。Bc類で、体部外面ではカキメとタタキメの境にヘラケズリが施される。口縁端部は短く、春日編年V期の資料である。

SK1921 (図版 186、写真図版 266)

須恵器無台杯(214)を図化した。酸化炎焼成の須恵器で、I2類に分類した。胎土はC群である。春日編年V期に比定される。

SX109 (図版 186、写真図版 266)

土師器鍋(215)を図化した。内外面に弱いカキメを施し、口縁端部は長く伸びる。Bc類に分類した。春日編年VI期に収まると考える。

SX408 (図版 186、写真図版 256・266)

須恵器無台杯(216)・有台杯(217)・大甕(218)、土師器長甕(219・220)、中世の珠洲焼壺R種(221)を図化した。須恵器無台杯216はII1類で胎土はD群、有台杯217は深身のIII3類で胎土はB群、大甕218は頸部から肩部にかけての資料で胎土はC群である。土師器長甕219・220はどちらもBc類であるが、220は端部がより細くなる。時期は220が春日編年VI期まで下る可能性があるが、概ね春日編年V期に収まると考える。中世の珠洲焼壺R種221は底部付近の資料で底部切り離しは糸切りである。

SX409 (図版 187、写真図版 266)

須恵器有台杯(222)・大甕(223)、土師器長甕(224)を図化した。須恵器有台杯222は小型の有台杯で、II1類に分類した。胎土はB群である。大甕223は体部下半資料である。胎土はA群で、SE412、SX534と接

合関係にある。土師器長甕 224 は Bc 類で端部は肥厚する。時期は春日編年 V 期に収まると考える。

SX534 (図版 187、写真図版 267)

須恵器無台杯 (225)・有台杯 (226)、土師器小甕 (227)・長甕 (228)・鍋 (229) を図化した。須恵器無台杯 225 は I1 類で、体部の立ち上がりは急である。有台杯 226 は II3 類で、SE415 と接合関係にある。どちらも胎土は B 群であった。土師器小甕 227・長甕 228・鍋 229 はいずれも口縁端部を上方に摘み上げる Bc 類であるが、端部はそれほど尖らない。時期は須恵器食膳具が春日編年 V2 期に比定され、土師器煮炊具もその範疇と考える。

SX564 (図版 187・188、写真図版 267)

須恵器無台杯 (230)・有台杯 (231)、土師器無台碗 (232～245)、黒色土器無台碗 (246)、土師器小甕 (247・248)・鍋 (249) を図化した。須恵器無台杯 230 は体部の立ち上がりが緩やかな II2 類で、胎土は B 群である。有台杯 231 は胎土が B 群で、高台が丸みを帯びている。土師器無台碗 232 は AI1 類、235・242 は AII2 類、243 は AII3 類、244 は AIII3 類、234 は BII1 類、237 は BII2 類、236・240・241 は CI2 類、233 は CII1 類、238 は CII2 類に分類した。236 は底部と体部の境が丸みを帯びている。239 は口縁部から体部にかけての資料で、体部外面に判読不明の墨書が確認された。244 は外面下半にケズリ、内面も下半からミガキが施され、底部は糸切り後ケズリ調整されている。245 は底部資料で、外面のロクロナデが強く残る。黒色土器無台碗 246 はやや厚手の底部から体部が丸みを持って立ち上がる。AIII2 類に分類した。土師器小甕 247・248 は Bc 類とした。口縁端部は長く伸びる。248 は口縁内面にススが附着している。鍋 249 は Bc 類で口縁端部が上下に肥厚する。

土師器無台碗は底径が小さく深身の器形が主体となる。SX564 出土土器全体に占める割合も高く、春日編年 VI2・3 期の様相を示す。他の器種も同時期と考えるが、須恵器無台杯 230 は一段階古手の資料である可能性もある。

SX765 (図版 188、写真図版 267)

土師器長甕 (250) を図化した。Bc 類に分類したが端部の摘み上げは弱い。春日編年 V 期の資料と考える。

SX911 (図版 189、写真図版 267)

須恵器無台杯 (251)・有台杯 (252)、土師器長甕 (253)・手づくね土器 (254) を図化した。須恵器無台杯 251 は I2 類に分類した。胎土は C 群で体部は外反気味に立ち上がる。有台杯 252 は II1 類で、底部外面にヘラ記号「/」が残る。胎土は D 群であった。土師器長甕 253 は Ab 類である。頸部が緩やかに「コ」の字に屈曲し、口縁端部は摘まれる。体部内面はヘラケズリで調整される。これは関東地方の長甕と類似する形態である。254 は手づくね成形の土器で外面に指頭圧痕が残る。須恵器食膳具は春日編年 V 期に比定され、土師器も概ねこの範疇に収まると考える。

SX1147 (図版 189、写真図版 268)

須恵器無台杯 (255)、土師器無台碗 (256)・長甕 (257) を図化した。須恵器無台杯 255 は I2 類で体部の立ち上がりは急である。胎土は B 群であった。土師器無台碗 256 は底径が大きく底部から体部が箱状に立ち上がる。長甕 257 は体部資料であるが、内外面ともヘラケズリで調整しており、前述の 253 同様、関東地方の影響が考えられる。時期は春日編年 V 期に収まると考える。

SX1200 (図版 189、写真図版 268)

土師器鍋 (258) を図化した。口縁端部は肥厚する形態で、Bb 類に分類した。春日編年 V 期に比定される。

SX1638 (図版 189・190、写真図版 256・268)

須恵器長頸瓶 (259)・横瓶 (260)、土師器無台碗 (261～268)・小甕 (269～271) を図化した。須恵器長頸瓶 259 は口縁部資料で、横瓶 260 は SD1689 と接合関係にある。胎土はともに B 群であった。土師器無台碗 261・262 は口縁から体部にかけての資料で A 類とした。263 は底部資料で、やや厚手の器壁を持つ。264 は

A I 1 類、267 は A I 3 類、265 は A II 2 類、266 は A III 2 類、268 は C II 3 類に分類した。265 ~ 268 は外面にケズリ、内面にミガキなどの再調整が施される。底部も糸切り後ケズリやミガキを施す。267 は Pit1541 と接合関係にある。小甕 269 は Bc 類で口縁端部が長く伸びる。270・271 は小甕の中でも小型の資料で、底部切り離し技法は糸切りである。土師器無台椀は底径がやや大きく浅身の器形が主体を占めることから、時期は春日編年 VI 1 期で、SX564 に先行すると考える。

SX1640 (図版 190、写真図版 268)

須恵器有台杯 (272)・長頸瓶 (273)、土師器小甕 (274) を図化した。272 は小型の須恵器有台杯で II 1 類に分類した。長頸瓶 273 は口縁資料で、内外面に自然釉がかかる。胎土はともに A 群である。土師器小甕 274 は Bc 類で口縁内面にススが付着している。時期は春日編年 V 期に収まると考える。

SX1805 (図版 190、写真図版 268)

土師器無台椀 (275)・小甕 (276・277)・鍋 (278) を図化した。土師器無台椀 275 は体部資料であるが、A 類と分類した。小甕 276・277 は底部資料で底部は糸切りである。鍋 278 は Bc 類で口縁端部は細く尖る。時期は春日編年 VI 期の範疇と考える。

SD108 (図版 190、写真図版 268)

須恵器長頸瓶 (279) を図化した。胎土は C 群で、口縁端部は肥厚する。

SD117 (図版 190、写真図版 268)

須恵器無台杯 (280)、中世の青磁椀 (281・282)、土師器皿 (283 ~ 285) を図化した。須恵器無台杯 280 は II 2 類で胎土は C 群である。春日編年 V 期の範疇に収まると考える。青磁椀は共に龍泉窯系で、281 は外面に連弁文を施文する II-b 類である。E 期 (13 世紀前後 ~ 前半) に相当する。282 は青磁椀の破片資料で、内面に劃花文がある I-2 類である。D 期 (12 世紀中頃 ~ 後半) に相当する。中世土師器皿 283 は手づくね成形で外面に指頭圧痕が残る。284・285 はロク口成形底部糸切りで、回転方向は右である。285 は 12 世紀代、283・284 は 13 世紀代の資料と考える。

SD406 (図版 190、写真図版 268)

須恵器有台杯 (286)、土師器小甕 (287) を図化した。須恵器有台杯 286 は III 2 類に分類した。胎土は B 群で白色粒子を多く含む。287 は土師器小甕の底部資料で、底部は無調整である。286 は春日編年 VI 期に収まると考えるが、287 は IV 期まで遡る可能性がある。

SD407 (図版 190、写真図版 268)

須恵器杯蓋 (288) を図化した。天井部分の破片資料であるが胎土は B 群で、春日編年 V 期に比定される。

SD411 (図版 190、写真図版 268)

須恵器有台杯 (289) を図化した。身が浅く高台径が大きい。I 1 類と分類した。胎土は C 群で、春日編年 IV 2 ~ V 期の範疇と考える。

SD413 (図版 190、写真図版 269)

須恵器無台杯 (290) を図化した。底部が厚い器形で、II 2 類に分類される。胎土は C 群で春日編年 IV 期に比定される。

SD484 (図版 190、写真図版 269)

黒色土器有台皿 (291) を図化した。底部資料で高台の端部は細く尖る。春日編年 VII 期に比定され、その中でも新しい段階の資料である可能性を持つ。

SD495 (図版 191、写真図版 256・269)

須恵器無台杯 (292 ~ 294)、土師器無台椀 (295)・小甕 (296) を図化した。須恵器無台杯 293 は I 1 類、292・294 は II 1 類とした。294 は SE511・1454 と接合関係にある。胎土は 293 が B 群、292・294 が C 群である。土師器無台椀 295 は B I 2 類とした。底部は糸切りであるが立ち上がりが直線的で箱型を呈する。小

甕 296 は Bc 類で底部は無調整である。時期は春日編年Ⅴ期の範疇に収まると考える。

SD503 (図版 191、写真図版 269)

土師器無台椀 (297)、中世の珠洲焼甕 (298) を図化した。土師器無台椀 297 は薄手の体部が内湾して立ち上がり、口縁端部で弱く外反する。春日編年Ⅵ期に収まると考える。298 は珠洲焼甕の口縁部資料である。長く伸びる口縁部が強く外反している。珠洲Ⅰ期の新相からⅡ期の範疇と考える。

SD508 (図版 191、写真図版 269)

須恵器無台杯 (299) を図化した。酸化気味の焼成で底部切り離しは糸切りである。胎土は C 群で、I 2 類に分類した。春日編年Ⅳ2～Ⅴ期に収まると考える。

SD514 (図版 191、写真図版 269)

須恵器無台杯 (300) を図化した。I 2 類に分類し、胎土は B 群である。薄手の作りであるが、体部の立ち上がりは急である。春日編年Ⅴ期に比定される。

SD535 (図版 191、写真図版 269)

須恵器鉢 (301) を図化した。口縁部は頸部から短く屈曲し端部は面を持つ。体部は内外面ともカキメを施している。胎土は A 群で春日編年Ⅳ期以降に見られる器種である。

SD570 (図版 191、写真図版 269)

須恵器無台杯 (302) を図化した。分類は I 2 類とし、胎土は C 群である。春日編年Ⅳ2 期に比定されると考える。

SD609 (図版 191、写真図版 269)

土師器長甕 (303) を図化した。口縁が肥厚し端部はわずかに摘まれる。分類は Bc 類とした。体部外面にはカキメやタタキメの他にヘラケズリも見られる。また、ヘラ記号「+」も残る。時期は春日編年Ⅵ期に収まると考える。

SD896 (図版 191、写真図版 269)

土師器無台椀 (304～306)・鍋 (307) を図化した。土師器無台椀 305 は AⅡ2 類、304・306 は底部から体部にかけての資料である。306 は外面にケズリ、内面にミガキが施され、底部はケズリで再調整される。鍋 307 は Bc 類で SD411 と接合関係にある。時期は春日編年Ⅵ期の範疇と考える。

SD1247 (図版 192、写真図版 269)

土師器長甕 (308・309) を図化した。土師器長甕 308 は Aa 類で、外面をハケメ調整する。309 は Bc 類で口縁端部がわずかに摘まれる。308 は春日編年Ⅲ期、309 はⅤ期の資料と考える。

SD1375 (図版 192、写真図版 269)

須恵器無台杯 (310) を図化した。胎土は C 群で I 2 類に分類した。Pit1316 と接合関係にある。春日編年Ⅳ2 期に比定される。

SD1447 (図版 192、写真図版 269)

古墳時代の土師器高杯脚部 (311)、中世の土師器皿 (312) を図化した。高杯 311 は脚部の破片資料のため全形はわからないが、古墳時代後期の資料であろう。中世土師器皿 312 はロクロ成形底部ヘラ切りで、回転方向は右である。

SD1778 (図版 192、写真図版 269)

土師器小甕 (313) を図化した。口縁部が内側へ伸びており、Bc 類に分類した。薄手の作りで春日編年Ⅴ～Ⅵ期の範疇と考える。

SD1779 (図版 192、写真図版 269)

須恵器無台杯 (314)、土師器小甕 (315) を図化した。須恵器無台杯 314 は I 2 類とした。胎土は B 群で SD1778 と接合関係にある。土師器小甕 315 は Bc 類である。口縁端部はわずかに摘まれる。いずれも春日編年Ⅴ期に収まると考える。

SD1812 (図版 192、写真図版 269)

須恵器有台杯 (316) を図化した。底部から丸みを持って立ち上がる体部で、Ⅲ3 類に分類した。胎土は A 群で SD1072 と接合関係にある。春日編年 V 期に比定される。

SD1847 (図版 192、写真図版 269)

須恵器短頸壺 (317) を図化した。肩部に自然釉がかかる。胎土は C 群で春日編年 IV～V 期の資料と考える。

SD1902 (図版 192、写真図版 269)

須恵器無台杯 (318) を図化した。色調は黄味を帯びた灰色で、胎土は A 群である。春日編年 V 期に比定されるところと考える。

SD1975 (図版 192、写真図版 269)

須恵器無台杯 (319) を図化した。薄手の作りで胎土は C 群である。春日編年 V 期に比定されるところと考える。

SD1978 (図版 192、写真図版 269)

須恵器無台杯 (320)・有台杯 (321)、土師器長甕 (322) を図化した。320・321 はともに口縁部資料で、胎土は C 群である。321 は口縁端部外面に沈線が巡ることから、金属器を模倣したものであろう。土師器長甕 322 は Bc 類である。時期はいずれも春日編年 V 期の範疇と考える。

Pit121 (図版 192、写真図版 269)

土師器長甕 (323) を図化した。口縁が屈曲してから長く伸び、端部は丸く収まる。Bc 類に分類した。春日編年 VI 期に収まるところと考える。

Pit176 (図版 192、写真図版 269)

古墳時代の土師器甕 (324) を図化した。口縁部資料であるが、頸部は「くの字」に屈曲するところと考える。Pit170 と接合関係にある。

Pit735 (図版 192、写真図版 269)

中世の土師器皿 (325～327) を図化した。いずれもロクロ成形で底部は糸切りである。口縁部は大きく開いて直線的に伸びていることから、12 世紀後半の資料であろう。

Pit747 (図版 192、写真図版 269)

緑釉陶器有台椀 (328) を図化した。口縁端部で強く外反する器形で、胎土は軟質である。京都洛北産と推定される。

Pit802 (図版 193、写真図版 270)

土師器長甕 (329) を図化した。厚手の作りで口縁端部は肥厚する。Bc 類に分類した。春日編年 V 期に収まるところと考える。

Pit866 (図版 193、写真図版 270)

古墳時代の土師器甕 (330) を図化した。口縁部は長く伸び、内外面を縦方向のハケメで調整する。時期は古墳時代後期の 6 世紀後半頃としたが、7 世紀の可能性もあると推察される。

Pit882 (図版 193、写真図版 270)

中世の土師器皿 (331) を図化した。ロクロ成形底部糸切りで、12 世紀後半の資料と考える。

Pit901 (図版 193、写真図版 270)

土師器鍋 (332) を図化した。体部外面にはヘラケズリを施す。分類は Bc 類とした。春日編年 VI 期に収まるところと考える。

Pit933 (図版 193、写真図版 256)

須恵器横瓶 (333) を図化した。胎土は B 群である。内面の当て具痕は同心円の中央に星状の装飾が入る。春日編年 V 期以降の資料であるところと考える。

Pit970 (図版 193、写真図版 270)

土師器小甕 (334) を図化した。内外面にススが付着している。Bc 類に分類し、春日編年V~VI期に収まると考える。

Pit1071 (図版 193、写真図版 270)

中世の珠洲焼片口鉢 (335) を図化した。小振りの片口鉢で内面に卸目はない。珠洲II期に比定される。

Pit1118 (図版 193、写真図版 270)

須恵器杯蓋 (336) を図化した。厚手で摘み部分が丁寧に作られている。胎土はB群で、III類に分類した。春日編年V期に比定される。

Pit1230 (図版 193、写真図版 270)

須恵器有台杯 (337) を図化した。器高が低く、口縁部は外反して伸びる。I2類に分類した。胎土はC群で春日編年IV2期に比定される。

Pit1294 (図版 193、写真図版 270)

須恵器無台杯 (338) を図化した。胎土はC群でII3類に分類した。春日編年IV1・2期に収まると考える。

Pit1494 (図版 193、写真図版 270)

土師器長甕 (339・340) を図化した。ともにBc類である。口縁端部が肥厚し、受け口状となる。春日編年VI2・3期に比定されると考える。

Pit1499 (図版 194、写真図版 270)

土師器長甕 (341) を図化した。外面には広範囲にカキメが施される。Bc類に分類され、Pit1468と接合関係にある。春日編年V期の範疇と考える。

Pit1528 (図版 194、写真図版 270)

黒色土器無台椀 (342) を図化した。AII1類である。外面も丁寧にミガキが施され、底部までミガキ調整される。春日編年VI期の資料と考える。

Pit1544 (図版 194、写真図版 270)

土師器長甕 (343) を図化した。口縁端部が肥厚し、上方を向く。頸部は「くの字」に強く屈曲する。Bc類に分類した。時期は春日編年V期に収まる。

Pit1595 (図版 194、写真図版 270)

黒色土器無台椀 (344) を図化した。体部は丸みを持って立ち上がり、口縁端部でわずかに外反する。AIII2類に分類した。内外面にミガキが施され、底部切り離し技法は糸切りであった。春日編年VI期に収まると考える。

Pit1597 (図版 194、写真図版 270)

須恵器無台杯 (345)、土師器小甕 (346)・長甕 (347)・鍋 (348) を図化した。須恵器無台杯 345 はI1類で、立ち上がりの角度が急である。胎土はB群であった。土師器小甕 346・長甕 347・鍋 348 はいずれもBc類とした。鍋 348 は外面下半をヘラケズリで調整する。時期は春日編年V期の範疇と考える。

Pit1641 (図版 194、写真図版 270)

土師器無台椀 (349) を図化した。底部からの立ち上がりが丸みを帯びている。AI2類に分類した。SX1638と接合関係にある。春日編年VI期の資料と考える。

Pit1653 (図版 194、写真図版 270)

中世の土師器皿 (350) を図化した。ロクロ成形で底部は糸切りである。底部が柱状に厚くなっており、口縁部は大きく開く。12世紀後半に比定できると考える。

Pit1659 (図版 194、写真図版 270)

土師器無台椀 (351) を図化した。底径が大きく、体部は開いて立ち上がる。底部切り離しは糸切りである。春日編年V期の範疇と考える。

Pit1662 (図版 194、写真図版 270)

古墳時代の土師器甕(352)を図化した。小さい底部から体部が大きく開いて立ち上がる。Pit1651と接合関係にあった。甕としたが、壺の可能性も考えられる。

Pit1712 (図版 194、写真図版 270)

黒色土器有台皿(353)を図化した。内外面にミガキが施されている。灰釉陶器を模倣した器形である。春日編年V～VI期の範疇と考える。

Pit1720 (図版 194、写真図版 271)

土師器長甕(354)を図化した。体部外面は縦方向のハケメ、内面は口縁部が横方向のハケメで調整される。Aa類に分類した。春日編年III～IV1期に比定されると考える。

Pit1790 (図版 194、写真図版 271)

古墳時代の土師器高杯(355)を図化した。杯部が大きく開く形態であるが、全形は不明である。古墳時代中期の資料と考える。

Pit1864 (図版 194、写真図版 271)

中世の珠洲焼片口鉢(356)を図化した。口縁部の破片資料で、珠洲II期に比定される。

Pit1936 (図版 195、写真図版 271)

土師器長甕(357)を図化した。口縁端部は肥厚し、わずかに摘まれる。Bc類に分類した。春日編年V期に収まると考える。

Pit1948 (図版 195、写真図版 271)

土師器無台椀(358)を図化した。底部は大きく厚い。351と同様の形態である。春日編年V期に比定されると考える。

Pit1981 (図版 195、写真図版 271)

土師器長甕(359)を図化した。口縁端部は肥厚し、口縁内面までカキメを施す。Bc類に分類した。春日編年V期に比定されると考える。

b 包含層出土土器・陶磁器 (図版 195～202、写真図版 256・271～275)

古墳時代(図版 195、写真図版 256・271) 土師器高杯(360)・壺(361・362)・甕(363・364)を図化した。高杯360は脚部の破片資料である。大きく「ハ」の字状に開く形態で、355と胎土が類似する。壺361は頸部が「く」の字に強く屈曲し、口縁部は内湾する。362は体部をヘラケズリで調整する。361・362は同一固体の可能性も考えられる。甕363は口縁から体部にかけての資料で、内外面がハケメ調整される。口縁部は大きく外反する。364も内外面ハケメ調整であるが、体部外面の底部付近はヘラケズリで調整し、底部を作り出している。363・364も同一個体の可能性が考えられる。時期としては古墳時代中期頃と考える。

古代(図版 195～201、写真図版 271～274) 須恵器無台杯(365～383・418)・有台杯(384～392)・折縁杯(393～395・411)・杯蓋(396～401)・壺蓋(402・403)・大甕(404～407)・短頸壺(408・409)・長胴壺(410)・長頸瓶(412・413)・広口壺(414)・鉢(415・416)・横瓶(417)、土師器無台椀(419～435)、黒色土器無台椀(436～439)・有台皿(440・441)、緑釉陶器有台椀(442～444)、土師器小甕(445～461)・長甕(462～473)・鍋(474～481)・鉢(482)・台付鉢(483)・仏鉢(484)を図化した。

須恵器無台杯365～370はI1類、371・373～377・379はI2類、372・378・418はII2類、380・381はII3類に分類した。380は他の無台杯と器形が異なり、体部が大きく開いて立ち上がる。胎土はA群で、底部外面にヘラ記号「/」が残る。382・383は底部資料で、382の底部外面にはヘラ記号「#」、383の底部外面には判読不明の墨書が確認された。418は酸化炎焼成であった。無台杯の胎土はB群が半数を占め、体部の立ち上がりは急なものが多い。有台杯は386がI2類、384はII1類、388はII2類とした。385・389～391は底部資料である。385は小型の有台杯で、内面に漆が付着している。他の底部資料は大型品が多く高台

径も大きい、389は杯部底径に対して高台径が小さい。386・387は体部に稜を持ち、口縁が外反することから、有台杯のなかでも「稜椀」に分類されるものである。393～395は口縁端部を外側に折り、端部が上方を向くことから折縁杯とした。また、411は整理当初は壺の口縁部とも考えたが、ここでは折縁杯とした。折縁杯の胎土は395がA群のほかはすべてC群であった。杯蓋は破片資料が多いが、396と比較して397・398は摘みが大きく厚手である。壺蓋402・403は外面にケズリ調整を施している。大甕404・406は口縁部資料で、頸部は大きく外反し口縁端部は外側に引き出される。405・407は大甕体部の破片資料である。407は砥石として転用されており、外面と破面2箇所を使用痕が見られる。短頸壺408は口縁から肩部、409は底部資料である。410は長胴の壺で体部外面は縦方向のヘラケズリで調整される。長頸瓶412・413は口縁部の破片資料である。413は異なる器種の可能性もあるが、残存部が少なくどのような器形になるか不明である。広口壺414は口縁端部で摘まれる。415・416は鉢である。口縁部が短く屈曲し、体部はカキメを施す。横瓶417は口縁部資料である。頸部には接続痕が見える。貯蔵具の胎土はC群が主体を占めている。

土師器無台椀421・422はAⅠ1類、427・431はAⅠ2類、433はAⅠ3類、419・420はAⅡ1類、430はAⅡ2類、432はAⅡ3類、423・425・428・429はBⅠ2類、424はCⅡ2類に分類した。423・428・429は器高が低く箱型の器形で、428は底部がヘラ切りであった。これらは形態から酸化炎焼成の須恵器とも考えられるが、胎土は土師器と同様の様相であった。424・430・434はミガキ等の再調整を行う。431は体部が大きく開き、器高が低い形態である。435は体部外面に墨書「ハ」が正位で確認された。黒色土器無台椀436～438は口縁部資料である。438は大振りの器形で胎土が他の黒色土器と異なり荒い。439は底部から体部にかけての資料で、底部調整は糸切り後ミガキである。黒色土器有台皿440は口縁部資料、441は底部資料である。440は内外面にミガキが施される。442～444は緑釉陶器有台椀の破片資料である。内外面にミガキを施し、口縁は端部で大きく外反する。高台は削り出しの円盤状高台であった。胎土はいずれも軟質で、京都洛北産であろう。3点は同一個体の可能性もある。土師器小甕445～461はすべてロクロ成形のB類で、445・448はa類、446・447・449～457はc類とした。445・458・460は小型品である。446・447は口縁端部が屈曲した後、長く伸びる。他は口縁端部が肥厚し、上方に摘まれる。底部は糸切りが主であるが459のみ無調整であった。長甕462～473はすべてB類である。462・469はa類、463～468・470～472はc類に分類した。462は体部外面を斜め方向、内面を横方向のハケメで調整する。同じくBa類の469ではハケメ調整は見られない。468・470は屈曲した口縁部が長く伸びる形態である。473は底径が大きく器壁が厚いため長甕の底部としたが、小甕の可能性もある。鍋475～481はBc類、474は頸部に屈曲が見られないBd類に分類した。474は口縁端部の作りがシャープである。479・481は口縁端部が上下に摘まれており、同一個体の可能性もある。482は体部が大きく開いて立ち上がることから鉢としたが小甕の可能性もある。外面はヘラケズリで調整される。483は台付鉢の脚部から体部にかけての破片資料である。仏鉢484は口縁部が内湾し、端部は丸く収まる形態である。

1区包含層古代土器の時期を見ていくと、須恵器食膳具は春日編年V期に比定されるものが多いが、無台杯378・379などはVI期の所産とも捉えられる。一方土師器は春日編年VI1期を中心とするが、鍋474はV期の可能性もある。これらのほかに須恵器無台杯418・杯蓋397・398・土師器長甕462・469などは春日編年IV期に比定される一群である。よって、全体としては春日編年V～VI1期を中心とした土器群が主体となり、春日編年IV期のまともにも存在すると土器群であると考えられる。

中世(図版201・202、写真図版256・274・275) 青磁椀(485～490)、土師器皿(491～509)、珠洲焼壺T種(510)・壺R種(511)・甕(512・513)・片口鉢(514～518)、瀬戸・美濃焼平椀(519)を図化した。

青磁椀485・488～490は同安窯系で、485はⅡ類、488・489はI-1b類、490はI-2類とした。486・487は龍泉窯系で、486はⅡ-b類、487はI-2類とした。485・487～490はD期(12世紀中頃～後半)に、486はE期(13世紀前後～13世紀前半)に相当する。土師器皿491～504はロクロ成形、505～509は手づ

くね成形である。491～493・495・496は底部が厚く口縁が大きく開いて直線的に伸びる小型の皿で、主に12世紀後半の資料と考える。これらに502～504の大型の皿がセットになると考える。このほかのロクロ成形皿は13世紀が主体であろう。ただし、底部がヘラ切りの500は14世紀代の資料と考える。手づくね成形では小型の皿のみ掲載した。概ね13世紀後半～14世紀に位置付けられると考える。

包含層出土の珠洲焼は破片資料が多く、全形がわかるものは確認できなかった。珠洲焼壺T種510は口縁部資料で、頸部が短く屈曲する。珠洲I～II期の資料と考える。甕512は体部破片資料で、外面に刻印が確認された。片口鉢514・515は底部資料で、いずれも内面に1単位11目の卸目を施している。515は珠洲IV期、514は515より新相を示していると考え。片口鉢516～518は口縁部資料である。516・517は珠洲III～IV期、518は珠洲II期の範疇と考える。519は瀬戸・美濃焼の平椀の完形品である。外面は体部中央まで釉がかり、内面にはトチン痕が残る。15世紀に位置付けられると考える。

2) 第22次調査2区出土土器・陶磁器

a 遺構出土土器

SE119 (図版203、写真図版275)

黒色土器無台椀(520)、土師器無台椀(521・522)・長甕(523)を図化した。黒色土器無台椀520は口縁部破片の資料である。内面にミガキが施されている。土師器無台椀521・522は口縁部の資料で、521は内面にスガが付着している。長甕523はBc類に分類した。Pit113と接合関係にある。時期は食膳具が春日編年VI期、長甕は春日編年V～VI期と思われるが、長甕に関しては口縁端部の摘み上げが弱いことからV期の範疇と考える。

SK24 (図版203、写真図版275)

古墳時代の土師器杯(524)、古代の須恵器無台杯(525)・杯蓋(526・527)・横瓶(528)を図化した。古墳時代の土師器杯524は内黒の土器で、体部と頸部の間に稜を持ち口縁部は直立気味に上方に伸びる。須恵器模倣の系譜と考える。Pit25と接合関係にあった。古墳時代後期の資料である。古代の須恵器無台杯525はII2類に分類した。体部が括れ、口縁部は内湾する特異な器形である。杯蓋526・527は端部資料で、527は端部がシャープな作りである。横瓶528は口縁端部が内傾する。胎土は525・526・528がC群で、527はD群であった。時期は525が春日編年V期に比定されると考え、他の土器も概ねその中に収まると考える。

SK40 (図版203、写真図版275)

須恵器無台杯(529)を図化した。薄手の口縁で胎土はB群である。春日編年VI期に比定されると考える。

SK41 (図版203、写真図版275)

須恵器無台杯(530)を図化した。体部が大きく開く器形で、II2類に分類した。胎土はB群で春日編年VI期に比定される。

SK45 (図版203、写真図版275)

須恵器有台杯(531)、黒色土器無台椀(532)、土師器小甕(533)・長甕(534・535)を図化した。須恵器有台杯531は小振りの有台杯で、胎土はC群である。黒色土器無台椀532は薄手の器壁で内面にはミガキを施す。土師器小甕533、長甕534・535はBc類に分類した。口縁端部は摘まれる。時期は春日編年VI期の範疇に収まると考えるが、531はやや古い様相を示す。

SK46 (図版203、写真図版275)

須恵器無台杯(536)・有台杯(537)を図化した。536は口縁部資料で胎土はA群である。537は小振りな有台杯で胎土はC群である。春日編年V期に収まると考える。

SK55 (図版203、写真図版275)

古墳時代の土師器杯(538・539)、古代の土師器小甕(540)を図化した。538・539は内黒で体部の括れは弱い。古墳時代後期の資料と考える。土師器小甕540は口縁部が短く伸び、端部が丸く収まるBa類とした。時期は春日編年V期の範疇と考える。

SK83 (図版 203、写真図版 275)

土師器小甕 (541) を図化した。口縁部内面にスス・炭化物が付着している。口縁端部が上方に伸び受け口状となる Bc 類とした。口縁端部が長く伸びることから、春日編年VI期に比定される。

SK104 (図版 203、写真図版 275)

須恵器無台杯 (542) を図化した。体部は丸みを持って立ち上がる。口径が大きく浅身である。胎土は A 群で、春日編年IV2～V期の範疇と考える。

SK137 (図版 203、写真図版 275)

須恵器無台杯 (543) を図化した。胎土は B 群で、体部は直線的に立ち上がる。II1 類に分類した。春日編年VI期に比定される。

SK173 (図版 203、写真図版 275)

須恵器有台杯 (544) を図化した。小型の有台杯で体部がやや括れる。胎土は C 群であった。

SD26 (図版 203・204、写真図版 275)

須恵器無台杯 (545)、土師器小甕 (546) を図化した。545 は厚手の須恵器無台杯で、酸化気味の焼成であった。胎土は C 群で、II1 類に分類した。土師器小甕 546 は底部資料で、底部は糸切りである。時期は 545 が春日編年IV2～V期の範疇と考えるが、546 がそれに付随するかは不明である。

SD28 (図版 204、写真図版 275)

須恵器杯蓋 (547) を図化した。口縁端部の破片資料で胎土は D 群である。春日編年IV2～V期に比定されると考える。

SD29 (図版 204、写真図版 275)

土師器小甕 (548)・鍋 (549) を図化した。土師器小甕 548 は体部の立ち上がりが大きく開くことから、鉢の可能性もある。鍋 549 は Bc 類とした。口縁端部は受け口状である。時期は春日編年VI期に収まると考える。

SD30 (図版 204、写真図版 275)

土師器長甕 (550) を図化した。口縁端部の破片資料で Bc 類に分類した。端部の摘み上げはわずかで、春日編年V期の範疇と考える。

SD32 (図版 204、写真図版 275)

土師器小甕 (551) を図化した。口縁部資料で Bc 類に分類した。口縁にススが付着している。春日編年V～VI期に収まると考える。

SD33 (図版 204、写真図版 275)

土師器小甕 (552) を図化した。ロクロ成形の B 類で底部は小さく、体部は段階的に立ち上がる。器壁は厚く、底部切り離し後ヘラナデ等で再調整している。

SD42 (図版 204、写真図版 276)

土師器長甕 (553) を図化した。タタキ成形の体部資料で、SD33 と接合関係にある。時期は春日編年V～VI期の範疇であろう。

SD54 (図版 204、写真図版 276)

須恵器横瓶 (554) を図化した。口縁部資料で胎土は B 群である。

SD59 (図版 204、写真図版 276)

黒色土器無台椀 (555) を図化した。口縁端部で外反しており、施釉陶器を模倣したものとする。

SD60 (図版 204、写真図版 276)

須恵器大甕 (556・557)、土師器無台椀 (558)、黒色土器無台椀 (559)、土師器蓋 (560)・鍋 (561) を図化した。556 は須恵器大甕の口縁部で口縁端部は外側に引き出される。557 は体部破片で、肩部付近であろう。胎土は 556・557 とともに B 群である。土師器無台椀 558 は体部から内湾して立ち上がる。黒色土器無台椀 559 は底部

外面に墨書「万」が確認された。560は外面をヘラケズリし、端部で短く屈曲することから土師器の蓋とした。ただし、天地を逆にした「盤」のような器種である可能性もある。土師器鍋561はBc類とした。外面上半にはロクロナデが強く残る。時期は春日編年VI期に収まると考える。

SD126 (図版205、写真図版276)

土師器無台椀(562～566)・長甕(567)を図化した。土師器無台椀は薄手の作りのものが多い。566は底部糸切りの無台椀としたが、体部が大きく広がって立ち上がり、口縁端部で屈曲し受け口状となる。前述の560もこのような器形である可能性がある。長甕567はBc類に分類した。口縁端部は強く摘まれる。時期は春日編年VI期の範疇に収まると考える。

SD131 (図版205、写真図版276)

土師器無台椀(568)・長甕(569)を図化した。土師器無台椀568はA12類とした。内外面の剥落が著しいが、外面にススが付着している。長甕569はBc類である。春日編年VI期に比定されると考える。

SD148 (図版205、写真図版276)

須恵器無台杯(570)・有台杯(571)を図化した。どちらも口縁部資料である。571は外面にカキメの様な調整が見られる。胎土は570がC群、571がB群であった。

SD150 (図版205、写真図版276)

土師器長甕(572)を図化した。口縁端部が肥厚する形態で、分類はBc類とした。時期は春日編年V期の範疇と考える。

SD154 (図版205、写真図版276)

須恵器無台杯(573)を図化した。小振りの無台杯でII1類に分類される。胎土はC群で、春日編年V期に位置付けられる。

SD155 (図版205、写真図版276)

須恵器壺蓋(574)を図化した。小型の壺蓋で、胎土はB群である。

SD159 (図版205、写真図版276)

須恵器有台杯(575)・杯蓋(576)を図化した。有台杯575は歪みが著しいため、口径は推定径である。杯蓋576は外面全体に自然釉がかかる。胎土はどちらもC群で、時期は春日編年IV2～V期の範疇と考える。

SD162 (図版205、写真図版276)

須恵器無台杯(577)を図化した。底部が小さく体部は内湾しながら立ち上がる。胎土はC群で春日編年V期に収まると考える。

SD166 (図版205、写真図版276)

須恵器杯蓋(578)を図化した。厚手の作りで、摘みは小さくボタン状である。口径は小さいが、器高が高い形態で、I類に分類した。胎土はC群で春日編年V期に収まると考える。

SD181 (図版205、写真図版276)

須恵器無台杯(579)を図化した。口縁部資料で胎土はC群である。破片のため断定は難しいが、春日編年IV期の資料と考える。

Pit108 (図版205、写真図版276)

土師器鉢か甑の取手(580)を図化した。この取手が付くであろう器種は確認できなかった。

Pit109 (図版205、写真図版276)

黒色土器有台皿(581)を図化した。口縁部が大きく開く資料で、春日編年VI2・3期に比定されると考える。

Pit113 (図版205、写真図版276)

須恵器凸帯付有耳壺(582)を図化した。胴部の破片資料で、耳は途中まで縦方向に穿孔されている。凸帯や耳が二重に巡る場合もある。北陸や信濃地方に特有の器種で、胎土はB群であった。

Pit167 (図版 205、写真図版 276)

古墳時代の土師器壺(583)を図化した。内黒の土器で、口縁部が内湾しながら伸びる。内外面にはミガキが施される。古墳時代後期の資料と考える。

b 包含層出土土器・陶磁器 (図版 205～208、写真図版 276～278)

古墳時代 (図版 205・206、写真図版 276) 土師器杯(584)・壺(585)・甕(587～589)を図化した。土師器杯584は口縁部資料で頸部から口縁部が外反する形態である。外面の磨耗が著しい。壺585は肩部の資料である。内湾して伸びる口縁が付くと思われ、内外面にはミガキを施す。584・585は共に内黒の土器である。土師器甕587・588は口縁部から体部にかけての資料である。587は口縁が短く、588は長い口縁部が大きく外反する形態である。589は底部資料で、外面にススが付着している。甕はいずれも体部をハケメ調整する。時期は2区で出土した他の古墳時代の土器同様、古墳時代後期の資料であると考えられる。

古 代 (図版 206～208、写真図版 276～278) 須恵器無台杯(590～595)・有台杯(596～599・610)・杯蓋(600～602)・短頸壺(603)・長頸瓶(604)・大甕(605～607)・横瓶(608)・鉢(609)、土師器無台碗(611～621)、黒色土器無台碗(622)・有台皿(623・624)、土師器鉢(625)・小甕(626～632)・長甕(633～639)・鍋(640～643)・無台碗(644)を図化した。

須恵器無台杯591はI1類、593はI2類、590はII1類、594はII3類に分類した。590・593・594は薄手の作りで、胎土はB群である。591は厚手の器壁で立ち上がりの角度が急である。592は内外面の使用痕が著しい。595は外面の底部と体部の境に段が生じており、体部は内湾しながら立ち上がる。底部内面にはナデを施している。591・592・595の胎土はC群であった。有台杯599はI1類、596はII1類に分類した。597は体部下半にケズリで面を形成し、稜碗のような器形となる。598の底部切り離しはヘラ切りであるが、その後ケズリで再調整する。610は底部の破片資料で、酸化炎焼成の須恵器であった。胎土は596がA群、598がB群、597・599・610がC群であった。杯蓋600の摘みは大きなボタン状で、中央部分が窪んだ形態である。601は内面にヘラ記号「/」が見られる。602は外面全体に自然釉がかかっている。杯蓋の胎土はすべてC群であった。603・604は小型の壺の底部資料である。高台の形態や体部からそれぞれ短頸壺、長頸瓶と推定した。大甕605は口縁部の資料で焼けひずみが見られる。606は口縁端部が上下に伸びる形態である。607は口縁部から肩部にかけての資料で、口縁端部が面を持つ。横瓶608の胴部最大径は約20cmと推定される。鉢609は土師器鍋に形態が類似する器形である。胎土は604・608・609がB群、603・605・607がC群、606がD群であった。

土師器無台碗614はAI2類、611はAII1類、613・615～617はBI2類とした。612はCI2類で、体部は広がって立ち上がり口縁端部で大きく外反する。615・616も体部が開いて立ち上がる同様の形態となる。614は底径が大きく浅身の体部で、口縁部は内湾する。618～621は底部資料である。618～620は薄手で体部が開いて立ち上がるが、621は厚手の器壁で体部の立ち上がりは急である。黒色土器無台碗622は底部資料で、底部はケズリ調整されている。623・624有台皿の口縁部資料で、623は外面も黒色処理される。土師器鉢625は底部資料である。全体に剥落しているが外面はヘラケズリで調整されているようである。小甕626～628・632はBc類とした。口縁端部はいずれも長く伸びる。629～631は底部資料である。長甕は634・635がBb類、633・636～639がBc類とした。633は端部が肥厚し、636・637は口縁端部が上方に屈曲し長く伸びる。638は口縁端部が受け口状となる形態である。639は体部の破片資料である。タタキ成形痕のほかヘラケズリやハケメなどの調整が見られた。鍋640は頸部の屈曲が弱く、Bd類とした。641～643はBc類で、口縁端部は肥厚する。644は566と同様の器種と考え、土師器無台碗とした。口縁端部が受け口状に屈曲する。

2区包含層出土の古代土器の時期は須恵器の主体が春日編年V期にあり、591・595・600はIV期まで遡ると考える。一方、土師器は食膳具が春日編年VI期を中心としており、612・615・616などはVII期まで下るとも考

えられる。煮炊具は春日編年V～VI期の範疇で、多少の時期幅が見られる。包含層全体としては春日編年V～VI期が主体の土器群で、その前後の時期の土器が混在するという様相を示す。

3) 第22次調査3区出土土器・陶磁器

a 遺構出土土器

SK87 (図版 209、写真図版 278)

須恵器有台杯 (645)、土師器無台椀 (646) を図化した。須恵器有台杯 645 はⅢ3類で、高台の端部が細い。胎土はC群でSK95と接合関係にある。土師器無台椀 646 は口縁部資料である。645が春日編年V期に比定され、646もこれに付随すると考える。

SK90 (図版 209、写真図版 278・279)

須恵器無台杯 (647～652)・有台杯 (653)・杯蓋 (654・655)、土師器無台椀 (656～659)・有台椀 (660)、黒色土器無台椀 (661)、土師器小甕 (662～666)・鍋 (667) を図化した。須恵器無台杯 647・652 はI2類、648～651 はII2類に分類した。底部切り離しはすべてヘラ切りであるが、649・652はヘラなどで再調整した痕跡がある。有台杯 653は焼成が酸化気味であった。杯蓋 654はII類、655はIII類である。須恵器の胎土は653がC群で他はすべてB群であった。土師器無台椀 657・658はAI2類、659はAI3類、656はAIII1類とした。いずれも厚手の器壁で、底部が大きく器高が低いものが主体である。また、656～658はミガキが施されている。有台椀 660は高台が高く、口縁端部が屈曲する。折縁杯に形態が類似しており、酸化炎焼成の須恵器である可能性もある。黒色土器無台椀 661は口縁から体部にかけての資料で、口縁端部外面に沈線が巡る。土師器小甕 662はBb類、663～665はBc類とした。666は底部から体部にかけての資料である。器面の剥離が著しい。鍋 667はBb類に分類した。時期は春日編年V2期に比定されると考える。

SK94 (図版 209、写真図版 279)

須恵器無台杯 (668) を図化した。口縁から体部にかけての資料で、口縁端部でわずかに外反する。胎土はC群で春日編年V期に位置付けられると考える。

SK98 (図版 210、写真図版 257)

土師器長甕 (669) を図化した。分類はBc類で、口縁端部は肥厚する。春日編年V期の範疇に収まると考える。

SK99 (図版 210、写真図版 279)

須恵器無台杯 (670)、土師器小甕 (671)・長甕 (672・673) を図化した。須恵器無台杯 670はI3類である。胎土はB群で外面にはロクロナデが強く残る。土師器小甕 671はBc類で、内面にススが付着している。長甕 672・673はBc類に分類した。口縁端部は肥厚しており、673は外側に引き出される。時期は春日編年V期に収まると考える。

SK103 (図版 210、写真図版 279)

須恵器無台杯 (674)、土師器小甕 (675) を図化した。須恵器無台杯 674はI1類である。体部の立ち上がりは急で、口縁端部でわずかに外反する。胎土はB群である。土師器小甕 675は口縁端部が丸く収まるBa類である。口縁端部内面に炭化物が付着している。時期は春日編年V期に収まると考える。

SK131 (図版 210、写真図版 279)

須恵器無台杯 (676)、土師器無台椀 (677) を図化した。須恵器無台杯 676は底部資料で、胎土はB群である。底部外面に判読不明の墨書が残る。土師器無台椀 677は口縁部から体部にかけての資料で、厚手の器壁を持つ。春日編年V期の範疇であると考えられる。

SK139 (図版 210、写真図版 279)

土師器無台椀 (678) を図化した。厚手で小さい底部から体部が大きく開く。破片資料のため判断は難しいが、春日編年VII期まで下る可能性があると考えられる。

SX71 (図版 210・211、写真図版 279)

須恵器無台杯 (679～682)・杯蓋 (683)・大甕 (684)・横瓶 (685)、土師器無台椀 (686)、黒色土器無台椀 (687)・有台皿 (688)、土師器小甕 (689・690)、長甕 (691・692) を図化した。須恵器無台杯 680・682 はⅡ2 類とした。680・681 は底径が大きく浅身の器形で、681 は底部外面にヘラ記号「×」が残る。682 は底部からの立ち上がり急である。杯蓋 683 はⅢ類とした。大甕 684 は底部付近の破片と考える。685 は小型の横瓶で、側部には平坦面が見られる。胎土は 681・682 が B 群、他は C 群であった。土師器無台椀 686、黒色土器無台椀 687 は口縁部資料で、体部が大きく広がる形態である。黒色土器有台皿 688 の円板状の高台は緑釉陶器を模倣したものと考える。外面はケズリで調整される。土師器小甕 689・690 は底部資料である。690 は体部が開き気味に立ち上がる形態となる。長甕 691・692 は Bc 類に分類した。691 は口縁端部が長く摘まれる。692 は厚手の作りで口縁端部が上下に肥厚する。時期は春日編年Ⅴ期の範疇に収まると考える。

SX73 (図版 211、写真図版 279)

土師器長甕 (693) を図化した。分類は Bc 類で、内外面カキメ調整される。春日編年Ⅴ期に収まると考える。

SX105 (図版 211～213、写真図版 254・257・280・281)

須恵器無台杯 (694～705)・有台杯 (706～708)・杯蓋 (709)、土師器無台椀 (710～715)、黒色土器無台椀 (716・717)、土師器小甕 (718～723)・長甕 (724～730)・鍋 (731～734) を図化した。須恵器無台杯 700・705 はⅠ2 類、694・695 はⅡ1 類、696～698・701～703 はⅡ2 類に分類した。703 は SD104 と接合関係にある。699 は焼成が酸化気味である。704 は口縁端部が内側に肥厚しており、折縁杯に類似する。705 は厚手の器壁で、体部は内湾する。有台杯 706 はⅡ1 類、707 はⅡ2 類とした。708 は底部資料で、高台の内面はシャープな作りである。杯蓋 709 はⅢ類で摘みは中央部分が大きく凹む。胎土は 697・703・708 が C 群で、他は B 群であった。土師器無台椀 713 は BⅠ2 類、714・715 は BⅠ3 類とした。710 は赤彩されている。711・712 は口縁部資料で、やや小振りの器形である。713～715 は体部が大きく開いて立ち上がる形態で、714・715 は 713 と比較して底部の作りが小さい。黒色土器無台椀 716・717 は口縁部資料で、717 の体部は大きく開く。小甕 720 は Ab 類で、外面をヘラケズリで調整する。718・719・721 は Bc 類に分類した。718・719 は口縁内面にスス・炭化物が付着している。722・723 は底部資料である。722 は小型の小甕で、723 は器壁が厚い。長甕 724～730 は Bc 類とした。口縁端部の摘み上げは全体的に長く伸びている。鍋 731～734 は Bc 類である。口縁部内面までカキメが施される。

須恵器食膳具は春日編年Ⅴ2 期に比定される資料が主体となっている。一方、土師器を見ると底部が小さい無台椀や、口縁端部の摘み上げが長く伸びる長甕などは春日編年Ⅵ期に位置付けられる。全体としては春日編年Ⅴ2～Ⅵ1 期の範疇であると考えられる。

SX120 (図版 213、写真図版 281)

土師器無台椀 (735)・鍋 (736) を図化した。土師器無台椀 735 は底部資料で体部は内湾しながら立ち上がる。鍋 736 は Bc 類に分類した。春日編年Ⅵ期に収まると考える。

SD66 (図版 213、写真図版 281)

須恵器無台杯 (737) を図化した。胎土は B 群で、Ⅱ2 類に分類した。春日編年Ⅴ2 期に比定されると考える。

SD68 (図版 213、写真図版 281)

須恵器大甕 (738)、土師器鍋 (739) を図化した。須恵器大甕 738 は体部破片で、胎土は C 群である。土師器鍋 739 は Bc 類とした。鍋の形態から春日編年Ⅵ期の範疇と考える。

SD77 (図版 214、写真図版 281)

土師器無台椀 (740) を図化した。厚手ではあるが底径は小さい。SD78 と接合関係にある。春日編年Ⅵ期に収まると考える。

SD78 (図版 214、写真図版 281・282)

須恵器無台杯 (741～743)・杯蓋 (744～746)・大甕 (747)、土師器無台椀 (748・749)、黒色土器無台椀 (750)、土師器小甕 (751・752)・長甕 (753・754)・鍋 (755・756) を図化した。須恵器無台杯 741 はⅡ1類、742 はⅡ2類とした。742 は浅身で口径が大きく、SD80 と接合関係にある。743 は口縁端部が屈曲しており、折縁杯とも考えられる。杯蓋 744 はⅠ類、745 はⅡ類、746 はⅢ類とした。747 は大甕の口縁部で、外反した口縁が端部で肥厚する。胎土は 747 が C 群で、他は B 群であった。土師器無台椀 748 は口縁部資料で、薄手の作りである。749 の底部は糸切りであった。黒色土器無台椀 750 は内外面にミガキが施されている。小甕 751 は Ba 類に分類した。751 の口縁内面にはススが付着している。752 は底部資料である。長甕 753・754、鍋 755・756 は Bc 類とした。時期は春日編年 V2～VI1 期に収まると考える。

SD80 (図版 214、写真図版 282)

須恵器無台杯 (757～759) を図化した。757 はⅡ1類、758・759 はⅡ2類に分類した。758 は底部外面に墨書「三」が残る。胎土はすべて B 群で、時期は春日編年 V 期に比定されると考える。

SD82 (図版 214、写真図版 282)

須恵器杯蓋 (760)、土師器無台椀 (761) を図化した。須恵器杯蓋 760 はⅢ類で胎土は B 群である。土師器無台椀 761 は体部が大きく開く器形である。時期は春日編年 VI 期に収まると考える。

SD91 (図版 214、写真図版 282)

須恵器有台杯 (762) を図化した。Ⅲ1類で、SK86 と接合関係にある。高台がやや高く、口縁端部外面には沈線がめぐる。胎土は B 群であった。春日編年 V 期に収まると考える。

SD100 (図版 214、写真図版 282)

土師器無台椀 (763) を図化した。厚手の底部で春日編年 VI 期の範疇と考える。

SD104 (図版 214、写真図版 282)

須恵器無台杯 (764) を図化した。全面に使用痕が著しい。胎土は B 群で春日編年 V～VI 期の資料と考える。

Pit72 (図版 214、写真図版 282)

須恵器大甕 (765) を図化した。体部の破片資料で、胎土は C 群である。

b 包含層出土土器 (図版 215～219、写真図版 256・257・282～284)

須恵器無台杯 (766～777)・有台杯 (778～787)・杯蓋 (788～792)・仏具 (793)・高杯 (794)・長頸瓶 (795～797)・短頸壺 (798)・大甕 (799・800)・横瓶 (801)、土師器無台椀 (802～810)・有台椀 (811)、黒色土器無台椀 (812)、土師器小甕 (813～817)・長甕 (818～827)・鍋 (828～834) を図化した。

須恵器無台杯 771・772・775 はⅠ2類、766 はⅡ1類、767～770・773・774・776 はⅡ2類である。薄手の作りで体部の立ち上がりが急であるものが主体となる。768・773 は底部からの立ち上がりが丸みを帯びる形態で、775・777 は厚手の作りとなる。有台杯 779 はⅠ1類、778 はⅡ1類、780 はⅡ2類、783 はⅡ3類、782 はⅢ2類に分類した。781・784 は外面に沈線が巡る。785～787 は底部資料である。786 は高台から体部が直線的に立ち上がる。杯蓋 788 はⅡ類、789～792 はⅢ類とした。比較的器高が高い資料が多い。790 は天井部外面に判読不明の墨書が確認された。793 は器種不明の須恵器である。底部はヘラ切りで高台は付かない。体部上方で屈曲し、口縁が大きく開いて伸びる。仏具の可能性も考えられる。794 は脚部の破片資料で、外面に自然釉がかかる。高杯や高盤といった器種が想定される。長頸瓶 795・797 は口縁部・頸部の破片資料である。797 は頸部を接合した痕跡が見られる。796・798 は体部から底部にかけての資料であるが、高台の形態等から推定し、それぞれ長頸瓶・短頸壺とした。大甕 799 は薄手の作りで、800 は底部付近の資料と推定される。横瓶 801 は外面全体にタタキメが入るが、内面は閉塞部周辺でロクロナデが残る。胎土は 767・768・773 が A 群、766・769～772・774・776・782・783・785～788・790・792・795・796・799 が B 群、他は C 群であった。

土師器無台椀 803・806 は A I 2 類、809 は A I 3 類、805 は B I 2 類、804 は C I 1 類に分類した。803 は底径が大きく、体部の立ち上がりは急である。804 は底径が小さく、深身となる。802・805 は大きく開く体部で、ロクロナデが強く残る。806 も大きく開く体部で、内湾して立ち上がる。807・809 はミガキ等の再調整が見られる。810 は薄手で大型の無台椀の底部資料である。磨耗が著しく調整の判別は難しいが、底部はケズリ等で再調整されているようである。811 は足高の有台椀底部資料である。黒色土器無台椀 812 は剥落が著しい。小甕 813 は Ba 類、814・816・817 は Bc 類とした。813・816・817 は口縁内面に炭化物、814 は内面全体にススが付着している。815 は底部資料で外面にススが付着する。長甕はすべて Bc 類に分類した。口縁端部が肥厚するものと、摘み上げて長く伸びるものが見られる。822 は口縁端部が上下に拡張する。827 は体部資料で、外面にはススが付着している。鍋 829・830・832～834 は Bc 類、828・831 は頸部の括れない Bd 類である。口縁端部が外側に肥厚する形態が多い。

3区包含層出土土器の時期は、須恵器食膳具に関しては春日編年Ⅴ期を主体としている。須恵器貯蔵具の時期を断定するのは難しいが、概ねⅤ～Ⅵ期の範疇と考える。土師器も春日編年Ⅴ～Ⅵ期を中心とした資料である。ただ、須恵器食膳具では 775 や 780・781 など、春日編年Ⅳ期に位置付けられる資料が一定量出土している。また、土師器では 802・805・822 など一部が春日編年Ⅶ期まで下る可能性がある。主体としては概ね春日編年Ⅴ～Ⅵ期を中心とし、その前後に時期幅を持つ土器群であると考え。

4) 第 22 次調査 4 区出土土器・陶磁器

a 遺構出土土器

SD2 (図版 219、写真図版 284)

須恵器無台杯 (835) を図化した。口縁部破片で胎土は C 群である。春日編年Ⅳ期に比定されると考える。

b 包含層出土土器 (図版 219、写真図版 284)

須恵器無台杯 (839・840)、土師器小甕 (836・837)・長甕 (841)・鉢 (838) を図化した。須恵器無台杯 839・840 は胎土 C 群である。840 は I 3 類に分類した。底部内面にヘラ記号が残る。土師器小甕 837 は口縁端部が面取りされる Bb 類である。836 は底部が糸切りでなく、ヘラケズリで調整されている。838 は大きな底部を持ち、外面全体をヘラケズリで調整する。全形は不明であるが、体部が大きく開くことから、鉢とした。841 は非ロクロ成形の長甕の底部である。4 区の包含層は概ね春日編年Ⅳ期に収まると考える。

F 第 24 次調査出土土器・陶磁器各説

1) 第 24 次調査 1 区出土土器・陶磁器

a 包含層出土土器 (図版 220、写真図版 285)

古 代 (図版 220、写真図版 285) 須恵器無台杯 (842～844)・有台杯 (845)、土師器無台椀 (846)、黒色土器無台椀 (847) を図化した。須恵器無台杯 842 は薄手の作りで、Ⅱ 2 類に分類した。843・844 は厚手の底部資料で、わずかに残る体部の立ち上がりは急である。有台杯 845 は底径が大きい器形である。胎土は 842 が B 群で、843～844 が C 群である。土師器無台椀 846 は深身の形態で、内外面の剥落が著しい。黒色土器無台椀 847 は底部にわずかに糸切り痕が残る。時期は 843～844 が春日編年Ⅳ期に位置付けられるのに対し、842・846・847 は春日編年Ⅵ期の範疇と考える。

中 世 (図版 220、写真図版 285) 土師器皿 (848・849) を図化した。ともにロクロ成形である。848 は小皿で 13 世紀後半～14 世紀初頭の資料と考える。849 は底径が小さく厚い。12 世紀後半に比定されると考える。

2) 第 24 次調査 2 区東出土土器・陶磁器

a 遺構出土土器・陶磁器

SE65 (図版 220、写真図版 285)

須恵器無台杯 (850)・杯蓋 (851)、中世の珠洲焼片口鉢 (852) を図化した。850 は小振りの須恵器無台杯で、

器形は椀形を呈する。杯蓋 851 はⅡ類で、内面にヘラ記号「一」が残る。SD184 と接合関係にある。胎土は共に C 群で、春日編年Ⅴ期に収まると考える。珠洲焼片口鉢 852 は第 24 次調査 2 区西 SE9 と接合関係にある。内面に卸目はなく、底部は静止糸切りである。珠洲Ⅱ期以降の資料であろう。

SE162 (図版 220、写真図版 285)

須恵器無台杯 (853) を図化した。Ⅰ 2 類で、胎土は C 群である。春日編年Ⅳ 2・3 ～Ⅴ期の範疇と考える。

SE221 (図版 220、写真図版 285)

須恵器無台杯 (854)、中世土師器皿 (855) を図化した。須恵器無台杯 854 はⅠ 2 類に分類した。胎土は C 群で、酸化気味の焼成である。春日編年Ⅳ 2 期に比定されると考える。中世土師器皿 855 は小型のロクロ成形皿である。13 世紀代に見られる形態であると考ええる。

SE650 (図版 220、写真図版 285)

中世の土師器皿 (856・857) を図化した。ともにロクロ成形で底部は糸切りである。857 はやや底径が大きい、いずれも 12 世紀後半に位置付けられると考える。

SE813 (図版 220、写真図版 285)

土師器無台椀 (858)、中世の土師器皿 (859) を図化した。土師器無台椀 858 は A Ⅱ 1 類とした。底部はやや厚い作りではあるが、春日編年Ⅵ期に収まると考える。中世の土師器皿 859 はロクロ成形の底部資料で、底部は糸切りである。12 世紀後半の資料と考える。

SE835 (図版 220、写真図版 285)

須恵器無台杯 (860～862)、土師器小甕 (863・864)・鍋 (865) を図化した。須恵器無台杯 860 はⅠ 2 類、862 はⅠ 3 類とした。860 は Pit959 と接合関係にある。861 は口縁部資料である。胎土は 860 が A 群、861・862 は C 群であった。土師器小甕 863・864、鍋 865 は口縁端部がそのまま丸く収まる Ba 類とした。863・864 は口縁内面にススが付着している。鍋 865 は外面を縦方向のハケメ、内面をカキメや横方向のハケメで調整する。863 は SK627 と、865 は SD225 と接合関係にある。時期は春日編年Ⅳ 1 期に比定される一群であると考ええる。

SK10 (図版 221、写真図版 257・285)

須恵器杯蓋 (866)、土師器小甕 (867・868) を図化した。須恵器杯蓋 866 はⅢ類とした。内面にヘラ記号「=」が施される。胎土は C 群であった。土師器小甕 867 は Bb 類に分類した。867 と体部資料の 868 はともに体部内外面をカキメ調整し、底部は無調整である。春日編年Ⅳ 1 期に比定されると考える。

SK89 (図版 221、写真図版 285)

須恵器無台杯 (869) を図化した。口縁端部で僅かに外反する。胎土は C 群で、春日編年Ⅳ期の範疇と考える。

SK129 (図版 221、写真図版 285)

須恵器杯蓋 (870)、土師器長甕 (871) を図化した。須恵器杯蓋 870 はⅢ類で、内面の一部にケズリが見られる。胎土は A 群である。土師器長甕 871 は Bb 類とした。体部の外面はヘラケズリ、内面は横方向のハケメで調整される。春日編年Ⅳ 1 期に比定されると考える。

SK172 (図版 221、写真図版 285)

土師器無台椀 (872)・小甕 (873)・長甕 (874) を図化した。土師器無台椀 872 は内外面に赤彩されており、口縁端部外面に沈線が巡る。小甕 873・長甕 874 は Ba 類に分類した。874 は口縁外面に段を持つ。春日編年Ⅳ 1 期に収まると考える。

SK177 (図版 221・222、写真図版 254・285・286)

須恵器無台杯 (875)・有台杯 (876)・杯蓋 (877)・長頸瓶 (878)、土師器無台椀 (879～893)・小甕 (894)・鉢 (895) を図化した。須恵器無台杯 875 はⅠ 1 類で、SD511 と接合関係にある。有台杯 876 はⅡ 1 類とした。SD98 と接合関係にある。杯蓋 877 はⅡ類に分類した。器高が高く、口縁端部が屈曲せずそのまま収まる

形態である。SD98と接合関係にある。長頸瓶 878 は頸部が太く、口縁部が大きく外反する。口縁端部にはやや幅の広い縁帯が付く。これは東海地方の須恵器長頸瓶と形態が類似しており、その影響が感じられる。胎土は 875・876 が C 群、877 が B 群、878 が D 群である。土師器無台椀 879～881 は AⅡ1 類、884～887 は AⅡ2 類、891 は AⅡ3 類、888・890 は CⅠ2 類、882・883・889 は CⅡ2 類に分類した。890 は底径が大きく、口縁端部で大きく外反する。892 は口縁部破片、893 は底部資料である。どちらも大型の無台椀であるが、891 同様、再調整が行われない。小甕 894 は内面の底部付近までカキメ調整が入り、外面はケズリ調整される。底部は無調整である。895 は大きく開く口縁部から、鉢とした。口縁端部は外反する。

須恵器杯類は春日編年Ⅳ2～Ⅳ3 期に位置付けられ、これに土師器小甕 894 が伴うと考える。一方、土師器無台椀は春日編年Ⅵ2・3～Ⅶ期に比定され、須恵器杯蓋 877 も同時期であろう。遺構の所属時期としては、出土土器の主体を占める土師器無台椀の時期である春日編年Ⅵ2・3～Ⅶ期に位置付けられると考える。

SK227 (図版 222、写真図版 258・286・287)

須恵器杯蓋 (896)、土師器無台椀 (897・898)・長甕 (899)・小甕 (900・901)・鍋 (902) を図化した。須恵器杯蓋 896 はⅢ類で、焼成は酸化気味である。SK907、Pit436 と接合関係にある。胎土は A 群であった。土師器無台椀 898 は AⅠ2 類、897 は CⅠ1 類とした。899 は磨耗しており、調整は不明瞭である。長甕としたが形態から壺の可能性もある。小甕 900 は Bb 類、901 は Bc 類に分類した。鍋 902 は Bb 類で、体部が直立気味に伸び深身の形態となる。体部はハケメ調整される。2 区西 Pit689 と接合関係にあった。出土土器には二つのまとまりが見られる。須恵器杯蓋 896 は春日編年Ⅲ期に比定され、これに土師器の 899・900・902 が付随すると考える。もう一方は、土師器無台椀 897・898 に小甕 901 が伴う土器群で、春日編年Ⅵ期の範疇と考える。

SK316 (図版 223、写真図版 287)

須恵器有台杯 (903)・杯蓋 (904) を図化した。須恵器有台杯 903 は IⅠ 類とした。底部外面にヘラ記号「×」が施されている。杯蓋 904 は体部破片である。胎土は共に C 群で、春日編年Ⅳ2～Ⅴ期の範疇に収まると考える。

SK346 (図版 223、写真図版 287)

須恵器大甕 (905) を図化した。口縁端部の破片資料で、胎土は D 群である。

SK624 (図版 223、写真図版 287)

須恵器長頸瓶 (906) を図化した。肩部から体部にかけての資料で、別作りの口縁部を接合した痕が残る。SK357、SD497 と接合関係にあり、胎土は B 群である。

SK646 (図版 223、写真図版 287)

須恵器杯蓋 (907) を図化した。小型の杯蓋で、内面にヘラ記号「×」が残る。I 類に分類した。外面全体に自然釉がかかり、SD749 と接合関係にある。胎土は C 群で、春日編年Ⅴ期に比定される。

SK658 (図版 223、写真図版 287)

須恵器無台杯 (908) を図化した。胎土は A 群で、体部は直立気味に伸びる。IⅡ 類に分類した。春日編年Ⅳ2～3 期に位置付けられる。

SK729 (図版 223、写真図版 287)

須恵器無台杯 (909) を図化した。体部は丸みを持って立ち上がる。胎土は C 群であった。春日編年Ⅳ2～3 期に位置付けられる。

SK745 (図版 223、写真図版 287)

須恵器有台杯 (910) を図化した。高台から底部にかけての破片資料である。酸化炎焼成で、産地は不明である。高台が杯部の立ち上がり際に付けられており、東海地方の影響が窺える。形態としては春日編年Ⅲ期の資料と考える。

SK881 (図版 223、写真図版 287)

土師器小甕(911)・長甕(912・913)を図化した。土師器小甕911はAb類、長甕912・913はAa類に分類した。いずれも体部外面はハケメで調整される。ロクロ成形が見られないことから、春日編年Ⅲ期に比定されるところを考える。

SK887 (図版 223、写真図版 287)

土師器小甕(914)を図化した。分類は口縁端部に面を持つBb類である。内外面にカキメが施されるが、外面の一部に縦方向のハケメが見られる。春日編年Ⅲ～Ⅳ1期に比定されるところを考える。

SK895 (図版 223、写真図版 287)

土師器無台椀(915)・小甕(916)を図化した。土師器無台椀915は口径が大きく浅身の器形で、内外面に赤彩される。小甕916はBa類に分類した。内面にカキメを施す。共に春日編年Ⅲ～Ⅳ期の範疇と考える。

SK907 (図版 223、写真図版 287)

土師器無台椀(917・918)・小甕(919～921)を図化した。917・918は非ロクロ成形の土師器無台椀で、外面にはミガキが施される。917は口縁端部がわずかに屈曲し、肥厚する。918の内面には口縁部に横方向、体部に放射状の暗文が不規則に施される。これらは畿内系の土師器と考えられる。小甕920はAa類、919・921はBa類とした。920は外面が縦方向、内面が横方向のハケメで調整され、頸部は強く折れ曲がる。921は外面に縦方向のハケメがわずかに見える。時期は春日編年Ⅲ期に比定されるところを考える。

SK927 (図版 224、写真図版 287)

須恵器無台杯(922)、土師器小甕(923)・鍋(924)を図化した。須恵器無台杯922は胎土C群で、I3類に分類される。底径が大きく、口縁端部で外反する。土師器小甕923はBa類、鍋924はBc類に分類した。小甕923は外面がヘラケズリ、内面は横方向のハケメで調整される。時期は須恵器無台杯の形態から、春日編年Ⅳ1期に比定されるところを考える。

SK950 (図版 224、写真図版 287)

土師器小甕(925)・長甕(926)を図化した。土師器小甕925は底部から体部にかけての資料で、底部は無調整である。長甕926はAa類とした。口縁に粘土を足して長くしている痕跡が見える。春日編年Ⅲ～Ⅳ1期の範疇であるところを考える。

SX114 (図版 224、写真図版 288)

土師器小甕(927)を図化した。分類はBa類である。口縁部内面にカキメを施す。春日編年Ⅲ～Ⅳ1期に収まるところを考える。

SX209 (図版 224、写真図版 288)

須恵器無台杯(928)、土師器長甕(929)を図化した。須恵器無台杯928はI2類である。胎土はC群で、口縁端部で僅かに外反する。土師器長甕929はAb類とした。外面をヘラケズリ、内面をヘラナデで調整する。須恵器無台杯の形態から、春日編年Ⅳ2～3期に比定されるところを考える。

SX392 (図版 224、写真図版 257・288)

須恵器無台杯(930)・有台杯(931)・壺蓋(932)を図化した。須恵器無台杯930は胎土A群で、酸化気味の焼成である。有台杯931は大型のⅢ3類で、高台内部以外の外面全体に自然釉が見られる。胎土はB群で、SD98と接合関係にある。932は小型の壺蓋とした。胎土はC群で、外面全体に自然釉がかかる。時期は無台杯930が古手の可能性もあるが、有台杯931の形態から春日編年Ⅴ期の範疇と考える。

SX882 (図版 224、写真図版 288)

土師器長甕(933・934)を図化した。933はAb類に分類した。外面は縦方向、内面は横方向のハケメで調整される。934の調整も同様で、底部は無調整である。胎土や調整から、933・934は同一個体の可能性もある。時期は春日編年Ⅲ～Ⅳ1期の範疇と考える。

SX911 (図版 224、写真図版 288)

須恵器有台杯(935)、土師器無台碗(936)を図化した。須恵器有台杯 935 は胎土 C 群で、I 1 類とした。器高が低い形態で、春日編年 IV 2 ~ 3 期に収まると考える。土師器無台碗 936 は底径が小さく、内湾しながら立ち上がる。春日編年 VI 期の資料である。

SX929 (図版 224、写真図版 288)

土師器無台碗(937)・小甕(938)・長甕(939)を図化した。土師器無台碗 937 は底部資料である。底径が大きく、「盤」のような器形の可能性もある。外面にミガキ、内面には不規則なナデが施されており、SK210 と接合関係にある。917・918 と同系統の器種であると考え。小甕 938 は Bb 類で、SD225 と接合関係にある。長甕 939 は Aa 類に分類した。口縁部が長く伸び、端部は尖り気味である。内外面はハケメで調整される。時期は春日編年 III ~ IV 1 期に収まると考える。

SX958 (図版 225、写真図版 288)

土師器小甕(940・941)を図化した。分類は共に Bb 類である。940 は内外面ハケメ調整であるのに対し、941 は外面にヘラケズリを施す。春日編年 III ~ IV 1 期に収まると考える。

SD1 (図版 225、写真図版 288)

須恵器有台杯(942)を図化した。体部外面の中程に沈線が巡る。底部付近では縦方向のヘラケズリも見られる。胎土は A 群で、春日編年 IV 期に収まると考える。

SD15 (図版 225、写真図版 288)

須恵器無台杯(943)・有台杯(944~946)・杯蓋(947)、土師器小甕(948)を図化した。須恵器無台杯 943 は II 2 類で、酸化気味の焼成であった。有台杯 944 は III 1 類、945・946 は底部資料である。944・946 の底部外面にはヘラ書き「上カ」が確認された。945 は杯部の底径が比較的大きく、高台径は小さい。杯蓋 947 は厚手の作りである。胎土は 943・947 が A 群、944~946 が C 群であった。土師器小甕 948 は Ba 類とした。口縁部は短く、内面にススが付着する。時期は 944 が新しい様相を示すものの、全体としては春日編年 IV 2 ~ 3 期に収まると考える。

SD32 (図版 225、写真図版 288)

須恵器有台杯(949)を図化した。小型の有台杯で、深身の器形となる。胎土は C 群で、春日編年 IV 2 ~ V 期の範疇と考える。

SD98 (図版 225・226、写真図版 288・289)

須恵器無台杯(950~954)・有台杯(955・956)・杯蓋(957~960)・壺蓋(961・962)・鉢(963)・長頸瓶(964)、土師器無台碗(965~970)、黒色土器有台皿(971)、土師器長甕(972)・鍋(973・974)、中世の青磁碗(975)、土師器皿(976~978)・珠洲焼片口鉢(979)を図化した。

須恵器無台杯 950・951 は I 1 類、952・953 は I 2 類とした。954 は厚手の器壁で、酸化気味の焼成であった。有台杯 955 は I 1 類、956 は II 3 類に分類した。955 は体部中程と底部付近に稜を持つ。956 は大型で深身の有台杯で、SD128 と接合関係にある。杯蓋 957~959 は II 類、960 は III 類である。957 は擬宝珠形の摘みの頂部が磨耗しており、内面を上にした状態でも使用していた可能性が考えられる。959 はやや器高が高い形態で、SK178 と接合関係にあった。960 は外面にケズリが見られる。壺蓋 961・962 は、いずれも外面に自然釉がかかる。963 は口縁が大きく広がることから、鉢の口縁部資料とした。酸化気味の焼成である。964 は底部資料で、形態から長頸瓶と推定した。胎土は 951・954・961 が A 群、964 が B 群で、他はすべて C 群であった。土師器無台碗 966 は A II 1 類、965 は B II 1 類、967 は C III 1 類に分類した。965 は体部がやや開き気味に立ち上がる。968 は外面のロクロナデが強く残る。969 はミガキやケズリで再調整される。970 は体部が大きく開いて立ち上がる形態である。黒色土器有台皿 971 は底部資料である。内面にミガキが施される。土師器長甕 972 の口縁端部は肥厚し、面を持つ Bb 類である。鍋 973・974 は Bc 類とした。口縁端部は長く伸びる。

古代の土器群の時期を見ると、須恵器は春日編年IV2～3期が主体となっているが、土師器では春日編年VI期が中心である。土師器のうち長甕972は須恵器の時期に近い資料と考える。これらのことから、二時期のまとまりを持つ土器群であるといえる。

中世の青磁椀975は龍泉窯系で、内外面無文のI-1a類に分類される。D期(12世紀中頃～後半)に相当する。土師器皿976は手づくね成形、977・978はロクロ成形で底部は糸切りである。977は歪みが著しい。珠洲焼片口鉢979は内面に卸目が見られない。端部の形態から珠洲II期に相当する。中世の土器群としては13世紀前半にまとまっているものとする。

SD102 (図版226、写真図版289)

須恵器杯蓋(980)を図化した。胎土はC群で、II類に分類される。外面全体に自然釉がかかり、SD94と接合関係にある。春日編年IV2～3期に比定されると考える。

SD127 (図版226・227、写真図版289)

須恵器無台杯(981)・杯蓋(982)・壺蓋(983)・横瓶(984)を図化した。須恵器無台杯981はI2類で、体部は外反する。杯蓋982はII類である。歪みが著しい。壺蓋983はSK177、Pit132と接合関係にある。横瓶984は体部外面のカキメが側部まで施されており、内面の当て具の形状は不明瞭である。SK177、SX911、SD916と接合関係にある。胎土は981～983がC群で、984がB群である。981～983は春日編年IV2～3期に比定されるが、横瓶984は春日編年V～VI期の範疇に収まると考える。

SD128 (図版227・228、写真図版257・290)

須恵器有台杯(985)・三耳瓶(986)、土師器無台椀(987～992)・鍋(993～995)を図化した。須恵器有台杯985は胎土がC群で、内外面に自然釉がかかる。三耳瓶986は肩部のほぼ相対する位置に同じ形の耳が付き、胴部に肩部とは異なる形態の長い耳が付く。胴部外面下半はタタキ調整され、底部の縁にも施される。底部はヘラ切り後、ヘラケズリで再調整する。胎土はA群であった。土師器無台椀987・988はAII1類、990・991はAII2類、989はCII2類に分類した。987の内面にはカキメの様な線状の調整が施されている。991は内外面全面にススが付着している。992は胎土の砂質が強い。鍋993・994は口縁端部が伸びるBc類、995は口縁で屈曲しないBd類とした。993はSK177と接合関係にある。時期としては、須恵器は春日編年V～VI期に位置付けられると考える。一方、土師器は春日編年VI2・3期を中心とした土器群であるが、無台椀の一部は春日編年VII期まで下る可能性も考えられる。

SD144 (図版228、写真図版290)

土師器小甕(996)を図化した。小甕の小型品で、春日編年VI期に収まると考える。

SD156 (図版228、写真図版290)

須恵器杯蓋(997)を図化した。器高が低く、口縁端部の屈曲が長い。体部外面にヘラ記号「一」が確認される。胎土はC群で、I類に分類した。SX392と接合関係にある。春日編年IV2～V期に収まると考える。

SD163 (図版228、写真図版290)

土師器無台椀(998・999)を図化した。土師器無台椀998はAIII1類、999はCI2類に分類した。999は体部が大きく開いて立ち上がり、内外面にススが付着している。春日編年VI2・3～VII期に比定されると考える。

SD184 (図版228・229、写真図版290)

須恵器有台杯(1000)、土師器小甕(1001～1003)・長甕(1004・1005)を図化した。1000は小型の須恵器有台杯で、口縁端部外面に沈線が巡る。胎土はC群であった。土師器小甕1002はAa類、1001はBb類で、1003の底部は無調整である。1002・1003はハケメ調整される。長甕1004・1005はBb類とした。1005は体部が球胴気味になる。時期は春日編年IV1期に比定されると考える。

SD190 (図版229、写真図版258・290)

土師器長甕(1006)、中世の青白磁合子(1007)を図化した。土師器長甕1006はAb類に分類した。外面は

縦方向、内面には横方向のハケメを施し、口縁端部は丸く収まる。春日編年Ⅲ～Ⅳ1期の範疇と考える。1007は青白磁の合子の蓋である。梅花形で身は出土しなかった。12世紀代に位置付けられる資料と推定される。

SD191 (図版 229、写真図版 290)

中世の青磁椀(1008)を図化した。底部付近の破片資料で、残存する部分には文様は見られない。龍泉窯系のI-1a類で、D期(12世紀中頃～後半)に相当する。

SD213 (図版 229、写真図版 290)

土師器無台椀(1009)、黒色土器無台椀(1010)を図化した。土師器無台椀1009はB I 1類で、底部からの立ち上がりは丸みを帯びる。黒色土器無台椀1010は大型品で、内外面にミガキが施されている。SD397、Pit875と接合関係にあった。春日編年Ⅵ期に収まると考える。

SD214 (図版 229、写真図版 290)

土師器長甕(1011)を図化した。Aa類で、内外面をヘラケズリで調整する。頸部の屈曲は緩く、SK217と接合関係にある。春日編年Ⅲ～Ⅳ1期の範疇と考える。

SD225 (図版 229、写真図版 290)

須恵器無台杯(1012)・有台杯(1013)・長頸瓶(1014・1015)、土師器長甕(1016)を図化した。須恵器無台杯1012はI3類とした。有台杯1013はI3類で、底部外面にヘラ記号が残る。1012・1013とも口径が大きく、浅身の形態である。長頸瓶1015は頸部と肩部に沈線が巡り、第24次調査2区西包含層と接合関係にある。1014は壺の底部資料である。1015と胎土が類似しており、同一個体の可能性も考えられるため、1015と同器種の長頸瓶とした。胎土は1012がC群、1013がA群、1014・1015はD群であった。土師器長甕1016はAb類に分類した。内外面ともハケメ調整され、口縁部は短く屈曲する。時期は須恵器食膳具が春日編年Ⅳ1期に比定され、これにほかの器種も付随すると考える。

SD243 (図版 229、写真図版 291)

須恵器無台杯(1017)を図化した。胎土はC群で、I2類に分類した。Pit278と接合関係にある。春日編年Ⅳ2～3期に比定されると考える。

SD288 (図版 229、写真図版 291)

土師器長甕(1018)を図化した。口縁端部は肥厚しており、Bc類に分類した。春日編年Ⅳ期に収まると考える。

SD300 (図版 230、写真図版 291)

土師器長甕(1019)を図化した。Bb類に分類され、体部外面下半はヘラケズリで調整される。春日編年Ⅳ期の範疇と考える。

SD355 (図版 230、写真図版 291)

土師器小甕(1020)を図化した。分類はBc類で口縁端部は僅かに摘み上げる。春日編年Ⅳ期の範疇と考える。

SD358 (図版 230、写真図版 291)

須恵器無台杯(1021)を図化した。体部は開いて立ち上がる。薄手の器壁で、II1類に分類した。胎土はB群で、春日編年Ⅵ期に収まると考える。

SD401 (図版 230、写真図版 291)

土師器小甕(1022)、黒色土器無台椀(1023)を図化した。土師器小甕1022はBc類とした。黒色土器無台椀1023は口縁付近で肥厚する。黒色土器の様相から、春日編年Ⅵ期の範疇に収まると考える。

SD422 (図版 230、写真図版 291)

須恵器有台杯(1024)を図化した。胎土はC群で、春日編年Ⅳ1～2期に比定されると考える。

SD497 (図版 230、写真図版 291)

須恵器無台杯(1025)・杯蓋(1026)・鉢(1027)、土師器無台椀(1028～1030)、黒色土器無台椀(1031)、土師器小甕(1032・1033)が出土している。須恵器無台杯1025はII2類とした。杯蓋1026はIII類で、擬宝珠

形の摘みを持つ。SD98・808と接合関係にあった。鉢1027は口縁部資料のため全形は不明であるが、短い口縁部が付く。SD98と接合関係にあった。胎土はすべてC群である。土師器無台椀1030はAⅡ2類、1028はBⅠ1類、1029はCⅠ1類に分類した。黒色土器無台椀1031はCⅡ2類で、口縁端部で大きく外反する。底部調整は糸切り後ケズリを施す。土師器小甕1033はBa類、1032はBc類に分類した。1032は口縁端部が強く屈曲し、受け口状になる。時期は須恵器食膳具を見ると春日編年Ⅳ期の範疇であるが、土師器はⅥ期が主体となっている。ただし、小甕1033は口縁端部がそのまま丸く収まる形態で、須恵器食膳具と同時期の資料であろう。

SD511 (図版230、写真図版291)

須恵器有台杯(1034)、土師器長甕(1035)を図化した。須恵器有台杯1034はⅠ1類に分類される。胎土はC群であった。土師器長甕1035は体部の破片資料である。外面のカキメとタタキメの間にヘラケズリが見られる。内面の底部付近はハケメで調整している。SK302と接合関係にあった。須恵器有台杯1034は春日編年Ⅳ2～3期に比定されると考える。土師器長甕1035のタタキ成形は春日編年Ⅴ～Ⅵ期で多く見られる形態であるが、Ⅳ期から出現しており、須恵器有台杯1035と同一の時期とした。

SD539 (図版231、写真図版291)

土師器無台椀(1036)・小甕(1037)・長甕(1038)を図化した。土師器無台椀1036はAⅠ1類で、底部から丸みを持って立ち上がる。小甕1037、長甕1038はBc類とした。時期は春日編年Ⅵ期に収まると考える。

SD647 (図版231、写真図版291)

須恵器杯蓋(1039)を図化した。口径は小さく擬宝珠状の大きい摘みが付く。口縁端部は屈曲せずそのまま収まる。Ⅰ類に分類した。胎土はB群で、春日編年Ⅴ期に収まると考える。

SD749 (図版231、写真図版291)

須恵器有台杯(1040)を図化した。体部に沈線が巡り、口縁端部外面に段を持つ。胎土はC群で、春日編年Ⅲ～Ⅳ期の範疇と考える。

SD812 (図版231、写真図版291)

須恵器短頸壺(1041)を図化した。口縁部から体部にかけての資料で、外面肩部から自然釉がかかる。胎土はC群であった。

SD898 (図版231、写真図版291)

須恵器有台杯(1042)を図化した。胎土はC群で、体部外面中程に稜を持つ。浅身の形態で、春日編年Ⅳ2～3期に比定されると考える。

SD916 (図版231、写真図版291)

須恵器杯蓋(1043)を図化した。天井部の器壁が厚く、口縁端部は鋭く屈曲する。胎土はC群であった。Ⅲ類に分類され、SD288と接合関係にある。春日編年Ⅳ期に収まると考える。

SD918 (図版231、写真図版292)

須恵器無台杯(1044・1045)を図化した。須恵器無台杯1044はⅠ2類、1045はⅡ3類とした。1045は体部外面の中央にのみ自然釉が残る。胎土はいずれもC群で、春日編年Ⅳ期に収まると考える。

SD930 (図版231、写真図版292)

須恵器有台杯(1046)・杯蓋(1047)、土師器長甕(1048)を図化した。須恵器有台杯1046はⅠ3類で、内端設置の高台を持つ。杯蓋1047は厚手の器壁で、Ⅲ類に分類される。土師器長甕1048は非ロクロ成形のA類とした。ハケメやヘラケズリによって成形される。時期は春日編年Ⅳ1期に比定されると考える。

Pit19 (図版231、写真図版292)

須恵器有台杯(1049)を図化した。内端設置の高台を持ち、口縁端部は肥厚する。深身の形態で体部には数条の沈線が巡る。Ⅲ2類に分類され、胎土はA群であった。

Pit57 (図版 231、写真図版 292)

須恵器有台杯 (1050) を図化した。胎土は C 群で、Ⅱ2 類とした。春日編年Ⅳ2～3 期に比定される。

Pit116 (図版 231、写真図版 292)

土師器長甕 (1051) を図化した。内面は磨耗しており調整は不明であるが、外面には縦方向のハケメ調整が施される。口縁部は頸部から強く屈曲する。Aa 類で、春日編年Ⅲ～Ⅳ1 期に収まると考える。

Pit126 (図版 231、写真図版 292)

土師器盤 (1052) を図化した。底部から短い体部が内湾して立ち上がり、口縁端部はわずかに肥厚する。内外面は赤彩され、底部はケズリが施される。春日編年Ⅲ～Ⅳ1 期に比定されると考える。

Pit132 (図版 231、写真図版 292)

須恵器有台杯 (1053) を図化した。口縁端部でわずかに外反する。Ⅱ1 類に分類した。胎土は C 群で、春日編年Ⅴ期に収まると考える。

Pit264 (図版 231、写真図版 292)

土師器無台椀 (1054)・蓋 (1055) を図化した。土師器無台椀 1054 は口縁部の破片資料で、体部外面に判読不明の墨書が確認された。蓋 1055 は内外面にミガキが施される。須恵器杯蓋同様、口縁端部で屈曲するが、どのような器種に伴うかは不明である。土師器無台椀の様相から、春日編年Ⅵ期に収まると考える。

Pit269 (図版 231、写真図版 292)

須恵器有台杯 (1056) を図化した。小型の有台杯で、Ⅱ1 類に分類される。SK177、SD98 と接合関係にある。胎土は C 群で、春日編年Ⅳ2～Ⅴ期に収まると考える。

Pit283 (図版 232、写真図版 292)

土師器長甕 (1057) を図化した。体部内面下半は縦方向のハケメを施している。口縁部形態は Bc 類に分類した。SK177、Pit434 と接合関係にある。春日編年Ⅳ期の範疇と考える。

Pit291 (図版 232、写真図版 292)

土師器小甕 (1058) を図化した。頸部が強く屈曲し、内面にヘラナデが強く残る。口縁部が丸く収まる Ba 類とした。春日編年Ⅲ～Ⅳ1 期に収まると考える。

Pit353 (図版 232、写真図版 292)

土師器小甕 (1059) を図化した。頸部の括れは弱い。分類は Bc 類とした。器壁は薄く、春日編年Ⅴ～Ⅵ期に収まると考える。

Pit361 (図版 232、写真図版 292)

土師器長甕 (1060) を図化した。口縁端部に面を持つ Bb 類に分類される。春日編年Ⅳ期に収まると考える。

Pit375 (図版 232、写真図版 292)

須恵器無台杯 (1061) を図化した。Ⅰ1 類に分類され、口縁部は外反する。。胎土は C 群で、春日編年Ⅴ期に比定されると考える。

Pit387 (図版 232、写真図版 292)

須恵器杯蓋 (1062) を図化した。器高が低く、摘み部分は小さい。Ⅱ類に分類した。天井部分にヘラ記号「一」が残る。胎土は C 群で、春日編年Ⅴ期に比定されると考える。

Pit492 (図版 232、写真図版 292)

須恵器無台杯 (1063) を図化した。厚手の底部資料で、胎土は A 群である。春日編年Ⅳ2～3 期の範疇と考える。

Pit508 (図版 232、写真図版 292)

須恵器短頸壺 (1064)、土師器無台椀 (1065) を図化した。須恵器短頸壺 1064 は外面肩部にタタキメが見られる。胎土は A 群であった。1065 は非口クロ成形の土師器無台椀である。外面はヘラケズリ等で成形され、内面にはミガキを施す。畿内系の土師器で、同器種の 917・918 より器壁がやや厚い形態である。時期は春日編年Ⅲ～

IV1 期に比定されると考える。

Pit520 (図版 232、写真図版 292)

中世の土師器皿 (1066) を図化した。ロクロ成形の小皿で、底部は糸切りである。13 世紀の資料と考える。

Pit577 (図版 232、写真図版 292)

土師器小甕 (1067) を図化した。体部外面をハケメ調整し、口縁はほぼ直立する。分類は Ab 類とした。春日編年Ⅲ～IV1 期の範疇と考える。

Pit582 (図版 232、写真図版 292)

中世の土師器皿 (1068) を図化した。ロクロ成形である。厚い底部から口縁が大きく開く。12 世紀後半の資料であろう。

Pit593 (図版 232、写真図版 292)

須恵器横瓶 (1069) を図化した。口縁から体部にかけての資料である。胎土は C 群で、春日編年Ⅳ～Ⅴ期に収まると考える。

Pit709 (図版 232、写真図版 292)

須恵器鉢 (1070) を図化した。焼成は酸化気味である。頸部が括れ、口径が大きく開く形態である。胎土は C 群であった。

Pit736 (図版 232、写真図版 292)

土師器小甕 (1071) を図化した。口縁端部が丸く収まる Ba 類で、春日編年Ⅲ～Ⅳ期に収まると考える。

Pit758 (図版 232、写真図版 292)

土師器無台椀 (1072) を図化した。底部資料である。内面にカキメの様な調整が見られる。春日編年Ⅵ期に収まると考える。

Pit841 (図版 232、写真図版 292)

須恵器無台杯 (1073) を図化した。厚手の器壁で体部の立ち上がりは急である。胎土は C 群で、I 1 類とした。春日編年Ⅳ2～3 期に比定されると考える。

Pit842 (図版 232、写真図版 292)

須恵器高杯 (1074) を図化した。脚部の破片資料である。胎土は D 群であった。壺の口縁である可能性もある。

Pit855 (図版 232、写真図版 292)

土師器長甕 (1075) を図化した。Bb 類である。体部外面は縦方向の細かいハケメを施す。内面は磨耗しているが、ハラケズリで調整されているようである。春日編年Ⅲ～IV1 期に収まると考える。

Pit910 (図版 232、写真図版 292)

須恵器無台杯 (1076) を図化した。口縁端部が僅かに外反する。胎土は A 群で、I 3 類とした。春日編年Ⅳ1 期に比定されると考える。

Pit934 (図版 232、写真図版 292)

土師器無台椀 (1077) を図化した。底径が小さく、深身の形態である。A II 2 類に分類され、春日編年Ⅵ期の範疇と考える。

b 包含層出土土器・陶磁器 (図版 233～235、写真図版 258・293・294)

古 代 (図版 233～235、写真図版 258・293・294) 須恵器無台杯 (1078～1090)・有台杯 (1091～1101)・杯蓋 (1102～1106)・壺蓋 (1107)・短頸壺 (1108)・長頸瓶 (1109～1113・1115)・広口壺 (1114)・横瓶 (1116)・鉢 (1117・1118)、土師器無台椀 (1119～1121)・蓋 (1122)、黒色土器無台椀 (1123～1125)、土師器小甕 (1126～1130)・長甕 (1131～1140)・鍋 (1141～1143) を図化した。

須恵器無台杯 1079・1080 は I 1 類、1081・1083～1087 は I 2 類、1089・1090 は I 3 類、1078 は II 1 類、1082・1088 は II 2 類に分類した。1085・1089 は酸化炎焼成である。1082 の底部内面に「=」、1086

の底部内面に「×」、1090の底部外面に「#」のヘラ記号が確認された。底部から体部が丸みを持って立ち上がる形態が主体となる。有台杯は1091・1093が小型で深身のⅡI類で、1092も同類である。1092は体部に段が巡る。1093は椀形の器形で、焼成は酸化気味であった。1094・1095は小型で浅身のⅠI類である。浅身でやや大型の1096はⅠ2類、1097・1098はⅠ3類とした。1098は内面や高台の使用痕が著しい。1099・1100は底部が欠損しているが、深身の大型品で、1101も同様であろう。1099は体部に沈線が巡る。1101は底部ヘラ切り後、ケズリで再調整されている。杯蓋1102はⅠ類、1103～1106はⅡ類に分類した。1103は体部外面に「-」のヘラ記号がある。1106は外面全体にケズリを施す。壺蓋1107は天井部に複数の沈線が巡る。1108は短頸壺、1113・1115は長頸瓶の小型品である。1109～1112は長頸瓶の口縁部資料である。1109は大型品であろう。1114は広口壺の口縁部資料で、端部は垂下する。1116は横瓶の口縁部資料で、胴部との接合部が残る。鉢1117は頸部に屈曲し、口縁端部が肥厚する。1118は内面をカキメ、外面をヘラケズリで調整する。鉢はいずれも酸化気味の焼成であった。胎土は1081・1102・1118がA群、1109～1113がB群、1100・1107がD群で、他はすべてC群であった。

土師器無台碗1120・1121はAⅠ2類、1119はAⅡ1類とした。1120はやや厚手の作りである。1121は体部が大きく広がって立ち上がる。1122は蓋の摘み部分の破片資料である。須恵器杯蓋と類似しており、内外面をミガキ調整している。黒色土師器無台碗1125はAⅠ3類、1124はBⅠ3類、1123はCⅠ2類に分類した。1124は内外面全面にミガキを施す。1125は口縁端部が内側に肥厚する。土師器小甕1129はAa類、1127・1128はAb類、1126はBa類、1130はBc類とした。ハケメ調整が主体である。1126は小型品で、底部付近の体部外面はヘラケズリで調整され、底部は無調整である。1128は胎土が赤褐色で、他の小甕と様相が異なる。長甕1132はAa類、1131・1134はAb類、1133・1136はBa類、1135はBb類、1137はBc類に分類した。小甕同様、ハケメ調整を主体とする。1133は他の長甕より器壁が厚い形態である。1135はPit60と接合関係にある。1136は体部外面にヘラケズリが見られる。1138～1140は長甕の底部資料である。1138はロクロ成形で内面に指頭圧痕が見える。1139は丸底で外面をヘラケズリ、内面をハケメで調整する。1140は厚手の作りで内外面をハケメ調整する。鍋1143をBa類、1141・1142はBc類とした。1142は頸部から口縁が長く伸び、端部で上方に摘まれる。鍋1143は頸部の屈曲が緩やかで、口縁外面に段を持つ。体部外面にはヘラケズリが施される。胎土は砂質が強く、焼成は還元気味であった。口縁部の形態や体部外面をヘラケズリする様相は北信地方の土師器甕と類似する。

時期は、須恵器食膳具が春日編年Ⅳ2～3期を主体としているのに対し、貯蔵具ではⅤ～Ⅵ期に収まる資料が多い。一方、土師器食膳具を見ると、春日編年Ⅵ期に位置付けられる資料である。煮炊具ではハケメ調整されるものはⅣ期に相当するであろう。ただ、1130・1137・1141など一部は土師器食膳具と同時期であると考えられる。よって2区東包含層出土の古代土器は、須恵器食膳具やハケメ調整された土師器煮炊具を中心とした春日編年Ⅳ期の土器群と、須恵器貯蔵具や土師器食膳具を中心とした春日編年Ⅵ期を主体とする土器群が混在していると考えられる。

中世(図版235、写真図版294)白磁碗(1144)、青磁碗(1145・1146)を図化した。白磁碗1144は口縁端部が口禿げとなるⅨ類で、F期(13世紀中頃～14世紀初頭前後)に相当する。1145は龍泉窯系の青磁碗Ⅰ-2類で、内面に草花文が入る。1146は同安窯系の青磁碗Ⅰ-1b類で外面に櫛目文を有する。1145・1146ともD期(12世紀中頃～後半)に相当する。

3) 第24次調査2区西出土土器・陶磁器

a 遺構出土土器・陶磁器

SE9(図版236、写真図版295)

須恵器無台杯(1147)・杯蓋(1148)、土師器小甕(1149)、中世の土師器皿(1150・1151)、珠洲焼片口鉢(1152～1154)を図化した。須恵器無台杯1147はⅠ2類、杯蓋1148はⅢ類に分類した。胎土は共にC群である。小

甕 1149 は Bc 類とした。口縁端部は摘まれる。須恵器の時期は春日編年Ⅳ1 期に比定されるのに対し、土師器小甕 1149 はⅥ期の範疇と考える。中世の土師器皿 1150・1151 はともにロクロ成形底部ヘラ切りである。珠洲焼片口鉢 1152 は口縁部から体部にかけての資料で、内面に卸目が施されているが 1 単位あたりの目数は不明である。珠洲Ⅱ期に相当する。1153 は口縁部から体部下半にかけての資料で、内面に 1 単位 10 目の卸目が施されている。口縁端部が研磨具として転用されているため、使用により大幅に磨り減っている。第 24 次調査 2 区東包含層と接合関係にあった。珠洲Ⅲ期に相当する。1154 は内面に 1 単位 11 目の卸目を施し、底部は静止糸切りである。時期は、全体としては概ね 13 世紀後半に位置付けられると考える。

SE14 (図版 236、写真図版 295)

土師器無台椀 (1155)、中世の珠洲焼片口鉢 (1156) を図化した。土師器無台椀 1155 は短く外反する口縁端部から厚手の体部が伸び、体部外面はナデを施す。春日編年Ⅳ期の資料と考える。珠洲焼片口鉢 1156 は 1 単位 8 目の卸目が施されているが、使用によりかなり磨耗している。SD3、第 24 次調査 2 区東包含層と接合関係にある。珠洲Ⅱ期に相当する。

SE39 (図版 236・237、写真図版 295)

須恵器無台杯 (1157・1158)、中世の土師器皿 (1159)、珠洲焼片口鉢 (1160～1162) を図化した。須恵器無台杯 1157・1158 は I3 類に分類した。胎土は 1157 が D 群で、1158 が C 群である。春日編年Ⅳ期に収まると考える。中世の土師器皿 1159 はロクロ成形で底部はヘラ切りである。内外面にススや炭化物が付着しており、灯明皿として使用されたと考えられる。珠洲焼片口鉢 1160 は内面に 1 単位 16 目の卸目を施しており、SE9 と接合関係にある。1161 は 1 単位 10 目の卸目を施している。1162 の内面にも卸目は施されているが 1 単位あたりの目数は不明である。2 区東包含層と接合関係にある。全体としては珠洲Ⅳ期、14 世紀の範疇に収まると考える。

SE63 (図版 237、写真図版 258・295)

須恵器無台杯 (1163・1164)・短頸壺 (1165)・長頸瓶 (1166)、黒色土器無台椀 (1167)、土師器長甕 (1168)・鍋 (1169) を図化した。須恵器無台杯 1163 は I2 類とした。1164 は底部資料で、体部が椀状に立ち上がる。Pit441 と接合関係にある。短頸壺 1165 は口縁から肩部にかけての資料で、外面肩部に自然釉がかかる。長頸瓶 1166 は底部付近の体部外面にタタキメが残る。口縁は別作りであろう。SE9・230・499 と接合関係にある。胎土は 1163・1165 が C 群、1164 が D 群、1166 は B 群であった。黒色土器無台椀 1167 は口縁部から体部の資料で、外面にはケズリが施されている。土師器長甕 1168、鍋 1169 は Bc 類に分類した。口縁端部は摘まれる。時期は須恵器無台杯 1163 が春日編年Ⅳ期まで遡る可能性はあるが、全体としては春日編年Ⅵ期の範疇と考える。

SE86 (図版 238、写真図版 295)

中世の珠洲焼片口鉢 (1170) を図化した。口縁部資料で、残存部分に卸目は見られない。珠洲Ⅱ期に相当する。

SE230 (図版 238、写真図版 295)

土師器無台椀 (1171)、黒色土器無台椀 (1172)、中世の白磁椀 (1173) を図化した。土師器無台椀 1171 は AI2 類に分類した。SD359 と接合関係にある。黒色土器無台椀 1172 は厚手の器壁で、両面が黒色処理される。ミガキは内外面に施す。土師器無台椀 1171 は春日編年Ⅵ期に比定されるが、黒色土器無台椀 1172 は春日編年Ⅴ期以前まで遡る可能性がある。中世の白磁椀は口縁端部口禿のⅨ類で、F 期 (13 世紀中頃～14 世紀初頭前後) に相当する。

SE433 (図版 238、写真図版 295)

中世の青磁椀 (1174) を図化した。龍泉窯系で外面に鎬連弁文を有する。IIb 類に分類され、E 期 (13 世紀前後～前半) に相当する。ただ、釉が厚く連弁文も細かいことから、優品であるⅢ-2C 類の可能性もあり、この場合 F 期 (13 世紀中頃～14 世紀前後) に相当する。

SE499 (図版 238、写真図版 296)

須恵器鉢(1175)・長頸瓶(1176)、土師器無台椀(1177)を図化した。須恵器鉢1175は口縁部から体部下半にかけての資料である。頸部で屈曲し、口縁端部は面を持つ。体部に取手が付くことが多いが、接合部は出土していない。SE9、SX383と接合関係にある。長頸瓶1176は頸部から体部にかけての資料で、体部外面下半にはケズリを施す。SE9、SK294と接合関係にある。胎土は1175がC群、1176がB群であった。土師器無台椀1177はAI2類に分類した。内外面にタールが付着しており、SD3と接合関係にある。時期は春日編年VI期に収まると考える。

SK1 (図版 238、写真図版 296)

須恵器有台杯(1178)、土師器無台椀(1179)を図化した。須恵器有台杯1178は底部資料である。胎土はA群で、SK40と接合関係にある。土師器無台椀1179はBI2類とした。体部は開き気味で伸び、ロクロナデが強く残る。須恵器有台杯1178は春日編年IV1期に比定されるが、土師器無台椀1179は春日編年VII期まで下る資料であると考ええる。

SK5 (図版 238、写真図版 258)

須恵器長頸瓶(1180)を図化した。口縁の接合痕が頸部に残る。胎土はB群で、SD2257と接合関係にある。春日編年V～VI期に収まると考える。

SK15 (図版 238、写真図版 296)

土師器長甕(1181)を図化した。底部資料で、内外面をハケメ調整する。時期は春日編年III～IV1期の範疇と考える。

SK89 (図版 238、写真図版 296)

中世の珠洲焼片口鉢(1182)を図化した。底部資料で、使用により磨耗している。内面に1単位9目の卸目が施される。珠洲III～IV期に相当する。

SK90 (図版 238・239、写真図版 296)

土師器小甕(1183)・長甕(1184)・鍋(1185)、中世の青磁椀(1186)を図化した。土師器小甕1183、長甕1184、鍋1185はすべてBc類とした。いずれも口縁端部は上方に長く摘まれる。春日編年VI期に収まると考える。中世の青磁椀1186は底部資料である。龍泉窯系で、内面見込みに「金玉満堂カ」の印刻が見られる。高台内面を深く割るが、割り方は粗く高台内中央が凸状となる。外面に連弁文が見られないことからI類とも考えられるが、高台の作りが粗いことからIV類の可能性が高い。IV類とすればG期(14世紀初～後半)に相当する。

SK351 (図版 239、写真図版 296)

土師器無台椀(1187)・長甕(1188)を図化した。土師器無台椀1187はAI2類に分類した。内外面にススが付着している。長甕1188はBc類とした。口縁端部がわずかに垂下する。時期は春日編年VI期に収まると考える。

SK396 (図版 239、写真図版 296)

須恵器有台杯(1189)を図化した。胎土はC群で、分類はI2類である。春日編年IV2～3期に比定されると考える。

SK447 (図版 239、写真図版 296)

須恵器無台杯(1190)を図化した。薄手の器壁で体部は大きく開く。胎土はB群で、II2類に分類した。春日編年VI期に比定されると考える。

SK469 (図版 239、写真図版 296)

須恵器無台杯(1191)を図化した。胎土はC群で、I1類に分類した。時期は春日編年IV2～V期に収まると考える。

SK522 (図版 239、写真図版 296)

須恵器有台杯 (1192)・鉢 (1193) を図化した。須恵器有台杯 1192 はⅡ3 類で、内面に自然釉がかかる。鉢 1193 は外面や底部をヘラケズリで調整する。胎土はいずれも C 群で、春日編年Ⅳ期に収まると考える。

SK545 (図版 239、写真図版 258)

須恵器長頸瓶 (1194) を図化した。体部は完形で、口縁端部と高台が欠損している。体部外面には中程までタキメが残る。高台は丁寧に打ち欠いて底部を水平にしている。胎土は B 群で、春日編年Ⅴ～Ⅵ期に収まると考える。

SX11 (図版 239、写真図版 296)

土師器長甕 (1195) を図化した。頸部が緩やかに「コ」の字に屈曲し、口縁は外側に肥厚して端部は尖る。頸部外面は強くヨコナデされる。体部の調整は不明瞭であるが、ヘラケズリで調整されているようである。形態から、「武蔵型甕」〔春日 2007〕にあたる器種であると考え。時期としては春日編年Ⅵ期の範疇であろう。

SX352 (図版 239、写真図版 296)

土師器無台椀 (1196・1197)、黒色土器無台椀 (1198) を図化した。土師器無台椀 1196 は C I 2 類とした。SK351 と接合関係にある。1197 も C 類で、内面にミガキが施される。黒色土器無台椀 1198 は外面も全面にミガキが施されている。時期は春日編年Ⅶ1 期に比定されると考える。

SX354 (図版 240、写真図版 296)

土師器鍋 (1199) を図化した。Bb 類で、口縁部は長く伸びる。春日編年Ⅳ1 期に比定されると考える。

SX383 (図版 240、写真図版 296・297)

須恵器無台杯 (1200・1201)・有台杯 (1202)・短頸壺 (1203)、土師器小甕 (1204・1205)・長甕 (1206) を図化した。1200 は深身の器形で底部はヘラ切りである。酸化炎焼成の須恵器無台杯とした。1201 は浅身の形態である。有台杯 1202 は I2 類で、SK311 と接合関係にある。1203 は底部から体部にかけての資料であるが、高台形態等から短頸壺とした。外面に自然釉が残る。胎土はすべて C 群であった。土師器小甕 1205 は Ab 類、1204 は Bb 類である。1205 の体部はハケメで調整される。長甕 1206 は Ba 類とした。頸部から口縁部が大きく開く形態で、SK311 と接合関係にある。時期は春日編年Ⅳ1 期に比定されると考える。

SX439 (図版 240、写真図版 297)

須恵器無台杯 (1207)、土師器長甕 (1208・1209)・小甕 (1210)・鍋 (1211)、無台椀 (1212) を図化した。須恵器無台杯 1207 は口縁端部で外反する形態で、I2 類に分類した。胎土は C 群である。土師器長甕 1208・1209 は Aa 類とした。1209 は口縁部が長く伸びる。いずれも体部はハケメ調整される。小甕 1210 は底部が窄まる器形で、A 類とした。外面は磨耗しており、調整は不明瞭である。鍋 1211 は Ba 類に分類した。残存する体部は直立気味である。無台椀 1212 は非ロクロ成形で、口縁端部がわずかに肥厚する。1065 等と同様、畿内系の土師器と考える。時期を見ると、須恵器無台杯 1207 はⅣ2～3 期に比定される。土師器は春日編年Ⅳ1 期に多く見られる形態であるが、Ⅳ2～3 期まで残存する可能性も考えられるため、全体としては春日編年Ⅳ2～3 期とする。

SX445 (図版 240、写真図版 297)

須恵器無台杯 (1213)・有台杯 (1214) を図化した。須恵器無台杯 1213 は I3 類である。1214 は高台が欠損した有台杯で、SD359・478 と接合関係にある。胎土はいずれも C 群である。春日編年Ⅳ2 期に比定される。

SX494 (図版 240、写真図版 297)

土師器鍋 (1215) を図化した。口縁部は長く伸び、端部で僅かに肥厚する。Bc 類に分類した。春日編年Ⅳ期に収まると考える。

SX680 (図版 240、写真図版 297)

須恵器壺蓋 (1216) を図化した。小型の壺蓋で、胎土は C 群である。小型壺に伴う器種であろう。

SD3 (図版 241、写真図版 258・297)

須恵器無台杯 (1217)・長頸瓶 (1218)・大甕 (1219・1220)、土師器無台椀 (1221～1223)、黒色土器無台椀 (1224)、中世の青磁椀 (1225)、土師器皿 (1226・1227) を図化した。須恵器無台杯 1217 は薄手の作りで口縁端部は丸く肥厚する。Ⅱ2 類に分類した。長頸瓶 1218 は口縁端部を欠いた頸部から肩部にかけてのやや大型の資料である。SD483 と接合関係にある。1219・1220 は大甕の口縁部資料である。1220 は口径が大きくなる器形で、酸化気味の焼成であった。胎土は 1217・1218 が B 群、1219・1220 は C 群である。土師器無台椀 1223 は AⅠ2 類、1222 は AⅡ2 類、1221 は CⅠ1 類に分類した。1221 は内外面ともロクロナデが強く残る。黒色土器無台椀 1224 は口縁端部で外反する。時期は土師器無台椀 1221 が春日編年Ⅶ期まで下る可能性を持つが、全体としては概ねⅥ期の範疇と考える。

中世の青磁 1225 は椀の底部破片である。高台の内側まで施釉しており、高台断面は尖り気味である。龍泉窯系の優品であるⅢ類とし、Ⅲ-1A 類に分類した。F 期 (13 世紀中頃～14 世紀初頭前後) に相当する。土師器皿 1226 は手づくね成形の小皿である。1227 はロクロ成形で底部は糸切りである。底部は厚く、SK40 と接合関係にある。中世の土器群は 13 世紀後半にまとまっていると考える。

SD54 (図版 241、写真図版 297)

須恵器無台杯 (1228・1229)・有台杯 (1230)、土師器小甕 (1231)、中世の青磁椀 (1232) を図化した。須恵器無台杯 1228・1229 は I2 類、有台杯 1230 はⅡ1 類に分類した。胎土はいずれも C 群である。土師器小甕 1231 は Bb 類とした。須恵器食膳具の形態から、春日編年Ⅳ2～3 期に比定される。中世の青磁椀 1232 は底部資料である。龍泉窯系のⅡ-a 類に分類され、E 期 (13 世紀前後～前半) に相当する。

SD65 (図版 241、写真図版 297)

須恵器大甕 (1233)・横瓶 (1234) を図化した。胎土は共に D 群である。大甕 1233 は口縁端部が内側へわずかに摘まれる。横瓶 1234 は内外面にカキメが施される。破片資料のため断定は難しいが、春日編年Ⅳ～Ⅴ期に収まると考える。

SD143 (図版 241、写真図版 297・298)

須恵器大甕 (1235)・横瓶 (1236)、中世土師器皿 (1237) を図化した。須恵器大甕 1235、横瓶 1236 は口縁部付近の資料である。胎土は共に C 群で、1236 は SD54 と接合関係にある。中世土師器皿 1237 はロクロ成形で底部はヘラ切りである。中世の土師器皿としたが、酸化炎焼成の須恵器無台杯の可能性もある。

SD246 (図版 242、写真図版 298)

土師器鍋 (1238) を図化した。口縁端部が長く伸び、体部は直立気味である。Bc 類に分類される。春日編年Ⅳ～Ⅴ期の範疇と考える。

SD309 (図版 242、写真図版 298)

須恵器大甕 (1239)、黒色土器無台椀 (1240)、土師器小甕 (1241)・長甕 (1242) を図化した。須恵器大甕 1239 は底部付近の破片資料で、胎土は C 群である。黒色土器無台椀 1240 は AⅡ3 類に分類した。内外面は全面ミガキ調整されている。SE200 と接合関係にあった。土師器小甕 1241 は底部糸切りである。長甕 1242 は Bc 類に分類した。口縁端部は長く摘まれる。時期は春日編年Ⅵ期の範疇に収まると考える。

SD394 (図版 242、写真図版 298)

土師器小甕 (1243) を図化した。外面は剥落により調整は不明であるが、内面はカキメが施される。底部は無調整であった。春日編年Ⅳ期に収まると考える。

SD406 (図版 242、写真図版 298)

須恵器無台杯 (1244) を図化した。酸化気味の焼成で、Ⅱ2 類とした。胎土は C 群で、春日編年Ⅳ2～3 期に比定されると考える。

SD422 (図版 242・243、写真図版 298・299)

須恵器有台杯 (1245)・大甕 (1246)、土師器無台椀 (1247・1248)、黒色土器無台椀 (1249～1251)、土師器小甕 (1252)・鍋 (1253・1254) を図化した。須恵器有台杯 1245 は口縁部資料で、端部は外反する。大甕 1246 は口縁部から肩部にかけての資料である。肩部に杯等を載せて焼成した痕が複数見える。胎土は共に C 群である。土師器無台椀 1247 は A I 2 類とした。1248 は底部資料で、底部外面にヘラ記号「×」が施されている。黒色土器無台椀 1251 は A II 3 類、1250 は B II 2 類、1249 は C II 2 類とした。1251 は大型品である。土師器小甕 1252 は底部資料で、底部は糸切りである。鍋 1253・1254 は Bc 類とした。端部はいずれも肥厚する。時期は須恵器有台杯がやや古手の様相を示すが、土師器の形態から全体としては春日編年 VI 期の範疇と考える。

SD438 (図版 243、写真図版 299)

須恵器無台杯 (1255) を図化した。胎土は C 群で、I1 類に分類した。春日編年 IV 2～3 期に比定されると考える。

SD450 (図版 243、写真図版 299)

須恵器大甕 (1256)、土師器台付鉢 (1257) を図化した。須恵器大甕 1256 は口縁部が直立気味に伸び、端部で外反する。胎土は C 群で、SD309、Pit542 と接合関係にある。1257 は土師器台付鉢の脚部分である。端部は長甕 Bc 類と類似する。時期は春日編年 VI 期に収まると考える。

SD454 (図版 244、写真図版 299)

土師器無台椀 (1258)、黒色土器無台椀 (1259～1261) を図化した。土師器無台椀 1258 は内外面にミガキが施される。黒色土器無台椀 1259 は C I 1 類で、外面も黒色処理される。1260 は浅身の体部を持ち、口縁端部で外反する C I 3 類に分類した。1261 は口縁端部が内側に肥厚する。時期は春日編年 VI 期の範疇と考える。

SD483 (図版 244、写真図版 299)

須恵器短頸壺 (1262)、土師器無台椀 (1263)・小甕 (1264) を図化した。須恵器短頸壺 1262 は口縁部から体部にかけての資料で、肩部に沈線が巡る。胎土は C 群で、SD478 と接合関係にある。土師器無台椀 1263 は B I 2 類で、内外面とも磨耗が激しい。小甕 1264 は Bc 類とした。時期は土師器の様相から春日編年 VI 期に収まると考える。

SD519 (図版 244、写真図版 299)

土師器鍋 (1265) を図化した。口縁端部は外側に大きく肥厚し、Bc 類に分類される。春日編年 VI 期に収まると考える。

SD564 (図版 244・245、写真図版 299・300)

須恵器無台杯 (1266)・長頸瓶 (1267)・大甕 (1268)・横瓶 (1269)、土師器無台椀 (1270)、黒色土器有台皿 (1271・1272)、土師器長甕 (1273) を図化した。須恵器無台杯 1266 は薄手の器形で、II 2 類に分類した。須恵器長頸瓶 1267 は頸部から体部にかけての資料である。外面肩部に自然釉が見られる。薄手の器壁で、Pit551・571 と接合関係にある。大甕 1268 は底部資料で SD450 と接合関係にある。横瓶 1269 はほぼ全形が残る資料で、体部には 3～5 条のカキメが等間隔で施される。SE86・499、SK279、SD54・65・420・422・483、Pit550・551 と接合関係にあった。胎土は 1266・1267 が B 群、1268・1269 が C 群であった。土師器無台椀 1270 は A I 2 類とした。黒色土器有台皿 1271・1272 はともに内外面にミガキが施されており、1271 は口縁端部で外反する。土師器長甕 1273 は口縁端部が摘まれる Bc 類とした。時期は春日編年 VI 期の範疇と考える。

SD603 (図版 245、写真図版 300)

土師器鍋 (1274) を図化した。口縁外面に段が生じており、端部は摘まれる。Bc 類に分類した。春日編年 V 期に収まると考える。

SD2257 (図版 245、写真図版 300)

須恵器無台杯 (1275) を図化した。胎土は C 群で、分類は I2 類とした。体部の立ち上がりは急である。春日編年 IV 1 期に比定されると考える。

Pit44 (図版 245、写真図版 300)

黒色土器無台椀(1276)を図化した。C I 3 類で、内外面にミガキが施される。春日編年VI期に収まると考える。

Pit128 (図版 245、写真図版 300)

須恵器杯蓋(1277)・長頸瓶(1278)を図化した。須恵器杯蓋 1277 はⅢ類に分類した。外面に自然釉がかかる。長頸瓶 1278 は口縁部資料である。1277 は胎土 C 群、1278 は B 群であった。須恵器杯蓋の様相から、春日編年IV2～3期に比定されると考える。

Pit137 (図版 245、写真図版 300)

須恵器長頸瓶(1279)を図化した。小型品の体部資料である。体部下半に沈線が数条巡り、外面に自然釉がかかる。胎土は C 群であった。

Pit144 (図版 245、写真図版 300)

須恵器長頸瓶(1280)を図化した。小型品の底部資料である。外面だけでなく、底部内側にも自然釉がかかる。胎土は C 群で、1279 と同一個体の可能性がある。

Pit145 (図版 245、写真図版 300)

中世の青磁椀(1281)を図化した。龍泉窯系で外面に鎬連弁文があるⅡ-b類に分類される。E期(13世紀前後～前半)に相当する。

Pit210 (図版 245、写真図版 300)

中世の白磁皿(1282)を図化した。底部資料であるが、口縁端部が口禿げのⅨ-1d類と推定される。F期(13世紀中頃～14世紀初頭前後)に相当する。

Pit221 (図版 245、写真図版 300)

中世の白磁椀(1283)を図化した。口縁端部が口禿げのⅨ類で、F期(13世紀中頃～14世紀初頭前後)に相当する。

Pit241 (図版 245、写真図版 300)

土師器無台椀(1284)を図化した。底部資料である。内外面にミガキやケズリが施され、底部も糸切り後ケズリ調整される。内面はまだらに黒ずんでおり、黒色土器の可能性もある。春日編年VI期の範疇と考える。

Pit282 (図版 245、写真図版 300)

須恵器鉢の取手部分(1285)を図化した。1175のような形態の鉢に付随するものと考え。胎土は C 群であった。

Pit314 (図版 245、写真図版 300)

土師器無台椀(1286)を図化した。A I 3 類に分類される。口縁で外側に肥厚し、端部が尖り気味となる。春日編年VI期に収まると考える。

Pit316 (図版 245、写真図版 300)

土師器無台椀(1287)を図化した。口径が大きく浅身の器形で、内外面は赤彩される。口縁端部に面を持ち、体部下半はケズリで調整される。春日編年Ⅲ～Ⅳ1期に比定されると考える。

Pit361 (図版 245、写真図版 300)

土師器長甕(1288)を図化した。非ロクロ成形で、底部もハケメで調整される。春日編年Ⅲ～Ⅳ1期に比定される。

Pit386 (図版 245、写真図版 300)

土師器無台椀(1289)を図化した。B I 2 類である。底径が大きく、浅い形態である。春日編年V期に比定されると考える。

Pit465 (図版 245、写真図版 300)

須恵器無台杯(1290)を図化した。Ⅱ2類で、底部に段が見られる。胎土は C 群で、春日編年IV2～3期に比定されると考える。

Pit518 (図版 245、写真図版 300)

須恵器無台杯 (1291) を図化した。I2 類に分類され、胎土は C 群である。春日編年IV2～3 期に比定される。

Pit551 (図版 245、写真図版 300)

黒色土器有台皿 (1292) を図化した。底部資料で、内面にミガキが施されている。春日編年VI 期に収まると考える。

Pit557 (図版 245、写真図版 258)

須恵器長頸瓶 (1293) を図化した。体部の完形品で、頸部を丁寧に打ち欠いている。胎土は B 群で、春日編年V～VI 期の範疇と考える。

Pit569 (図版 245、写真図版 300)

1294 を図化した。須恵器大甕としたが、土師器長甕とも形態が類似する。SD420、Pit540 と接合関係にある。胎土は C 群であるが、土師器長甕が還元炎焼成した可能性も考えられる。春日編年IV 期の範疇に収まると考える。

Pit570 (図版 246、写真図版 300)

黒色土器無台椀 (1295) を図化した。外面にもミガキが施される。体部が丸みを持ち、口縁端部で外反する。春日編年VI 期に収まると考える。

Pit577 (図版 246、写真図版 300)

須恵器無台杯 (1296) を図化した。II1 類に分類され、体部は開いて立ち上がる。胎土は C 群である。春日編年V 期に比定されると考える。

Pit581 (図版 246、写真図版 300)

土師器小甕 (1297) を図化した。小型の器形で、Bc 類に分類した。内面にススが付着している。春日編年IV 期に収まると考える。

Pit643 (図版 246、写真図版 300)

土師器鍋 (1298) を図化した。Bc 類に分類する。春日編年VI 期に収まると考える。

Pit648 (図版 246、写真図版 300)

土師器長甕 (1299) を図化した。Bc 類で、口縁端部は内側に強く摘み上げられる。春日編年VI 期の範疇に収まると考える。

Pit664 (図版 246、写真図版 300)

土師器小甕 (1300) を図化した。小型品で、非ロクロ成形である。底部は厚くわずかに外側に張り出している。

Pit687 (図版 246、写真図版 300)

土師器無台椀 (1301) を図化した。A I 2 類で、ロクロナデが強く残る。春日編年VII 期の資料と考える。

Pit727 (図版 246、写真図版 300)

土師器鍋 (1302) を図化した。Bc 類で、口縁端部は屈曲して長く伸びる。春日編年VI 期に収まると考える。

Pit731 (図版 246、写真図版 300)

土師器無台椀 (1303) を図化した。厚手の器形で、A I 2 類とした。春日編年VI 期の範疇と考える。

Pit738 (図版 246、写真図版 301)

黒色土器無台椀 (1304) を図化した。深身の大型品で、CIII3 類に分類した。口縁部で外側に肥厚し、端部は尖り気味となる。SK718 と接合関係にあった。春日編年VI 期に収まると考える。

Pit740 (図版 246、写真図版 301)

土師器無台椀 (1305) を図化した。厚い底部から薄手の体部が立ち上がる。C I 2 類に分類した。春日編年VI 期に収まると考える。

b 包含層出土土器・陶磁器 (図版 246～251、写真図版 301～303)

古代 (図版 246～251、写真図版 301～303) 須恵器無台杯 (1306～1334)・有台杯 (1335～1348)・杯蓋

(1349・1350)・広口壺(1351)・短頸壺(1352)・長頸瓶(1353～1355)・獸脚(1356)・鉢(1357)・大甕(1358～1360)・横瓶(1361・1362)・大甕(1363)、土師器無台椀(1364～1372)・有台皿(1373)・有台椀(1374)、黒色土器無台椀(1375～1377)・有台椀(1378・1379)・有台皿(1380～1383)、土師器台付鉢(1384)・小甕(1385～1389・1394・1395)・長甕(1390・1396)・鍋(1391～1393)・取手(1397)、小型土器(1398)を図化した。

須恵器無台杯1310・1311はI1類、1318・1320・1322～1325はI2類、1329～1331はI3類、1306～1309・1312～1314はII1類、1315～1317・1319・1321・1326～1328はII2類、1332はII3類に分類した。1308は底部に段が生じている。1310・1317は酸化気味の焼成である。1312は口縁端部が内側に丸く肥厚する。1313・1334は底部外面、1333は底部内面にヘラ記号が施される。無台杯の胎土は1306・1317・1318・1323がA群、1307・1309・1312・1314・1316がB群、1325がD群で、他19点はC群であった。有台杯1337～1340はI1類、1342はI2類、1345・1346はI3類、1343はIII2類とした。1335・1336・1344は口縁部資料であるが、分類としては深身のII・III類に分類される器形である。1336は体部外面に縦方向の線刻が施される。1341は高台を打ち欠き、底部を水平にした様子が窺える。1345は内端接地の高台を持つ。1347・1348は底部資料で、1347は酸化気味の焼成である。1348は器壁が厚く、杯底部から体部が直立気味に立ち上がる。胎土は1338・1341・1346・1348がA群で、ほかはすべてC群であった。杯蓋1349はIII類で、胎土はC群である。1350は擬宝珠形の摘み部分の破片資料で、胎土はA群であった。1351は広口壺とした。口縁端部は摘み上げる。短頸壺1352は口縁部から肩部にかけての資料で、肩部には自然釉がかかる。1353は長頸瓶の口縁部資料、1354・1355は底部資料である。1355は意図的に高台を打ち欠いているように見える。1356は獸足の破片資料で、1点のみ出土した。1357は鉢の底部資料である。内外面をヘラケズリ等で無造作に調整している。1358～1360は大甕の口縁部付近の資料である。1358・1360は口縁端部で内側に摘まれるが、1359は口縁端部が外側に垂下する。1361・1362は横瓶の口縁部資料である。1363は大甕の体部破片が溶着したもので、焼台へ転用したものとする。胎土は1353・1360・1361がA群、1354・1359がB群、1355がD群で、その他はC群であった。

土師器無台椀1364はAI1類、1365・1371はAII2類、1366・1370はBI2類、1368はBII2類、1367・1369はCI2類に分類した。1365の底部内面にはヘラ記号が見える。1367・1369・1370は砂質気味の胎土が類似しており、体部の開きも大きい。1372は厚手の底部資料である。有台皿1373は内外面にミガキが施されている。1374は有台椀としたが、口縁端部で屈曲しており須恵器折縁杯と形態が類似する。黒色土器無台椀1375～1377はいずれも厚手の器壁で、1377は内外面を黒色処理している。1378・1379は有台椀とした。1378は高台が尖り気味である。1379は底部に穿孔されている。有台皿1380・1381は厚手の器壁を持つ。1382は内外面にミガキが施されており、口縁端部で大きく外反する。1383は高台が高く伸びる。1384は台付鉢の脚部である。端部は長甕の口縁と類似する。土師器小甕1394・1395はAb類、1386・1389はBa類、1388はBb類、1385・1387はBc類とした。1385は小型品である。長甕1396はAb類、1390はBc類とした。1390は上方に強く摘み上げる。鍋1391～1393はBc類に分類した。1391は肩部が張る形態で、1392はカキメが見られない。1393の外面にはススが付着している。取手1397は甌等に付随するものとする。1398はコップ型の小型土器である。

2区西包含層出土の古代の土器群は、須恵器食膳具が春日編年IV期を主体としているのに対し、土師器は食膳具を中心に春日編年VI期の土器が目立つ。ただ、須恵器食膳具のなかにも胎土B群の無台杯などはVI期に比定されると考える。また、土師器でも小甕1394・1395、長甕1396等、非ロクロの煮炊具は春日編年IV期の須恵器に伴うものとする。よって、2区西包含層の古代土器は春日編年IV期の土器群と春日編年VI期の土器群がまとまりを持って存在しているものとする。

中 世(図版251、写真図版303) 白磁椀(1399)、青磁椀(1400)、土師器皿(1401～1403)、珠洲焼甕(1404)・壺T種(1405)・片口鉢(1406・1407)を図化した。白磁椀1399は口縁端部が口禿げとなるIX類で、F期(13

世紀中頃～14世紀初頭前後)に相当する。青磁椀1400は龍泉窯系で、外面に鎬連弁文を有するⅡ-b類である。E期(13世紀前後～前半)に相当する。土師器皿1401・1402はともにロクロ成形底部糸切り、1403は手づくね成形であった。土師器皿はいずれも13世紀代の資料であろう。珠洲焼甕1404は口縁部が長く伸びる形態で、珠洲Ⅱ期に相当する。1405は壺T種の体部資料とした。体部外面のタタキメは綾杉文状に密に施される。片口鉢1406・1407は口縁部資料で、1406が珠洲Ⅲ期、1407が珠洲Ⅱ期にそれぞれ相当する。よって2区西包含層の中世土器は、概ね13世紀代に収まる土器群であると言える。

4) 第24次調査4区出土土器・陶磁器

a 遺構出土土器

SD3(図版252、写真図版304)

須恵器無台杯(1408・1409)・有台杯(1410・1411)、土師器小甕(1412)・長甕(1413～1417)を図化した。須恵器無台杯1408はⅡ2類で、1409は底部資料である。いずれも器壁が厚い形態である。有台杯1411はⅡ2類に分類した。口縁部は外反する。1410は口縁部資料で、外面に自然釉がかかる。胎土はすべてC群であった。土師器小甕1412はBc類である。器壁が薄く、作りがシャープである。長甕1414はBa類、1413・1415はBb類とした。1413の口縁部は傾きが弱く直立気味である。1414は外面にカキメの上からハケメを施す。1416・1417はA類の底部資料である。内面はハケメを施すが、1416の外面はヘラケズリで調整される。底部はともに無調整である。時期は春日編年Ⅳ1～2期に比定されたと考える。

b 包含層出土土器(図版252～255、写真図版304・305)

須恵器無台杯(1418～1427)・有台杯(1428～1432)・杯蓋(1433～1437)・大甕(1438・1439)、土師器無台椀(1440・1441)、黒色土器無台椀(1442)、土師器小甕(1443～1449)・長甕(1450～1469)・鍋(1470)を図化した。須恵器無台杯1421・1423・1424はⅡ2類、1422・1425・1427はⅢ3類、1419はⅡ2類、1426はⅡ3類に分類した。1422は底部外面にヘラ記号「=」が施される。1423は酸化気味の焼成であった。有台杯1428・1429はⅡ2類、1430～1432はⅢ3類に分類した。高台の作りはすべて内端接地であった。1430は椀形を呈する。1432は高台の内側に墨痕があり、転用硯として使用していたことが推察される。杯蓋1433～1435はⅢ3類とした。1433～1435・1437の内面にも墨痕があり、転用硯の可能性が考えられる。1436は擬宝珠形の摘みを持つ。1438は大甕の口縁部資料で、端部が内外に拡張する。1439は薄手の体部を持つ大甕である。胎土は1418がB群、1431・1432がA群で、他はすべてC群であった。

土師器無台椀1440は口縁部資料である。胎土が精良で滑らかな器面であることから、酸化炎焼成の須恵器無台杯の可能性もある。1441は内外面が赤彩され、外面下半と底部をにケズリ調整している。黒色土器無台椀1442はCⅢ3類とした。大型品で内面の一部が黒色処理されている。底部調整は糸切り後ケズリである。土師器小甕1447はAa類、1443・1444・1446はBa類、1445・1448はBc類とした。1446は体部外面をヘラケズリで調整する。1447の頸部外面は強くヨコナデされる。1449は底部から体部にかけての資料である。剥落が著しいが、体部はヘラケズリで調整され、底部も同様である。長甕1459・1462はAa類、1461はAb類、1450～1452はBa類、1454・1456～1458・1460はBb類、1453・1455はBc類に分類した。1454は口縁部が長く伸びる形態である。1455は厚手の器壁で頸部のロクロナデが強く、わずかに肩部が形成される。1456は体部外面下半をヘラケズリで調整する。A類の長甕はハケメ調整が主体であるが、1459は外面にヘラケズリを施している。1463～1468は底部資料である。1463～1466は非ロクロ成形のA類、1467～1469はロクロ成形のB類とした。B類は明確に底部が形成されているが、無調整である。鍋1470はBc類とした。体部は直立気味に伸びる。

時期は、須恵器食膳具を見ると、春日編年Ⅳ1期を主体とした土器群である。土師器は煮炊具が基本的にⅣ期に収まる形態で、須恵器食膳具と同時期と考える。土師器食膳具では赤彩の無台椀1441は春日編年Ⅳ1期に伴うと考える。一方、1440・1442は春日編年Ⅵ期に位置付けられる資料で、須恵器無台杯1418がこれに伴う

と考える。よって、4区包含層出土土器は春日編年Ⅳ期とⅥ期のまとまりが認められ、主体となるのはⅣ期である。

第2節 土製品 (図版 256、写真図版 306)

沖ノ羽遺跡の土製品は土錘・筒形土製品・紡錘車などが出土しており、このほかに土器破片を再利用した転用研磨具がある。

土錘 第19次調査で2点、22次調査1区で9点、2区で16点、24次調査2区東で40点、2区西で14点の計81点出土した。このうち復元・実測可能な32点を図化した。形状により細形、太形、俵形、球形に分けられる。

筒形土製品 土管状の土製品を一括した。ロクロ成形と非ロクロ成形が見られ、口縁端部は「受け」が付くものとそのまま伸びるものがある。第22次調査1区で36点、3区で2点、24次調査2区西で2点出土しており、このうち7点を図化した。

紡錘車 第22次調査1区で1点、24次調査2区東で2点出土した。小型品と大型品がある。

この他に須恵器大甕の体部破片を転用した研磨具を2点、取手を1点掲載した。図化した土製品の詳細な計測値は別表5に示した。

A 第19次調査5区東出土土製品

SD5 (1・2)

小型の土錘2点を図化した。形状は2点とも細形であるが、他と比較するとやや太い。2には指頭圧痕が残る。

B 第22次調査出土土製品

1) 第22次調査1区出土土製品

a 遺構出土土製品

SE500 (3)

小型の土錘が1点出土した。形状は細形で、精良な胎土である。

SE1435 (4)

土錘が1点出土した。形状は俵形で、外面にヘラナデ調整が施されている。Pit1399と接合関係にある。

SE1617 (5)

土錘が1点出土した。形状は俵形であるが、片側がやや尖る。孔内部の土に土中の鉄分が付着し、本来の内径は不明である。

SX409 (6・7)

筒形土製品2点を図化した。6はロクロ成形である。口縁下の外面に粘土を貼って厚みを出し、受け部分を作り出している。粘土を足した部分はハケメやヘラケズリで調整される。内面にもハケメが残る。SX534と接合関係にある。7も同様の作製技法で、外面には縦方向のヘラケズリが残る。

SX1805 (8)

転用研磨具1点を図化した。須恵器大甕を転用しており、破面すべてと内外面にも使用痕が残る。

b 包含層出土土製品 (9～14)

筒形土製品(9・10)、土錘(11・12)、紡錘車(13)、取手(14)を図化した。筒形土製品9は口縁部分の資料で、端部は面を持つ。10は胴部の破片資料である。どちらもロクロで成形されている。土錘11・12はいずれも小型で、11は一端が平らな太形で、12は細形管状である。紡錘車13は表面に漆が塗布されている。14は

方形の取手で、中空である。外面は黒色処理とミガキ調整される。東北地方で見られる器形で、腕形の土器に付くと考えられる。鉄製品にも同様の形態があり、これを模倣したものと考えられる。新潟県内では加茂市馬越遺跡〔伊藤 2005〕で出土しており、春日編年VI2・3期に位置付けられている。

2) 第22次調査2区出土土製品

a 遺構出土土製品

SD32 (15)

小型の土錘を1点図化した。形状は細形である。色調は灰白色で、胎土は精良であった。

SD33 (16)

小型の土錘を1点図化した。形状は細形である。色調・胎土が15と類似する。

SD42 (17・18)

小型の土錘が2点出土した。共に形状は細形である。18は外面3箇所刻みが入る。

b 包含層出土土製品 (19～21)

小型の土錘3点を図化した。いずれも形状は細形である。19は他と比較して短く、端部が細くならない。21は体部に面が形成されている。色調・胎土は15・16と類似する。

3) 第22次調査3区出土土製品 (22～24)

包含層から出土した土錘(22)、筒形土製品(23・24)を図化した。22は小型の土錘で形状は太形である。筒形土製品23・24は口縁部の資料である。受けは見られず、口縁端部は丸く収まる。

C 第24次調査出土土製品

1) 第24次調査1区出土土製品 (25・26)

包含層から出土した小型の土錘2点を図化した。ともに形状は太形で、25は端部に面を持つ。

2) 第24次調査2区東出土土製品

a 遺構出土土製品

SE20 (27)

紡錘車1点が出土した。一方の面は平坦で、反対側は丸みを帯びる。中央に穿孔される。SK897と接合関係にあった。

SE65 (28)

紡錘車と推定される土製品1点が出土した。円板状で中心は孔を穿つ。表面は放射状に線刻されている。

SD98 (29・30)

小型の土錘2点を図化した。29は球形、30は細形の形状である。色調は暗灰白色で、精良な胎土である。

SD190 (31)

小型の土錘1点が出土した。形状は細形で、一部に指頭圧痕が残る。また、砂礫を多く含む胎土である。

SD243 (32)

小型の土錘1点が出土した。形状は細形である。色調は茶褐色で、31と類似する。

SD529 (33)

土錘が1点出土した。小型の土錘で形状は太形である。表面の磨耗が著しい。

SD898 (34)

大型の土錘が1点出土した。形状は俵形である。色調は灰白色で、砂礫を多く含む胎土であった。

SD905 (35)

小型の土錘1点を図化した。細形で短い形状である。

第3節 石製品

b 包含層出土土製品 (36・37)

小型の土錘2点を図化した。36は俵形で、端部は面を持つ。色調は灰白色で、胎土は精良である。37の形状は細形で、一部に指頭圧痕が残る。

2) 第24次調査2区西出土土製品

a 遺構出土土製品

SE230 (38)

土錘が1点出土した。形状は球形で、精良な胎土である。他の球形土錘と比べてやや大振りである。

SX352 (39)

土錘1点が出土した。小型で形状は細形である。体部には面が形成される。

SD65 (40)

筒形土製品が1点出土した。ロクロは使用せず、外面はハケメ、内面はハケメやナデで調整され、指頭圧痕も多く残る。

SD143 (41)

転用研磨具1点を図化した。須恵器大甕を転用している。端正な長方形に整形されており、長辺の両側と外面に使用痕が見られる。

SD630 (42)

土錘が1点出土した。形状は細形で、指頭圧痕が多く残る。

Pit379 (43)

小型の土錘1点が出土した。細形の形状で、精良な胎土である。

b 包含層出土土製品 (44・45)

小型の土錘2点を図化した。44は太形の形状で、図示した他の太形土錘よりやや長く全体的に磨耗している。45は球形で、精良な胎土であった。

第3節 石製品

沖ノ羽遺跡で出土した石製品は総点数1,289点、総重量241,526gである。遺構出土の石製品を中心に76点を図化した。内訳は砥石31点、磨石6点、叩石2点、台石5点、石硯3点、権状錘1点、紡錘車3点、軽石製石製品19点、その他石製品6点となっている。詳細な計測値は別表6に示した。このほかに焼礫2,373点、23,598g、礫726点、17,366gが出土しており、遺構出土の礫・焼礫の総点数・総重量を別表1～3の遺構計測表に示した。

砥石 形状と石材から類推し、おおまかに仕上げ砥石、中砥石、荒砥石に分類した。仕上げ砥石は小形の手持ち砥石で、すべての面が砥面となっているものが多い。中砥石は細長い直方体状で砥面が湾曲するものが多い。現在使用されている鎌砥石に類似する。荒砥石は川原石を用いたもので、置き砥石と手持ち砥石に分かれる。

磨石 表裏面および側面に磨痕が残るものを一括した。

叩石 端部に敲打痕を持つものを一括した。形状は多様である。磨石・叩石を含めて粉食加工等の食料生産具としての機能を想定している。

台石 川原石を加工して柱の台や作業用の台として用いられたと想定されるものを一括した。

石硯 破片のみの出土で、全形がわかる資料はない。図化した3点のみの出土である。

紡錘車 完形品が出土していないため、詳細は不明であるが、未製品も含めて可能性のあるものを一括した。

権状錘 1点のみ出土した。底部は平らで頂部に向かって窄まる形状である。

軽石製石製品 軽石の一部に擦痕が残るものを一括した。形状は直方体、楕円形、円盤型、球形など多様である。

磨石あるいはある種の砥石としての機能が推定される。3～6cmの小型のもの、7・8cm前後の中型のもの、10cm以上の大型のものに分けられる。1点のみ径20cm以上の資料が検出されたが、これは他の軽石製石製品とは用途が異なると思われる。

この他に、碁石や双六等の駒と思われる円礫や剥片などが見られた。

A 第19次調査出土石製品

1) 第19次調査5区西出土石製品 (図版257、写真図版306)

包含層から出土した軽石製石製品(1)を図化した。大型品で形状は楕円形である。線状痕と2面の平坦面が見られる。

2) 第19次調査5区東出土石製品

a 遺構出土石製品

SK2 (図版257、写真図版306)

軽石製石製品(2)を図化した。破片資料であるが、大型品と推定される。平坦面は2面残る。

SD5 (図版257、写真図版306)

凝灰岩製の磨石(3)を図化した。形状は中形の円盤型で2面の平坦面を持つ。

b 包含層出土石製品 (図版257、写真図版306)

軽石製石製品(4・5)を図化した。4は中形で円盤状である。側部の2面が使用により平坦になっており、線状痕も見られる。5は半分が欠損した破片資料で、大型品と推定される。形状は楕円形で、平坦面は2面ある。

3) 第19次調査6区出土石製品 (図版257、写真図版306)

包含層から出土した砥石(6～8)を図化した。いずれも凝灰岩製である。6は上下が欠損した直方体状で、砥面は4面ある。使い込まれて砥面が湾曲している。7の形状は直方体状と推定され、一部が被熱している。8は仕上げ砥石である。形状は端正な板状に整えられており、表裏は砥面で側面には線状痕が見られる。

B 第22次調査出土石製品

1) 第22次1区出土石製品

a 遺構出土石製品

SE126 (図版257、写真図版306)

9は粘板岩製石硯の破片資料とした。「海」から「陸(おか)」にかけての一部が残存しており、被熱も見られる。

SE201 (図版257、写真図版306)

砥石(10)、石硯(11)を図化した。砥石10は凝灰岩製の仕上げ砥石である。形状は板状で、残存する面はすべて砥面であったが、破面の一部にも使用痕が見られた。11は粘板岩製石硯の側部の破片資料であると推定される。9と類似しており、同一個体の可能性がある。

SE375 (図版257、写真図版306)

砥石(12)が出土した。凝灰岩製の仕上げ砥石の破片資料である。

SE385 (図版257、写真図版306)

13は針質安山岩製の石製品で、用途は不明である。被熱しており、側部は楕円状に整形されている。

SE412 (図版258、写真図版306)

大型の軽石製石製品(14)を図化した。形状は直方体である。全面に使用痕が見られるが、1面だけ研磨により水平になっている。また、部分的に深く削れている部分が2箇所見られる。

SE415 (図版258、写真図版306)

砥石(15)を図化した。凝灰岩製の仕上げ砥石である。形状は板状で側部も砥面となっている。

SE500 (図版 258、写真図版 306)

軽石製石製品 (16・17)、磨石 (18)、用途不明の石製品 (19) を図化した。軽石製石製品 16 は楕円の円盤状で、線状痕が見られるため、砥石として使用されていた可能性がある。17 の形状は球形であった。18 は緑色凝灰岩製の球形の磨石である。19 は円盤状の小型の円礫である。石材はチャートである。基石等の「駒」として使用されていた可能性がある。

SE601 (図版 258、写真図版 306)

台石 (20) が出土した。置き砥石として用いられたものであろう。安山岩製で被熱している。形状は直方体状と推定される。

SE868 (図版 258、写真図版 307)

石硯 (21)、砥石 (22) が出土した。石硯 21 は粘板岩製で 9・15 と類似しており、同一個体の可能性がある。22 は緑色凝灰岩製の仕上げ砥石である。

SE1244 (図版 258・259、写真図版 307)

軽石製石製品 (23～29) を図化した。23・24 は中形、25～29 は大形である。形状は 23・26・28 が楕円形、24・25・27・29 が円盤状となる。25 は平坦面が 3 面見られる。27 は 2 面の平坦面が残るが、このうち 1 面は研磨により石が削られ、広範囲で水平になっている。

SE1454 (図版 259、写真図版 307)

砥石 (30) を図化した。凝灰岩製の荒砥石である。幅の広い直方体で、被熱している。置き砥石として用いられたと考える。

SE1504 (図版 259、写真図版 307)

用途不明の石製品 (31) が出土した。半分以上を欠損しており、元の形状は円盤状と推測される。石材は凝灰岩で、紡錘車の可能性が考えられる。

SE1535 (図版 259、写真図版 307)

砥石 (32) を図化した。大型の砥石から欠けた破片資料で、被熱している。破面である裏面にも使用痕がある。凝灰岩製の仕上げ砥石であると考えられる。

SE1593 (図版 259、写真図版 307)

砥石 (33) が出土している。凝灰岩製の中砥石で、6 面全面が砥面となっている。形状は直方体状であるが使い込まれて大きく湾曲している。

SE1769 (図版 259、写真図版 307)

紡錘車の未製品 (34) を図化した。円柱状に整えられており、中央には孔を穿った痕跡が残る。凝灰岩製で、砥石に転用した可能性もある。

SE1949 (図版 259、写真図版 307)

砥石 (35) が出土した。凝灰岩製の荒砥石で、2 面の砥面が残り、被熱している。置き砥石として用いられたものであろう。

SX408 (図版 259、写真図版 307)

砥石 (36) を図化した。凝灰岩製の中砥石で、残存する 3 面はすべて砥面である。また、一部が深く磨り減っており、集中的に使用されていた様子が窺える。

SD896 (図版 259、写真図版 307)

砥石 (37) が出土した。緑色凝灰岩製の仕上げ砥石である。板状と推定され、残存する面はすべて砥面になっている。

SD1737 (図版 259、写真図版 307)

砥石 (38) を図化した。凝灰岩製の仕上げ砥石である。形状は板状で、使い込まれて湾曲している。

Pit277 (図版 260、写真図版 307)

砥石 (39) が出土した。流紋岩質凝灰岩製の仕上げ砥石で、上・下の両端が欠損した資料である。形状は薄手の直方体状で、残存する 4 面はすべて砥面である。

Pit1043 (図版 260、写真図版 307)

軽石製石製品 (40) が出土した。小形でやや扁平な球形である。

Pit1457 (図版 260、写真図版 307)

用途不明の石製品 (41) が出土した。石材は玉髄質珪質頁岩で、不定形の剥片である。

Pit1475 (図版 260、写真図版 307)

砥石 (42) が出土した。凝灰岩製の仕上げ砥石の破片資料であると考えられる。砥面 1 面のみ残存している。

Pit1685 (図版 260、写真図版 307)

台石 (43) が出土した。花崗岩製の荒砥石で、被熱している。置き砥石として用いられたと考える。

Pit1776 (図版 260、写真図版 307)

砥石 (44) が出土した。凝灰岩製の中砥石である。元の形状は直方体状であるが、使い込まれて砥面が湾曲している。砥面は 4 面残り、線状痕も多く見られる。

b 包含層出土石製品 (図版 260、写真図版 307)

砥石 (45～47) を図化した。いずれも凝灰岩製の中砥石で、4 面に砥面が残る。45 は直方体状であったと推定されるが、使い込まれて砥面が大きく湾曲している。46・47 も直方体状であるが、46 は上・下の面が丸みを帯びた形態である。

2) 第 22 次調査 2 区出土石製品 (図版 261、写真図版 307)

包含層から出土した権状錘 (48) を図化した。底部が平坦で頂部に向かって窄まり、横断面は台形状で頂部は丸みを帯びる。頂部にはやや下向きに貫通する孔が穿たれている。また、その下に未貫通の孔がもう 1 つ観察される。包含層からの出土のため細かな時期設定は難しいが、第 22 次調査 2 区では 9 世紀代の土器が主体となつて出土していることから、権状錘 48 も同様の時期と考える。

権状錘は棹秤に使用されたおもりで、公的機関での使用が推定される。ただ、遺跡からの出土状況を見ると、官衙的遺跡に限らず地方末端行政的な村落遺跡でも確認されることが指摘されている〔望月 2003〕。新潟県でも今池遺跡・的場遺跡といった官衙的な遺跡や、林付遺跡・馬越遺跡のような初期荘園関連遺跡と考えられる遺跡からの出土が確認されている。林付遺跡や馬越遺跡からは石帯も出土しており、公的色彩は強いといえる〔相田ほか 2012〕。沖ノ羽遺跡ではこの権状錘のほかに公的な性格を想起させるような遺物は出土していないものの、周辺の拠点集落的な遺跡であることは想定され、沖ノ羽遺跡の性格を考える上で重要な資料である。

3) 第 22 次 3 区出土石製品**SK90** (図版 261、写真図版 307・308)

軽石製石製品 (49・50) が出土した。49 は小形の円盤型を呈する。50 は特大の軽石製石製品である。円盤状で、直径は約 24cm を計る。擦痕や線状痕などの使用痕が確認される。

C 第 24 次調査出土石製品**1) 第 24 次調査 2 区東出土石製品****a 遺構出土石製品****SE20** (図版 261、写真図版 307)

磨石 (51) を図化した。緑色凝灰岩製で扁平な円礫を利用したものである。

SE221 (図版 261、写真図版 307)

砥石 (52) が出土した。凝灰岩製の仕上げ砥石である。棒状の直方体状での形状を呈し、5 面の砥面を残す。

SX18 (図版 261、写真図版 307)

台石 (53) が出土した。石材は安山岩で、形状は円盤状である。被熱しており、半分が欠損している。

SD15 (図版 261・262、写真図版 307・308)

砥石 (54)、台石 (55) を図化した。54 は板状の砂岩製仕上げ砥石である。5 面の砥面が残る。台石 55 の石材は安山岩で、隅丸の直方体状であったと推定される。

SD91 (図版 262、写真図版 308)

磨石 (56) が 1 点出土している。石材は凝灰岩で、円盤状を呈する。

SD98 (図版 262、写真図版 308)

台石 (57)、用途不明の石製品 (58)、紡錘車 (59) を図化した。台石 57 の石材は花崗岩で、被熱している。形状は不整形な円柱状で、2 面の平坦面が見られる。置き砥石として用いられた可能性もある。58 は扁平な小形の円礫で、石材は凝灰岩である。19 同様、基石等に利用されたと考える。紡錘車 59 は緑色凝灰岩製である。円盤状で側部にも面を作る。

SD180 (図版 262、写真図版 308)

砥石 (60) が出土した。凝灰岩製の仕上げ砥石で、形状は板状である。3 面の砥面が残る。

SD243 (図版 262、写真図版 308)

砥石 (61) を図化した。凝灰岩製の仕上げ砥石で、形状は直方体状である。使い込まれて砥面が大きく湾曲している。下部が破損しているが、破面も砥面として利用されており、砥面は 6 面を数える。

SD355 (図版 262、写真図版 308)

用途不明の石製品 (62) が出土した。扁平な小形の円礫で、石材は頁岩である。基石等に利用されたと考える。

SD898 (図版 262、写真図版 308)

砥石 (63) が出土した。凝灰岩製の仕上げ砥石である。形状は直方体状であるが、上面は丸みを帯びている。4 面の砥面が残る。また、多くの線状痕も観察できる。

b 包含層出土石製品 (図版 262、写真図版 308)

砥石 (64・65) を図化した。ともに凝灰岩製で、64 は仕上げ砥石、65 は中砥石である。64 は立方体に近い直方体状で、正面は丸みを帯びているが、他の 5 面はほぼ水平である。丸みを持つ正面にも線状痕が確認できるため、砥面は 6 面全面であると考えられる。65 は残存する 3 面がすべて砥面である。

2) 第 24 次調査 2 区西出土石製品

SE9 (図版 262、写真図版 308)

砥石 (66) を図化した。凝灰岩製の中砥石の破片資料で、砥面が 1 面のみ残存している。

SE39 (図版 262、写真図版 308)

砥石 (67) を図化した。凝灰岩製の仕上げ砥石である。形状は直方体状であるが、使い込まれており砥面が湾曲している。被熱しており、線状痕と 4 面の砥面が確認できる。

SE226 (図版 262、写真図版 308)

砥石 (68) を図化した。凝灰岩製の仕上げ砥石である。元の形状は直方体状であったと推定されるが、使用により不整形となっている。

SE433 (図版 263、写真図版 308)

叩石 (69) が出土した。石材は安山岩で、楕円形である。叩石の他に磨石として使用していたとも考えられる。

SE499 (図版 263、写真図版 308)

軽石製石製品 (70) を図化した。小形で円盤型の形状を呈する。側部の一部に平坦面を持つ。

SX446 (図版 263、写真図版 308)

用途不明の石製品 (71) が出土した。小形の扁平な円礫で、石材は玉髓である。基石等に利用されたと考える。

SD143 (図版 263、写真図版 308)

磨石 (72・73) を図化した。72 は凝灰岩製で棒状楕円形、73 は緑色凝灰岩製で楕円形の円礫を利用している。

SD278 (図版 263、写真図版 308)

軽石製石製品 (74) を図化した。中形の軽石製石製品で、被熱している。扁平な楕円状の形態で、線状痕が観察できる。

SD407 (図版 263、写真図版 308)

叩石 (75) が出土した。凝灰岩製で、棒状楕円形の素材を利用している。

Pit704 (図版 263、写真図版 308)

砥石 (76) が出土した。花崗岩製の荒砥石である。形状は不整形で、側部 6 面が砥面であった。置き砥石として用いられたと考える。

第4節 木製品

沖ノ羽遺跡では 31 種類に及ぶ木製品が出土している。内訳は木筒 2 点、礎板 1 点、柱根 30 点、部材 50 点、竹材 2 点、曲物 2 点、曲物側板 11 点、円板 6 点、棒状木製品 34 点、炭化材 9 点、板状木製品 75 点、折敷 2 点、漆器 9 点、箸状木製品 83 点、刷毛状木製品 2 点、削片 35 点、柄杓 1 点、草履芯 8 点、ヒョウタン 2 点、杭状木製品 8 点、櫛 1 点、不明・自然木 290 点となっている。このうち 139 点を図化した。第 22 次調査 1 区の井戸からの出土が多い。漆製品は黒色漆、赤色漆ともに未同定である。詳細な計測値は別表 7 に示した。

A 第 19 次調査出土木製品

1) 第 19 次調査 5 区東出土木製品

a 遺構出土木製品

Pit1 (図版 264、写真図版 309)

柱根 (1) が出土した。分割材の柱根で、底面は斜めに削られており、その加工痕が顕著に残る。

b 包含層出土木製品 (図版 264・265、写真図版 309)

杭状木製品 (2)・礎板 (3)・柱根 (4) を図化した。2 は中央付近に四角く切り込まれたような加工痕があり、下端が先鋭する。3 の側部は平坦に加工されている。4 は分割材の柱根で、底面は V 字状に加工されている。

c 工事立会出土木製品 (図版 265・266、写真図版 309)

柱根 (5・6)、部材 (7・8) を図化した。柱根 5 は複数の面が作られており断面形が不整六角形状になる。6 は芯持ち丸太材で、底面は V 字状に加工されている。部材 7 は半割材で底面は斜断されている。8 は断面が隅丸の三角形状で、底面は平坦になるが縁辺部は加工されている。

B 第 22 次調査 1 区出土木製品

SE201 (図版 267、写真図版 310)

箸状木製品 (9・10)、部材 (11) を図化した。9・10 はともに断面が六角形で、10 は上端が欠損する。11 は分割材である。

SE375 (図版 267、写真図版 310)

漆器皿 (12)・草履芯 (13)・箸状木製品 (14)・棒状木製品 (15) を図化した。12 は高台が付かない漆器皿である。総黒色漆であるが、底部外面は漆が剥落し木地が出ている。草履芯 13 は上方に 1 箇所穿孔が見られる。藁等の植物の付着は見られなかった。箸状木製品 14 は断面が六角形である。棒状木製品 15 は分断されているが同一個体と考え、a・b・c の枝番を付した。端部は一方のみ残存しており、突端は先鋭して丸みを帯びる。一部

に炭化が見られる。断面は円形であるが、側面の一部は加工され面を持つ。また、三角形に抉り取られたような加工痕が数箇所観察される。

SE385 (図版 267、写真図版 310)

板状木製品 (16)、箸状木製品 (17・18) を図化した。16 は細長い板状で、数箇所に穿孔されている。箸状木製品 17・18 の断面形は 17 が四角形、18 が六角形である。

SE415 (図版 267、写真図版 310)

箸状木製品 (19～26)・棒状木製品 (27)・草履芯 (28) を図化した。箸状木製品の断面形は 21・22・25・27 が四角形、19・23 が五角形、20・24・26 が六角形であった。27 は端部が平坦に加工されているため棒状木製品とした。断面は四角形である。草履芯 28 は表裏面とも草履の痕跡と思われる繊維が付着している。

SE429 (図版 268、写真図版 310・311)

板状木製品 (29～31) を図化した。29・30 は長方形で、短辺側が弧状に加工されている。中央付近の側部の片側に三角形の切り込みがあり、29 と 30 はこの切り込み部分同士が十字に組み合った状態で検出された。灯明皿を置く台であったと考えられる。31 は長方形の板状で、上方に 1 箇所穿孔されている。

SE500 (図版 268、写真図版 311)

木筒 (32)、漆製品 (33)、漆器椀 (34) が出土した。32 は長方形の材の上部に左右から切り込みを入れる付け札状の形態で、両面に文字が書かれている。33 は総黒色漆である。器壁が厚く、器と言うには浅過ぎるため、匙の受部である可能性も考えられる。34 は総黒色漆の椀で、高台の内側は露胎であるが、漆が剥落した可能性もある。

SE547 (図版 268、写真図版 311)

35 は折敷の一部とした。下端は欠損している。

SE565 (図版 269、写真図版 311)

36 は部材とした。分割材である。

SE573 (図版 269、写真図版 311)

箸状木製品 (37) が出土した。断面形は四角形で、両端は先鋭気味に加工し、端部は平坦面を持つ。

SE601 (図版 269～271、写真図版 311・312)

部材 (38～40・42)・板状木製品 (41・48)・曲物 (43)・杭状木製品 (44～47) を図化した。38 は棒状の形態で断面は長方形となる。下端は斜めに切断される。39 は断面がほぼ正方形で、下端は斜断した加工痕が顕著に残る。40 は板状、42 は分割材の部材である。板状木製品 41 は被熱して黒色に変色している。元の形状は円形に近いと推測され、線状痕が多数観察できる。48 は片側の側部に 2 箇所の刻みが入れている。曲物 43 は上部が欠損している。側板一重、下籬一重が残存しており、側板内面に上下方向のケビキが入る。側板の下部に数箇所の穿孔が見られるが、下籬には貫通していない。自然乾燥したため歪みが著しい。杭状木製品 44～47 は曲物 43 の側板の内側に沿ってほぼ等間隔で立てられていた。曲物を支えるための杭と想定される。45～47 の下端は斜めに削られる。

SE1406 (図版 271、写真図版 313)

棒状木製品 (49)・箸状木製品 (50・51)・部材 (52) を図化した。49 は側面の中央から長方形の孔を貫通させ、差し込み口を作っている。何らかの道具の柄であると推察される。箸状木製品 50 は四角形、51 は五角形の断面を持つ。52 は断面正方形の棒状部材で、上方にホゾ穴のような大きな切り込みがある。

SE1536 (図版 271、写真図版 313)

木筒 (53)・棒状木製品 (54～56)・箸状木製品 (57・58) を図化した。木筒 53 は長方形の材で下端は尖らせている。片面のみに文字が書かれているが、墨痕が薄く判然としない。棒状木製品 54～56 の下端は平坦に加工される。54 は断面形が六角形に近似し、55・56 の断面は方形であった。箸状木製品 57 の断面形は五角形、

58 は六角形である。

SE1593 (図版 272、写真図版 313)

箸状木製品 (59)・棒状木製品 (60)・杭状木製品 (61) を図化した。59 の断面形は四角形、60 は五角形である。60 は下端が平坦に加工される。61 は芯持ち材で断面は六角形、下端は先鋭する。加工痕が顕著に観察される。

SE1617 (図版 272、写真図版 313)

曲物側板(62)、漆器皿(63)・漆器椀(64～66)を図化した。62 は曲物側板の破片資料である。2 箇所穿孔され、内面には縦方向にケビキが入る。63 は高台の付かない総黒色漆の漆器皿で、内外面に塗布された漆の剥落が著しい。漆器椀 64 も総黒色漆で、内面見込みと体部外面に赤色漆絵が描かれる。内外面の漆絵は同じ図柄で、亀甲内に四角が上下に二つずつ並ぶ文様が連続している。65 は内赤外黒色漆である。外面には牛車の車輪に似た文様が赤色漆絵で施されている。66 は総黒色漆で高台内面も漆が塗布される。体部内面は木地の挽き目が明瞭に残る。

SE1770 (図版 272、写真図版 314)

箸状木製品 (67) 1 点が出土した。断面形は五角形である。

SE1774 (図版 272・273、写真図版 314)

漆器椀 (68)・板状木製品 (69～71)・部材 (72) を図化した。68 は総黒色漆の漆器椀である。板状木製品 69 は一角が欠損しているが元はほぼ正方形の板材と推測され、菱形の切れ目が入られている。70 は短辺端部が斜めに調整される。71 は中央付近に 1 箇所穿孔され、端部も面取りされている。70・71 は折敷の可能性がある。72 は分割材で、下端は平坦である。

SD108 (図版 273、写真図版 314)

円板 (73) 1 点が出土した。半円状で、端部は平坦に加工されている。

Pit140 (図版 273、写真図版 314)

柱根 (74) が出土した。分割材で、腐食しているが元の断面形は方形と推定される。

Pit595 (図版 273、写真図版 314)

柱根 (75) が出土した。分割材で、表面に線状の加工痕が観察される。

Pit732 (図版 273、写真図版 314)

柱根 (76) が出土した。分割材で、下端付近のみ残存している。

Pit742 (図版 274、写真図版 314)

柱根 (77・78) が出土した。77 は分割材で、断面形は半円形である。下端縁辺は先端を尖らせるよう加工した痕跡が見られる。78 も分割材で下端は斜めに加工されている。

Pit997 (図版 274、写真図版 314)

柱根 (79) が出土した。分割材で、下端は杭状に先鋭し端部は平坦面を作る。

Pit1086 (図版 274、写真図版 314)

柱根 (80) が出土した。腐食して元の形状は不明瞭であるが、下端は先鋭するよう加工していると推察される。

Pit1106 (図版 275、写真図版 314)

柱根 (81) が出土した。分割材で、下端は平坦に加工される。

Pit1131 (図版 275、写真図版 314)

柱根 (82) が出土した。分割材である。

Pit1171 (図版 275、写真図版 314)

柱根 (83) が出土した。分割材であるが腐食が著しく、板状になっている。

Pit1295 (図版 275、写真図版 314)

出土状況により 84 は柱根とした。分割材である。

Pit1451 (図版 275、写真図版 314)

柱根 (85) が出土した。分割材である。断面形は三角形で、下端はV字状に加工される。

Pit1471 (図版 275、写真図版 314)

柱根 (86) が出土した。分割材で、下端は斜めに切断される。

Pit1532 (図版 276、写真図版 315)

柱根 (87) が出土した。分割材で、残存部分の断面形は方形である。下端は平坦に加工される。2箇所穿孔が確認された。

Pit1650 (図版 276、写真図版 315)

出土状況により 88 は柱根とした。分割材である。

Pit1693 (図版 276、写真図版 315)

柱根 (89) が出土した。分割材で、断面は長方形である。下端は平坦に加工される。

Pit1704 (図版 276、写真図版 315)

柱根 (90) が出土した。分割材で、下端はV字に加工されており、その加工痕が観察される。

C 第24次調査出土木製品

1) 第24次2区東出土木製品

SE12 (図版 277、写真図版 315)

漆器椀 (91)・漆製品 (92・93)・箸状木製品 (94) を図化した。91 は総黒色漆で高台内も漆が塗布される。92 は 33 同様、厚い器壁を持ち、器としては浅いと思われるため、匙や柄杓の受部である可能性が考えられる。93 は棒状の漆製品で、黒色漆が塗布される。先端は屈曲し端部は面を持つ。92 が接合する可能性が考えられ、匙や柄杓の柄の部分であると推察される。箸状木製品 94 の断面は三角形であった。

SE20 (図版 277、写真図版 315)

円板 (95) を図化した。半円が残存しており、側面は平坦に加工されている。

SE77 (図版 277、写真図版 315)

箸状木製品 (96) を図化した。断面形は四角形である。

SE162 (図版 277、写真図版 315)

円板 (97) が出土した。半円状で下端を直線状に切断している。片面にはススが付着し、2箇所に綴じ皮が確認される。

2) 第24次2区西出土木製品

SE226 (図版 277、写真図版 315)

棒状木製品 (98～100)・箸状木製品 (101) を図化した。98・99 は断面が楕円形で、100 は細長い板状であった。下端は欠損しているが、上端はいずれも丸く加工されている。箸状木製品 101 の断面形は五角形であった。

SE230 (図版 277、写真図版 315)

箸状木製品 (102～110)・棒状木製品 (111・112・115)・部材 (113・114)・板状木製品 (116) を図化した。箸状木製品の断面は 103・104・108 が四角形、102・105～107・109 は六角形、110 は七角形であった。104 は先端が先鋭とならず、平坦に調整されている。111 は表面を加工し面を持たせている。下端はやや窄まり、先端は平坦となっている。112・113・115 は断面四角形で、113 は下端を平坦に加工する。114 は腐食が著しいが、残存部の断面は方形になる。116 は両端がV字形になる板状木製品である。

SE234 (図版 278、写真図版 316)

部材 (117・118)・折敷 (119)・板状木製品 (120・121) が出土した。部材 117・118 は腐食が著しいが、いずれも断面形はほぼ方形で、下端は平坦になる。118 は端部が炭化している。折敷 119 は側面が丸みを帯びて

おり、穿孔が1箇所確認される。120・121も腐食が著しいが、長方形の板状の木製品であろう。120には1箇所、穿孔が確認される。

SE301 (図版 279、写真図版 316)

円板 (122) が出土した。半円形で、直線側が厚い。

SE400 (図版 279、写真図版 316・317)

草履芯 (123)・櫛 (124)・箸状木製品 (125)・曲物 (126) を図化した。草履芯 123 は上端が残存している。繊維は確認できなかった。櫛 124 は全面に黒色漆が塗布されている。背は弓形で肩部はほぼ直角に屈曲する。櫛の歯は5分の1程度が先端まで残っていた。箸状木製品 125 は断面が四角形であった。曲物 126 は側板一重・上籬一重・下籬一重構造で、側板内面に上下方向のケビキを入れる。側板・下籬を貫通する穴が下部に22箇所開いており、内5箇所木釘が残存している。下籬のはキメカキがあり、綴じ皮を返し縫いしている。側板の推定径は35.5cm、高さは18.9cmを測る。樹種同定の結果、スギと判明した。

SE499 (図版 280、写真図版 317)

箸状木製品 (127～135) を図化した。断面形は128・132・134・135が四角形、131が五角形、127・129・130・133が六角形である。

Pit296 (図版 280、写真図版 317)

柱根 (136) が出土した。分割材を角材にし、下端はV字状に加工されている。

3) 第24次調査4区出土木製品

Pit4 (図版 280、写真図版 317)

柱根 (137) が出土した。分割材で、断面形は半円形に近い。下端は緩やかに先鋭する。

Pit5 (図版 281、写真図版 317)

柱根 (138) が出土した。広葉樹の分割材であるが、腐食が著しい。下端は斜めに削られる。

D 満日地区ほ場整備北地区確認調査

493T (図版 281、写真図版 317)

柱根 (139) を図化した。分割材で断面形は円形に近い。下端は平坦に加工されている。

第5節 金属製品・銭貨 (図版 282、写真図版 318)

第22次調査では106点、1,065gの金属製品が出土した。このうち遺存状態が比較的良好なものについて14点を図化した。また、第24次調査の銭貨2点を図化し、計16点の詳細な計測値を別表8に示した。このほかに第22次調査では鍛冶関連遺物として191点、4,264gの鍛冶滓が確認されている。出土重量分布図を第11・12図に示した。第24次調査の金属製品については鍛冶工房跡と推定される遺構とそれに伴う鍛冶関連遺物が多く検出されたため、鍛冶関連遺物と合わせて第6節で別途検討する。

A 第22次調査出土金属製品

1) 第22次1区出土金属製品

a 遺構出土金属製品

SE201 (1～3)

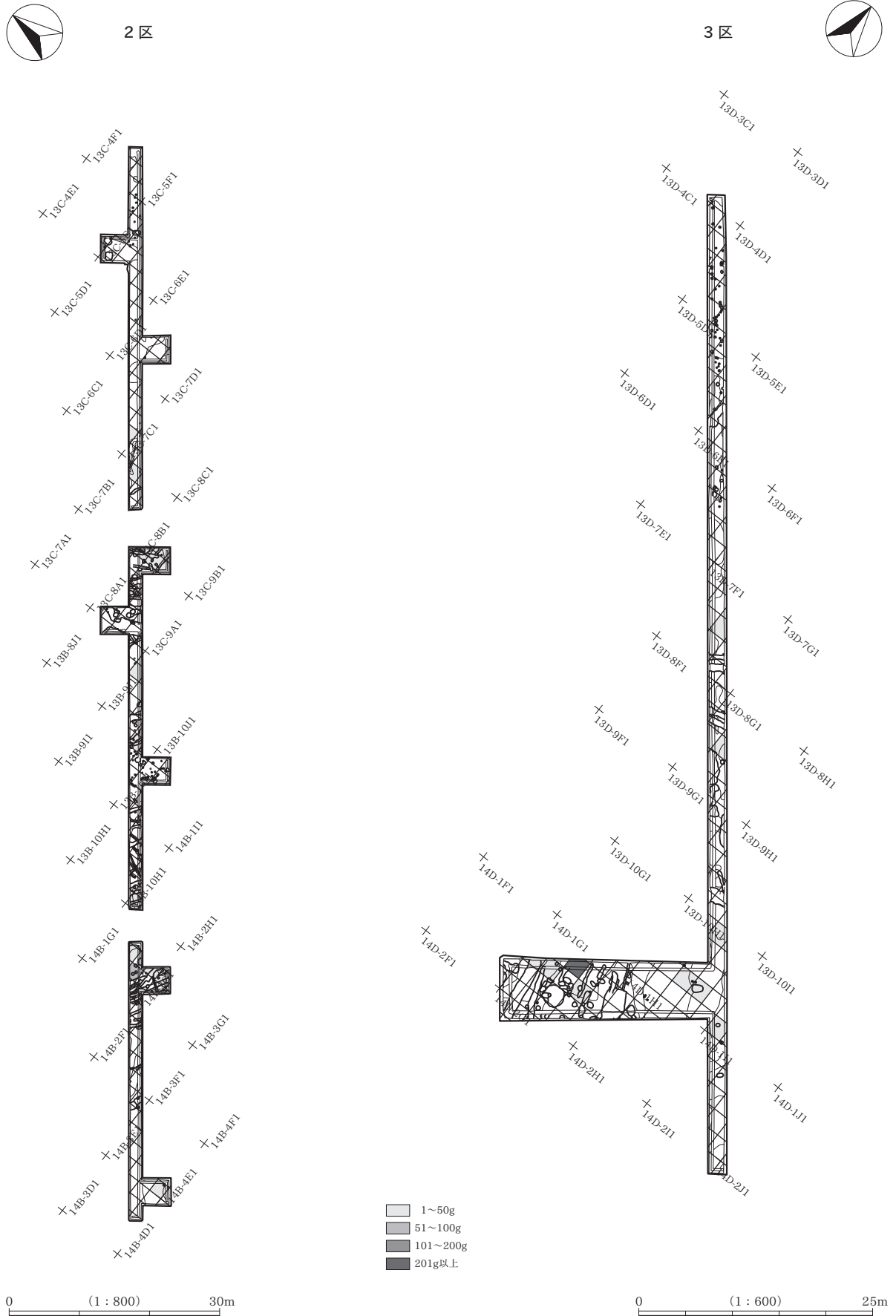
釘 (1)、板状不明金属製品 (2・3) を図化した。釘 1 は断面が方形で緩やかに折れ曲がっている。外面は酸化土砂に覆われているが、完形と推定される。2・3は板状の金属製品で、2は透過X線像を見るとM字状に折れ曲がって固着している。3は両端が欠損している。



1区



第11図 第22次調査1区鍛冶関連遺物出土重量分布図 (S=1/600)



第 12 図 第 22 次調査 2 区・3 区鍛冶関連遺物出土重量分布図 (S=1/600・1/800)

SE385 (4)

棒状不明金属製品(4)が出土した。一端が欠損しており、もう一端は緩やかに屈曲する。形状から鋸である可能性も考えられる。

SE565 (5)

5は幅が広いが厚みもあるため、棒状とした。両端が欠損する。断面は細い楕円状となる。

SE500 (6)

6は刃部の一部と茎尻の端部が欠損した刀子である。平棟造りで、刃部の関は欠損しているが、両関式と推定される。径4mmほどの目釘穴がある。

SE1617 (7)

7は木製の柄がほぼ完全に残る刀子である。平棟造り・両関式で、切先をわずかに欠損するほかは、ほぼ完形でSE1617の底面から出土した。刀身基部あたりまで柄が装着しており、茎先が柄の3分の2まで達している。茎・柄ともに目釘穴が見られるが直線上には並ばず、ずれが生じている。柄は後方半分が被熱し炭化している。

SX2017 (8)

8は釘の足部破片で、頭部は欠損している。断面は方形で、足部の先端は鋭く尖る。

Pit1814 (9)

9はU字形の刃先を持つ鉄製の鋏先である。厚い酸化土砂に覆われているため、装着痕などの詳細は不明である。

b 包含層出土金属製品 (10～13)

10・11はともに刀子刃部の破片資料で、露出する断面から平棟造りと推定される。12は釘の足部破片である。頭部は欠損しており、断面形は方形であった。13は鎌である。基部は細く、刃先に向かって広がる形態である。緩やかに湾曲しており、刃先と基部が欠損している。

2) 第22次3区出土金属製品

SX71 (14)

14は刀子の刃部の破片資料である。左右の側部には細い三角形の断面形が露出しており、平棟造りと推定される。

B 第24次調査出土銭貨 (15・16)

2点出土しており、すべて図化した。15は第24次調査2区西SD143から出土した。4枚が固着した銭貨である。表面は錆による腐食が進んでおり、銭名は判読できない。16は第24次調査2区西包含層から出土した銭貨で、3枚が固着している。表面の右側に「通」の字がかるうじて判読できるが、そのほかは欠損して不明であった。

第6節 第24次調査 鍛冶関連遺物 (図版283～290、写真図版319～322)

第24次調査では2区から多くの鍛冶関連遺物が出土した。特に2区西では鍛冶に関わると推定される遺構も複数検出した。これまでの沖ノ羽遺跡の調査では、羽口や鉄滓類などの鍛冶関連遺物は確認されているが、いずれも散発的な出土であった。今回の調査では鍛冶関連遺物が遺構を伴って出土していることから、体系的整理・分析が必要と判断し、穴澤義功氏に指導を依頼した。

整理作業は穴澤氏指導のもと、以下の順で行った。記述は寺前遺跡〔高橋・穴澤ほか2008〕や立野大谷製鉄遺跡〔渡邊・坂上ほか2010〕を参考とした。

遺物の種別分類・計測 遺物は調査年度中に水洗と基礎的な分類まで終了していたが、検討にはさらに詳細な

分類が必要であったため、全遺物の細分類を行った。種別での分類のほか、遺存状態や重要度に応じた区分も行った。分類した遺物には属性を記入したカード(個票)を個々に付した。属性としては、地区名、遺構名、重量、メタル度、遺物名等である。このうちメタル度は埋蔵文化財専用に整準された小型特殊金属探知機(MR50-B)を使用した、反応感知度による分類である。H(○)→M(◎)→L(●)の順に反応感度が低くなり、その順に残留金属は大きくなる。「錆化(△)」は磁着するが金属探知機の反応なしで、金属鉄が錆化したものである。「なし」は最初から金属鉄がないものとした。

構成図の作成・一般観察表の作成 すべての遺物を分類後、典型的な遺物や重要な遺物を抽出し、遺構・種別ごとに配置した「構成図」を作成した(第14～16図)。2区東から40点、2区西から106点の計146点を抽出し、これを報告書掲載遺物とした。これら抽出遺物については磁着度を測定した。磁着度とは鉄滓等を効率的に分類・判別するための簡易的な方法で、「標準磁石」を用いて計測する。糸で吊り下げた標準磁石に資料を順次接近させ、磁石が動き始める距離単位(1単位6mm)を読み取り、数値化したものである。値が大きいかほど磁着性が強いことを意味する。分析資料以外の掲載遺物については一般観察表(第4表)を作成し、実測を行った。観察表には各種計測値のほか、個々の遺物についての簡単な観察所見を示している。

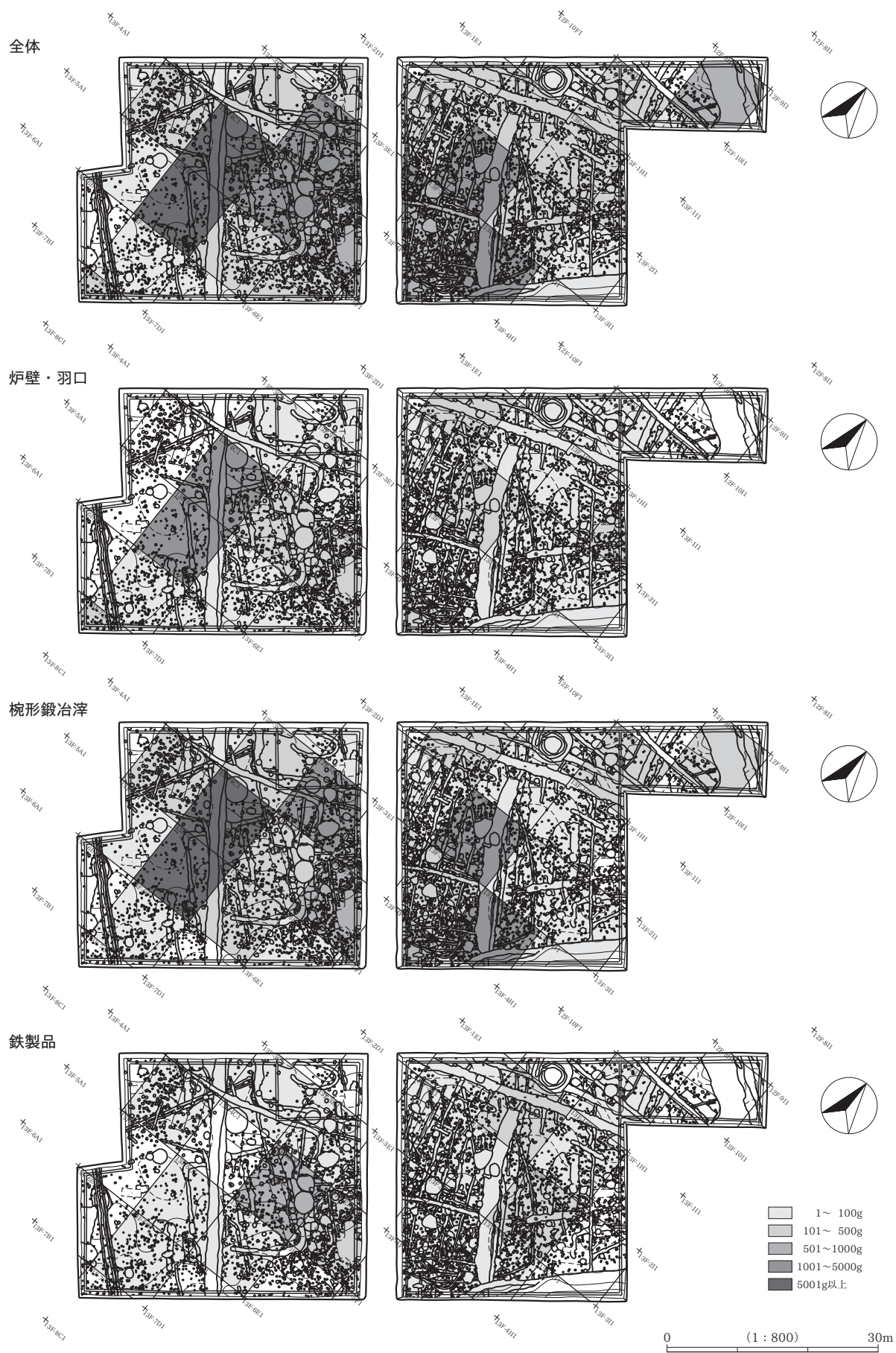
金属学的分析資料の選択・詳細観察表の作成 抽出した遺物のなかで特に重要度が高いものを金属学的分析の対象として2区東から4点、2区西から11点の計15点を選定し、第5表に示した。これら分析資料については観察所見や分析項目等を記した詳細観察表(第6表)を作成し、実測を行った。第17図は分析する際の切断分析位置を示したものである。分析は日鉄住金テクノロジー株式会社八幡事業所TACセンターに依頼した。分析結果は第VI章第1節に記す。

鍛冶関連遺物の出土傾向の検討 鍛冶関連遺物の重量をもとに大グリッド別の出土分布図を第13図に、遺構別の集計表を第3表に示した。なお、第24次調査2区では古代と中世の遺構・遺物が検出されており、鍛冶関連遺物もこの二時期に分かれると考えられるが、時期を特定するのは困難なため、全体を通した分布・集計値を示している。

鍛冶関連遺物は炉壁・羽口・椀形鍛冶滓・鍛冶滓・工具付着滓・流動滓・粘土質溶解物・粒状の滓・粒状滓・鍛造剥片・再結合滓・含鉄鉄滓・鉄塊系遺物・鉄製品・金床石・木炭・炉床土・マグネタイト系遺物に分類した。炉壁と羽口は「鍛冶」に関する資料のみで、「製錬」関係の遺物は出土していない。椀形鍛冶滓はさらにサイズ別に特大・大・中・小・極小に分類した。また、鉄製品も鍛造品と鋳造品に分類した。このうち鋳造品は1点のみ確認されたが、本遺跡で生産されたものではなく、故鉄として持ち込まれたものと推定される。

鍛冶関連遺物の総出土量は57,160gであった。このうち最も多く出土した資料は椀形鍛冶滓で、重量比69.8%を占める。次いで羽口が12.6%、木炭が4.3%、炉壁が3.5%と続き、鍛冶滓・鉄製品(鍛造品)・金床石が2%台で、他は1%以下の比率であった。鍛冶関連遺物の8割以上を占める48,071gが2区西から出土した。

鍛冶関連遺物の全体分布を見ると、2区西13F-4C・5Cに集中することがわかる。特に13F-4Cで検出されたSK522からは全体量の4割を占める24,317gの鍛冶関連遺物が出土した。SK522はSB4の内側にあり、このSB4が鍛冶工房として機能していた可能性がある。一方、2区東では調査区全体で9,089gと出土量が少なく、多量の鍛冶関連遺物が出土するような遺構も確認されなかった。資料分布としては、調査区南東側と2区西に隣接する南西側で多く出土する。種類別の分布では、椀形鍛冶滓が2区西・東ともに多いのに対して、炉壁や羽口は2区西に多く分布している。鉄製品は2区西の東側13F-4D周辺で特に集中するようである。



第13図 第24次調査2区鍛冶関連遺物出土重量分布図 (S=1/800)

第3表 第24次調査 沖ノ羽遺跡鍛冶関連遺物集計表

| 区 | 種別 遺構 | 炉壁 (鍛冶炉) | 羽口 (鍛冶) | 碗形 鍛冶滓 | 鍛冶滓 | 工具 付着滓 | 流動滓 | 粘土質 溶解物 | 粒状の 滓 | 粒状滓 | 鍛造 剥片 | 再結合 滓 | 含鉄 鉄滓 | 鉄塊系 遺物 | 鉄製品 (鋳造品) | 鉄製品 (鍛造品) | 金床石 | 木炭 | 炉床土 | マグネタイト 系遺物 | 合計 (g) |
|-----|----------|-------------|------------|-----------|-----|-----------|-----|------------|----------|-----|----------|----------|----------|-----------|--------------|--------------|-----|----|-----|---------------|-----------|
| 2区東 | SE20 | 2 | | 14 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | 22 |
| 2区東 | SE65 | | | 75 | | | | | | | | | | | | | | | | | 75 |
| 2区東 | SE77 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| 2区東 | SE654 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 2区東 | SE835 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 2区東 | SK177 | 2 | | 14 | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | 19 |
| 2区東 | SK178 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| 2区東 | SK226 | | 6 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| 2区東 | SK227 | 30 | | 49 | 1 | | | 17 | | | | | | | | | | | | | 97 |
| 2区東 | SK356 | 2 | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 2区東 | SK357 | | | | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| 2区東 | SK402 | 15 | 35 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 53 |
| 2区東 | SK729 | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 2区東 | SK829 | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | | | | 8 |
| 2区東 | SK927 | | | | | | | | | | | | | | | 7 | | | | | 7 |
| 2区東 | SK937 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区東 | SK944 | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | | | | 5 |
| 2区東 | SX114 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区東 | SX392 | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区東 | SX640 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区東 | SX882 | | 115 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 115 |
| 2区東 | SX911 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 39 | | | | | 41 |
| 2区東 | SD14 | | 41 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 42 |
| 2区東 | SD15 | 4 | 11 | 34 | | | | | | | | | | | | 4 | | | | | 53 |
| 2区東 | SD78 | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 2区東 | SD98 | 181 | 35 | 2,439 | 33 | | | 5 | | | | | | | | 50 | | | | | 2,743 |
| 2区東 | SD127 | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 2区東 | SD128 | 2 | | 20 | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 24 |
| 2区東 | SD144 | | | 5 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 2区東 | SD156 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区東 | SD163 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 2区東 | SD184 | 5 | | | | | | | | | | | | | | 8 | | | | | 13 |
| 2区東 | SD190 | | | | | | | | | | | | | | | 6 | | | | | 6 |
| 2区東 | SD214 | 6 | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | 12 |
| 2区東 | SD225 | 1 | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 2区東 | SD344 | 1 | | | 2 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 2区東 | SD348 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区東 | SD358 | | | | | | | 11 | | | | | | | | | | | | | 11 |
| 2区東 | SD401 | 6 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 2区東 | SD404 | | | 17 | 7 | | | | | | | | | | | 11 | | | | | 35 |
| 2区東 | SD405 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区東 | SD406 | 3 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| 2区東 | SD422 | | | | | | | | | | | | | | | 55 | | | | | 55 |
| 2区東 | SD439 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 2区東 | SD470 | | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 2区東 | SD497 | | | | 4 | | | | | | | | | | | 3 | | | | | 7 |
| 2区東 | SD529 | | | 73 | | | | | | | | | | | | | | | | | 73 |
| 2区東 | SD539 | | 5 | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | 55 |
| 2区東 | SD635 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 2区東 | SD636 | 20 | 19 | 1,002 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1,042 |
| 2区東 | SD643 | | | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| 2区東 | SD647 | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | 3 |
| 2区東 | SD743 | | 2 | | | | | | | | | | | | | 244 | | | | | 246 |
| 2区東 | SD749 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 2区東 | SD905 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区東 | SD918 | | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 2区東 | SD930 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区東 | Pit132 | | | | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| 2区東 | Pit199 | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 2区東 | Pit257 | | | | | | | | | | | | | | | 10 | | | | | 10 |
| 2区東 | Pit287 | | | | | | | | | | | | | | | 20 | | | | | 20 |
| 2区東 | Pit291 | | 33 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 33 |
| 2区東 | Pit323 | | | | 5 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | 8 |
| 2区東 | Pit414 | | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| 2区東 | Pit452 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区東 | Pit453 | | | 83 | | | | | | | | | | | | | | | | | 83 |
| 2区東 | Pit466 | | | 28 | | | | | | | | | | | | | | | | | 28 |
| 2区東 | Pit480 | | | 138 | 3 | | | 7 | | | | | | | | | | | | | 148 |
| 2区東 | Pit492 | | | | | | | | | | | | | | | 44 | | | | | 44 |
| 2区東 | Pit502 | | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| 2区東 | Pit522 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区東 | Pit536 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 2区東 | Pit542 | | | | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | 12 |
| 2区東 | Pit561 | | | | | | | | | | | | | | | 9 | | | | | 9 |
| 2区東 | Pit573 | | 25 | 11 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | 39 |
| 2区東 | Pit577 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区東 | Pit582 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区東 | Pit584 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区東 | Pit588 | | | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| 2区東 | Pit669 | | | 45 | | | | | | | | | | | | | | | | | 45 |
| 2区東 | Pit670 | | | | | | | | | | | | | | | 12 | | | | | 12 |
| 2区東 | Pit689 | | | | | | | 7 | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 2区東 | Pit804 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区東 | 包含層 | 160 | 300 | 2,637 | 141 | | | 51 | | | | | | | 14 | 5 | 240 | | | | 3,548 |
| 2区東 | 合計 (g) | 487 | 606 | 6,767 | 286 | | | 144 | | | | | | | 14 | 5 | 780 | | | | 9,089 |

第6節 第24次調査 鍛冶関連遺物

| 区 | 種別 遺構 | 炉壁 (鍛冶炉) | 羽口 (鍛冶) | 碗形 鍛冶滓 | 鍛冶滓 | 工具 付着滓 | 流動滓 | 粘土質 溶解物 | 粒状の 滓 | 粒状滓 | 鍛造 剥片 | 再結合 滓 | 含鉄 鉄滓 | 鉄塊系 遺物 | 鉄製品 (鋳造品) | 鉄製品 (鍛造品) | 金床石 | 木炭 | 炉床土 | マグネタイト 系遺物 | 合計 (g) |
|-----|----------|-------------|------------|-----------|-------|-----------|-----|------------|----------|-----|----------|----------|----------|-----------|--------------|--------------|-------|-------|-----|---------------|-----------|
| 2区西 | SE4 | | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| 2区西 | SE9 | | 27 | 241 | 8 | | | 15 | | | | | | | | 225 | | | | | 516 |
| 2区西 | SE39 | | 15 | 49 | | | | | | | | | | | | 14 | | | | | 78 |
| 2区西 | SE63 | | 5 | 139 | | | | | | | | | | | | | | | | | 144 |
| 2区西 | SE86 | | | 275 | | | | | | | | | | | | | | | | | 275 |
| 2区西 | SE187 | 9 | | 177 | | | | | | | | | | | | | | | | | 186 |
| 2区西 | SE226 | 7 | | 70 | | | | | | | | | | | | | | | | | 77 |
| 2区西 | SE230 | 14 | | 380 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 396 |
| 2区西 | SE234 | 3 | | 112 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 117 |
| 2区西 | SE298 | | 45 | 96 | | | | | | | | | | | | | | | | | 141 |
| 2区西 | SE301 | | | 88 | | | | | | | | | | | | | | | | | 88 |
| 2区西 | SE431 | | 5 | 9 | 2 | | | 5 | | | | | | | | | | | | | 21 |
| 2区西 | SE433 | | 2 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| 2区西 | SE444 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 2区西 | SE499 | 19 | | 37 | 1 | | | | | | | | | | | 8 | | | | | 65 |
| 2区西 | SE547 | | | 79 | | | | | | | | | | | | | | | | | 79 |
| 2区西 | SK89 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区西 | SK90 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 2区西 | SK124 | 16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| 2区西 | SK151 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区西 | SK152 | | | 77 | | | | | | | | | | | | | | | | | 77 |
| 2区西 | SK173 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区西 | SK199 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区西 | SK207 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区西 | SK228 | | | | | | | | | | | | | | | 63 | | | | | 63 |
| 2区西 | SK248 | 1 | | 19 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 22 |
| 2区西 | SK308 | | | 51 | | | | | | | | | | | | | | | | | 51 |
| 2区西 | SK310 | | | | | | | | | | | | | 8 | | | | | | | 8 |
| 2区西 | SK311 | | 7 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| 2区西 | SK319 | | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| 2区西 | SK351 | | 1 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区西 | SK474 | | | | | | | | | | | | | | | | 1,329 | | | | 1,329 |
| 2区西 | SK522 | 862 | 3,062 | 17,256 | 912 | 46 | 9 | 202 | 9 | 20 | 122 | 305 | 240 | 35 | | | 1,176 | 4 | 2 | 55 | 24,317 |
| 2区西 | SK565 | | | | | | | | | | | | | | | | | 86 | | | 86 |
| 2区西 | SK628 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区西 | SK679 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 2 |
| 2区西 | SX11 | | | | | | | | | | | | | | | 24 | | | | | 24 |
| 2区西 | SX352 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区西 | SX445 | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | | | 4 |
| 2区西 | SX446 | | | 82 | | | | | | | | | | | | | | | | | 82 |
| 2区西 | SX634 | | | | | | | | | | | | | | | | | 14 | | | 14 |
| 2区西 | SD3 | | | 95 | | | | | | | | | | | | 12 | | | | | 107 |
| 2区西 | SD54 | 74 | 3,017 | 2,532 | 25 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 5,649 |
| 2区西 | SD65 | 2 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 2区西 | SD143 | | 82 | 2,966 | 26 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 3,075 |
| 2区西 | SD198 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区西 | SD246 | | | 74 | | | | | | | | | | | | | | | | | 74 |
| 2区西 | SD309 | | | 216 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 217 |
| 2区西 | SD358 | | | | 18 | | | 4 | | | | | | | | | | | | | 22 |
| 2区西 | SD359 | 13 | | 59 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 74 |
| 2区西 | SD420 | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | | | 11 |
| 2区西 | SD422 | 78 | | 1,682 | | | | 21 | | | | | | | | 17 | | | | | 1,798 |
| 2区西 | SD483 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | 272 | | | 274 |
| 2区西 | SD564 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区西 | SD572 | | | 35 | | | | | | | | | | | | | | | | | 35 |
| 2区西 | SD631 | | | | | | | 7 | | | | | | | | 5 | | | | | 12 |
| 2区西 | SD632 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区西 | Pit25 | | | | 16 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| 2区西 | Pit205 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区西 | Pit235 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区西 | Pit272 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| 2区西 | Pit316 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区西 | Pit437 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区西 | Pit441 | | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 2区西 | Pit487 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2区西 | Pit505 | | | | | | | | | | | | | | | 13 | | | | | 13 |
| 2区西 | Pit528 | | | 552 | | | | | | | | | | | | | | | | | 552 |
| 2区西 | Pit605 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 2区西 | Pit659 | | | | | | | | | | | | | | | | | 75 | | | 75 |
| 2区西 | Pit683 | | | | | | | | | | | | | | | | | 717 | | | 717 |
| 2区西 | 包含層 | 451 | 337 | 5,716 | 29 | | | 29 | | | | | | | 418 | | | | | | 6,980 |
| 2区西 | 合計 (g) | 1,558 | 6,635 | 33,171 | 1,071 | 46 | 9 | 296 | 9 | 20 | 122 | 305 | 240 | 43 | 803 | 1,176 | 2,510 | | 2 | 55 | 48,071 |
| 2区 | 総計 (g) | 2,045 | 7,241 | 39,938 | 1,357 | 46 | 9 | 440 | 9 | 20 | 122 | 305 | 240 | 57 | 5 | 1,583 | 1,176 | 2,510 | 2 | 55 | 57,160 |

| 2 区西 SK522 | | | | | | | | | | |
|---------------------|-------------------------------|---------------------|----------------------|-----------------------------|-------------------------|---------------------------|-----------------------|---------------|----------------|-----------|
| 炉壁 (鍛冶炉・溶付き・鍛造剥片付き) | 羽口 (鍛冶・体部) | 椭圆形鍛冶滓 (大・含鉄・再結合) | 椭圆形鍛冶滓 (中・工具取付き) | 椭圆形鍛冶滓 (中・含鉄・鍛造剥片付き) | H (○) | 椭圆形鍛冶滓 (中・含鉄) | H (○) | 椭圆形鍛冶滓 (小・含鉄) | 椭圆形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 流动滓 (鍛冶系) |
| 51 分析 No.6 | 55 | 63 | 67 | 71 | 75 | 79 | 83 | 87 | 92 | |
| 炉壁 (鍛冶炉・含鉄・鍛冶滓付き) | 羽口 (鍛冶先端部~体部・ガラス質滓付き・滓付き) | 椭圆形鍛冶滓 (大・含鉄・工具取付き) | 椭圆形鍛冶滓 (中・重層) | 椭圆形鍛冶滓 (中・含鉄・鍛造剥片付き・再結合滓付き) | 椭圆形鍛冶滓 (中・含鉄) | 椭圆形鍛冶滓 (極小・鍛造剥片付き) | 椭圆形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 工具付着滓 | 93 | |
| 52 | 56 | 64 | 68 | 72 | 76 | 80 | 84 | 88 | | 粘土質溶解物 |
| 炉壁 (鍛冶炉・ガラス質滓付き) | 椭圆形鍛冶滓 (特大・含鉄・重層・伊床土付き・工具取付き) | H (○) | 椭圆形鍛冶滓 (中・重層・鍛造剥片付き) | 椭圆形鍛冶滓 (中・含鉄・鍛造剥片付き) | 椭圆形鍛冶滓 (中・含鉄) | 椭圆形鍛冶滓 (極小・工具取付き・鍛造剥片付き) | 椭圆形鍛冶滓 (命床石付着滓・工具取付き) | 89 | 94 | |
| 53 | 57 | 61 | 69 | 73 | 77 | 81 | 85 | 90 | | 粒状滓 (一拵) |
| 羽口 (鍛冶・先端部~体部) | 椭圆形鍛冶滓 (特大・含鉄・重層・伊床土付き) | H (○) | 椭圆形鍛冶滓 (中・含鉄・伊床土付き) | 椭圆形鍛冶滓 (中・含鉄・工具取付き・鍛冶滓付着) | 椭圆形鍛冶滓 (小・工具取付き・鍛造剥片付き) | 椭圆形鍛冶滓 (極小・再結合滓付き・鍛造剥片付き) | 椭圆形鍛冶滓 | 91 | 95 | |
| 54 分析 No.7 | 58 | 62 | 70 | 74 | 78 | 82 | 86 | 91 | 96 | |
| 羽口 (鍛冶・先端部~体部) | H (○) | 椭圆形鍛冶滓 (中) | 椭圆形鍛冶滓 (中・含鉄・伊床土付き) | 椭圆形鍛冶滓 (中・含鉄) | 椭圆形鍛冶滓 (小・工具取付き・鍛造剥片付き) | 椭圆形鍛冶滓 (極小・再結合滓付き・鍛造剥片付き) | 椭圆形鍛冶滓 | 分析 No.10 | 分析 No.11 | |
| 分析 | 1 (No.8) | | | | 1 (No.9) | 1 (No.10) | | | 1 (No.11) | |
| (No.6) 2 (No.7) | | | | | | | | | | |

第15図 第24次調査 鍛冶関連遺物構成図 (2)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|--------------------|----------------|--------------|--------------------|-----------|-----------|-----------------|------------|--------------|----------------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|-----------|--------------------------|--------------------|---------------------|-----------|------------|----------------------|--------------------------|-------------------|-----|----------------------|
| 2区西 SK522 | 鍛造剥片(一拵) | 羽口(鍛冶・体部・外面・マキ裏付き) | 金床石(線熱・鍛造剥片付き) | 2区西 SK679 | 木炭(一拵) | 再結合滓 | 97 | 2区西 SD358 | 粘土質溶解物 | 2区西 PI528 | 梃形鍛冶滓(特大・含鉄) | 如壁(鍛冶和・ガラス質滓付き) | 梃形鍛冶滓(中・和床土付き・羽口頭部付き) | 鐵製品(鍛造品) 刀子(刃部~基部) | 鐵製品(鍛造品) 鎌(刃部) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分析 No.12 | 98 | 101 | 105 | 2区西 SK679 | 羽口(鍛冶・体部) | 102 | 106 | 2区西 SD3 | 鐵製品(鍛造品) 鎌 | L(●) | 103 | 分析No.13 | 2区西 SD54 | 羽口(鍛冶・先端部~体部・ガラス質滓付き) | 104 | 108 | 112 | 116 | 120 | 2区西 PI25 | 鍛冶滓(含鉄) | 2区西 包合層 | 如壁(鍛冶和・滓付き・鍛造剥片付き) | 132 | 136 | 141 | 鐵製品(鍛造品) 刀子(刃部) | 鐵製品(鍛造品) 棒状不明(体部) | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 109 | 113 | 117 |
| 再結合滓 | 99 | 109 | 113 | 2区西 SD143 | 梃形鍛冶滓(特大・含鉄・重層) | H(O) | 110 | 梃形鍛冶滓(特大・含鉄・重層) | H(O) | 111 | 115 | 分析No.15 | 2区西 SD246 | 梃形鍛冶滓(微小・含鉄・工具裏付き) | 112 | 116 | 122 | 124 | 128 | 2区西 SD631 | 粘土質溶解物 | 2区西 SX634 | 木炭(一拵) | 梃形鍛冶滓(特大・含鉄・鍛造剥片付き) | H(O) | 134 | 138 | 鐵製品(鍛造品) 袋状 鎌(先端部先端部火落か) | L(●) | 143 | 鐵製品(鍛造品) 釘状不明(体部~足部) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 含鉄鉄滓 | 100 | 111 | 115 | 2区西 SD246 | 梃形鍛冶滓(微小・含鉄・工具裏付き) | H(O) | 114 | 梃形鍛冶滓(微小・含鉄・重層) | H(O) | 119 | 梃形鍛冶滓(大・含鉄・如床土付き・重層) | 2区西 PI25 | 鍛冶滓(含鉄) | 2区西 包合層 | 如壁(鍛冶和・滓付き・鍛造剥片付き) | 123 | 127 | 131 | 135 | 2区西 SX634 | 木炭(一拵) | 梃形鍛冶滓(特大・含鉄・如床土付き・工具裏付き) | H(O) | 135 | 139 | 2区東 包合層 | 鐵製品(鍛造品) 棒状不明(体部~足部) | 140 | 鐵製品(鍛造品) 棒状不明(体部) | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 123 | 127 |
| 分析 | 1 (No.12) | 1 (No.13) | 1 (No.14) | 1 (No.15) | 1 (No.16) | 1 (No.17) | 1 (No.18) | 1 (No.19) | 1 (No.20) | 1 (No.21) | 1 (No.22) | 1 (No.23) | 1 (No.24) | 1 (No.25) | 1 (No.26) | 1 (No.27) | 1 (No.28) | 1 (No.29) | 1 (No.30) | 1 (No.31) | 1 (No.32) | 1 (No.33) | 1 (No.34) | 1 (No.35) | 1 (No.36) | 1 (No.37) | 1 (No.38) | 1 (No.39) | 1 (No.40) | | |

第16図 第24次調査 鍛冶関連遺物構成図(3)

第4表 第24次調査 沖ノ羽遺跡鍛冶関連遺物観察表

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 構成 図 No. | 構成 No. | 遺物名 | 地区名 | | | 計測値 (mm) | | | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル度 | 備 考 |
|-----------|-----------------|----------------|-----------|----------------------------------|-----|-------|-----------|----------|-----|-----|-----------|---------|-------|--|
| | | | | | 区 | 遺 構 | グリッド | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 283 | 319 | 1 | 1 | 椀形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 2区東 | SE65 | 12F-10F22 | 52 | 63 | 30 | 75.0 | 4 | 錆化(△) | 平面、不整五角形をしたほぼ完形に近い極小の椀形鍛冶滓。左下手側の側部は小破面で、左側部上手側が弧状に窪んでいる。上面は中央部に向かい小高くなっており、下面は椀形に突出する。下面の一部に炉床土が固着し、外周部には木炭痕が残る。含鉄部は上半部寄りの芯部。 |
| 283 | 319 | 1 | 2 | 粘土質溶解物 | 2区東 | SK356 | 13F-3F14 | 26 | 22 | 17 | 3.0 | 1 | なし | ほぼ完形の粘土質溶解物。厚さは1.5cm程で、下面は平坦気味になっている。粘土質溶解物は小塊状に分かれており、全てが滓化・発泡した状態のまま一体化している。表皮は灰褐色から淡緑色の薄いガラス質。 |
| 283 | 319 | 1 | 3 | 鉄製品 (鍛造品) 刀子 (刃部) | 2区東 | SK927 | 13F-3F19 | 17 | 67 | 6 | 7.0 | 4 | 錆化(△) | 2片に別かれている刀子の刃部破片。表面は厚い酸化土砂に覆われており、左右の側部の破面には刃部の断面形が露出する。透過X線像によれば刀子片は切先部と茎部を欠いている。 |
| 283 | 319 | 1 | 4 | 羽口 (鍛冶・先端部～ 体部・未使用) | 2区東 | SX882 | 13F-1H12 | 70 | 151 | 40 | 115.0 | 1 | なし | 一見、土製支脚様の外観を持つ羽口破片。2片に割れて先端部側と基部側に分かれている。羽口としては未使用で、先端部側の熱変化も認められない。先端部はシャープなヘラケズリにより成形され、体部外面は長軸方向への乱雑なケズリにより成・整形されている。基部は雑な作りの平坦面で、土の圧痕が残されている。基部側の内面は乱雑な内ケズリによりややラッパ状に開く。胎土は多量の粉殻入りで密度は低め。本遺跡出土の他の羽口とは外観が大きく異なり、土製支脚の可能性もかなり残されている。 |
| 283 | 319 | 1 | 5 | 鉄製品 (鍛造品) 刀子? (刃部) | 2区東 | SD15 | 12F-10G23 | 16 | 25 | 6 | 4.0 | 4 | 錆化(△) | 上面に厚い酸化土砂が固着した刀子刃部様の鉄製品破片。左右の側部には芯部が中空化した細い三角形の刀子の断面形が露出する。透過X線像によれば錆化が進み、背側のみが1.5mm程の薄皮状に残されている。 |
| 283 | 319 | 1 | 6 | 鍛冶滓 (含鉄) | 2区東 | SD78 | 13F-1F9 | 23 | 16 | 16 | 5.0 | 3 | 錆化(△) | 表面が赤褐色の鉄酸化物に覆われたほぼ完形に近い含鉄の鍛冶滓。上面中央部は平坦気味で、側部は丸みを持った小塊状を示す。下面の中央部はやや突出して、左下手側に小破面が露出する。この破面には木炭痕が確認される。小さいながらも含鉄部は芯部に広く、もとは鉄塊系遺物であった可能性もあろう。表面の赤褐色は3価の鉄酸化物であろう。 |
| 283 | 319 | 1 | 7 | 炉壁 (鍛冶炉・ ガラス質滓付き) | 2区東 | SD98 | 13F-2F15 | 78 | 68 | 42 | 106.0 | 1 | なし | 内面が黒色ガラス質に滓化した鍛冶炉の炉壁破片。最大厚みは3.8cm程度を測り、左右の側部と下端部が破面になっている。平面形は僅かに弧状で、右側が薄く左側が厚い。外面は面をなす剥離面で、鍛冶炉の握り方に接していた可能性が強い。外面の縦断面形は弧状で、鍛冶炉の握り方の断面形を写している。内面寄りが分厚く発泡した炉壁破片で、肩部では内面側の2.5cm程の厚み部分がスポンジ状に発泡する。胎土は太さのまちまちなスサ入りで、左側部の破面中段には粘土単位に由来する隙間を生じている。内面は左上部の溶損が強く、羽口先の方向を示している。 |
| 283 | 319 | 1 | 8 | 羽口 (鍛冶・先端部) | 2区東 | SD98 | 13F-3G7 | 21 | 26 | 14 | 5.0 | 1 | なし | 細身の鍛冶羽口の先端部小破片。側部2面と体部側が破面で、内面には通風孔部壁面の一部が露出する。羽口正面から見て右側部中段の破片で、先端肩部が薄く黒色ガラス質滓化する。身厚の薄い羽口で、先端肩部では7mm程を測る。胎土は粉殻を少し混じえる粘土質。また、小礫も含まれている。 |
| 283 | 319 | 1 | 9 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄) | 2区東 | SD98 | 13F-2F20 | 152 | 144 | 117 | 2036.0 | 3 | 錆化(△) | 分析資料No.1。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 283 | 319 | 1 | 10 | 鉄製品 (鍛造品) 鎌?又は棒状不明 (体部～基部) | 2区東 | SD98 | 13F-2F25 | 62 | 17 | 16 | 18.0 | 5 | H (○) | 表面全体が厚い酸化土砂に覆われた鉄製品破片。外観的には棒状としか言えないが、透過X線像では長茎鎌の体部から基部にかけての破片と推定される。基部は長さ2cm程を測る短い三角形で、長茎の部分は途中で欠けて現状の長さ、3.4cmを測る。この部分は裾がスカート状に開き、四方闊の形となっている。 |
| 283 | 319 | 1 | 11 | 椀形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 2区東 | SD128 | 13F-1E24 | 35 | 24 | 26 | 20.0 | 3 | 錆化(△) | 鍛冶滓に似た外観を持つ極小の椀形鍛冶滓様資料。表面が分厚い酸化土砂に覆われており、上面右上手側には瘤状の突出部あり。右下手側の側部から下面には欠け様の窪みあり。全体観は上面が平坦気味で、側部から下面は細い舟底状に突出する。芯部に含鉄部が広がっている滓と推定されるが、酸化土砂に覆われた鉄製品の可能性も残されている。 |
| 283 | 319 | 1 | 12 | 鉄製品 (鍛造品) 釘? (体部～足部) | 2区東 | SD404 | 13F-3G18 | 44 | 15 | 6 | 11.0 | 4 | 錆化(△) | 2片に割れている釘の足部様破片。上手側は明瞭な破面で、厚い酸化土砂に覆われている。透過X線像には下手側に向かい徐々に幅の狭まる形の釘様の像を読み取れる。中間部分の破面には方形の断面が露出する (同一ポリ袋中にはさらにもう1片が含まれているがX線像がなく、同一個体かは不明)。 |
| 283 | 319 | 1 | 13 | 鉄製品 (鍛造品) 棒状不明 (5本・再結合) | 2区東 | SD422 | 13F-3E15 | 61 | 66 | 24 | 55.0 | 3 | 錆化(△) | 細身の鉄製品破片5本が不整な井下駄状に再結合した棒状不明品。表面は厚い酸化土砂に覆われて、複雑な形の塊状になっている。透過X線像によれば、身幅の異なる棒状の鉄製品破片が合体したもので、全般に錆化状態が似通っており、同一個体の鉄製品破片が再結合した資料の可能性があろう。製品は棒状で最も幅広い部分で1cmを測り、最も細い部分では5mm幅以下となる。その為、馬具ではないものと判断される。 |
| 283 | 319 | 1 | 14 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・重層) | 2区東 | SD636 | 13F-3G23 | 130 | 103 | 79 | 957.0 | 3 | 錆化(△) | 左側部が主破面になった特大の椀形鍛冶滓破片。破面は上面肩部から右側部上手側にも確認され、破面数は9を数える。重層気味の滓で下半の滓が下手寄りであるのに対し、上半の滓は上手側が主体になっている。また、これと呼应するように、右側部に残る破面は下半の滓部分である。上半の滓は中央部が流動気味で肩部が盛り上がっている。上手側の側部中段には上半の滓の重層に由来する隙間を生じている。右側部から見ると下半の滓自体がさらに2単位に分かれており、滓全体としては3単位の滓が重層して一体化した状態を示す。右寄りの側部から下面はやや深い椀形で、右下手側の側部には最初の滓部分が不規則に突出する。滓質は全体的に緻密ながら、滓単位の隙間や木炭痕により密度に変化あり。下面下手側の一部に炉床土とみられる灰色の固着土砂あり。含鉄の部分は上面の滓の表皮直下と推定される。 |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 構成 図 No. | 構成 No. | 遺物名 | 地区名 | | | 計測値 (mm) | | | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル度 | 備 考 |
|-----------|-----------------|----------------|-----------|--------------------------------------|-----|--------|----------|----------|-----|----|-----------|---------|-------|--|
| | | | | | 区 | 遺構 | グリッド | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 283 | 319 | 1 | 15 | 鉄製品 (鍛造品) 鎌 (左鎌) | 2区東 | SD743 | 13F-2G19 | 104 | 207 | 14 | 243.0 | 6 | 錆化(△) | 表面が分厚い酸化土砂に覆われた完形に近い左鎌。外観上は先端部の長さ4.5cm程の範囲が「への字状」に折れ曲がった形態を持ち、左端部は短く折り返されている。身幅は最大4cm程度と推定され、全長は約21cmを測る。外周部の酸化土砂ごと樹脂処理されている為、全体に一回り大きな外観になっている。透過X線像によれば、内部にヒビ割れが5箇所以上認められ、鎌全体の形状も外観とはやや異なっている。特に先端部側の違いが大きい。刃部側は使い減りにより外側に反る形になっている。その為、全体形状は緩やかに反り返った刀の破片のような形になる。ヒビ割れを中心に錆化が進み、透過X線像では錆化部分が抜け気味になっている。 |
| 283 | 319 | 1 | 16 | 鉄製品 (鍛造品) 鏝? | 2区東 | Pit561 | 13F-3F24 | 28 | 28 | 7 | 9.0 | 3 | 錆化(△) | 逆L字状または、T字状の形態を示す鉄製品破片。下手側の端部は明らかな破面で、上手側は左右方向に突出する。表面は酸化土砂に覆われ土砂中には鉄滓片も含まれている。透過X線像によれば上手側の端部が右方向に向かい折れ曲がっており、左側にはやや細い突出部が認められる。その為2本の鉄製品が再結合しているのか1本に対して付着しているのかが不明である。主体部分は逆L字状で、この部分を重視すれば鏝または折れ曲がった釘様である。下手側の横断面形は方形気味。 |
| 284 | 319 | 1 | 17 | 鉄製品 (鍛造品) 鎌? (刃部) | 2区東 | Pit670 | 13F-4G2 | 36 | 26 | 9 | 12.0 | 4 | 錆化(△) | 左側部に鎌の刃部様の断面形が露出する鉄製品破片。表裏面は厚い酸化土砂に覆われており、一見、椀形鍛冶滓様の外観を示す。また錆化も進んでおり、透過X線像でも鉄製品自体の形状が分かりにくい。左側部下手側が刃部先様に薄くなっており、身幅2.5cm以上を測る事から鎌の刃部破片と推定しておく。 |
| 284 | 319 | 1 | 18 | 粘土質溶解物 | 2区東 | Pit689 | 13F-3F9 | 39 | 23 | 22 | 7.0 | 1 | なし | 構成No.2を一廻り大きくした様な外観を示す完形の粘土質溶解物。粘土塊が発泡したような形態で、粘土単位の隙間に加えて左右の側部には木炭痕も確認される。上手側端部の小塊状の部分は熱変化が弱めで、下手側は流動化しつつある。下面は圧痕様。 |
| 284 | 319 | 1 | 19 | 炉壁 (鍛冶炉・吸炭・粘土 質溶解物なりかなり) | 2区東 | - | 13F-4F14 | 24 | 34 | 25 | 9.0 | 1 | なし | 鍛冶炉の炉壁破片が粘土質溶解物になりかけている資料である。側部はヒビ割れ由来の弱い熱変化を示し、上面から上手側の側部にかけては表層が発泡状態から流動しかけている。構成された他の粘土質溶解物の成因を理解しやすい資料である。本遺跡では鍛冶炉の炉壁胎土が熱変化しやすい事を読み取れる。 |
| 284 | 319 | 1 | 20 | 羽口 (鍛冶・先端部) | 2区東 | - | 13F-2F24 | 34 | 46 | 36 | 23.0 | 1 | なし | 細身の竹輪状の外観をもつ羽口先端部破片。3片に割れたものを接合している。残存部分は羽口の肩部から体部にかけての小範囲で、部位は羽口正面から見て左側部から頸部にかけての破片である。内面には径2.6cm前後を測る通風孔部を残し、身厚は最大1.1cm程度と薄い。胎土は緻密な粘土質で、明瞭な混和物は含まれていない。先端頸部には中間層に滓が生じており、粘土を巻きつける形の羽口先の成形か。 |
| 284 | 319 | 1 | 21 | 椀形鍛冶滓 (大・含鉄・工具痕付き) | 2区東 | - | 12F-9H24 | 98 | 127 | 57 | 486.0 | 6 | 錆化(△) | 分析資料No.2。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 284 | 319 | 1 | 22 | 椀形鍛冶滓 (小・含鉄) | 2区東 | - | 13F-4F4 | 65 | 54 | 45 | 162.0 | 3 | 錆化(△) | 左側部が破面になった小型の椀形鍛冶滓の完形品。上面は緩やかな波状で、側部の立ち上がりは急角度になっている。下面は下手側がやや突出する。小さいながらもまとまりのよい椀形鍛冶滓で、側部から下面は粉炭痕に覆われている。上手側の側部上半の一部は破面様。含鉄部は芯部にやや広め。 |
| 284 | 319 | 1 | 23 | 椀形鍛冶滓 (小・含鉄・工具痕付き) | 2区東 | - | 13F-3G22 | 70 | 84 | 35 | 196.0 | 3 | 錆化(△) | 分析資料No.3。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 284 | 319 | 1 | 24 | 椀形鍛冶滓 (小・含鉄・金床石付き) 又は鉄製品 (鋳造品) | 2区東 | - | 13F-3E4 | 75 | 81 | 62 | 163.0 | 3 | 錆化(△) | 含鉄の椀形鍛冶滓または鋳造品破片と金床石の表面破片が酸化土砂により再結合した資料である。上半部には薄板状の含鉄部があり、右上手側の側部には破面が露出する。この破面部分を重視すれば厚さ4mm程の鋳造品破片の可能性があり、右側部側が斜め上方に向かい立ち上がる。その為、鉄鑄の底部から体部にかけての破片を窺わせる。破面の結晶組織も厚み方向に発達しており、滓中の鉄部とは考えにくい。下面に再結合する金床石の破片には表皮の吸炭とハネが認められる。上半の鉄鑄破片が鍛冶原料かどうかは不明ながらその可能性は強そうである。 |
| 284 | 319 | 1 | 25 | 椀形鍛冶滓 (極小) | 2区東 | - | 13F-4F5 | 36 | 25 | 22 | 22.0 | 2 | なし | 平面、不整五角形をした完形の極小椀形鍛冶滓。上面は平坦気味で左側部は急角度に立ち上がる。残る側部3方も立ち上がりとしては傾斜が強く、各面ともにやや強い木炭痕が残されている。滓量の極めて少ない鍛冶工程に伴う椀形鍛冶滓であろうか。木炭痕は1cm大以下。 |
| 284 | 319 | 1 | 26 | 椀形鍛冶滓 (極小) | 2区東 | - | 13F-4F4 | 33 | 36 | 16 | 22.0 | 1 | なし | 前者と同様の完形の椀形鍛冶滓。扁平なボタン状の形態で、前者とは外観が大きく異なっている。上面は緩やかに盛り上がり、丸みを持った肩部から下面にかけてはやや乱れたベーゴマ状になっている。下面の突出部は炉壁土または羽口先由来の粘土質溶解物を噛み込んでいる。極めて小さいながらも椀形鍛冶滓の形態を示す資料である。 |
| 284 | 319 | 1 | 27 | 椀形鍛冶滓 (極小) | 2区東 | - | 13F-4G6 | 44 | 30 | 22 | 25.0 | 2 | なし | 前二者の要素を合わせた様な外観を持つ椀形鍛冶滓。上面はやや平坦気味で側部の立ち上がりが強めになる。表面には木炭痕が目立っており、特に側部から上面の木炭痕が目立つ。鍛冶工程の最終工程に伴う椀形鍛冶滓であろう。 |
| 284 | 319 | 1 | 28 | 椀形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 2区東 | - | 13F-3F6 | 58 | 42 | 20 | 52.0 | 3 | 錆化(△) | 分析資料No.4。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 284 | 319 | 1 | 29 | 椀形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 2区東 | - | 13F-3G21 | 45 | 29 | 16 | 22.0 | 6 | H (○) | 芯部全体が含鉄部になっている完形の椀形鍛冶滓。上面は平坦気味で、側部の立ち上がりはやや急角度。下面は短軸の両端部が突出する形になっている。表面は錆色の滲む酸化土砂に覆われており、全体に磁着が強い。 |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 構成 図 No. | 構成 No. | 遺物名 | 地区名 | | | 計測値 (mm) | | | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル度 | 備 考 |
|-----------|-----------------|----------------|-----------|----------------------------|-----|-------|----------|----------|-----|----|-----------|---------|-------|--|
| | | | | | 区 | 遺構 | グリッド | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 284 | 319 | 1 | 30 | 鉄塊系遺物 (含鉄) | 2区東 | — | 13F-3F13 | 16 | 18 | 17 | 6.0 | 3 | 錆化(△) | 左下手寄りの2面が新しい破面になった鉄塊系遺物破片。残る表面は放射割れの生じた酸化土砂に覆われており錆化も進む。破面にはキラキラした光沢を持つ含鉄部が顔を出しており、結晶方向が上下方向を示すことから、高炭素の鉄塊または鍛造品の破片を芯部を含む鉄塊系遺物と見られる。 |
| 284 | 319 | 1 | 31 | 鉄製品 (鍛造品) 釘状不明(体部～足部) | 2区東 | — | 13F-1F23 | 110 | 32 | 25 | 67.0 | 4 | 錆化(△) | 表面が厚い酸化土砂に覆われた大型の釘様の鉄製品。横断面形はやや長方形気味で、2片に割れたものを接合している。透過X線像によれば、頭部には折り返し部分が認められずに斜めに途切れている。足部側は先端から2.1cm程度の部分で緩やかに折れ曲がっている。鍛造痕はやや乱れており、二次的な折れ曲がりと推定される。頭部側が太いのに対して足部側は急激に細くなっており、通常の釘というよりも掛け金の疑いもある。 |
| 284 | 319 | 1 | 32 | 鉄製品 (鍛造品) 薄板状不明 (鍋類?) | 2区東 | — | 13F-3E4 | 22 | 22 | 10 | 5.0 | 4 | 錆化(△) | 右下手側の側部に新しい破面が露出する、厚さ4mm程の鍛造品破片。左右の側部と下手側の側部は明らかな破面で、上手側はやや薄くなる形で直線状に途切れている。鍛造品ではあるが、性格は不明。鍛冶関連遺物と共に出土しており、鍛冶素材となった故鉄の可能性もあり。 |
| 284 | 319 | 1 | 33 | 粘土質溶解物 | 2区東 | — | 13F-4G1 | 24 | 23 | 18 | 7.0 | 1 | なし | 上下面が平坦気味になった粘土質溶解物。上面から肩部にかけては滓化して、薄皮状の黒色や灰黒色のガラス質滓に覆われている。側部は半流動状で不規則な段を生じている。下面は鍛冶炉の掘り方からの剥離面様。 |
| 284 | 319 | 1 | 34 | 腕形鍛冶滓 (中・含鉄) | 2区西 | SE9 | 13F-4D10 | 84 | 57 | 47 | 241.0 | 5 | H (○) | 左側部が4単位からなる大破面になった中型の腕形鍛冶滓破片。上手側の側部上半や右側部にも小破面あり。上面は中央方向に向かい浅く窪んでおり、表面には1.5cm大以下の木炭痕が点在する。右側部から下面にかけては凹凸がやや目立ち、小振りの木炭痕も認められる。側部から下面の全体観はやや深い腕形を示す。含鉄部は集中せず分散気味で、左側部の破面は工具による突き崩しの可能性あり。 |
| 284 | 319 | 1 | 35 | 粘土質溶解物 | 2区西 | SE9 | 13F-4D10 | 35 | 24 | 20 | 7.0 | 1 | なし | 上半部の滓化が進んだ粘土質溶解物。下面は中央部が窪んだ形の剥離面で、ザラザラしている。上半部は全体が淡緑色のガラス質滓化して、側部には垂れも生じている。 |
| 284 | 319 | 1 | 36 | 鉄製品 (鍛造品) 包丁又は鉈? (刃部) | 2区西 | SE9 | 13F-4D15 | 56 | 125 | 30 | 220.0 | 6 | H (○) | 2片に割れている包丁または鉈状の鉄製品破片。2片とも破面には芯部が中空化した身幅の広い刃物の断面形が露出している。この断面形と透過X線像から見ると4mm程度の背側の厚みを持つ鉄製品で、下手側の刃部先は薄くなって収束する。身幅は3.8cm前後と推定される。刃部の中央部がやや膨らんでいる様にも見えるが、錆化物となっているため断定しにくい。刃の厚みを重視すれば包丁的な断面形ではある。現状では茎部が失われている。 |
| 284 | 319 | 1 | 37 | 腕形鍛冶滓 (極小・含鉄)? | 2区西 | SE39 | 13F-4E12 | 50 | 44 | 27 | 49.0 | 4 | H (○) | 平面、不整五角形をした極小の腕形鍛冶滓または鉄製品破片。表裏面が分厚い酸化土砂に覆われており不明点が多い。全体観は薄い腕形を示すが酸化土砂の形態の様にも見える。一方、側部を全周するように厚さ1cm前後を測る薄板状の錆化物が露出しており、磁着もやや強いことから、内部に鍛造品の破片が存在する可能性もありそうである。透過X線像がなく、現状では判別しにくい。 |
| 284 | 319 | 1 | 38 | 腕形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 2区西 | SE86 | 13F-4C2 | 50 | 50 | 30 | 65.0 | 5 | 錆化(△) | 下手側の側部が小破面になった極小の腕形鍛冶滓。上下面ともに中央部が盛り上がり、表裏の判断が難しい資料である。上面中央部は重層気味で、上面に径2.5cm位の滓が乗っている。側部から下面は浅い腕形で、滓中には中小の気孔が点在する。 |
| 284 | 319 | 1 | 39 | 腕形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 2区西 | SE86 | 13F-4C3 | 68 | 38 | 44 | 117.0 | 5 | 錆化(△) | 左側部側が破面になった、やや変形した極小の腕形鍛冶滓。上面は下手側の狭い範囲が生きており、右側部中段には滓単位の重層を示す大きな中空部が露出する。左側部側に力に加えられ、上に持ち上げられた様な形態の腕形鍛冶滓である。短軸側の両側部から下面はきれいな丸みを持った腕形で、立ち上がりはやや急角度。もとの腕形鍛冶滓の右側部片の可能性もあり。含鉄部は分散している。 |
| 284 | 319 | 1 | 40 | 腕形鍛冶滓 (大・含鉄・ 鍛造剥片付き) | 2区西 | SE187 | 13F-4E1 | 53 | 85 | 39 | 177.0 | 5 | H (○) | 平面、長手の不整三角形をした腕形鍛冶滓破片。短軸の両側部と左側部の一部は破面で、本来は特大の腕形鍛冶滓であった可能性がある。上面は浅く窪み左側の肩部にはもとの腕形鍛冶滓の中央部を示す様な平滑な流動部分が認められる。生きている側部から下面は腕形で、左側部下端では炉床土の痕跡を残す。含鉄部は上面寄りに広く、右上手側の側部にまで広がっている。もとの腕形鍛冶滓の1/5程度の破片か。 |
| 284 | 319 | 1 | 41 | 腕形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 2区西 | SE226 | 13F-3D6 | 60 | 42 | 29 | 47.0 | 3 | H (○) | 表面が薄皮状の再結合滓に覆われた極小の腕形鍛冶滓の半欠品。左側部が主破面で、上面下手側が瘤状に盛り上がっている。側部から下面はきれいな腕形でまともには良い。滓質は微細な気孔や木炭を含んでいるためかややスポンジ状を示す。含鉄部は上半部寄りの芯部か。 |
| 284 | 319 | 1 | 42 | 腕形鍛冶滓 (大?・含鉄・ 炉床土付き) | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 86 | 77 | 50 | 358.0 | 5 | 錆化(△) | 左右の側部と上手側の側部上半が破面になった、大型の腕形鍛冶滓の肩部寄り破片。上面はほぼ平坦な流動状の滓部で、上手側の肩部が盛り上がっている。下面は左右方向に伸びる舟底状で、点々と炉床土由来の灰褐色の土が固着している。滓質は緻密で、右側部上半には粉炭をやや多めに噛み込んでいる。もとの腕形鍛冶滓の1/3程度の破片か。 |
| 285 | 319 | 1 | 43 | 鉄製品 (鍛造品) 鎌 (体部～足部) | 2区西 | SK228 | 13F-4E7 | 40 | 58 | 24 | 37.0 | 4 | 錆化(△) | 分厚い酸化土砂に覆われた鉄製品破片。透過X線像によれば内部に整った形の鎌の半欠品が確認出来る。残存部位は鎌の体部半ばから足部の先端部までで、外観上は下手側の突出部が足部先にあたる。右側部の破面には径7mm程度の方形断面が露出する。透過X線像にはやや細身の鎌が確認され、足部が直角方向に折り曲げられている。 |
| 285 | 319 | 1 | 44 | 鉄製品 (鍛造品) 鎌 (刃部)? | 2区西 | SK228 | 13F-4E7 | 37 | 77 | 7 | 26.0 | 4 | 錆化(△) | 幅3cmほどの薄板状の鉄製品破片。透過X線像では左右の側部が直線状に途切れて下手側が薄くなった刃部となることから、鎌の刃部破片かと推定される。身幅は左方向に向かい徐々に狭まっている。表裏面には酸化土砂が残り、錆膨れと重層しているためにややゴツゴツした形になっている。薄刃の刃物で鎌の一種であろうか。 |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 構成 図 No. | 構成 No. | 遺物名 | 地区名 | | | 計測値 (mm) | | | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル度 | 備 考 |
|--------|-----------|----------|--------|------------------------------|-----|-------|-----------|----------|-----|-----|--------|------|-------|---|
| | | | | | 区 | 遺 構 | グリッド | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 285 | 319 | 1 | 45 | 鉄塊系遺物 (含鉄) | 2区西 | SK310 | 13F-4E8 | 19 | 22 | 14 | 8.0 | 3 | M (◎) | 表面が薄皮状の酸化土砂に覆われた小塊状の鉄塊系遺物。扁平な豆粒状で、表面には黒錆の滲みと微細な放射割れが発達し始めている。現状はメタル度がM (◎) となっているが、本来は滓部を持たない鉄粒であった可能性が高い。鍛冶系かどうかは不明。 |
| | | 1 | 46 | 木炭 (一括) | 2区西 | SK474 | 13F-3D21 | - | - | - | 178.0 | 1 | なし | SK474土坑から出土した粉末状の木炭の一括品である。1.5cm大から1mm大の木炭で、一部にオニイタ状の酸化物も含まれている。個々の木炭片を見ると焼損のためか角の部分が丸みを持っている個体が多く、鍛冶炉等に使用された後の廃棄品か。材は広葉樹材が主体で、針葉樹材も一部に含まれている。炭化の状態はまちまちで一定しない。炭化の甘さから伏せ焼きによる製炭か。 |
| | | 1 | 47 | 木炭 (一括) | 2区西 | SK474 | 13F-3D21 | - | - | - | 70.0 | 1 | なし | 分析資料No.5。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 285 | 319 | 1 | 48 | 炉壁 (鍛冶炉) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 41 | 60 | 39 | 29.0 | 1 | なし | 側部全周が破面になった鍛冶炉の炉壁破片。内面側は深く発泡してスポンジ状になっている。発泡部分の厚みは1.7cm程度を測る。外面は面をなす剥離面様で、灰色の被熱色が広がっている。構成No.7の炉壁片とやや類似する。 |
| 285 | 319 | 1 | 49 | 炉壁 (鍛冶炉・滓付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 48 | 30 | 21 | 16.0 | 2 | なし | 内面が黒色ガラス質に薄く滓化した鍛冶系の炉壁破片。側部全周と外面が破面になっている。右側部下半は粘土単位の接合部様に途切れている。胎土は粉殻と細いスサ入りで、外面下半には鍛冶系の滓片を含んでいる。内面の滓化が弱い事から、羽口先よりかなり離れた部位の炉壁片であろう。 |
| 285 | 319 | 1 | 50 | 炉壁 (鍛冶炉・羽口装着痕付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 36 | 45 | 18 | 19.0 | 1 | なし | 上端部が幅広く浅い樋状に窪んだ鍛冶系の炉壁破片。外面下半の2/3程度が鍛冶炉の掘り方からの剥離面となる事から、上面の窪みは羽口の装着痕と見られる。左右の側部と外面上端部が破面で、内面下半は鍛冶炉の炉壁表面である。芯部を除いて内外面が赤褐色となることから被熱は弱い。胎土は短いスサを少々混じえた粘土質。 |
| 285 | 319 | 2 | 51 | 炉壁 (鍛冶炉・滓付き・鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 55 | 61 | 24 | 37.0 | 3 | なし | 分析資料No.6。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 285 | 319 | 2 | 52 | 炉壁 (鍛冶炉・含鉄・鍛冶滓付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 71 | 66 | 37 | 74.0 | 4 | 錆化(Δ) | 一見、 椀形鍛冶滓に似た外観を示す鍛冶系の炉壁破片。内面の上半部は小塊状の炉壁土が連続した形で滓化した炉壁部分で、内面下半部から外面は滓部になっている。炉壁部分は炉壁片や羽口先由来と推定されるやや色調の異なる粘土質の滓も点々と認められる。下半の錆色となった小塊状の部分は鍛冶素材由来と推定され、大きさがまちまちな含鉄の滓部になっている。上端部の二方が破面で、裏面は椀形鍛冶滓の側部から底部様に突出している。表面には垂れや粉炭痕があり炉内の炭層に接している。 |
| 285 | 319 | 2 | 53 | 炉壁 (鍛冶炉・ガラス質滓付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 106 | 98 | 45 | 243.0 | 1 | なし | 側部6面が破面になった、やや大振りの鍛冶の炉壁破片。平面形は緩やかな弧状で、内面全体が滓化している。内面は右側が滓化が強く、溶損と垂れが生じており、左半部は錆色でややゴツゴツしている。内面下半は全体に盛り上がり段を生じている。外面はきれいな剥離面で、左下の部分を除いて温度が高く灰色基調となる。内面の滓化の強さから、右方向が羽口先側と想定される。胎土は細身のスサと粉殻を混じえている。 |
| 285 | 319 | 2 | 54 | 羽口 (鍛冶・先端部～体部) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 90 | 75 | 85 | 232.0 | 4 | なし | 分析資料No.7。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 285 | 319 | 2 | 55 | 羽口 (鍛冶・体部) | 2区西 | SK522 | 13F-4C4・9 | 96 | 90 | 54 | 309.0 | 1 | なし | 側部全周が破面になった羽口の先端部寄り体部破片。内面には径3cm前後を測る通風孔部が残されている。肉厚の羽口で、先端側で約3.5cm、基部側で約4cm程の厚みを持つ。外面は斜め方向のケズリとナデにより成・整形されており、右方向から順に3種類の被熱色を示す。羽口部位は先端側から見て左側部側。胎土は僅かにスサを含む、ざっくりした粘土質。 |
| 285 | 320 | 2 | 56 | 羽口 (鍛冶・先端部～体部・ガラス質滓付き・滓付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 122 | 248 | 130 | 2160.0 | 3 | なし | 前者とよく似た羽口の先端部から体部にかけての破片。10片以上に割れた資料を接合している。羽口は先端部から基部寄りの体部までが残存し、基部と基部寄りの体部が欠けている。羽口の全体観は太い丸棒状で、体部半ばから基部側に向かってやや開く形態となる。通風孔部は径3cm大の直孔を示す。先端肩部の滓化が進み、正面から見て左側部が溶損のため窪んでいる。また、この溶損に対応する形で、顎部側に滓の垂れが低く突出する。体部外面は先端側から灰褐色基調、明褐色、赤褐色と熱変色し、基部寄りでは被熱が弱いめかすすん茶褐色になっている。外面は長軸方向へのケズリとナデにより整えられており、比較的丁寧な作りの羽口となる。胎土は短いスサを疎らに混じえるざっくりした粘土質。前者と似た身厚のある羽口で、先端方向で2～3cm、基部側で4.5～5cmの厚みを測る。胎土の耐火性の低さを身厚を厚くすることでカバーしようとした意図が窺える。 |
| 285 | 320 | 2 | 57 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・重層・炉床土付き・工具痕付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 73 | 74 | 62 | 202.0 | 5 | 錆化(Δ) | 右側部と左下手側の側部2面が破面になった、特大の椀形鍛冶滓の肩部破片。上面上手側には丸棒状の工具痕が残されており、右側部の破面も工具による突き崩し由来と推定される。重層状態の滓で、右側部の破面には少なくとも2単位からなる隙間を生じている。また、右側部下端の破面は急激にせり上がり、滓が突き動かされている事を証明できる。これに対して左上手側の側部は椀形に近く、表面には炉床土由来の灰褐色基調の土が固着する。含鉄部は滓上半部に広がっており、右上手側肩部の流動状の滓部分はマグネタイト化して磁着が強い。 |
| 285 | 320 | 2 | 58 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・重層・工具痕付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 126 | 119 | 77 | 968.0 | 6 | H (○) | 分析資料No.8。第6表分析資料詳細観察表参照。 |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 構成 図 No. | 構成 No. | 遺物名 | 地区名 | | | 計測値 (mm) | | | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル度 | 備 考 |
|-----------|-----------------|----------------|-----------|------------------------------|-----|-------|---------|----------|-----|----|-----------|---------|-------|---|
| | | | | | 区 | 遺構 | グリッド | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 285 | 320 | 2 | 59 | 椀形鍛冶滓 (大・工具痕付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 88 | 63 | 49 | 208.0 | 6 | なし | 左側部と右側部の2面が破面になった大型の椀形鍛冶滓破片。上面は生きており、右寄りの上面には工具痕と推定される3単位の浅い窪みを残している。滓質は比較的緻密ながら、上下面や芯部の下手寄り1.5cm大以下の木炭痕がやや目立つ。下面は椀形の一部をなす形で上手側が整っており、下手側は出入りがある。もとの椀形鍛冶滓の右上手側肩部の破片であろう。 |
| 286 | 320 | 2 | 60 | 椀形鍛冶滓 (大・含鉄・工具痕付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 48 | 46 | 40 | 126.0 | 4 | 錆化(△) | 側部4面が破面になった大型の椀形鍛冶滓の肩部破片。右側部には明瞭に工具痕が残されている。上面は平坦気味で、左側部の破面には凹凸が生じている。側部の立ち上がりは急角度で、底面の一部が突出する。形態的に見て突き崩された椀形鍛冶滓の肩部破片かと推定される。 |
| 286 | 320 | 2 | 61 | 椀形鍛冶滓 (大・含鉄) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 112 | 79 | 69 | 371.0 | 5 | 錆化(△) | 左側部が主破面になった大型の椀形鍛冶滓の半欠品。右側部下手側の端部が欠けている。上面は中央部に向かってきれいに窪んでおり、工具痕由来の可能性もあり。右側部の上手側下半にも段を生じており、突き崩し様である。滓質はやや密度が低めで、滓内部に木炭痕や気孔による中空部が無数に残されている。側部から下面はきれいな椀形とはならず、小さな凹凸が連続する。左側部の破面も突き崩しによる可能性が高い。 |
| 286 | 320 | 2 | 62 | 椀形鍛冶滓 (大・含鉄・重層・ 炉床土付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 114 | 114 | 83 | 638.0 | 4 | 錆化(△) | 側部に明瞭な段があり、少なくとも3単位の滓が重層している大型の椀形鍛冶滓。小さな破面が上半部に認められるものの、ほぼ完形品である。当初の滓が最も密度が高くまとりの良い形で、中間部と最上面の滓は形も不安定で滓中に不規則な隙間が多い。滓の中心位置も当初から順次左下手側にずれて動いており、水平角度も微妙に変化している。下面に突出する当初の滓はやや扁平で、側部から下面が浅い椀形になっている。また、左側部を中心に灰褐色の炉床土が面的に固着する。それに比べて上半部の2単位の滓は椀形の形成が甘く、不規則な小塊状の滓が横に連なった様な複雑な形を示す。側部には点々と小破面が生じているが、大きく形が崩れるほどではない。なお、上面には1.5cm大以下の木炭痕と木炭が残されている。 |
| 286 | 320 | 2 | 63 | 椀形鍛冶滓 (大・含鉄・再結合) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 104 | 111 | 60 | 481.0 | 6 | 錆化(△) | 突き崩された形で滓片同士が再結合した大型の椀形鍛冶滓。主体となるのは下半の左右の滓部分で、水平方向も大きくずれてしまっている。また、左側の肩部には別単位の滓破片が瘤状に再結合する。滓が崩された上で再結合しているため、左右の破片共、もとの水平位置とは異なった形で上面が傾斜する。側部から下面はやや凹凸のある深い椀形で、上面同様に傾いている。滓質はまとまりかけてはいるが、隙間も残る。 |
| 286 | 320 | 2 | 64 | 椀形鍛冶滓 (大・含鉄・工具痕付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 90 | 57 | 57 | 283.0 | 6 | H (○) | 上面や側部に5単位以上の工具痕を残す大型の椀形鍛冶滓破片。左側部は大破面になっているが、外観から見てこの部分も突き崩された破面と推定される。上面は緩やかな波状で、中央部と上手側の肩部がやや小高くなる。右側部下手側が大きく乱れているのは工具痕による変形であろう。生きている側部から下面は滓の中央部分では一応椀形になっている。全体に磁着の強い滓で、上手側の端部は明らかに含鉄部である。含鉄部のまわりに磁着の強い部分があり、マグネタイト系の滓部と推定される。母体の椀形滓が大きかった証拠であろう。 |
| 286 | 320 | 2 | 65 | 椀形鍛冶滓 (大・含鉄) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 107 | 95 | 43 | 366.0 | 6 | H (○) | 平面形が細い台形をした、やや異形の大型椀形鍛冶滓破片。上手側の肩部は明らかな破面で、左右の側部も破面の可能性を持つ。いずれもが直線状に途切れており、工具による突き崩しの疑いを持つ。上面は緩やかに窪み、小振りの木炭痕が連続する。側部から下面は左右方向に伸びる舟底状で、中間部分が乱れている。上面左上手側のごく小範囲が羽口先由来の流動状の滓となる。もとの椀形鍛冶滓の1/3程度の破片であろう。 |
| 286 | 320 | 2 | 66 | 椀形鍛冶滓 (中) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 66 | 58 | 37 | 136.0 | 4 | なし | 側部の9割方が破面になった、厚さ3cm程の椀形鍛冶滓破片。中型の椀形鍛冶滓の中核部破片と推定され、左上手側の側部が一部生きている。上下逆の可能性もあり。上面の一部に含鉄部由来の錆跡が生じている。 |
| 286 | 320 | 2 | 67 | 椀形鍛冶滓 (中・工具痕付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 51 | 35 | 37 | 78.0 | 2 | なし | 上面下手側に浅い桶状の工具痕を残す、中型の椀形鍛冶滓破片。左側部が突き崩されており、側部から下面はきれいな椀形を示す。小さな割には厚みのある滓で、滓のまとまりは比較的良い。母体となる椀形鍛冶滓の肩部破片と推定される。 |
| 286 | 320 | 2 | 68 | 椀形鍛冶滓 (中・重層) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 80 | 53 | 53 | 183.0 | 4 | なし | 左側部2面が大破面になった中型の椀形鍛冶滓破片。右側部中段には隙間が生じており、重層した椀形滓になっている。滓の主体は下半部で、上面に一回り小型の椀形鍛冶滓が重層する。上下の滓とも側部の立ち上がりが急角度で、底面は平坦気味。もとの椀形鍛冶滓の右肩部破片であろう。滓質はやや密度が低い。 |
| 286 | 320 | 2 | 69 | 椀形鍛冶滓 (中・重層・ 鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 71 | 64 | 45 | 154.0 | 4 | なし | 前者と同様、上下に重層する中型の椀形鍛冶滓破片。上面上手側に乗る滓は極小の椀形鍛冶滓で、下半の滓は左上手側が窪み形で変形している。また、下半の滓の下面は傾斜が緩く、側部の立ち上がりが急角度となる。上面右下手側の酸化土砂中には青光りする薄手の鍛造剥片が含まれている。左下手側の下半は下半の滓に残された破面と推定される。 |
| 286 | 320 | 2 | 70 | 椀形鍛冶滓 (中・含鉄・炉壁付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 61 | 57 | 37 | 128.0 | 5 | 錆化(△) | 左上手側の側部に鍛冶炉の炉壁土が固着した中型の椀形鍛冶滓破片。右側部が不明瞭ながら破面になっており、下面もやや乱れた形を示す。炉壁土の立ち上がりは急角度で、滓層がほぼ接している。炉壁土は僅かにスサを混じえた粘土質。含鉄部は右側部中央に突出する様に残る小塊状の部分である。 |
| 286 | 320 | 2 | 71 | 椀形鍛冶滓 (中・含鉄・ 鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 77 | 74 | 42 | 221.0 | 5 | 錆化(△) | 左側部2面が破面になった、中型の椀形鍛冶滓の肩部寄り破片。左下手側の側部は工具痕により変形して直線状に途切れている。上面は平坦気味で一部に深い木炭痕を残し、上手側の肩部がなだらかに傾斜する。下面は平坦気味で、一部は工具痕様に窪む。全体観は厚さ3.5cm程の板状を示す。表面に酸化土砂があり、上手側の肩部の酸化土砂中には青光りする薄手の鍛造剥片が含まれている。鍛造剥片自体は鍛錬鍛冶の最終段階と見られるが、椀形鍛冶滓はそれより早い段階に伴う滓と見られる。 |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 構成 図 No. | 構成 No. | 遺物名 | 地区名 | | | 計測値 (mm) | | | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル度 | 備 考 |
|--------|-----------|----------|--------|----------------------------|-----|-------|---------|----------|-----|----|--------|------|-------|--|
| | | | | | 区 | 遺 構 | グリッド | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 286 | 320 | 2 | 72 | 腕形鍛冶滓 (中・含鉄・鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 86 | 77 | 58 | 375.0 | 5 | 錆化(△) | ほぼ完形の中型腕形鍛冶滓。側部が丸みを持った塊状の滓で、上面上手側には極小の腕形鍛冶滓破片が乗っている。下手側の側部中段に隙間が生じており、重層気味の滓でもある。側部から下面は深い腕形で、やや出入りあり。左上手側の側部中段には黒錆の滲む含鉄部が露出する。 |
| 286 | 320 | 2 | 73 | 腕形鍛冶滓 (中・含鉄・鍛造剥片付き・再結合滓付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 61 | 51 | 32 | 98.0 | 4 | 錆化(△) | 上面に多量の鍛造剥片を含む再結合滓が残る腕形鍛冶滓破片。下半の滓部分は上手側を除き側部3面が破面と推測される。従って、本来は中型または小型の腕形鍛冶滓であった可能性が高い。再結合滓中には粉状の木炭と鍛造剥片が目立ち、鍛造剥片は全てが青黒い色調を示す。また、一部に粒状滓が含まれている。側部から下面は浅い腕形で、中間部分に段を生じている。 |
| 287 | 320 | 2 | 74 | 腕形鍛冶滓 (中・含鉄・工具痕付き・鍛冶滓付着) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 72 | 101 | 69 | 422.0 | 6 | 錆化(△) | 左側部が2単位を数える工具痕により変形した中型の腕形鍛冶滓。平面形は不整半円形になっているが、ほぼ完形品と見られる。上面中央部は小高くなっており、その中央部に扁平塊状の鍛冶滓が乗っている。側部から下面は立ち上がりやや急角度で、丸みを持った形となる。上手側の側部が大きく窪んでいるが、工具痕ではない。工具痕は羽口頸部下の炉壁部分から滓部を分離しようとした痕跡か。滓の一部に隙間が生じており、部分的に密度の変化あり。側部から下面には粉炭由来の微細な木炭痕が広がる。 |
| 287 | 320 | 2 | 75 | 腕形鍛冶滓 (中・含鉄) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 59 | 64 | 45 | 99.0 | 6 | H (○) | 下手側の側部と左側部がイガイガした破面になった、中型または小型の腕形鍛冶滓破片。滓内部に多量に木炭を噛み込んでいるためか滓の密度が低い。右側部側にも小破面が2単位数えられる。下面は浅い腕形で黒錆が滲み、この部分が含鉄部の主体と判断される。 |
| 287 | 320 | 2 | 76 | 腕形鍛冶滓 (中・含鉄) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 100 | 82 | 45 | 259.0 | 6 | H (○) | 分析資料No.9。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 287 | 320 | 2 | 77 | 腕形鍛冶滓 (中・含鉄・鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 76 | 50 | 45 | 133.0 | 6 | H (○) | 左側部2面が破面になった中型の腕形鍛冶滓の肩部寄り破片。上面は一部が突出するが全体的には平坦になる。右側の側部から下面は腕形で、表面には粉炭痕が目立つ。含鉄部は上面表皮寄りが主体で、錆色も滲んでいる。下手側の突出部は小塊状で、もとの鍛冶素材が巻き込まれている可能性があろう。 |
| 287 | 320 | 2 | 78 | 腕形鍛冶滓 (小・工具痕付き・鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 47 | 51 | 34 | 64.0 | 5 | なし | 右寄りの側部2面や上面に複数の工具痕を残す腕形鍛冶滓破片。工具によりもとの腕形鍛冶滓の肩部が引きちぎられたような形態を示す。上面は平坦気味で、下面は腕形の一部をなす。流動性が低くややざっくりした滓質である。母体の滓はさらに一回り大きな中型の腕形鍛冶滓かもしれない。表面の酸化土砂中には鍛造剥片が1片含まれている。 |
| 287 | 320 | 2 | 79 | 腕形鍛冶滓 (小・含鉄) | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 80 | 53 | 40 | 123.0 | 6 | H (○) | 下手側の側部に瘤状の酸化土砂が突出した小型の腕形鍛冶滓。滓部は短軸方向に伸びる不整塊状で、左側部が破面と推定される。上面上手側には小さな凹凸があり、側部から下面は左で傾斜の異なる長手の腕形になっている。下面の中央部に浅い工具痕様の窪みあり。含鉄部は下面の突出部が主体。 |
| 287 | 320 | 2 | 80 | 腕形鍛冶滓 (極小・鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 34 | 37 | 25 | 29.0 | 4 | なし | 表面が酸化土砂に覆われた小塊状の極小腕形鍛冶滓。一見すると鍛冶滓様でもある。上面は平坦気味で側部から下面が丸みを持っており、右側部では3箇所が瘤状に突出する。上面の酸化土砂中には青光りする薄手の鍛造剥片が含まれている。 |
| 287 | 320 | 2 | 81 | 腕形鍛冶滓 (極小・工具痕付き・鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 25 | 35 | 19 | 18.0 | 4 | なし | 上手側の側部に工具痕を残す流動状の腕形鍛冶滓破片または、工具付着滓破片。左右の側部と上面下手側が破面になっており、やや異形の滓である。滓全体が左右方向に伸びる流動状で、下面は土砂の圧痕と見られる。流動状の滓が厚く付着した工具付着滓破片の可能性も疑われる。 |
| 287 | 320 | 2 | 82 | 腕形鍛冶滓 (極小?・再結合滓付き・鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 50 | 37 | 16 | 28.0 | 5 | なし | 分析資料No.10。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 287 | 320 | 2 | 83 | 腕形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 36 | 37 | 33 | 38.0 | 5 | 錆化(△) | 構成No.80とよく似た外観を持つ小塊状の極小腕形鍛冶滓。外観は丸みを持った塊状で、上下面や側部から小さな突出部が生じている。表面は酸化土砂に広く覆われており、下手側の側部下半は破面様。含鉄部は下面右側の突出部か。 |
| 287 | 320 | 2 | 84 | 鍛冶滓 | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 30 | 24 | 25 | 20.0 | 1 | なし | 径2.5cm大の小塊状を示す鍛冶滓。上下面は平坦気味で、側部は急角度ながら丸みを持っている。表層の半分以上が黄褐色の酸化土砂に覆われている。磁着反応はなく、上下面が平坦気味になる事から、鍛冶炉の炉壁土由来の粘土質溶解物に近い資料と見られる。 |
| 287 | 320 | 2 | 85 | 鍛冶滓 (金床石付着滓・工具痕付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 31 | 29 | 5 | 5.0 | 1 | なし | 側部に小破面がめぐる、薄皮状の鍛冶滓破片。上面は半流動状で下面は剥離面様である。下面の一部に金床石由来と推定される暗褐色の付着物が認められる事から、金床石表面の付着滓でもある。上面には右方向からの工具痕も残されている。本資料の存在によりSK522土坑出土の一連の鍛冶系の資料中に本来は金床石が伴っていた事を証明出来る。 |
| 287 | 320 | 2 | 86 | 鍛冶滓 | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 27 | 27 | 36 | 16.0 | 2 | なし | 上面に酸化土砂主体の突出物が認められる小塊状の鍛冶滓。滓部は僅かに含鉄気味で、表面を覆う酸化土砂中にはやや厚手の鍛造剥片を含んでいる。鍛造剥片は表面が黒褐色。 |
| 287 | 320 | 2 | 87 | 鍛冶滓 (含鉄) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 30 | 29 | 22 | 20.0 | 5 | 錆化(△) | 前者を一回り大きくした形の含鉄の鍛冶滓。上面下手側は平坦気味で、残る側部から下面は全体に丸みを持っている。含鉄部の主体は上半寄りの芯部か。 |
| 287 | 320 | 2 | 88 | 工具付着滓 | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 22 | 20 | 11 | 4.0 | 2 | なし | 外周部と芯部の滓質が異なる工具付着滓破片。やや厚手の工具付着滓で、本来の外周部は厚さ2.5mm以下を測る薄皮状の滓に覆われている。工具痕は滓の内側に残されており、工具表面に1cm以上の厚みで固着した付着滓の一部と推定される。内側の滓部は非流動状で、表層の滓部のみ流動性が高い。 |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 構成 図 No. | 構成 No. | 遺物名 | 地区名 | | | 計測値 (mm) | | | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル度 | 備 考 |
|-----------|-----------------|----------------|-----------|-----------------------------------|-----|-------|----------|----------|-----|-----|-----------|---------|-------|---|
| | | | | | 区 | 遺構 | グリッド | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 287 | 320 | 2 | 89 | 工具付着滓 | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 22 | 32 | 19 | 9.0 | 2 | なし | 半流動状の滓の一部に工具痕を残す工具付着滓破片。側部には複数の木炭痕があり、下面は土砂の圧痕様である。通常の薄皮状の外観をもつ工具付着滓ではなく、梲形鍛冶滓の一部に工具痕が加わった資料に近い外観を示す。木炭痕沿いには錆色も目立つ。 |
| 287 | 320 | 2 | 90 | 工具付着滓 | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 26 | 31 | 11 | 9.0 | 3 | なし | 側部全周がシャープな破面になった、厚さ5mm程を測る工具付着滓破片。下面の右上手側には再結合滓が固着する。上下面がほぼ平坦で、上面が工具表面の圧痕と見られる。下面は本来の滓表皮のためか半流動状になっている。再結合滓中には滓片や粉炭に加えて、青光りする鍛造剥片も確認される。 |
| 287 | 320 | 2 | 91 | 工具付着滓 | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 19 | 17 | 7 | 2.0 | 1 | なし | 前者を一回り小さくした形の工具付着滓破片。側部には小破面が連続し、上面が平坦な工具痕となる。本来の外面となる下面側は土砂の圧痕に覆われている。 |
| 287 | 320 | 2 | 92 | 流動滓 (鍛冶系) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 6 | 25 | 6 | 1.0 | 1 | なし | 径4mm程を測る鍛冶系の単位流動滓破片。左側部が破面になっており、右側部は丸みを持って収束する。鍛冶系の流動滓は比較的珍しい資料である。 |
| 287 | 320 | 2 | 93 | 流動滓 (鍛冶系) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 16 | 37 | 8 | 3.0 | 1 | なし | 前者と基本的に類似する流動滓破片。全体的に扁平で、右方向に向かいS字状にうねりながら流動している。左側部に小破面があり、右側の先端部がやや太くなって収束する。上面や側部の一部に木炭痕を残し、下面は炉壁土の圧痕が主体となる。下面の中央部に厚さ0.4mm程の工具付着滓破片を巻き込んでいる。 |
| 287 | 320 | 2 | 94 | 粘土質溶解物 | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 71 | 62 | 27 | 51.0 | 1 | なし | 表面が黒色ガラス質溶化した粘土質溶解物。左側部下半を除き、各面が収束しており、ツララ状の垂れも複数残されている。外面の上端部と左側部寄りに母体となる鍛冶炉の炉壁土の一部が確認される。それ以外の外面は木炭痕と炉壁土の圧痕に覆われている。鍛冶炉の炉壁表面から少し浮いて、垂れ落ちる形で生成された粘土質溶解物と見られる。 |
| | | 2 | 95 | 粒状滓 (一括) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | - | - | - | 6.0 | 1 | なし | 分析資料No.11。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 287 | 320 | 2 | 96 | 鍛造剥片 (厚手) | 2区西 | SK522 | 13F-4C4 | 29 | 18 | 5 | 2.0 | 3 | なし | 錆色の強い厚手の鍛造剥片破片。側部全周が破面で厚みは2.5mm前後を測る。上面には微細なナイガの状態が残り、下面は緩やかな波状の剥離面になっている。厚さや色調から見て、最も厚手に属する鍛造剥片であろう。 |
| | | 3 | 97 | 鍛造剥片 (一括) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | - | - | - | 33.0 | 3 | なし | 分析資料No.12。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 287 | 320 | 3 | 98 | 再結合滓 | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 20 | 24 | 21 | 6.0 | 2 | なし | 厚さ2cm程度を測る小塊状をした再結合滓の小破片。左側の肩部には径1cm大の「粒状の滓」が含まれており、以下の再結合滓の主体は微細な滓片や様々な種類の鍛造剥片に加えて、粉末状の木炭からなる。小さいながらも鍛冶系の再結合滓の特色を良く示している資料である。側部から下面は破面と推定される。 |
| 287 | 320 | 3 | 99 | 再結合滓 (鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 24 | 27 | 16 | 6.0 | 3 | なし | 前者と同様、鍛冶系の再結合滓の小破片。上面は生きており、側部全周が破面になっている。下面の中央部は土砂の圧痕様。再結合滓の母体は微細な滓片や粉炭に加えて、様々な種類の鍛造剥片からなる。浅い窪みの中で生成された再結合滓か。 |
| 287 | 320 | 3 | 100 | 含鉄鉄滓 | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 21 | 30 | 10 | 2.0 | 1 | 錆化(△) | 表面が錆色になったやや異形の含鉄鉄滓破片。形態的には鍛冶系の単位流動滓が絡み合った様な形をしており、左側の端部2箇所が破面となる。右方向に向かい流動して先端部は収束する。側部から下面は木炭に接した形で、資料の形そのものが炭層中で流動した証拠であろう。鉄部は完全に錆化して部分的に中空部が生じているが、本来は炭層中で形成された小単位の鉄塊部分と推定される。 |
| 287 | 320 | 3 | 101 | 金床石 (被熱・鍛造剥片付き) | 2区西 | SK522 | 13F-4C9 | 90 | 202 | 109 | 1174.0 | | なし | 5片が接合した金床石の肩部破片。大型の転石を用いた金床石と推定され、残存部位は肩部のごく一部である。上面と下手側の側部2面が用いられており、両面の一部に黒褐色の鍛造剥片が固着する。また、表面の被熱による赤化が強いのも特色で、上面全体と下手側の肩部にかけてが強く被熱する。上面右側の肩部は緩やかに傾斜して、全体にくすんだ赤化状態と吸炭状態を示す。石質は安山岩系。 |
| | | 3 | 102 | 木炭 (一括) | 2区西 | SK679 | 13F-4D1 | - | - | - | 1.0 | 1 | なし | SK679土坑出土の一括木炭である。3.0~0.5cm大で、炭塊の為か表面が荒れている。13片からなっており、酸化色の土塊も1点含まれている。外観的にはSK474出土の一括木炭と類似する。 |
| 287 | 320 | 3 | 103 | 鉄製品(鍛造品)錠 | 2区西 | SD3 | 13F-4E21 | 49 | 45 | 12 | 12.0 | 4 | L(●) | 分析資料No.13。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 288 | 320 | 3 | 104 | 羽口 (鍛冶・ 先端部~体部・ ガラス質滓付き) | 2区西 | SD54 | 13F-5C4 | 116 | 203 | 114 | 1197.0 | 5 | なし | 5片が接合されている羽口の先端部から体部にかけての破片である。羽口正面から見て右半分が主体となる羽口破片で、先端部のみ顎部側が残っている。内面には径3.4cm~3.8cmを測る通孔部が飛々に残されており、基部側に向かって僅かに開き気味。先端部から肩部は斜めに溶損しており、表層がガラス質溶化している。顎部側の滓は鍛冶滓質で厚みを持つ。体部外面は長軸方向へのケズリにより成・整形されており、先端部側は発泡して黒褐色を示す。次いで基部側に向かい暗褐色、灰褐色、淡赤褐色の順に熱変化する。胎土は多量の石英質の砂粒に加えて糊殻とスサを少々含んでいる。 |
| 288 | 321 | 3 | 105 | 羽口 (鍛冶・体部・ 外面スマキ痕付き) | 2区西 | SD54 | 13F-4C17 | 81 | 177 | 54 | 462.0 | 1 | なし | 5片が接合した肉厚の羽口の先端部寄りから基部寄りにかけての体部破片。羽口正面から見て右側部側の破片で、内面には径3.7cm以上を測る通風孔部の壁面が残されている。通風孔部は見かけ上では直孔気味となり、身厚が4cm前後を測る。外面は羽口先端の肩部寄りの小範囲が黒色ガラス質溶化して、基部側に向かい暗褐色、灰褐色、褐色、くすんだ赤褐色の順に熱変化する。胎土等は前者と同じ。 |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 構成 図版 No. | 構成 No. | 遺物名 | 地区名 | | | 計測値 (mm) | | | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル度 | 備 考 |
|--------|-----------|-----------|--------|--------------------------------|-----|-------|----------|----------|-----|----|--------|------|-------|---|
| | | | | | 区 | 遺 構 | グリッド | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 288 | 321 | 3 | 106 | 羽口 (鍛冶・体部) | 2区西 | SD54 | 13F-5C10 | 90 | 131 | 53 | 506.0 | 1 | なし | 鍛冶羽口の体部破片。2片が接合しており、内面には径2.5cm以上を測る通風孔部の壁面が残されている。肉厚は3.5cm～4.5cm程度を測り、縦断面形は隅丸方形気味となる。外面の熱変化による色調は先端側から基部側に向かって灰黒色、灰褐色、淡赤褐色、くすんだ赤褐色の順に変化している。外面の成・整形はケズリの後にナデが施されている。胎土等は前二者と同じ。 |
| 288 | 321 | 3 | 107 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・ 炉床土付き) | 2区西 | SD54 | 13F-5C4 | 142 | 131 | 82 | 1479.0 | 6 | H (○) | 分析資料No.14。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 288 | 321 | 3 | 108 | 椀形鍛冶滓 (小・含鉄) | 2区西 | SD54 | 13F-4C23 | 65 | 78 | 55 | 247.0 | 6 | H (○) | 下手側の側部が小破面になった、やや重層気味の椀形鍛冶滓。下手側の側部から見ると、まとまりの良い極小の椀形鍛冶滓の上に別の滓が覆い被さった様な外観を示している。そのためか、側部中段に低い段を生じている。上半の滓は側部や上面の一部が瘤状に突出する形態で、乱れた外観を示す。側部から下面は上下の滓の質感が異なっているために、中段以上が崩れた形になっている。含鉄部は上面の滓の表皮寄り。 |
| 288 | 321 | 3 | 109 | 鍛冶滓 (含鉄) | 2区西 | SD54 | 13F-4C24 | 31 | 35 | 22 | 22.0 | 5 | H (○) | やや扁平な塊状をした完形の鍛冶滓。小さな椀形で、側部や上面の一部に細かい突出部が連続する。含鉄部は下半部寄りの芯部と推定される。左側の側部を中心に酸化土砂がやや厚い。 |
| 288 | 321 | 3 | 110 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・重層) | 2区西 | SD143 | 13F-4C23 | 90 | 109 | 72 | 767.0 | 6 | H (○) | 下手側の側部と右側部が直線状に欠けた特大の椀形鍛冶滓破片。破面を中心に上下に分かれており、重層状態が明瞭な椀形鍛冶滓である。滓は下半部が主体で、その上面に薄板状の椀形滓が乗った状態を示す。上面の滓の表面は浅い木炭痕を残しながらもほぼ平坦になる。下半の滓は厚さ4.5cmを超えるもので、破面には気孔が散在するが全体に密度が高い。上半部の滓は肩部に小破面がめぐり、下半の滓は側部が大破面となる。上下の滓がほぼ一体化して、側部から下面は深い椀形になっている。上面上手側の滓の表皮直下が含鉄部か。 |
| 289 | 321 | 3 | 111 | 椀形鍛冶滓 (大・含鉄・炉床土付き・ 重層) | 2区西 | SD143 | 13F-4C24 | 70 | 85 | 96 | 440.0 | 6 | 錆化(△) | 側部2面が破面になった重層した大型の椀形鍛冶滓破片。前者と同様、下半の滓の方が密度が高く整った形態で、上半の滓は厚さも薄く肩部が乱れている。右上手側の側部下半には明褐色の炉床土が面的に固着し、外面はやや流動状の滓部に覆われている。上半の滓側の左側部の破面には分厚い酸化土砂が固着する。資料としては母体となる椀形鍛冶滓の肩部破片と推定される。 |
| 289 | 321 | 3 | 112 | 椀形鍛冶滓 (中・含鉄) | 2区西 | SD143 | 13F-4C24 | 75 | 91 | 52 | 294.0 | 6 | 錆化(△) | 左側部から上手側の側部がシャープな破面になった、中型の椀形鍛冶滓の中核部から側部にかけての破片。表面には小さな瘤状の酸化土砂が数多く残り、表面状態がかなり分りにくい。上面は窪んだ平滑面になっている。側部から下面はやや乱れた状態の破面で、一部に深い木炭痕が認められる。これと呼応するかのよう、側部上半を中心に木炭痕による出入りがやや目立つ。 |
| 289 | 321 | 3 | 113 | 椀形鍛冶滓 (中・含鉄・重層) | 2区西 | SD143 | 13F-4C23 | 80 | 73 | 45 | 188.0 | 4 | 錆化(△) | 重層気味の小型または中型の椀形鍛冶滓。下半の滓は右上手側に片寄っており、短軸の両側が破面になっている。上半の滓は下手側に向かい垂れ下がる様な形で広がっており、表面には炉床土由来の灰白色土の固着が目立つ。また、上面の滓の側部から下面には1.5cm大以下の強い木炭痕が広がっている。そのため一見、上下が逆の様な外観を示す。上半の滓の側部はやや出入りが目立ち、右側部から短軸側の両側部が破面と推測される。 |
| 289 | 321 | 3 | 114 | 椀形鍛冶滓 (中・含鉄) | 2区西 | SD143 | 13F-5C5 | 76 | 93 | 30 | 224.0 | 6 | 錆化(△) | 上面が流動状で上半部全体が流れ始めているような特異な形態の椀形鍛冶滓。側部上半の流動部分がヒダ状に突出して側部に小破面がめぐる形になっている。この破面にも新旧があり、下手側の側部では欠けた後に滓表面が流動化しているのに対して、上手側の側部から右側部にかけてはシャープで新鮮な破面になっている。下半の滓部は扁平な極小椀形滓の様な外観で、表面には炉床土の圧痕と木炭痕様の窪みが共存する。鍛冶系の流動滓の成因の一部を窺わせる、かなり特異な椀形鍛冶滓である。 |
| 289 | 321 | 3 | 115 | 椀形鍛冶滓 (小・含鉄・重層) | 2区西 | SD143 | 13F-4C24 | 73 | 60 | 64 | 199.0 | 6 | H (○) | 分析資料No.15。第6表分析資料詳細観察表参照。 |
| 289 | 321 | 3 | 116 | 椀形鍛冶滓 (極小・含鉄・ 工具痕付き) | 2区西 | SD246 | 13F-3D10 | 54 | 60 | 27 | 74.0 | 5 | 錆化(△) | 上面と左側部に工具痕を残す、極小の椀形鍛冶滓破片。左側部と上手側の側部の一部が破面になっている。扁平な滓で、上下面共に中央部寄りがやや高まっている。上下逆の可能性もあり。 |
| 289 | 321 | 3 | 117 | 粘土質溶解物 | 2区西 | SD358 | 13F-3D18 | 26 | 28 | 20 | 4.0 | 1 | なし | 厚さ2cm程度の塊状となった粘土質溶解物。5単位程の小塊が連なった形態のまま発泡しており、表皮の一部は灰褐色から黒褐色のガラス質化している。裏面の一部は剥離面様で、炉床土に由来した溶解物である事を窺わせる。 |
| 289 | 321 | 3 | 118 | 炉壁 (鍛冶炉・滓付き) | 2区西 | SD422 | 13F-5C2 | 60 | 74 | 28 | 78.0 | 2 | なし | 内面に1cm程の厚みを持つ滓層が固着した炉壁または、羽口先様破片。側部は全周が破面で、下面全体も大破面になっている。薄板状の外観を持ち平面形が直線状になるが、胎土が微細な砂粒を多量に含むことから、羽口に類似する。羽口片とした場合には上下方向が逆で、羽口の顎部外面に滓が張り付いた状態かもしれない。 |
| 289 | 321 | 3 | 119 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・重層・ 羽口顎部付き) | 2区西 | SD422 | 13F-5C2 | 129 | 182 | 55 | 1183.0 | 5 | H (○) | 平面、不整形をした特大の椀形鍛冶滓。側部に明瞭な段を生じており、重層状態が明らかな滓である。上下2枚の滓の重層の様にも見えるが、左下手側の肩部では3枚以上の重層状態を示している。半流動状の上面は中央部に向かい浅く窪んでおり、左側の肩部には羽口顎部の小破片が乗っている。また、直下の滓部が小塊状に盛り上がる。側部から下面は幅広い舟底状から浅い椀形で、上手側の側部には工具痕流入滓様の突出部あり。本遺跡では羽口先位置の明瞭な数少ない椀形鍛冶滓である。なお、上下の滓とも滓質が似ており、同一の鍛冶工程上の原料単位毎の重層の可能性もあろう。含鉄部は上面左端部の羽口片に接する小塊状の部分で、2単位に分かれており、原料鉄に由来する可能性もあり。 |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 構成 図 No. | 構成 No. | 遺物名 | 地区名 | | | 計測値 (mm) | | | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル度 | 備 考 |
|-----------|-----------------|----------------|-----------|--------------------------------------|-----|--------|----------|----------|-----|----|-----------|---------|-------|---|
| | | | | | 区 | 遺構 | グリッド | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 289 | 321 | 3 | 120 | 椀形鍛冶滓 (大・含鉄・炉床土付き・ 重層) | 2区西 | SD422 | 13F-4C22 | 103 | 78 | 64 | 461.0 | 6 | 錆化(△) | 左側部が主破面になった大型の椀形鍛冶滓の半欠品。上面上手側には別単位と見られる極小の椀形鍛冶滓が重層する。下半は整った形態の椀形鍛冶滓で、右下手側の肩部が小破面になっている。側部から下面は面をなす浅い椀形を示す。右側部中段には2箇所の突出部があり、残る表面には粘土質の炉床土と砂質の羽口片様の小片が張り付いている。下半の滓は密度が高く、上面が盛り上がり気味。最上面に重層する極小の椀形鍛冶滓は厚さ2cm以下を測り、扁平塊状を示す。下半の滓の下面には瘤状の酸化土砂が大きく突出する。 |
| 289 | 321 | 3 | 121 | 粘土質溶解物 | 2区西 | SD422 | 13F-5C8 | 37 | 43 | 34 | 21.0 | 1 | なし | 径4cm大の塊状をした粘土質溶解物。表面が灰褐色から黒褐色のガラス質滓化した軽量の資料で、下面の左手が剥離面様になっている。小塊状の溶解物が合体したような全体形状を示し、表面の一部に木炭痕や小範囲の滓部が認められる。炉壁片に加えて羽口先等が滓化した溶解物であろうか。 |
| 289 | 321 | 3 | 122 | 鉄製品 (鍛造品) 鎌 (刃部先端側) | 2区西 | SD422 | 13F-5C8 | 28 | 66 | 6 | 17.0 | 2 | 錆化(△) | 2片に割れた資料を接合した鎌の切先寄りの刃部破片。平面形は弧状で、右上手側の表裏面には瘤状の酸化土砂が残る。左右の側部が破面になっており、鎌の断面形が露出する。背面は緩やかな弧状を示し、刃部側は強めの弧状になっている。身幅の狭い点と合わせて使い減りの進んだ鎌の破片と見られる。 |
| 289 | 321 | 3 | 123 | 粘土質溶解物 | 2区西 | SD631 | 13F-5D21 | 29 | 34 | 29 | 7.0 | 1 | なし | 不定形な豆粒状の溶解物が5個以上が合体した粘土質溶解物。表面は発泡状態からガラス質滓化が進んでおり、下面上手側には鍛冶滓質の表面が露出する。他遺跡の例では椀形鍛冶滓の上面に乗る粘土質溶解物の例が多いが、本遺跡の出土品は大半が滓本体から遊離した単独の溶解物である。 |
| 289 | 321 | 3 | 124 | 鍛冶滓 (含鉄) | 2区西 | Pit25 | 13F-4E25 | 30 | 25 | 20 | 16.0 | 6 | 錆化(△) | 左側部と上手側の側部が小破面になった椀形鍛冶滓破片。上面が平坦気味で、側部から下面は小さな椀形を示す。見かけ以上に磁着が強く、本来は芯部に含鉄部がより広がった可能性を持つ。そのため、鍛冶作業途上の鉄塊系遺物かもしれない。 |
| 289 | 321 | 3 | 125 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄) | 2区西 | Pit528 | 13F-4C15 | 76 | 82 | 82 | 552.0 | 6 | H (○) | 側部全体がシャープな破面になった、特大の椀形鍛冶滓の中核部破片。破面数は7以上を数える。上面は左側部寄りが盛り上がる形の平坦気味の手で、流動状の滓部と深いヒビ割れが共存する。下面は右側部がせり上がり気味の浅い椀形となる。破面には比較的発達した気孔が点在しているが、滓質は密度が高い。上面左側の盛り上がった部分は、羽口先顎部由来の垂れと考えられる。含鉄部の主体はこの盛り上がる滓の内部で、やや錆色が強い。 |
| 289 | 321 | 3 | 126 | 鉄製品 (鍛造品) 毛抜 (完形) | 2区西 | SX11 | 13F-4E9 | 80 | 20 | 7 | 22.0 | 3 | 錆化(△) | 整った形態を持つ鉄製の毛抜きである。逆U字状の完形品で、直線的に伸びる体部の間隔は約1cmを測り、毛抜き先端部の隙間は3mmを測る。透過X線像を見ると、細かいヒビ割れが内部に生じた状態で保存処理がなされている。横断面形が長方形に加工された細身の鉄棒を折り返して成形された鉄製の毛抜きで、内側が平坦に加工されているのに対して外面は隅の部分が丸められている。 |
| | | 3 | 127 | 木炭 (一括) | 2区西 | SX634 | 13F-4D1 | - | - | - | 14.0 | 1 | なし | SX634から出土した一括木炭である。2cm大以下の木炭片で炭化状態は甘い。また焼損のため角が取れている個体も多い。最も大きな破片には刃物による斜め方向の切断痕あり。炭材にはいずれも年輪数の少ない小径木を用いている。 |
| 290 | 321 | 3 | 128 | 炉壁 (鍛冶炉・滓付き・ 鍛造剥片付き) | 2区西 | - | 13F-4C5 | 36 | 42 | 40 | 33.0 | 3 | なし | 内面に椀形鍛冶滓の一部が厚く付着した鍛冶炉の炉壁破片。滓部分には不規則な気孔や粉炭痕が目立ち、下端部には流動状の垂れが生じている。胎土はスサ入りの粘土質で灰色に被熱している。滓表面の一部に鍛造剥片を含む再結合滓あり。 |
| 290 | 321 | 3 | 129 | 炉壁 (鍛冶炉・ ガラス質滓付き) | 2区西 | - | 13F-4C18 | 65 | 53 | 39 | 78.0 | 1 | なし | 側部6面と外面全体が破面になった鍛冶炉の炉壁破片。内面全体が滓化・発泡しており、表皮は上半部が黒褐色のガラス質で、下半部が錆色の滓化状態になっている。平面的には左側がやや薄く、右側が厚くなっている。外面には粘土質の炉壁土が露出しており、胎土中には僅かにスサが混じえられている。被熱色は内面寄りが厚く灰色となる。 |
| 290 | 321 | 3 | 130 | 炉壁 (鍛冶炉・ ガラス質滓付き) | 2区西 | - | 13F-5E3 | 69 | 63 | 41 | 83.0 | 2 | なし | 前者と類似する厚さ3.5cm程度を測る炉壁破片。側部から外面は全面破面で、内面全体が発泡して黒褐色から暗褐色になっている。内面側の平面形は逆弧状に内側にせり出している。胎土等は前者と同じで、練りが甘いためか全体にヒビ割れが目立つ。 |
| 290 | 321 | 3 | 131 | 炉壁 (鍛冶炉・ 鍛造剥片付き) | 2区西 | - | 13F-4C5 | 37 | 30 | 19 | 10.0 | 1 | なし | 内面の下半が発泡し始めた程度の炉壁小破片。側部4面と外面が破面になっている。内面の上半部は暗灰色の被熱状態で、滓化は進んでいない。内面中段には瘤状の滓部が残り、表面に青光りする鍛造剥片が固着する。胎土中にはやや多めのスサが目立つ。 |
| 290 | 321 | 3 | 132 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・ 炉床土付き・ 工具痕付き) | 2区西 | - | 13F-5C5 | 135 | 129 | 78 | 1274.0 | 6 | H (○) | 上手側の側部が大きな破面になった特大の椀形鍛冶滓。全体の8割方が生きており、左右で外観が大きく異なった形の特異な椀形鍛冶滓になっている。右側部方向に流れた形の椀形鍛冶滓で、下半部では流動単位の先端部や木炭痕様の中空部のために滓表面の出入りが激しくなっている。なお、上面中央部の2箇所が右方向から差し込まれた工具痕による変形のためか二段の樋状に大きく窪んでいる。側部から下面はきれいな椀形で、炉床土の圧痕と木炭痕による凹凸が広がっている。左側部には幅4cm弱を測る帯状の炉床土が張り付いており、やや特異な状態を示す。原因はこの椀形鍛冶滓が成長する過程で右方向からの工具痕により突き動かされて、鍛冶炉の炉壁に沿ってせり上がり来てた履屋を物語るものであろう。滓内部の一部に3cm大を超える大振りの木炭痕を残している。含鉄部は上面表皮寄りか。 |
| 290 | 321 | 3 | 133 | 椀形鍛冶滓 (中・炉床土付き・ 羽口顎部付き) | 2区西 | - | 13F-5C3 | 43 | 41 | 31 | 64.0 | 3 | なし | 上面に羽口顎部の表皮部分が乗っている、扁平な中型椀形鍛冶滓の肩部破片。上手側側部と右下手側の側部の2面が破面で、浅い椀形の底面の一部に灰色の炉床土が固着する。左側部の滓層は上下2枚の重層状態で、肩部が丸みを持って取束する。滓質は緻密ながら気孔も残り、表皮の一部が紫紅色となる。 |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 構成 図 No. | 構成 No. | 遺物名 | 地区名 | | | 計測値 (mm) | | | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル度 | 備 考 |
|--------|-----------|----------|--------|------------------------------|-----|-----|----------|----------|----|----|--------|------|-------|--|
| | | | | | 区 | 遺 構 | グリッド | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 290 | 321 | 3 | 134 | 腕形鍛冶滓 (中・含鉄) | 2区西 | — | 13F-5C5 | 84 | 69 | 58 | 282.0 | 6 | H (○) | 左側部が大破面になった中型の腕形鍛冶滓の肩部破片。右側部から下面はきれいな腕形で、短軸側の両側部は圧痕状に変形している。右側部下手側の上半部は板状に突出する形の肩部になっており、端部に小破面が残る。上面は木炭痕のやや強めの平坦面で、左右の側部には土砂主体の瘤状の付着物が認められる。含鉄部は上面表皮寄りが主体で、芯部にも一部が広がる。 |
| 290 | 321 | 3 | 135 | 腕形鍛冶滓 (極小・含鉄・羽口顎部ガラス質滓付き) | 2区西 | — | 13F-3D11 | 56 | 42 | 30 | 50.0 | 5 | H (○) | 右上手側の上面に羽口先由来の黒色ガラス質滓が乗っている、極小の腕形鍛冶滓。滓部は右側部から下手側の側部が破面で、もとの腕形鍛冶滓の肩部と推定される。側部から下面はやや出入りのある腕形を示す。滓内部に粉炭を噛み込んでいるためか、滓質はやや密度が低い。含鉄部は上面寄りの芯部か。 |
| 290 | 321 | 3 | 136 | 腕形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 2区西 | — | 13F-4E11 | 65 | 69 | 31 | 81.0 | 6 | 錆化(△) | 右側部上手側がシャープな破面になった極小の腕形鍛冶滓。全体に扁平な板状で、上面は浅く窪んだ平滑面になっている。右側部の中央にも小破面あり。表裏面は厚い酸化土砂に覆われており、左寄り表面にはヒビ割れが認められる。外観的には鋳造品破片に良く似ているが、左側部の破面から見ると芯部が腕形鍛冶滓と判断される。ただし、性格的には含鉄気味の鍛錬鍛冶滓であろう。 |
| 290 | 321 | 3 | 137 | 鉄製品 (鍛造品) 刀子 (刃部～茎部) | 2区西 | — | 13F-6C14 | 19 | 69 | 5 | 18.0 | 4 | 錆化(△) | 表面が厚い酸化土砂に覆われた鉄製品破片。左右の側部が破面になっており、透過X線像では刀子の刃部から茎部にかけての破片と推定される。背側の中間部分に低い関があるようにも見えるが、酸化土砂の影響もあり断定しにくい。刃部側と推定される左半部は錆化が進んで芯部が中空化しており、茎部側では鍛造痕がやや乱れている。 |
| 290 | 321 | 3 | 138 | 鉄製品 (鍛造品) 円盤状鉄製品 (紡錘車?) | 2区西 | — | 13F-4D10 | 97 | 91 | 17 | 138.0 | 2 | 錆化(△) | 左側部の2箇所が直線状に欠けている薄い円盤状の鉄製品。表面には酸化土砂が厚く、透過X線像によれば見掛け以上に錆化が進んでいる。平面形は不整形で、3mm以下の厚みを持つ鉄製品と推定される。外観的には刀の鑿様ではあるが明瞭な臍穴が読み取れないため、大型の紡錘車の疑いが強い。透過X線像では中央部に径4mm以下の小穴があるように見えるが、不明瞭。上面は浅く窪んでおり、平坦な下面が右側部寄りでは斜め方向にせり上がっている。 |
| 290 | 321 | 3 | 139 | 鉄製品 (鍛造品) 袋状鉄斧 (刃部先端側 両角欠落か) | 2区西 | — | 13F-4D20 | 109 | 56 | 19 | 251.0 | 5 | L (●) | 分厚い酸化土砂に覆われている短い短冊状の鉄製品。透過X線像によれば、刃先側が欠け、または使用減りのために変形した完形に近い袋状鉄斧であることが分かる。幅は3.3cm程度を測り、長さは7.7cm前後になる。袋部は左右から折り返されて、中間部分が7mm程の隙間になっている。刃先は肩部が斜めに減っている様にも見え、全体形状は乱れた山型になっている。錆化による放射割れも体部半ばを中心に激しい。 |
| 290 | 321 | 3 | 140 | 鉄製品 (鍛造品) 棒状不明 (体部～足部) | 2区東 | — | 13F-1F11 | 66 | 21 | 13 | 15.0 | 4 | 錆化(△) | 厚い酸化土砂に覆われた棒状の鉄製品破片。上手側は破面で、下手側に向かい細くなる形で収束している。破面側の横断面形は丸棒状で、下手側の足部様の部分では方形になる。釘とまでは言い切れないため、棒状不明品としておく。 |
| 290 | 321 | 3 | 141 | 鉄製品 (鍛造品) 刀子 (刃部) | 2区東 | — | 13F-2G16 | 20 | 33 | 7 | 7.0 | 2 | 錆化(△) | 左右の側部が破面になった刀子の刃部破片。中間部分の表裏面は酸化土砂に覆われており、左右の端部には薄い三角形の断面形が露出している。透過X線像によれば、錆化のためか背側に比べて刃部側の劣化が激しい。 |
| 290 | 321 | 3 | 142 | 鉄製品 (鍛造品) 鎌 (刃部) | 2区東 | — | 13F-2E10 | 38 | 31 | 13 | 14.0 | 4 | 錆化(△) | 身幅3cm前後を測る鎌の刃部破片。表裏面は酸化土砂に覆われ、左右の側部に鎌の断面形が露出する。左側部の破面は芯部が錆化して中空気味になっている。刃部先の右側の部分は錆化または古い欠けではないかと推定される。 |
| 290 | 321 | 3 | 143 | 鉄製品 (鍛造品) 釘 (体部～足部) | 2区東 | — | 13F-3E15 | 59 | 20 | 8 | 13.0 | 3 | 錆化(△) | ゴツゴツした酸化土砂に覆われた釘の体部から足部にかけての破片。透過X線像では上手側の端部寄りが釘の頭部様に見えるが、この部分は錆膨れと判断される。そのため釘としては頭部側と足部先を欠いている。横断面形は方形と推定され、足部側が緩やかに折れ曲がっている。 |
| 290 | 321 | 3 | 144 | 鉄製品 (鍛造品) 釘状不明 (体部～足部) | 2区東 | — | 13F-1F18 | 45 | 14 | 5 | 4.0 | 2 | 錆化(△) | 上手側の端部が破面になった釘の体部から足部にかけての破片と推定される鉄製品破片。表面の酸化土砂が少なため外観が分かりやすい資料である。横断面形は5mm幅程度の方形で、全体が弧状に折れ曲がった状態を示す。特に足部側の1.7cm程度の部分は「への字状」に折れている。 |
| 290 | 321 | 3 | 145 | 鉄製品 (鍛造品) 釘状不明 (頭部～体部) | 2区東 | — | 13F-1F2 | 64 | 24 | 10 | 21.0 | 3 | 錆化(△) | 外周部がやや厚い酸化土砂に覆われた釘状不明品破片。下手側の端部は芯部が錆化して中空化した破面で、断面形は方形気味になる。上手側の端部は頭部が開いた形で残っている様に見えるが、明瞭ではない。透過X線像では細身の鉄製品を内部に確認することが出来、上手側の横幅は約6mmを測る。 |
| 290 | 321 | 3 | 146 | 鉄製品 (鍛造品) 棒状不明 (体部) | 2区東 | — | 13F-2F20 | 60 | 21 | 22 | 30.0 | 4 | H (○) | 厚い酸化土砂に覆われた棒状不明品破片。透過X線像によれば両端部が破面になっており、幅6.5mm程の方形断面を持つ鉄製品破片であることが分かる。鉄製品自体は錆化が進み、中空化した部分や変形部分も生じている。 |

第5表 第24次調査 鍛冶関連遺物分析資料一覧表

| 分析資料 番号 | 地区名 | 遺構名 | 構成 No. | 遺物種類 | 重量 (g) | 磁着 度 | メタル 度 | 分析コメント | マクロ | 検鏡 | 硬度 | EPMA | X線 回折 | 化学 分析 | 耐火度 | カロリ- | 放射化 分析 | 断面 樹脂 | 分析位置 指定 | 採取 方法 | 観察 | モノクロ | カラー | 実測図 | 前含浸 | X線 透過 |
|------------|-----|-------------------|-----------|----------------------------------|-----------|---------|-----------|----------|-----|----|----|------|----------|----------|-----|------|-----------|----------|-------------|------------|----|------|-----|-----|-----|----------|
| 1 | 2区東 | SD98 13F-2F20 | 9 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄) | 2036 | 3 | 錆化 (△) | 滓部を中心に | - | ◎ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | 短軸端部 1/5 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 2 | 2区東 | 包含層 12F-9H24 | 21 | 椀形鍛冶滓 (大・含鉄・工具痕付き) | 486 | 6 | 錆化 (△) | 滓部を中心に | - | ◎ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | 長軸端部 1/5 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 3 | 2区東 | 包含層 13F-3G22 | 23 | 椀形鍛冶滓 (小・含鉄・工具痕付き) | 196 | 3 | 錆化 (△) | 滓部を中心に | - | ◎ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | 長軸端部 1/4 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 4 | 2区東 | 包含層 13F-3F6 | 28 | 椀形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 52 | 3 | 錆化 (△) | 滓部を中心に | - | ◎ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | 短軸端部 1/2 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 5 | 2区西 | SK474 13F-3D21 | 47 | 木炭 (一括) | 70 | 1 | なし | 木炭として | - | ◎ | - | - | - | ○ | - | ○ | - | - | 必要量 | 選 択 | ○ | ○ | ○ | - | - | - |
| 6 | 2区西 | SK522 13F-4C9 | 51 | 炉壁 (鍛冶炉・滓付き・ 鍛造剥片付き) | 37 | 3 | なし | 炉壁として | - | ◎ | - | - | - | - | - | - | - | - | 短軸端部 1/3 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 7 | 2区西 | SK522 13F-4C9 | 54 | 羽口 (鍛冶・先端部~体部) | 232 | 4 | なし | 羽口として | - | ◎ | - | - | - | - | ○ | ○ | - | - | 短軸端部 1/3 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 8 | 2区西 | SK522 13F-4C4 | 58 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・重層・ 工具痕付き) | 968 | 6 | H (○) | 滓部を中心に | - | ◎ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | 長軸端部 1/4 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 9 | 2区西 | SK522 13F-4C9 | 76 | 椀形鍛冶滓 (中・含鉄) | 259 | 6 | H (○) | 滓部を中心に | - | ◎ | - | ○ | ○ | ○ | - | - | - | - | 短軸端部 1/4 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 10 | 2区西 | SK522 13F-4C9 | 82 | 椀形鍛冶滓 (極小?・再結合滓付き・ 鍛造剥片付き) | 28 | 5 | なし | 滓部を中心に | - | ◎ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | 短軸端部 1/2 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 11 | 2区西 | SK522 13F-4C9 | 95 | 粒状滓 (5点) | - | 1 | なし | 粒状滓として | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | 必要品 | 選 択 | ○ | ○ | ○ | - | - | - |
| 12 | 2区西 | SK522 13F-4C9 | 97 | 鍛造剥片 (8点) | - | 3 | なし | 鍛造剥片として | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | 必要品 | 選 択 | ○ | ○ | ○ | - | - | - |
| 13 | 2区西 | SD3 13F-4E21 | 103 | 鉄製品 (鍛造品) 鏝状不明 | 12 | 4 | L (●) | メタル部を中心に | ○ | - | ◎ | ○ | ○ | - | - | - | - | ○ | 長軸端部 1/3 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 14 | 2区西 | SD54 13F-5C4 | 107 | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・炉床土付き) | 1479 | 6 | H (○) | 滓部を中心に | - | ◎ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | 長軸端部 1/4 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 15 | 2区西 | SD143 13F-4C24 | 115 | 椀形鍛冶滓 (小・含鉄・重層) | 199 | 6 | H (○) | 滓部を中心に | - | ◎ | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | 短軸端部 1/3 | 直線状 の切断 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |

第6表 第24次調査 沖ノ羽遺跡鍛冶関連遺物分析資料詳細観察表

分析資料番号 1

| 出土状況 | 遺跡名 | | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 9 | | | 項目 | 滓 | メタル |
|-----------|--|------------|---------------------|------------|-------|----------------|-----|------|----|---|-----|
| | 出土位置 | | 2区東 SD98 (13F-2F20) | | | 古代～中世：出土土器 | | | | | |
| 試料記号 | 検鏡： OKH-1 | 計測値 | 長径 14.4 cm | 短径 15.3 cm | 色調 | 表：茶褐色～濃茶褐色～黒褐色 | 遺存度 | ほぼ完形 | 分 | ◎ | |
| | 化学： OKH-1 | | | | | 地：濃茶褐色～黒褐色 | 破面数 | 2 | | | |
| 遺物種類 (名称) | 放射化： — | 厚さ 11.8 cm | 重量 2036 g | 磁着度 | 3 | 前含浸 | — | 析 | ○ | | |
| | 梲形鍛冶滓 (特大・含鉄) | | | | | | | | | | |
| 観察所見 | <p>上面右上手側と下面に分厚い酸化土砂が固着した特大の梲形鍛冶滓。左上手側の側部と左下手側の側部の都合2面が破面になっているが、ほぼ完形に近い梲形鍛冶滓である。分厚い2kgを超える滓で、見かけ以上に重量感を持っている。上面は半流動状の平滑面に近く、下手側の上面表皮が割れて左右で段差を生じている。左寄りの側部に見られる破面は垂直方向に割れて、内部の気孔が点々と露出する。生きている側部から下面は立ち上がりやや急で、底面は浅い梲形になっている。右上手側の側部下半が部分的に突出する。下手側の側部は出入がやや激しく、一部が突出して工具痕流入滓様の外観を示す。滓の平面形は左右方向にやや長手の不整形円で、肩部が部分的に乱れている。透過X線像では滓の厚みに妨害されて内部情報が読み取りにくい。確認できるのは外周部沿いの中小の気孔の分布のみである。表面からの磁着反応に大きな変化は認められず、鉄部の位置がはっきりしない。色調は分厚い酸化土砂部分が茶褐色で、滓表面は濃茶褐色から黒褐色となる。地も濃茶褐色から黒褐色。</p> | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 長軸端部1/5を直線状に切断し、滓部を中心に分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | | |
| 備考 | <p>沖ノ羽遺跡第24次調査区は2区西と2区東の両地区に分かれているが、南北方向に伸びる水路を挟んでほぼ東西方向に連続する調査区である。両地区から出土した鉄関連遺物を代表化して構成図上では146点を報告対象資料にしている。内訳は2区東地区が40点で、2区西地区が106点からなっている。分析資料としては2区東地区から4点を選択している。内訳はSD98出土の特大梲形鍛冶滓が1点、以下包含層中の出土品から大・小・極小のそれぞれ1点ずつを組み合わせた。分析意図としては2区東地区全体を見渡しても鉄関連遺物自体が少なく、かつ多量に遺物が出土した遺構が認められない事から、東地区全体の傾向を読み取る事にして工程的に先行する可能性のある特大の梲形鍛冶滓から、鍛冶の最終工程に伴うことの多い極小の梲形鍛冶滓までの一連の流れを把握する分析目的を持つ。2区東地区からは鍛冶関連遺物自体は検出されておらず、構成された鉄関連遺物のみが出土している遺構は14箇所の遺構と包含層である。内訳はSE65、SKが356・927、SXが882、SDが15・78・98・128・404・422・636・743、Pitが561・670・689である。包含層中からの出土は11箇所を数える。次に2区の東西両地区を含めて考えると、沖ノ羽遺跡第24次調査区の内でも2区西地区のSK522が構成数146点中54点と1/3が集中する上に、あらゆる鍛冶関連遺物が含まれていることが分かる。この2区西地区SK522土坑と本資料の出土した2区東地区SD98との関係は、東西方向に約33m程離れているが、まったく無関係とも言い切れない距離である。なお、SD98からは関連する資料として鍛冶炉の炉壁と羽口に加えて鉄製品が数点出土している。</p> | | | | | | | | | | |

分析資料番号 2

| 出土状況 | 遺跡名 | | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 21 | | | 項目 | 滓 | メタル |
|-----------|---|-----------|--------------------|-----------|-------|------------|-----|----|----|---|-----|
| | 出土位置 | | 2区東 包含層 (12F-9H24) | | | 古代～中世：出土土器 | | | | | |
| 試料記号 | 検鏡： OKH-2 | 計測値 | 長径 12.6 cm | 短径 9.8 cm | 色調 | 表：濃茶褐色～黒褐色 | 遺存度 | 破片 | 分 | ◎ | |
| | 化学： OKH-2 | | | | | 地：濃茶褐色～黒褐色 | 破面数 | 5 | | | |
| 遺物種類 (名称) | 放射化： — | 厚さ 5.6 cm | 重量 486 g | 磁着度 | 6 | 前含浸 | — | 析 | ○ | | |
| | 梲形鍛冶滓 (大・含鉄・工具痕付き) | | | | | | | | | | |
| 観察所見 | <p>下手側の側部3面と左右の側端部の一部が破面になった大型の梲形鍛冶滓の半欠品。左方向に向かって肥厚しており、上面左端部には3cm大前後の大きさを持つ扁平塊状の滓が乗っているようにも見える。滓上面には2cm大以下の木炭痕が目立ち、上手側の側部から下面にかけては粉炭痕や小さな出入が連続する。また、滓内部にも右上手側を中心に中空部が確認され、そのいずれもが木炭痕と判断される。下手側の側部から左側部上半がざらざらした滓の破面になっており、工具痕がかすかに確認されることから、人為的な破面と推定される。この破面は羽口先下の滓部を灰床部分から取り外す際に残されたものか。上手側の側部から下面はごく一部に灰床土とみられる灰色の土部分を残し、9割以上の部分は左右方向に伸びる浅い樋状を示す。表面には中小の木炭痕が連続する。磁着傾向が強いのは上面左端部の小塊状の部分のみで、それ以外は通常の鍛冶滓部分になっている。透過X線像によれば、右上手側方向の滓部は木炭痕や内部の気孔が目立ち密度は低い。他方、左下手方向は表面に小振りの木炭痕が確認されるものの、滓内部は微細な気孔の残る比較的密度の高い滓層になっている。色調は表面の酸化土砂が濃茶褐色で、滓表面は黒褐色となる。地の滓は濃茶褐色から黒褐色。</p> | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 長軸端部1/5を直線状に切断し、滓部を中心に分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | | |
| 備考 | <p>2区東地区出土の40点の構成資料から代表化して分析資料に選定した4点の内1点である。包含層出土の分析資料No.2から4の3点に加えて、分析資料No.1がセットとして分析設計されている。資料自体は下手側の側部と中心に工具により突き崩されて本来の大きさの3分の2から半分程度になっている可能性が高い。従って現状の重量自体は486gを測るがもとの大きさとしては1000g前後になるものと予測される。重層の認められない大型の梲形鍛冶滓資料として分析用に選択されている。出土位置は2区東調査区の北東端で、周辺部には鉄関連遺物の出土は殆ど認められない。また、分析資料No.1・3・4の出土位置からは、北東方向におよそ38m程離れている。</p> | | | | | | | | | | |

分析資料番号3

| 出土状況 | 遺跡名 | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 23 | | | 項目 | 滓 | メタル |
|-----------|--|--------------------|-----------|--------|------------|-----|------|-----------|-----|-----|
| | 出土位置 | 2区東 包含層 (13F-3G22) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | |
| 試料記号 | 検鏡：OKH-3 | 計測値 | 長径 8.4 cm | 色調 | 表：茶褐色～黒褐色 | 遺存度 | ほぼ完形 | 分 | マクロ | |
| | 化学：OKH-3 | | 短径 7.0 cm | | 地：濃茶褐色～黒褐色 | 破面数 | 1 | | | |
| 遺物種類 (名称) | 腕形鍛冶滓 (小・含鉄・工具痕付き) | 厚さ 3.5 cm | 磁着度 | 3 | 前含浸 | — | 析 | X線回折化学耐火度 | ◎ | ○ |
| | | 重量 196 g | メタル度 | 錆化 (Δ) | 断面樹脂 | — | | | | |
| 観察所見 | <p>左側部が欠けた様に欠けている、ほぼ完形に近い小型の腕形鍛冶滓。上面は半流動状の平滑面で、中央部に向かって浅く窪んでいる。地部分の滓表面は暗紫紅色。上面中央よりやや右手には突き刺した様な工具痕が残されており、左側部の破面も同じ工具痕由来の可能性がある。平面形は左右方向に伸びる不整楕円形で、右側部中央が扁平塊状に突出する。側部から下面は中央部寄りがやや塊状に突出するものの、全体的には腕形を示す。下手側の側部中段に2cm以下の木炭痕が点在するが、残る側部から下面は粉炭痕と炉床土の圧痕に覆われている。破面には微細な気孔が露出し、見かけの割には比重が高い。透過X線像によれば滓内部にも微細な気孔がほぼ均等に広がっている。また、中心部寄りの3cm程度の部分から右側の突出部の芯部にかけて含鉄部と推定される範囲が読み取れる。特に、右上手側に突出する含鉄部では周辺の滓部との境界線がはっきり区別される。磁石による磁着反応はこの透過X線像とほぼ対応しており、滓上面寄りの芯部が含鉄部である事を窺わせる。色調は表面に点々と残る酸化土砂部分が茶褐色で、滓部分は表面、地とも濃茶褐色から黒褐色となる。</p> | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 長軸端部1/4を直線状に切断し、滓部を中心に分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | |
| 備考 | <p>工具により2箇所が変形しているが完形に近い小型の腕形鍛冶滓である。2区東地区の包含層出土の資料で、40点の構成遺物中から小型の腕形鍛冶滓の代表として分析設計されている。出土位置的には2区東調査区の南西角にあたる地区で、調査区を見渡しても腕形鍛冶滓が比較的集中出土している範囲にあたる。構成資料中では10m程度の範囲に少なくとも7点の腕形鍛冶滓が出土している。なお、周辺の遺構や包含層からは点数は少ないが粘土質溶解物と鉄製品が出土しており、10m範囲に広げれば、鍛冶炉の炉壁や羽口に加えて鉄塊系遺物や鉄製品が確認されている。</p> | | | | | | | | | |

分析資料番号4

| 出土状況 | 遺跡名 | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 28 | | | 項目 | 滓 | メタル |
|-----------|--|-------------------|-----------|--------|------------|-----|-------|-----------|-----|-----|
| | 出土位置 | 2区東 包含層 (13F-3F6) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | |
| 試料記号 | 検鏡：OKH-4 | 計測値 | 長径 4.2 cm | 色調 | 表：茶褐色～黒褐色 | 遺存度 | ほぼ完形 | 分 | マクロ | |
| | 化学：OKH-4 | | 短径 5.3 cm | | 地：茶褐色～黒褐色 | 破面数 | 1 (2) | | | |
| 遺物種類 (名称) | 腕形鍛冶滓 (極小・含鉄) | 厚さ 2.0 cm | 磁着度 | 3 | 前含浸 | — | 析 | X線回折化学耐火度 | ◎ | ○ |
| | | 重量 52 g | メタル度 | 錆化 (Δ) | 断面樹脂 | — | | | | |
| 観察所見 | <p>平面、不整三角型をした極小の腕形鍛冶滓。左下手側の側部下半から下面に小破面が生じているが、ほぼ完形に近い滓と見られる。上下面とも木炭痕による凹凸が生じており、綺麗な滓にはなりきれていない。滓量の少なさの為か。上面は不規則な波状で、下面は浅い粉炭痕の残る皿状になっている。表面の8割方が二次的な酸化土砂に覆われており、弱いながらも全体的に磁着傾向を示す。透過X線像によれば、滓内部には微細な気孔が広がり、左寄りの芯部に僅かに含鉄部が生じている可能性があろう。色調は表面の酸化土砂が茶褐色で、滓部分は表面、地とも黒褐色になっている。</p> | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 短軸端部1/2を直線状に切断し、滓部を中心に分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | |
| 備考 | <p>2区東地区出土の鉄関連遺物の構成資料から代表化して分析資料に選定した40点の内1点である。腕形鍛冶滓としては極小サイズで、出土遺構は異なるが分析資料No.1から4までの一連の腕形鍛冶滓により鍛冶工程の前後を把握する目的を持ち、分析設計の上では最終工程と想定している腕形鍛冶滓の一つである。分析資料No.1の大型の腕形鍛冶滓とは東西方向に10m程離れた出土状態で、分析資料No.3の腕形鍛冶滓は斜め南北方向に15m弱離れた出土位置になる。ごく周辺には鍛冶関連遺物の出土は少なく、2区西地区のSK522土坑とは東西方向に22m離れている。</p> | | | | | | | | | |

分析資料番号 5

| 出土状況 | 遺跡名 | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 47 | | | | 項目 | 木炭 | |
|--------------|---|----------------------|------|---------|------------|---------|-------|--------------------------|-----|------------------|---|
| | 出土位置 | 2区西 SK474 (13F-3D21) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | | |
| 試料記号 | 検 鏡： OKH-5 | 計 測 値 | 長 径 | — cm | 色 調 | 表： 黒 色 | 遺 存 度 | — | 分 析 | マ ク ロ | ◎ |
| | 化 学： OKH-5 | | 短 径 | — cm | | 地： 黒 色 | 破 面 数 | — | | 検 鏡 度 E P M A | |
| 遺物種類 (名称) | 木炭 (一括) | 厚 さ | — cm | 磁 着 度 | 1 | 前 含 浸 | — | X線回折 化 学 耐 火 度 | ○ | | |
| | | 重 量 | 70 g | メ タ ル 度 | な し | 断 面 樹 脂 | — | カ ロ リ ー 放 射 化 X線透過 | | | |
| 観察所見 | SK474から出土した一括木炭の一部。3cm大から1cm程度の木炭で、表面や内部に沖ノ羽遺跡の土壌とみられる灰褐色の土砂が目立って固着する。また焼損の為か、表面や端部が丸みを持っている個体も目立つ。比較的小径木を炭材に用いている資料で、材の曲がり部分も確認される。炭化は甘く菊割れ等は見られない。伏せ焼きによる木炭であろうか。年輪や導管の状況からは様々な樹種の混在物と推定される。表面の一部に鉄系の酸化物が薄皮状に固着する資料も含まれており、これらは比較的小振りの木炭に目立っている。但し、資料全体から言えば個体数としては多いが、比率的には2割以下である。色調は表面の土砂部分が灰褐色で、木炭部分はややくすんだ黒色となる。 | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 必要量を選択し、木炭として分析に用いる。残材返却。(同一資料から別途、AMS、 ¹⁴ C年代測定用のサンプル4片(1g)を抽出している。) | | | | | | | | | | |
| 備 考 | 沖ノ羽遺跡の第24次調査2区西の調査区から出土した鉄関連遺物106点の内の1点である。SK474は3cm大以下の木炭のみが出土している土坑で、明らかに鍛冶関連遺構と推定されるSK522とは東西方向に5m程離れている。この両遺構からの出土遺物は極めて特徴的で、SK474からは木炭のみが出土しているのに対して、SK522からは木炭や鉄製品を除く鍛冶関連遺物の各種類のみが集中的に出土している。SK474には滓類が含まれず、もう一方のSK522では木炭が認められないという事実は、両遺構の位置関係や出土品を総合的に考えると、それぞれが選別的に廃棄されている可能性がある。そのいずれもの遺構がセットとなる可能性が高い。従ってSK522出土資料から構成した54点の鉄関連遺物の内、分析資料No.6から12までの6点と本資料が一連のものである可能性が高そうである。なお、木炭の一部に明らかに鉄系の酸化物が付着していることも傍証となろう。また、酸化物の付着している木炭は、1.5cm大以下のより小さな個体が主体となる。 | | | | | | | | | | |

分析資料番号 6

| 出土状況 | 遺跡名 | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 51 | | | | 項目 | 滓 | 胎土 |
|--------------|---|---------------------|--------|---------|------------|--------------------|-------|--------------------------|-----|------------------|----|
| | 出土位置 | 2区西 SK522 (13F-4C9) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | | |
| 試料記号 | 検 鏡： OKH-6 | 計 測 値 | 長 径 | 6.1 cm | 色 調 | 表：濃茶褐色～黒褐色・ 灰褐色 | 遺 存 度 | 破片 | 分 析 | マ ク ロ | ◎ |
| | 化 学： — | | 短 径 | 5.5 cm | | 地：黒褐色・灰褐色 | 破 面 数 | 6 | | 検 鏡 度 E P M A | |
| 遺物種類 (名称) | 炉壁 (鍛冶炉・滓付き・ 鍛造剥片付き) | 厚 さ | 2.3 cm | 磁 着 度 | 3 | 前 含 浸 | — | X線回折 化 学 耐 火 度 | | | |
| | | 重 量 | 37 g | メ タ ル 度 | な し | 断 面 樹 脂 | — | カ ロ リ ー 放 射 化 X線透過 | ○ | | |
| 観察所見 | 側部5面と外面を加えて都合6面が破面になった鍛冶炉の炉壁表面破片。平面形は弧状で、内面中央部側が溶損のため大きく窪んでいる。上端肩部は流動状に滓化して一部が垂れている。また、内面の8割以上に濃茶褐色の二次的な酸化土砂が薄皮状に広がり、青光りするごく薄手の鍛造剥片が多量に顔を出す。鍛造剥片の表面的な大きさは最大片が2mm大で、多くは0.7mm大以下となっている。外面は炉壁土の剥離面になっており、褐色系に被熱する粘土質の炉壁土が広がっている。炉壁土中は粉殻やスサ等の混和物が認められないが、ごく一部に何らかの植物質が混入されている疑いを残す。透過X線像によれば、内面寄りの炉壁土がガラス質に滓化して、径2mm大以下の気孔が無数に生じている。滓化部分の厚みは右下端部で約1cmを計る。色調は内面の酸化土砂部分が濃茶褐色で、滓化部分は黒褐色。外面の炉壁土部分は褐色から灰褐色になっている。地は滓化部分が黒褐色。 | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 短軸端部1/3を直線状に切断し、鍛冶炉の炉壁として分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | | |
| 備 考 | 2区西地区の出土品から構成した鉄関連遺物106点の内の1点である。分析資料No.6から12までの6点は、SK522土坑出土の鍛冶関連遺物のセットとして分析設計されている。鍛冶炉の炉壁から羽口、腕形鍛冶滓類各種に加えて、粒状滓と鍛造剥片の組み合わせになる。SK522並びにSB4を中心とした鉄関連遺物の種類別の分布図を作成してみると、両遺構から離れた場所では出土量が極めて薄く、逆に両遺構の廻りを取り囲むような5mから10m程度の範囲に鉄関連遺物の分布密度が高いという事が明瞭である。実際に分布図の上では環状の様に、東西二群の様にも見えている。鉄関連遺物を出土遺構別に見ると、炉壁はSD422と包含層の13F-4C18から出土する。羽口はSD54から複数点出土している。腕形鍛冶滓は最も出土量が多く遺構数も多い。SEからは9・39・86・187・226・230からの出土が認められ、深い遺構に伴う様な印象を持つ。加えてSD54・143・422・Pit528が加えられる。鍛冶滓はSD54とPit25が、粘土質溶解物はSE9、SD358・422・631から出土している。これら傾向を見ても明らかにSK522並びにSB4を中心として、やや離れた形で出土している事が分かる。これは鍛冶工房からの鍛冶関連遺物の廃棄のパターンとしてよく認められる形である。その意味でSK522とSB4は鍛冶工房自体か、あるいはごく接近した遺構ではなかったかと予想される。 | | | | | | | | | | |

分析資料番号7

| 出土状況 | 遺跡名 | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 54 | | | 項目 | 滓 | 胎土 |
|----------|---|---------------------|--------|-------|---------------|------|----|----|-----------|----|
| | 出土位置 | 2区西 SK522 (13F-4C9) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | |
| 試料記号 | 検鏡：OKH-7 | 計測値 | 長径 | 色調 | 表：茶褐色～灰褐色～黒褐色 | 遺存度 | 破片 | 分 | マクロ | ◎ |
| | 化学：OKH-7 | | 短径 | | 地：茶褐色～赤褐色～黒褐色 | 破面数 | 5 | | | |
| 遺物種類(名称) | 羽口 (鍛冶・先端部～体部) | 厚さ | 3.9 cm | 磁着度 | 4 | 前含浸 | — | 析 | X線回折化学耐火度 | ○ |
| | | 重量 | 232 g | メタル度 | なし | 断面樹脂 | — | | | |
| 観察所見 | <p>鍛冶羽口の先端部から体部にかけての破片。2片に割れたものをエポキシ系の接着剤で接合している。残存部位は羽口正面から見て左側部から頸部にかけての破片で、右側の上部が欠けた径の半分程度が残されている。内面には径3cm前後を計る直孔と推定される通風孔部が確認され、外面は先端部から肩部にかけてが丸みを持ったガラス質に滓化・溶損する。破面は側部側の3面と体部側2面の都合5面を数える。体部表面のうち頸部側は薄皮状で錆色の滓層が生じ、側部側の体部表面は表層のみ発泡して灰褐色から濃茶褐色の斑状になっている。肩部上端の小範囲が不規則に滓化して窪んでおり、ひび割れ由来の変形かもしれない。羽口の肉厚は3.3cm前後を計る。羽口胎土は粉炭や小塊を混じえたざっくりした密度の低いもので、砂粒と見られる石英質主体の微細鉱物が多量に含まれている。羽口先端側の溶損角度は不明瞭で、頸部側の肩部も一様に斜めにガラス質滓化していることから、使用角度の緩さを窺わせる。色調は表面に部分的に残る酸化土砂や頸部の滓層が茶褐色で、羽口体部外面が灰褐色。先端肩部は黒褐色基調になっている。羽口の地の部分は通風孔部沿いが赤褐色で、被熱のやや弱い胎土部分では茶褐色を示す。ガラス質滓化した先端から肩部にかけの表層は5mm程度の厚さ部分が黒褐色になる。</p> | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 短軸端部1/3を直線状に切断し、羽口として分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | |
| 備考 | 2区西地区の出土品から構成した鉄関連遺物106点の内の1点である。分析資料No.6から12までの6点はSK522土坑出土の鍛冶関連遺物のセットとして分析設計されている。鍛冶炉の炉壁から羽口、椀形鍛冶滓各種に加えて、粒状滓と鍛造剥片の組み合わせになる。SK522出土品から構成した、構成No.54から56までの3点の羽口の内の1点である。構成No.56は羽口全体の分かる資料であり、構成No.55は先端の溶損部の存在しない体部の破片のため、分析資料から除外した。本資料は羽口先端部から体部にかけての資料で、分析には最も良い条件を備えている。3点の羽口のいずれもが、肉厚のある通風孔径が3cm前後を計る形態を持っている。ほぼ同様の羽口が同じ2区西のSD54からも集中的に出土しており、両遺構が関わりがあることを読み取れる。構成No.104から106までの3点である。なお、2区東地区のSX882とSD98に加えて、包含層の13F-2F24から都合3点の羽口が構成されているが、西地区の一連の羽口に比べて細身で、形状がまったく異なる資料である。一般的な傾向から言えば、2区東地区の羽口の方が古代的で、本資料含む2区西出土羽口の方がより中世的ではあろう。 | | | | | | | | | |

分析資料番号8

| 出土状況 | 遺跡名 | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 58 | | | 項目 | 滓 | メタル |
|----------|---|---------------------|--------|-------|----------------|------|------|----|-----------|-----|
| | 出土位置 | 2区西 SK522 (13F-4C4) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | |
| 試料記号 | 検鏡：OKH-8 | 計測値 | 長径 | 色調 | 表：茶褐色～濃茶褐色～黒褐色 | 遺存度 | ほぼ完形 | 分 | マクロ | ◎ |
| | 化学：OKH-8 | | 短径 | | 地：濃茶褐色～黒褐色 | 破面数 | 2 | | | |
| 遺物種類(名称) | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・重層・工具痕付き) | 厚さ | 7.4 cm | 磁着度 | 6 | 前含浸 | — | 析 | X線回折化学耐火度 | ○ |
| | | 重量 | 968 g | メタル度 | H (○) | 断面樹脂 | — | | | |
| 観察所見 | <p>左側部寄りの2面が破面になった重層気味の特大または大型の椀形鍛冶滓。上手側の側部から左側部の破面にかけては滓の隙間が生じており、上下2枚の滓単位の重層と推定される。上半部の滓の上面はごく浅い皿状で、木炭痕らしき窪みが連続する。なお、右上手側の表面は粉炭痕を含む酸化土砂が厚い。下半部の滓部は上半部の滓に比べて2倍以上の厚みを持ち、滓の中心部が左側にずれている。また、破面下半部の滓部の方がやや大きい。下半部の滓部の側部から下面は部分的に凹凸の目立つ椀形で、より左手の部分が最も肥厚する。下手側の側部下半には斜めに差し込まれた工具痕が3箇所に確認される。いずれも工具痕は下手側から弱い角度で差し込まれた状態を示す。磁着傾向は上半部の滓の上面表皮沿いが広く反応を示す。下半部の滓の側面から下面は炉床土の圧痕と木炭痕が混在し、瘤状の滓の突出部の存在は工具痕流入滓の疑いを持つ。滓質は気孔を残しながらも上下の滓とも緻密で、見かけの大きさより比重が高い。下面には点々としてごく薄手の鍛造剥片が固着しており、色調は銀色に近く光沢を持つ。透過X線像によれば外周部は幅広い微細な気孔を含むスポンジ状で、やや左寄りの芯部の密度が高いことが分かる。含鉄部は上半部の滓層中でもやや左寄りの4cm大前後の範囲か。色調は表面の酸化土砂が茶褐色で、滓部は表面、地とも濃茶褐色から黒褐色を示す。</p> | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 長軸端部1/4を直線状に切断し、滓部を中心に分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | |
| 備考 | 2区西地区の出土品から構成した鉄関連遺物106点の内の1点である。分析資料No.6から12までの6点はSK522土坑出土の鍛冶関連遺物のセットとして分析設計されている。鍛冶炉の炉壁から羽口、椀形鍛冶滓各種に加えて、粒状滓と鍛造剥片の組み合わせになる。椀形鍛冶滓としては特大・中・極小の3点を組み合わせており、本資料が最も大型の資料ということになる。但し、見方によっては左側部側に露出する滓層の中段上半と下段に段を生じている様子も見え、上・中・下の3段の重層という疑いもやや残る資料である。また鉄関連遺物の出土分布傾向の上ではSK522とSK474を結ぶラインより南寄りに出土分布の比重が高いことが分かる。その上でSK522はPit528を含むSB4掘立柱建物の内側に位置している事が分かる。従って鉄関連遺物の出土傾向がSK522を中心としながらも、Pit528からの椀形鍛冶滓の出土と周辺部での分布傾向がやや南に寄るといふ点から、SB4掘立柱建物が鍛冶工場の主屋であり、この建物内のより南側が鍛冶工場自体の中心部ではなかったかという疑いを持つ。こうした仮定に立つとSK522は鍛冶工場の廃棄土坑であり、SK474等は庭先にある廃棄土坑で、さらに前庭と裏庭のやや離れた空間に各種の鍛冶関連遺物が投棄されているという姿が浮かび上がる。なお、分析資料No.3とした2区東地区の13F-3G22グリッド周辺での椀形鍛冶滓の出土が濃い傾向は、2区東地区南西部の調査区外に西地区SB4とは別の鍛冶遺構があったのではないかという疑いを抱かせる。 | | | | | | | | | |

分析資料番号 9

| 出土状況 | 遺跡名 | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 76 | | | | 項目 | 滓 | メタル |
|-----------|---|---------------------|-------------|-------|------------|-------|---------------|-----|---------------|---|-----|
| | 出土位置 | 2区西 SK522 (13F-4C9) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | | |
| 試料記号 | 検 鏡： OKH-9 | 計 測 値 | 長 径 8.2 cm | 色 調 | 表：茶褐色～濃茶褐色 | 遺 存 度 | ほぼ 完形 | 分 析 | マ ク ロ | | |
| | 化 学： OKH-9 | | 短 径 10.1 cm | | 地：濃茶褐色～黒褐色 | 破 面 数 | 5 | | 検 鏡 度 E P M A | ◎ | |
| 遺物種類 (名称) | 梘形鍛冶滓 (中・含鉄) | 厚 さ 4.9 cm | 磁 着 度 | 6 | 前 含 浸 | — | X線回折 化学 耐火 度 | ○ | | | |
| | | 重 量 259 g | メ タ ル 度 | H (○) | 断 面 樹 脂 | — | カ ロ リ ー 放 射 化 | | | | |
| 観察所見 | <p>右側部と左下側の側部が破面になった中型の梘形鍛冶滓の中核部から側部にかけての破片。破面数は5面を数える。上面は平坦面に近く表層を粉炭を多量に含む酸化土砂が覆っている。側部から下面は梘形で、右下手寄りの側部中段には重層を示す様な低い段を生じている。但し、別単位の滓の重層と言うよりも原料単位の違いを示すものかもしれない。破面には気孔が一部確認されるが、土砂の固着の為はつきりはしない。透過X線像では、滓内部に気孔が多く、全体がスポンジ状となっている事が分かる。磁着傾向と透過X線像とその両面から上面寄りのやや上手側にまとまりきれていない含鉄が薄皮状に広がっている事が分かる。色調は表面の酸化土砂が茶褐色から濃茶褐色で、下面側の表皮は褐色の土砂に薄く覆われている。滓の地の部分は濃茶褐色から黒褐色を示す。</p> | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 短軸端部1/4を直線状に切断し、滓部を中心に分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | | |
| 備 考 | <p>2区西地区の出土品から構成した鉄関連遺物106点の内の1点である。分析資料No.6から12までの6点は、SK522土坑出土の鍛冶関連遺物のセットとして分析設計されている。鍛冶炉の炉壁から羽口、梘形鍛冶滓類各種に加えて、粒状滓や鍛造剥片の組み合わせになる。SK522出土の梘形鍛冶滓のサイズ別傾向を見ると、中型の滓が目立って多いことが分かる。梘形鍛冶滓の大きさ別の構成点数は特大が2点で、大が7点、中が12点、小が2点、極小が4点という比率を示す。量的には中、次いで大、さらに極小という順序になり、特大と小がそれぞれ少数含まれている。従って本資料を含む中型の梘形鍛冶滓の生成工程が、SK522を含む鍛冶工房での中核的な作業かもしれない。なお、構成No.101は被熱痕と打撃によるハネに加えて、鍛造剥片の固着が確認される大型の金床石の肩部破片である。被熱範囲が広いことから小鍛冶に相当する鍛錬鍛冶のみではなく、精錬鍛冶から鍛錬鍛冶の前半の工程に伴い用いられた疑いの残る資料であり、鍛冶の内容を理解する上では欠かせない組み合わせと予想される。</p> | | | | | | | | | | |

分析資料番号 10

| 出土状況 | 遺跡名 | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 82 | | | | 項目 | 滓 | メタル |
|-----------|--|---------------------|------------|-------|------------|-------|---------------|-----|---------------|---|-----|
| | 出土位置 | 2区西 SK522 (13F-4C9) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | | |
| 試料記号 | 検 鏡： OKH-10 | 計 測 値 | 長 径 3.7 cm | 色 調 | 表：茶褐色～濃茶褐色 | 遺 存 度 | 破片 | 分 析 | マ ク ロ | | |
| | 化 学： OKH-10 | | 短 径 5.0 cm | | 地：濃茶褐色～黒褐色 | 破 面 数 | 3 | | 検 鏡 度 E P M A | ◎ | |
| 遺物種類 (名称) | 梘形鍛冶滓 (極小?・再結合滓付き・鍛造剥片付き) | 厚 さ 2.3 cm | 磁 着 度 | 5 | 前 含 浸 | — | X線回折 化学 耐火 度 | ○ | | | |
| | | 重 量 28 g | メ タ ル 度 | なし | 断 面 樹 脂 | — | カ ロ リ ー 放 射 化 | | | | |
| 観察所見 | <p>一見、薄板状の再結合滓に似た外観を持ち表層に鍛造剥片が目立つ資料である。芯部が滓部と判断して分析資料に選定している。短軸側の両側と左側部の一部が小破面になった、厚さ1.5cm程の薄板状の外観を持つ極小の梘形鍛冶滓破片。破面数は3を数える。表面が鍛造剥片や粉炭を含む酸化土砂に覆われており、外見的にはかなり紛らわしい資料である。また、上面が中央部に向かってやや盛り上がり下面が不規則な波状となる事から上下が逆の様にも見えるが、滓の表面状態を見て現在の上下面を区別している。上面左上手側は半流動状の滓表面に酸化物が張り付いた状態で、下面下手側は粉炭痕や圧痕状になっている。右側の肩部から下面の半分以上が再結合滓に覆われており、様々な大きさや色調を持つ鍛造剥片に加えて、径0.8mm大の粒状滓も1点確認出来る。上面表皮の一部はひび割れて、小さな隙間や段差を生じている部分もある。底面は凹凸のやや大きな不安定な形状を示し、側部の立ち上がりやや急角度で滓の形態は乱れている。下面中央部のやや右手には1cm大近い大きさを持つ薄板状の鍛造剥片が酸化土砂中に含まれており、剥片の表皮は黒褐色と暗紫紅色で光沢を持つ部分に別れている。磁着傾向は認められるが比較的弱く、透過X線像によれば滓内部にはスポンジ状の気孔が観察出来る。左側部寄りの短軸方向にのみ僅かに鉄部が存在する可能性を持つ。色調は表面の酸化土砂が茶褐色で、滓部は濃茶褐色から黒褐色を示す。</p> | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 短軸端部1/2を直線状に切断し、滓部を中心に分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | | |
| 備 考 | <p>2区西地区の出土品から構成した鉄関連遺物106点の内の1点である。分析資料No.6から12までの6点は、SK522土坑出土の鍛冶関連遺物のセットとして分析設計されている。鍛冶炉の炉壁から羽口、梘形鍛冶滓類各種に加えて、粒状滓や鍛造剥片の組み合わせになる。SK522土坑出土の梘形鍛冶滓の内、最も小振りな極小サイズのの一つである。工程的には最終工程となる鍛錬鍛冶に伴う滓と推定され、表面に残る酸化土砂中の鍛造剥片の存在もその傍証と想定される。鍛造剥片の主体は、極めて薄手で表裏面に光沢を持った資料である。また、再結合滓中には粒状滓も確認されるため、分析資料No.11とした粒状滓に加えて、分析資料No.12の鍛造剥片が直接的に関連する資料と推定される。</p> | | | | | | | | | | |

分析資料番号 11

| 出土状況 | 遺跡名 | | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | | 95 | | 項目 | 滓 | メタル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------|--------------------------------|------|--------|------|------------|-----|----|-----------|-----|--------|----|---------|----|--------|----|----|--------|-----|-----|--------------------------|-----|----|--------|-----|----------|--------------------------------|-----|--------|--------|-----|-----|--------------------------|-----|--------|--------|-----|-----|---------------------|-----|------|--------|-----|--------|-----------|-----|----|
| | 出土位置 | | 2区西 SK522 (13F-4C9) | | 時期：根拠 | | 古代～中世：出土土器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試料記号 | 検鏡：OKH-11 | 計測 | 長径 | — cm | 色調 | 表： | — | 遺存度 | — | 分 | マクロ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 化学：— | | 短径 | — cm | | 地： | — | 破面数 | — | | 検鏡度 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 遺物種類(名称) | 放射化：— | 値 | 厚さ | — cm | 磁着度 | 1 | 前含浸 | — | 析 | X線回折化学耐火度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 粒状滓(5点) | | 重量 | — g | | メタル度 | | なし | | 断面樹脂 | — | カロリ放射化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>観察所見 沖ノ羽遺跡第24次調査2区西より検出された多量の鍛冶関連遺物を含むSK522土坑の土砂を採取後に、フルイと磁石を用いて分離した粒状滓資料である。フルイ目は、0.85mm目と1.4mm目並びに2mm目の3種類を用いて分離した後に、標準磁石を用いて磁着反応の強弱2群に大別して、その中から代表的な粒径を持つ個体を5点抽出している。個別資料の記録は別表参照。なお、分析資料No.12とした鍛造剥片8点も同一の取り上げ記録を持つSK522土坑から採取後に分離・抽出されたセットになる資料である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>直径 (mm)</th> <th>色調</th> <th>形状及び表面</th> <th>磁着</th> <th>気孔</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11-イ-1</td> <td>3.5</td> <td>黒褐色</td> <td>ほぼ正円形で表皮が脱落して滓表面に微細な気孔あり</td> <td>やや弱</td> <td>多い</td> </tr> <tr> <td>11-イ-2</td> <td>2.7</td> <td>濃茶褐色～黒褐色</td> <td>円形で光沢があり、端部1箇所が小さく突出して一部に木炭痕あり</td> <td>やや弱</td> <td>部分的にあり</td> </tr> <tr> <td>11-イ-3</td> <td>2.0</td> <td>黒褐色</td> <td>正円で光沢を持ち、一部の表皮が荒れて気孔が見える</td> <td>やや弱</td> <td>部分的に多い</td> </tr> <tr> <td>11-ロ-1</td> <td>1.2</td> <td>黒褐色</td> <td>不整形円で、やや楕長。表皮に光沢がある</td> <td>やや強</td> <td>ややあり</td> </tr> <tr> <td>11-ロ-2</td> <td>0.8</td> <td>青黒色・光沢</td> <td>正円形で青光りする</td> <td>やや強</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | | | | | | | 番号 | 直径 (mm) | 色調 | 形状及び表面 | 磁着 | 気孔 | 11-イ-1 | 3.5 | 黒褐色 | ほぼ正円形で表皮が脱落して滓表面に微細な気孔あり | やや弱 | 多い | 11-イ-2 | 2.7 | 濃茶褐色～黒褐色 | 円形で光沢があり、端部1箇所が小さく突出して一部に木炭痕あり | やや弱 | 部分的にあり | 11-イ-3 | 2.0 | 黒褐色 | 正円で光沢を持ち、一部の表皮が荒れて気孔が見える | やや弱 | 部分的に多い | 11-ロ-1 | 1.2 | 黒褐色 | 不整形円で、やや楕長。表皮に光沢がある | やや強 | ややあり | 11-ロ-2 | 0.8 | 青黒色・光沢 | 正円形で青光りする | やや強 | なし |
| 番号 | 直径 (mm) | 色調 | 形状及び表面 | 磁着 | 気孔 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11-イ-1 | 3.5 | 黒褐色 | ほぼ正円形で表皮が脱落して滓表面に微細な気孔あり | やや弱 | 多い | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11-イ-2 | 2.7 | 濃茶褐色～黒褐色 | 円形で光沢があり、端部1箇所が小さく突出して一部に木炭痕あり | やや弱 | 部分的にあり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11-イ-3 | 2.0 | 黒褐色 | 正円で光沢を持ち、一部の表皮が荒れて気孔が見える | やや弱 | 部分的に多い | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11-ロ-1 | 1.2 | 黒褐色 | 不整形円で、やや楕長。表皮に光沢がある | やや強 | ややあり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11-ロ-2 | 0.8 | 青黒色・光沢 | 正円形で青光りする | やや強 | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 必要品を選択し、粒状滓として分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | 2区西地区の出土品から構成した鉄関連遺物106点の内の1点である。分析資料No.6から12までの6点は、SK522土坑出土の鍛冶関連遺物のセットとして分析設計されている。鍛冶炉の炉壁から羽口、椀形鍛冶滓類各種に加えて、粒状滓や鍛造剥片の組み合わせになる。分析資料No.11の粒状滓と分析資料No.12の鍛造剥片の母体は沖ノ羽遺跡第24次調査区である2区西・2区東地区の中では鍛冶関連遺構として唯一確認されたSK522土坑の土砂中から分離・抽出された鍛冶関連の微細遺物である。それ以外の遺構や包含層においてはそうした微細遺物を対象にした土砂サンプルを採取してはならず、存否は不明である。ただし、SK522やPit528を含むSB4周辺で集中的に鍛冶関連遺物を伴う溝や井戸跡が検出されていることから、一定の範囲が投棄場所に用いられていた可能性が強そうである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

分析資料番号 12

| 出土状況 | 遺跡名 | | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | | 97 | | 項目 | 滓 | メタル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----|---------------------|----------|--------------|----------------|------------|-----|----|-----------|-----|--------|----|----------|--|--|---------|---|--|---|----|----|----|----|----|---|---|--------|-----|-----|-----|---------|------|-------|-----|----|--------|-----|-----|-----|---------|---------|------------|-----|----|--------|-----|-----|-----|---------|---------|----------|-----|----|--------|-----|-----|-----|---------|------|---------|-----|----|--------|-----|-----|-----|---------|---------|-------------|-----|----|--------|-----|-----|-----|---------|--------------|--------------|-----|----|--------|-----|-----|-----|---------|------------|----------------|-----|----|--------|-----|-----|-----|----------|-----------|-------------|-----|----|
| | 出土位置 | | 2区西 SK522 (13F-4C9) | | 時期：根拠 | | 古代～中世：出土土器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試料記号 | 検鏡：OKH-12 | 計測 | 長径 | — cm | 色調 | 表： | — | 遺存度 | — | 分 | マクロ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 化学：— | | 短径 | — cm | | 地： | — | 破面数 | — | | 検鏡度 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 遺物種類(名称) | 放射化：— | 値 | 厚さ | — cm | 磁着度 | 3 | 前含浸 | — | 析 | X線回折化学耐火度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 鍛造剥片(8点) | | 重量 | — g | | メタル度 | | なし | | 断面樹脂 | — | カロリ放射化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>観察所見 沖ノ羽遺跡第24次調査2区西より検出された多量の鍛冶関連遺物を含む、SK522土坑の土砂を採取後に、フルイと標準磁石を用いて分離した鍛造剥片資料である。フルイ目は0.85mm目と1.4mm目並びに2mm目の3種類を用いて分離した後に、標準磁石を用いて磁着反応の強弱2群に大別して、その中から代表的な厚みや色調を持つ個体を8点抽出している。個別資料の記録は別表参照。なお、分析資料No.11とした粒状滓5点も同一の取り上げ記録を持つSK522土坑から採取後に分離・抽出されたセットになる資料である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th colspan="3">計測値 (mm)</th> <th rowspan="2">色調(表/裏)</th> <th colspan="2">表</th> <th rowspan="2">裏</th> <th rowspan="2">磁着</th> <th rowspan="2">気孔</th> </tr> <tr> <th>長軸</th> <th>短軸</th> <th>厚さ</th> <th>表</th> <th>裏</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12-イ-1</td> <td>2.8</td> <td>2.1</td> <td>0.8</td> <td>黒褐色/青光り</td> <td>さざ波状</td> <td>やや平滑面</td> <td>やや弱</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>12-イ-2</td> <td>3.2</td> <td>2.3</td> <td>0.4</td> <td>黒褐色/青黒色</td> <td>平らざらざら面</td> <td>ややざらざらしている</td> <td>やや弱</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>12-イ-3</td> <td>3.5</td> <td>2.5</td> <td>0.2</td> <td>青光り/青光り</td> <td>平滑で光沢あり</td> <td>浅い波状の平滑面</td> <td>やや弱</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>12-イ-4</td> <td>2.8</td> <td>2.2</td> <td>0.1</td> <td>黒褐色/青光り</td> <td>ほぼ平滑</td> <td>平滑で光沢あり</td> <td>やや弱</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>12-ロ-1</td> <td>3.5</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>青黒色/青黒色</td> <td>ゆるやかな波状</td> <td>ほぼ平滑でやや光沢あり</td> <td>やや強</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>12-ロ-2</td> <td>4.5</td> <td>4.4</td> <td>0.4</td> <td>濃茶褐/黒褐色</td> <td>平滑面ながらややざらつく</td> <td>ゆるやかな波状で気孔あり</td> <td>やや強</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>12-ロ-3</td> <td>2.7</td> <td>2.7</td> <td>0.2</td> <td>黒褐色/青黒色</td> <td>平滑面ながらざらつく</td> <td>ゆるやかな波状で気孔少々あり</td> <td>やや強</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>12-ロ-4</td> <td>3.7</td> <td>2.6</td> <td>0.1</td> <td>淡青黒色/青光り</td> <td>そりかえった平滑面</td> <td>平滑で一部がチリメン状</td> <td>やや強</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | | | | | | | 番号 | 計測値 (mm) | | | 色調(表/裏) | 表 | | 裏 | 磁着 | 気孔 | 長軸 | 短軸 | 厚さ | 表 | 裏 | 12-イ-1 | 2.8 | 2.1 | 0.8 | 黒褐色/青光り | さざ波状 | やや平滑面 | やや弱 | なし | 12-イ-2 | 3.2 | 2.3 | 0.4 | 黒褐色/青黒色 | 平らざらざら面 | ややざらざらしている | やや弱 | あり | 12-イ-3 | 3.5 | 2.5 | 0.2 | 青光り/青光り | 平滑で光沢あり | 浅い波状の平滑面 | やや弱 | なし | 12-イ-4 | 2.8 | 2.2 | 0.1 | 黒褐色/青光り | ほぼ平滑 | 平滑で光沢あり | やや弱 | なし | 12-ロ-1 | 3.5 | 3.0 | 0.8 | 青黒色/青黒色 | ゆるやかな波状 | ほぼ平滑でやや光沢あり | やや強 | なし | 12-ロ-2 | 4.5 | 4.4 | 0.4 | 濃茶褐/黒褐色 | 平滑面ながらややざらつく | ゆるやかな波状で気孔あり | やや強 | あり | 12-ロ-3 | 2.7 | 2.7 | 0.2 | 黒褐色/青黒色 | 平滑面ながらざらつく | ゆるやかな波状で気孔少々あり | やや強 | あり | 12-ロ-4 | 3.7 | 2.6 | 0.1 | 淡青黒色/青光り | そりかえった平滑面 | 平滑で一部がチリメン状 | やや強 | なし |
| 番号 | 計測値 (mm) | | | 色調(表/裏) | 表 | | 裏 | 磁着 | 気孔 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 長軸 | 短軸 | 厚さ | | 表 | 裏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12-イ-1 | 2.8 | 2.1 | 0.8 | 黒褐色/青光り | さざ波状 | やや平滑面 | やや弱 | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12-イ-2 | 3.2 | 2.3 | 0.4 | 黒褐色/青黒色 | 平らざらざら面 | ややざらざらしている | やや弱 | あり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12-イ-3 | 3.5 | 2.5 | 0.2 | 青光り/青光り | 平滑で光沢あり | 浅い波状の平滑面 | やや弱 | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12-イ-4 | 2.8 | 2.2 | 0.1 | 黒褐色/青光り | ほぼ平滑 | 平滑で光沢あり | やや弱 | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12-ロ-1 | 3.5 | 3.0 | 0.8 | 青黒色/青黒色 | ゆるやかな波状 | ほぼ平滑でやや光沢あり | やや強 | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12-ロ-2 | 4.5 | 4.4 | 0.4 | 濃茶褐/黒褐色 | 平滑面ながらややざらつく | ゆるやかな波状で気孔あり | やや強 | あり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12-ロ-3 | 2.7 | 2.7 | 0.2 | 黒褐色/青黒色 | 平滑面ながらざらつく | ゆるやかな波状で気孔少々あり | やや強 | あり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12-ロ-4 | 3.7 | 2.6 | 0.1 | 淡青黒色/青光り | そりかえった平滑面 | 平滑で一部がチリメン状 | やや強 | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 必要品を選択し、鍛造剥片として分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | 2区西地区の出土品から構成した鉄関連遺物106点の内の1点である。分析資料No.6から12までの6点は、SK522土坑出土の鍛冶関連遺物のセットとして分析設計されている。鍛冶炉の炉壁や羽口、椀形鍛冶滓類各種に加えて、粒状滓や鍛造剥片の組み合わせになる。分析資料No.11の粒状滓と同じSK522土坑の土砂中から分離・抽出された鍛造剥片である。周辺条件等は分析資料No.11の備考欄と同様である。SK522出土の椀形鍛冶滓や炉壁に加えて、再結合滓の中にも鍛造剥片付きの資料が散見する。また、構成No.101とした金床石の破片にも鍛造剥片の固着が確認されている。炉壁や椀形鍛冶滓への鍛造剥片の付着自体は鍛冶工程の上では直接的な証拠にはならないが、鍛冶工房の床面上やSK522土坑中の二次的な付着は想定できよう。因みに54点のSK522出土品から構成した資料中では、鍛造剥片の付着資料が少なくとも11点に認められる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

分析資料番号 13

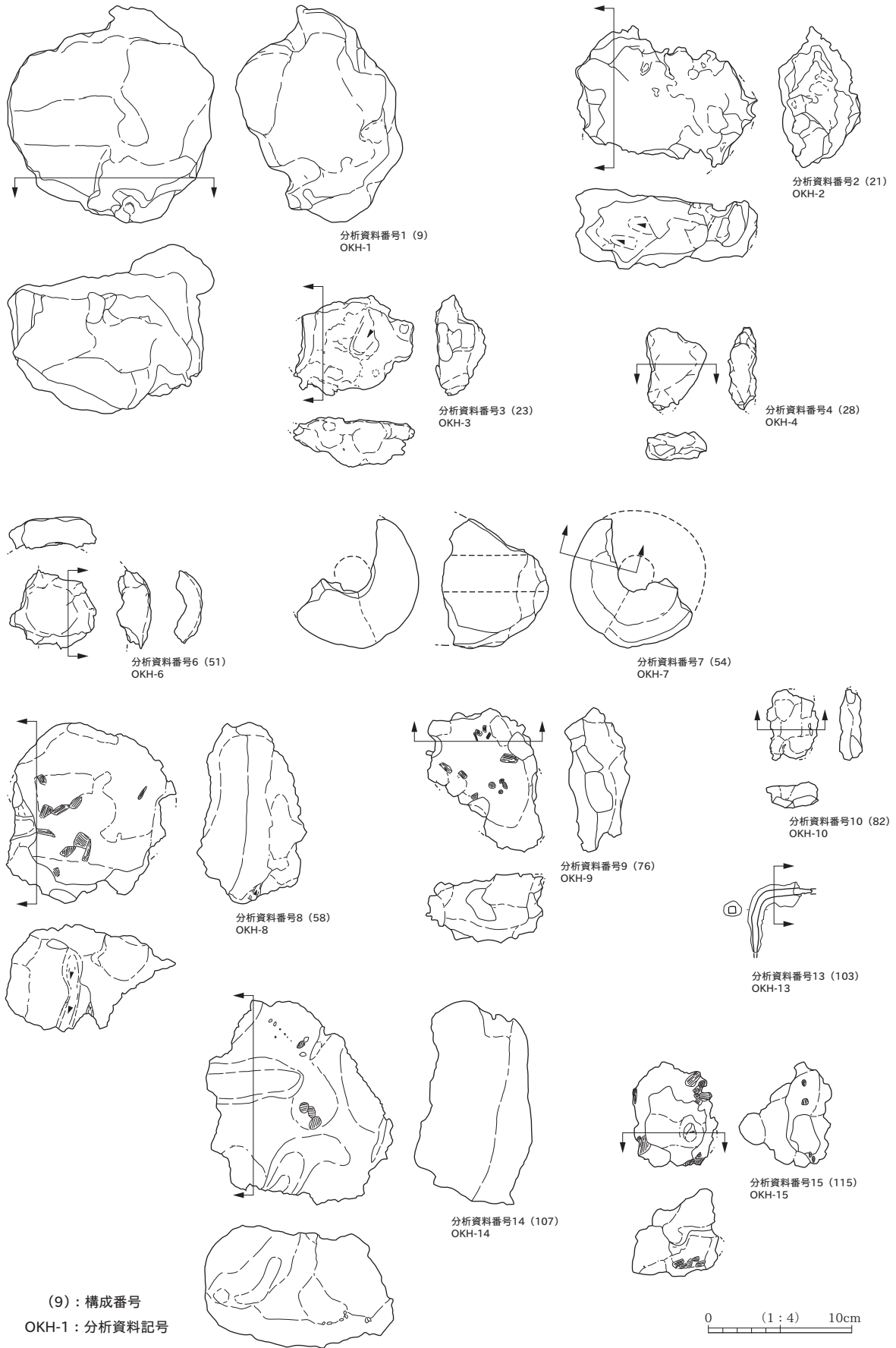
| 出土状況 | 遺跡名 | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 103 | | | | 項目 | 滓 | メタル |
|--------------|---|--------------------|------------|-------|------------|-------|-----|----------------------|------------------|---|-------------|
| | 出土位置 | 2区西 SD3 (13F-4E21) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | | |
| 試料記号 | 検 鏡： OKH-13 | 計 測 値 | 長 径 4.5 cm | 色 調 | 表：茶褐色～濃茶褐色 | 遺 存 度 | 破 片 | 分 析 | マ ク ロ | | ○ |
| | 化 学： — | | 短 径 4.9 cm | | 地：濃茶褐色～黒褐色 | 破 面 数 | 1 | | 検 鏡 度 E P M A | | ◎ ○ ○ |
| 遺物種類 (名称) | 鉄製品（鍛造品） 錠状不明 | 厚 さ 1.2 cm | 磁 着 度 | 4 | 前 含 浸 | — | | X線回折 化 学 耐 火 度 | | | |
| | | 重 量 12 g | メ タ ル 度 | L (●) | 断 面 樹 脂 | ○ | | カ ロ リ ー 放 射 化 | | | |
| 観察所見 | <p>表面が厚い酸化土砂と薄皮状の酸化物に覆われた鉄製品（鍛造品）破片。勾の手状に曲がっている鉄製品で、折れ曲がった右側の端部から断面形が5mm前後を測る鉄製品の錆化した破面端部が突出する。縦断面形は方形気味。透過X線像によれば左右方向に伸びる体部側の芯部はやや直線気味で、左側で折れ曲がり下手側に伸びる足部相当の部分はやや乱れている。いずれの両端部も錆化して、欠けている。錠または折れ曲がった釘の疑いを持つが、はっきりしないために錠状不明品としておく。体部と推定される部分より左下手側に伸びる足部と想定される部分の方が内部の鉄製品の錆化が進んでいるのは、鉄製品自体の加工精度の差に由来する可能性がある。事実、透過X線像の上でも鍛造痕に乱れが認められる。色調は表面の酸化土砂が茶褐色で、地の鉄錆化部は濃茶褐色から黒褐色を示す。</p> | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | <p>長軸端部1/3を直線状に切断し、メタル部を中心に分析に用いる。残材断面に樹脂塗布。残材返却。</p> | | | | | | | | | | |
| 備 考 | <p>2区西地区の内でも南東部にあたるSD3から出土した鉄製品破片である。出土位置自体は多量の鍛冶関連遺物を出土したSK522から南東に15m離れた場所であり、大まかにはSB4掘立柱建物の周辺部とも言えるが、さらに出土遺物を種類別に見ると明らかに鉄製品が際立っている地区である。北側7m程度の範囲にSK228やSX11、SE9などの鉄製品の出土遺構があり、包含層からは13F-4D10や13F-4D20と言う地区からも出土している。椀形鍛冶滓が4点以上と粘土質溶解物1点に加えて、他地区では見られなかったような多様な完形品主体の鉄製品が6点以上出土したという傾向は二つの可能性を想定できよう。④SK522を含む鍛冶工房に於ける製品または材料として持ち込まれた故鉄の可能性、⑤本資料を出土したSD3周辺に鉄製品を保管する道具小屋等の施設があった可能性の両者である。後者の条件で鉄製品を見た場合には更にその特徴がはっきりする。本資料はSD3出土の錠状不明品で、7m北のSK228からは錠が出土している。SE9からは錠が、SX11からは完形の毛抜の出土が認められる。SD3のすぐ北に位置する包含層13F-4D10からは円板状鉄製品が、さらに同じ13F-4D20からは完形に近い鉄斧が出土している。従って、沖ノ羽遺跡第24次調査区の2区西と2区東の全体を見渡しても、棒状不明品を除く主要な鉄製品がこの場所に集中出土している事が分かる。こうした状況は④の場合でも⑤の場合でも偶然とは考えにくい状況証拠であろう。鉄器のうち、錠は建物に伴う鉄製品だとしても、錠や鉄斧・毛抜に加えて大型の紡錘車の可能性を持つ円板状鉄製品は、いずれもが実用的な道具であり、何らかのセット関係であったとしても矛盾がない組み合わせになっている。</p> | | | | | | | | | | |

分析資料番号 14

| 出土状況 | 遺跡名 | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 107 | | | | 項目 | 滓 | メタル |
|--------------|---|--------------------|-------------|-------|------------------------|-------|------------|----------------------|------------------|---|--------|
| | 出土位置 | 2区西 SD54 (13F-5C4) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | | |
| 試料記号 | 検 鏡： OKH-14 | 計 測 値 | 長 径 13.1 cm | 色 調 | 表：茶褐色～濃茶褐色～ 黒褐色・灰白色 | 遺 存 度 | ほ ぼ 完 形 | 分 析 | マ ク ロ | | |
| | 化 学： OKH-14 | | 短 径 14.3 cm | | 地：黒褐色・灰白色 | 破 面 数 | 5 | | 検 鏡 度 E P M A | | ◎ ○ |
| 遺物種類 (名称) | 椀形鍛冶滓 (特大・含鉄・ 炉床土付き) | 厚 さ 8.5 cm | 磁 着 度 | 6 | 前 含 浸 | — | | X線回折 化 学 耐 火 度 | | | |
| | | 重 量 1479 g | メ タ ル 度 | H (○) | 断 面 樹 脂 | — | | カ ロ リ ー 放 射 化 | | | |
| 観察所見 | <p>下面に灰白色に被熱した鍛冶炉の炉床土が広く固着する特大の椀形鍛冶滓。左側部から左下手側の側部に小破面が点々と残るが、滓部はほぼ完形品。破面数は5を数える。形態的にはやや特異な椀形鍛冶滓で、右側部と上面の2箇所が傾いている滓上面となる。その理由は滓の一部が突き動かされているためか、もう一つの特色は、上面から左側の肩部にかけてが細い溝状に窪み、工具痕による変形を疑わせる。これと連動する形で左側部には幅2.8cm程度の工具痕流入滓が瘤状に突出する。つまり、上面左側の肩部が工具により突き動かされて、左側部下半側に突出する形になる。下手右側の側部表面も部分的に椀形鍛冶滓の上面様を示す。側部から下面は浅い椀形をした炉床土の部分で、一部に貫入した滓が認められる。炉床土はキメの細かい粘土質で、ごく僅かに繊維様の混入物が認められる。外周部では炉床土の剥離面が圧痕様。また左側部下半の破面のうち2面は粘土質が発泡した状態で炉壁土または羽口先の溶解物が影響している可能性もある。滓部の磁着傾向は全般的には弱い、左側部下手側の破面付近のみ強く反応する。この部分は光沢を持った緻密な滓層で、マグネタイト系の滓の滓部と考えられる。透過X線像によれば分厚い滓の外周部沿いには気孔が認められ、密度の高いスポンジ状の滓部となる。含鉄部の位置ははっきりしない。色調は表面の酸化土砂は茶褐色から濃茶褐色で、滓部は黒褐色。炉床土は灰白色になっている。地色も同じ。</p> | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | <p>長軸端部1/4を直線状に切断し、滓部を中心に分析に用いる。残材返却。</p> | | | | | | | | | | |
| 備 考 | <p>2区西地区のSD54から出土した主要な鉄関連遺物の1点である。構成No.104から106の3点はしっかりした羽口で、構成No.107と108の2点が特大の椀形鍛冶滓、構成No.109が含鉄の鍛冶滓と言う組み合わせになっている。従って数が少なく種類は限られているが、SK522出土品と基本的には同類の資料と判断される。また、沖ノ羽遺跡第24次調査区の出土品から構成した特大の椀形鍛冶滓の中でも1479gという最大重量を持つ個体である。資料自体にははっきりとした重層状態を確認することは出来ないものの、少なくとも側面2箇所にかけて上面であったような特徴を残しており、炉内で突き動かされながらも肥大化した椀形の滓であることは間違いない。従って、重層する滓の一種という捉えられ方も有り得るかもしれない。本資料が出土したSD54はSK522から8m程南西部にあたり、Pit528を含むSB4から見れば目の前のやや南西側に相当する。つまり鍛冶工房の斜め前でもあり、庭先または裏庭の一角ということになる。SD54周辺に於いてもSD422やSD143から椀形鍛冶滓が出土しており、分析資料No.15は後者である。包含層のうち13F-5C3と5C5からも椀形鍛冶滓が出土しており、明らかに鍛冶工房からまとめて廃棄された状況証拠を示すものと判断されよう。その意味ではSK522出土の鍛冶関連遺物とも直接的な繋がりが想定される。</p> | | | | | | | | | | |

分析資料番号 15

| 出土状況 | 遺跡名 | | 沖ノ羽遺跡 第24次調査 | | 遺物No. | 115 | | | 項目 | 滓 | メタル |
|--------------|--|----------------------|--------------|--------|------------|------------|------|------|----|---------------------|-----|
| | 出土位置 | 2区西 SD143 (13F-4C24) | | 時期：根拠 | 古代～中世：出土土器 | | | | | | |
| 試料記号 | 検鏡： OKH-15 | 計測値 | 長径 | 6.0 cm | 色調 | 表：茶褐色～黒褐色 | 遺存度 | ほぼ完形 | 分 | マクロ | |
| | 化学： OKH-15 | | 短径 | 7.4 cm | | 地：濃茶褐色～黒褐色 | 破面数 | 1 | | 検鏡度 E P M A | ◎ |
| 遺物種類 (名称) | 腕形鍛冶滓 (小・含鉄・重層) | | 厚さ | 6.2 cm | 磁着度 | 6 | 前含浸 | — | 析 | X線回折 化学 耐火度 | ○ |
| | | | 重量 | 199 g | メタル度 | H (○) | 断面樹脂 | — | | カロリー 放射化 X線透過 | ○ |
| 観察所見 | <p>右下手側の一部に小破面を残す重層した小型の腕形鍛冶滓。ほぼ完形品で、上面や肩部には瘤状の酸化土砂がこびり付いている。重層状態は綺麗な形ではなく乱れており、下半の滓の方が倍以上の大きさではないかと推定される。また上下面の分かりにくい滓で、綺麗な腕形の形態を示さない。下半の滓部も下面から見ると短軸方向に向かう段差を生じており、あるいは先行する滓破片の取り残しの上に次の腕形鍛冶滓が乗ってしまった形態の可能性もあろう。加えて滓の平面形も乱れており、左側部中央付近も欠けの一種となるかもしれない。磁着傾向は下半の滓の方が全体的に強めで、上半の滓が弱くなっている。透過X線像によれば滓内部には外周部を中心に気孔が広がり、芯部側は重層のためかやや密度が高くなっている。上下面や側部にも出入があり、それぞれの凹凸は木炭痕由来と推定される。色調は表面の酸化土砂が茶褐色で、滓部は濃茶褐色から黒褐色となる。下半の滓の左側部上手側の一部は磁着が強めで、表面に僅かに黒錆の滲みや放射割れが生じている。内部の鉄部の影響によるものか。</p> | | | | | | | | | | |
| 分析部分 | 短軸端部1/3を直線状に切断し、滓部を中心に分析に用いる。残材返却。 | | | | | | | | | | |
| 備考 | <p>本資料はSD143からの出土品で、他に中型の腕形鍛冶滓2点が構成されている。出土位置は分析資料No.14と接するような位置である本資料の方が先行するSD143溝の肩部からの出土品であるのに対して、分析資料No.14はSD143を改修する形で掘り込まれたSD54溝からの出土品である。分析資料No.14と同様、明らかにSK522やPit528を含む鍛冶工場の疑いを持つSB4側からの投棄された鍛冶系の資料の一部と判断される。分析資料No.13が出土したSD3周辺では腕形鍛冶滓に混在して鉄製品が目立つのに対して、本資料が出土したSD143周辺からは、SD422出土の構成No.122の鎌1点を除いて腕形鍛冶滓や鍛冶滓に加えて、鍛冶炉の炉壁や羽口と一部粘土質溶解物を含む鍛冶に直接関わる鍛冶関連遺物が大半である。従って、分析資料No.13を中心とした鉄製品主体になる一群と、本資料を含む鍛冶関連遺物主体の一群が存在することになる。もしSK522を含む鍛冶工場（SB4）からの投棄を想定した場合、両者の違いが明白である。</p> | | | | | | | | | | |



第 17 図 第 24 次調査 鍛冶関連遺物分析資料切断分析位置図

第VI章 自然科学分析

第1節 沖ノ羽遺跡出土鍛冶関連遺物の金属学的調査

日鉄住金テクノロジー（株）八幡事業所

TACセンター 大澤正己・鈴木瑞穂

A い き さ つ

沖ノ羽遺跡は新潟市秋葉区七日町に所在する。古墳時代から鎌倉・室町時代までの集落跡が検出された。第24次調査地区内では明確な鍛冶遺構は確認されなかったが、土坑（2区西SK522）を中心に古代～中世の鍛冶関連遺物が多数出土している。市内の平野部としては貴重な事例であり、新津丘陵西側にある製鉄遺跡（注1）との関連も注目される。そこで遺跡内での鉄器生産の実態を検討する目的から、調査を実施する運びとなった。

B 調 査 方 法

1) 供 試 材

第7表に示す。第24次調査2区東・西鍛冶関連遺物計15点の調査を行った。

2) 調 査 項 目

a 肉 眼 観 察

遺物の外観上の観察所見を簡単に記載した。

b マクロ組織

本来は肉眼またはルーペで観察した組織であるが、本稿では顕微鏡埋込み試料の断面全体像を、低倍率で撮影したものを指す。当調査は、顕微鏡検査によるよりも広い範囲にわたって、組織の分布状態、形状、大きさなどの観察ができる利点がある。

第7表 供試材の履歴と調査項目

| 符号 | 遺跡名 | 地区名 | 出土位置 | 遺物No. | 遺物名称 | 推定年代 | 計測値 | | 調査項目 | | | | | | | | | | |
|--------|-----|-------|------|-----------|------------|-------|-------------|------------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-----|-----|---|
| | | | | | | | 大きさ(mm) | 重量(g) | 磁着度 | メタル度 | マクロ組織 | 顕微鏡組織 | 断面硬度 | X線回折 | EPMA | 化学分析 | 耐火度 | カロリ | |
| OKH-1 | 沖ノ羽 | 2区東 | SD98 | 9 | 腕形鍛冶滓 | 古代～中世 | 144×153×118 | 2036.0 | 3 | 錆化(△) | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| OKH-2 | | | | 包含層 | 21 | | 腕形鍛冶滓 | 126×98×56 | 486.0 | 6 | 錆化(△) | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| OKH-3 | | | | | 23 | | 腕形鍛冶滓 | 84×70×35 | 196.0 | 3 | 錆化(△) | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| OKH-4 | | | | | 28 | | 腕形鍛冶滓 | 42×53×20 | 52.0 | 3 | 錆化(△) | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| OKH-5 | | | | | 2区西 | | SK474 | 47 | 木炭 | — | 70.0 | 1 | なし | ○ | | | | | ○ |
| OKH-6 | | SK522 | 51 | 炉壁 | | | | 61×55×23 | 37.0 | 3 | なし | ○ | | | | | | | |
| OKH-7 | | | 54 | 羽口(鍛冶) | | | | 75×85×39 | 232.0 | 4 | なし | ○ | | | | | | ○ | ○ |
| OKH-8 | | | 58 | 腕形鍛冶滓 | | | | 119×126×74 | 968.0 | 6 | H(○) | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| OKH-9 | | | 76 | 腕形鍛冶滓 | | | | 82×101×49 | 259.0 | 6 | H(○) | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| OKH-10 | | | 82 | 腕形鍛冶滓 | | | | 37×50×23 | 28.0 | 5 | なし | ○ | ○ | | | | | ○ | |
| OKH-11 | | 95 | 粒状滓 | — | — | | 1 | なし | ○ | ○ | | | | | | | | | |
| OKH-12 | | 97 | 鍛造剥片 | — | — | | 3 | なし | ○ | ○ | | | | | | | | | |
| OKH-13 | | SD3 | 103 | 鉄製品(鍛造品) | 45×49×12 | | 12.0 | 4 | L(●) | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| OKH-14 | | SD54 | 107 | 腕形鍛冶滓(含鉄) | 131×143×85 | | 1479.0 | 6 | H(○) | ○ | ○ | | | | | ○ | | | |
| OKH-15 | | SD143 | 115 | 腕形鍛冶滓(含鉄) | 60×74×62 | | 199.0 | 6 | H(○) | ○ | ○ | | | | | ○ | | | |

粒状滓サイズ(径・mm)

| | | | |
|--------|-----|--------|-----|
| 11-イ-1 | 3.5 | 11-ロ-1 | 1.2 |
| 11-イ-2 | 2.7 | 11-ロ-2 | 0.8 |
| 11-イ-3 | 2.0 | | |

鍛造剥片サイズ(mm)

| | | | |
|--------|-------------|--------|-------------|
| 12-イ-1 | 2.8×2.1×0.8 | 12-ロ-1 | 3.5×3.0×0.8 |
| 12-イ-2 | 3.2×2.3×0.4 | 12-ロ-2 | 4.5×4.4×0.4 |
| 12-イ-3 | 3.5×2.5×0.2 | 12-ロ-3 | 2.7×2.7×0.2 |
| 12-イ-4 | 2.8×2.2×0.1 | 12-ロ-4 | 3.7×2.6×0.1 |

c 顕微鏡組織

滓中に晶出する鉍物及び鉄部の調査を目的として、光学顕微鏡を用い観察を実施した。観察面は供試材を切り出した後、エメリー研磨紙の #150、#240、#320、#600、#1000、及びダイヤモンド粒子の $3\mu\text{m}$ と $1\mu\text{m}$ で順を追って研磨している。なお金属組織の調査では、3% ナイタル（硝酸アルコール液）を腐食（Etching）に用いた。

d ビッカース断面硬度

鉄滓中の鉍物と、金属鉄の組織同定を目的として、ビッカース断面硬度計（Vickers Hardness Tester）を用いて硬さの測定を行った。試験は鏡面研磨した試料に 136° の頂角をもったダイヤモンドを押し込み、その時に生じた窪みの面積をもって、その荷重を除いた商を硬度値としている。試料は顕微鏡用を併用し、荷重は 50 ～ 200gf で測定した。

e EPMA（Electron Probe Micro Analyzer）調査

化学分析を行えない微量試料や鉍物組織の微小域の組織同定を目的とする。

分析の原理は、真空中で試料面（顕微鏡試料併用）に電子線を照射し、発生する特性 X 線を分光後に画像化し、定性的な結果を得る。更に標準試料と X 線強度との対比から元素定量値をコンピューター処理してデータ解析を行う方法である。

f 化学組成分析

供試材の分析は次の方法で実施した。

全鉄分（Total Fe）、金属鉄（Metallic Fe）、酸化第一鉄（FeO）：容量法。

炭素（C）、硫黄（S）：燃焼容量法、燃焼赤外吸収法

二酸化硅素（ SiO_2 ）、酸化アルミニウム（ Al_2O_3 ）、酸化カルシウム（CaO）、酸化マグネシウム（MgO）、酸化カリウム（ K_2O ）、酸化ナトリウム（ Na_2O ）、酸化マンガン（MnO）、二酸化チタン（ TiO_2 ）、酸化クロム（ Cr_2O_3 ）、五酸化燐（ P_2O_5 ）、バナジウム（V）、銅（Cu）、二酸化ジルコニウム（ ZrO_2 ）：ICP（Inductively Coupled Plasma Emission Spectrometer）法：誘導結合プラズマ発光分光分析。

g 耐火度

主に坩材の性状調査を目的とする。耐火度は、溶融現象が進行の途上で軟化変形を起こす状態の温度で表示される。胎土をゼーゲルコーンという三角錐の試験片に作り、1 分間当り 10°C の速度で温度 1000°C まで上昇させ、以降は 4°C に昇温速度を落し、試験片が荷重なしに自重だけで軟化し崩れる温度を示している。

h 木炭組織

木炭組織の観察を目的とする。

調査破面（木口、柁目、板目）を #1,000 のサンド水ペーパーで研磨して平滑な面を出し乾燥後、実体顕微鏡を用い観察を実施した。

i 木炭の性状

供試材の分析は次の方法で実施した。

水分、灰分、揮発分、固定炭素：マイクロプロセッサ法。

硫黄（S）：燃焼赤外吸収法、灰分の燐（P）、蛍光 X 線分析法、発熱量、カロリー計。

C 調査結果

1) OKH-1：椀形鍛冶滓（図版 283-9）

a 肉眼観察：平面は円形に近い形状でほぼ完形の椀形鍛冶滓ある。非常に大形（2036g）で重量感がある。表面は広い範囲が茶褐色の土砂で覆われる。上面は比較的平滑で、下面は浅い椀形を呈する。また側面は部分的に凹凸が顕著で、一部工具痕の可能性のある窪みもみられる。

b 顕微鏡組織：第18図①～③に示す。①の上側は滓部で、②③はその拡大である。淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネル (Ulvöspinel: $2\text{FeO} \cdot \text{TiO}_2$)、白色粒状結晶ウスタイト (Wustite: FeO)、淡灰色柱状結晶ファヤライト (Fayalite: $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$) が晶出する。砂鉄系精錬鍛冶滓で最も一般的な晶癖といえる。また①の下側は滓中の木炭破片で木口面が観察される。内部には発達した導管が分布しており、広葉樹材の黒炭と推定される。

c ビッカース断面硬度：第18図③の淡茶褐色多角形結晶の硬度を測定した。硬度値は680Hv、708Hvであった。後者は若干硬質であり、アルミナ (Al_2O_3) を少量固溶している可能性があるが、ウルボスピネル (Ulvöspinel: $2\text{FeO} \cdot \text{TiO}_2$) に近い組成の化合物と考えられる。また白色粒状結晶の硬度値は523Hv、546Hvで、ウスタイトの文献硬度値 (450～500Hv) と比較すると硬質である。ただし内部に非常に微細なウルボスピネル結晶が多数点在しているため、その影響を受けた値と判断される (注2)。

d 化学組成分析：第8表に示す。全鉄分 (Total Fe) 56.78% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.08%、酸化第1鉄 (FeO) 52.81%、酸化第2鉄 (Fe_2O_3) 22.38% の割合であった。造滓成分 ($\text{SiO}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaO} + \text{MgO} + \text{K}_2\text{O} + \text{Na}_2\text{O}$) は11.95%と低めで、塩基性成分 ($\text{CaO} + \text{MgO}$) も2.02%と低値である。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱 (注3)) 起源の二酸化チタン (TiO_2) は8.34%、バナジウム (V) が0.29%、二酸化ジルコニウム (ZrO_2) 0.12%と高値であった。また酸化マンガン (MnO) は0.34%、銅 (Cu) は0.01%と低値である。

当鉄滓は砂鉄起源の脈石鉱物 (TiO_2 、V、 ZrO_2) の割合が高く、精錬鍛冶滓に分類される。鍛冶原料 (製鉄塊系遺物) の不純物除去作業に伴う反応副生物と考えられる。

2) OKH-2：椀形鍛冶滓 (図版284-21)

a 肉眼観察：大形の椀形鍛冶滓 (486g) の半欠品である。上下面とも長さ2cm程の木炭痕による凹凸が著しい。下面には一部灰褐色の鍛冶炉床土が付着する。側面5面は破面で、工具痕が観察される。

b 顕微鏡組織：第18図④～⑥に示す。④上側の黒色部は木炭片で、⑤はその拡大である。内部には導管が分布しており、広葉樹材の黒炭と推定される。一方④の下側は滓部で、⑥はその拡大である。淡茶褐色多角形結晶はウルボスピネル (Ulvöspinel: $2\text{FeO} \cdot \text{TiO}_2$) とヘルシナイト (Hercynite: $\text{FeO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$) を主な端成分とする固溶体 (注4) と推定される。さらに白色粒状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。砂鉄系精錬鍛冶滓の晶癖といえる。

c ビッカース断面硬度：第18図⑥の淡茶褐色多角形結晶の硬度を測定した。硬度値は708Hv、794Hvであった。ウルボスピネルとしてはやや硬質であり、ウルボスピネルとヘルシナイトを主な端成分とする固溶体の可能性が高いと考えられる。また白色粒状結晶の硬度値は503Hv、527Hvであった。ウスタイトの文献硬度値と比較すると硬質であるが、内部に非常に微細なウルボスピネル結晶が多数点在しているため、その影響を受けた値と判断される。

d 化学組成分析：第8表に示す。全鉄分 (Total Fe) 55.57% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.10%、酸化第1鉄 (FeO) 51.56%、酸化第2鉄 (Fe_2O_3) 22.01% の割合であった。造滓成分 ($\text{SiO}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaO} + \text{MgO} + \text{K}_2\text{O} + \text{Na}_2\text{O}$) は15.52%と低めで、このうち塩基性成分 ($\text{CaO} + \text{MgO}$) も2.18%と低値である。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) 起源の二酸化チタン (TiO_2) は6.95%、バナジウム (V) が0.23%、二酸化ジルコニウム (ZrO_2) 0.12%と低値であった。また酸化マンガン (MnO) は0.36%、銅 (Cu) は0.01%と低値である。

当鉄滓も椀形鍛冶滓 (OKH-1) と同様に、砂鉄起源の脈石鉱物 (TiO_2 、V、 ZrO_2) の割合が高く、精錬鍛冶滓に分類される。

3) OKH-3：椀形鍛冶滓 (図版284-23)

a 肉眼観察：やや小形でほぼ完形に近い椀形鍛冶滓 (196g) である。上面は比較的平滑で、中央が浅く窪んでいる。側面から下面にかけては木炭痕が散在する。また側面1面は破面である。微細な気孔が点在するが、緻密な滓である。

b 顕微鏡組織：第19図①～③に示す。①の微細な青白色部は錆化鉄である。③の拡大組織では金属組織の痕

跡は残存せず、炭素含有率の推定等は困難な状態であった。また②③は滓部の拡大である。白色粒状(または樹枝状)結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。鍛錬鍛冶滓の晶癖である。

c ビッカース断面硬度：第 19 図②の白色樹枝状の硬度を測定した。硬度値は 467Hv、481Hv であった。ウスタイトの文献硬度値の範囲内であり、ウスタイトと同定される。

d 化学組成分析：第 8 表に示す。全鉄分 (Total Fe) 55.06% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.12%、酸化第 1 鉄 (FeO) 55.46%、酸化第 2 鉄 (Fe₂O₃) 16.92% の割合であった。造滓成分 (SiO₂+Al₂O₃+CaO+MgO+K₂O+Na₂O) 23.68% で、このうち塩基性成分 (CaO+MgO) は 1.86% と低値であった。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) 起源の二酸化チタン (TiO₂) は 0.18%、バナジウム (V) 0.03%、二酸化ジルコニウム (ZrO₂) 0.01% と低く、酸化マンガン (MnO) も 0.09%、銅 (Cu) 0.01% と低値であった。

当鉄滓は砂鉄起源の脈石鉱物 (TiO₂、V、ZrO₂) の低減傾向が顕著であり、鍛錬鍛冶滓に分類される。鉄素材を熱間で鍛打加工した際の反応副生物である。

4) OKH-4：椀形鍛冶滓 (図版 284-28)

a 肉眼観察：ごく小形でほぼ完形の椀形鍛冶滓 (52g) である。やや扁平な形状で、上下面とも木炭痕による細かい凹凸がみられる。側面 1 面は破面で微細な気孔が散在する。

b 顕微鏡組織：第 19 図④～⑥に示す。滓中には白色樹枝状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。鍛錬鍛冶滓の晶癖である。また④の不定形青灰色部は錆化鉄で、⑥はその拡大である。微かに層状のパーライト (Pearlite) が残存しており、本来は亜共析組織 (C<0.77%) であったと判断される。またパーライトの面積率から、この箇所は炭素含有率が 0.1% 以下の軟鉄と推定される。

c ビッカース断面硬度：第 19 図⑤の白色樹枝状結晶の硬度を測定した。硬度値は 457Hv、517Hv であった。後者はウスタイトの文献硬度値 (450～500Hv) よりやや硬質で、マグネタイト (500～600Hv) の範疇に入る。両者の混晶の可能性が考えられる。また淡灰色柱状結晶の硬度値は 704Hv であった、ファヤライトの文献硬度値 (600～700Hv) より僅かに硬質である。しかし結晶の色調・形態などからファヤライト (Fayalite: 2FeO·SiO₂) に近い組成の化合物と判断される。マグネシア (MgO) などを微量固溶している可能性が考えられる。

d 化学組成分析：第 8 表に示す。全鉄分 (Total Fe) は 60.85% と高値である。このうち金属鉄 (Metallic Fe) は 0.04%、酸化第 1 鉄 (FeO) が 60.77%、酸化第 2 鉄 (Fe₂O₃) 19.41% の割合であった。造滓成分 (SiO₂+Al₂O₃+CaO+MgO+K₂O+Na₂O) は 16.79% と低めで、塩基性成分 (CaO+MgO) も 1.00% と低値である。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) 起源の二酸化チタン (TiO₂) が 0.15%、バナジウム (V) は 0.02%、二酸化ジルコニウム (ZrO₂) 0.01% と低値であり、酸化マンガン (MnO) も 0.08%、銅 (Cu) 0.01% と低値であった。

当鉄滓も砂鉄起源の脈石鉱物 (TiO₂、V、ZrO₂) の低減傾向が著しく、鍛錬鍛冶滓に分類される。鉄酸化物の割合が高く、主に鉄素材の吹き減り (酸化に伴う損失) による反応副生物と推察される。

5) OKH-5：木炭

a 肉眼観察：2 区西 SK474 から出土した、長さ 1～3cm の木炭破片である。比較的小径木を用いており、炭化は甘く菊割れ等は見られない。伏せ焼きによる木炭の可能性が指摘されている。

b 顕微鏡組織：第 20 図①～③に示す。送付された供試材から大形の木炭破片を 1 点選択して、断面の組織観察を実施した。①は木口、②は柾目、③は板目である。年輪に沿って大導管が並ぶ広葉樹の環孔材である。また小導管は火炎状に配列している。放射組織は単列で目立たない。

c 性状調査：第 9 表に示す。遺跡から出土した木炭は、埋蔵時の土砂等の影響があり、固定炭素 (F.C) は低く灰分が高い傾向を示す。固定炭素 (F.C) は通常 85% 台であるが 37.01% に留まった。また灰分は 2% 以下が正常であるが 26.94% と多く、発熱量も 3910cal/g と低値となった。本来は 7000cal/g 程度は確保できるはずである。揮発分も 36.05% と高値であった。

上記組織の特徴から、断面観察を実施した木炭破片はクリ材の黒炭と推定される。

6) OKH-6 : 炉壁 (図版 285-51)

a 肉眼観察：鍛冶炉の炉壁表面の破片 (37g) と推測される。内面は黒灰色の滓部で、表面には茶褐色の土砂または銹化物が付着している。土砂中には微細な鍛造剥片が多数混在する。裏面側には淡褐色で粘土質の鍛冶炉床土が固着する。

b 顕微鏡組織：第 20 図④～⑥に示す。④の左上は内面表層の付着土砂で、⑤はその拡大である。土砂中にはごく微細な粒状滓^(注5)、鍛造剥片^(注6)が多数混在する。また④の下側に一部ガラス質滓 (暗灰色部) と共に、広い範囲で鍛冶滓が観察される。⑥はその拡大で、淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネル、白色粒状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。精錬鍛冶滓の晶癖である。

当炉壁の内面には精錬鍛冶滓が固着することから、廃棄直前には鍛冶原料 (製鉄塊系遺物) の不純物 (未分離の砂鉄製錬滓) 作業が行われたことが明らかとなった。また付着土砂中に粒状滓・鍛造剥片が多数混在する。これらは廃棄後の付着物であるが、精錬～鍛錬鍛冶作業の反応副生物が一括して廃棄されたことを示唆する。

7) OKH-7 : 羽口 (図版 285-54)

a 肉眼観察：鍛冶羽口の先端部破片 (232g) である。熱影響を受けて、外面表層は広い範囲が黒色ガラス質化している。通風孔部は直径約 3cm である。また胎土中には真砂 (花崗岩の風化砂) や粉殻等を混和している。

b 顕微鏡組織：第 21 図①～③に示す。外面表層では素地部分はガラス質化しており、羽口粘土中に混和された石英・長石類などの砂粒が多数点在する。また微細な灰褐色樹枝状結晶はマグネタイト (Magnetite : Fe_3O_4) である。鉄素材の酸化に伴うものと推測される。

c 化学組成分析：第 8 表に示す。強熱減量 (Ig loss) は 0.41% と低値であった。強い熱影響を受けて、結晶構造水がほとんど飛散した状態である。鉄分 (Fe_2O_3) は 7.85% と高値であった。ガラス質滓中の鉄酸化物の影響を受けた可能性が高い。また酸化アルミニウム (Al_2O_3) は 20.31% と高値であり、耐火性に寄与すると考えられる。

d 耐火度：1120℃であった。鍛冶作業に支障はないが、やや低めの耐火性といえる。ただし上述したように、鍛冶作業で生じたガラス質滓中の鉄酸化物の影響がある場合、本来の羽口粘土の鉄分の割合はより低く、耐火性も高いものであった可能性が考えられる。

8) OKH-8 : 椀形鍛冶滓 (図版 285-58)

a 肉眼観察：大形で厚手の椀形鍛冶滓 (968g) である。ほぼ完形に近いが、側面 2 面は破面である。上面は中央が皿状にやや窪んでおり、側面から下面は部分的に凹凸が目立つ。工具痕と考えられる窪みも 3 箇所確認される。

b 顕微鏡組織：第 21 図④～⑥に示す。④の上側は滓部で、⑤⑥はその拡大である。微細な淡茶褐色多角形結晶はウルボスピネルとヘルシナイトを主な端成分とする固溶体、暗色多角形結晶はヘルシナイトと推定される。さらに白色粒状結晶ウスタイト、淡灰色盤状結晶ファヤライトが晶出する。

また④下側の付着土砂中には鍛造剥片 (薄板状の明白色部) や、木炭破片 (黒色部) が含まれる。木炭組織中には導管が分布しており、広葉樹材の黒炭と推定される。

c ビッカース断面硬度：第 21 図⑥の暗色多角形結晶の硬度を測定した。硬度値は 1114Hv と非常に硬質であり、ヘルシナイトと推定される。また白色粒状結晶の硬度値は 513Hv であった。ウスタイトの文献硬度値 (450 ~ 500Hv) よりやや硬質で、マグネタイト (500 ~ 600Hv) の範疇に入る。両者の混晶の可能性が考えられる。淡灰色盤状結晶の硬度値は 651Hv であった、ファヤライトの文献硬度値 (600 ~ 700Hv) の範囲内であり、ファヤライトに同定される。

d 化学組成分析：第 8 表に示す。全鉄分 (Total Fe) 51.09% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.08%、酸化第 1 鉄 (FeO) 41.59%、酸化第 2 鉄 (Fe_2O_3) 26.71% の割合であった。造滓成分 ($SiO_2+Al_2O_3+CaO+MgO+K_2O+Na_2O$) 24.99% で、このうち塩基性成分 ($CaO+MgO$) は 1.24% と低値であった。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) 起源

の二酸化チタン (TiO_2) は 1.00%、バナジウム (V) が 0.05%、二酸化ジルコニウム (ZrO_2) 0.02% と低減傾向を示す。酸化マンガン (MnO) も 0.12% と低めで、銅 (Cu) も 0.01% と低値であった。

当鉄滓は砂鉄起源の脈石鉱物 (TiO_2 、V、 ZrO_2) は低減傾向を示すが、滓中には鉄チタン酸化物の影響が残る。この特徴から精錬鍛冶工程末期または鍛錬鍛冶工程初期の反応副生物と推定される。

9) OKH-9 : 椀形鍛冶滓 (図版 287-76)

a 肉眼観察 : 中形の椀形鍛冶滓 (259g) の破片である。上面は比較的平坦で、表面には微細な木炭破片を多数含む土砂が広い範囲で固着する。側面から下面にかけては木炭痕などによる凹凸が目立つ。

b 顕微鏡組織 : 第 22 図①~③に示す。①は上面表層に付着した木炭破片と鍛造剥片である。また②は上面側の滓部で白色粒状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。観察面では②と同様の組成が広い範囲で確認された。これに対して③は下面表層側の滓部の拡大である。局部的に淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネルが確認された。

c ビッカース断面硬度 : 第 22 図③の淡茶褐色多角形結晶の硬度を測定した。硬度値は 632Hv であった。ウルボスピネルと推定される。また淡灰色盤状結晶ファヤライトの硬度値も 632Hv であった。ファヤライトの文献硬度値の範囲内であり、ファヤライトと推定される。

d EPMA 調査 : 第 22 図④に滓部の反射電子像 (COMP) を示す。淡茶褐色多角形結晶は特性 X 線像では鉄 (Fe)、チタン (Ti)、酸素 (O) に反応がある。定量分析値は 62.1%FeO-24.9% TiO_2 -1.1% Al_2O_3 (分析点 17) であった。ウルボスピネル (Ulvöspinel : $2\text{FeO} \cdot \text{TiO}_2$) で微量アルミナ (Al_2O_3) を固溶する。また白色粒状結晶は特性 X 線像をみると、結晶全体では鉄 (Fe)、酸素 (O) に反応がある。一方、内部の淡茶褐色微結晶にはチタン (Ti) に強い反応がある。定量分析値は 78.7%FeO-5.2% TiO_2 (分析領域 18) であった。素地部分はウスタイト (Wustite : FeO) で、微細なウルボスピネル (Ulvöspinel : $2\text{FeO} \cdot \text{TiO}_2$) が内部に晶出するものと判断される。淡灰色結晶は特性 X 線像をみると鉄 (Fe)、珪素 (Si)、酸素 (O) に反応がある。定量分析値は 57.2%FeO-2.1%CaO-2.8%MgO-30.1% SiO_2 (分析点 19) であった。淡灰色柱状結晶ファヤライト (Fayalite : $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$) で微量ライム (CaO)、マグネシア (MgO) を固溶する。また写真中央の明白色部は特性 X 線像では鉄 (Fe) にのみ強い反応がある。定量分析値は 99.3%Fe であった (分析点 2)。金属鉄 (Metallic Fe) である。

e 化学組成分析 : 第 8 表に示す。全鉄分 (Total Fe) 58.69% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.06%、酸化第 1 鉄 (FeO) 44.98%、酸化第 2 鉄 (Fe_2O_3) 33.84% の割合であった。造滓成分 ($\text{SiO}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaO} + \text{MgO} + \text{K}_2\text{O} + \text{Na}_2\text{O}$) は 14.49% と低めで、塩基性成分 (CaO+MgO) も 1.00% と低値である。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) 起源の二酸化チタン (TiO_2) は 1.24%、バナジウム (V) が 0.05%、二酸化ジルコニウム (ZrO_2) 0.02% とやや低めであった。酸化マンガン (MnO) も 0.19% と低めで、銅 (Cu) は 0.01% と低値である。

当鉄滓は砂鉄起源の脈石成分 (TiO_2 、V、 ZrO_2) はかなり低減しているが、下面表層側にのみ、製鉄原料 (砂鉄) に起因する鉄チタン酸化物 (ウルボスピネル) が確認された。以上の特徴から椀形鍛冶滓 (OKH-8) と同様に、精錬鍛冶工程末期または鍛錬鍛冶工程初期の反応副生物と推定される。

10) OKH-10 : 椀形鍛冶滓 (図版 287-82)

a 肉眼観察 : ごく小形の椀形鍛冶滓 (28g) である。全体が黄褐色の土砂に厚く覆われており、土砂中には微細な木炭破片や鍛造剥片が多数混在する。側面 3 面は破面で、内部にはまとまった滓部が存在すると判断される。

b 顕微鏡組織 : 第 23 図①~③に示す。椀形鍛冶滓 (OKH-9) と同様に、広い範囲で白色樹枝状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが確認される。②はその拡大である。一方下面表層では、局部的に淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネルが晶出する。③の上側はその拡大である。また③の下側は、滓表面に付着した土砂中の微細な粒状滓、鍛造剥片である。

c ビッカース断面硬度 : 第 23 図②の白色樹枝状結晶の硬度を測定した。硬度値は 448Hv であった。ウスタイトの文献硬度値の範囲内であり、ウスタイトに同定される。

d 化学組成分析：第8表に示す。全鉄分 (Total Fe) 54.62% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.07%、酸化第1鉄 (FeO) 45.11%、酸化第2鉄 (Fe₂O₃) 27.86% の割合であった。造滓成分 (SiO₂+Al₂O₃+CaO+MgO+K₂O+Na₂O) は19.43% で、このうち塩基性成分 (CaO+MgO) は1.04% と低値である。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) 起源の二酸化チタン (TiO₂) は1.45%、バナジウム (V) が0.05%、二酸化ジルコニウム (ZrO₂) 0.02%、酸化マンガ (MnO) も0.21% とやや低めであった。銅 (Cu) は0.01% と低値である。

当鉄滓も梶形鍛冶滓 (OKH-9) と非常によく似た鉱物・化学組成であった。精錬鍛冶工程末期または鍛錬鍛冶工程初期の反応副生物と推定される。

11) OKH-11：粒状滓

① OKH-11 イ-1：3.5mm 径

a 肉眼観察：比較的きれいな球状を呈する。色調は暗灰色で、表面にはごく微細な気孔が多数散在する。

b マクロ組織：第23図④に示す。中央には複数の気孔が集まってできた不定形の空洞が確認される。さらにその周囲にも微細な気孔が多数散在する。

c 顕微鏡組織：第23図⑤に示す。滓中には白色粒状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。

② OKH-11 イ-2：2.7mm 径

a 肉眼観察：比較的きれいな球状を呈するが、1箇所凸部が確認される。色調は黒灰色で、凸部以外の表面は平滑である。

b マクロ組織：第23図⑥に示す。内部は大きく空洞化している。

c 顕微鏡組織：第23図⑦に示す。表面の明白色層はヘマタイト (Hematite: Fe₂O₃)、灰褐色多角形結晶はマグネタイト、内側の白色粒状・樹枝状結晶はウスタイトと推定される。

③ OKH-11 イ-3：2.0mm 径

a 肉眼観察：比較的きれいな球状を呈する。色調は黒灰色で、部分的に弱い光沢がある。表面には微細な気孔が若干点在する。

b マクロ組織：第24図①に示す。内部の気孔は少なく、微細なものが散在する。

c 顕微鏡組織：第24図②に示す。微細な白色樹枝状結晶ウスタイトが、素地の暗黒色ガラス質滓中に晶出する。

④ OKH-11 ロ-1：1.2mm 径

a 肉眼観察：やや歪な球状を呈する。表面は光沢のある黒灰色で平滑である。

b マクロ組織：第24図③に示す。中心部寄りに複数の気孔が分布する。

c 顕微鏡組織：第24図④に示す。微細な白色樹枝状結晶ウスタイトが、素地の暗黒色ガラス質滓中に晶出する。

⑤ OKH-11 ロ-2：0.8mm 径

a 肉眼観察：きれいな球状を呈する。色調は光沢の強い銀灰色で、表面は平滑である。

b マクロ組織：第24図⑤に示す。内部は大きく空洞化する。

c 顕微鏡組織：第24図⑥に示す。表面の明白色層はヘマタイト、中間の灰褐色層はマグネタイト、内側の灰色層はウスタイトと推定される。

断面観察を実施した粒状滓はすべて鉄酸化物主体の遺物であった。鉄素材を熱間で鍛打加工した時に生じた微細な鍛冶関連遺物と判断される。

12) OKH-12：鍛造剥片

① OKH-12 イ-1：2.8×2.1×0.8mm

a 肉眼観察：色調は黒灰色で、ごく薄く茶褐色の鉄錆化物が付着する。表面は比較的平滑であるが、裏面は

凹凸が著しい。

b マクロ組織：第 24 図⑦に示す。非常に厚手の剥片である。上述したように裏面側の凹凸が顕著で、それに伴う厚みの変動が著しい。

c 顕微鏡組織：第 24 図⑧に示す。表層明白色部（写真上側）はヘマタイト、中間の灰褐色層はマグネタイト、内側の灰色層はウスタイトである。

② OKH-12 イ-2：3.2×2.3×0.4mm

a 肉眼観察：色調は黒灰色で、表裏面ともごく微細な凹凸がみられるが、比較的平坦な剥片である。

b マクロ組織：第 25 図①に示す。厚手で平坦な剥片である。

c 顕微鏡組織：第 25 図②に示す。表面明白層はヘマタイト、中間の灰褐色結晶はマグネタイト、内側の灰色層はウスタイトである。中間層の黒色点蝕は風化の影響であろうか？

③ OKH-12 イ-3：3.5×2.5×0.2mm

a 肉眼観察：色調は黒灰色である。表裏面とも微かに皺状の凹凸がみられるが、比較的平坦な剥片である。

b マクロ組織：第 25 図③に示す。やや薄手でほぼ平坦な剥片である。

c 顕微鏡組織：第 25 図④に示す。表層にごく薄く点在する明白色部はヘマタイト、灰褐色層はマグネタイト、内側の灰色層はウスタイトである。

④ OKH-12 イ-4：2.8×2.2×0.1mm

a 肉眼観察：色調は黒灰色で、表裏面とも平滑である。

b マクロ組織：第 25 図⑤に示す。薄手で平坦な剥片である。

c 顕微鏡組織：第 25 図⑥に示す。表面明白層はヘマタイト、中間の灰褐色結晶はマグネタイト、内側の灰色層はウスタイトである。

⑤ OKH-12 ロ-1：3.5×3.0×0.8mm

a 肉眼観察：色調は黒灰色である。表面は平滑で、下面には緩やかな皺状の凹凸がみられる。

b マクロ組織：第 25 図⑦に示す。非常に厚手の剥片である。

c 顕微鏡組織：第 25 図⑧に示す。表層の白色針状部はヘマタイト、その下の灰褐色部はマグネタイトである。また内側はウスタイトで、粒状結晶の痕跡が残る。

⑥ OKH-12 ロ-2：4.5×4.4×0.4mm

a 肉眼観察：色調は暗灰色で、表面には茶褐色の錆化物が付着する。

b マクロ組織：第 26 図①に示す。厚手で比較的平坦な剥片様遺物である。

c 顕微鏡組織：第 26 図②に示す。白色樹枝状結晶ウスタイトが、素地の暗黒色ガラス質滓中に晶出する。鍛錬鍛冶滓の晶癖である。

⑦ OKH-12 ロ-3：2.7×2.7×0.2mm

a 肉眼観察：色調は暗灰色で、表裏面とも平滑である。

b マクロ組織：第 26 図③に示す。やや薄手で平坦な剥片である。

c 顕微鏡組織：第 26 図④に示す。表面明白層はヘマタイト、中間の灰褐色結晶はマグネタイト、内側の灰色層はウスタイトである。

⑧ OKH-12 ロ-4：3.7×2.6×0.1mm

a 肉眼観察：色調は暗灰色である。表面には強い光沢がみられる。また表裏面とも比較的平滑である。

b マクロ組織：第 26 図⑤に示す。薄手で平坦な剥片である。

c 顕微鏡組織：第 26 図⑥に示す。表面明白層はヘマタイト、中間の灰褐色結晶はマグネタイト、内側の灰色層はウスタイトである。

断面観察を実施した剥片は 1 点を除いて鉄酸化物の 3 層構造が確認された。熱間での鍛打加工の際、鉄素材

の表面が酸化して生じた微細遺物である。また残る1点も鍛錬鍛冶滓の鉱物組成であり、やはり鍛錬鍛冶工程での反応副生物と判断される。

13) OKH-13 : 鉄製品 (図版 287-103)

a 肉眼観察 : L字状に曲がった鉄釘または錠の破片 (12g) と推測される。両端部は錆化に伴う破面で、表面全体は黄褐色の土砂に覆われる。特殊金属探知器の L (●) で反応があり、内部にはまとまった金属鉄が残存すると判断される。

b マクロ組織 : 第 26 図⑦に示す。横断面の観察を実施した。長方形状 (約 5×6mm) に成形された鍛造品で、中心部には金属鉄が残存する。

c 顕微鏡組織 : 第 27 図①～③に示す。金属鉄部を 3% ナイタルで腐食し、現出した組織を示している。全体が亜共析組織 (<0.77%) であるが、鉄中の炭素含有率は部位によってばらつきが大きい。②のように白色のフェライト (Ferrite: α 鉄) 主体で少量黒色層状のパーライトが析出する箇所と、③のようにわずかに白色針状のフェライトが析出するがパーライト組織主体の箇所が確認される。パーライトの面積率から、炭素含有率は 0.25% から 0.7% 程度と推定される。

d ビッカース断面硬度 : 第 27 図②③の金属鉄部の硬度を測定した。② (フェライト主体の低炭素域) の硬度値は 137Hv、③ (パーライト主体の高炭素域) の硬度値は 283Hv であった。それぞれ組織に見合った値である。

e EPMA 調査 : 鍛打によって展伸した鉄中非金属介在物の反射電子像 (COMP) を第 27 図④に示す。介在物中に点在する白色粒状結晶は、特性 X 線像をみると鉄 (Fe)、酸素 (O) に反応がある。定量分析値は 88.0%FeO-1.2%MgO (分析点 14)、87.5%FeO-1.1%MgO (分析点 15) であった。マグネタイト (Magnetite : Fe_3O_4) で、微量マグネシア (MgO) を固溶する。また素地部分の定量分析値は 37.2%SiO₂-5.3%Al₂O₃-14.7%CaO-1.4%MgO-6.2%K₂O-1.3%Na₂O-2.0%P₂O₅-26.7%FeO (分析点 16) であった。非晶質硅酸塩で鉄分の割合が高い。

もう 1 視野、鉄中非金属介在物の調査を実施した。反射電子像 (COMP) を第 27 図⑤に示す。定量分析値は 46.6%FeO-9.0%Al₂O₃-12.5%CaO-2.0%MgO-6.9%K₂O-1.4%Na₂O-22.4%FeO (分析点 13) であった。やはり非晶質硅酸塩である。

当遺物は炭素含有率にばらつきのある (C:0.25 ~ 0.7% 程度) 鍛造製品であった。また鉄中の非金属介在物には、製鉄原料の砂鉄起源の脈石成分 (TiO₂) の影響がなく、折り返し鍛錬時の鍛接剤などに起因するものと判断される。(そのため当遺跡出土鍛冶関連遺物との関連を示唆する情報は得られなかった。)

14) OKH-14 : 椀形鍛冶滓 (図版 288-107)

a 肉眼観察 : 非常に大形でほぼ完形の椀形鍛冶滓 (1479g) である。上面は全体が黄褐色の土砂や茶褐色の鉄錆化物に覆われる。特殊金属探知器の H (○) でも反応があるが、まとまった鉄部はみられない。また上面から側面にかけて溝状の窪みがあり、工具痕の可能性が指摘されている。下面には灰褐色で粘土質の炉床土が付着する。

b 顕微鏡組織 : 第 28 図①～③に示す。①上側は滓部で、②はその拡大である。淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネル、白色粒状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。精錬鍛冶滓の晶癖である。一方、①の下側の黒色部は錆化鉄で、③はその拡大である。金属組織痕跡は不明瞭で、炭素含有率の推定は困難な状態であった。

c ビッカース断面硬度 : 第 28 図②の淡茶褐色多角形結晶の硬度を測定した。硬度値は 674Hv で、ウルボスピネルと推定される。また白色粒状結晶の硬度値は 471Hv であった。ウスタイトの文献硬度値の範囲内であり、ウスタイトと同定される。

d 化学組成分析 : 第 8 表に示す。全鉄分 (Total Fe) 50.74% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.07%、酸化第 1 鉄 (FeO) 44.76%、酸化第 2 鉄 (Fe₂O₃) 22.70% の割合であった。造滓成分 (SiO₂+Al₂O₃+CaO+MgO+K₂O+Na₂O)

は22.35%で、このうち塩基性成分(CaO+MgO)は1.70%と低値であった。製鉄原料の砂鉄(含チタン鉄鉱)起源の二酸化チタン(TiO₂)は4.53%、バナジウム(V)が0.17%、二酸化ジルコニウム(ZrO₂)0.06%であった。また酸化マンガン(MnO)は0.26%、銅(Cu)は0.01%であった。

当鉄滓は砂鉄起源の脈石鉱物(TiO₂、V、ZrO₂)の割合がやや高めで、精錬鍛冶滓に分類される。鍛冶原料(製鉄塊系遺物)の不純物除去作業に伴う反応副生物と考えられる。

15) OKH-15: 椀形鍛冶滓(図版289-115)

a 肉眼観察: やや小形でほぼ完形の重層椀形鍛冶滓(199g)である。表面には瘤状に黄褐色の土砂が付着する。

b 顕微鏡組織: 第28図④~⑥に示す。④は上面表層に付着した木炭破片である。板目面が観察される。また⑤は上面側の滓部で白色粒状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。観察面では⑤と同様の組成が広い範囲で確認された。これに対して⑥は下面表層側の滓部の拡大である。局部的に淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネルが確認された。

c ピッカース断面硬度: 第28図⑤の白色粒状結晶の硬度を測定した。硬度値は486Hvであった。ウスタイトの文献硬度値の範囲内であり、ウスタイトに同定される。また淡灰色盤状結晶の硬度値は595Hvであった。ファヤライトの文献硬度値よりも若干軟質であるが、色調・形態からファヤライト(Fayalite: 2FeO·SiO₂)に近い組成の化合物と推定される。

d 化学組成分析: 第8表に示す。全鉄分(Total Fe)54.06%に対して、金属鉄(Metallic Fe)0.07%、酸化第1鉄(FeO)42.02%、酸化第2鉄(Fe₂O₃)30.49%の割合であった。造滓成分(SiO₂+Al₂O₃+CaO+MgO+K₂O+Na₂O)20.13%で、このうち塩基性成分(CaO+MgO)は1.14%と低値である。製鉄原料の砂鉄(含チタン鉄鉱)の二酸化チタン(TiO₂)は1.49%、バナジウム(V)が0.07%、二酸化ジルコニウム(ZrO₂)0.02%とやや低めであった。また酸化マンガン(MnO)は0.18%、銅(Cu)は0.01%であった。

当鉄滓も砂鉄起源の脈石成分(TiO₂、V、ZrO₂)はかなり低減しているが、下面表層側にのみ、製鉄原料(砂鉄)に起因する鉄チタン酸化物(ウルボスピネル)が確認された。この特徴から椀形鍛冶滓(OKH-8~10)と同様に、精錬鍛冶工程末期または鍛錬鍛冶工程初期の反応副生物と推定される。

D ま と め

沖ノ羽遺跡第24次調査から出土した鍛冶関連遺物を調査した結果、遺跡内では精錬鍛冶~鍛錬鍛冶工程が連続して行われていたと推定される。詳細は以下の通りである。

(1) 椀形鍛冶滓3点(OKH-1、2、14)は、砂鉄起源の脈石成分(TiO₂、V、ZrO₂)の割合が高く、精錬鍛冶滓に分類される。これらは鍛冶原料の不純物除去作業に伴う反応副生物で、砂鉄製錬滓との分離が不十分な状態の鉄塊(主に軟鉄~鋼)が、鍛冶原料として当遺跡に搬入されていたと推定される。

また冒頭で述べたように、新津丘陵西側には多数の製鉄遺跡が確認されている。これらの遺跡では、火山岩起源の高チタン砂鉄を製鉄原料に用いたことが判明している(出土砂鉄はTiO₂含有率が10~15%程度のものと20%を超えるものがある)。チタン(TiO₂)含有率の高い椀形鍛冶滓は、こうした地域の鉄生産遺跡との結びつきを示唆する遺物といえる。

(2) 椀形鍛冶滓4点(OKH-8~10、15)はチタン含有率(TiO₂)が1%強とやや低めで、断面観察でもウルボスピネル(Ulvöspinel: 2FeO·TiO₂)結晶が、下面表層に限定して確認されるものが多い。この特徴から、精錬鍛冶工程末期または鍛錬鍛冶工程初期の反応副生物と推定される。なお、鍛冶原料が未分離の砂鉄製錬滓を多量に含む鉄塊の場合は、滓が完全に分離できていなくとも、鍛打が可能な時点で鍛錬を開始することがある。鉄素材の吹き減り(酸化に伴う損失)を抑制するためと考えられる。当遺跡でも同様の状況が窺える。

(3) 椀形鍛冶滓2点(OKH-3、4)は鍛錬鍛冶滓に分類される。砂鉄起源の脈石鉱物(TiO₂、V、ZrO₂)の低減傾向が顕著であり、鉄素材を熱間で鍛打加工した際の反応副生物と判断される。さらに粒状滓(OKH-11)、鍛造

第8表 供試材の化学組成

| 符号 | 遺跡名 | 地区名 | 出土位置 | 遺物名称 | 推定年代 | 全鉄分 (Total Fe) | 金属鉄 (Metallic Fe) | 酸化第1鉄 (FeO) | 酸化第2鉄 (Fe ₂ O ₃) | 二酸化珪素 (SiO ₂) | 酸化アルミニウム (Al ₂ O ₃) | 酸化カルシウム (CaO) | 酸化マグネシウム (MgO) | 酸化カリウム (K ₂ O) | 酸化ナトリウム (Na ₂ O) | 酸化マンガン (MnO) | 二酸化チタン (TiO ₂) | 酸化クロム (Cr ₂ O ₃) | 硫黄 (S) | 五酸化燐 (P ₂ O ₅) | 炭素 (C) | バナジウム (V) | 銅 (Cu) | 二酸化ジルコニウム (ZrO ₂) | 耐火度 (°C) | 造滓成分 | Σ* | |
|--------|-----|-----|-------|--------|-------|-------------------|----------------------|----------------|--|------------------------------|---|------------------|-------------------|------------------------------|--------------------------------|-----------------|-------------------------------|--|-----------|--|-----------------|--------------|-----------|----------------------------------|-------------|-------|----------|------------------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Total Fe | TiO ₂ |
| OKH-1 | 沖ノ羽 | 2区東 | SD98 | 梘形鍛冶滓 | 古代～中世 | 56.78 | 0.08 | 52.81 | 22.38 | 6.54 | 3.18 | 0.45 | 1.57 | 0.14 | 0.07 | 0.34 | 8.34 | 0.10 | 0.045 | 0.45 | 0.21 | 0.29 | 0.01 | 0.12 | — | 11.95 | 0.210 | 0.147 |
| OKH-2 | | | 包含層 | 梘形鍛冶滓 | | 55.57 | 0.10 | 51.56 | 22.01 | 9.37 | 3.55 | 0.75 | 1.43 | 0.29 | 0.13 | 0.36 | 6.95 | 0.09 | 0.044 | 0.51 | 0.21 | 0.23 | 0.01 | 0.12 | — | 15.52 | 0.279 | 0.125 |
| OKH-3 | | | 梘形鍛冶滓 | 55.06 | | 0.12 | 55.46 | 16.92 | 16.75 | 3.64 | 1.14 | 0.72 | 1.03 | 0.40 | 0.09 | 0.18 | 0.03 | 0.036 | 0.55 | 0.16 | 0.03 | 0.01 | 0.01 | — | 23.68 | 0.430 | 0.003 | |
| OKH-4 | | | 梘形鍛冶滓 | 60.85 | | 0.04 | 60.77 | 19.41 | 12.60 | 2.43 | 0.55 | 0.45 | 0.51 | 0.25 | 0.08 | 0.15 | 0.03 | 0.031 | 0.30 | 0.20 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | — | 16.79 | 0.276 | 0.002 | |
| OKH-7 | | 2区西 | SK522 | 羽口(鍛冶) | | 6.61 | 0.07 | 1.35 | 7.85 | 62.81 | 20.31 | 0.72 | 0.96 | 1.68 | 0.81 | 0.08 | 0.98 | 0.04 | 0.007 | 0.12 | 1g loss 0.41 | 0.03 | 0.01 | — | 1120 | 87.29 | 13.206 | 0.148 |
| OKH-8 | | | 梘形鍛冶滓 | 51.09 | | 0.08 | 41.59 | 26.71 | 18.26 | 4.67 | 0.58 | 0.66 | 0.63 | 0.19 | 0.12 | 1.00 | 0.04 | 0.048 | 0.20 | 0.35 | 0.05 | 0.01 | 0.02 | — | 24.99 | 0.489 | 0.020 | |
| OKH-9 | | | 梘形鍛冶滓 | 58.69 | | 0.06 | 44.98 | 33.84 | 10.83 | 2.14 | 0.53 | 0.47 | 0.27 | 0.25 | 0.19 | 1.24 | 0.04 | 0.026 | 0.26 | 0.66 | 0.05 | 0.01 | 0.02 | — | 14.49 | 0.247 | 0.021 | |
| OKH-10 | | | 梘形鍛冶滓 | 54.62 | | 0.07 | 45.11 | 27.86 | 13.92 | 3.97 | 0.48 | 0.56 | 0.33 | 0.17 | 0.21 | 1.45 | 0.04 | 0.037 | 0.35 | 0.70 | 0.05 | 0.01 | 0.02 | — | 19.43 | 0.356 | 0.027 | |
| OKH-14 | | | SD54 | 梘形鍛冶滓 | | 50.74 | 0.07 | 44.76 | 22.70 | 15.28 | 4.60 | 0.67 | 1.03 | 0.47 | 0.30 | 0.26 | 4.53 | 0.09 | 0.037 | 0.40 | 0.42 | 0.17 | 0.01 | 0.06 | — | 22.35 | 0.440 | 0.089 |
| OKH-15 | | | SD143 | 梘形鍛冶滓 | | 54.06 | 0.07 | 42.02 | 30.49 | 15.32 | 3.00 | 0.57 | 0.57 | 0.41 | 0.26 | 0.18 | 1.49 | 0.06 | 0.046 | 0.30 | 0.25 | 0.07 | 0.01 | 0.02 | — | 20.13 | 0.372 | 0.028 |

第9表 木炭の性状

| 符号 | 遺跡名 | 出土位置 | 遺物名称 | 推定年代 | 灰分 Ash | 揮発分 VM | 水分 MS | 固定炭素 FC | 硫黄 TS | 発熱量 cal/g | 灰中P |
|-------|-----|------|--------------|-------|-----------|-----------|----------|------------|----------|--------------|------|
| OKH-5 | 沖ノ羽 | 2区西 | SK474 木炭(一括) | 古代～中世 | 26.94 | 36.05 | 16.50 | 37.01 | 0.022 | 3910 | 0.04 |

第10表 出土遺物の調査結果のまとめ

| 符号 | 遺跡名 | 地区名 | 出土位置 | 遺物名称 | 推定年代 | 顕微鏡組織 | 化学組成 (%) | | | | | | | 所見 | |
|--------|-----|-----|--------|-------------------------------------|-------|--|----------|--------------------------------|-------|------------------|------|-------|-------|-------------------------------|--|
| | | | | | | | Total Fe | Fe ₂ O ₃ | 塩基性成分 | TiO ₂ | V | MnO | 造滓成分 | | Cu |
| OKH-1 | 沖ノ羽 | 2区東 | SD98 | 梘形鍛冶滓 | 古代～中世 | 滓部: U (とHの固溶体) +W+F、微小金属鉄、木炭破片: 木口面、広葉樹材 | 56.78 | 22.38 | 2.02 | 8.34 | 0.29 | 0.34 | 11.95 | 0.01 | 精錬鍛冶滓(始発原料: 砂鉄) |
| OKH-2 | | | 包含層 | 梘形鍛冶滓 | | 滓部: U (とHの固溶体) +W+F、微小金属鉄、木炭破片 | 55.57 | 22.01 | 2.18 | 6.95 | 0.23 | 0.36 | 15.52 | 0.01 | 精錬鍛冶滓(始発原料: 砂鉄) |
| OKH-3 | | | 梘形鍛冶滓 | 滓部: W+F、微小金属鉄、錆化鉄(金属組織痕跡不明瞭) | | 55.06 | 16.92 | 1.86 | 0.18 | 0.03 | 0.09 | 23.68 | 0.01 | 鍛錬鍛冶滓 | |
| OKH-4 | | | 梘形鍛冶滓 | 滓部: W+F、錆化鉄(亜共析組織痕跡) | | 60.85 | 19.41 | 1.00 | 0.15 | 0.02 | 0.08 | 16.79 | 0.01 | 鍛錬鍛冶滓 | |
| OKH-5 | | 2区西 | SK474 | 木炭 | | 広葉樹環孔材、小導管は火炎状に配置 | — | — | — | — | — | — | — | — | 木炭の組織観察を実施した破片はクリ材の黒炭と推定される |
| OKH-6 | | | SK522 | 炉壁 | | 粒状滓・鍛造剥片付着、滓部: U+W+F | — | — | — | — | — | — | — | — | 精錬鍛冶作業に用いられた炉壁片か(滓部: 精錬鍛冶滓)、ただし粒状滓・鍛造剥片が付着することから、鍛錬鍛冶作業も連続して行われた可能性が高い |
| OKH-7 | | | 羽口(鍛冶) | ガラス質滓(被熱砂粒: 石英・長石類混在)、微細M | | 6.61 | 7.85 | 1.68 | 0.98 | 0.03 | 0.08 | 87.29 | 0.01 | 耐火度: 1120°C、鍛冶羽口としても若干低めの耐火性状 | |
| OKH-8 | | | 梘形鍛冶滓 | 滓部: U+H+W+F、鍛造剥片・木炭破片付着 | | 51.09 | 26.71 | 1.24 | 1.00 | 0.05 | 0.12 | 24.99 | 0.01 | 精錬鍛冶末期～鍛錬鍛冶初期の反応副生物(始発原料: 砂鉄) | |
| OKH-9 | | | 梘形鍛冶滓 | 木炭破片・鍛造剥片付着、滓部: W+F(下面表層U) | | 58.69 | 33.84 | 1.00 | 1.24 | 0.05 | 0.19 | 14.49 | 0.01 | 精錬鍛冶末期～鍛錬鍛冶初期の反応副生物(始発原料: 砂鉄) | |
| OKH-10 | | | 梘形鍛冶滓 | 粒状滓・鍛造剥片付着、滓部: W+F(下面表層U) | | 54.62 | 27.86 | 1.04 | 1.45 | 0.05 | 0.21 | 19.43 | 0.01 | 精錬鍛冶滓(始発原料: 砂鉄) | |
| OKH-11 | | | 粒状滓 | イ-1: W+F、イ-2・ロ-2: He+M+W、イ-3・ロ-1: W | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 熱間での鍛打加工に伴う微細遺物 |
| OKH-12 | | | 鍛造剥片 | イ-1～4・ロ-1・3・4: He+M+W、ロ-2: W | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 熱間での鍛打加工に伴う微細遺物 |
| OKH-13 | | | SD3 | 鉄製品(鍛造品) | | 非金属介在物: 非晶質硅酸塩、M、金属鉄部: 亜共析組織 | — | — | — | — | — | — | — | — | 鍛造製品(炭素含有率は部位によりばらつきが大きいC: 0.25～0.7%程度) |
| OKH-14 | | | SD54 | 梘形鍛冶滓(含鉄) | | 滓部: U+W+F、微小金属鉄、錆化鉄(金属組織痕跡不明瞭) | 50.74 | 22.7 | 1.70 | 4.53 | 0.17 | 0.26 | 22.35 | 0.01 | 精錬鍛冶滓(始発原料: 砂鉄) |
| OKH-15 | | | SD143 | 梘形鍛冶滓(含鉄) | | 木炭破片、滓部: W+F(下面表層U) | 54.06 | 30.49 | 1.14 | 1.49 | 0.07 | 0.18 | 20.13 | 0.01 | 精錬鍛冶末期～鍛錬鍛冶初期の反応副生物(始発原料: 砂鉄) |

U: Ulvöspinel (2FeO・TiO₂)、H: Hercynite (FeO・Al₂O₃)、W: Wüstite (FeO)、He: Hematite (Fe₂O₃)、M: Magnetite (Fe₃O₄)、F: Fayalite (2FeO・SiO₂)

剥片 (OKH-12) といった、熱間での鍛打加工に伴う微細遺物も確認された。これらは遺跡内で熱間での鍛打加工が行われたことを示すものである。

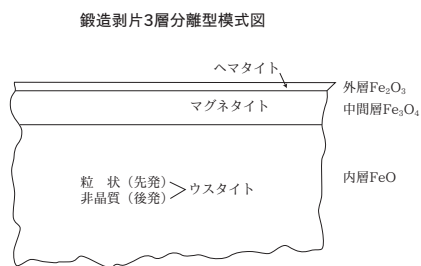
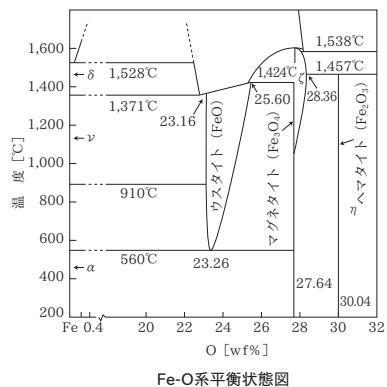
- (4) 鉄製品 (OKH-13) は横断面が長方形に成形された鍛造品であった。金属鉄部は部位により炭素含有率のばらつきが大きい (C: 0.25 ~ 0.7% 程度)。また鉄中非金属介在物は非晶質珪酸塩主体で、折り返し鍛錬時の鍛接剤 (粘土汁・薬灰など) によるものと判断される。砂鉄起源の鉄チタン酸化物はなく、出土鍛冶関連遺物との関連を示唆するような特徴は確認されなかった。
- (5) 第 24 次調査出土腕形滓は、2000g 以上の大型品から 30g 以下の極小品までが存在する。前者は除滓目的で鍛冶工程の先行排出滓。後者は製品製作最終工程に拘わる可能性大と、過去の調査事例から指摘されている。今回の調査データでもって第 11 表に腕形滓重量と脈石成分 (TiO₂、V、ZrO₂) の関係資料として提示した。大まかには重量低減で脈石成分も連動し、漸次低減する。しかし 2 区西 SK522 (鍛冶工房内廃棄土坑) 出土品に限定すると、腕形滓は 968g の大型品から 28g の極小品まで、TiO₂ は 1% 台に留まる。この挙動をどの様に評価すべきだろうか。実際に同系鉄素材を使って鉄製品の大小の排滓量として割り切れるものだろうか。この問題が当報告の課題となった。

第 11 表 腕形鍛冶滓重量とチタン含有量からみた鍛冶工程覚書

| 符号 | 出土位置 | 腕形滓 重量 (g) | 化学組成 (%) | | | 除滓工程 | | 鍛冶区分 | 備考 |
|--------|----------|---------------|------------------|------|------------------|------|----|-----------|----------------------------|
| | | | TiO ₂ | V | ZrO ₂ | 粗製 | 精製 | | |
| OKH-1 | 2区東SD98 | 2036 | 8.34 | 0.29 | 0.12 | ○ | | 精錬鍛冶 | |
| OKH-2 | 2区東包含層 | 推定値1000 | 6.95 | 0.23 | 0.12 | ○ | | 精錬鍛冶 | |
| OKH-14 | 2区西SD54 | 1479 | 4.53 | 0.17 | 0.06 | | ○ | 精錬鍛冶 | |
| OKH-8 | 2区西SK522 | 968 | 1.00 | 0.05 | 0.02 | | △ | 精錬鍛冶未鍛錬鍛冶 | 重量とTiO ₂ の有意差なし |
| OKH-9 | 2区西SK522 | 259 | 1.24 | 0.05 | 0.02 | | △ | 精錬鍛冶未鍛錬鍛冶 | |
| OKH-10 | 2区西SK522 | 28 | 1.45 | 0.05 | 0.02 | | △ | 精錬鍛冶未鍛錬鍛冶 | |
| OKH-15 | 2区西SD143 | 199 | 1.49 | 0.07 | 0.02 | | △ | 精錬鍛冶未鍛錬鍛冶 | |
| OKH-3 | 2区東包含層 | 196 | 0.18 | 0.03 | 0.01 | | | 鍛錬鍛冶 | |
| OKH-4 | 2区東包含層 | 52 | 0.15 | 0.02 | 0.01 | | | 鍛錬鍛冶 | |

(注)

- 新津丘陵にある製鉄遺跡群については、下記の発掘調査報告書が刊行されている。
 - 『金津丘陵製鉄遺跡群発掘調査報告書 居村 B・D 地区』新津市教育委員会 1996
 - 『金津丘陵製鉄遺跡群発掘調査報告書Ⅱ 居村遺跡 E・A・C 地点、大入遺跡 A 地点』新津市教育委員会 1997
 - 『金津丘陵製鉄遺跡群発掘調査報告書Ⅲ (分析・考察編)』新津市教育委員会 1998
- 日刊工業新聞社『焼結鉱組織写真および識別法』1968
 ウスタイトは 450 ~ 500Hv、マグネタイトは 500 ~ 600Hv、ファヤライトは 600 ~ 700Hv の範囲が提示されている。ウルボスピネルの硬度値範囲の明記はないが、マグネタイトにチタン (Ti) を固溶するので、600Hv 以上であればウルボスピネルと同定している。それにアルミナ (Al) が加わり、ウルボスピネルとヘルシナイトを端成分とする固溶体となると更に硬度値は上昇する。このため 700Hv を超える値では、ウルボスピネルとヘルシナイトの固溶体の可能性が考えられる。
- 木下亀城・小川留太郎『岩石鉱物』保育社 1995
 チタン鉄鉱は赤鉄鉱とあらゆる割合に混じりあった固溶体をつくる。(中略) チタン鉄鉱と赤鉄鉱の固溶体には、チタン鉄鉱あるいは赤鉄鉱の結晶をなし、全体が完全に均質なものと、チタン鉄鉱と赤鉄鉱が平行にならんで規則正しい縞状構造を示すものがある。
 チタン鉄鉱は磁鉄鉱とも固溶体をつくり、これにも均質なものと、縞状のものがある。(中略) このようなチタン鉄鉱と赤鉄鉱、または磁鉄鉱との固溶体を含チタン鉄鉱 Titaniferous iron ore という。
- 黒田吉益・諏訪兼位『偏光顕微鏡と造岩鉱物 [第 2 版]』共立出版株式会社 1983 第 5 章 鉱物各論 E. 磁鉄鉱 (magnetite)
 磁鉄鉱は広義のスピンネル類に属し、FeO・Fe₂O₃ の理想組成をもっているが、多くの場合 Ti をかなり含んでいる。(中略) ウルボスピネル (ulvöspinel) と連続固溶体をつくり、この中間組成のものをチタン磁鉄鉱 (titanomagnetite) とよぶ。
- 粒状滓は鍛冶作業において凹凸を持つ鉄素材が鍛冶炉の中で赤熱状態に加熱されて、突起部が溶け落ちて酸化され、表面張力の関係から球状化したり、赤熱鉄塊に酸化防止を目的に塗布された粘土汁が酸化膜と反応して、これが鍛打の折に飛散して球状化した微細な遺物である。
- 鍛造剥片とは鉄素材を大気中で加熱、鍛打したとき、表面酸化膜が剥離、飛散したものを指す。俗に鉄肌 (金肌) やスケールとも呼ばれる。



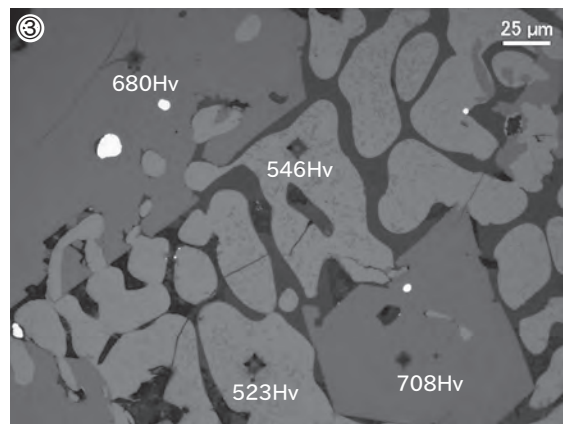
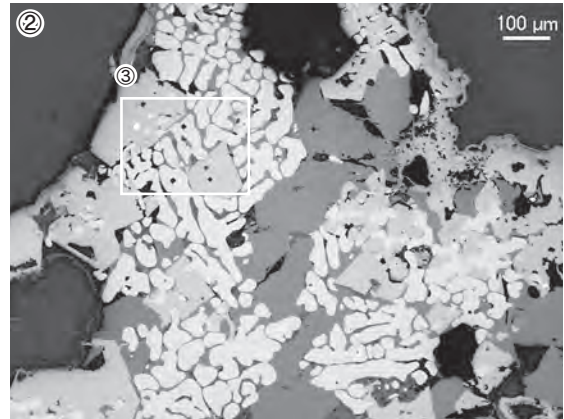
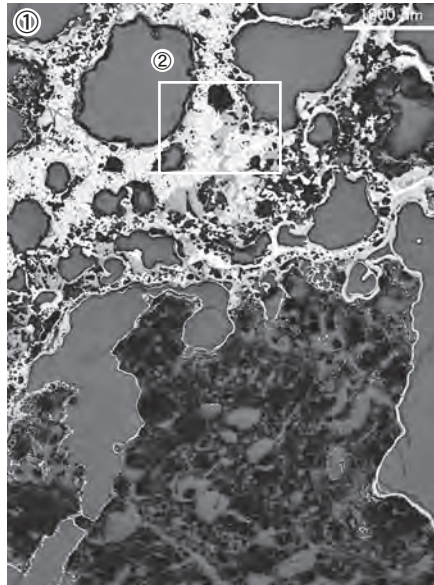
鍛造剥片の酸化膜相は、外層は微厚のヘマタイト (Hematite : Fe_2O_3)、中間層マグネタイト (Magnetite : Fe_3O_4)、大部分は内層ウスタイト (Wustite : FeO) の3層から構成される。このうちのヘマタイト相は 1450°C を越えると存在しなく、ウスタイト相は 570°C 以上で生成されるのは Fe-O 系平衡状態図から説明される。

OKH-1

梘形鍛冶滓

①上側：滓部、ウルボスピネル（とヘルシナイトの固溶体）・ウスタイト・ファヤライト、微小明白色粒：金属鉄、下側木炭破片、広葉樹材

②③滓部拡大、硬度：50gf



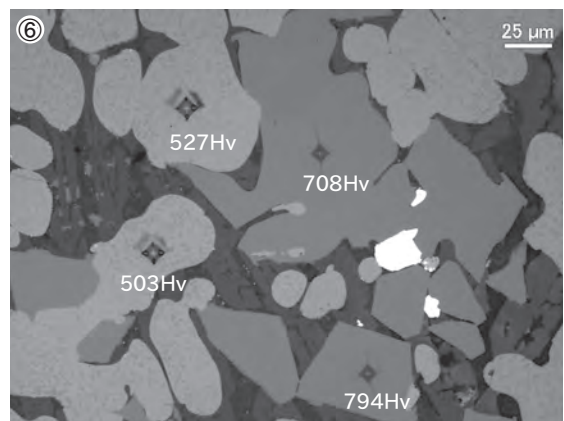
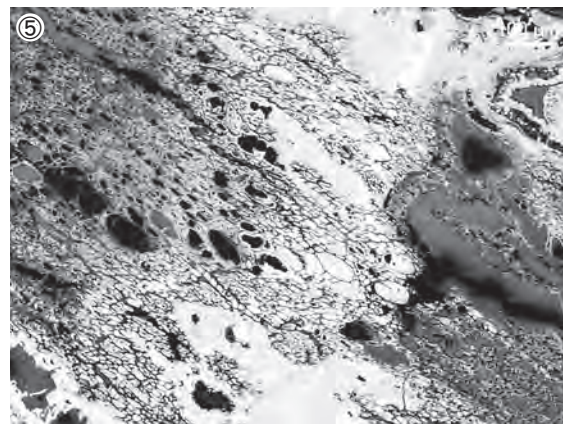
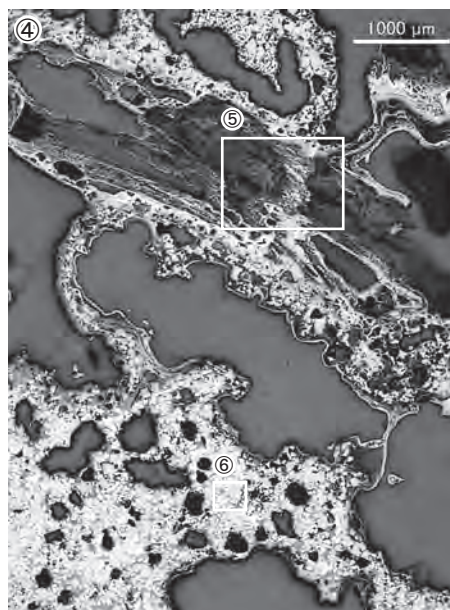
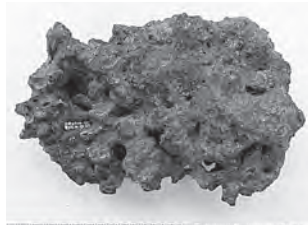
OKH-2

梘形鍛冶滓

④黒色部：木炭破片、滓部：ウルボスピネルとヘルシナイトの固溶体・ウスタイト・ファヤライト

⑤木炭破片拡大、広葉樹材、青灰色部：錆化鉄、金属組織痕跡不明瞭

⑥滓部拡大、硬度：50gf



第 18 図 梘形鍛冶滓の顕微鏡組織 (OKH-1・2)

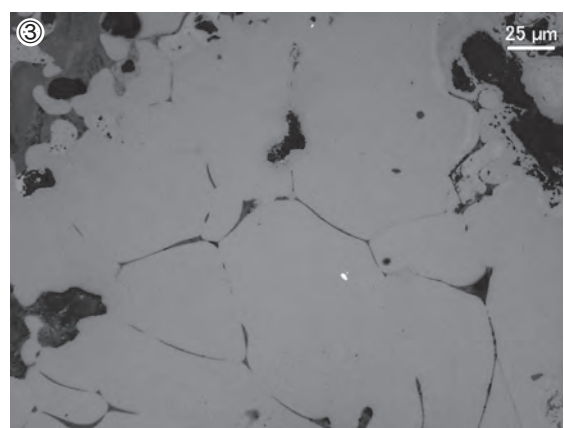
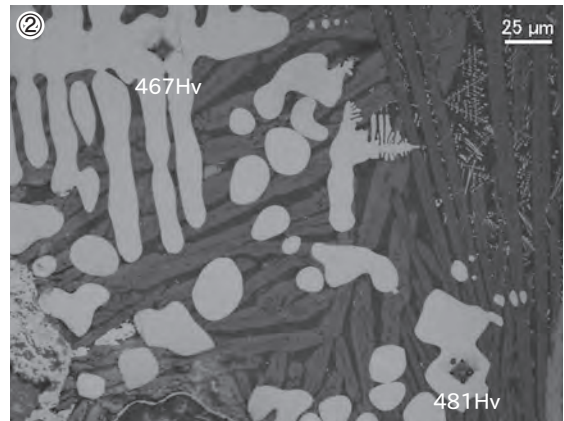
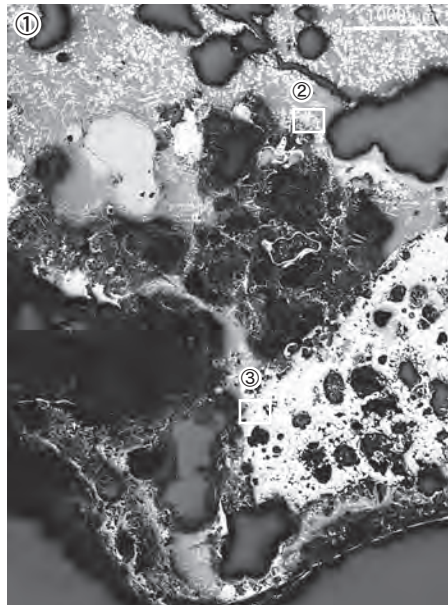
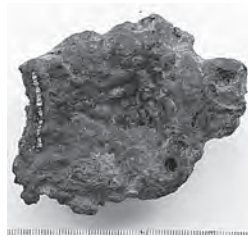
OKH-3

椀形鍛冶滓

①滓部：ウスタイト・ファヤライト、
不定形青灰色部：錆化鉄、金属組
織痕跡不明瞭

②滓部拡大、硬度：50gf

③滓部拡大、ウスタイト凝集



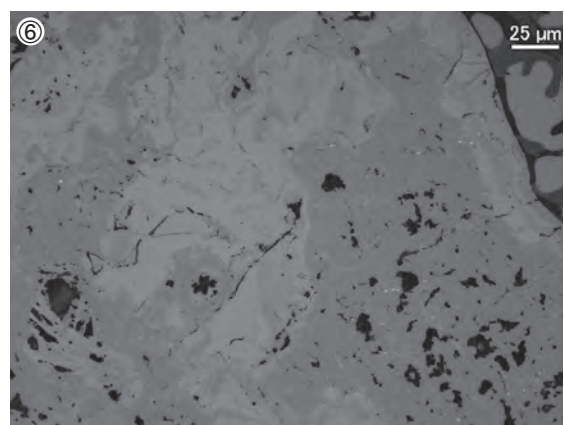
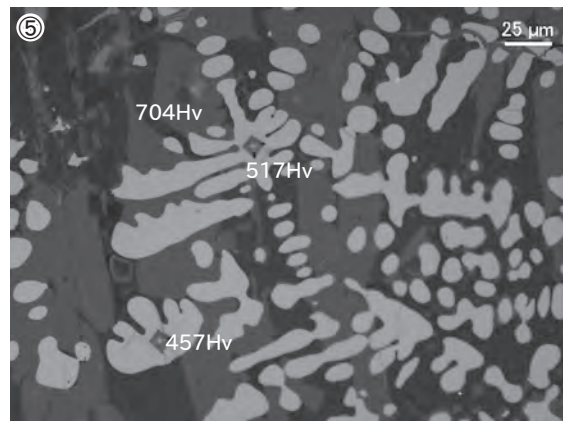
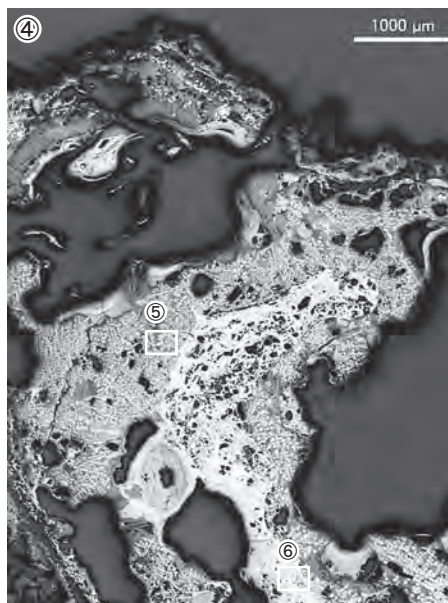
OKH-4

椀形鍛冶滓

④滓部：ウスタイト・ファヤライト、
明灰色部：錆化鉄

⑤滓部拡大、硬度：50gf

⑥錆化鉄部拡大、亜共析組織痕跡

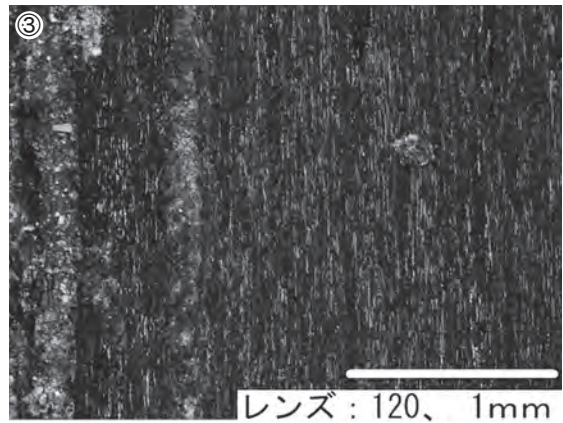
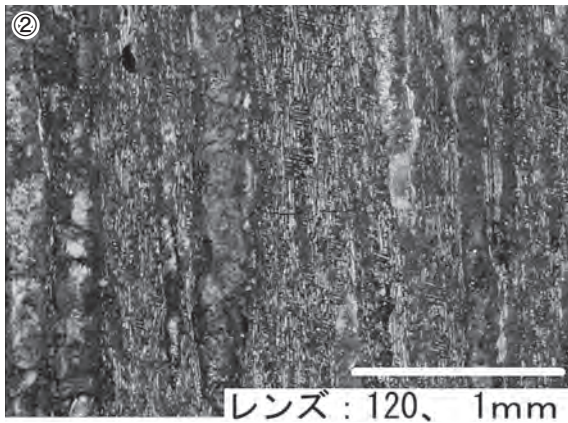
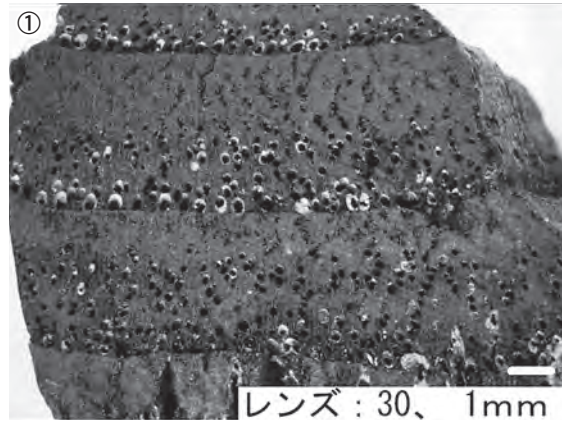


第19図 椀形鍛冶滓の顕微鏡組織 (OKH-3・4)

OKH-5

木炭

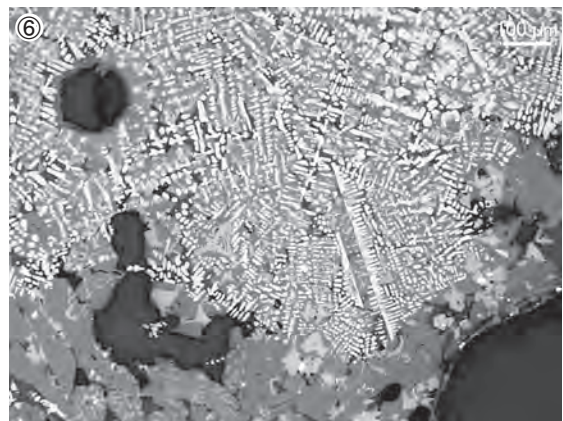
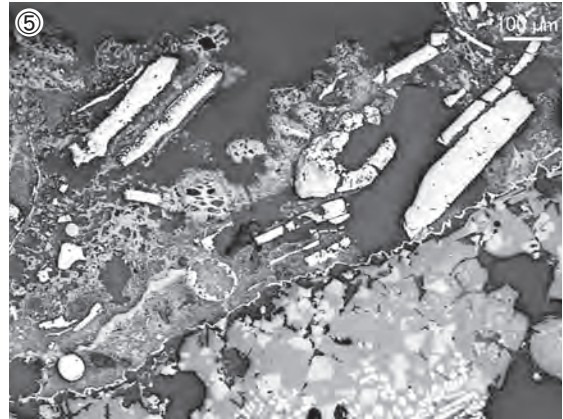
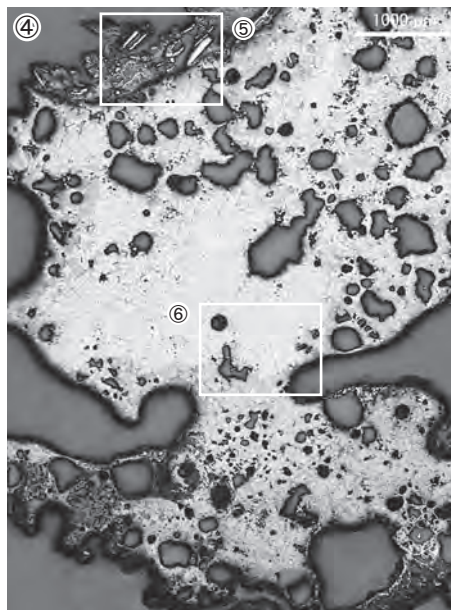
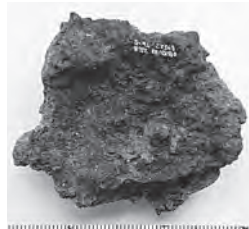
- ①木口、②柁目、③板目
- 広葉樹環孔材



OKH-6

炉壁

- ④上側：粒状滓・鍛造剥片付着、
- 滓部：ウルボスピネル・ウス
- タイト・ファヤライト
- ⑤粒状滓・鍛造剥片拡大
- ⑥滓部拡大

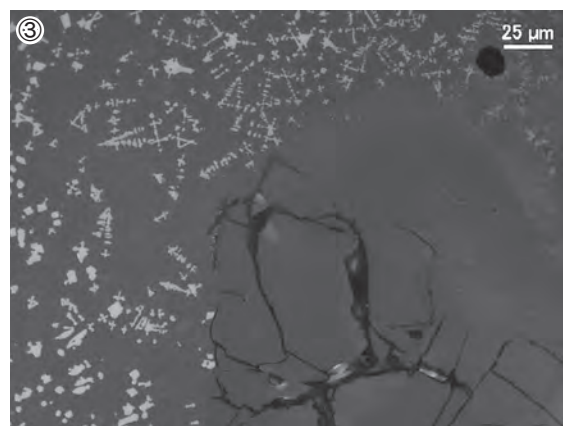
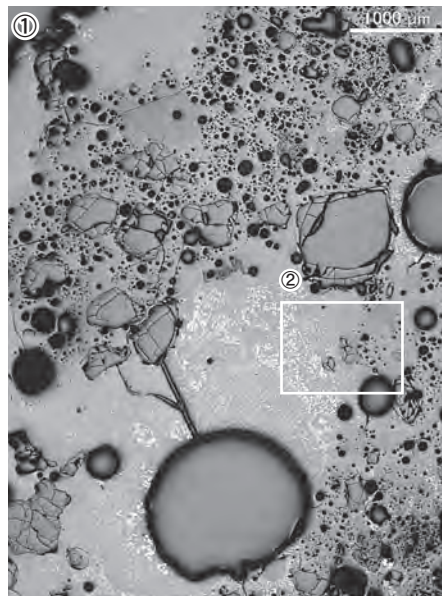
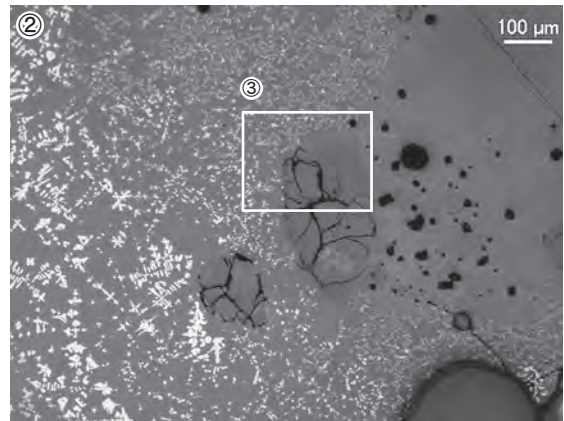


第20図 木炭・炉壁の顕微鏡組織 (OKH-5・6)

OKH-7

羽口

①～③外面表層ガラス質滓、
被熱砂粒、微細マグネタイト



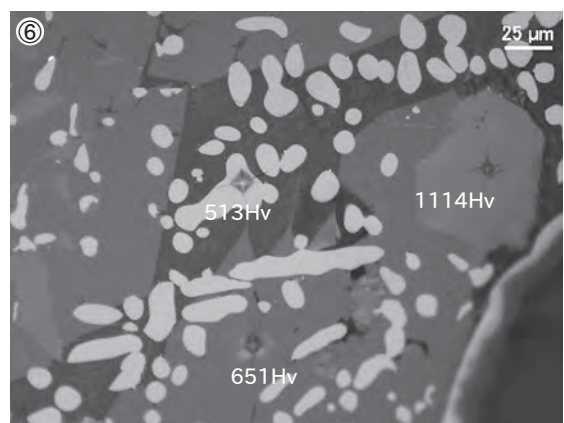
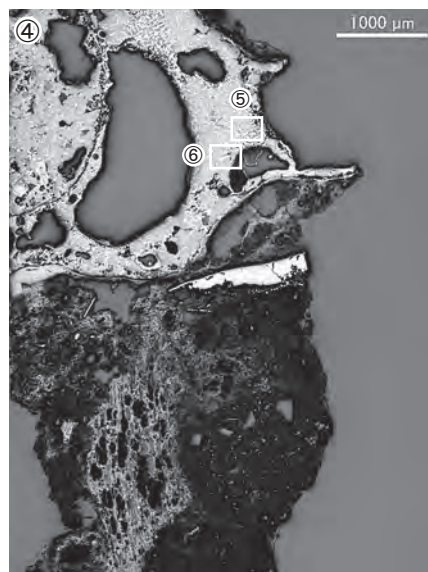
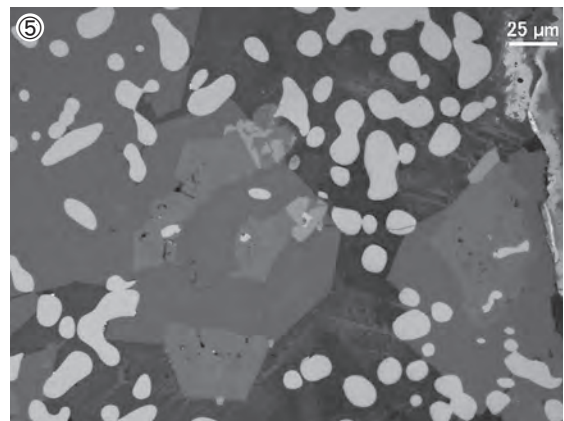
OKH-8

椀形鍛冶滓

④滓部：微細ウルボスピネル・
ヘルシナイト・ウスタイト・
ファヤライト

表層部：鍛造剥片
木炭破片：広葉樹材付着

⑤⑥滓部拡大、硬度：50gf



第21図 羽口・椀形鍛冶滓の顕微鏡組織 (OKH-7・8)

OKH-9

椀形鍛冶滓

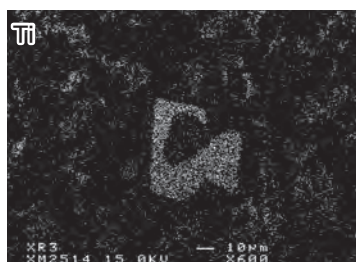
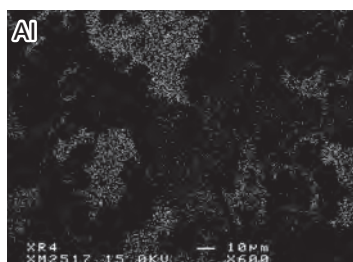
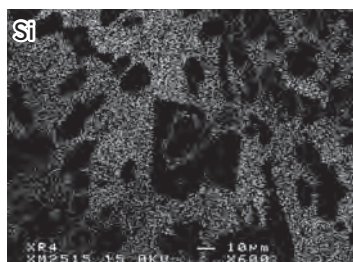
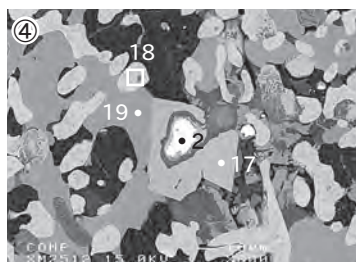
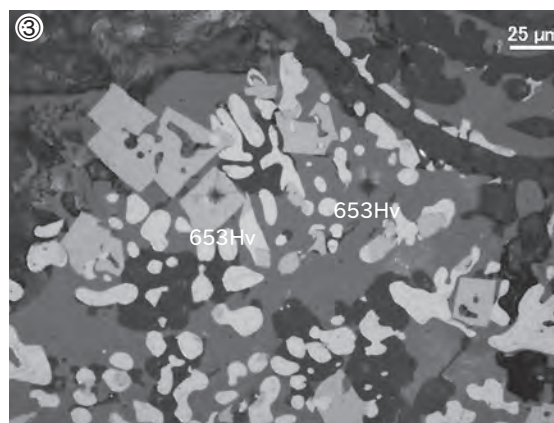
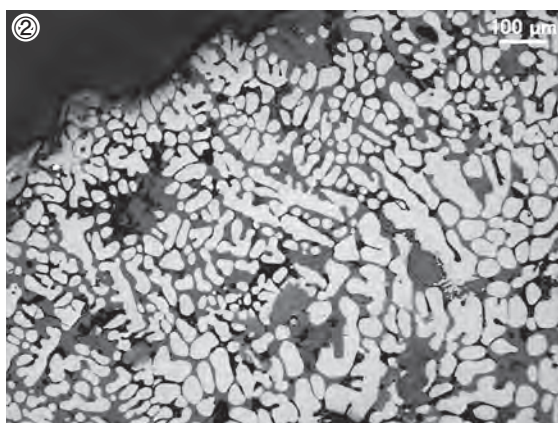
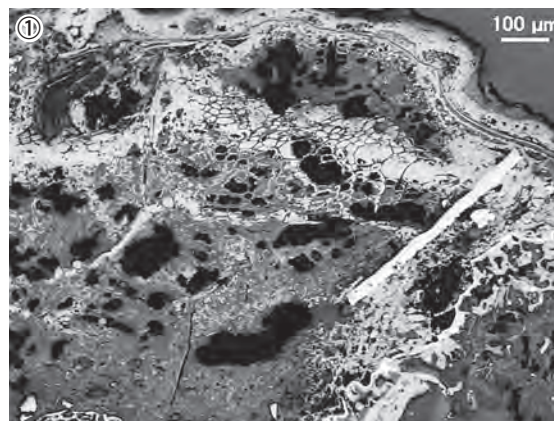
①木炭破片、鍛造剥片付着

②滓部：ウスタイト・ファヤライト

③滓部(下面表層)：ウルボスピネル・

ウスタイト・ファヤライト、

硬度：50gf



定量分析

| Element | 17 | 18 | 19 |
|--------------------------------|--------|--------|--------|
| Na ₂ O | 0.065 | 0.333 | 0.059 |
| MgO | 0.042 | 0.088 | 2.778 |
| Al ₂ O ₃ | 1.126 | 0.780 | 0.046 |
| SiO ₂ | 0.104 | 1.284 | 30.147 |
| P ₂ O ₅ | 0.033 | - | 0.078 |
| S | 0.001 | 0.006 | - |
| K ₂ O | - | 0.006 | - |
| CaO | - | - | 2.124 |
| TiO ₂ | 24.948 | 5.178 | 0.232 |
| Cr ₂ O ₃ | 0.178 | 0.068 | 0.043 |
| MnO | 0.239 | 0.242 | 0.697 |
| FeO | 62.090 | 78.746 | 57.172 |
| ZrO ₂ | 0.092 | 0.118 | - |
| F | - | - | - |
| SrO | 0.069 | 0.025 | 0.184 |
| V ₂ O ₃ | 0.875 | 0.453 | 0.016 |
| Total | 89.862 | 87.327 | 93.576 |

Element

| | |
|-------|---------|
| 2 | |
| Si | 0.013 |
| P | 0.005 |
| S | 0.002 |
| Ti | 0.310 |
| Fe | 99.279 |
| Sr | 0.008 |
| Zr | 0.023 |
| O | 0.567 |
| As | 0.252 |
| V | 0.052 |
| Ag | 0.039 |
| Sb | 0.077 |
| Total | 100.627 |

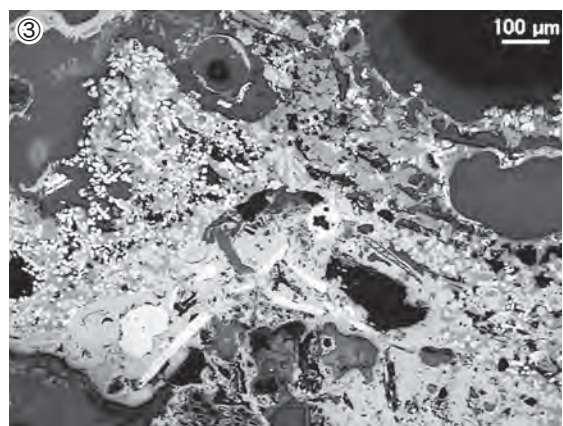
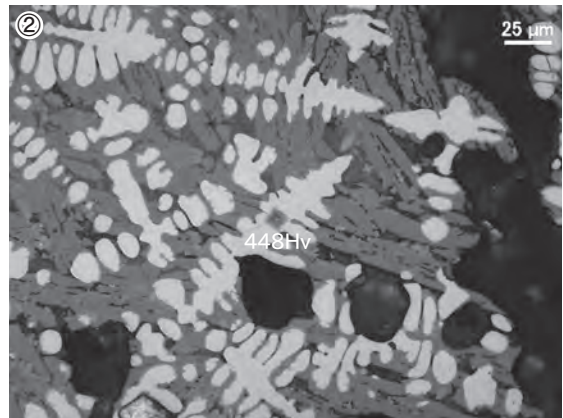
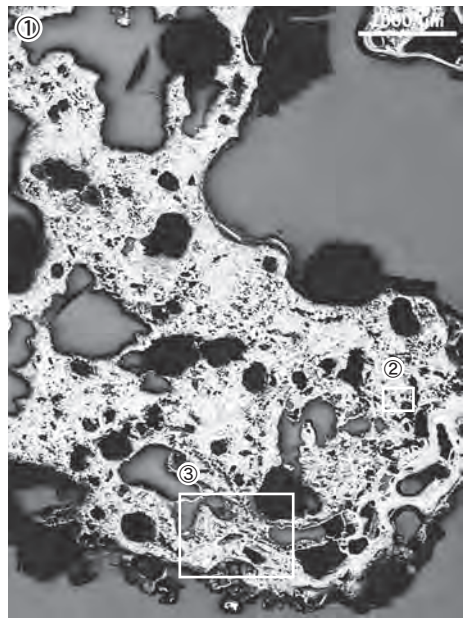
滓部の反射電子像 (COMP) および特性 X 線像

第 22 図 椀形鍛冶滓の顕微鏡組織 (OKH-9)

OKH-10

椀形鍛冶滓

①～③滓部：ウスタイト・
ファヤライト、下面表層：
ウルボスピネル、粒状滓・
鍛造剥片付着

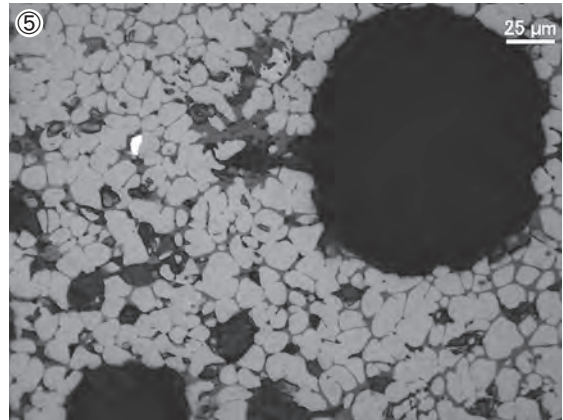
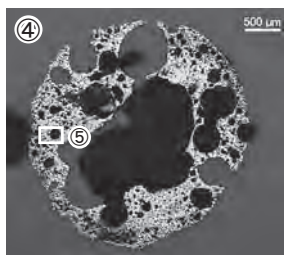


OKH-11 イ-1

粒状滓

④マクロ組織

⑤滓部：ウスタイト・ファヤライト、
微小明白色粒：金属鉄

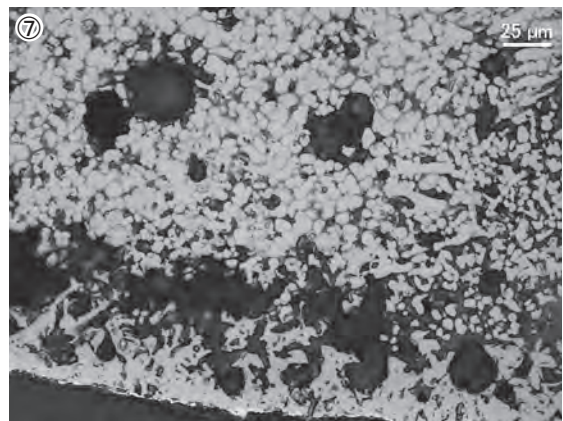
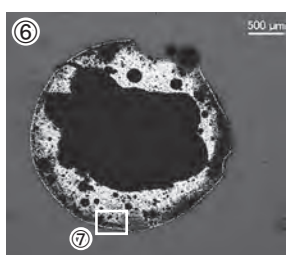


OKH-11 イ-2

粒状滓

⑥マクロ組織

⑦表層：ヘマタイト・マグネタイト、
内側：ウスタイト

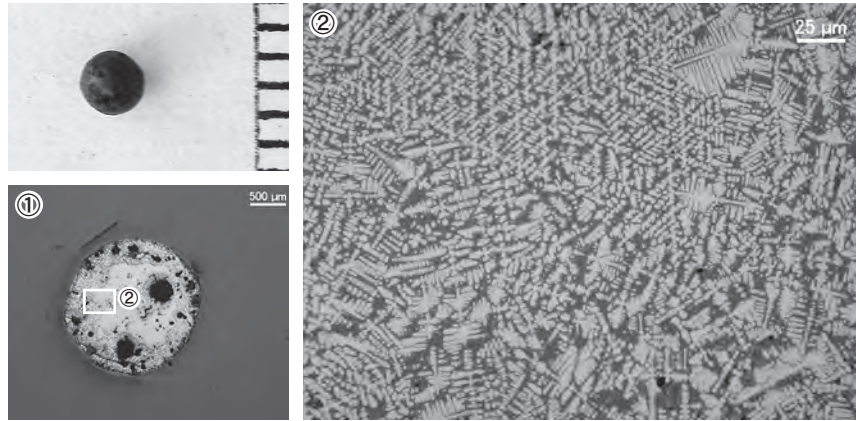


第23図 椀形鍛冶滓・粒状滓の顕微鏡組織 (OKH-10・11)

OKH-11 イ -3

粒状滓

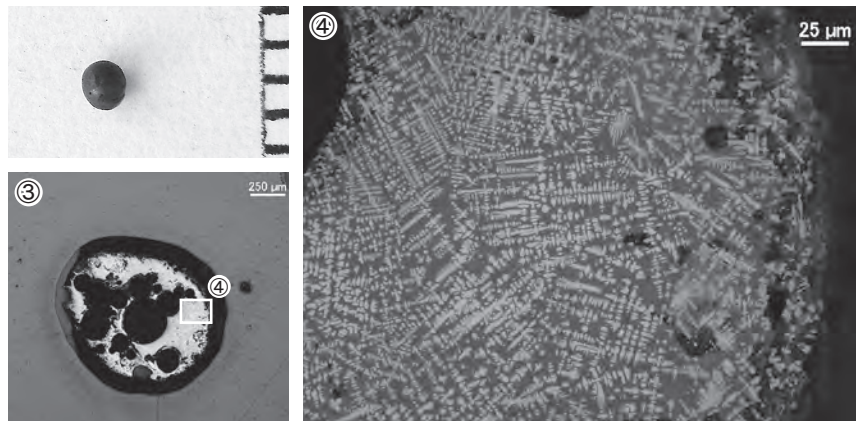
- ①マクロ組織
- ②滓部：ウスタイト



OKH-11 ロ -1

粒状滓

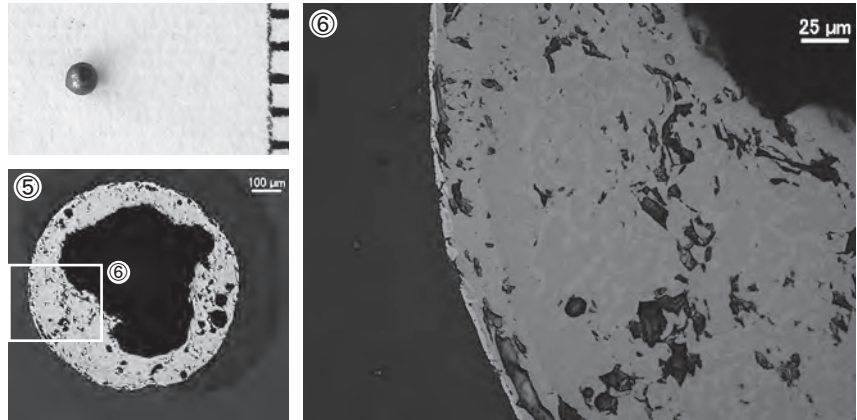
- ③マクロ組織
- ④滓部：ウスタイト



OKH-11 ロ -2

粒状滓

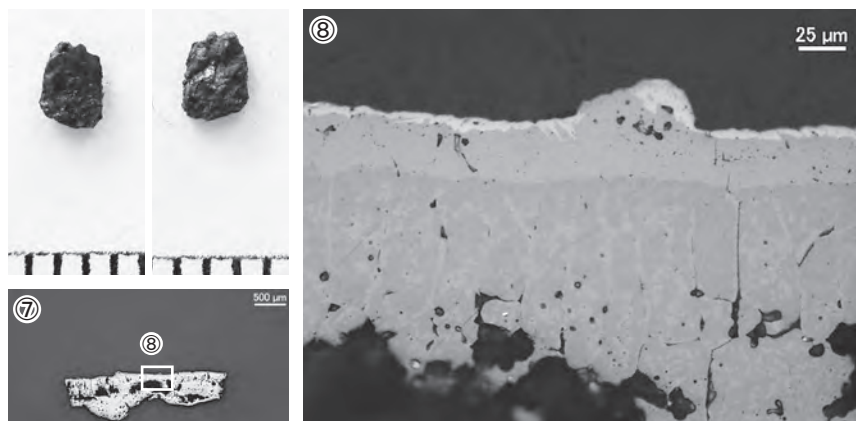
- ⑤マクロ組織
- ⑥表層：ヘマタイト・マグネタイト、
内側：ウスタイト



OKH-12 イ -1

鍛造剥片

- ⑦マクロ組織
- ⑧明白色層：ヘマタイト
灰褐色層：マグネタイト
灰色層：ウスタイト

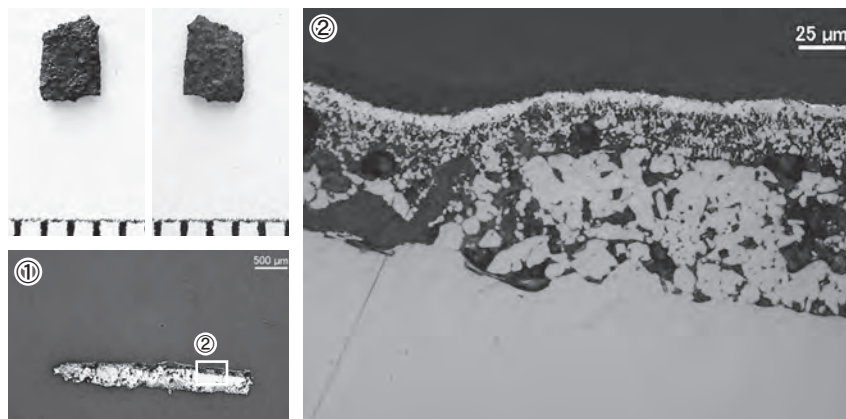


第 24 図 粒状滓・鍛造剥片の顕微鏡組織 (OKH-11・12)

OKH-12 イ-2

鍛造剥片

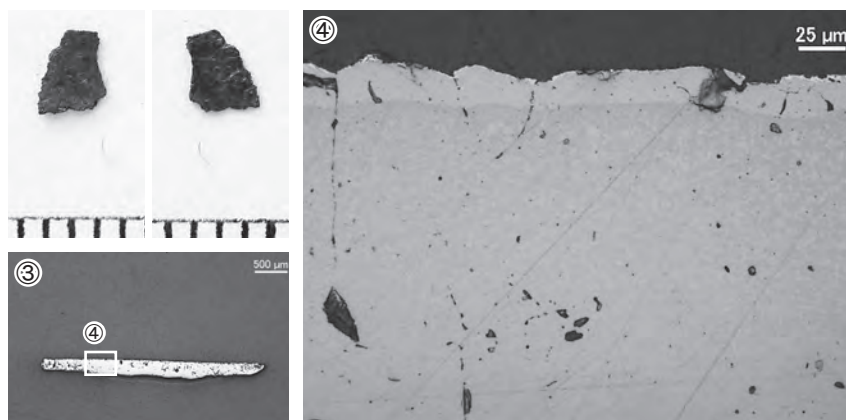
- ①マクロ組織
- ②明白色層：ヘマタイト
- 灰褐色層：マグネタイト
- 灰色層：ウスタイト



OKH-12 イ-3

鍛造剥片

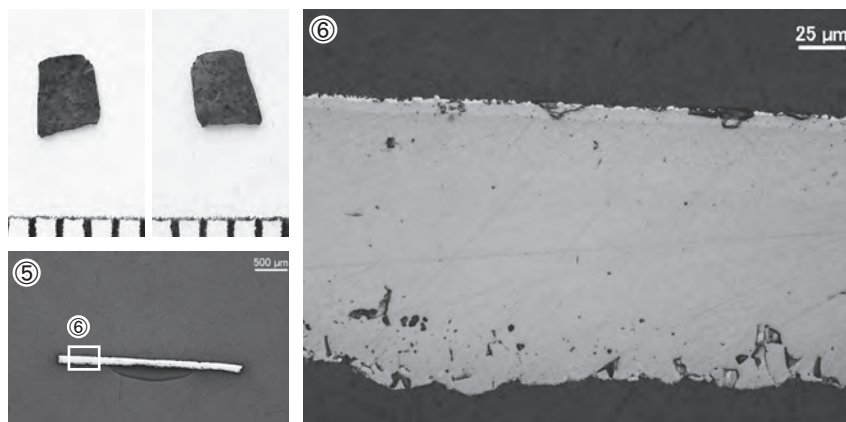
- ③マクロ組織
- ④明白色層：ヘマタイト
- 灰褐色層：マグネタイト
- 灰色層：ウスタイト



OKH-12 イ-4

鍛造剥片

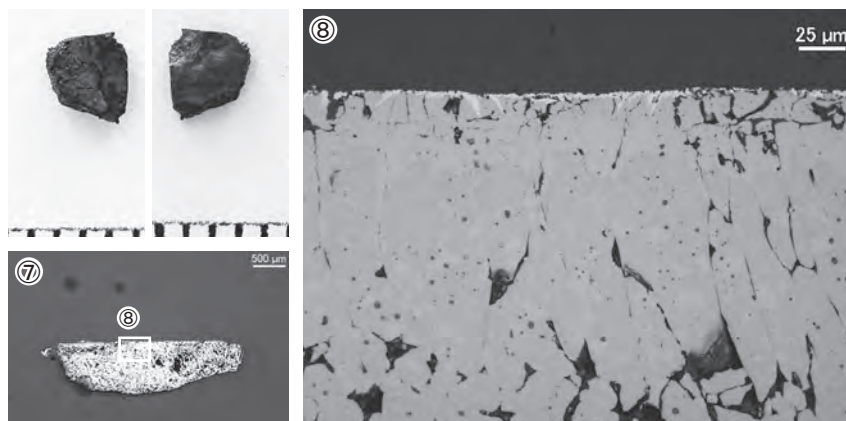
- ⑤マクロ組織
- ⑥明白色層：ヘマタイト
- 灰褐色層：マグネタイト
- 灰色層：ウスタイト



OKH-12 ロ-1

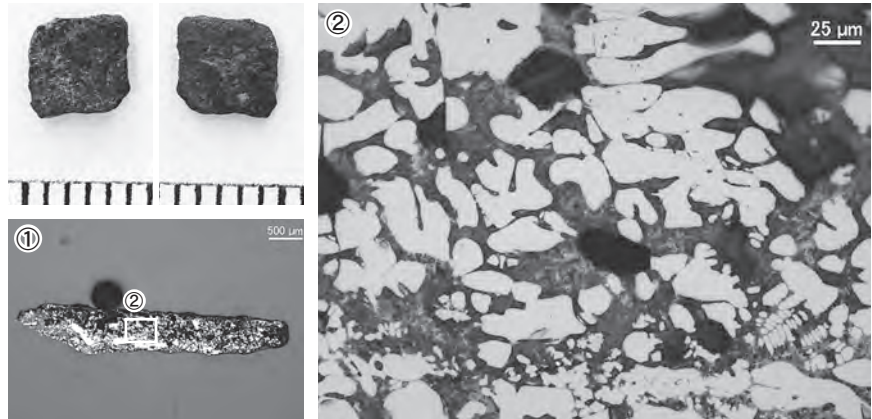
鍛造剥片

- ⑦マクロ組織
- ⑧明白色層：ヘマタイト
- 灰褐色層：マグネタイト
- 灰色層：ウスタイト

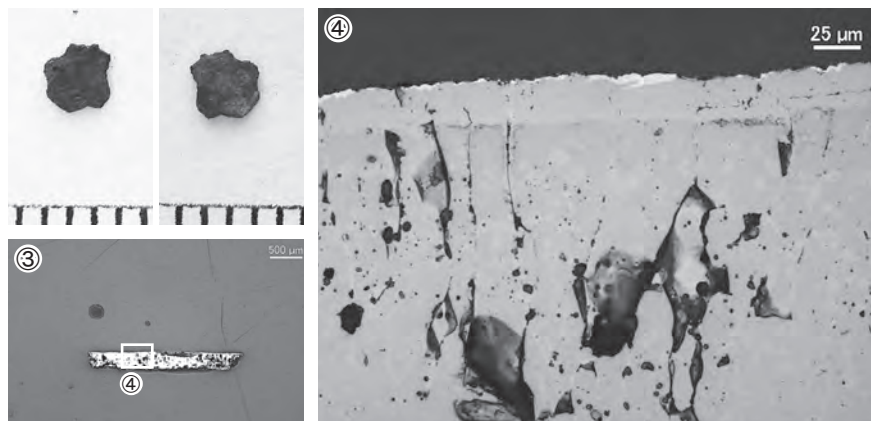


第25図 鍛造剥片の顕微鏡組織 (OKH-12)

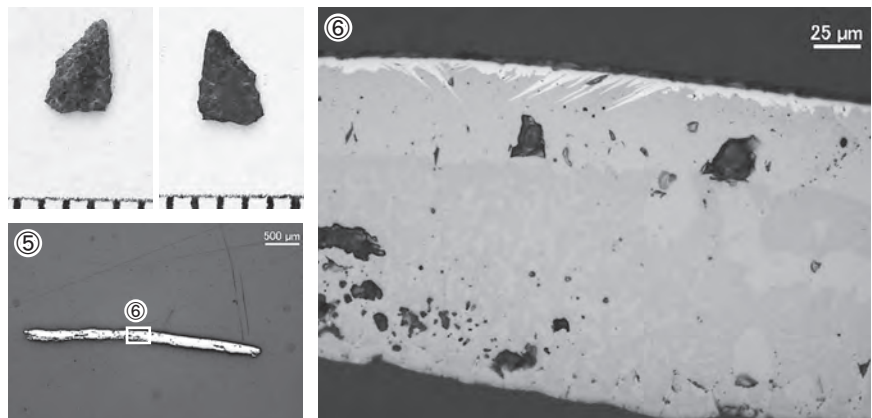
OKH-12 口-2
 鍛造剥片様遺物
 ①マクロ組織
 ②滓部：ウスタイト



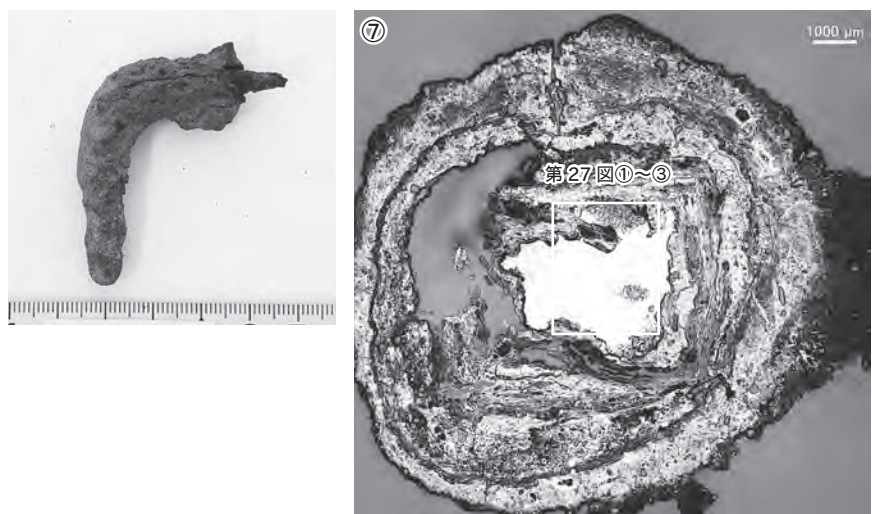
OKH-12 口-3
 鍛造剥片
 ③マクロ組織
 ④明白色層：ヘマタイト
 灰褐色層：マグネタイト
 灰色層：ウスタイト



OKH-12 口-4
 鍛造剥片
 ⑤マクロ組織
 ⑥明白色層：ヘマタイト
 灰褐色層：マグネタイト
 灰色層：ウスタイト



OKH-13
 鉄製品（鍛造品）
 ⑦マクロ組織
 金属鉄部：ナイトル etch
 亜共析組織

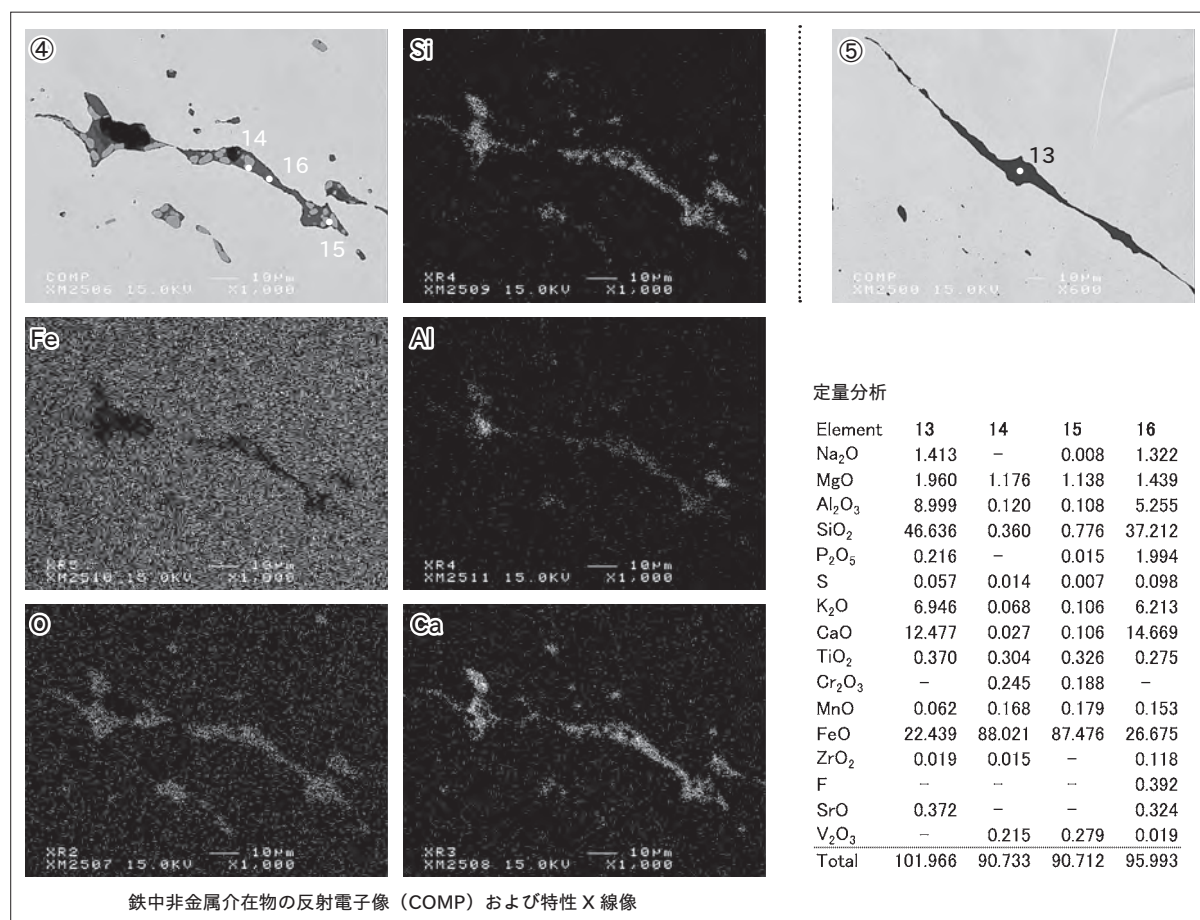
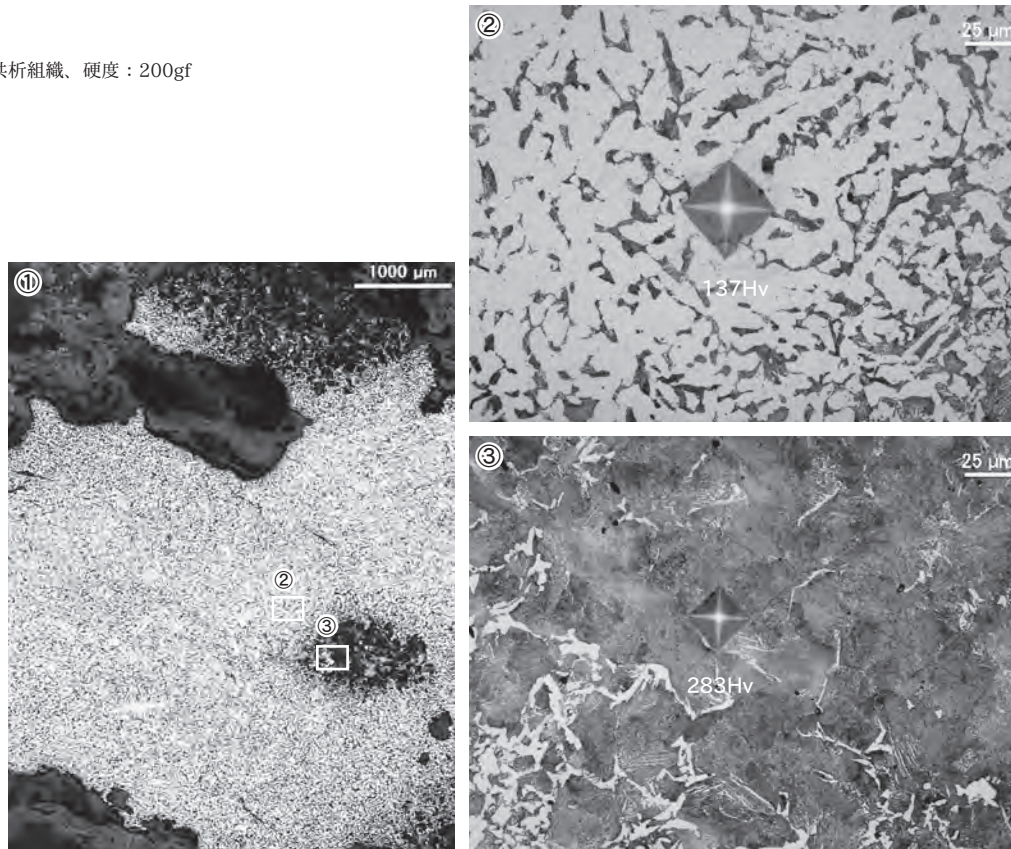


第 26 図 鍛造剥片・鉄製品の顕微鏡組織 (OKH-12・13)

OKH-13

鉄製品（鍛造品）

①～③金属鉄部：亜共析組織、硬度：200gf



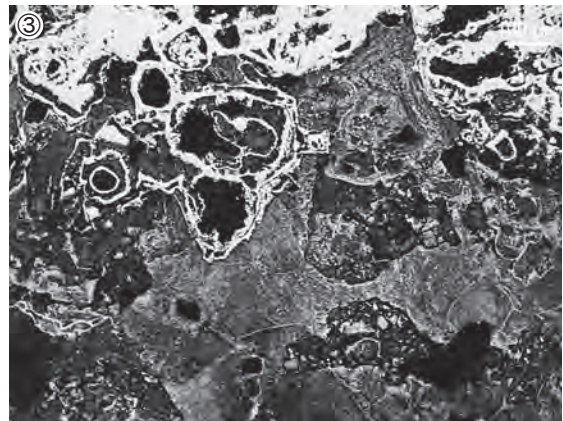
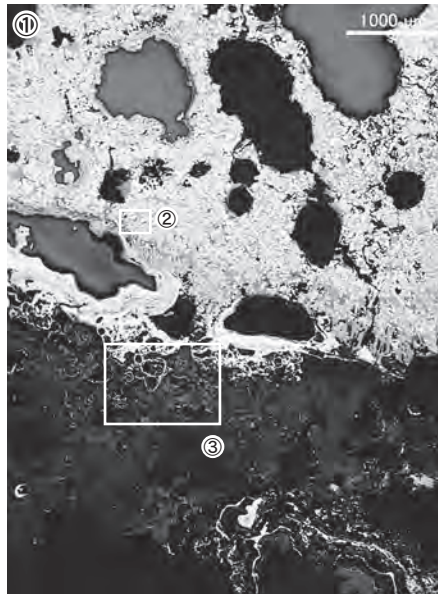
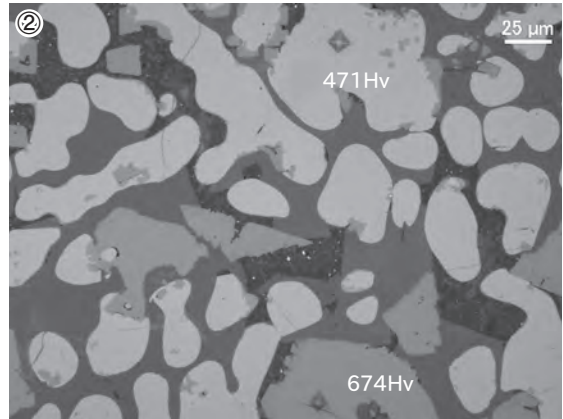
鉄中非金属介在物の反射電子像（COMP）および特性X線像

第27図 鉄製品の顕微鏡組織・EPMA調査結果（OKH-13）

OKH-14

椀形鍛冶滓

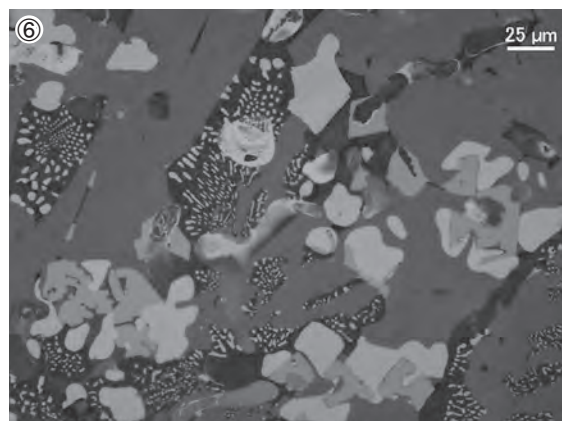
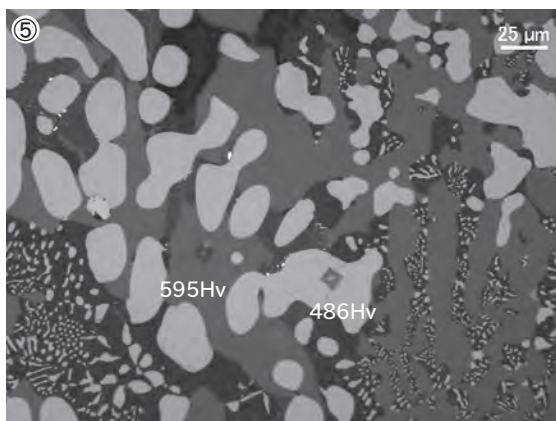
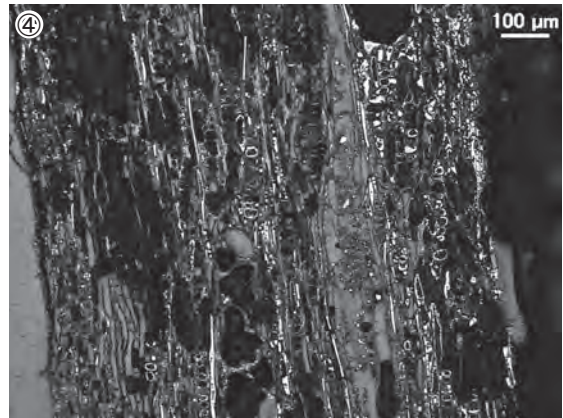
- ①上側：鍛冶滓、下側：錆化鉄
- ②滓部：ウルボスピネル・ウスタイト・ファヤライト、硬度：50gf
- ③錆化鉄部、金属組織痕跡不明瞭



OKH-15

椀形鍛冶滓

- ④木炭（板目面）
- ⑤滓部：ウスタイト・ファヤライト、硬度：50gf
- ⑥滓部（下面表層）：ウルボスピネル



第 28 図 椀形鍛冶滓の顕微鏡組織 (OKH-14・15)

第2節 沖ノ羽遺跡におけるテフラ分析

(株) 火山灰考古学研究所

A 分析の目的

新潟平野とその周辺には、妙高、浅間、御岳、沼沢など信越地方や東北地方南部の火山のほか、北関東地方や中国地方さらには九州地方の火山に由来するテフラ（火山砕屑物、いわゆる火山灰）が数多く分布している。それらのうち、後期更新世後半以降に降灰したテフラの多くについては、特徴や年代が明らかにされており、これらのテフラを指標に使うことで、地形や地層の形成年代のみならず、考古遺物の包含層や遺構の層位や年代などを知ることができるようになっている。

そこで、沖ノ羽遺跡においても標準土層断面を対象として、土層の観察とテフラ分析を実施して、テフラを用いた層位および年代学的研究、いわゆる火山灰編年学（tephrochronology, 火山灰編年学）の可能性をさぐることになった。調査分析の対象となった地点は第24次調査2区東基本土層断面である。なお第24次調査2区東SD98については土層の記載を実施した。

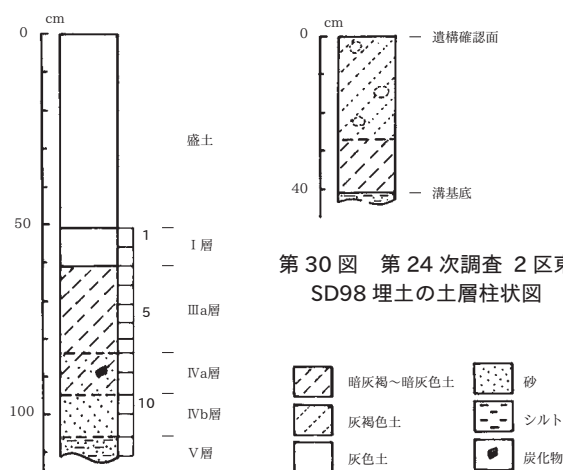
B 土層の層序

1) 第24次調査2区東基本土層断面

第24次調査2区東基本土層断面では、下位よりわずかに黄色がかかった灰色シルト質砂層（層厚5cm以上、V層）、若干色調が暗い灰色砂質土（層厚11cm、IVb層）、炭化物を含む砂混じり暗灰色土（層厚11cm、IVa層）、暗灰色土（層厚23cm、IIIa層）、黄色がかかった灰色土（層厚12cm、I層）、黄色がかかった灰色盛土（層厚51cm）が認められる（第29図）。発掘調査では、IVb層からIIIa層にかけて奈良・平安時代の遺物が検出され、それはとくにIVb層に多く含まれている。

2) 第24次調査2区東SD98

第24次調査2区東SD98の埋土は、下位より暗灰色土（層厚14cm）と黄色土ブロックを含む灰褐色土（層厚27cm）からなる（第30図）。



第29図 第24次調査2区東基本層序断面の土層柱状図

第30図 第24次調査2区東SD98埋土の土層柱状図

C テフラ検出分析

分析の方法と手順

基本土層断面において、基本的に厚さ5cmごとに設定採取された試料のうち6点について、テフラ検出分析を実施して、試料に含まれるテフラ粒子の量や特徴を把握した。分析の手順は次の通りである。

- (1) 試料15gを秤量。
- (2) 超音波洗浄装置を用いながら、ていねいに泥分を除去。
- (3) 80℃で恒温乾燥。
- (4) 実体顕微鏡下で、テフラ粒子の量や色調などを観察。

D 分析結果

テフラ検出分析の結果を第12表に示す。分析対象試料のいずれにおいても、火山ガラスを少量ずつ認めることができた。とくに火山ガラスの比率が高いものや、特徴的な火山ガラスを多く含む試料は認められない。火山ガラスは軽石型やバブル型のものからなり、色調は無色透明、淡褐色、褐色などである。スポンジ状や繊維束状に発泡した軽石型ガラスのなかには、白色を呈するものもある。

第12表 第24次調査におけるテフラ検出分析結果

| 地点 | 試料 | 軽石・スコリア | | | 火山ガラス | |
|----------------------|----|---------|----|-----|-------|---------------------|
| | | 量 | 色調 | 最大径 | 量 | 形態 色調 |
| 第24次調査 2区東 基本土層断面 | 2 | | | | * | pm, bw 透明 |
| | 4 | | | | * | pm, bw 透明, 淡褐, 褐 |
| | 6 | | | | * | pm, bw 透明, 淡褐, 白 |
| | 8 | | | | * | pm, bw 透明, 淡褐, 褐, 白 |
| | 10 | | | | * | pm, bw 透明, 白, 淡褐 |
| | 12 | | | | * | pm, bw 白, 透明, 淡褐 |

****: とくに多い, ***: 多い, **: 中程度, *少ない, 最大径の単位は, mm.
bw: バブル型, md: 中間型, pm: 軽石型.

E 考察 —まとめにかえて

沖ノ羽遺跡第24次調査 2区東基本土層断面において、テフラ検出分析を実施した。分析対象となつたいずれの試料にも火山ガラスが含まれているもののテフラの降灰層準を示すようなものは認められなかった。含まれる火山ガラスの多くは、色調や形態などから、約5～5.5万年前以前に沼沢火山から噴出した沼沢金山テフラ(Nm-Kn, 鈴木・早田, n: 1.498-1.502)に二次的に由来する可能性が高い。試料の中に角閃石が多いことも、この推定を示唆している。また、約5,000年前¹⁾に沼沢火山から噴出した沼沢テフラ(Nm-N, n: 1.500-1.505)〔只見川第四紀研究グループ1966a・1966b, 町田・新井2003〕やそれに関係した火山泥流に由来するテフラ粒子が混在している可能性も考えられる。

とくに、新潟市域における古代以降の考古学的研究において、東北地方一帯で検出され、編年研究に盛んに利用されている十和田a火山灰(To-a, 915年)〔大池1972, 町田ほか1981, 町田・新井1992, 2003など〕の検出が期待される。引き続き、土層の状況の良い地点でのテフラ検出の試みの実施されることが望まれる。

(注) 1) 放射性炭素(¹⁴C)年代。Nm-Nの年代については、暦年較正するとより古くなる。

第3節 沖ノ羽遺跡における植物珪酸体分析

(株)火山灰考古学研究所

A はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸(SiO₂)が蓄積したもので、植物が枯れたあともガラス質の微化石(プラント・オパール)となって土壤中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている〔杉山2000〕。簡易的なプラント・オパール分析は、とくにイネに注目した分析で、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査が可能である〔藤原・杉山1984など〕。

B 試料

分析試料は、第22次調査 1区15G-3G3南壁断面のI層～V層から採取された5点、井戸(いずれも第22次調査 1区SE375、1区SE1406、1区SE1626)の埋土底部から採取された3点、第24次調査 2区東基本土層断面から採取された5点および2区東SD98埋土から採取された1点の計14点について植物珪酸体(プラント・オパール)分析を行った。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

C 分析方法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスビーズ法〔藤原 1976〕を用いて、次の手順で行った。

- (1) 試料を 105℃で 24 時間乾燥（絶乾）
- (2) 試料約 1g に対し直径約 40 μm のガラスビーズを約 0.02g 添加（0.1mg の精度で秤量）
- (3) 電気炉灰化法（550℃・6 時間）による脱有機物処理
- (4) 超音波水中照射（300W・42KHz・10 分間）による分散
- (5) 沈底法による 20 μm 以下の微粒子除去
- (6) 封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
- (7) 検鏡・計数

同定は、400 倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が 400 以上になるまで行った。これはほぼプレパラート 1 枚分の精査に相当する。試料 1g あたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料 1g 中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重（1.0 と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体 1 個あたりの植物体乾重、単位：10⁻⁵g）をかけて、単位面積で層厚 1cm あたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる〔杉山 2000〕。タケ亜科については、植物体生産量の推定値から各分類群の比率を求めた。

D 分析結果

検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果の内訳を第 13・14 表および第 31～34 図に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。

〔イネ科〕

イネ、イネ（穎の表皮細胞由来）、ムギ類（穎の表皮細胞）、ヒエ属、エノコログサ属型、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型（おもにススキ属）、ウシクサ族 A（チガヤ属など）

〔イネ科－タケ亜科〕

チマキザサ節型（ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など）、ミヤコザサ節型（ササ属ミヤコザサ節など）、未分類等

〔イネ科－その他〕

表皮毛起源、棒状珪酸体（おもに結合組織細胞由来）、茎部起源、未分類等

〔樹木〕

モクレン属型、その他

E 考察

1) 稲作跡の検討

水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネの植物珪酸体（プラント・オパール）が試料 1g あたり 5,000 個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している〔杉山 2000〕。ただし、密度が 3,000 個/g 程度でも水田遺構が検出される事例があることから、ここでは判断の基準を 3,000 個/g として検討を行った。

2) 植物珪酸体の検出状況

a 第 22 次調査 1 区 15G-3G3 南壁断面（第 31 図）

I 層（試料 2）から V 層（試料 6）までの層準について分析を行った。その結果、すべての試料からイネが検出

第13表 第22次調査における植物珪酸体分析結果

| 検出密度 (単位: ×100個/g) | | 第22次調査1区 15G-3G3南壁 | | | | | 第22次調査1区 | | |
|--|--|-----------------------|------------|-------------|------------|-----------|----------|--------|--------|
| 分類群 | 学名 | 地点・試料 | | | | | SE375 | SE1406 | SE1626 |
| | | I層 試料2 | II層 試料3 | III層 試料4 | IV層 試料5 | V層 試料6 | 7層 | 9層 | 6層 |
| イネ科 | Gramineae | | | | | | | | |
| イネ | <i>Oryza sativa</i> | 138 | 56 | 101 | 158 | 29 | 59 | 319 | 48 |
| イネ籾殻 (穎の表皮細胞) | <i>Oryza sativa</i> (husk Phytolith) | 7 | 7 | | | | | 81 | |
| ムギ類 (穎の表皮細胞) | <i>Hordeum-Triticum</i> (husk Phytolith) | | 7 | | | | | | |
| キビ族型 | Paniceae type | | | | 14 | | | 7 | 7 |
| ヨシ属 | <i>Phragmites</i> | 13 | 42 | 50 | 34 | 7 | 20 | 47 | 28 |
| ススキ属型 | <i>Miscanthus</i> type | | 7 | | | | | | 7 |
| ウシクサ族A | Andropogoneae A type | | | | | | | | 7 |
| タケ亜科 | Bambusoideae | | | | | | | | |
| チマキザサ節型 | <i>Sasa</i> sect. <i>Sasa</i> etc. | 7 | 7 | 22 | 21 | 36 | 39 | 7 | 21 |
| ミヤコザサ節型 | <i>Sasa</i> sect. <i>Crassinodi</i> | 20 | 7 | 14 | 27 | 14 | 7 | 27 | 21 |
| 未分類等 | Others | 26 | 35 | 36 | 21 | 22 | 26 | 14 | 35 |
| その他のイネ科 | Others | | | | | | | | |
| 表皮毛起源 | Husk hair origin | 7 | 21 | 29 | 27 | | 26 | 41 | 28 |
| 棒状珪酸体 | Rodshaped | 132 | 113 | 151 | 117 | 43 | 98 | 149 | 97 |
| 茎部起源 | Stem origin | | | 7 | 7 | 14 | 13 | | 7 |
| 未分類等 | Others | 40 | 56 | 79 | 41 | 7 | 26 | 14 | 41 |
| 樹木起源 | Arboreal | | | | | | | | |
| モクレン属型 | <i>Magnolia</i> type | | | | | | | 7 | |
| その他 | Others | | 7 | 7 | 7 | | | 7 | 14 |
| (海綿骨針) | Sponge | 13 | 7 | | | | 26 | 27 | 7 |
| 植物珪酸体総数 | Total | 389 | 367 | 496 | 473 | 173 | 313 | 726 | 360 |
| おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m ² ・cm) : 試料の仮比重を1.0と仮定して算出 | | | | | | | | | |
| イネ | <i>Oryza sativa</i> | 4.07 | 1.66 | 2.96 | 4.64 | 0.85 | 1.72 | 9.37 | 1.42 |
| ヨシ属 | <i>Phragmites</i> | 0.83 | 2.67 | 3.18 | 2.16 | 0.46 | 1.23 | 3.00 | 1.75 |
| ススキ属型 | <i>Miscanthus</i> type | | 0.09 | | | | | | 0.09 |
| チマキザサ節型 | <i>Sasa</i> sect. <i>Sasa</i> etc. | 0.05 | 0.05 | 0.16 | 0.15 | 0.27 | 0.29 | 0.05 | 0.16 |
| ミヤコザサ節型 | <i>Sasa</i> sect. <i>Crassinodi</i> | 0.06 | 0.02 | 0.04 | 0.08 | 0.04 | 0.02 | 0.08 | 0.06 |
| タケ亜科の比率 (%) | | | | | | | | | |
| チマキザサ節型 | <i>Sasa</i> sect. <i>Sasa</i> etc. | 45 | 71 | 79 | 65 | 86 | 94 | 38 | 71 |
| ミヤコザサ節型 | <i>Sasa</i> sect. <i>Crassinodi</i> | 55 | 29 | 21 | 35 | 14 | 6 | 62 | 29 |

された。このうち、I層(試料2)、III層(試料4)、IV層(試料5)では密度が10,100～15,800個/gとかなり高い値であり、II層(試料3)でも5,600個/gと高い値である。したがって、これらの層準では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

なお、IV層は平安時代と中世の遺物包含層で、花粉分析(第4節)ではイネ属型が認められないことから、稲藁が何らかの形で他所から持ち込まれた可能性も考えられる。稲藁の利用としては、敷物、屋根材、藁製品(俵、縄、草履等)など多様な用途が想定される。

V層(試料6)では、密度が2,900個/gと比較的低い値である。イネの密度が低い原因としては、稲作が行われていた期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったこと、および下層や他所からの混入などが考えられる。

b 第22次調査1区の井戸内堆積物(第32図)

SE375の7層、SE1406の9層、SE1626の6層について分析を行った。その結果、すべての試料からイネが検出された。このうち、SE1406の9層では密度が31,900個/gと極めて高い値であり、SE375の7層とSE1626の6層でも5,900個/gおよび4,800個/gと比較的高い値である。また、SE1406の9層ではイネの籾殻(穎の表皮細胞)に由来する植物珪酸体が8,100個/gと高い密度で検出された。

これらのことから、当時は周辺で稲作が行われていたと考えられ、そこから何らかの形で遺構内にイネの植物珪酸体が混入したと推定される。また、とくにSE1406の9層については、稲藁および籾殻が何らかの形で他所から持ち込まれた可能性も考えられる。稲藁の利用としては、前述のようなことが想定される。

c 第24次調査2区東基本層序断面(第33図)

I層(試料1)からV層(試料5)までの層準について分析を行った。その結果、I層(試料1)からIV層(試料4)

までの各層からイネが検出された。このうち、III a層（試料2）とIVa層（試料3）では密度が9,400個/gおよび6,600個/gと高い値であり、I層（試料1）でも3,400個/gと比較的高い値である。したがって、これらの層準では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。なお、花粉分析（第4節）では各層準ともイネ属型が認められないことから、稲藁が何らかの形で他所から持ち込まれた可能性も考えられる。稲藁の利用としては、敷物、屋根材、藁製品（蓑、縄、草履等）など多様な用途が想定される。

IVb層（試料4）では、密度が2,200個/gと比較的低い値である。イネの密度が低い原因としては、稲作が行われていた期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったこと、および上層や他所からの混入などが考えられる。

d 第24次調査 2区東 SD98 埋土断面（第34図）

埋土底部（試料2）では、イネが10,900個/gと高い密度で検出された。したがって、当時は周辺で稲作が行われており、そこから何らかの形で遺構内にイネのプラント・オパールが混入したと推定される。また、遺構内での稲藁の使用なども考えられるのかも知れない。

3) イネ科栽培植物の検討

植物珪酸体分析で同定される分類群のうち栽培植物が含まれるものには、イネ以外にもムギ類、ヒエ属型（ヒエが含まれる）、エノコログサ属型（アワが含まれる）、キビ属型（キビが含まれる）、ジユズダマ属（ハトムギが含まれる）、オヒシバ属（シコクビエが含まれる）、モロコシ属型、トウモロコシ属型などがある。このうち、本遺跡の試料からはムギ類が検出された。

ムギ類（穎の表皮細胞）は、第22次調査 1区 15G-3G3 南壁断面のII層（試料3）から検出された。密度は700個/gと低い値であるが、穎（籾殻）が栽培地に残される確率は低いことから、少量が検出された場合でもかなり過大に評価する必要がある。したがって、同層の時期に調査地点もしくはその近辺でムギ類が栽培されていた可能性が考えられる。

イネ科栽培植物の中には未検討のものもあるため、その他の分類群の中にも栽培種に由来するものが含まれている可能性が考えられる。これらの分類群の給源植物の究明については今後の課題としたい。なお、植物珪酸体分析で同定される分類群は主にイネ科植物に限定されるため、根菜類などの畑作物は分析の対象外となっている。

F 植物珪酸体分析から推定される植生と環境

1) 第22次調査 1区

上記以外の分類群では、各層準ともヨシ属、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型が検出され、部分的にキビ族型、ススキ属型、樹木（その他）なども認められた。おもな分類群の推定生産量によると、概ねヨシ属が優勢となっている。

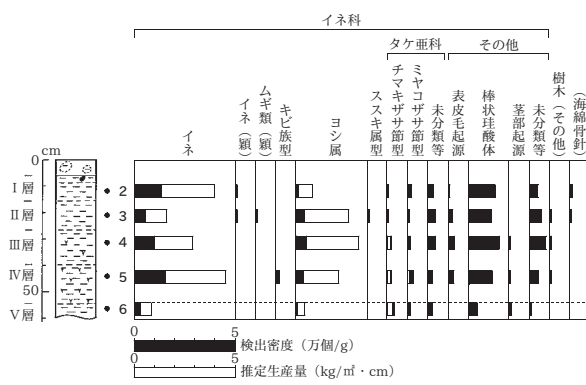
以上のことから、各層準の堆積当時は概ねヨシ属などが生育する湿地的な環境であったと考えられ、そこを利用して水田稲作が行われていたと推定される。なお、第22次調査 1区 15G-3G3 南壁のIV層は平安時代の遺物包含層であり、花粉分析（第4節）では比較的乾燥した環境が推定されていることから、ヨシ属については何らかの形で他所から持ち込まれた可能性も考えられる。

2) 第24次調査 2区東

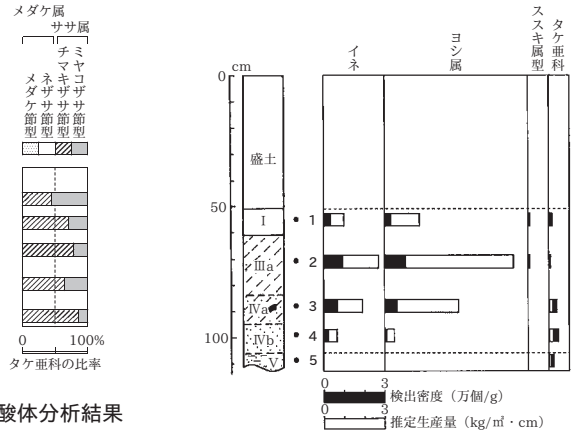
ヨシ属は湿地的なところに生育し、ススキ属やタケ亜科は比較的乾いたところに生育している。このことから、

第14表 第24次調査における植物珪酸体分析結果

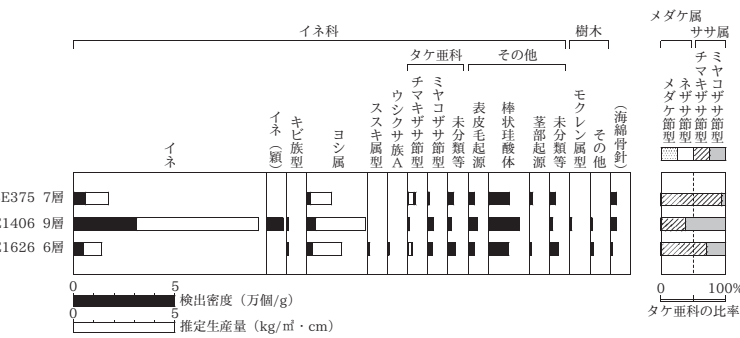
| 検出密度（単位：×100個/g） | | 第24次調査2区東 基本層序断面 | | | | | 第24次調査2区東 SD98埋土 | |
|---|------------------------|---------------------|--------------|-------------|-------------|-----------|---------------------|-----|
| 分類群 | 学名 | 地点・試料 | | | | | 2層 | 試料2 |
| | | I層 試料1 | IIIa層 試料2 | IVa層 試料3 | IVb層 試料4 | V層 試料5 | | |
| イネ | <i>Oryza sativa</i> | 34 | 94 | 66 | 22 | | 109 | |
| ヨシ属 | <i>Phragmites</i> | 27 | 101 | 58 | 7 | | 89 | |
| ススキ属型 | <i>Miscanthus type</i> | 7 | 7 | | | | 14 | |
| タケ亜科 | Bambusoideae | 14 | 7 | 37 | 45 | 23 | 27 | |
| 推定生産量（単位：kg/m ² ・cm）：試料の仮比重を1.0と仮定して算出 | | | | | | | | |
| イネ | <i>Oryza sativa</i> | 1.01 | 2.78 | 1.93 | 0.66 | | 3.22 | |
| ヨシ属 | <i>Phragmites</i> | 1.73 | 6.38 | 3.69 | 0.47 | | 5.61 | |
| ススキ属型 | <i>Miscanthus type</i> | 0.09 | 0.08 | | | | 0.17 | |
| タケ亜科 | Bambusoideae | 0.07 | 0.03 | 0.18 | 0.22 | 0.11 | 0.13 | |



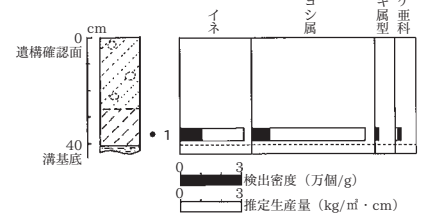
第 31 図 第 22 次調査 1 区 15G-3G3 南壁断面における植物珪酸体分析結果



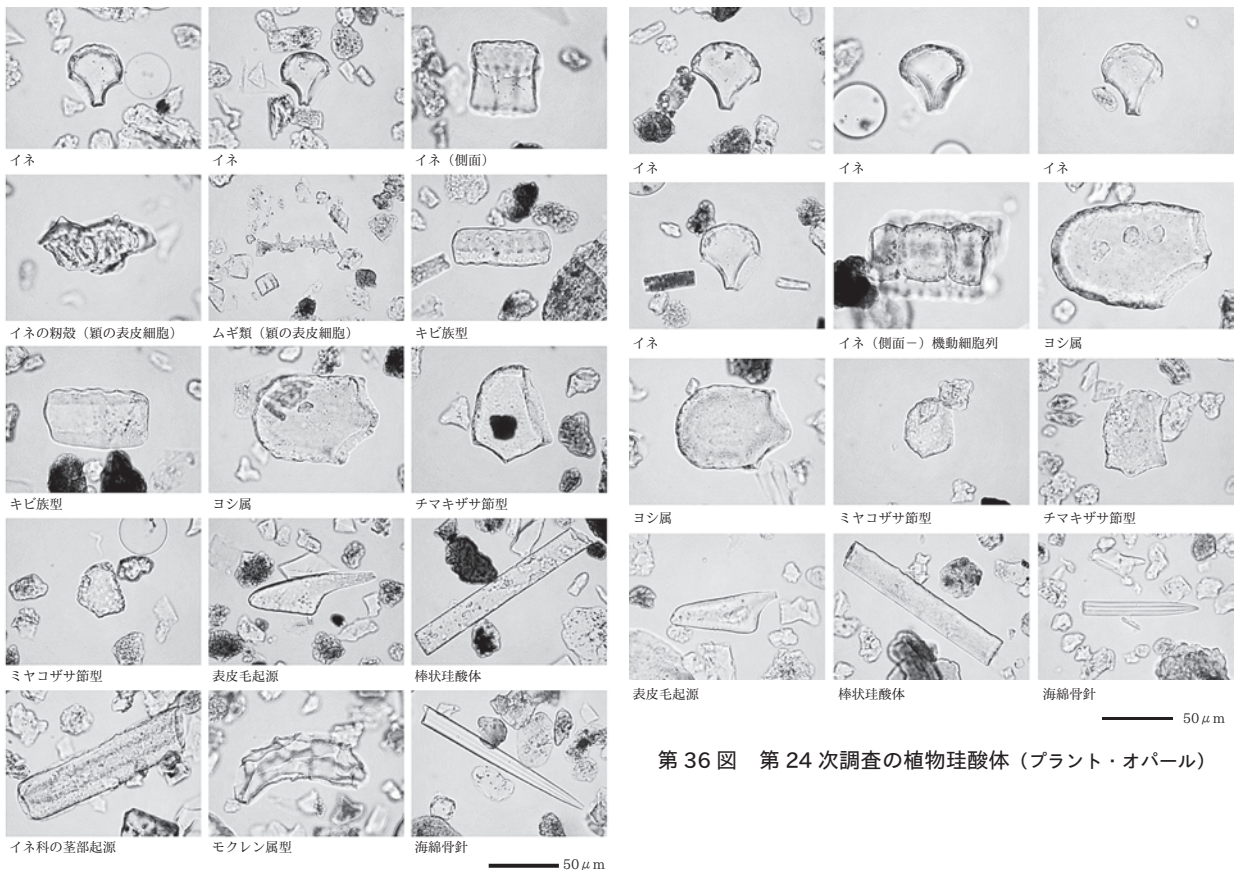
第 33 図 第 24 次調査 2 区東 基本層断面における植物珪酸体分析結果



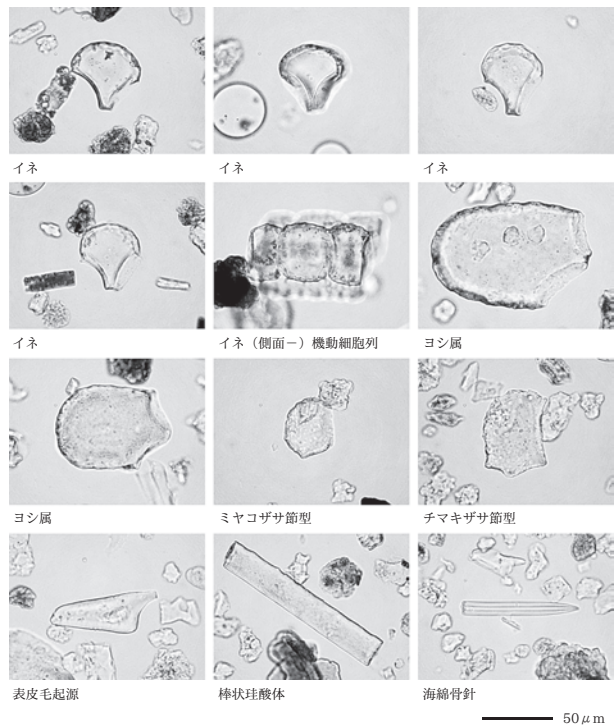
第 32 図 第 22 次調査 1 区遺構内堆積物における植物珪酸体分析結果



第 34 図 第 24 次調査 2 区東 SD98 内堆積物における植物珪酸体分析結果



第 35 図 第 22 次調査の植物珪酸体 (プラント・オパール)



第 36 図 第 24 次調査の植物珪酸体 (プラント・オパール)

これらの植物の出現状況を検討することによって、堆積当時の環境（乾燥・湿潤）を推定することができる。イネ以外の分類群では、第24次調査2区東基本層序断面の下位層を除く各層準でヨシ属が比較的多く検出され、ススキ属型やタケ亜科はあまり検出されなかった。おもな分類群の推定生産量によると、概ねヨシ属が優勢である。

以上のことから、第24次調査2区東基本層序断面のIVa層より上位層および2区東SD98の埋土底部の堆積当時は、概ねヨシ属などが生育する湿地的な環境であったと考えられ、そこを利用して調査地点もしくはその周辺で水田稲作が行われていたと推定される。

G ま と め

植物珪酸体（プラント・オパール）分析の結果、第22次調査1区15G-3G3南壁断面のI層～IV層では、イネが多量に検出され、稲作が行われていた可能性が高いと判断された。また、II層ではムギ類が栽培されていた可能性も認められた。なお、IV層（平安時代・中世の遺物包含層）については、稲藁が何らかの形で他所から持ち込まれた可能性も考えられる。

第22次調査井戸（1区SE375、1区SE1406、1区SE1626）の埋土底部では、イネが多量に検出され、周辺で稲作が行われていた可能性が認められた。1区SE1406については、稲藁や籾殻が何らかの形で他所から持ち込まれた可能性も考えられる。

第24次調査2区東基本層序断面のI層～IVa層ではイネが多量に検出され、稲作が行われていた可能性が高いと判断された。また、2区東SD98の埋土底部でもイネが多量に検出され、遺構周辺で稲作が行われていた可能性が認められた。

2区東基本層序断面のIVa層より上位層および2区東SD98の埋土底部の堆積当時は、概ねヨシ属などが生育する湿地的な環境であったと考えられ、そこを利用して調査地点もしくはその周辺で水田稲作が行われていたと推定される。

第4節 沖ノ羽遺跡における花粉分析

（株）火山灰考古学研究所

A は じ め に

花粉分析は、一般に低湿地の堆積物を対象とした比較的広域な植生・環境の復原に応用されており、遺跡調査においては遺構内の堆積物などを対象とした局地的な植生の推定も試みられている。花粉などの植物遺体は、水成堆積物では保存状況が良好であるが、乾燥的な環境下の堆積物では分解されて残存していない場合もある。

B 試 料

分析試料は、第22次調査1区15G-3G3南壁断面のIV層とV層から採取された2点、第24次調査2区東基本層序断面から採取された5点および2区東SD98埋土断面から採取された2点の計9点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

C 方 法

花粉の分離抽出は、中村〔中村1973〕の方法をもとに、以下の手順で行った。

- (1) 0.5% リン酸三ナトリウム（12水）溶液を加えて15分間湯煎
- (2) 水洗処理の後、0.5mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法で砂粒を除去
- (3) 25% フッ化水素酸溶液を加えて30分放置
- (4) 水洗処理の後、氷酢酸によって脱水し、アセトリシス処理（無水酢酸9：濃硫酸1のエルドマン氏液を加え1

分間湯煎)を施す

(5) 再び氷酢酸を加えて水洗処理

(6) 沈渣に石炭酸フクシンを加えて染色し、グリセリンゼリーで封入してプレパラート作成

(7) 検鏡・計数

検鏡は、生物顕微鏡によって 300 ~ 1000 倍で行った。花粉の同定は、島倉〔島倉 1973〕および中村〔中村 1980〕をアトラスとして、所有の現生標本との対比で行った。結果は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類し、複数の分類群にまたがるものはハイフン(ー)で結んで示した。

D 結 果

1) 分 類 群

出現した分類群は、樹木花粉 20、樹木花粉と草本花粉を含むもの 5、草本花粉 25、シダ植物胞子 4 形態の計 54 である。分析結果を第 15・16 表に示し、花粉数が 100 個以上計数された試料については花粉総数を基数とする花粉ダイアグラムを示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。以下に出現した分類群を記載する。

〔樹木花粉〕

マツ属複雑管束亜属、スギ、イチイ科ーイヌガヤ科ーヒノキ科、ヤナギ属、クルミ属、サワグルミ、ハンノキ属、カバノキ属、クマシデ属ーアサダ、シイ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、ニレ属ーケヤキ、モチノキ属、カエデ属、トチノキ

〔樹木花粉と草本花粉を含むもの〕

クワ科ーイラクサ科、バラ科、ウコギ科、ニワトコ属ーガマズミ属

〔草本花粉〕

ガマ属ーミクリ属、サジオモダカ属、イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、タデ属サナエタデ節、ソバ属、アカザ科ーヒユ科、スベリヒユ属、ナデシコ

科、アブラナ科、ユキノシタ科、セリ亜科、オオバコ属、タンポポ亜科、キク亜科、ヨモギ属

〔シダ植物胞子〕

単条溝胞子、三条溝胞子

2) 花粉群集の特徴

a 第 22 次調査 1 区 15G-3G3 南壁断面 (第 37 図)

下位の V 層 (試料 6) では、花粉がほとんど検出されなかった。IV 層 (試料 5) では、草本花粉の占める割合が高く、樹木花粉はわずかである。草本花粉ではイネ科が優勢で、キク亜科、ヨモギ属、アブラナ科、アカザ科ーヒユ科などが伴われる。樹木・草本花粉ではクワ科ーイラクサ科、樹木花粉ではハンノキ属、スギなどが検出されたが、いずれも少量である。

b 第 24 次調査 2 区東基本層序断面 (第 38 図)

下位の V 層 (試料 5) と IVb 層 (試料 4) では、花粉がほとんど検出されなかった。IVa 層 (試料 3) から I 層 (試

第 15 表 第 22 次調査における花粉分析結果

| 分類群 | 学名 | 和名 | 第22次調査1区 15G-3G3南壁 | |
|---|----|---------------------------|-----------------------|-----------|
| | | | IV層 試料5 | V層 試料6 |
| Arboreal pollen | | 樹木花粉 | | |
| <i>Pinus</i> subgen. <i>Diploxylon</i> | | マツ属複雑管束亜属 | 1 | |
| <i>Cryptomeria japonica</i> | | スギ | 3 | |
| <i>Alnus</i> | | ハンノキ属 | 6 | |
| <i>Quercus</i> subgen. <i>Lepidobalanus</i> | | コナラ属コナラ亜属 | 2 | |
| Arboreal・Nonarboreal pollen | | 樹木・草本花粉 | | |
| Moraceae-Urticaceae | | クワ科ーイラクサ科 | 12 | |
| Rosaceae | | バラ科 | 2 | |
| Nonarboreal pollen | | 草本花粉 | | |
| Gramineae | | イネ科 | 100 | |
| Chenopodiaceae-Amaranthaceae | | アカザ科ーヒユ科 | 10 | |
| Caryophyllaceae | | ナデシコ科 | 1 | |
| Cruciferae | | アブラナ科 | 32 | |
| Apioidae | | セリ亜科 | 1 | |
| Lactuoidae | | タンポポ亜科 | 5 | |
| Asteroidae | | キク亜科 | 44 | |
| <i>Artemisia</i> | | ヨモギ属 | 40 | 1 |
| Fern spore | | シダ植物胞子 | | |
| Monolate type spore | | 単条溝胞子 | 35 | 3 |
| Trilate type spore | | 三条溝胞子 | 4 | 1 |
| Arboreal pollen | | 樹木花粉 | 12 | 0 |
| Arboreal・Nonarboreal pollen | | 樹木・草本花粉 | 14 | 0 |
| Nonarboreal pollen | | 草本花粉 | 233 | 1 |
| Total pollen | | 花粉総数 | 259 | 1 |
| Pollen frequencies of 1cm ³ | | 試料1cm ³ 中の花粉密度 | 1.2 | 0.8 |
| | | | ×10 ³ | ×10 |
| Unknown pollen | | 未同定花粉 | 13 | 0 |
| Fern spore | | シダ植物胞子 | 39 | 4 |
| Helminth eggs | | 寄生虫卵 | (-) | (-) |
| Digestion rimeins | | 明らかな消化残渣 | (-) | (-) |
| Charcoal fragments | | 微細炭化物 | (+) | (-) |

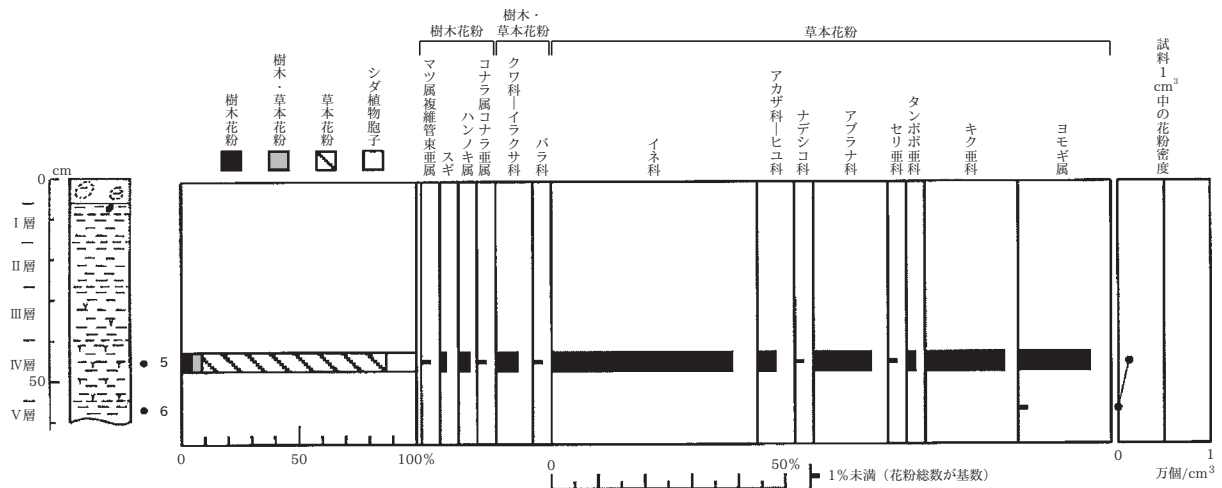
第16表 第24次調査における花粉分析結果

| 学名 | 分類群 | 和名 | 第24次調査2区東 基本層序断面 | | | | | 第24次調査2区東 SD98埋土 | |
|---|-----|---------------------------|---------------------|------------------|------------------|-------------|-----------|---------------------|------------------|
| | | | I層 試料1 | IIIa層 試料2 | IVa層 試料3 | IVb層 試料4 | V層 試料5 | 1層 試料1 | 2層 試料2 |
| Arboreal pollen | | 樹木花粉 | | | | | | | |
| <i>Pinus</i> subgen. <i>Diploxylon</i> | | マツ属複雑管束亜属 | 2 | | 2 | | | | 1 |
| <i>Cryptomeria japonica</i> | | スギ | | | | | | 1 | 2 |
| Taxaceae-Cephalotaxaceae-Cupressaceae | | イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科 | 1 | | | | | | |
| <i>Salix</i> | | ヤナギ属 | 4 | 3 | | | | | 2 |
| <i>Juglans</i> | | クルミ属 | | | | | | | 1 |
| <i>Pterocarya rhoifolia</i> | | サワグルミ | 1 | | | | | | |
| <i>Alnus</i> | | ハンノキ属 | 30 | 3 | 4 | 1 | | 3 | 5 |
| <i>Betula</i> | | カバノキ属 | 1 | | | 1 | | | |
| <i>Carpinus-Ostrya japonica</i> | | クマシデ属-アサダ | 4 | | 1 | | | | 1 |
| <i>Castanopsis</i> | | シイ属 | 2 | | | | | | |
| <i>Fagus</i> | | ブナ属 | 1 | | | | | 1 | |
| <i>Quercus</i> subgen. <i>Lepidobalanus</i> | | コナラ属コナラ亜属 | 4 | 5 | | | | | 3 |
| <i>Ulmus-Zelkova serrata</i> | | ニレ属-ケヤキ | 2 | | | | | 1 | 1 |
| <i>Ilex</i> | | モチノキ属 | | 1 | | | | | |
| <i>Acer</i> | | カエデ属 | 1 | | | | | | |
| <i>Aesculus turbinata</i> | | トチノキ | 3 | | | | | | |
| Arboreal・Nonarboreal pollen | | 樹木・草本花粉 | | | | | | | |
| Moraceae-Urticaceae | | クワ科-イラクサ科 | 4 | 3 | 4 | | | | 64 |
| Araliaceae | | ウコギ科 | 1 | | | | | | |
| <i>Sambucus-Viburnum</i> | | ニワトコ属-ガマズミ属 | 3 | | | | | | |
| Nonarboreal pollen | | 草本花粉 | | | | | | | |
| <i>Typha-Sparganium</i> | | ガマ属-ミクリ属 | | | | | | | 1 |
| <i>Alisma</i> | | サジオモダカ属 | | 1 | 1 | | | | |
| Gramineae | | イネ科 | 130 | 41 | 39 | 1 | 1 | 49 | 53 |
| <i>Oryza type</i> | | イネ属型 | | | | | | 1 | 1 |
| Cyperaceae | | カヤツリグサ科 | 18 | 4 | 1 | | | 7 | 11 |
| <i>Polygonum</i> sect. <i>Persicaria</i> | | タデ属サナエタデ節 | | | | | | | 2 |
| <i>Fagopyrum</i> | | ソバ属 | 1 | | | | | | |
| Chenopodiaceae-Amaranthaceae | | アカザ科-ヒユ科 | 2 | 6 | 9 | | | 13 | 16 |
| <i>Portulaca oleracea</i> | | スベリヒユ属 | | | | | | | 1 |
| Caryophyllaceae | | ナデシコ科 | 1 | 2 | | | | 2 | 7 |
| Cruciferae | | アブラナ科 | 5 | 3 | 3 | | | 1 | 22 |
| Saxifragaceae | | ユキノシタ科 | 1 | | | | | | |
| Apioidae | | セリ亜科 | 7 | 1 | | | | 1 | |
| <i>Plantago</i> | | オオバコ属 | | | | | | | 1 |
| Lactucoideae | | タンポポ亜科 | 15 | 4 | 3 | | | 4 | |
| Asteroidae | | キク亜科 | 6 | 1 | 3 | | | | |
| <i>Artemisia</i> | | ヨモギ属 | 155 | 31 | 45 | 1 | | 25 | 164 |
| Fern spore | | シダ植物胞子 | | | | | | | |
| Monolate type spore | | 単条溝胞子 | 16 | 13 | 19 | 5 | 3 | 13 | 13 |
| Trilate type spore | | 三条溝胞子 | 31 | 2 | 6 | 2 | 1 | 2 | |
| Arboreal pollen | | 樹木花粉 | 56 | 12 | 7 | 2 | 0 | 6 | 16 |
| Arboreal・Nonarboreal pollen | | 樹木・草本花粉 | 8 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 64 |
| Nonarboreal pollen | | 草本花粉 | 341 | 94 | 104 | 2 | 1 | 103 | 279 |
| Total pollen | | 花粉総数 | 405 | 109 | 115 | 4 | 1 | 109 | 359 |
| Pollen frequencies of 1cm ³ | | 試料1cm ³ 中の花粉密度 | 2.3 | 9.7 | 5.0 | 2.8 | 0.7 | 4.6 | 7.8 |
| | | | ×10 ³ | ×10 ² | ×10 ² | ×10 | ×10 | ×10 ² | ×10 ³ |
| Unknown pollen | | 未同定花粉 | 12 | 25 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| Fern spore | | シダ植物胞子 | 47 | 15 | 25 | 7 | 4 | 15 | 13 |
| Helminth eggs | | 寄生虫卵 | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) |
| Digestion rimeins | | 明らかな消化残渣 | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) |
| Charcoal fragments | | 微細炭化物 | | | (++) | (+) | | (+) | (+) |

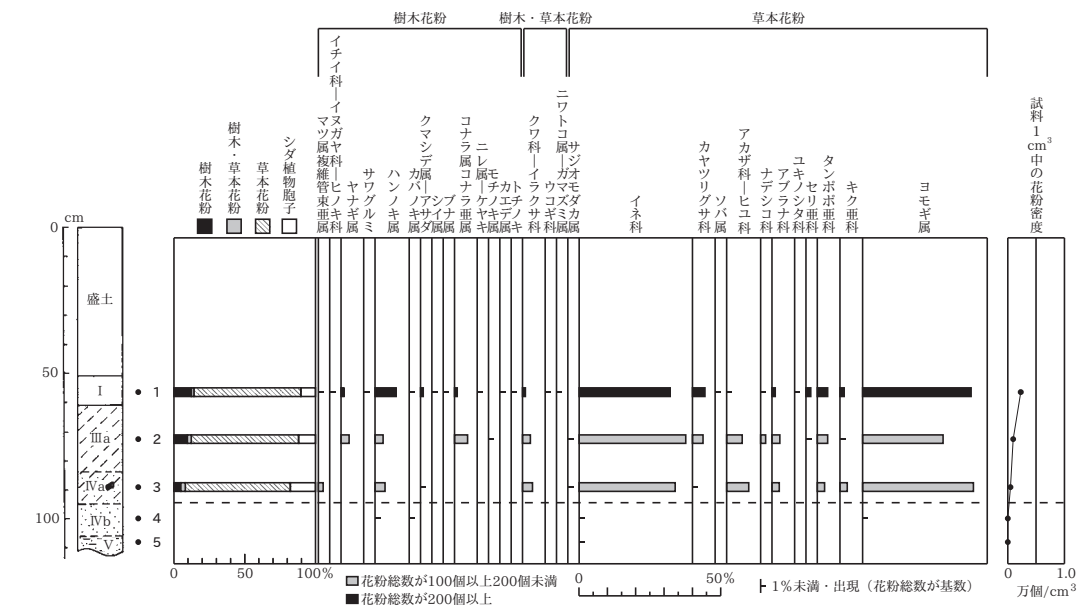
料1) にかけては、草本花粉の占める割合が高く、ヨモギ属やイネ科が優勢で、アカザ科-ヒユ科、アブラナ科、タンポポ亜科などが伴われる。また、I層(試料1)ではソバ属が認められた。樹木花粉では、ハンノキ属、コナラ属コナラ亜属、ヤナギ属などが認められたが、いずれも低率である。

c 第24次調査2区東SD98埋土断面(第39図)

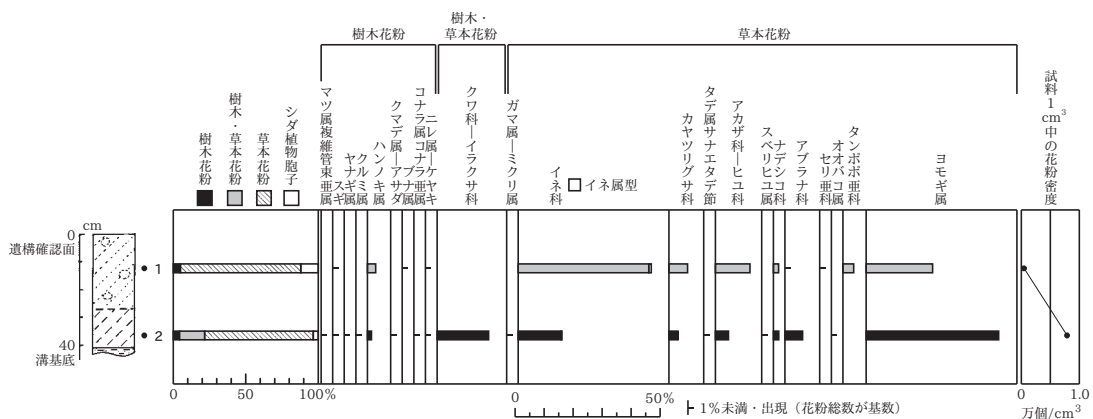
埋土底部(試料2)では、草本花粉の占める割合が高く、ヨモギ属やイネ科(イネ属型を含む)が優勢で、アブラナ科、アカザ科-ヒユ科、カヤツリグサ科などが伴われる。また、樹木花粉と草本花粉を含むクワ科-イラクサ科(カナムグラなどの形態に近似)も比較的多い。樹木花粉では、ハンノキ属などが認められたが、いずれも低率である。埋土上部(試料1)では、イネ科(イネ属型を含む)やアカザ科-ヒユ科の占める割合が増加し、クワ科-イラクサ科は見られなくなっている。



第 37 図 第 22 次調査 1 区 15G-3G3 南壁における花粉ダイアグラム



第 38 図 第 24 次調査 2 区東基本層序断面における花粉ダイアグラム



第 39 図 第 24 次調査 2 区東 SD98 埋土断面における花粉ダイアグラム

E 花粉分析から推定される植生と環境

1) 第22次調査 1区 15G-3G3 南壁断面

平安時代と中世の遺物包含層であるIV層の堆積当時は、イネ科、キク亜科、ヨモギ属、アブラナ科、アカザ科-ヒユ科などの草本類が生育する日当たりのよい比較的乾燥した人里の環境であったと推定される。アブラナ科には、アブラナ(ナタネ)、ダイコン、ハクサイ、タカナ、カブなど多くの栽培植物が含まれており、周辺でこれらが栽培されていた可能性も考えられる。森林植生としては、周辺地域にハンノキ属、スギなどが分布していたと考えられる。

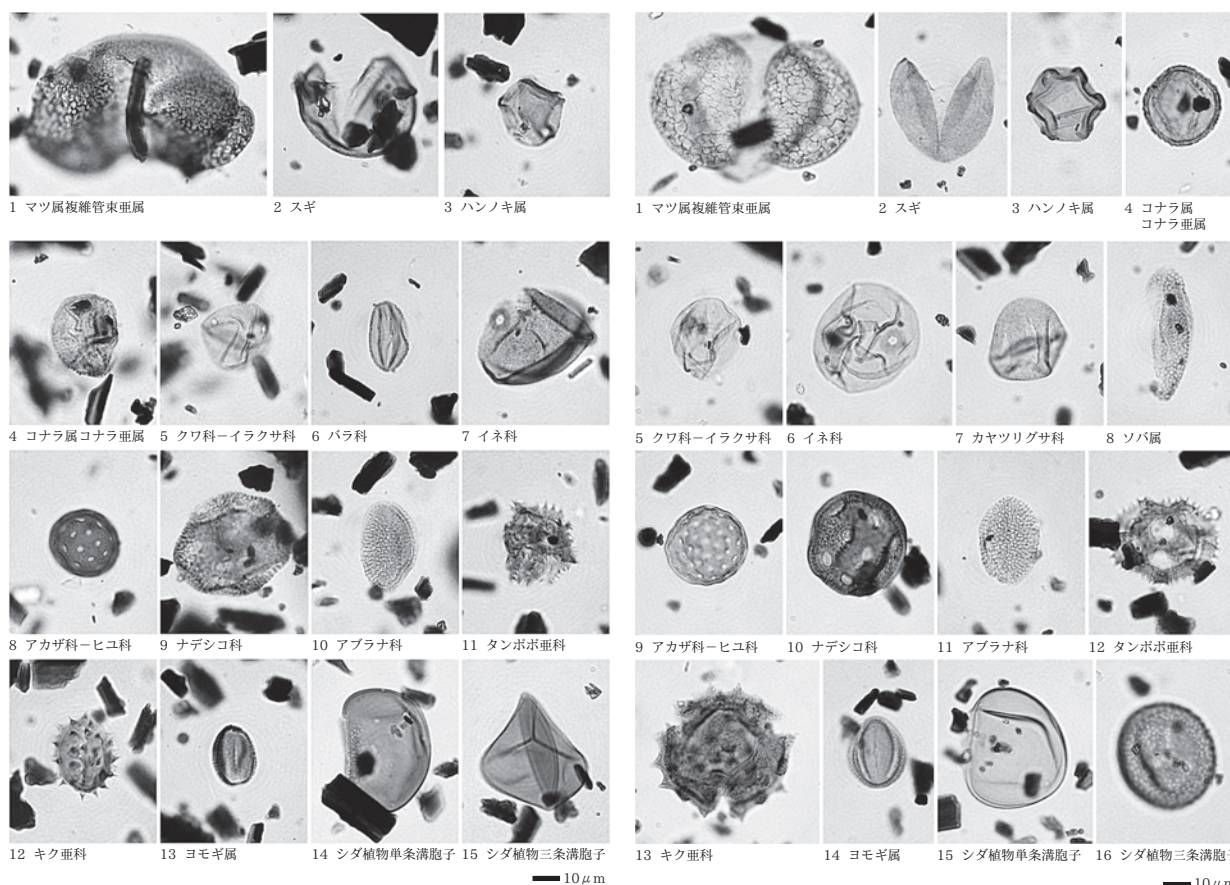
下位のV層では、花粉がほとんど検出されなかった。花粉が検出されない原因としては、乾燥もしくは乾湿を繰り返す堆積環境下で花粉などの有機質遺体が分解されたことなどが考えられる。

2) 第24次調査 2区東基本層序断面

下位のV層とIVb層では、花粉がほとんど検出されなかった。花粉が検出されない原因としては、乾燥もしくは乾湿を繰り返す堆積環境下で花粉などの有機質遺体が分解されたこと、土層の堆積速度が速かったこと、および水流や粒径による淘汰・選別を受けたことなどが想定される。

IVa層からI層にかけては、イネ科やヨモギ属を主として、アカザ科-ヒユ科、カヤツリグサ科、アブラナ科、タンポポ亜科などの草本類が生育する日当たりの良い比較的乾燥した環境であったと推定される。なお、プラント・オパール分析(第3節)ではヨシ属が優勢であることから、イネ科の多くは湿地性のヨシ属に由来する可能性も考えられる。また、I層の時期には調査地点もしくはその周辺でソバ属(ソバ)が栽培されていたと考えられる。

遺跡周辺に森林植生は少なく、周辺地域に湿地林や河辺林を形成するハンノキ属やヤナギ属、およびコナラ属コナラ亜属などの落葉広葉樹が分布していたと推定される。



第40図 第22次調査の花粉・胞子

第41図 第24次調査の花粉・胞子

3) 第24次調査 2区東SD98埋土断面

埋土底部の堆積当時は、ヨモギ属やイネ科を主として、アブラナ科、アカザ科-ヒユ科、クワ科-イラクサ科(カナムグラなど)などの草本類が生育する日当たりの良い比較的乾燥した環境であったと推定される。なお、プラント・オパール分析(第3節)ではヨシ属が優勢であることから、イネ科の多くは湿地性のヨシ属に由来する可能性も考えられる。また、低率ながらイネ属型が認められることから、当時は周辺で稲作が行われていた可能性が考えられる。遺跡周辺に森林植生は少なく、周辺地域に湿地林や河辺林を形成するハンノキ属などが分布していたと推定される。

埋土上部でも、概ね同様の状況であったと考えられるが、この時期には何らかの原因でイネ科が増加し、クワ科-イラクサ科は見られなくなったと推定される。

第5節 沖ノ羽遺跡における種実同定

A

(株) 火山灰考古学研究所

1) はじめに

植物の種子や果実は比較的強靱なものが多く、堆積物や遺構内に残存している場合がある。堆積物などから種実を検出し、その種類や構成を調べることで、過去の植生や栽培植物を明らかにすることができる。

2) 試料

試料は、第22次調査 1区 SE1406(中世の井戸)の9層と10層から採取された堆積物2点である。

3) 方法

以下の手順で、種実の抽出と同定を行った。

- (1) 試料 50cm³ に水を加えて泥化
- (2) 攪拌した後、0.25mm の篩で水洗選別
- (3) 双眼実体顕微鏡下で検鏡・計数

同定は形態的特徴および現生標本との対比で行い、結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示した。

4) 結果

a 分類群

草本10分類群が同定された。学名、和名および粒数を第17表に示し、主要な分類群を写真に示す。以下に同定根拠となる形態的特徴を記載する。なお、イネ類についてはいずれも破片であり、大きさの計測はできなかった。

〔草本〕

イネ *Oryza sativa* L. 穎(破片) イネ科

穎は茶褐色で扁平楕円形を呈し、下端に枝梗が残る。表面には微細な顆粒状突起がある。完形のものは無かった。

イネ科 Gramineae 穎

穎は灰褐色～茶褐色で楕円形を呈す。腹面はやや平らで、背面は丸く、表面は滑らかである。

カヤツリグサ科 Cyperaceae 果実

茶褐色で倒卵形を呈す。断面は扁平である。

ヒユ属 *Amaranthus* 種子 ヒユ科

第17表 第22次調査における種実同定結果(1区 SE1406)

| 学名 | 分類群 | | 部位 | SE1406 | |
|---|---------|----|------------|--------|-----|
| | 和名 | | | 9層 | 10層 |
| Herb | | 草本 | | | |
| <i>Oryza sativa</i> L. | イネ | | 穎(破片) | 9 | 89 |
| Gramineae | イネ科 | | 穎 | 2 | 29 |
| Cyperaceae | カヤツリグサ科 | | 果実 | | 1 |
| <i>Chenopodium</i> | アカザ属 | | 種子 (破片) | | 10 |
| <i>Amaranthus</i> | ヒユ属 | | 種子 | 1 | |
| Caryophyllaceae | ナデシコ科 | | 種子 | 5 | 1 |
| <i>Oxalis</i> | カタバミ属 | | 種子(破片) | 1 | |
| Cruciferae | アブラナ科 | | 種子 | | 2 |
| <i>Perilla frutescens</i> var. <i>japonica</i> Hara | エゴマ | | 果実 | 1 | 1 |
| <i>Solanum melongena</i> L. | ナス | | 種子 | 1 | |
| Total | | 合計 | | 26 | 131 |

(50cm³中・0.25mm篩)

黒色で光沢がある。円形を呈し、一ヶ所が切れ込みヘソがある。断面は両凸レンズ形である。

アカザ属 *Chenopodium* 種子(完形・破片) アカザ科

黒色で光沢がある。円形を呈し、片面の中央から周縁まで浅い溝が走る。

ナデシコ科 *Caryophyllaceae* 種子

黒色で円形を呈し、側面にヘソがある。表面全体に突起がある。

カタバミ属 *Oxalis* 種子(破片) カタバミ科

茶褐色で楕円形を呈し、上端がとがる。両面には横方向に6～8本の隆起が走る。

アブラナ科 *Cruciferae* 種子

茶褐色で楕円形を呈し、下端にヘソがある。表面には長方形の網目がある。

エゴマ *Perilla frutescens* var. *japonica* Hara 果実 シソ科

黒褐色～灰褐色で球形を呈し、下端はわずかに突出する。表面に大きい網目模様がある。径2.0～2.4mm。径2.0mm以上をエゴマとし、2.0mm以下をシソ属とした。

ナス *Solanum melongera* L. 種子 ナス科

黄褐色で扁平楕円形を呈し、一端にくぼんだヘソがある。表面には網目模様がある。

b 種実群集の特徴

① 9 層

イネ穎9、イネ科2、アカザ属4、ヒユ属1、ナデシコ科5、カタバミ属1、アブラナ科2、エゴマ1、ナス1が検出された。

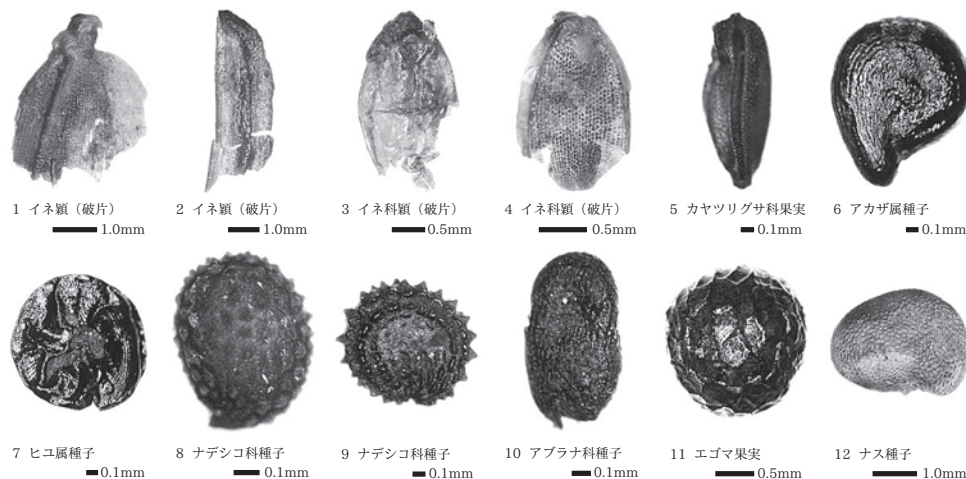
② 10 層

イネ穎89、イネ科29、カヤツリグサ科1、アカザ属10、ナデシコ科1、エゴマ1が検出された。

5) 所 見

種実同定の結果、第22次調査1区SE1406(中世の井戸)の埋土底部では、イネ穎が多量に検出された。植物珪酸体分析(第3節)でも、籾殻(穎の表皮細胞)に由来する植物珪酸体が多量に検出されており、籾殻が何らかの形で他所から持ち込まれた可能性が考えられる。

その他の分類群では、イネ科、カヤツリグサ科、ヒユ属、アカザ属、ナデシコ科、カタバミ属、アブラナ科、エゴマ、ナスが認められた。エゴマ、ナスは栽培植物であり、アブラナ科にも栽培植物が含まれている。その他の植物も、日当たりの良い比較的乾燥したところに生育する人里植物ないし畑雑草であり、遺構周辺の植生・環境が反映されていると考えられる。



第42図 第22次調査の種実遺体(1区SE1406)

B

(株) 加速器分析研究所

1) はじめに

今回の分析調査では、沖ノ羽遺跡（新潟県新潟市秋葉区七日町字沖ノ羽所在）の発掘調査で出土した種実遺体の同定を実施し、当時の植物利用や植生に関する資料を作成する。

2) 試料

第22次調査の試料は、1区の各遺構・層位より出土した種実遺体12点64個（種子1～12）で、乾燥した状態や湿った状態のものがある。種子4、8、9、11の計4点には、層位やグリッドが異なる複数個が存在する。各試料の詳細は、結果と共に第18表に示す。

なお、これらの中から、種子2、4、8、9、11に属する合計10点（モモ核9点、キカラスウリ種子1点）を用いて放射性炭素年代測定が実施され、12～14世紀頃の年代値が示されている（第7節参照）。年代測定の対象となった種実には、その測定試料名を第18表備考に記載した。

第24次調査の試料は、2区東SE12の4層（種子11）、2区西SE499（種子12-1、12-2）、2区西SE230（種子13-1、13-2）、2区西SE400（種子14-1、14-2、14-3）、2区東SE65（種子15）の埋土の水洗選別で検出された種実遺体5遺構9試料（1,000個以上）である。

これら各試料を用いて放射性炭素年代測定が実施されている（第7節参照）。種子11からはウメ核の一部、種子12、種子15からはオニグルミ核の一部、種子13からはモモ核の一部、種子14からはイネ胚乳2個を使用した。

3) 分析方法

試料を粒径別に双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な種実遺体を抽出する。

種実遺体の同定は、現生標本および笠原〔笠原1982〕、藤下〔藤下1984〕、吉崎〔吉崎1992〕、石川〔石川1994〕、中山_{ほか}〔中山_{ほか}2000〕、谷城〔谷城2007〕、小畑〔小畑2008・2011〕、鈴木_{ほか}〔鈴木_{ほか}2012〕等を参考に実施し、部位・状態別の個数を数えて、結果を一覧表と図で示す。実体顕微鏡下による区別が困難な複数種間は、ハイフォンで結んで表示する。また、主に栽培種などの種実遺体を対象として、デジタルノギスで長さ、幅、厚さを計測した結果を一覧表に示す。一部欠損により、残存部を計測した試料は、計測値に「+」を付記する。

分析後は、種実遺体を分類群毎に容器に入れ、約70%のエタノール溶液で液浸し、返却する。

4) 結果

a 第22次調査 1区各遺構

結果を第18表に示す。種実遺体64個は、48個（全遺構）が栽培種のモモの核、1個（1区SE1774）がモモの核・種子に、15個（1区SE1536）が草本のキカラスウリの種子に同定された。各分類群の写真を第43図に、計測値を第18表に示して同定根拠とし、形態的特徴等を以下に述べる。

モモ (*Prunus persica* Batsch) バラ科サクラ属 (第43図-1～18)

核（内果皮）は灰～灰黒褐色、炭化個体は黒色を呈す。やや扁平な広楕円体で、頂部が鋭く尖る個体が多い。基部は切形で、中央部に湾入した臍がある。背面正中線上に細い縦隆条が、腹面正中線上には浅い縦溝とその両側に幅の狭い帯状部がある。この縫合線に沿って割れた半分2個が接合して完形1個体となるものもみられる。内果皮は厚く硬く、表面は縦に流れる不規則な線状の深い窪みがあり、深く粗いしわ状にみえる。表面が摩擦する個体もみられる。半断面は平滑で、種子1個が入る長さ1.4～1.8cm、幅0.8～1.3cm、深さ1.0～4.1mmの広卵状の窪みがある。1区SE1774 (15G-4F15) 出土核1個の半断面には、種子が残存する（第43図-17b）。

欠損がない完形核34個の計測値は、長さは23.1～34.7（平均27.7±標準偏差2.2）mm、幅は16.7～23.7（平均20.5±1.8）mm、厚さは12.8～18.2（平均15.1±1.3）mm、大きさ（長さ×幅）は385～822（平均571±89）、扁平率（厚さ/幅）は0.7～0.8（平均0.7±0.03）であった。この内、1区SE1774より出土した完形核

第5節 沖ノ羽遺跡における種実同定

26個は、長さは25.4～34.7(平均28.2±標準偏差2.2)mm、幅は18.6～23.7(平均21.1±1.3)mm、厚さは13.8～18.2(平均15.5±1.1)mm、大きさ(長さ×幅)は477～822(平均597±81)、扁平率(厚さ/幅)は0.7～0.8(平均0.7±0.03)と大型で、頂部が鋭く尖り、湾曲する傾向がみられる(第43図-14～17)。

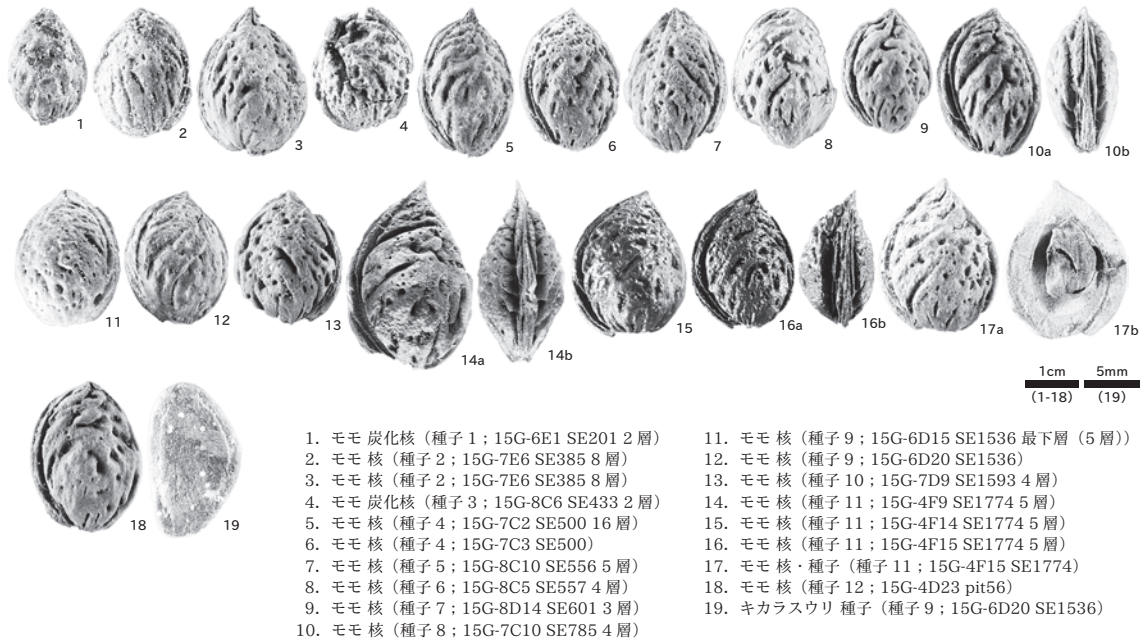
キカラスウリ (*Trichosanthes Kirilowii* Maxim. var. *japonica* (Miq.) Kitam.) ウリ科カラスウリ属(第43図-19)

種子は灰褐色、扁平な非対称倒卵体。基部は切形～斜切形で、倒「ハ」の字状の臍と円形の芽穿孔がある。縁を浅い帯状の溝が一周する。種皮表面は粗面。種子15個の計測値は、長さは9.9～15.4(平均13.4±標準偏差1.3)mm、幅は7.4～8.6(8.0±0.3)mm、厚さは2.7～4.1(3.0±0.4)mmであった。

第18表 第22次調査種実同定結果(1区SE201ほか)

| No. | 試料情報 | | | 同定結果 | | | | 計測値(mm) | | | 核内面の窪み(mm) | | | 備考 | | | | | | | |
|--------|--------|---------|----------|------|--------|------|------|---------|-------|------|------------|-------|------|------|------|---------|-----------------------------------|--------|--------------------------------|-------------|--------|
| | 遺構 | 層位 | グリッド | 状態 | 分類群 | 部位 | 状態 | 個数 | 枝番 | 長さ | 幅 | 厚さ | 長さ | | 幅 | 深さ | | | | | |
| 種子1 | SE201 | 2層 | 15G-6E1 | 乾燥 | モモ | 核 | 完形 | 炭化 | 1 | — | 21.7 | 14.5 | 6.4+ | 14.6 | 8.1 | 2.7 | ほぼ半分 | | | | |
| 種子2 | SE385 | 8層 | 15G-7E6 | 乾燥 | モモ | 核 | 半分 | — | 2 | 1 | 24.1 | 17.7 | 7.3+ | 13.9 | 10.6 | 2.9 | 下記と別個体、年代測定「種子2-2」 | | | | |
| 種子3 | SE433 | 2層 | 15G-8C6 | 乾燥 | モモ | 核 | 完形 | 炭化 | 1 | — | 22.5+ | 18.5 | 13.2 | — | — | — | 上記と別個体、年代測定「種子2-1」 | | | | |
| 種子4 | SE500 | 16層 | 15G-7C2 | 乾燥 | モモ | 核 | 完形 | — | 1 | — | 27.5 | 18.2 | 13.3 | — | — | — | 頂部わずかに欠損 | | | | |
| | | — | 15G-7C3 | 乾燥 | モモ | 核 | 完形 | — | 1 | — | 26.4 | 18.8 | 13.3 | — | — | — | 年代測定「種子4-1」 | | | | |
| 種子5 | SE556 | 5層 | 15G-8C10 | 乾燥 | モモ | 核 | 半分 | — | 1 | — | 26.6 | 19.1 | 7.9+ | 16.9 | 12.4 | 3.3 | 年代測定「種子4-2」 | | | | |
| 種子6 | SE557 | 4層 | 15G-8C5 | 乾燥 | モモ | 核 | 完形 | — | 1 | — | 26.1 | 19.0+ | 13.7 | — | — | — | 表面摩耗 | | | | |
| 種子7 | SE601 | 3層 | 15G-8D14 | 乾燥 | モモ | 核 | 完形 | — | 1 | — | 23.1 | 16.7 | 13.2 | — | — | — | 表面摩耗 | | | | |
| 種子8 | SE785 | 4層 | 15G-7C10 | 湿潤 | モモ | 核 | 完形 | — | 4 | 1 | 27.7 | 18.4 | 13.7 | — | — | — | 本遺構出土モモ5点中2点年代測定(「種子8-1」、「種子8-2」) | | | | |
| | | | | 湿潤 | モモ | 核 | 完形 | — | 2 | 26.7 | 17.2 | 13.1 | — | — | — | 表面摩耗 | | | | | |
| | | | | 湿潤 | モモ | 核 | 完形 | — | 3 | 24.9 | 14.8+ | 13.0 | — | — | — | 表面摩耗 | | | | | |
| | | — | 15G-7C10 | 湿潤 | モモ | 核 | 完形 | — | 4 | 24.7 | 15.9+ | 10.8 | — | — | — | 表面・側面摩耗 | | | | | |
| 種子9 | SE1536 | 最下層(5層) | 15G-6D15 | 乾燥 | モモ | 核 | 半分 | — | 1 | — | 25.3 | 19.9 | 6.9+ | 16.5 | 10.4 | 1.0 | 年代測定「種子9-1」 | | | | |
| | | | | 湿潤 | モモ | 核 | 完形 | — | 1 | 24.8 | 20.2 | 15.6 | — | — | — | — | — | — | | | |
| | | — | 15G-6D20 | 乾燥 | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 15 | 1 | 13.8 | 8.3 | 2.7 | — | — | — | — | — | 本遺構出土キカラスウリ15点中1点年代測定(「種子9-2」) | | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 2 | 13.6 | 7.8 | 2.8 | — | — | — | — | — | — | — | | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 3 | 13.9 | 7.4 | 2.8 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 4 | 14.7 | 7.9 | 2.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 5 | 13.2 | 8.0 | 2.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 6 | 13.7 | 7.8 | 3.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 7 | 13.2 | 7.7 | 2.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 8 | 15.4 | 7.8 | 2.9 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 9 | 13.7 | 8.4 | 2.8 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 10 | 13.8 | 8.6 | 2.9 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 11 | 13.1 | 7.7 | 2.9 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | | | | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 12 | 14.3 | 8.0 | 3.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 13 | 12.6 | 7.6 | 2.9 | — | — | — | — | — | — | — | — | | | | | | |
| キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 14 | 9.9 | 8.0 | 3.2 | — | — | — | — | — | — | — | — | | | | | | |
| キカラスウリ | 種子 | 完形 | — | 15 | 11.7 | 8.4 | 4.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | | | | | | |
| 種子10 | SE1593 | 4層 | 15G-7D9 | 乾燥 | モモ | 核 | 破片 | — | 1 | — | 24.4 | 19.6 | 7.3+ | 16.3 | 10.1 | 1.7 | ほぼ半分 | | | | |
| 種子11 | SE1774 | 5層 | 15G-4F9 | 湿潤 | モモ | 核 | 完形 | — | 8 | 1 | 34.7 | 23.7 | 16.7 | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | | | |
| | | | | | モモ | 核 | 完形 | — | 2 | 32.3 | 21.7 | 15.8 | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| | | | | | モモ | 核 | 完形 | — | 3 | 29.1 | 23.1 | 17.0 | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | |
| | | | | | モモ | 核 | 完形 | — | 4 | 32.1 | 23.3 | 16.1 | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | |
| | | | | | モモ | 核 | 完形 | — | 5 | 27.2 | 20.4 | 15.4 | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | |
| | | | | | モモ | 核 | 完形 | — | 6 | 28.5 | 21.7 | 16.4 | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | |
| | | | モモ | 核 | 完形 | — | 7 | 28.4 | 19.6 | 13.9 | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | | |
| | | | モモ | 核 | 完形 | — | 8 | 27.4 | 21.3 | 14.8 | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る、年代測定「種子11-2」 | | |
| | | | モモ | 核 | 完形 | — | 7 | 30.0 | 23.1 | 18.2 | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| | | | モモ | 核 | 完形 | — | 2 | 26.8 | 21.5 | 16.2 | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| | | | モモ | 核 | 完形 | — | 3 | 26.7 | 18.6 | 13.8 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | |
| | | | モモ | 核 | 完形 | — | 4 | 27.2 | 21.4 | 16.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | |
| | | モモ | 核 | 完形 | — | 5 | 28.1 | 20.9 | 15.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| | | モモ | 核 | 完形 | — | 6 | 27.9 | 18.0+ | 14.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| | | モモ | 核 | 完形 | — | 7 | 27.5 | 19.2+ | 11.7+ | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る、側面欠損(食痕?) | | |
| | | モモ | 核 | 完形 | — | 4 | 29.7 | 21.4 | 14.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る、縫合線上摩耗 | | |
| | | モモ | 核 | 完形 | — | 2 | 28.4 | 21.6 | 15.6 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| | | モモ | 核 | 完形 | — | 3 | 25.8 | 20.5 | 16.3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| | | モモ | 核 | 完形 | — | 4 | 25.7 | 19.4 | 14.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| | | モモ | 核 | 完形 | — | 1 | 25.5 | 18.7 | 14.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る、側面欠損、下記と接合 | | |
| | | モモ | 核 | 破片 | — | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 上記と接合し完形1個体、年代測定「種子11-1」 | | |
| | | — | 15G-4F15 | 乾燥 | モモ | 核 | 完形 | — | 6 | 1 | 27.3 | 21.2 | 15.9 | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | |
| | | | | | モモ | 核 | 完形 | — | 2 | 28.5 | 20.2 | 14.3 | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る |
| | | | | | モモ | 核 | 完形 | — | 3 | 27.5 | 21.3 | 15.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る |
| モモ | 核 | | | | 完形 | — | 4 | 25.4 | 19.5 | 14.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| モモ | 核 | | | | 完形 | — | 5 | 26.6 | 21.3 | 14.9 | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| モモ | 核 | | | | 完形 | — | 6 | 26.4 | 20.4 | 15.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る | | |
| モモ | 核 | | | | 完形 | — | 2 | 1 | 28.7 | 21.0 | 16.8 | 17.7 | 11.5 | 4.1 | — | — | — | — | 頂部鋭く尖る、下記と接合 | | |
| モモ | 核 | | | | 半分 | — | 2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 上記と接合し完形1個体 | |
| — | — | — | — | — | モモ | 核・種子 | 半分 | — | 2 | 1 | 28.5 | 22.6 | 15.4 | 18.1 | 12.5 | 2.4 | — | — | — | 上記と接合し完形1個体 | |
| | | | | | モモ | 核・種子 | 半分 | — | 2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 種子12 | pit56 | — | 15G-4D23 | 湿潤 | モモ | 核 | 完形 | — | 1 | — | 27.9 | 20.6 | 14.1 | — | — | — | — | — | | | |

注) 計測はデジタルノギスを使用した。



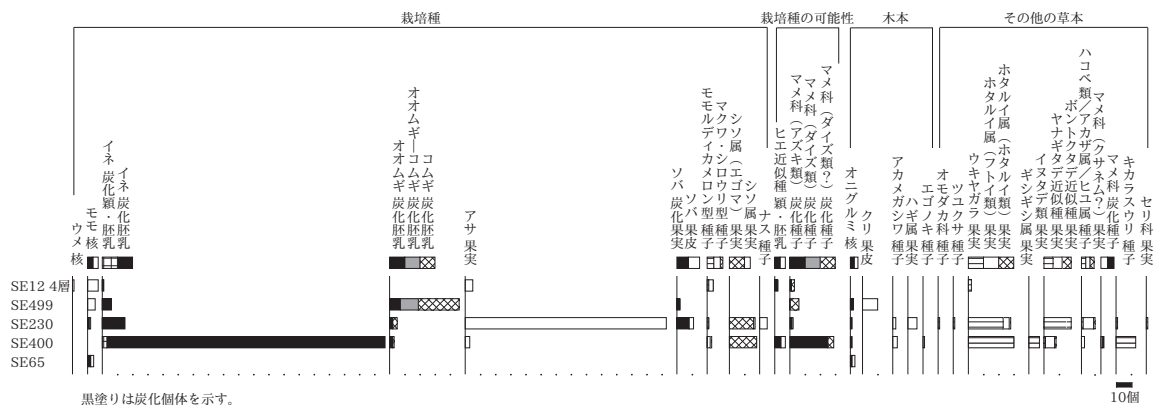
- 1. モモ炭化核 (種子 1; 15G-6E1 SE201 2層)
- 2. モモ核 (種子 2; 15G-7E6 SE385 8層)
- 3. モモ核 (種子 2; 15G-7E6 SE385 8層)
- 4. モモ炭化核 (種子 3; 15G-8C6 SE433 2層)
- 5. モモ核 (種子 4; 15G-7C2 SE500 16層)
- 6. モモ核 (種子 4; 15G-7C3 SE500)
- 7. モモ核 (種子 5; 15G-8C10 SE556 5層)
- 8. モモ核 (種子 6; 15G-8C5 SE557 4層)
- 9. モモ核 (種子 7; 15G-8D14 SE601 3層)
- 10. モモ核 (種子 8; 15G-7C10 SE785 4層)
- 11. モモ核 (種子 9; 15G-6D15 SE1536 最下層 (5層))
- 12. モモ核 (種子 9; 15G-6D20 SE1536)
- 13. モモ核 (種子 10; 15G-7D9 SE1593 4層)
- 14. モモ核 (種子 11; 15G-4F9 SE1774 5層)
- 15. モモ核 (種子 11; 15G-4F14 SE1774 5層)
- 16. モモ核 (種子 11; 15G-4F15 SE1774 5層)
- 17. モモ核・種子 (種子 11; 15G-4F15 SE1774)
- 18. モモ核 (種子 12; 15G-4D23 pit56)
- 19. キカラスウリ 種子 (種子 9; 15G-6D20 SE1536)

第 43 図 第 22 次調査の種実遺体 (1 区 SE201 ほか)

b 第 24 次調査 2 区東・西各遺構

同定結果を第 19～22 表に、種実出土状況を第 44 図に示す。全 5 遺構 9 試料を通じて、被子植物 36 分類群 (木本で落葉広葉樹のオニグルミ、クリ、ウメ、モモ、アカメガシワ、ハギ属、エゴノキ、草本のオモダカ科、ツユクサ、イネ、オオムギ、コムギ、ヒエ近似種、ウキヤガラ、ホタルイ属 (フトイ類、ホタルイ類)、アサ、ギンギシ属、イヌタデ類、ヤナギタデ近似種、ボントクタデ近似種、ソバ、ナデシコ科 (ハコベ類)、アカザ属、ヒユ属、マメ科 (アズキ類、ダイズ類、クサネム?、他)、キカラスウリ、メロン類 (モモルディカメロン型、マクワ・シロウリ型)、セリ科、シソ属 (エゴマ、他)、ナスなど、合計 687 個の種実が同定された。4 個は炭化した双子葉類と考えられるが、同定ができなかった。種実以外では、木材片、炭化材、樹皮、芽、植物片、昆虫、ミミズ類の卵胞?、岩片、雲母片、土粒などが、合計 436 個以上確認され、抽出対象外としている。

種実遺体の出土個数は、2 区西 SE400 (種子 14) が 319 個と最も多く、うち 59.2% (189 個) をイネが占める。次いで多いのは 2 区西 SE230 (種子 13) で、259 個のうち 51.4% (133 個) をアサが占める。3 番目に多いのは 2 区西 SE499 (種子 12) で、77 個のうち 59.7% (46 個) をムギ (オオムギ、コムギ) が占める。その他の遺構は、2 区東 SE12 の 4 層 (種子 11) が 25 個、2 区東 SE65 (種子 15) が 7 個であった。いずれも栽培種主体の組成を示す。



黒塗りは炭化個体を示す。

第 44 図 第 24 次調査における種実出土状況

栽培種は、ウメが1個、モモが18個、イネが211個、オオムギが11個、オオムギーコムギが12個、コムギが31個、アサが141個、ソバが13個、モモルディカメロン型が2個、マクワ・シロウリ型が5個、メロン類が1個、シソ属(エゴマ)が34個、シソ属が1個、ナスが5個と、栽培種の可能性を含むヒエ近似種が9個、マメ科(アズキ類)が27個、マメ科(ダイズ類)が1個、マメ科(ダイズ類?)が12個で、計535個が確認され、種実遺体群全体の77.9%を占める。また、全てのイネ、オオムギ、コムギ、マメ科と、一部のモモ、ヒエ近似種、ソバは炭化しており、イネ、コムギ、ヒエ近似種の一部には、表面に穎(籾)が残る状態(第45図-16、20、21)も確認された。なお、炭化穀類の保存状態は、2区西SE499や2区西SE230よりも、2区西SE400、2区東SE12が良好である。

栽培種とその可能性を除いた分類群として、木本は2区東SE12以外の4遺構から、落葉広葉樹で高木になるオニグルミが7個、クリが10個、アカメガシワが5個、小高木のエゴノキが1個、低木～多年草のハギ属が6個の、計29個が確認された。堅果類のクリは果皮片1点が出土している(第45図-3)。オニグルミはほぼ炭化し、人による打撃痕の可能性のある欠損(第45図-1)や齧歯類による食痕(第45図-2)が確認された。

草本は、主に2区西SE400、2区西SE230と、2区東SE12から、水湿地生植物のオモダカ科が1個、ウキヤガラが55個、フトイ類が4個、ホタルイ類が1個、ヤナギタデ近似種が6個、ボントクタデ近似種が1個、クサネム?が1個、セリ科が1個と、湿った場所にも乾いた場所にも生育可能な中生植物のツユクサが1個、ギシギシ属が7個、イヌタデ類が19個、ハコベ類が1個、アカザ属が9個、ヒユ属が1個、キカラスウリが14個、炭化したマメ科が1個の、計123個が確認された。

各分類群の写真を第45図に、主に栽培種を対象とした計測値を第19～22表に示して同定根拠とする。以下に、主要分類群の形態的特徴等を述べる。

イネ (*Oryza sativa* L.) イネ科イネ属

胚乳(炭化米)、穎(籾)は炭化しており黒色、やや偏平な長楕円体を呈す。2区西SE400より出土した、3辺の完全な計測が可能な胚乳62個の計測値は、長さは最小3.7～最大5.4(平均 4.6 ± 0.4)mm、幅は1.7～3.2(平均 2.4 ± 0.3)mm、厚さは1.1～3.1(平均 1.9 ± 0.3)mmであった。また、佐藤(佐藤1988)の定義による粒大(長さ×幅)は最小7.0～最大15.2(平均 11.3 ± 2.1)mmで、極小型が30個と最も多く、小型が26個、極々小型が6個であった。粒形(長さ/幅)は、最小1.5～最大2.5(平均 1.9 ± 0.2)で、短粒が43個と最も多く、長粒が19個であった。細身で小型の個体も含まれる(第45図-18)。胚乳の基部一端に、胚が脱落した斜切形の凹部がある。胚乳表面はやや平滑で、2～3本の縦隆条があり、果皮や種皮が残る「玄米」の状態(第45図-16～18)や、穎(果)の残存(第45図-16)がみられる。

胚乳1個を包む穎(果)は、完形ならば、長さ6.0～7.5mm、幅3.0～4.0mm、厚さ2.0～3.0mmで、基部に径1.0mm程度の斜切状円柱形の果実序柄(小穂軸)と1対の護穎を有し、その上に外穎(護穎と言う場合もある)と内穎がある。外穎は5脈、内穎は3脈をもち、ともに舟形を呈し、縫合して稻粃を構成する。果皮は薄く、表面には微細な顆粒状突起が縦列する(第45図-16)。

オオムギ (*Hordeum vulgare* L.) イネ科オオムギ属

胚乳は炭化しており黒色、長さ5.1～6.1mm、幅2.5～3.1mm、厚さ1.8～2.7mmのやや偏平な紡錘状長楕円体で、両端は尖る。腹面正中線にやや深く深い縦溝、背面は基部正中線に胚の痕跡があり、長楕円体に窪む。表面は粗面で微細な縦筋がある(第45図-19)。

コムギ (*Triticum aestivum* L.) イネ科コムギ属

胚乳は炭化しており黒色、長さ2.9～4.2mm、幅2.0～2.7mm、厚さ1.8～2.5mmの丸みを帯びた楕円体を呈し、オオムギより小型である。腹面正中線にやや深く深い縦溝、背面は基部正中線に胚の痕跡があり、丸く窪む。表面はやや平滑で、微細な粒状模様がある。1個の腹面正中線には、穎の破片の付着もみられた。穎は薄く、表面は粗面で微細な縦筋が配列する(第45図-20)。なお、状態が不良でオオムギとの区別が困難な

第 19 表 第 24 次調査における種実同定結果 (1)

| 試料番号 | 区 | 遺構 | 層位 | 分類群 | 部位 | 状態 | 個数 | 枝番 | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 備考 |
|--------|-----|-------|----|-------------|------|------|-----|----|---------|--------|---------|---------------------------|
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | ウメ | 核 | 破片 | 1 | — | 20.4+ | 16.4 | 6.2+ | 半分厚,年代測定試料として一部使用 |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | モモ | 核 | 完形 | 5 | 1 | 34.1 | 22.5 | 16.9 | |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | モモ | 核 | 完形 | — | 2 | 27.2 | 19.5 | 14.4 | |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | モモ | 核 | 完形 | — | 3 | 27.0 | 19.1 | 15.1 | |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | モモ | 核 | 完形 | — | 4 | 22.4 | 18.8 | 13.2 | |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | モモ | 核 | 完形 | — | 5 | 24.7 | 17.4 | 12.7 | |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | モモ | 核 | 完形未滿 | 1 | — | 26.7 | 19.1 | 7.7+ | 種子の凹み:長さ15.3mm,幅2.6mm |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | モモ | 核 | 半分 | 1 | — | 27.6 | 18.3 | 7.6+ | 種子の凹み:長さ16.5mm,幅2.9mm |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | イネ | 胚乳 | 完形 | 1 | — | 5.8 | 3.3 | 2.2 | 表面模様明瞭 |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | ヒエ近似種 | 穎・胚乳 | 完形 | 2 | 1 | 2.2 | 1.9 | 1.7 | 穎:側面に残存,胚:長さ1.7+mm,幅1.3mm |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | ヒエ近似種 | 穎・胚乳 | 完形 | — | 2 | 2.2 | 1.6 | 1.4 | 胚長1.5mm,幅1.0mm |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | ウキヤガラ | 果実 | 完形 | 2 | — | — | — | — | |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | アサ | 果実 | 破片 | 5 | 1 | 3.8 | 3.2 | 1.4+ | 半分厚 |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | アサ | 果実 | 破片 | — | 2 | 3.7 | 3.3 | 1.4+ | 半分厚 |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | アサ | 果実 | 破片 | — | 3 | 3.7 | 3.1 | 1.2+ | 半分厚 |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | マメ科(アズキ類) | 種子 | 半分 | 1 | — | 7.1 | 4.3 | 2.0+ | 状態良好,半分厚,初生葉:長さ1.5mm |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | マメ科(ダイズ類?) | 種子 | 完形 | 1 | — | 12.2 | 6.9 | 4.2 | 状態不良,臍欠損,幼根突出:長さ4.2mm |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | マメ科(ダイズ類?) | 種子 | 破片 | 1 | — | 4.4+ | 5.5+ | 2.0+ | 状態不良 |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | モモルディカメロン型 | 種子 | 半分 | 1 | — | 8.6 | 4.1 | 0.5+ | |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | マクワ・シロウリ型 | 種子 | 完形 | 1 | — | 7.3 | 3.6 | 1.4 | |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | マクワ・シロウリ型 | 種子 | 半分 | 1 | — | 7.5 | 3.4 | 0.3+ | |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | マクワ・シロウリ型 | 種子 | 破片 | 1 | — | 7.3+ | 3.9 | 0.4+ | |
| 種子11 | 2区東 | SE12 | 4層 | 種実以外 | | | 10+ | — | — | — | — | 炭化材,虫類(卵胞など),礫など |
| 種子12-1 | 2区西 | SE499 | | オニグルミ | 核 | 破片 | 1 | — | 21.3+ | 18.4+ | 6.9+ | 隔壁欠損,年代測定試料として一部使用 |
| 種子12-1 | 2区西 | SE499 | | オニグルミ | 核 | 完形 | 1 | — | 30.9 | 20.3+ | 21.8 | 縫合線上2箇所にてヌズミ類食痕 |
| 種子12-1 | 2区西 | SE499 | | クリ | 果皮 | 破片 | 10 | — | 21.3 | — | — | 合計1個体未滿 |
| 種子12-1 | 2区西 | SE499 | | モモ | 核 | 完形 | 5 | 1 | 33.3 | 24.1 | 16.7 | |
| 種子12-1 | 2区西 | SE499 | | モモ | 核 | 完形 | — | 2 | 30.1 | 24.9 | 17.9 | |
| 種子12-1 | 2区西 | SE499 | | モモ | 核 | 完形 | — | 3 | 29.4 | 21.7 | 15.4 | |
| 種子12-1 | 2区西 | SE499 | | モモ | 核 | 完形 | — | 4 | 25.1 | 19.9 | 15.1 | |
| 種子12-1 | 2区西 | SE499 | | モモ | 核 | 完形 | — | 5 | 21.8 | 19.6 | 15.0 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | イネ | 胚乳 | 完形 | 1 | — | 5.3 | 2.3 | 2.0 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | イネ | 胚乳 | 完形未滿 | 2 | — | — | — | — | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | イネ | 胚乳 | 破片 | 3 | — | — | — | — | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | オオムギ | 胚乳 | 完形 | 6 | 1 | 4.6+ | 2.8 | 2.0 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | オオムギ | 胚乳 | 完形 | — | 2 | 5.9 | 3.1 | 2.2 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | オオムギ | 胚乳 | 完形 | — | 3 | 5.3+ | 2.4 | 2.3 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | オオムギ | 胚乳 | 完形 | — | 4 | 5.2 | 2.5 | 2.0 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | オオムギ | 胚乳 | 完形 | — | 5 | 5.1 | 3.0 | 2.7 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | オオムギ | 胚乳 | 完形 | — | 6 | 5.5+ | 3.3 | 2.2 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | オオムギ | 胚乳 | 完形未滿 | 1 | — | — | — | — | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | オオムギ・コムギ | 胚乳 | 完形未滿 | 10 | — | — | — | — | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | オオムギ・コムギ | 胚乳 | 破片 | 2 | — | — | — | — | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | コムギ | 穎・胚乳 | 完形 | 1 | — | 3.8 | 2.5 | 2.5 | 穎:腹面正中線上に残存 |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | コムギ | 胚乳 | 完形 | 6 | 1 | 3.8 | 2.0 | 2.0 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | コムギ | 胚乳 | 完形 | — | 2 | 2.9 | 2.6 | 2.2 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | コムギ | 胚乳 | 完形 | — | 3 | 3.5 | 2.7 | 2.0 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | コムギ | 胚乳 | 完形 | — | 4 | 4.0 | 2.0 | 1.8 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | コムギ | 胚乳 | 完形 | — | 5 | 4.0 | 2.3 | 2.1 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | コムギ | 胚乳 | 完形 | — | 6 | 3.3 | 2.6 | 2.4 | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | コムギ | 胚乳 | 完形未滿 | 16 | — | — | — | — | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | コムギ | 胚乳 | 破片 | 4 | — | — | — | — | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | ソバ | 果実 | 完形 | 2 | 1 | 3.5 | 3.1 | — | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | ソバ | 果実 | 完形 | — | 2 | 2.7 | 2.6 | — | |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | マメ科(ダイズ類?) | 種子 | 完形未滿 | 1 | — | 6.7 | 4.6 | 3.2+ | 臍欠損,横軸方向に焼き彫れている |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | マメ科(ダイズ類?) | 種子 | 破片 | 5 | — | — | — | — | 状態不良 |
| 種子12-2 | 2区西 | SE499 | | 種実以外 | | | 38+ | — | — | — | — | 岩片,炭化材,木材片など |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アカメガシワ | 種子 | 完形 | 1 | — | — | — | — | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アカメガシワ | 種子 | 破片 | 1 | — | — | — | — | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ハギ属 | 果実 | 完形 | 6 | — | — | — | — | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | オモダカ科 | 種子 | 完形 | 1 | — | — | — | — | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ツククサ | 種子 | 完形 | 1 | — | — | — | — | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | イネ | 胚乳 | 完形 | 5 | 1 | 4.4 | 2.7 | 1.9 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | イネ | 胚乳 | 完形 | — | 2 | 4.6 | 2.9 | 2.2 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | イネ | 胚乳 | 完形 | — | 3 | 4.7+ | 2.9 | 2.1 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | イネ | 胚乳 | 完形 | — | 4 | 5.6 | 2.5+ | 2.9 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | イネ | 胚乳 | 完形 | — | 5 | 3.5+ | 1.9 | 1.8+ | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | イネ | 胚乳 | 破片 | 6 | — | — | — | — | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | オオムギ | 胚乳 | 完形 | 1 | — | 4.0 | 2.1+ | 1.8+ | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | コムギ | 胚乳 | 完形 | 3 | 1 | 4.2 | 2.2 | 2.1 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | コムギ | 胚乳 | 完形 | — | 2 | 3.2 | 2.5 | 1.9+ | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | コムギ | 胚乳 | 完形 | — | 3 | 2.8 | 2.1 | 2.0+ | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ウキヤガラ | 果実 | 完形 | 20 | — | — | — | — | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ホタルイ属(フトイ類) | 果実 | 完形 | 4 | — | — | — | — | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | 19 | 1 | 4.4 | 3.7 | 3.1 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 2 | 3.8 | 3.2 | 3.0 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 3 | 3.9 | 3.4 | 3.1 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 4 | 3.9 | 3.5 | 3.1 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 5 | 4.1 | 3.5 | 3.0 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 6 | 4.2 | 3.8 | 2.2 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 7 | 4.3 | 3.4+ | 3.2 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 8 | 4.0 | 3.5 | 3.0 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 9 | 4.3 | 3.7 | 3.2 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 10 | 3.9+ | 3.1 | 3.0 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 11 | 4.0 | 3.4 | 3.1 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 12 | 3.9 | 3.6 | 3.0 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 13 | 4.3 | 3.6 | 3.1 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 14 | 3.6 | 3.1 | 2.8 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 15 | 3.8 | 3.2 | 2.9 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | — | 16 | 4.5 | 3.5 | 2.6+ | |

第5節 沖ノ羽遺跡における種実同定

第20表 第24次調査における種実同定結果(2)

| 試料番号 | 区 | 遺構 | 層位 | 分類群 | 部位 | 状態 | 個数 | 枝番 | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 備考 |
|--------|-----|-------|----|--------------|------|----|------|----|------------|-----------|------------|----------------------------|
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 破片 | 68 | - | - | - | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | イヌタデ類 | 果実 | 完形 | 17 | - | - | - | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ソバ | 果実 | 完形 | 6 | 1 | 3.6 | 3.7 | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ソバ | 果実 | 完形 | - | 2 | 2.8 | 3.5 | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ソバ | 果実 | 完形 | - | 3 | 2.8 | 2.7 | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ソバ | 果実 | 完形 | - | 4 | 3.7 | 2.9 | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ソバ | 果実 | 完形 | - | 5 | 2.9 | 1.9 | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ソバ | 果実 | 完形 | - | 6 | 2.6 | 1.7 | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ソバ | 果皮 | 破片 | 3 | - | - | - | - | 1/3片未満 |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ナデシコ科(ハコベ類) | 種子 | 完形 | 1 | - | - | - | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アカザ属 | 種子 | 完形 | 6 | - | - | - | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | アカザ属 | 種子 | 破片 | 1 | - | - | - | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ヒユ属 | 種子 | 完形 | 1 | - | - | - | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | マメ科(アズキ類) | 種子 | 完形 | 1 | - | 5.2 | 3.6 | 3.1 | 臍欠損 |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | 1 | - | 14.0 | 11.5 | 2.8 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | モモルディカメロン型 | 種子 | 完形 | 1 | - | 8.7 | 3.7 | 1.7 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | セリ科 | 果実 | 完形 | 1 | - | - | - | - | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | 11 | 1 | 2.0 | 1.8 | 1.5 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 2 | 2.2 | 1.8 | 1.4 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 3 | 2.2 | 1.9 | 1.6 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 4 | 2.2 | 1.9 | 1.5 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 5 | 2.0 | 1.7 | 1.6 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 6 | 1.6 | 1.5 | 1.3 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 7 | 2.1 | 1.5 | 1.5 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 8 | 1.8 | 1.6 | 1.4 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 9 | 2.0 | 1.7 | 1.5 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 10 | 1.9 | 1.7 | 1.4 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 11 | 1.9+ | 1.8 | 1.5+ | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 破片 | 2 | 1 | 1.3+ | 1.5 | 1.4 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 破片 | - | 2 | 1.7+ | - | - | 臍残存 |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ナス | 種子 | 完形 | 2 | 1 | 2.8 | 3.6 | 0.6 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | ナス | 種子 | 完形 | - | 2 | 2.2 | 2.7 | 0.4 | |
| 種子13-1 | 2区西 | SE230 | | 種実以外 | | | 220+ | - | - | - | - | 芽,炭化材,植物片,昆虫,ミミズ類の卵胞?土粒 |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | モモ | 核 | 破片 | 1 | - | 20.6+ | 14.8+ | 6.9+ | 年代測定試料として一部使用 |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | モモ | 核 | 完形 | 1 | - | 25.8 | 18.5 | 14.9 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | オニグルミ | 核 | 破片 | 1 | - | 34.6 | 25.8 | 11.7+ | 頂部わずかに欠損 |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | イネ | 胚乳 | 完形 | 4 | 1 | 4.6 | 3.7 | 2.6 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 2 | 3.4+ | 2.2 | 1.4 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 3 | 4.5 | 2.5 | 1.7+ | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 4 | 3.7+ | 2.2 | 1.8 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | オオムギ | 胚乳 | 完形 | 1 | - | 5.1 | 2.8 | 1.8 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | ウキヤガラ | 果実 | 完形 | 3 | - | - | - | - | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | ホタルイ属(ホタルイ類) | 果実 | 完形 | 1 | - | - | - | - | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | 15 | 1 | 4.4 | 3.9 | 3.1 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 2 | 4.1 | 3.0+ | 3.1 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 3 | 4.4 | 3.6+ | 3.2 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 4 | 4.3 | 3.7 | 3.2 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 5 | 4.3 | 3.7 | 3.3 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 6 | 4.2 | 3.1 | 3.0 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 7 | 3.9+ | 3.6 | 2.6+ | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 8 | 4.4 | 3.7+ | 3.0 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 9 | 3.9 | 3.4 | 2.9 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 10 | 4.1 | 3.5 | 3.1 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 11 | 4.1 | 3.1+ | 3.1 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 12 | 4.1 | 2.8+ | 2.9 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 13 | 4.3 | 2.9+ | 3.2 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 14 | 4.2 | 3.2 | 2.8 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 完形 | - | 15 | 3.5+ | 7.3+ | 2.9 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | アサ | 果実 | 破片 | 31 | - | - | - | - | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | イヌタデ類 | 果実 | 完形 | 1 | - | - | - | - | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | ソバ | 果実 | 完形 | 2 | 1 | 3.6 | 3.3 | - | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | ソバ | 果実 | 完形 | - | 2 | 3.1 | 2.2 | - | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | マメ科(ダイズ類) | 種子 | 完形 | 1 | - | 6.8 | 4.3 | 3.1 | 臍:残存長1.3mm,幅0.7mm,幼根長2.3mm |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | 3 | 1 | 2.1 | 1.8 | 1.4 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 2 | 1.7 | 1.3+ | 1.2+ | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | - | 3 | 1.7 | 1.5 | 1.3 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | シソ属 | 果実 | 完形 | 1 | - | 1.4 | 1.3 | 1.2 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | ナス | 種子 | 完形 | 3 | 1 | 3.1 | 3.9 | 0.8 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | ナス | 種子 | 完形 | - | 2 | 3.1 | 3.6 | 0.8 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | ナス | 種子 | 完形 | - | 3 | 2.7 | 3.5 | 0.4 | |
| 種子13-2 | 2区西 | SE230 | | 種実以外 | | | 30+ | - | - | - | - | 樹皮,炭化材,植物片,ミミズ類の卵胞?土粒 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | エゴノキ | 種子 | 破片 | 1 | - | 5.4+ | - | - | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 穎・胚乳 | 完形 | 2 | 1 | 6.2 | 3.2 | 2.7 | 状態良好,果実序柄残存,焼き膨れている |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 穎・胚乳 | 完形 | - | 2 | 6.0 | 3.5+ | 2.5 | 状態良好,果実序柄残存 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | 53 | 1 | 4.7 | 3.1 | 2.2 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 2 | 4.9 | 2.4 | 2.1 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 3 | 4.9 | 2.7 | 1.9 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 4 | 4.5 | 2.2 | 1.8 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 5 | 5.0 | 2.7 | 2.3 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 6 | 4.9 | 2.6 | 2.1 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 7 | 4.5 | 2.2 | 1.9 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 8 | 5.1 | 2.9 | 1.7 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 9 | 5.4 | 2.7 | 2.0 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 10 | 4.7 | 2.4 | 1.8 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 11 | 4.7 | 2.4 | 1.8 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 12 | 4.6 | 2.3 | 2.1 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 13 | 4.3 | 2.5 | 2.4 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 14 | 5.1 | 2.4 | 2.1 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 15 | 4.9 | 2.4 | 1.8 | 状態良好 |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | - | 16 | 4.5 | 2.5 | 1.6 | 状態良好 |

第 21 表 第 24 次調査における種実同定結果 (3)

| 試料番号 | 区 | 遺構 | 層位 | 分類群 | 部位 | 状態 | 個数 | 枝番 | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 備考 |
|--------|-----|-------|----|-------------|------|-------|-----|------|---------|--------|---------------------------|----|
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 17 | 5.0 | 2.8 | 1.5+ | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 18 | 4.9 | 2.9 | 1.8 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 19 | 4.8 | 2.7 | 1.9 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 20 | 4.6 | 2.6 | 1.2 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 21 | 4.0 | 2.3 | 1.4 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 22 | 4.7 | 3.2 | 3.1 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 23 | 4.8 | 2.1 | 1.8 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 24 | 4.6 | 2.6 | 2.3 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 25 | 5.0 | 2.8 | 2.1 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 26 | 5.1 | 2.6 | 1.9 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 27 | 5.1 | 2.7 | 1.9 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 28 | 4.8 | 2.5 | 1.8 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 29 | 4.6 | 2.8 | 1.6 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 30 | 4.0 | 2.2 | 1.7 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 31 | 4.7 | 2.4 | 1.6 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 32 | 4.9 | 2.6 | 1.9 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 33 | 4.6 | 2.5 | 1.7 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 34 | 4.7 | 2.4 | 1.9 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 35 | 4.9 | 2.5 | 1.9 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 36 | 4.5 | 2.2 | 1.9 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 37 | 4.8 | 1.9 | 1.9 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 38 | 4.8 | 2.9 | 2.1 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 39 | 4.1 | 2.3 | 1.7 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 40 | 4.9+ | 2.5 | 2.1 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 41 | 4.7 | 2.3 | 2.1 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 42 | 4.8 | 2.5 | 1.8 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 43 | 4.6 | 2.2 | 2.0 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 44 | 4.5 | 2.6 | 1.5 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 45 | 4.5 | 2.2 | 1.8 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 46 | 5.0 | 2.4 | 1.8 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 47 | 3.7 | 2.0 | 1.1 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 48 | 5.2 | 2.4 | 2.1 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 49 | 4.2 | 2.3 | 1.9 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 50 | 4.0 | 2.1 | 1.3 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 51 | 4.2 | 1.7 | 1.2 | 細身小型 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 52 | 4.1 | 1.8 | 1.3 | 細身小型 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 53 | 4.0 | 1.9 | 1.4 | 細身小型 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形未満 | 51 | - | - | - | 年代測定試料として2個使用 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 破片 炭化 | 10 | - | - | - | | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | オオムギ | 胚乳 | 完形 炭化 | 1 | 5.2 | 2.5 | 2.0 | 状態良好 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | ヒエ近似種 | 穎・胚乳 | 完形 | 1 | 2.6 | 1.8 | 1.4 | 胚長2.5mm, 幅1.0mm | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | ウキヤガラ | 果実 | 完形 | 22 | - | - | - | | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | ヤナギタデ近似種 | 果実 | 完形 | 2 | - | - | - | | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 完形 炭化 | 9 | 4.0 | 3.0 | 3.1 | 状態良好, 胚長2.0mm, 幅0.9mm | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 完形 炭化 | 2 | 4.2 | 2.5 | 2.5 | 状態良好, 胚残存長0.9mm, 幅0.7mm | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 完形 炭化 | 3 | 4.5 | 3.0 | 2.9 | 状態良好, 胚欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 完形 炭化 | 4 | 4.1 | 2.7 | 2.6 | 状態良好, 胚欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 完形 炭化 | 5 | 4.2 | 3.0 | 2.9 | 状態良好, 胚欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 完形 炭化 | 6 | 4.0 | 2.8 | 2.8 | 状態良好, 胚欠損, 幼根長1.2mm | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 完形 炭化 | 7 | 3.9 | 2.7 | 2.6 | 状態良好, 胚欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 完形 炭化 | 8 | 4.0 | 2.9 | 2.8 | 状態良好, 胚欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 完形 炭化 | 9 | 3.7 | 2.4 | 2.2 | 状態良好, 胚欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 半分 炭化 | 8 | 3.9 | 2.9 | 1.7+ | 状態良好, 復元厚3.4mm, 初生葉長1.5mm | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 半分 炭化 | 2 | 3.9 | 2.9 | 1.5+ | 状態良好, 復元厚3.0mm, 初生葉長1.4mm | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 半分 炭化 | 3 | 4.1 | 2.7 | 1.4+ | 状態良好, 復元厚2.9mm, 初生葉長1.3mm | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 半分 炭化 | 4 | 4.4 | 2.1 | 1.3+ | 状態良好, 復元厚2.5mm, 初生葉長1.7mm | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 半分 炭化 | 5 | 3.9 | 2.8 | 1.5+ | 状態良好, 復元厚3.0mm, 初生葉欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 半分 炭化 | 6 | 4.1 | 2.7 | 1.4+ | 状態良好, 復元厚2.8mm, 初生葉欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 半分 炭化 | 7 | 3.7 | 2.8 | 1.5+ | 状態良好, 復元厚2.9mm, 初生葉欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 種子 | 半分 炭化 | 8 | 4.0 | 2.2 | 1.0+ | 状態良好, 復元厚2.0mm, 初生葉欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (アズキ類) | 破片 | 炭化 | 2 | - | - | - | 状態良好, 復元厚2.1mm, 初生葉欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (ダイズ類?) | 種子 | 完形 炭化 | 2 | 8.0 | 4.8 | 3.4 | 状態不良, 胚欠損 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (ダイズ類?) | 種子 | 完形 炭化 | 2 | 5.2 | 3.9 | 3.2 | 胚欠損, 幼根長2.0mm | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (ダイズ類?) | 種子 | 完形未満 | 1 | 3.3 | 2.4 | 2.0 | 胚欠損, 幼根長1.4mm | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | マメ科 (他) | 種子 | 完形 炭化 | 1 | 3.1 | 2.6 | 1.7 | 胚径0.8mm, 凹む, 野生種の可能性 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | シソ属 (エゴマ) | 果実 | 完形 | 1 | 2.2 | 2.0 | 1.8 | | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | 双子葉類 | | 破片 炭化 | 2 | 2.8 | 2.4 | 1.2+ | 半分, 基部に径0.5mmの凹部 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | 双子葉類 | | 破片 炭化 | 2 | 2.4 | 2.4 | 1.4 | 半分, 基部に径0.5mmの凹部 | |
| 種子14-1 | 2区西 | SE400 | | 種実以外 | | | 13+ | - | - | - | 炭化材, 植物片, 土粒など | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | オニグルミ | 核 | 破片 炭化 | 1 | - | 6.1+ | - | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | アカメガシワ | 種子 | 完形 | 1 | - | - | - | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | アカメガシワ | 種子 | 破片 | 2 | - | - | - | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | イネ | 穎・胚乳 | 破片 炭化 | 1 | - | - | - | 基部 | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 6 | 5.4 | 2.7 | 2.1 | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 2 | 4.9 | 2.6 | 2.3 | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 3 | 4.7 | 2.7 | 2.0 | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 4 | 3.8 | 2.3 | 2.2 | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 5 | 4.5 | 2.4 | 1.9 | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 炭化 | 6 | 5.0 | 2.6 | 2.3 | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形未満 | 11 | - | - | - | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 破片 炭化 | 5 | - | - | - | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | オオムギ | 胚乳 | 完形 炭化 | 1 | 6.1 | 2.5 | 2.1 | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | ヒエ近似種 | 穎・胚乳 | 完形 炭化 | 1 | 2.4 | 2.0 | 1.3 | 胚: 幅1.1mm | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | ヒエ近似種 | 胚乳 | 完形 | 1 | 2.7 | 1.8 | 1.3 | 胚: 幅1.3mm | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | ヒエ近似種 | 果実 | 完形 | 1 | 3.2 | 1.8 | 1.3 | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | アサ | 果実 | 破片 | 3 | - | - | - | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | ギンギン属 | 果実 | 完形 | 4 | - | - | - | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | ギンギン属 | 果実 | 破片 | 3 | - | - | - | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | ヤナギタデ近似種 | 果実 | 完形 | 1 | - | - | - | | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | アカザ属 | 種子 | 完形 | 1 | - | - | - | | |

第22表 第24次調査における種実同定結果(4)

| 試料番号 | 区 | 遺構 | 層位 | 分類群 | 部位 | 状態 | 個数 | 枝番 | 長さ(mm) | 幅(mm) | 厚さ(mm) | 備考 | |
|--------|-----|-------|----|------------|------|------|------|------|--------|-------|--------|-------|-----------------------------|
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | マメ科(アズキ類) | 種子 | 完形未満 | 炭化 | 1 | — | 3.6+ | 3.6 | 3.9 | 臍欠損, 復元長6~7mm |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | マメ科(ダイズ類?) | 種子 | 完形未満 | 炭化 | 1 | — | 4.4 | 3.2 | 1.8 | 臍欠損, 幼根長1.9mm |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | マメ科(クサネム?) | 果実 | 破片 | | 1 | — | 7.5+ | 4.3+ | 0.5 | 臍部 |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | キカラスウリ | 種子 | 完形 | | 2 | — | 11.0 | 8.9 | 2.2 | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | キカラスウリ | 種子 | 破片 | | 11 | — | — | — | — | 1個基部 |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | マクワ・シロウリ型 | 種子 | 完形未満 | | 2 | 1 | 7.6 | 3.7 | 0.9+ | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | マクワ・シロウリ型 | 種子 | 完形未満 | | — | 2 | 5.5+ | 3.3 | 0.9+ | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | メロン類 | 種子 | 破片 | | 1 | — | 2.0+ | 2.6+ | 0.7+ | 臍部 |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | 9 | 1 | 2.0 | 1.7 | 1.4 | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 2 | 2.0 | 1.8 | 1.5 | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 3 | 2.0 | 1.7 | 1.4 | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 4 | 2.2 | 1.8 | 1.6 | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 5 | 2.5 | 2.2 | 1.9 | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 6 | 2.0 | 1.7 | 1.4 | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 7 | 2.3 | 1.8 | 1.3+ | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 8 | 2.2 | 2.0 | 1.6 | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 9 | 2.2+ | 2.1 | 1.3+ | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 破片 | | 3 | 1 | 2.2+ | — | — | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 破片 | | — | 2 | 1.9+ | 1.8+ | — | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 破片 | | — | 3 | 2.0+ | 1.2+ | 1.1+ | |
| 種子14-2 | 2区西 | SE400 | | 種実以外 | | | | 100+ | — | — | — | — | 樹皮, 木材片, 炭化材, 植物片, 昆虫, 土粒など |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | 炭化 | 5 | 1 | 4.8 | 2.5 | 1.8 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | 炭化 | — | 2 | 4.7 | 2.4 | 1.9 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | 炭化 | — | 3 | 4.1 | 1.7 | 1.5 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | 炭化 | — | 4 | 3.7 | 2.1 | 1.5 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形 | 炭化 | — | 5 | 4.5 | 2.1 | 2.0 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 完形未満 | 炭化 | 19 | — | — | — | — | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | イネ | 胚乳 | 破片 | 炭化 | 26 | — | — | — | — | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | コムギ | 胚乳 | 完形 | 炭化 | 1 | — | 3.6 | 2.5+ | 2.2 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | ヒエ近似種 | 穎・胚乳 | 完形 | 炭化 | 3 | 1 | 2.4 | 1.7 | 1.1 | 胚:長さ1.8mm, 幅0.9mm |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | ヒエ近似種 | 穎・胚乳 | 完形 | 炭化 | — | 2 | 2.3 | 1.2 | 1.2 | 胚:長さ1.9mm, 幅0.9mm |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | ヒエ近似種 | 穎・胚乳 | 完形 | 炭化 | — | 3 | 2.2 | 1.9 | 1.4 | 胚:長さ1.9mm, 幅0.9mm |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | ウキヤガラ | 果実 | 完形 | | 8 | — | — | — | — | 胚:長さ1.6mm, 幅0.6mm |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | イヌタバ類 | 果実 | 完形 | | 1 | — | — | — | — | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | ボントクタデ近似種 | 果実 | 完形 | | 1 | — | — | — | — | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | ヤナギタデ近似種 | 果実 | 完形 | | 2 | — | — | — | — | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | ヤナギタデ近似種 | 果実 | 破片 | | 1 | — | — | — | — | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | アカザ属 | 種子 | 破片 | | 1 | — | — | — | — | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | マメ科(アズキ類) | 種子 | 完形未満 | 炭化 | 2 | — | 3.5+ | 2.7 | 3.1 | 臍欠損, 復元長4~4.5mm |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | マメ科(アズキ類) | 種子 | 破片 | 炭化 | 3 | — | — | — | — | 初生葉欠損 |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | 5 | 1 | 2.3 | 1.9 | 1.7 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 2 | 2.1 | 1.7 | 1.5 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 3 | 2.0 | 1.7 | 1.6 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 4 | 2.0 | 1.7 | 1.6 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | シソ属(エゴマ) | 果実 | 完形 | | — | 5 | 1.2+ | 1.8 | 1.1+ | 基部欠損 |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | 双子葉類 | | 完形 | 炭化 | 2 | 1 | 2.5 | 2.4 | 2.6 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | 双子葉類 | | 完形 | 炭化 | — | 2 | 2.6 | 2.2 | 2.4 | |
| 種子14-3 | 2区西 | SE400 | | 種実以外 | | | | 25+ | — | — | — | — | 炭化材, 植物片, 岩片, 雲母片, 土粒など |
| 種子15 | 2区東 | SE65 | | オニグルミ | 核 | 破片 | | 1 | — | 23.4 | 14.4+ | 17.4+ | 年代測定試料として一部使用 |
| 種子15 | 2区東 | SE65 | | オニグルミ | 核 | 半分 | 炭化 | 1 | — | 32.9 | 25.9 | 12.1 | |
| 種子15 | 2区東 | SE65 | | オニグルミ | 核 | 破片 | | 1 | — | 10.3+ | — | — | |
| 種子15 | 2区東 | SE65 | | モモ | 核 | 完形 | 表面炭化 | 1 | — | 30.6 | 21.4 | 17.0 | |
| 種子15 | 2区東 | SE65 | | モモ | 核 | 半分 | 表面炭化 | 1 | — | 25.7 | 18.2 | 7.4+ | 種子の凹み:長さ15.5mm, 幅10.4mm |
| 種子15 | 2区東 | SE65 | | モモ | 核 | 破片 | | 1 | — | 24.6+ | 18.1 | 8.0+ | 種子の凹み:長さ14.9mm, 幅11.1mm |
| 種子15 | 2区東 | SE65 | | モモ | 核 | 破片 | | 1 | — | 15.4+ | — | — | |

注) 計測はデジタルノギスを使用。欠損部は残存値に「+」で示す。

胚乳を、オオムギーコムギとしている。

アサ (*Cannabis sativa* L.) クワ科アサ属

果実は灰褐色、やや扁平な広卵形で、一側面は鈍稜のある狭卵形、他方は稜をなす。2区西 SE230 より出土した保存状態が良好な完形果実 20 個の計測値は、長さは最小 3.6 ~ 最大 4.4 (平均 4.1 ± 標準偏差 0.2) mm、幅は 3.1 ~ 3.9 (平均 3.5 ± 0.2) mm、厚さは 2.2 ~ 3.3 (平均 3.0 ± 0.2) mm であった。稜に沿って割れた半分以下の破片もみられる。両端は切形で、頂部に径 0.6 ~ 0.8mm 程度の楕円形の突起がある。果皮はやや厚く、断面は柵状。表面は粗面で葉脈状網目模様がある (第 45 図-27)。

マメ科 (Leguminosae)

種子は炭化しており、黒色を呈す。栽培種を含む、アズキ類とダイズ類に似る 2 系統が確認された。

アズキ類に似る種子は、やや扁平な直方体状楕円体を呈す。2区西 SE400 より出土した状態が良好な完形 9 個、半分 8 個の計測値は、長さは最小 3.7 ~ 最大 4.5 (平均 4.0 ± 標準偏差 0.2) mm、幅は 2.1 ~ 3.0 (平均 2.7 ± 0.3) mm、厚さ (半分厚は 2 倍に復元) は 2.0 ~ 3.4 (平均 2.8 ± 0.3) mm であった。腹面の子葉合わせ目上にある臍は、長さ 2.0mm、幅 0.9mm の長楕円形で、長軸正中線上に走る臍溝は「厚膜タイプ」〔小畑 2008〕である (第 45 図-38)。臍を欠損する個体にも、「厚膜タイプ」に由来する臍下の断面 V 字の溝が底面まで延びる「アズキ型種子」



- 1. オニグルミ 核 (表面炭化, 頂部欠損) (2区西 SE230)
- 2. オニグルミ 核 (表面炭化, ネズミ類食痕) (2区西 SE499)
- 3. クリ 果皮 (2区西 SE499)
- 4. ウメ 核 (2区東 SE12 4層)
- 5. モモ 核 (2区西 SE499)
- 6. モモ 核 (2区西 SE499)
- 7. モモ 核 (表面炭化) (2区東 SE65)
- 8. モモ 核 (表面炭化) (2区西 SE230)
- 9. モモ 核 (2区東 SE12 4層)
- 10. モモ 核 (2区東 SE12 4層)
- 11. アカマガシワ 種子 (2区西 SE400)
- 12. ハギ属 果実 (2区西 SE230)
- 13. エゴノキ 種子 (2区西 SE400)
- 14. オモダカ科 種子 (2区西 SE230)
- 15. ツククサ 種子 (2区西 SE230)
- 16. イネ 類・胚乳 (2区西 SE400)
- 17. イネ 胚乳 (2区西 SE400)
- 18. イネ 胚乳 (細身小型) (2区西 SE400)
- 19. オオムギ 胚乳 (2区西 SE400)
- 20. コムギ 類・胚乳 (2区西 SE499)

- 21. ヒエ近似種 類・胚乳 (2区西 SE400)
- 22. ヒエ近似種 胚乳 (非炭化) (2区西 SE400)
- 23. ヒエ近似種 果実 (非炭化) (2区西 SE400)
- 24. ウキヤガラ 果実 (2区西 SE230)
- 25. ホタルイ属 (フトイ類) 果実 (2区西 SE230)
- 26. ホタルイ属 (ホタルイ類) 果実 (2区西 SE230)
- 27. アサ 果実 (2区西 SE230)
- 28. ソバ 果実 (2区西 SE230)
- 29. ギンギン属 果実 (2区西 SE400)
- 30. イヌタデ類 果実 (2区西 SE230)
- 31. ヤナギタデ近似種 果実 (2区西 SE400)
- 32. ポントクタデ近似種 果実 (2区西 SE400)
- 33. ナデシコ科 (ハコベ類) 種子 (2区西 SE230)
- 34. アカザ属 種子 (2区西 SE230)

- 35. ヒユ属 種子 (2区西 SE230)
- 36. マメ科 種子 (2区西 SE400)
- 37. マメ科 (ダイズ類) 種子 (2区西 SE230)
- 38. マメ科 (アズキ類) 種子 (2区西 SE400)
- 39. マメ科 (アズキ類) 種子 (半断面初生葉残存) (2区西 SE400)
- 40. マメ科 (クサネム?) 果実 (2区西 SE400)
- 41. キカラスウリ 種子 (2区西 SE400)
- 42. モモルディカメロン型 種子 (2区西 SE230)
- 43. マクワ・シロウリ型 種子 (2区東 SE12 4層)
- 44. セリ科 果実 (2区西 SE230)
- 45. シソ属 (エゴマ) 果実 (最大) (2区西 SE400)
- 46. シソ属 果実 (最小) (2区西 SE230)
- 47. ナス 種子 (2区西 SE230)

5mm 1mm 1mm 1mm 1mm 2mm 2mm 1mm 1mm
 (1-10) (11, 13) (12) (16-20, 27) (14, 15, 21-26) (41) (42, 43) (37, 40) (28-36, 38, 39, 44-47)

第 45 図 第 24 次調査の種実遺体

[小畑 2008] の特徴がみられる。幼根はやや突出し、珠孔と種瘤が臍に接する個体もみられる。子葉合わせ目に沿って割れた面はやや平滑で、胚軸跡の溝が確認される。北大基準 [吉崎 1992] の「アズキグループ (幼根が臍の終わり程から急に立ち上がり、胚珠中央に向けて伸びる)」に該当する初生葉やその痕跡も確認される。種皮は薄く、表面はやや平滑～粗面で、焼き膨れのため主に短軸方向に裂開している。なお、2区東 SE12 より出土した半分1個は、長さ 7.1mm、幅 4.3mm、半分厚 2.0mm とやや大型であるため、別系統の可能性もある。

ダイズ類に似る種子は、長さ 3.3～12.2mm、幅 2.4～6.9mm、厚さ 1.8～4.2mm とばらつきがあり、別系統を含む可能性もあるが、いずれもアズキ類よりも偏平な長楕円形で幼根が大きく突出し、状態が悪く形状が崩れた個体が多い。臍は、残存長 1.3mm、幅 0.7mm の楕円形で、「露出タイプ」[小畑 2008] である (第 45 図 -37)。

シソ属 (*Perilla*) シソ科

果実は暗灰褐色、倒広卵形で基部に大きな着点部があり、舌状に突出する。果皮表面には、浅く大きく不規則な網目模様がある。2区西 SE230、2区西 SE400 より出土した、保存状態が良好な完形果実 25 個の計測値は、長さ 1.4～2.5(平均 2.0±0.2)mm、幅 1.3～2.2(平均 1.7±0.2)mm、厚さ 1.2～1.9(平均 1.5±0.2)mm であった。

シソ属には、栽培種で軟実のエゴマと、硬実のシソのほかに、硬実の雑草型エゴマがあり、雑草型エゴマの果実の大きさはエゴマとシソの中間型を示す [新田 2001]。笠原 [笠原 1982] によれば、長さ 2.0～2.8mm、幅 1.8～2.5mm をエゴマ、長さ 1.4～1.5mm、幅 1.1～1.2mm をシソとしている。出土果実は、大きさはエゴマに近く、着点が大きく明瞭で (第 45 図 -45)、果皮が柔らかい個体が多いことから、エゴマである可能性が高い。なお、やや小型で着点が不明瞭な 1 個をシソ属 (第 45 図 -46) としているが、エゴマに由来する可能性も充分考えられる。

5) 考 察

a 第 22 次調査 1 区各遺構

各遺構より出土した種実遺体には、栽培種のももと草本のキカラスウリが確認された。ももとキカラスウリは、第 24 次調査の出土種実からも確認されている。

今回分析対象とした遺構より確認されたももは、栽培のために持ち込まれた渡来種とされ、観賞用の他、果実や種子が食用、薬用、祭祀等に利用される。周辺で栽培されていたか、近辺より持ち込まれたかは不明であるが、当時利用された植物質食料と示唆され、遺構内への投棄または埋納などの人為的行為に由来する可能性がある。

1区 SE1536 より確認されたキカラスウリは、やぶなどに生育するつる性多年草である。当時の調査区周辺域に生育していたと考えられる。キカラスウリは、種子や塊茎が薬用に、果実が食用に利用可能である。ただし、出土種子には、人間による直接の利用の痕跡は確認されなかった。

b 第 24 次調査 2 区東・西各遺構

5 基の遺構から出土した種実遺体には、栽培種とその可能性を含む分類群が多く確認された。

栽培種は、果樹のウメ、もも、穀類のイネ、オオムギ、コムギ、ソバ、食用や油料、繊維等に利用されるアサ、食用や油料等に利用されるエゴマ (シソ属)、果菜類のナス、モモルディカメロン型とマクワ・シロウリ型を含むメロン類が確認され、2区西 SE499 はムギ、2区西 SE230 はアサ、2区西 SE400 は短粒で極小～小型のイネが多い傾向がそれぞれ確認された。その他に、栽培種の可能性が高いヒエ (近似種) や、アズキ類やダイズ類の特徴に似る 2 系統のマメ科が確認された。

これらの栽培種 (可能性を含む) は、沖ノ羽遺跡周辺で栽培されていたか、近辺より持ち込まれたかは不明であるが、当時利用された植物質食料等と示唆され、遺構内への残渣等の投棄など、生活行為に由来する可能性がある。また、イネ、オオムギ、コムギ、マメ科と、一部のもも、ヒエ近似種、ソバは炭化しており、何らかの原因により火熱を被ったことが推定される。イネ、コムギ、ヒエ近似種の一部には、表面に穎 (籾) が残る状態も確認され、2区西 SE400 より多量出土したイネ (炭化米) には「玄米」の状態も確認されたことから、籾がついた生の段階に食用にされないまま火熱を被ったと推定される。

栽培種とその可能性を除いた分類群として、木本では、河畔林要素のオニグルミ、エゴノキや、二次林要素の

クリ、アカメガシワ、ハギ属などの落葉広葉樹が確認された。これらの種類は、当時の集水域の森林植生を反映していると考えられる。草本は、抽水～湿生植物のオモダカ科、ウキヤガラ、フトイ類、ホタルイ類、湿生植物のヤナギタデ近似種、ポントクタデ近似種、クサネム？、セリ科や、ツユクサ、ギシギシ属、イヌタデ類、ハコベ類、アカザ属、ヒユ属、マメ科、キカラスウリなどの中生植物が確認された。これらのことから、当時の遺跡周辺域には明るく開けた草地環境が存在し、また抽水植物が生育可能な水深 1m 以内の水湿地が存在したと推定される。

周辺域に自生していたと考えられる分類群のうち、オニグルミとクリは、子葉が生食可能で栄養価も高く、長期保存可能で収量も多い有用植物であることから、古くから食用に利用され、全国的に遺跡からの出土例も多い。これらの堅果類は、周辺域の森林から遺跡内に持ち込まれ、植物質食料として利用されたことが示唆される。出土したクリは食用にならない果皮片で、オニグルミの核には焼痕および打撃痕等が確認されることから、子葉を取り出した後に廃棄された食料残滓と考えられる。なお焼痕は、硬くて割りにくいクルミの核を割れやすくするために、火を利用したことを示唆する可能性もある。

第 6 節 沖ノ羽遺跡における樹種同定

A 第 22 次調査 木製品

(株) 火山灰考古学研究所

1) はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質の特徴から樹種の同定が可能である。木材は花粉などの微化石と比較して移動性が小さいことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

2) 試料

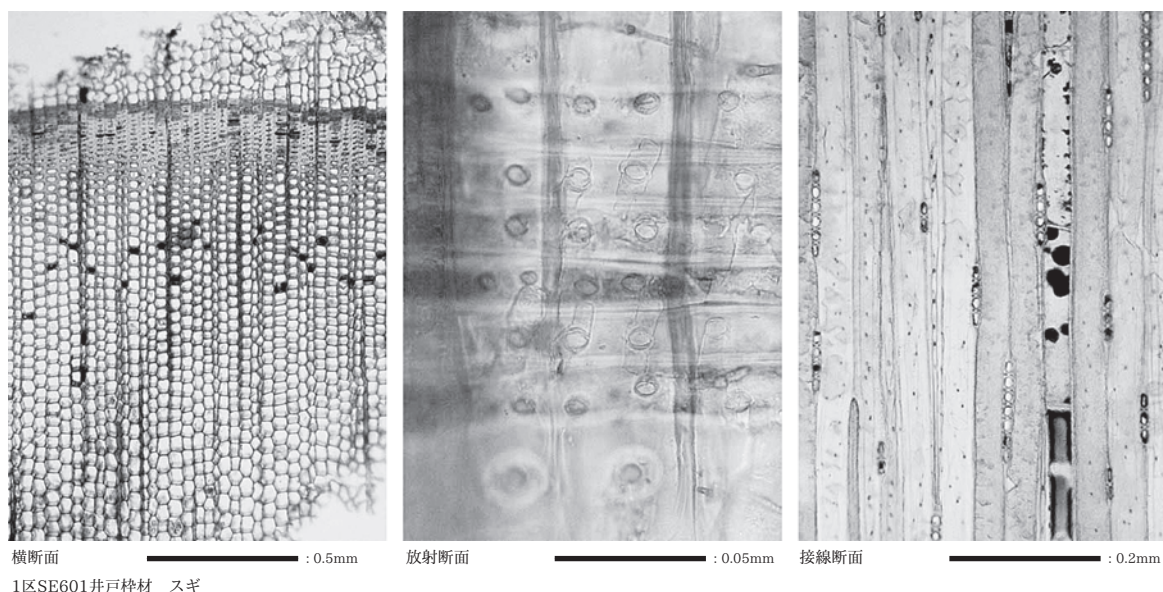
試料は、第 22 次調査 1 区 SE601 (井戸) から出土した井戸枳材 1 点である。

3) 方法

カミソリを用いて新鮮な横断面 (木口と同義)、放射断面 (柾目)、接線断面 (板目) の基本三断面の切片を作製し、生物顕微鏡によって 40 ~ 1000 倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

4) 結果

分析の結果、井戸枳材はスギと同定された。以下に同定根拠となった特徴を記し、各断面の顕微鏡写真を示す。



第 46 図 第 22 次調査の木材

スギ *Cryptomeria japonica* D. Don スギ科

仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞から構成される針葉樹材である。横断面：早材から晩材への移行はやや急で、晩材部の幅が比較的広い。樹脂細胞が見られる。放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は典型的なスギ型で1分野に2個存在するものがほとんどである。接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型で1～15細胞高ぐらいである。樹脂細胞が存在する。

5) 所 見

樹種同定の結果、第22次調査1区SE601(井戸)から出土した井戸枿材はスギと同定された。スギは本州、四国、九州、屋久島に分布する日本特産の常緑高木で、高さ40m、径2mに達する。材は軽軟であるが強靱で、大きな材がとれる良材であり、多方面に広く用いられる。

B 第24次調査 木製品

(財)元興寺文化財研究所

1) は じ め に

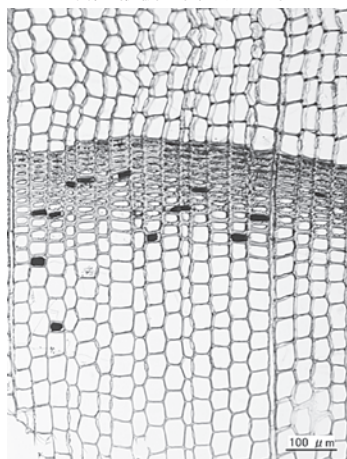
第24次調査2区西SE400(井戸)より出土した木製品2点の樹種同定結果について以下のように報告する。

2) 試 料

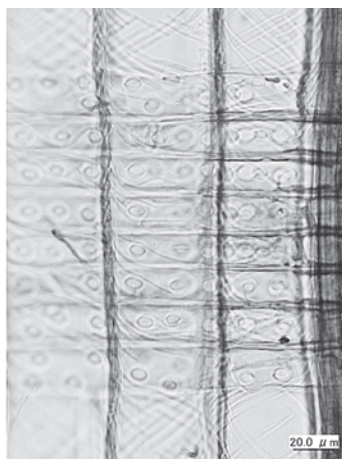
遺物番号 No.1-1 曲物(側板)

遺物番号 No.1-2 曲物(まわしの側板)

No.1-1 曲物(側板) (2区西SE400)



木口面



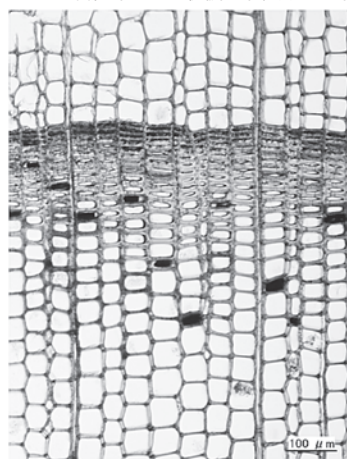
柁目面

スギ *Cryptomeria japonica* D. Don



板目面

No.1-2 曲物(まわしの側板) (2区西SE400)

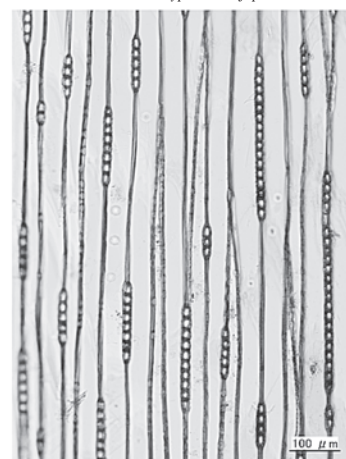


木口面



柁目面

スギ *Cryptomeria japonica* D. Don



板目面

第47図 第24次調査の木材

3) 同定方法

樹種同定に必要な木口面（横断面）、板目面（接線断面）、柁目面（放射断面）の3断面の切片を安全カミソリを用いて作製し、サフランインで染色後、水分をエチルアルコール、n-ブチルアルコール、キシレンに順次置換した。その後、非水溶性封入剤を用いて永久プレパラートを作製し、光学顕微鏡で観察した。

4) 同定結果

試料の木材組織は顕微鏡写真の通りである。以下に樹種同定結果とその根拠となる木材組織の特徴について記す。樹木分類および植生分布は『原色日本植物図鑑・木本編Ⅱ』（北村・村田 1979）に従った。同定は木沢直子（(財)元興寺文化財研究所）が行った。

※ 樹木の性質、材の用途、出土事例等については後記の文献を参考とした。

※ 曲物各部位の名称については「絵巻物語による曲物の一考察」『平安博物館研究紀要第7輯』（南 1982）によった。

No.1-1 曲物（側板）（2区西 SE400）

スギ *Cryptomeria japonica* D. Don（ヒノキ科 Cupressaceae）

仮道管と放射柔細胞、樹脂細胞からなる針葉樹材。水平樹脂道と垂直樹脂道は無い。早材から晩材への移行は急で、晩材の幅は広い。樹脂細胞は早材から晩材への移行部に点在する。分野壁孔はスギ型で1分野に2個確認できる。放射組織は単列で2～13細胞高である。

No.1-2 曲物（まわしの側板）（2区西 SE400）

スギ *Cryptomeria japonica* D. Don（ヒノキ科 Cupressaceae）

仮道管と放射柔細胞、樹脂細胞からなる針葉樹材。水平樹脂道と垂直樹脂道は無い。早材から晩材への移行は急で、晩材の幅は広い。樹脂細胞は早材から晩材への移行部に点在する。分野壁孔はスギ型で1分野に2個ときに3個確認できる。放射組織は単列で2～17細胞高である。

C 第24次調査 炭化材

（株）加速器分析研究所

1) はじめに

沖ノ羽遺跡は、新潟県新潟市秋葉区七日町字沖ノ羽に所在し、沖積地の自然堤防上に立地する。今回の分析調査では、鍛冶関連遺構などから出土した炭化材について、木材利用を検討するための樹種同定を実施する。

2) 試料

試料は、第24次調査 2区東 SD128 出土須恵器三耳瓶内から抽出された炭化材2点（No.1、2）、第24次調査 2区西の鍛冶関連遺構出土炭化材8点（No.3～10）の合計10点である。なお、同一試料の放射性炭素年代測定が実施されている（第7節参照）。

3) 分析方法

試料を自然乾燥させた後、木口（横断面）・柁目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類（分類群）を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東〔島地・伊東 1982〕や Wheeler 他〔Wheeler 他 1998〕を参考にする。また、日本産樹木の木材組織については、林〔林 1991〕や伊東〔伊東 1995・1996・1997・1998・1999〕を参考にする。

4) 結果

樹種同定結果を第23表に示す。炭化材は、広葉樹5分類群（クリ・モクレン属・クスノキ科・イイ

第23表 第24次調査における炭化材の樹種同定結果

| 試料名 | 地区 | 遺構 | 状態 | 種類 | 備考 |
|-------|-----|-------|-----|----------|-----------|
| No.1 | 2区東 | SD128 | 小破片 | 広葉樹 | 須恵器三耳瓶内出土 |
| No.2 | 2区東 | SD128 | 小破片 | 広葉樹（散孔材） | 須恵器三耳瓶内出土 |
| No.3 | 2区西 | SK474 | 小破片 | クリ | 鍛冶関連 |
| No.4 | 2区西 | SK474 | 小破片 | クリ | 鍛冶関連 |
| No.5 | 2区西 | SK522 | 小破片 | モクレン属 | 鍛冶関連一排滓坑 |
| No.6 | 2区西 | SK522 | 小破片 | トネリコ属 | 鍛冶関連一排滓坑 |
| No.7 | 2区西 | SX634 | 小破片 | クスノキ科 | 鍛冶関連 |
| No.8 | 2区西 | SX634 | 小破片 | クスノキ科 | 鍛冶関連 |
| No.9 | 2区西 | SK679 | 小破片 | イイギリ | 鍛冶関連 |
| No.10 | 2区西 | SK679 | 小破片 | イイギリ | 鍛冶関連 |

ギリ・トネリコ属)に同定された。なお、No.1, 2は、道管が認められることから広葉樹である。それらのうちNo.2は、組織配列から散孔材の道管配列を持つことがわかるが、いずれも微細片で、保存状態は極めて悪く、種類不明である。以下に、同定された各種類の解剖学的特徴等を記す。

クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) ブナ科クリ属

環孔材で、孔圏部は3-4列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-15細胞高。

モクレン属 (*Magnolia*) モクレン科

散孔材で、管壁厚は中庸～薄く、横断面では角張った楕円形～多角形、単独および2-4個が放射方向に複合して散在する。道管の分布密度は比較的高い。道管は単穿孔を有し、壁孔は階段状～対列状に配列する。放射組織は異性、1-2細胞幅、1-40細胞高。

クスノキ科 (Lauraceae)

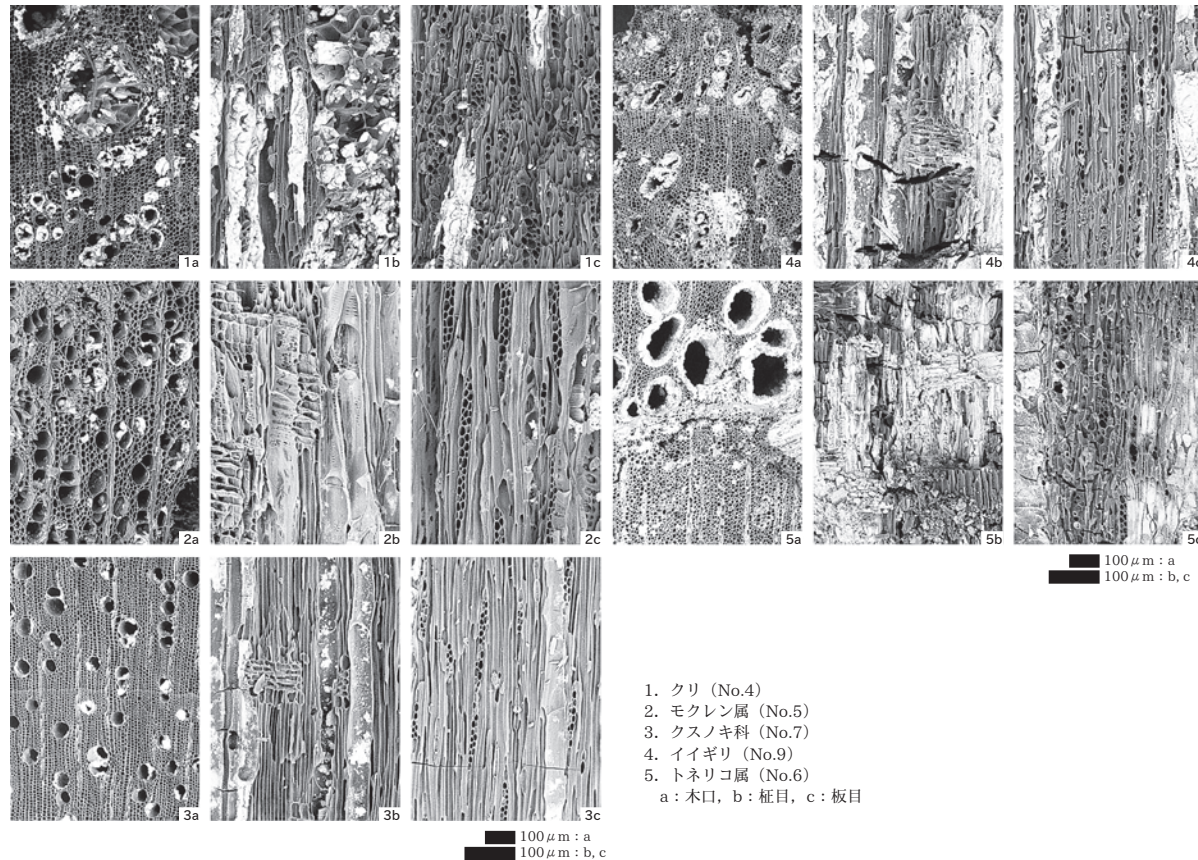
散孔材で、管壁は薄く、横断面では角張った楕円形、単独または2-3個が放射方向に複合して散在する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、1-2細胞幅、1-20細胞高。柔組織は周囲状および散在状。柔細胞には油細胞が認められる。

イイギリ (*Idesia polycarpa* Maxim.) イイギリ科イイギリ属

散孔材で、道管は単独または2-4個が放射方向あるいは斜方向に複合して散在する。道管の分布密度は高い。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、1-3細胞幅、1-20細胞高。

トネリコ属 (*Fraxinus*) モクセイ科

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外で急激に径を減じたのち、厚壁の道管が単独または2個が放射方向に複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は



1. クリ (No.4)
 2. モクレン属 (No.5)
 3. クスノキ科 (No.7)
 4. イイギリ (No.9)
 5. トネリコ属 (No.6)
 a: 木口, b: 柾目, c: 板目

第48図 第24次調査の炭化材

同性、1-3 細胞幅、1-30 細胞高。

5) 考 察

樹種同定を行った炭化材は、第 24 次調査 2 区東 SD128 から出土した 2 点と第 24 次調査 2 区西の鍛冶関連遺構から出土した 8 点である。これらの炭化材は、不明 2 点を除く 8 点が 5 種類に同定された。各種類の材質をみると、クリは重硬で強度・耐朽性が高い。モクレン属とイイギリは、比較的軽軟で強度は低い。トネリコ属は、重硬で強度が高い。クスノキ科は、軽軟な種類からやや重硬な種類まで幅がある。

2 区東 SD128 出土炭化材は、2 点とも小破片で、広葉樹であることまで確認できたが、種類は不明である。

2 区西の鍛冶関連遺構から出土した炭化材は、鍛冶の燃料材等の可能性がある。鍛冶は高温を必要とすることから、燃焼性の高い木材を利用した可能性がある。一般的に、軽軟な木材ほど燃焼性が高く、重硬な種類ほど燃焼性が低い。この点からみると、2 区西 SK679 で確認されたイイギリは軽軟で、燃焼性が高いといえる。2 区西 SK474 で認められたクリは、重硬であるが、木炭にすると柔らかく燃焼性の高い炭になり、マツ炭と共に鍛冶燃料材として利用される〔岸本・杉浦 1980〕。このことから、クリは燃焼性の高い木炭の状態では利用された可能性もある。なおクスノキ科は、比較的軽軟な種類に由来する可能性がある。

2 区西 SK522 では、モクレン属とトネリコ属が認められ、少なくとも 2 種が混在して利用されたことが推定される。モクレン属は軽軟な材質であり、樹種は異なるが、木材利用傾向は他の遺構と類似する。トネリコ属は、重硬で燃焼性が低いことから、他の種類とは木材利用傾向が異なる。したがって、2 区西 SK522 では、燃焼性の高い種類と、燃焼性の低い種類を混在して利用した可能性がある。

2 区西 SX634 で確認されたクスノキ科は、上記のような材質の幅がある。他の遺構で重硬な樹種とともに軽軟で燃焼性の高い樹種も含まれていたことから、今後さらに調査対象試料を増やすことにより、本遺跡の鍛冶燃料材における軽軟な木材と重硬な木材の併用状況やその効果等の実態が、さらに明らかになるものと期待される。

今のところ本遺跡周辺では、鍛冶関連遺構の樹種を明らかにした事例が少ないため、一般的な種類構成について不明な点が多い。今後、さらに木材利用に関する調査事例が蓄積されるのを待って、今回の結果について評価されることが望まれる。

第 7 節 沖ノ羽遺跡における放射性炭素年代測定

(株) 加速器分析研究所

A 測定対象試料

沖ノ羽遺跡は、新潟県新潟市秋葉区七日町字沖ノ羽に所在し、沖積地の自然堤防上に立地する。測定対象試料は、第 22・24 次調査の井戸跡から出土した植物の種実 15 点 (第 24・26 表) と、第 24 次調査の溝と鍛冶関連遺構から出土した木炭合計 10 点である (第 28 表)。種実試料は、遺構埋土を水洗選別して検出された種実の一部で、第 22 次調査の年代測定試料の種子 9-2 はキカラスワリ種子、その他 9 点はすべてモモ核に同定され、第 24 次調査の種子 11 はウメ核、種子 12、種子 15 はオニグルミ核、種子 13 はモモ核、種子 14 はイネ胚乳に同定された。種子 14 についてはイネ胚乳 2 個を使用し、他の試料は核の一部を採取して試料とした。種実試料全体の同定結果については、第 5 節に示している。なお、木炭も同一試料の樹種同定が実施されている (第 6 節参照)。

第 22 次調査の試料が出土した遺構の時期は、13～14 世紀と推定されている。ただし、1 区 SE385、SE785、SE1536 については、9 世紀代の遺物も多く出土している。第 24 次調査の種実が出土した遺構の時期は、2 区東 SE12、同 SE65、2 区西 SE230、同 SE400、同 SE499 が 13～14 世紀と推定されている。ただし、2 区西 SE230・SE499 については、9 世紀代の遺物も多く出土している。木炭が出土した遺構の時期は、2 区東の溝 SD128 は平安時代初頭から前半、2 区西の鍛冶関連遺構 SK474、SK522、SX634、SK679 は中世 (13～14 世紀) と推定されている。

B 測定 の 意 義

試料が出土した遺構の年代を特定する。

C 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸 (AAA : Acid Alkali Acid) 処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA 処理における酸処理では、通常 $1\text{mol}/\ell$ (1M) の塩酸 (HCl) を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム (NaOH) 水溶液を用い、0.001M から 1M まで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1M に達した時には「AAA」、1M 未満の場合は「AaA」と第 24・26・28 表に記載する。
- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素 (CO_2) を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト (C) を生成させる。
- (6) グラファイトを内径 1mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

D 測定 方 法

加速器をベースとした ^{14}C -AMS 専用装置 (NEC 社製) を使用し、 ^{14}C の計数、 ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)、 ^{14}C 濃度 ($^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$) の測定を行う。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシュウ酸 (HOx II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

E 算 出 方 法

- (1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (%) で表した値である (第 24・26・28 表)。AMS 装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ^{14}C 年代 (Libby Age : yrBP) は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950 年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。年代値の算出には、Libby の半減期 (5568 年) を使用する [Stuiver and Polach 1977]。 ^{14}C 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を第 24・26・28 表に、補正していない値を参考値として第 25・27・29 表に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下 1 桁を丸めて 10 年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が 68.2% であることを意味する。
- (3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMC が小さい (^{14}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMC が 100 以上 (^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合 Modern とする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を第 24・26・28 表に、補正していない値を参考値として第 25・27・29 表に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1 標準偏差 ($1\sigma=68.2\%$) あるいは 2 標準偏差 ($2\sigma=95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下 1 桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確

認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13 データベース [Reimer et al. 2013] を用い、OxCalv4.2 較正プログラム [Bronk Ramsey 2009] を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として第 25・27・29 表に示した。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される。

F 測定結果

1) 第 22 次調査 1 区各遺構 (種実)

測定結果を第 24・25 表に示す。

試料 10 点の ^{14}C 年代は、 $880 \pm 20\text{yrBP}$ (種子 9-2) から $650 \pm 20\text{yrBP}$ (種子 11-1、11-2) の間に収まる。同じ遺構から出土した各 2 点の試料は、概ね近い値を示し、誤差 ($\pm 1\sigma$) の範囲で一致するものも認められる。暦年較正年代 (1σ) は、最も古い種子 9-2 が $1155 \sim 1213\text{cal AD}$ の範囲、最も新しい種子 11-2 が $1290 \sim 1385\text{cal AD}$ の間に 2 つの範囲で示される。試料が出土した遺構の推定年代に対して整合する、もしくは若干古い年代値となっている。

試料の炭素含有率はすべて 50% を超え、化学処理、測定上の問題は認められない。

第 24 表 第 22 次調査における放射性炭素年代測定結果 (種実 1) ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

| 測定番号 | 試料名 | 採取場所 | 試料形態 | 処理方法 | $\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS) | $\delta^{13}\text{C}$ 補正あり | |
|-------------|--------|-----------------|-----------|------|---------------------------------|----------------------------|------------------|
| | | | | | | Libby Age (yrBP) | pMC (%) |
| IAAA-141139 | 種子2-1 | 1区SE385 層位: 8層 | モモ 核 | AAA | -25.23 ± 0.43 | 790 ± 20 | 90.58 ± 0.27 |
| IAAA-141140 | 種子2-2 | 1区SE385 層位: 8層 | モモ 核 | AAA | -23.57 ± 0.46 | 830 ± 20 | 90.22 ± 0.26 |
| IAAA-141141 | 種子4-1 | 1区SE500 層位: 16層 | モモ 核 | AAA | -25.02 ± 0.41 | 710 ± 20 | 91.54 ± 0.26 |
| IAAA-141142 | 種子4-2 | 1区SE500 | モモ 核 | AAA | -21.48 ± 0.35 | 770 ± 20 | 90.86 ± 0.26 |
| IAAA-141143 | 種子8-1 | 1区SE785 層位: 4層 | モモ 核 | AAA | -25.71 ± 0.42 | 750 ± 20 | 91.14 ± 0.27 |
| IAAA-141144 | 種子8-2 | 1区SE785 | モモ 核 | AAA | -26.70 ± 0.44 | 760 ± 20 | 90.93 ± 0.26 |
| IAAA-141145 | 種子9-1 | 1区SE1536 層位: 5層 | モモ 核 | AAA | -17.84 ± 0.48 | 860 ± 20 | 89.87 ± 0.26 |
| IAAA-141146 | 種子9-2 | 1区SE1536 | キカラスウリ 種子 | AAA | -25.92 ± 0.44 | 880 ± 20 | 89.65 ± 0.26 |
| IAAA-141147 | 種子11-1 | 1区SE1774 層位: 5層 | モモ 核 | AAA | -22.43 ± 0.35 | 650 ± 20 | 92.19 ± 0.26 |
| IAAA-141148 | 種子11-2 | 1区SE1774 | モモ 核 | AAA | -23.89 ± 0.45 | 650 ± 20 | 92.19 ± 0.27 |

[#6796]

第 25 表 第 22 次調査における放射性炭素年代測定結果 (種実 2) ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代)

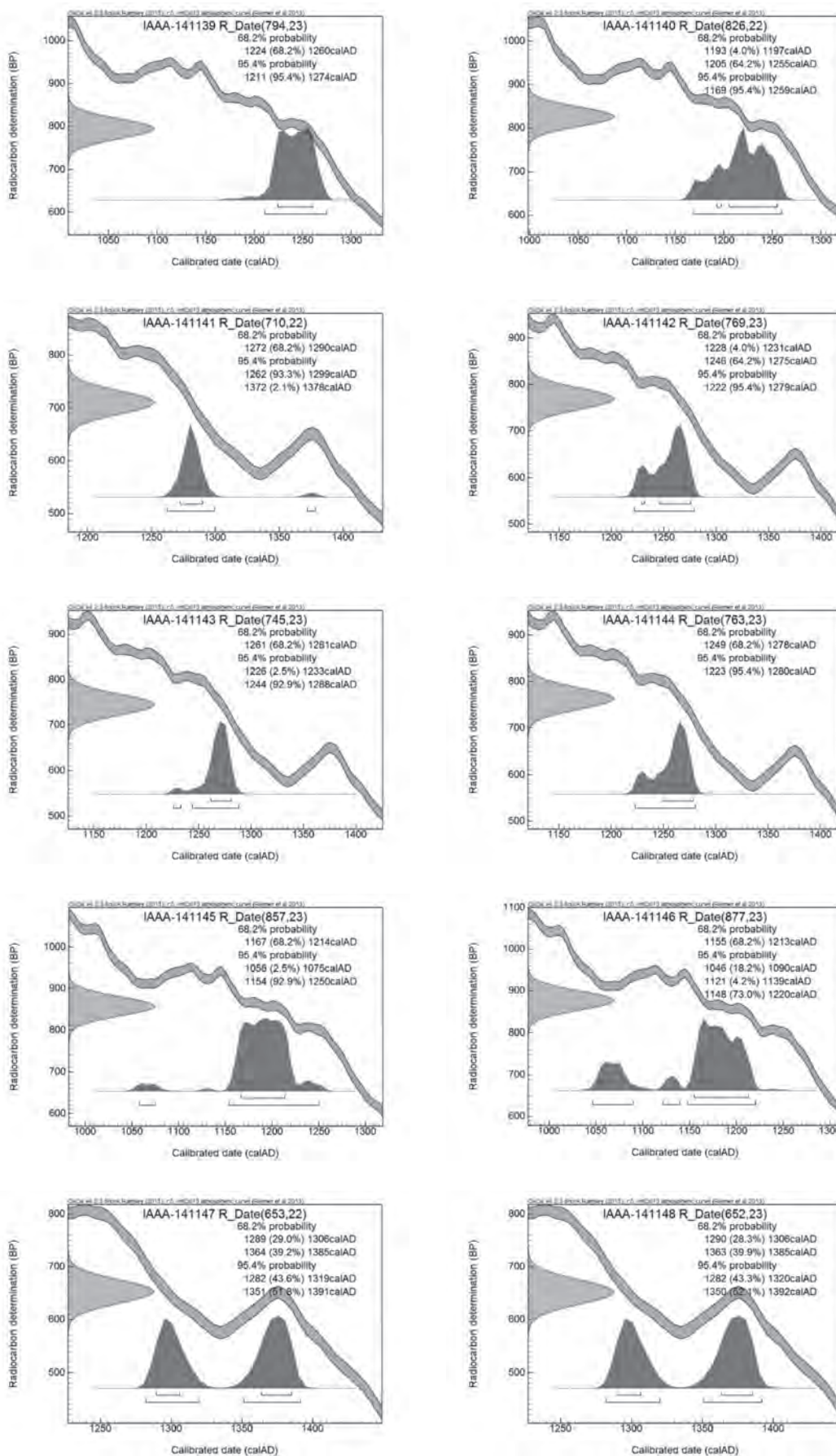
| 測定番号 | $\delta^{13}\text{C}$ 補正なし | | 暦年較正用 (yrBP) | 1σ 暦年較正範囲 | 2σ 暦年較正範囲 |
|-------------|----------------------------|------------------|--------------|--|--|
| | Age (yrBP) | pMC (%) | | | |
| IAAA-141139 | 800 ± 20 | 90.54 ± 0.25 | 794 ± 23 | $1224\text{calAD} - 1260\text{calAD}$ (68.2%) | $1211\text{calAD} - 1274\text{calAD}$ (95.4%) |
| IAAA-141140 | 800 ± 20 | 90.49 ± 0.24 | 826 ± 22 | $1193\text{calAD} - 1197\text{calAD}$ (4.0%) $1205\text{calAD} - 1255\text{calAD}$ (64.2%) | $1169\text{calAD} - 1259\text{calAD}$ (95.4%) |
| IAAA-141141 | 710 ± 20 | 91.54 ± 0.25 | 710 ± 22 | $1272\text{calAD} - 1290\text{calAD}$ (68.2%) | $1262\text{calAD} - 1299\text{calAD}$ (93.3%) $1372\text{calAD} - 1378\text{calAD}$ (2.1%) |
| IAAA-141142 | 710 ± 20 | 91.52 ± 0.26 | 769 ± 23 | $1228\text{calAD} - 1231\text{calAD}$ (4.0%) $1246\text{calAD} - 1275\text{calAD}$ (64.2%) | $1222\text{calAD} - 1279\text{calAD}$ (95.4%) |
| IAAA-141143 | 760 ± 20 | 91.01 ± 0.26 | 745 ± 23 | $1261\text{calAD} - 1281\text{calAD}$ (68.2%) | $1226\text{calAD} - 1233\text{calAD}$ (2.5%) $1244\text{calAD} - 1288\text{calAD}$ (92.9%) |
| IAAA-141144 | 790 ± 20 | 90.62 ± 0.25 | 763 ± 23 | $1249\text{calAD} - 1278\text{calAD}$ (68.2%) | $1223\text{calAD} - 1280\text{calAD}$ (95.4%) |
| IAAA-141145 | 740 ± 20 | 91.20 ± 0.25 | 857 ± 23 | $1167\text{calAD} - 1214\text{calAD}$ (68.2%) | $1058\text{calAD} - 1075\text{calAD}$ (2.5%) $1154\text{calAD} - 1250\text{calAD}$ (92.9%) |
| IAAA-141146 | 890 ± 20 | 89.48 ± 0.25 | 877 ± 23 | $1155\text{calAD} - 1213\text{calAD}$ (68.2%) | $1046\text{calAD} - 1090\text{calAD}$ (18.2%) $1121\text{calAD} - 1139\text{calAD}$ (4.2%) $1148\text{calAD} - 1220\text{calAD}$ (73.0%) |
| IAAA-141147 | 610 ± 20 | 92.68 ± 0.26 | 653 ± 22 | $1289\text{calAD} - 1306\text{calAD}$ (29.0%) $1364\text{calAD} - 1385\text{calAD}$ (39.2%) | $1282\text{calAD} - 1319\text{calAD}$ (43.6%) $1351\text{calAD} - 1391\text{calAD}$ (51.8%) |
| IAAA-141148 | 630 ± 20 | 92.40 ± 0.26 | 652 ± 23 | $1290\text{calAD} - 1306\text{calAD}$ (28.3%) $1363\text{calAD} - 1385\text{calAD}$ (39.9%) | $1282\text{calAD} - 1320\text{calAD}$ (43.3%) $1350\text{calAD} - 1392\text{calAD}$ (52.1%) |

[参考値]

2) 第 24 次調査 2 区東・西各遺構 (種実)

測定結果を第 26・27 表に示す。

試料 5 点の ^{14}C 年代は、 $800 \pm 20\text{yrBP}$ (種子 13) から $670 \pm 20\text{yrBP}$ (種子 12) の間に収まり、誤差 ($\pm 1\sigma$) の範囲で一致するものも認められる。暦年較正年代 (1σ) は、最も古い種子 13 が $1224 \sim 1259\text{cal AD}$ の範囲、最も新しい種子 12 が $1283 \sim 1381\text{cal AD}$ の間に 2 つの範囲で示される。試料が出土した遺構の推定年代に



第 49 図 第 22 次調査暦年較正年代グラフ (種実) (参考)

第 26 表 第 24 次調査における放射性炭素年代測定結果 (種実 1) ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

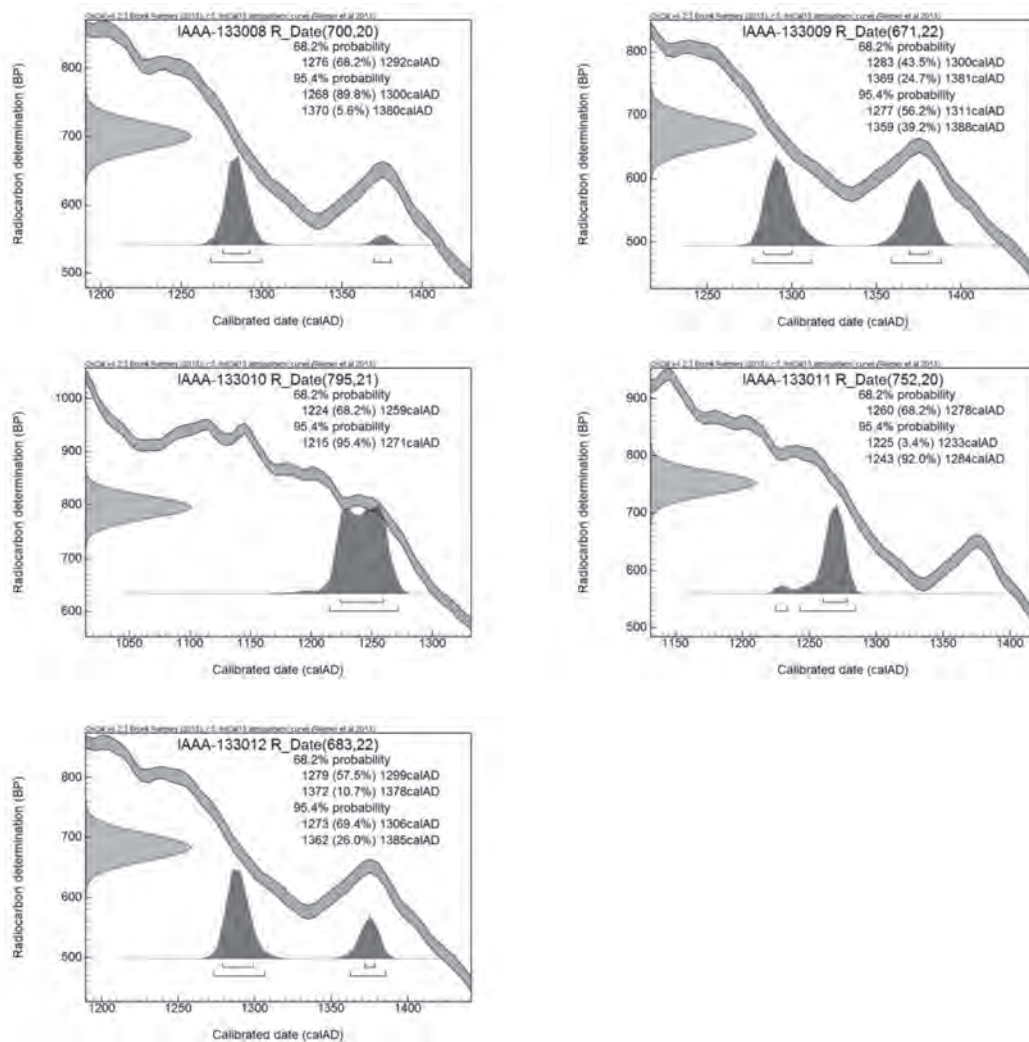
| 測定番号 | 試料名 | 採取場所 | 試料形態 | 処理方法 | $\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS) | $\delta^{13}\text{C}$ 補正あり | |
|-------------|------|------------|------|------|---------------------------------|----------------------------|------------|
| | | | | | | Libby Age (yrBP) | pMC (%) |
| IAAA-133008 | 種子11 | 2区東SE12 4層 | 植物種子 | AAA | -30.64±0.50 | 700±20 | 91.65±0.24 |
| IAAA-133009 | 種子12 | 2区西SE499 | 植物種子 | AAA | -30.38±0.37 | 670±20 | 91.98±0.26 |
| IAAA-133010 | 種子13 | 2区西SE230 | 植物種子 | AAA | -29.79±0.43 | 800±20 | 90.57±0.24 |
| IAAA-133011 | 種子14 | 2区西SE400 | 植物種子 | AaA | -26.30±0.30 | 750±20 | 91.06±0.23 |
| IAAA-133012 | 種子15 | 2区東SE65 | 植物種子 | AAA | -30.66±0.45 | 680±20 | 91.84±0.26 |

[#6331]

第 27 表 第 24 次調査における放射性炭素年代測定結果 (種実 2) ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代)

| 測定番号 | $\delta^{13}\text{C}$ 補正なし | | 暦年較正用 (yrBP) | 1 σ 暦年代範囲 | 2 σ 暦年代範囲 |
|-------------|----------------------------|------------|--------------|--|--|
| | Age (yrBP) | pMC (%) | | | |
| IAAA-133008 | 790±20 | 90.59±0.21 | 700±20 | 1276calAD - 1292calAD (68.2%) | 1268calAD - 1300calAD (89.8%) 1370calAD - 1380calAD (5.6%) |
| IAAA-133009 | 760±20 | 90.97±0.24 | 671±22 | 1283calAD - 1300calAD (43.5%) 1369calAD - 1381calAD (24.7%) | 1277calAD - 1311calAD (56.2%) 1359calAD - 1388calAD (39.2%) |
| IAAA-133010 | 880±20 | 89.68±0.23 | 795±21 | 1224calAD - 1259calAD (68.2%) | 1215calAD - 1271calAD (95.4%) |
| IAAA-133011 | 770±20 | 90.82±0.22 | 752±20 | 1260calAD - 1278calAD (68.2%) | 1225calAD - 1233calAD (3.4%) 1243calAD - 1284calAD (92.0%) |
| IAAA-133012 | 780±20 | 90.77±0.24 | 683±22 | 1279calAD - 1299calAD (57.5%) 1372calAD - 1378calAD (10.7%) | 1273calAD - 1306calAD (69.4%) 1362calAD - 1385calAD (26.0%) |

[参考値]



第 50 図 第 24 次調査の暦年較正年代グラフ (種実) (参考)

対して、種子 13～15 は重なる年代値であるが、種子 11、12 は推定より新しい値を示した。

試料の炭素含有率はすべて 50% を超え、化学処理、測定上の問題は認められない。

3) 第 24 次調査 2 区東・西各遺構 (木炭)

測定結果を第 28・29 表に示す。

2 区東の溝 SD128 出土試料 2 点の ¹⁴C 年代は、No.1 が 1290±20yrBP、No.2 が 1210±30yrBP である。暦年較正年代 (1σ) は、No.1 が 680～765cal AD、No.2 が 773～870cal AD の間に各々 2 つの範囲で示される。平安時代初頭から前半と推定されるのに対し、No.2 は整合的、No.1 は若干古い値となっている。

2 区西の鍛冶関連遺構 SK474、SK522、SX634、SK679 出土試料 8 点の ¹⁴C 年代を検討すると、No.5 が 950±20yrBP、他の 7 点が 1350±20yrBP (No.10) から 1190±20yrBP (No.6) の間に含まれる。後者 7 点の中では、誤差 (±1σ) の範囲で値が一致するものも見られるが、No.5 との間には年代差がある。同じ遺構から出土した試料の間では、2 区西 SK474 出土試料のように誤差範囲で値が一致するものがある一方で、2 区西 SK522 出土試料のように明瞭に年代差がある場合もある。暦年較正年代 (1σ) は、No.5 が 1028～1150cal AD の間に 3 つの範囲、ある程度年代に近い 7 点の中で最も古い No.10 が 652～672cal AD の範囲、最も新しい No.6 が 779～877cal AD の間に 2 つの範囲で示される。中世 (13～14 世紀) と推定されるのに対し、No.5 は若干古く、他の 7 点は大幅に古い値となっている。

試料の炭素含有率を確認すると、No.1 以外の 9 点は 60% を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。No.1 は土を完全に除去できず、炭素含有率が 23% というやや低い値を示したため、測定された炭素の由来に注意を要する。

第 28 表 第 24 次調査における放射性炭素年代測定結果 (木炭 1) (δ¹³C 補正值)

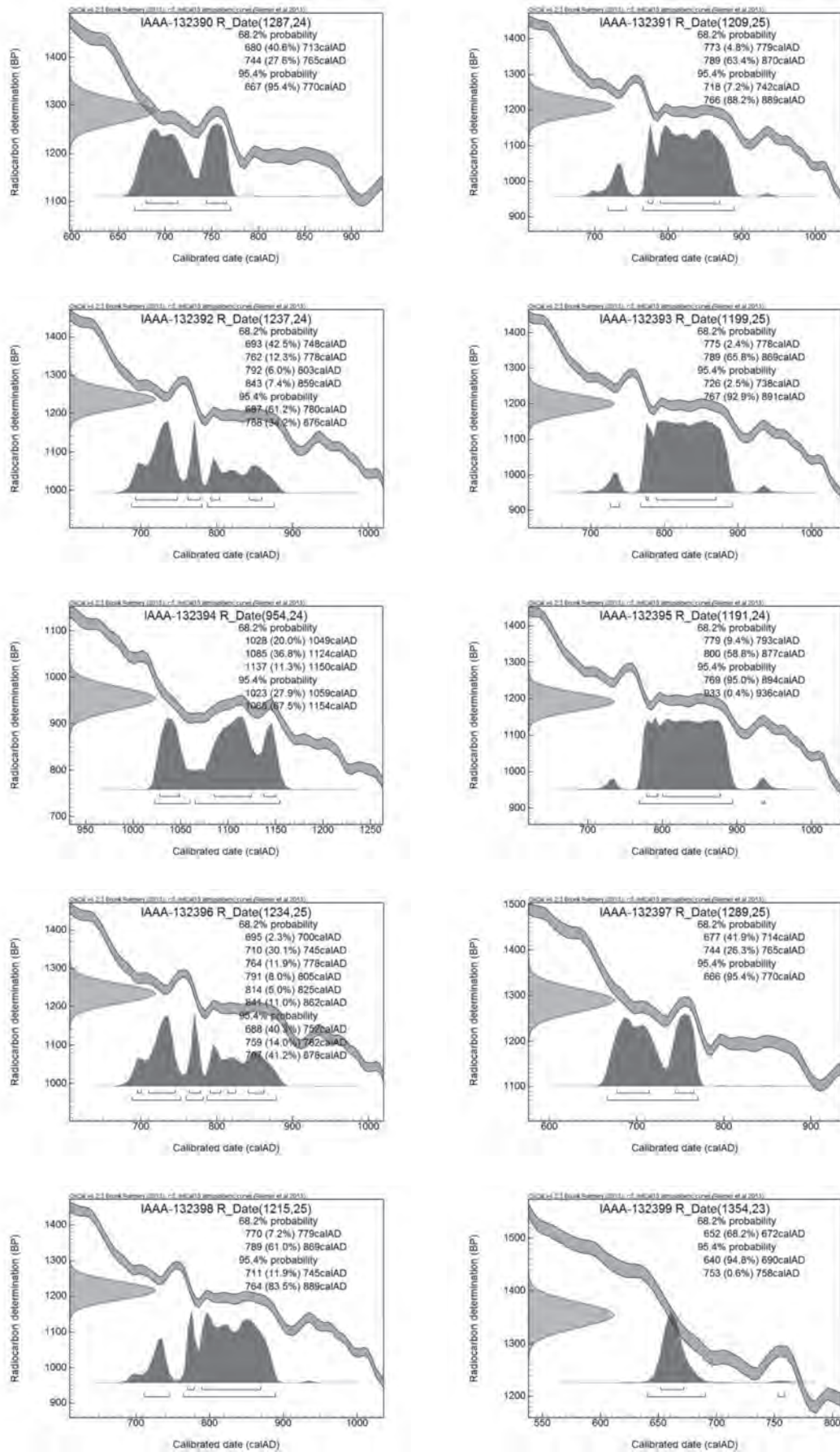
| 測定番号 | 試料名 | 採取場所 | 試料形態 | 処理方法 | δ ¹³ C (‰) (AMS) | δ ¹³ C補正あり | |
|-------------|-------|----------|------|------|-----------------------------|-----------------------|------------|
| | | | | | | Libby Age (yrBP) | pMC (%) |
| IAAA-132390 | No.1 | 2区東SD128 | 木炭 | AaA | -24.95±0.38 | 1,290±20 | 85.19±0.26 |
| IAAA-132391 | No.2 | 2区東SD128 | 木炭 | AaA | -26.15±0.47 | 1,210±30 | 86.02±0.28 |
| IAAA-132392 | No.3 | 2区西SK474 | 木炭 | AAA | -24.76±0.67 | 1,240±20 | 85.73±0.26 |
| IAAA-132393 | No.4 | 2区西SK474 | 木炭 | AAA | -29.11±0.37 | 1,200±30 | 86.13±0.27 |
| IAAA-132394 | No.5 | 2区西SK522 | 木炭 | AAA | -25.42±0.67 | 950±20 | 88.80±0.27 |
| IAAA-132395 | No.6 | 2区西SK522 | 木炭 | AAA | -27.71±0.69 | 1,190±20 | 86.21±0.27 |
| IAAA-132396 | No.7 | 2区西SX634 | 木炭 | AAA | -28.33±0.58 | 1,230±30 | 85.75±0.27 |
| IAAA-132397 | No.8 | 2区西SX634 | 木炭 | AAA | -27.42±0.41 | 1,290±30 | 85.17±0.27 |
| IAAA-132398 | No.9 | 2区西SK679 | 木炭 | AAA | -25.18±0.72 | 1,220±30 | 85.96±0.27 |
| IAAA-132399 | No.10 | 2区西SK679 | 木炭 | AAA | -26.06±0.52 | 1,350±20 | 84.48±0.25 |

[#6243]

第 29 表 第 24 次調査における放射性炭素年代測定結果 (木炭 2) (δ¹³C 未補正值、暦年較正用 ¹⁴C 年代、較正年代)

| 測定番号 | δ ¹³ C補正なし | | 暦年較正用 (yrBP) | 1σ 暦年代範囲 | 2σ 暦年代範囲 |
|-------------|-----------------------|------------|--------------|--|---|
| | Age (yrBP) | pMC (%) | | | |
| IAAA-132390 | 1,290±20 | 85.19±0.25 | 1,287±24 | 680calAD - 713calAD (40.6%) 744calAD - 765calAD (27.6%) | 667calAD - 770calAD (95.4%) |
| IAAA-132391 | 1,230±20 | 85.82±0.26 | 1,209±25 | 773calAD - 779calAD (4.8%) 789calAD - 870calAD (63.4%) | 718calAD - 742calAD (7.2%) 766calAD - 889calAD (88.2%) |
| IAAA-132392 | 1,230±20 | 85.77±0.23 | 1,237±24 | 693calAD - 748calAD (42.5%) 762calAD - 778calAD (12.3%) 792calAD - 803calAD (6.0%) 843calAD - 859calAD (7.4%) | 687calAD - 780calAD (61.2%) 788calAD - 876calAD (34.2%) |
| IAAA-132393 | 1,270±20 | 85.41±0.26 | 1,199±25 | 775calAD - 778calAD (2.4%) 789calAD - 869calAD (65.8%) | 726calAD - 738calAD (2.5%) 767calAD - 891calAD (92.9%) |
| IAAA-132394 | 960±20 | 88.72±0.24 | 954±24 | 1028calAD - 1049calAD (20.0%) 1085calAD - 1124calAD (36.8%) 1137calAD - 1150calAD (11.3%) | 1023calAD - 1059calAD (27.9%) 1065calAD - 1154calAD (67.5%) |
| IAAA-132395 | 1,240±20 | 85.73±0.24 | 1,191±24 | 779calAD - 793calAD (9.4%) 800calAD - 877calAD (58.8%) | 769calAD - 894calAD (95.0%) 933calAD - 936calAD (0.4%) |
| IAAA-132396 | 1,290±20 | 85.17±0.25 | 1,234±25 | 695calAD - 700calAD (2.3%) 710calAD - 745calAD (30.1%) 764calAD - 778calAD (11.9%) 791calAD - 805calAD (8.0%) 814calAD - 825calAD (5.0%) 841calAD - 862calAD (11.0%) | 688calAD - 752calAD (40.3%) 759calAD - 782calAD (14.0%) 787calAD - 878calAD (41.2%) |
| IAAA-132397 | 1,330±20 | 84.75±0.26 | 1,289±25 | 677calAD - 714calAD (41.9%) 744calAD - 765calAD (26.3%) | 666calAD - 770calAD (95.4%) |
| IAAA-132398 | 1,220±20 | 85.92±0.24 | 1,215±25 | 770calAD - 779calAD (7.2%) 789calAD - 869calAD (61.0%) | 711calAD - 745calAD (11.9%) 764calAD - 889calAD (83.5%) |
| IAAA-132399 | 1,370±20 | 84.30±0.23 | 1,354±23 | 652calAD - 672calAD (68.2%) | 640calAD - 690calAD (94.8%) 753calAD - 758calAD (0.6%) |

[参考値]



第 51 図 第 24 次調査の暦年較正年代グラフ (木炭) (参考)

第Ⅶ章 総 括

第 1 節 沖ノ羽遺跡の遺構について

A 掘立柱建物について

沖ノ羽遺跡では、古代から中世の掘立柱建物を検出した。第 22 次調査 1 区で 10 棟、第 24 次調査 2 区で 12 棟、合計 22 棟である。柱穴出土遺物と他の遺構との切り合い関係、建物の長軸（桁行）方向と規模から年代を推定し、集落景観復元の基礎としたい。なお、建物跡が検出された第 22 次調査 1 区と第 24 次調査 2 区の調査地点は約 200m の距離があり、集落単位にも連続性は見られないことからそれぞれ記述を行う。本節の記述にあたっては、次節で述べる古代 1 期（春日編年Ⅲ～Ⅳ期）、古代 2 期（春日編年Ⅴ～Ⅶ期）、中世 1 期（12 世紀後半～13 世紀前半）、中世 2 期（13 世紀後半～14 世紀）の年代観を用いる。

1) 第 22 次調査 1 区の掘立柱建物

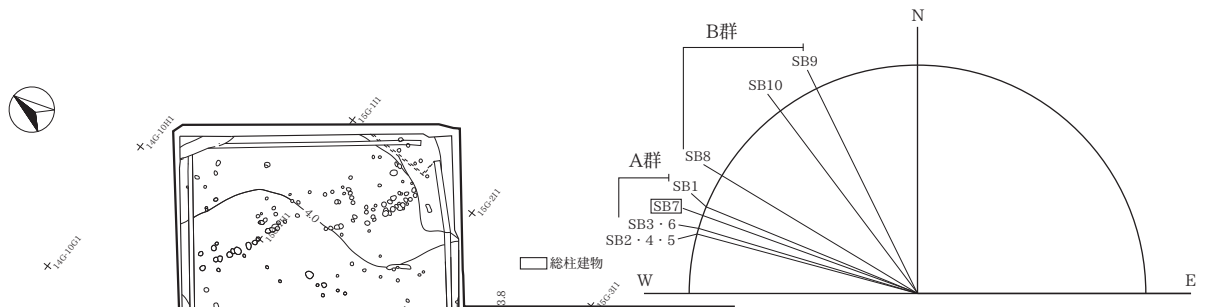
第 22 次調査 1 区の遺構確認面標高と遺構全体模式図を第 53 図に示した。調査区は南南西から北北東にかけて馬の背状に延びる微高地に位置し、標高は概ね 3.95～4.20m で推移する。特に西側調査区の南端及び北端部分の標高が高くなっており、この微高地部中央に遺構が集中する傾向にある。前述のように本調査区では 10 棟の掘立柱建物が復元できた。構成する柱穴から明瞭に年代をうかがえる遺物が出土しているものは少ないが、遺構の切り合い状況等からすべて中世の所産と考えられる。

第 52 図に掘立柱建物の主軸方向を示した。主軸方向からは、微高地と平行あるいは直角方向の SB1～7（A 群）と、A 群と比較して東寄りの主軸方向を示す SB8～10（B 群）の 2 群に大きく分けられる。A 群については、N68°～79°W の範囲に収まる東西棟（SB1・2・4・5・7）と、N17°E を示す南北棟（SB3・6）がある。B 群は、SB8 が主軸方向 N59°W を示し、SB9・10 が N26°～37°W に収まる。

A 群の東西棟 SB7 は第 22 次調査唯一の庇付総柱建物で、底部分を含めた平面積 44.55m² と本調査区で確認された掘立柱建物では最も規模が大きく、A 群の中心的建物と考えられる。A 群の中では SB1 が平面積 32.01m²、SB4 が平面積 21.92m² 以上と比較的規模が大きく、SB7 を含めた 3 棟を主屋とし、他の小規模な建物はこれらに付属する建物群であろう。第Ⅳ章で述べたように SB7 は、柱穴の出土遺物から 13 世紀前半に位置付けられる。A 群の掘立柱建物跡のうち、SB7 に隣接する SB5・6 については、同年代の遺構と考えたい。また、後述するように中世遺構の分布は、本調査区を南北に分けるように東西方向に延びる SD117 を境界として、中世 1 期の遺構は SD117 以南に限定され、中世 2 期には以北にも分布する。井戸の分布状況などから中世 2 期には居住域の中心が北側に移動したと推定され、SD117 より北側に分布する SB1～4 はこの時期の遺構と考えるのが妥当であろう。

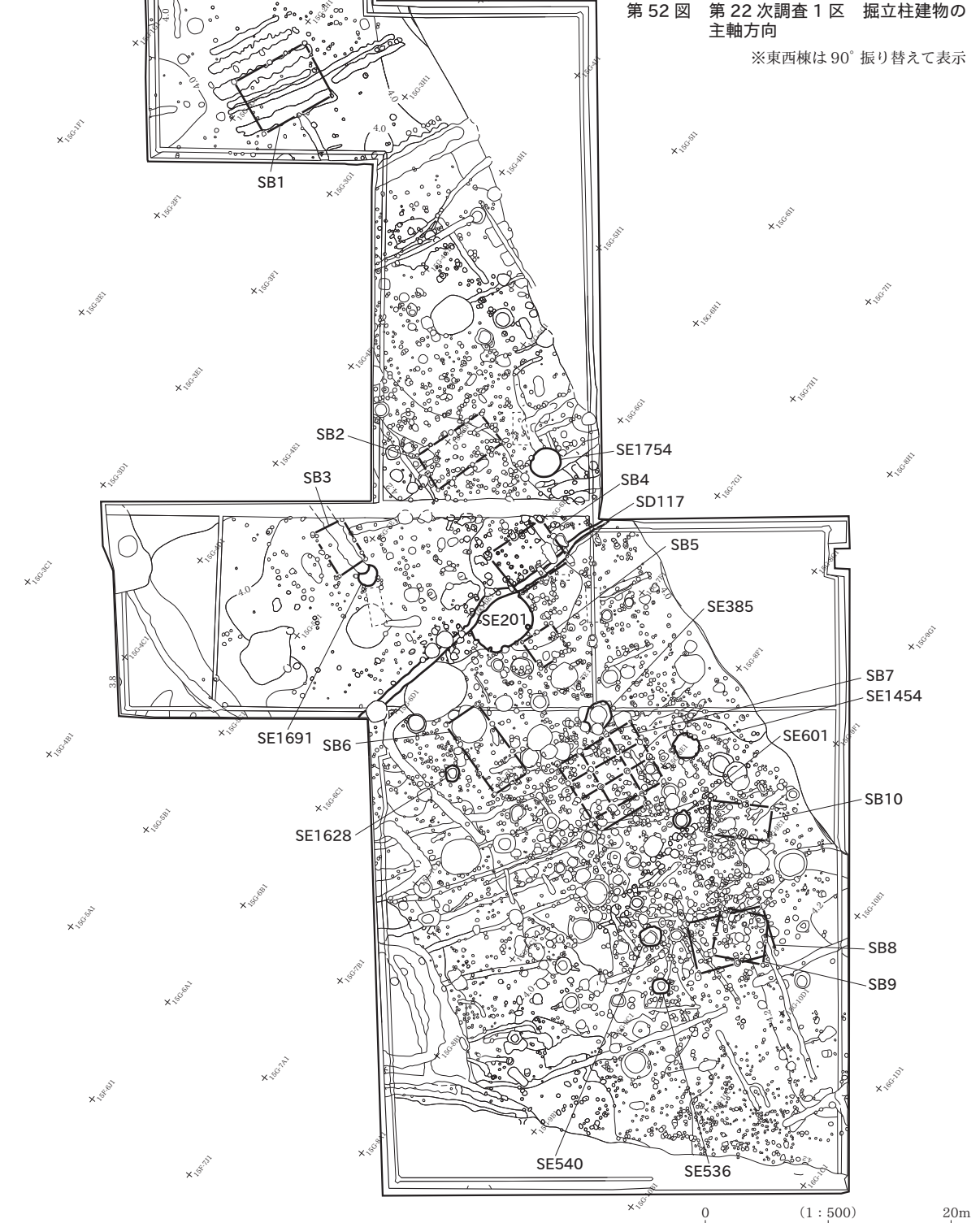
B 群の掘立柱建物は、A 群よりも東寄りの主軸方位をとる SB8～10 の 3 棟を一括したもので、いずれも調査区の南端部に位置する。SB8 は平面積 28.29m² を測り、A 群の主屋としたものと同等の規模を有する。SB9 と重複するが、構築順は不明である。SB9 は平面積 17.21m²、SB10 は 14.34m² といずれも小規模な建物跡で、主軸方向から同一時期の遺構と想定される。第Ⅳ章で述べたように、出土遺物と遺構の切り合い状況から SB8・9 は 13 世紀代、SB10 は 13 世紀中葉を下限とする。前述のように本調査区南側は中世 1 期の遺構を主体とする範囲であることから、掘立柱建物 B 群は、A 群のうち SB7 を中心とする群と類似する時期の遺構群と考えられる。

以上から、第 22 次調査 1 区で復元できた中世の掘立柱建物 A 群のうち SB5～7、同 B 群は中世 1 期、同 A



第 52 図 第 22 次調査 1 区 掘立柱建物の
主軸方向

※東西棟は 90° 振り替えて表示



第 53 図 第 22 次調査 1 区 掘立柱建物配置図

群のSB1～4は中世2期に営まれた可能性が高い。主体時期である13～14世紀代を通じて自然地形に沿って建物が建てられ、中世1期にはSB7を中心とした調査範囲南側に、中世2期には居住域が北側に移動したと推定される。

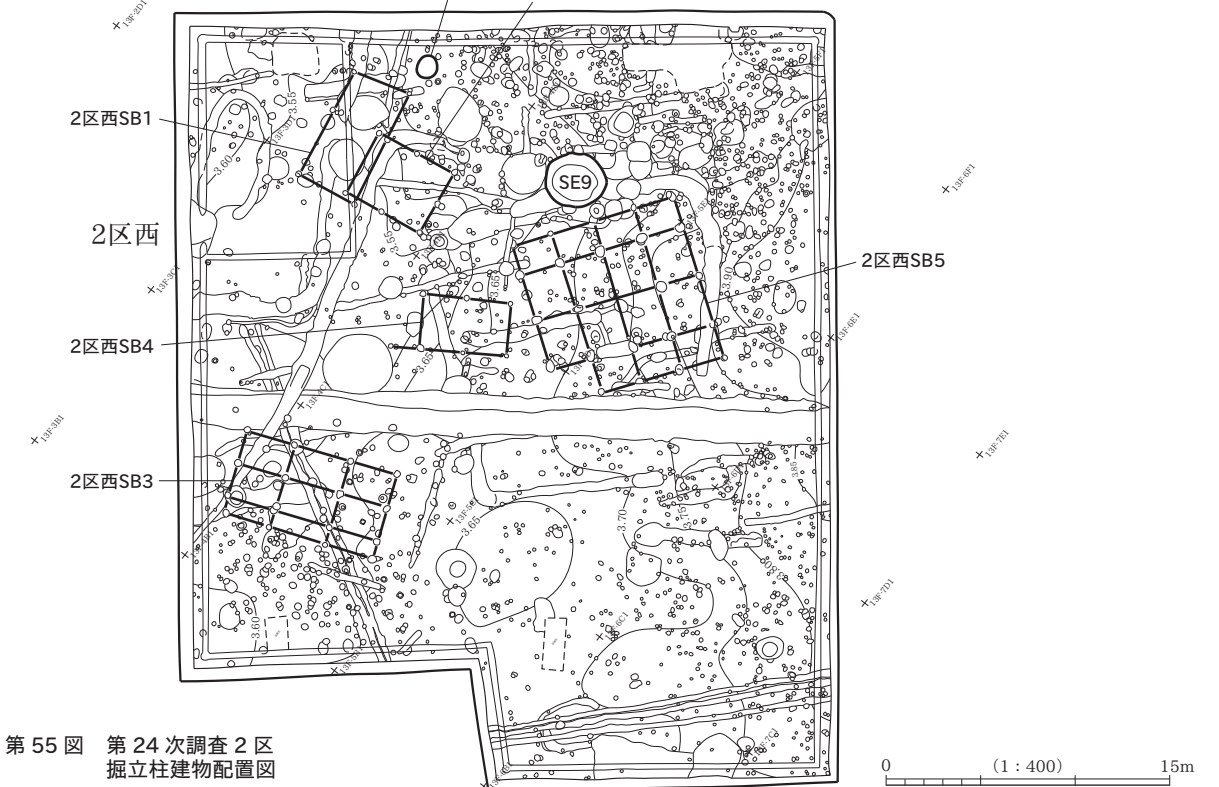
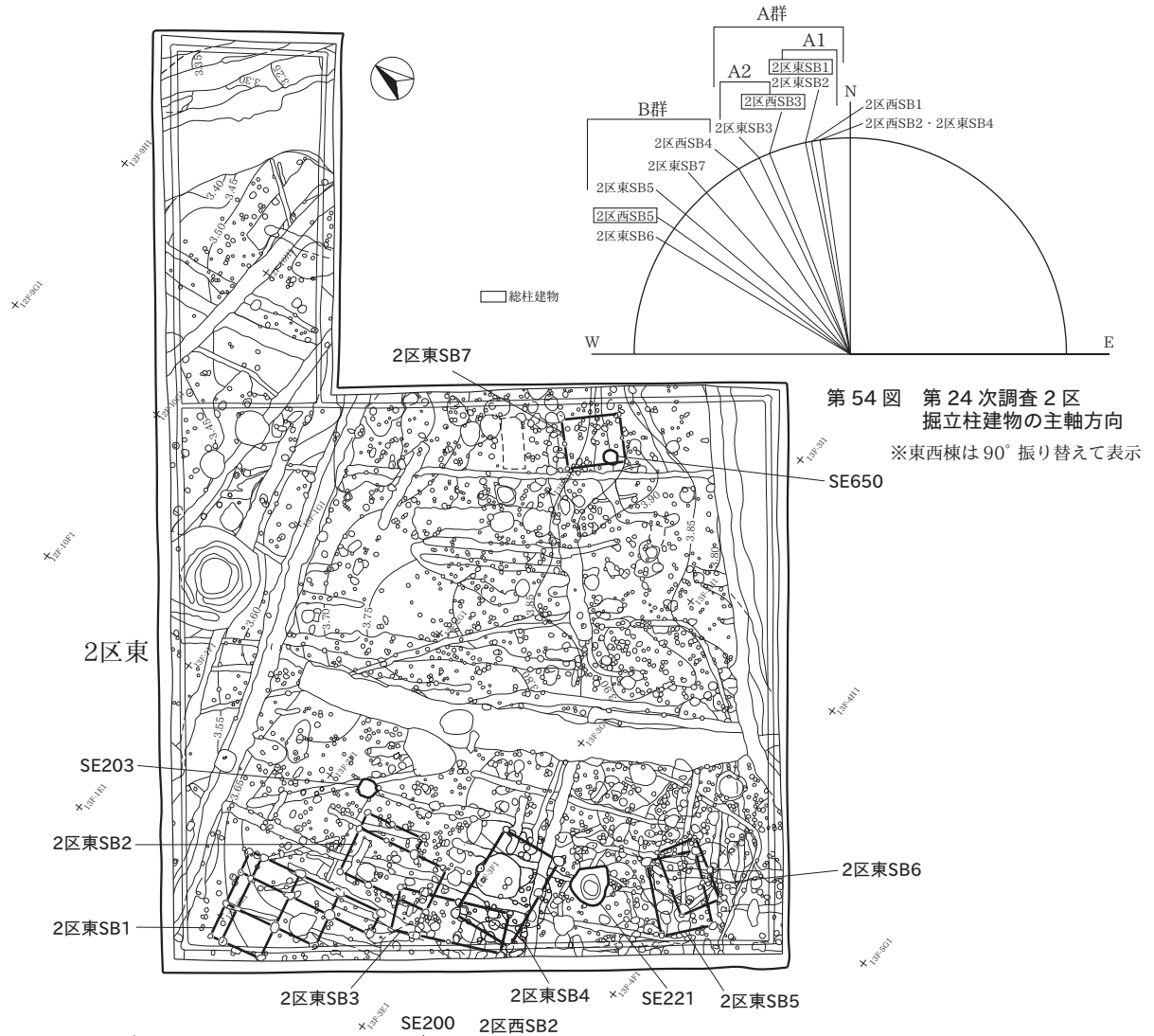
2) 第24次調査2区の掘立柱建物

第24次調査2区では、中央に水路を挟み東側(以下2区東)で7棟、西側(以下2区西)で5棟、合計12棟の掘立柱建物を復元できた。最初に調査区の旧地形を概観する。遺構確認面標高と遺構全体模式図を第55図に示した。2区東では調査区東側の13F-2G～H付近の標高3.90m地点を最高所として南東側及び北西側にかけて緩やかに標高を下げ、調査区北西端部で3.45mを測る。2区西は調査区南東端部の標高3.90m地点を最高所に、概ね東方向に緩やかに標高が下がり、13F-3B～C付近を谷部(標高3.55m)として北側端部で若干標高を上げ、3.60mを測る。以上から調査地は、南南西から北北東方向に延びる微高地の南西側斜面にあたり、北東から南西にかけての比高差は0.40mである。遺構の密度は微高地頂部に近い2区東3Fから2区西4Eグリッド付近で最も高く、周辺に向かって次第に疎らになる。

柱穴出土遺物と他の遺構との重複関係、主軸方向から掘立柱建物の所属時期を想定すると、古代に位置付けられるものが7棟、中世が5棟である。第54図に主軸方向を示した。

古代の掘立柱建物としたのは、A群の2区東SB1～4、2区西SB1～3の7棟である。次節で触れるように本調査区古代の出土土器の主体時期は、古代1期と同2期の2時期に分けられ、古代の掘立柱建物としたもののうち、2区東SB1～4および2区西SB3は主に柱穴出土遺物の下限時期から同2期の遺構とみられる。2区西SB1・2は位置付けが難しいが、2区東SB4と規模や柱間、主軸方向などが類似し、周辺部に古代1期の遺構がみられないことから同時期の所属と考えたい。よって本調査区で確認された古代の掘立柱建物7棟はすべて古代2期に位置付けられよう。次に主軸方位についてみると、N8°～25°Wの範囲に収まる南北棟(2区東SB1～3、2区西SB2・3)と、N80～82°Eを示す東西棟(2区東SB4、2区西SB1)があり、やや西寄りを示す2区東SB3・2区西SB3(A2群)に対し、より南北あるいは東西方向を志向するこれ以外の5棟(A1群)に細分できる。この2群には、それぞれ庇付3間×2間の総柱建物2区東SB1と2区西SB3が含まれ、この2棟を主屋とした2グループに分類が可能である。次項で触れるように溝群の主体方位が古代1期にはほぼ南北方向を示し、同2期は西寄りに変遷する。建物はすべて古代2期に位置付けられ、A1群とA2群の前後関係を直接的に示す要素はないが、A1群の主軸方位は古代2期の溝群の主軸方位と一致し、土地利用の方位変化を踏まえればA1がより古い時期の可能性があり、A1群(2区東SB1・2・4、2区西SB1・2)→A2群(2区東SB3・2区西SB3)への変遷が想定できよう。

中世の掘立柱建物としたのは、B群の2区東SB5～7、2区西SB4・5の5棟である。古代の掘立柱建物としたA群と比較してやや西寄りを志向し、N31°～55°Wの範囲にある南北棟(2区東SB7、2区西SB4・5)と、N31°～40°Eを示す東西棟(2区東SB5・6)がある。古代の建物群が標高3.80mまでの調査区の中では南西寄りの範囲に分布するのと比較して、東寄りの一段高い位置に分布する。2区西SB6を除き、構成Pitなどから中世の土器・陶磁器が出土しているが、いずれも小片で、詳細な時期の比定はできない。5棟の中世掘立柱建物の中では、2区東SB5が北東と南西面に庇の付く4間×2間の総柱建物で、庇を含めた平面積79.56m²と規模が大きい。ついで2区西SB4は2間×1間、平面積17.19m²の側柱建物で、鍛冶工房と推定される。他の3棟はいずれも10m²前後と規模が小さく、2区西SB4・5の周辺に配置された雑舎群と理解されよう。次節で述べるように、本調査区における中世土器の主体時期は中世2期にある。復元できていない建物が存在する可能性があり、主軸方位の相違といった問題はあるが、遺構の全体分布周辺状況から本調査区における中世掘立柱建物群は、中世2期に2区西SB5を中心として営まれた鍛冶に関連した遺構群と位置付けられる。ただし、2区東SB7については、遺構範囲に中世1期に位置付けられるSE650を含むことから、これらに先行する時期の可能性はある。



0 (1:400) 15m

以上から、本調査区における掘立柱建物については、古代2期に2区西SB1を中心とした南北方向に主軸方位のある建物群から、やや西寄りに主軸方位のある2区東SB3・2区西SB3への変化、中世2期に2区西SB4・5を中心とした鍛冶に関連する建物群という変遷が想定される。

B 井戸・土坑・性格不明遺構・畝状遺構・溝について

1) 井 戸

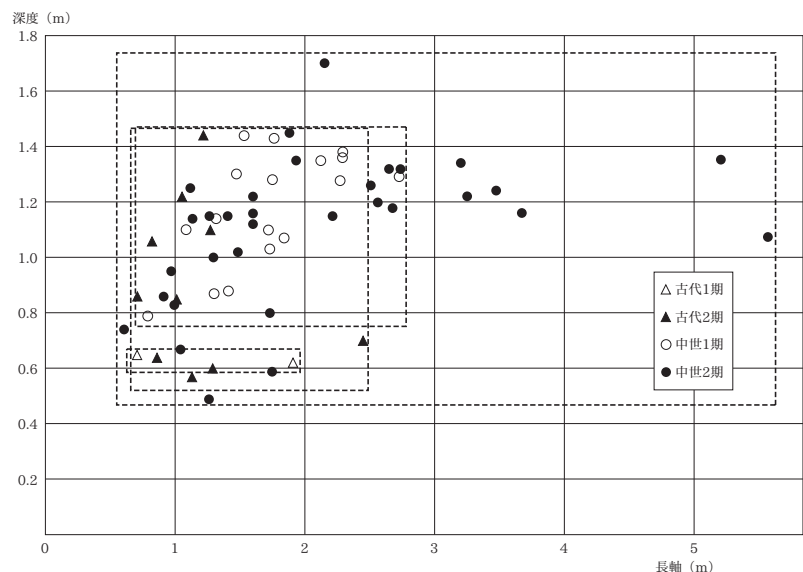
本報告範囲内では、122基の井戸が検出された。内訳は第19次調査5区東で1基、第22次調査1区で84基、2区で1基、第24次調査2区36基である。本遺跡では古代から中世にかけての遺構の重複が激しく、時期ごとの分布状況の把握が困難である。比較的攪乱の影響を受けにくい井戸について、可能な限り所産時期を分類し、時期ごとに分布状況を概観する。時期分類にあたっては、遺構内出土遺物の下限時期と切り合い状況、井戸内出土種子により実施した放射性炭素年代測定(AMS)結果から判断した。時期別の内訳は古代23基、中世96基、所属時期不明3基である。後述する遺物の詳細時期別の分類に従うと、古代については、古代1期のもの2基、古代2期12基、詳細時期不明9基、中世では、中世1期のもの16基、中世2期35基、詳細時期不明のもの45基である。

最初に形態についてみていく。第56図に詳細時期を分類し得たものについて、長軸の長さを横軸、深度を縦軸とした分布図を示した。確認できた範囲では全て素掘りで、井戸側施設の残存するものはないが、第22次1区SE601では水溜の曲物や井戸側、栈木の一部とみられる部材が出土しているなど、他にも井戸側板の存在がうかがわれるものが複数ある。平面形は、古代のものでは円形または方形のものが大多数を占めるのに対し、中世では楕円形・長方形のものが半数程度を占める。断面形は全時期を通じて鉛直方向に深い角度で掘り込む箱形あるいは台形状のものがほとんどで、古代を中心に半円状または皿状のものも一部存在する。規模の面では、古代では長軸平均が1.20m前後であるのに対し、中世1期では平均1.68m、中世2期では2.12mと次第に大型化し、長軸2.50mを超えるものはほぼ中世2期に限定される。深度の関係では古代が平均0.89mに対し、中世では平均1.07mと20cmほど深く、規模・深度ともに時期が下るとともに大きく深くなる傾向が指摘できる。

次に第22次調査1区と第24次調査2区についてそれぞれ分布状況を見ていく。井戸と建物跡の対応関係を推定して第53・55図に示した。第67・68図にはほかの遺構と合わせた変遷を示した。

第22次調査1区で井戸とした遺構は84基である。本調査区では、古代1期に位置付けられる遺構はなく、この時期の遺物も極めて少量で、古代2期を主体とする。このため、古代とした井戸10基のうち詳細時期不明の4基を含めて古代2期のものとして一括した。SE1784・1965を除き、1区西側調査区の北東から南西方向にかけて帯状に点在する。SE301が長軸2.44m、深度0.70mで断面形皿形とやや規模が大きく形状も異なるほかは、長軸0.67~1.28m、深度0.50~1.29mと比較的小規模である。この時期の建物跡は確認されていないが、遺構の重複が激しいSE558・590周辺にこの時期の建物が存在する可能性がある。

中世1期のものとした14



第56図 井戸の規模

基のうち13基はSB7周辺の遺構密集域とその周辺に集中し、東側調査区で確認されたのはSE1769のみである。長軸1.29～2.72m、深度0.87～1.44mと古代2期のものよりも規模・深度ともに大きい。配置から住居と推測される建物との対応関係を見ていくと、SE1628がSB6、SE385・1454がSB7と、SE536・540がSB8・9と、SE601がSB10とそれぞれ対応する。SE1536では底部近くの層位から呪符木簡やモモ核が出土しており、祭祀行為が行われたと推測される。中世2期としたものは21基である。調査区南側にもわずかに分布するが、中心は北寄りに移動する。前述のように長軸2.50mを超えるものはほぼこの時期に限定され、長軸5.00mを超えるSE201・1617が構築される。SE1617については、当初溜め池状の灌漑施設の可能性も考慮したが、漆器碗などの食器や水溜めに使用されたと推測される曲物側板の破片なども出土していることから、直接的に生活にかかわる機能が想定される。また、底部に近い層位で柄付の刀子が、SE500では戯れ歌とみられる文言の書かれた木簡が出土しており、それぞれ祭祀行為がうかがわれる。SE1754がSB2、SE1691がSB3、大型のSE201がSB4と対応すると考えられる。

第24次調査2区で井戸とした遺構は36基である。古代1期としたものは2基で、いずれも2区東の南端部に位置する。この時期の建物跡は確認されていないが、調査区内では最も標高の高い位置にあり、付近に居住域の存在がうかがわれる。古代2期としたものは5基である。2区西の北東寄りの13F-4Eグリッド付近から2区東の北側にかけて点在し、まとまりはない。建物との対応では2区東SE203がSB2に、詳細時期不明の2区西SE200が同SB1に隣接する。このほか詳細時期不明としたものが4基あり、すべて2区西に分布する。中世1期に位置付けられる井戸は、2区東の東端部に位置するSE650・813の2基のみである。2区東SE650は同SB7の範囲内に位置し、一体の遺構の可能性はある。本調査区における中世の土器・陶磁器の主体は中世2期にあり、同1期の遺構・遺物は極めて少ないことから、中世とした井戸20基のうち詳細時期不明の7基を含めて同期のものとして一括した。分布は2区東で5基、2区西17基で、2区西の北東側13F-3・4Dグリッドに集中がみられるほかは調査区全域に点在する。第22次調査と同様、長軸2.50m以上の井戸(2区東SE65、2区西SE9・86・230)はこの時期に限定される。2区東SE12では漆器碗や漆塗杓子、2区西SE400では、水溜の曲物が設置され、漆塗櫛が出土している。2区西SE400では、粉が付いた玄米の状態のまま火熱を被ったものを含む多量のイネ(炭化米)も確認された。また、2区西SE9では鉄製品や鍛冶関連遺物にまとまりがあり、鍛冶に関連した建物2区西SB3・5との対応が注目される。ほかに建物との対応では、詳細時期不明の2区東SE221が同SB5・6に隣接する。

2) 土坑・性格不明遺構

第19次調査5区東、第22次調査1・3区、第24次調査2区で、古代1・2期の各期を通して多くの土坑・性格不明遺構が検出されている。残存度の高い土器がまとまって出土する事例が注目される。平面形状楕円形または不整形で断面形状皿状の浅い掘り込みのものが多く、地形の落ち込みを誤認しているものも含まれるかもしれない。隅丸方形の竪穴状のものは確認されなかった。第19次調査5区東SK2や第22次調査3区SK90、SX71・105では須恵器主体、第22次調査1区SX564・1638、第24次調査2区東SK177では土師器を主体とする食膳具がまとまって出土している。また、第24次調査2区西SK545では高台部、Pit557(遺構長軸の大きさによりPitとしているが、性格としては土坑と推定)では頸部をそれぞれ打ち欠いたとみられる須恵器長頸瓶が出土している。何らかの祭祀に伴うものか、土器内部の土からは骨は検出されていないが、火葬骨を埋納した可能性がある。

3) 畝状遺構・溝

第22次調査1区では、調査区南西側の15G-7B・Cグリッドを中心に、南南西から北北東(N30°E)に延びる自然堤防状の微高地に対してほぼ直交(N30°W)方向の小溝群が検出された。溝群は北からSD508・506・495・1181・486・484・609・419・518・803・420の11条あり、畝跡と考えられる。調査区の端や他遺構との重複により全体規模は不明な点が多いが、最も長いSD495が現存長26.91m、最短のSD803が2.43m

あり、幅は0.35～0.60m、深度は0.13～0.26mで断面形状は皿形あるいは台形状を呈する。遺構埋土は地山層よりやや暗い黄褐色土のものが多い。溝の間隔はSD508～486の間で1.50～2.00mである。なお、幅(短軸)については、本項では平均的な位置で計測しており、最大値をとる別表遺構計測表とは値が異なる。出土土器の年代は、8世紀末～10世紀前半まで幅広く、中世の遺構により切られることから、概ね古代2期の範囲内に収まるものと考えられる。同調査区では、畝状遺構と同方位または直交方向の同時期に位置付けられる溝が点在するが、群としてのまとまりは認められない。

第24次調査2区東では、調査区南西端の13F・2E・2F・3Fグリッドを中心に南南東から北北西(N18～27°W)に伸びる畝状の小溝群を検出した。等高線に直交する形で、東からSD214・355・243・344・190・204・127の7条が認められる。全長が把握できるものでは、SD127が29.40mと最も長く、次いでSD204が5.80m、SD190が3.30mあり、幅は0.30～0.50m、深度は0.07～0.20m、溝の間隔は1.50～1.75mである。断面形状は皿形あるいは台形状を呈し、遺構埋土は他の古代・中世の遺構と同じ黒褐色土で、すべて単層あるいは2層である。古代2期の遺構に切れ、出土遺物も8世紀代に限られることから古代1期の遺構群と位置付けられる。なお、SD190では青白磁合子が出土しているが、遺構の形状と切り合いから混じり込みと判断し、畝状遺構群に加えた。

第24次調査2区においては、南東から北西方向(2区東SD128・149・288、2区西SD422)あるいはこれに直交する方向(2区西SD450・519)の溝が検出されている。これらは、出土遺物から前述の溝群に後続する古代2期に位置付けられる。同時期のものと想定される建物群とは方向の齟齬を生じるものの、形状や分布の状況から区画的な機能を有するものであろう。2区東SD128では、三耳形双耳瓶が上流側に口を向け、ほぼ完形の状態で出土している。やや時期の新しい土師器食膳具と相伴しており、祭祀にかかわる可能性がある。

第2節 沖ノ羽遺跡の土器・陶磁器について

A 古墳時代の土器について

沖ノ羽遺跡で出土した古墳時代の土器について検討する。沖ノ羽遺跡では第19次調査5区東と第22次調査1～3区から古墳時代の土器が出土した。すべて土師器で、須恵器は出土しなかった。古墳時代後期の土器が大半を占めるが、中期の土器も少量出土している。一括性に乏しいため、それぞれの時期の全体を概観していく。編年の位置付けにあたっては中期を川村浩司氏〔川村2000〕、後期は相田泰臣氏の編年〔相田2004〕(以下、川村編年・相田編年という)を参考にした。

古墳時代中期の土器は第22次調査1区包含層から出土した。高杯、小型壺、甕が見られる。高杯は杯部が大きく広がる形態で、「ハ」の字に開脚部破片も出土した。小型壺は口縁が内湾気味に伸び、体部は球形となる。甕の口縁部は大きく外反して伸びる。体部は球胴気味で、小さい底部が付く形態である。

同じ沖ノ羽遺跡で古墳時代中期の土器が出土したのは、新潟県が調査した第3次調査B地区〔星野ほか1996〕と新潟市(旧新津市)が調査した第15次調査〔立木・澤野ほか2008〕である。出土土器の様相を見ると、高杯は杯部と体部の境に稜が見られ、脚部は屈折脚のみである。小型壺は内湾して伸びる口縁に球胴形の体部が付く。甕は「く」の字口縁が出土している。また、少量の杯も出土している。これらの土器群は川村編年8段階に比定されている。この土器群と本報告の古墳時代中期の土器を比較すると、本報告では脚部が「ハ」の字に開脚する高杯が見られる点や、小型壺の口縁が短いなど、第3次調査B地区や第15次調査出土土器より新しい様相を示しており、川村編年9段階以降に比定されると考える。

川村編年9段階の土器群には六斗蒔遺跡〔岡安・大谷ほか2005〕がある。様相を見ると、高杯には屈折脚高杯と開脚高杯がある。小型壺の口縁はやや長い、扁平な体部となる器形もあり、本報告と類似する。一方、六斗蒔遺跡では杯・碗類が多く出土しているのに対し、本報告では見られない。川村氏は9段階を「各種小型碗類

が多数出現する段階」〔川村 2000〕としており、様相に相違点が生じている。ただ、今回の調査では土器の出土量自体が少なく、土器組成に関しては十分な資料が得られたとは言い難い。器種の欠落はあるものの、出土している器種を中心に考慮すれば、本報告での古墳時代中期の土器は川村編年 9 段階に相当すると考える。

次に、古墳時代後期の土器について概観する。資料は第 19 次調査 5 区東、第 22 次調査 1～3 区で出土した。資料を補うため包含層・工事立会で出土した土器も合わせて検討する。器種は杯・高杯・壺・甕が見られ、甕以外はすべて内黒の土器であった。杯は口縁部が外反し長く伸びる。須恵器模倣とされる、口縁部と体部の境に明瞭な段を形成する杯も少量確認される。高杯の脚部は短い。壺は口縁が内湾するものと外反するものがあり、体部は球胴形である。甕は頸部の屈曲が緩やかなものが多く、体部は肩が張るものと長胴形になるものがある。主体となるのは長胴形の形態であった。

同じ沖ノ羽遺跡で、新潟市が調査した第 18 次調査〔遠藤・澤野ほか 2014〕からも古墳時代後期の土器が出土している。土師器杯はすべて内黒で、口縁部と体部に段や稜を形成するものが一定量見られる。高杯もすべて内黒で、脚部は短脚である。甕の頸部は屈曲が緩やかで、体部は肩部の張らない長胴形と体部中に最大径を持つ形が見られる。また、TK10 型式に比定される須恵器杯身が 1 点出土している。これらの土器群は相田編年Ⅱ期を中心に一部Ⅲ期を含むと比定されている。この土器群と比較すると、本報告は須恵器の出土はないものの、杯・高杯がすべて内黒である点や、甕の形態など、ほぼ同様の様相を示していると言える。時期幅はあるが、本報告で出土した資料のみで時期を断定するのは難しいため、古墳時代後期の土器群は相田編年Ⅱ期からⅢ期の範疇と捉えておく。

B 古代の土器について

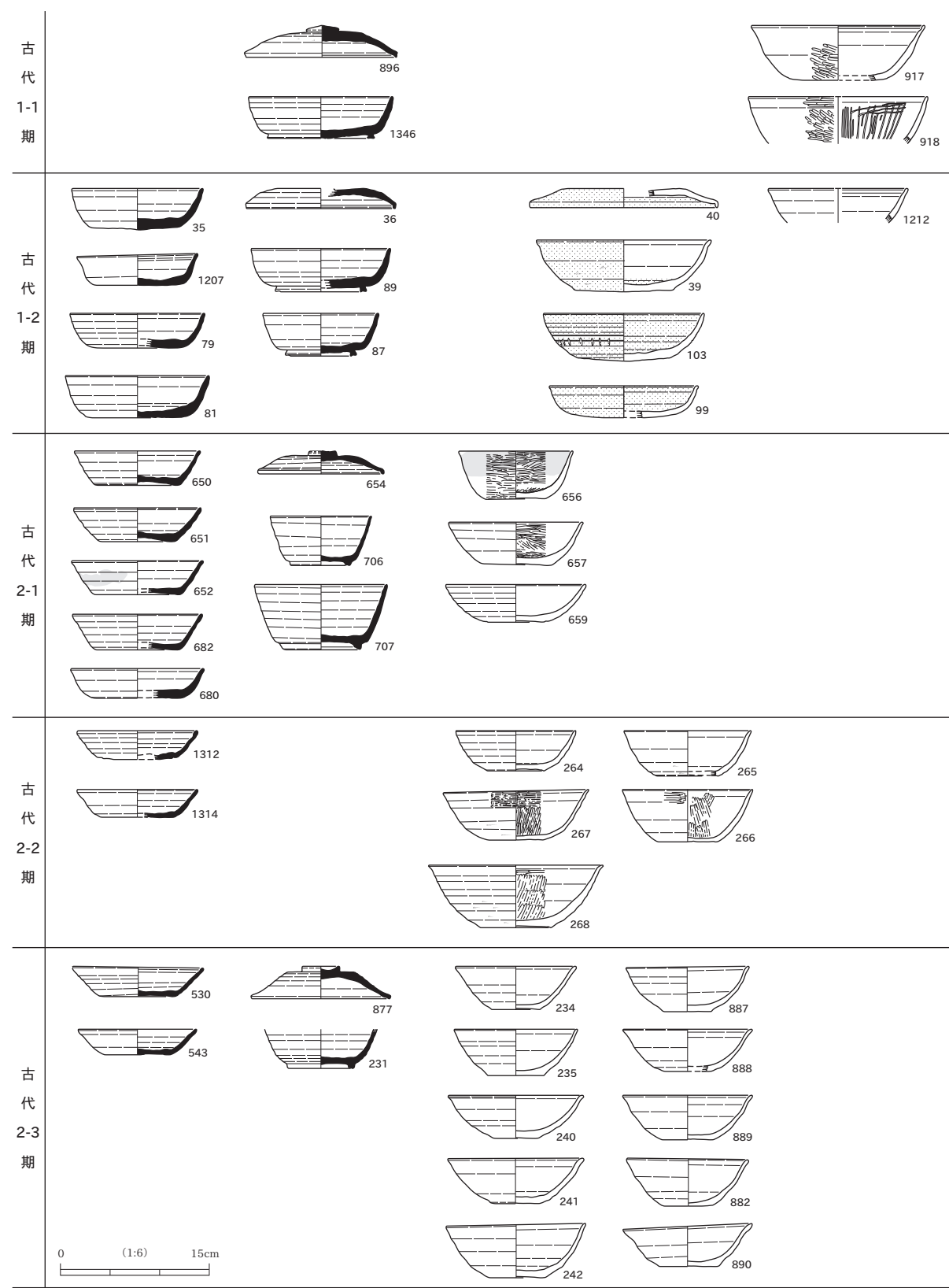
沖ノ羽遺跡では古代の土器が多く出土した。このうち遺構から出土したのは全体の 4 割程である。これら遺構出土土器は中世遺構に混入して検出されることも多く、良好な一括資料は少なかった。ここではある程度の時期的なまとまりを持った土器群が出土した遺構を中心に、時期ごとの様相を概観していく。

今回の調査で出土した古代の土器は 8～9 世紀代のものが主体を占める。これを大きく二分し、前半を古代 1 期、後半を古代 2 期と設定し、主要遺構で出土した土器群の様相から、各期をそれぞれ細分した（第 57 図）。また、主要遺構の器種組成図を第 58 図に示した。組成比は口縁部残存率をもとに算出している。

古代 1-1 期は、第 24 次調査 2 区東 SK881 や SK907 を指標とした。土師器煮炊具が主体で、須恵器は小片のみの出土である。土師器煮炊具はロクロ成形と非ロクロ成形が見られる。体部調整はハケメを行うものが多い。土師器食膳具では非ロクロ成形の無台碗が出土した。丁寧なミガキが施され、口縁端部が丸く肥厚する畿内に系統を持つ無台碗で、内面には暗文を施すものもある。当該期の須恵器としては、上記の遺構以外の出土であるが杯蓋 896 と有台杯 1346 が挙げられる。杯蓋 896 は口径が大きなⅢ類で器高が高く、扁平な擬宝珠型の摘みを持つ。有台杯 1346 は口径・底径ともに大きな箱型を呈するⅠ3類で、高台径も大きく底部の際に付く形態である。どちらも胎土は A 群であった。これらの様相から春日編年で概ねⅢ期に並行する時期であると考えられる。

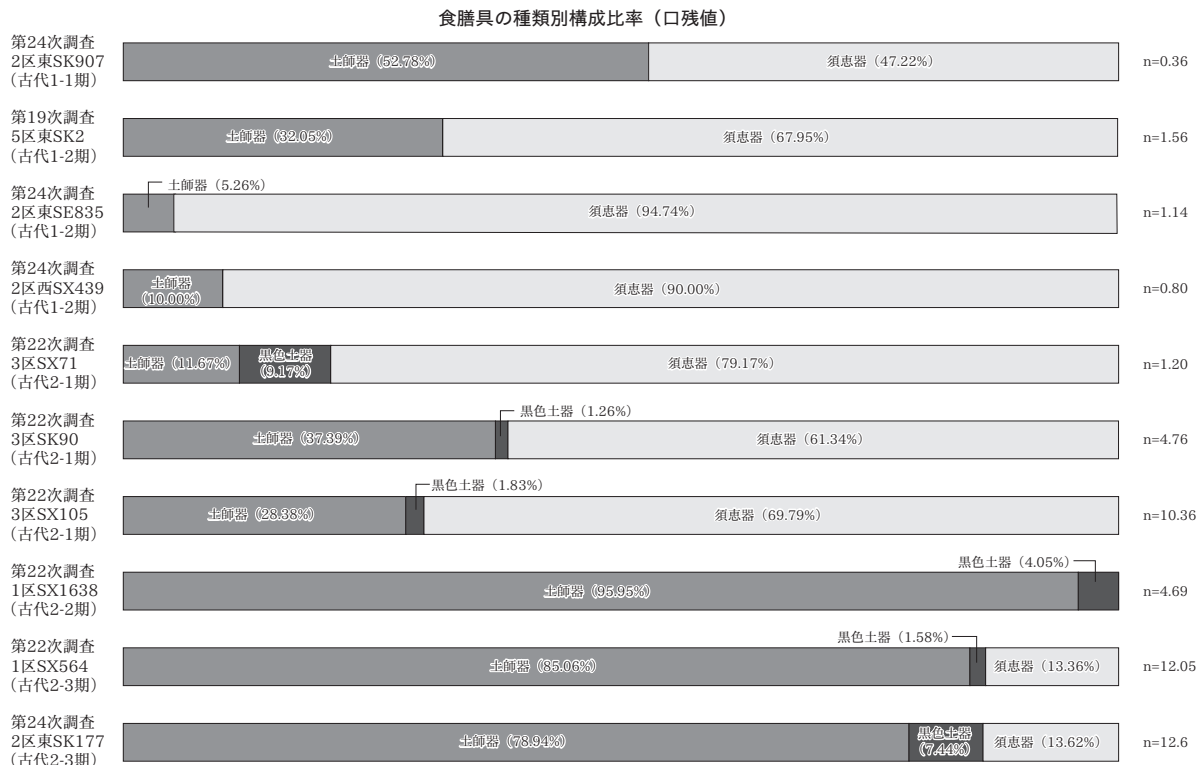
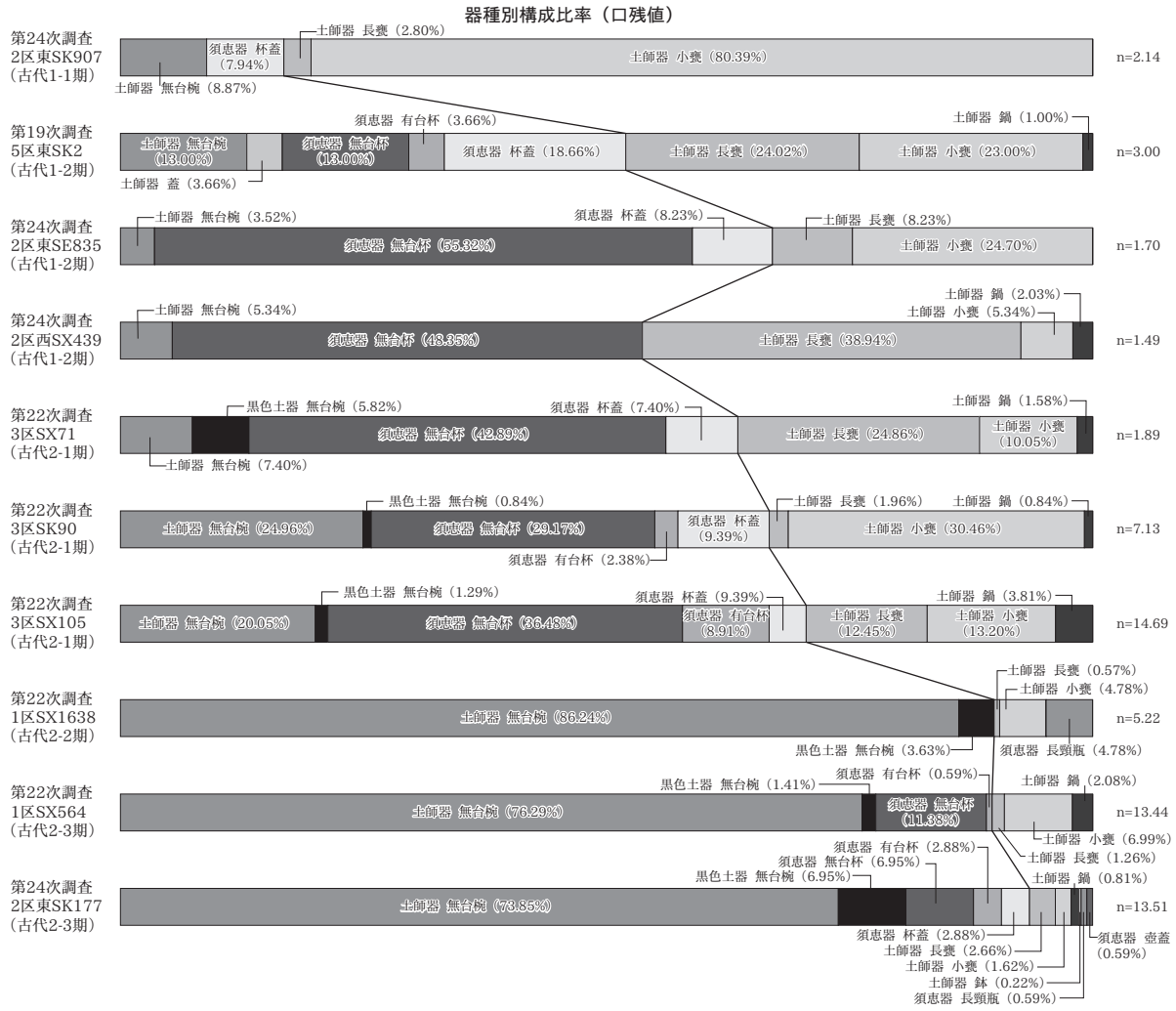
古代 1-2 期は第 19 次調査 5 区東 SK2、第 24 次調査 2 区西 SX439 を指標とした。このほかに第 19 次調査 5 区東の包含層出土土器群が挙げられる。包含層ではあるが出土範囲は限定的で時期的にもまとまっているため、検討資料に加えた。当期では須恵器食膳具の出土が増え、食膳具での比率が 60% 以上を占めており、なかでも胎土 C 群が主体となっている。土師器食膳具は赤彩された無台碗と蓋が一定量確認できる。また、畿内系の無台碗も見られるが、前段階より小振りの形態であった。土師器煮炊具はロクロ成形の B 類が中心で、口縁端部は丸く収まる a 類が多い。体部調整はカキメのほかにハケメを施すタイプも散見される。これらの土器群は春日編年Ⅳ期の範疇に収まると考える。

古代 2-1 期は第 22 次調査 3 区 SK90・SX71・SX105 を指標とした。食膳具での比率は古代 1-2 期と変わらず須恵器が 70% 前後を占めるが、胎土 B 群が C 群を凌駕し主体となる。土師器食膳具の比率も増加し、黒色土



| | | | |
|--------|-------------------------------------|--------------------------------|-------------------------|
| 古代1-1期 | 896 : 24次2区東SK227 | 917・918 : 24次2区東SK907 | 1346 : 24次2区西包含層 |
| 古代1-2期 | 35・36・39・40 : 19次5区東SK2 | 79・81・87・89・99・103 : 19次5区東包含層 | 1207・1212 : 24次2区西SX439 |
| 古代2-1期 | 650～652・654・656・657・659 : 22次3区SK90 | 680・682 : 22次3区SX71 | 706・707 : 22次3区SX105 |
| 古代2-2期 | 264～268 : 22次1区SX1638 | 1312・1314 : 24次2区西包含層 | |
| 古代2-3期 | 231・234・235・240～242 : 22次1区SX564 | 530 : 22次2区SK41 | 543 : 22次2区SK137 |
| | | 877・882・887～890 : 24次2区東SK177 | |

第57図 沖ノ羽遺跡古代土器変遷図 (S=1/6)



第 58 図 主要遺構別器種組成図

器も一定量確認できるようになる。土師器無台碗は底径指数が44前後で体部が内湾しながら立ち上がる形態が出現する。底径が大きくやや浅身の器形が主体であるが、体部が大きく開いて立ち上がるものなど、多様な形態が見られる。古代1期にあった赤彩される無台碗は見られなくなる。土師器煮炊具はすべてロクロ成形のB類で、口縁端部が摘まれるc類が大半を占める。SX105の土師器煮炊具は口縁端部の摘み上げがSK90やSX71より長い形態が多く新相を示すが、全体の器種構成比率ではSK90・SX71と同様の値を示すことから、遺構の所属時期としては古代2-1期として捉えられよう。春日編年では概ねV期に対応すると考える。

古代2-2期は第22次調査1区SX1638を指標とした。今段階になると、土師器無台碗の比率が急増する。古代2-1期では全体の20%程度であったのが80%前後にまで増加し、器種全体の中で主体を占めるようになる。前段階より深身の器形が多く、体部が内湾して立ち上がるものが中心となる。土師器煮炊具はBc類が多く、口縁端部は強く摘まれる。須恵器食膳具はSX1638では凶化できるものはなかったが、胎土B群の食膳具が伴うと推察される。このような様相は春日編年VI1期に比定されると考える。

古代2-3期は第22次調査1区SX564を指標とした。ほかに第24次調査2区東SK177が挙げられるが、一部古代1期の土器(875・876・894)が混入していたため、これらを除く土器群で検討した。古代2-2期同様、土師器無台碗が器種全体の主体を占める。古代2-2期と器形は類似するが、底径が小さくなり、口縁端部で外反するC類が増加する傾向にある。このほかに、砂質が強い胎土でロクロナデが強く残り、体部の開きが大きい形態も見られる。須恵器は胎土B群の食膳具がわずかに伴う。土師器煮炊具は口縁端部が長く伸びるBc類のみの出土である。口縁端部が上下に拡張する長甕や、頸部に屈曲しない鍋も今期の範疇であろうと考える。これらの様相は、春日編年VI2・3期を中心に一部VII1期を含む時期に相当すると考える。

これまで行ってきた調査から沖ノ羽遺跡出土の古代土器は春日編年V・VI期に主体を持ち、VII期まで継続する、という年代観が得られている〔石川ほか1994、星野ほか1996、細野ほか2002、春日2003a、北村・菊地ほか2004、立木・澤野ほか2005・2008、遠藤・澤野ほか2014〕。今回の調査では春日編年III期の土器が定量確認でき、周辺の遺跡に先行して8世紀前半には集落が成立していたことが推察される。春日編年IV期(8世紀中～後期)には土器出土量が増加し、集落が安定的に営まれていたと考えられる。その後はこれまでの沖ノ羽遺跡同様、春日編年V～VI期で遺物量は増加し、VII1期まで継続して土器が確認できる。

隣接する第18次調査2・3区、第19次調査1・2区〔遠藤・澤野ほか2014〕では施釉陶器や墨書土器が多く出土し、瓦塔や仏鉢形土器など仏教関係の遺物も多く確認された。遺物の状況から9世紀後半から10世紀初頭を主体とした、仏堂施設を持つ有力者の存在する集落とされている。一方、本報告では施釉陶器や墨書土器の出土は第18・19次調査と比較して少ない。そのほかにも裕福さを示す様な遺物はほとんどみられないことから、周辺の遺跡より成立時期は早いものの、9世紀代では一般的な集落を示す土器様相であると考えられる。

C 中世の土器・陶磁器について

今回の調査では主に第22次調査1区と第24次調査2区から中世の遺物が出土した。特に第22次調査1区でまとまった出土が見られたが、遺構からは散発的な出土が多く、時期ごとの組成等を示すことはできなかった。よって本稿では各種別ごとに年代を見ていくこととする。中世の土器・陶磁器としては、青磁、白磁、青白磁、瀬戸・美濃焼、珠洲焼、珠洲系陶器、中世土師器が出土している。

青磁は同安窯系と龍泉窯系が出土した。同安窯系は主に第22次調査1区から出土しており、12世紀中頃から後半に位置付けられる。龍泉窯系は12世紀中頃から14世紀後半までの資料が確認された。このうち内外面無文または内面に劃花文を有する一群は同安窯系と同時期の12世紀中頃から後半とされる。ただ、本報告では同安窯系とともに珠洲II期の遺物と共伴することが多い。一方、外面に連弁文を有する一群も出土している。これらは13世紀前半に位置付けられているが、本報告では13世紀後半の遺物とも共伴している。このほかに高台の断面が尖り気味で高台内部も施釉される個体が出土した。これらは龍泉窯系青磁のなかでも優品とされ、

13 世紀中頃から 14 世紀初頭前後に位置付けられる。また、高台の作りが粗いものが 1 点出土しており、14 世紀初頭から 14 世紀後半の資料と推定される。

白磁はすべて第 24 次調査 2 区から出土した。口禿げの椀と皿があり、13 世紀中頃から 14 世紀初頭前後に位置付けられる。青白磁は合子の蓋が第 24 次調査 2 区東から 1 点出土している。

瀬戸・美濃焼は第 22 次調査 1 区包含層から出土した。完形の平椀が 1 点のみ出土し、他の器種は見られなかった。時期は 15 世紀とした。

珠洲焼は珠洲Ⅰ～Ⅴ期にわたって出土している。珠洲Ⅰ・Ⅱ期に比定されるものが多く、壺・甕類のうち時期を特定できたものはすべて珠洲Ⅰ・Ⅱ期の範疇であった。Ⅲ期には減少するが、Ⅳ期で再び増加する。一方、珠洲Ⅴ期に位置付けられるものは片口鉢 1 点のみで、これ以降、確認できなくなる。北沢窯産と推定される北越窯産陶器は珠洲Ⅰ期の珠洲焼と共伴していることから、12 世紀後半に比定した。

中世土師器は破片数の割合で最も多く出土している。ロクロ成形で底部が糸切りの皿が多く出土しており、このうち小型で底部が厚く、口縁が直線的に伸びる形態が主体を占める。この形態の皿は 12 世紀後半～13 世紀の範疇に位置付けられ、特に 12 世紀後半が中心と考える。これに椀形の皿が伴う。同じく底部糸切りで、底径が大きく器壁の厚さがほぼ一定になる形態の皿は 13 世紀代の資料と推定される。ロクロ成形で底部がヘラ切りの皿は 13 世紀後半～14 世紀が主体となろう。手づくね成形の皿はそれほど多くないが一定量出土しており、13～14 世紀代の範疇の資料であると考えられる。

これら土器・陶磁器の様相と珠洲編年を参考として、本報告の中世を 2 時期に分け、中世 1 期、中世 2 期と設定した。

中世 1 期は 12 世紀後半から 13 世紀前半とした。珠洲Ⅰ・Ⅱ期に相当する。珠洲焼は片口鉢が主体であるが、壺・甕類も多く出土している。北越窯産陶器も確認される。輸入陶磁器では青磁と青白磁が出土している。青磁は同安窯系と龍泉窯系が確認された。中世土師器はロクロ成形が主体で、なかでも底部が厚く小型の皿が多く出土している。

中世 2 期は 13 世紀後半から 15 世紀とした。珠洲Ⅲ～Ⅴ期に相当する。珠洲焼は片口鉢が主体で、壺・甕類は減少する。輸入陶磁器は青磁と白磁が確認された。青磁は龍泉窯系のみで、優品と思われる製品も出土している。白磁はすべて口禿げであった。中世土師器は当期もロクロ成形が主体で、底部ヘラ切りの皿が新たに確認される。手づくね成形皿は前段階から出現していたと考えるが、当期で出土量が増加する。当期後半の 15 世紀には瀬戸・美濃焼と珠洲焼がわずかに見られる程度で、15 世紀後半には遺物は確認できなくなる。

同じ沖ノ羽遺跡で新潟市が調査した第 18・19 次調査〔遠藤・澤野ほか 2014〕でも中世の遺物がまとまって出土している。中世土師器が主体で、次いで珠洲焼が多く、輸入陶磁器が少ないという様相は本報告と類似する。ただ、本報告では同安窯系の青磁や龍泉窯系の優品が出土している。中世土師器皿については第 18・19 次調査でもロクロ成形が主体を占めており、なかでも底部糸切りで底径が大きく浅身の皿多く出土しているのに対し、本報告では同様の形態はあまり見られず、底部が厚く口縁が直線的に伸びる小皿が主体となる。また、珠洲焼では第 18・19 次調査は珠洲Ⅲ・Ⅳ期が最も多いのに対し、本報告は珠洲Ⅰ・Ⅱ期が多く出土している。このように、主体となる時期や土器様相に多少の相違点はあるものの、両者とも 12 世紀から 15 世紀にわたり遺物が継続的に出土しており、本報告と第 18・19 次調査はほぼ並行して存続していたと考えられる。

D 三耳瓶（三耳形双耳瓶 986）について

沖ノ羽遺跡では、3 か所に把手状の耳を有する瓶（986 以下、三耳瓶）が出土している。三耳瓶については北陸系とみられ、新潟県内での出土例が少ないことから、概要を記して若干の考察を行う。沖ノ羽遺跡出土資料については、厳密には「長胴瓶（瓶 D）」または「双耳瓶三耳形態」という呼称が適切と思われるが〔北野 1999〕、県内先出事例〔笹澤 2003b〕から「三耳瓶」の呼称を用いる。なお、以下の記述において、特に断りなくローマ

数字のみで表記される年代は、田島編年〔田島 1988〕を表し、暦年代観は各氏の論考より引用した。誤りがあれば筆者の責によるものである。

沖ノ羽遺跡出土三耳瓶について整理しておく。第24次調査2区東SD128（以下、SD128）において、溝方向と平行に横位で出土した（写真図版190）。口縁の一部を欠損するのみで、ほぼ完形である。法量は、器高34.2cm、口径13.5cm、底径14.2cm、胴部最大径24.4cm、実測図からの復元容量は約7.9リットルである。両肩部の相対する位置および胴部上半の3か所に把手状の耳が付く。両肩部の耳は厚さ1.4cm、全長7cm、胴部の耳はこれよりやや大きく厚さ1.8cm、全長11cmである。内径0.8～1cmの穿孔がそれぞれ1か所施され、耳部下半に段を有する。穿孔部周辺には使用に伴う磨滅痕は見られない。胴部外面下半にはタタキメおよびヘラケズリ痕が残る。肩部から頸部へは鋭く立ち上がり、頸部は別作り成形後に接合したものと考えられるが、明瞭な接合の痕跡は確認できない。胴部内面に当て具痕はなく、丁寧なロクロナデが施されており、胴部から肩部の成形技法は不明である。底部に高台は付かず平底で、ヘラ状工具による擦過痕が残る。胎土には直径1～3mm程度の長石・石英を多く含み、A群阿賀北産の特徴を示す。共伴資料としては、須恵器有台杯（985）・土師器無台碗（987～992）があり、須恵器有台杯は新津丘陵産と推定され春日編年IV2～V期に、土師器無台碗は春日編年VI2・3期～VII期に位置付けられる。共伴遺物には時期差があるが、下限時期から遺構の埋没時期は春日編年VI2・3期～VII期と考えられる。

三耳瓶について、県内消費遺跡で本遺跡を含めて3例、中部・関東・東北の生産遺跡では管見の限り5窯跡群で類例を確認できた（第59図）。

北陸では、福井県鯖江市の丹生古窯群（第59図3〔田中 1988〕）と石川県小松市の南加賀窯跡群（第59図4～8〔望月 2002、宮下・望月 1989、石川県教委 1975〕）において三耳瓶の例がある。丹生古窯群樫津古窯で採集された三耳瓶は第59図2の大戸窯のものと類似した耳部と容量を有する。南加賀古窯群では、二ツ梨一貫山窯跡〔望月 2002〕、二ツ梨横川1号窯跡〔宮下・望月 1989〕、戸津5号窯跡〔石川県教委 1975〕で出土がある（第59図4～8）。望月精司氏が三耳形の双耳瓶について「出現期であるIV1期（8世紀中頃：筆者註）には両耳の中央下位にもう一つの把手がつけられる三耳形態を呈していたものであり、釣瓶のように使われる耳の配置が本来の把手の機能であったと思われる。」とされ、その時期と変遷について、「三耳形態は出現期のみで、V期（9世紀前葉～中頃：筆者註）には双耳形態へほぼ移行してゆくが、大型にのみ三耳形態が残存する。V1期の戸津5号窯〔石川県教委 1975〕で大型品に確認できるし、VI2期（9世紀後葉）まで残存が確認できる」とまとめられている〔望月 2002〕。また、北加賀・能登地方の古代須恵器貯蔵具についての論考の中で出越茂和氏は、双耳瓶について、「北陸に広く流通している平安時代を代表する器種の一つであり、（中略）8世紀後半に3耳タイプが出現し、独自の耳を付加し、V期以降発達する。（中略）V期の摘まみは小振りで1・2孔を原則とするが、VI期には鱗状に肥大化して体部下半まで延び3孔が出現する。北陸以外では摘まみの肥大化はあまり顕著でない。口頸部や体部の器形から液体性容器と推測されるが、容量は小2～4ℓ、中4～7ℓ、大8～13ℓの3法量に分かれ、大型品はV期以降出現する。」とされている〔出越 1999〕。

北加賀～越中の窯跡の中で、立山町上末釜谷窯においても、南加賀古窯群よりやや遅れてIV2期には双耳形双耳瓶の生産が始まり、V2期には大中小の3法量へ分化し、VII1期まで生産が確認されている〔武田・青山・内田 1999〕が、同地域では他の古窯群を含めて三耳瓶の生産はされないようである。

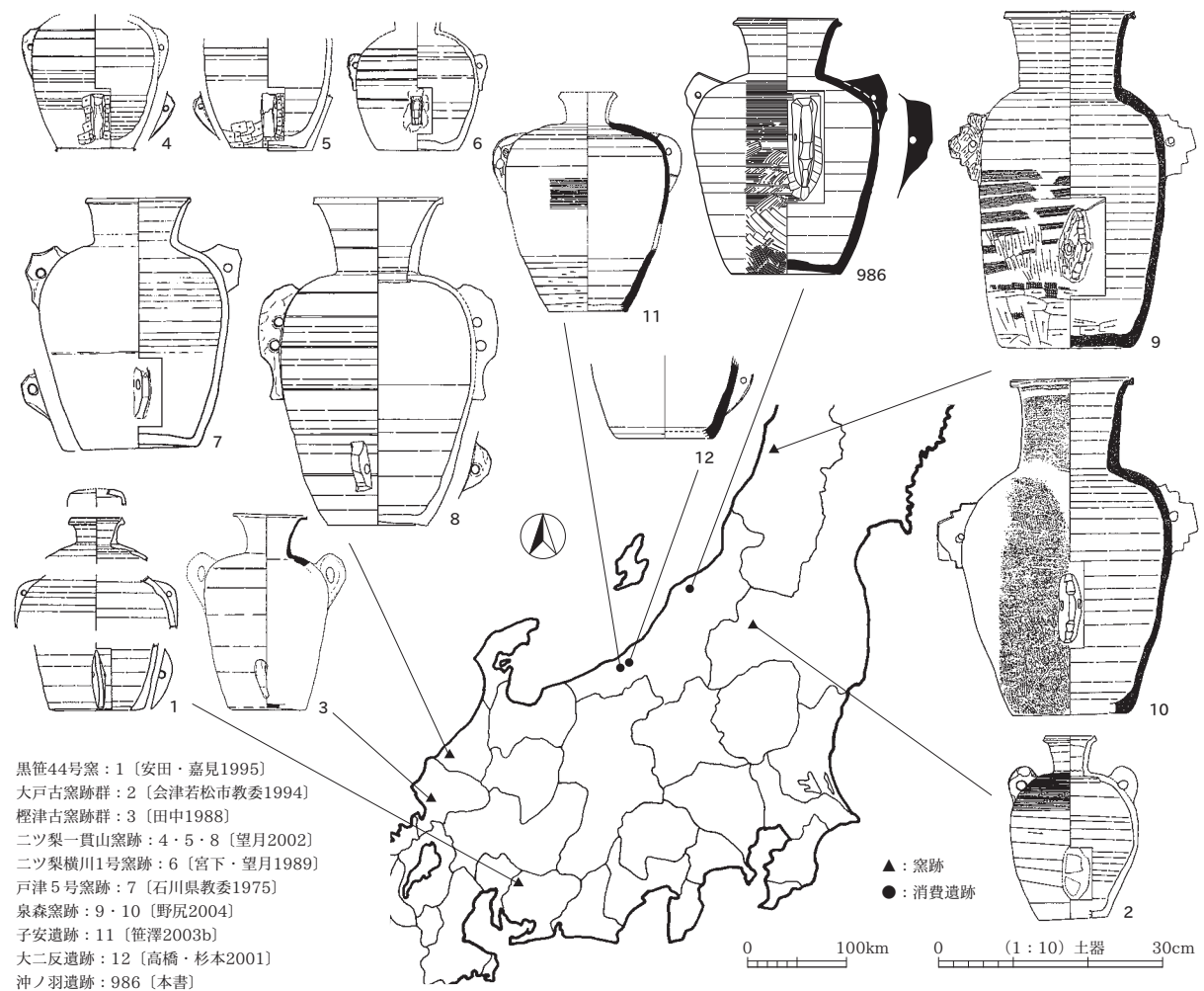
山形県泉森窯では、2点の三耳瓶（第59図9・10）が出土している。同窯跡は、平安時代の国府と推測される城輪柵跡に製品や瓦を供給したと考えられ、9世紀第1四半期に位置付けられている〔野尻 2004〕。短い角形の耳部や大型に分類される器形は、北陸の影響を受けたものであろう。周辺や以北では双耳形を含めて類似する器種の生産は確認できない。

愛知県猿投窯群では、篠岡81号窯〔中嶋 1982〕・折戸80号窯〔日進町教委 1978〕・黒笹44号窯（第59図1）〔安田・嘉見 1995〕において三耳瓶が出土している。篠岡81号窯・折戸80号窯は底部付近の耳部および底部の

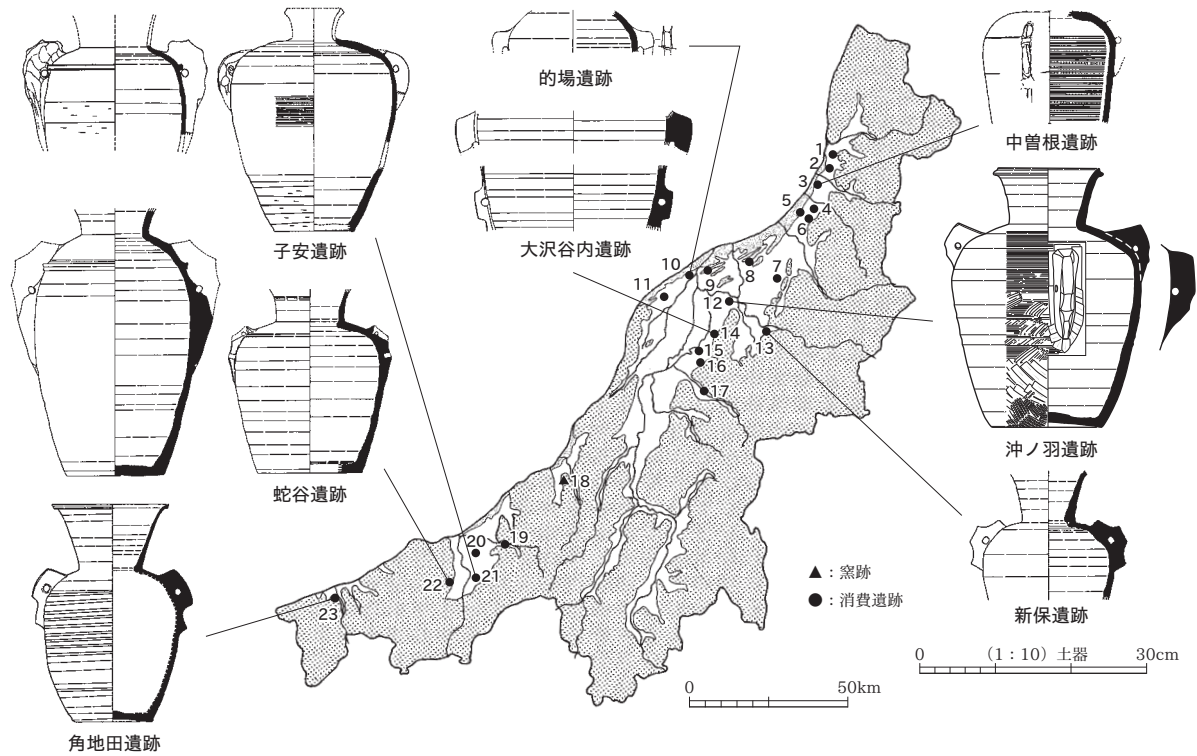
みの出土で、黒笹 44 号窯では口縁および肩部片もあるが、全体形を復元できる資料はない。いずれも丸みを帯びた耳部を有し、復元底径 11.2 ~ 12.4cm と本遺跡資料より一回り細く小ぶりな器形である。尾野善裕氏によれば「双耳瓶はV期（8世紀中葉～：筆者註）以降にしか認められない器形」とされ〔尾野2000〕、三耳瓶の出土している3窯跡はいずれも8世紀前葉～後葉の双耳瓶が認められる初期段階に位置付けられる。双耳瓶は二耳形態となり丸形の耳部や頸部形状、法量の変化は少なく9世紀後半まで生産されるようである。また、長野県中野市清水山窯跡〔土屋ほか1997〕では、環状把手に近い耳部を有する二耳形双耳瓶の出土がある。猿投窯や岐阜県美濃須衛窯の影響を受けたとされる福島県大戸窯群の例（第59図2、南原33号窯出土：8世紀後葉〔会津若松市教委1994〕）では器形や、初段階にのみ三耳瓶が存在する状況も類似する。管見の限り関東及び大戸窯跡を除いた東北太平洋側では、双耳瓶の生産は確認できない。

生産地の状況を踏まえ、新潟県内における三耳瓶を含む双耳瓶の出土状況についてみていきたい。抽出にあたっては、器形全体を復元できるものが極めて少ないことから、報告書掲載の図・写真から双耳瓶の耳部の可能性のあるものを極力取り上げた。管見の限り23遺跡27点の出土がある（第60図）。主なものについて概要を述べる。

磐舟・沼垂・蒲原郡域の下越では沖ノ羽遺跡を含む16遺跡で18点の出土がある。中曾根遺跡〔青木ほか2006〕では、平安時代の自然流路から耳部を欠く肩部片1点が出土している。耳は1孔で、胎土はやや粗とされ、阿賀北産の可能性もある。中倉遺跡〔吉村2003〕では、包含層で小形1孔の耳が付く肩部片1点が出土している。耳部が双耳瓶のものとしては小さく、四耳壺の可能性もある。腰廻遺跡〔川上2002〕では、自然流路から丸い小形1孔の耳部と体部上半から肩部に突帯が付く双耳瓶2点が出土している。全体形状や法量は前述の福島



第59図 三耳形双耳瓶の分布



| No. | 遺跡名 | 種別 | 時期 | 出土点数 | 出土状況ほか | 文献 | 備考 |
|-----|-----------|-------|------------|------|-----------------|----------------|------------------|
| 1 | 樋渡遺跡・堀下遺跡 | 集落跡 | — | 1 | SX45 (自然地形落ち込み) | [田辺・大賀2002] | |
| 2 | 道上遺跡 | 集落跡 | — | 1 | 包含層 | [田辺・土生2001] | |
| 3 | 中曾根遺跡 | 集落跡 | 8C~10C | 1 | SR1 | [青木ほか2006] | |
| 4 | 中倉遺跡 | 集落跡 | 8C~9C | 1 | 包含層 | [吉村2003] | |
| 5 | 下町坊城遺跡 | 集落跡 | 8C~17C | 1 | 包含層 | [水澤2001] | |
| 6 | 蔵ノ坪遺跡 | 集落跡 | 8C~9C | 1 | SD812 | [飯坂ほか2002] | |
| 7 | 腰廻遺跡 | 集落跡 | — | 2 | SR7・13 | [川上2002] | |
| 8 | 新五兵衛山 | 集落跡 | 8C~9C | 1 | 包含層 | [関ほか1989] | |
| 9 | 山木戸遺跡 | 集落跡 | — | 2 | 包含層・客土 | [諫山2004] | |
| 10 | 的場遺跡 | 集落跡 | — | 1 | 包含層 | [小池・藤塚1993] | |
| 11 | 前田遺跡 | 遺物包蔵地 | — | 1 | 包含層 | [廣野2000] | |
| 12 | 沖ノ羽遺跡 | 集落跡 | 8C前半~10C | 1 | SD128 | [本書] | |
| 13 | 新保遺跡 | 集落跡 | 9C | 1 | SK47 | [山崎・鈴木ほか2004a] | |
| 14 | 大沢谷内遺跡 | 集落跡 | 9C末 | 1 | 9区SB3 | [相田・金田ほか2015] | |
| 15 | 道下遺跡 | 集落跡 | — | 1 | C区SI01上面 | [田畑1994] | |
| 16 | 長沢遺跡 | 遺物包蔵地 | — | 1 | 包含層 | [田畑2002] | |
| 17 | 飯田五輪峠遺跡 | 遺物包蔵地 | — | 1 | — | [金子ほか1977] | |
| 18 | 雨池窯跡 | 窯跡 | 9C前半? | 1 | — | [笹澤1999] | |
| 19 | 大二反遺跡 | 集落跡 | 8C後半~9C前半 | 1 | — | [高橋・杉本2001] | 三耳瓶 |
| 20 | 保坂遺跡 | 集落跡 | 8C前半~10C前半 | 1 | 包含層 | [小島・中西ほか1997] | |
| 21 | 子安遺跡 | 集落跡 | 9C後半~10C前半 | 2 | SD309 | [笹澤2003b] | 三耳瓶 1点 北陸系双耳瓶 1点 |
| 22 | 蛇谷遺跡 | 集落跡 | 9C中葉~11C初頭 | 2 | 456 : Pit49 包含層 | [土橋2005] | 456 : 富山上末窯搬入 |
| 23 | 角地田遺跡 | 集落跡 | 10C中葉 | 1 | SD853 | [實川ほか2009] | |

※時期は、各文献の記載による。または、出土遺構時期。

第60図 県内の双耳瓶出土遺跡

県大戸窯のものに類似するが、耳の形状はほかに類例がなく異質である。新保遺跡〔山崎・鈴木ほか2004a〕では、SK47で須恵器無台杯と共伴して頸部から胴部片が出土している。肩部に北陸系古相に類似する短い1孔の耳部が付き、胎土には石英・長石を多く含むとされ、阿賀北産の可能性がある。下町坊城遺跡〔水澤2001〕、蔵ノ坪遺跡〔飯坂ほか2002〕、新五兵衛山遺跡〔関ほか1989〕では、整形が比較的粗く、角形で短い1孔の耳部がそれぞれ1点出土している。蔵ノ坪遺跡、新五兵衛山遺跡のものは胎土に長石・石英を多く含む阿賀北産の特色を示す。一方、山木戸遺跡〔諫山2004〕、前田遺跡〔廣野2000〕では、胎土精緻で丁寧に整形された耳部片が包含層から出土しており、荒川以北の樋渡遺跡・堀下遺跡〔田辺・大賀2002〕・道上遺跡〔田辺・土生2001〕や、田上町道下遺跡〔田畑1994〕・長沢遺跡〔田畑2002〕でも類似する耳部の出土がある。

また、大沢谷内遺跡〔相田・金田・八藤後ほか2015〕では、北陸系の新相に存在する鱗状の耳部が付くものが掘立柱建物の柱穴から出土しており、的場遺跡〔小池・藤塚1993〕のものもこれに類似する。いずれも阿賀北窯産とは異なる精緻な胎土を有し、丁寧な整形が施される。

古志郡を中心とする中越では2遺跡2点の出土で、飯田五輪峠遺跡〔金子ほか1977〕では角形で短い1孔の耳部が1点、雨池窯跡〔笹澤1999〕で双耳瓶の耳部および体部が出土している。

頸城郡域の上越では、5遺跡で7点出土している。子安遺跡〔笹澤2003b〕では、農業用水路や運河に類する機能を有していたとされる大溝SD309の4層で、東海系のものに類似する三耳瓶と長い鱗状1孔の耳が付く北陸型の双耳瓶が出土しており、同遺構4層出土遺物は10世紀第1四半期に位置付けられている。大二反遺跡〔高橋・杉本2001〕では、体部下部に丸形1孔の耳が付く三耳瓶が出土しており、蛇谷遺跡〔土橋2005〕では、富山県上末窯からの北陸系双耳瓶の搬入や頸城西窯群での双耳瓶生産の可能性が指摘される。角地田遺跡〔實川ほか2009〕では、10世紀中葉の一括遺物があるSD853で時期差のある完形に近い北陸型の双耳瓶が出土している。

分布の上では、磐舟・沼垂・蒲原郡域に全体の7割があり、古志郡・魚沼郡域では、雨池窯跡で生産が確認されるものの、流通は確認できずほぼ空白域となり、頸城郡域に3割が分布する。佐渡での出土はない。阿賀北窯では、双耳瓶の出土は確認できないものの、9世紀前半の五頭山西麓窯跡群狼沢窯跡では戸津窯跡群のものに類似した長頸瓶の生産が認められ〔笹澤2004〕、中曽根遺跡、新保遺跡などの事例から、沼垂郡を中心とする地域に阿賀北窯産の北陸系双耳瓶が一定量生産流通していたことが確認できる。一方、大沢谷内遺跡・的場遺跡では、産地不明の北陸系双耳瓶がみられ、山木戸遺跡をはじめとする円形に近い1孔耳部を有するものを含め、胎土・形状が異なる特徴を有することから、他地域からの搬入品の可能性を指摘しておきたい。上越地方では子安遺跡の三耳瓶に猿投窯群など東海地方との関係を見ることができ、子安遺跡・角地田遺跡・蛇谷遺跡出土の双耳瓶は富山県上末窯をはじめとする北陸地方の影響が認められる。

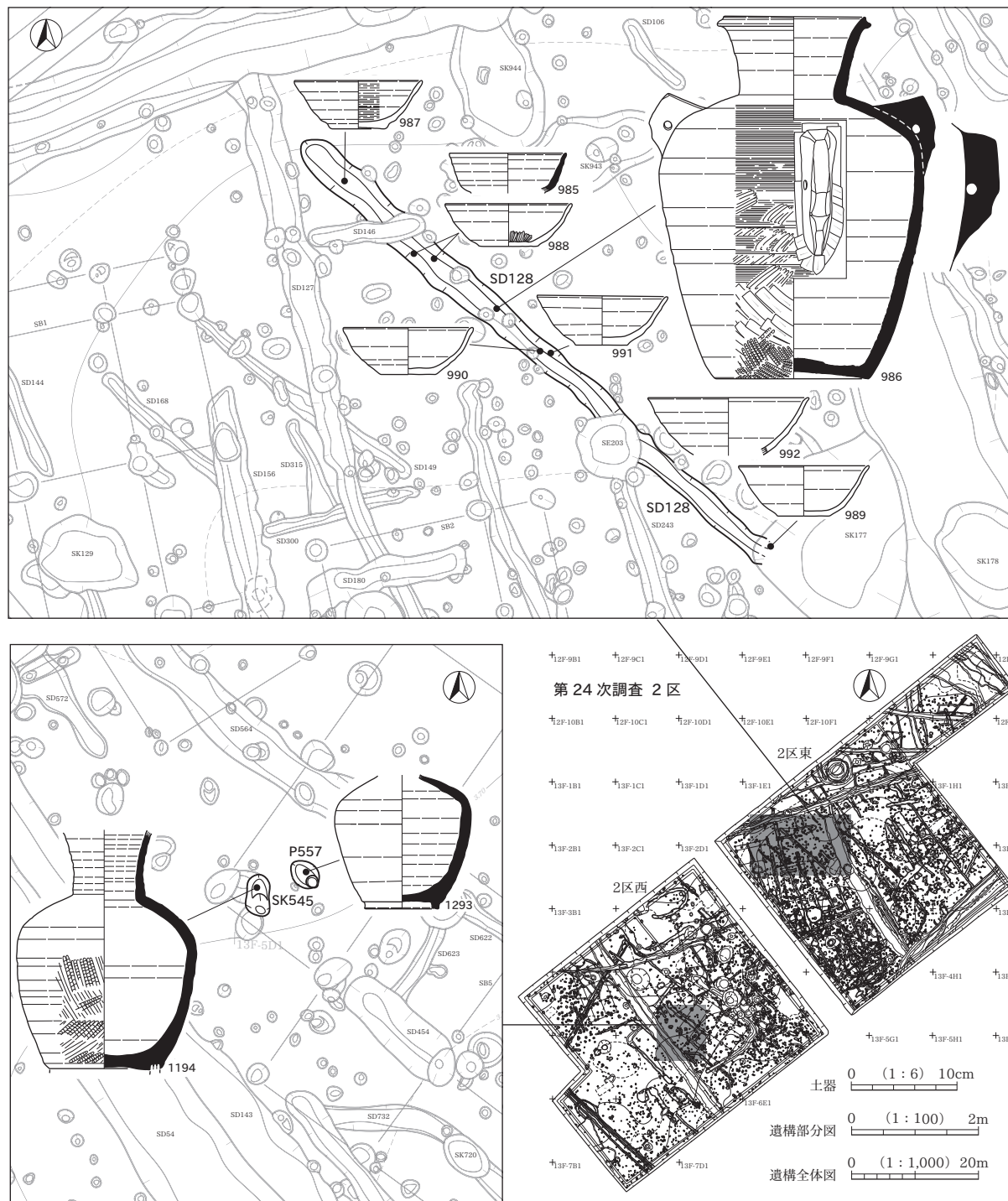
以上から沖ノ羽遺跡の三耳瓶は、北陸の影響を強く受け阿賀北窯で生産されたと考えられる。容量の面からは南加賀古窯群の中でも戸津5号窯の大型ものに最も近く、同窯跡群双耳瓶初現期の8世紀中葉～後半まで遡るものではないであろう。また、三耳形の形態をとってはいるが、本来胴下部に付くべき耳が肩部に近い位置にある。北陸系としては垂流に属すと考えられる山形県泉森窯の三耳瓶においても忠実に下部に取り付けているのとは対照的で、本来の三耳形態を志向しているのではなく、二耳形の双耳瓶として作っている可能性もある。阿賀北地域の須恵器生産は基本的に北陸系の技術技法で製作され、8世紀末以降の生産地の増加や製作技法の変化について笹澤正史氏は、「須恵器生産全体にかかわるような工人が移動したのではなく、情報として生産技法の一部や器種(モデル)が伝わったか、一部の技法を保持する人が須恵器生産にかかわった結果」との指摘をされており〔笹澤2004〕、そうした痕跡を示す例と思われる。沖ノ羽遺跡三耳瓶の生産時期としては、北陸系大型の二耳形双耳瓶であれば対象となる類例の幅が広がるが、阿賀北窯の稼働期間を考慮に入れ、9世紀前半とみるのが妥当であろう。

次に沖ノ羽遺跡三耳瓶の出土状況について触れておく。本項冒頭に触れたように沖ノ羽遺跡三耳瓶は、SD128で食膳具(須恵器有台杯・土師器無台碗)や焼けた状態の台石・礫を伴って、溝をふさぐような状態で出土している。溝で出土する県内例としては、角地田遺跡SD853、子安遺跡SD309がある。前述のように角地田遺跡SD853では、完形に近い双耳瓶が時期の異なる土師器食膳具とともに出土している〔實川ほか2009〕。子安遺跡の大溝SD309では、三耳瓶・双耳瓶が海獣葡萄鏡や多数の長頸瓶などと相伴しており、溝掘削と道路造成にかかわる祭祀の可能性が指摘されている〔笹澤2003b〕。旧河道から出土する例は、中曽根遺跡〔青木ほか2006〕、腰廻遺跡〔川上2002〕、石川県中能登町高畠カタタ・スギモト遺跡〔久田ほか2012〕にある。また、向井裕知氏は、井戸で貯蔵具類が出土する事例について、加賀を中心とする事例と平城京の例を比較されており〔向井1999〕、壺瓶類が井戸祭祀に伴って入れられる例がある。沖ノ羽遺跡例では、SD128は調査区内で端部が検出され、他の溝との連続性もないことから、水に直接的にかかわる水路機能は想定し得ず、単純な比較はできない。しか

第2節 沖ノ羽遺跡の土器・陶磁器について

し、上記の生産時期が妥当であるとすれば、生産から廃棄または埋納との間に大きな時期差があり、時間を経る中でもほぼ完形の状態を保って伝世されたものと考えられることから、意図的に溝に入れられたものであろう。また、SD128 との直接的な関連は不明であるものの、同時期に位置付けられる第24次調査2区西 SK545・Pit557 では、それぞれ高台部・頸部を欠く長頸瓶が埋設されるような形で出土している（第61図）。角地田遺跡 SD853 は10世紀中葉、子安遺跡 SD309 は、9世紀後半～10世紀第2四半期に位置付けられ、SD128 の9世紀第4四半期～10世紀代とも重なる。類例の検討が十分でなく不明な点は多いが、溝に瓶類を入れる祭祀の一形態として本遺跡の例を報告しておきたい。

沖ノ羽遺跡の三耳瓶を通じて、双耳瓶（長胴瓶）の基本的な分布域から外れるとされる越後において〔出越



第61図 三耳瓶他出土位置図

1999)、阿賀北窯群で一定量生産された可能性があり、頸城郡に類似した溝に入れる例があることが把握できた。今回は言及できなかったが、沖ノ羽遺跡では、三耳瓶のほかに須恵器特殊器種として突帯付有耳壺(582)・獣脚(1356)・環状把手付壺(第19次調査〔遠藤・澤野ほか2014〕1292)が出土している。突帯付有耳壺については、信濃で定形化した器種として知られ〔笹澤1986・山田2010〕、前述した角地田遺跡・子安遺跡でも出土がある。こうした器種との出土分布の比較が今後の課題となろう。

第3節 文字資料

A 墨書

沖ノ羽遺跡の第19次・22次・24次調査では12点(19次2点、22次9点、24次1点)の墨書土器が出土した。

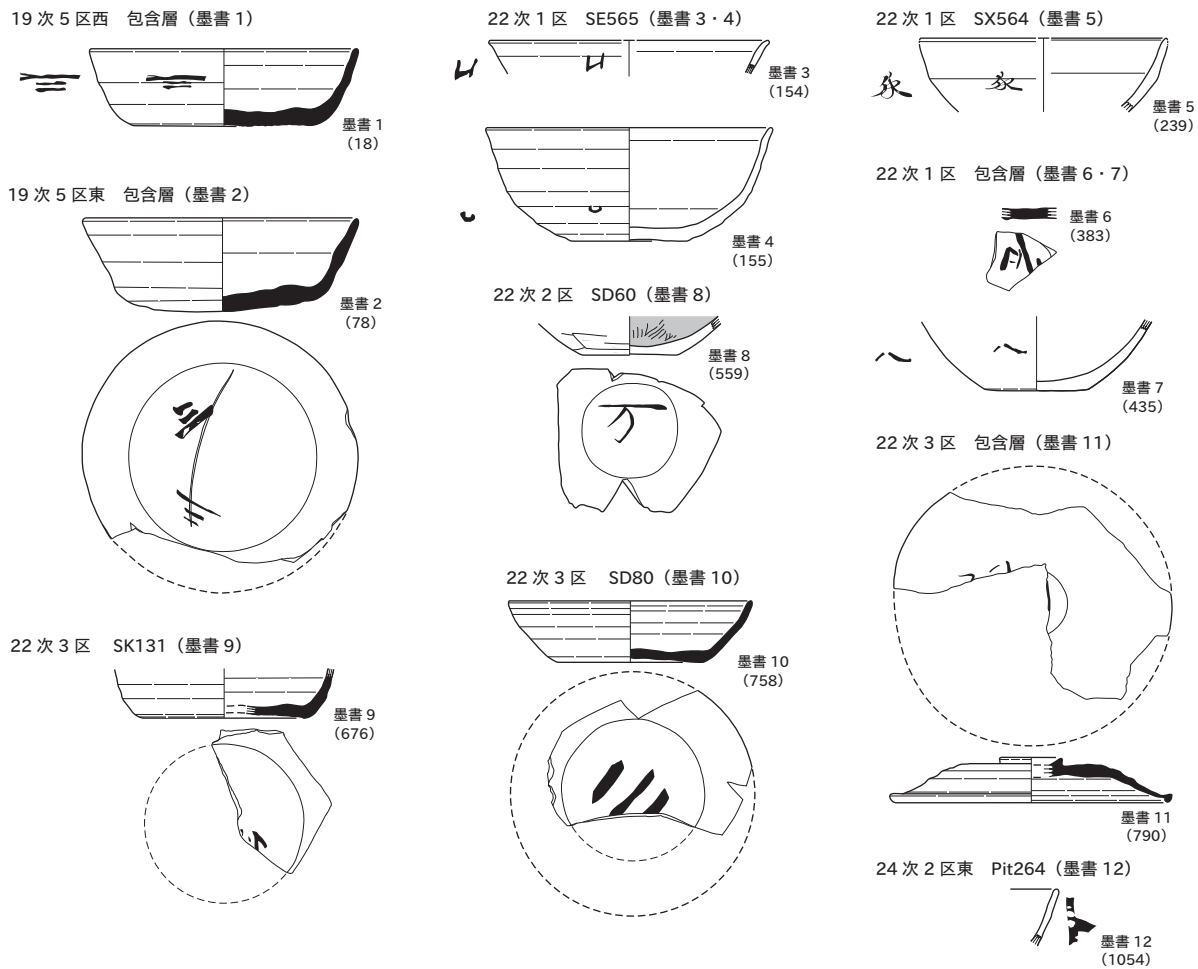
第19次調査で出土した2点(18・78)はどちらも須恵器無台杯で底部外面にヘラ記号が施されているが、墨書部位は体部外面と底部外面が1点ずつである。第22次調査で出土した9点の内訳は、須恵器無台杯3点(383・676・758)、須恵器杯蓋1点(790)、土師器無台椀4点(154・155・239・435)、黒色土器無台椀1点(559)である。墨書部位は、須恵器無台杯3点はすべて底部外面、土師器無台椀4点はすべて体部外面であり、器種によって墨書部位が異なっている。黒色土器無台椀1点は底部外面に「万」が記されている。「万」を記す墨書土器は、第18次調査でも42点(推定によるものも含む。須恵器無台杯4点、土師器無台椀32点、黒色土器無台椀6点)出土した〔遠藤・澤野ほか2014〕。この内の38点は底部外面に記されており、「万」の文字は底部外面に多く記される傾向がある。第24次調査で出土した1点(1054)は土師器無台椀の体部外面に記されている。

文字を判読できたものは5点にとどまる。第19次調査で出土した須恵器無台杯2点(18・78)は、いずれも「三」と判読できるが、18は体部外面に倒位で記し、78は底部外面の2か所に比較的小さく記している。第22次調査で出土した須恵器無台杯1点(758)も「三」と判読できるが、底部外面に大きく記しており、78とは書き方が異なる。

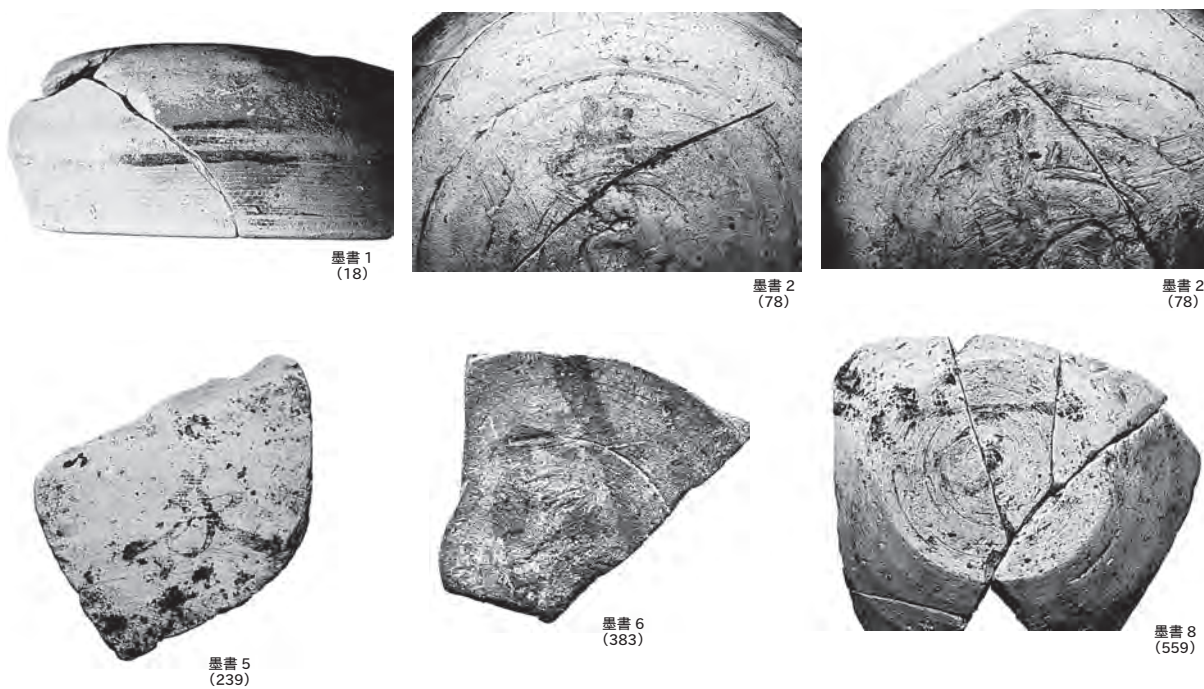
第22次調査で出土した435(土師器無台椀)は、体部外面に正位で小さく「八」と記されている。559は底部外面に大きく「万」と書かれている。「万」は事物の良好な状態を意味する吉祥的な文字と考えられている。なお、239は土師器無台椀の体部外面に正位で、書き慣れた様子の細字で書かれているが判読できない。383は須恵器無台杯の底部外面に比較的大きく記されているようだが、断片資料のため判読できない。

第30表 沖ノ羽遺跡出土墨書土器一覧表

| 墨書 No. | 報告書 No. | 出土位置 | | | | 種別 | 器種 | 法量 (cm) | | | 胎土 産地 | 時期 (春日編年) | 備考 |
|--------|---------|------|-----|--------|-------------|------|-----|---------|------|-----|-------|-----------|-----------------------------|
| | | 調査次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 1 | 18 | 19 | 5区西 | 包含層 | 15E-9C10 | 須恵器 | 無台杯 | 14.1 | 9.4 | 4.1 | 新津 | IV | 体部外面・倒位墨書「三」、底部外面ヘラ記号「×」 |
| 2 | 78 | 19 | 5区東 | 包含層 | 14F-9F9 | 須恵器 | 無台杯 | 14.4 | 10.0 | 5.0 | 新津 | IV 1 | 底部外面墨書「三」「三」 底部外面ヘラ記号「/」 |
| 3 | 154 | 22 | 1 | SE565 | 15G-8C8 | 土師器 | 無台椀 | (14.7) | | | | VI | 体部外面墨書「□」 |
| 4 | 155 | 22 | 1 | SE565 | 15G-8C8・13 | 土師器 | 無台椀 | 15.0 | 6.2 | 6.0 | | VI 2・3 | SX564 接合 体部外面墨書「□」 |
| 5 | 239 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 土師器 | 無台椀 | (13.0) | | | | VI 2・3 | 体部外面墨書「□」 |
| 6 | 383 | 22 | 1 | 包含層 | 15G-7D9 | 須恵器 | 無台杯 | | | | 小泊 | V | 底部外面墨書「□」 |
| 7 | 435 | 22 | 1 | 包含層 | 15G-9E7 | 土師器 | 無台椀 | | 5.5 | | | VI | 体部外面・正位墨書「八」 内面剥落 |
| 8 | 559 | 22 | 2 | SD60 | 13B-9I20 | 黒色土器 | 無台椀 | | 5.0 | | | VI | 底部外面墨書「万」 |
| 9 | 676 | 22 | 3 | SK131 | 14D-1G17 | 須恵器 | 無台杯 | | 8.5 | | 小泊 | V | 底部外面墨書「□」 |
| 10 | 758 | 22 | 3 | SD80 | 14D-1G17・22 | 須恵器 | 無台杯 | 12.8 | 7.6 | 3.3 | 小泊 | V | 底部外面墨書「三」 |
| 11 | 790 | 22 | 3 | 包含層 | 14D-1G14・20 | 須恵器 | 杯蓋 | 14.4 | | 2.4 | 小泊 | V~VI | 外面墨書「□」 |
| 12 | 1054 | 24 | 2区東 | Pit264 | 13F-2F7 | 土師器 | 無台椀 | | | | | VI | 体部外面墨書「□」 |



第62図 沖ノ羽遺跡出土墨書土器集成 (S=1/4)



第63図 沖ノ羽遺跡出土墨書土器

B 木簡

沖ノ羽遺跡の第 22 次調査では 2 点の木簡が出土した。1 号木簡 (32) は 1 区の SE500、2 号木簡 (53) は 1 区の SE1536 からの出土である。

1 号木簡 (図版 268-32)

〔積文〕

・「V のめやすひくわれ□□」

・「V □□ソマカハウ□□□□

ちくちのむ□□□□□□」 152×20×2.5 032 型式

〔形状〕

上端をゆるやかな山形に整形し、左右から切り込みを入れている。

〔内容〕

表裏両面にわたって平仮名や片仮名で文字を記すが、文意は不明である。切り込みを入れた付札状の形態の木札の表裏両面に、断片的な語句ではなく、ある程度まとまった文章を記す類例としては、市内では南区の馬場屋敷遺跡出土の 5 号木簡があるほか〔白根市教委 1984、相澤 2010〕、広島県福山市の草戸千軒町遺跡の SK1300 からまとまって出土している〔広島県立歴史博物館 2000〕。

2 号木簡 (図版 271-53)

〔積文〕

「(符籙) □ []」 151×25×4 051 型式

〔形状〕

上端は不整形だが記載内容から原形をとどめていると考えられる。下端は尖らせている。

〔内容〕

符籙に続けて数文字を記すが、墨痕が薄く判読できない。呪符と考えられる。

第 31 表 沖ノ羽遺跡出土木簡一覧表

| 木簡 No. | 報告書 No. | 出土位置 | | | | 器種 | 法量 (cm) | | | 木取り | 備考 |
|--------|---------|------|---|--------|----------|----|---------|-----|------|-----|----|
| | | 調査次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | 長さ | 幅 | 厚さ | | |
| 1 | 32 | 22 | 1 | SE500 | 15G-7C7 | 木簡 | 15.2 | 2.0 | 0.25 | 板目 | |
| 2 | 53 | 22 | 1 | SE1536 | 15G-6D20 | 木簡 | 15.1 | 2.5 | 0.4 | 柁目 | |

第4節 沖ノ羽遺跡の鍛冶関連遺物と遺構について

沖ノ羽遺跡第24次調査2区で出土した鍛冶関連遺物とそれに伴う遺構について概観していく。第24次調査2区は中央の用排水路を挟んで東地区と西地区に分割した。両地区は連続する調査区であるが、それぞれであり方が異なる。鍛冶関連遺物の小グリッド毎の重量分布図を第64図に示した。また、詳細な考古観察や金属学的な分析を行い判明した事項については第32～34表の通りであるが、以下に簡単にまとめる。

2区西では第24次調査で出土した鍛冶関連遺物全体の8割が出土し、なかでも調査区中央付近にあるSK522で全体の4割が出土した。このSK522と重複して掘立柱建物SB4が検出されたため、SB4は鍛冶に関連する施設（鍛冶工房）と想定した。SB4の中央部南寄りの地点で検出したPit528からも特大型の椀形鍛冶滓が出土しており、SK522と共に工房内土坑として機能していたと考える。また、SB4の東前庭側にあるSK474・SK565・SX634の3基の土坑からは木炭が多く出土しており、鍛冶炭の廃棄土坑の可能性もある。SK474からは木炭のみが出土し、SK522からは木炭・鉄製品以外の鍛冶関連遺物が出土している。これは鍛冶関連遺物を廃棄する際、各々の遺構に時間差または選別廃棄された可能性があり、SK522とSK474はセットで機能していた鍛冶関連遺構とも考えられる。これらの遺構を取り囲むように遺構や包含層から鍛冶関連遺物が出土している。このような状況は中心部に存在する鍛冶工房と、その周辺に広がる廃棄空間として理解されよう。第64図を見ると、特に南西側の大型溝SD54・143からの出土が目立つ。SD54・143はSB4から見て庭先または裏庭にあたるような位置で、出土している鍛冶関連遺物はSK522の遺物構成と類似する。また、SD54からはSK522と類似する肉厚の羽口が出土していることなどから、SK522とSD54は直接的な繋がりが想定される。

SK522及びSB4周辺では特大型から極小型まで各サイズの椀形鍛冶滓が出土しているほか、鍛冶炉の炉壁片や羽口、粒状滓や鍛造剥片など、さまざまな種類の鍛冶関連遺物が検出された。羽口や大型の椀形鍛冶滓は精錬鍛冶工程を、炉壁や小型の椀形鍛冶滓、粒状滓・鍛造剥片などは鍛錬鍛冶工程を示す資料と考えられる。また、精錬鍛冶で使用したと思われる炉壁片の一部に粒状滓・鍛造剥片が付着した資料が確認されたことから、鍛冶工房内では精錬鍛冶から鍛錬鍛冶工程が連続して行われていたことが推定される。SK522から出土した椀形鍛冶滓は中型品が最も多かった。これはSK522を含む鍛冶工房内では、中型の椀形鍛冶滓が生成される工程が中核的な鍛冶作業であった可能性を示唆している。

一方、鉄製品の分布を見ると、SB4の南東方向にあたるSE9周辺で集中的に出土している。鉋や鉄斧、毛抜など実用的な道具が多く、大半がまだ使用できるような完形品に近い状態であった。このような出土状況は加工した鉄製品の置き場や所有品を保管する道具小屋等の存在が想定されよう。

2区東からは鍛冶関連遺物全体の2割が出土した。出土は散発的で、2区西のように鍛冶関連遺物が集中して出土する遺構は検出されていない。第64図の遺物分布をみると、調査区南西側で鍛冶関連遺物が多く出土している。これは2区西の鍛冶工房SB4に伴う廃棄空間の一部が隣接する2区東の調査区にまで及んでいる可能性も考えられる。一方、調査区南端にも鍛冶関連遺物が多く出土する範囲がある。南端から出土した鍛冶関連遺物は小型・極小型の椀形鍛冶滓や細身の羽口が目立つことから、2区西SB4とは別単位の鍛冶工房の存在が疑われる。また、出土した鍛冶関連遺物の様相から、鍛冶工房自体は2区東の南東側の区域外に想定され、時期も古代に遡る可能性を持つ。

金属学的な分析によると、沖ノ羽遺跡に持ち込まれた製錬鉄塊の始発原料は、周辺の河川敷等で採取された砂鉄と推定される。分析を行った椀形鍛冶滓の中には砂鉄起源を示す脈石成分の割合が高いものが出土している。これらは鉄生産工程の上で、脈石成分が多く残る砂鉄製錬滓との分離が不十分なままの鉄塊が、鍛冶原料として当遺跡に搬入されていたものと推定される。沖ノ羽遺跡周辺の古代・中世鉄生産遺跡としては、新津丘陵西



側の金津丘陵製鉄遺跡群がある。この遺跡群では高チタン砂鉄を製鉄原料に用いたことが判明しており〔渡邊ほか1998〕、本遺跡で出土したチタン含有率の高い椀形鍛冶滓は金津丘陵製鉄遺跡群との結びつきを示唆する資料であるとも考えられる。

椀形鍛冶滓全体では、大まかには重量が低減するとそれに合わせて脈石成分も低減する傾向が見て取れる。しかし、2区西SK522では特大・中・極小の椀形鍛冶滓の一部で、脈石成分のチタン量がすべて1%台に留まっている資料がある。重量とチタン量に有意な差を見出せないことをどのように捉えるかは今後の課題であろう。鉄製品の分析では砂鉄起源の物質は検出されず、今回の調査で出土した鍛冶関連遺物との関係を示す様な特徴は確認されなかった。

沖ノ羽遺跡周辺の古代・中世の鉄生産遺跡と鍛冶関連遺物出土遺跡の分布図並びに、砂鉄採取地の予測分布図を第65図に示してみた。第35・36表は第65図に示した各々の遺跡について、出土した鍛冶関連遺物の量や時期などの概要をまとめたものである。但し、第36表のNo.29新五兵衛山遺跡は第65図の地図外にあり、長場遺跡(28)の北東に位置する(第2図参照No.31)。これらの図表から、沖ノ羽遺跡周辺の地域では新津丘陵の北西部が鉄生産域の中心で、時期は奈良時代後半から中世に及ぶことがわかる。遺跡分布としては丘陵部に生産域が集中し、その周辺を取り囲むように鍛冶遺跡が存在する。鉄生産遺跡と鍛冶遺跡の時期的な変遷はほぼ重なっており、これらは一連の生産体制の中に組み込まれていたものと推定される。第65図には製鉄原料の砂鉄採取予想地点も併せて示しており、地形図等の資料から信濃川のS字蛇行部の河川敷内側が最も疑われる地点である。また、金津丘陵周辺では鉄生産や金属を連想させるような地名が多く、第65図に於いても重ねて掲載した。これらの一部は古代・中世の鉄生産や鍛冶と関連する可能性も十分に考えられる。

第66図は、沖ノ羽遺跡に鉄素材を供給していたと考えられる金津丘陵製鉄遺跡群の製錬炉を集成図として示したものである。居村C遺跡E地点1号製錬炉は、金津丘陵製鉄遺跡群が8世紀後半に操業が開始された当初の箱形炉である。9世紀代には新技術として豎形炉が導入され、鉄素材の増産がはかられたものと推測されている。豎形炉のうち、居村A遺跡A地点1号製錬炉は古相を、大入遺跡A地点1号製錬炉は新相を示す構造である。その後、居村C遺跡C地点1号製錬炉・居村B遺跡B地点SW1号炉・居村C遺跡D地点SW1号炉のような炉床下部に地下構造を有する新しい形態の豎形炉が出現し、少なくとも12世紀までは操業が継続していたとされる〔渡邊ほか1998〕。

沖ノ羽遺跡第24次調査2区の鍛冶関連遺物は同区の出土土器や羽口の形態等から古代と中世の2時期の年代観が想定され、鍛冶関連遺物の出土傾向から2区東は古代が中心で、2区西の鍛冶工房SB4とそれに伴う遺構・遺物は中世と推定される。第24次調査2区における古代土器の年代は8世紀後半～10世紀初頭で、古代鍛冶の時期もこの範疇であろう。これは金津丘陵製鉄遺跡群の操業時期の範囲にも収まっており、沖ノ羽遺跡に於ける古代の鍛冶原料となる製錬鉄塊は金津丘陵製鉄遺跡群から供給された可能性が高いと言える。一方、中世鍛冶は土器の年代を考えると、12世紀から14世紀までの時期幅がある。金津丘陵製鉄遺跡群の下限は12世紀代とされており、13世紀以降の鉄生産遺跡は今のところ確認されていない。なお、周辺地域では新発田市真木山丘陵で13世紀前半の製鉄遺跡として調査された北沢遺跡がある。従って、中世における鉄素材の生産遺跡に関しては、さらに広域な流通範囲を想定する必要があるのかもしれない。

第32表 第24次調査 沖ノ羽遺跡 鍛冶関連遺構・遺物の主要要素一覧表(1)

| 項目 | 主要素 | 新潟県新潟市 沖ノ羽遺跡 (おきのはいせき) | | | | | |
|------|-----------|---|-------------------------------------|-------|---|-------|---|
| 調査 | 調査概要 | 調査年：平成20年度(2008年)第24次調査 / 調査組織：新潟市教育委員会・新潟市埋蔵文化財センター | | | | | |
| | | 調査原因：県営ほ場整備事業 | | | | | |
| 遺構情報 | 遺跡全体の情報 | 沖ノ羽遺跡は阿賀野川と能代川に挟まれた標高4~5m程の微高地(自然堤防上)に位置している。第24次調査の主な調査区は東西に連続する2区西地区と2区東地区からなり、沖ノ羽遺跡全体としては西側を流れる能代川に沿った地点にあたる。2区西地区からは鍛冶関連遺構が検出され、本報告書に掲載した第24次調査出土の鍛冶関連遺物全体の8割以上を占めている。2区東地区からも残る2割弱の鍛冶関連遺物の出土が認められるが鍛冶遺構は不明である。 | | | | | |
| | | 主要鉄関連遺構 | | | | | |
| | 鍛冶関連遺構の情報 | 2区西 | 掘立柱建物(SB04) | 時期 | 古代末~中世(鎌倉~室町時代) | 立地・規模 | 沖積低地 SB04は長軸5.6m×短軸2.5mを測る2間×3間の掘立柱建物(掘立柱の内法寸法) |
| | | | | | | 施設 | SB04掘立柱建物の北側中央部からSK522土坑が検出され、南側の中央西側からはPit528が検出された。いずれの遺構もSB04掘立柱建物内に位置する。但し、SB04掘立柱建物自体からは鍛冶関連遺物の出土は見られない。 |
| | | 2区西 | 土坑(SK522) 土坑(SK474) 土坑(SK565) | 時期 | 古代末~中世(鎌倉~室町時代) | 立地・規模 | 沖積低地・SK522(1.3×0.84×0.19m) SK474(1.62×0.93×0.11m) SK565(1.8×1.1×0.26m) SX634(1.07×0.86×0.21m) |
| | | | | | | 施設 | SK474土坑とSK565土坑並びに、SX634はいずれもSB04掘立柱建物の東側に位置し、木炭が1,429g出土した。鍛冶関連の廃棄土坑の可能性大。明確な鍛冶関連遺構は検出されなかったが、SK522土坑やPit528を含むSB04掘立柱建物を中心にして、木炭が多出したSK474・565土坑とSX634を取り囲む半径10m程度の範囲の遺構やグリッドから鍛冶関連遺物が集中的に出土している。従って、鍛冶遺構の中心部と滓等の廃棄場所との関係を想定できる。鍛冶関連遺物の出土量は前者が26,214g(63.9%)で、後者が14,822g(36.1%)になる。 |
| | | 2区東 | 包含層 | 時期 | 古代末~中世(鎌倉~室町時代) | 立地・規模 | 沖積低地 |
| | | | | | | 施設 | SB04掘立柱建物の南東方向にあるSE9井戸周辺部からは工具等の大型鉄製品の集中的な出土傾向が明白である。鍛冶加工された鉄製品の置き場または道具小屋などの存在が疑われる。 |
| | | 2区東 | SD98 SD636 | 時期 | 古代末~中世(鎌倉~室町時代) | 立地・規模 | 沖積低地・SD98(27.30×2.3×0.47m) SD636(23.60×0.70×0.44m) |
| | | | | | | 施設 | SD98溝からは2,743gの鍛冶関連遺物が出土した。その中心は13F-2F20グリッドの周辺部と推定される。SD636溝からは1,042gの鍛冶関連遺物が出土した。2区東地区全体の全遺構から出土した鍛冶関連遺物の量は5,541gになる。 |
| 2区東 | 包含層 | 時期 | 古代末~中世(鎌倉~室町時代) | 立地・規模 | 沖積低地 | | |
| | | | | 施設 | 2区東地区の南西隅からは各種の埴形鍛冶滓類が、北西側からは小型の鉄製品破片の出土が目立つものの、中心となる鍛冶遺構の存在は不明である。前者に関しては、2区東地区外の南西方向に別の鍛冶遺構が存在する可能性も残る。包含層出土の鍛冶関連遺物量は3,548gである。 | | |

第33表 第24次調査 沖ノ羽遺跡 鍛冶関連遺構・遺物の主要要素一覧表(2)

| | | | | | | | | |
|-------------|--|---|---------------------------|-------------------------|------------------------------------|---|-------------------------------------|--|
| 遺物情報 | 鉄関連遺物全体構成 | 総重量 57.160kg/ 炉壁(鍛冶炉) 2.045kg、羽口(鍛冶) 7.241kg、椀形鍛冶滓 39.938kg、鍛冶滓 1.357kg、工具付着滓 0.046kg、流動滓 0.009kg、粘土質溶解物 0.440kg、粒状の滓 0.009kg、粒状滓 0.020kg、鍛造剥片 0.122kg、再結合滓 0.305kg、含鉄鉄滓 0.240kg、鉄塊系遺物 0.057kg、鉄製品(鍛造品) 1.583kg、鉄製品(鋳造品) 0.005kg、金床石 1.176kg、木炭 2.510kg、炉床土 0.002kg、マグネタイト系遺物 0.055kg | | | | | | |
| | 地区別鉄関連遺物 | 2区西: 炉壁(鍛冶炉) 1.558kg、羽口(鍛冶) 6.635kg、椀形鍛冶滓 33.171kg、鍛冶滓 1.071kg、工具付着滓 0.046kg、流動滓 0.009kg、粘土質溶解物 0.296kg、粒状の滓 0.009kg、粒状滓 0.020kg、鍛造剥片 0.122kg、再結合滓 0.305kg、含鉄鉄滓 0.240kg、鉄塊系遺物 0.043kg、鉄製品(鍛造品) 0.803kg、金床石 1.176kg、木炭 2.510kg、炉床土 0.002kg、マグネタイト系遺物 0.055kg | | | | | | |
| | 地区別工程差 | 2区東: 炉壁(鍛冶炉) 0.487kg、羽口(鍛冶) 0.606kg、椀形鍛冶滓 6.767kg、鍛冶滓 0.286kg、粘土質溶解物 0.144kg、鉄塊系遺物 0.014kg、鉄製品(鍛造品) 0.780kg、鉄製品(鋳造品) 0.005kg | | | | | | |
| | 鉄系遺物種別動向(分析資料2点中) | <ul style="list-style-type: none"> 2区東包含層出土の分析資料 No.4 椀形鍛冶滓(極小・含鉄)中の鉄部は亜共析組織。 2区西 SD3 出土の分析資料 No.13 の鉄製品(鍛造品) 錠状不明の鉄部は亜共析組織。 | | | | | | |
| | 製錬鉄塊を鍛冶素材に用いていることが分かる。精錬鍛冶～鍛錬鍛冶関連遺物: 椀形鍛冶滓や鍛冶関連遺物のほぼ全てがこの段階に属している資料と推定される。鍛造関連遺物: 2区東地区の包含層より鋳造品の破片が1点出土しているが本遺跡で生産されたものではなく、他地域で生産された流通製品の一部と考えられる。その他の金属関連遺物: なし | | | | | | | |
| 分析資料15点中 | 工程/遺物種類 | 層位 | 鉄製錬～鍛錬(TiO ₂) | | | | | |
| | | | 遺構名 | 製錬系 | 精錬鍛冶 | 鍛錬鍛冶(前半) | 鍛錬鍛冶(後半) | |
| | ()内はTiO ₂ 値。 (-)は分析せず。 | 2区西 | SK474 | | | | (OKH-5) 木炭(-) | |
| | | | SB04内 SK522 | | (OKH-7) 羽口(鍛冶) (0.98) 耐火度 1120℃ | (OKH-8) 椀形鍛冶滓(特大) (1.00) (OKH-9) 椀形鍛冶滓(中) (1.24) (OKH-10) 椀形鍛冶滓(極小?) (1.45) | (OKH-11) 粒状滓(-) (OKH-12) 鍛造剥片(-) | |
| | | | SD3 SD54 SD143 | | (OKH-14) 椀形鍛冶滓(特大) (4.53) | (OKH-15) 椀形鍛冶滓(小) (1.49) | (OKH-13) 鉄製品(鍛造品)(-) | |
| | | 2区東 | SD98 | | (OKH-1) 椀形鍛冶滓(特大) (8.34) | | | |
| | | | 包含層 | | (OKH-2) 椀形鍛冶滓(大) (6.95) | (OKH-3) 椀形鍛冶滓(小) (0.18) (OKH-4) 椀形鍛冶滓(極小) (0.15) | | |
| | | | | | | | | |
| 分析 | 分析点数 | <ul style="list-style-type: none"> 金属学的分析: 15点、炉壁(鍛冶炉)、羽口(鍛冶)、椀形鍛冶滓(特大～極小)、粒状滓、鍛造剥片、鉄製品(鍛造品)、木炭 分析項目: 顕微鏡組織、ビッカース硬度、EPMA、化学分析、耐火度 / 解析: 住金テクノロジー(株)八幡事業所 TACセンター(大澤正巳、鈴木端穂) 木材樹種同定: 10点 / 解析: (株)加速器分析研究所 | | | | | | |
| 年代 | 推定年代 | <ul style="list-style-type: none"> 考古資料: 出土土器によれば古代末～中世(鎌倉～室町時代)の遺跡と考えられる。 AMS 放射性炭素年代測定: 2区西の鍛冶関連遺構(SK474、SK522、SK679、SX634)出土資料8点を分析対象にした。結果は放射性炭素年代測定結果報告(第VI章第7節)を参照。 分析・解析 (株)加速器分析研究所 その他の理科学年代測定: 実施せず | | | | | | |
| 保存 | 保存・活用区分 | 遺構 | 遺物 | | | | | |
| | | 遺構は記録保存を目的とした発掘調査のため保存せず。 | 金属関連出土遺物(A～D保存) | 合計: 57.160kg | | | | |
| | | | A保存: 金属学的分析資料 | : 15点、6.054kg (10.6%) | | | | |
| | | | B保存: 報告書掲載資料 | : 131点、22.171kg (38.8%) | | | | |
| | | | C保存: 屋内管理資料 | : 28.935kg (50.6%) | | | | |
| D保存: 野外管理資料 | : 0kg | | | | | | | |

第 34 表 第 24 次調査 沖ノ羽遺跡 鍛冶関連遺構・遺物の主要要素一覧表 (3)

| | |
|-------|--|
| 遺構・遺物 | <ul style="list-style-type: none"> 2区西地区から検出された古代末～中世の鍛冶関連遺構はSB04 掘立柱建物で、これに伴う SK522 土坑と Pit528 が関連の施設と考えられる。加えて、東前庭側から検出された SK474・SK565・SX634 という3基の土坑は、鍛冶炭の廃棄土坑の可能性が高い。また、これらの遺構を取り囲む形で鍛冶関連遺物が環状に出土しているのは廃棄空間として理解される。 2区西地区のSB04 掘立柱建物を中心にした一連の鍛冶関連遺構出土の鍛冶関連遺物の出土量は約 26.1kg を計り、これに鍛冶遺構の周辺部からの出土量 14.8kg を加えると合わせて 41kg (82%) になる。従って、その他の包含層等から出土した鍛冶関連遺物 9.5kg (18%) を加えた総重量はほぼ 50kg にも達する。 2区東地区からの鍛冶関連遺物の出土総量は約 9kg である。いずれも明確な鍛冶関連遺構に伴わない土坑や包含層から出土したもので、各種の遺構に落ち込んだ鍛冶関連遺物が約 5.5kg を量り、残る約 3.5kg が包含層出土の資料になる。年代的には奈良時代後半の鍛冶関連遺物を含んでいる可能性がある。 |
| 整理・解析 | <ul style="list-style-type: none"> 整理方法は、保存・活用までを視野に入れた A・B・C・D の4ランク個票付け方式で行い、全体量 57.160kg の中から、A 保存を 6.054kg、B 保存を 22.171kg、C 保存を 28.935kg、D 保存を 0kg とした。各々の比率は 1 : 3.6 : 4.7 となる。 報告書に掲載した鉄関連遺物の総点数は、全 146 点 (A 保存+B 保存) の小計 28.225kg で、その内の 15 点 (A 保存) を金属学的な分析対象とした。分析資料の比率は全体の約 1% にあたる。 保存処理：鉄製品のうち 2 点は実施。他は実施せず。 |
| 製錬関連 | <ul style="list-style-type: none"> 2区東地区周辺に想定される鍛冶工房に持ち込まれた製錬鉄塊の始発原料は金属学的な分析結果から周辺の河川等で採取された火山岩起源の塩基性砂鉄と推定される。チタン含有率の高い椀形鍛冶滓はこうした地域の古代鉄生産遺跡との結びつきを示唆するものと考えられる。 金津丘陵では 8 世紀後半から砂鉄を原料に用いた箱形炉による製鉄生産が開始され、9 世紀に入ると豎形炉を用いる形に変化して、少なくとも 12 世紀迄は操業が続けられている (第 66 図)。 本遺跡から見て南から南西方向に位置している金津丘陵の北端からは製鉄・製炭遺跡として居村 A・B・C (C・D・E 地点) 遺跡と大入遺跡 A 地点が 1994～98 年にかけて調査・報告されている。奈良時代後半 (8 世紀後半) から中世 (12 世紀) の製鉄遺跡である。これらの製鉄遺跡を含む金津丘陵製鉄遺跡群は、本遺跡の古代末から中世鍛冶に関わる製錬鉄塊の生産遺跡の可能性が高い。 金津丘陵を中心とした沖ノ羽遺跡の周辺域では奈良～鎌倉時代の製鉄遺跡の存在を確認できるが、中世 (13 世紀) 以降の鍛冶原料鉄の供給地は知られていない。従って、想定される年代や範囲をさらに広げて見る必要があるのかもしれない。例えば、新発田市月岡町の真木山丘陵では中世 (13 世紀前半) の北沢遺跡等の調査例がある。 |
| 概 要 と | <ul style="list-style-type: none"> 2区西地区の中世掘立柱建物 SB04 内の SK522 土坑を中心に椀形鍛冶滓や鍛冶滓に加えて、鍛冶炉の炉壁片や羽口、さらには粒状滓や鍛造剥片が出土している。出土した鍛冶関連遺物の全体量は 24.317kg を計り、金属関連遺物の大半を占めている。工程的には精錬鍛冶から鍛錬鍛冶作業に関わる資料が含まれており、鍛冶工程上の一貫作業が建物内の作業空間で行われていたことが想定される。 考古学的な整理・構成の結果や金属学的な分析によって、製錬鉄塊や故鉄を素材に用いて新旧の二時期にわたる精錬鍛冶から鍛錬鍛冶工程へて鉄製品の鍛冶加工までが行われていたことが判明した。但し、具体的な生産品目や分量については不明である。なお、椀形鍛冶滓の全出土量、39.938kg が鍛冶に関する作業量の一応の目安となる可能性を持つものと考えられる。 出土した椀形鍛冶滓は、特大型から極小型までの全種類が出土している。おおまかに特大型から中型の椀形鍛冶滓は精錬鍛冶工程を、小型から極小型の椀形鍛冶滓は鍛錬鍛冶工程を示しているものと考えられるが、古代末～中世の可能性が高い 2 区西地区の SK522 土坑 (鍛冶関連土坑) から出土した大型～極小型の椀形鍛冶滓 3 点に限っては、脈石成分を代表するチタン量が 1% 台と有意な差を見出しにくかった。この問題は今後の課題となろう。 |
| 評 価 | <p>鍛冶関連</p> <p>鍛冶関連の遺構はなし。2区東地区の包含層 (13F-3E4) から鍋類と推定される薄板状の鋳造品破片が 1 点出土している (構成 No.32)。但し、古代末～中世 (鎌倉～室町時代) の集落遺跡からの出土量としては極めて少ない事例といえる。</p> |
| 時 期 | <ul style="list-style-type: none"> 出土土器による中心的な年代観は古代末～中世 (鎌倉～室町時代) と推定される沖積地の集落遺跡である。但し、出土土器や羽口の型式から見て奈良時代 (8 世紀後半) の資料も一定量含まれているため、鍛冶関連遺物の年代観については古代と中世という二時期に渡る可能性がある。2区東地区出土の鍛冶関連遺物は古代が中心で、2区西地区の鍛冶遺構は中世と推定される。 AMS 放射性炭素年代測定法による年代観は 8 点の分析試料中で 1 点 (2 区西 SK522) が 1082～1150AD の中世範囲に納まるのに対して、他の 7 点の試料は 652～877AD と大幅に古い値を示し、考古年代とは一致しない。 |
| ま と め | <ul style="list-style-type: none"> 2区西地区からは中世段階の SB04 掘立柱構造の建物 (鍛冶工房) と工房内土坑 2 基 (SK522・Pit528) が検出された。東側前庭に少なくとも 3 基 (SK474・SK565・SX634) の廃棄土坑を伴っている。また、同じ 2 区西地区の南東部からは完形の鍛造鉄器が集中的に出土した。2区東地区からは鍛冶遺構の存在は認められないが、鍛冶関連遺物の出土傾向から、南西側の調査区域外に奈良時代後半の可能性を持つ別単位の鍛冶遺構の存在が疑われる。 鍛冶関連遺物の考古学的な整理と金属学的調査の結果、当集落内では奈良時代後半と古代末～中世 (鎌倉～室町時代) の二時期において精錬鍛冶～鍛錬鍛冶工程までを含む一連の鍛冶作業が行われていた事が判明した。なお、精錬鍛冶工程に属する一部の椀形鍛冶滓は原料砂鉄起源の脈石成分が高く、周辺域の製鉄遺跡で生産された滓との分離が不十分な鉄塊が鍛冶原料として当遺跡に搬入されていた可能性が指摘される。 沖ノ羽遺跡における鉄原料砂鉄採取地・鉄生産遺跡・鍛冶遺跡を総合的に理解する目的で新たに図表を作成した。 <ul style="list-style-type: none"> イ) 第 65 図 古代・中世の鉄関連遺跡と原料砂鉄採取地の予測地点 ロ) 第 35・36 表 沖ノ羽遺跡周辺の鉄関連遺物出土遺跡一覧表 (1)・(2) 上記の資料からは次の 4 つの点を指摘しておきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ① 既調査の各種資料の上では金津丘陵の北西部が鉄生産域の中心部と考えられる。時期は奈良時代後半から中世の鎌倉時代または室町時代に相当する。 ② 金津丘陵製鉄遺跡群に対する原料砂鉄の採取予想地点は西側を流れる信濃川と北東側の阿賀野川の流域の可能性を持つが、上流域の塩基性砂鉄母岩組成や表層地質図に加えて地形図等を参考にすると、信濃川の S 字状蛇行部の内側が強く疑われる。 ③ 金津丘陵には製鉄遺跡が集中し、丘陵周辺には鍛冶遺跡が丘陵を取り囲むように数多く存在する。両者の関係は丘陵域の製鉄遺跡と周辺域の鍛冶遺跡の時期的な変遷はほぼ重なっており、両者が一連の管理体制の中に組み込まれていたものと推定される。なお、同一遺跡中で製鉄工程と鍛冶工程が共存している遺跡は居村 B 遺跡と居村 C 遺跡 D 地点に加えて、砂丘上の新五兵衛山遺跡のみと極端に少ない。 ④ 来歴は不詳ながら、金津丘陵周辺では鉄または金属関連地名が現在でも数多く確認できる。北から順に金淵乙、金淵、金屋、金沢、東金沢、金津、金山、鋳物師興野等である。これらの一部は古代から中世の鉄生産や鍛冶の伝統と何らかの関連がある可能性もある。 |

(作表：穴澤義功)



第 65 図 古代・中世の鉄関連遺跡と砂鉄採取地の予測分布図 (1/100,000) ※ 29 は地図外

第35表 沖ノ羽遺跡周辺の鉄関連遺物出土遺跡一覧表(1)

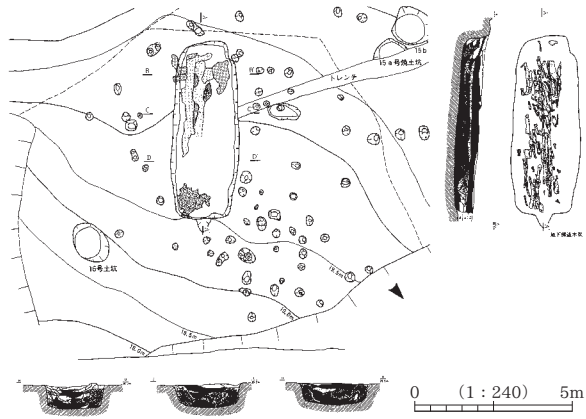
凡例 製錬炉・箱/竪:◎ 大型木炭窯:■ 鍛冶:○ 未分類:△

| No. | 地区 | 遺跡名 | 主要遺構 | 計測値 | 主要遺物 | | | | | 時期 | 工程等 | 文献 | | |
|--------------|-----------------|-------------------------------------|----------------|-----|---------|-------|-----------|--------|------------|------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------|
| | | | | | 製錬炉・滓 | 大型木炭窯 | 椀形鍛冶滓等 | 羽口(鍛冶) | 滓類一括 | | | | その他の鉄関連遺物 | |
| 1 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 沖ノ羽遺跡B地区 | | 量 | — | — | ○ | ○2点 | — | — | 9世紀中葉～後葉中世(13～14世紀) | 鍛冶 | (星野ほか1996) | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | — | — | | | | |
| | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 沖ノ羽遺跡C地区 | | | 量 | — | — | ○ | ○2点 | — | 9世紀中葉～後葉中世(13～14世紀) | 鍛冶 | (春日2003a) | |
| | | | | | 重量 | — | — | — | 51g | — | | | | — |
| | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 沖ノ羽遺跡第11次 | | | 量 | — | — | ○ | — | △3～5点 | 全3～5点 | 9世紀中葉～後葉中世(13～14世紀) | 鍛冶 | [立木・澤野ほか2005] |
| | | | | | 重量 | — | — | — | — | 745.02g | — | | | |
| 新潟市秋葉区(旧新津市) | 沖ノ羽遺跡第15次 | | | 量 | — | — | ○ | ○1点 | △13点 | 全14点 | 9世紀中葉～後葉中世(13～14世紀) | 鍛冶 | [立木・澤野ほか2008] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | 48.36g | 461.9g | — | | | | |
| 新潟市秋葉区(旧新津市) | 沖ノ羽遺跡第18・19次 | | | 量 | — | — | ○ | — | △149点 | 全8点小型埴塼2点 | 9世紀中葉～後葉中世(13～14世紀) | 鍛冶 | [遠藤・澤野ほか2014] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | 3,696g | — | | | | |
| 新潟市秋葉区(旧新津市) | 沖ノ羽遺跡第24次 | 2区西SB04 SK474.522 2区東SD98.636 | | 量 | — | — | ○ | ○6点 | 2区西48,071g | 炉壁(鍛冶炉)金床石 | 古代末～中世(鎌倉～室町) | 鍛冶 | [本書] | |
| | | | | 重量 | — | — | 2,200g | 7,241g | 2区東9,096g | | | | | |
| 2 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 中谷内遺跡 | SK14他(SK13～16) | 量 | — | — | ○ | ○1点 | △ | — | 9世紀後半 | 鍛冶 | [立木ほか1999] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | 49.9g | 273.8g | — | | | | |
| 3 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 内野遺跡 | | 量 | — | — | ○ | ○1点 | △17点 | — | 9世紀後半中世(13～14世紀) | 鍛冶 | [立木・高野ほか2002] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | 16.5g | 1,128.7g | — | | | | |
| 4 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 山王浦遺跡 | | 量 | — | — | ○1点 | — | — | — | 不明 | 鍛冶 | [立木・澤野ほか2004b] | |
| | | | | 重量 | — | — | 54.4g | — | — | — | | | | |
| 5 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 結七島遺跡第7次 | SD4他 | 量 | — | — | ○ | — | △456点 | 炉壁少々 | 9世紀 | 鍛冶 | [立木・澤野ほか2003] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | 885g | | | | | |
| | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 結七島遺跡第4次 | | 量 | — | — | ○ | ○1点 | △18点 | 粘土質炉壁 | 9世紀 | 鍛冶 | [植田・遠竹ほか2003] | |
| 重量 | — | — | — | — | 118g | | | | | | | | | |
| 新潟市秋葉区(旧新津市) | 結七島遺跡第13・15・17次 | SD21 | | 量 | — | — | ○ | ○1点 | — | — | 9世紀 | 鍛冶 | [朝岡2008] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | 55g | — | — | | | | |
| 6 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 江内遺跡 | | 量 | — | — | ○ | ○ | — | — | 中世(14世紀) | 鍛冶 | [春日ほか1996] | |
| | | | | 重量 | — | — | 581g | — | — | — | | | | |
| 7 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 上浦遺跡 | 包含層 | 量 | — | — | ○ | ○ | — | — | 9世紀第2 | 鍛冶 | [渡邊1992] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | — | — | | | | |
| 8 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 川口甲遺跡 | 包含層 | 量 | — | — | — | ○2点 | △2点 | — | 平安 | 鍛冶? | [川上1992] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | — | — | | | | |
| 9 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 川口乙遺跡 | 包含層 | 量 | — | — | ○ | — | — | — | 9世紀後半 | 鍛冶 | [渡邊・高野2003] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | — | — | | | | |
| 10 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 長沼遺跡 | 包含層 | 量 | — | — | ○15点 | ○2点 | — | — | 7世紀後半～9世紀後半 | 鍛冶 | [渡邊1991] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | — | — | | | | |
| 11 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 細池寺道上遺跡第25次7区 | | 量 | — | — | ○ | ○4点 | △10点 | — | 平安・中世 | 鍛冶 | [潮田2014] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | — | — | | | | |
| 11 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 細池寺道上遺跡第26次 | | 量 | — | — | ○13点(大型含) | ○4点 | △151点 | 炉壁26点 | 平安・中世 | 鍛冶 | [立木・相澤(高野)ほか2014] | |
| | | | | 重量 | — | — | 5,024.58g | 342.2g | 3,223.69g | 7,973.18g | | | | |
| 12 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 草水町2丁目窯跡 | 木炭窯1基 | 量 | — | ■1 | ○ | ○ | — | — | 平安 | 鍛冶 | — | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | — | — | | | | |
| 13 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 諏訪畑遺跡第3次 | | 量 | — | — | ○ | — | △3点 | — | 9世紀後半～10世紀初 | 鍛冶 | [潮田2008] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | 57g | — | | | | |
| 14 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 東鳥城遺跡 | 城館跡 | 量 | ○ | — | — | — | — | — | 中世 | 分布調査鍛冶 | — | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | — | — | | | | |
| 15 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 古津八幡山遺跡第15次 | 排滓場 | 量 | ◎1 | — | ○ | — | △ | 溶解炉炉底 | 9世紀第2～第311世紀後半～12世紀 | 製鉄 | [相田・渡邊ほか2014] | |
| | | | | 重量 | 65kg | — | — | — | — | — | | | | |
| 16 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 居村B遺跡(B地点) | 竪形炉3基木炭窯7基 | 量 | ◎3 | ■7 | ○ | ○38点 | △ | 大口径羽口 | 9世紀以降11世紀後半 | 製鉄・製炭と鍛冶 | [川上1996b] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | 381,036g | | | | | |
| 新潟市秋葉区(旧新津市) | 居村C遺跡(D地点) | 竪形炉2基木炭窯4基 | | 量 | ◎2 | ■4 | ○ | ○12点 | △ | 大口径羽口 | 8世紀後半～10世紀後半 | 製鉄・製炭と鍛冶 | [川上1996b] | |
| | | | | 重量 | — | — | — | — | 547,431g | | | | | |
| 17 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 居村C遺跡(E地点) | 箱形炉1基木炭窯3基 | 量 | ●1 | ■3 | — | — | — | — | 8世紀後半 | 製鉄・製炭 | [渡邊ほか1997] | |
| | | | | 重量 | 4,088kg | — | — | — | — | | | | | |
| 新潟市秋葉区(旧新津市) | 居村C遺跡(C地点) | 竪形炉2基木炭窯8基 | | 量 | ◎2 | ■8 | — | — | — | 大口径羽口 | 9世紀第2～第3? | 製鉄・製炭 | [渡邊ほか1997] | |
| | | | | 重量 | 346kg | — | — | — | — | | | | | |
| 18 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 居村A遺跡(A地点) | 竪形炉1基木炭窯3基 | 量 | ◎1 | ■3 | — | — | — | 大口径羽口 | 9世紀第2～第4 | 製鉄・製炭 | [渡邊ほか1997] | |
| | | | | 重量 | 692kg | — | — | — | — | | | | | |

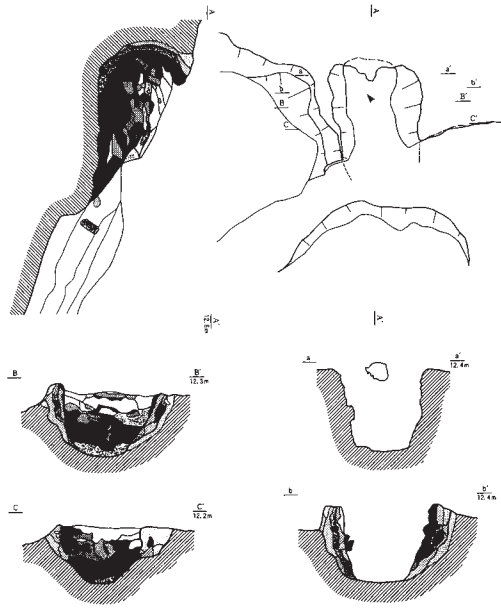
第4節 沖ノ羽遺跡の鍛冶関連遺物と遺構について

第36表 沖ノ羽遺跡周辺の鉄関連遺物出土遺跡一覧表(2)

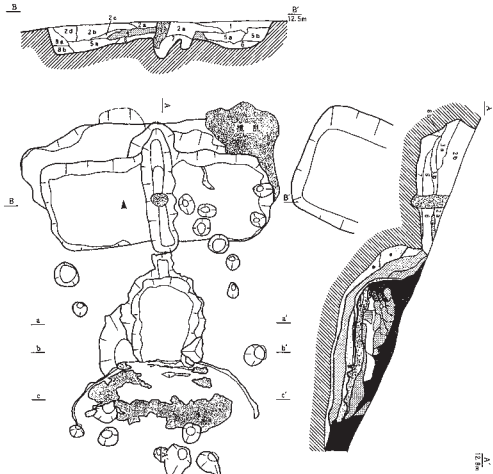
| No. | 地区 | 遺跡名 | 主要遺構 | 計測値 | 主要遺物 | | | | | | 時期 | 工程等 | 文献 |
|-----|---------------|---------|----------------|---------|---------------|------------|-------------|-------------|-----------|----------------|-------------------|-------------------------|----|
| | | | | | 製錬炉・滓 (◎) | 大型木炭窯 ■ | 椀形鍛冶滓等 ○ | 羽口(鍛冶) ○ | 滓類一括 △ | その他の鉄関連遺物 - | | | |
| 19 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 大入遺跡 | 竪形炉排滓場・木炭窯 | 量 重量 | ◎ - | ■ - | - - | - - | - - | - - | 平安 | 製鉄・製炭 [渡邊1994b] | |
| | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 大入遺跡A地点 | 竪形炉1基 木炭窯3基 | 量 重量 | ◎1 2,297kg | ■3 - | - - | - - | - - | 大口径羽口 | (8世紀第4～9世紀第1) | 製鉄・製炭 [渡邊ほか1997] | |
| | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 大入遺跡C地点 | 竪形炉1基 | 量 重量 | ◎ - | - - | - - | - - | - - | 大口径羽口 | 9世紀第2～第3 | 製鉄 - | |
| 20 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 金津初越A遺跡 | 製鉄遺跡 | 量 | ◎ | - | - | - | - | - | 平安? | 製鉄未発掘 [渡邊ほか1997] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 21 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 金津初越B遺跡 | 製鉄遺跡 | 量 | ◎ | - | - | - | - | - | 平安? | 製鉄未発掘 [渡邊ほか1997] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 22 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 古津初越A遺跡 | 製鉄遺跡 | 量 | ◎ | - | - | - | - | - | 平安? | 製鉄未発掘 [渡邊ほか1997] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 23 | 新潟市秋葉区(旧新津市) | 古津初越B遺跡 | 製鉄遺跡 | 量 | ◎ | - | - | - | - | - | 平安? | 製鉄未発掘 [渡邊ほか1997] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 24 | 新潟市秋葉区(旧小須戸町) | 横川浜堤外遺跡 | 包含層 | 量 | - | - | - | - | ○ | - | 平安? | 不明 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 25 | 新潟市秋葉区(旧小須戸町) | 三沢遺跡 | 製鉄遺跡 | 量 | ◎? | - | - | - | - | - | 中世(室町時代?) | 製鉄未発掘 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 26 | 新潟市江南区(旧亀田町) | 中の山遺跡 | 鍛冶炉2基? | 量 | - | - | - | ○1点 | △ | - | 9世紀～中世 | 鍛冶 [川上1983] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 27 | 新潟市江南区(旧亀田町) | 日水遺跡 | 包含層 | 量 | - | - | - | ○7点 | 8点 | - | 9世紀後半～10世紀初頭 | 鍛冶 [立木・細野ほか2013] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 28 | 新潟市北区(旧豊栄市) | 長場遺跡 | | 量 | - | - | - | - | △ | - | 平安 | 鍛冶 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 29 | 新潟市北区(旧豊栄市) | 新五兵衛山遺跡 | 竪形炉2基 排滓場 | 量 | ◎2 | - | ○ | ○74点 | △ | - | 8世紀中葉～10世紀後半 | 製鉄・鍛冶 [関ほか1989・1996] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | 47.2kg | - | | | |
| 30 | 阿賀野市(旧京ヶ瀬村) | 要害遺跡 | 城館跡 | 量 | - | - | ○? | - | △ | - | 不明 | 鍛冶未発掘 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 31 | 阿賀野市(旧京ヶ瀬村) | 土井内遺跡 | 城館跡 | 量 | - | - | ○? | - | △ | - | 不明 | 鍛冶未発掘 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 32 | 阿賀野市(旧京ヶ瀬村) | 城館跡 | 城館跡 | 量 | - | - | ○? | - | △ | - | 不明 | 鍛冶未発掘 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 33 | 阿賀野市(旧京ヶ瀬村) | 下ノ橋製鉄遺跡 | 製鉄遺跡 | 量 | ◎ | - | - | - | - | - | 不明 | 製鉄未発掘 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 34 | 阿賀野市(旧京ヶ瀬村) | 山口遺跡 | 包含層 | 量 | - | - | ○3点 | ○1点 | 流動滓2点 | 炉壁(小破片) | 中世(13～14世紀) | 鍛冶 [荒谷・石垣ほか2010] | |
| | | | | 重量 | - | - | 330.19g | 51.91g | 30.64g | - | | | |
| 35 | 阿賀野市(旧京ヶ瀬村) | 柄目木遺跡 | 炭窯11基 | 量 | - | ■11 | - | ○3点 | - | - | 平安 | 鍛冶 [佐藤・安西ほか2010] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 36 | 阿賀野市(旧京ヶ瀬村) | 境塚遺跡 | | 量 | - | - | ○24点 | ○11点 | ○10点 | - | 中世(13世紀後半～14世紀前半) | 鍛冶 [荒川ほか2012] | |
| | | | | 重量 | - | - | 1,359g | 45g | 66.5g | - | | | |
| 37 | 阿賀野市(旧京ヶ瀬村) | 村前東A遺跡 | | 量 | - | - | ○2点 | - | - | - | 中世(13世紀中頃～14世紀前半) | 鍛冶 [加藤・福山ほか2010] | |
| | | | | 重量 | - | - | 211g | - | - | - | | | |
| 38 | 阿賀野市(旧京ヶ瀬村) | 山口野中遺跡 | | 量 | - | - | ○1点 | - | - | - | 中世(14世紀前半) | 鍛冶 [村上・高橋ほか2013] | |
| | | | | 重量 | - | - | 57.5g | - | - | - | | | |
| 39 | 五泉市 | 住吉田遺跡 | 包含層(IIIb層) | 量 | - | - | - | ○1点 | - | - | 平安 | 鍛冶 [山崎・草間・皆川2004] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 40 | 五泉市 | 南谷地西遺跡 | 包含層(IV層) | 量 | - | - | ○ | ○3点 | 数点 | - | 平安 | 鍛冶 [山崎・田村ほか2003] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 41 | 五泉市 | 寛下遺跡 | 自然河川NR2 | 量 | - | - | - | ○3点 | - | 炉壁(スサ入り) | 平安 | 鍛冶 [山崎・鈴木ほか2004b] | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 42 | 田上町 | 袖の沢遺跡 | 製鉄遺跡 | 量 | ◎ | - | - | - | - | - | 不明 | 製鉄未発掘 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 43 | 田上町 | 山田遺跡 | 製鉄遺跡 | 量 | ◎? | - | - | - | - | - | 不明 | 製鉄未発掘 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 44 | 田上町 | 金屋遺跡 | 製鉄遺跡 | 量 | ◎? | - | - | - | - | - | 不明 | 製鉄未発掘 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 45 | 田上町 | 樺沢遺跡 | 製鉄遺跡 | 量 | ◎ | - | - | - | - | - | 不明 | 製鉄未発掘 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |
| 46 | 田上町 | 行屋崎遺跡 | 自然堤防上の集落 | 量 | - | - | ○7点 | ○19点 | - | - | 奈良・平安 | 鍛冶 | |
| | | | | 重量 | - | - | - | - | - | - | | | |



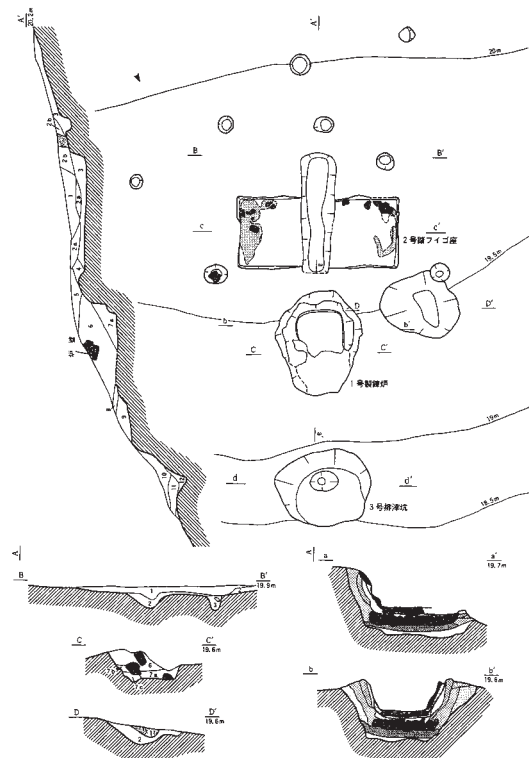
居村C遺跡E地点1号製錬炉



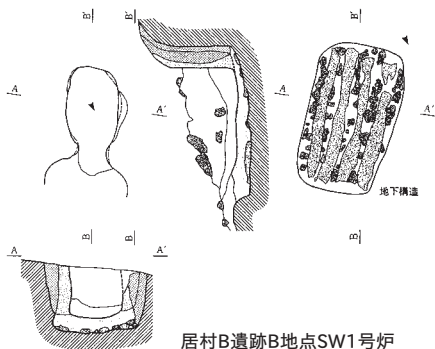
居村A遺跡A地点1号製錬炉



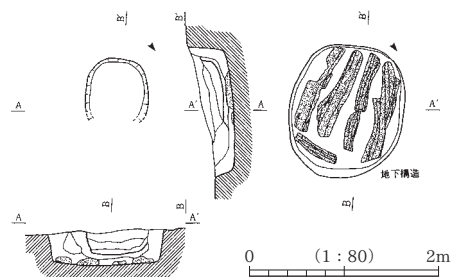
大入遺跡A地点1号製錬炉



居村C遺跡C地点1号製錬炉



居村B遺跡B地点SW1号炉



居村C遺跡D地点SW1号炉

第 66 図 沖ノ羽遺跡周辺の製錬炉集成図（〔渡邊ほか 1998〕から転載・一部改変）

第5節 沖ノ羽遺跡の位置付け

本報告で取り扱う沖ノ羽遺跡第19次5・6区及び第22・24次調査では、9調査区、延べ8,655m²の調査を行い、古墳時代中・後期、平安時代前半、中世の遺構・遺物が確認された。前述した土器の年代観を指標として、調査成果を整理し、その位置付けを考えたい。第22次調査1区及び第24次調査2区について時期別の主要遺構分布を第67・68図に示した。

A 古墳時代

沖ノ羽遺跡の本報告調査において最初に活動痕跡が見られるのは、古墳時代中期からである。第22次調査1区で中期の土器が出土した。しかし、出土量は少なく明確な遺構が伴わないことから、この時期の土地利用は限定的であったと考えられる。

次に痕跡が現れるのは古墳時代後期、6世紀後半頃である。遺構としては、第19次調査5区東、第22次調査1区・2区で土坑や溝など6基が確認された。なかでも第19次調査5区東では古墳時代後期の土器が比較的まとまって出土しており、特に調査区北東端で集中する。これは第18次調査4区での出土傾向と類似し〔遠藤・澤野ほか2014〕、建物や井戸など明確な生活痕跡は検出されていない点も同様であるが、他地点において古代・中世の遺構確認面となるV層上面で遺構が確認できる点に特徴がある。限定的ながら、同時期には比較的安定した微高地が形成されていた可能性がある。出土した土器はすべて土師器で、須恵器は確認できなかった。杯・高杯・壺はすべて内黒の土器で、「くの字」口縁の甕が伴う。また、東北系の特徴を持つ甕(52)が出土している。

B 古代

古代1期：春日編年Ⅲ・Ⅳ期(8世紀)に相当し、第19次調査5区東-5・第24次調査4区-3付近及び第24次調査2区を中心とする。第24次調査2区では同時期全般に渡って畝状遺構や不整形の浅い掘り込みがみられる。第19次調査5区東-5・第24次調査4区-3付近では、直立した状態の柱根(木製品1・137・138)や礎板とみられる材(木製品3)、第19次調査に伴う5区の工事立会でも柱根(木製品5・6)が出土しており、掘立柱建物の痕跡が確認できる。付近では新津丘陵産を主体とする須恵器食膳具や赤彩された土師器無台碗の大型品などを中心とする春日編年Ⅳ期の土器がまとまって出土している。調査範囲の制約もあり、不明な点が多いものの、第19次調査5区東-5付近が古代1-2期の掘立柱建物を伴う居住域、北約100mに位置する第24次調査2区は生産域としての土地利用の痕跡が確認された。本報告における他の調査区では同時期の遺構・遺物の検出はわずかであることから、土地利用は遺跡北側を中心とした限定的なものであったと考えられる。須恵器食膳具を中心に出土土器量が多く、赤彩された土師器無台碗にまとまりを有するといった特徴があるが、他に特殊な遺物や遺構の出土はなく、一般集落の様相を示す。当該期が本報告における古代の集落の成立期にあたる。なお、第19次調査5区東-5では、当該時期の土器を主体とするSK2の埋土や遺物包含層(Ⅳ層)を割る形で噴砂跡が確認されており(図版15)、付近では古代2期以降の痕跡は希薄となる。

古代2期：主に春日編年Ⅴ・Ⅵ期で、一部Ⅶ期を含む(9世紀～10世紀初頭)。本報告における古代の集落の主体時期であり、調査範囲のほぼ全域で当該期の遺構・遺物が確認される。本章第2節で述べたように出土土器の器種構成率等からは3期に細分される。当該期内での遺構の詳細な分布状況や土地利用の変遷は把握できなかった。

第22次調査3区は、古代2-1期(概ね春日編年Ⅴ期に対応)を主体とし、地業に伴うとみられる浅い土坑群や溝で構成される。同調査区SK90、SX71・105では、須恵器食膳具で胎土B群の佐渡小泊窯産が増加し、5割を越え、土師器無台碗は底部糸切りの小型品が主体となり、出土量が3割程度まで増加する。

第22次調査1・2区、第24次調査2区では、古代2期全般に土地利用がなされる。特に第24次調査2区は、古代1期から引き続き土地利用がされ、当該期には7棟の掘立柱建物が確認できる。須恵器三耳瓶(986)・突帯付四耳壺(582)・獸脚(1365)といった特殊器種を含む出土土器量も多く、本報告における当該期集落の中心域と考えられる。ただし、富裕さを示す施釉陶器などの遺物や顕著な特色を示す遺構も確認できないことから、その性格としては一般集落に位置付けられる。

C 中世

沖ノ羽遺跡の本報告範囲では、集落様相は10世紀前半を最後にいったん不明瞭となり、12世紀後半から再び集落が形成される。主に平面的調査を行った第22次調査1区、第24次調査2区において中世の遺構・遺物が確認された。

中世1期：12世紀後半～13世紀前半、珠洲Ⅰ・Ⅱ期に相当する時期で、第22次調査1区南寄りの区域を主体とする。同時期の掘立柱建物6棟、井戸14基などが確認され、SE1536では呪符木簡が出土している。土器・陶磁器類は中世土師器が主体であり、なかでもロクロ成形の小型の皿が多く出土している。珠洲焼は片口鉢だけでなく壺・甕類も一定量出土している。同調査区南西端では、堀田と推定される遺構SX408が確認され、当該期の掘立柱建物が集中する付近の15G-8D15では、農具の鎌(金属製品13)も出土していることから、農耕を生業とする一般集落と考えられる。第19次調査6区でも同時期の珠洲焼片口鉢・甕が出土している。

中世2期：13世紀後半～15世紀、珠洲Ⅲ～Ⅴ期に相当する。

第22次調査1区では、中世1期に引き続き北寄りに主体域を移動させ、4棟の掘立柱建物やSE201・1617といった大型の井戸が構築される。SE500では戯れ歌とみられる文言の書かれた木簡(木製品32)やSE1617では漆器椀がまとまって出土している。中世土師器は変わらず土器・陶磁器類の主体で、底部ヘラ切りや手づくね成形の皿が増加し、器種が多様化する。珠洲焼は片口鉢が大半を占め、壺・甕類は減少する。輸入陶磁器が増加し、優品も確認される。瀬戸・美濃焼は15世紀前半の平椀1点(519)のみの出土で、ほかに15世紀代に位置付けられる遺物がないことから、同調査区範囲は12世紀後半から14世紀代を主体とし、遅くとも15世紀後半には廃絶するとみられる。輸入陶磁器に優品は見られるものの数量は相対的に少なく、威信財となる高級陶磁器の出土はない。土器・陶磁器の組成からは、中世1期に引き続き一般農耕民により構成される中世集落の様相といえる。しかし、戯れ歌とみられる文言が書かれた木簡からは文字を使った「遊び」に類する余裕が感じられ、SE1617で漆器にもまとまりがある点などから、ある程度の経済的余裕のある農民層と考えられる。同調査区で確認された80基を超える井戸は大半が中世に属するものと推定され、一定の規模を有することから沖ノ羽遺跡付近における中世集落の中心地のひとつと捉えられる。

第24次調査2区は、土器組成において第22次調査1区と類似する。中世2期を主体として5棟の掘立柱建物が確認できる。中世1期に位置付けられるものはごく少数にとどまる。排滓坑を伴い鍛冶工房跡と推定される2区西SB4や、この工房の主屋と考えられるSB5、鉄製品と鍛冶関連遺物がまとまって出土している2区西SE9の存在から、精錬鍛冶に始まり鉄製品の生産工程を担った工房域と考えられる。鍛冶炉本体に伴う明確な遺構は検出されておらず、鉄製品の生産自体も比較的小規模と考えられることから、自家消費的な生産を中心としたものと推定される。鉄素材の供給源は今のところ明らかではないが、精錬鍛冶から鍛錬鍛冶の各工程を担った平地における中世鉄生産の一端を示す例である。

第6節 沖ノ羽遺跡の性格（附図）

沖ノ羽遺跡では、平成3・4（1991・1992）年度に行われた磐越自動車道建設に伴う調査（以下、県調査）を最初として、これまでに延べ119,310.59m²（2面部分を含む）の本発掘調査が行われ、古墳時代中期から鎌倉・室町時代に至る時期幅の遺構・遺物が確認されている（第1章第1表参照）。県営満日地区ほ場整備事業に伴う沖ノ羽遺跡の発掘調査は、平成15（2003）年に始まり、本報告をもって完了する。磐越自動車道から南側の調査についてはすでに総括がなされており〔立木・澤野ほか2008〕、また、前節と重複する部分もあるが、ここでは本報告の範囲を含めた磐越自動車道北側の調査を中心に沖ノ羽遺跡全体について、時期ごとの様相を概観してまとめとしたい。

沖ノ羽遺跡で最初に人の活動痕跡が見られるのは古墳時代中期からである。第22次調査1区で「ハの字」に開く高杯脚部や小型壺などが出土している。数は少なく出土状況も散発的で、明確な遺構は確認されていない。当該期の土器は県調査B地区5区・13区や磐越自動車道南側の第15次調査5区で一定のまとまりを有し、土坑などの遺構も複数確認されていることから、中心はこの周辺にあったと推察される。

古墳時代後期になると第18次調査4区、第19次調査5区東-14の調査区北東端で土器が確認される。建物跡等は検出していないが、複数の遺構と古墳時代後期後半に位置付けられる内黒の杯・高杯・小型壺が出土している。第VII章第5節で述べたように第19次調査5区東側の一部では、比較的安定した微高地が形成されていたと推定されることから、5区東-14周辺から第18次調査4区北東側を含めた範囲で古墳時代後期の集落域が広がっていた可能性が考えられる。

その後、一旦、痕跡は途絶え、7世紀代の遺構・遺物は確認できない。再び土地利用が始まるのは8世紀初頭、春日編年Ⅲ期からである。この時期の遺構もごく少数にとどまる。第24次調査2区を中心に非ロクロ成形の土師器煮炊具や阿賀北産の須恵器食膳具が出土している。また、同2区東SK907では畿内系の土師器無台椀が検出されており、特徴的である。

春日編年Ⅳ期（8世紀中葉～後半）には、第19次調査5区東-5、第24次調査4区-3で定量の土器が確認される。同地区では建物跡と推定される柱根も複数検出されている。土器は新津丘陵産の須恵器食膳具に、赤彩された土師器食膳具が共伴して出土している。第24次調査2区でも当該期の遺構・遺物が確認されているが、明確な建物跡は伴わず、中心部は第19次調査5区東-5、第24次調査4区-3周辺に位置していると推察される。当該期の土器が出土した第19次調査5区東-5 SK2・同12 SD4・8では、遺構埋土を切る噴砂が検出されており、同時期以降の地震の痕跡と考えられる。

続く春日編年Ⅴ期（9世紀前半）では主に第22次調査1区・3区を中心に土器が確認されており、特に3区はⅤ期を主体とした遺構で構成されている。主要遺構としては同区SK90、SX71・105が挙げられ、佐渡小泊産須恵器が食膳具の半数以上を占めている。建物跡は確認されていないが、器種構成や遺物量から安定して集落が営まれていたと考える。沖ノ羽遺跡第8次調査において遺跡範囲西端部で検出された当該期の掘立柱建物3棟と土坑・井戸などの遺構について、細野高伯氏は、数棟の掘立柱建物に井戸や土坑などの周辺施設を併設する建物小群がいくつかの単位で併存し、自立した農業経営と一定の区画からなる宅地を保有する「住耕一体型」の「王朝国家型村落」〔坂井ほか1989〕の初期段階と位置付け、その性格について、沖積平野への進出を積極的に開始した初期の段階に構築された一単位の集落遺跡としている〔細野ほか2002〕。

春日編年Ⅵ期（9世紀後半）には、沖ノ羽遺跡全域で遺構・遺物の量が増加し、土地利用が広がる様子が見て取れる。当該期の遺構・遺物は、周辺に隣接する中谷内遺跡〔立木ほか1999・渡邊ほか2002・遠藤・笹澤ほか2015〕、無頭遺跡〔長澤ほか2002〕、山王浦遺跡〔立木・澤野ほか2004b〕の範囲でも認められ、盛んな開発の様子がうかがえる。磐越自動車道北側調査区では主に第18次調査3区、第24次調査2区で多く、掘立柱建物も複数棟検出

されている。特に第 18 次調査 3 区では旧河川流路である河 1 の中層及び上層で大量の土器が出土している。器種構成としては前段階から急増した土師器無台碗が器種の 7～8 割を占めており、土師器煮炊具や佐渡小泊窯産須恵器がわずかに伴う状況である。河 1 は船着場とみられるテラス状の遺構を備え、川辺では大量の墨書土器が投棄されており、祭祀の場ともなっている。また、下層を切る噴砂痕が確認されており、出土土器の時期から当該期の地震痕跡と推定され、貞観 5 (863) 年の地震によるものの可能性がある。このほかに、第 18 次調査 3 区とその周辺からは瓦塔、「寺」字の墨書土器など、仏教関連遺物が多数出土しており、仏堂施設の存在が推定される。同調査区周辺では香炉・耳皿などの仏具を含む 20 点前後の施釉陶器も出土しており、有力者を含む集落であったと推定される。仏堂施設の存在を直接的に示す遺構や、当該期の掘立柱建物群は確認できず、集落単位や相互の前後関係などに不明な点も多いが、これまでの調査結果からは、第 18 次調査 3 区周辺の仏堂施設の想定範囲や付近の微高地部を中心として当該期を通じて継続して集落が営まれ、周辺には比較的存続期間の短い小規模な建物群が散在する散村的な集落景観が復元できよう。

春日編年Ⅶ期 (10 世紀前半) になると遺構・遺物とも減少し様相は不明瞭になる。建物跡は検出されていない。主な遺構としては第 19 次調査 2 区 SD94 が当期に位置付けられる。器種の構成は前段階と同様であるが、厚い底部から体部が大きく開いて立ち上がる形態の土師器無台碗が目立って出土している。このほかの調査区では第 24 次調査 2 区東で同様の形態の土師器無台碗が確認できる。その後、再び活動痕跡は途絶える。

9 世紀後半に沖ノ羽遺跡の広範囲にわたって散村的に展開した集落は、10 世紀前半を最後にいったん不明瞭となる。12 世紀後半には、再び活動がみられるようになり、15 世紀前半頃まで継続する。集落の主体域は、磐越自動車道範囲を含めた遺跡北側にあり、いずれの区域も 9 世紀後半から 10 世紀前半の集落域と重複する。磐越自動車道南側の鮭川排水機場建設に伴う第 8 次調査〔細野ほか 2002〕や、満日地区ほ場整備事業に伴う第 11 次調査〔立木・澤野ほか 2005〕及び第 15 次調査〔立木・澤野ほか 2008〕1～3 区では、中世の遺構・遺物とも極めて少量で、集落域からは外れる。全域を通じて土器・陶磁器の主体が中世土師器である点に特徴があり、ロクロ成形の小型の皿が多く出土する概ね 12 世紀後半から 13 世紀前半の中世 1 期と、底部ヘラ切りや手づくね成形の皿が増加し、器種が多様化する 13 世紀後半から 14 世紀代の中世 2 期に分けられる点は、遺跡全域で共通する。前者を主体とする区域は、県調査 B 地区〔星野ほか 1996〕5 区・12 区や県調査 C 地区〔春日 2003a〕7 区があげられ、後者を主体とするのは第 24 次調査 2 区があげられる。第 18 次調査 1～3 区及び第 22 次調査 1 区では両時期を通じて居住域として利用される。同調査範囲は、図版 2 に示した旧地形からも 9 世紀代を中心に形成された流路左岸に沿う一連の微高地と考えられ、9 世紀代から中世にかけての集落中心部と想定される。第 24 次調査 2 区に見られる鍛冶関連遺構・遺物は、この集落域の生産の一端を担う痕跡といえよう。

沖ノ羽遺跡の南東側約 4.5km に位置する細池寺道上遺跡では、本遺跡の中世集落よりもやや早い 12 世紀前半から 15 世紀前半に集落が形成され、掘立柱建物と井戸、また集落を結ぶ道路状遺構などで構成される散村的集落景観が復元される〔潮田 2014・立木・相澤ほか 2014・遠藤・青木ほか 2015・立木・細井ほか 2015〕。同遺跡では、中世土師器が極めて少なく、古代・中世の集落域は重複しないことが多い。一方、沖ノ羽遺跡では、県調査 C 地区・第 18 次調査 3 区・第 22 次調査 1 区・第 24 次調査 2 区の各調査区で主に 9 世紀代と中世の集落域が重複しており、微高地上の比較的狭い範囲に建物がまとまる。細池寺道上遺跡のような小規模な集落を結ぶ道路状遺構は確認されず、集落景観が異なる。沖ノ羽遺跡では、安定的に居住するのに適した微高地が少なかった結果なのか、何らかの社会的要因が介在するのかは、今後の検討課題である。中世土師器が出土土器・陶磁器の主体になる類例として、江南区下郷南遺跡〔相澤 2015〕がある。下郷南遺跡では、14 世紀代のロクロ成形底部ヘラ切りが主体となるが、沖ノ羽遺跡では同時期もロクロ成形底部糸切りを主体とし、底部ヘラ切りも定量みられる。

沖ノ羽遺跡では、中世の掘立柱建物に大規模なものではなく、威信財となるような高級陶磁器の出土もない。しかし、前述のように戯れ歌とみられる文言が書かれた木簡や少なからぬ漆器の出土などから、その性格としては、零細ではない一定の経済力を有する農民層と自家消費的な小規模な鉄製品生産を行う集落であったと推定される。

以上、沖ノ羽遺跡はこれまでの調査の結果から大まかに、①遺跡中央からやや北東寄りの区域で古墳時代中～後期に活動痕跡→②8世紀前半～9世紀前半に遺跡北寄りの区域で掘立柱建物や畝状遺構を伴う一般集落→③9世紀後半～10世紀初頭には、第18次調査2・3区を中心とする沖ノ羽遺跡中央部に仏堂施設の存在が推測され、旧流路では大量の墨書土器が投棄される。集落は遺跡範囲全域に拡大→④10世紀後半～12世紀前半には、遺構・遺物が確認できない空白期→⑤12世紀後半～15世紀前半にかけて、③の時期の主要部に重複する遺跡中央部と西寄りおよび北側の範囲で鍛冶遺構を含むやや富裕な農村集落という変遷をたどる。

②の時期のうち、特に春日編年Ⅳ期（8世紀後半）については、能代川下流域では類例が少ない同時期の土器様相の一端がうかがえる。③の春日編年Ⅵ期（9世紀後半～10世紀初頭）については、比較的短期間で消長する小規模な建物群が散在する散村的な集落景観がみられ、その中心域には仏堂施設の存在が推測される。9世紀後半を主体時期とする新発田市坂ノ沢C遺跡では、山林開発を行う一般集落の集団結合の装置として仏堂施設が存在した可能性が指摘され〔渡邊・田中2001〕、沖ノ羽遺跡例についても同様の性格を有するものと考えられる。

沖ノ羽遺跡の顕著な特徴として挙げられる上記時期では、春日編年Ⅳ期の主要部と推測される第19次調査5区東-5付近では、用排水路設置に伴う路線調査であったため調査範囲が限定され、春日編年Ⅵ期に仏堂施設や居住域の存在した可能性が高い第18次調査2区と3区の間部分は、本調査対象範囲に含まれなかったことにより、未調査のまま保存されている。このため、周辺で類例の少ない8世紀代の集落構成や、仏堂施設の遺構を伴う具体的様相については把握できず、不明な点が多い。また、満日地区ほ場整備事業当初計画では対象範囲に含まれ、その後外れた内野遺跡西側部分は、事前の分布調査において最も多くの遺物が採集され、旧地形を残す畑地が点在しており、古代・中世の集落域が存在する可能性が高い。今後の開発などにおいて留意される点である。

先述した細池寺道上遺跡では、両新地区ほ場整備事業に伴う調査が進められており、次第に沖ノ羽遺跡との類似点や相違点が明らかになりつつある。今後の調査の進展により、集落構造の比較検討から、沖ノ羽遺跡の集落構造についてもより明らかになることを期待したい。

引用・参考文献

- ア 相澤 央 2010 「馬場屋敷遺跡出土木簡について」『平成 21 年度新潟市文化財調査概要』新潟市教育委員会
- 相澤裕子 2015 「Ⅱ 2 (2) 下郷南遺跡 第 1・2 次調査」『新潟市文化財センター年報』第 2 号 新潟市文化財センター
- 相田泰臣 2004 「越後における古墳時代後期を中心とした土器の―様相―頸城・魚沼地域を中心として―」『新潟考古』第 15 号 新潟県考古学会
- 相田泰臣ほか 2012 『林付遺跡 第 2 次調査―新潟市立潟東小学校体育館建設工事に伴う林付遺跡第 2 次発掘調査報告書―』新潟市教育委員会
- 相田泰臣・渡邊朋和ほか 2014 『史跡 古津八幡山遺跡発掘調査報告書―第 15・16・17・18・19 次調査―』新潟市教育委員会
- 相田泰臣・前山精明 2003 『菖蒲塚古墳・隼人塚古墳― 2002 年度確認調査の概要』巻町教育委員会
- 相田泰臣・前山精明 2005 『菖蒲塚古墳・隼人塚古墳Ⅱ― 2003 年度確認調査の概要』巻町教育委員会
- 相田泰臣・金田拓也・八藤後智人ほか 2015 『大沢谷内遺跡Ⅳ 第 19・20・21 次調査―一般国道 403 号小須戸田上バイパス整備工事に伴う大沢谷内遺跡第 12・13・14 次調査―』新潟市教育委員会
- 会津若松市教育委員会 1994 『会津若松市文化財調査報告書第 37 号 会津 大戸窯 大戸古窯跡群発掘調査報告書 (遺物編)』福島県会津若松市教育委員会
- 青木 学ほか 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 168 集 日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書ⅩⅠ 中曽根遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 朝岡政康 2008 『結七島遺跡Ⅳ 第 13・15・17 次調査―荻川駅東土地区画整理事業に伴う結七島遺跡第 7～9 次発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 朝岡政康・諫山えりか 2003 『東團遺跡 卸売市場建設に伴う市道東 8-273 建設事業用地内発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 甘粕 健・川村浩司ほか 1992 『古津八幡山古墳Ⅰ 1991 年測量調査報告書』新津市教育委員会
- 甘粕 健・小野 昭ほか 1993 『越後山谷古墳』巻町教育委員会
- 荒川隆史ほか 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 153 集 一般国道 49 号安田バイパス関係発掘報告書Ⅰ 大坪遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 荒川隆史ほか 2012 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 232 集 一般国道 49 号安田バイパス関係発掘報告書Ⅴ 境塚遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 荒谷伸郎・石垣義則ほか 2010 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 215 集 一般国道 49 号安田バイパス関係発掘報告書Ⅱ 山口遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- イ 飯坂盛泰ほか 2002 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 115 集 一般国道 7 号中条黒川バイパス関係発掘調査報告書 蔵ノ坪遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 家田順一郎ほか 1981 『豊浦町文化財報告三 曾根遺跡Ⅰ』豊浦町教育委員会
- 家田順一郎ほか 1982 『豊浦町文化財報告四 曾根遺跡Ⅱ』豊浦町教育委員会
- 家田順一郎 1987 『小丸山遺跡 (小丸山遺跡緊急発掘調査報告書)』横越村教育委員会
- 諫山えりか 2004 『新潟市山木戸遺跡―マンション等建設予定地内発掘調査報告書―』新潟市教育委員会
- 諫山えりか 2009 『中田遺跡 第 2 次調査―市道荻川新津線道路改良事業に伴う中田遺跡第 2 次発掘調査報告書―』新潟市教育委員会
- 石川県教育委員会 1975 『小松市文化財調査報告第 4 輯 戸津 5 号窯跡―石川県古窯跡調査 (第 4 次) 概報―』石川県教育委員会・小松市教育委員会・戸津古窯跡調査委員会
- 石川智紀ほか 1994 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 58 集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 沖ノ羽遺跡Ⅰ (A 地区)』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 石川智紀ほか 2001 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 103 集 国営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 新保遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 伊藤 崇 1998 『松山窯跡 新潟県北蒲原郡黒川村大字塩沢地内における古代窯跡の発掘調査報告書』黒川村教育委員会
- 伊藤秀和 2005 『加茂市文化財調査報告 (14) 馬越遺跡―国道 403 号線道路改良工事に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書―』加茂市教育委員会

- 今井さやか 2007 『日水遺跡 第3次調査－鍋田土地区画整理事業に伴う日水遺跡発掘調査報告書－』新潟市教育委員会
- ウ 植田 真・遠竹陽一郎ほか 2003 『結七島遺跡発掘調査報告書Ⅱ』新潟市教育委員会
- 上野一久・春日真実 1997 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第87集 横雲バイパス関係発掘調査報告書 上郷遺跡Ⅱ』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 潮田憲幸 2008 『諏訪畑遺跡 第3次調査－介護老人保健施設「秋葉の郷」建設に伴う発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 潮田憲幸 2014 『細池寺道上遺跡Ⅱ 第25次調査－県営ほ場整備事業(担い手育成型)両新地区に伴う第11次発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 内堀信雄 1988 「須恵器甕に見られる叩き目文について」『シンポジウム北陸の古代土器研究の現状と課題』報告編 石川考古学研究会・北陸古代土器研究会
- 宇野隆夫 1989 「井戸考」『考古資料にみる古代と中世の歴史と社会』真陽社
- 宇野隆夫 1991 『律令社会の考古学的研究 北陸を舞台として』桂書房
- 宇野隆夫 1992 「食器計量の意義と方法」『国立歴史民俗博物館研究報告』第40集 国立歴史民俗博物館
- エ 江口友子・小濱 亨ほか 2000 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第100集 北陸自動車道黒埼パーキングエリア改良工事関係発掘調査報告書 釈迦堂遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 遠藤恭雄 2004 『下前川原遺跡 新潟県豊栄市下前川原遺跡発掘調査報告』豊栄市教育委員会
- 遠藤恭雄・澤野慶子ほか 2014 『沖ノ羽遺跡Ⅴ 第18・19次調査－県営ほ場整備事業(担い手育成型)満日地区に伴う沖ノ羽遺跡第11・12次発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 遠藤恭雄・青木 誠ほか 2015 『細池寺道上遺跡Ⅳ 第43次調査－市道大安寺第5号大関線改良工事に伴う細池寺道上遺跡第3次発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 遠藤恭雄・笹澤正史ほか 2015 『中谷内遺跡Ⅳ 第12・15・16次調査 内野遺跡Ⅱ 第8・9次調査－県営ほ場整備事業(担い手育成型)満日地区に伴う中谷内遺跡第3・5・6次、内野遺跡第3・4次発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- オ 岡安光彦・大谷裕司ほか 2005 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第143集 日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書Ⅷ 六斗峙遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 小田由美子ほか 2001 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第99集 一般国道49号堀越歩道工事関係発掘調査報告書 堀越館跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 尾野善裕 2000 「猿投窯(系)須恵器編年の再構築」『須恵器生産の出現から消滅－猿投窯・湖西窯編年の再構築－』第1分冊(発表要旨) 東海土器研究会
- カ 柿田祐司 2001 「須恵器甕の叩き目から」『北陸古代土器研究』第9号 北陸古代土器研究会
- 春日真実 1991 「古代佐渡小泊窯における須恵器の生産と流通」『新潟考古学談話会』第8号 新潟考古学談話会
- 春日真実 1994 「第Ⅵ章まとめ 2古墳時代後期の土器」『新潟県埋蔵文化財調査報告書第60集 北陸自動車道 上越市春日・木田地区発掘調査報告書Ⅳ 一之口遺跡東地区』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 1995 「古代集落の展開」『研究紀要』(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 1997a 「越後・佐渡における9世紀中葉の画期」『北陸古代土器研究』第6号 北陸古代土器研究会
- 春日真実 1997b 「越後における10・11世紀の土器様相」『北陸古代土器研究』第7号 北陸古代土器研究会
- 春日真実 1998 「中組遺跡出土の緑釉陶器について」『町史研究 よしだ』第2号 吉田町教育委員会
- 春日真実 1999 「第Ⅳ章古代 第2節 土器編年と地域性」『新潟県の考古学』新潟県考古学会編 高志書院
- 春日真実 2000 「考古編 第5章 まとめ」『吉田町史 資料編1 考古・古代・中世』吉田町
- 春日真実 2001 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第104集 国道116号 埋蔵文化財発掘調査報告書 梯子谷窯跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 2003a 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第123集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 沖ノ羽遺跡Ⅲ(C地区)』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 2003b 「消費遺跡出土佐渡小泊産須恵器のロクロ回転方向－越後出土の資料を中心に」『研究紀要』第4号(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 2005 「越後における奈良・平安時代土器編年の対応関係について－「今池編年」・「下ノ西編年」・「山三賀編年」の検討を中心に－」『新潟考古』第16号 新潟県考古学会

- 春日真実 2006 「越後における7世紀の土器編年」『新潟考古』第17号 新潟県考古学会
- 春日真実 2007 「越後における古代の煮炊具について」『新潟考古』第18号 新潟県考古学会
- 春日真実 2009 「越後における古代掘立柱建物」『新潟県の考古学Ⅱ』新潟県考古学会
- 春日真実 2010 「貞観五年の地震痕跡再考」『三面川流域の考古学』第8号 奥三面を考える会
- 春日真実 2013 「古代集落の動体－越後を事例として－」『新潟考古学談話会2013 Summer Meeting』資料 新潟考古学談話会
- 春日真実ほか 1996 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第76集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 江内遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実・笹沢正史 1999 「越後・佐渡の様相」『北陸古代土器研究』第8号 北陸古代土器研究会
- 春日真実ほか 2004 『越後阿賀北地域の古代土器様相』新潟古代土器研究会
- 加藤 学・福山俊彰ほか 2010 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第223集 一般国道49号阿賀野バイパス関係発掘調査報告書Ⅳ 村前東A遺跡 村前東B遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 金子拓男ほか 1977 『下田村文化財調査報告第7 県営前谷圃場整備地内埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 南中赤坂遺跡・南中五輪峠遺跡・飯田五輪峠遺跡』下田村教育委員会
- 金子拓男ほか 1983 『緒立遺跡発掘調査報告書』黒埼町教育委員会
- 川上貞雄 1981 『五泉市文化財調査報告(2) 山崎須恵窯址緊急発掘報告書』五泉市教育委員会
- 川上貞雄 1983 『亀田町文化財調査報告2 中の山遺跡発掘調査報告書』亀田町教育委員会
- 川上貞雄 1992 『川口甲遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 川上貞雄 1993 『横越村文化財調査報告2 山ん家遺跡緊急発掘調査報告書』横越村教育委員会
- 川上貞雄 1994 『八幡山遺跡Ⅰ 遺構編』新津市教育委員会
- 川上貞雄 1995 『舟戸遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 川上貞雄 1996a 『亀田町文化財調査報告書第4集 荒木前遺跡 第2次調査』亀田町教育委員会
- 川上貞雄 1996b 『金津丘陵製鉄遺跡群 居村B・D地区』新津市教育委員会
- 川上貞雄 1997a 『豊浦町文化財調査報告六 曾根遺跡Ⅲ 天王小学校改築に伴う遺跡発掘調査報告書』豊浦町教育委員会
- 川上貞雄 1997b 『上浦A遺跡 新津市工業団地第2期工事地内発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 川上貞雄 1997c 『和納館遺跡』岩室村教育委員会
- 川上貞雄 2002 『笹神村文化財調査報告13 主要地方道新潟五泉間瀬線地方特定道路整備費(改築)工事 折居川災害復旧助成事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 腰廻遺跡』笹神村教育委員会
- 川上貞雄・遠藤孝司 1983 『平遺跡緊急発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 川上貞雄・木村宗文・鈴木郁夫 1989 『新津市史』資料編第1巻 原始・古代・中世 新津市
- 川上貞雄ほか 1991 『笹神村文化財調査報告8 発久遺跡発掘調査報告書』笹神村教育委員会
- 川村浩司 2000 「上越市の古墳時代土器の変遷－関川右岸下流域を中心に－」『上越市史研究』第5号 上越市
- 川村 尚 2002 「佐渡郡羽茂町小泊窯跡」『新潟県考古学会第14回大会 研究発表会発表要旨』新潟県考古学会
- キ 北野博司 1999 「須志器貯蔵具の器種分類案」『北陸古代土器研究』第8号 北陸古代土器研究会
- 北村 淳・菊池康一郎ほか 2004 『中谷内遺跡Ⅲ・沖ノ羽遺跡Ⅱ・細池寺道上遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 木村宗文 1989 「資料解説－古代越後国と蒲原郡」『新津市史』資料編第1巻 原始・古代・中世 新津市
- コ 小池邦明 1999 『山木戸遺跡第2次発掘調査概要』新潟市教育委員会
- 小池邦明ほか 1992 『山木戸遺跡第1次発掘調査概報』新潟市教育委員会
- 小池邦明・藤塚 明 1993 『新潟市の場遺跡 的場土地区画整理事業用地内発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 小池邦明・本間圭吉 1995 『新潟市小丸山遺跡 直り山団地建設事業用地内発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 小池義人ほか 1994 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第59集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 細池遺跡 寺道上遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 小池義人ほか 1998 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第90集 上信越自動車道関係発掘調査報告書Ⅳ 関川谷内遺跡Ⅰ』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 小島幸雄・中西 聰ほか 1997 『保坂遺跡発掘調査報告書』上越市教育委員会
- 小林 存 1952 『新津市誌』新潟市
- 小林昌二・相澤 央 2004 「新潟県内出土墨書土器の基礎的考察」『資料学研究』1
- 小山正忠・竹原秀雄 1967 『新版標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究所監修

- サ 斎藤義信 1986 「新津市」『日本歴史地名大系 15 新潟県の地名』 平凡社
- 酒井和男 1980 『三王山遺跡』 亀田町教育委員会
- 酒井和男 2000a 「小丸山遺跡」『横越町史』資料編 横越町
- 酒井和男 2000b 「山ん家遺跡」『横越町史』資料編 横越町
- 酒井和男・廣野耕造 2002 「新潟砂丘における居住の初源」『新潟考古』第 13 号 新潟県考古学会
- 坂井秀弥 1988 「越後・佐渡における古代土器の生産と流通－8～10 世紀を中心として－」『シンポジウム北陸の古代土器研究の現状と課題』報告編 石川考古学研究会・北陸古代土器研究会
- 坂井秀弥 1989 「北陸型土師器長甕の製作技法」『新潟考古学談話会会報』第 3 号 新潟考古学談話会
- 坂井秀弥 1994 「庁と館、集落と屋敷－東国古代遺跡における館の形成－」『城と館を掘る・読む－古代から中世へ－』山川出版社
- 坂井秀弥 1996 「水辺の古代官衛遺跡－越後平野の内水面・舟運・漁業－」『越と古代の北陸』名著出版
- 坂井秀弥 1999 「第 IV 章 古代 第 1 節 総論」『新潟県の考古学』高志書院
- 坂井秀弥 2008 『古代地域社会の考古学』同成社
- 坂井秀弥ほか 1984 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 35 集 上新バイパス関係遺跡発掘調査報告書 I 今池遺跡・下新町遺跡・子安遺跡』新潟県教育委員会
- 坂井秀弥ほか 1986 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 40 集 北陸自動車道 上越市春日・木田地区発掘調査報告書 II 一之口遺跡西地区』新潟県教育委員会
- 坂井秀弥ほか 1989 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 53 集 新新バイパス関係発掘調査報告書 山三賀 II 遺跡』新潟県教育委員会・建設省北陸地方建設局新潟県国道工事事務所
- 坂井秀弥・鶴岡正昭・春日真実 1991 「佐渡の須恵器」『新潟考古』第 2 号 新潟県考古学会
- 坂上有紀 2003 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 118 集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 上浦遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 笹澤正史 1999 「第 4 章 古代 第 4 節 生産と流通 第 2 項 窯業」『新潟県の考古学』新潟県考古学会編 高志書院
- 笹澤正史 2001 「須恵器瓶類の口縁頸部接合痕跡」『北陸古代土器研究』第 9 号 北陸古代土器研究会
- 笹澤正史 2003a 「第 5 章 古代 第 1 節 時代概説」『上越市史』資料編 2 考古 上越市
- 笹澤正史 2003b 「第 5 章 古代 第 2 節 遺跡と遺物 13 子安遺跡」『上越市史』資料編 2 考古 上越市
- 笹澤正史 2004 「第 IV 章 各論 1 須恵器生産の概要」『越後阿賀北地域の古代土器様相』新潟古代土器研究会
- 笹澤 浩 1986 「凸帯付四耳壺考」『長野県考古学会誌』第 51 号 長野県考古学会
- 佐藤友子ほか 2008 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 187 集 一般国道 7 号線万代橋下流橋関係発掘調査報告書 近世新潟町跡広小路掘地点』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財事業団
- 佐藤友子・安西雅希ほか 2010 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 216 集 一般国道 49 号阿賀野バイパス関係発掘調査報告書 III 柄目木遺跡 I』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- シ 實川順一ほか 2009 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 191 集 角地田遺跡・平遺跡 北陸新幹線関係発掘調査報告書』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 上越市 2003 『上越市史』資料編 2 考古
- 白根市教育委員会 1984 『馬場屋敷遺跡等発掘調査報告書』
- ス 鈴木俊成・春日真実・高橋一功 1994 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 60 集 北陸自動車道 上越市春日・木田地区発掘調査報告書 IV 一之口遺跡東地区』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- セ 関 雅之ほか 1980 『鳥屋遺跡 I』豊栄市教育委員会
- 関 雅之ほか 1989 『新五兵衛山遺跡 I』豊栄市教育委員会
- 関 雅之ほか 1996 『新五兵衛山遺跡 II』豊栄市教育委員会
- タ 高橋 保・穴澤義功ほか 2008 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 189 集 一般国道 116 号出雲崎バイパス関係発掘調査報告書 VI 寺前遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 高橋理彦・杉本陽子 2001 『柿崎町埋蔵文化財調査報告書第 5 集 国営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 江島神社遺跡・大二反遺跡 発掘調査報告書』柿崎町教育委員会
- 高橋与右エ門 1984 「須恵器大甕にみられる「放射状当て具痕」について」『紀要』IV (財)岩手県埋蔵文化財センター
- 高浜信行・卜部厚志・寺崎祐助 2000 「味方排水機場遺跡調査報告書」『味方村誌』味方村
- 武田健次郎・青山 晃・内田亜紀子 1999 「越中における須恵器貯蔵具の様相」『北陸古代土器研究』第 8 号 北陸古代土器研究会

- 田嶋明人 1988 「古代土器編年軸の設定」『シンポジウム北陸の古代土器研究の現状と課題』報告編 石川考古学研究会・北陸古代土器研究会
- 田中一廣・丹下昌之ほか 2004 『結七島遺跡発掘調査報告書Ⅲ』新津市教育委員会
- 田中照久 1988 「越前 生産遺跡 丹生窯跡群」『シンポジウム北陸の古代土器研究の現状と課題』資料編 石川考古学研究会・北陸古代土器研究会
- 田中広明・池田敏宏ほか 2000 『古代仏教系遺物集成・関東－考古学の新たなる開拓を目指して－』考古学から古代を考える
- 田中 靖 1994 『和島村埋蔵文化財調査報告書第3集 八幡林遺跡』和島村教育委員会
- 田中 靖 1996 『和島村埋蔵文化財調査報告書第5集 門新遺跡 外割田地区』和島村教育委員会
- 田中 靖 1998 『和島村埋蔵文化財調査報告書第7集 下ノ西遺跡－出土木簡を中心として－』和島村教育委員会
- 田中 靖 2003 『和島村埋蔵文化財調査報告書第14集 下ノ西遺跡Ⅳ』和島村教育委員会
- 田中 靖ほか 1995 『和島村埋蔵文化財調査報告書第4集 門新遺跡』和島村教育委員会
- 田辺早苗・大賀 健 2002 『神林村埋蔵文化財報告第18 樋渡遺跡・堀下遺跡調査発掘報告書』神林村教育委員会
- 田辺早苗・土生朗治 2001 『神林村埋蔵文化財報告第9 衣田遺跡・道上遺跡』神林村教育委員会
- 田辺昭三 1981 『須恵器大成』角川書店
- 田畑 弘 1994 『田上町埋蔵文化財調査報告書第4集 道下・白地遺跡 大正川筋小規模河川改修工事事業及び道路新設事業埋蔵文化財緊急発掘調査報告書』田上町教育委員会
- 田畑 弘 2002 『田上町埋蔵文化財調査報告書第18集 長沢遺跡 新潟県営高生産性大区画ほ場整備事業（田上郷地区）埋蔵文化財緊急発掘調査報告書』田上町教育委員会
- ツ 立木宏明・渡邊朋和ほか 1998 『細池遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 立木宏明ほか 1999 『中谷内遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 立木宏明ほか 2000 『川根遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 立木宏明・高野裕子ほか 2002 『内野遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2003 『結七島遺跡発掘調査報告書Ⅰ』新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2004a 『愛宕澤遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2004b 『山王浦遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2005 『沖ノ羽遺跡発掘調査報告書Ⅲ』新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2008 『沖ノ羽遺跡発掘報告書Ⅳ 第15次調査－県営圃場整備事業（担い手育成型）満日地区に伴う沖ノ羽遺跡第8次発掘調査報告書－』新潟市教育委員会
- 立木宏明・八藤後智人ほか 2009 『萱免遺跡 第2次調査－宅地造成に伴う萱免遺跡第2次発掘調査報告書－』新潟市教育委員会
- 立木宏明・細野高伯ほか 2013 『日水遺跡Ⅱ 第6次調査－市道亀田300号線道路改良工事に伴う日水遺跡第2次発掘調査報告書－』新潟市教育委員会
- 立木宏明・相澤（高野）裕子ほか 2014 『細池寺道上遺跡Ⅲ 第26次調査－県営ほ場整備事業（担い手育成型）両新地区に伴う第12次発掘調査報告書－』新潟市教育委員会
- 立木宏明・細井佳浩ほか 2015 『細池寺道上遺跡Ⅴ 第32・38・41次調査 西江浦遺跡 第6次調査－県営ほ場整備事業（担い手育成型）両新地区に伴う細池寺道上遺跡第15・17・18次 西江浦遺跡第4次発掘調査報告書－』新潟市教育委員会
- 土屋 積・鶴田典昭・中嶋英子・中嶋庄一 1997 『(財)長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書24 上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書13 飯田古屋敷遺跡・玄照寺跡・がまん淵遺跡・沢田鍋土遺跡・清水山窯跡・池田端窯跡・牛出古窯遺跡』(財)長野県埋蔵文化財センター
- テ 出越茂和 1999 「北加賀・能登地方の古代須恵器貯蔵具」『北陸古代土器研究』第8号 北陸古代土器研究会
- 寺村光晴 1960 「越後六地山遺跡」『上代文化』30 国学院大学考古学会
- 寺村光晴 1961 「新潟県西蒲原郡六地山遺跡」『日本考古学年報』9 日本考古学協会
- ト 土橋由理子 2005 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第151集 上信越自動車道関係発掘調査報告書Ⅷ 蛇谷遺跡・炭山遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 土橋由理子 2009 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第200集 一般国道49号亀田バイパス関係発掘調査報告書Ⅱ 西郷遺跡 大蔵遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 土橋由理子ほか 1999 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第91集 国道49号横雲バイパス関係発掘調査報告書Ⅲ 牛道遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

- 土橋由理子ほか 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第165集 日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書XXVIII 馬見坂遺跡 正尺A遺跡 正尺C遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 土橋由理子ほか 2011 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第221集 日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書XXXVI 古渡路遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- ナ 中川成夫・倉田芳郎 1956 『新津田家七本松須恵器窯跡発掘調査報告書』北方文化博物館
- 長澤展生ほか 2002 『無頭遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 中嶋 隆 1982 『桃花台ニュータウン遺跡調査報告IV』愛知県建築部・小牧市教育委員会
- ニ 新潟県 1983 『新潟県史 資料編4』中世二 文書編III
- 新潟県 1984 『新潟県史 資料編5』中世三 文書編IV
- 新潟市国際文化財部歴史文化課 2007 『新 新潟市歴史双書2 新潟市の遺跡』新潟市
- 新潟市史編さん原始古代中世史会 1994 『新潟市史』資料編1 原始 古代 中世 新潟市
- 日進町教育委員会 1978 『愛知県日進町 折戸80号窯発掘調査報告書』愛知県日進町教育委員会
- ノ 野尻 侃 2004 『山形県埋蔵文化財センター調査報告書第129集 泉森窯跡・坂ノ下遺跡発掘調査報告書』(財)山形県埋蔵文化財センター
- 野水晃子・伊藤正志・山崎 天 2003 『五泉市文化財報告(8) 能代川関係発掘調査報告書I 新保北遺跡』五泉市教育委員会
- ハ 秦 繁治・小林義廣 1997 『三和村埋蔵文化財調査報告書第5集 日向古窯跡発掘調査報告書』三和村教育委員会
- 秦 繁治・中村美恵子 1988 『新潟県上越市四ッ屋遺跡発掘調査報告書』四ッ屋遺跡調査団
- 磐梯町教育委員会・磐梯山慧日寺資料館 2000 『器に書かれた歴史－慧日寺跡出土の墨書土器を中心として－』
- ヒ 久田正弘ほか 2012 『一般国道159号(鹿島バイパス)改築工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 中能登町 高島カタタ・スギモト遺跡』石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター
- 平尾政幸 1994 『緑釉陶器・灰釉陶器・白色土器』『平安京提要』角川書店
- 平川 南 2000 『墨書土器の研究』吉川弘文館
- 広島県立歴史博物館 2000 『草戸千軒町遺跡調査研究報告4 草戸木簡集成2』
- 廣野耕造 1996 『石動遺跡 平成7年度発掘調査概報』新潟市教育委員会
- 廣野耕造 2000 『新潟市前田遺跡 県営かんがい排水事業に伴う発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- 廣野耕造・朝岡政康 1999 『大淵遺跡 宅地開発事業に伴う発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- フ 藤澤良祐 2008 『中世瀬戸窯の研究』高志書院
- 藤田賢哉・穴澤義功・山村 剛 2008 『堤沢山遺跡－日本海沿岸東北自動車道建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書XXVII－』秋田県教育委員会
- 藤塚 明・小池邦明・渡邊朋和 1987 『新潟市小丸山遺跡発掘調査概報』新潟市教育委員会
- ホ 星野信明ほか 1996 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第80集 磐越自動車道関係発掘調査報告書 沖ノ羽遺跡II (B地区)』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 本間嘉晴・椎名仙卓 1958 『佐渡小木半島周辺の考古学的調査』『新潟県文化財年報2 南佐渡－南佐渡学術調査報告書－』新潟県教育委員会
- 細野高伯ほか 2002 『沖ノ羽遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 細野高伯・伊比博和ほか 2012 『大沢谷内遺跡II 第7・9・11・12・14次調査－一般国道403号小須戸田上バイパス整備工事に伴う大沢谷内遺跡第2・4・6・7・9次発掘調査報告書－』新潟市教育委員会
- マ 前山精明 1994 『御井戸遺跡』『巻町史』資料編1 考古 巻町
- 前山精明・相田泰臣 2002 『南赤坂遺跡－縄文時代前期～中期・古墳時代前期を主とする集落跡の調査－』巻町教育委員会
- 前山精明・相田泰臣 2003 『御井戸遺跡I－2002年度確認調査の概要－』巻町教育委員会
- 前山精明・相田泰臣 2004 『御井戸遺跡II－2003年度確認調査の概要－』巻町教育委員会
- 前山精明・相田泰臣 2005 『御井戸遺跡III－2004年度確認調査の概要－』巻町教育委員会
- 満日郷土史編纂委員会 1977 『満日郷土史』
- ミ 水澤幸一 2001 『中条町埋蔵文化財調査報告第21集 下町・坊城遺跡V C地点遺物編・写真図版編』中条町教育委員会
- 水澤幸一 2005 『越後の中世土器』『新潟考古』第16号 新潟県考古学会
- 宮下幸夫・望月精司 1989 『二ツ梨横川1号窯跡 団体営二ツ梨土地改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』石川県小松市教育委員会

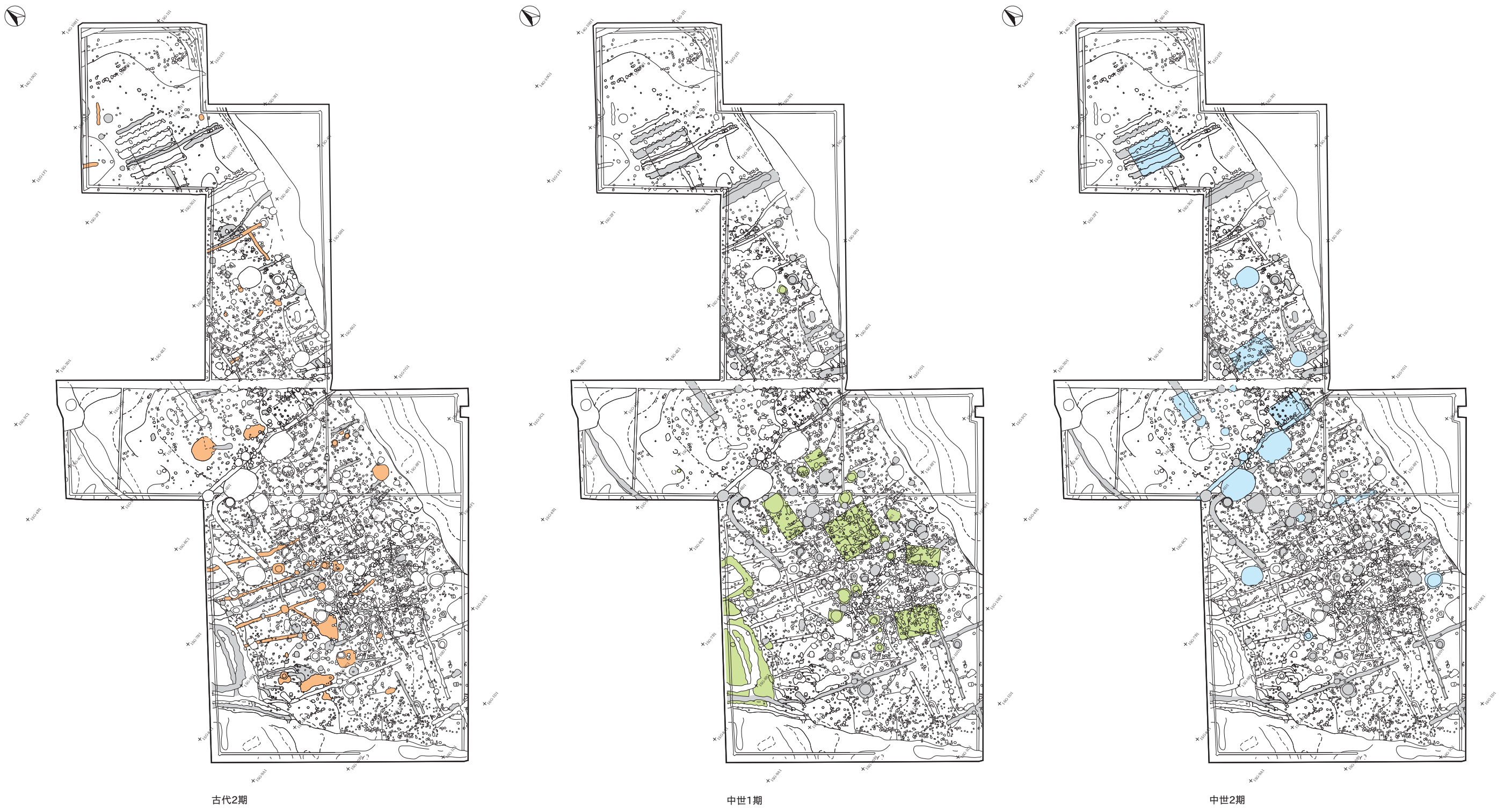
- △ 向井裕知 1999 「井戸における貯蔵具の使用」『北陸古代土器研究』第8号 北陸古代土器研究会
村上章久・高橋 均ほか 2013 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第248集 一般国道49号安田バイパス関係発掘報告書Ⅶ 山口野中遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- モ 望月精司 1997 「第2章各地域の土師器生産と土師器焼成遺構 第4節北陸」『古代の土師器生産と焼成遺構』真陽社
望月精司 2002 『二ツ梨一貫山窯跡ー日本自動車博物館建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』石川県小松市教育委員会
望月精司 2003 「古代権状錘に関する一考察ー北陸出土権衡資料の検討を中心としてー」『北陸古代土器研究』第10号 北陸古代土器研究会
- ヤ 安田幸市・嘉見俊宏 1995 『黒笹44号窯・北畑遺跡発掘調査報告書』三好町教育委員会
山崎 天 1999 『五泉市文化財報告(5) 橋田B遺跡 県道交通安全施設及び集落排水路整備工事に伴う埋蔵文化財調査報告書』五泉市教育委員会
山崎 天・遠藤 佐 1999 『五泉市文化財報告(4) 小実山遺跡 工業用地造成工事に伴う埋蔵文化財調査報告書』五泉市教育委員会
山崎 天・田村大器ほか 2003 『五泉市文化財報告(9) 能代川関係発掘調査報告書Ⅱ 南谷地西遺跡』五泉市教育委員会
山崎 天・鈴木 進ほか 2004a 『五泉市文化財報告(11) 能代川関係発掘調査報告書Ⅳ 新保遺跡・住吉田東遺跡』五泉市教育委員会
山崎 天・鈴木 進ほか 2004b 『五泉市文化財報告(12) 能代川関係発掘調査報告書Ⅴ 笥下遺跡』五泉市教育委員会
山崎 天・草間 裕・皆川貴史 2004 『五泉市文化財報告(15) 能代川関係発掘調査報告書Ⅷ 住吉田遺跡・住吉田南遺跡』五泉市教育委員会
山田真一 2010 「第3部 各地域の窯の様相 第8章 甲信越」『古代窯業の基礎研究』窯跡研究会
山本信夫 2000 「3 分類の問題と補足」 「4 陶磁器分類」『太宰府市の文化財第49集 大宰府条坊跡XVー陶磁器分類編ー』太宰府市教育委員会
- ヨ 横山勝栄・竹田和夫ほか 1987 『新潟県中世城館跡等分布調査報告書』新潟県教育委員会
吉井雅男ほか 1999 『荒川町埋蔵文化財発掘調査報告第5集 元山窯跡群 平成9・10年度町内遺跡試掘確認調査報告書』荒川町教育委員会
吉井雅男ほか 2002 『荒川町埋蔵文化財発掘調査報告第8集 鴨侍遺跡ー一級河川乙日川(烏川工区)統合一級河川整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』荒川町教育委員会
吉岡康暢 1994 『中世須恵器の研究』吉川弘文館
吉村光彦 2003 『中条町埋蔵文化財調査報告第26集 中倉遺跡6次・8次 築地原遺跡2次 主要地方道中条紫雲寺線改良工事に伴う発掘調査報告書Ⅲ』中条町教育委員会
米沢 康 1965 「大化前代における越の史的位位置」『信濃』第17巻第1号 信濃史学会
米沢 康 1980 「大宝二年の越中国四郡分割をめぐって」『信濃』第32巻第6号 信濃史学会
米田克彦・椿 真治ほか 2009 『中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 六重城南遺跡 瀧坂遺跡 鉄穴内遺跡』国土交通省松江国道事務所・島根県教育委員会
- ワ 若林知美 2004 「新潟県出土の古代施釉陶器」『新潟考古学談話会会報』第28号 新潟考古学談話会
渡邊朋和 1991 『長沼遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
渡邊朋和 1992 『上浦遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
渡邊朋和 1994a 『八幡山遺跡発掘調査報告書ー平成5年度範囲確認調査ー』新津市教育委員会
渡邊朋和 1994b 『平成5年度 新津市内遺跡確認調査報告書』新津市教育委員会
渡邊朋和 1999 「第4章 第4節 第3項 製鉄」『新潟県の考古学』新潟県考古学会
渡邊朋和ほか 1997 『金津丘陵製鉄遺跡群発掘調査報告書Ⅱ 居村遺跡E・A・C地点、大入遺跡A地点』新津市教育委員会
渡邊朋和ほか 1998 『金津丘陵製鉄遺跡群発掘調査報告書Ⅲ(分析・考察編)』新津市教育委員会
渡邊朋和ほか 2001 『寺道上遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
渡邊朋和・立木宏明ほか 2001 『八幡山遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
渡邊朋和ほか 2002 『中谷内遺跡発掘調査報告書Ⅱ』新津市教育委員会

- 渡邊朋和・高野裕子 2003 『川口乙遺跡発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 渡邊朋和・立木宏明ほか 2004 『八幡山遺跡群発掘調査報告書－第11・12・13・14次調査－』 新津市教育委員会
- 渡邊裕之・坂上有紀ほか 2010 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第208集 一般国道116号和島バイパス関係発掘調査報告書Ⅲ 立野大谷製鉄遺跡 姥ヶ入製鉄遺跡 姥ヶ入南遺跡』 新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 渡邊ますみ 1991 『亀田町文化財調査報告書第3集 荒木前遺跡』 亀田町教育委員会
- 渡邊ますみ 1993 『緒立A遺跡確認調査報告書』 黒埼町教育委員会
- 渡邊ますみ 1994 『緒立C遺跡発掘調査報告書』 黒埼町教育委員会
- 渡邊ますみ 1998 「第二章 原始・古代－緒立遺跡－ 第三節 出土遺物 第三項 奈良・平安時代の遺物」『黒埼町史料編1 原始・古代・中世』 黒埼町
- 渡邊ますみほか 2009 『駒首瀧遺跡 第3・4次調査－大型小売店舗建設に伴う駒首瀧遺跡第3・4次発掘調査報告書－』 新潟市教育委員会
- 渡邊ますみ・奈良貴史ほか 2012 『四十石遺跡 第2次調査－(仮称)新赤塚埋立処分地整備工事に伴う四十石遺跡第2次発掘調査報告書－』 新潟市教育委員会
- 渡邊美穂子・田中耕作 2001 『新発田市埋蔵文化財調査報告書第23-2 坂ノ沢C遺跡Ⅱ(平安時代編)』 新発田市教育委員会

第Ⅵ章 引用・参考文献

- B Bronk Ramsey,C. 2009 「Bayesian analysis of radiocarbon dates」『Radiocarbon』51 (1) p.337-360
- R Reimer,P.j.et al. 2013 「IntoCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves,0-50.000years cal BP」『Radiocarbon』55 (4) p.1869-1887
- S Stuiver,M. and Polach,H.A. 1977 「Discussion : Reporting of 14C data」『Radiocarbon』19 (3) p.355-363
- W Wheeler E.A.,Bass P.and Gasson P.E. (編) 1998 『広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡の特徴リスト. 伊藤隆夫・藤井智之・佐伯浩(日本語監修) [Wheeler E.A.,Bass P.and Gasson P.E. (1989) IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification]』 海青社 p.122
- ア 青木かおり・新井房夫 2000 「三陸沖海底コア KH-94-3, LM-8の後期更新世テフラ層序」『第四紀研究』39, p.107-120
- イ 石川茂雄 1994 『原色日本植物種子写真図鑑』 石川茂雄図鑑刊行委員会 p.328
- 伊東隆夫 1995 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ」『木材研究・資料』31 京都大学木質科学研究所 p.81-181
- 伊東隆夫 1996 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ」『木材研究・資料』32 京都大学木質科学研究所 p.66-176
- 伊東隆夫 1997 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ」『木材研究・資料』33 京都大学木質科学研究所 p.83-201
- 伊東隆夫 1998 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ」『木材研究・資料』34 京都大学木質科学研究所 p.30-166
- 伊東隆夫 1999 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ」『木材研究・資料』35 京都大学木質科学研究所 p.47-216
- オ 大池昭二 1972 「十和田火山東麓における完新世テフラの編年」『第四紀研究』11 p.232-233
- 只見川第四紀研究グループ 1966a 「福島県野沢盆地の浮石質砂層の基底部より産出した木材の¹⁴C年代－日本の第四紀層の¹⁴C年代XXVI」『地球科学』82 p.8-9
- 只見川第四紀研究グループ 1966b 「只見川・阿賀野川流域の第四紀の編年－とくに沼沢浮石層の層位学的諸問題について」『第四紀』8 p.76-79
- 小畑弘巳 2008 「マメ科種子同定法」『極東先史古代の雑穀3』日本学術振興会平成16～19年度科学研究費補助金(基盤B-2)(課題番号16320110)『雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究』研究成果報告書, 小畑弘巳編 熊本大学埋蔵文化財調査室 p.225-252
- 小畑弘巳 2011 『東北アジア古民俗植物学と縄文農耕』 同成社 p.309
- カ 笠原安夫 1982 「鳥浜貝塚の植物種実の検出とエゴマ・シソ種実タール状塊について」『鳥浜貝塚1980年度発掘調査概報・研究の成果－縄文前期を主とする低湿地遺跡の調査2－』 福井県教育委員会 p.65-87
- 笠原安夫 1985 『日本雑草図鑑』 養賢堂 p.494
- 笠原安夫 1988 「作物および田畑雑草種類」『弥生文化の研究第2巻 生業』 雄山閣出版 p.131-139
- 金原正明 1993 「花粉分析法による古環境復原」『新版古代の日本 第10巻 古代資料研究の方法』 角川書店 p.248-262
- キ 岸本定吉・杉浦銀治 1980 『日曜炭やき師入門』 総合科学出版 p.250

- 北村四郎・村田 源 1979 『原色日本植物図鑑・木本編』Ⅱ
木下亀城・小川留太郎 1995 『岩石鉱物』 保育社
- ク 黒田吉益・諏訪兼位 1983 『偏光顕微鏡と造岩鉱物〔第2版〕』 共立出版株式会社
- サ 佐藤敏也 1988 「弥生のイネ」『弥生文化の研究2 生業, 金関 怨・佐原 真編』 雄山閣 p.97-111
- シ 島倉巳三郎 1973 「日本植物の花粉形態」『大阪市立自然科学博物館収蔵目録』第5集 p.60
島地 謙・佐伯 浩・原田 浩・塩倉高義・石田茂雄・重松頼生・須藤彰司 1985 『木材の構造』 文永堂出版
p.290
島地 謙・伊東隆夫 1982 『図説木材組織』 地球社 p.176
島地 謙・伊東隆夫 1988 『日本の遺跡出土木製品総覧』 雄山閣出版 p.296
- ス 杉山真二 2000 「植物珪酸体(プラント・オパール)」『考古学と植物学』 同成社 p.189-213
鈴木毅彦・早田 勉 1994 「奥会津沼沢火山から約5万年前に噴出した沼沢一金山テフラ」『第四紀研究』33 p.233-242
鈴木庸夫・高橋 冬・阿延尚文 2012 「草木の種子と果実—形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実632種—」『ネイチャーウォッチングガイドブック』 誠文堂新光社 p.272
- タ 谷城勝弘 2007 『カヤツリグサ科入門図鑑』 全国農村教育協会 p.247
- ナ 中村 純 1973 『花粉分析』 古今書院 p.82-110
中村 純 1977 「稲作とイネ花粉」『考古学と自然科学』第10号 p.21-30
中村 純 1980 「日本産花粉の標徴」『大阪市立自然史博物館収蔵目録』第13集 p.91
中山至大・井之口希秀・南谷忠志 2000 『日本植物種子図鑑』 東北大学出版会 p.642
- ニ 日刊工業新聞社 1968 『焼結鉱組織写真および識別法』
新田みゆき 2001 「シソとエゴマの分化と多様性」『栽培植物の自然史—野生植物と人類の共進化—山本裕文・島本義也編』 北海道大学図書刊行会 p.165-175
- ハ 林 昭三 1991 『日本産木材 顕微鏡写真集』 京都大学木質科学研究所
- フ 藤下典之 1984 「出土遺体よりみたウリ科植物の種類と変遷とその利用法」『古文化財の自然科学的研究, 古文化財編集委員会編』 同朋舎 p.638-654
藤原宏志 1976 「プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)—数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法—」『考古学と自然科学』9 p.15-29
藤原宏志・杉山真二 1984 「プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)—プラント・オパール分析による水田址の探査—」『考古学と自然科学』17 p.73-85
- マ 町田 洋・新井房夫 1992 『火山灰アトラス』 東京大学出版会 p.276
町田 洋・新井房夫 2003 『新編火山灰アトラス』 東京大学出版会 p.336
町田 洋・新井房夫・森脇 広 1981 「日本海を渡ってきたテフラ」『科学』51 p.562-569
- ミ 南 博史 1982 「絵巻物語による曲物の一考案」『平安博物館研究紀要第7輯』
南木睦彦 1992 「低湿地遺跡の種実」『月刊考古学ジャーナル』No.355 ニューサイエンス社 p.18-22
南木睦彦 1993 「葉・果実・種子」『日本第四紀学会編, 第四紀資料分析法』 東京大学出版会 p.276-283
- ヤ 山田昌久 1993 「日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成—用材から見た人間・植物関係史」『植生史研究特別』特別1号 植生史研究会 p.242
- ヨ 吉崎昌一 1992 「古代雑穀の検出」『月刊考古学ジャーナル』No.355 ニューサイエンス社 p.2-14



0 (1 : 600) 30m

第 67 図 第 22 次調査 1 区 遺構変遷図



第68図 第24次調査2区 遺構変遷図

別表 1 第 19 次調査 沖ノ羽遺跡遺構計測表

| 図版No. | 写真図版 No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 | |
|----------|----------|-----|------|-----------------------------------|----|-----|------------|--------|---------|------|--------|----------|------|-----|-----|-------|------|-----------------|----|--------|--------|--------|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | | 深度 | 平面 | | | | | 断面 | 点数 (点) | | 重量 (g) |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 10 | 5 | 5区西 | SK7 | 15E-8D15, 8E6・11 | — | V | N- 50° - E | — | (0.49) | — | (0.26) | 0.12 | 3.17 | — | 台形状 | 1 | | | | 5区西-4 | | |
| 10 | 5 | 5区西 | SK8 | 15E-8D21, 9D1 | — | V | N- 78° - W | 0.80 | 0.56 | 0.50 | 0.25 | 0.09 | 3.31 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | 174 | 3 | 9 | 5区西-4 | |
| 10 | 5 | 5区西 | SK9 | 15E-9C5, 9D1 | — | V | N- 26° - W | — | 0.86 | — | 0.48 | 0.39 | 3.10 | 楕円形 | 皿状 | 4 | ○ | >SD10 | | | 5区西-4 | |
| 9 | 4 | 5区西 | SD1 | 15E-6F20, 6G16・17・21 | — | V | N- 56° - W | — | 1.94 | — | 0.40 | 0.45 | 3.15 | — | 皿状 | 6 | ○ | | | | 5区西-2 | |
| 9 | 4 | 5区西 | SD2 | 15E-6F25, 6G21 | — | V | N- 72° - W | — | 0.46 | — | 0.30 | 0.25 | 3.50 | — | 半円状 | — | ○ | | | 1 | 13 | 5区西-2 |
| 10 | 5 | 5区西 | SD6 | 15E-8D9・10・13~15・18・19・22・23, 8E6 | — | V | N- 34° - E | — | 0.80 | — | 0.48 | 0.24 | 3.12 | — | 皿状 | 4 | ○ | 174 | 7 | 902 | 5区西-4 | |
| 10 | 6 | 5区西 | SD10 | 15E-9C5・10, 9D1 | — | V | N- 22° - E | — | 0.24 | — | 0.14 | 0.10 | 3.43 | — | 台形状 | 1 | ○ | <SK9 | | | 5区西-4 | |
| 11 | 6 | 5区西 | SD11 | 15E-10A24・25 | — | V | N- 73° - W | — | 1.08 | — | 0.67 | 0.24 | 3.10 | — | 皿状 | 1 | ○ | 174 | 1 | 2 | 5区西-6 | |
| 10 | 5 | 5区西 | 河12 | 15E-8D21・22, 9D2 | — | V | N- 57° - W | — | 0.45 | — | 0.14 | 0.15 | 3.70 | — | 皿状 | 1 | ○ | 174 | 2 | 3 | 5区西-4 | |
| 19・20 | 11・12 | 5区東 | SE17 | 13H-3F22, 4F1・2 | — | Vc | N- 53° - E | — | (0.55) | — | (0.37) | 0.65 | 3.20 | 楕円形 | 台形状 | 5 | ○ | | | 7 | 510 | 5区東-14 |
| 15 | 9 | 5区東 | SK2 | 14F-8G11・12・16・17 | — | V | N- 39° - W | — | 1.43 | — | 1.30 | 0.21 | 2.79 | — | 皿状 | 2 | ○ | 175・176・257 | 4 | 37 | 5区東-5 | |
| 17 | | 5区東 | SK6 | 13G-9I11 | — | V | N- 46° - E | — | 0.45 | — | 0.25 | — | — | 楕円形 | — | — | | | | | | 5区東-12 |
| 19・20 | 12 | 5区東 | SK25 | 13H-4E17・18 | — | Vc | N- 51° - E | — | (0.18) | — | (0.09) | 0.30 | 3.53 | 楕円形 | 皿状 | 1 | — | | | | | 5区東-14 |
| 14・19・20 | 12 | 5区東 | SK26 | 13H-4E13・18 | — | Vc | N- 51° - E | — | (0.10) | — | (0.06) | 0.22 | 3.54 | 楕円形 | 皿状 | 1 | — | | | | | 5区東-14 |
| 19・20 | 12 | 5区東 | SK27 | 13H-4E14 | — | V | N- 36° - E | — | (0.27) | — | (0.16) | 0.30 | 3.45 | 楕円形 | 皿状 | 1 | — | | | | | 5区東-14 |
| 19・20 | 12 | 5区東 | SX19 | 13H-3F21・22, 4F1 | — | V | N- 0° - S | — | 10.08 | — | 8.70 | 0.31 | 3.33 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD15・30 | 1 | 1 | 5区東-14 | |
| 16 | 10 | 5区東 | SD3 | 14G-3D2・7・8 | — | V | N- 22° - W | — | 0.38 | — | 0.19 | 0.10 | 3.38 | — | 皿状 | 1 | — | | | | | 5区東-10 |
| 17 | 10 | 5区東 | SD4 | 13G-9I2・3・7・8 | — | V | N- 44° - W | — | 2.60 | — | 2.44 | 0.40 | 3.46 | — | 皿状 | 1 | ○ | 176 | | | | 5区東-12 |
| 17 | 10 | 5区東 | SD5 | 13G-8I20・24・25, 9I4・5 | — | Vc | N- 52° - W | — | 1.45 | — | 1.08 | 0.27 | 3.51 | — | 皿状 | 1 | ○ | 176・177・256・257 | | | | 5区東-12 |
| 17 | 11 | 5区東 | SD7 | 13G-9I3~5 | — | V | N- 72° - W | — | 0.74 | — | 0.52 | 0.12 | 3.64 | — | 皿状 | 1 | ○ | | | | | 5区東-12 |
| 17 | 11 | 5区東 | SD8 | 13G-8J11・16 | — | Vc | N- 37° - E | — | 0.90 | — | 0.37 | (0.43) | 3.27 | — | — | 2 | ○ | 177 | | | | 5区東-12 |
| 19・20 | 12 | 5区東 | SD12 | 13H-4E9・10・14 | — | V | N- 53° - E | 1.50 | (0.32) | 1.41 | (0.24) | 0.18 | 3.58 | — | 皿状 | 1 | ○ | | | | | 5区東-14 |
| 19・20 | 12・13 | 5区東 | SD15 | 13H-4E5・10, 4F1・6 | — | Vc | N- 8° - E | — | 0.21 | — | 0.36 | 0.12 | 3.63 | — | 皿状 | 1 | ○ | >SX19 | 1 | 1 | 5区東-14 | |
| 19・20 | 12 | 5区東 | SD30 | 13H-3F21 | — | Va | — | — | (10.70) | — | (0.87) | 0.45 | 3.38 | — | 皿状 | 4 | — | >SX19 | | | | 5区東-14 |
| 14 | 11 | 5区東 | 河32 | 13H-7A9・13・14 | — | Vc | N- 58° - E | — | (1.12) | — | (0.36) | 0.20 | 3.27 | — | 皿状 | 1 | — | | | | | 5区東-13 |
| 18 | 13 | 5区東 | 河33 | 13H-5C15・20, 5D3・6~9・11~13・16・17 | — | V | N- 59° - W | — | 4.98 | — | 4.95 | 0.35 | 3.10 | — | 皿状 | 1 | — | | | | | 5区東-14 |
| 15 | 8 | 5区東 | Ph1 | 14F-9F3・8 | — | V | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ | 177・264 | | | | 5区東-5 |
| 21 | 14 | 6区 | SK1 | 16C-2G11・16 | — | V | N- 38° - W | — | 1.02 | — | 0.65 | 0.44 | 2.47 | — | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |

別表 2 第 22 次調査 沖ノ羽遺跡遺構計測表

| 図版No. | 写真図版 No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 | |
|-------|-----------|----------|-----------|--|------------|-----|------------|--------|------|------|------|----------|------|-----|-----|-------|---------|---------|----|--------|--------------------|--------|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | | 深度 | 平面 | | | | | 断面 | 点数 (点) | | 重量 (g) |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 34・81 | 109 | 1 | SB1 | 15G-1G21~24, 2G1~9・12~14 | 中世 | V | N- 68° - W | 6.56 | 4.88 | — | — | — | — | 長方形 | — | — | | | | | 側柱 2間×1間 32.01㎡ | |
| | | 1 | SB1-P2099 | 15G-1G22 | — | V | N- 17° - E | 0.43 | 0.38 | 0.19 | 0.15 | 0.36 | 3.63 | 方形 | 台形状 | — | >SD1971 | | | | | |
| | | 1 | SB1-P2104 | 15G-1G23 | — | V | N- 8° - W | 0.43 | 0.41 | 0.23 | 0.17 | 0.31 | 3.67 | 方形 | 半円状 | — | >SD1971 | | | | | |
| | | 1 | SB1-P2198 | 15G-2G5 | — | V | N- 68° - W | 0.39 | 0.36 | 0.25 | 0.19 | 0.39 | 3.63 | 楕円形 | 台形状 | — | | | | | | |
| | | 1 | SB1-P2215 | 15G-2G6 | — | V | N- 16° - E | 0.32 | 0.31 | 0.17 | 0.15 | 0.38 | 3.65 | 方形 | 半円状 | — | | | | | | |
| | | 1 | SB1-P2217 | 15G-2G7・12 | — | V | N- 57° - W | 0.41 | 0.36 | 0.14 | 0.12 | 0.40 | 3.58 | 方形 | 半円状 | — | >SD1967 | | | | | |
| | | 1 | SB1-P2229 | 15G-2G14 | — | V | N- 13° - E | 0.35 | 0.25 | 0.15 | 0.11 | 0.42 | 3.62 | 楕円形 | 半円状 | — | >SD1967 | | | | | |
| 32・81 | 109 | 1 | SB2 | 15G-4E24・25, 4F21, 5E4・5・9・10, 5F1・2・6・7 | 中世 | V | N- 75° - W | 6.56 | 3.26 | — | — | — | — | 長方形 | — | — | | | | | 側柱 4間×2間 21.39㎡ | |
| | | 1 | SB2-P1763 | 15G-5F6 | — | V | N- 2° - W | 0.31 | 0.30 | 0.28 | 0.26 | 0.28 | 3.88 | 円形 | — | — | ○ | | | | | |
| | | 1 | SB2-P1768 | 15G-5E9・10 | — | V | N- 58° - E | 0.33 | 0.19 | 0.30 | 0.17 | 0.43 | 3.80 | 円形 | — | — | ○ | | | | | |
| | | 1 | SB2-P1790 | 15G-4E25 | — | V | N- 61° - W | 0.36 | 0.30 | 0.19 | 0.16 | 0.36 | 3.74 | 楕円形 | — | — | ○ | >SD1869 | | | | |
| | | 1 | SB2-P1818 | 15G-4F22, 5F2 | — | V | N- 67° - W | 0.49 | 0.35 | 0.40 | 0.20 | 0.32 | 3.78 | 楕円形 | — | — | ○ | | | | | |
| | | 1 | SB2-P1859 | 15G-4F21 | — | V | N- 61° - E | 0.45 | 0.38 | 0.23 | 0.17 | 0.38 | 3.80 | 楕円形 | 半円状 | — | ○ | | | | | |
| | | 1 | SB2-P2480 | 15G-4E24 | — | V | N- 14° - W | 0.27 | 0.25 | 0.17 | 0.16 | 0.23 | 3.98 | 方形 | 台形状 | — | | | | | | |
| | | 1 | SB2-P2505 | 15G-5E4 | — | V | N- 58° - W | 0.26 | 0.21 | 0.16 | 0.13 | 0.25 | 3.97 | 楕円形 | 台形状 | — | | | | | | |
| | | 1 | SB2-P2642 | 15G-5F2 | — | V | N- 26° - W | 0.34 | 0.33 | 0.17 | 0.13 | 0.29 | 3.79 | 楕円形 | 台形状 | — | | | | | | |
| | | 1 | SB2-P2715 | 15G-5E4 | — | V | N- 36° - E | 0.30 | 0.28 | 0.17 | 0.14 | 0.33 | 3.88 | 楕円形 | 台形状 | — | | | | | | |
| | | 1 | SB2-P2733 | 15G-5E10 | — | V | N- 5° - W | 0.38 | 0.33 | 0.14 | 0.13 | 0.34 | 3.82 | 楕円形 | 台形状 | — | >SK1810 | | | | | |
| | | 1 | SB2-P2849 | 15G-5F2・7 | — | V | N- 39° - W | 0.34 | 0.30 | 0.22 | 0.19 | 0.18 | 3.87 | 方形 | 台形状 | — | | | | | | |
| | | 1 | SB2-P2858 | 15G-5F7 | — | V | N- 7° - E | 0.27 | 0.23 | 0.19 | 0.15 | 0.30 | 3.86 | 楕円形 | 台形状 | — | | | | | | |
| 28・82 | 109 | 1 | SB3 | 15G-4D14・19・20・23~25, 5D4・5 | 中世 | V | N- 17° - E | 4.10 | 2.76 | — | — | — | — | 長方形 | — | — | | | | | 側柱 2間×1間 11.32㎡ | |
| | | 1 | SB3-P23 | 15G-4D14・19 | — | V | N- 58° - E | 0.48 | 0.35 | 0.14 | 0.13 | 0.44 | 3.76 | 楕円形 | 台形状 | — | | | | | | |
| | | 1 | SB3-P54 | 15G-4D19・24 | — | V | N- 59° - E | 0.37 | 0.27 | 0.28 | 0.17 | 0.37 | 3.75 | 楕円形 | 台形状 | — | | | | | | |
| | | 1 | SB3-P55 | 15G-4D23・24 | — | V | N- 27° - W | 0.29 | 0.24 | 0.14 | 0.12 | 0.40 | 3.70 | 方形 | 台形状 | — | | | | | | |
| | | 1 | SB3-P87 | 15G-4D25 | — | V | N- 18° - E | 0.36 | 0.25 | 0.15 | 0.11 | 0.40 | 3.70 | 方形 | 台形状 | — | ○ | | | | | |
| | | 1 | SB3-P90 | 15G-5D5 | — | V | N- 72° - W | 0.35 | 0.29 | 0.15 | 0.12 | 0.44 | 3.68 | 楕円形 | 台形状 | — | | | | | | |
| 1 | SB3-P2402 | 15G-4D20 | — | V | N- 29° - E | — | 0.30 | 0.14 | 0.08 | 0.39 | 3.69 | 楕円形 | 台形状 | — | | | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礎 | | 備考 | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----------------|---|--------------|--|---------|------|---------|--------|------------|--------------------------------------|------|------|---------|----------|--------|--------|-----|-------|------|---------|--------|--|----|------|------|------|---------|------|-----|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | 平面 | | 断面 | 点数 (点) | | | | | 重量 (g) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30・82 | | | 1 SB4 | 15G-5E23~25, 6E2~5・7~10 | 中世 | V | N-75°・W | 5.22 | 4.20 | — | — | — | — | 長方形 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB4-P158 | 15G-6E5 | | | | V | N-21°・E | 0.46 | 0.44 | 0.20 | 0.18 | 0.44 | 3.62 | 凹形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | <SE159 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB4-SK172 | 15G-6E8・9 | | | | V | N-77°・E | 0.85 | 0.64 | — | 0.27 | 0.58 | 3.62 | 長方形 | | | | | | | | 台形状 | 1 | ○ | <SD117 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB4-SK256 | 15G-6E10・15 | | | | V | N-21°・E | 0.78 | 0.51 | 0.72 | 0.39 | 0.54 | 3.60 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | >SD1562 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB4-P1587 | 15G-5E25, 6E5 | | | | V | N-10°・E | — | 0.63 | 0.31 | 0.23 | 0.50 | 3.65 | 楕円形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB4-SK1610 | 15G-5E18・23 | | | | V | N-5°・E | 0.65 | 0.61 | 0.49 | 0.28 | 0.58 | 3.53 | 方形 | | | | | | | | 箱状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB4-P1632 | 15G-5E24 | | | | V | N-55°・E | 0.68 | — | 0.49 | — | 0.57 | 3.66 | 方形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | <SK1633 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB4-P3116 | 15G-6E7 | | | | V | N-28°・E | 0.23 | 0.19 | 0.10 | 0.09 | 0.21 | 3.90 | 楕円形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 30・83 | | | | | | 1 SB5 | 15G-6E11・12・16・17・22 | 中世 | V | N-75°・W | 2.82 | 2.66 | — | | | | | | | | — | — | — | 正方形 | — | — | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 1 SB5-P219 | 15G-6E11 | | | | V | N-0°・S | 0.28 | | | | | | | | 0.25 | 0.12 | 0.09 | 0.31 | 3.80 | 楕円形 | | | | | | | |
| 1 SB5-P223 | 15G-6E12 | V | | | N-8°・W | 0.39 | 0.35 | | 0.19 | 0.16 | | | | 0.52 | 3.60 | 凹形 | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SB5-P229 | 15G-6E22 | V | | | N-65°・E | 0.41 | 0.34 | | 0.20 | 0.18 | | | | 0.32 | 3.88 | 楕円形 | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SB5-P233 | 15G-6E16 | V | | | N-46°・E | 0.42 | 0.28 | | 0.16 | 0.15 | | | | 0.38 | 3.71 | 楕円形 | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SB5-P236 | 15G-6D20, 6E16 | V | | | N-18°・W | 0.33 | 0.29 | | 0.17 | 0.15 | | | | 0.40 | 3.70 | 凹形 | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SB5-P362 | 15G-6E12 | V | | | N-63°・E | 0.32 | 0.31 | | 0.17 | 0.15 | | | | 0.46 | 3.69 | 楕円形 | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30・83 | | | 1 SB6 | 15G-6D6・11~13・16~18・21・22, 7C5, 7D1・2 | 中世 | V | N-17°・E | 6.96 | 3.28 | — | — | — | — | 長方形 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB6-P602 | 15G-7C5 | | | | V | N-43°・E | 0.35 | 0.31 | 0.09 | 0.08 | 0.52 | 3.51 | 凹形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB6-P894 | 15G-7D1 | | | | V | N-72°・W | 0.33 | 0.26 | 0.18 | 0.17 | 0.44 | — | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB6-P1570 | 15G-6D6・11 | | | | V | N-6°・W | 0.38 | 0.34 | 0.15 | 0.14 | 0.50 | 3.55 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB6-P1572 | 15G-7D2 | | | | V | N-58°・E | 0.30 | 0.27 | 0.13 | 0.11 | 0.36 | 3.70 | 楕円形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | >SE1602 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB6-P1605 | 15G-6D13 | | | | V | N-68°・W | 0.41 | 0.37 | 0.12 | 0.11 | 0.59 | 3.51 | 方形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB6-P1608 | 15G-6D11・16 | | | | V | N-88°・E | 0.44 | 0.37 | 0.18 | 0.16 | 0.50 | 3.55 | 方形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB6-P1621 | 15G-6D17・18 | | | | V | N-76°・W | 0.39 | 0.38 | 0.14 | 0.13 | 0.45 | 3.61 | 凹形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB6-P3061 | 15G-6D21 | | | | V | N-60°・W | 0.41 | 0.32 | 0.12 | 0.09 | 0.33 | 3.67 | 方形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB6-P3074 | 15G-6D22 | | | | V | N-42°・W | 0.29 | 0.28 | 0.17 | 0.15 | 0.49 | 3.53 | 方形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | |
| 30・84 | | | 1 SB7 | 15G-7D8・9・12~15・17~20・22~25, 7E11・16・21, 8D3~5 | 中世 | V | N-70°・W | 6.94 | 6.42 | — | — | — | — | 正方形 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-SK597 | 15G-7D23 | | | | V | N-39°・W | 0.87 | 0.63 | 0.61 | 0.51 | 0.26 | 3.84 | 不整形 | | | | | | | | 皿状 | — | — | 185 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P946 | 15G-7D17 | | | | V | N-17°・W | 0.55 | 0.37 | 0.28 | 0.23 | 0.39 | 3.79 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P991 | 15G-7D22 | | | | V | N-27°・W | 0.39 | 0.38 | 0.16 | 0.14 | 0.58 | 3.50 | 方形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | >SD495 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P1451 | 15G-7E16 | | | | V | N-8°・E | 0.50 | 0.38 | 0.20 | 0.16 | 0.60 | 3.52 | 楕円形 | | | | | | | | 箱状 | — | — | 275 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P1472 | 15G-7D15 | | | | V | N-45°・E | 0.48 | 0.40 | 0.15 | 0.14 | 0.43 | 3.60 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P1479 | 15G-7D25, 7E21 | | | | V | N-22°・W | 0.56 | 0.46 | 0.16 | 0.11 | 0.66 | 3.43 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P1503 | 15G-7D9・14 | | | | V | N-63°・W | 0.50 | 0.44 | 0.28 | 0.25 | 0.38 | 3.60 | 楕円形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P1507 | 15G-7D19・20・24 | | | | V | N-6°・W | 0.50 | 0.46 | 0.18 | 0.17 | 0.58 | 3.51 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P1532 | 15G-7E11 | | | | V | N-20°・W | 0.19 | 0.17 | 0.14 | 0.12 | 0.66 | 3.34 | 凹形 | | | | | | | | 箱状 | — | — | <SE1517 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P1550 | 15G-7D13・14 | | | | V | N-8°・E | 0.48 | 0.38 | 0.26 | 0.20 | 0.26 | 3.70 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | 276 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P1557 | 15G-7D8 | | | | V | N-48°・E | 0.54 | 0.45 | 0.14 | 0.11 | 0.49 | 3.53 | 楕円形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | >SX1640 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P3150 | 15G-7D20 | | | | V | N-37°・E | — | 0.33 | 0.21 | 0.20 | — | — | — | | | | | | | | — | — | | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P3382 | 15G-7D12・13 | | | | V | N-27°・W | 0.41 | 0.40 | 0.20 | 0.17 | 0.41 | 3.63 | 方形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P3442 | 15G-7D18 | | | | V | N-49°・W | 0.53 | 0.49 | 0.13 | 0.10 | 0.54 | 3.46 | 方形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P3471 | 15G-7D22 | | | | V | N-69°・W | 0.40 | 0.34 | 0.32 | 0.27 | 0.54 | 3.64 | 方形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P3488 | 15G-7D24, 8D4 | | | | V | N-25°・E | 0.40 | 0.29 | 0.16 | 0.10 | 0.22 | 3.86 | 楕円形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P3516 | 15G-8D4 | | | | V | N-6°・W | 0.83 | 0.61 | 0.15 | 0.13 | 0.50 | 3.61 | 方形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB7-P3652 | 15G-8D5 | | | | V | N-66°・E | 0.43 | 0.38 | 0.24 | 0.23 | 0.53 | 3.56 | 方形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 31・85 | | | | | | 1 SB8 | 15G-8D21, 9C5・10, 9D1~3・6~9・11~13・17 | 中世 | V | N-59°・W | 6.64 | 4.26 | — | | | | | | | | — | — | — | 長方形 | — | — | | | | | | | |
| 1 SB8-P880 | 15G-9C9・10 | V | | | N-59°・E | 0.82 | 0.50 | | 0.12 | 0.08 | | | | 0.64 | 3.55 | 楕円形 | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SB8-P1104 | 15G-8D21 | V | | | N-40°・W | 0.58 | 0.57 | | 0.18 | 0.14 | | | | 0.41 | 3.68 | 楕円形 | 台形状 | — | — | >SD2022 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SB8-P1282 | 15G-9D11 | V | | | N-28°・E | 0.37 | 0.28 | | 0.15 | 0.12 | | | | 0.79 | 3.34 | 楕円形 | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SB8-P3958 | 15G-9D2 | V | | | N-7°・E | 0.46 | 0.41 | | 0.28 | 0.25 | | | | 0.44 | 3.66 | 楕円形 | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SB8-P4383 | 15G-9D8・9 | V | | | N-83°・W | 0.75 | 0.50 | | 0.14 | 0.10 | | | | 0.39 | 3.80 | 方形 | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 SB8-P4442 | 15G-9D17 | V | | | N-17°・E | 0.48 | 0.34 | | 0.20 | 0.17 | | | | 0.36 | 3.85 | 楕円形 | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31・85 | | | 1 SB9 | 15G-9D1~3・6~9・11~13・17 | 中世 | V | N-26°・W | 4.26 | 4.04 | — | — | — | — | 正方形 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB9-P1253 | 15G-9D6 | | | | V | N-45°・E | 0.65 | — | 0.19 | 0.15 | 0.46 | 3.67 | 方形 | | | | | | | | 半円状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB9-P1260 | 15G-9D12 | | | | V | N-7°・E | 0.26 | 0.25 | 0.17 | 0.15 | 0.16 | 3.90 | 方形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | <SD1213 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB9-P1279 | 15G-9D11 | | | | V | N-34°・E | 0.68 | 0.49 | 0.15 | 0.12 | 0.43 | 3.73 | 不整形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB9-P1285 | 15G-9D17 | | | | V | N-7°・E | 0.35 | 0.31 | 0.25 | 0.24 | 0.23 | 3.95 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB9-P1298 | 15G-9D13 | | | | V | N-4°・E | 0.35 | 0.34 | 0.26 | 0.24 | 0.36 | 3.86 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB9-P1303 | 15G-9D2・3 | | | | V | N-21°・E | 0.72 | — | 0.18 | 0.16 | 0.50 | 3.62 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | >SD1729 | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB9-P3952 | 15G-9D1 | | | | V | N-54°・W | 0.48 | 0.28 | 0.38 | 0.16 | 0.23 | 3.90 | 楕円形 | | | | | | | | 台形状 | — | — | | | | | | | | | | |
| | | | 1 SB9-P4377 | 15G-9D8 | | | | V | N-7°・W | 0.30 | 0.28 | 0.24 | 0.18 | 0.20 | 3.97 | 凹形 | | | | | | | | 箱状 | — | — | | | | | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礎 | | 備考 |
|----------|---------|---|--------|--------------------------|----|-----|----------|--------|------|--------|------|--------|----------|-----|-----|----|-------|--------------------------------------|-----------------|----|--------|----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 30・47 | 32 | 1 | SE1420 | 15G-7E24・25, 8E4・5 | 中世 | V | N- 51°・W | 0.93 | 0.80 | 0.56 | 0.50 | 0.67 | 3.35 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | | | | | |
| 31・47 | 32 | 1 | SE1435 | 15G-8E12・13 | 中世 | V | N- 87°・W | 1.96 | 1.34 | 1.04 | 0.73 | 0.68 | 3.46 | 楕円形 | 台形状 | 4 | ○ | >SE1406 <SK1434 | 256 | | | |
| 30・48 | 32・33 | 1 | SE1454 | 15G-7E21・22, 8E1・2 | 中世 | V | N- 4°・E | 2.11 | 1.91 | 1.04 | 0.97 | 1.35 | 2.78 | 楕円形 | 台形状 | 12 | ○ | >SE1590, SD1449 | 183・259 | 2 | 429 | |
| 30・48 | 33 | 1 | SE1504 | 15G-7D25 | 中世 | V | N- 0°・S | 1.16 | 0.86 | 0.69 | 0.64 | 0.85 | 3.28 | 楕円形 | 箱状 | 6 | ○ | >SD1505 | 259 | | | |
| 30・48 | 33 | 1 | SE1508 | 15G-6E24 | 古代 | V | N- 2°・E | 1.04 | 1.03 | 0.65 | 0.64 | (1.22) | (2.86) | 方形 | 半円状 | 5 | ○ | | | | | |
| 30・40 | 22 | 1 | SE1514 | 15G-7D10・15 | 中世 | V | N- 2°・E | 1.00 | 0.86 | 0.56 | 0.56 | 0.70 | 3.32 | 楕円形 | 台形状 | 5 | ○ | >SE385 | | | | |
| 30・48 | 33 | 1 | SE1517 | 15G-7E11 | 中世 | V | N- 18°・W | 1.59 | 1.37 | 0.71 | 0.64 | 1.12 | 2.92 | 方形 | 台形状 | 5 | ○ | >SD1447・1543, P1532 (SB7) | 183 | 1 | 171 | |
| 30・48 | 33・34 | 1 | SE1520 | 15G-7E2・7 | 中世 | V | N- 58°・W | 1.72 | 1.47 | 1.18 | 1.02 | 1.03 | 3.05 | 楕円形 | 台形状 | 6 | ○ | >SD352 | 183 | 2 | 15 | |
| 30・49 | 34 | 1 | SE1534 | 15G-7D3・8 | 中世 | V | N- 39°・W | 1.28 | 1.11 | 0.64 | 0.51 | 1.00 | 3.03 | 長方形 | 台形状 | 4 | ○ | >SE1551・1593, SX1640 =SE1602 | 183 | 1 | 12 | |
| 30・50 | 34 | 1 | SE1535 | 15G-6D24・25 | 中世 | V | N- 1°・E | 1.56 | 1.50 | 0.91 | 0.68 | 1.13 | 4.06 | 円形 | 台形状 | 9 | ○ | | 259 | 2 | 53 | |
| 30・50 | 34 | 1 | SE1536 | 15G-6D15・20, 6E11・16 | 中世 | V | N- 2°・E | 1.75 | 1.62 | 1.06 | 1.03 | 1.43 | 2.65 | 円形 | 台形状 | 5 | ○ | | 183・271 | 5 | 118 | |
| 30・49 | 35 | 1 | SE1551 | 15G-6D23・24, 7D3・4 | 中世 | V | N- 90°・E | 2.20 | 1.90 | 1.64 | 1.25 | 1.15 | 2.98 | 円形 | 箱状 | 10 | ○ | >SE1602, SX1640 <SE1534 | 184 | | | |
| 30・50 | 35 | 1 | SE1586 | 15G-6D11~13・16~18 | 中世 | V | N- 87°・W | 2.85 | 2.70 | 2.25 | 2.15 | 1.16 | 2.88 | 円形 | 箱状 | 8 | ○ | <SK1615 | | 10 | 263 | |
| 30・50 | 100 | 1 | SE1590 | 15G-8E1 | 中世 | V | N- 38°・W | (0.70) | — | 0.46 | — | 0.52 | 3.43 | — | 台形状 | 3 | ○ | >SD1449 <SE1454 | | | | |
| 30・49 | 35 | 1 | SE1593 | 15G-7D8・9 | 中世 | V | N- 23°・E | 1.54 | 1.48 | 1.15 | 1.08 | 1.37 | 2.69 | 円形 | 台形状 | 7 | ○ | >SX1640 <SE1534 | 259・272 | 2 | 13 | |
| 30・51 | 35 | 1 | SE1602 | 15G-7D2・3・7 | 中世 | V | N- 48°・E | 1.87 | 1.51 | 1.68 | 1.34 | 1.45 | 2.59 | 方形 | 台形状 | 7 | ○ | >SX1640, SD1604 <SE1551, P1572 (SB6) | 184 | 3 | 322 | |
| 30・51 | 36 | 1 | SE1616 | 15G-6D9・10・14・15 | 中世 | V | N- 2°・E | 1.09 | 0.98 | 0.63 | 0.52 | 1.00 | 3.10 | 楕円形 | 台形状 | 5 | ○ | >SD1627 <SK1629 | 184 | | | |
| 30・50・52 | 36 | 1 | SE1617 | 15G-5D21~23, 6D1~3・6~8 | 中世 | V | N- 77°・W | 5.21 | — | 4.23 | 3.16 | 1.35 | 2.75 | 楕円形 | 台形状 | 10 | ○ | >SD509・1673 <SE1626, SD1117 | 184・256・272・282 | 8 | 243 | |
| 30・51 | 37 | 1 | SE1626 | 15G-6C5・10, 6D1・6 | 中世 | V | N- 7°・E | 1.59 | 1.54 | 1.00 | 0.98 | 1.22 | 2.84 | 円形 | 箱状 | 7 | ○ | >SE1617 | | 1 | 13 | |
| 30・51 | 37 | 1 | SE1628 | 15G-6C20 | 中世 | V | N- 45°・E | 1.29 | 1.22 | 0.66 | 0.36 | 0.87 | 3.16 | 方形 | 台形状 | 6 | ○ | | | | | |
| 28・51 | 37 | 1 | SE1691 | 15G-5D4・5・9・10 | 中世 | V | N- 90°・E | 1.72 | 1.43 | 1.19 | 0.95 | 0.80 | 3.28 | 楕円形 | 箱状 | 4 | ○ | <SD108 | 184 | | | |
| 27・28・52 | 37 | 1 | SE1695 | 15G-4C25, 4D21 | — | V | N- 0°・S | (0.61) | 0.60 | (0.27) | 0.27 | 0.72 | 3.32 | 方形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 27・52 | 38 | 1 | SE1717 | 15G-3C9・14・15 | — | V | N- 89°・W | 1.74 | 1.62 | 0.94 | 0.60 | 1.01 | 2.52 | 円形 | 台形状 | 5 | ○ | <SX1719 | | 1 | 112 | |
| 28・53 | 38 | 1 | SE1718 | 15G-5C25, 5D21 | 中世 | V | N- 90°・E | 1.83 | 1.70 | (1.20) | 1.12 | 1.05 | 2.95 | 円形 | 台形状 | 5 | ○ | >SD117 | | | | |
| 32・53 | 38 | 1 | SE1754 | 15G-5F17・18・22・23 | 中世 | V | N- 63°・W | 2.55 | 2.26 | 1.90 | 1.69 | 1.20 | 2.90 | 楕円形 | 台形状 | 5 | ○ | >SK1740, SD1747・1837・1847 | 184 | 1 | 15 | |
| 32・53 | 38 | 1 | SE1769 | 15G-4F19・20 | 中世 | V | N- 20°・W | 1.30 | 1.19 | 0.64 | 0.59 | 1.14 | 2.93 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | | 259 | | | |
| 32・53 | 39 | 1 | SE1770 | 15G-4F20, 4G16・21 | 中世 | V | N- 34°・E | 1.59 | 1.58 | 0.98 | 0.89 | 1.12 | 2.92 | 円形 | 台形状 | 6 | ○ | | 272 | | | |
| 32・54 | 39 | 1 | SE1774 | 15G-4F9・10・14・15, 4G6・11 | 中世 | V | N- 69°・W | 3.47 | 3.00 | 2.32 | 2.30 | 1.25 | 3.78 | 楕円形 | 箱状 | 5 | ○ | >SD1777 <SE1775 | 184・256・272・273 | 2 | 60 | |
| 32・54 | 39 | 1 | SE1775 | 15G-4F9 | 中世 | V | N- 27°・E | 0.98 | 0.92 | 0.64 | 0.51 | 0.83 | 3.20 | 方形 | 台形状 | 4 | ○ | >SE1774 | 184 | | | |
| 33・54 | 39・40 | 1 | SE1780 | 15G-3G23・24, 4G3・4 | 中世 | V | N- 69°・E | 1.34 | 1.24 | 0.59 | 0.41 | 1.32 | 2.74 | 円形 | 台形状 | 6 | ○ | <SD1779 | | | | |
| 32・54 | 40 | 1 | SE1784 | 15G-4F24・25, 5F4・5 | 古代 | V | N- 15°・W | 1.26 | 0.93 | 0.94 | 0.44 | 0.70 | 3.36 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | | | | | |
| 32・54 | 40 | 1 | SE1906 | 15G-4E10・15 | 中世 | V | N- 38°・W | — | 1.08 | 0.80 | 0.70 | 1.53 | 2.64 | 楕円形 | 台形状 | 5 | ○ | | | 3 | 259 | |
| 32・55 | 40 | 1 | SE1937 | 15G-4E10, 4F1・6 | 中世 | V | N- 53°・E | — | — | — | — | 0.92 | 3.23 | 円形 | 台形状 | 4 | ○ | | | 1 | 4 | |
| 33・55 | 40 | 1 | SE1949 | 15G-4G4・5 | 中世 | V | N- 66°・W | (1.13) | 1.13 | 0.97 | 0.81 | 0.74 | 3.28 | 円形 | 箱状 | 2 | ○ | | 259 | | | |
| 35・55 | 41 | 1 | SE1965 | 15G-2H7・12 | 古代 | V | N- 27°・E | 0.87 | 0.70 | 0.63 | 0.46 | 1.12 | 2.89 | 楕円形 | 台形状 | 4 | ○ | | | | | |
| 27・28・55 | 41 | 1 | SK32 | 15G-4D16 | 古代 | V | N- 59°・E | 1.70 | 0.68 | 0.84 | 0.44 | 0.10 | 3.92 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 27・55 | 41 | 1 | SK43 | 15G-5C4・5 | 中世 | V | N- 59°・W | 0.54 | 0.49 | 0.36 | 0.29 | 0.13 | 3.91 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | 185 | | | |
| 28・55 | 41 | 1 | SK67 | 15G-5D17 | — | V | N- 0°・S | 0.53 | 0.38 | 0.35 | 0.25 | 0.14 | 3.95 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 28・55 | 42 | 1 | SK107 | 15G-5E2・7 | — | V | N- 2°・W | 0.55 | — | 0.40 | — | 0.09 | 4.05 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SE96 | | | | |
| 28・55 | 42 | 1 | SK110 | 15G-5D18 | 古代 | V | N- 21°・E | 0.70 | 0.38 | 0.65 | 0.29 | 0.10 | 4.00 | 楕円形 | 箱状 | 1 | ○ | | | | | |
| 28・55 | 42 | 1 | SK143 | 15G-5D20 | 古代 | V | N- 17°・E | 0.75 | 0.62 | 0.38 | 0.38 | 0.39 | 3.69 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | >SK144 | | | | |
| 28・55 | 42 | 1 | SK144 | 15G-5D20 | 古代 | V | N- 18°・E | — | 0.47 | — | 0.22 | 0.50 | 3.58 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | <SK143 | | | | |
| 28・55 | 42 | 1 | SK150 | 15G-5E12 | 古代 | V | N- 50°・E | 0.92 | 0.60 | 0.82 | 0.44 | 0.20 | 3.92 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | 1 | 5 | |
| 28・55 | 43 | 1 | SK151 | 15G-5E12・13 | 中世 | V | N- 64°・W | 0.82 | 0.62 | 0.72 | 0.33 | 0.36 | 3.77 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 30・56 | 43 | 1 | SK157 | 15G-6E4・5・9・10 | 中世 | V | N- 16°・E | 1.77 | 0.90 | 1.52 | 0.65 | 0.29 | 3.83 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD117・1562 | | 4 | 77 | |
| 30・56 | 43 | 1 | SK172 | 15G-6E8・9 | 中世 | V | N- 77°・E | 0.85 | 0.64 | — | 0.27 | 0.30 | 3.88 | 不整形 | 台形状 | 1 | ○ | <SD117 | | | SB4を構成 | |
| 30・56 | 43・44 | 1 | SK178 | 15G-6E7・8 | 古代 | V | N- 70°・W | 0.52 | 0.42 | 0.41 | 0.25 | 0.21 | 3.95 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | | | 1 | 8 | |
| 28・30・56 | 44 | 1 | SK206 | 15G-5E22 | — | V | N- 10°・E | 0.52 | 0.50 | 0.39 | 0.20 | 0.17 | 3.95 | 方形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 30・56 | 44 | 1 | SK210 | 15G-6E17・18 | 古代 | V | N- 3°・E | 0.64 | 0.60 | 0.52 | 0.44 | 0.21 | 3.88 | 楕円形 | 半円状 | 3 | ○ | | | | | |
| 30・56 | 44 | 1 | SK231 | 15G-6E16 | 古代 | V | N- 60°・E | 0.75 | 0.55 | 0.68 | 0.39 | 0.19 | 3.93 | 楕円形 | 箱状 | 1 | ○ | | | 1 | 110 | |
| 30・56 | 44・45 | 1 | SK232 | 15G-6E16・17 | — | V | N- 36°・W | 0.67 | 0.55 | 0.37 | 0.35 | 0.10 | 3.99 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | SB4を構成 | |
| 30・37 | 45 | 1 | SK256 | 15G-6E10・15 | 中世 | V | N- 21°・E | 0.78 | 0.51 | 0.72 | 0.39 | 0.45 | 3.68 | 楕円形 | 半円状 | 3 | ○ | >SD1562 | | | | |
| 30・56 | 45 | 1 | SK263 | 15G-6F11 | 古代 | V | N- 32°・E | 0.94 | 0.53 | 0.31 | 0.08 | 0.31 | 3.73 | 長方形 | 半円状 | 1 | ○ | | | | | |
| 30・56 | 45 | 1 | SK341 | 15G-7E5, 7F1 | 古代 | V | N- 89°・W | 0.83 | 0.77 | 0.62 | 0.62 | 0.25 | 3.84 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 30・56 | 45 | 1 | SK343 | 15G-6E25 | 古代 | V | N- 84°・W | 0.96 | 0.53 | 0.56 | 0.26 | 0.24 | 3.86 | 楕円形 | 半円状 | 2 | ○ | <SE342 | | | | |
| 30・56 | 46 | 1 | SK351 | 15G-7F1 | — | V | N- 89°・W | 0.75 | 0.66 | 0.52 | 0.29 | 0.23 | 3.80 | 不整形 | 半円状 | 2 | ○ | | | | | |
| 30・57 | 46 | 1 | SK365 | 15G-6E22・23 | 古代 | V | N- 51°・W | 0.81 | 0.54 | 0.34 | 0.22 | 0.27 | 3.82 | 楕円形 | 半円状 | 1 | ○ | | | | | |
| 31・57 | 46 | 1 | SK410 | 15G-9C1・2・6・7 | 古代 | V | N- 25°・W | 1.37 | 1.29 | 1.08 | 0.99 | 0.38 | 3.67 | 円形 | 台形状 | 3 | ○ | =SD411 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礎 | | 備考 |
|----------|---------|-------|-----------|----------------------|------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|-----|-----|----|--------|------------------------------|---------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 31・57 | 46 | 1 | SK414 | 15G-9B14 | 中世 | V | N-40°-W | 1.23 | 0.83 | 0.64 | 0.40 | 0.18 | 3.84 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 29・57 | 47 | 1 | SK422 | 15G-7B18・19 | 中世 | V | N-89°-W | 1.18 | 0.94 | 1.01 | 0.71 | 0.16 | 3.75 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK423, SD609 | | | | |
| 29・57 | 47 | 1 | SK423 | 15G-7B18・19・23・24 | 中世 | V | N-90°-W | 1.15 | 1.12 | 1.00 | 0.99 | 0.22 | 3.70 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD609 <SK422 | 185 | | | |
| 30・57 | 47 | 1 | SK427 | 15G-8B10・15 | 古代 | V | N-10°-E | 0.93 | 0.86 | 0.53 | 0.43 | 0.16 | 3.84 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | 1 | 42 | |
| 30・57 | 47 | 1 | SK428 | 15G-8B10, 8C6 | 古代 | V | N-3°-W | 0.93 | 0.78 | 0.69 | 0.50 | 0.17 | 3.87 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 31・57 | 47 | 1 | SK431 | 15G-8C11・12・16・17 | 中世 | V | N-46°-E | 0.88 | 0.67 | 0.59 | 0.56 | 0.18 | 3.87 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SX2032 | | | | |
| 30・57 | 48 | 1 | SK485 | 15G-7B15・20, 7C11・16 | 古代 | V | N-40°-E | 0.74 | 0.57 | 0.56 | 0.44 | 0.10 | 3.84 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | >SD484 | | | | |
| 30・41 | 24 | 1 | SK487 | 15G-7B9・10 | 中世 | V | N-90°-W | 0.73 | (0.41) | (0.60) | (0.26) | (0.05) | (3.88) | 長方形 | 皿状 | 1 | ○ | >SE490 | | | | |
| 30・57 | 48 | 1 | SK491 | 15G-6B24・25, 7B4・5 | 古代 | V | N-0°-S | 0.80 | 0.74 | 0.60 | 0.44 | 0.16 | 3.71 | 円形 | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 30・58 | 48 | 1 | SK492 | 15G-7B10, 7C6 | 古代 | V | N-0°-S | 0.58 | 0.55 | 0.41 | 0.35 | 0.10 | 3.87 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 30・58 | 48 | 1 | SK494 | 15G-7B10, 7C6 | 古代 | V | N-42°-E | 0.63 | 0.35 | 0.49 | 0.25 | 0.06 | 3.92 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 29・58 | 48 | 1 | SK505 | 15G-8A22・23, 9A3 | 中世以降 | Ⅲ | - | - | - | - | 0.98 | 2.94 | - | 台形状 | 6 | ○ | >河82 | 185 | | | | |
| 30・58 | 49 | 1 | SK510 | 15G-6C13・14・18・19 | 中世 | V | N-40°-W | 1.11 | 1.06 | 0.92 | 0.86 | 0.11 | 3.91 | 方形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD509 | | | | |
| 29・58 | 1 | SK513 | 15G-7B7・8 | 古代 | V | N-2°-E | 0.66 | 0.45 | 0.21 | 0.19 | 0.22 | 3.38 | 楕円形 | 台形状 | - | ○ | <SX408 | | | | | |
| 29・58 | 1 | SK516 | 15G-8B1・2 | - | V | N-32°-E | 1.13 | 0.47 | 0.80 | 0.30 | 0.34 | 3.56 | 楕円形 | 台形状 | - | - | <SX408 | | | | | |
| 31・58 | 49 | 1 | SK520 | 15G-8B20・25 | 古代 | V | N-60°-W | 0.78 | 0.69 | 0.55 | 0.42 | 0.17 | 3.85 | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SK521 | | | | |
| 31・58 | 49 | 1 | SK521 | 15G-8B20・25 | - | V | N-35°-W | 0.70 | - | 0.31 | - | 0.10 | 3.90 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK520 | | | | |
| 31・58 | 49 | 1 | SK522 | 15G-8C16 | 古代 | V | N-89°-W | 0.55 | 0.51 | 0.34 | 0.30 | 0.20 | 3.84 | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 31・57 | 47 | 1 | SK523 | 15G-8C17 | 古代 | V | N-43°-E | (0.63) | - | - | - | 0.14 | 3.88 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | 185 | | | |
| 30・58・65 | 49 | 1 | SK528 | 15G-8C1・6 | 古代 | V | N-5°-E | 0.78 | 0.73 | 0.64 | 0.52 | 0.19 | 3.87 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD609 | | | | |
| 30・58 | 49・50 | 1 | SK529 | 15G-8C2 | 中世 | V | N-55°-W | 0.99 | 0.67 | 0.61 | 0.35 | 0.13 | 3.89 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD896 =SK530・531 | | | | |
| 30・59 | 50 | 1 | SK530 | 15G-8C2 | 古代 | V | N-0°-S | 0.60 | 0.56 | 0.34 | 0.30 | 0.14 | 3.90 | 円形 | 台形状 | 1 | ○ | =SK529 | | | | |
| 30・59 | 50 | 1 | SK531 | 15G-8C2・3・7・8 | 中世 | V | N-65°-W | 0.64 | 0.63 | - | 0.25 | 0.18 | 3.85 | 方形 | 台形状 | 1 | ○ | >SD896 =SK529 | | | | |
| 31・59 | 50 | 1 | SK537 | 15G-8C13・14・18・19 | 古代 | V | N-2°-E | 1.12 | 1.03 | 0.91 | 0.83 | 0.16 | 3.87 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 31・59 | 50 | 1 | SK545 | 15G-9C4・5 | 古代 | V | N-16°-E | - | 0.78 | - | 0.53 | 0.18 | 3.90 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | <SK1069 =SD546 | 185 | | | |
| 31・59 | 50・51 | 1 | SK550 | 15G-8C15・20 | 中世 | V | N-2°-E | 0.84 | 0.74 | 0.56 | 0.56 | 0.40 | 3.71 | 楕円形 | 台形状 | 5 | ○ | >SD1729 | | | | |
| 30・43 | 26・27 | 1 | SK559 | 15G-8C4・5 | 中世 | V | N-30°-W | 0.95 | 0.82 | 0.70 | 0.43 | 0.12 | 3.95 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SE557, SD566 =SK560 | | | | |
| 30・59 | 51 | 1 | SK560 | 15G-8C4 | 古代 | V | N-23°-E | 0.65 | 0.47 | 0.36 | 0.25 | 0.20 | 3.88 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | =SK559, SD566 | | | | |
| 30・59 | 51 | 1 | SK567 | 15G-8C9 | 中世 | V | N-4°-E | 1.13 | 1.03 | 0.84 | 0.77 | 0.31 | 3.75 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SK1251, SX564, SD566 =SE565 | | 1 | 5 | |
| 30・59 | 51 | 1 | SK568 | 15G-8C9・10・14・15 | 古代 | V | N-5°-E | 0.73 | 0.49 | 0.61 | 0.40 | 0.05 | 4.02 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD539 | | | | |
| 30・59 | 51・52 | 1 | SK575 | 15G-8D1・2・6 | 中世 | V | N-53°-E | 1.10 | 0.84 | 0.61 | 0.50 | 0.44 | 3.71 | 楕円形 | 半円状 | 2 | ○ | | | | | |
| 30・59 | 52 | 1 | SK578 | 15G-7C25 | 古代 | V | N-2°-E | 0.82 | 0.46 | 0.72 | 0.45 | 0.24 | 3.84 | 方形 | 皿状 | 1 | ○ | | | 1 | 32 | |
| 30・44 | 28 | 1 | SK580 | 15G-7C24・25 | 古代 | V | N-34°-E | 0.87 | 0.78 | 0.72 | 0.72 | 0.07 | 4.02 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD486 <SE579 | | | | |
| 30・60 | 52 | 1 | SK585 | 15G-7C19 | 古代 | V | N-0°-S | 0.95 | 0.86 | 0.70 | 0.59 | 0.27 | 3.78 | 不整形 | 台形状 | 2 | ○ | <SD539 | | | | |
| 30・60・71 | 52 | 1 | SK587 | 15G-7C20, 7D16 | 古代 | V | N-3°-E | 0.88 | 0.67 | 0.73 | 0.53 | 0.18 | 3.90 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SX911, SD495 | | | | |
| 30・60 | 52・53 | 1 | SK588 | 15G-7D16 | 古代 | V | N-67°-W | 0.87 | 0.71 | 0.77 | 0.67 | 0.14 | 3.96 | 方形 | 皿状 | 2 | ○ | >SX911 <SE586 | | | | |
| 30・60 | 53 | 1 | SK592 | 15G-7D17 | 古代 | V | N-6°-W | 0.75 | 0.71 | 0.61 | 0.46 | 0.15 | 3.96 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 30・60・80 | 53 | 1 | SK594 | 15G-7D22 | 古代 | V | N-25°-W | 0.82 | 0.57 | 0.66 | 0.39 | 0.26 | 3.86 | 楕円形 | 半円状 | 3 | ○ | >SD495 | | | | |
| 30・60 | 53 | 1 | SK597 | 15G-7D23 | 中世 | V | N-39°-W | 0.87 | 0.63 | 0.61 | 0.51 | 0.18 | 3.96 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | 185 | | | |
| 30・60 | 53・54 | 1 | SK611 | 15G-6C24, 7C4 | - | V | N-68°-W | 0.69 | 0.41 | 0.54 | 0.24 | 0.11 | 3.87 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD508 | | | | |
| 30 | 1 | SK633 | 15G-6C21 | 古代 | V | N-85°-W | (0.55) | - | (0.53) | - | - | - | - | 円形 | - | - | - | | | | | |
| 31・60 | 54 | 1 | SK701 | 15G-9C11 | 中世 | V | N-48°-W | 0.78 | 0.58 | 0.58 | 0.43 | 0.12 | 3.92 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 29・31・60 | 54 | 1 | SK702 | 15G-8B17 | - | V | N-52°-E | 0.59 | 0.43 | 0.25 | 0.21 | 0.11 | 3.86 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 30・60 | 54 | 1 | SK724 | 15G-7C21・22, 8C1 | 中世 | V | N-54°-E | 1.69 | 0.97 | 1.48 | 0.68 | 0.15 | 3.86 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 29・46 | 30 | 1 | SK730 | 15G-8B7・8・12・13 | 古代 | V | N-43°-W | 1.90 | 1.03 | 1.66 | 0.90 | 0.15 | 3.85 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SE813 | 185 | | 1 | 37 |
| 30・60 | 54・55 | 1 | SK743 | 15G-7C22, 8C2 | - | V | N-57°-W | 1.74 | 0.85 | 1.64 | 0.72 | 0.09 | 3.95 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD896 | | | | |
| 30・61 | 55 | 1 | SK752 | 15G-8C4 | 中世 | V | N-52°-W | 0.43 | 0.40 | 0.32 | 0.20 | 0.05 | 4.02 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 30・61 | 55 | 1 | SK769 | 15G-8B5 | 古代 | V | N-87°-W | 0.61 | 0.51 | 0.41 | 0.39 | 0.12 | 3.88 | 円形 | 台形状 | 1 | ○ | =SD609 | | | | |
| 29・58 | 55 | 1 | SK777 | 15G-7B7 | - | V | N-3°-E | 0.73 | 0.62 | 0.39 | 0.36 | 0.17 | 3.40 | 円形 | 皿状 | - | - | <SX408 | | | | |
| 30・61 | 55 | 1 | SK780 | 15G-7C17・22 | 古代 | V | N-25°-E | 1.26 | 1.09 | 1.04 | 0.94 | 0.16 | 3.83 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD484 | 185 | | 2 | 8 |
| 30・61 | 56 | 1 | SK783 | 15G-7C14 | 中世 | V | N-42°-W | 0.82 | 0.62 | 0.62 | 0.39 | 0.21 | 3.86 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 30・61 | 56 | 1 | SK794 | 15G-7D1 | 古代 | V | N-63°-W | 0.86 | 0.82 | 0.72 | 0.66 | 0.22 | 3.85 | 円形 | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 30・61 | 56 | 1 | SK832 | 15G-8B9・10 | 古代 | V | N-48°-E | 0.72 | 0.43 | 0.58 | 0.30 | 0.12 | 3.86 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | 185 | | | |
| 29・61 | 1 | SK885 | 15G-7B13 | - | V | N-0°-S | 0.55 | 0.45 | 0.28 | 0.23 | 0.32 | 3.35 | 楕円形 | 半円状 | - | - | | | | | | |
| 30・61 | 56 | 1 | SK912 | 15G-7C15・20 | 古代 | V | N-50°-W | 0.68 | 0.60 | 0.57 | 0.39 | 0.22 | 3.87 | 円形 | 半円状 | 1 | ○ | | | | | |
| 31・61 | 57 | 1 | SK993 | 15G-8C14・15 | 古代 | V | N-4°-E | 1.12 | 0.58 | 0.85 | - | 0.17 | 3.91 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD1729 | | | | |
| 30・61 | 57 | 1 | SK1010 | 15G-7D12・13 | 古代 | V | N-17°-W | 0.96 | 0.66 | 0.83 | 0.51 | 0.08 | 4.02 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 31・59 | 50 | 1 | SK1069 | 15G-9C4・5・9・10 | 中世 | V | N-14°-E | 0.84 | 0.55 | 0.53 | 0.33 | 0.26 | 3.82 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | >SK545 | | | | |
| 30・31・61 | 57 | 1 | SK1097 | 15G-8D13 | 古代 | V | N-81°-E | 0.65 | 0.47 | - | 0.32 | 0.16 | 3.94 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK1098 | | 1 | 3 | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 | |
|----------|---------|---|--------|--------------------|----|-----|---------|--------|------|--------|--------|------|----------|-----|-----|----|-------|----------------------|---------|--------|--------|----|--|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | | |
| 31・61 | 57 | 1 | SK1098 | 15G-8D13 | 中世 | V | N-3°-E | 0.72 | 0.68 | 0.51 | 0.49 | 0.32 | 3.86 | 円形 | 台形状 | 1 | ○ | >SK1097 | | | | | |
| 31・61 | 57 | 1 | SK1114 | 15G-8D21 | 中世 | V | N-33°-E | 0.78 | 0.77 | 0.58 | - | 0.21 | 3.92 | 円形 | 半円状 | 2 | ○ | >SD1729 | | | | | |
| 30・62 | 58 | 1 | SK1116 | 15G-8D11 | 古代 | V | N-46°-E | 0.67 | 0.44 | 0.61 | 0.32 | 0.22 | 3.88 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD570 | | | | | |
| 31・62 | 58 | 1 | SK1179 | 15G-10C9 | - | V | N-90°-E | 0.78 | 0.77 | 0.52 | 0.47 | 0.25 | 3.97 | 不整形 | 皿状 | - | | | | | | | |
| 31・62 | 58 | 1 | SK1183 | 15G-8D22 | - | V | N-53°-E | 0.64 | 0.52 | 0.38 | 0.34 | 0.17 | 3.98 | 楕円形 | 皿状 | 1 | | | | | | | |
| 31・62 | 58 | 1 | SK1210 | 15G-10C4・9 | 古代 | V | N-41°-E | 0.82 | 0.59 | 0.59 | 0.33 | 0.30 | 3.90 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | | |
| 31・62 | 58・59 | 1 | SK1215 | 15G-9C20・25 | 古代 | V | N-0°-S | 0.78 | 0.65 | 0.31 | 0.30 | 0.56 | 3.62 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 31・62 | 59 | 1 | SK1220 | 15G-10C15, 10D11 | 古代 | V | N-44°-W | 0.78 | 0.55 | 0.48 | 0.27 | 0.20 | 3.92 | 長方形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 31・62 | 59 | 1 | SK1227 | 15G-10D6・11 | 古代 | V | N-63°-W | 1.52 | 0.90 | 1.29 | 0.58 | 0.27 | 3.97 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD1258 | | | | | |
| 31・62 | 59 | 1 | SK1229 | 15G-9D8・13 | 中世 | V | N-41°-W | 0.63 | - | 0.38 | - | 0.18 | 4.02 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK1269 | | | | | |
| 31・62 | 59・60 | 1 | SK1232 | 15G-9D7 | 古代 | V | N-18°-E | 0.99 | 0.69 | 0.74 | - | 0.25 | 3.91 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | <SK1233 | | | | | |
| 31・62 | 59・60 | 1 | SK1233 | 15G-9D7 | 古代 | V | N-27°-E | 0.79 | 0.70 | 0.51 | 0.49 | 0.16 | 4.02 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK1232 | | | | | |
| 31・62 | 60 | 1 | SK1240 | 15G-9D13 | 古代 | V | N-16°-W | 1.02 | 0.86 | 0.58 | 0.50 | 0.36 | 3.87 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 31・62 | 60 | 1 | SK1249 | 15G-9D9 | 中世 | V | N-38°-W | 0.68 | 0.61 | 0.47 | 0.36 | 0.24 | 3.92 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 30・62 | 60 | 1 | SK1251 | 15G-8C9 | 古代 | V | N-50°-E | - | - | - | - | 0.38 | 3.64 | 長方形 | 半円状 | - | | >SX564 <SE565, SK567 | | | | | |
| 31・63 | 60 | 1 | SK1268 | 15G-9D21・22 | 古代 | V | N-30°-E | 0.73 | - | 0.46 | - | 0.16 | 4.07 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD1213 | | | | | |
| 31・62 | 59 | 1 | SK1269 | 15G-9D8・13 | 中世 | V | N-6°-W | 0.83 | 0.67 | 0.39 | 0.29 | 0.33 | 3.87 | 不整形 | 台形状 | 2 | ○ | >SK1229 | | | | | |
| 31・63 | 61 | 1 | SK1273 | 15G-8D22・23, 9D2・3 | 中世 | V | N-78°-E | 0.99 | 0.76 | 0.73 | 0.57 | 0.10 | 4.04 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | | |
| 31・63 | 61 | 1 | SK1302 | 15G-8D13・14・18・19 | 古代 | V | N-60°-W | 1.38 | 0.52 | 0.88 | 0.36 | 0.34 | 3.78 | 長方形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 31・63 | 61 | 1 | SK1304 | 15G-9C17・22 | 古代 | V | N-64°-W | 1.55 | 0.75 | 1.39 | 0.45 | 0.30 | 3.77 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | | 185 | 1 | 2 | | |
| 31・63 | 61 | 1 | SK1330 | 15G-8D19・24 | 古代 | V | N-76°-W | 0.65 | 0.39 | 0.40 | 0.28 | 0.20 | 3.93 | 楕円形 | 半円状 | 1 | ○ | >SK1331 | | | | | |
| 31・63 | 61 | 1 | SK1331 | 15G-8D24 | 古代 | V | N-22°-E | - | 0.58 | 0.40 | 0.20 | 0.26 | 3.87 | 不整形 | 半円状 | 2 | ○ | <SK1330 | | | | | |
| 31・63 | 62 | 1 | SK1338 | 15G-9D19 | 古代 | V | N-79°-W | 1.14 | 0.80 | 0.34 | 0.30 | 0.38 | 3.84 | 楕円形 | 台形状 | - | | | | | | | |
| 31・63 | 62 | 1 | SK1342 | 15G-9D3・8 | 古代 | V | N-40°-E | 0.49 | 0.44 | 0.33 | 0.28 | 0.13 | 4.03 | 方形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD1239 | | | | | |
| 31・63 | 62 | 1 | SK1387 | 15G-8E17・22 | 中世 | V | N-23°-E | 1.03 | 0.66 | 0.70 | 0.23 | 0.37 | 3.87 | 長方形 | 半円状 | 2 | ○ | >SD1384 | | | | | |
| 31・63 | 62 | 1 | SK1389 | 15G-8D25 | 古代 | V | N-1°-E | 0.68 | 0.65 | 0.50 | 0.48 | 0.19 | 3.95 | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 31・63 | 62・63 | 1 | SK1396 | 15G-8D25, 8E21 | 中世 | V | N-1°-E | 0.92 | 0.73 | - | 0.52 | 0.18 | 3.96 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | >SK1397 | | | | | |
| 31・63 | 62・63 | 1 | SK1397 | 15G-8D25, 9D5 | - | V | N-2°-W | - | 1.07 | - | 0.71 | 0.19 | 3.95 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | <SK1396 | | | | | |
| 31・47 | 31・32 | 1 | SK1408 | 15G-8E23 | 中世 | V | N-57°-W | 0.61 | 0.27 | - | - | 0.95 | 3.23 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | >SD1392 <SE1337 | | | | | |
| 31・47 | 32 | 1 | SK1434 | 15G-8E11・12・17 | 中世 | V | N-72°-W | 1.50 | 1.01 | 1.26 | 0.79 | 0.27 | 3.89 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SE1435 | | 2 | 64 | | |
| 30・63 | 63 | 1 | SK1502 | 15G-7D10 | 中世 | V | N-11°-E | 0.94 | 0.80 | 0.62 | 0.52 | 0.20 | 3.84 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SE385, SK1622 | | | | | |
| 30・63 | 63 | 1 | SK1527 | 15G-7D14 | 古代 | V | N-58°-W | 1.47 | 0.48 | 0.46 | 0.31 | 0.39 | 3.63 | 長方形 | 半円状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 30・64 | 63 | 1 | SK1541 | 15G-7E22 | 古代 | V | N-4°-E | 1.17 | 1.08 | 1.01 | 0.92 | 0.23 | 3.88 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD1524 | | | 12 | 19 | |
| 30・64 | 63・64 | 1 | SK1565 | 15G-6D22・23 | 中世 | V | N-23°-E | 0.81 | 0.75 | 0.62 | 0.54 | 0.36 | 3.69 | 円形 | 半円状 | 3 | ○ | | | | | | |
| 30・64 | 64 | 1 | SK1578 | 15G-6D16 | 古代 | V | N-61°-E | 0.53 | 0.45 | 0.39 | 0.34 | 0.11 | 3.93 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK1580 | | | | | |
| 30・64 | 64 | 1 | SK1579 | 15G-6D11・16 | 古代 | V | N-45°-W | 0.65 | 0.63 | 0.34 | 0.30 | 0.42 | 3.64 | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SK1580 | | | | | |
| 30・64 | 64 | 1 | SK1580 | 15G-6C20, 6D16 | 古代 | V | N-40°-E | 1.00 | 0.73 | 0.93 | 0.52 | 0.30 | 3.73 | 長方形 | 台形状 | 2 | ○ | <SK1578・1579 | | | | | |
| 30・64 | 64・65 | 1 | SK1607 | 15G-6D8・13 | 古代 | V | N-90°-W | 0.49 | 0.45 | 0.30 | 0.25 | 0.13 | 4.00 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | | |
| 30・64 | 65 | 1 | SK1609 | 15G-6D18・19 | 中世 | V | N-36°-W | 1.40 | 0.93 | 1.30 | 0.80 | 0.49 | 3.60 | 円形 | 半円状 | 3 | ○ | | | | | | |
| 28・64 | 65 | 1 | SK1610 | 15G-5E18・23 | 古代 | V | N-5°-E | 0.65 | 0.61 | 0.49 | 0.28 | 0.50 | 3.65 | 円形 | 半円状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 30・50 | 65 | 1 | SK1615 | 15G-6D7・12 | 中世 | V | N-71°-W | 0.85 | 0.75 | 0.49 | 0.36 | 0.41 | 3.65 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | >SE1586 | | 185 | | | |
| 30・64 | 65・66 | 1 | SK1619 | 15G-6D17・22 | 古代 | V | N-41°-E | 1.39 | 0.52 | 1.20 | 0.29 | 0.20 | 3.85 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 30・64 | 66 | 1 | SK1622 | 15G-7D5・10, 7E6 | 古代 | V | N-74°-E | 1.39 | 0.72 | 1.00 | 0.64 | 0.10 | 3.92 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SE385, SK1502 | | | | | |
| 30・51 | 36 | 1 | SK1629 | 15G-6D14・15 | 中世 | V | N-2°-E | 0.59 | 0.54 | 0.41 | 0.35 | 0.13 | 3.97 | 長方形 | 皿状 | 2 | ○ | >SE1616 | | | | | |
| 30・32・64 | 66 | 1 | SK1633 | 15G-5E24 | - | V | N-12°-E | 0.77 | 0.44 | 0.28 | 0.18 | 0.30 | 3.86 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | >P1632 (SB4) | | | | | |
| 28・65 | 66 | 1 | SK1636 | 15G-5E17・18・22・23 | 古代 | V | N-10°-W | 1.14 | 0.83 | 0.90 | 0.71 | 0.10 | 4.02 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | 185 | | | | |
| 32・65 | 66・67 | 1 | SK1642 | 15G-5E25 | - | V | N-0°-E | 0.65 | 0.64 | 0.54 | 0.48 | 0.10 | 4.00 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 32・65 | 67 | 1 | SK1647 | 15G-5E14・19 | 古代 | V | N-60°-E | (0.68) | 0.52 | (0.47) | 0.30 | 0.09 | 4.02 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | | |
| 28・32・65 | 67 | 1 | SK1649 | 15G-5E8・13 | 中世 | V | N-48°-W | 0.65 | 0.49 | (0.44) | (0.28) | 0.12 | 4.00 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD1687 | | | | | |
| 30・56 | 43 | 1 | SK1660 | 15G-6E4・9 | 中世 | V | N-66°-W | 0.82 | 0.45 | 0.65 | 0.36 | 0.12 | 4.04 | 長方形 | 台形状 | 1 | ○ | >SD117・1562 | | | | | |
| 28・30・65 | 67 | 1 | SK1666 | 15G-6D5 | 中世 | V | N-9°-E | 0.61 | 0.52 | 0.36 | 0.24 | 0.57 | 3.52 | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD117 <SK1667 | | | | | |
| 28・30・65 | 67 | 1 | SK1667 | 15G-5D25, 6D5 | 中世 | V | N-25°-E | 0.62 | 0.35 | 0.20 | 0.10 | 0.27 | 3.80 | 長方形 | 台形状 | 1 | ○ | >SK1666, SD117 | | | | | |
| 30・65 | 67・68 | 1 | SK1670 | 15G-6D9 | 中世 | V | N-15°-E | 0.66 | 0.45 | 2.80 | 1.90 | 0.13 | 3.97 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD1673 | | | | | |
| 27・65 | 68 | 1 | SK1690 | 15G-5C4 | - | V | N-4°-E | (0.68) | 0.58 | 0.52 | 0.35 | 0.11 | 3.87 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 28・30・65 | 68 | 1 | SK1715 | 15G-6D4 | 古代 | V | N-3°-E | 0.65 | 0.61 | 0.48 | 0.39 | 0.30 | 3.80 | 不整形 | 台形状 | 3 | ○ | >SD1714 | | | | | |
| 30・65 | 68 | 1 | SK1725 | 15G-8C1・2 | 古代 | V | N-30°-E | 1.41 | 1.23 | 1.13 | 0.97 | 0.30 | 3.68 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | =SD609 | | | | | |
| 32・65 | 68・69 | 1 | SK1732 | 15G-5F16・17・21・22 | 中世 | V | N-57°-W | 0.78 | 0.41 | 0.72 | 0.32 | 0.15 | 4.00 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD1736 | | | | | |
| 28・32・65 | 69 | 1 | SK1734 | 15G-4E18・23 | 中世 | V | N-16°-E | 1.05 | 0.94 | 0.83 | 0.52 | 0.40 | 3.85 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 32・66 | 69 | 1 | SK1740 | 15G-5F18・23 | 古代 | V | N-61°-W | 0.62 | 0.53 | 0.50 | 0.36 | 0.12 | 3.96 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | <SE1754, SD1747 | | | | | |
| 28・32・66 | 69 | 1 | SK1760 | 15G-4E23, 5E3 | 中世 | V | N-62°-E | 0.96 | 0.54 | 0.91 | 0.47 | 0.41 | 3.82 | 円形 | 半円状 | 2 | ○ | >SD1902 | | | | | |
| 32・66 | 69・70 | 1 | SK1765 | 15G-4E24, 5E3・4 | 中世 | V | N-59°-E | 0.95 | 0.79 | 0.57 | 0.53 | 0.14 | 4.09 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK1881, SD1836 | | 185 | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 |
|-------------|---------|---|--------|---|----|-----|---------|--------|--------|--------|--------|------|----------|-----|-----|----|----------------|--|---------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 32・66 | 70 | 1 | SK1766 | 15G-5F9・10 | 中世 | V | N-48°-E | 1.65 | 0.78 | 1.12 | 0.52 | 0.45 | 3.65 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | | | | | |
| 32・33・66 | 70 | 1 | SK1773 | 15G-5G1・2 | 古代 | V | N-89°-W | 1.39 | 1.29 | 1.11 | 1.01 | 0.19 | 3.72 | 方形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD1772 | | | | |
| 33・66 | 70 | 1 | SK1782 | 15G-3G21・22 | 古代 | V | N-66°-W | 0.85 | (0.74) | (0.47) | 0.42 | 0.58 | 3.48 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SX2017、SD2006 =SD1779 | | | | |
| 32・66 | 70・71 | 1 | SK1787 | 15G-4F8・9・13・14 | 古代 | V | N-64°-W | 0.68 | 0.54 | 0.40 | 0.40 | 0.18 | 3.86 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | <SK1921 | 185 | | | |
| 32・66 | 71 | 1 | SK1788 | 15G-4F7・8・12・13 | 中世 | V | N-6°-W | 0.71 | 0.69 | 0.56 | 0.49 | 0.37 | 3.66 | 円形 | 台形状 | 3 | ○ | | | | | |
| 32・66 | 71 | 1 | SK1800 | 15G-5E10 | 古代 | V | N-66°-W | 0.84 | 0.45 | 0.68 | 0.31 | 0.11 | 4.09 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK1810 | | | | |
| 32・66 | 71 | 1 | SK1803 | 15G-5F16 | 古代 | V | N-6°-E | 0.72 | 0.60 | 0.59 | 0.45 | 0.09 | 4.06 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 32・67 | 71 | 1 | SK1810 | 15G-5E10, 5F6 | 古代 | V | N-69°-W | 1.08 | 0.70 | 0.98 | 0.46 | 0.10 | 4.09 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK1800、P2733 (SB2) | | | | |
| 32・67 | 72 | 1 | SK1819 | 15G-4E18・19 | 中世 | V | N-54°-W | 1.15 | 1.14 | 0.64 | 0.58 | 0.42 | 3.81 | 円形 | 台形状 | 4 | ○ | >SD1836 | 186 | 1 | 58 | |
| 32・67 | 72 | 1 | SK1826 | 15G-5F19 | — | V | N-52°-E | 0.57 | 0.48 | 0.46 | 0.28 | 0.07 | 4.01 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 32・67 | 72 | 1 | SK1827 | 15G-5F18・19 | — | V | N-42°-W | 0.55 | 0.41 | 0.48 | 0.24 | 0.12 | 3.97 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 32・67 | 72 | 1 | SK1834 | 15G-4E19・20・24 | 中世 | V | N-53°-W | 0.94 | 0.78 | 0.63 | 0.46 | 0.30 | 3.91 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | =SD1836 | 186 | | | |
| 32・67 | 73 | 1 | SK1845 | 15G-4F23, 5F3 | — | V | N-12°-E | 0.85 | 0.38 | 0.69 | 0.25 | 0.15 | 3.92 | 長方形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 32・67 | 73 | 1 | SK1850 | 15G-4F11・12 | 古代 | V | N-66°-E | 0.62 | 0.54 | 0.46 | 0.34 | 0.10 | 3.95 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | 186 | | | |
| 32・67 | 73 | 1 | SK1853 | 15G-4F21, 5F1 | 古代 | V | N-31°-E | 0.55 | 0.39 | 0.42 | 0.17 | 0.17 | 4.01 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | 1 | 6 | |
| 32・67 | 73 | 1 | SK1858 | 15G-5E20 | — | V | N-13°-W | 0.72 | 0.42 | 0.56 | 0.26 | 0.16 | 4.01 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 32・67 | 74 | 1 | SK1873 | 15G-6F3・4 | — | V | N-51°-E | 0.69 | 0.72 | 0.43 | 0.40 | 0.17 | 3.85 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 32・67 | 74 | 1 | SK1880 | 15G-4F3・8 | 中世 | V | N-30°-W | 0.67 | 0.55 | 0.35 | 0.34 | 0.24 | 3.82 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | | | 1 | 4 | |
| 32・66 | 69・70 | 1 | SK1881 | 15G-5E4 | 中世 | V | N-32°-E | 0.58 | 0.31 | 0.53 | 0.38 | 0.27 | 3.94 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD1836 <SK1765 | | | | |
| 33・67 | 74 | 1 | SK1888 | 15G-4G22 | 古代 | V | N-21°-W | 0.67 | 0.51 | 0.35 | 0.34 | 0.25 | 3.83 | 楕円形 | 半円状 | 1 | ○ | | | | | |
| 33・67 | 74 | 1 | SK1889 | 15G-4G22 | — | V | N-58°-W | 0.61 | 0.60 | 0.29 | 0.28 | 0.51 | 3.55 | 方形 | 台形状 | 3 | ○ | | | | | |
| 32・67 | 75 | 1 | SK1898 | 15G-3F24, 4F4 | 古代 | V | N-57°-W | 0.80 | 0.76 | 0.67 | 0.62 | 0.27 | 3.83 | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 32・68 | 75 | 1 | SK1903 | 15G-4F23 | 古代 | V | N-88°-E | 1.06 | 0.49 | 0.94 | 0.31 | 0.08 | 3.90 | 長方形 | 皿状 | 1 | ○ | | 186 | | | |
| 32・68 | 75 | 1 | SK1910 | 15G-4F4 | 古代 | V | N-38°-E | 1.09 | 0.85 | 0.70 | — | 0.08 | 4.01 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 33・68 | 75 | 1 | SK1916 | 15G-4G12 | 中世 | V | N-1°-E | 1.01 | 0.93 | 0.75 | 0.69 | 0.13 | 3.91 | 楕円形 | 皿状 | — | ○ | >SD1777 | | | | |
| 32・66 | 70・71 | 1 | SK1921 | 15G-4F9 | 古代 | V | N-64°-W | 0.50 | 0.46 | 0.36 | 0.30 | 0.12 | 3.92 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK1787 | 186 | | | |
| 32・68・78 | 75・76 | 1 | SK1934 | 15G-5F13・14 | — | V | N-59°-W | — | 0.90 | — | 0.73 | 0.20 | 3.89 | 不整形 | 台形状 | 1 | ○ | <SD1847 | | | | |
| 30・32・68 | 76 | 1 | SK1944 | 15G-6F2 | — | V | N-37°-W | 0.65 | (0.49) | 0.28 | 0.25 | 0.43 | 3.66 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | =SK1945 | | | | |
| 30・68 | 76 | 1 | SK1945 | 15G-6F2 | — | V | N-37°-W | 0.88 | (0.61) | (0.39) | 0.38 | 0.30 | 3.80 | 楕円形 | 半円状 | 2 | ○ | =SK1944 | | | | |
| 33・68 | 76 | 1 | SK1961 | 15G-4G17・18 | — | V | N-55°-E | 1.19 | 1.04 | 0.99 | 0.87 | 0.13 | 0.18 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD1777 | | | | |
| 34・68 | 76 | 1 | SK1966 | 15G-1G7・8 | 古代 | V | N-37°-E | 1.30 | 1.28 | 0.84 | 0.82 | 0.23 | 3.80 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 32・68 | 77 | 1 | SK1972 | 15G-4F17 | — | V | N-66°-W | 0.70 | 0.40 | 0.59 | 0.22 | 0.08 | 3.98 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 34・68 | 77 | 1 | SK1976 | 15G-1F25 | 古代 | V | N-44°-W | 0.69 | 0.67 | 0.53 | 0.42 | 0.17 | 3.85 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 34・68 | 77 | 1 | SK1977 | 15G-1G6・11 | 古代 | V | N-23°-W | 0.77 | 0.77 | 0.50 | 0.43 | 0.13 | 3.88 | 方形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 33・68 | 77 | 1 | SK1986 | 15G-3G16 | — | V | N-21°-E | 0.49 | 0.48 | 0.35 | 0.33 | 0.10 | 3.96 | 方形 | 皿状 | 1 | ○ | >SX2017 | | | | |
| 32・68 | 78 | 1 | SK1987 | 15G-3F19・24 | 古代 | V | N-56°-W | 0.90 | 0.89 | 0.81 | 0.70 | 0.18 | 3.90 | 方形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 32・69 | 78 | 1 | SK1996 | 15G-3F15・19・20 | — | V | N-51°-E | 0.87 | — | 0.76 | — | 0.17 | 3.96 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD1779 | | | | |
| 34・69 | 78 | 1 | SK1999 | 15G-2G16・17・21・22 | — | V | N-33°-E | — | 0.76 | — | 0.35 | 0.20 | 3.89 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 34・69 | 78 | 1 | SK2004 | 15G-1F20 | 古代 | V | N-15°-E | 0.56 | 0.44 | 0.32 | 0.27 | 0.32 | 3.70 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 34・69 | 78・79 | 1 | SK2005 | 15G-1G16 | — | V | N-12°-E | 0.53 | 0.33 | 0.30 | 0.17 | 0.20 | 3.81 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 34・35・69 | 79 | 1 | SK2007 | 15G-1G10・15, 1H6・11 | 古代 | V | N-4°-E | 0.51 | 0.44 | 0.33 | 0.31 | 0.12 | 3.88 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 32・69 | 79 | 1 | SK2018 | 15G-3F22 | — | V | N-54°-E | 0.62 | — | 0.35 | — | 0.08 | 3.94 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 29・69 | 79 | 1 | SK2021 | 15G-8B9 | 古代 | V | N-40°-W | 0.66 | 0.40 | 0.45 | 0.24 | 0.30 | 3.70 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 31 | | 1 | SK3063 | 15G-8B14・15・19・20 | 古代 | V | N-0°-S | (2.80) | (1.60) | (2.70) | (1.40) | — | — | 不整形 | — | — | <SD413・419・518 | | | | | |
| 28・69 | 79・80 | 1 | SX109 | 15G-5D7・8・12・13 | 古代 | V | N-90°-E | (3.63) | 3.16 | 3.44 | 2.95 | 0.25 | 3.85 | 方形 | 皿状 | 2 | ○ | <SD1689 | 186 | 23 | 135 | |
| 29・61・70・74 | 80 | 1 | SX408 | 15G-6B23・24, 7A15・19・20・23~25, 7B2~4・6~9・11~14・16~18・21~23, 8A4・5・10, 8B1・2・6 | 中世 | V | — | — | — | — | — | 0.28 | 3.66 | — | 皿状 | 2 | ○ | >SK513・516・777, SD407・419・420・484・486・512・514・609 <SD503 | 186・259 | 22 | 1846 | |
| 31・70 | 80・81 | 1 | SX409 | 15G-9B5, 9C1・6 | 中世 | V | N-8°-E | 1.53 | 1.17 | 1.32 | 0.84 | 0.08 | 3.92 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SE606, SD411 | 187・256 | | | |
| 29・31・70 | 81 | 1 | SX524 | 15G-8B12・17 | 中世 | V | N-6°-E | 1.92 | 0.82 | 1.76 | 0.64 | 0.10 | 3.84 | 長方形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD411 | | | | |
| 31・40・71 | 23・81 | 1 | SX534 | 15G-8C21~23, 9C1~3 | 古代 | V | N-52°-W | 2.90 | 2.37 | 2.50 | 1.95 | 0.16 | 3.84 | 長方形 | 皿状 | 1 | ○ | <SE415 =SD535・1072 >SD1729 <SE565, SK567・1251 =SD896 | 187 | | | |
| 30・31・44 | 27 | 1 | SX564 | 15G-8C7~9・12~14・17・18 | 古代 | V | N-88°-W | 3.24 | — | 2.77 | — | 0.30 | 3.72 | 不整形 | 皿状 | 3 | ○ | | | 5 | 273 | |
| 29・31・71 | 81 | 1 | SX765 | 15G-8B24, 9B3・4 | 古代 | V | N-7°-E | 1.64 | 1.18 | — | 1.07 | 0.10 | 3.86 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD411 | 188 | | | |
| 30・71 | 82 | 1 | SX911 | 15G-7C20, 7D16 | 古代 | V | N-70°-W | 2.09 | (1.17) | — | — | 0.25 | 3.79 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD495 <SK587・588 | 189 | | | |
| 30・71 | 82 | 1 | SX1147 | 15G-7D22, 8D1・2 | 古代 | V | N-7°-W | 1.98 | 1.48 | 1.75 | 1.11 | 0.26 | 3.86 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | 189 | | | |
| 31・71 | 82・83 | 1 | SX1200 | 15G-10C19 | 古代 | V | N-69°-W | — | 1.70 | — | 1.56 | 0.11 | 4.07 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD1138 | 189 | | | |
| 31・71 | 83 | 1 | SX1238 | 15G-10C19・24・25 | 古代 | V | — | — | — | — | 0.50 | 3.72 | — | 皿状 | 2 | ○ | <SD1138・1248 | | 1 | 24 | | |
| 31・72 | 83 | 1 | SX1352 | 15G-8D14・15・19・20, 8E16 | 古代 | V | N-62°-W | 2.68 | 0.98 | — | 0.65 | 0.23 | 3.92 | 長方形 | 皿状 | 3 | ○ | >SD1414 <P4067 (SB10) | | 1 | 8 | |
| 28・72 | 83 | 1 | SX1638 | 15G-5D20・25, 5E16・21・22 | 古代 | V | N-67°-W | 3.30 | 1.80 | 2.94 | 1.32 | 0.27 | 3.82 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | 189・190 | | | |
| 30・49 | 84 | 1 | SX1640 | 15G-7D3・4・7~9 | 中世 | V | N-79°-W | — | — | — | — | 0.39 | 3.65 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | <SE1534・1551・1593・1602, P1557 (SB7) | 190 | | | |
| 32・65 | 84 | 1 | SX1648 | 15G-5E13・14 | 中世 | V | N-59°-W | (1.24) | 1.01 | (0.95) | 0.41 | 0.20 | 3.92 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礎 | | 備考 |
|----------------------|-------------------|---|--------|--|----|-----|---------|--------|------|------|------|------|----------|-----|-----|----|-------|---|---------|--------|--------|-----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 27・72 | 84 | 1 | SX1719 | 15G-3C4・5・8~10・12~15・17~19 | 中世 | V | N-45°・E | - | - | - | - | 0.30 | 3.53 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | >SE1717、SD1 | | | | |
| 32・33・72 | 84 | 1 | SX1783 | 15G-4G21, 5G1 | 中世 | V | N-27°・E | 1.83 | 0.74 | 1.46 | 0.66 | 0.30 | 3.79 | 不整形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 32・54 | 85 | 1 | SX1785 | 15G-4F19・24・25 | 中世 | V | N-20°・W | 1.21 | 0.99 | 0.99 | 0.78 | 0.11 | 3.95 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 32・72 | 85 | 1 | SX1789 | 15G-4E15・20, 4F11・16 | 古代 | V | N-51°・W | 1.13 | 0.77 | 0.10 | 0.50 | 0.10 | 4.00 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 32・73 | 85 | 1 | SX1805 | 15G-5F19・20・24・25 | 中世 | V | N-40°・W | 1.96 | 1.72 | 0.66 | 0.49 | 0.44 | 3.71 | 不整形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD1935 | 190・256 | 5 | 111 | |
| 33・73 | 85 | 1 | SX2017 | 15G-3F20・25, 3G11・16・17・21・22, 4G2 | 古代 | V | N-68°・W | - | 3.90 | - | 3.78 | 0.08 | 4.00 | 不整形 | 皿状 | - | ○ | <SK1782・1986, SD1779・1781・2006 | 282 | 1 | 15 | |
| 31・57 | 47 | 1 | SX2032 | 15G-8C12・16・17 | 古代 | V | N-73°・E | 1.66 | 1.32 | 1.37 | 1.12 | 0.18 | 3.84 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD525 <SK431 | | | | |
| 27・73 | 85・86 | 1 | SD1 | 15G-3C17・18・22・23, 4C1・2・6・7・11・12・16・21, 5C1 | 中世 | V | N-20°・E | - | 1.50 | - | 0.39 | 0.36 | 3.58 | - | 台形状 | 3 | ○ | <SX1719 | | | 2 | 32 |
| 28・51・73 | 37・86 | 1 | SD108 | 15G-4D15・19・20・24・25, 5D4・5 | 中世 | IV | N-17°・E | - | 1.14 | - | 0.64 | 0.39 | 3.71 | - | 台形状 | 3 | ○ | >SE1691 | 190・273 | 11 | 326 | |
| 28・30・37・38・52・56・74 | 19・36・43・45・86・87 | 1 | SD117 | 15G-5C24・25, 5D21~24, 6D3~5, 6E1~3・7~10, 6F6・7・11・12 | 中世 | V | N-78°・W | - | 0.84 | - | 0.28 | 0.38 | 3.77 | - | 台形状 | 7 | ○ | >SE201・1617, SK172 (SB4), SD1562・1714 <SE125・126・159・1718, SK157・256・1660・1666・1667 | 190 | 8 | 281 | |
| 30・39 | 87 | 1 | SD352 | 15G-7E2・3・8・9 | 古代 | V | N-61°・W | - | 0.53 | - | 0.38 | 0.08 | 4.03 | - | 皿状 | 2 | ○ | <SE1520 | | | | |
| 30・39 | 22・87 | 1 | SD354 | 15G-6E19・20・24・25 | 中世 | V | N-61°・W | - | 0.30 | - | 0.15 | 0.14 | 3.94 | 不整形 | 半円状 | 1 | ○ | >SE353, SD1521 | | | | |
| 29・70・74・79 | 87・88 | 1 | SD406 | 15G-7A23・24, 8A4・9・10・15・20, 8B16・21 | 古代 | V | N-27°・W | - | 0.63 | - | 0.37 | 0.24 | 3.74 | - | 皿状 | 3 | ○ | =SD407 | 190 | 1 | 7 | |
| 29・70・74・79 | 80・87・88 | 1 | SD407 | 15G-7A18・19・23~25, 8A4・5・10・15, 8B6・11・16 | 中世 | V | N-28°・W | - | 0.80 | - | 0.55 | 0.42 | 3.84 | - | 皿状 | 3 | ○ | >SD411 <SX408 =SD406・512 | 190 | 3 | 121 | |
| 29・31・40・45・70・74 | 30・88 | 1 | SD411 | 15G-8B6・11・16~18・22~24, 9B4・5・10, 9C1・6~8・12~14・19 | 中世 | V | N-60°・W | - | 0.67 | - | 0.43 | 0.24 | 3.84 | - | 皿状 | 3 | ○ | >SX409・765, SD413・931 <SE412・606, SX524, SD407 =SK410 | 190 | 1 | 8 | |
| 31・74 | 88・89 | 1 | SD413 | 15G-8B18~20・23~25, 9B4・5 | 古代 | V | N-54°・W | 5.13 | 1.74 | 4.79 | 1.18 | 0.25 | 3.82 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SK3063 <SD411・518 | 190 | | | |
| 29・74 | 89 | 1 | SD419 | 15G-8B2・3・7~9・14 | 古代 | V | N-54°・W | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.13 | 3.97 | - | 台形状 | 1 | ○ | >SK3063 <SX408, SD518 | | | | |
| 29・74 | 89 | 1 | SD420 | 15G-8B6・11 | 古代 | V | N-15°・W | 1.68 | 0.57 | - | 0.34 | 0.11 | 3.84 | - | 台形状 | 1 | ○ | >SD803 <SX408 | | | | |
| 31・40 | 23 | 1 | SD430 | 15G-8B15 | 古代 | V | N-58°・W | - | 0.38 | - | 0.17 | 0.04 | 4.02 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SE429 | | | | |
| 30・31・41 | | 1 | SD434 | 15G-8C12 | - | - | N-23°・W | - | 0.34 | - | 0.21 | 0.10 | 3.95 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SE433 | | | | |
| 29・74 | 90 | 1 | SD462 | 15G-7B23, 8B3 | 古代 | V | N-26°・W | - | 0.27 | - | 0.11 | 0.20 | 3.68 | - | 半円状 | - | ○ | | | | | |
| 29・30・74 | 90 | 1 | SD484 | 15G-7B9・14・15・20, 7C16・17・21~24, 8C3・4 | 古代 | V | N-59°・W | - | 0.58 | - | 0.22 | 0.15 | 3.75 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK485・780, SX408 =SD896 | 190 | | | |
| 29・30・60・70・74 | 90 | 1 | SD486 | 15G-6B23, 7B3・4・9・10・15, 7C6・11・12・17~19・24・25 | 古代 | V | N-59°・W | - | 0.94 | - | 0.51 | 0.19 | 3.85 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SD539 <SE490・579, SK580, SX408, SD553・584 =SD1181 | | | 1 | 6 |
| 30・45・57・60・61・74 | 48・90・92 | 1 | SD495 | 15G-6B24・25, 7B5, 7C1・6~8・12~14・19・20, 7D16・21~23, 8D2~4・8~10・15 | 古代 | V | N-57°・W | - | 0.62 | - | 0.42 | 0.19 | 3.96 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SE502・590・601・868, SK587・594, SX911, P991 (SB7) =SE600, SD553 | 191 | 1 | 6 | |
| 30・36・41・75 | 90・91 | 1 | SD503 | 15G-6B24・25, 6C11・12・16・17・21・22, 7B5, 7C1 | 中世 | V | N-62°・W | - | 1.43 | - | 0.74 | 0.34 | 3.10 | - | 台形状 | 3 | ○ | >SX408, SD506・508 <SE502 | 191 | | | |
| 30・75 | 92 | 1 | SD504 | 15G-6C22・23 | 古代 | V | N-68°・W | 1.24 | 0.40 | 1.05 | 0.18 | 0.09 | 3.88 | - | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 30・36・75 | 91・92 | 1 | SD506 | 15G-6B20・25, 6C16・21・22, 7C1・2・8~10・15, 7D11 | 古代 | V | N-53°・W | - | 0.57 | - | 0.58 | 0.25 | 3.70 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SE500・511・586, SD503 | | | | |
| 30・46・75 | 30・91・92 | 1 | SD508 | 15G-6C11・16~18・22~24, 7C3~5・10, 7D1・6・7・12 | 古代 | V | N-54°・W | - | 0.55 | - | 0.31 | 0.25 | 3.94 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SK611, SD503・509 =SE785 | 191 | | | |
| 30・36・58・75 | 49・92 | 1 | SD509 | 15G-6C4・5・9・14・19・23・24, 6D1, 7C3・4・8・9 | 中世 | V1 | N-8°・E | - | 1.00 | - | 0.35 | 0.39 | 3.63 | - | 台形状 | 3 | ○ | >SD508 <SE1617, SK510 | | | 1 | 12 |
| 29・58・70・75 | 80 | 1 | SD512 | 15G-7A25, 7B2・3・7・8・11・12・16・17・21, 8A5 | 古代 | V | N-33°・E | - | 0.74 | - | 0.41 | 0.15 | 3.54 | - | 皿状 | 2 | ○ | <SX408, SD514 =SD407 | | | | |
| 29・61・70・75 | 80 | 1 | SD514 | 15G-7A19・20・24・25, 7B2・3・8・12・13・16~18・21・22 | 古代 | V | N-42°・E | - | 1.55 | - | 0.60 | 0.21 | 3.48 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SD512 <SX408 | 191 | 3 | 51 | |
| 29・46・74 | 30・89 | 1 | SD518 | 15G-8B7・8・13・14・18・19 | 古代 | V | N-39°・W | - | 0.80 | - | 0.57 | 0.25 | 3.78 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SK3063, SD413・419 <SE813 | | | | |
| 31・75 | 92 | 1 | SD525 | 15G-8C17・18・23~25 | 古代 | V | N-63°・W | - | 0.55 | - | 0.37 | 0.29 | 3.90 | - | 皿状 | 2 | ○ | <SX2032 | | | | |
| 31・75 | 93 | 1 | SD535 | 15G-9C2・3・7~9・13・14 | 古代 | V | N-42°・W | - | 0.35 | - | 0.25 | 0.17 | 3.88 | - | 台形状 | 1 | ○ | >SD1072 =SX534, SD931 | 191 | | 1 | 33 |
| 30・31・59~61・74・75 | 51・52・90 | 1 | SD539 | 15G-7B10, 7C6・11~14・19・20・25, 7D21, 8C14・19 | 古代 | V | N-61°・W | - | 0.57 | - | 0.45 | 0.16 | 4.02 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SK585, SD1729 <SK568, SD486・553 =SD1181 | | | 3 | 868 |
| 31・75 | 93 | 1 | SD546 | 15G-8C25, 9C5 | 古代 | V | N-28°・E | - | 0.26 | - | 0.15 | 0.11 | 3.99 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SE547 =SK545 | | | | |
| 30・75 | 93 | 1 | SD553 | 15G-7C13・17・18 | 古代 | V | N-39°・E | - | 0.30 | - | 0.18 | 0.14 | 3.88 | - | 半円状 | - | ○ | >SD486・539 =SD495 | | | | |
| 30・75 | 93 | 1 | SD566 | 15G-8C4・9 | 古代 | V | N-16°・E | - | 0.36 | - | 0.18 | 0.08 | 3.98 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SE557 <SK559・567 =SK560 | | | | |
| 31・75 | 93・94 | 1 | SD569 | 15G-8D11・12 | 古代 | V | N-73°・W | - | 0.52 | - | 0.40 | 0.12 | 4.00 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 31・75 | 94 | 1 | SD570 | 15G-8D11~13・17・18 | 古代 | V | N-70°・W | - | 0.40 | - | 0.26 | 0.12 | 4.00 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK1116 | 191 | 1 | 7 | |
| 30・76 | 94 | 1 | SD584 | 15G-7C19・24 | 古代 | V | N-20°・E | 1.84 | 0.41 | 1.71 | 0.22 | 0.12 | 3.92 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SD486 | | | | |
| 29・30・65・76 | 94 | 1 | SD609 | 15G-7B18・19・24・25, 8B5, 8C1・6・7 | 古代 | V | N-50°・W | - | 1.24 | - | 0.94 | 0.26 | 3.73 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SE433, SK422・423・528, SX408 =SK769・1725 | 191 | | | |
| 29・76 | 89 | 1 | SD803 | 15G-8B6・7・12 | 古代 | V | N-40°・W | - | 0.38 | - | 0.24 | 0.19 | 3.74 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SD420 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土の有無 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 |
|----------------|-----------|---|--------|--|----|-----|----------|--------|--------|------|------|------|----------|----|-----|-------|-------|---|---------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 30・58・76 | 49・94・95 | 1 | SD896 | 15G-7C22, 8C2・3・7・8 | 古代 | V | N- 5°・W | - | 0.69 | - | 0.46 | 0.23 | 3.81 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SK529・531・743 =SX564, SD484 | 191・259 | | | |
| 31・76 | 95 | 1 | SD931 | 15G-9C8・13 | 古代 | V | N- 28°・E | - | 0.26 | - | 0.19 | 0.10 | 3.97 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SD411 =SD535 | | | | |
| 31・76 | 95 | 1 | SD1072 | 15G-8C24・25, 8D16・17・21, 9C2~5・7・8 | 古代 | V | N- 64°・E | - | 0.46 | - | 0.34 | 0.27 | 3.83 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SE536・547, SD535 =SX534, SD1729・2022 | | | | |
| 31・71・76 | 82・83 | 1 | SD1138 | 15G-10C12・13・17~20・24・25 | 中世 | V | N- 64°・W | - | 0.93 | - | 0.42 | 0.25 | 4.00 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SX1200・1238 =SD1248 | | 2 | 57 | |
| 30・76 | 95 | 1 | SD1150 | 15G-7D6・11 | 古代 | V | N- 19°・E | - | 0.35 | - | 0.23 | 0.06 | 3.98 | - | 皿状 | - | ○ | <SE586 | | | | |
| 30・76 | 95 | 1 | SD1181 | 15G-7C25, 7D21 | 古代 | V | N- 11°・E | - | 0.44 | - | 0.27 | 0.18 | 3.88 | - | 台形状 | - | ○ | =SD486・539 | | | | |
| 31・76 | 96 | 1 | SD1194 | 15G-9C18・22・23, 10C2・3・7 | 古代 | V | N- 25°・E | - | 0.52 | - | 0.28 | 0.16 | 4.01 | - | 台形状 | 2 | ○ | =SD1219 | | | | |
| 31・63・76 | 60・96 | 1 | SD1213 | 15G-9D12・13・16・17・21・22, 10C5・10・14・15, 10D1 | 中世 | V | N- 33°・E | - | 0.52 | - | 0.32 | 0.29 | 3.93 | - | 台形状 | 1 | ○ | >SK1268, SD1247・1258, P1260 (SB9) | | | | |
| 31・76 | 96 | 1 | SD1219 | 15G-10C2・3・7・8 | 古代 | V | N- 29°・E | - | 0.33 | - | 0.22 | 0.08 | 4.08 | - | 皿状 | 1 | ○ | =SD1194 | | | | |
| 31・63 | 62 | 1 | SD1239 | 15G-9D2・3・7~9 | 古代 | V | N- 75°・W | - | 0.54 | - | 0.26 | 0.40 | 3.76 | - | 台形状 | 3 | ○ | <SK1342 | | 1 | 63 | |
| 31・46・76 | 96・97 | 1 | SD1247 | 15G-9D16・17・22~24, 10D4・5 | 中世 | V | N- 63°・W | - | 0.86 | - | 0.59 | 0.23 | 4.04 | - | 皿状 | 2 | ○ | <SD1213 | 192 | 2 | 61 | |
| 31・71 | 82 | 1 | SD1248 | 15G-10C19・20・24 | 中世 | V | - | - | - | - | - | 0.42 | 3.80 | - | 皿状 | 3 | ○ | >SX1238 =SD1138 | | 3 | 117 | |
| 31・76 | 97 | 1 | SD1258 | 15G-10C10, 10D6 | 古代 | V | N- 56°・W | - | 0.25 | - | 0.14 | 0.04 | 4.18 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK1227, SD1213 | | | | |
| 31・76 | 97 | 1 | SD1375 | 15G-8D23, 9D3・4 | 古代 | V | N- 69°・W | - | 0.28 | - | 0.16 | 0.25 | 3.91 | - | 半円状 | 3 | ○ | | 192 | 1 | 41 | |
| 31・76 | 97 | 1 | SD1384 | 15G-8E16・17 | 古代 | V | N- 62°・W | - | 0.23 | - | 0.14 | 0.20 | 3.97 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SK1387 | | | | |
| 31・76 | 98 | 1 | SD1391 | 15G-9E6・7・12 | 古代 | V | N- 44°・W | - | 0.35 | - | 0.18 | 0.18 | 3.97 | - | 半円状 | 3 | ○ | <SE1244 | | | | |
| 31・76 | 98 | 1 | SD1392 | 15G-8E16・21~23 | 中世 | V | N- 86°・W | - | 0.89 | - | 0.61 | 0.16 | 4.00 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD1433, P1335 (SB10) <SE1337, SK1408 | | | | |
| 31・76 | 98 | 1 | SD1394 | 15G-8E22 | - | V | N- 34°・W | 0.96 | 0.30 | 0.84 | 0.23 | 0.06 | 4.10 | - | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 31・76 | 98 | 1 | SD1407 | 15G-8D15・20, 8E11・16 | 古代 | V | N- 75°・W | - | 0.50 | - | 0.20 | 0.29 | 3.86 | - | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 31・76 | 99 | 1 | SD1414 | 15G-8D15・20・24・25, 9D4 | 古代 | V | N- 20°・E | - | 0.50 | - | 0.21 | 0.15 | 3.99 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SE1283, SX1352 | | | | |
| 31・76 | 99 | 1 | SD1433 | 15G-8E16・17・22 | 古代 | V | N- 18°・W | - | 0.37 | - | 0.18 | 0.06 | 4.09 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SD1392 | | | | |
| 30・77 | 99 | 1 | SD1447 | 15G-7D15, 7E11・16~18・22・23 | 中世 | V | N- 57°・W | - | (0.90) | - | 0.44 | 0.16 | 3.94 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SE385・1517 | 192 | 1 | 36 | |
| 30・50 | 100 | 1 | SD1449 | 15G-7E21・22, 8E1・6 | 中世 | V | N- 23°・E | - | 0.88 | - | 0.62 | 0.34 | 3.82 | - | 台形状 | 3 | ○ | <SE1454・1590 | | | | |
| 31・77 | 100 | 1 | SD1459 | 15G-9D5, 9E1 | 古代 | V | N- 71°・W | - | 0.52 | - | 0.36 | 0.17 | 3.96 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SE1283 | | | | |
| 30・77 | 100 | 1 | SD1476 | 15G-7E18・19 | 古代 | V | N- 80°・W | - | 0.64 | - | 0.86 | 0.27 | 3.95 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SE301 | | | | |
| 30・48・77 | 33・100 | 1 | SD1505 | 15G-7D20・25, 8D5 | 中世 | V | N- 18°・E | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.20 | 3.96 | - | 台形状 | 3 | ○ | <SE1504 | | 1 | 5 | |
| 30・39 | 22・87 | 1 | SD1521 | 15G-6E19・20・25, 6F21 | 古代 | V | N- 60°・W | - | 0.59 | - | 0.35 | 0.15 | 3.92 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SD354 | | | | |
| 30・77 | 101 | 1 | SD1524 | 15G-7E22~24 | 古代 | V | N- 82°・W | - | 0.53 | - | 0.36 | 0.11 | 4.02 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK1541 | | | | |
| 30・77 | 99 | 1 | SD1543 | 15G-7E11 | - | V | N- 50°・W | - | 0.64 | - | 0.42 | 0.19 | 3.85 | - | 台形状 | 3 | ○ | <SE385・1517 | | | | |
| 30・77 | 101 | 1 | SD1559 | 15G-6E21・22 | - | V | N- 68°・W | 0.98 | 0.30 | 0.95 | 0.18 | 0.15 | 3.92 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SE375 | | | | |
| 30・37・56 | 43・45・86 | 1 | SD1562 | 15G-6E9・10, 6F6・7・11・12 | 中世 | V | N- 78°・W | - | 0.38 | - | 0.14 | 0.25 | 3.78 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SK157・256 (SB4)・1660, SD117 | | | | |
| 30・77 | 101 | 1 | SD1604 | 15G-6D21・22, 7D1・2 | 中世 | V | N- 32°・W | - | 0.80 | - | 0.25 | 0.35 | 3.69 | - | 半円状 | 4 | ○ | <SE1602 | | | | |
| 30・51 | 36 | 1 | SD1627 | 15G-6D9・10・14・15 | 中世 | V | N- 76°・W | 1.50 | 0.58 | 1.28 | 0.37 | 0.37 | 3.74 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SE1616 | | | | |
| 30・32・77 | 101 | 1 | SD1630 | 15G-5E25, 6E5 | 古代 | V | N- 20°・E | - | 0.42 | - | 0.30 | 0.13 | 4.00 | - | 半円状 | 2 | ○ | | | | | |
| 30・77 | 102 | 1 | SD1646 | 15G-6D9・13・14 | - | V | N- 23°・E | 2.38 | 0.20 | 2.31 | 0.90 | 0.05 | 4.06 | - | 半円状 | 1 | ○ | | | | | |
| 30・65・77 | 67・102 | 1 | SD1673 | 15G-6D3・4・8~10 | 中世 | V | N- 74°・W | - | 0.84 | - | 0.33 | 0.34 | 3.79 | - | 台形状 | 3 | ○ | >SD1714 <SE1617, SK1670 | | | | |
| 28・77 | 102 | 1 | SD1687 | 15G-5E13 | - | V | N- 70°・E | - | 0.32 | - | 0.22 | 0.12 | 4.00 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SK1649 | | | | |
| 28・77 | 79・80 | 1 | SD1689 | 15G-5D13・14・18・19 | 古代 | V | N- 43°・W | - | 0.83 | - | 0.46 | 0.40 | 3.70 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SX109 | | | | |
| 28・36・77 | 102 | 1 | SD1694 | 15G-4D25, 4E21, 5E1・2 | 古代 | V | N- 50°・W | 4.03 | 0.68 | - | 0.34 | 0.12 | 4.00 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 28・30・65・77 | 68・103 | 1 | SD1714 | 15G-6D3・4 | 古代 | V | N- 35°・E | - | 0.44 | - | 0.28 | 0.13 | 3.98 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SK1715, SD1117・1673 | | | | |
| 31・77 | 97 | 1 | SD1729 | 15G-8C9・14・15・20, 8D16・21・22, 9D2 | 古代 | V | N- 52°・W | 0.29 | - | 0.18 | - | 0.06 | 4.06 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK550・993・1114, SX564, SD539, P1303 (SB9) =SD1072・2019・2022 | | | | |
| 32・77 | 69 | 1 | SD1736 | 15G-5F21・22 | 古代 | V | N- 54°・W | - | 0.37 | - | 0.27 | 0.10 | 4.00 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK1732 | | | | |
| 30・77 | 103 | 1 | SD1737 | 15G-5F21・22, 6F2・3・8 | 中世 | V | N- 50°・W | - | 1.20 | - | 0.81 | 0.42 | 3.77 | - | 台形状 | 3 | ○ | >SD1952 | 259 | 2 | 49 | |
| 32・53・66・78 | 38・69・103 | 1 | SD1747 | 15G-5F18・22~24 | 中世 | V | N- 68°・W | - | 0.78 | - | 0.54 | 0.66 | 3.41 | - | 台形状 | 5 | ○ | >SK1740, SD1952 <SE1754 | | 1 | 15 | |
| 32・78 | 104 | 1 | SD1771 | 15G-5F4・5, 5G1 | 古代 | V | N- 67°・W | - | 0.40 | - | 0.28 | 0.30 | 3.78 | - | 台形状 | 2 | ○ | =SD1812 | | | | |
| 32・78 | 104 | 1 | SD1772 | 15G-4F25, 5F5, 5G1 | - | V | N- 60°・W | - | 0.29 | - | 0.66 | 0.08 | 4.01 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SK1773 | | | | |
| 33・78 | 104 | 1 | SD1777 | 15G-4G11・12・17・18 | 古代 | V | N- 62°・W | - | 0.46 | - | 0.21 | 0.09 | 3.96 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SK1961 <SE1774, SK1916 | | | | |
| 33・78 | 104 | 1 | SD1778 | 15G-3G22・23, 4G2・7・12 | 古代 | V | N- 16°・E | - | 0.51 | - | 0.31 | 0.15 | 3.94 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SD1779 =SD2006 | 192 | | | |
| 32・33・69・73・78 | 78・105 | 1 | SD1779 | 15G-3F19・20・25, 3G16・21~23, 4G3 | 古代 | V | N- 66°・W | - | 0.65 | - | 0.32 | 0.26 | 3.86 | - | 台形状 | 1 | ○ | >SE1780, SK1996, SX2017, SD1778 =SK1782 | 192 | 4 | 46 | |
| 33・73・78 | 105 | 1 | SD1781 | 15G-3E20, 3G16~19・22~25, 3H21 | 古代 | V | N- 86°・W | - | 0.60 | - | 0.27 | 0.09 | 3.96 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SX2017 =SD2006 | | | | |
| 32・78 | 105・106 | 1 | SD1812 | 15G-5F4・8・9・13・14 | 中世 | V | N- 38°・E | - | 0.64 | - | 0.23 | 0.38 | 3.71 | - | 台形状 | 3 | ○ | <SD1847 =SD1771 | 192 | 5 | 139 | |
| 32・67・78 | 72・105 | 1 | SD1836 | 15G-4E14・15・19・24, 5E3・4・8 | 中世 | V | N- 17°・E | - | 0.60 | - | 0.41 | 0.12 | 4.13 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SD1902 <SK1765・1819・1881 =SK1834 | | | | |
| 32・78 | 76 | 1 | SD1837 | 15G-5F13・18 | 古代 | V | N- 31°・E | - | 0.33 | - | 0.16 | 0.06 | 4.05 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SE1754, SD1935 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 |
|-------------|---------------|---|---------|--|------|-----|---------|--------|------|----|------|------|----------|-----|-----|----|-------|---------------------------------|---------|--------|--------|-----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 32・68・78 | 75・76・105・106 | 1 | SD1847 | 15G-5F8・12~15・17・18 | 中世 | V | N-73°・W | - | 0.83 | - | 0.24 | 0.61 | 3.49 | - | 台形状 | 5 | ○ | >SK1934, SD1812・1935 <SE1754 | 192 | 2 | 15 | |
| 32・78 | 106 | 1 | SD1869 | 15G-4E24・25 | - | V | N-67°・W | - | 0.45 | - | 0.25 | 0.37 | 3.88 | - | 台形状 | 1 | ○ | <P1790 (SB2) | | | | |
| 32・78 | 106 | 1 | SD1902 | 15G-4E23~25, 5E4・5 | 古代 | V | N-70°・W | - | 0.42 | - | 0.20 | 0.14 | 4.10 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SK1760, SD1836 | 192 | | | |
| 32・78 | 106 | 1 | SD1935 | 15G-5F13・14・18・19 | 古代 | V | N-60°・W | - | 0.51 | - | 0.27 | 0.05 | 4.03 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD1837 <SX1805, SD1847 | | | | |
| 33・78 | 107 | 1 | SD1950 | 15G-3G2・3・7~10・13~15, 3H11・16 | 中世 | V | N-66°・W | - | 2.05 | - | 0.47 | 0.50 | 3.45 | - | 台形状 | 3 | ○ | | | 5 | 210 | |
| 32・79 | 107 | 1 | SD1952 | 15G-5F22・23, 6F2・3 | 古代 | V | N-11°・E | - | 1.02 | - | 0.38 | 0.29 | 3.80 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SD1737・1747 | | | | |
| 34・79 | 107 | 1 | SD1962 | 15G-2G17・22 | - | V | N-57°・E | - | 0.19 | - | 0.09 | 0.21 | 3.85 | - | 台形状 | - | - | | | | | |
| 34・79 | 78 | 1 | SD1963 | 15G-2G12・17 | 古代 | V | N-21°・E | - | 0.73 | - | 0.58 | 0.10 | 3.98 | - | 皿状 | - | ○ | | | | | |
| 34・79 | 107 | 1 | SD1967 | 15G-2F5・10, 2G1・6~8・12~14 | 中世 | V | N-61°・W | - | 1.25 | - | 0.88 | 0.14 | 3.92 | - | 皿状 | 1 | ○ | <P2217 (SB1)・2229 (SB1) | | | | |
| 35 | 107 | 1 | SD1968 | 15G-2G14・15, 2H11・16・17 | 古代 | V | N-66°・W | - | 0.75 | - | 0.63 | - | - | - | - | - | - | | | | | |
| 34・35・79 | 107 | 1 | SD1969 | 15G-1G21, 2G1~3・7~10・15, 2H11・12・17 | 古代 | V | N-65°・W | - | 0.54 | - | 0.39 | 0.23 | 3.80 | - | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 34・79 | 107 | 1 | SD1970 | 15G-1G21・22, 2G1~3・8・9 | 古代 | V | N-60°・W | - | 0.56 | - | 0.37 | 0.09 | 3.92 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 34・79 | 107 | 1 | SD1971 | 15G-1G16・17・21~24, 2G3~5 | 中世 | V | N-64°・W | - | 1.26 | - | 1.07 | 0.19 | 3.82 | - | 台形状 | 1 | ○ | <P2099 (SB1)・2104 (SB1) | | 1 | 36 | |
| 34・79 | 107 | 1 | SD1973 | 15G-1G12・16~19・23~25 | 中世 | V | N-64°・W | - | 0.98 | - | 0.76 | 0.12 | 3.88 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 34・79 | 107 | 1 | SD1974 | 15G-1G12・13・17~20 | 古代 | V | N-66°・W | - | 0.60 | - | 0.37 | 0.09 | 3.94 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | 1 | 12 | |
| 34・79 | 107・108 | 1 | SD1975 | 15G-1G2・3・7 | 古代 | V | - | - | - | - | 0.06 | 3.95 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | | | | |
| 34・79 | 108 | 1 | SD1978 | 15G-1F13・14 | 古代 | V | N-50°・W | - | 0.62 | - | 0.32 | 0.32 | 3.69 | - | 半円状 | 2 | ○ | | | 192 | | |
| 32・79 | 108 | 1 | SD1985 | 15G-5F2 | 古代 | V | N-65°・W | - | 0.48 | - | 0.21 | 0.08 | 4.03 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | 192 | | |
| 33・78 | 107 | 1 | SD1994 | 15G-3G3・4・8~10, 3H6・11 | 中世 | V | N-64°・W | - | 0.67 | - | 0.27 | 0.70 | 3.93 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 33 | 105 | 1 | SD2006 | 15G-3G22 | - | V | N-74°・E | - | 0.17 | - | 0.09 | - | - | - | - | - | - | <SK1782 >SX2017 =SD1778・1781 | | | | |
| 35・79 | 108 | 1 | SD2008 | 15G-1H17・18・22・23 | 古代 | V | N-39°・W | - | 0.29 | - | 0.17 | 0.08 | 3.95 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 35・79 | 108・109 | 1 | SD2015 | 14G-10H6・7・12・13 | - | V | N-61°・W | - | 0.85 | - | 0.55 | 0.34 | 3.53 | - | 台形状 | 2 | - | | | | | |
| 31・79 | 109 | 1 | SD2019 | 15G-8D16・21 | - | V | N-19°・W | - | 0.32 | - | 0.17 | 0.07 | 4.03 | - | 皿状 | - | - | =SD1729 | | | | |
| 31・79 | 109 | 1 | SD2022 | 15G-8D21, 9C5・10・15・20, 9D1・6 | 古代 | V | N-16°・E | - | 0.48 | - | 0.30 | 0.08 | 4.06 | - | 皿状 | 1 | ○ | <P1104 (SB8) =SD1072・1729 | | | | |
| 29・31・58・79 | 109 | 1 | 河82 | 15G-7A23, 8A2~4・6~20・22~25, 8B21, 9A3~5・8~10・14・15・20, 9B1・6・7・11・12・16~18・21~23, 10B2~4・7~10・13~15・19・20・25, 10C16・21, 16G-1B5, 1C1・2・6・7 | 中世以降 | III | N-28°・W | - | - | - | - | 0.69 | 3.35 | - | 皿状 | 7 | ○ | <SK505 | | | | |
| 28 | | 1 | Pit121 | 15G-5D23・24 | 古代 | V | N-43°・W | 0.51 | 0.30 | - | - | - | - | 長方形 | - | - | ○ | | | | | |
| 28・80 | 110 | 1 | Pit140 | 15G-5D15 | 古代 | V | N-69°・E | 0.40 | 0.38 | - | - | 0.58 | 3.52 | 方形 | 箱状 | - | ○ | | | | | 柱根 |
| 30 | | 1 | Pit176 | 15G-6E8・13・14 | 古墳 | V | N-6°・E | 0.40 | 0.35 | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | | | |
| 30 | | 1 | Pit277 | 15G-6F17 | - | V | N-5°・E | 0.22 | 0.20 | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | | | |
| 30・80 | 110 | 1 | Pit595 | 15G-7D22 | 古代 | V | N-8°・W | 0.50 | 0.40 | - | - | 0.58 | 3.52 | 楕円形 | 箱状 | - | ○ | | | | | 柱根 |
| 31・80 | 110 | 1 | Pit732 | 15G-8C20, 8D16 | 古代 | V | N-80°・W | 0.80 | 0.51 | - | - | 0.57 | 3.51 | 楕円形 | 台形状 | - | ○ | | | | | 柱根 |
| 31 | | 1 | Pit735 | 15G-8D11・16 | 中世 | V | N-59°・W | 0.58 | 0.49 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | | | 192 |
| 31 | 110 | 1 | Pit742 | 15G-9C4 | 古代 | V | N-26°・W | 0.48 | 0.40 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | | | 274 |
| 31 | | 1 | Pit747 | 15G-9B9 | 古代 | V | N-88°・W | 0.22 | 0.19 | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | | | 192 |
| 30 | | 1 | Pit802 | 15G-6B25, 7B5 | 古代 | V | N-12°・W | 0.33 | 0.28 | - | - | - | - | 不整形 | - | - | ○ | | | | | 193 |
| 31 | | 1 | Pit866 | 15G-9B25, 9C21 | 古代 | V | N-75°・E | 0.51 | 0.29 | - | - | - | - | 不整形 | - | - | ○ | | | | | 193 |
| 31 | | 1 | Pit882 | 15G-8C24 | 中世 | V | N-10°・E | 0.38 | 0.30 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | | | 193 |
| 31 | | 1 | Pit901 | 15G-9C7 | 古代 | V | N-9°・W | 0.50 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | | | 193 |
| 31 | | 1 | Pit933 | 15G-9C4・9 | 古代 | V | N-32°・E | 0.40 | 0.38 | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | | | 193 |
| 30 | | 1 | Pit970 | 15G-7D16 | 古代 | V | N-30°・W | 0.45 | 0.36 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | | | 193 |
| 30・80 | 111 | 1 | Pit997 | 15G-8C5, 8D1 | 古代 | V | N-73°・E | 0.48 | 0.40 | - | - | 0.67 | 3.44 | 円形 | 箱状 | - | ○ | | | | | 274 |
| 30・80 | | 1 | Pit998 | 15G-8C5, 8D1 | 古代 | V | N-49°・W | - | - | - | - | 0.37 | 3.73 | - | 箱状 | - | ○ | | | | | |
| 31 | | 1 | Pit1043 | 15G-8D18 | - | V | N-77°・E | 0.40 | 0.35 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | | | 260 |
| 31 | | 1 | Pit1071 | 15G-8C24・25 | 中世 | V | N-17°・E | 0.60 | 0.52 | - | - | - | - | 不整形 | - | - | ○ | | | | | 193 |
| 31・80 | 111 | 1 | Pit1086 | 15G-8D12 | - | V | N-33°・E | 0.32 | 0.21 | - | - | 0.58 | 3.51 | 円形 | 箱状 | - | ○ | | | | | 274 |
| 31・80 | | 1 | Pit1087 | 15G-8D12 | 古代 | V | N-73°・W | 0.60 | 0.38 | - | - | 0.28 | 2.91 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | |
| 31・80 | | 1 | Pit1088 | 15G-8D12 | 中世 | V | N-30°・W | 0.41 | 0.40 | - | - | 0.51 | 3.62 | 円形 | 箱状 | - | ○ | | | | | |
| 31・80 | | 1 | Pit1091 | 15G-8D12 | 古代 | V | N-52°・W | 0.40 | 0.39 | - | - | 0.30 | 2.89 | 円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | |
| 30 | 28・111 | 1 | Pit1106 | 15G-8D8 | - | V | N-85°・W | 0.32 | 0.19 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | | | 275 |
| 30 | | 1 | Pit1118 | 15G-7D18 | 古代 | V | N-49°・E | 0.18 | 0.13 | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | | | 193 |
| 30・80 | | 1 | Pit1129 | 15G-7D23・24 | 古代 | V | N-62°・W | 0.52 | 0.38 | - | - | 0.48 | 3.62 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | |
| 30・80 | 111 | 1 | Pit1131 | 15G-8D8・9 | - | V | N-70°・E | 0.45 | 0.39 | - | - | 0.60 | 3.50 | 円形 | 箱状 | - | ○ | | | | | 275 |
| 30・80 | 112 | 1 | Pit1171 | 15G-7D23・24 | - | V | N-50°・W | - | - | - | - | 0.55 | 3.54 | 楕円形 | 箱状 | - | ○ | | | | | 275 |
| 31 | | 1 | Pit1230 | 15G-10D16 | 古代 | V | N-46°・E | 0.32 | 0.29 | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | | | 193 |
| 31 | | 1 | Pit1294 | 15G-9D3 | 古代 | V | N-39°・E | 0.55 | 0.42 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | | | 193 |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 |
|----------|---------|---|---------|--------------------------|----|-----|---------|--------|--------|--------|--------|------|----------|-----|-----|----|-------|-------------------------------|---------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 31・80 | 112 | 1 | Pit1295 | 15G-9D4 | 古代 | V | N-46°・W | 0.59 | 0.40 | — | — | 0.80 | 3.37 | 楕円形 | 半円状 | — | ○ | 275 | | | 柱根 | |
| 30・80 | | 1 | Pit1425 | 15G-7E16 | 古代 | V | N-40°・W | 0.47 | 0.32 | — | — | 0.41 | 3.70 | 楕円形 | 箱状 | — | ○ | | | | | |
| 30・80 | 112 | 1 | Pit1451 | 15G-7E16 | — | V | N-8°・E | 0.50 | 0.38 | 0.20 | 0.16 | 0.60 | 3.50 | 楕円形 | 箱状 | — | ○ | 275 | | | 柱根 | |
| 30 | | 1 | Pit1457 | 15G-7E17・18 | 中世 | V | N-56°・W | 0.20 | 0.19 | — | — | — | — | 円形 | — | — | ○ | 260 | | | | |
| 30・80 | 112 | 1 | Pit1471 | 15G-7D15 | 古代 | V | N-44°・W | 0.39 | 0.36 | — | — | 0.52 | 3.51 | 円形 | 台形状 | — | ○ | 275 | | | 柱根 | |
| 30 | | 1 | Pit1475 | 15G-7E12 | 古代 | V | N-31°・W | 0.40 | 0.38 | — | — | — | — | 方形 | — | — | ○ | 260 | | | | |
| 30 | | 1 | Pit1494 | 15G-7D20 | 古代 | V | N-28°・W | — | — | — | — | — | — | 楕円形 | — | — | ○ | 193 | | | | |
| 30 | | 1 | Pit1499 | 15G-7D15 | 古代 | V | N-12°・E | 0.24 | 0.15 | — | — | — | — | 方形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 30 | | 1 | Pit1528 | 15G-7D8・9 | 古代 | V | N-37°・E | 0.45 | 0.36 | — | — | — | — | 楕円形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 30・48 | 113 | 1 | Pit1532 | 15G-7E11 | — | V | N-24°・W | 0.20 | 0.18 | 0.14 | 0.12 | 0.62 | 3.34 | 円形 | 箱状 | — | ○ | 276 | | | 柱根 | |
| 30 | | 1 | Pit1544 | 15G-7D9 | 古代 | V | N-50°・E | 0.45 | — | — | — | — | — | 楕円形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 30 | | 1 | Pit1595 | 15G-6E3 | 古代 | V | N-65°・W | 0.34 | 0.29 | — | — | — | — | 楕円形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 30 | | 1 | Pit1597 | 15G-5E24 | 古代 | V | N-57°・E | 0.49 | — | — | — | — | — | 不整形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 28 | | 1 | Pit1641 | 15G-5E16 | 古代 | V | N-65°・W | 0.68 | 0.54 | — | — | — | — | 方形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 28・80 | | 1 | Pit1643 | 15G-5E17・18 | — | V | N-35°・W | 0.41 | 0.39 | — | — | 0.33 | 3.77 | 楕円形 | 半円状 | — | ○ | | | | | |
| 28・80 | 113 | 1 | Pit1650 | 15G-5E17・18 | — | V | N-79°・E | 0.45 | 0.40 | — | — | 0.58 | 3.52 | 円形 | 台形状 | — | ○ | 276 | | | 柱根 | |
| 28 | | 1 | Pit1653 | 15G-5D15 | 中世 | V | N-85°・E | 0.29 | 0.21 | — | — | — | — | 方形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 30 | | 1 | Pit1659 | 15G-6E3 | 古代 | V | N-89°・W | 0.35 | 0.32 | — | — | — | — | 円形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 28 | | 1 | Pit1662 | 15G-5E17 | 古墳 | V | N-37°・W | 0.34 | 0.30 | — | — | — | — | 楕円形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 30 | | 1 | Pit1685 | 15G-6E8・9 | — | V | N-30°・W | 0.39 | 0.32 | — | — | — | — | 方形 | — | — | ○ | 260 | | | | |
| 30・80 | 113 | 1 | Pit1693 | 15G-6E2 | — | V | N-69°・W | 0.38 | 0.35 | — | — | 0.34 | 3.53 | 円形 | 台形状 | — | ○ | 276 | | | 柱根 | |
| 30 | 113 | 1 | Pit1704 | 15G-6D5, 6E1 | — | V | N-66°・E | 0.25 | 0.22 | — | — | — | — | 円形 | — | — | ○ | 276 | | | 柱根 | |
| 30 | | 1 | Pit1712 | 15G-6D4 | 古代 | V | N-13°・W | 0.36 | 0.30 | — | — | — | — | 楕円形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 31 | | 1 | Pit1720 | 15G-10C23 | 古代 | V | N-50°・E | 0.32 | 0.30 | — | — | — | — | 円形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 32 | | 1 | Pit1776 | 15G-4F4 | 中世 | V | N-33°・W | 0.51 | 0.42 | — | — | — | — | 楕円形 | — | — | ○ | 260 | | | | |
| 32 | | 1 | Pit1790 | 15G-4E25 | 古代 | V | N-44°・W | 0.37 | 0.30 | — | — | — | — | 方形 | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 32 | | 1 | Pit1814 | 15G-5F4 | — | V | N-59°・E | 0.40 | 0.31 | — | — | — | — | 楕円形 | — | — | ○ | 282 | | | | |
| 32 | | 1 | Pit1864 | 15G-4F17・18 | 中世 | V | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ | 194 | | | | |
| 32 | | 1 | Pit1936 | 15G-4E18・19 | 古代 | V | N-55°・E | 0.20 | 0.17 | — | — | — | — | 円形 | — | — | ○ | 195 | | | | |
| 32 | | 1 | Pit1948 | 15G-4E14 | 中世 | V | N-10°・E | 0.45 | 0.30 | — | — | — | — | 方形 | — | — | ○ | 195 | | | | |
| 32 | | 1 | Pit1981 | 15G-3G21 | 古代 | V | N-16°・W | 0.29 | 0.21 | — | — | — | — | 楕円形 | — | — | ○ | 195 | | | | |
| 91・93 | 116 | 2 | SE119 | 13B-9I24 | 古代 | V | N-40°・W | (0.76) | 0.71 | 0.45 | 0.37 | 0.63 | 2.63 | 円形 | 台形状 | 4 | ○ | 203 | | | | |
| 89・93 | 117 | 2 | SK8 | 13C-5E3・4・8・9 | 古代 | V | N-40°・W | 1.09 | 0.65 | 0.89 | 0.55 | 0.13 | 2.74 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 89・93 | 117 | 2 | SK15 | 13C-4E22, 5E2 | — | V | N-0°・S | 1.11 | 0.84 | 0.91 | 0.58 | 0.44 | 2.41 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | | | | | |
| 89・93 | 117 | 2 | SK17 | 13C-5E1 | — | V | N-56°・E | 1.15 | 1.00 | 1.02 | 0.96 | 0.30 | 2.53 | 方形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 90・93 | 117 | 2 | SK24 | 13C-8A15, 8B11・12 | 古代 | V | N-37°・W | (0.52) | — | 0.34 | 0.30 | 0.17 | 3.01 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | 203 | | | | |
| 90・93 | 118 | 2 | SK38 | 13C-8A5・10, 8B1・6 | 古代 | V | N-60°・E | 0.53 | 0.32 | 0.31 | 0.18 | 0.36 | 2.81 | 長方形 | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 90・93 | 118 | 2 | SK39 | 13C-8A5, 8B1 | 古代 | V | N-34°・W | 0.55 | 0.24 | 0.32 | 0.23 | 0.35 | 3.18 | 楕円形 | 箱状 | 1 | ○ | <SD28 | | | | |
| 90・93 | 118 | 2 | SK40 | 13C-8A10 | 古代 | V | N-36°・W | (0.52) | — | 0.34 | 0.31 | 0.53 | 2.93 | 方形 | 箱状 | 1 | ○ | <SD30 | 203 | | | |
| 90・94 | 118 | 2 | SK41 | 13C-7B21, 8B1 | 古代 | V | N-37°・W | 0.70 | — | 0.60 | — | 0.16 | 3.18 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD26 | 203 | | | |
| 90・94 | 118・119 | 2 | SK43 | 13C-8A6 | 古代 | V | N-14°・W | 0.62 | 0.59 | 0.43 | 0.36 | 0.14 | 3.09 | 方形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK49 | | | | |
| 90・94 | 119 | 2 | SK44 | 13C-8B1 | 古代 | V | N-77°・E | 0.83 | — | 0.70 | — | 0.17 | 3.02 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD26 | | | | |
| 90・94 | 119 | 2 | SK45 | 13C-8A6・11 | 古代 | V | N-25°・W | 0.85 | — | 0.67 | — | 0.15 | 3.07 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD29 | 203 | | | |
| 90・94 | 120 | 2 | SK46 | 13C-8A12 | 古代 | V | N-54°・E | 0.66 | 0.51 | 0.33 | 0.32 | 0.39 | 2.78 | 円形 | 台形状 | — | ○ | >SD33 | 203 | | | |
| 90・94 | 118・119 | 2 | SK49 | 13C-8A6・7 | 古代 | V | N-33°・W | 0.75 | 0.60 | 0.56 | 0.46 | 0.15 | 3.08 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK43 | | | | |
| 90・94 | 120 | 2 | SK53 | 13C-8A9 | 古代 | V | N-55°・W | — | — | — | — | 0.15 | 3.03 | — | 皿状 | 2 | ○ | <SK55, SD54 >SK182・186, SD187 | | | | |
| 90・94 | 120 | 2 | SK55 | 13C-8A8・9・14 | 古代 | V | N-45°・W | — | — | — | — | 0.18 | 3.03 | — | 皿状 | 2 | ○ | <SD54 >SK53・57, SD181 | 203 | | | |
| 90・94 | 120 | 2 | SK57 | 13C-8A8・9・13・14 | 古代 | V | N-26°・W | — | — | — | — | 0.15 | 3.16 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | <SK55・58 >SD152 | | | | |
| 90・94 | 120 | 2 | SK58 | 13C-8A8・9・13・14 | 古代 | V | N-52°・E | 0.64 | 0.31 | (0.51) | (0.27) | 0.18 | 3.12 | 楕円形 | 皿状 | 3 | ○ | >SK57 | | | | |
| 90・94・96 | 120 | 2 | SK83 | 13C-8A12 | 古代 | V | N-67°・W | 0.67 | 0.60 | 0.53 | 0.36 | 0.20 | 3.02 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD33 | 203 | | | |
| 90・94 | 120 | 2 | SK104 | 13C-8A8 | 古代 | V | N-33°・W | — | 0.60 | — | 0.47 | 0.14 | 3.02 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SK180, SD152 | 203 | | | |
| 90・91・94 | 121 | 2 | SK106 | 13B-9J7・12 | — | V | N-39°・W | — | (0.69) | — | (0.52) | 0.09 | 3.16 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 90・91・94 | 121 | 2 | SK114 | 13B-9J11 | 古代 | V | N-50°・W | 0.56 | 0.40 | 0.32 | 0.22 | 0.11 | 3.15 | 長方形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 91・95 | 121 | 2 | SK121 | 13B-10I10 | 古代 | V | N-14°・E | (0.54) | 0.30 | (0.39) | 0.28 | 0.34 | 2.88 | 楕円形 | 箱状 | 3 | ○ | | | | | |
| 91・95 | 121 | 2 | SK127 | 13B-10I6・11 | 古代 | V | N-51°・E | — | 0.98 | — | 0.77 | 0.40 | 2.85 | 楕円形 | 半円状 | 4 | ○ | | | | | |
| 91・95 | 121 | 2 | SK137 | 13B-10H19 | 古代 | V | N-52°・E | 1.18 | — | 0.73 | — | 0.32 | 2.88 | 楕円形 | 皿状 | 3 | ○ | >SD156 | 203 | | | |
| 92・95 | 121 | 2 | SK172 | 14B-1F25, 1G21, 2F5, 2G1 | 古代 | V | N-16°・W | 0.60 | 0.33 | 0.43 | 0.23 | 0.17 | 2.90 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 92・95 | 122 | 2 | SK173 | 14B-2E25 | 古代 | V | N-74°・W | — | 0.88 | — | 0.67 | 0.14 | 2.89 | 不整形 | 台形状 | 2 | ○ | >SK174 | 203 | | | |
| 92・95 | 122 | 2 | SK174 | 14B-2E24・25 | — | V | N-52°・W | — | 1.03 | — | 0.89 | 0.11 | 2.93 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK173 | | | | |
| 90・95 | 122 | 2 | SK182 | 13C-8A4・9 | 古墳 | V | N-40°・W | 0.73 | 0.49 | 0.13 | 0.09 | 0.31 | 2.88 | 楕円形 | 台形状 | — | ○ | <SK53 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 |
|----------|-------------|---|--------|---------------------------------------|----|-----|--------|--------|--------|------|--------|------|----------|-----|-----|----|-------|-----------------------|---------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 92・95 | 122 | 2 | SK184 | 14B-1G18 | 古代 | V | N-53°E | 0.96 | — | 0.77 | — | 0.18 | 3.00 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 90 | 120 | 2 | SK186 | 13C-8A9 | 古墳 | V | N-33°W | 0.55 | 0.47 | 0.25 | 0.20 | — | — | 楕円形 | — | — | ○ | <SK53、SD54 | | | | |
| 90・94 | 120 | 2 | SK180 | 13C-8A8・9 | 古代 | V | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 1 | ○ | <SK104 | | | | |
| 89・95 | 122 | 2 | SD20 | 13C-7B14・15 | 古代 | V | N-67°W | — | 0.38 | — | 0.26 | 0.15 | 3.08 | — | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 90・94・95 | 119 | 2 | SD26 | 13C-8B1・6 | 古代 | V | N-10°W | — | 0.58 | — | 0.45 | 0.20 | 3.11 | — | 台形状 | 2 | ○ | >SK41、SD27・28 <SK44 | 203・204 | | | |
| 90・95 | 119 | 2 | SD27 | 13C-8B6・7 | 古代 | V | N-87°W | — | 0.30 | — | 0.23 | 0.10 | 3.13 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SD26 | | | | |
| 90・93・94 | 118・119 | 2 | SD28 | 13C-7A25, 7B21, 8A5, 8B1 | 古代 | V | N-31°W | — | 0.43 | — | 0.31 | 0.11 | 3.05 | — | 皿状 | 1 | ○ | >SK39 <SD26 | 204 | | | |
| 90・94・95 | 119 | 2 | SD29 | 13B-8J10・15, 13C-8A1・6・11・12・16・17・21 | 古代 | V | N-30°W | — | 1.92 | — | 0.58 | 0.40 | 2.84 | — | 半円状 | 4 | ○ | >SK45、SD100 | 204 | | | |
| 90・93・96 | 118・122・123 | 2 | SD30 | 13C-8A5・10 | 古代 | V | N-30°W | — | 0.29 | — | 0.14 | 0.08 | 3.11 | — | 皿状 | 1 | ○ | >SK40 <SD31 | 204 | | | |
| 90・96 | 122・123 | 2 | SD31 | 13C-8A10, 8B6 | 古代 | V | N-37°E | — | 0.44 | — | 0.30 | 0.09 | 3.07 | — | 皿状 | 1 | ○ | >SD30 | | | | |
| 90・96 | 120 | 2 | SD32 | 13C-8A12・13 | 古代 | V | N-26°W | — | 0.45 | — | 0.22 | 0.29 | 2.92 | — | 台形状 | 3 | ○ | <SD33 | 204・256 | | | |
| 90・94 | 120 | 2 | SD33 | 13C-8A12・13・17・18 | 古代 | V | N-63°W | — | 0.73 | — | 0.54 | 0.21 | 3.10 | — | 台形状 | 2 | ○ | <SK46・83 >SD32 | 204・256 | | | |
| 90・94・96 | 120・123 | 2 | SD42 | 13C-8A8・13 | 古代 | V | N-34°W | — | 0.34 | — | 0.13 | 0.34 | 2.87 | — | 台形状 | 3 | ○ | >SD152 | 204・256 | | | |
| 90・94 | 120 | 2 | SD54 | 13C-8A8・9 | 古代 | V | N-58°W | — | 0.63 | — | 0.46 | 0.08 | 3.13 | — | 皿状 | 1 | ○ | >SK53・55・186 | 204 | | | |
| 90・91・96 | 123 | 2 | SD59 | 13B-9J6・11・12 | 古代 | V | N-44°W | — | 0.96 | — | 0.78 | 0.12 | 3.15 | — | 皿状 | 2 | ○ | >SD96 | 204 | | | |
| 91・96 | 123 | 2 | SD60 | 13B-9J20 | 古代 | V | N-51°W | — | 0.40 | — | 0.21 | 0.22 | 3.04 | — | 台形状 | 2 | ○ | <SD97 | 204 | | | |
| 90・91・96 | 123 | 2 | SD96 | 13B-9J12 | — | V | N-69°W | — | (0.40) | — | (0.31) | 0.08 | 3.19 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SD59 | | 7 | 242 | |
| 91・96 | 123 | 2 | SD97 | 13B-9J20, 9J16 | 古代 | V | N-73°W | — | 0.75 | — | 0.40 | 0.19 | 3.08 | — | 半円状 | 2 | ○ | >SD60 | | | | |
| 90・96 | 123・124 | 2 | SD99 | 13B-8J20・25, 13C-8A16・21 | 古代 | V | N-65°W | — | 0.31 | — | 0.21 | 0.14 | 3.22 | — | 皿状 | 1 | ○ | >SD100 | | | | |
| 90・96 | 124 | 2 | SD100 | 13C-8A16・21 | 古代 | V | N-18°E | — | 0.39 | — | 0.24 | 0.10 | 3.14 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SD29・99 | | | | |
| 91・96 | 124 | 2 | SD126 | 13B-10I6・7 | 古代 | V | N-56°W | — | 0.51 | — | 0.37 | 0.31 | 3.02 | — | 台形状 | 4 | ○ | | 205 | | | |
| 91・95・96 | 121・124 | 2 | SD128 | 13B-10H10, 10I6・11 | 古代 | V | N-36°W | — | 0.23 | — | 0.12 | 0.15 | 3.07 | — | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 91・96 | 124 | 2 | SD129 | 13B-10H15, 10H11 | 古代 | V | N-50°W | — | 0.35 | — | 0.21 | 0.12 | 3.02 | — | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 91・96 | 124・125 | 2 | SD130 | 13B-10H15 | 古代 | V | N-0°S | — | 0.20 | — | 0.07 | 0.07 | 3.08 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SD131 | | | | |
| 91・96 | 125 | 2 | SD131 | 13B-10H14・15・19・20 | 古代 | V | N-58°W | — | 0.71 | — | 0.58 | 0.19 | 3.06 | — | 皿状 | 2 | ○ | >SD130・156 | 205 | | | |
| 92・96 | 125 | 2 | SD141 | 14B-1G21・23, 2G1~3 | 古代 | V | N-60°W | — | 0.59 | — | 0.43 | 0.19 | 2.90 | — | 半円状 | 2 | ○ | <SD142 | | | | |
| 92・96 | 125 | 2 | SD142 | 14B-1G22・23, 2G2 | 古代 | V | N-37°E | — | 0.23 | — | 0.16 | 0.10 | 2.96 | — | 皿状 | 1 | ○ | >SD141 | | | | |
| 91・96 | 125・126 | 2 | SD143 | 13B-10H18・19・23 | 古代 | V | N-27°E | — | 0.19 | — | 0.13 | 0.10 | 3.10 | — | 台形状 | 1 | ○ | <SD144 | | | | |
| 91・96 | 125・126 | 2 | SD144 | 13B-10H18・23 | 古代 | V | N-13°E | — | 0.21 | — | 0.11 | 0.10 | 3.09 | — | 台形状 | 1 | ○ | >SD143 <SD162 | | | | |
| 92・97 | 126 | 2 | SD147 | 14B-2F9 | 古代 | V | N-45°W | — | 0.34 | — | 0.15 | 0.20 | 2.96 | — | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 92・97 | 126 | 2 | SD148 | 14B-2F4・9・10 | 古代 | V | N-50°W | — | 0.48 | — | 0.24 | 0.21 | 2.97 | — | 半円状 | 2 | ○ | | 205 | | | |
| 92・97 | 126 | 2 | SD149 | 14B-2F4・5・10 | 古代 | V | N-44°W | — | 0.32 | — | 0.21 | 0.28 | 2.94 | — | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 92・97 | 126・127 | 2 | SD150 | 14B-2F4・5 | 古代 | V | N-63°W | — | 0.40 | — | 0.19 | 0.16 | 3.00 | — | 台形状 | 3 | ○ | | 205 | | | |
| 92・97 | 127 | 2 | SD151 | 14B-1F25, 1G21, 2G1 | 古代 | V | N-60°W | — | 0.39 | — | 0.29 | 0.14 | 2.99 | — | 皿状 | 2 | ○ | >SD159 | | | | |
| 90・94 | 120 | 2 | SD152 | 13C-8A8 | 古代 | V | N-85°W | — | 0.45 | — | 0.27 | 0.09 | 3.11 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SK57・104, SD42 | | 1 | 2 | |
| 92・97 | 127 | 2 | SD153 | 14B-1F25, 1G21 | 古代 | V | N-60°W | — | 0.36 | — | 0.27 | 0.15 | 3.04 | — | 皿状 | 2 | ○ | >SD159 | | | | |
| 92・97 | 127 | 2 | SD154 | 14B-1G21 | 古代 | V | N-60°W | — | 0.20 | — | 0.12 | 0.13 | 3.01 | — | 台形状 | 2 | ○ | >SD159 | 205 | | | |
| 92・97 | 127・128 | 2 | SD155 | 14B-1G16・17・21・22 | 古代 | V | N-56°W | — | 0.54 | — | 0.29 | 0.28 | 2.99 | — | 皿状 | 2 | ○ | <SD159 | 205 | 1 | 11 | |
| 91・95・96 | 128 | 2 | SD156 | 13B-10H14・19 | 古代 | V | N-15°E | — | 0.30 | — | 0.20 | 0.18 | 3.03 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SK137, SD131 | | | | |
| 92・97 | 127・128 | 2 | SD158 | 14B-1G16・21・22 | 古代 | V | N-65°W | — | 0.21 | — | 0.07 | 0.17 | 2.61 | — | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 92・97 | 127・128 | 2 | SD159 | 14B-1F25, 1G21~23 | 古代 | V | N-88°W | — | 0.71 | — | 0.57 | 0.10 | 2.99 | — | 皿状 | 2 | ○ | >SD155 <SD151・153・154 | 205 | | | |
| 91・97 | 128 | 2 | SD160 | 13B-10H22, 14B-1H2 | 古代 | V | N-50°W | — | 0.61 | — | 0.45 | 0.22 | 3.00 | — | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 91・97 | 129 | 2 | SD162 | 13B-10H17・18・22・23 | 古代 | V | N-72°W | — | 0.34 | — | 0.14 | 0.15 | 3.04 | — | 半円状 | 1 | ○ | >SD144・163 | 205 | | | |
| 91・97 | 129 | 2 | SD163 | 13B-10H17・22 | — | V | N-9°E | — | 0.29 | — | 0.07 | 0.15 | 3.06 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SD162 | | | | |
| 91・97 | 129 | 2 | SD165 | 13B-10H21・22, 14B-1H1・2 | — | V | N-50°W | — | 0.50 | — | 0.43 | 0.18 | 3.02 | — | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 91・97 | 129 | 2 | SD166 | 14B-1H1 | 古代 | V | N-55°W | — | 0.34 | — | 0.17 | 0.26 | 2.93 | — | 台形状 | 2 | ○ | | 205 | | | |
| 92 | | 2 | SD170 | 14B-1G13・14 | 古代 | V | N-39°W | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | | | | |
| 92・97 | 128 | 2 | SD171 | 14B-1G23, 2G3・4 | 古代 | V | N-75°W | — | 0.28 | — | 0.21 | 0.09 | 2.95 | — | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 92・97 | 130 | 2 | SD178 | 14B-2F11・12・17 | 古代 | V | N-53°W | — | (0.36) | — | (0.23) | 0.20 | 2.97 | — | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 92 | | 2 | SD179 | 14B-2G2・3・7・8 | 古代 | V | N-75°W | — | (0.36) | — | (0.26) | — | — | — | — | — | — | | | | | |
| 90 | 120 | 2 | SD181 | 13C-8A8・9 | 古代 | V | N-35°W | — | 0.26 | — | 0.14 | — | — | — | — | — | ○ | <SK55 | 205 | | | |
| 90 | 120 | 2 | SD187 | 13C-8A4・9 | — | V | N-35°W | — | 0.27 | — | 0.10 | — | — | — | — | — | — | <SK53 | | | | |
| 91 | | 2 | Pit108 | 13B-9I15・20 | 古代 | V | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | 205 | | | |
| 91 | | 2 | Pit109 | 13B-9I19・20 | 古代 | V | N-75°E | 0.43 | 0.41 | — | — | — | — | — | — | — | — | | 205 | | | |
| 91 | | 2 | Pit113 | 13B-9I25 | 古代 | V | N-66°E | 0.48 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | 205 | | | |
| 91 | | 2 | Pit167 | 13B-10H19 | 古代 | V | N-39°W | 0.18 | 0.11 | — | — | — | — | — | — | — | — | | 205 | | | |
| 101・103 | 133 | 3 | SK81 | 14D-1G23 | 古代 | V | N-0°S | 0.47 | 0.46 | 0.33 | 0.26 | 0.19 | 3.22 | 円形 | 半円状 | 2 | ○ | | | | | |
| 101・103 | 133 | 3 | SK84 | 14D-1G17 | 古代 | V | N-8°W | 0.65 | 0.31 | 0.53 | 0.19 | 0.08 | 3.31 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK131 | | | | |
| 101・103 | 133 | 3 | SK85 | 14D-1G12・13・17・18 | 古代 | V | N-84°E | 0.72 | 0.41 | 0.54 | 0.25 | 0.10 | 3.31 | 長方形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 |
|-------------|-------------|---|-------|---------------------------------|----|-----|---------|--------|------|--------|------|------|----------|-----|-----|----|-------|-----------------------|-------------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 101・103 | 133 | 3 | SK86 | 14D-1G13 | 古代 | V | N-39°-E | 0.65 | 0.48 | 0.37 | 0.34 | 0.18 | 3.21 | 長方形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK95、SD91 | | | | |
| 101・103 | 134 | 3 | SK87 | 14D-1G13・14 | 古代 | V | N-37°-W | 0.72 | 0.53 | 0.48 | 0.36 | 0.13 | 3.29 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK95 =SK133 | 209 | | | |
| 101・103 | 134 | 3 | SK90 | 14D-1G13・17~19・23 | 古代 | V | N-85°-W | 2.41 | 2.19 | 2.09 | 1.86 | 0.22 | 3.20 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SK95 <SK121・131、SD82 | 209・261 | | | |
| 101・103 | 134 | 3 | SK94 | 14D-1G13 | 古代 | V | N-78°-E | 0.86 | — | 0.74 | — | 0.12 | 3.30 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | 209 | | | |
| 101・103 | 134 | 3 | SK95 | 14D-1G13・18 | 古代 | V | N-56°-E | 0.83 | 0.68 | 0.40 | 0.28 | 0.10 | 3.29 | 長方形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK87 <SK86・90 | | | | |
| 101・103 | 134 | 3 | SK96 | 14D-1G19 | 古代 | V | N-20°-W | 0.53 | 0.50 | 0.35 | 0.22 | 0.23 | 3.18 | 円形 | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 101・103 | 135 | 3 | SK97 | 14D-1G15・19・20 | 古代 | V | N-36°-W | — | 0.53 | — | 0.48 | 0.17 | 3.23 | 長方形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 101・103 | 135 | 3 | SK98 | 14D-1G14・15 | 古代 | V | N-13°-W | 1.32 | 0.61 | 1.24 | 0.46 | 0.16 | 3.25 | 長方形 | 皿状 | 3 | ○ | | 210 | | | |
| 101・103 | 135 | 3 | SK99 | 14D-1G15 | 古代 | V | N-70°-E | 0.64 | 0.60 | 0.46 | — | 0.32 | 3.10 | 方形 | 半円状 | 2 | ○ | | 210 | | | |
| 101・103 | 135・136 | 3 | SK103 | 14D-1G9 | 古代 | V | N-76°-W | 0.70 | 0.37 | 0.59 | 0.26 | 0.08 | 3.35 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 101・103 | 136 | 3 | SK103 | 14D-1G9・10 | 古代 | V | N-68°-E | 0.29 | 0.45 | 0.63 | 0.33 | 0.13 | 3.27 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | 210 | | | |
| 101・103 | 136 | 3 | SK108 | 14D-1G5、1H1 | 古代 | V | N-72°-W | — | 0.42 | — | 0.28 | 0.12 | 3.28 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD106 | | | | |
| 101・104 | 137 | 3 | SK109 | 14D-1H7 | 古代 | V | N-36°-W | 1.17 | 0.85 | 0.92 | 0.69 | 0.12 | 3.27 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK141 | | | | |
| 100・101・104 | 137 | 3 | SK114 | 13D-10H19 | 古代 | V | N-60°-E | 1.17 | 1.04 | 0.81 | 0.66 | 0.15 | 3.40 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 100・106 | 140 | 3 | SK116 | 13D-8G1・6 | — | V | N-72°-E | — | — | — | — | 0.15 | 3.30 | — | 半円状 | 1 | ○ | <SD68 | | | | |
| 101・104 | 137 | 3 | SK119 | 14D-1F25 | 古代 | V | N-35°-W | (1.13) | — | (0.70) | — | 0.35 | 3.10 | 楕円形 | 半円状 | 3 | ○ | <SX142 | | | | |
| 101・103 | 134 | 3 | SK121 | 14D-1G18 | 古代 | V | N-55°-E | — | 0.54 | 0.22 | 0.19 | 0.59 | 2.83 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | >SK90、SD82 | | | | |
| 101・104 | 137 | 3 | SK126 | 14D-1G14 | 古代 | V | N-20°-W | 0.58 | 0.42 | 0.28 | 0.26 | 0.20 | 3.20 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD100 | | | | |
| 101・104 | 136 | 3 | SK127 | 14D-1G5・10 | 古代 | V | N-30°-W | 1.02 | — | 0.52 | — | 0.25 | 3.14 | 不整形 | 台形状 | 2 | ○ | <SD123 | | | | |
| 101・104 | 136 | 3 | SK129 | 14D-1G5・10 | 古代 | V | N-24°-W | 1.01 | — | 0.50 | — | 0.31 | 3.10 | 不整形 | 台形状 | 2 | ○ | <SD123 | | | | |
| 101・103・104 | 138 | 3 | SK131 | 14D-1G17 | 古代 | V | N-0°-S | 0.76 | 0.52 | 0.50 | 0.27 | 0.25 | 3.11 | 楕円形 | 箱状 | 3 | ○ | >SK90、SD82 <SK84 | 210 | | | |
| 101・104 | 138 | 3 | SK133 | 14D-1G13・14 | — | V | N-35°-W | — | 0.32 | 0.25 | — | 0.12 | 3.28 | 不整形 | 台形状 | 1 | ○ | =SK87 | | | | |
| 101・104 | 138 | 3 | SK137 | 14D-1G20、1H16 | 古代 | V | N-52°-E | 0.73 | — | 0.49 | — | 0.29 | 3.23 | 楕円形 | 半円状 | 1 | ○ | | | | | |
| 100・104 | 138 | 3 | SK138 | 14D-1I7・8 | 古代 | V | N-45°-E | 0.68 | 0.41 | 0.40 | 0.21 | 0.29 | 3.39 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | | | | | |
| 101・104 | 138 | 3 | SK139 | 14D-1G23・24 | 古代 | V | N-50°-E | (0.44) | — | (0.27) | — | 0.11 | 3.27 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | 210 | | | |
| 101・104 | 138 | 3 | SK140 | 14D-1G23 | 古代 | V | N-50°-E | — | — | — | 0.22 | 0.35 | 3.02 | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | |
| 101・104 | 138 | 3 | SK141 | 14D-1H7 | 古代 | V | N-50°-W | — | 0.38 | — | 0.24 | 0.19 | 3.32 | 不整形 | 半円状 | 1 | ○ | <SK109 | | | | |
| 100・105 | 139 | 3 | SX71 | 13D-8G12・16~18・22・23 | 古代 | V | N-39°-W | 3.75 | — | 3.55 | — | 0.17 | 3.21 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | 210・211・282 | 2 | 13 | |
| 100・105 | 139 | 3 | SX73 | 13D-9G4・5・10 | 古代 | V | N-40°-W | 3.44 | 3.21 | — | — | 0.15 | 3.24 | 不整形 | 台形状 | 2 | ○ | | 211 | 2 | 15 | |
| 101・105 | 136 | 3 | SX105 | 14D-1G10・15、1H1・6・11・12 | 古代 | V | N-27°-W | — | 2.33 | — | 2.04 | 0.28 | 3.21 | 不整形 | 半円状 | 3 | ○ | >SD106 <SD123 | 211~213 | 19 | 446 | |
| 100・105 | 139 | 3 | SX117 | 13D-8G23、9G3 | 古代 | V | N-40°-W | 1.80 | — | 1.58 | — | 0.10 | 3.22 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 100・105 | 139 | 3 | SX120 | 13D-9G3・4 | 古代 | V | N-37°-W | (1.24) | — | (1.08) | — | 0.19 | 3.17 | 不整形 | 台形状 | 2 | ○ | | 213 | | | |
| 101・104 | 137 | 3 | SX142 | 14D-1F20・25 | — | V | — | — | — | — | — | 0.20 | 3.27 | — | 皿状 | 1 | ○ | >SK119 <SD77 | | | | |
| 99・105 | 140 | 3 | SD54 | 13D-5D20、5E16・21 | 古代 | V | N-5°-E | — | 1.22 | — | 0.90 | 0.12 | 3.22 | — | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 100・106 | 140 | 3 | SD66 | 13D-7F18・19・23・24 | 古代 | IV1 | N-53°-E | — | 0.46 | — | 0.31 | 0.20 | 3.14 | — | 台形状 | 4 | ○ | | 213 | | | |
| 100・106 | 140 | 3 | SD67 | 13D-7F19・24・25 | 古代 | IV1 | N-55°-E | — | 0.76 | — | 0.48 | 0.57 | 2.85 | — | 台形状 | 4 | ○ | | | | | |
| 100・106 | 140・141 | 3 | SD68 | 13D-8F10、8G6 | 古代 | V | N-72°-E | — | 0.56 | — | 0.31 | 0.15 | 3.24 | — | 台形状 | 2 | ○ | >SK116 | 213 | | | |
| 100・106 | 140・141 | 3 | SD69 | 13D-8F10、8G6 | 古代 | IV | N-80°-E | — | 0.65 | — | 0.48 | 0.18 | 3.22 | — | 半円状 | 2 | ○ | | | 1 | 3 | |
| 100・106 | 141 | 3 | SD74 | 13D-9H16・17・21・22 | 古代 | V | N-61°-E | — | 1.65 | — | 0.53 | 0.46 | 3.01 | — | 台形状 | 5 | ○ | >SD113 | | | | |
| 101・104 | 137 | 3 | SD77 | 14D-1F20・25、1G16 | 古代 | V | N-80°-E | — | 1.05 | — | 0.90 | 0.32 | 3.18 | — | 台形状 | 2 | ○ | >SX142 | 214 | | | |
| 101・106 | 141 | 3 | SD78 | 14D-1G11・12・16・17・21・22、2G1・2・7 | 古代 | V | N-10°-W | — | 1.33 | — | 0.63 | 0.23 | 3.14 | — | 半円状 | 3 | ○ | | 214 | 2 | 14 | |
| 101・104・106 | 138・141・142 | 3 | SD80 | 14D-1G12・17・22・23、1G2・3 | 古代 | V | N-22°-W | — | 0.70 | — | 0.51 | 0.22 | 3.32 | — | 半円状 | 2 | ○ | >SD82 | 214 | 1 | 17 | |
| 101・103・104 | 134・138 | 3 | SD82 | 14D-1G17・18・23 | 古代 | V | N-61°-W | — | 0.40 | — | 0.18 | 0.22 | 3.11 | — | 半円状 | 2 | ○ | >SK90 <SK121・131、SD80 | 214 | | | |
| 101・103・106 | 142 | 3 | SD91 | 14D-1G8・13 | 古代 | V | N-22°-W | — | 0.46 | — | 0.30 | 0.17 | 3.29 | — | 台形状 | 1 | ○ | <SK86 | 214 | | | |
| 101・104・106 | 137 | 3 | SD100 | 14D-1G4・9・14 | 古代 | V | N-16°-W | — | 0.34 | — | 0.19 | 0.20 | 3.23 | — | 台形状 | 2 | ○ | <SK126 | 214 | | | |
| 101・106 | 142 | 3 | SD104 | 14D-1G4・9 | 古代 | V | N-12°-W | — | 0.43 | — | 0.28 | 0.08 | 3.33 | — | 皿状 | 1 | ○ | | 214 | | | |
| 101・103・106 | 136 | 3 | SD106 | 13D-10G25、14D-1G5、1H1・6 | 古代 | V | N-25°-W | — | 0.21 | — | 0.13 | 0.14 | 3.34 | — | 台形状 | 2 | ○ | >SK108 <SX105 | | | | |
| 100・106 | 141・142 | 3 | SD113 | 13D-9H11・16・17 | 古代 | V | N-55°-W | — | 0.41 | — | 0.10 | 0.19 | 3.33 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SD74 | | | | |
| 101・104・105 | 136 | 3 | SD123 | 14D-1G5・10 | 古代 | V | N-26°-W | — | 0.53 | — | 0.27 | 0.30 | 3.08 | — | 台形状 | 2 | ○ | >SK127・129、SX105 | | | | |
| 100 | | 3 | Pit72 | 13D-8G17・18 | 古代 | V | N-48°-W | 0.48 | 0.39 | — | — | — | — | 楕円形 | — | — | | 214 | | | | |
| 15 | 145 | 4 | SD2 | 14F-9F14・15・19・20 | 古代 | V | N-81°-W | — | 0.71 | — | 0.48 | 0.18 | 2.90 | — | 皿状 | 1 | ○ | | 219 | | 4区-3 | |
| 19 | 146 | 4 | SD3 | 13H-4E22、5E1・2 | 古代 | V | N-39°-W | — | 1.25 | — | 1.16 | 0.43 | 3.38 | — | 皿状 | 2 | ○ | | | | 4区-10 | |
| 13 | 144 | 4 | 河1 | 15F-1D8・9・13・14、3A10・15 | 古代 | V | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | | | | 4区-1・2 | |
| 19 | 146 | 4 | Pit4 | 13H-5E3 | 古代 | V | — | — | — | — | — | 0.12 | 3.68 | — | 半円状 | 1 | ○ | | | | 4区-10 | |

別表3 第24次調査 沖ノ羽遺跡遺構計測表

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礎 | | 備考 | |
|-------------|----------|-----|-----------|--|------|---------|---------|--------|--------|--------|------|----------|------|--------|-----|-------|-------------------|---------|----|--------|----|--------|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | | 深度 | 平面 | | | | | 断面 | 点数 (点) | | 重量 (g) |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 109・112 | 152 | 1 | SK1 | 16H-10G10, 10H6 | - | V | N-38°-W | (1.25) | - | (1.00) | - | 0.08 | 3.61 | 楕円形 | 皿状 | 1 | | | | | | |
| 110・112 | 152 | 1 | SK13 | 17I-5B23 | - | V | N-18°-E | 0.52 | 0.43 | 0.27 | 0.12 | 0.19 | 3.82 | 楕円形 | 半円状 | 2 | | | | | | |
| 110・112 | 152 | 1 | SX10 | 17I-4A25, 5A4・5 | 古代 | V | N-77°-E | - | 1.50 | - | 1.39 | 0.12 | 3.90 | - | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 110・112 | 152 | 1 | SD11 | 17I-5B11・12 | - | IVc | N-63°-E | - | 1.09 | - | 0.46 | 0.34 | 3.75 | - | 半円状 | 7 | | | | | | |
| 110・112 | 153 | 1 | SD12 | 17I-5B12・17・18・22・23 | 古代 | V | N-25°-E | - | 1.46 | - | 0.37 | 0.18 | 3.88 | - | 皿状 | 3 | ○ | | | | | |
| 111・112 | 153 | 1 | SD15 | 17I-7C15・20・25 | - | IV | N-5°-E | - | 1.15 | - | 0.61 | 0.39 | 3.42 | - | 台形状 | 4 | | | | | | |
| 111・112 | 153 | 1 | SD16 | 17I-7D21, 8D1~3・7 | - | V | - | - | 0.53 | - | 0.27 | 0.11 | 3.64 | - | 台形状 | 1 | | | | | | |
| 111・112 | 153・154 | 1 | SD17 | 17I-8D13・18~20・24・25 | - | IV | N-82°-W | - | 1.49 | - | 1.38 | 0.44 | 3.53 | - | 皿状 | 3 | | | | | | |
| 117・142 | | 2区東 | SB1 | 13F-1D25, 1E21~23, 2D5・10, 2E1~3・6~8・11~13・16~18 | 古代 | V | N-12°-W | 8.00 | 5.20 | - | - | - | 4.00 | 長方形 | - | - | | | | | | |
| | | | SB1-P145 | 13F-1E22・23 | V | N-15°-W | 0.40 | 0.34 | 0.23 | 0.18 | 0.40 | 3.30 | 凹形 | 半円状 | - | - | | 1 | 8 | | | |
| | | | SB1-P159 | 13F-1E22・23, 2E3 | V | N-27°-W | 0.45 | 0.40 | 0.28 | 0.26 | 0.43 | 3.28 | 凹形 | 箱状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB1-P182 | 13F-2D10 | V | N-55°-W | 0.49 | 0.31 | 0.22 | 0.17 | 0.75 | 2.93 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB1-P188 | 13F-2E6 | V | N-70°-E | 0.60 | 0.44 | 0.38 | 0.24 | 0.46 | 3.16 | 楕円形 | 台形状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB1-P195 | 13F-2E7 | V | N-45°-W | 0.92 | 0.33 | 0.23 | 0.22 | 0.55 | 3.15 | 不整形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB1-P199 | 13F-1E22, 2E2 | V | N-50°-E | 0.35 | 0.30 | 0.24 | 0.18 | 0.43 | 3.25 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB1-P202 | 13F-2E12・13 | V | N-4°-W | 0.60 | 0.57 | 0.40 | 0.27 | 0.50 | 3.23 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB1-P237 | 13F-2E13 | V | N-10°-W | (0.51) | (0.37) | (0.19) | (0.19) | 0.43 | 3.38 | 不整形 | 半円状 | - | ○ | <SD156 | | | | | |
| | | | SB1-P914 | 13F-2E18 | V | - | - | - | - | - | 0.60 | 3.10 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | >SD163 | | | | | |
| | | | SB1-P1511 | 13F-1E22 | V | N-12°-E | 0.30 | 0.28 | 0.04 | 0.03 | 0.40 | 3.28 | 凹形 | 半円状 | - | - | | | | | | |
| | | | SB1-P1566 | 13F-1E21 | V | N-11°-W | 0.35 | 0.32 | 0.18 | 0.14 | 0.33 | 3.30 | 凹形 | 台形状 | - | - | >SD144 | | | | | |
| | | | SB1-P1594 | 13F-2D5 | V | N-21°-W | 0.26 | 2.80 | 0.07 | 0.06 | 0.30 | 3.30 | 凹形 | 半円状 | - | - | | | | | | |
| | | | SB1-P1660 | 13F-2D5 | V | N-12°-E | 0.46 | 0.45 | 0.15 | 0.12 | 0.40 | 3.25 | 凹形 | 台形状 | - | - | | | | | | |
| | | | SB1-P1743 | 13F-2E3・8 | V | N-20°-W | 0.60 | 0.35 | 0.47 | 0.28 | 0.45 | 3.25 | 楕円形 | 台形状 | - | - | <SD156 | | | | | |
| | | | SB1-P1893 | 13F-2E11・12 | V | N-46°-W | 0.50 | (0.33) | 0.17 | (0.15) | 0.63 | 3.08 | 楕円形 | 半円状 | - | - | | | | | | |
| SB1-P1978 | 13F-2E18 | V | N-25°-W | 0.52 | 0.43 | 0.34 | 0.29 | 0.48 | 3.23 | 楕円形 | 半円状 | - | - | <SD156 | | | | | | | | |
| 117・143 | | 2区東 | SB2 | 13F-2E8~10・14・15・19・20・24・25, 2F11・16・21 | 古代 | V | N-12°-W | 5.32 | 3.60 | - | - | - | - | 長方形 | - | - | | | | | | |
| | | | SB2-P236 | 13F-2E10 | V | N-90°-W | 0.39 | 0.31 | 0.24 | 0.20 | 0.23 | 3.50 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | >SD204 | | | | | |
| | | | SB2-P239 | 13F-2E19 | V | N-71°-E | 0.62 | 0.45 | 0.17 | 0.14 | 0.40 | 3.38 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB2-P242 | 13F-2E20・25 | V | N-0°-S | 0.36 | 0.28 | 0.10 | 0.09 | 0.38 | 3.40 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB2-P248 | 13F-2E9 | V | N-90°-W | 0.35 | 0.33 | 0.18 | 0.18 | 0.35 | 3.38 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB2-P250 | 13F-2E20 | V | N-44°-E | 0.53 | 0.39 | 0.19 | 0.18 | 0.35 | 3.40 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB2-P353 | 13F-2E24 | V | N-0°-S | 0.35 | 0.28 | 0.09 | 0.09 | 0.30 | 3.45 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB2-P409 | 13F-2F16 | V | N-16°-E | 0.28 | (0.16) | 0.15 | 0.12 | 0.41 | 3.41 | 楕円形 | 台形状 | - | ○ | <SK208 | | | | | |
| | | | SB2-P1806 | 13F-2E10 | V | N-62°-W | 0.40 | 0.27 | 0.05 | 0.05 | 0.45 | 3.28 | 凹形 | 半円状 | - | - | | | | | | |
| | | | SB2-P1881 | 13F-2E15, 2F11 | V | N-43°-E | 0.30 | 0.29 | 0.26 | 0.13 | 0.30 | 3.45 | 凹形 | 台形状 | - | - | | | | | | |
| | | | SB2-P1887 | 13F-2E15 | V | N-0°-S | 0.29 | 0.26 | 0.15 | 0.12 | 0.30 | 3.48 | 凹形 | 半円状 | - | - | | | | | | |
| | | | SB2-P1913 | 13F-2E14 | V | N-41°-W | 0.41 | 0.37 | 0.22 | 0.18 | 0.40 | 3.35 | 凹形 | 半円状 | - | - | | | | | | |
| | | | SB2-P1957 | 13F-2F16 | V | N-15°-E | 0.41 | 0.27 | 0.18 | 0.14 | 0.25 | 3.55 | 不整形 | 半円状 | - | - | >SD204 | | | | | |
| 117・137・143 | | 2区東 | SB3 | 13F-2E18・19・23~25, 3E4・5・9・10, 3F6 | 古代 | V | N-25°-W | 6.30 | 2.38 | - | - | - | - | 長方形 | - | - | | | | | | |
| | | | SB3-P174 | 13F-2E23・24 | V | N-19°-W | 0.63 | 0.37 | 0.23 | 0.23 | 0.24 | 3.35 | 楕円形 | 台形状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB3-P228 | 13F-2E19 | V | N-15°-W | 0.33 | 0.33 | 0.20 | 0.17 | 0.45 | 3.35 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB3-P286 | 13F-2E25, 3E5 | V | N-13°-E | 0.43 | 0.36 | 0.17 | 0.12 | 0.48 | 3.33 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB3-P334 | 13F-2E24・25 | V | N-70°-E | 0.47 | 0.35 | 0.17 | 0.15 | 0.43 | 3.38 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB3-P527 | 13F-3E10, 3F6 | V | N-35°-W | 0.50 | 0.40 | 0.11 | 0.04 | 0.20 | 3.60 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | >SX929 | | | | | |
| | | | SB3-P543 | 13F-3E9・10 | V | N-37°-W | 0.47 | 0.36 | 0.29 | 0.28 | 0.45 | 3.28 | 凹形 | 半円状 | 2 | | >SX958 | | | | | |
| | | | SB3-P2040 | 13F-2E18・23 | V | N-6°-W | 0.33 | - | 0.13 | - | 0.40 | 3.33 | 方形 | 半円状 | - | - | <SD156 | | | | | |
| | | | SB3-P2187 | 13F-3E4 | V | N-64°-W | 0.21 | 0.20 | 0.10 | 0.08 | 0.20 | 3.58 | 凹形 | 半円状 | - | - | | | | | | |
| 117・118・144 | | 2区東 | SB4 | 13F-2F21・22, 3E5・10・15, 3F1・2・6~8 | 古代 | V | N-79°-W | 5.59 | 3.56 | - | - | - | - | 長方形 | - | - | | | | | | |
| | | | SB4-P234 | 13F-2F22 | V | N-33°-W | 0.36 | 0.35 | 0.15 | 0.10 | 0.55 | 3.25 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | >SD191 | | | | | |
| | | | SB4-P261 | 13F-2F21, 3F1 | V | N-65°-E | 0.46 | 0.37 | 0.10 | 0.08 | 0.20 | 3.53 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | >SX209 | | | | | |
| | | | SB4-P281 | 13F-3E5 | V | N-80°-E | 0.60 | 0.48 | 0.25 | 0.33 | 0.28 | 3.53 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB4-P420 | 13F-3F7・8 | V | N-23°-W | 0.60 | 0.50 | 0.33 | 0.29 | 0.38 | 3.45 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | | | | | | |
| 118・144 | | 2区東 | SB4-P553 | 13F-3E10・15 | V | N-90°-W | 0.49 | 0.35 | 0.39 | 0.14 | 0.20 | 3.58 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | >SX958 | | | | | |
| | | | SB4-P2270 | 13F-3F6・7 | V | N-40°-W | 0.51 | 0.40 | 0.23 | 0.20 | 0.18 | 3.33 | 凹形 | 半円状 | - | - | <SD225 | | | | | |
| | | | SB5 | 13F-3F19・20・23~25, 4F3~5・9 | 中世 | V | N-40°-E | 4.30 | 2.92 | - | - | - | - | 長方形 | - | - | | | | | | |
| | | | SB5-P533 | 13F-3F19 | V | N-35°-W | 0.52 | 0.48 | 0.23 | 0.22 | 0.46 | 3.42 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | >SK927, SD355・930 | | | | | |
| | | | SB5-P537 | 13F-4F3 | V | N-59°-E | 0.32 | 0.27 | 0.08 | 0.06 | 0.40 | 3.43 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | >SK937, SD127 | | | | | |
| | | | SB5-P577 | 13F-4F4・9 | V | N-90°-W | 0.70 | 0.34 | 0.38 | 0.14 | 0.30 | 3.55 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB5-P584 | 13F-3F25 | V | N-30°-W | 0.54 | 0.41 | 0.23 | 0.18 | 0.30 | 3.54 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | >SE835 | | | | | |
| SB5-P2399 | 13F-3F20 | V | N-52°-W | 0.23 | 0.12 | 0.22 | 0.10 | 0.27 | 3.57 | 凹形 | 台形状 | - | - | | | | | | | | | |
| SB5-P2443 | 13F-4F5 | V | N-76°-W | 0.30 | 0.24 | 0.20 | 0.18 | 0.20 | 3.68 | 凹形 | 箱状 | - | - | | | | | | | | | |

345

総柱 北側・東側
二面庇
4間×3間
41.86㎡
身舎 28.84㎡

側柱 東側一面庇
3間×1間
16.44㎡以上
身舎 14.04㎡

側柱 4間×1間
14.99㎡

側柱 2間×1間
19.72㎡

別表

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礎 | | 備考 |
|-----------------|---------|-----|-------|--------------------------|----|-----|------------|--------|--------|--------|--------|------|----------|-----|-----|----|------------|-------------------------------|---------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 117・118・127 | 165 | 2区東 | SK316 | 13F-2E25, 2F21 | 古代 | V | N- 65 °- E | 0.83 | 0.77 | 0.74 | 0.55 | 0.11 | 3.72 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD127 | 223 | 1 | 36 | |
| 118・127 | 165 | 2区東 | SK346 | 13F-3F18・23・24 | 古代 | V | N- 30 °- W | 1.25 | 0.75 | 1.14 | 0.59 | 0.18 | 3.70 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD344・930 | 223 | | | |
| 117・118・127 | 165 | 2区東 | SK347 | 13F-3F18 | — | V | N- 43 °- W | — | 0.63 | — | 0.48 | 0.17 | 3.64 | — | 半円状 | 2 | ○ | >SK950 <SE221 | | | | |
| 118・126 | 164 | 2区東 | SK356 | 13F-3F14・15 | 古代 | V | N- 74 °- E | 1.05 | 0.70 | 0.78 | 0.42 | 0.27 | 3.48 | 楕円形 | 半円状 | 2 | ○ | >SK227, SD930 =SD348 | 283 | 1 | 3 | |
| 118・127 | 165・166 | 2区東 | SK357 | 13F-3G6・11 | 古代 | V | N- 40 °- W | 1.42 | 1.18 | 1.08 | 0.84 | 0.16 | 3.70 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD470・938 | | 1 | 1 | |
| 118・127 | 166 | 2区東 | SK402 | 13F-3F23・24, 4F3・4 | 古代 | V | N- 60 °- W | 0.90 | 0.82 | 0.72 | 0.63 | 0.09 | 3.78 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK615, SD401・406 <P616 (SB6) | | | | |
| 117・118・127 | 166 | 2区東 | SK446 | 13F-3F16 | 古代 | V | N- 42 °- E | — | — | 0.52 | 0.18 | 0.32 | 3.46 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD422・512 | | | | |
| 117・118・128 | 166 | 2区東 | SK457 | 13F-3F11・16 | 古代 | V | N- 75 °- E | — | 0.74 | — | 0.32 | 0.24 | 3.60 | — | 皿状 | 2 | ○ | <SK224, SD422 | | | | |
| 117・118 | | 2区東 | SK500 | 13F-3E9・10 | 古代 | V | N- 40 °- E | — | (1.10) | — | (0.75) | — | — | — | — | — | >SX958 | | 1 | 6 | | |
| 118・128・134 | 166・167 | 2区東 | SK523 | 13F-3F22 | 古代 | V | N- 70 °- E | — | — | — | 0.22 | 3.61 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD422・512 | | | | | |
| 118・128・132 | 167 | 2区東 | SK557 | 13F-3F20, 3G16 | 古代 | V | N- 82 °- W | 0.77 | 0.63 | 0.68 | 0.44 | 0.33 | 3.49 | 円形 | 箱状 | 3 | ○ | >SK886, SD214 | | | | |
| 118・128 | 167 | 2区東 | SK571 | 13F-3F20 | 古代 | V | N- 19 °- W | 0.70 | 0.68 | 0.40 | 0.44 | 0.14 | 3.67 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SK886 | | | | |
| 118・128 | 167 | 2区東 | SK581 | 13F-3F15 | 古代 | V | N- 24 °- W | — | — | — | — | 0.09 | 3.74 | — | 皿状 | 1 | ○ | >SK907 <SD214・348 | | | | |
| 118・128 | 167・168 | 2区東 | SK590 | 13F-3F23, 4F3 | 古代 | V | N- 35 °- E | 0.71 | 0.50 | 0.52 | 0.31 | 0.17 | 3.70 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | >SD930 | | | | |
| 118・128 | 168 | 2区東 | SK599 | 13F-4F8 | 中世 | V | N- 45 °- E | — | 0.50 | — | 0.32 | 0.07 | 3.82 | — | 皿状 | 2 | ○ | | | 1 | 16 | |
| 118・127 | 166 | 2区東 | SK615 | 13F-4F3 | 古代 | V | N- 41 °- E | — | 0.64 | 0.60 | 0.32 | 0.14 | 3.74 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD127 <SK402 | | | | |
| 118・128 | 168 | 2区東 | SK624 | 13F-3G8・9・13・14 | 古代 | V | N- 25 °- E | 1.72 | — | 1.10 | — | 0.36 | 3.47 | — | 半円状 | 2 | ○ | >SD497 <SD529 | 223 | 1 | 8 | |
| 117・118・129 | 168 | 2区東 | SK625 | 13F-2G7 | 古代 | V | N- 40 °- W | 0.50 | — | 0.37 | — | 0.14 | 3.69 | — | 半円状 | 2 | ○ | <SD288 | | 1 | 4 | |
| 118・129 | 168・169 | 2区東 | SK627 | 13F-3G21 | 古代 | V | N- 59 °- E | 0.75 | — | 0.48 | 0.32 | 0.13 | 3.67 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD403 | | | | |
| 118・129 | 169 | 2区東 | SK628 | 13F-3G21, 4G1 | 古代 | V | N- 24 °- W | 1.10 | 0.80 | 0.90 | 0.63 | 0.19 | 3.64 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD404・405 | | | | |
| 118・129 | 169 | 2区東 | SK631 | 13F-4F14 | 古代 | V | N- 34 °- W | 0.75 | (0.40) | 0.55 | 0.16 | 0.16 | 3.76 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | >SD127 | | | | |
| 118・129 | 169 | 2区東 | SK641 | 13F-2G20, 2H16 | 古代 | V | N- 53 °- W | 1.38 | — | 1.24 | — | 0.07 | 3.82 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK642 | | | | |
| 118・129 | 169 | 2区東 | SK642 | 13F-2H11・16 | 古代 | V | N- 67 °- E | 1.18 | 1.10 | 0.50 | 0.45 | 0.28 | 3.58 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SK641 | | | | |
| 117・118・129 | 169・170 | 2区東 | SK645 | 13F-2G15 | 古代 | V | N- 30 °- E | 0.85 | 0.48 | 0.58 | 0.25 | 0.11 | 3.74 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 117・118・129 | 170 | 2区東 | SK646 | 13F-2G14 | 古代 | V | N- 60 °- E | 0.88 | 0.80 | 0.65 | 0.55 | 0.19 | 3.69 | 円形 | 皿状 | 4 | ○ | >SD749 | 223 | | | |
| 118・129 | 170 | 2区東 | SK658 | 13F-4F9・10 | 古代 | V | N- 40 °- E | 1.35 | 0.68 | 1.13 | 0.49 | 0.20 | 3.66 | 楕円形 | 皿状 | 3 | ○ | >SD786 | 223 | | | |
| 118・130 | 170 | 2区東 | SK662 | 13F-4F10, 4G6 | 古代 | V | N- 60 °- E | 0.67 | 0.60 | 0.30 | 0.23 | 0.28 | 3.58 | 円形 | 半円状 | 2 | ○ | >SD924 | | | | |
| 118・130 | 171 | 2区東 | SK675 | 13F-2H8・9・13・14 | 古代 | V | N- 55 °- W | 0.74 | 0.63 | 0.52 | 0.44 | 0.11 | 3.72 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD635 | | | | |
| 118・130 | 171 | 2区東 | SK690 | 13F-2H13・18 | 古代 | V | N- 41 °- E | 0.87 | 0.81 | 0.65 | 0.67 | 0.14 | 3.73 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 118・130 | 171 | 2区東 | SK695 | 13F-4G6 | 古代 | V | N- 30 °- E | — | (0.62) | — | (0.46) | 0.07 | 3.77 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SD663 | | 1 | 6 | |
| 118・130 | 171 | 2区東 | SK729 | 13F-2G24・25, 3G4 | 古代 | V | N- 40 °- W | 0.88 | — | 0.72 | — | 0.14 | 3.74 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SD651 | 223 | | | |
| 117・118・130 | 172 | 2区東 | SK745 | 13F-2H1 | 古代 | V | N- 10 °- E | 0.62 | 0.59 | 0.44 | 0.35 | 0.38 | 3.52 | 円形 | 箱状 | 3 | ○ | | 223 | 2 | 6 | |
| 118・130 | 172 | 2区東 | SK762 | 13F-2H7・8 | 古代 | V | N- 41 °- W | 0.47 | — | 0.38 | 0.27 | 0.19 | 3.71 | 円形 | 箱状 | 2 | ○ | <SD13 | | | | |
| 117・118・130 | 172 | 2区東 | SK766 | 13F-2G3・8 | 中世 | V | N- 80 °- W | 0.87 | 0.78 | 0.50 | 0.38 | 0.31 | 3.52 | 円形 | 箱状 | 2 | ○ | >SD918 | | 3 | 12 | |
| 117・118・130・140 | 172 | 2区東 | SK781 | 13F-2G14・19 | 古代 | V | N- 50 °- W | 2.00 | 0.80 | 1.76 | 0.72 | 0.14 | 3.76 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | =SD288 | | | | |
| 118・130 | 173 | 2区東 | SK787 | 13F-2G23, 3G3 | 古代 | V | N- 0 °- S | 0.77 | 0.70 | 0.44 | 0.38 | 0.38 | 3.46 | 円形 | 半円状 | 3 | ○ | >SD756 | | 1 | 6 | |
| 118・131 | 173 | 2区東 | SK790 | 13F-2G25 | 古代 | V | N- 16 °- W | 0.82 | 0.45 | 0.37 | 0.20 | 0.18 | 3.66 | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | | | | | |
| 118・131 | 173 | 2区東 | SK795 | 13F-3G14・15 | — | V | N- 31 °- W | — | 0.82 | — | 0.28 | 0.42 | 3.41 | — | 半円状 | 2 | ○ | >SE704 <SD636 =SD651 | | | | |
| 117・118・131 | 173 | 2区東 | SK807 | 13F-3F5, 3G1 | 古代 | V | N- 15 °- W | — | — | — | — | 0.18 | 3.68 | — | 半円状 | 2 | ○ | >SK895, SD938 <SD98 =SD225 | | | | |
| 117・118・131 | 174 | 2区東 | SK823 | 13F-1G24 | 古代 | V | N- 48 °- W | 1.28 | 1.08 | 1.12 | 0.80 | 0.23 | 3.58 | 円形 | 台形状 | 3 | ○ | >SX911, SD812 | | 1 | 2 | |
| 117・118・131・136 | 174 | 2区東 | SK829 | 13F-1G25, 1H21, 2G5, 2H1 | 古代 | V | N- 31 °- W | (1.10) | 1.08 | (0.84) | 0.82 | 0.36 | 3.51 | 方形 | 台形状 | 2 | ○ | >SX911 <SX648, SD647 | | | | |
| 117・118・131 | 174・175 | 2区東 | SK833 | 13F-1G25, 1H21 | 古代 | V | N- 78 °- W | — | 0.50 | 0.35 | 0.30 | 0.17 | 3.65 | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SX911 <SK834 | | | | |
| 117・118・131 | 174・175 | 2区東 | SK834 | 13F-1H21 | 古代 | V | N- 30 °- W | 0.62 | — | 0.33 | — | 0.17 | 3.65 | — | 台形状 | 1 | ○ | >SK833, SX911 <SD13 | | | | |
| 117・118・132 | 174・175 | 2区東 | SK849 | 13F-1G20・25 | 古代 | V | N- 75 °- W | — | — | — | — | 0.16 | 3.61 | — | 台形状 | 2 | ○ | >SX911 <SE813, SD13 | | | | |
| 117・118・132 | 175 | 2区東 | SK854 | 13F-2G17 | 古代 | V | N- 55 °- W | 0.47 | — | 0.28 | — | 0.14 | 3.70 | — | 半円状 | 1 | ○ | <SD853 | | | | |
| 117・118・132 | 175 | 2区東 | SK857 | 13F-1H21 | 古代 | V | N- 50 °- W | — | — | — | — | 0.11 | 3.73 | — | 半円状 | 1 | ○ | >SX911 <SD13・810 | | | | |
| 117・118・132 | 175 | 2区東 | SK859 | 13F-1H17 | 古代 | V | N- 9 °- E | 0.93 | 0.53 | 0.33 | 0.24 | 0.24 | 3.54 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SX911 | | | | |
| 117・118・132 | 175・176 | 2区東 | SK865 | 13F-1H17・18 | 古代 | V | N- 58 °- E | 0.85 | (0.70) | 0.60 | (0.26) | 0.36 | 3.45 | 楕円形 | 半円状 | 3 | ○ | | | | | |
| 117・118・132 | 176 | 2区東 | SK880 | 13F-1H12・13・17・18 | 古代 | V | N- 79 °- W | — | — | — | — | 0.26 | 3.63 | — | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 117・118・132 | 176 | 2区東 | SK881 | 13F-1H11 | 古代 | V | N- 64 °- E | 1.30 | 1.13 | 1.24 | 0.86 | 0.22 | 3.53 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SX882 | 223 | 3 | 42 | |
| 118・132 | 176 | 2区東 | SK886 | 13F-3F15・20, 3G16 | 古代 | V | N- 72 °- W | 1.35 | — | 1.17 | 0.90 | 0.10 | 3.71 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK557・571・887, SD214 | | 1 | 17 | |
| 118・132 | 176 | 2区東 | SK887 | 13F-3G11・16・17 | 古代 | V | N- 52 °- E | 1.78 | 1.20 | 1.55 | 0.70 | 0.29 | 3.51 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK886 <SD401・470 =SK888 | 223 | 8 | 54 | |
| 118・133 | 177 | 2区東 | SK888 | 13F-3G11・12・16・17 | 古代 | V | N- 42 °- E | — | 1.12 | 1.08 | 0.38 | 0.36 | 3.44 | — | 半円状 | 2 | ○ | <SD98・470 =SK887, SD401 | | 1 | 3 | |
| 118・133 | 177 | 2区東 | SK890 | 13F-3G14 | 古代 | V | N- 30 °- W | 0.96 | 0.95 | — | 0.70 | 0.15 | 3.67 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD497 <SD651 | | | | |
| 117・118・133 | 177 | 2区東 | SK891 | 13F-1G10・15, 1H6・11 | 古代 | V | N- 50 °- E | 1.30 | 1.02 | 1.19 | 0.68 | 0.12 | 3.56 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | =SK897 | | | | |
| 117・118・133 | 177 | 2区東 | SK893 | 13F-3E4・5・9・10 | 古代 | V | N- 0 °- S | 1.52 | 1.25 | 1.20 | 0.97 | 0.12 | 3.68 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SX958 | | | | |
| 117・118・133 | 178 | 2区東 | SK895 | 13F-3F4・5・9・10 | 古代 | V | N- 82 °- W | 2.07 | — | 1.82 | — | 0.14 | 3.70 | — | 皿状 | 1 | ○ | <SK223・807, SD225 | 223 | 2 | 18 | |
| 117・118・133 | 178 | 2区東 | SK897 | 13F-1G10, 1H6 | 古代 | V | N- 33 °- E | (1.75) | 1.01 | 0.75 | 0.69 | 0.24 | 3.46 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | =SK891 | | | | |
| 117・118・133 | 178 | 2区東 | SK906 | 13F-2G11・12・16・17 | 古代 | V | N- 51 °- E | 1.10 | 0.75 | — | 0.18 | 0.13 | 3.70 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD184 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礎 | | 備考 | |
|-----------------------------|---------------------|-----|-------|--|----|------|---------|--------|------|-------|--------|------|----------|-----|-----|----|-------|--|-----------------|--------|--------|----|--|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | | |
| 118・134 | 178 | 2区東 | SK907 | 13F・3F9・10・15 | 古代 | V | N-23°・W | 3.10 | - | - | - | 0.24 | 3.58 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK223・227・581、SD214・348 | 223 | 4 | 10 | | |
| 118・134 | 179 | 2区東 | SK927 | 13F・3F19・20 | 古代 | V | N-31°・W | 1.19 | 1.08 | 0.97 | 0.80 | 0.20 | 3.64 | 円形 | 半円状 | 1 | ○ | >SD930 <SD355、P533 (SB5)・490 (SB6) | 224・283 | | | | |
| 117・118・134 | 179 | 2区東 | SK928 | 13F・2F18・19・23・24 | 古代 | V | N-45°・W | 0.86 | - | 0.65 | - | 0.11 | 3.74 | - | 皿状 | 2 | ○ | <SD214 =SD213 | | | | | |
| 118・134 | 179 | 2区東 | SK935 | 13F・3F17・22・23 | 古代 | V | N-42°・W | 1.34 | - | 1.10 | - | 0.12 | 3.68 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SD127 | | | | | |
| 118・134 | 179 | 2区東 | SK936 | 13F・3F23 | 古代 | V | N-12°・W | 0.70 | - | 0.38 | - | 0.24 | 3.48 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SK937 | | | | | |
| 118・134 | 179・180 | 2区東 | SK937 | 13F・3F22・23, 4F3 | 古代 | V | N-20°・W | 1.20 | 0.46 | 0.56 | 0.28 | 0.24 | 3.48 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK936 <SD127、P537 (SB5) | | | | | |
| 117・135 | 180 | 2区東 | SK943 | 13F・1E20・25, 1F16・21 | 古代 | V | N-55°・E | 2.25 | 1.18 | 1.92 | 0.90 | 0.16 | 3.55 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | | |
| 117・135 | 180 | 2区東 | SK944 | 13F・1E15・20 | 古代 | V | N-16°・W | - | 1.20 | - | 0.93 | 0.18 | 3.50 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | <SD15 | | | | | |
| 118・135 | 180 | 2区東 | SK950 | 13F・3F13・14・18・19 | 古代 | V | N-65°・W | - | 1.15 | - | 0.58 | 0.31 | 3.48 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SD930 <SE221、SK347、SD344・345 =SK222 | 224 | 1 | 8 | | |
| 117・135 | 159・180 | 2区東 | SX3 | 12F・10G6~8・11~13 | 古代 | V | N-90°・W | - | - | - | - | 0.08 | 3.46 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD37 <SE12・20, SD11・31 | | 1 | 8 | | |
| 117・119・121 | 155・156・181・187 | 2区東 | SX18 | 12F・10F12~14・16~19・21~24, 13F・1F2~4 | 中世 | V | N-80°・E | 5.60 | - | 5.19 | - | 0.26 | 3.35 | - | 皿状 | 3 | ○ | >SE65、SD14・66・94・140 <SD11 | 261 | 2 | 11 | | |
| 117・135 | 181 | 2区東 | SX114 | 12F・10G24・25, 13F・1G4・5 | 古代 | V | N-69°・W | 2.40 | - | 1.87 | - | 0.14 | 3.50 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SX940 <SD15 | 224 | | | | |
| 117・118・125 | 162 | 2区東 | SX209 | 13F・2F21・22, 3F1・2・6 | 古代 | V | N-16°・E | 2.58 | 2.49 | 2.33 | 2.20 | 0.16 | 3.66 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK210, SX929, SD127・190 <P261 (SB4) | 224 | 2 | 14 | | |
| 117・136 | 181 | 2区東 | SX392 | 13F・2E18・22~24, 3E3・4 | 古代 | V | N-36°・W | 3.85 | - | 3.24 | - | 0.36 | 3.46 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SK290, SD144 <SD156・163 | 224 | 5 | 41 | | |
| 118・136 | 181 | 2区東 | SX640 | 13F・2H21・22, 3H1・2 | 古代 | V | N-29°・W | - | 0.88 | - | 0.58 | 0.24 | 3.54 | 長方形 | 台形状 | 2 | ○ | <SD636 | | | | | |
| 117・118・136 | 174 | 2区東 | SX648 | 13F・1G24・25, 2G4・5・10 | 古代 | V | N-28°・W | - | 1.33 | - | 1.14 | 0.12 | 3.73 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SK829, SX911, SD812 <SD647 | | | | | |
| 117・118・132 | 181 | 2区東 | SX882 | 13F・1H11・12 | 古代 | V | N-42°・W | 1.39 | 1.02 | 1.19 | (0.68) | 0.17 | 3.59 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK881 | 224・283 | | | | |
| 117・137 | 181・182・199 | 2区東 | SX889 | 12F・10H1・2・6・7 | 古代 | V | N-85°・W | 2.24 | 2.11 | 1.99 | 1.38 | 0.24 | 3.30 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SD898 | | | | | |
| 117・118・122・137 | 158・182・199 | 2区東 | SX911 | 13F・1G12・14・15・17~20・22~25, 1H11・12・16・17・21・22, 2G3~5・10 | 古代 | V | N-90°・E | 10.27 | 5.60 | 10.10 | 5.36 | 0.18 | 3.62 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD916・917 <SE813, SK823・829・833・834・849・857・859, SX648, SD13・647・810・812 =SD918 | 224 | 8 | 152 | | |
| 117・118・137 | 182 | 2区東 | SX929 | 13F・3E10, 3F6・7・11 | 古代 | V | N-86°・E | 3.32 | - | 3.07 | - | 0.26 | 3.54 | - | 皿状 | 2 | ○ | <SK210, SX209, SD127・225, P527 (SB3) | 224 | | | | |
| 117・137 | 182 | 2区東 | SX940 | 12F・10G19・22~25, 13F・1G2~5・8・9 | 古代 | V | N-58°・E | - | - | - | - | 0.16 | 3.44 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK40, SX114, SD13・15 | | | | | |
| 117・118・137 | 183 | 2区東 | SX958 | 13F・3E4・5・9・10・15 | 古代 | V | N-30°・E | - | 2.90 | - | 2.52 | 0.23 | 3.61 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK500・893, SD225, P543 (SB3)・553 (SB4) | 225 | 1 | 1 | | |
| 117・137 | 183 | 2区東 | SD1 | 12F・9H16~19・21~24 | 中世 | V | N-86°・W | 5.70 | 1.40 | 5.40 | 1.20 | 0.12 | 3.42 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SD4・16・898 <SD5 =SD32 | 225 | 3 | 56 | | |
| 117・123・137 | 183 | 2区東 | SD2 | 12F・9G22~25, 9H21~24, 10G5, 10H1~4 | 中世 | V | N-83°・W | - | 1.00 | - | 0.40 | 0.27 | 3.24 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SK68, SD4~7・16・37・898 | | 2 | 159 | | |
| 117・137 | 183 | 2区東 | SD4 | 12F・9H18・22 | 中世 | V | N-38°・E | - | 0.20 | - | 0.10 | 0.04 | 3.50 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SD1・2 | | | | | |
| 117・137 | 183 | 2区東 | SD5 | 12F・9H17・18・22・23 | 中世 | V | N-30°・E | - | 0.30 | - | 0.20 | 0.18 | 3.36 | - | 台形状 | 1 | ○ | >SD1 <SD2 | | | | | |
| 117・119・123 | 158・184 | 2区東 | SD6 | 12F・9G14・15・19・20・24・25, 10G5・10・15 | 古代 | V | N-7°・W | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.15 | 3.42 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK8, SD2 | | | | | |
| 117・119・137・138 | 183・184 | 2区東 | SD7 | 12F・9G14・18・19・23・24, 10G4・9・10・14・15 | 古代 | V | N-11°・W | - | 0.90 | - | 0.60 | 0.19 | 3.42 | - | 皿状 | 2 | ○ | <SD2・31 | | | | | |
| 117・119・120・138 | 155・181・184 | 2区東 | SD11 | 12F・10F13~15, 10G11 | 中世 | V | N-90°・W | - | 0.60 | - | 0.40 | 0.25 | 3.26 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SX3・18 <SE12・20 | | 1 | 5 | | |
| 117・118・130~132・137・138・141 | 172・174・184・185・197 | 2区東 | SD13 | 12F・10G11・16・17・22, 13F・1G2・3・8・9・14・15・20・25, 1H21, 2H1・2・7・8・13・14・18・19 | 古代 | V | N-34°・W | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.10 | 3.56 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SK762・834・849・857, SX911・940, SD635・643 <SD14・15・50・636 =SD51・647 | | | | | |
| 117・120・138 | 184・185 | 2区東 | SD14 | 12F・10F19・20・24・25, 10G13~19・21 | 古代 | V | N-76°・E | - | 0.90 | - | 0.70 | 0.18 | 3.42 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SD13・51・91 <SK43, SX18, SD31 | | 1 | 4 | | |
| 117・120・123・125・135・138 | 158・159・181・185 | 2区東 | SD15 | 12F・10G19・21~25, 13F・1G1~3, 1F3~9・11・12, 1E10・12~19・21, 1D20・24・25 | 中世 | IVa | N-72°・E | - | 1.30 | - | 0.60 | 0.40 | 3.16 | - | 台形状 | 3 | ○ | >SK40・63・944, SX114・940, SD13・78・91・99・101・102・108・127・184 <SK198 | 225・261・262・283 | 7 | 105 | | |
| 117・137 | 183 | 2区東 | SD16 | 12F・9H21・22 | 中世 | V | N-83°・E | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.07 | 3.47 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SD898 <SD1・2 | | | | | |
| 117・119・138 | 185 | 2区東 | SD27 | 12F・8H23・24, 9H3~5・9・10, 9I6・11・12 | 古代 | V | N-55°・W | - | 1.00 | - | 0.40 | 0.74 | 3.14 | - | 皿状 | 5 | ○ | >SD28・39 <SD29・32 | | | | | |
| 117・138 | 186 | 2区東 | SD28 | 12F・8H22・23, 9H2・3 | 古代 | V | N-65°・W | - | 0.60 | - | 0.40 | 0.15 | 3.35 | - | 台形状 | 1 | ○ | >SD39 <SD27 | | 1 | 64 | | |
| 117・119・138 | 186 | 2区東 | SD29 | 12F・8H19・23~25, 9H5 | 古代 | IIIa | N-54°・W | - | - | - | - | 0.67 | 3.22 | - | 箱状 | 3 | ○ | >SD27 | | 1 | 8 | | |
| 117・139 | 186 | 2区東 | SD31 | 12F・10G12~15 | 中世 | V | N-90°・W | - | 0.60 | - | 0.30 | 0.18 | 3.36 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK43, SX3, SD7・14・37 <SE20 | | 2 | 165 | | |
| 117・138 | 186 | 2区東 | SD32 | 12F・9G10, 9H1~3・6~9・11~15・18~20・24・25, 9I11・16 | 古代 | IIIb | N-55°・W | - | - | - | - | 0.80 | 3.22 | - | 台形状 | 4 | ○ | >SD27・39 =SD1 | 225 | | | | |
| 117・135 | 159・180・186 | 2区東 | SD37 | 12F・9G23, 10G3・8・13 | 古代 | IIIa | N-8°・W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.06 | 3.48 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SX3, SD2・31 | | | | | |
| 117・138 | 186 | 2区東 | SD39 | 12F・9H2・3・8~10・14・15, 9I11・16 | 古代 | V | N-55°・W | - | 0.80 | - | 0.40 | 0.30 | 3.22 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SD27・28・32 | | 1 | 25 | | |
| 117・138・139 | 184・187 | 2区東 | SD50 | 13F・1G7~9・12 | 古代 | V | N-79°・E | - | - | - | - | 0.22 | 3.51 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SD13 | | | | | |
| 117・138 | 184・187 | 2区東 | SD51 | 12F・10F15・20, 10G16 | 古代 | V | N-30°・W | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.04 | 3.52 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SD14 =SD13 | | | | | |
| | | | | | | | N-70°・W | - | 0.30 | - | 0.10 | | | | | | | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 | |
|---------------------------------|-------------------------|-----|-------|---|----|-----|------------|--------|------|-------|------|----------|------|----|-----|-------|------|--|---------------------|--------|-----|--------|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | | 深度 | 平面 | | | | | 断面 | 点数 (点) | | 重量 (g) |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 117・121 | 156・187 | 2区東 | SD66 | 12F-10F17~19・22~24, 13F-1F3 | - | V | N- 81° - W | 2.90 | 0.40 | 2.40 | 0.20 | 0.14 | 3.22 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SE65、SX18 | | | | |
| 117・138・139 | 185・187 | 2区東 | SD78 | 13F-1F9・10・14・15 | 古代 | V | N- 11° - E | 3.00 | 0.40 | 2.50 | 0.20 | | | | | | | | 0.09 | 3.59 | - | 皿状 |
| 117・139 | 187・188 | 2区東 | SD91 | 12F-10F19・24, 13F-1F4・5・10 | 古代 | V | N- 5° - W | 6.30 | 0.40 | 6.10 | 0.20 | 0.08 | 3.52 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SE77、SD14・15 | 262 | | | |
| 117・139 | 188 | 2区東 | SD94 | 12F-10F22, 13F-1E4・5・8~10, 1F1・2 | 古代 | V | N- 70° - E | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.06 | 3.48 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD101・102・108 <SK172、SX18 | | | | |
| 117・118・124・125・128・131・139・141 | 161・162・168・173・188・197 | 2区東 | SD98 | 13F-1F12・13・17・18・22~24, 2F3・4・8~10・13~15・19・20・24・25, 2G16・21, 3F5, 3G1・2・6~8・11~13・17~19・24 | 中世 | V | N- 29° - W | - | 2.30 | - | 1.40 | 0.47 | 3.38 | - | 台形状 | 3 | ○ | >SK177・215・807・888、SD99・101・211・225・288・401・404・405・439・497・529・808・938 <SK178・302、SD636 | 225・226・256・262・283 | 38 | 639 | |
| 117・125 | 185・189 | 2区東 | SD99 | 13F-1F7・8・12・13 | 古代 | V | N- 9° - W | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.12 | 3.52 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SD15・98・184 | | | | |
| 117・139 | 188・189 | 2区東 | SD101 | 13F-1E10, 1F6・11・12 | 古代 | V | N- 50° - W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.10 | 3.48 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SD15・94・98 | | | | |
| 117・139 | 188・189 | 2区東 | SD102 | 13F-1F1・6・7 | 古代 | V | N- 36° - W | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.08 | 3.50 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SD15・94 | 226 | | | |
| 117・139 | 189 | 2区東 | SD106 | 13F-1F11・16 | 古代 | V | N- 37° - W | 1.40 | 0.30 | 1.10 | 0.10 | 0.06 | 3.60 | - | 半円状 | 1 | ○ | | | | | |
| 117・125・139 | 185・189 | 2区東 | SD108 | 12F-10F21, 13F-1F1・2・7 | 古代 | V | N- 34° - W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.19 | 3.45 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SD15・94 | | | | |
| 117・118・127・129・134・138・139 | 165・169・185・189・190 | 2区東 | SD127 | 13F-1E13・18・23・24, 2E3・4・9・14・15・19・20・25, 3E5・10, 3F1・6・11・12・16・17・22・23, 4F2・3・14 | 古代 | V | N- 18° - W | 29.40 | 0.50 | 29.20 | 0.20 | 0.20 | 3.54 | - | 台形状 | 3 | ○ | >SK935・937、SX929、SD149・300・401・512・539 <SK224・316・615・631、SX209、SD15・180・225、P537 (SB5) =SK154 | 226・227 | 3 | 23 | |
| 117・139 | 190 | 2区東 | SD128 | 13F-1E18・19・24・25, 2E5, 2F1・6・7 | 古代 | V | N- 48° - W | - | 0.40 | - | 0.10 | 0.34 | 3.40 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SE203、SK177、SD146 | 227・228・283 | 5 | 20 | |
| 117・119 | 181・190 | 2区東 | SD140 | 12F-10F16・17・22 | - | V | N- 21° - W | - | 0.40 | - | 0.10 | 0.04 | 3.33 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SX18 | | | | |
| 117・139 | 190・191 | 2区東 | SD144 | 13F-1E21, 2E1・6・12・17・18・22・23 | 古代 | V | N- 22° - W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.14 | 3.61 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SK129、SX392、P1566 (SB1) | 228 | | | |
| 117・139 | 190 | 2区東 | SD146 | 13F-1E24 | 古代 | V | N- 84° - E | 1.80 | 0.30 | 1.70 | 0.20 | 0.14 | 3.60 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SD128 | | | | |
| 117・139 | 189・191 | 2区東 | SD149 | 13F-2E3・4・9 | 古代 | V | N- 53° - W | - | 0.30 | 4.00 | 0.20 | 0.11 | 3.62 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD127 | | 1 | 2 | |
| 117・136・139 | 191 | 2区東 | SD156 | 13F-2E3・8・13・18・19・23・24, 3E4・9 | 中世 | V | N- 10° - W | - | 0.60 | - | 0.30 | 0.25 | 3.56 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SK290、SX392、SD163・168、P237 (SB1)・1743 (SB1)・1978 (SB1)・2040 (SB3) =SD300 | 228 | 2 | 33 | |
| 117・139 | 191 | 2区東 | SD163 | 13F-2E18・23 | 古代 | V | N- 35° - W | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.18 | 3.58 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD156、P914 (SB1) >SX392 | 228 | | | |
| 117・139 | 191 | 2区東 | SD168 | 13F-2E2・7・8 | 古代 | V | N- 47° - W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.09 | 3.64 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD156 | | | | |
| 117・124 | 161 | 2区東 | SD180 | 13F-2E9・10・14・15 | 古代 | V | N- 76° - E | 2.60 | 0.40 | 1.27 | 0.20 | 0.26 | 3.54 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SD127 <SK154 | 262 | | | |
| 117・139・141 | 191 | 2区東 | SD184 | 13F-1F8・13・14・18~20・24・25, 2F5・10, 2G1・6・11・12・17 | 古代 | V | N- 33° - W | - | 1.20 | - | 0.90 | 0.23 | 3.56 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SK906、SD99・853・905 <SD15・288 | 228・229 | 6 | 56 | |
| 117・118・125・139 | 162・191・192 | 2区東 | SD190 | 13F-2F16・21・22, 3F2・7・12 | 古代 | V | N- 20° - W | - | 0.50 | - | 0.20 | 0.16 | 3.68 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SK208、SD368 <SE221、SX209、SD225 | 229・256 | 1 | 5 | |
| 117・118・140 | 192 | 2区東 | SD191 | 13F-2F22・23, 3F2・3 | 中世 | V | N- 66° - E | 3.30 | 0.40 | 3.20 | 0.20 | 0.19 | 3.54 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SD243 <P234 (SB4) | 229 | 1 | 42 | |
| 117・140 | 192 | 2区東 | SD204 | 13F-2E5・10・15, 2F11・16 | 古代 | V | N- 21° - W | 5.80 | 0.30 | 5.60 | - | 0.09 | 3.68 | - | 台形状 | 2 | ○ | <P236 (SB2)・1957 (SB2) | | | | |
| 117・118・126 | 163・193 | 2区東 | SD211 | 13F-2F24・25, 3F2~5 | 古代 | V | N- 70° - E | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.15 | 3.68 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SK216、SD214・243 <SD98 | | 4 | 200 | |
| 117・118・134・140 | 192 | 2区東 | SD213 | 13F-2F18・19 | 古代 | V | N- 41° - E | - | 0.50 | - | 0.20 | 0.18 | 3.64 | - | 皿状 | 2 | ○ | <SD214 =SK928 | 229 | 1 | 45 | |
| 118・126・128・134・140 | 164・167・193 | 2区東 | SD214 | 13F-2F18・23・24, 3F4・9・10・15・20, 3G16 | 古代 | V | N- 25° - W | - | 0.30 | - | 0.20 | 0.12 | 3.74 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SK227・581・886・907・928、SD213・348・397 <SK557、SD211・225・401 | 229 | 6 | 7 | |
| 117・118・125・126 | 163・193 | 2区東 | SD225 | 13F-3E10・15, 3F2~8・11 | 中世 | V | N- 66° - E | - | 0.60 | - | 0.20 | 0.33 | 3.51 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SK216・217・895、SX929・958、SD127・190・214・422、P2270 (SB4) <SD98、P2270 (SB4) =SK807 | 229 | 5 | 40 | |
| 117・127 | 164 | 2区東 | SD243 | 13F-2F6・11・12・17・22・23, 3F3 | 古代 | V | N- 26° - W | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.10 | 3.72 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SK226 <SE203、SK273、SD191・211 | 229・256・262 | 1 | 25 | |
| 117・140 | 193 | 2区東 | SD268 | 13F-2E19 | 古代 | V | N- 14° - W | - | 0.20 | - | 0.10 | 0.06 | 3.74 | - | 半円状 | 1 | ○ | | | | | |
| 117・139・140 | 188・193 | 2区東 | SD288 | 13F-1F18・19・23~25, 2F5, 2G1・6・7・12~14・18・19 | 古代 | V | N- 53° - W | - | 0.50 | - | 0.20 | 0.14 | 3.66 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SK625、SD184・788 <SD98・647・743 =SK781 | 229 | 3 | 12 | |
| 117・140 | 194 | 2区東 | SD300 | 13F-2E8・9 | 古代 | V | N- 75° - E | - | 0.20 | - | 0.10 | 0.10 | 3.66 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SD315 <SD127 =SD156 | 230 | | | |
| 117・140 | 191・194 | 2区東 | SD315 | 13F-2E3・8・9 | 古代 | V | N- 11° - W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.14 | 3.60 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SD300 | | | | |
| 118・140 | 194 | 2区東 | SD344 | 13F-3F18・23・24 | 古代 | V | N- 26° - W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.07 | 3.82 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SK950、SD345・930 <SK346 =SD401 | | 1 | 8 | |
| 118・140 | 194 | 2区東 | SD345 | 13F-3F13・18・23 | 古代 | V | N- 10° - W | - | 0.20 | - | 0.10 | 0.05 | 3.80 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK950 <SE221、SD344 | | | | |
| 117・118・140 | 194・195 | 2区東 | SD348 | 13F-3F13~15, 3G11 | 古代 | V | N- 83° - W | - | 0.30 | - | 0.20 | 0.08 | 3.74 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK222・581・907、SD930 <SE221、SK227、SD214・355・470 =SK356 | | | | |
| 118・126・140 | 194・195 | 2区東 | SD355 | 13F-3F8・9・13・14・19・20・24・25 | 古代 | V | N- 27° - W | 7.00 | 0.30 | 6.80 | 0.10 | 0.17 | 3.66 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK927、SD348・358・401・930 <P533 (SB5) | 230・262 | 4 | 23 | |
| 117・118・140 | 194・195 | 2区東 | SD358 | 13F-3F8・9 | 古代 | V | N- 56° - W | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.13 | 3.69 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK227、SD355 | 230 | 3 | 15 | |
| 117・118・139 | 191・192 | 2区東 | SD368 | 13F-3F11・12 | 古代 | V | N- 70° - E | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.19 | 3.64 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SK224 <SE221、SD190 | | | | |
| 117・118・140 | 195 | 2区東 | SD397 | 13F-2F18・23 | 古代 | V | N- 45° - W | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.14 | 3.70 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SD214 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礎 | | 備考 | |
|-----------------------------|---------------------|-----|--------|---|----|-----|--------------------|--------|--------|-------|--------|----------|------|----|-----|-------|------|--|-------------|--------|-----|--------|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | | 深度 | 平面 | | | | | 断面 | 点数 (点) | | 重量 (g) |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 118・128・132・133・140 | 168・195 | 2区東 | SD401 | 13F・3F20・24・25, 3G12・16・17, 4F3・4・8 | 古代 | V | N-57°-E | - | 0.30 | - | 0.20 | 0.09 | 3.78 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SK887, SD214・470・924 <SK402, SD98・127・355 =SK888, SD344 | 230 | 4 | 25 | |
| 118・129・140 | 168・169・195・196 | 2区東 | SD403 | 13F・3F25, 3G21, 4F4・5・9 | 古代 | V | N-57°-E | - | 0.50 | - | 0.20 | 0.08 | 3.72 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SE835, SK627, SD406・786・924 <SD404・470, P738 (SB6) | | | | |
| 118・129・140 | 168・169・195・196 | 2区東 | SD404 | 13F・3F25, 3G17・18・21, 4F5・9・10, 4G1 | 古代 | V | N-48°-E | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.14 | 3.74 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SE835, SD403・405・786・924 <SE654, SK628, SD98・470 | 283 | | | |
| 118・122・140 | 157・169・195・196 | 2区東 | SD405 | 13F・3G17・18・21~23, 4F5, 4G1・2 | 古代 | V | N-56°-E | - | 0.30 | - | 0.20 | 0.09 | 3.72 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD924 <SE654, SK628, SD98・404・470 | | 1 | 4 | |
| 118・140 | 196 | 2区東 | SD406 | 13F・4F4・5 | 古代 | V | N-74°-W | - | 0.30 | - | 0.20 | 0.15 | 3.73 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SK402, SD403 | | | | |
| 117・118・128・141 | 166・196 | 2区東 | SD422 | 13F・3E15・20, 3F11・16・21・22 | 古代 | V | N-38°-W | - | - | - | - | 0.18 | 3.62 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK457, SD512 <SK446・523, SD225 | 230・283 | | | |
| 117・141 | 193・196 | 2区東 | SD439 | 13F・1F23・24, 2F4・5・9・10 | 中世 | V | N-33°-W | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.12 | 3.66 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SD98 | | | | |
| 118・122・127・129・132・140・141 | 157・165・195・196・197 | 2区東 | SD470 | 13F・3G11・16・21・22, 4F5・8~10, 4G1・2 | 古代 | V | N-7°-W N-75°-E | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.19 | 3.61 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK887・888, SD348・403~405・622・663・786・924 <SK357, SD401 | 230 | 1 | 3 | |
| 118・125・128・131 | 162・168・173・188 | 2区東 | SD497 | 13F・2F9・10・15・20, 2G11・16・21・22, 3G2・3・7~9・13・14 | 古代 | V | N-32°-W | - | 0.40 | - | 0.20 | | | | | | | | | | | |
| 117・141 | 197 | 2区東 | SD511 | 13F・2F2・7・8 | 古代 | V | N-45°-W | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.18 | 3.56 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SK177 | 230 | | | |
| 118・139 | 189・196 | 2区東 | SD512 | 13F・3F16・21・22, 4F2・3 | 古代 | V | N-43°-W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.12 | 3.72 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SK446・523, SD127・422・539 | | | | |
| 118・128・131 | 168・173・188 | 2区東 | SD529 | 13F・2G21・22, 3G1・2・7・8・13・14・18・19 | 中世 | V | N-30°-W N-75°-E | - | 0.60 | - | 0.30 | 0.34 | 3.48 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SK624, SD808 <SD98・636 =SD497 | 256 | 6 | 97 | |
| 118・139 | 189・196 | 2区東 | SD539 | 13F・3F22, 4F2・3 | 古代 | V | N-50°-W | - | (0.30) | - | (0.10) | | | | | | | | | | | |
| 118・129 | 196・197 | 2区東 | SD622 | 13F・4G1 | 古代 | V | N-38°-E | - | 0.20 | - | 0.10 | 0.13 | 3.72 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD470 | | | | |
| 118・130 | 171・197 | 2区東 | SD635 | 13F・2H4・5・8・9・13 | 古代 | V | N-31°-E | - | 0.40 | - | 0.30 | 0.13 | 3.73 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK675 <SD13 | | | | |
| 118・122・131・141 | 173・197 | 2区東 | SD636 | 13F・2H10・14・15・18~20・22~24, 2I6・11, 3G10・14・15・18・19・23・24, 3H1・2・6・7・11, 4G2・3 | 中世 | V | N-47°-E | - | 0.70 | - | 0.40 | 0.44 | 3.39 | - | 半円状 | 3 | ○ | >SE704, SK795, SX640, SD13・98・497・529・962 | 283 | 5 | 157 | |
| 118・122・141 | 157・198 | 2区東 | SD643 | 13F・1H23・24, 2H2・3・6・7・11・12・17 | 古代 | V | N-47°-E N-35°-W | - | 0.70 | - | 0.50 | 0.13 | 3.76 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD798 <SE650, SD13 | | 1 | 5 | |
| 117・118 | 198 | 2区東 | SD647 | 13F・1H21, 2G5・9・10・13・14・18, 2H1 | 中世 | V | N-42°-E | 9.20 | 0.90 | 9.10 | 0.70 | | | | | | | | | | | |
| 118・122・130・131 | 171 | 2区東 | SD651 | 13F・2G24・25, 3G5・9・10・14 | 古代 | V | N-40°-W N-31°-E | 3.50 | 0.30 | 3.30 | 0.20 | 0.13 | 3.74 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK729・890, SD497 =SK795, SD743 | | | | |
| 118・130 | 171・196 | 2区東 | SD663 | 13F・4G1・6 | 古代 | V | N-31°-W | - | 0.50 | - | 0.20 | | | | | | | | | | | |
| 118・140 | 193・198 | 2区東 | SD743 | 13F・2G18・19・24 | 古代 | V | N-37°-W | 2.00 | 0.50 | 1.90 | 0.20 | 0.12 | 3.78 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD288 =SD651 | 283 | 1 | 7 | |
| 117・118・129 | 170 | 2区東 | SD749 | 13F・2G8・9・13~15 | 古代 | V | N-64°-W | 3.10 | 0.60 | 2.70 | 0.30 | 0.09 | 3.79 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SK646, SD647 | 231 | | | |
| 118・130・141 | 173・198 | 2区東 | SD756 | 13F・2G17・18・22・23, 3G3 | 古代 | V | N-37°-E N-30°-W | 1.80 | - | - | - | 0.13 | 3.76 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SK787, SD647 | | | | |
| 118・141 | 198 | 2区東 | SD786 | 13F・4F9・10・15 | 古代 | V | N-35°-W | - | 0.40 | - | 0.20 | | | | | | | | | | | |
| 117・118 | | 2区東 | SD788 | 13F・2G7・8・12・13 | 古代 | V | N-45°-W | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | <SD288 | | 4 | 12 | |
| 118・141 | 199 | 2区東 | SD798 | 13F・2H6・7 | 古代 | V | N-44°-W | 2.20 | 0.20 | 2.10 | 0.15 | 0.08 | 3.82 | - | 半円状 | - | ○ | <SD643 | | | | |
| 117・118・125・131 | 162・173・188 | 2区東 | SD808 | 13F・2G16・21, 3G1・2 | 古代 | V | N-30°-W | - | - | - | - | 0.36 | 3.51 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD98・529 | | | | |
| 117・118・141 | 198 | 2区東 | SD810 | 13F・1H21・22 | 古代 | V | N-55°-E | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.39 | 3.43 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SK857, SX911 | | | | |
| 117・118・131・141 | 174・199 | 2区東 | SD812 | 13F・1G12・13・17~19・23~25 | 古代 | V | N-44°-W | - | 1.20 | - | 1.00 | 0.13 | 3.65 | - | 台形状 | 1 | ○ | >SX911, SD916 <SK823, SX648 =SE813 | 231 | | | |
| 117・118・132 | 175 | 2区東 | SD853 | 13F・2G17 | 古代 | V | N-56°-E | - | 0.30 | - | 0.15 | 0.12 | 3.71 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK854 <SD184 | | | | |
| 117・137 | 199 | 2区東 | SD898 | 12F・9H21・22, 10H2・7 | 古代 | V | N-17°-W | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.16 | 3.29 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SK889, SD1・2・16 | 231・256・262 | | | |
| 117・118・141 | 199 | 2区東 | SD905 | 13F・2G12・17・18 | 古代 | V | N-35°-W | 2.10 | 0.60 | 1.80 | 0.40 | 0.18 | 3.64 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SD184 | 256 | 1 | 1 | |
| 117・118・137 | 199 | 2区東 | SD916 | 13F・1G17・18・23・24, 2G3・4・9・10・15, 2H11 | 古代 | V | N-35°-W | 10.90 | 0.50 | 10.70 | 0.30 | 0.26 | 3.48 | - | 台形状 | 2 | ○ | <SX911, SD647・812 | 231 | 2 | 29 | |
| 117・118・137 | 199 | 2区東 | SD917 | 13F・1G17・22・23, 2G3・4・8・9 | 古代 | V | N-33°-W | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.15 | 3.60 | - | 台形状 | 1 | ○ | <SX911, SD647 | | 2 | 50 | |
| 117・118・141 | 200 | 2区東 | SD918 | 13F・1G22, 2G2・3・7・8 | 古代 | V | N-20°-W | 3.30 | - | 2.80 | - | 0.30 | 3.48 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SK766 =SX911 | 231 | 6 | 7 | |
| 118・141 | 200 | 2区東 | SD924 | 13F・3F19・24・25, 4F5・10, 4G1・6 | 古代 | V | N-32°-W | 6.10 | 0.50 | 6.00 | 0.30 | 0.18 | 3.66 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SE835, SK662, SD401・403~405・470・663 | | 1 | 2 | |
| 118・134 | 179・200 | 2区東 | SD930 | 13F・3F14・18・19・23・24 | 古代 | V | N-25°-E | - | 0.80 | - | 0.30 | 0.48 | 3.36 | - | 台形状 | 3 | ○ | <SK346・356・590・927・950, SD344・348・355, P533 (SB5) | 231 | 1 | 3 | |
| 118・141 | 200 | 2区東 | SD938 | 13F・3F5, 3G1・6 | 古代 | V | N-15°-W | - | - | - | - | 0.18 | 3.67 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SK357・807, SD98 | | | | |
| 118・141 | 200・201 | 2区東 | SD962 | 13F・3H6 | - | V | N-45°-W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.21 | 3.61 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD636 | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit19 | 12F・9H17 | 古代 | V | N-87°-W | 0.23 | 0.20 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | ○ | | 231 | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit56 | 13F・1G3 | - | V | N-60°-W | 0.35 | 0.20 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | ○ | | 283 | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit57 | 13F・1G12 | 古代 | V | N-40°-E | 0.50 | 0.38 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | ○ | | 231 | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit116 | 13F・1E20 | 古代 | V | N-50°-W | 0.28 | 0.18 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | ○ | | 231 | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 | |
|-------------|----------|-----|-----------|--|------|------|---------|--------|--------|--------|------|------|----------|-----|-----|----|-------|------------|---------|--------|--------|-------------------------|------------------------|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit126 | 13F-1E20・25 | 古代 | V | N-54°-W | 0.20 | - | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 231 | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit132 | 13F-2E4 | 古代 | V | N-30°-W | 0.49 | 0.35 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | 231 | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit264 | 13F-2F7 | 古代 | V | N-17°-W | 0.42 | 0.39 | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 231 | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit269 | 13F-2F3 | 古代 | V | N-24°-W | 0.22 | 0.21 | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 231 | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit283 | 13F-2F2 | 古代 | V | N-21°-W | 0.31 | 0.20 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit291 | 13F-2F17 | 古代 | V | N-25°-W | 0.21 | 0.20 | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit361 | 13F-2G6 | 古代 | V | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit375 | 13F-2G11・16 | 古代 | V | N-87°-W | 0.30 | 0.29 | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117・118 | | 2区東 | Pit387 | 13F-2F23 | 古代 | V | N-8°-W | 0.31 | - | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117・118 | | 2区東 | Pit492 | 13F-3F11・12 | 古代 | V | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 118 | | 2区東 | Pit508 | 13F-3F10 | 古代 | V | N-80°-W | 0.30 | 0.21 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit520 | 13F-2F6・7 | 中世 | V | N-54°-E | 0.25 | 0.19 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 118 | | 2区東 | Pit582 | 13F-4F10 | 中世 | V | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 118 | | 2区東 | Pit593 | 13F-3F25 | 古代 | V | N-5°-E | 0.39 | 0.32 | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 118 | | 2区東 | Pit670 | 13F-4G2 | - | V | N-3°-E | 0.20 | 0.15 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | 284 | | | | | |
| 117・118 | | 2区東 | Pit689 | 13F-3F9 | - | V | N-46°-E | 0.21 | 0.19 | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 284 | | | | | |
| 117・118 | | 2区東 | Pit709 | 13F-2H1 | 古代 | V | N-72°-E | 0.22 | 0.20 | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117・118 | | 2区東 | Pit736 | 13H-1H22 | 古代 | V | N-60°-W | 0.58 | 0.21 | - | - | - | - | 不整形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit841 | 13F-1F24 | 古代 | V | N-5°-E | 0.20 | 0.19 | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 118 | | 2区東 | Pit842 | 13F-2H21 | 古代 | V | N-73°-W | 0.40 | 0.35 | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117・118 | | 2区東 | Pit855 | 13F-1H17 | 古代 | V | N-47°-E | 0.40 | 0.32 | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117・118 | | 2区東 | Pit910 | 13F-1G20 | 古代 | V | N-52°-W | 0.40 | 0.35 | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 117 | | 2区東 | Pit934 | 13F-2E5 | 古代 | V | N-10°-E | 0.30 | - | - | - | - | - | 凹形 | - | - | ○ | 232 | | | | | |
| 147・170 | | 2区西 | SB1 | 13F-3C10・15, 3D2・3・6~9・11~14 | 古代 | V | N-80°-E | 6.60 | 3.36 | - | - | - | - | 長方形 | - | - | | | | | | | |
| | | | SB1-P178 | 13F-3D14 | | V | N-57°-W | 0.23 | 0.20 | 0.06 | 0.06 | 0.23 | 3.43 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | <SD324 | | | | | |
| | | | SB1-P257 | 13F-3C10 | | V | N-68°-W | 0.33 | 0.28 | 0.19 | 0.10 | 0.30 | 3.20 | 凹形 | 箱状 | - | ○ | | 1 | 7 | 側柱 | 2間×1間 22.18㎡ | |
| | | | SB1-P797 | 13F-3D2 | | V | N-90°-W | 0.30 | 0.26 | 0.17 | 0.15 | 0.15 | 3.35 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | | |
| | | | SB1-P798 | 13F-3D3 | | V | N-3°-E | 0.25 | 0.22 | 0.16 | 0.14 | 0.18 | 3.35 | 凹形 | 箱状 | - | | <SD318 | | | | | |
| | | | SB1-P841 | 13F-3D12・13 | | V | N-6°-E | 0.32 | 0.29 | 0.17 | 0.15 | 0.20 | 3.25 | 凹形 | 半円状 | - | | <SD359 | | | | | |
| 147・171 | | 2区西 | SB1-P855 | 13F-3D11 | | V | N-41°-E | 0.33 | (0.28) | (0.28) | 0.12 | 0.30 | 3.20 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | | |
| | | | SB2 | 13F-3D11~13・16~18・21~23 | 古代 | V | N-8°-W | 4.58 | 3.72 | - | - | - | - | 長方形 | - | - | | | | | | | |
| | | | SB2-P306 | 13F-3D23 | | V | N-90°-W | 0.37 | 0.30 | 0.12 | 0.12 | 0.40 | 3.18 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | | |
| | | | SB2-P360 | 13F-3D12・13 | | V | N-90°-W | 0.32 | 0.28 | 0.26 | 0.23 | 0.30 | 3.25 | 凹形 | 箱状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB2-P840 | 13F-3D11 | | V | N-40°-W | 0.28 | 0.25 | 0.14 | 0.13 | 0.40 | 3.13 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | 側柱 | 2間×2間 17.04㎡ | |
| | | | SB2-P878 | 13F-3D18 | | V | N-15°-E | 0.28 | 0.27 | 0.13 | 0.08 | 0.53 | 3.08 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | | |
| | | | SB2-P881 | 13F-3D16 | | V | N-24°-E | 0.30 | 0.27 | 0.20 | 0.14 | 0.26 | 3.28 | 凹形 | 台形状 | - | | | | | | | |
| | | | SB2-P940 | 13F-3D21 | | V | N-22°-E | 0.28 | 0.28 | 0.16 | 0.13 | 0.53 | 3.03 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | | |
| | | | SB2-P946 | 13F-3D22 | | V | N-45°-E | 0.37 | 0.30 | 0.14 | 0.13 | 0.23 | 3.33 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | | |
| 147・172 | 249 | 2区西 | SB3 | 13F-3B22~24, 4B2~5・7~10・13~15・18~20・23・24, 4C11・16 | 古代 | V | N-22°-W | 8.36 | 3.68 | - | - | - | - | 長方形 | - | - | | | | | | | |
| | | | SB3-P399 | 13F-4B4 | | V | N-51°-W | 0.37 | 0.34 | 0.19 | 0.18 | 0.50 | 3.10 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB3-P410 | 13F-3B23 | | V | N-22°-W | 0.40 | 0.37 | 0.18 | 0.18 | 0.45 | 3.10 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB3-P415 | 13F-4B2 | | V | N-36°-E | 0.43 | 0.34 | 0.20 | 0.12 | 0.36 | 3.23 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB3-P491 | 13F-4B20 | | V | N-74°-W | 0.42 | 0.28 | 0.12 | 0.10 | 0.56 | 3.12 | 楕円形 | 台形状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB3-P493 | 13F-4B5 | | V | N-24°-E | 0.36 | 0.30 | 0.22 | 0.16 | 0.50 | 3.08 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | <SK393 | | | | | |
| | | | SB3-P525 | 13F-4B18・19・23・24 | | V | N-45°-W | 0.47 | 0.40 | 0.32 | 0.26 | 0.34 | 3.33 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | | | | | 総柱 | 西側庇 3間×2間 38.79㎡ |
| | | | SB3-P526 | 13F-4B19 | | V | N-30°-W | 0.35 | 0.33 | 0.23 | 0.20 | 0.40 | 3.28 | 凹形 | 台形状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB3-P611 | 13F-3B24 | | V | N-70°-W | 0.35 | 0.31 | 0.22 | 0.21 | 0.52 | 3.08 | 凹形 | 台形状 | - | | <SD54 | | | | | |
| | | | SB3-P966 | 13F-3B22・23, 4B2・3 | | V | N-85°-E | 0.32 | 0.31 | 0.22 | 0.17 | 0.35 | 3.10 | 凹形 | 台形状 | - | | <SE457 | | | | 身舎 | 30.76㎡ |
| | | | SB3-P1059 | 13F-4B7・8 | | V | N-24°-E | 0.30 | 0.26 | 0.27 | 0.14 | 0.40 | 3.22 | 凹形 | 台形状 | - | | | | | | | |
| | | | SB3-P1063 | 13F-4B8 | | V | N-56°-W | | 0.36 | - | 0.12 | 0.40 | 3.18 | 凹形 | 半円状 | - | | >SX494 | | | | | |
| | | | SB3-P1124 | 13F-4B10・15 | | V | N-44°-E | 0.32 | 0.30 | 0.20 | 0.18 | 0.48 | 3.13 | 凹形 | 箱状 | - | | | | | | | |
| | | | SB3-P1131 | 13F-4B14 | | V | N-42°-W | 0.36 | 0.35 | 0.14 | 0.13 | 0.60 | 3.03 | 不整形 | 半円状 | - | | | | | | | |
| | | | SB3-P1165 | 13F-4B13・14 | | V | N-31°-E | 0.32 | 0.28 | 0.16 | 0.15 | 0.34 | 3.15 | 凹形 | 半円状 | - | | >SD463・519 | | | | | |
| | | | SB3-P1186 | 13F-4B13 | | V | N-35°-W | 0.28 | 0.17 | 0.26 | 0.17 | 0.60 | 3.05 | 凹形 | 箱状 | - | | | | | | | |
| SB3-P1209 | 13F-4C16 | | V | N-84°-W | 0.35 | 0.30 | 0.16 | 0.14 | 0.65 | 3.00 | 凹形 | 台形状 | - | | | | | | | | | | |
| 147・148・171 | 249 | 2区西 | SB4 | 13F-3C24・25, 4C3~5・8~10・14・15・20, 4D6・11・16 | 中世 | V | N-31°-W | 6.14 | 2.80 | - | - | - | - | 長方形 | - | - | | | | | | | |
| | | | SB4-P441 | 13F-4C9 | | V | N-2°-E | 0.43 | 0.35 | 0.34 | 0.24 | 0.20 | 3.38 | 凹形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | | SB4-P1021 | 13F-4C5 | | V | N-60°-W | 0.32 | 0.30 | 0.20 | 0.19 | 0.23 | 3.33 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | 鍛冶工房か 側柱 | |
| | | | SB4-P1027 | 13F-4C3 | | V | N-68°-W | 0.27 | 0.23 | 0.17 | 0.15 | 0.24 | 3.36 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | 北側庇? 2間×1間 17.19㎡ | |
| | | | SB4-P1104 | 13F-4C10, 4D6 | | V | N-50°-E | 0.32 | 0.28 | 0.12 | 0.07 | 0.38 | 3.23 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | | |
| | | | SB4-P1180 | 13F-4C14 | | V | N-19°-E | 0.22 | 0.20 | 0.10 | 0.06 | 0.23 | 3.40 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | | |
| | | | SB4-P1181 | 13F-4D11 | | V | N-85°-E | 0.26 | 0.24 | 0.13 | 0.11 | 0.40 | 3.28 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | | |
| SB4-P1286 | 13F-4C20 | | V | N-8°-E | 0.24 | 0.20 | 0.13 | 0.06 | 0.20 | 3.45 | 凹形 | 半円状 | - | | | | | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版 No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土の有無 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 | |
|---------------------|-----------|----------|-----------|--|---------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|------|----------|-----|-----|--------|----------------------------|----------------------------|-----------------|--------|--------|----|---|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5 | 13F-4C25, 4D7・12・14・16~25, 4E21, 5C5, 5D1~10・12~14・18, 5E1 | 中世 | V | N-55°・W | 8.97 | 8.87 | - | - | - | - | 正方形 | - | - | | | | | | | |
| 148・156・170・173 | 247~249 | 2区西 | SB5-P195 | 13F-4D20 | | V | N-54°・E | 0.35 | 0.27 | 1.23 | 1.20 | 0.30 | 3.45 | 円形 | 半円状 | 1 | ○ | >SK90 | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P330 | 13F-4D24・25 | | V | N-55°・W | 0.60 | 0.45 | 0.40 | 0.30 | 0.30 | 3.40 | 円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P338 | 13F-4D18・19 | | V | N-73°・E | 0.60 | 0.50 | 0.20 | 0.16 | 0.50 | 3.25 | 円形 | 半円状 | 7 | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P339 | 13F-5D4 | | V | N-12°・E | 0.59 | 0.54 | 0.32 | 0.26 | 0.31 | 3.48 | 円形 | 半円状 | 5 | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P350 | 13F-4D25, 4E21, 5D5, 5E1 | | V | N-65°・W | 0.50 | 0.45 | 0.20 | 0.16 | 0.50 | 3.30 | 方形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P363 | 13F-4D18 | | V | N-2°・W | 0.52 | 0.43 | 0.23 | 0.20 | 0.35 | 3.38 | 円形 | 台形状 | 4 | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P364 | 13F-4D12 | | V | N-24°・E | 0.48 | 0.45 | 0.22 | 0.18 | 0.44 | 3.06 | 円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P513 | 13F-5D10 | | V | N-2°・E | 0.38 | 0.34 | 0.29 | 0.28 | 0.25 | 3.55 | 円形 | 箱状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P556 | 13F-4C25, 4D21 | | V | N-45°・E | 0.67 | 0.44 | 0.28 | 0.16 | 0.68 | 2.82 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P566 | 13F-5D1 | | V | N-52°・E | 0.60 | 0.40 | 0.22 | 0.17 | 0.63 | 3.08 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P584 | 13F-4D22 | | V | N-57°・W | 0.47 | 0.33 | 0.30 | 0.20 | - | 3.39 | 楕円形 | - | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-SK621 | 13F-4D16 | | V | N-27°・W | 0.53 | - | - | 0.30 | 0.11 | 3.61 | 円形 | 半円状 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P687 | 13F-5D12・13 | | V | N-56°・E | 0.55 | 0.40 | 1.08 | 1.06 | 0.40 | 3.35 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P692 | 13F-5D8 | | V | N-88°・W | 0.51 | 0.42 | 0.37 | 0.20 | 0.15 | 3.65 | 円形 | 皿状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P706 | 13F-4D13 | | V | N-56°・W | 0.29 | 0.26 | 0.23 | 0.14 | 0.18 | 3.50 | 円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P707 | 13F-4D19 | | V | N-29°・W | 0.43 | - | 0.31 | - | 0.50 | 3.23 | - | 箱状 | - | ○ | <SK43, SD7 | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P713 | 13F-4E21 | | V | N-15°・E | - | 0.38 | - | 0.28 | 0.25 | 3.53 | 楕円形 | 箱状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P735 | 13F-5D6・7 | | V | N-57°・W | 0.60 | 0.47 | 0.39 | 0.35 | 0.35 | 3.40 | - | 半円状 | - | ○ | <SD455 | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P1116 | 13F-4D7 | | V | N-63°・E | 0.46 | - | 0.36 | - | 0.15 | 3.53 | - | 皿状 | - | ○ | <SD425 | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P1562 | 13F-5D1・6 | | V | N-46°・E | 0.35 | 0.31 | 0.20 | 0.14 | 0.25 | 3.50 | 円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | |
| | | 2区西 | SB5-P1582 | 13F-5D2・7 | | V | N-20°・E | 0.62 | 0.40 | 0.12 | 0.12 | 0.65 | 3.13 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | <SD454 | | | | | |
| 2区西 | SB5-P1711 | 13F-5D14 | | V | N-42°・W | (0.40) | (0.37) | (0.12) | (0.10) | 0.20 | 3.32 | 円形 | 半円状 | - | ○ | >SK533 | | | | | | | |
| 2区西 | SB5-P1776 | 13F-5D18 | | V | N-56°・W | 0.34 | 0.30 | 0.18 | 0.17 | 0.30 | 3.53 | 円形 | 半円状 | - | ○ | | | | | | | | |
| 148・149 | 202 | 2区西 | SE4 | 13F-4E15・20, 4F16 | 古代 | V | N-37°・W | 0.81 | - | 0.32 | - | 1.00 | 2.87 | 円形 | 箱状 | 8 | ○ | | | | 1 | 5 | |
| 147~150・155・157 | 202・203 | 2区西 | SE9 | 13F-4D9・10・14・15 | 中世 | V | N-29°・W | 3.20 | 2.84 | 2.52 | 1.87 | 1.34 | 2.32 | 円形 | 台形状 | 13 | ○ | >SE63, SK8・151, SX323, SD3 | 236・262・284 | 26 | 624 | | |
| 148・149・159 | 202 | 2区西 | SE14 | 13F-4E11・12・16・17 | 中世 | V | N-37°・W | 1.25 | 1.04 | 0.53 | 0.42 | 0.49 | 3.25 | 方形 | 半円状 | 6 | ○ | >SK17, SX323 =SK291, SX383 | 236 | | | | |
| 147~149 | 202 | 2区西 | SE39 | 13F-4E6・7・11・12 | 中世 | V | N-80°・W | - | 1.47 | 0.55 | 0.52 | 1.32 | 2.44 | 楕円形 | 箱状 | 9 | ○ | >SK46, SD65・726 <SK76 | 236・237・262・284 | 1 | 16 | | |
| 147・148・150・155・159 | 203・218 | 2区西 | SE63 | 13F-4D15・20, 4E16 | 中世 | V | - | - | - | - | 1.24 | 2.37 | 円形 | 箱状 | 11 | ○ | <SE9, SK89・319, SX323 >SD3 | 237 | 3 | 13 | | | |
| 147・150 | 203 | 2区西 | SE86 | 13F-3C22・23, 4C1~3・7・8 | 中世 | V | N-39°・W | 3.67 | - | 1.58 | 1.36 | 1.16 | 2.42 | 円形 | 台形状 | 17 | ○ | <SD143 | 238・284 | 4 | 404 | | |
| 147・148・151 | 203 | 2区西 | SE187 | 13F-4E1 | 古代 | V | N-87°・E | 1.06 | 1.02 | 0.53 | 0.48 | 0.86 | 2.88 | 円形 | 箱状 | 8 | ○ | >SK171 | 284 | | | | |
| 147・148・151 | 204 | 2区西 | SE200 | 13F-3D9・10・14・15 | 古代 | V | N-57°・E | 1.19 | 1.06 | 0.40 | 0.34 | 0.60 | 3.11 | 円形 | 半円状 | 4 | ○ | | | | 1 | 5 | |
| 147・151 | 204 | 2区西 | SE226 | 13F-3D6・7・11・12 | 中世 | V | N-19°・E | 2.08 | 1.88 | 0.98 | 0.92 | 1.20 | 2.40 | 円形 | 台形状 | 8 | ○ | >SD275 | 262・277・284 | | | | |
| 147・148・151 | 204 | 2区西 | SE230 | 13F-3D14・15・18~20・23~25 | 中世 | V | N-8°・E | 2.73 | 2.44 | 2.00 | 1.54 | 1.32 | 2.38 | 楕円形 | 箱状 | 8 | ○ | >SK271, SD359 | 238・256・277・284 | 9 | 75 | | |
| 147・152 | 204・205 | 2区西 | SE234 | 13F-3D7・8・13 | 中世 | V | N-57°・W | (2.08) | 1.98 | 1.53 | 1.50 | 1.23 | 2.39 | 楕円形 | 箱状 | 8 | ○ | >SD246 | 278 | 3 | 120 | | |
| 147・152 | 205 | 2区西 | SE286 | 13F-2C22・23, 3C2・3 | 中世 | V | N-52°・E | (3.01) | - | (1.08) | - | 1.00 | 2.72 | - | 半円状 | 7 | ○ | >SD300 | | 2 | 16 | | |
| 147・152 | 205 | 2区西 | SE298 | 13F-2D12・13・17・18 | 古代 | V | N-31°・W | (1.22) | - | (0.72) | - | 0.93 | 2.69 | 楕円形 | 台形状 | 4 | ○ | | | | 1 | 2 | |
| 147・152 | 205 | 2区西 | SE301 | 13F-3C5 | 中世 | V | N-76°・E | 1.24 | 0.92 | - | 0.82 | 1.10 | 2.45 | 円形 | 箱状 | 5 | ○ | <SD300 | 279 | | | | |
| 147・153 | 205 | 2区西 | SE348 | 13F-3C12・13・17・18 | - | V | N-49°・E | 0.82 | 0.78 | 0.36 | 0.30 | 0.84 | 2.70 | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD297 | | | | | |
| 147・148・153 | 205・206 | 2区西 | SE392 | 13F-4C11・12 | 中世 | V | N-35°・W | 1.10 | 0.90 | 0.40 | 0.38 | 1.25 | 2.44 | 円形 | 台形状 | 4 | ○ | | | | 1 | 6 | |
| 147・153 | 206 | 2区西 | SE398 | 13F-4B4 | 中世 | V | N-73°・W | 0.94 | 0.78 | 0.50 | 0.44 | 0.71 | 2.90 | 円形 | 箱状 | 3 | ○ | | | | | | |
| 147・148・153 | 206 | 2区西 | SE400 | 13F-5B4・5・9・10 | 中世 | V | N-11°・E | 2.14 | 2.02 | (0.82) | 0.69 | 1.70 | 1.98 | 円形 | 台形状 | 9 | ○ | <SK401 | 279 | 1 | 1 | | |
| 147・148・153 | 206・207 | 2区西 | SE431 | 13F-3C24・25, 4C4・5 | 中世 | V | N-90°・W | 1.22 | 1.14 | 0.53 | 0.53 | 0.70 | 2.87 | 円形 | 台形状 | 4 | ○ | >SD420 | | | | | |
| 147・148・153 | 207 | 2区西 | SE433 | 13F-4D1 | 中世 | V | N-28°・W | 0.90 | 0.82 | 0.49 | 0.44 | 0.86 | 2.72 | 円形 | 箱状 | 5 | ○ | >SK565・679 | 238・263 | | | | |
| 148・154 | 207 | 2区西 | SE444 | 13F-6C18・23 | 古代 | V | N-46°・W | 1.46 | 1.15 | 0.80 | 0.76 | 1.27 | 2.51 | 円形 | 台形状 | 4 | ○ | | | | | | |
| 147・154 | 207 | 2区西 | SE457 | 13F-3B22・23, 4B2・3 | 中世 | V | N-2°・E | 1.12 | 1.04 | 0.35 | 0.28 | 1.14 | 2.47 | 円形 | 台形状 | 4 | ○ | >SD359・478, P966 (SB3) | | | | 1 | 1 |
| 147・148・154・166 | 207・208 | 2区西 | SE499 | 13F-4D3~5・8~10 | 中世 | V | N-88°・E | 2.67 | 2.38 | 1.40 | 1.32 | 1.18 | 2.46 | 円形 | 箱状 | 9 | ○ | >SD3・329・349 <SK600 | 238・263・280 | 13 | 43 | | |
| 147・148・154 | 208 | 2区西 | SE547 | 13F-4C22 | 中世 | V | N-62°・W | 1.03 | 0.94 | 0.16 | 0.25 | 0.67 | 3.02 | 円形 | 半円状 | 2 | ○ | >SD422 | | | | | |
| 148・154・161 | 208 | 2区西 | SK1 | 13F-4E23・24 | 古代 | V | N-50°・W | 1.53 | 1.26 | 1.30 | 1.03 | 0.12 | 3.74 | 方形 | 皿状 | 2 | ○ | >SK503 <SK5 | 238 | 2 | 14 | | |
| 148・154 | 208 | 2区西 | SK5 | 13F-4E23 | 古代 | V | N-88°・W | 0.68 | 0.44 | 0.62 | 0.23 | 0.08 | 3.74 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK1 | 238 | | | | |
| 147~149 | 202 | 2区西 | SK8 | 13F-4D14 | 古代 | V | N-34°・W | 0.73 | - | 0.62 | - | 0.48 | 3.10 | 楕円形 | 箱状 | 2 | ○ | <SE9 | | | | | |
| 148・155 | 208 | 2区西 | SK15 | 13F-4E19 | 古代 | V | N-57°・W | 1.07 | - | 0.55 | (0.53) | 0.44 | 3.42 | 方形 | 台形状 | 6 | ○ | | 238 | | | | |
| 148・149・155 | 209 | 2区西 | SK17 | 13F-4E16 | 中世 | V | N-59°・E | - | 1.19 | - | 0.62 | 0.18 | 3.57 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SX323・352 <SE14 | | | | | |
| 147・148・155 | 209 | 2区西 | SK18 | 13F-4E3・4 | 古代 | V | N-80°・E | - | 0.43 | - | 0.24 | 0.03 | 3.80 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SX11 | | | | | |
| 148・155 | 209 | 2区西 | SK40 | 13F-4E22・23 | 中世 | V | N-56°・E | 0.98 | 0.65 | 0.68 | 0.32 | 0.42 | 3.40 | 楕円形 | 箱状 | 8 | ○ | >SK41 | | | | | |
| 148・155・164 | 209 | 2区西 | SK41 | 13F-4E17・22・23 | 古代 | V | N-65°・W | - | 1.25 | - | 0.78 | 0.26 | 3.56 | 楕円形 | 皿状 | 3 | ○ | >SX383・475 <SK40 | | | | 1 | 2 |
| 147・148・156 | 209 | 2区西 | SK43 | 13F-4D14・15・19・20 | 中世 | V | N-61°・E | 0.79 | 0.78 | 0.46 | 0.38 | 0.28 | 3.50 | 円形 | 半円状 | 5 | ○ | >P707 (SB5) | | | | 1 | 1 |

総柱 北東側・南西側 二面庇 4間×2間
身舎 48.98㎡

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礎 | | 備考 |
|-----------------|---------|-----|-------|------------------------------|----|-----|---------|--------|--------|--------|--------|------|----------|-----|-----|----|-------|----------------------------|---------|--------|--------|----|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 147~149 | 202 | 2区西 | SK46 | 13F-4E7・12 | 古代 | V | N-37°-W | 0.44 | - | - | - | 0.37 | 3.41 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SE39 >SD65 | | | | |
| 148・156 | 209・210 | 2区西 | SK75 | 13F-5E6・7 | 古代 | V | N-63°-E | 0.99 | 0.38 | 0.57 | 0.19 | 0.09 | 3.79 | 楕円形 | 皿状 | 3 | ○ | | | | | |
| 147・148・156 | 210 | 2区西 | SK76 | 13F-4E12 | 中世 | V | N-82°-W | - | 0.49 | - | 0.36 | 0.07 | 3.71 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SE39 | | | | |
| 148・156 | 210 | 2区西 | SK87 | 13F-5E11 | 古代 | V | N-57°-W | 0.63 | 0.48 | 0.40 | 0.28 | 0.12 | 3.81 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 147・148・156 | 210 | 2区西 | SK89 | 13F-4D19・20 | 中世 | V | N-48°-E | 1.11 | 0.92 | 0.42 | 0.37 | 0.64 | 3.12 | 楕円形 | 半円状 | 11 | ○ | >SE63, SK90, SD7 | 238 | | | |
| 147・148・156 | 210 | 2区西 | SK90 | 13F-4D20 | 中世 | V | N-45°-E | 1.08 | - | 0.84 | - | 0.22 | 3.54 | 円形 | 半円状 | 2 | ○ | >SK319 <SK89, P195 (SB5) | 238・239 | | | |
| 148・156 | 210・211 | 2区西 | SK91 | 13F-5E5 | 古代 | V | N-35°-E | 0.54 | 0.50 | 0.43 | 0.30 | 0.14 | 3.72 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | <SK92 | | | | |
| 148・156 | 210・211 | 2区西 | SK92 | 13F-5E5 | 古代 | V | N-70°-W | 0.74 | 0.37 | 0.60 | 0.24 | 0.14 | 3.72 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SK91 | | | | |
| 148・156 | 211 | 2区西 | SK95 | 13F-5D10・15, 5E6・11 | 古代 | V | N-52°-W | 0.86 | 0.78 | 0.24 | 0.22 | 0.32 | 3.59 | 円形 | 半円状 | 3 | ○ | | | 1 | 2 | |
| 148・156 | 211 | 2区西 | SK106 | 13F-4E9・10 | 古代 | V | N-38°-W | - | - | - | (0.39) | 0.31 | 3.62 | 楕円形 | 半円状 | 3 | ○ | | | | | |
| 148・156 | 211 | 2区西 | SK123 | 13F-4E25 | - | V | N-31°-W | 0.62 | - | 0.43 | - | 0.13 | 3.72 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | <SK124 | | | | |
| 148・156 | 211 | 2区西 | SK124 | 13F-4E25 | 古代 | V | N-28°-W | 0.72 | 0.63 | 0.55 | 0.37 | 0.14 | 3.70 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SK123 | | | | |
| 147・148・155・157 | 211 | 2区西 | SK151 | 13F-4D15, 4E11 | 中世 | V | N-52°-E | - | 1.08 | - | 0.71 | 0.24 | 3.48 | 円形 | 皿状 | 4 | ○ | >SX323 <SE9, SD198 | | 1 | 1 | |
| 147・148・157 | 212 | 2区西 | SK152 | 13F-3E21・22 | 古代 | V | N-40°-W | 1.12 | 0.84 | (0.60) | 0.48 | 0.17 | 3.60 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD721 | | 1 | 5 | |
| 148・157 | 212 | 2区西 | SK154 | 13F-4E12・17 | 中世 | V | N-66°-E | 0.64 | 0.59 | 0.38 | 0.22 | 0.15 | 3.66 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD606・726 | | | | |
| 147・148・157 | 212 | 2区西 | SK167 | 13F-3E22 | 古代 | V | N-38°-W | 0.59 | (0.47) | 0.26 | (0.25) | 0.28 | 3.54 | 楕円形 | 半円状 | 2 | ○ | | | | | |
| 147・148・151 | 203 | 2区西 | SK171 | 13F-3E21, 4E1 | 古代 | V | N-6°-W | - | 0.47 | - | 0.30 | 0.25 | 3.49 | 楕円形 | 半円状 | 4 | ○ | <SE187 | | 1 | 44 | |
| 147・148・157 | 212・213 | 2区西 | SK173 | 13F-3D24・25 | 古代 | V | N-4°-W | - | 0.57 | - | 0.40 | 0.23 | 3.44 | 円形 | 半円状 | 1 | ○ | >SK216 | | 1 | 8 | |
| 147・148・157 | 213 | 2区西 | SK177 | 13F-3E22 | 古代 | V | N-90°-W | 0.54 | 0.43 | 0.42 | 0.29 | 0.07 | 3.73 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 147・148・157 | 211・212 | 2区西 | SK199 | 13F-4E11 | 古代 | V | N-24°-W | 0.62 | 0.52 | 0.38 | 0.30 | 0.22 | 3.52 | 方形 | 半円状 | 3 | ○ | >SD198 | | | | |
| 147・148・157 | 213 | 2区西 | SK203 | 13F-3D20, 3E16 | 古代 | V | N-1°-W | 1.06 | 0.78 | 0.97 | 0.64 | 0.29 | 3.39 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SK215 | | | | |
| 148・157 | 213 | 2区西 | SK207 | 13F-4E24 | 古代 | V | N-30°-E | 0.56 | 0.50 | 0.38 | 0.28 | 0.11 | 3.70 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | >SK503 | | | | |
| 147・148・157 | 213・214 | 2区西 | SK211 | 13F-3E16・21 | 古代 | V | N-83°-W | 0.87 | 0.50 | 0.59 | 0.33 | 0.18 | 3.58 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 147・148・158 | 214 | 2区西 | SK215 | 13F-3E11・16 | 古代 | V | N-70°-E | - | 0.46 | - | 0.24 | 0.28 | 3.40 | 楕円形 | 半円状 | 2 | ○ | <SK203 | | | | |
| 147・148・157 | 212・213 | 2区西 | SK216 | 13F-3D24・25, 4D4・5 | 古代 | V | N-9°-W | - | 0.54 | - | 0.35 | 0.29 | 3.40 | 楕円形 | 半円状 | 1 | ○ | <SK173 | | | | |
| 147・148・158 | 214 | 2区西 | SK228 | 13F-4E1・2・6・7 | 古代 | V | N-44°-W | - | 0.58 | - | 0.31 | 0.25 | 3.50 | 楕円形 | 半円状 | 2 | ○ | >SK328 | 285 | 2 | 21 | |
| 147・158 | 214 | 2区西 | SK242 | 13F-3D2・7 | 古代 | V | N-74°-E | 0.80 | 0.70 | 0.48 | 0.45 | 0.18 | 3.46 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 147・158 | 214・215 | 2区西 | SK243 | 13F-3D1・2 | 古代 | V | N-1°-W | 0.56 | 0.49 | 0.47 | 0.33 | 0.16 | 3.39 | 円形 | 箱状 | 2 | ○ | | | 1 | 1 | |
| 147・158 | 215 | 2区西 | SK244 | 13F-2D21・22 | - | V | N-3°-W | 0.65 | 0.46 | 0.40 | 0.32 | 0.12 | 3.44 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | |
| 147・158 | 215 | 2区西 | SK245 | 13F-2D17・18 | 古代 | V | N-24°-W | - | (0.90) | 0.96 | 0.60 | 0.18 | 3.41 | 長方形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 147・158 | 215 | 2区西 | SK248 | 13F-3C10 | 古代 | V | N-28°-W | 0.87 | 0.69 | 0.70 | 0.49 | 0.18 | 3.38 | 円形 | 箱状 | 1 | ○ | | | 1 | 14 | |
| 147・148・151 | 215・216 | 2区西 | SK271 | 13F-3D20・25 | 古代 | V | N-4°-E | 0.60 | 0.52 | 0.44 | 0.40 | 0.50 | 3.18 | 円形 | 半円状 | 2 | ○ | <SE230 | | | | |
| 147・148・158 | 216 | 2区西 | SK279 | 13F-4C13・14・18・19 | 古代 | V | N-53°-E | - | 1.50 | - | 1.22 | 0.17 | 3.50 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD450・572 <SD143 =SD593 | | | | |
| 148・159 | 216 | 2区西 | SK280 | 13F-4E8 | 古代 | V | N-37°-W | (1.04) | - | (0.84) | - | 0.12 | 3.68 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SK310 | | 6 | 32 | |
| 147・148・159 | 216 | 2区西 | SK288 | 13F-3E17 | 古代 | V | N-18°-W | 1.00 | (0.52) | 0.61 | 0.31 | 0.35 | 3.35 | 楕円形 | 半円状 | 2 | ○ | >SD721 | | | | |
| 148・159 | 217 | 2区西 | SK291 | 13F-4E16・17 | 古代 | V | N-10°-E | 1.24 | 1.12 | 1.08 | - | 0.24 | 3.57 | 円形 | 半円状 | 5 | ○ | >SX383 <SK311 =SE14 | | 2 | 3 | |
| 147・159 | 217 | 2区西 | SK293 | 13F-2D16 | - | V | N-2°-W | - | 1.06 | - | 0.95 | 0.06 | 3.75 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SK294 <SD292・300 | | | | |
| 147・159 | 217 | 2区西 | SK294 | 13F-2D16・17 | 古代 | V | N-65°-W | - | 0.86 | 0.52 | 0.48 | 0.14 | 3.68 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | <SK293, SD292 | | | | |
| 147・159 | 217 | 2区西 | SK307 | 13F-2D16 | 古代 | V | N-19°-W | 0.55 | 0.52 | 0.43 | 0.42 | 0.22 | 3.40 | 方形 | 箱状 | 2 | ○ | | | | | |
| 147・159 | 217 | 2区西 | SK308 | 13F-3C14・19 | 古代 | V | N-87°-E | 0.83 | 0.72 | 0.40 | 0.35 | 0.35 | 3.20 | 円形 | 台形状 | 3 | ○ | >SD275・297 | | | | |
| 148・159 | 218 | 2区西 | SK310 | 13F-4E8・13 | 古代 | V | N-56°-E | - | 0.50 | - | 0.38 | 0.21 | 3.61 | 楕円形 | 半円状 | - | ○ | >SD278 <SK280 | 285 | | | |
| 148・159 | 217 | 2区西 | SK311 | 13F-4E17 | 古代 | V | N-56°-W | 0.55 | 0.54 | 0.29 | 0.25 | 0.35 | 3.46 | 円形 | 半円状 | 3 | ○ | >SK291, SX383 | | 1 | 7 | |
| 147・148・150・159 | 203・218 | 2区西 | SK319 | 13F-4D20, 4E16 | 中世 | V | N-21°-W | 1.23 | 1.04 | 0.56 | 0.53 | 0.24 | 3.51 | 円形 | 皿状 | 4 | ○ | >SE63, SD3 <SK90 | | | | |
| 147・148・160 | 218 | 2区西 | SK320 | 13F-3D9 | 古代 | V | N-17°-W | - | - | 0.40 | 0.38 | 0.32 | 3.33 | 円形 | 半円状 | 2 | ○ | <SD246・309 | | 1 | 19 | |
| 147・148・158 | 214 | 2区西 | SK328 | 13F-4E6・7 | - | V | N-10°-W | - | 0.42 | - | 0.30 | 0.26 | 3.49 | - | 箱状 | 1 | ○ | >SD65 <SK228 | | | | |
| 148・160 | 218 | 2区西 | SK334 | 13F-5D5 | 古代 | V | N-67°-E | 0.80 | 0.48 | 0.70 | 0.37 | 0.06 | 3.78 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | |
| 148・160 | 218・219 | 2区西 | SK347 | 13F-5D3 | 古代 | V | N-4°-W | 0.67 | 0.52 | 0.42 | 0.30 | 0.15 | 3.63 | 楕円形 | 皿状 | 3 | ○ | >SD622 | | | | |
| 147・148・160 | 219 | 2区西 | SK351 | 13F-4D23, 5D3 | 古代 | V | N-16°-W | 0.74 | 0.65 | 0.40 | 0.28 | 0.15 | 3.59 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD622 | 239 | | | |
| 147・148・160 | 219 | 2区西 | SK356 | 13F-4D5 | 古代 | V | N-22°-W | - | 0.36 | 0.40 | 0.26 | 0.19 | 3.58 | 楕円形 | 箱状 | 2 | ○ | =SD329 | | | | |
| 147・148・160 | 219 | 2区西 | SK378 | 13F-3D23・24 | - | V | N-62°-E | 0.78 | 0.58 | 0.56 | 0.48 | 0.35 | 3.28 | 円形 | 台形状 | - | ○ | >SD358・359 | | | | |
| 147・160 | 219・220 | 2区西 | SK387 | 13F-3C17 | 中世 | V | N-81°-E | 0.58 | 0.35 | 0.36 | 0.22 | 0.08 | 3.50 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SD388 | | | | |
| 147・160 | 220 | 2区西 | SK393 | 13F-4B4・5 | 古代 | V | N-28°-E | 0.82 | 0.75 | 0.66 | 0.50 | 0.22 | 3.38 | 円形 | 半円状 | 2 | ○ | >SD394・463・519, P493 (SB3) | | | | |
| 147・160 | 220 | 2区西 | SK395 | 13F-4A10, 4B6 | 古代 | V | N-5°-E | - | 0.60 | 0.35 | 0.25 | 0.23 | 3.38 | 円形 | 半円状 | 1 | ○ | | | | | |
| 147・160 | 220 | 2区西 | SK396 | 13F-4A10・15 | 古代 | V | N-36°-E | 1.33 | 1.06 | 0.58 | 0.31 | 0.44 | 3.13 | 楕円形 | 半円状 | 4 | ○ | | 239 | 1 | 44 | |
| 147・148・153・160 | 220・221 | 2区西 | SK401 | 13F-5B9 | 中世 | V | N-54°-E | 1.05 | 0.93 | 0.85 | 0.76 | 0.07 | 3.56 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | >SE400 | | | | |
| 147・148・161 | 221 | 2区西 | SK404 | 13F-4D7・12 | 中世 | V | N-3°-W | 0.76 | 0.74 | 0.29 | 0.29 | 0.54 | 3.15 | 円形 | 台形状 | 5 | ○ | >SD420・425 | | | | |
| 147・148・161 | 221 | 2区西 | SK408 | 13F-6B3 | 古代 | V | N-71°-W | 0.49 | 0.40 | 0.24 | 0.22 | 0.11 | 3.58 | 円形 | 半円状 | 1 | ○ | >SD406・407 | | | | |
| 147・148・161 | 221 | 2区西 | SK426 | 13F-4D7・8 | 古代 | V | N-49°-W | 0.70 | 0.54 | 0.49 | 0.37 | 0.16 | 3.50 | 円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD425 | | | | |
| 147・148・161 | 221・222 | 2区西 | SK428 | 13F-3D18 | - | V | N-35°-W | (0.74) | (0.64) | (0.60) | (0.50) | 0.32 | 3.23 | 不整形 | 箱状 | 1 | ○ | <SD358・359 | | | | |
| 148・161 | 222 | 2区西 | SK447 | 13F-6B19・20・24・25, 6C21, 7B5 | 古代 | V | N-88°-E | - | 2.34 | - | 2.20 | 0.19 | 3.50 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SX666 =SK448 | 239 | 6 | 10 | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 | |
|-------------------------|-----------------|-----|-------|--|----|-----|------------|--------|--------|--------|--------|------|----------|-----|-----|----|-------|--|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | 深度 | | 平面 | 断面 | | | | | 点数 (点) | 重量 (g) | | |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | | |
| 148・161 | 222 | 2区西 | SK448 | 13F-6B25, 6C21, 7C1 | 古代 | V | N- 2° - E | 0.83 | 0.74 | 0.68 | 0.56 | 0.12 | 3.66 | 円形 | 皿状 | 1 | ○ | =SK447 | | | | | |
| 148・161 | 222 | 2区西 | SK469 | 13F-4E24・25, 5E4・5 | 古代 | V | N- 65° - W | - | 0.53 | - | 0.39 | 0.08 | 3.75 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | 239 | | | | |
| 147・148・153 | 222・223 | 2区西 | SK474 | 13F-3D21・22, 4D1・2 | 中世 | V | N- 35° - W | - | - | - | - | 0.11 | 3.49 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK565, SD483 | | | 鍛冶関連遺構 | | |
| 148・161 | 223 | 2区西 | SK503 | 13F-4E24 | 古代 | V | N- 6° - E | 1.13 | - | - | - | 0.06 | 3.70 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SK1・207 | | | | | |
| 147・161 | 223 | 2区西 | SK514 | 13F-2D24, 3D4 | 古代 | V | N- 53° - E | - | 0.80 | 0.48 | 0.34 | 0.42 | 3.14 | 方形 | 台形状 | 5 | ○ | >SD318 | | | | | |
| 147・148・162 | 223・224 | 2区西 | SK522 | 13F-4C4・9 | 中世 | V | N- 60° - E | 1.31 | 0.84 | 1.04 | 0.70 | 0.28 | 3.32 | 楕円形 | 台形状 | 3 | ○ | | 239・285~287 | 1 | 50 | 鍛冶関連遺構 | |
| 148・162 | 224 | 2区西 | SK533 | 13F-5D13・14 | 古代 | V | N- 42° - W | 1.27 | - | 0.95 | - | 0.07 | 3.79 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SD603 <SD2257, P1711 (SB5) | | | | | |
| 147・148・162 | 224 | 2区西 | SK534 | 13F-5B10 | - | V | N- 65° - E | 0.70 | 0.50 | 0.40 | 0.33 | 0.14 | 3.53 | 楕円形 | 半円状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 147・148・162 | 224・225 | 2区西 | SK535 | 13F-5B13 | 古代 | V | N- 22° - E | 0.83 | 0.54 | 0.47 | (0.36) | 0.26 | 3.42 | 楕円形 | 半円状 | 1 | ○ | | | | | | |
| 147・148・162 | 225 | 2区西 | SK545 | 13F-4D21 | 古代 | V | N- 1° - E | 0.66 | 0.34 | - | 0.11 | 0.17 | 3.55 | 楕円形 | 半円状 | 1 | ○ | | 239 | | | | |
| 147・148・153 | 207・225 | 2区西 | SK565 | 13F-3D21, 4D1・2 | 中世 | V | N- 27° - W | - | - | - | - | 0.26 | 3.31 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SK474・679 <SE433, SD483 | | | 鍛冶関連遺構 | | |
| 147・148・162 | 225 | 2区西 | SK600 | 13F-4D4・5・9・10 | 中世 | V | N- 82° - E | 0.68 | 0.60 | 0.46 | 0.18 | 0.45 | 3.17 | 円形 | 台形状 | 4 | ○ | >SE499 | | 1 | 57 | | |
| 147・148・162 | 226 | 2区西 | SK621 | 13F-4D16 | 中世 | V | N- 27° - W | 0.53 | - | - | 0.30 | 0.11 | 3.61 | 円形 | 半円状 | 1 | ○ | | | | SB5を構成 | | |
| 148・162 | 226 | 2区西 | SK628 | 13F-6C4・5・9・10 | 古代 | V | N- 35° - E | 1.65 | 0.89 | 1.26 | 0.60 | 0.18 | 3.61 | 楕円形 | 皿状 | 3 | ○ | >SD629 | | | | | |
| 148・162 | 226 | 2区西 | SK633 | 13F-6C13 | - | V | N- 11° - E | 0.78 | 0.40 | 0.49 | 0.25 | 0.10 | 3.65 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | | |
| 147・162 | 226 | 2区西 | SK636 | 13F-3B10・15 | 古代 | V | N- 86° - E | (0.74) | (0.62) | (0.52) | (0.40) | 0.20 | 3.42 | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 147・163 | 227 | 2区西 | SK637 | 13F-3B10, 3C6 | - | V | N- 66° - E | (0.83) | (0.50) | (0.64) | (0.32) | 0.15 | 3.46 | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | | | |
| 148・163 | 227 | 2区西 | SK640 | 13F-5C19・20 | 古代 | V | N- 44° - W | (1.68) | 0.75 | 1.52 | 0.59 | 0.14 | 3.58 | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | >SD422 | | 2 | 4 | | |
| 148・163 | 227 | 2区西 | SK668 | 13F-6D2 | 古代 | V | N- 76° - W | 1.60 | 0.41 | 0.38 | 0.23 | 0.19 | 3.64 | 楕円形 | 半円状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 147・148・163・165 | 227・231 | 2区西 | SK679 | 13F-4D1 | 中世 | V | N- 32° - W | 1.18 | - | 0.61 | - | 0.13 | 3.41 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SE433, SK565, SX634 | | | 鍛冶関連遺構 | | |
| 148・163 | 228 | 2区西 | SK693 | 13F-5C25 | - | V | N- 53° - E | 0.72 | 0.41 | 0.53 | 0.25 | 0.09 | 3.67 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | | | | | | |
| 147・148・163 | 228 | 2区西 | SK718 | 13F-3E23, 4E3 | 古代 | V | N- 54° - E | - | 1.00 | - | 0.71 | 0.21 | 3.67 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SD728 | | 1 | 1 | | |
| 148・163 | 228 | 2区西 | SK720 | 13F-5D7・8 | 古代 | V | N- 50° - W | 0.85 | 0.50 | 0.63 | 0.40 | 0.36 | 3.42 | 楕円形 | 箱状 | 3 | ○ | >SD732 | | | | | |
| 148・163 | 228 | 2区西 | SK734 | 13F-4E18・23 | 古代 | V | N- 7° - W | 0.70 | 0.56 | 0.41 | 0.27 | 0.22 | 3.62 | 円形 | 半円状 | 3 | ○ | | | | | | |
| 147・166 | 229 | 2区西 | SK937 | 13F-3C21 | - | V | N- 78° - E | 1.32 | 0.60 | 1.10 | 0.33 | 0.14 | 3.28 | 長方形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD359 | | | | | |
| 148・155 | 209 | 2区西 | SX11 | 13F-4E4・9 | 古代 | V | - | - | - | - | - | 0.26 | 3.59 | - | 皿状 | 3 | ○ | >SK18 <SX32 | 239・289 | 1 | 7 | | |
| 148・155 | 209 | 2区西 | SX32 | 13F-4E4・9 | - | V | N- 46° - E | - | 0.66 | - | 0.26 | 0.36 | 3.52 | - | 半円状 | 3 | ○ | >SX11 | | | | | |
| 148・163 | 229 | 2区西 | SX185 | 13F-5E6・7 | 古代 | V | N- 86° - W | 1.19 | 1.00 | 0.98 | 0.82 | 0.10 | 3.74 | 円形 | 皿状 | 3 | ○ | | | | | | |
| 147・148・155 | 203・229 | 2区西 | SX323 | 13F-4D15・20, 4E11・16 | 中世 | V | N- 47° - W | - | 1.47 | - | 1.05 | 0.30 | 3.43 | 円形 | 皿状 | 4 | ○ | >SE63 <SE9・14, SK17・151 | | | 3 | 24 | |
| 148・163 | 229 | 2区西 | SX352 | 13F-4E16・17・21 | 古代 | V | N- 44° - W | - | - | 1.15 | - | 0.21 | 3.57 | 楕円形 | 皿状 | 2 | ○ | >SX383 <SK17, SD3 | 239・256 | | 1 | 9 | |
| 147・148・164 | 229 | 2区西 | SX354 | 13F-4E6 | 古代 | V | N- 17° - E | - | 0.93 | - | 0.56 | 0.16 | 3.57 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | <SD65 | 240 | | 1 | 1 | |
| 148・164 | 230 | 2区西 | SX383 | 13F-4E16・17 | 古代 | V | - | - | - | - | - | 0.35 | 3.39 | 不整形 | 台形状 | 3 | ○ | <SK41・291・311, SX352 =SE14 | 240 | | 1 | 2 | |
| 148・164 | 230 | 2区西 | SX439 | 13F-5E4・5・9・10 | 古代 | V | N- 76° - W | - | 2.20 | - | 1.63 | 0.25 | 3.63 | 不整形 | 台形状 | 2 | ○ | <SD34 | 240 | | 2 | 60 | |
| 147・165 | 230 | 2区西 | SX445 | 13F-3B17・18・22・23 | 古代 | V | N- 48° - W | - | (2.09) | - | 1.79 | 0.27 | 3.35 | - | 皿状 | 3 | ○ | >SD478 | 240 | | | | |
| 147・148・165 | 230 | 2区西 | SX446 | 13F-5B20 | 古代 | V | N- 53° - E | 1.79 | 1.00 | 1.36 | 0.60 | 0.13 | 3.55 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | | 263 | | 1 | 3 | |
| 148・164 | 231 | 2区西 | SX475 | 13F-4E21・22, 5E2 | - | V | N- 1° - W | 1.94 | - | - | - | 0.08 | 3.69 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SD506 <SK41, SD3 | | | | | |
| 147・164 | 231 | 2区西 | SX494 | 13F-4B7~9・12・13 | 古代 | V | N- 90° - W | - | 1.82 | 3.10 | 1.32 | 0.23 | 3.40 | 不整形 | 皿状 | 1 | ○ | <SD463・478, P1063 (SB3) | 240 | | 2 | 45 | |
| 147・148・165 | 227・231・239 | 2区西 | SX634 | 13F-4C5・10, 4D1 | 中世 | V | N- 57° - W | (1.70) | - | (1.52) | - | 0.21 | 3.30 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SK679 <SD420 | | | 1 | 2 | 鍛冶関連遺構 |
| 148・165 | 231 | 2区西 | SX666 | 13F-6B8・9・12~14・18~20・24 | 古代 | V | - | - | - | - | - | 0.16 | 3.57 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SK447, SD674 | | | | | |
| 148・166 | 231・232 | 2区西 | SX680 | 13F-5C22・23, 6C2・3 | 古代 | V | N- 31° - W | 1.80 | 1.73 | 1.66 | 1.54 | 0.10 | 3.58 | 不整形 | 皿状 | 2 | ○ | | 240 | | | | |
| 148・150・159・163・164・166 | 218・229・231・232 | 2区西 | SD3 | 13F-4D8・9・14・20, 4E16・21・22, 5D5, 5E1・2・6 | 中世 | V | N- 46° - W | - | 0.70 | - | 0.30 | 0.53 | 3.27 | - | 半円状 | 7 | ○ | >SX352・475, SD349・425・483・536 <SE9・63・499, SK319 | 241・287 | | 5 | 73 | |
| | | | | | | | N- 35° - E | - | 1.00 | - | 0.35 | | | | | | | | | | | | |
| 147・148・166 | 232 | 2区西 | SD7 | 13F-4D14・19 | 中世 | V | N- 29° - W | - | 0.30 | - | 0.20 | 0.11 | 3.60 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SK89 >P707 (SB5) | | | | | |
| 148・166 | 232 | 2区西 | SD34 | 13F-5E9 | 古代 | V | N- 80° - E | - | 0.30 | - | 0.15 | | | | | | | | | | | | |
| 147・148・150・158・166 | 233 | 2区西 | SD54 | 13F-3B13・14・18~20・24・25, 3C21, 4B5, 4C1・6・7・11~13・17・18・23・24, 5C3~5・9・10・15, 5D6・11・12・16・17・21~23, 6D2~4・8・9 | 中世 | V | N- 36° - W | - | 1.45 | - | 0.85 | 0.36 | 3.48 | - | 台形状 | 4 | ○ | >SD143・394・463・519・538, P611 (SB3) <SD359 | 241・288 | | 6 | 43 | |
| 148・149・158・164・166・170 | 202・214・233・247 | 2区西 | SD65 | 13F-4E1・6・7・12・13 | 古代 | V | N- 46° - W | 7.30 | 0.40 | 7.00 | 0.20 | 0.19 | 3.59 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SX354 <SE39, SK46・328 | 241・256 | | 6 | 83 | |
| 147・148・150・158・166 | 233 | 2区西 | SD143 | 13F-3B20・25, 3C21, 4C1・2・6~8・12・13・18・19・23~25, 5C4・5・10, 5D6・11・12・17・18・22・23, 6D3・4・9 | 中世 | V | N- 37° - W | - | 0.80 | - | - | 0.29 | 3.43 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SE86, SK279, SD463・519 <SD54・359 | 241・256・263・282・288・289 | | 3 | 22 | |
| 147・148・157・167 | 211・234 | 2区西 | SD198 | 13F-4D10, 4E6・11 | 古代 | V | N- 38° - W | - | 0.40 | - | 0.15 | 0.18 | 3.56 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SK151 <SK199 | | | 1 | 19 | |
| 147・148 | 204・234 | 2区西 | SD246 | 13F-3D8~10・13 | 古代 | V | N- 65° - E | - | 0.30 | - | 0.15 | - | - | - | - | - | ○ | >SK320, SD309 <SE234 | 242・289 | | | | |
| 147・151・167 | 234 | 2区西 | SD275 | 13F-3C10・14・15, 3D6・7・11 | 古代 | V | N- 62° - E | 6.20 | 0.60 | 6.10 | 0.50 | 0.15 | 3.49 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SE226, SK308, SD297 | | | 1 | 1 | |
| 148・167 | 234 | 2区西 | SD278 | 13F-4E8・13 | 古代 | V | N- 55° - W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.05 | 3.76 | - | 皿状 | 2 | ○ | <SK310 | 263 | | | | |
| 147・159 | 217・234 | 2区西 | SD292 | 13F-2C15, 2D11・16・17・22 | - | V | N- 47° - W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.05 | 3.66 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SK293・294 | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 | |
|---------------------|---------------------|-----|-------|--|----|-----|--------------------|--------|------|------|------|----------|------|----|-----|-------|------|--|-------------|--------|----|--------|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | | 深度 | 平面 | | | | | 断面 | 点数 (点) | | 重量 (g) |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 147・153・160・167 | 205・234・235 | 2区西 | SD297 | 13F・3C6・7・11・12・14・17~19 | 古代 | V | N-40°-W N-64°-E | - | 1.00 | - | 0.80 | 0.09 | 3.50 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD275・372・388 <SE348, SK308 | | | | |
| 147・152・167 | 205・235 | 2区西 | SD300 | 13F・2C19・20・23・24, 2D16・21, 3C3~5, 3D1 | 中世 | V | N-71°-E N-10°-E | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.07 | 3.51 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SE301, SK293 <SE286 | | | | |
| 147・160・167 | 218・235 | 2区西 | SD309 | 13F・2D22, 3D2・3・8・9 | 古代 | V | N-45°-W | 5.40 | 0.70 | 5.00 | 0.60 | 0.21 | 3.35 | - | 箱状 | 1 | ○ | >SK320, SD516 <SD246・318 | 242 | 1 | 16 | |
| 147・152・161・167 | 235 | 2区西 | SD318 | 13F・3D2~5・7・8 | 古代 | V | N-66°-E | - | 0.75 | - | 0.60 | 0.07 | 3.50 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD309・516, P798 (SB1) <SK514 | | | | |
| 147・148・167 | 236 | 2区西 | SD324 | 13F・3D8・9・13・14 | 古代 | V | N-48°-W | 1.60 | 0.40 | 1.50 | 0.15 | 0.21 | 3.46 | - | 半円状 | 1 | ○ | >P178 (SB1) | | | | |
| 147・148・160・167 | 236 | 2区西 | SD329 | 13F・3D25, 4D4・5 | 古代 | V | N-50°-E | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.10 | 3.60 | - | 箱状 | 1 | ○ | <SE499 =SK356 | | | | |
| 147・148・167・168 | 236・242 | 2区西 | SD349 | 13F・3D16・17・22・23, 4D3・8 | 古代 | V | N-27°-W | - | 0.40 | - | 0.10 | 0.19 | 3.38 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SD536 <SE499, SD3・359 | | | | |
| 147・148・161・167 | 236・237 | 2区西 | SD358 | 13F・3D13・18・23 | 古代 | V | N-10°-W | - | - | - | 0.20 | 0.09 | 3.55 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SK428 <SK378, SD359 | 289 | 1 | 3 | |
| 147・161・165~167 | 221・229・233・236・237 | 2区西 | SD359 | 13F・3B21~25, 3C17~24, 3D11~13・16~18・23, 4B1~4 | 中世 | V | N-75°-E N-27°-W | - | 0.70 | - | 0.30 | 0.30 | 3.36 | - | 半円状 | 4 | ○ | >SK428・937, SD54・143・349・358・374・394・420・478, P841 (SB1) <SE230・457, SK378 | | 2 | 12 | |
| 147・167 | 234 | 2区西 | SD372 | 13F・3C13・14・18 | 古代 | V | N-55°-E | - | 0.30 | - | 0.15 | 0.06 | 3.50 | - | 皿状 | 1 | ○ | <SD297 | | 1 | 8 | |
| 147・166・167 | 237 | 2区西 | SD374 | 13F・3B20, 3C16・21 | - | V | N-53°-W | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.14 | 3.48 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD463・519 <SD359 | | | | |
| 147・160・167 | 219・235・237 | 2区西 | SD388 | 13F・3C11・12・17・18 | 古代 | V | N-37°-W N-87°-E | - | 0.15 | - | 0.05 | 0.07 | 3.40 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SK387, SD297 | | | | |
| 147・167 | 237・238 | 2区西 | SD394 | 13F・3B18・23・24, 4B4・5・10, 4C6 | 古代 | V | N-50°-W | - | 0.50 | - | 0.25 | 0.16 | 3.43 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SK393, SD54・359・463・519 | 242 | | | |
| 147・167 | 238 | 2区西 | SD397 | 13F・4B12・17・18・23 | 古代 | V | N-19°-W | 4.30 | 0.30 | 3.70 | 0.15 | 0.20 | 3.46 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SD463・519 | | 1 | 3 | SB3周溝 |
| 147・148・168 | 238 | 2区西 | SD403 | 13F・4B24・25, 4C16・21 | 古代 | V | N-68°-E | 5.50 | 0.30 | 4.90 | 0.15 | 0.13 | 3.54 | - | 皿状 | 2 | ○ | | | | | SB3周溝 |
| 148・165・168 | 238・239 | 2区西 | SD405 | 13F・5B21・22, 6B2・3・8・9・14・15・20, 6C16・21・22, 7C2・3 | 古代 | V | N-46°-W | - | 0.30 | - | 0.15 | 0.19 | 3.50 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SD673・674 | | | | |
| 148・165・168 | 238・239 | 2区西 | SD406 | 13F・5B22, 6B2~4・8~10・14・15・20, 6C11・16・17・22・23, 7C3 | 古代 | V | N-47°-W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.20 | 3.51 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SD673・674 <SK408 =SD407 | 242 | | | |
| 148・165・168 | 238・239 | 2区西 | SD407 | 13F・5B22・23, 6B3・4・9・10・15, 6C11・16・17・22・23, 7C3・4 | 古代 | V | N-47°-W | - | 0.30 | - | 0.15 | 0.18 | 3.52 | - | 半円状 | 1 | ○ | >SD673 <SK408 =SD406 | 263 | | | |
| 147・161・165・167・168 | 221・231・237・239 | 2区西 | SD420 | 13F・3C23・24, 4C4・5・10, 4D1・6・7・12 | 中世 | V | N-51°-W | - | 0.30 | - | 0.15 | 0.21 | 3.36 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SX634, SD450 <SE431, SK404, SD359 | | | | |
| 147・148・154・166・168 | 208・233・239・240 | 2区西 | SD422 | 13F・4C22・23, 5C1・2・7・8・13・14・19 | 古代 | V | N-40°-E N-44°-W | - | 0.75 | - | 0.30 | 0.21 | 3.49 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SE547, SK640, SD538 | 242・243・289 | 1 | 31 | |
| 147・148・161・168 | 221・240 | 2区西 | SD425 | 13F・4D7・8・11・12 | - | V | N-60°-E | - | 0.20 | - | 0.10 | 0.12 | 3.54 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SD483, P1116 (SB5) <SK404・426, SD3 | | | | |
| 148・168 | 240 | 2区西 | SD438 | 13F・4E25, 4F21, 5E5, 5F1 | 古代 | V | N-41°-W | - | 0.50 | - | 0.30 | 0.19 | 3.66 | - | 半円状 | 1 | ○ | | 243 | 1 | 3 | |
| 147・148・158・168 | 216・240 | 2区西 | SD450 | 13F・4C5・9・10・13・14 | 古代 | V | N-38°-E | - | 0.60 | - | 0.35 | 0.21 | 3.33 | - | 台形状 | 3 | ○ | >SD572 <SK279, SD420 | 243 | | | |
| 147・148・168 | 241 | 2区西 | SD454 | 13F・5D1・2・7 | 中世 | V | N-49°-W | - | 0.70 | - | 0.10 | 0.49 | 3.30 | - | 台形状 | 3 | ○ | >SD623, P1582 (SB5) | 244 | 6 | 66 | |
| 148・168 | 241 | 2区西 | SD455 | 13F・5D6・7・11・12 | 中世 | V | N-38°-W | 3.10 | 0.40 | 2.80 | 0.20 | 0.43 | 3.32 | - | 箱状 | 4 | ○ | >SD732, P735 (SB5) | | | | |
| 147・167・168 | 237・238・241 | 2区西 | SD463 | 13F・3B25, 4B4・5・9・13・14・17・18・22・23, 5B1・2 | 古代 | V | N-30°-E | - | 0.35 | - | 0.20 | 0.26 | 3.39 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SX494, SD394・478・519 <SK393, SD54・143・374・397, P1165 (SB3) | | | | |
| 147・164・165・168 | 230・231・241・242 | 2区西 | SD478 | 13F・3B21~23, 4B2~4・8・9 | 古代 | V | N-47°-W | - | 1.10 | - | 0.80 | 0.24 | 3.38 | - | 台形状 | 2 | ○ | >SX494 <SE457, SX445, SD359・463・519 | | | | |
| 147・148・166・168 | 232・242 | 2区西 | SD483 | 13F・4D1~3・7~9・13・14 | 中世 | V | N-51°-W | - | 1.40 | - | 0.60 | 0.38 | 3.26 | - | 皿状 | 2 | ○ | >SK474・565, SD536 <SD3・425 | 244 | | | |
| 148・168 | 242 | 2区西 | SD506 | 13F・4E22, 5E2・3・8 | 古代 | V | N-57°-W | - | 0.75 | - | 0.20 | 0.20 | 3.64 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SX475 | | | | |
| 147・167 | 235 | 2区西 | SD516 | 13F・3D2・3 | - | V | N-44°-W | - | - | - | - | 0.20 | 3.36 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD309・318 | | | | |
| 147・167・168 | 237・238・241 | 2区西 | SD519 | 13F・4B4・5・9・13・14・18・22・23, 5B2・7 | 古代 | V | N-31°-E | - | 0.50 | - | 0.20 | 0.18 | 3.48 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SD394・478 <SK393, SD54・143・374・397・463, P1165(SB3) | 244 | | | |
| 147・148・168 | 242 | 2区西 | SD536 | 13F・4D2・3・8 | - | V | N-40°-W | - | - | - | 0.10 | 0.11 | 3.53 | - | - | 2 | ○ | <SD3・349・483 | | | | |
| 147・148・166 | 233・242 | 2区西 | SD538 | 13F・4C17・18・22・23, 5C3・4 | 古代 | V | N-52°-W | - | 0.55 | - | 0.35 | 0.07 | 3.59 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD422 <SD54 | | | | |
| 147・148・162・169 | 226・242・243 | 2区西 | SD564 | 13F・4C14・15・20, 4D16・17・21・22 | 古代 | V | N-47°-W | - | 0.80 | 0.25 | 0.40 | 0.32 | 3.42 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SK621, SD622・623 | 244・245 | 1 | 7 | |
| 147・148・169 | 243 | 2区西 | SD572 | 13F・4C14・19 | 古代 | V | N-37°-W | - | 0.40 | - | 0.25 | 0.05 | 3.65 | - | 皿状 | 1 | ○ | >SD593 <SK279, SD450 | | | | |
| 147・148・169 | 243 | 2区西 | SD574 | 13F・5B7・8 | 古代 | V | N-84°-W | 1.70 | 0.30 | 1.50 | 0.10 | 0.20 | 3.48 | - | 半円状 | 2 | ○ | | | | | |
| 147・148・169 | 243・244 | 2区西 | SD593 | 13F・4C14 | - | V | N-61°-E | - | 0.25 | - | 0.10 | 0.07 | 3.61 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD572 =SK279 | | | | |
| 148・169 | 244 | 2区西 | SD603 | 13F・5D14・19・20 | 古代 | V | N-47°-W | - | 0.50 | - | 0.10 | 0.17 | 3.75 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SK533 | 245 | 1 | 33 | |
| 148・169 | 244 | 2区西 | SD606 | 13F・4E17 | 古代 | V | N-55°-W | - | 0.20 | - | 0.10 | 0.11 | 3.71 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SK154 | | 2 | 6 | |
| 147・148 | 244 | 2区西 | SD622 | 13F・4D22・23, 5D3 | 古代 | V | N-10°-W N-57°-W | - | 0.35 | - | 0.20 | - | - | - | - | - | - | <SK347・351, SD564 | | | | |
| 147・148・169 | 244 | 2区西 | SD623 | 13F・4D22, 5D2 | 古代 | V | N-32°-E | - | 0.25 | - | 0.10 | 0.10 | 3.64 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD454・564 | | | | |
| 148・169 | 244・245 | 2区西 | SD629 | 13F・5C23・24, 6C4・5・9・10 | 古代 | V | N-37°-W | 6.75 | 0.80 | 6.60 | 0.60 | 0.19 | 3.61 | - | 皿状 | 2 | ○ | <SK628 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 区 | 遺構 | グリッド | 時代 | 確認面 | 主軸方位 | 規模 (m) | | | | 底面座標 (m) | 形態 | | 覆土 | 遺物の有無 | 重複関係 | 遺物図版No. | 礫 | | 備考 | |
|-----------------|-------------|-----|--------|-----------------------------|----|-----|---------|--------|------|------|------|----------|------|----|-----|-------|------|--------------------------|-----|--------|-------|--------|
| | | | | | | | | 上端 | | 下端 | | | 深度 | 平面 | | | | | 断面 | 点数 (点) | | 重量 (g) |
| | | | | | | | | 長軸 | 短軸 | 長軸 | 短軸 | | | | | | | | | | | |
| 148・169 | 245 | 2区西 | SD630 | 13F-6C10, 6D6・11・12 | 中世 | V | N-48°-W | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.12 | 3.72 | - | 半円状 | 1 | ○ | | | | | |
| 148・169 | 245・246 | 2区西 | SD631 | 13F-5C25, 5D21・22, 6D1・2 | 古代 | V | N-52°-W | - | 0.50 | 3.50 | 0.25 | 0.22 | 3.58 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD632 | | | | |
| 148・169 | 245・246 | 2区西 | SD632 | 13F-5C24・25, 5D21, 6C5, 6D1 | 古代 | V | N-49°-W | 3.90 | 0.70 | 3.80 | 0.50 | 0.18 | 3.62 | - | 台形状 | 1 | ○ | >SD631 | 2 | 45 | | |
| | | | | | | | N-51°-E | 1.70 | 0.60 | 1.65 | 0.45 | | | | | | | | | | | |
| 147・148・169 | 246 | 2区西 | SD673 | 13F-6B2~4・9 | 古代 | V | N-57°-W | 5.00 | 0.30 | 4.90 | 0.20 | 0.09 | 3.62 | - | 半円状 | 1 | ○ | <SD405~407・674 | | | | |
| | | | | | | | N-48°-E | - | - | - | - | | | | | | | | | | | |
| 147・148・168・169 | 238・246 | 2区西 | SD674 | 13F-6B2・3・7・8 | - | V | N-43°-W | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.12 | 3.57 | - | 半円状 | 2 | ○ | >SD673 <SX666, SD405・406 | | | | |
| | | | | | | | N-27°-E | - | - | - | - | | | | | | | | | | | |
| 147・148・169 | 246 | 2区西 | SD721 | 13F-3E17・21・22 | 古代 | V | N-52°-E | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.16 | 3.56 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SK152・288 | | | | |
| 148・169 | 246・247 | 2区西 | SD726 | 13F-4E12・13・17・18 | 古代 | V | N-39°-W | - | 0.40 | - | 0.20 | 0.20 | 3.62 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SE39, SK154 | | | | |
| 147・148・169 | 247 | 2区西 | SD728 | 13F-3E22・23 | 古代 | V | N-50°-W | - | 0.30 | - | 0.10 | 0.12 | 3.63 | - | 半円状 | 2 | ○ | <SK718 | | | | |
| 148・169 | 247 | 2区西 | SD732 | 13F-5D6・7・8・13 | 古代 | V | N-50°-W | - | 0.40 | - | 0.25 | 0.37 | 3.42 | - | 箱状 | 3 | ○ | <SK720, SD455・2257 | | | | |
| | | | | | | | N-85°-W | - | 0.40 | - | 0.20 | | | | | | | | | | | |
| 148・162・169 | 224・232・247 | 2区西 | SD2257 | 13F-5D5・9・10・13~15, 5E1・6 | 古代 | V | N-58°-E | - | 0.85 | 6.50 | 0.40 | 0.55 | 3.34 | - | 台形状 | 7 | ○ | >SK533, SD732 | 245 | | | |
| 148 | | 2区西 | Pit25 | 13F-4E25 | - | V | N-11°-E | 0.52 | 0.41 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 289 | |
| 148 | | 2区西 | Pit44 | 13F-5E8・9 | 古代 | V | N-30°-W | 0.35 | 0.32 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 148 | | 2区西 | Pit128 | 13F-4E13 | 古代 | V | N-15°-E | 0.35 | 0.31 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit137 | 13F-4E7 | 古代 | V | N-41°-W | 0.19 | 0.15 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit144 | 13F-4E3 | 古代 | V | N-63°-W | 0.35 | 0.31 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit145 | 13F-4E3 | 中世 | V | N-60°-W | 0.42 | 0.37 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148 | 213・214 | 2区西 | Pit210 | 13F-3E16・21 | 中世 | V | N-0°-S | 0.69 | 0.52 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit221 | 13F-3E11 | 中世 | V | N-22°-W | 0.50 | 0.45 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit241 | 13F-3E22・23 | 古代 | V | N-5°-E | 0.24 | 0.20 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148・170 | | 2区西 | Pit250 | 13F-4E7 | - | V | N-15°-W | 0.21 | 0.20 | - | - | 0.17 | 3.59 | - | 円形 | 半円状 | - | ○ | | | | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit282 | 13F-4E6 | 古代 | V | N-65°-E | 0.41 | 0.32 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148・159 | 216 | 2区西 | Pit296 | 13F-3E17 | - | V | N-83°-W | 0.40 | 0.35 | - | - | 0.61 | 3.09 | - | 楕円形 | 台形状 | 1 | ○ | | | 280 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit314 | 13F-3D9 | 古代 | V | N-12°-W | 0.46 | 0.31 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit316 | 13F-4E11 | 古代 | V | N-17°-W | 0.38 | 0.35 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148・170 | 247 | 2区西 | Pit326 | 13F-4E7 | - | V | N-5°-E | 0.32 | 0.29 | - | - | 0.30 | 3.46 | - | 楕円形 | 半円状 | 1 | ○ | | | | |
| 147・148・170 | 247 | 2区西 | Pit327 | 13F-4E7 | - | V | N-28°-E | 0.42 | 0.36 | - | - | 0.17 | 3.60 | - | 円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | | |
| 147・148・170 | 247 | 2区西 | Pit346 | 13F-4E7 | - | V | N-52°-E | 0.42 | 0.32 | - | - | 0.09 | 3.67 | - | 楕円形 | 皿状 | 1 | ○ | | | | |
| 148 | | 2区西 | Pit361 | 13F-5E10 | 古代 | V | N-81°-W | 0.28 | 0.26 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 148 | | 2区西 | Pit379 | 13F-4E21 | 古代 | V | N-0°-S | 0.29 | 0.28 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 256 | |
| 148 | | 2区西 | Pit386 | 13F-4D25 | 古代 | V | N-39°-W | 0.25 | 0.22 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147 | | 2区西 | Pit465 | 13F-4B16 | 古代 | V | N-0°-S | 0.42 | 0.35 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit518 | 13F-5B3 | 古代 | V | N-17°-W | 0.32 | 0.30 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit528 | 13F-4C15 | - | V | N-25°-E | 0.48 | 0.36 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 289 | |
| 147・148・170 | | 2区西 | Pit544 | 13F-4D21 | - | V | N-48°-W | 0.20 | 0.19 | - | - | 0.08 | 3.64 | - | 円形 | 箱状 | - | ○ | | | | |
| 147・148 | 225 | 2区西 | Pit551 | 13F-4C25 | 古代 | V | N-68°-E | 0.70 | - | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148・170 | 225・248 | 2区西 | Pit557 | 13F-4D21 | 古代 | V | N-48°-W | 0.52 | 0.40 | - | - | 0.26 | 3.46 | - | 楕円形 | 台形状 | 2 | ○ | | | 245 | |
| 148 | | 2区西 | Pit569 | 13F-5E16 | 古代 | V | N-53°-E | 0.62 | 0.40 | - | - | - | - | - | 方形 | - | - | ○ | | | 245 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit570 | 13F-5D2・7 | 古代 | V | N-35°-W | 0.42 | 0.41 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 148 | | 2区西 | Pit577 | 13F-7C2 | 古代 | V | N-55°-W | 0.40 | 0.32 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 148 | | 2区西 | Pit581 | 13F-7C3 | 古代 | V | N-44°-E | 0.21 | 0.20 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 148 | | 2区西 | Pit643 | 13F-6D1 | 古代 | V | N-33°-W | 0.30 | 0.29 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit648 | 13F-5C9 | 古代 | V | N-86°-E | 0.45 | 0.41 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 148 | | 2区西 | Pit664 | 13F-7C3 | 古代 | V | N-74°-E | 0.21 | 0.19 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 148 | | 2区西 | Pit687 | 13F-5D12・13 | 古代 | V | N-50°-E | 0.66 | 0.41 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit704 | 13F-5C5 | 古代 | V | N-0°-S | 0.21 | 0.17 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 263 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit727 | 13F-3E23, 4E3 | 古代 | V | N-24°-E | 0.35 | 0.25 | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit731 | 13F-5D2・3 | 古代 | V | N-86°-E | 0.59 | 0.58 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit738 | 13F-4E3 | 古代 | V | N-45°-E | 0.36 | 0.31 | - | - | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 147・148 | | 2区西 | Pit740 | 13F-4D5 | 古代 | V | N-39°-E | - | - | - | - | - | - | - | 楕円形 | - | - | ○ | | | 246 | |
| 19・20 | 253 | 4 | SD1 | 13H-3E22・23, 4E2 | - | IVa | N-25°-E | - | 0.32 | - | 0.16 | 0.12 | 3.72 | - | 皿状 | 1 | ○ | | | | 4区-12 | |
| 15 | 250 | 4 | SD3 | 14F-9E4・5・10, 9F1・6 | 古代 | IVd | N-80°-W | - | - | - | - | (0.50) | 2.53 | - | 皿状 | 5 | ○ | | | | 252 | |
| 19・20 | 253 | 4 | Pit2 | 13H-4E3 | - | IVa | N-48°-W | 0.18 | 0.16 | 0.06 | 0.06 | - | - | - | 円形 | - | - | ○ | | | 4区-3 | |
| 15 | 251 | 4 | Pit4 | 14F-9F1 | - | IVd | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | | | 280 | |
| 15 | 251 | 4 | Pit5 | 14F-8F21, 9F1 | - | IVd | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | | | 281 | |

別表4 第19・22・24次調査 沖ノ羽遺跡土器・陶磁器観察表

- 凡例 1 出土位置 遺構名・グリッド名を記した。
 2 器種 第V章に記した。
 3 器高指数 器高/口径×100
 4 底径指数 底径/口径×100
 5 法量 口径・底径・器高を示す。依存率の低いもの、ゆがみの可能性のあるものは括弧付の数値はで表した。
 6 胎土 胎土中に含まれる鉱物・小礫等について記した。「石」は石英粒、「長」は長石粒、「雲」は金雲母あるいは黒雲母、「チ」はチャート、「白」は白色凝灰石、「角」は角閃石、「赤」は赤色粒子、「海」は海綿骨針を表す。
 7 色調 『新版標準土色帳』[小山・竹原 1967]の記号を記した。
 8 焼成 酸化炭焼成・還元炭焼成の区別を記した。須恵器で酸化したもの褐色あるいは橙色の色調で軟質なものを表す。白色・灰白色のものは含めていない。
 9 手法 特徴的な手法のみを記し、網羅的な記載は行っていない。底部の「糸切り」・「ヘラ切り」はいずれも回転台を用いたものである。回転方向は回転台の回転方向を表す。底部調整やロクロケズリ・ロクロナデから判断した。
 10 遺存率 分数表示で遺存割合を示した。

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|-----|------|-----------------|-------|----|------|---------|-------|--------|-------|-------|------|------|---------|----|------------------|----|-----------|-------|---------|----|-------|-------|-------|----|-------|---------------------------------------|
| | | | 年次 | 区 | | | | | | 遺構名 | グリッド | 口径 | | | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | 外面 | | 内面 | 底部 | 口縁部 | 底部 | 全体 | | 外面 | 内面 |
| 174 | 259 | 1 | 19 | 5区西 | SK8 | 15E-9D1 | 1, IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 12.0 | 6.8 | 3.2 | 27 | 57 | 長 | B | 灰 (10Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 20/36 | 10/36 | | | 5区西-4 |
| 174 | 259 | 2 | 19 | 5区西 | SK8 | 15E-9D1 | 1 | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | | 石・長 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | 5区西-4 | |
| 174 | 259 | 3 | 19 | 5区西 | SK8 | 15E-9D1 | 1 | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | | 5.5 | | | | 石・長・チ | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ミガキ、ケズリ | ミガキ | 糸切り後ミガキ | | | 31/36 | | | | 5区西-4 |
| 174 | 259 | 4 | 19 | 5区西 | SD6 | 15E-8D18 | 2, 3 | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 14.0 | | | | | 石・長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 10/36 | | | | 5区西-4 | |
| 174 | 259 | 5 | 19 | 5区西 | SD6 | 15E-8D18 | 3, IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.0 | | | | | 石・長 | B | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | 5区西-4 | |
| 174 | 259 | 6 | 19 | 5区西 | SD6 | 15E-8D15、9D1 | 2, IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 2 | (13.0) | (5.0) | (4.3) | (33) | (38) | 石・長・チ | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 2/36 | 3/36 | 5/36 | | | 5区西-4 |
| 174 | 259 | 7 | 19 | 5区西 | SD6 | 15E-8D10・15、9D1 | 1, IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 4.8 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 22/36 | | | | 5区西-4 |
| 174 | 259 | 8 | 19 | 5区西 | SD11 | 15E-10A24 | 1 | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 7.0 | | | | 石・長・チ・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ヘラナデ | | | | | 9/36 | | | | 5区西-4 |
| 174 | 259 | 9 | 19 | 5区西 | 河12 | 15E-8D22 | 1 | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | 13.0 | 7.0 | 4.0 | 31 | 54 | 長 | D | オリーブ灰 (2.5GY5/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 9/36 | 4/36 | | | 5区西-4 |
| 174 | 259 | 10 | 19 | 5区西 | 河12 | 15E-8D22 | 1 | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.0 | | | | | 石・長 | B | 灰白 (7.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | 5区西-4 | |
| 174 | 259 | 11 | 19 | 5区西 | 河12 | 15E-8D22 | 1 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.0 | | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | 5区西-4 | |
| 174 | 259 | 12 | 19 | 5区西 | 河12 | 15E-8D22 | 1 | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 5.0 | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 36/36 | | | | 5区西-4 |
| 174 | 259 | 13 | 19 | 5区西 | 河12 | 15E-8D22 | 1 | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 5.9 | | | | 石・長・チ | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | 5区西-4 |
| 174 | 259 | 14 | 19 | 5区西 | | 15E-9D1 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 11.4 | 7.0 | 3.0 | 26 | 61 | 長 | B | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 9/36 | 7/36 | | | 5区西-4 |
| 174 | 259 | 15 | 19 | 5区西 | | 15E-9D1 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.2 | 7.0 | 2.8 | 23 | 57 | 石・長 | B | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 11/36 | 18/36 | 15/36 | | | 5区西-4 |
| 174 | 259 | 16 | 19 | 5区西 | | 15E-7F11 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.7 | 8.0 | 3.9 | 31 | 63 | 長 | A | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 9/36 | 18/36 | 12/36 | | | 5区西-3 |
| 174 | 259 | 17 | 19 | 5区西 | | 15E-7E20 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.0 | 10.4 | 3.9 | 28 | 74 | 石・長 | C | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 13/36 | 18/36 | 17/36 | | | 底部外面ヘラ記号「++」 5区西-3 |
| 174 | 259 | 18 | 19 | 5区西 | | 15E-9C10 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.1 | 9.4 | 4.1 | 29 | 67 | 石・長・チ | C | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 6/36 | 21/36 | 12/36 | | | 体部外面・倒位墨書「三」、 底部外面ヘラ記号「×」 5区西-4 |
| 174 | 259 | 19 | 19 | 5区西 | | 15E-10B4 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 9.0 | | | | 長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 10/36 | | | | 5区西-5 |
| 174 | 259 | 20 | 19 | 5区西 | | 15E-9C13・17 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.1 | | 1.8 | 13 | | 長 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 30/36 | | 32/36 | | | 5区西-5 |
| 174 | 259 | 21 | 19 | 5区西 | | 15E-8D22、9D1 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 石・白 | B | 褐灰 (10YR5/1) | 還元 | カキメ、タタキメ | H | 当て具痕 | D | | | | | | 5区西-4 |
| 175 | 259 | 22 | 19 | 5区西 | | 15E-10B4 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | | | | | | 長 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | カキメ、タタキメ | H | 当て具痕 | D | | | | | 自然釉 | 5区西-5 |
| 175 | 259 | 23 | 19 | 5区西 | | 15E-8D15 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.0 | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 19/36 | | | | 5区西-4 |
| 175 | 259 | 24 | 19 | 5区西 | | 15E-8D22 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.8 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 20/36 | | | | 5区西-4 |
| 175 | 259 | 25 | 19 | 5区西 | | 15E-9C17 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | | 6.0 | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ケズリ | ミガキ | 糸切り後ミガキ | | | 15/36 | | | | 5区西-5 |
| 175 | 259 | 26 | 19 | 5区西 | | 15E-7E20 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 11.2 | | | | | 長・チ | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | 5区西-3 |
| 175 | 259 | 27 | 19 | 5区西 | | 15E-7F11 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 15.8 | | | | | 長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | 5区西-3 |
| 175 | 259 | 28 | 19 | 5区西 | | 15E-7E19 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 21.2 | | | | | 長・チ | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | 5区西-3 |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | |
|-------|---------|--------|------|-----|------|-----------------------|--------|----|------|-----|-----|---------|--------|-----|------|---------|-----------------|----------------|----------------|-----------|-----------------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------|-------------------|-------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 胎土 | 産地 | 外面 |
| 175 | 260 | 29 | 19 | 5区西 | | 15E-10B4 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 19.6 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | H | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | | 5区西-5 | | | |
| 175 | 260 | 30 | 19 | 5区西 | 工事立会 | 15G-4I | | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | 9.0 | | | | 長 | C | 灰白 (7.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | 自然釉 | | | | |
| 175 | 260 | 31 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 13.0 | | | | 石・長・白 | C | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | 5区東-5 | | |
| 175 | 260 | 32 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 10.0 | | | 長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 11/36 | | | | | | 5区東-5 | | |
| 175 | 260 | 33 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 2 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 7.9 | | | 長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 右 | 36/36 | | | | | | 5区東-5 | | |
| 175 | 260 | 34 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 10.0 | | | 長 | C | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 9/36 | | スス | スス | | | 5区東-5 | | |
| 175 | 260 | 35 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17、9F9 | 1、IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.1 | 9.1 | 4.1 | 31 | 69 | 長 | C | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 右 | 21/36 | 36/36 | 23/36 | | | 底部内面ヘラ記号「 」5区東-5 | |
| 175 | 260 | 36 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 1 | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 15.0 | | | | 石・長 | C | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | 自然釉 | | 5区東-5 | | |
| 175 | 260 | 37 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 1 | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 15.0 | | | | 石・長 | C | 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | 5区東-5 | | |
| 175 | 260 | 38 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 1 | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | (15.6) | | | | 石・長 | C | 灰白 (7.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | 5区東-5 | | |
| 175 | 260 | 39 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 2、IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 17.5 | 10.0 | 5.2 | 30 | 57 | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | ケズリ | 6/36 | 21/36 | 10/36 | | | | 内外面赤彩 体部内面磨耗 5区東-5 | | |
| 175 | 260 | 40 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17・21 | 1、2、IV | 古代 | 土師器 | 蓋 | | 18.8 | | | | 石・長・チ・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | | 内外面赤彩 5区東-5 | | |
| 175 | 260 | 41 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 1 | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | | 6.7 | | | | 長 | 灰黄 (2.5Y6/2) | 酸化 | ミガキ | | ミガキ | | 糸切り後ミガキ | | 11/36 | | | | | | | 内外面黒色処理 5区東-5 | |
| 176 | 260 | 42 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 1、2、IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 16.0 | | | | 石・チ | 灰褐 (7.5YR6/2) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | | | 5区東-5 | |
| 176 | 260 | 43 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 1 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | (16.0) | | | | 石・チ | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ、カキメ | | | 3/36 | | | | | | | | 5区東-5 | |
| 176 | 260 | 44 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 2 | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | 7.0 | | | | 石 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ、カキメ | | 糸切り | | 4/36 | | | | | | | | 5区東-5 |
| 176 | 260 | 45 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17、14F-8F、8G、9F | 1、排土 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 19.0 | | | | 石・長・チ | 漆橙 (5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ | | | 13/36 | | | | | | | | 5区東-5 | |
| 176 | 260 | 46 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 1、2 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 22.0 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ、カキメ | | | 6/36 | | | | | | | | 5区東-5 | |
| 176 | 260 | 47 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 2 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 22.0 | | | | 石・長 | 漆黄 (2.5Y8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ、カキメ、ヘラケズリ | | | 6/36 | | | | コゲ | | | | 5区東-5 | |
| 176 | 260 | 48 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17 | 2 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 24.0 | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ、カキメ | | | 5/36 | | | | スス | スス | | | 5区東-5 | |
| 176 | 260 | 49 | 19 | 5区東 | SK2 | 14F-8G17、9F1 | 2、IVb | 古代 | 土師器 | 鍋 | A | (42.0) | | | | 石・長・雲・角 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ヘラケズリ | | ナデ | | | 3/36 | | | | | | | | 24次4区-3接合 5区東-5 | |
| 176 | 260 | 50 | 19 | 5区東 | SX19 | 13H-3F21 | | 古墳 | 土師器 | 杯 | | 16.4 | 6.0 | 5.9 | 36 | 37 | 長・チ | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ヨコナデ | | ミガキ | | ヘラケズリ | 10/36 | 36/36 | 20/36 | | | | | 内面黒色処理 5区東-14 | |
| 176 | 260 | 51 | 19 | 5区東 | SX19 | 13H-3F21・22 | IV | 古墳 | 土師器 | 高杯 | | 8.3 | | | | 長・チ | 黄橙 (10YR8/6) | 酸化 | ヨコナデ、ヘラケズリ | | ミガキ | | 脚部内面ハケメ | | 24/36 | | | | | | | 内面黒色処理 5区東-14 | |
| 176 | 260 | 52 | 19 | 5区東 | SX19 | 13H-3F21・22 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | 19.4 | | | | 石・長・チ | 灰黄 (2.5Y7/2) | 酸化 | ヨコナデ、ミガキ | | ヨコナデ、ヘラケズリ | | | 12/36 | | | | | | | | 5区東-14 | |
| 176 | 260 | 53 | 19 | 5区東 | SD4 | 13G-8J16、9I4 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.4 | 9.4 | 2.7 | 20 | 70 | 長 | C | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 5/36 | 7/36 | 6/36 | | | | SD8接合 5区東-12 | |
| 176 | 260 | 54 | 19 | 5区東 | SD4 | 13G-9I4 | 1、IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | (14.6) | (10.0) | 3.2 | (22) | (68) | 石・長・白 | C | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 2/36 | 5/36 | 2/36 | | | | 5区東-12 | |
| 176 | 260 | 55 | 19 | 5区東 | SD4 | 13G-9I3・7 | 1、IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | (22.3) | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ、カキメ | | | 3/36 | | | | スス | | | | 5区東-12 | |
| 176 | 260 | 56 | 19 | 5区東 | SD5 | 13G-9I4 | 1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.6 | 9.8 | 3.5 | 26 | 72 | 石・長・白 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 6/36 | 11/36 | 5/36 | | | | | 5区東-12 |
| 176 | 260 | 57 | 19 | 5区東 | SD5 | 13G-9I4 | 1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 14.0 | | | | 長 | C | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | | | 5区東-12 |
| 176 | 260 | 58 | 19 | 5区東 | SD5 | 13G-9I4 | 1 | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | (18.4) | | | | 石・長 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | | | | 5区東-12 |
| 176 | 260 | 59 | 19 | 5区東 | SD5 | 13G-9I4 | 1 | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | 9.8 | | | | 石・チ | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ハケメ | | ヘラケズリ | | | 4/36 | | | | | | | | 5区東-12 | |
| 177 | 261 | 60 | 19 | 5区東 | SD5 | 13G-9I4 | 1 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Aa | 15.0 | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ハケメ | | ハケメ | | | 9/36 | | | | | | スス・コゲ | | | 5区東-12 |
| 177 | 261 | 61 | 19 | 5区東 | SD5 | 13G-9I4 | 1 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | (14.0) | | | | 長 | 明褐灰 (7.5YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | スス | | | | | 5区東-12 |
| 177 | 261 | 62 | 19 | 5区東 | SD8 | 13G-8J16、9I3・4 | 2、IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 15.8 | | | | 長 | D | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | 自然釉 | | | | 5区東-12 |
| 177 | 261 | 63 | 19 | 5区東 | SD15 | 13H-3F21 | | 古墳 | 土師器 | 甕 | | 19.4 | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ハケメ | | ハケメ | | | 4/36 | | | | | | | | | 東北系か 5区東-14 |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|-----|------|----------------------|-------|----|-----|-----|------|---------|------|-----|------|---------|-----------------|--------------------|----------|--------------------|--------------------------|----------|------|-------|-------|-------|-----|---------------------|------------------------------|----------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 177 | 261 | 64 | 19 | 5区東 | SD15 | 13H-3F21、4E13 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | 12.4 | | | | 石・長・チ・白 | 檀 (5YR7/6) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 10/36 | | | | | | Pit16接合 5区東-14 |
| 177 | 261 | 65 | 19 | 5区東 | Pit1 | 14F-9F8 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.8 | 10.0 | 3.1 | 22 | 72 | 石・長 | C 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 11/36 | 5/36 | | | 5区東-5 | |
| 177 | 261 | 66 | 19 | 5区東 | | 14G-1F9 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | (18.5) | | | | 石・長・雲 | 灰黄 (2.5Y7/2) | 酸化 | ヨコナデ、ナデ | ナデ | | | 3/36 | | | | | 5区東-11 | | |
| 177 | 261 | 67 | 19 | 5区東 | | 13H-3F22、4E5 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | | | | | 石・長・海 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ハケメ、ヘラナデ | ヘラケズリ | ハケメ | | | 16/36 | | | | 5区東-14 | | |
| 177 | 261 | 68 | 19 | 5区東 | | 13H-3F22 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | | | | | 石・長・チ | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ハケメ | ヘラケズリ | ハケメ | | | 36/36 | | | | 5区東-14 | | |
| 177 | 261 | 69 | 19 | 5区東 | | 13H-3F22 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | | | | | 石・長・雲・チ | 浅黄 (2.5Y7/3) | 酸化 | ハケメ | ヘラケズリ | | | | | | | | 5区東-14 | | |
| 177 | 261 | 70 | 19 | 5区東 | | 14F-9E25 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 3 | 14.0 | 8.4 | 3.1 | 22 | 60 | 石・長 | C 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 14/36 | 10/36 | | | 5区東-4 | |
| 177 | 261 | 71 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.6 | 9.4 | 3.5 | 28 | 75 | 長 | C 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 14/36 | 15/36 | 14/36 | | | 5区東-5 | |
| 177 | 261 | 72 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.6 | 7.8 | 3.3 | 26 | 62 | 石・長 | C 青灰 (10BG5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 13/36 | 9/36 | | | 5区東-5 | |
| 177 | 261 | 73 | 19 | 5区東 | | 14F-9F9 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 8.4 | 3.0 | 23 | 65 | 長 | C 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 9/36 | 7/36 | | | 5区東-5 | |
| 177 | 261 | 74 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8、14F-8F、8G、9F | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.0 | 8.0 | 3.1 | 24 | 62 | 長 | C 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 1/36 | 30/36 | 6/36 | | | 底部外面ヘラ記号「U」5区東-5 | |
| 177 | 261 | 75 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8、14G-2D | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 9.0 | 3.6 | 28 | 69 | 長・白 | C 灰 (10Y4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 24/36 | 36/36 | 31/36 | | | 5区東-5 | |
| 177 | 261 | 76 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 10.5 | 3.7 | 28 | 81 | 長 | C 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 17/36 | 18/36 | 18/36 | | | 5区東-5 | |
| 178 | 261 | 77 | 19 | 5区東 | | 14F-9F9 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 9.2 | 4.0 | 31 | 71 | 石・長 | C 灰白 (N8/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 7/36 | 22/36 | 13/36 | | | 底部外面ヘラ記号「X」5区東-5 | |
| 178 | 261 | 78 | 19 | 5区東 | | 14F-9F9 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.4 | 10.0 | 5.0 | 35 | 69 | 石・長 | C 灰白 (5Y8/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 24/36 | 36/36 | 31/36 | | | 底部外面墨書「三」「三」底部外面ヘラ記号「/」5区東-5 | |
| 178 | 261 | 79 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.4 | 8.8 | 3.5 | 26 | 66 | 石・長 | C 青灰 (10BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 12/36 | 11/36 | | | 5区東-5 | |
| 178 | 261 | 80 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.2 | 11.3 | 3.8 | 27 | 80 | 石・長 | C 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 17/36 | 20/36 | 15/36 | | | 5区東-5 | |
| 178 | 261 | 81 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8・9 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.4 | 9.9 | 4.2 | 29 | 69 | 石・長 | C 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 18/36 | 36/36 | 34/36 | スス | スス | 5区東-5 | |
| 178 | 262 | 82 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8・9 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.0 | 11.0 | 4.1 | 29 | 79 | 長・チ | C 灰白 (5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 5/36 | 36/36 | 22/36 | | | 5区東-5 | |
| 178 | 262 | 83 | 19 | 5区東 | | 14F-8G13 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 9.0 | | | | 石・長 | C 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 12/36 | | | | 5区東-5 | |
| 178 | 262 | 84 | 19 | 5区東 | | 14G-1E25 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 3 | 14.0 | 8.0 | 3.5 | 25 | 57 | 石・長 | C 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 1/36 | 9/36 | 6/36 | | | 5区東-11 | |
| 178 | 262 | 85 | 19 | 5区東 | | 14F-9E25 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 11.4 | 7.0 | 4.2 | 37 | 61 | 石・長・チ | C 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り後ケズリ | | 11/36 | 33/36 | 31/36 | | | 5区東-4 | |
| 178 | 262 | 86 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8・9 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 14.5 | | | | | 長・白 | C 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | 5区東-5 | | |
| 178 | 262 | 87 | 19 | 5区東 | | 14F-9F9 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 11.5 | 6.1 | 4.3 | 37 | 53 | 石・長 | C 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 14/36 | 22/36 | 16/36 | 自然釉 | 自然釉 | 5区東-5 | |
| 178 | 262 | 88 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | 13.4 | 8.0 | 4.3 | 32 | 60 | 石・長 | C 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 10/36 | 13/36 | | | 5区東-5 | |
| 178 | 262 | 89 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 14.0 | 9.2 | 4.4 | 31 | 66 | 長 | C 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 9/36 | 17/36 | 16/36 | | | 5区東-5 | |
| 178 | 262 | 90 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 14.0 | 8.0 | 4.3 | 31 | 57 | 石・長 | A 明オリブ灰 (2.5GY7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 15/36 | 10/36 | | | 5区東-5 | |
| 178 | 262 | 91 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8、14F-8F、8G、9F | IV、排土 | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 3 | 15.4 | 8.0 | 7.2 | 47 | 52 | 石・長 | C 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 11/36 | 14/36 | 12/36 | | | 5区東-5 | |
| 178 | 262 | 92 | 19 | 5区東 | | 14G-1F14 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 15.3 | | 4.0 | 26 | | 長・白 | C 明青灰 (5B7/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 21/36 | | 22/36 | 墨痕 | 転用祝 外面ヘラ記号「X」5区東-11 | | |
| 178 | 262 | 93 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 16.0 | | | | | 石・長 | C 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 9/36 | | | | 5区東-5 | | |
| 178 | 262 | 94 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 仏鉢 | | | 6.4 | | | | 石・長 | C 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ケズリ | | | 9/36 | | | 銅碗模倣 | 5区東-5 | |
| 178 | 262 | 95 | 19 | 5区東 | | 15F-2B9、15F-2B | IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | 10.8 | | | | | 石・長 | C 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | 自然釉 | 5区東-2 | | |
| 179 | 256 | 96 | 19 | 5区東 | | 15F-2B9、15F-2A、2B | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | 29.0 | | | | | | C | 還元 | ロクロナデ、タタキメ、カキメ、ハケメ | ロクロナデ、ロクロナデ、当て具痕、カキメ、ハケメ | H D | | 35/36 | | | | | 5区東-2 | |
| 179 | 262 | 97 | 19 | 5区東 | | 14F-9F9 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 14.4 | | | | | チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | スス | 内外面赤彩か 5区東-5 | | |
| 179 | 262 | 98 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 14.4 | 9.0 | 3.5 | 24 | 63 | 石・長 | にぶい黄橙 (5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 6/36 | 5/36 | | スス | 赤彩 5区東-5 | |
| 179 | 262 | 99 | 19 | 5区東 | | 14F-9F9 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 14.8 | 11.0 | 3.2 | 22 | 74 | 長・チ | 灰白 (10YR8/1) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 7/36 | 13/36 | 10/36 | | | 赤彩 5区東-5 | |
| 179 | 262 | 100 | 19 | 5区東 | | 14F-9F9 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 16.0 | | | | | 石・チ・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | 赤彩 5区東-5 | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|-----|-------|-----------------------|----|------|-----|-----|-----------|---------|-------|------|------|------|---------|---------------------|-------------|---------------------|----------------|---------------|-------|-------|-------|-------|------|-----|----|------------------------------------|--------------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 胎土 |
| 179 | 262 | 101 | 19 | 5区東 | | 14F-9F9 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 16.0 | 10.0 | 3.9 | 24 | 63 | 石・長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 9/36 | 18/36 | 16/36 | | | 赤彩 | 5区東-5 | |
| 179 | 262 | 102 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 16.2 | 9.6 | 4.0 | 25 | 59 | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | 糸切り後ケズリ | | 3/36 | 8/36 | 3/36 | | | 赤彩 | 5区東-5 | |
| 179 | 262 | 103 | 19 | 5区東 | | 14F-9F9 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 16.0 | 8.9 | 4.8 | 30 | 56 | 石・長・チ | 橙 (2.5YR6/8) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ、ミガキ? | ロクロナデ | ヘラ切り後ケズリ、ミガキ? | | 18/36 | 36/36 | 30/36 | | | 赤彩 | 5区東-5 | |
| 179 | 262 | 104 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 16.6 | 9.6 | 3.6 | 21 | 58 | 石・チ | 橙 (2.5YR6/8) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ? | ロクロナデ、ミガキ? | ヘラ切り | | 2/36 | 11/36 | 4/36 | | | 赤彩 | 5区東-5 | |
| 179 | 262 | 105 | 19 | 5区東 | | 15F-2B9、15F-2B | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | A | 15.0 | | | | | 石・長・角 | 灰白 (7.5YR8/2) | 酸化 | ヘラケズリ | ハケメ | | | 7/36 | | | | | | 5区東-2 | |
| 180 | 262 | 106 | 19 | 5区東 | | 14F-8G17 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 15.6 | | | | | 長・チ | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | 5区東-5 | |
| 180 | 262 | 107 | 19 | 5区東 | | 13H-3F22 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 17.0 | | | | | 石・長・雲・チ | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ハケメ | ロクロナデ、ハケメ | | | 4/36 | | | | | | 5区東-14 | |
| 180 | 262 | 108 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc (14.4) | | | | | | 石・チ・白 | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 3/36 | | | | | | 5区東-5 | |
| 180 | 263 | 109 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8、14G-2D | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 9.3 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ、カキメ | | | | 36/36 | | | | | 5区東-5 | |
| 180 | 263 | 110 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8・9 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 9.3 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 30/36 | | | | | 5区東-5 | |
| 180 | 263 | 111 | 19 | 5区東 | | 15F-2B9 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ab | 18.0 | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | | | | | 7/36 | | | | | | 内外面磨耗 5区東-2 | |
| 180 | 263 | 112 | 19 | 5区東 | | 13H-3F22 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 19.0 | | | | | 長・チ | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | 5区東-14 | |
| 180 | 263 | 113 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8・9 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 26.0 | | | | | 石・長・雲 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ヘラケズリ、ハケメ | ロクロナデ、カキメ、ハケメ | | | 10/36 | | | スス | | | 5区東-5 | |
| 180 | 263 | 114 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 22.2 | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 5/36 | | | | | | 5区東-5 | |
| 180 | 263 | 115 | 19 | 5区東 | | 15F-2B9、15F-2B | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 12.0 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 20/36 | | | | | 5区東-2 | |
| 180 | 263 | 116 | 19 | 5区東 | | 13H-5D8 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.0 | 5.2 | 2.8 | 35 | 65 | 長・チ | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 34/36 | 36/36 | 35/36 | | | | 5区東-14 | |
| 180 | 263 | 117 | 19 | 5区東 | 工事立会 | 13H-4E | | 古墳 | 土師器 | 壺 | | 12.0 | | | | | 石 | オリーブ黒 (10Y3/1) | 酸化 | ヨコナデ、ミガキ | ミガキ | | | 6/36 | | | | | | 内面黒色処理 | |
| 180 | 263 | 118 | 19 | 5区東 | 工事立会 | 13H-4E | | 古墳 | 土師器 | 壺 | | | | | | | 石・雲 | 灰 (5Y4/1) | 酸化 | ミガキ | ミガキ | | | | | | | | | 内面黒色処理 | |
| 180 | 263 | 119 | 19 | 5区東 | 工事立会 | 14F-10E | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 16.4 | 10.5 | 4.4 | 27 | 64 | 石・長・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ? | ロクロナデ、ミガキ? | ヘラ切り | 左 | 22/36 | 31/36 | 25/36 | | | | 赤彩 | |
| 180 | 263 | 120 | 19 | 6区 | | 16C-2G11 | | 木炭層 | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | | | | | 長 | 灰 (2.5GY6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 1/36 | | | | | | 珠洲II期 | |
| 180 | 263 | 121 | 19 | 6区 | | 16C-2G12 | | 木炭層 | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | | | | | 長 | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 1/36 | | | | スス | | 珠洲I期 | |
| 180 | 263 | 122 | 19 | | 表探 | | | 中世 | 珠洲焼 | 甕 | | | | | | | 長・チ | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 1/36 | | | | | | 珠洲I~II期 | |
| 181 | 264 | 123 | 22 | 1 | SE126 | 15G-5D24 | 2 | 中世 | 土師器 | 皿 | | 13.0 | 9.0 | 2.7 | 21 | 69 | 石・長・雲 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ヨコナデ・ヘラケズリ | ナデ | | | 5/36 | 13/36 | 12/36 | | | | | |
| 181 | 264 | 124 | 22 | 1 | SE126 | 15G-5D24、6E1 | | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 30.0 | | | | | 長 | 灰 (N5/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位6目の卸目 | | | 4/36 | | | | | | SE201接合 珠洲III~IV1期 | |
| 181 | 264 | 125 | 22 | 1 | SE138 | 15G-5D15 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 12.0 | 9.2 | 3.2 | 27 | 77 | 石 | 褐灰 (10YR4/1) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 17/36 | 21/36 | 19/36 | スス | スス | | | |
| 181 | 256 | 126 | 22 | 1 | SE201 | 15G-5F9・19・24、6E1 | | 8、IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | | | | | 石・長 | A オリーブ黒 (10Y3/1) | 環元 | カキメ、タタキメ | H ヘラナデ、当て具痕 | D | | | | | | | | | |
| 181 | 264 | 127 | 22 | 1 | SE201 | 15G-6E6 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc (20.1) | | | | | | 長 | 明褐灰 (7.5YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | | |
| 181 | 264 | 128 | 22 | 1 | SE201 | 15G-6E1 | | 中世 | 青磁 | 椀 | II-b | | | | | | | 軸：オリーブ灰 (5GY5/1) | | | | | | | | | | | | 龍泉窯系 胎土：灰白 (10Y8/1) E期 (13世紀前後~前半) | |
| 181 | 264 | 129 | 22 | 1 | SE201 | 15G-6E7 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | (7.5) | (6.0) | 1.8 | (24) | (80) | 石・長 | 橙 (7.5YR6/6) | 酸化 | 指頭圧痕 | 指頭圧痕 | | | 2/36 | 2/36 | 2/36 | | | | | |
| 181 | 264 | 130 | 22 | 1 | SE201 | 15G-6E7 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 12.3 | 8.0 | 3.9 | 32 | 65 | 石・長 | 黒 (7.5YR2/1) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 4/36 | 6/36 | 8/36 | スス | スス | | | |
| 181 | 264 | 131 | 22 | 1 | SE201 | 15G-5E8、6E6、7E11、9D11 | | 1、IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 28.2 | 12.2 | 11.4 | 40 | 43 | 石・長 | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位9目の卸目 | 静止糸切り | | 5/36 | 11/36 | 4/36 | | | | SE96・1517接合 珠洲IV1期 |
| 181 | 264 | 132 | 22 | 1 | SE301 | 15G-7E19 | | 9 | 古墳 | 土師器 | 甕 | | 20.0 | | | | 石・長 | にぶい褐 (7.5YR5/4) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | ハケメ | | | 10/36 | | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|---|--------|--------------------|------|----|--------|-----|-------|---------|------|-----|------|------|-------|----|--------------------|----|---------------|-----------|-------|------|-------|-------|-------|-----|-----|----------------------------------|---------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 181 | 264 | 133 | 22 | 1 | SE385 | 15G-7E6、8C18 | 8 | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II2 | 13.4 | 8.0 | 6.1 | 46 | 60 | 長・白 | B | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 18/36 | 14/36 | 15/36 | | | SX564接合 | |
| 181 | 264 | 134 | 22 | 1 | SE385 | 15G-7D10 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 5.0 | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 13/36 | | | | | |
| 181 | 264 | 135 | 22 | 1 | SE385 | 15G-7D10 | | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (28.0) | | | | | 石・長 | | 暗灰 (N3/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | スス | スス | 珠洲II期 | |
| 181 | 264 | 136 | 22 | 1 | SE412 | 15G-9B15 | 7 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.1 | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 7/36 | | | | | |
| 181 | 264 | 137 | 22 | 1 | SE412 | 15G-9B10・15 | IV | 古代 | 緑釉陶器 | 有台碗 | | | | | | | 長 | | 灰白 (10Y7/2) | 酸化 | ミガキ、ケズリ | ミガキ | | | 1/36 | | | | | 軟質 | |
| 181 | 264 | 138 | 22 | 1 | SE433 | 15G-8B7、8C1・6 | 2、IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 32.2 | | | | | 長・白 | | 灰黄 (2.5Y7/2) | 酸化 | ロクロナデ | 1単位13目の卸目 | | | 7/36 | | | | | 珠洲系陶器か Pit439接合 珠洲IV期 | |
| 182 | 264 | 139 | 22 | 1 | SE500 | 15G-7C2 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 9.1 | | | | 石・雲 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 8/36 | | | | | |
| 182 | 264 | 140 | 22 | 1 | SE502 | 15G-7C1 | 4 | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 5.0 | | | | 長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 21/36 | | | | | |
| 182 | 264 | 141 | 22 | 1 | SE502 | 15G-7C1 | | 古代 | 須恵器 | 広口壺 | | 7.3 | | | | | 石・長 | D | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | 自然釉 | 自然釉 | 小型壺 | |
| 182 | 264 | 142 | 22 | 1 | SE502 | 15G-7C1 | | 中世 | 北越窯産陶器 | 片口鉢 | | | | | | | 石・白 | | にぶい黄橙 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | 北沢窯 内面ヘラ書き | |
| 182 | 264 | 143 | 22 | 1 | SE511 | 15G-7C9 | 4 | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | | 9.0 | | | | 長・チ | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 11/36 | | | | 転用砥石 | |
| 182 | 264 | 144 | 22 | 1 | SE536 | 15G-9C3 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.2 | 4.3 | 2.2 | 27 | 52 | 石・長・雲 | | 橙 (7.5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 29/36 | 36/36 | 34/36 | | | | |
| 182 | 264 | 145 | 22 | 1 | SE536 | 15G-9C3 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.2 | 4.4 | 2.0 | 24 | 54 | 石・雲 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 28/36 | 36/36 | 33/36 | | | | |
| 182 | 264 | 146 | 22 | 1 | SE536 | 15G-8C25、9C3 | 3 | 中世 | 北越窯産陶器 | 片口鉢 | | 18.9 | 9.1 | 8.3 | 44 | 48 | 石・長 | | 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | 静止糸切り | | 5/36 | 21/36 | 18/36 | | | 北沢窯 SE540接合 | |
| 182 | 264 | 147 | 22 | 1 | SE536 | 15G-9C3 | | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (28.2) | | | | | 石・長 | | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | | 珠洲I期 | |
| 182 | 264 | 148 | 22 | 1 | SE536 | 15G-9C3 | 3 | 中世 | 珠洲焼 | 壺R種 | | | 9.0 | | | | 長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 33/36 | | | | 珠洲I期か | |
| 182 | 264 | 149 | 22 | 1 | SE540 | 15G-8C20 | 1 | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 32.0 | | | | | 白・海 | | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位8目の卸目 | | | 4/36 | | | | | 珠洲II期 | |
| 182 | 264 | 150 | 22 | 1 | SE552 | 15G-8D6 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 6.0 | | | | 雲 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 31/36 | | | | | |
| 182 | 264 | 151 | 22 | 1 | SE557 | 15G-8C10 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 13.6 | | | | | 長 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | |
| 182 | 264 | 152 | 22 | 1 | SE557 | 15G-8C5・10 | 6 | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | (13.4) | | | | | 石・雲 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ、ケズリ | ミガキ | | | 3/36 | | | | | | |
| 182 | 264 | 153 | 22 | 1 | SE558 | 15G-8C5 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 9.0 | | | | 石・長 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 7/36 | | | | | |
| 182 | 264 | 154 | 22 | 1 | SE565 | 15G-8C8 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (14.7) | | | | | 石 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | 体部外面墨書「口」 | |
| 182 | 264 | 155 | 22 | 1 | SE565 | 15G-8C8・13 | 1 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | AIII3 | 15.0 | 6.2 | 6.0 | 40 | 41 | 石・長 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 4/36 | 36/36 | 12/36 | | | SX564接合 体部外面墨書「口」 | |
| 182 | 264 | 156 | 22 | 1 | SE565 | 15G-8C8 | 1 | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bb | 40.0 | | | | | 石・長・チ | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 4/36 | | | | | | |
| 183 | 264 | 157 | 22 | 1 | SE565 | 15G-8C8 | 5 | 中世 | 青磁 | 碗 | I-1a | 14.8 | | | | | | | 釉：オリーブ灰 (2.5GY5/1) | | | | | | 2/36 | | | | | 同安窯系 胎土：灰 (10Y6/0) D期 (12世紀中～後半) | |
| 183 | 264 | 158 | 22 | 1 | SE565 | 15G-8C8 | | 中世 | 珠洲焼 | 壺R種 | | 10.4 | | | | | 石・長 | | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | 珠洲I～II期 | |
| 183 | 264 | 159 | 22 | 1 | SE565 | 15G-7B21、7C13、8C8 | 3、IV | 中世 | 珠洲焼 | 甕 | | | 15.6 | | | | 石・長 | | 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | タタキメ | 当て具痕 | | | | 21/36 | | | | | SX408接合 |
| 183 | 265 | 160 | 22 | 1 | SE573 | 15G-8B7・11、8C5、8D7 | 1、IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 9.0 | | | | 長 | B | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 13/36 | | | | | |
| 183 | 265 | 161 | 22 | 1 | SE586 | 15G-7D11 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bb | (34.4) | | | | | 石・長・チ | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 183 | 265 | 162 | 22 | 1 | SE599 | 15G-8D10 | 5 | 中世 | 土師器 | 皿 | | 9.0 | 6.0 | 1.8 | 20 | 67 | 長 | | 暗灰黄 (2.5Y5/2) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | 2/36 | 6/36 | 5/36 | | | | |
| 183 | 265 | 163 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D14 | 1 | 中世 | 土師器 | 皿 | | 13.0 | | | | | 石 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | |
| 183 | 265 | 164 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D14 | 1 | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | | 12.0 | | | | 石・長 | | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | | |
| 183 | 265 | 165 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D9 | 4 | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (36.0) | | | | | 石・海 | | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、卸目 | | | 2/36 | | | | | 珠洲II期 | |
| 183 | 265 | 166 | 22 | 1 | SE1244 | 15G-9D10 | 4 | 中世 | 土師器 | 皿 | | 11.0 | | | | | 長・雲 | | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | |
| 183 | 265 | 167 | 22 | 1 | SE1454 | 15G-8E2 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.0 | 6.0 | 1.7 | 21 | 75 | 雲・白 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 13/36 | 18/36 | 16/36 | | | | |
| 183 | 265 | 168 | 22 | 1 | SE1517 | 15G-7E11 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.0 | 6.0 | 1.8 | 26 | 86 | 石・長 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 4/36 | 8/36 | 5/36 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|---|--------|----------------------|------|----|------|-----|--------|---------|-----|-----|------|------|-----------|--------------------|-------|-----------|------------|------|----|-------|-------|-------|-------|-----|---------------------------------------|------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 183 | 265 | 169 | 22 | 1 | SE1520 | 15G-7E7 | 1 | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.0 | 3.0 | 2.6 | 32 | 38 | 石・長・角 | 黄灰 (2.5Y5/1) | 酸化 | 指頭圧痕 | ナデ | | | | 12/36 | 12/36 | 12/36 | | | |
| 183 | 265 | 170 | 22 | 1 | SE1520 | 15G-4D18、7E7 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 甕 | (38.0) | | | | | | 長 | 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | 珠洲Ⅰ～Ⅱ期 |
| 183 | 265 | 171 | 22 | 1 | SE1534 | 15G-7D3・8・9 | 3 | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 33.2 | | | | | 石・白 | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位9目の卸目 | | | | 11/36 | | | スス | スス | 珠洲Ⅲ～Ⅳ期 |
| 183 | 265 | 172 | 22 | 1 | SE1536 | 15G-6D15・20 | 2 | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A12 | 12.6 | 5.0 | 4.3 | 34 | 40 | 石・長 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 9/36 | 36/36 | 15/36 | | | | |
| 183 | 265 | 173 | 22 | 1 | SE1536 | 15G-5C4、6D15 | 3、IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | | | | | | 長 | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | | 10/36 | | | | |
| 183 | 265 | 174 | 22 | 1 | SE1536 | 15G-6D15、7F7 | 2、IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | | 長 | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | | 6/36 | | | | |
| 184 | 265 | 175 | 22 | 1 | SE1551 | 15G-7D4・9、7E11 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | B13 | 16.2 | 7.5 | 4.2 | 26 | 46 | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 2/36 | 21/36 | 14/36 | | | |
| 184 | 265 | 176 | 22 | 1 | SE1551 | 15G-7D3 | 7・8 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | | 石・長・チ・角 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 8/36 | | | | | |
| 184 | 265 | 177 | 22 | 1 | SE1551 | 15G-7D4 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (42.0) | | | | | 石・長・チ・角 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | | | |
| 184 | 265 | 178 | 22 | 1 | SE1602 | 15G-7D2 | 3 | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (40.1) | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 2/36 | | | | コゲ | |
| 184 | 265 | 179 | 22 | 1 | SE1602 | 15G-7D2 | | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (34.2) | | | | | 石・長 | にぶい褐 (7.5YR6/3) | 還元 | ロクロナデ | 1単位13目の卸目か | | | | 3/36 | | | スス | | 内面摩滅 珠洲Ⅳ1期 |
| 184 | 265 | 180 | 22 | 1 | SE1616 | 15G-6D15、6E6・9 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | | | | 長 | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | | 36/36 | | | | | SE201接合 | |
| 184 | 265 | 181 | 22 | 1 | SE1617 | 15G-6D8 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 11.8 | | | | | 石 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | | 11/36 | | | | | |
| 184 | 265 | 182 | 22 | 1 | SE1617 | 15G-6D7 | 1 | 中世 | 土師器 | 皿 | | 11.0 | | | | | 長・雲 | オリープ黒 (5Y3/1) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | スス | スス | |
| 184 | 265 | 183 | 22 | 1 | SE1617 | 15G-6D7 | 9 | 中世 | 土師器 | 皿 | | 12.7 | 8.0 | 3.5 | 28 | 63 | 石 | 灰白 (10YR8/1) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 11/36 | 23/36 | 10/36 | スス | スス | |
| 184 | 265 | 184 | 22 | 1 | SE1617 | 15G-6D8 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 13.6 | 9.4 | 3.5 | 26 | 69 | 石・雲 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 7/36 | 12/36 | 9/36 | スス | スス | |
| 184 | 265 | 185 | 22 | 1 | SE1691 | 15G-5D9 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.8 | 6.0 | 1.7 | 22 | 77 | 石・チ | 褐 (7.5YR4/3) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | | 3/36 | 8/36 | 3/36 | | | |
| 184 | 265 | 186 | 22 | 1 | SE1691 | 15G-5D9 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.7 | 1.8 | 2.0 | 26 | 23 | 石・長 | 褐灰 (7.5YR4/1) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | | 7/36 | 11/36 | 8/36 | | | |
| 184 | 265 | 187 | 22 | 1 | SE1691 | 15G-5D9 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | | | | | | 石・雲 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 20/36 | | | | | |
| 184 | 265 | 188 | 22 | 1 | SE1754 | 15G-5F17 | 4 | 中世 | 青磁 | 杯 | Ⅲ-3b | | | | | | | 軸：オリープ灰 (2.5GY5/1) | | | | | | | 13/36 | | | | 龍泉窯系 胎土：灰白 (5Y7/1) F期 (13世紀中～14世紀初前後) | |
| 184 | 265 | 189 | 22 | 1 | SE1774 | 15G-4F9 | 2 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.0 | | | | | 石・長 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 9/36 | | | | | |
| 184 | 265 | 190 | 22 | 1 | SE1774 | 15G-4F9 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.5 | 5.0 | 2.2 | 26 | 58 | 石 | 黄橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 4/36 | 5/36 | 8/36 | | | |
| 184 | 265 | 191 | 22 | 1 | SE1775 | 15G-4F9 | 1 | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 5.4 | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | スス | | |
| 185 | 265 | 192 | 22 | 1 | SK43 | 15G-5C5 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 12.0 | | | | | 石・雲 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | |
| 185 | 265 | 193 | 22 | 1 | SK423 | 15G-7B18・19 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | | 5.4 | | | | 石 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 22/36 | | | | | |
| 185 | 265 | 194 | 22 | 1 | SK423 | 15G-7B18、8C16 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 9.0 | 5.5 | 2.0 | 22 | 61 | 石 | 橙 (7.5YR7/5) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 10/36 | 34/36 | 29/36 | | | SE429接合 |
| 185 | 265 | 195 | 22 | 1 | SK505 | 15G-8A22 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I1 | 11.9 | 7.7 | 3.1 | 26 | 65 | 石・長 | 明青灰 (5B7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 11/36 | 13/36 | 11/36 | | | |
| 185 | 265 | 196 | 22 | 1 | SK523 | 15G-8C17 | | 古代 | 黒色土器 | 蓋 | | 12.8 | | | | | 石 | 黄灰 (2.5Y7/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ | | | | 4/36 | | | | | 内外面黒色処理 |
| 185 | 266 | 197 | 22 | 1 | SK545 | 15G-8B23、9B3、9C5、9D1 | IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | 11.8 | | | | | 石・長 | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | 自然釉 | | |
| 185 | 266 | 198 | 22 | 1 | SK545 | 15G-9C5 | 1 | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 8.0 | | | | 石・長・雲・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | 糸切り | | | 13/36 | 17/36 | | | | |
| 185 | 266 | 199 | 22 | 1 | SK597 | 15G-7D23 | | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 27.0 | | | | | 石・長・海 | 灰 (7.5Y4/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位8目の卸目 | | | | 4/36 | | | | | 珠洲Ⅱ期 |
| 185 | 256 | 200 | 22 | 1 | SK597 | 15G-7D23 | | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 31.2 | | | | | 石・長 | 暗灰 (N3/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 19/36 | | | | | 珠洲Ⅰ期 |
| 185 | 266 | 201 | 22 | 1 | SK730 | 15G-8B7・8・13 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | Ⅱ2 | 13.3 | 7.6 | 2.9 | 22 | 57 | 白 | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 7/36 | 10/36 | 8/36 | | | |
| 185 | 266 | 202 | 22 | 1 | SK780 | 15G-7C17 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | | 5.4 | | | | 石・長・海 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | |
| 185 | 266 | 203 | 22 | 1 | SK832 | 15G-8B9 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | B11 | 12.0 | 5.0 | 3.3 | 28 | 42 | 石・長・チ・白 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 28/36 | 36/36 | 33/36 | | | | |
| 185 | 266 | 204 | 22 | 1 | SK1304 | 15G-9C22、10D9 | 2、IV | 古代 | 土師器 | 仏鉢 | | (20.0) | | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 7/36 | | | | | |
| 185 | 266 | 205 | 22 | 1 | SK1615 | 15G-6D12 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A11 | 12.0 | 6.0 | 4.1 | 34 | 50 | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 5/36 | 36/36 | 15/36 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|---|--------|--------------------------|------|----|-----|-----|--------|---------|-----|-----|------|-------|-----------------|------------------|---------|----------------------|-----------|------|----|-------|-------|-------|-----|----|-----|---------------|-----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 口縁部 |
| 185 | 266 | 206 | 22 | 1 | SK1636 | 15G-5E23 | | 古墳 | 土師器 | 甕 | | 18.1 | | | | 石・長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ヨコナデ、ナデ | ヨコナデ、ナデ | | | | 2/36 | | | | | | | |
| 185 | 266 | 207 | 22 | 1 | SK1765 | 15G-5E3・4 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | Ⅲ | 15.4 | | 2.7 | 18 | 石・長 | C 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | 10/36 | 自然釉 | | | | |
| 185 | 266 | 208 | 22 | 1 | SK1787 | 15G-4F14 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 22.6 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | | | | | | |
| 186 | 266 | 209 | 22 | 1 | SK1819 | 15G-4E19 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 11.9 | 7.8 | 3.2 | 27 | 66 | 長 | B 灰 (5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 10/36 | 12/36 | 14/36 | | | | | |
| 186 | 266 | 210 | 22 | 1 | SK1834 | 15G-4E19 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 12.0 | 6.8 | 3.1 | 26 | 57 | 石・長・雲 | B 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 10/36 | 3/36 | | | | | |
| 186 | 266 | 211 | 22 | 1 | SK1850 | 15G-4F11 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.2 | 8.9 | 3.3 | 25 | 67 | 長 | B 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 12/36 | 19/36 | 15/36 | | | | | |
| 186 | 266 | 212 | 22 | 1 | SK1850 | 15G-4F11 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (37.4) | | | | | 石・長・チ | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | | | | |
| 186 | 266 | 213 | 22 | 1 | SK1903 | 15G-4F22・23 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 23.0 | | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ、ヘラケズリ | ロクロナデ、カキメ | H | D | 11/36 | | | | | | | |
| 186 | 266 | 214 | 22 | 1 | SK1921 | 15G-4F9 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 9.0 | 3.8 | 29 | 69 | 石・長 | C 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 9/36 | 6/36 | | | | 酸化炎焼成須恵器 | |
| 186 | 266 | 215 | 22 | 1 | SX109 | 15G-5D13 | 2 | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 40.0 | | | | | 石・長・チ | にぶい橙 (5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | ロクロナデ、カキメ | H | | 4/36 | | | | | | | |
| 186 | 266 | 216 | 22 | 1 | SX408 | 15G-7A25 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 11.9 | 7.0 | 3.3 | 28 | 59 | 長 | D 灰 (N4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 11/36 | 36/36 | 26/36 | | | | | |
| 186 | 266 | 217 | 22 | 1 | SX408 | 15G-8A10、8B13 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | Ⅲ3 | 14.2 | 8.4 | 7.4 | 52 | 59 | 白 | B 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 12/36 | 32/36 | 17/36 | | | | | |
| 186 | 266 | 218 | 22 | 1 | SX408 | 15G-7A25、7B18、8A5・20、8B2 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 長 | C 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | カキメ、タタキメ | H 当て具痕 | H | | | | | | | 自然釉 | | |
| 186 | 266 | 219 | 22 | 1 | SX408 | 15G-7A25 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 18.4 | | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | | | |
| 186 | 266 | 220 | 22 | 1 | SX408 | 15G-8B1 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | | 石・長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | | |
| 186 | 256 | 221 | 22 | 1 | SX408 | 15G-7B11・16・23、8B1・7 | | 中世 | 珠洲焼 | 壺R種 | | | 8.8 | | | | 石・長・白 | 褐灰 (7.5YR5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 18/36 | | | | | | |
| 187 | 266 | 222 | 22 | 1 | SX409 | 15G-9B5 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 10.8 | 6.0 | 5.1 | 47 | 56 | 長・白 | B 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 18/36 | 15/36 | | | | | |
| 187 | 266 | 223 | 22 | 1 | SX409 | 15G-8B24、8C21、9B5・15、9C2 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 長 | A 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | カキメ、タタキメ | H 当て具痕 | D | | | | | | | | SE412、SX534接合 | |
| 187 | 266 | 224 | 22 | 1 | SX409 | 15G-7E11、9B5、9C1 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (25.9) | | | | | 石・長・チ・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | | | |
| 187 | 267 | 225 | 22 | 1 | SX534 | 15G-8C21 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 11.9 | 8.5 | 3.1 | 26 | 71 | 長 | B 灰 (10Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 7/36 | 8/36 | 8/36 | | | | | |
| 187 | 267 | 226 | 22 | 1 | SX534 | 15G-8C21・22、9C2・14 | 1、IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 3 | 14.0 | 9.5 | 6.6 | 47 | 68 | 石・長 | B 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 7/36 | 16/36 | 9/36 | | | | SE415接合 | |
| 187 | 267 | 227 | 22 | 1 | SX534 | 15G-8C21 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 15.9 | | | | | 石・長 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | | |
| 187 | 267 | 228 | 22 | 1 | SX534 | 15G-8C22 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | | |
| 187 | 267 | 229 | 22 | 1 | SX534 | 15G-8C21 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (37.0) | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | | | | |
| 187 | 267 | 230 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 1・3 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.4 | 8.0 | 3.2 | 24 | 60 | 長 | B 灰白 (N7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | 左 | 26/36 | 36/36 | 27/36 | | | | | |
| 187 | 267 | 231 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 6.5 | | | | 石・長・チ | B 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 21/36 | | | | | | |
| 187 | 267 | 232 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C18 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 1 | 11.0 | 3.4 | 3.7 | 33 | 31 | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 9/36 | 6/36 | 8/36 | | | | | |
| 187 | 267 | 233 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C II 1 | 11.8 | 5.5 | 4.4 | 37 | 47 | 石・長 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 1/36 | 36/36 | 18/36 | | | | | |
| 188 | 267 | 234 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B II 1 | 12.0 | 5.0 | 4.4 | 37 | 42 | 石・長・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 12/36 | 36/36 | 15/36 | | | | | |
| 188 | 267 | 235 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 2 | 12.4 | 5.6 | 4.7 | 38 | 45 | 石・長・白 | にぶい橙 (5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 9/36 | 22/36 | 16/36 | | | | | |
| 188 | 267 | 236 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C18 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C I 2 | 12.6 | 5.0 | 3.8 | 30 | 40 | 石・チ | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 左 | 14/36 | 36/36 | 16/36 | | | | | |
| 188 | 267 | 237 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B II 2 | 12.6 | 5.4 | 4.5 | 36 | 43 | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 13/36 | 36/36 | 25/36 | | | | | |
| 188 | 267 | 238 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C II 2 | 13.0 | 5.4 | 4.5 | 35 | 42 | 石 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 7/36 | 22/36 | 12/36 | | | | | |
| 188 | 267 | 239 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (13.0) | | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 1/36 | | | | | | 体部外面墨書「口」 | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 |
|-------|---------|--------|------|---|--------|---------------------|------|----|------|--------|----------------|---------|-------|------|------|------|--------------|-----------------|-----------|---------------|------------|---------|------|-------|-------|-------|----|-----|-------------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 188 | 267 | 240 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C I 2 | 13.5 | 4.6 | 4.4 | 33 | 34 | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 14/36 | 30/36 | 18/36 | | | | |
| 188 | 267 | 241 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C I 2 | 13.5 | 4.7 | 4.5 | 33 | 35 | 石・長・雲・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 27/36 | 33/36 | 27/36 | | | | |
| 188 | 267 | 242 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 2 | 13.9 | 5.5 | 5.4 | 39 | 40 | 長・チ | 橙 (5YR7/8) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 30/36 | 36/36 | 31/36 | スス | スス | | |
| 188 | 267 | 243 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 3 | 14.4 | 5.7 | 5.6 | 39 | 40 | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 8/36 | 9/36 | 9/36 | | | | |
| 188 | 267 | 244 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13・23 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A III 3 (15.8) | (7.0) | (7.0) | (44) | (44) | 石・雲 | 橙 (7.5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ、ミガキ | 糸切り後ケズリ | | 2/36 | 9/36 | 8/36 | | | | | |
| 188 | 267 | 245 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.6 | | | | 白 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 20/36 | | | | | |
| 188 | 267 | 246 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13・17 | 3、IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | A III 2 | 12.8 | 6.0 | 5.2 | 41 | 47 | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ミガキ | 糸切り後ケズリ | | 3/36 | 35/36 | 16/36 | | | | |
| 188 | 267 | 247 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.0 | | | | | 石・チ・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | | |
| 188 | 267 | 248 | 22 | 1 | SX564 | 15G-8C13 | 3 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.7 | | | | | 長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 17/36 | | | スス | | | |
| 188 | 267 | 249 | 22 | 1 | SX564 | 15G-7C17、8C18 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 39.0 | | | | | 石・長・白 | にぶい赤褐 (5YR5/4) | 酸化 | ロクロナデ、タタキメ | H 当て具痕 | H | | 5/36 | | | | | | |
| 188 | 267 | 250 | 22 | 1 | SX765 | 15G-9B4 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.8 | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 189 | 267 | 251 | 22 | 1 | SX911 | 15G-7D16 | 1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.6 | 8.6 | 3.6 | 29 | 68 | 石・長・白 | C 灰白 (10YR8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 9/36 | 11/36 | 9/36 | | | | |
| 189 | 267 | 252 | 22 | 1 | SX911 | 15G-7D16 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 10.8 | 6.3 | 5.1 | 47 | 58 | 石・長・チ | D 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ヘラ切り | 右 | 19/36 | 36/36 | 28/36 | | | 底部外面ヘラ記号「/」 | |
| 189 | 267 | 253 | 22 | 1 | SX911 | 15G-7D16 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ab | 17.8 | | | | | 長・雲・チ | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ヨコナデ | ヨコナデ、ヘラケズリ | | | 6/36 | | | | | 関東系か | |
| 189 | 267 | 254 | 22 | 1 | SX911 | 15G-7D16 | | 古代 | 土師器 | 手づくね土器 | | 7.0 | 4.0 | 2.3 | 33 | 57 | 長・雲 | 褐灰 (10YR4/1) | 酸化 | 指頭圧痕 | ナデ | | | 2/36 | 8/36 | 7/36 | | | | |
| 189 | 268 | 255 | 22 | 1 | SX1147 | 15G-8D2 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.8 | 9.7 | 3.5 | 25 | 70 | 長 | B 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 12/36 | 7/36 | | | | |
| 189 | 268 | 256 | 22 | 1 | SX1147 | 15G-8D2 | 2 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 8.0 | | | | 石・長・雲・チ | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 15/36 | | | | | |
| 189 | 268 | 257 | 22 | 1 | SX1147 | 15G-8D2 | 2、IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | | | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ヘラケズリ | ヘラケズリ | | | | | | | | 関東系か | |
| 189 | 268 | 258 | 22 | 1 | SX1200 | 15G-10C13・19 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bb | 42.0 | | | | | 長・チ・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 189 | 268 | 259 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E16・21 | 1 | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | 12.0 | | | | | 長 | B 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 9/36 | | | | | | |
| 189 | 256 | 260 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5D19・20、5E16・21 | 1、IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | | | | | | 長 | B 灰 (5Y6/1) | 還元 | タタキメ | H 当て具痕 | D | | | | | | | SD1689接合 | |
| 189 | 268 | 261 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E21 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A | 11.8 | | | | | 石・長・チ | にぶい褐 (7.5YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | スス | | | |
| 189 | 268 | 262 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5D20・25 | 2 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A | 12.4 | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 11/36 | | | | | | |
| 189 | 268 | 263 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E21 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.6 | | | | 長・白 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | |
| 189 | 268 | 264 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E16・21 | 2 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 1 | 12.0 | 5.6 | 4.1 | 34 | 47 | 石・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 7/36 | 29/36 | 15/36 | | | | |
| 189 | 268 | 265 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E21 | 1 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 2 | 12.8 | 6.2 | 4.6 | 36 | 48 | 長・チ・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | 糸切り後ケズリ | | 6/36 | 3/36 | 15/35 | | | | |
| 189 | 268 | 266 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E21 | 1 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A III 2 | 13.0 | 6.0 | 5.3 | 41 | 46 | 長 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ | | | 10/36 | 16/36 | 13/36 | | | | |
| 189 | 268 | 267 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E16・21 | 2 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 3 | 14.5 | 5.5 | 4.9 | 34 | 38 | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ、ケズリ | ロクロナデ、ミガキ | 糸切り後ケズリ | | 35/36 | 36/36 | 35/36 | | | Pit1541接合 | |
| 189 | 268 | 268 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E16・21 | 1・2 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C II 3 | 17.5 | 7.0 | 6.4 | 37 | 40 | 石・長 | 淡橙 (5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ、ミガキ | 糸切り後ミガキ | | 20/36 | 23/36 | 21/36 | | | | |
| 190 | 268 | 269 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E21 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 13.6 | | | | | 石・長 | にぶい褐 (7.5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | |
| 190 | 268 | 270 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E21 | 1 | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 6.0 | | | | 石・チ | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 34/36 | | スス | スス | | |
| 190 | 268 | 271 | 22 | 1 | SX1638 | 15G-5E21 | 1 | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 5.3 | | | | 石・長・チ・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 36/36 | | | | | |
| 190 | 268 | 272 | 22 | 1 | SX1640 | 15G-7D3 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 10.0 | 6.2 | 4.8 | 48 | 62 | 石・長 | A 灰白 (2.5Y8/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 19/36 | 33/36 | 29/36 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|---|--------|--------------------|----|----|------|-----|--------|---------|-------|-------|------|-------|---------|--------------------|-----------------|------------------|----------------|------------|------------|------|-------|-------|-------|-----|----------|--|--------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 口径 |
| 190 | 268 | 273 | 22 | 1 | SX1640 | 15G-7D9 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | 7.2 | | | | 長 | A | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | 自然釉 | 自然釉 | 高台の可能性あり | | |
| 190 | 268 | 274 | 22 | 1 | SX1640 | 15G-7D8 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.0 | | | | 石・雲 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | | スス | | |
| 190 | 268 | 275 | 22 | 1 | SX1805 | 15G-5F25 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A | 12.0 | | | | 長 | | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | | |
| 190 | 268 | 276 | 22 | 1 | SX1805 | 15G-5F19・20 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 6.0 | | | 石・長 | | にぶい橙 (5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 14/36 | | | | | | |
| 190 | 268 | 277 | 22 | 1 | SX1805 | 15G-5F20 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 6.0 | | | 石・長・チ | | 橙 (5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 15/36 | | | | | | |
| 190 | 268 | 278 | 22 | 1 | SX1805 | 15G-5F25 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 37.0 | | | | 石・長・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、タタキメ、ヘラケズリ | H | ロクロナデ、当て具痕 | D | | | 4/36 | | | | | |
| 190 | 268 | 279 | 22 | 1 | SD108 | 15G-4D20 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | 13.0 | | | | 長・チ | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | | |
| 190 | 268 | 280 | 22 | 1 | SD117 | 15G-5D22 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II2 | 13.0 | 8.8 | 3.1 | 23 | 61 | 長 | C | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 6/36 | 9/36 | 7/36 | | | | |
| 190 | 268 | 281 | 22 | 1 | SD117 | 15G-5D22、6D25 | IV | 中世 | 青磁 | 碗 | II-b | 16.8 | | | | | | 釉：オリーブ灰 (2.5GY5/1) | | | | | | 4/36 | | | | | | 龍泉窯系 胎土：明オリーブ灰 (2.5GY7/1) E期 (13世紀前後～前半) | |
| 190 | 268 | 282 | 22 | 1 | SD117 | 15G-5D23 | | 中世 | 青磁 | 碗 | I-2 | | | | | | | 釉：オリーブ灰 (2.5GY5/1) | | | | | | | | | | | | 龍泉窯系 胎土：灰 (7.5Y6/1) D期 (12世紀中～後半) | |
| 190 | 268 | 283 | 22 | 1 | SD117 | 15G-5D22 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.8 | 6.0 | 1.7 | 22 | 77 | 石・長 | | 橙 (7.5YR6/6) | 酸化 | 指頭圧痕 | ナデ | | | 6/36 | 12/36 | 11/36 | | | | |
| 190 | 268 | 284 | 22 | 1 | SD117 | 15G-5D22 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.9 | 5.0 | 2.2 | 25 | 56 | 石・雲 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 5/36 | 7/36 | 5/36 | | | | |
| 190 | 268 | 285 | 22 | 1 | SD117 | 15G-6E8 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 6.0 | | | | 石・長・雲 | | 灰黄褐 (10YR5/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 29/36 | | | | | |
| 190 | 268 | 286 | 22 | 1 | SD406 | 15G-8A20、8B21、8C20 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | III2 | 13.2 | 7.8 | 6.7 | 51 | 59 | 長・白 | B | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 18/36 | 14/36 | | | | |
| 190 | 268 | 287 | 22 | 1 | SD406 | 15G-8B21、9C2・4 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 7.4 | | | | 長・雲 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 24/36 | | | | | |
| 190 | 268 | 288 | 22 | 1 | SD407 | 15G-7A24、8B22、9D11 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | 長・チ・白 | B | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | | | | | | | |
| 190 | 268 | 289 | 22 | 1 | SD411 | 15G-8B17・23、9B1・2 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I1 | 12.0 | 7.5 | 4.2 | 35 | 63 | 長 | C | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 18/36 | 7/36 | | | | |
| 190 | 269 | 290 | 22 | 1 | SD413 | 15G-8B19 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II2 | 13.6 | 8.7 | 3.3 | 24 | 64 | 石・長 | C | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 6/36 | 5/36 | | | | |
| 190 | 269 | 291 | 22 | 1 | SD484 | 15G-7C22 | | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | | (6.3) | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | | 3/36 | | | | | |
| 191 | 269 | 292 | 22 | 1 | SD495 | 15G-8D9 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II1 | 12.0 | 7.7 | 2.5 | 21 | 64 | 石 | C | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 13/36 | 7/36 | | | | |
| 191 | 269 | 293 | 22 | 1 | SD495 | 15G-7D16、8D9 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I1 | 11.9 | 8.0 | 2.7 | 23 | 67 | 白 | B | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 7/36 | 12/36 | 5/36 | | | | |
| 191 | 269 | 294 | 22 | 1 | SD495 | 15G-7C9、8D9、8E2 | I | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II1 | 11.9 | 7.1 | 3.5 | 29 | 60 | 石・長 | C | 灰白 (10YR8/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 30/36 | 34/36 | 35/36 | | | | SE511・1454接合 |
| 191 | 269 | 295 | 22 | 1 | SD495 | 15G-8D2 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | (13.0) | (7.5) | (3.6) | (28) | (58) | 石 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 2/36 | 4/36 | 4/36 | | | | |
| 191 | 256 | 296 | 22 | 1 | SD495 | 15G-8D9・10 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 11.5 | 8.2 | 14.4 | 125 | 71 | 石・雲・チ | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | 35/36 | 12/36 | | | | |
| 191 | 269 | 297 | 22 | 1 | SD503 | 15G-6C21 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 13.5 | | | | | 長・海 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | |
| 191 | 269 | 298 | 22 | 1 | SD503 | 15G-6B25 | | 中世 | 珠洲焼 | 甕 | | | | | | 石・長 | | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 1/36 | | | | | | 珠洲 I～II期 | |
| 191 | 269 | 299 | 22 | 1 | SD508 | 15G-7C10 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.8 | 8.5 | 3.7 | 29 | 66 | 石・長 | C | 灰白 (10YR8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 7/36 | 8/36 | 5/36 | | | | |
| 191 | 269 | 300 | 22 | 1 | SD514 | 15G-7B21 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.8 | 9.0 | 3.0 | 23 | 70 | 石・長 | B | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 4/36 | 5/36 | | | | |
| 191 | 269 | 301 | 22 | 1 | SD535 | 15G-4B4、9C8・9、9D22 | IV | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | 27.6 | | | | | 長 | A | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ、カキメ | | | | 8/36 | | | | | | 挿れ鉢 |
| 191 | 269 | 302 | 22 | 1 | SD570 | 15G-8D11 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.6 | 9.6 | 3.5 | 26 | 71 | 石・長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 6/36 | 5/36 | | | | |
| 191 | 269 | 303 | 22 | 1 | SD609 | 15G-8C1 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | カキメ、ヘラケズリ、タタキメ | H | ロクロナデ、当て具痕 | Ha | | 36/36 | | | | | 体部外面ヘラ記号「+」 |
| 191 | 269 | 304 | 22 | 1 | SD896 | 15G-8C2 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.6 | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 18/36 | | | | | |
| 191 | 269 | 305 | 22 | 1 | SD896 | 15G-8C8 | I | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 2 | 12.4 | 5.2 | 4.4 | 35 | 42 | 長・チ・赤・白 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 22/36 | 36/36 | 30/36 | | | | |
| 191 | 269 | 306 | 22 | 1 | SD896 | 15G-8C8 | I | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 7.2 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | | ミガキ | ケズリ | | 23/36 | | | | | |
| 191 | 269 | 307 | 22 | 1 | SD896 | 15G-8C8、9B3、9C6・7 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (40.0) | | | | | 石・長・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、タタキメ | H | ロクロナデ、当て具痕 | H | | 2/36 | | | | | SD411接合 |

| 図版No. | 写真 図版 No. | 報告 書 No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高 指数 | 底径 指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | | | | |
|-------|-----------------|----------------|------|---|---------|------------------|----|----|------|-----|--------|---------|------|-----|----------|----------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------|-------------|-------------|----|-------|-------|-------|-----|----|----|--|--|--|-----------|------------------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 308 | 22 | 1 | SD1247 | 15G-9D16 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Aa | (20.0) | | | | 石・長・雲 | 浅黄 (2.5Y7/3) | 酸化 | ハケメ | ナデ | | | | 2/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 309 | 22 | 1 | SD1247 | 15G-9D16・21 | IV | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 21.2 | | | | 石・長・赤 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 310 | 22 | 1 | SD1375 | 15G-8D23、9D3 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.6 | 11.0 | 3.9 | 29 | 81 | 石・長・白 | 橙 (7.5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 12/36 | 10/36 | 14/36 | | | | | | | Pit1316接合 | | |
| 192 | 269 | 311 | 22 | 1 | SD1447 | 15G-7E17 | IV | 古墳 | 土師器 | 高杯 | | | 13.0 | | | 石・長・雲・赤 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ヨコナデ | ハケメ | | | | 6/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 312 | 22 | 1 | SD1447 | 15G-7E17 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 8.3 | | | 石・長 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 23/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 313 | 22 | 1 | SD1778 | 15G-4G12 | | 古代 | 土師器 | 小囊 | Bc | 15.0 | | | | 長・赤 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 8/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 314 | 22 | 1 | SD1779 | 15G-3G22 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 9.0 | 3.6 | 28 | 69 | 長 | B 褐灰 (10YR5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 8/36 | 7/36 | 4/36 | | | | | | | | SD1778接合 | |
| 192 | 269 | 315 | 22 | 1 | SD1779 | 15G-3F20 | | 古代 | 土師器 | 小囊 | Bc | 14.0 | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 316 | 22 | 1 | SD1812 | 15G-5F8・14、9C7 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | III 3 | 14.5 | 7.4 | 7.9 | 54 | 51 | 石・長 | A 灰黄 (2.5Y7/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 1/36 | 12/36 | 7/36 | | | | | | | | SD1072接合 | |
| 192 | 269 | 317 | 22 | 1 | SD1847 | 15G-5F18 | I | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | 10.2 | | | | 長 | C 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | | | | | | 自然釉 | |
| 192 | 269 | 318 | 22 | 1 | SD1902 | 15G-4E24 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 9.3 | | | 石・長 | A 灰黄 (2.5Y7/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 12/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 319 | 22 | 1 | SD1975 | 15G-1G3 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (11.9) | | | | 石 | C にぶい黄橙 (10YR7/3) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 320 | 22 | 1 | SD1978 | 15G-1F14 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 12.0 | | | | 長 | C 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 321 | 22 | 1 | SD1978 | 15G-1F14、1G7 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 16.0 | | | | 長 | C 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | | | | | | 金属器模倣 | |
| 192 | 269 | 322 | 22 | 1 | SD1978 | 15G-1F14 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 20.0 | | | | 石・長・赤 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 7/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 323 | 22 | 1 | Pit121 | 15G-5D24 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 23.4 | | | | 石・長・雲・角 | にぶい黄橙 (7.5YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 7/36 | | | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 324 | 22 | 1 | Pit176 | 15G-6E9・13 | | 古墳 | 土師器 | 囊 | | 18.0 | | | | 石・長・赤 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ヨコナデ | ヨコナデ | | | | 4/36 | | | | | | | | | | Pit170接合 | |
| 192 | 269 | 325 | 22 | 1 | Pit735 | 15G-8D16 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.0 | 4.8 | 2.0 | 25 | 60 | 石・長・雲 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 13/36 | 18/36 | 16/36 | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 326 | 22 | 1 | Pit735 | 15G-8D16 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 9.0 | 6.0 | 2.3 | 26 | 67 | 長・雲 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 7/36 | 10/36 | 5/36 | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 327 | 22 | 1 | Pit735 | 15G-8D16 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.6 | 5.0 | 2.2 | 26 | 58 | 石・雲 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 6/36 | 27/36 | 13/36 | | | | | | | | | |
| 192 | 269 | 328 | 22 | 1 | Pit747 | 15G-9B9・13 | IV | 古代 | 緑釉陶器 | 有台碗 | | | | | | 長 | 灰白 (10Y7/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、ケズリ | | | | 1/36 | | | | | | | | | | 軟質 京都洛北産 444と同一か | |
| 193 | 270 | 329 | 22 | 1 | Pit802 | 15G-6B25 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 25.1 | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | | | | | | | | | | |
| 193 | 270 | 330 | 22 | 1 | Pit866 | 15G-9C21 | | 古墳 | 土師器 | 囊 | | 22.0 | | | | 石・長・雲 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | ロクロナデ、ハケメ | | | | 4/36 | | | | | | | | | | | |
| 193 | 270 | 331 | 22 | 1 | Pit882 | 15G-8C24 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.9 | 5.0 | 2.0 | 22 | 56 | 石・長・雲 | 橙 (7.5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 3/36 | 25/36 | 15/36 | | | | | | | | | |
| 193 | 270 | 332 | 22 | 1 | Pit901 | 15G-9C7 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (40.0) | | | | 長・白 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ヘラケズリ | ロクロナデ、カキメ | | | | 2/36 | | | | | | | | | | | |
| 193 | 256 | 333 | 22 | 1 | Pit933 | 15G-9C3・4・8・9・17 | | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | | | | | 長 | B 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | カキメ、タタキメ | H 当て具痕 | D | | | | | | | | | | | | | | |
| 193 | 270 | 334 | 22 | 1 | Pit970 | 15G-7D16 | | 古代 | 土師器 | 小囊 | Bc | 12.6 | | | | 石 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 10/36 | | | | | | | | | | スス | スス |
| 193 | 270 | 335 | 22 | 1 | Pit1071 | 15G-8C24、9C23 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 22.2 | | | | 石 | 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | | | | | | 珠洲Ⅱ期 | |
| 193 | 270 | 336 | 22 | 1 | Pit1118 | 15G-7D17・18 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 15.8 | | 3.0 | 19 | 長 | B 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | 1/36 | | 20/36 | | | | | | | | | |
| 193 | 270 | 337 | 22 | 1 | Pit1230 | 15G-10C3、10D16 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | 13.8 | 7.3 | 3.3 | 24 | 53 | 石・長 | C 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 7/36 | 16/36 | 16/36 | | | | | | | | | |
| 193 | 270 | 338 | 22 | 1 | Pit1294 | 15G-9D3 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 3 | 14.0 | 9.0 | 3.8 | 27 | 64 | 長 | C 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、ユビオサエ | ヘラ切り | | 15/36 | 18/36 | 16/36 | | | | | | | | | |
| 193 | 270 | 339 | 22 | 1 | Pit1494 | 15G-7D20 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 20.0 | | | | 石・長 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | | | | | 340と同一か | |
| 193 | 270 | 340 | 22 | 1 | Pit1494 | 15G-7D4・20、7E16 | IV | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 22.0 | | | | 石・長・赤 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 9/36 | | | | | | | | | | 399と同一か | |
| 194 | 270 | 341 | 22 | 1 | Pit1499 | 15G-7D15 | IV | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | (28.0) | | | | 石・長・赤 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | | | | | | | | Pit1468接合 | |
| 194 | 270 | 342 | 22 | 1 | Pit1528 | 15G-7D8・9 | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | A II 1 | 12.0 | 4.2 | 4.3 | 36 | 35 | 石・長 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | 糸切り後 ミガキ | | 8/36 | 9/36 | 8/36 | | | | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|---|---------|------------------|----|----|------|-----|-------|---------|------|-----|------|-----------|-----------|-----------------|------------------|-------|-----------------|-----------|------|------|-------|-------|-------|----|---------|-------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 194 | 270 | 343 | 22 | 1 | Pit1544 | 15G-7D9 | | 古代 | 土師器 | 長襖 | Bc | 19.0 | | | | 石・長・雲・チ・赤 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | | | |
| 194 | 270 | 344 | 22 | 1 | Pit1595 | 15G-5E17、6E3・4 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | AⅢ2 | 13.6 | 5.0 | 6.0 | 44 | 37 | 石 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | 糸切り | 右 | 32/36 | 27/36 | 30/36 | | | |
| 194 | 270 | 345 | 22 | 1 | Pit1597 | 15G-5E24、6E4 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 11.9 | 8.0 | 3.0 | 25 | 67 | 長 | B | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 20/36 | 22/36 | 21/36 | | | |
| 194 | 270 | 346 | 22 | 1 | Pit1597 | 15G-5E24 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 13.1 | | | | | 長 | | 橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | | |
| 194 | 270 | 347 | 22 | 1 | Pit1597 | 15G-5E24 | | 古代 | 土師器 | 長襖 | Bc | 21.0 | | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | | |
| 194 | 270 | 348 | 22 | 1 | Pit1597 | 15G-5E24、6E4 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 36.0 | | | | | 石・長・雲・チ | | 明黄褐 (10YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ヘラケズリ | ロクロナデ、カキメ | | | 10/36 | | | スス | スス | |
| 194 | 270 | 349 | 22 | 1 | Pit1641 | 15G-5E16・21 | 1 | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A 1 2 | 13.0 | 5.2 | 4.0 | 31 | 40 | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 10/36 | 36/36 | 18/36 | | | SX1638接合 |
| 194 | 270 | 350 | 22 | 1 | Pit1653 | 15G-5D15 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.7 | 4.6 | 2.7 | 31 | 53 | 石・海 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 5/36 | 36/36 | 18/36 | | | スス |
| 194 | 270 | 351 | 22 | 1 | Pit1659 | 15G-6E3 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | | 6.6 | | | | 石・白 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 31/36 | | | | |
| 194 | 270 | 352 | 22 | 1 | Pit1662 | 15G-5E17 | | 古墳 | 土師器 | 甕 | | | 3.0 | | | | 石・長 | | 橙 (7.5YR6/6) | 酸化 | ヘラケズリ | ハケメ | ナデ | | | 36/36 | | | | Pit1651接合 |
| 194 | 270 | 353 | 22 | 1 | Pit1712 | 15G-6D4 | | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | 11.8 | 6.8 | 3.3 | 28 | 58 | 石・チ | | 明黄褐 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 34/36 | 36/36 | 35/36 | | | |
| 194 | 271 | 354 | 22 | 1 | Pit1720 | 15G-9C10、10C23 | IV | 古代 | 土師器 | 長襖 | Aa | 19.0 | | | | | 石・長・雲・赤・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | 8/36 | | | | | |
| 194 | 271 | 355 | 22 | 1 | Pit1790 | 15G-4E25 | | 古墳 | 土師器 | 高杯 | | | | | | 石・長・雲 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ヘラケズリ | ヨコナデ | | | | | | | | | |
| 194 | 271 | 356 | 22 | 1 | Pit1864 | 15G-4F18、5G2 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (28.0) | | | | | 長・海 | | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | 珠洲Ⅱ期 |
| 195 | 271 | 357 | 22 | 1 | Pit1936 | 15G-4E19 | | 古代 | 土師器 | 長襖 | Bc | 20.0 | | | | | 石・長・チ | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | |
| 195 | 271 | 358 | 22 | 1 | Pit1948 | 15G-4E14 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A | | 6.8 | | | | 長・雲 | | 橙 (5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 18/36 | | | | |
| 195 | 271 | 359 | 22 | 1 | Pit1981 | 15G-3G21 | | 古代 | 土師器 | 長襖 | Bc | 25.8 | | | | | 長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 6/36 | | | | | |
| 195 | 271 | 360 | 22 | 1 | | 15G-5E23 | IV | 古墳 | 土師器 | 高杯 | | | 16.0 | | | | 石・長・チ | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | | 4/36 | | | | |
| 195 | 271 | 361 | 22 | 1 | | 15G-5E13 | IV | 古墳 | 土師器 | 壺 | | (10.0) | | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ヨコナデ | ヨコナデ | | | 2/36 | | | | | 362と同一か |
| 195 | 271 | 362 | 22 | 1 | | 15G-5E17 | IV | 古墳 | 土師器 | 壺 | | | | | | | 石・長・雲 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ナデ、ヘラケズリ | ナデ | | | | | | スス | 361と同一か | |
| 195 | 256 | 363 | 22 | 1 | | 15G-1111、2H3 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | 20.0 | | | | | 石・長・雲 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | 36/36 | | | スス | 364と同一か | |
| 195 | 271 | 364 | 22 | 1 | | 15G-1111、2H3 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | | 4.0 | | | | 石・長・雲 | | 橙 (2.5YR6/6) | 酸化 | ハケメ、ヘラケズリ | ハケメ | | | | 36/36 | | | | 363と同一か |
| 195 | 271 | 365 | 22 | 1 | | 15G-4F10 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 10.2 | 6.8 | 3.2 | 31 | 67 | 石・長 | B | 灰黄 (2.5Y6/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 8/36 | 5/36 | | | |
| 195 | 271 | 366 | 22 | 1 | | 15G-5F17 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 11.8 | 8.4 | 3.1 | 26 | 71 | 石・長・白 | B | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 13/36 | 8/36 | | | |
| 195 | 271 | 367 | 22 | 1 | | 15G-7B21 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 11.8 | 8.3 | 3.5 | 30 | 70 | 石・白 | B | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 13/36 | 7/36 | | | |
| 195 | 271 | 368 | 22 | 1 | | 15G-2G18 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 12.0 | 8.2 | 2.9 | 24 | 68 | 長 | B | 灰 (10Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 3/36 | 12/36 | 8/36 | | | |
| 195 | 271 | 369 | 22 | 1 | | 15G-4H17 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 12.0 | 8.4 | 3.2 | 27 | 70 | 石・長・角 | B | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 6/36 | 6/36 | | | |
| 195 | 271 | 370 | 22 | 1 | | 15G-10D1・3・12 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 12.0 | 8.1 | 3.0 | 25 | 68 | 石・白 | B | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 11/36 | 34/36 | 18/36 | | | |
| 195 | 271 | 371 | 22 | 1 | | 15G-7E6 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.2 | 8.4 | 3.0 | 25 | 69 | 石 | C | 浅黄橙 (10YR8/3) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 6/36 | 5/36 | | | |
| 195 | 271 | 372 | 22 | 1 | | 15G-8C11 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.3 | 7.2 | 2.8 | 23 | 59 | 長・白 | D | 灰 (5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 27/36 | 25/36 | 15/36 | | | |
| 195 | 271 | 373 | 22 | 1 | | 15G-10C10 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.3 | 8.2 | 3.2 | 26 | 67 | 石・長・角 | C | 浅黄橙 (10YR8/3) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 14/36 | 7/36 | | | |
| 195 | 271 | 374 | 22 | 1 | | 15G-8A15 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.5 | 9.0 | 3.7 | 30 | 72 | 石・白 | C | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 14/36 | 5/36 | | | |
| 195 | 271 | 375 | 22 | 1 | | 15G-8B1 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.5 | 8.4 | 3.2 | 26 | 67 | 白 | | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 9/36 | 4/36 | 4/36 | | | |
| 195 | 271 | 376 | 22 | 1 | | 15G-9B5・8 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.6 | 8.3 | 2.7 | 21 | 66 | 長 | B | オリーブ灰 (2.5GY5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 10/36 | 5/36 | | | |
| 195 | 271 | 377 | 22 | 1 | | 15G-3G21、4G1 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.8 | 9.8 | 3.6 | 28 | 77 | 石・長 | B | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 11/36 | 4/36 | | | |
| 196 | 271 | 378 | 22 | 1 | | 15G-8B9・10 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.9 | 7.2 | 3.4 | 26 | 56 | 石・白 | B | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 19/36 | 36/36 | 20/36 | | | |
| 196 | 271 | 379 | 22 | 1 | | 15G-9C1 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 8.6 | 3.2 | 25 | 66 | 石 | B | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 8/36 | 18/36 | 10/36 | | | |
| 196 | 271 | 380 | 22 | 1 | | 15G-4F10、4G12・17 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 3 | 14.0 | 7.2 | 4.0 | 29 | 51 | 石・長 | A | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ナデ | | 8/36 | 23/36 | 22/36 | | | 底部外面ヘラ記号「/」 |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|---|-----|------------------------------------|----|----|-----|-----|-------|---------|-------|-----|------|------|---------|---------------------|----|-------------|------------|------|----|-------|-------|-------|-----|-----------|-------------|-----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 196 | 271 | 381 | 22 | 1 | | 15G-9C18 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 3 | 14.3 | 9.0 | 3.2 | 22 | 63 | 長 | C 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 9/36 | 3/36 | | | | |
| 196 | 271 | 382 | 22 | 1 | | 15G-7F22、8C21 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | | | | | 石・長 | C 灰白 (2.5Y8/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 18/36 | | | | 底部外面ヘラ記号「#」 | |
| 196 | 271 | 383 | 22 | 1 | | 15G-7D9 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | | | | | 長 | B 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | | | | 底部外面墨書「口」 | | |
| 196 | 271 | 384 | 22 | 1 | | 15G-8A20、8B8・18 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 9.6 | 5.8 | 4.8 | 50 | 60 | 長・白 | B 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 9/36 | 36/36 | 10/36 | | | | |
| 196 | 271 | 385 | 22 | 1 | | 15G-8C7、8D6 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | | | | | 長 | C 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 7/36 | | | 漆 | | |
| 196 | 271 | 386 | 22 | 1 | | 15G-8B9、8C1 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | 12.4 | 8.4 | 4.2 | 34 | 68 | 石・白 | C 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 1/36 | 16/36 | 9/36 | | | 稜碗 | |
| 196 | 271 | 387 | 22 | 1 | | 15G-10D11 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 14.0 | | | | | 石・長 | A 灰 (N5/5) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | 稜碗 | |
| 196 | 271 | 388 | 22 | 1 | | 15G-9C2・3 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 2 | 13.4 | 7.8 | 6.2 | 46 | 58 | 長・白 | B 暗オリーブ灰 (2.5GY4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 4/36 | 22/36 | 15/36 | | | | |
| 196 | 271 | 389 | 22 | 1 | | 15G-7B21、9B2・10 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 7.3 | | | | 長・白 | C 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 23/36 | | | | | |
| 196 | 271 | 390 | 22 | 1 | | 15G-5F23 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 7.4 | | | | 長 | B 灰 (10Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 11/36 | | | | | |
| 196 | 271 | 391 | 22 | 1 | | 15G-5F6 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 10.0 | | | | 石・長・角 | B 暗赤灰 (2.5YR4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 1/36 | | | | | |
| 196 | 271 | 392 | 22 | 1 | | 15G-8E21 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 9.4 | | | | 長・チ | C 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 13/36 | | | | | |
| 196 | 272 | 393 | 22 | 1 | | 15G-9C3・5・10 | IV | 古代 | 須恵器 | 折縁杯 | | 12.2 | | | | | 長 | C 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 11/36 | | | | | |
| 196 | 272 | 394 | 22 | 1 | | 15G-9B8・9、9C1 | IV | 古代 | 須恵器 | 折縁杯 | | (13.6) | | | | | 石・長・海 | C 灰白 (7.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | |
| 196 | 272 | 395 | 22 | 1 | | 15G-4D18 | IV | 古代 | 須恵器 | 折縁杯 | | (16.0) | | | | | 長 | A 褐灰 (5YR5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | |
| 196 | 272 | 396 | 22 | 1 | | 15G-4F14 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | | 石・長 | C 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | | |
| 196 | 272 | 397 | 22 | 1 | | 15G-2G19 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | | 長・チ | D 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | | | | 自然釉 | | |
| 196 | 272 | 398 | 22 | 1 | | 15G-8D23 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | | 長・角 | D 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | | | | | | |
| 196 | 272 | 399 | 22 | 1 | | 15G-9C10、9D6 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.4 | | | | | 石・長・海 | B 灰 (N6/0) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | | |
| 196 | 272 | 400 | 22 | 1 | | 15G-5E3・15、5F11 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 16.0 | | | | | 石・長 | B 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 5/36 | | 5/36 | | | | |
| 196 | 272 | 401 | 22 | 1 | | 15G-6D16、8B3 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | (15.0) | | | | | 石・長 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | | | |
| 196 | 272 | 402 | 22 | 1 | | 15G-7B4・24、8B2・3・8 | IV | 古代 | 須恵器 | 壺蓋 | | 12.0 | | 4.1 | 34 | | 長 | B 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 18/36 | | 22/36 | | | | |
| 196 | 272 | 403 | 22 | 1 | | 15G-7A19、7B17、8B2・6、9B20、10B5、10C1 | IV | 古代 | 須恵器 | 壺蓋 | | (12.2) | | | | | 長 | B 灰白 (N8/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | 自然釉 | | |
| 197 | 272 | 404 | 22 | 1 | | 15G-1H9 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | 34.0 | | | | | 石・長・角・海 | C 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、当て具痕 | D | | 4/36 | | | | 自然釉 | 自然釉 | |
| 197 | 272 | 405 | 22 | 1 | | 15G-10B5 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 石・長・角 | C 灰白 (5Y7/1) | 還元 | タタキメ | H 当て具痕 | D | | | | | | | スス | |
| 197 | 272 | 406 | 22 | 1 | | 15G-9B18・23・24、10B2 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 石・長・角 | C オリーブ灰 (2.5GY5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 1/36 | | | | 自然釉 | 自然釉 | |
| 197 | 272 | 407 | 22 | 1 | | 15G-4G8 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 長 | B 灰 (10Y6/1) | 還元 | タタキメ | H 当て具痕 | H | | | | | | | 転用砥石 | |
| 197 | 272 | 408 | 22 | 1 | | 15G-5F2 | IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | 5.4 | | | | | 長 | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | 自然釉 | 珠洲焼小壺の可能性あり | |
| 197 | 272 | 409 | 22 | 1 | | 15G-7F8 | IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | | (7.0) | | | | 長 | C 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 3/36 | | | | 自然釉 | |
| 197 | 272 | 410 | 22 | 1 | | 15G-10B10、10C11 | IV | 古代 | 須恵器 | 長胴壺 | | (13.0) | | | | | 長 | C にぶい黄橙 (10YR6/3) | 還元 | ロクロナデ、ヘラケズリ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 197 | 272 | 411 | 22 | 1 | | 15G-8B22 | IV | 古代 | 須恵器 | 折縁杯 | | (13.0) | | | | | 石・長 | C 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 197 | 272 | 412 | 22 | 1 | | 15G-9C15 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | (12.9) | | | | | 長 | B 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 197 | 272 | 413 | 22 | 1 | | 15G-9D3 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | (12.0) | | | | | 長 | C オリーブ灰 (5GY5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | | | |
| 197 | 272 | 414 | 22 | 1 | | 15G-7A19 | IV | 古代 | 須恵器 | 広口壺 | | 15.0 | | | | | 長 | C 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | |
| 197 | 272 | 415 | 22 | 1 | | 15G-7B22、8A10 | IV | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | 30.0 | | | | | 長・白 | C 灰白 (10YR8/2) | 還元 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 4/36 | | | | | | 挿れ鉢 |
| 198 | 272 | 416 | 22 | 1 | | 15G-10C17・22 | IV | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | (36.0) | | | | | 石・長 | C 灰白 (7.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | 挿れ鉢 |
| 198 | 272 | 417 | 22 | 1 | | 15G-9D8・19 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | 11.6 | | | | | 長 | B 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、当て具痕 | D | | 4/36 | | | | | | 自然釉 |
| 198 | 273 | 418 | 22 | 1 | | 15G-4F14 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.7 | 8.8 | 4.1 | 30 | 64 | 石 | C 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 13/36 | 19/36 | 18/36 | | | 酸化炎焼成須恵器 | |
| 198 | 272 | 419 | 22 | 1 | | 15G-9D1 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | AII 1 | 11.9 | 4.8 | 4.4 | 37 | 40 | 石 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 8/36 | 24/36 | 10/36 | | | | |
| 198 | 272 | 420 | 22 | 1 | | 15G-9C20 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | AII 1 | 12.0 | 5.6 | 4.5 | 38 | 47 | 石 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 15/36 | 11/36 | 18/36 | スス | スス | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 |
|-------|---------|--------|------|---|-----|---------------------|----|----|------|-----|--------------|---------|-------|------|------|------|----------------|-----------------|-------|---------------|-----------|---------|------|-------|-------|-------|----|-----|------------------|--------------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 198 | 272 | 421 | 22 | 1 | | 15G-8B2 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A I 1 | 12.0 | 5.1 | 3.7 | 31 | 43 | 石 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 6/36 | 36/36 | 10/36 | | | | |
| 198 | 272 | 422 | 22 | 1 | | 15G-9C13・23 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A I 1 | 12.0 | 4.4 | 4.1 | 34 | 37 | 石・長・白 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | 右 | 10/36 | 17/36 | 14/36 | | | | |
| 198 | 272 | 423 | 22 | 1 | | 15G-7D9 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | B I 2 | 12.1 | 5.2 | 2.8 | 23 | 43 | 石・長 | 橙 (5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ、ハケメ | ロクロナデ | 糸切り | | 25/36 | 19/36 | 22/36 | | | 酸化炎焼成須恵器の可能性あり | |
| 198 | 272 | 424 | 22 | 1 | | 15G-5F16 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | C II 2 | 12.1 | 4.4 | 4.3 | 36 | 36 | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ、ケズリ | ロクロナデ、ミガキ | 糸切り後ケズリ | | 9/36 | 24/36 | 12/36 | | | | |
| 198 | 272 | 425 | 22 | 1 | | 15G-1H22 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | B I 2 | 12.4 | 4.6 | 3.8 | 31 | 37 | 長・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 13/36 | 29/36 | 15/36 | | | | |
| 198 | 272 | 426 | 22 | 1 | | 15G-1G10 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 13.0 | | | | | 長 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | |
| 198 | 272 | 427 | 22 | 1 | | 15G-5E12 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A I 2 | 13.1 | 5.2 | 3.9 | 30 | 40 | 石・長・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 4/36 | 36/36 | 8/36 | | | | |
| 198 | 272 | 428 | 22 | 1 | | 15G-6B25、7B4・5 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | B I 2 | 13.1 | 8.0 | 3.0 | 23 | 61 | 石・長・チ | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 15/36 | 24/36 | 16/36 | | | 酸化炎焼成須恵器の可能性あり | |
| 198 | 272 | 429 | 22 | 1 | | 15G-5E8・12 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | B I 2 | 13.5 | 7.0 | 4.1 | 30 | 52 | 石 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 6/36 | 20/36 | 13/36 | | | | |
| 198 | 273 | 430 | 22 | 1 | | 15G-9C11・12 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A II 2 | 13.5 | 5.3 | 5.1 | 38 | 39 | 石・長・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、ミガキ | 糸切り | 右 | 8/36 | 31/36 | 13/36 | | | | |
| 198 | 273 | 431 | 22 | 1 | | 15G-4D3・18 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A I 2 | 13.6 | 7.0 | 3.5 | 26 | 51 | 石・長・白 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 10/36 | 36/36 | 14/36 | | | | |
| 198 | 273 | 432 | 22 | 1 | | 15G-8C22、8D21 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A II 3 | 14.5 | 5.7 | 5.2 | 36 | 39 | 石・長 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 11/36 | 31/36 | 15/36 | | | | |
| 198 | 273 | 433 | 22 | 1 | | 15G-7D9 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A I 3 (16.2) | (6.4) | (5.5) | (34) | (40) | 長・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 3/36 | 5/36 | 4/36 | | | | | |
| 198 | 273 | 434 | 22 | 1 | | 15G-9C7・8 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 18.1 | | | | | 石 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ | | | 10/36 | | | | | | |
| 198 | 273 | 435 | 22 | 1 | | 15G-9E7 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | | 5.5 | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 左 | | 36/36 | | | | 体部外面・正位墨書「八」内面剥落 | |
| 198 | 273 | 436 | 22 | 1 | | 15G-6D19 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | | 15.0 | | | | | 石 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 5/36 | | | | | | |
| 198 | 273 | 437 | 22 | 1 | | 15G-8B8・9 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | | 16.3 | | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | 14/36 | | | | | | |
| 198 | 273 | 438 | 22 | 1 | | 15G-7F15 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | | 20.0 | | | | | 石・長・雲・角 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | 6/36 | | | | | | |
| 198 | 273 | 439 | 22 | 1 | | 15G-1G10 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | | | 6.4 | | | | 長 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ミガキ | 糸切り後ミガキ | | | 7/36 | | | | | |
| 198 | 273 | 440 | 22 | 1 | | 15G-9C24 | IV | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | 14.0 | | | | | 石 | にぶい黄橙 (10YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 4/36 | | | | | | |
| 198 | 273 | 441 | 22 | 1 | | 15G-6D19 | IV | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | | 6.3 | | | | 石 | 明黄褐 (10YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | | 24/36 | | | | | |
| 199 | 273 | 442 | 22 | 1 | | 15G-9B10・13 | IV | 古代 | 緑軸陶器 | 有台椀 | | (16.0) | | | | | 長・チ | 灰白 (10Y7/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ | | | 3/36 | | | | | 京都系 | |
| 199 | 273 | 443 | 22 | 1 | | 15G-9B2 | IV | 古代 | 緑軸陶器 | 有台椀 | | | | | | | 長 | 灰白 (10Y7/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ | | | 1/36 | | | | | 軟質 京都系 | |
| 199 | 273 | 444 | 22 | 1 | | 15G-9B2・8・9・15、10B4 | IV | 古代 | 緑軸陶器 | 有台椀 | | | 6.2 | | | | 長・チ | 灰白 (10Y7/2) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ミガキ? | ケズリ | | | 17/36 | | | | | 削り出し高台 京都系 328と同一か |
| 199 | 273 | 445 | 22 | 1 | | 15G-4F7 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 8.4 | 5.0 | 8.5 | 101 | 60 | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 3/36 | 12/36 | 5/36 | | | | |
| 199 | 273 | 446 | 22 | 1 | | 15G-6D1 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 12.0 | | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 447 | 22 | 1 | | 15G-5D20 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 13.7 | | | | | 石・長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 448 | 22 | 1 | | 15G-10C8 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba (14.0) | | | | | | 石・長・角 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 449 | 22 | 1 | | 15G-4F7 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 13.0 | | | | | 石・チ | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 6/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 450 | 22 | 1 | | 15G-9D16 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 12.1 | | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 451 | 22 | 1 | | 15G-8B1 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 13.0 | | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 |
|-------|---------|--------|------|---|-----|-----------------------|----|----|-----|----|----|---------|-----|----|------|---------|------------------|----|-----------------|-----------|-------|----|----|-------|-----|----|----|-----|----|---------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 199 | 273 | 452 | 22 | 1 | | 15G-8B2 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 15.0 | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 453 | 22 | 1 | | 15G-7B4・5 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 15.0 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 454 | 22 | 1 | | 15G-4F7 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 15.0 | | | | 石・長・チ・角 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 455 | 22 | 1 | | 14G-10G24・25、15G-1G10 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 16.0 | | | | 石・長 | 明黄褐 (10YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 7/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 456 | 22 | 1 | | 15G-8B6 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 17.0 | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 6/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 457 | 22 | 1 | | 15G-1F25、2F10 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 19.0 | | | | 長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 458 | 22 | 1 | | 15G-5E19 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 5.5 | | | 石・長・角 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 459 | 22 | 1 | | 15G-10C18・22 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 8.8 | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | 25/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 460 | 22 | 1 | | 15G-8C7 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 4.7 | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 461 | 22 | 1 | | 15G-4F7 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 7.2 | | | 石・長・角 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 11/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 462 | 22 | 1 | | 15G-8A4 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 20.0 | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 9/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 463 | 22 | 1 | | 15G-1G12 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 19.0 | | | | 長・雲・チ | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 464 | 22 | 1 | | 15G-4F13・14 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | 石・長・雲・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 199 | 273 | 465 | 22 | 1 | | 15G-5F2 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | 石・長・雲 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 200 | 273 | 466 | 22 | 1 | | 15G-5D18 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.1 | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | | |
| 200 | 273 | 467 | 22 | 1 | | 15G-5D18 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 21.0 | | | | 石・長・角 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 200 | 274 | 468 | 22 | 1 | | 15G-5D21 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 21.8 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 7/36 | | | | | | |
| 200 | 274 | 469 | 22 | 1 | | 15G-9D9 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 21.8 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5Y8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 6/36 | | | | | | |
| 200 | 274 | 470 | 22 | 1 | | 15G-6C5 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 24.0 | | | | 石・長・チ・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 7/36 | | | | | | |
| 200 | 274 | 471 | 22 | 1 | | 15G-3F25 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (27.0) | | | | 長・赤・角 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | |
| 200 | 274 | 472 | 22 | 1 | | 15G-7D15 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 27.0 | | | | 石・長・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 200 | 274 | 473 | 22 | 1 | | 15G-8A8 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | B | | 8.3 | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ナデ | | | 15/36 | | | | | | |
| 200 | 274 | 474 | 22 | 1 | | 15G-9D11 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bd | 37.8 | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ヘラケズリ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 200 | 274 | 475 | 22 | 1 | | 15G-6C12・17・23 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 38.0 | | | | 長 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 9/36 | | | | | | |
| 200 | 274 | 476 | 22 | 1 | | 15G-8C15、8D6 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 39.8 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 200 | 274 | 477 | 22 | 1 | | 15G-9C16 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (39.6) | | | | 石・雲・チ・角 | にぶい黄橙 (10YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | スス | | | |
| 201 | 274 | 478 | 22 | 1 | | 14G-10G25 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (39.7) | | | | 石・長・雲・チ | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 201 | 274 | 479 | 22 | 1 | | 15G-5D7 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 39.9 | | | | 石・長 | 橙 (7.5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ、タタキメ | H | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | 481と同一か |
| 201 | 274 | 480 | 22 | 1 | | 15G-1G8 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 42.1 | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 201 | 274 | 481 | 22 | 1 | | 15G-5D7 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 40.8 | | | | 石・長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、タタキメ | H | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | | 479と同一か |
| 201 | 274 | 482 | 22 | 1 | | 15G-7B24、8B6 | IV | 古代 | 土師器 | 鉢 | | | 9.0 | | | 石・長・チ・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ヘラケズリ | ロクロナデ | | | | 12/36 | | | | | | 小甕か |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|---|-----|-----------|----|----|-----|-----|------|---------|--------|-----|------|-------|-----|-------------------|-----------------|-------|---------------|---------------|-------|------|-------|-------|-------|-----|-------|-----------|--|--|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 201 | 274 | 483 | 22 | 1 | | 15G-9C21 | IV | 古代 | 土師器 | 台付鉢 | | | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | | | | |
| 201 | 274 | 484 | 22 | 1 | | 15G-5D17 | IV | 古代 | 土師器 | 仏鉢 | | (20.0) | | | | 石・長・雲 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | | |
| 201 | 274 | 485 | 22 | 1 | | 15G-4E24 | IV | 中世 | 青磁 | 小椀 | II | (11.0) | | | | | | 軸：オリブ灰 (10Y6/2) | | | | | | | 2/36 | | | | | | 同安窯系 胎土：浅黄 (2.5Y7/3) D期 (12世紀中～後半) | |
| 201 | 274 | 486 | 22 | 1 | | 15G-9B8 | IV | 中世 | 青磁 | 椀 | II-b | (15.0) | | | | | | 軸：オリブ灰 (10Y6/2) | | | | | | | 1/36 | | | | | | 龍泉窯系 胎土：灰白 (5Y7/1) E期 (13世紀前後～前半) | |
| 201 | 274 | 487 | 22 | 1 | | 15G-9C1・7 | IV | 中世 | 青磁 | 椀 | I-2 | (16.0) | | | | | | 軸：灰オリブ (5Y5/2) | | | | | | | 2/36 | | | | | | 龍泉窯系 胎土：黄灰 (2.5Y5/1) D期 (12世紀中～後半) | |
| 201 | 274 | 488 | 22 | 1 | | 15G-4G13 | IV | 中世 | 青磁 | 椀 | I-1b | (17.8) | | | | | | 軸：オリブ灰 (2.5GY5/1) | | | | | | | 2/36 | | | | | | 同安窯系 胎土：灰白 (7.5Y7/1) D期 (12世紀中～後半) | |
| 201 | 274 | 489 | 22 | 1 | | 15G-5D14 | IV | 中世 | 青磁 | 椀 | I-1b | | | | | | | 軸：灰オリブ (7.5Y6/2) | | | | | | | | | | | | | 同安窯系 胎土：灰白 (7.5Y7/1) D期 (12世紀中～後半) | |
| 201 | 274 | 490 | 22 | 1 | | 15G-4E15 | IV | 中世 | 青磁 | 椀 | I-2 | | | | | | | 軸：オリブ灰 (5GY5/1) | | | | | | | | | | | | | 同安窯系 胎土：灰白 (7.5Y7/1) D期 (12世紀中～後半) | |
| 201 | 274 | 491 | 22 | 1 | | 15G-5G11 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.8 | 4.6 | 2.5 | 32 | 59 | 石・雲 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 3/36 | 23/36 | 18/36 | | | | | |
| 201 | 274 | 492 | 22 | 1 | | 15G-8D8 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.0 | 4.6 | 2.4 | 30 | 58 | 石 | | 橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 11/36 | 20/36 | 26/36 | | | | | |
| 201 | 274 | 493 | 22 | 1 | | 15G-8C18 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.3 | 4.4 | 1.9 | 23 | 53 | 長 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 31/36 | 36/36 | 34/36 | | | | | |
| 201 | 274 | 494 | 22 | 1 | | 15G-4G1 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.4 | 6.0 | 1.9 | 23 | 71 | 石 | | 橙 (7.5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 6/36 | 5/36 | 4/36 | | | | | |
| 201 | 274 | 495 | 22 | 1 | | 15G-8C19 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.7 | 4.5 | 2.1 | 24 | 52 | 石 | | 黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 8/36 | 36/36 | 19/36 | | | | | |
| 202 | 274 | 496 | 22 | 1 | | 15G-2F10 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.7 | 4.6 | 1.8 | 21 | 53 | 石・白 | | にぶい褐 (7.5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 5/36 | 3/36 | 5/36 | | | | | |
| 202 | 274 | 497 | 22 | 1 | | 15G-4D24 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.0 | 5.6 | 1.2 | 17 | 80 | 石・長 | | 橙 (7.5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 5/36 | 10/36 | 30/36 | | | | | |
| 202 | 274 | 498 | 22 | 1 | | 15G-8C5 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.8 | 5.8 | 1.7 | 19 | 66 | 雲・白 | | 橙 (7.5YR7/8) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 26/36 | 36/36 | 30/36 | | | | | |
| 202 | 274 | 499 | 22 | 1 | | 15G-6C5 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 9.0 | 6.2 | 1.5 | 17 | 69 | 石・白 | | 橙 (7.5YR7/8) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 5/36 | 8/36 | 9/36 | | | | | |
| 202 | 274 | 500 | 22 | 1 | | 15G-8D2 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.3 | 6.0 | 1.2 | 16 | 82 | 石 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 5/36 | 4/36 | | | | | |
| 202 | 274 | 501 | 22 | 1 | | 15G-7B21 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.7 | 6.3 | 1.6 | 21 | 82 | 石・雲 | | にぶい橙 (7.5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 5/36 | 7/36 | 7/36 | | | | | |
| 202 | 275 | 502 | 22 | 1 | | 15G-9D8 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 5.6 | | | | 長 | | 黄橙 (7.5YR7/8) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | | |
| 202 | 275 | 503 | 22 | 1 | | 15G-8A20 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 6.8 | | | | 石・雲 | | 黄橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 25/36 | | | | | | |
| 202 | 275 | 504 | 22 | 1 | | 15G-8B16 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 7.0 | | | | 雲 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 18/36 | | | | | | |
| 202 | 275 | 505 | 22 | 1 | | 15G-9B2 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.2 | 5.1 | 2.0 | 28 | 71 | 長 | | 橙 (5YR6/8) | 酸化 | 指頭圧痕 | ナデ | | | 1/36 | 6/36 | 5/36 | | | | | |
| 202 | 275 | 506 | 22 | 1 | | 15G-5E21 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.4 | 5.6 | 1.7 | 23 | 76 | 石・長 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | 指頭圧痕 | ナデ | | | 16/36 | 19/36 | 18/36 | | | | | |
| 202 | 275 | 507 | 22 | 1 | | 15G-7D15 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 6.5 | 3.0 | 2.2 | 34 | 46 | 石・白 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | 10/36 | 9/36 | 10/36 | | | | | |
| 202 | 275 | 508 | 22 | 1 | | 15G-5C4 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.1 | 4.0 | 2.3 | 28 | 49 | 石・長 | | にぶい褐 (7.5YR5/3) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | 6/36 | 9/36 | 13/36 | | | | | |
| 202 | 275 | 509 | 22 | 1 | | 15G-9D5 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.2 | 5.8 | 1.7 | 21 | 71 | 石・雲 | | にぶい橙 (7.5YR6/4) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | 5/36 | 9/36 | 8/36 | | | | | |
| 202 | 275 | 510 | 22 | 1 | | 15G-8E15 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 壺I種 | | (20.0) | | | | | 石・長 | | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | | | 珠洲I～II期 | |
| 202 | 275 | 511 | 22 | 1 | | 15G-2G7 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 壺R種 | | (12.0) | | | | | 石・長 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | | |
| 202 | 275 | 512 | 22 | 1 | | 15G-9B7 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 甕 | | | | | | 石・長・海 | | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | タタキメ | 当て具痕 | | | | | | | | | | 体部外面刻印 | |
| 202 | 275 | 513 | 22 | 1 | | 15G-4E15 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 甕 | | | | | | 石 | | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | | | | |
| 202 | 275 | 514 | 22 | 1 | | 15G-6B25 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | | 12.0 | | | | 長 | | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位11目の 鉋目 | 静止糸切り | | 12/36 | | | | | | 珠洲V期 | |
| 202 | 275 | 515 | 22 | 1 | | 15G-8E20 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | | (12.5) | | | 石・長 | | 灰 (10Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位11目の 鉋目 | 静止糸切り | | 3/36 | | | | スス | 珠洲IV期 | | | |
| 202 | 275 | 516 | 22 | 1 | | 15G-5D14 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 27.2 | | | | 長・海 | | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位7目の 鉋目 | | | 4/36 | | | | | | 珠洲III～IV期 | | |
| 202 | 275 | 517 | 22 | 1 | | 15G-6E19 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (32.6) | | | | 長・白 | | 浅黄 (2.5Y7/3) | 還元 | ロクロナデ | 鉋目 | | | 3/36 | | | | | | 珠洲III～IV期 | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|---|-------|--------------|----|----|--------|-----|------|---------|--------|-----|------|---------|-----------------|-----------------|-----------|-----------|-------------|---------|----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------------------------|-----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 口縁部 |
| 202 | 275 | 518 | 22 | 1 | | 15G-5F4 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (30.0) | | | | 石・長 | 濁灰 (10YR5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | 珠洲II期 | |
| 202 | 256 | 519 | 22 | 1 | | 15G-9C13 | IV | 中世 | 瀬戸・美濃焼 | 平碗 | | 14.0 | 4.7 | 6.1 | 44 | 34 | 長・チ | 釉：灰白 (7.5Y7/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り後ケズリ | 右 | 34/36 | 36/36 | 35/36 | | | | トチン痕 胎土：灰白 (10Y7/1) | |
| 203 | 275 | 520 | 22 | 2 | SE119 | 13B-9I23 | 4 | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | | | | | 石・長 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | | | | | | | | | |
| 203 | 275 | 521 | 22 | 2 | SE119 | 13B-9I24 | 1 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (12.4) | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | スス | |
| 203 | 275 | 522 | 22 | 2 | SE119 | 13B-9I24 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 13.0 | | | | 長・雲・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | | |
| 203 | 275 | 523 | 22 | 2 | SE119 | 13B-9I23・25 | 4 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (20.9) | | | | 石・長・雲・角 | にぶい濁 (7.5YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | スス | スス | | Pit113接合 | |
| 203 | 275 | 524 | 22 | 2 | SK24 | 13C-8B6・11 | | 古墳 | 土師器 | 杯 | | 14.6 | 3.0 | 6.1 | 42 | 21 | 石・長・角 | にぶい濁 (5YR7/4) | 酸化 | ナデ、ミガキ | ナデ、ミガキ | ナデ | | 15/36 | 15/36 | 17/36 | | | | Pit25接合 内面黒色処理 | |
| 203 | 275 | 525 | 22 | 2 | SK24 | 13C-8B7・11 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.1 | 7.0 | 3.9 | 30 | 53 | 石・長 | C 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 10/36 | 13/36 | 11/36 | | | | 仏器か | |
| 203 | 275 | 526 | 22 | 2 | SK24 | 13C-8B6・11 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 12.7 | | | | | 石・長 | C 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 9/36 | | | | | | | |
| 203 | 275 | 527 | 22 | 2 | SK24 | 13C-8B11 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | (13.8) | | | | | 石・長 | D 灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | |
| 203 | 275 | 528 | 22 | 2 | SK24 | 13C-8B11 | | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | (11.4) | | | | | 石・長 | C 灰黄 (2.5Y6/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 203 | 275 | 529 | 22 | 2 | SK40 | 13C-8A10 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (13.0) | | | | | 石・長 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 203 | 275 | 530 | 22 | 2 | SK41 | 13C-7B21 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.0 | 7.0 | 3.1 | 24 | 54 | 石・長 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 34/36 | 36/36 | 35/36 | | | | | |
| 203 | 275 | 531 | 22 | 2 | SK45 | 13C-8A6・11 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 6.6 | | | | 石・長 | C 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 7/36 | | | | | 底部高台貼り付け | |
| 203 | 275 | 532 | 22 | 2 | SK45 | 13C-8A11 | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | (17.8) | | | | | 石・長 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 203 | 275 | 533 | 22 | 2 | SK45 | 13C-8A11 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (12.0) | | | | | 石・長 | にぶい濁 (7.5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | スス | 炭化物 | | |
| 203 | 275 | 534 | 22 | 2 | SK45 | 13C-8A11 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (20.0) | | | | | 石・長・雲 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 203 | 275 | 535 | 22 | 2 | SK45 | 13C-8A11 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (21.4) | | | | | 石・長・角・海 | にぶい濁 (5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | スス・コゲ | | | |
| 203 | 275 | 536 | 22 | 2 | SK46 | 13C-8A12 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (11.8) | | | | | 石・長・雲 | A 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | スス | | | |
| 203 | 275 | 537 | 22 | 2 | SK46 | 13C-8A12 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | (8.8) | | | | | 石・長 | C 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | 有蓋か | |
| 203 | 275 | 538 | 22 | 2 | SK55 | 13C-8A9 | | 古墳 | 土師器 | 杯 | | (14.0) | | | | | 石・長・雲・角 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ヨコナデ、ミガキ | ミガキ | | | | 4/36 | | | | | 内面黒色処理 | |
| 203 | 275 | 539 | 22 | 2 | SK55 | 13C-8A9 | | 古墳 | 土師器 | 杯 | | 13.4 | | | | | 石・長・雲・角 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ミガキ | ミガキ | | | | 9/36 | | | | | 内面黒色処理 | |
| 203 | 275 | 540 | 22 | 2 | SK55 | 13C-8A9 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | (13.0) | | | | | 石・長・海 | にぶい濁 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | スス | 炭化物 | | |
| 203 | 275 | 541 | 22 | 2 | SK83 | 13C-8A12 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 15.8 | | | | | 石 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、ヘラケズリ | | | | 6/36 | | | スス | スス・炭化物 | | |
| 203 | 275 | 542 | 22 | 2 | SK104 | 13C-8A8 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (11.7) | | | | | 石・長 | A 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 203 | 275 | 543 | 22 | 2 | SK137 | 13B-10H14・19 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 11.7 | 6.6 | 2.6 | 22 | 56 | 石・長 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 1/36 | 19/36 | 9/36 | | | | | |
| 203 | 275 | 544 | 22 | 2 | SK173 | 14B-2E25 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | (8.4) | | | | | 石・長 | C 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | 金属器模倣 | |
| 203 | 275 | 545 | 22 | 2 | SD26 | 13C-8B1 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | (11.8) | (5.6) | 3.3 | (28) | (47) | 石・長 | C 灰白 (2.5Y8/1) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 3/36 | 3/36 | 4/36 | | | | |
| 204 | 275 | 546 | 22 | 2 | SD26 | 13C-8B6 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 6.8 | | | | 石・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 15/36 | | | | | | |
| 204 | 275 | 547 | 22 | 2 | SD28 | 13C-8B1 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | | 石・長 | D 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | | | |
| 204 | 275 | 548 | 22 | 2 | SD29 | 13C-8A11 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | (10.0) | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 204 | 275 | 549 | 22 | 2 | SD29 | 13C-8A11 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (40.0) | | | | | 石・長・雲 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 1/36 | | | コゲ | スス | | |
| 204 | 275 | 550 | 22 | 2 | SD30 | 13C-8A10 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (24.0) | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | |
| 204 | 275 | 551 | 22 | 2 | SD32 | 13C-8A12 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (15.0) | | | | | 石 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | スス | スス | | |
| 204 | 275 | 552 | 22 | 2 | SD33 | 13C-8A12 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 5.8 | | | | 石・長・チ | にぶい濁 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | 12/36 | | スス・コゲ | | |
| 204 | 276 | 553 | 22 | 2 | SD42 | 13C-8A12・13 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | | | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | タタキメ | H 当て具痕、ハケメ | D | | | | | | | | SD33接合 | |
| 204 | 276 | 554 | 22 | 2 | SD54 | 13C-8A9 | | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | (15.7) | | | | | 石・長 | B 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 204 | 276 | 555 | 22 | 2 | SD59 | 13B-9J11 | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | | | | | | 石・長・雲・角 | 灰濁 (7.5YR5/2) | 酸化 | ロクロナデ | | | | | | | | | | | |
| 204 | 276 | 556 | 22 | 2 | SD60 | 13B-9I20 | 1 | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (29.2) | | | | | 石・長 | B 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | |
|-------|---------|--------|------|---|--------|-------------------|------|----|------|--------|-----|---------|-------|-----|------|-------|-------|-----------------|----------------|----------------|-------|------------------|-------|------|-----|-------|-------|-------|-----|-----------|----------------|--|--|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 204 | 276 | 557 | 22 | 2 | SD60 | 13B-9I20・24 | 1・IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | 石・長 | B | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | タタキメ | H | 当て具痕 | D | | | | | | | | | | |
| 204 | 276 | 558 | 22 | 2 | SD60 | 13B-9I20 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 13.4 | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 4/36 | | スス | スス | 転用 | | | |
| 204 | 276 | 559 | 22 | 2 | SD60 | 13B-9I20 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | | | 5.0 | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | | ミガキ | ケズリ | | | 36/36 | | | | 底部外面墨書「万」 | | | |
| 204 | 276 | 560 | 22 | 2 | SD60 | 13B-9I20 | | 古代 | 土師器 | 蓋 | | 15.4 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ | | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | 盤か | | | |
| 204 | 276 | 561 | 22 | 2 | SD60 | 13B-9I20・24 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (35.6) | | | | 石・長 | | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タダキメ | H | ロクロナデ、カキメ、ナデ、ハケメ | | | | 4/36 | | スス | | | | | |
| 205 | 276 | 562 | 22 | 2 | SD126 | 13B-10I6 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 11.8 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 8/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 563 | 22 | 2 | SD126 | 13B-10I6 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | (11.8) | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 564 | 22 | 2 | SD126 | 13B-10I6 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | | 4.6 | | | 石・長 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | タール | | | |
| 205 | 276 | 565 | 22 | 2 | SD126 | 13B-10I6 | 2 | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 12.0 | | | | 石・長 | | 橙 (2.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 566 | 22 | 2 | SD126 | 13B-10I6・7 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 13.4 | 4.0 | 3.0 | 22 | 30 | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 4/36 | 36/36 | 25/36 | | | 蓋の可能性あり | | |
| 205 | 276 | 567 | 22 | 2 | SD126 | 13B-10I6 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (26.0) | | | | 石 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ | | | | 2/36 | | スス | | | | | |
| 205 | 276 | 568 | 22 | 2 | SD131 | 13B-10H20 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A12 | 12.6 | 4.8 | 3.9 | 31 | 38 | 石・長 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | 糸切り | | 1/36 | 13/36 | 8/36 | スス | | | | |
| 205 | 276 | 569 | 22 | 2 | SD131 | 13B-10H14 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 570 | 22 | 2 | SD148 | 14B-2F4 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (11.9) | | | | 石・長 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 571 | 22 | 2 | SD148 | 14B-2F4 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | (15.0) | | | | 石・長 | B | 灰 (5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ、カキメ状の調整 | | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 572 | 22 | 2 | SD150 | 14B-2F5 | 2 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (24.0) | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 573 | 22 | 2 | SD154 | 14B-1G21、2G1 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II1 | (11.6) | (6.6) | 3.9 | (34) | (57) | 石・長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 3/36 | 10/36 | 9/36 | | | | | |
| 205 | 276 | 574 | 22 | 2 | SD155 | 14B-1G16 | | 古代 | 須恵器 | 壺蓋 | | (8.0) | | | | 石・長 | B | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 575 | 22 | 2 | SD159 | 14B-1G23 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 16.0 | | | | 石・長 | C | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 576 | 22 | 2 | SD159 | 14B-1G23 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 13.7 | | | | 石・長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 4/36 | | | 自然釉 | | | | |
| 205 | 276 | 577 | 22 | 2 | SD162 | 13B-10H23 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 5.6 | | | 石・長 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 26/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 578 | 22 | 2 | SD166 | 13B-10H22、14B-1H1 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | I | (11.9) | | 3.1 | (26) | | 石・長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | | 9/36 | | | | | |
| 205 | 276 | 579 | 22 | 2 | SD181 | 13C-8A8 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (12.4) | | | | 石・長 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 580 | 22 | 2 | Pit108 | 13B-9I15 | | 古代 | 土師器 | 取手 | | | | | | 石・長 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ナデ、ハケメ | | | | | | | | | | 鉢か甌の取手 | | | |
| 205 | 276 | 581 | 22 | 2 | Pit109 | 13B-9I20 | | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | (11.6) | | | | 石・長・海 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | | ロクロナデ、ミガキ | | | | 5/36 | | | | | | | |
| 205 | 276 | 582 | 22 | 2 | Pit113 | 13B-9I25 | | 古代 | 須恵器 | 凸帯付有耳壺 | | | | | | 石・長 | B | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | | | | | | | | |
| 205 | 276 | 583 | 22 | 2 | Pit167 | 13B-10H19 | | 古墳 | 土師器 | 壺 | | (8.6) | | | | 石・長・海 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ミガキ | | ミガキ | | | | 2/36 | | | | | 内面黒色処理 垢か | | |
| 205 | 276 | 584 | 22 | 2 | | 13B-8J25 | IV | 古墳 | 土師器 | 杯 | | (13.2) | | | | 石・長・雲 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | | | ミガキ | | | | 3/36 | | | | | 内面黒色処理 外面磨耗 | | |
| 205 | 276 | 585 | 22 | 2 | | 13B-9J4 | IV | 古墳 | 土師器 | 壺 | | | | | | 石・長・角 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ミガキ | | ミガキ | | | | | | | | | 内面黒色処理 | | |
| 206 | 276 | 587 | 22 | 2 | | 13B-9J7 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | (14.4) | | | | 石・長 | | 明褐灰 (7.5YR7/2) | 酸化 | ハケメ | | ハケメ | | | | 1/36 | | スス | | | | | |
| 206 | 276 | 588 | 22 | 2 | | 13C-8A10 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | | | | | 石・長・角 | | 灰黄 (2.5Y6/2) | 酸化 | ハケメ | | | | | | | | | | | 内面磨耗 | | |
| 206 | 276 | 589 | 22 | 2 | | 13C-8A9 | IV | 古墳 | 土師器 | 甕 | | 6.4 | | | | 石・長 | | 明褐灰 (7.5YR7/2) | 酸化 | ハケメ | | ハケメ | ナデ | | | 26/36 | | スス | | | | | |
| 206 | 276 | 590 | 22 | 2 | | 13C-8B6・7 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II1 | 12.0 | 6.8 | 2.8 | 23 | 57 | 石・長 | B | 青灰 (10BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | 12/36 | 20/36 | 10/36 | | スス | | | |
| 206 | 276 | 591 | 22 | 2 | | 13C-8A12 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I1 | 12.0 | 8.0 | 3.8 | 32 | 67 | 長 | C | 灰白 (10Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 10/36 | 36/36 | 20/36 | | | | | |
| 206 | 276 | 592 | 22 | 2 | | 13C-8A11 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 8.6 | | | | 石・長 | C | 明緑灰 (10GY7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 23/36 | | | | | 内外面、使用痕が著しい | | |
| 206 | 276 | 593 | 22 | 2 | | 13C-6C19 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I2 | 13.2 | 8.6 | 3.2 | 24 | 65 | 長 | B | オリーブ灰 (5GY6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 15/36 | 9/36 | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|---|-----|-------------|----|----|------|-----|--------|---------|------|-----|------|------|---------|----|-----------------|----|-----------------|-----------------|----------|------|-------|-------|-------|-----|--------------|-----------------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 器高 |
| 206 | 276 | 594 | 22 | 2 | | 14B-3E11 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 3 | 14.3 | 9.0 | 3.6 | 25 | 63 | 長 | B | 青灰 (5BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 13/36 | 14/36 | 14/36 | | | | |
| 206 | 276 | 595 | 22 | 2 | | 13C-7B10 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 5.4 | | | | 石・長 | C | 青灰 (5BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、ナデ | ヘラ切り | 右 | | 14/36 | | | | | |
| 206 | 276 | 596 | 22 | 2 | | 14B-2F9 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 9.8 | 4.6 | 4.5 | 45 | 47 | 石・長 | A | 青灰 (5BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 9/36 | 16/36 | 9/36 | | | | |
| 206 | 276 | 597 | 22 | 2 | | 14B-1G23 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 6.4 | | | | 石・長・海 | C | 青灰 (5BG6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 8/36 | | | | 稜腕か | |
| 206 | 277 | 598 | 22 | 2 | | 14B-3D15 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 8.8 | | | | 石・長 | B | 灰 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り後ケズリ | 左 | | 28/36 | | | | | |
| 206 | 277 | 599 | 22 | 2 | | 13C-7B10 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 11.9 | 5.6 | 3.9 | 33 | 47 | 石・長 | C | 青灰 (5BG6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 14/36 | 7/36 | | | 使用痕明瞭 高台ゆがみ有 | |
| 206 | 277 | 600 | 22 | 2 | | 13C-6D8 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | | 石・長・海 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | | | | | 内面スレ著しい 転用か | |
| 206 | 277 | 601 | 22 | 2 | | 13C-8B6 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | (12.9) | | | | | 石・長・海 | C | 明オリープ灰 (5GY7/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | | | | | 内面ヘラ記号「/」 | |
| 206 | 277 | 602 | 22 | 2 | | 14B-2F16 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 12.3 | | | | | 石・長 | C | 青灰 (5B5/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | | | 自然軸 | | | |
| 206 | 277 | 603 | 22 | 2 | | 13C-8B6 | IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | | 4.9 | | | | 石・長 | C | 青灰 (10BG6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 28/36 | | | | 小型品 | |
| 206 | 277 | 604 | 22 | 2 | | 14B-1G21 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | 6.2 | | | | 石・長 | B | 青灰 (10BG5/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | | 22/36 | | | | 小型品 | |
| 206 | 277 | 605 | 22 | 2 | | 13C-7B10 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (23.2) | | | | | 石・長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ、タタキメ、ヘラナデ | H ロクロナデ、ハケメ | | | 2/36 | | | | | 焼けひずみ (火ぶくれ) 有 | |
| 206 | 277 | 606 | 22 | 2 | | 13C-8A5 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (25.5) | | | | | 石・長 | D | 暗青灰 (10BG4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 206 | 277 | 607 | 22 | 2 | | 13C-7B14 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (29.7) | | | | | 石・長 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、タタキメ、カキメ | H ロクロナデ、当て具痕 | D | | 1/36 | | | 自然軸 | | | |
| 207 | 277 | 608 | 22 | 2 | | 13C-7B10・18 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | | | | | | 石・長 | B | 灰 (N5/0) | 還元 | タタキメ、カキメ | H 当て具痕 | D | | | | | | | | |
| 207 | 277 | 609 | 22 | 2 | | 13B-1016 | IV | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | 34.9 | | | | | 石・長 | B | オリープ灰 (5GY6/1) | 還元 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | 鍋形鉢 | |
| 207 | 277 | 610 | 22 | 2 | | 13C-8A13 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | (5.8) | | | | | 石・長 | C | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 1/36 | | | | 酸化炎焼成須恵器 | |
| 207 | 277 | 611 | 22 | 2 | | 13B-9I24 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 1 | 11.8 | 5.2 | 4.1 | 35 | 44 | 石・長 | | 黄橙 (10YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 16/36 | 36/36 | 25/36 | | | | |
| 207 | 277 | 612 | 22 | 2 | | 13B-1016 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C I 2 | 12.2 | 6.4 | 3.3 | 27 | 52 | 石・長・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 35/36 | 36/36 | 35/36 | スス | スス | | |
| 207 | 277 | 613 | 22 | 2 | | 13B-1013 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | 12.4 | 4.4 | 3.5 | 28 | 35 | 石・長 | | 淡橙 (5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 2/36 | 18/36 | 12/36 | | | | |
| 207 | 277 | 614 | 22 | 2 | | 14B-3E21 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 2 | 12.8 | 6.0 | 3.2 | 25 | 47 | 長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 18/36 | 36/36 | 28/36 | | | | |
| 207 | 277 | 615 | 22 | 2 | | 13B-1017 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | 12.8 | 6.0 | 3.5 | 27 | 47 | 石・長・角 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 13/36 | 22/36 | 15/36 | | | | |
| 207 | 277 | 616 | 22 | 2 | | 13B-1016 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | 13.0 | 5.0 | 3.7 | 28 | 38 | 石・長・角・海 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 2/36 | 13/36 | 4/36 | | | | |
| 207 | 277 | 617 | 22 | 2 | | 13B-1016 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | 13.0 | 5.8 | 3.8 | 29 | 45 | 石・長・雲・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 11/36 | 36/36 | 21/36 | | | | |
| 207 | 277 | 618 | 22 | 2 | | 13B-9I24 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.0 | | | | 石・長・チ・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | |
| 207 | 277 | 619 | 22 | 2 | | 13B-10H19 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.0 | | | | 石・長 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | 内外面剥落 | |
| 207 | 277 | 620 | 22 | 2 | | 13B-9I24 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 4.8 | | | | 石・長・雲・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 17/36 | | スス | | | |
| 207 | 277 | 621 | 22 | 2 | | 14B-3E21 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 4.8 | | | | 石・長 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | |
| 207 | 277 | 622 | 22 | 2 | | 13B-9I24 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | | 7.0 | | | | 石・長・雲・角 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | ケズリ | | | 12/36 | | | | | |
| 207 | 277 | 623 | 22 | 2 | | 14B-3E21 | IV | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | 11.2 | | | | | 石・長 | | 黄灰 (2.5Y5/1) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 6/36 | | | | | 外面黒色処理 | |
| 207 | 277 | 624 | 22 | 2 | | 13B-9I20 | IV | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | (11.2) | | | | | 石・長 | | 灰黄 (2.5Y7/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 3/36 | | | | | | |
| 207 | 277 | 625 | 22 | 2 | | 14B-2G2 | IV | 古代 | 土師器 | 鉢 | | | 13.8 | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ヘラケズリ? | カキメ | ナデ | | | 6/36 | | | | 全体に剥落 | |
| 207 | 277 | 626 | 22 | 2 | | 13B-1016 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (12.0) | | | | | 石・長 | | 灰黄褐 (10YR6/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | スス | 炭化物 内外面剥落 | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|---|------|-----------------|----|-----|-----|-----|-------|---------|-------|-----|------|------|---------|-----------------|----|------------|-----------------|-----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 胎土 |
| 207 | 277 | 627 | 22 | 2 | | 13B-8J25 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (12.6) | | | | | 石・長 | にぶい黄褐 (10YR5/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | スス | 炭化物 | | |
| 207 | 277 | 628 | 22 | 2 | | 13C-8A12 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (14.2) | | | | | 石・長 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | スス | 炭化物 | 内外面磨耗 | |
| 207 | 277 | 629 | 22 | 2 | | 14B-2E25 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 4.4 | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | 糸切り | | | 6/36 | | | スス | | | |
| 207 | 278 | 630 | 22 | 2 | | 13C-7C2 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 5.6 | | | | 石・長 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | | ロクロナデ | | | | 36/36 | | | スス・コゲ | 外面磨耗 | | |
| 207 | 278 | 631 | 22 | 2 | | 13C-8A12 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 9.0 | | | | 石・長 | にぶい橙 (5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラナデ | | | 10/36 | | | | | | |
| 208 | 278 | 632 | 22 | 2 | | 13B-9J4、13C-8A6 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (17.4) | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | スス・コゲ | | | |
| 208 | 278 | 633 | 22 | 2 | | 14B-1G21 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (16.5) | | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 208 | 278 | 634 | 22 | 2 | | 13B-9I20 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | (17.0) | | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ | カキメ? | | | | 3/36 | | | | | | |
| 208 | 278 | 635 | 22 | 2 | | 13C-6D13 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | | | | | | 長 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | | | | | | | | | | 摩耗著しい | | |
| 208 | 278 | 636 | 22 | 2 | | 13B-9I24 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (22.0) | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | 摩耗著しい | |
| 208 | 278 | 637 | 22 | 2 | | 13B-9I24 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (23.8) | | | | | 長 | にぶい黄褐 (10YR5/3) | 酸化 | ロクロナデ? | ロクロナデ? | | | | 5/36 | | | | | 内外面磨耗 | |
| 208 | 278 | 638 | 22 | 2 | | 13B-10I2・6 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (22.3) | | | | | 長 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、ナデ | | | | 4/36 | | | スス | | | |
| 208 | 278 | 639 | 22 | 2 | | 13C-8A12・16 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | | | | | | 石・長 | にぶい橙 (7.5YR6/4) | 酸化 | タタキメ、ヘラケズリ | 当て具瓶、ハケメ | D | | | | | | | | | |
| 208 | 278 | 640 | 22 | 2 | | 14B-1G21、2F5 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bd | (37.8) | | | | | 石・長 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 208 | 278 | 641 | 22 | 2 | | 13B-9I20 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (38.0) | | | | | 石・長 | にぶい黄褐 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | スス | | | |
| 208 | 278 | 642 | 22 | 2 | | 13C-8A9、8B6 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (38.6) | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ、ヘラケズリ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 208 | 278 | 643 | 22 | 2 | | 14B-1G21 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | | | | | | 長・雲 | にぶい褐 (7.5YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | | | | | | スス | | 内外面磨耗 | | |
| 208 | 278 | 644 | 22 | 2 | 表探 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | | (13.0) | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | 566と同一器種か | |
| 209 | 278 | 645 | 22 | 3 | SK87 | 14D-1G13・14 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | III3 | 14.6 | 8.0 | 7.6 | 52 | 55 | 石・長・海 | C 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り後ケズリ | | | 5/36 | 18/36 | 13/36 | | | SK95接合 | |
| 209 | 278 | 646 | 22 | 3 | SK87 | 14D-1G13 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | (12.4) | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 209 | 278 | 647 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G14・18 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.2 | 8.0 | 3.0 | 25 | 66 | 石・長 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 20/36 | 23/36 | 21/36 | | | | |
| 209 | 278 | 648 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | 1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.4 | 6.9 | 3.2 | 26 | 56 | 石・長・海 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 5/36 | 8/36 | 6/36 | | | | |
| 209 | 278 | 649 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | (12.4) | (7.6) | 3.4 | (61) | (27) | 石・長 | B 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り後ヘラ調整 | | | 4/36 | 2/36 | 4/36 | | | | |
| 209 | 278 | 650 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | 2 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.6 | 8.0 | 3.5 | 27 | 63 | 石・長・雲・海 | B 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 7/36 | 18/36 | 18/36 | | | | | |
| 209 | 278 | 651 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.8 | 7.2 | 3.4 | 27 | 56 | 石・長 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 11/36 | 36/36 | 27/36 | | | | | |
| 209 | 278 | 652 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | 2 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.2 | 8.7 | 3.5 | 26 | 66 | 石・長 | B 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り後ヘラ調整 | | | 12/36 | 23/36 | 18/36 | スス | | | |
| 209 | 278 | 653 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18・23 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 15.0 | | | | | 石・長 | C 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 11/36 | | | | | | |
| 209 | 278 | 654 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | 2 | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 12.5 | | 2.3 | 18 | | 石・長 | B 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 19/36 | | 22/36 | | | 転用 | |
| 209 | 278 | 655 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | (15.4) | | | | | 石・長・海 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 4/36 | | | | | | |
| 209 | 278 | 656 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AIII1 | 11.4 | 6.0 | 4.9 | 43 | 53 | 石・長・雲・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ | 糸切り | 右 | 7/36 | 36/36 | 28/36 | スス | スス | | | |
| 209 | 278 | 657 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | 2 | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A I 2 | 13.4 | 6.8 | 4.3 | 32 | 51 | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 26/36 | 36/36 | 29/36 | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 |
|-------|---------|--------|------|---|-------|-------------|------|----|------|-----|-----|---------|--------|------|------|------|---------|-----------------|----|----------------|----------------|-------|--------|-------|-------|-------|-----|-----|---------------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 209 | 278 | 658 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A12 | (13.6) | 7.0 | 4.1 | (30) | (51) | 石・長・海 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ | 糸切り | 右 | 3/36 | 31/36 | 20/36 | スス | | | |
| 209 | 279 | 659 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A13 | 14.0 | 5.4 | 3.8 | 27 | 39 | 石・長 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 5/36 | 36/36 | 23/36 | | | 内外面剥落 | |
| 209 | 279 | 660 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 土師器 | 有台碗 | | | 8.2 | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 7/36 | | | | 酸化炭焼成の折縁杯か足高台 | |
| 209 | 279 | 661 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | (11.4) | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 2/36 | | | | | | |
| 209 | 279 | 662 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | 2 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | (11.8) | | | | | 石・長・雲・角 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | スス | スス | | |
| 209 | 279 | 663 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 13.5 | | | | | 石・長・雲 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 17/36 | | | 炭化物 | スス | | |
| 209 | 279 | 664 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.2 | | | | | 石・長・雲・角 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | スス | スス | | |
| 209 | 279 | 665 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.6 | | | | | 石・長 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 9/36 | | | | | | |
| 209 | 279 | 666 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G13・18 | 2、IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 7.2 | | | | 石・長・雲・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | 31/36 | | スス | | 内外面剥落 | |
| 209 | 279 | 667 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bb | (28.8) | | | | | 石・長・雲・角 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 2/36 | | | スス | スス | | |
| 209 | 279 | 668 | 22 | 3 | SK94 | 14D-1G13 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (11.0) | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | スス | | | |
| 210 | 257 | 669 | 22 | 3 | SK98 | 14D-1G14 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 19.2 | | 34.3 | 179 | | 石・長・雲 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | | | 26/36 | 36/36 | 27/36 | スス | | | |
| 210 | 279 | 670 | 22 | 3 | SK99 | 14D-1G15 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I3 | 14.2 | 9.4 | 3.5 | 25 | 66 | 石・長 | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 7/36 | 4/36 | | | | |
| 210 | 279 | 671 | 22 | 3 | SK99 | 14D-1G15 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (14.0) | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | スス | | | |
| 210 | 279 | 672 | 22 | 3 | SK99 | 14D-1G15 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 18.8 | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | | | |
| 210 | 279 | 673 | 22 | 3 | SK99 | 14D-1G14・15 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 19.4 | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 14/36 | | | スス | | | |
| 210 | 279 | 674 | 22 | 3 | SK103 | 14D-1G9 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I1 | 11.7 | 8.0 | 3.3 | 28 | 68 | 長 | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 26/36 | 36/36 | 30/36 | | | | |
| 210 | 279 | 675 | 22 | 3 | SK103 | 14D-1G9 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | (11.9) | | | | | 石・長 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | スス | 炭化物 | | |
| 210 | 279 | 676 | 22 | 3 | SK131 | 14D-1G17 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 8.5 | | | | 石・長・海 | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 13/36 | | | | 底部外面へラ記号「×」 | |
| 210 | 279 | 677 | 22 | 3 | SK131 | 14D-1G17 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (12.0) | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | スス | | | |
| 210 | 279 | 678 | 22 | 3 | SK139 | 14D-1G23 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 4.4 | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 19/36 | | | | | |
| 210 | 279 | 679 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (13.0) | | | | | 石・長 | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | |
| 210 | 279 | 680 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G23 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II2 | 13.2 | 8.2 | 3.0 | 23 | 62 | 石・長 | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 1/36 | 6/36 | 7/36 | | | | |
| 210 | 279 | 681 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 14.6 | 8.6 | 2.6 | 18 | 59 | 石・長・海 | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 15/36 | 11/36 | | | 底部外面へラ記号「×」 | |
| 210 | 279 | 682 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II2 | 13.1 | 8.0 | 3.6 | 27 | 61 | 石・長 | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 11/36 | 15/36 | 13/36 | | | | |
| 210 | 279 | 683 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | (14.4) | | | | | 石・長・雲 | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | | | | | | |
| 210 | 279 | 684 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G12・17 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 石・長 | 灰白 (N7/0) | 還元 | タタキメ | タタキメ | 当て具痕 | H D | | | | | | | |
| 211 | 279 | 685 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17・24 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | | (13.9) | | | | 石・長・海 | 灰 (N5/0) | 還元 | タタキメ、カキメ | タタキメ、カキメ | 当て具痕 | D | | | | | | 小型品 | |
| 211 | 279 | 686 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (18.8) | | | | | 石・長 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | | | |
| 211 | 279 | 687 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17 | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | (15.2) | | | | | 石・長 | 灰黄褐 (10YR6/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 4/36 | | | スス | | | |
| 211 | 279 | 688 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17 | 1 | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | | 7.4 | | | | 石・長・海 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | ケズリ | | | 36/36 | | | | | |
| 211 | 279 | 689 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G12・17 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 6.0 | | | | 石・長・角 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 36/36 | | | | 内外面剥落 | |
| 211 | 279 | 690 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G23 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 8.8 | | | | 石・長 | 淡橙 (5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り? | | | 7/36 | | | | | |
| 211 | 279 | 691 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 9/36 | | | スス | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | |
|-------|---------|--------|------|---|-------|-------------------|----|------|-----|------|------|---------|--------|------|------|-------|---------|---------------|-----------------|---------------|----------------|-----------|-----------|------|-------|-------|-------|-------|------|----|---------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 胎土 | 産地 |
| 211 | 279 | 692 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | (24.8) | | | | 石・長・角 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | | |
| 211 | 279 | 693 | 22 | 3 | SX73 | 13D-9G10 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 22.0 | | | | 角 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 8/36 | | 8/36 | | | | | |
| 211 | 280 | 694 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 12.0 | 7.7 | 3.1 | 26 | 64 | 長 | B | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 8/36 | 36/36 | 12/36 | | | | | |
| 211 | 280 | 695 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 12.0 | 6.6 | 3.1 | 26 | 55 | 長 | B | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 16/36 | 24/36 | 18/36 | | | | | |
| 211 | 280 | 696 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1G10、1H6 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.1 | 7.8 | 3.1 | 26 | 64 | 石・長 | B | 灰白 (N8/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 33/36 | 36/36 | 35/36 | | | | | |
| 211 | 280 | 697 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | 1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.4 | 7.8 | 3.0 | 24 | 63 | 長 | C | 明青灰 (5B7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 34/36 | 36/36 | 35/36 | | | | |
| 211 | 280 | 698 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6・11 | | 2 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.5 | 7.0 | 3.1 | 25 | 56 | 長 | B | 青灰 (5B5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 34/36 | 36/36 | 35/36 | | | | |
| 211 | 280 | 699 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 12.6 | | | | 石・長 | B | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 10/36 | | | | | | |
| 211 | 280 | 700 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1G10、1H11 | | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.6 | 8.4 | 2.9 | 23 | 67 | 石・長 | B | 灰白 (7.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 7/36 | 9/36 | 7/36 | | | | |
| 211 | 280 | 701 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H16 | | 2 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.9 | 7.6 | 3.2 | 25 | 59 | 石・長 | B | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 16/36 | 22/36 | 17/36 | | | | |
| 211 | 280 | 702 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1G15、1H11 | | 2 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.9 | 6.8 | 3.3 | 26 | 53 | 長 | B | 明青灰 (5B7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 27/36 | 36/36 | 28/36 | | | | |
| 211 | 280 | 703 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1G5・10 | | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.0 | 8.0 | 3.1 | 24 | 62 | 石・長 | C | 灰白 (10YR8/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 11/36 | 15/36 | 13/36 | スス | | SD104接合 | |
| 212 | 280 | 704 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | 1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (13.6) | | | | 石・長 | B | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 212 | 280 | 705 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.8 | 10.0 | 3.8 | 28 | 72 | 石・長 | B | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | 7/36 | 3/36 | | | |
| 212 | 280 | 706 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1G10、1H6 | | 2 | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 10.1 | 5.9 | 5.0 | 50 | 58 | 長 | B | 青灰 (10BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 31/36 | 36/36 | 33/36 | | | | |
| 212 | 280 | 707 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | 2、IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 2 | 13.3 | 7.6 | 6.6 | 50 | 57 | 長・海 | B | 明青灰 (5B7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 24/36 | 36/36 | 24/36 | | | | |
| 212 | 280 | 708 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 7.6 | | | 石・長 | C | 暗青灰 (5B4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 13/36 | | | | | | |
| 212 | 280 | 709 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1G15、1H11 | | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.2 | | 2.7 | 19 | | 石・長 | B | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ、ナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 25/36 | | 30/36 | | | | |
| 212 | 280 | 710 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | 12.6 | 7.8 | 3.0 | 24 | 62 | 石・長 | | 橙 (5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 10/36 | 8/36 | 7/36 | | | 赤彩 | |
| 212 | 280 | 711 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 12.0 | | | | 石・長・雲 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 9/36 | | | | | | |
| 212 | 280 | 712 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H16 | | 2 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (11.4) | | | | 石・長・角 | | 灰黄 (2.5Y7/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 212 | 280 | 713 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | 12.6 | 5.4 | 2.9 | 22 | 43 | 石・長・チ・海 | | 淡橙 (5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 4/36 | 28/36 | 13/36 | | | 内外面磨耗 | |
| 212 | 280 | 714 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H16 | | 1 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 3 | 14.2 | 5.0 | 3.6 | 25 | 35 | 石・長 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 2/36 | 20/36 | 8/36 | スス | スス | | |
| 212 | 280 | 715 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 3 | 16.4 | 4.4 | 4.9 | 30 | 27 | 石・長・海 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 11/36 | 14/36 | 12/36 | | | | |
| 212 | 280 | 716 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | (14.6) | | | | 石・長・角 | | 灰白 (2.5Y7/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 212 | 280 | 717 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1G19、1H6 | | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | 17.2 | | | | 石・長・角 | | 淡橙 (5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | | 6/36 | | | | | | |
| 212 | 280 | 718 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | | 古代 | 土師器 | 小囊 | Bc | (8.9) | | | | 石・長 | | にぶい橙 (2.5YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | スス | スス | | | |
| 212 | 280 | 719 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | | 古代 | 土師器 | 小囊 | Bc | 13.0 | | | | 石・長・角 | | 橙 (2.5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 25/36 | | スス | 炭化物 | | | |
| 212 | 280 | 720 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | | 古代 | 土師器 | 小囊 | Ab | (14.3) | | | | 石・長・雲・角 | | 褐灰 (10YR4/1) | 酸化 | ヨコナデ、ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 212 | 280 | 721 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | | 古代 | 土師器 | 小囊 | Bc | 14.0 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 9/36 | | | | | | |
| 212 | 281 | 722 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | | 古代 | 土師器 | 小囊 | B | | 5.6 | | | 石・長・角 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | | |
| 212 | 281 | 723 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6・11 | | IV | 古代 | 土師器 | 小囊 | B | | 6.8 | | | 石・長・雲 | | にぶい橙 (5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ、ユビナデ | ロクロナデ | 糸切り後一部ケズリ | 左 | | 32/36 | | スス・コゲ | | | | |
| 212 | 281 | 724 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 20.0 | | | | 石・長・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 13/36 | | | | | | |
| 212 | 257 | 725 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1G9・10・15、1H6 | | IV | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 21.6 | | | | 石・長・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 33/36 | | | スス | | | |
| 212 | 281 | 726 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | (19.0) | | | | 石・長・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ハケメ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | スス | | | | |
| 213 | 281 | 727 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | (22.0) | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | スス | | | | |
| 213 | 281 | 728 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H11 | | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 22.0 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 213 | 281 | 729 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | 2 | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 22.0 | | | | 石・長・角 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 6/36 | | スス | 炭化物 | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|---|-------|----------------|------|----|------|-----|------|---------|-----|-----|------|---------|-----------------|--------------|----------------|-----------|-------|------|----|-------|-------|-------|--------|-----------|----|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 213 | 281 | 730 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1G10 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (22.0) | | | | 石・長・角 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | スス | | | |
| 213 | 281 | 731 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H16 | 2 | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (31.0) | | | | 石・長・角 | 淡黄 (2.5Y8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 213 | 281 | 732 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (35.0) | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | スス | | | |
| 213 | 281 | 733 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1H6 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (36.0) | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 213 | 281 | 734 | 22 | 3 | SX105 | 14D-1G15、1H11 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (46.0) | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | | スス | | | |
| 213 | 281 | 735 | 22 | 3 | SX120 | 13D-9G4 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 6.0 | | | 石・長 | 淡黄 (5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | | |
| 213 | 281 | 736 | 22 | 3 | SX120 | 13D-9G4 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | | | | | 石・長・角 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | | | | スス | | | |
| 213 | 281 | 737 | 22 | 3 | SD66 | 13D-7F19 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II2 | 12.2 | 7.4 | 3.8 | 31 | 61 | 石・長 | B 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 4/36 | 19/36 | 28/36 | | | | |
| 213 | 281 | 738 | 22 | 3 | SD68 | 13D-8F10 | | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | 石・長 | C 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ、タタキメ、カキメ | H 当て具痕 | D | | | | | | | | | |
| 213 | 281 | 739 | 22 | 3 | SD68 | 13D-8F10 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | | | | | | | |
| 214 | 281 | 740 | 22 | 3 | SD77 | 14D-1F20、1G11 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.4 | | | 石・長・角 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ | 糸切り | 右 | | 29/36 | | コゲ | SD78接合 | | | |
| 214 | 281 | 741 | 22 | 3 | SD78 | 14D-2G2 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II1 | 11.0 | 6.6 | 3.3 | 30 | 60 | 石・長・海 | B 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 7/36 | 4/36 | | | | |
| 214 | 281 | 742 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G11・21・22 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II2 | 12.2 | 7.5 | 2.8 | 23 | 61 | 石・長 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 11/36 | 18/36 | 17/36 | | SD80接合 | | |
| 214 | 281 | 743 | 22 | 3 | SD78 | 14D-2G2 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 11.2 | | | | 石・長・海 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | 折縁杯か | | |
| 214 | 281 | 744 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G16 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | I | (11.0) | | | | 石・長・海 | B 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | |
| 214 | 281 | 745 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G11 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | (13.7) | | | | 石・長 | B 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | |
| 214 | 281 | 746 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G21 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | (15.1) | | | | 石・長 | B 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 214 | 281 | 747 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G11・21 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (20.8) | | | | 石・長 | C 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 214 | 281 | 748 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G22 | 2 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (11.4) | | | | 石・長・海 | 淡赤橙 (2.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | スス | スス | | |
| 214 | 281 | 749 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G16 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.3 | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | | |
| 214 | 281 | 750 | 22 | 3 | SD78 | 14D-2G2 | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | (15.0) | | | | 長・角 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | | 2/36 | | | | | | |
| 214 | 281 | 751 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G11 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | (12.4) | | | | 石・長・雲・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | スス | | | |
| 214 | 281 | 752 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G17 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 7.4 | | | 石・長・角・海 | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 11/36 | | スス | | | | |
| 214 | 281 | 753 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G16・17 | 3、IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 18.8 | | | | 石・長・角 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | H 当て具痕 | D | | | 6/36 | | | スス | 炭化物 | | |
| 214 | 281 | 754 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G16 | 2 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (18.4) | | | | 石・長・雲 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 214 | 281 | 755 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G11 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | | | | | | | |
| 214 | 282 | 756 | 22 | 3 | SD78 | 14D-1G11 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (32.0) | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 214 | 282 | 757 | 22 | 3 | SD80 | 14D-1G22 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II1 | 12.0 | 7.4 | 3.1 | 26 | 62 | 長 | B 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 22/36 | 36/36 | 20/36 | | | | |
| 214 | 282 | 758 | 22 | 3 | SD80 | 14D-1G17・22 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II2 | 12.8 | 7.6 | 3.3 | 26 | 59 | 石・長 | B 灰白 (N7/0) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 5/36 | 23/36 | 15/36 | | 底部外面墨書「三」 | | |
| 214 | 282 | 759 | 22 | 3 | SD80 | 14D-1G22 | 2 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II2 | 12.6 | 7.4 | 3.2 | 25 | 59 | 石・長 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 8/36 | 19/36 | 17/36 | | | | |
| 214 | 282 | 760 | 22 | 3 | SD82 | 14D-1G17 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.3 | | 2.7 | 19 | | 石・長 | B 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、ナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 4/36 | | 11/36 | | | |
| 214 | 282 | 761 | 22 | 3 | SD82 | 14D-1G17 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (13.4) | | | | 長 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | スス | | | |
| 214 | 282 | 762 | 22 | 3 | SD91 | 14D-1G13 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | III1 | 9.3 | 5.3 | 5.0 | 54 | 57 | 石・長 | B 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 12/36 | 10/36 | 14/36 | | SK86接合 | | |
| 214 | 282 | 763 | 22 | 3 | SD100 | 14D-1G9 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.2 | | | 石・長・雲・角 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | | |
| 214 | 282 | 764 | 22 | 3 | SD104 | 14D-1G9 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (12.0) | | | | 石・長 | B 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | 使用痕著しい | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|---|-------|------------------------------------|----|----|-----|-----|-------|---------|--------|-----|------|------|---------|----------|----------------|----------|----------------|------|------------|------|-----|-------|-------|-------|-----|----|-----------|---|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 当て具痕 | D |
| 214 | 282 | 765 | 22 | 3 | Pit72 | 13D-8G17 | | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | 石・長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | タタキメ、カキメ | H | 当て具痕 | D | | | | | | | | | |
| 215 | 282 | 766 | 22 | 3 | | 13D-10H19・20 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 11.6 | 7.4 | 3.6 | 31 | 64 | 石・長 | B | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 左? | 2/36 | 35/36 | 17/36 | | | | |
| 215 | 282 | 767 | 22 | 3 | | 14D-1G12 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.1 | 6.9 | 3.4 | 28 | 57 | 石・長 | A | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 24/36 | 36/36 | 30/36 | | | 使用痕著しい | |
| 215 | 282 | 768 | 22 | 3 | | 13D-8G18・23 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.4 | 7.0 | 3.9 | 31 | 56 | 石・長・海 | A | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 2/36 | 36/36 | 18/36 | | | | |
| 215 | 282 | 769 | 22 | 3 | | 14D-1G12 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.4 | 7.8 | 3.3 | 27 | 63 | 石・長 | B | 明青灰 (5BG7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 5/36 | 21/36 | 16/36 | | | 使用痕明瞭 | |
| 215 | 282 | 770 | 22 | 3 | | 14D-1G16 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.8 | 7.4 | 3.2 | 25 | 58 | 石・長 | B | 青灰 (5BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 6/36 | 36/36 | 19/36 | | | | |
| 215 | 282 | 771 | 22 | 3 | | 14D-1G5・9 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 8.4 | 3.2 | 25 | 65 | 石・長 | B | 青灰 (5BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 6/36 | 15/36 | 14/36 | | | 使用痕顕著 | |
| 215 | 282 | 772 | 22 | 3 | | 13D-8F4・5 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 8.4 | 3.1 | 24 | 65 | 石・長・角 | B | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | 19/36 | 26/36 | 20/36 | | | | |
| 215 | 282 | 773 | 22 | 3 | | 13D-4C10 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.2 | 8.0 | 3.6 | 27 | 61 | 石・長 | A | 明青灰 (10BG7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 13/19 | 19/36 | 16/36 | | | | |
| 215 | 282 | 774 | 22 | 3 | | 14D-1G12・23 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.2 | 8.2 | 3.5 | 27 | 62 | 石・長・海 | B | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 11/36 | 18/36 | 15/36 | | | | |
| 215 | 282 | 775 | 22 | 3 | | 14E-4A9 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.4 | 9.0 | 4.0 | 30 | 67 | 石・長 | C | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 22/36 | 36/36 | 28/36 | | | | |
| 215 | 282 | 776 | 22 | 3 | | 13D-9G9 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.6 | 10.2 | 3.3 | 26 | 32 | 石・長・海 | B | 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 13/36 | 15/36 | 17/36 | | | | |
| 215 | 282 | 777 | 22 | 3 | | 14E-4A10 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 9.0 | | | | 石・長 | C | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | | | 10/36 | | | | |
| 215 | 282 | 778 | 22 | 3 | | 13D-9H23、10H3 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 11.2 | 6.1 | 4.8 | 43 | 54 | 石・長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 18/36 | 36/36 | 28/36 | | | | |
| 215 | 282 | 779 | 22 | 3 | | 13D-3C24 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 12.0 | 6.5 | 4.0 | 33 | 54 | 石・長 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 7/36 | 8/36 | | | | |
| 215 | 282 | 780 | 22 | 3 | | 13D-8G12 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 2 | (12.2) | (7.7) | 4.8 | (39) | (63) | 長 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 3/36 | 5/36 | | | | |
| 215 | 282 | 781 | 22 | 3 | | 13D-10H15 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 12.8 | | | | | 石・長 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | 金属器模倣 | |
| 215 | 282 | 782 | 22 | 3 | | 13D-8G6 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | III 2 | 12.9 | 8.2 | 6.8 | 53 | 64 | 長 | B | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | 9/36 | 8/36 | 9/36 | | | | |
| 215 | 282 | 783 | 22 | 3 | | 13D-9H16 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 3 | 14.0 | 8.6 | 7.0 | 50 | 61 | 石・長・角 | B | 黄灰 (2.5Y6/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 6/36 | 7/36 | 18/36 | | | | |
| 215 | 282 | 784 | 22 | 3 | | 13D-8G6・11 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 12.6 | | | | | 石・長 | C | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | 金属器模倣 | |
| 215 | 282 | 785 | 22 | 3 | | 14D-1G12 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 6.0 | | | | 長 | B | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 14/36 | | | | | |
| 215 | 282 | 786 | 22 | 3 | | 13D-5E22 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 8.0 | | | | 長・海 | B | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 19/36 | | | | | |
| 215 | 282 | 787 | 22 | 3 | | 14D-1H6 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 7.7 | | | | 長・海 | B | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 14/36 | | | | | |
| 215 | 283 | 788 | 22 | 3 | | 13D-8G12 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 12.7 | | | | | 石・長 | B | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | 13/36 | | | | | | |
| 215 | 283 | 789 | 22 | 3 | | 14E-4B16 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | (14.0) | | | | | 石・長・海 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | 右 | 3/36 | | | | | | |
| 216 | 283 | 790 | 22 | 3 | | 14D-1G14・20 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.4 | | 2.4 | 17 | | 石・長 | B | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | 8/36 | | 14/36 | | | 体部外面墨書「口」 | |
| 216 | 283 | 791 | 22 | 3 | | 14D-1G23 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.2 | | 3.3 | 23 | | 長・雲 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 14/36 | | 19/36 | | | | |
| 216 | 283 | 792 | 22 | 3 | | 14D-1G8 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.4 | | 2.6 | 18 | | 石・長 | B | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | 6/36 | | 18/36 | | | 内面に使用痕あり | |
| 216 | 283 | 793 | 22 | 3 | | 13D-8G24 | IV | 古代 | 須恵器 | 仏具か | | 9.6 | 6.0 | 4.4 | 46 | 63 | 石・長 | C | 明青灰 (5BG7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り | | 13/36 | 24/36 | 18/36 | | | | |
| 216 | 283 | 794 | 22 | 3 | | 13D-9H16 | IV | 古代 | 須恵器 | 高杯 | | | (16.0) | | | | 長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 3/36 | | 自然釉 | | | |
| 216 | 283 | 795 | 22 | 3 | | 14D-2G2 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | (12.2) | | | | | 長 | B | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 216 | 283 | 796 | 22 | 3 | | 13D-10H18・19・22・23、14D-1G20、1H3・11 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | 11.4 | | | | 石・長 | B | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 15/36 | | | | 797と同一個体か | |
| 216 | 283 | 797 | 22 | 3 | | 13D-10H21・22 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | | 石・長 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | | | | | 796と同一個体か | |
| 216 | 283 | 798 | 22 | 3 | | 13D-9H11 | IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | | 11.8 | | | | 石・長・海 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | ケズリ | | 7/36 | | | | | | |
| 216 | 283 | 799 | 22 | 3 | | 13D-8F5・10 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (18.0) | | | | | 石・長 | B | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ、タタキメ | H | ロクロナデ、当て具痕 | D | | 3/36 | | | | | | |
| 216 | 283 | 800 | 22 | 3 | | 14D-1H11 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 石・長 | C | 青灰 (5B5/1) | 還元 | タタキメ | H | 当て具痕、ハケメ | D | | | | | | | | |
| 216 | 256 | 801 | 22 | 3 | | 14D-1G15 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | 12.3 | | | | | 石・長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | H | ロクロナデ、当て具痕 | D | | 4/36 | | | | | | |
| 217 | 283 | 802 | 22 | 3 | | 14D-1G12 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 10.9 | | | | | 石・長・雲・角 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | | |
| 217 | 283 | 803 | 22 | 3 | | 13D-8G24 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 2 | 12.2 | 6.4 | 3.6 | 30 | 52 | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 10/36 | 11/36 | 11/36 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 |
|-------|---------|--------|------|---|-----|------------------|----|----|------|-----|-----|---------|-------|-----|------|------|---------|-----------------|----|----------------------|--------------------|------|----|-------|-------|-------|----|-----|---------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 217 | 283 | 804 | 22 | 3 | | 14D-1G15、1H12 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | C11 | 11.2 | 4.6 | 3.7 | 33 | 41 | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 8/36 | 36/36 | 20/36 | | | | |
| 217 | 283 | 805 | 22 | 3 | | 14D-1G16 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | B12 | 12.3 | 4.8 | 3.4 | 28 | 39 | 石・長・雲・角 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 3/36 | 36/36 | 16/36 | | | | |
| 217 | 283 | 806 | 22 | 3 | | 14D-1G18 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A12 | 12.8 | 5.5 | 2.9 | 23 | 41 | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 9/36 | 5/36 | 10/36 | | | | |
| 217 | 283 | 807 | 22 | 3 | | 13D-10H23 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | (14.1) | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、ミガキ | | | 4/36 | | | | | | |
| 217 | 283 | 808 | 22 | 3 | | 14D-1G15 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | (15.3) | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | スス | スス | | |
| 217 | 283 | 809 | 22 | 3 | | 14D-1G15 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A13 | 16.5 | 6.8 | 5.5 | 33 | 41 | 石・長・角 | 浅黄 (2.5Y8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ? | | | 8/36 | 6/37 | 11/36 | | | 内外面磨耗 | |
| 217 | 283 | 810 | 22 | 3 | | 14D-1G17 | IV | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | | 9.0 | | | | 石・長 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ? | | 32/36 | | | | | | |
| 217 | 283 | 811 | 22 | 3 | | 14D-1H6 | IV | 古代 | 土師器 | 有台椀 | | | (5.9) | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | |
| 217 | 283 | 812 | 22 | 3 | | 14D-1G15 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | | (13.0) | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | 3/36 | | | | | | |
| 217 | 283 | 813 | 22 | 3 | | 14D-1G5 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 13.2 | | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 10/36 | | | スス | 炭化物 | | |
| 217 | 283 | 814 | 22 | 3 | | 14D-1H6 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 13.6 | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | スス | スス | | |
| 217 | 283 | 815 | 22 | 3 | | 14D-1G19 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 6.0 | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 36/36 | | | スス | | | |
| 217 | 283 | 816 | 22 | 3 | | 14D-1G22 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (13.8) | | | | | 石・長・角 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | スス | 炭化物 | | |
| 217 | 283 | 817 | 22 | 3 | | 14D-1G19 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.2 | | | | | 石・長・雲・角 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 8/36 | | | スス | 炭化物 | | |
| 217 | 283 | 818 | 22 | 3 | | 14D-1G10 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (19.2) | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 5/36 | | | | | 内外面磨耗 | |
| 217 | 283 | 819 | 22 | 3 | | 13D-9G9 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 18.6 | | | | | 石・長 | 淡橙 (5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 7/36 | | | | | 内外面一部剥落 | |
| 217 | 257 | 820 | 22 | 3 | | 14D-1G12・16・17 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 18.8 | | | | | 石・長・角 | にぶい橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 22/36 | | | | | | |
| 217 | 257 | 821 | 22 | 3 | | 14D-1G14 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 18.8 | | | | | 石・長 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 23/36 | | | | | | |
| 218 | 284 | 822 | 22 | 3 | | 14D-1G16 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | ロクロナデ、カキメ、タタキメ、ハケメ | | | 6/36 | | | | | | |
| 218 | 284 | 823 | 22 | 3 | | 14D-1G19 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | | 角 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 6/36 | | | | | | |
| 218 | 257 | 824 | 22 | 3 | | 14D-1G5・9・10、1H6 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 21.2 | | | | | 石・長・雲・角 | 灰白 (10YR8/2) | 還元 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 33/36 | | | | | | |
| 218 | 284 | 825 | 22 | 3 | | 13D-8G18・24 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 22.4 | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | | |
| 218 | 284 | 826 | 22 | 3 | | 14D-1G12・13、1H11 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 23.2 | | | | | 石・長・角 | にぶい橙 (5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | |
| 218 | 284 | 827 | 22 | 3 | | 14D-1G14 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | | 3.6 | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | カキメ、タタキメ | H 当て具痕、ハケメ | D | | 36/36 | | | スス | | | |
| 218 | 284 | 828 | 22 | 3 | | 14D-1G15・21 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bd | 34.4 | | | | | 石・長・海 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | H 当て具痕 | | | 7/36 | | | スス | | | |
| 218 | 284 | 829 | 22 | 3 | | 14D-1G17 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (36.0) | | | | | 石・長・角 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ハラケズリ、タタキメ | H 当て具痕 | H | | 4/36 | | | | | | |
| 218 | 284 | 830 | 22 | 3 | | 13D-9G9 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (38.2) | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | H 当て具痕 | D | | 4/36 | | | スス | 炭化物 | | |
| 219 | 284 | 831 | 22 | 3 | | 14D-1G16 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bd | (38.0) | | | | | 石・長・雲・角 | 淡黄 (2.5Y8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | H 当て具痕 | H | | 2/36 | | | スス | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|-----|-------|------------------------------|------|----|------|-----|--------|---------|------|-----|------|---------|---------|-----------------|------------------|------------------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|--------------------|-----------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 胎土 | 産地 |
| 219 | 284 | 832 | 22 | 3 | | 14D-1G15・17 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (40.2) | | | | 石・長・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、タタキメ、ヘラケズリ | H | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 219 | 284 | 833 | 22 | 3 | | 14D-1G17、1H6 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 40.0 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ、ハケメ | | | | 6/36 | | | | | | |
| 219 | 284 | 834 | 22 | 3 | | 14D-1G10・15 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 45.2 | | | | 石・長・角 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | H | ロクロナデ、カキメ | | | | 11/36 | | | | | | |
| 219 | 284 | 835 | 22 | 4 | SD2 | 14F-9F19 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (15.0) | | | | 長 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | 4区-3 | |
| 219 | 284 | 836 | 22 | 4 | | 14F-9F15 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 9.5 | | | 石・長・チ | | 灰白 (2.5Y8/2) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラケズリ | | 5/36 | | | | | 4区-3 | |
| 219 | 284 | 837 | 22 | 4 | | 14F-9F15 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 12.0 | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | | | | 4区-3 | |
| 219 | 284 | 838 | 22 | 4 | | 14F-9F15 | IV | 古代 | 土師器 | 鉢 | | | 11.0 | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ | | ロクロナデ | | ヘラケズリ | | 11/36 | | | | | 4区-3 | |
| 219 | 284 | 839 | 22 | 4 | | 14F-7I17 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | (14.0) | | | | 石・長 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | 4区-4 | |
| 219 | 284 | 840 | 22 | 4 | | 14G-1G3 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.0 | 9.5 | 4.1 | 29 | 68 | 石・白 | C | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 右 | 9/36 | 14/36 | 13/36 | | 底部内面ヘラ記号4区-7 | |
| 219 | 284 | 841 | 22 | 4 | | 13G-9J1 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 10.0 | | | 石・長・チ | | 灰白 (2.5Y8/2) | 酸化 | | | | | ナデ | | 5/36 | | | | | 4区-8 | |
| 220 | 285 | 842 | 24 | 1 | | 16H-10H18 | IVe | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.0 | 8.0 | 2.5 | 19 | 62 | 長 | B | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 1/36 | 5/36 | 4/36 | | | |
| 220 | 285 | 843 | 24 | 1 | | 17I-4A1 | IVc | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 9.0 | | | 長 | C | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 8/36 | | | | | | |
| 220 | 285 | 844 | 24 | 1 | | 17H-2I20 | I a | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 9.0 | | | 長 | C | 灰黄褐 (10YR5/2) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 7/36 | | | | | | |
| 220 | 285 | 845 | 24 | 1 | | 17H-2H3、2I3 | I a | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 8.0 | | | 長 | C | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 4/36 | | | | | | |
| 220 | 285 | 846 | 24 | 1 | | 17H-3J14 | I b | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 6.5 | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | | 27/36 | | | | | スス | |
| 220 | 285 | 847 | 24 | 1 | | 17I-4A19 | IVc | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | | 5.5 | | | 石・長・チ・海 | | 灰白 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | | ミガキ | | 糸切り | | 6/36 | | | | | | |
| 220 | 285 | 848 | 24 | 1 | | 17I-4A1 | IVc | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.0 | 6.5 | 1.6 | 20 | 81 | 長 | | にぶい黄橙 (7.5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 4/36 | 5/36 | 3/36 | | | | |
| 220 | 285 | 849 | 24 | 1 | | 17I-4A1 | IVc | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 4.5 | | | 長 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | | 15/36 | | | | | | |
| 220 | 285 | 850 | 24 | 2区東 | SE65 | 12F-10F23 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 11.7 | | | | 長・白 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 220 | 285 | 851 | 24 | 2区東 | SE65 | 12F-10F18・20、13F-1F13 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 13.0 | | 3.2 | 25 | | 長・白 | C | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 5/36 | | 25/36 | | SD184接合内面ヘラ記号「-」 | |
| 220 | 285 | 852 | 24 | 2区東 | SE65 | 12F-10F22・23、10G4、13F-4D9・10 | 2、IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 18.3 | 8.7 | 7.3 | 40 | 48 | 長 | | 灰 (5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 静止糸切り | | 17/36 | 36/36 | 22/36 | | 24次2区西SE9接合珠洲II期以降 | |
| 220 | 285 | 853 | 24 | 2区東 | SE162 | 13F-1E14 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 8.8 | 2.9 | 22 | 68 | 長・チ | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 2/36 | 4/36 | 3/36 | | | |
| 220 | 285 | 854 | 24 | 2区東 | SE221 | 13F-3F13 | 2 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.2 | 9.0 | 3.4 | 26 | 68 | 石・長・白 | C | 灰白 (10YR8/2) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 3/36 | 8/36 | 4/36 | | | |
| 220 | 285 | 855 | 24 | 2区東 | SE221 | 13F-3F13 | 2 | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.6 | 5.4 | 1.8 | 24 | 71 | 長・雲・白 | | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | | 5/36 | 8/36 | 9/36 | | | |
| 220 | 285 | 856 | 24 | 2区東 | SE650 | 13F-2H2 | 3 | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.0 | 4.8 | 2.1 | 26 | 60 | 長・雲・チ・海 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | | 15/36 | 36/36 | 20/36 | | | |
| 220 | 285 | 857 | 24 | 2区東 | SE650 | 13F-2H2 | 3 | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.3 | 5.3 | 2.5 | 30 | 64 | 長・雲・チ・海 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | 左 | 32/36 | 36/36 | 34/36 | | | |
| 220 | 285 | 858 | 24 | 2区東 | SE813 | 13F-1G19 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 1 | 11.6 | 5.0 | 4.3 | 37 | 43 | 石・長・雲 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | 右 | 6/36 | 36/36 | 27/36 | | | |
| 220 | 285 | 859 | 24 | 2区東 | SE813 | 13F-1G25 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 5.7 | | | 長・雲 | | にぶい橙 (7.5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | 左 | 36/36 | | | | | | |
| 220 | 285 | 860 | 24 | 2区東 | SE835 | 13F-3F25、3G21 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.2 | 10.0 | 3.4 | 26 | 76 | 長 | A | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 右 | 20/36 | 31/36 | 24/36 | | Pit959接合 | |
| 220 | 285 | 861 | 24 | 2区東 | SE835 | 13F-3F25 | 4 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 13.9 | | | | 長 | C | 灰 (10Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 7/36 | | | | | | |
| 220 | 285 | 862 | 24 | 2区東 | SE835 | 13F-3F25 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.6 | 10.0 | 3.4 | 23 | 68 | 長・白 | C | 灰白 (10YR8/2) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 2/36 | 15/36 | 10/36 | | | |
| 220 | 285 | 863 | 24 | 2区東 | SE835 | 13F-3F25、3G21 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 10.6 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ、カキメ | | | | 18/36 | | | スス | スス | SK627接合 | |
| 220 | 285 | 864 | 24 | 2区東 | SE835 | 13F-3F25 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 15.0 | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | | | | スス | |
| 220 | 285 | 865 | 24 | 2区東 | SE835 | 13F-3F7・25 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Ba | 35.0 | | | | 石・長・雲・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ハケメ | | カキメ、ハケメ | | | | 4/36 | | | | | SD225接合 | |
| 221 | 285 | 866 | 24 | 2区東 | SK10 | 12F-10G10、10H1 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.6 | | 3.0 | 21 | | 石・長・白 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | | 17/36 | | 30/36 | | | 内面ヘラ記号「=」 |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | | | | | |
|-------|---------|--------|------|-----|-------|----------------|------|----|-----|-----|-------|---------|-----|------|------|------|---------|--------------|-----------------|-----------|-------------|-----------|------|-------|-------|-------|-------|-----|----|----|----|----|---------|--------|----------------|--|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 器高 | 底径 | 口径 | | | |
| 221 | 257 | 867 | 24 | 2区東 | SK10 | 12F-10G10、10H6 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 14.0 | 9.0 | 13.2 | 94 | 64 | 石・長・チ | 橙 (5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 32/36 | 36/36 | 29/36 | | | | | | | | | | |
| 221 | 285 | 868 | 24 | 2区東 | SK10 | 12F-10G10、10H6 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 9.4 | | | | 長・白 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | | 36/36 | | | | | | | | | | |
| 221 | 285 | 869 | 24 | 2区東 | SK89 | 13F-1F9・14 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 12.0 | | | | | 長 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | | | | | | | |
| 221 | 285 | 870 | 24 | 2区東 | SK129 | 13F-2E7、2F16 | 1、IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 16.2 | | 3.3 | 20 | | 石・長 | A | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、ケズリ | | | 4/36 | | 5/36 | | | | | | | | | |
| 221 | 285 | 871 | 24 | 2区東 | SK129 | 13F-2E7 | 2 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 20.0 | | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ | ロクロナデ、ハケメ | | | 4/36 | | | | | | | | | | | |
| 221 | 285 | 872 | 24 | 2区東 | SK172 | 13F-1E8 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 17.9 | 7.0 | 5.6 | 31 | 39 | 長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 10/36 | 7/36 | | | | | | 赤彩 | | | |
| 221 | 285 | 873 | 24 | 2区東 | SK172 | 13F-1E8 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 15.9 | | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 6/36 | | | | | | | | | | | |
| 221 | 285 | 874 | 24 | 2区東 | SK172 | 13F-1E8 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 23.0 | | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | 4/36 | | | | | | | | | | | |
| 221 | 285 | 875 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F2・8 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 12.0 | 8.4 | 3.2 | 27 | 70 | 長・角 | C | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 18/36 | 24/36 | 21/36 | | | | | | SD511接合 | | | |
| 221 | 285 | 876 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F8・12・19 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 11.1 | 7.1 | 4.0 | 36 | 64 | 石・長・角 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 7/36 | 10/36 | 7/36 | | | | | | | SD98接合 | | |
| 221 | 285 | 877 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F3・8 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 13.9 | | 3.3 | 24 | | 石・白 | B | 明緑灰 (10GY7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | 4/36 | | | | | | | SD98接合 | | |
| 221 | 286 | 878 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F7 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | 22.0 | | | | | 長 | D | オリーブ灰 (10Y5/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | | | | | | |
| 221 | 286 | 879 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F13 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 1 | 12.0 | 5.0 | 4.7 | 39 | 42 | 石・長 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 21/36 | 36/36 | 23/36 | | | | | | | | | |
| 221 | 286 | 880 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F13 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 1 | 12.0 | 4.8 | 4.6 | 38 | 40 | 石・海 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 9/36 | 36/36 | 21/36 | | | | | | | | | |
| 221 | 286 | 881 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F13 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 1 | 12.0 | 5.0 | 4.6 | 38 | 42 | 石・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 27/36 | 36/36 | 31/36 | タール | | | | | | | | |
| 221 | 286 | 882 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F13 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | CII 2 | 12.1 | 5.0 | 4.7 | 39 | 41 | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 28/36 | 36/36 | 29/36 | | | | | | | | | |
| 221 | 286 | 883 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F7・8 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | CII 2 | 12.2 | 5.2 | 4.7 | 39 | 43 | 石・長・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 16/36 | 36/36 | 20/36 | | | | | | | | | |
| 221 | 286 | 884 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F13 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 2 | 12.3 | 5.0 | 4.5 | 37 | 41 | 石・長 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 23/36 | 36/36 | 28/36 | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 885 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F7・8 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 2 | 12.4 | 5.2 | 4.5 | 36 | 42 | 石・白・海 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 9/36 | 36/36 | 21/36 | スス | スス | | | | | | | |
| 222 | 286 | 886 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F7 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 2 | 12.4 | 5.0 | 4.4 | 35 | 40 | 石・長・角 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 35/36 | 36/36 | 35/36 | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 887 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F8 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 2 | 12.4 | 4.9 | 4.5 | 36 | 40 | 石 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 33/36 | 36/36 | 33/36 | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 888 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F7 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | C I 2 | 12.9 | 4.7 | 4.2 | 33 | 36 | 石 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 7/36 | 11/36 | 10/36 | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 889 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F8 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | CII 2 | 12.9 | 5.0 | 4.5 | 35 | 39 | 石・長 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 9/36 | 24/36 | 13/36 | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 890 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F7 | 2 | 古代 | 土師器 | 無台椀 | C I 2 | 13.0 | 6.0 | 4.0 | 31 | 46 | 石・雲・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 20/36 | 36/36 | 26/36 | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 891 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F3 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 3 | 14.6 | 6.5 | 5.7 | 39 | 45 | 石・長・雲 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 11/36 | 36/36 | 30/36 | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 892 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F8 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 17.8 | | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 893 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F8 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | | 7.3 | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 36/36 | | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 894 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F12・13・19 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 8.2 | | | | 石・長 | | 灰 (10Y6/1) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ、カキメ | | | | | 9/36 | | | | | | | | 1033と同一か | |
| 222 | 286 | 895 | 24 | 2区東 | SK177 | 13F-2F8 | 2 | 古代 | 土師器 | 鉢 | | (21.4) | | | | | 石・海 | | 灰黄褐 (10YR6/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 896 | 24 | 2区東 | SK227 | 13F-3F9・15 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 15.2 | | 3.2 | 21 | | 長・白 | A | にぶい褐 (7.5YR6/3) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 22/36 | | 28/36 | | | | | | | | SK907、Pit436接合 | |
| 222 | 286 | 897 | 24 | 2区東 | SK227 | 13F-3F10 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | C I 1 | 12.0 | 5.7 | 3.6 | 30 | 48 | 石・長 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 5/36 | 12/36 | 9/36 | スス | スス | | | | | | | |
| 222 | 286 | 898 | 24 | 2区東 | SK227 | 13F-3F10 | 1 | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A I 2 | 12.5 | 6.0 | 3.9 | 31 | 48 | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 25/36 | 34/36 | 34/36 | | | | | | | | | |
| 222 | 258 | 899 | 24 | 2区東 | SK227 | 13F-3F9 | 3 | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | 14.0 | 9.0 | 21.8 | 156 | 64 | 石・長・チ・海 | | 橙 (5YR6/8) | 酸化 | ハケメ | | | | 8/36 | 36/36 | 22/36 | | | | | | | | 壺の可能性あり | |
| 222 | 286 | 900 | 24 | 2区東 | SK227 | 13F-3F9 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 16.0 | | | | | 石・長・角 | | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | |
|-------|---------|--------|------|-----|-------|---------------------------------|----|----|-----|-----|-------|---------|------|-----|------|------|-----------|--------------------|-------------|-----------------|----------------|--------------|------|-------|-------|-------|-------|-----|----|------------------|---------------|--|--|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 222 | 286 | 901 | 24 | 2区東 | SK227 | 13F-3F9 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 16.0 | | | | | 石・長・角 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 8/36 | | | | | | | | |
| 222 | 287 | 902 | 24 | 2区東 | SK227 | 13F-3F9・14 | 3 | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bb | 34.0 | | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ハケメ、タタキメ | H ロクロナデ、ハケメ | | | | 5/36 | | | スス | | 24次2区西Pit689接合 | | | |
| 223 | 287 | 903 | 24 | 2区東 | SK316 | 13F-2F21 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 11.3 | 6.1 | 3.7 | 33 | 54 | 石・長 | C 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 16/36 | 26/36 | 19/36 | | | | | 底部外面ヘラ記号「×」 | | |
| 223 | 287 | 904 | 24 | 2区東 | SK316 | 13F-2E25 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | | 白 | C 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 905 | 24 | 2区東 | SK346 | 13F-3F23 | | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (24.0) | | | | | 石・長・角 | D 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 906 | 24 | 2区東 | SK624 | 13F-2G2・23、3F8・14~16、3G2・6・8・17 | | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | 長 | B 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | | | SK357、SD497接合 | | |
| 223 | 287 | 907 | 24 | 2区東 | SK646 | 13F-2G10・14 | | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | I | 11.8 | | 2.9 | 24 | 石・長 | C 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | 7/36 | 自然釉 | | 内面ヘラ記号「×」SD749接合 | | | |
| 223 | 287 | 908 | 24 | 2区東 | SK658 | 13F-4F10 | | 1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.9 | 9.5 | 3.2 | 25 | 74 | 長 | A 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 5/36 | 5/36 | 自然釉 | | | | | |
| 223 | 287 | 909 | 24 | 2区東 | SK729 | 13F-2G24 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 12.0 | | | | 長 | C 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 910 | 24 | 2区東 | SK745 | 13F-2H1、3F2 | | 3 | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 10.8 | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、ミガキ | | | | 8/36 | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 911 | 24 | 2区東 | SK881 | 13F-1H11 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ab | 15.0 | | | | | 石・長・海 | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ハケメ | ナデ | | | | 8/36 | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 912 | 24 | 2区東 | SK881 | 13F-1H11 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Aa | 19.0 | | | | | 石・長・チ・角 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ハケメ | | | | | 13/36 | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 913 | 24 | 2区東 | SK881 | 13F-1H11 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Aa | 24.0 | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | ヨコナデ | | | | 4/36 | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 914 | 24 | 2区東 | SK887 | 13F-3G16 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 16.0 | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ハケメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 7/36 | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 915 | 24 | 2区東 | SK895 | 13F-3F10 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 18.0 | | | | | 石・長・雲 | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | 赤彩 | | |
| 223 | 287 | 916 | 24 | 2区東 | SK895 | 13F-3F5 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 14.0 | | | | | 石・長・角 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 917 | 24 | 2区東 | SK907 | 13F-3F15 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 17.4 | 10.0 | 5.6 | 32 | 57 | 長・チ・白 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ミガキ | ナデ | ミガキ | | | 4/36 | 6/36 | 4/36 | | | | 非ロクロ成形 | | |
| 223 | 287 | 918 | 24 | 2区東 | SK907 | 13F-3F10 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (18.0) | | | | | 長 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ミガキ | ナデ・暗文 | | | | 2/36 | | | | | | 非ロクロ成形 | | |
| 223 | 287 | 919 | 24 | 2区東 | SK907 | 13F-3F15 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 11.0 | | | | | 石・長・チ・白・角 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ、ハケメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 12/36 | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 920 | 24 | 2区東 | SK907 | 13F-3F10 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Aa | 16.4 | | | | | 石・長・雲 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 8/36 | | | | | | | | |
| 223 | 287 | 921 | 24 | 2区東 | SK907 | 13F-3F10 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 15.7 | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ハケメ | ロクロナデ | | | | 10/36 | | | | | | | | |
| 224 | 287 | 922 | 24 | 2区東 | SK927 | 13F-3F19 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.1 | 9.5 | 3.4 | 24 | 67 | 石・長 | C 灰黄 (2.5Y7/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 24/36 | 27/36 | 25/36 | | | | | | | |
| 224 | 287 | 923 | 24 | 2区東 | SK927 | 13F-3F19 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 11.7 | | | | | 石・長・雲 | にぶい褐 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ | ロクロナデ、ハケメ | | | | 17/36 | | | | | | | | |
| 224 | 287 | 924 | 24 | 2区東 | SK927 | 13F-3F19 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (44.0) | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | | | |
| 224 | 287 | 925 | 24 | 2区東 | SK950 | 13F-3F13・18 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 8.4 | | | | 石・長・雲・角 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | | 36/36 | | | | | | | |
| 224 | 287 | 926 | 24 | 2区東 | SK950 | 13F-3F19 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Aa | 24.0 | | | | | 石・長・チ・海 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ハケメ | カキメ | | | | 10/36 | | | | | | | | |
| 224 | 288 | 927 | 24 | 2区東 | SX114 | 13F-1G4 | | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 18.0 | | | | 石・長 | 淡橙 (5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 9/36 | | | | | | | | |
| 224 | 288 | 928 | 24 | 2区東 | SX209 | 13F-3F1・2 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.4 | 9.6 | 3.3 | 27 | 77 | 長 | C 灰黄 (2.5Y7/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 32/36 | 18/36 | 15/36 | | | | | | |
| 224 | 288 | 929 | 24 | 2区東 | SX209 | 13F-3F1 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ab | (26.0) | | | | | 石・長・雲・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 2/36 | | | | | | | | |
| 224 | 288 | 930 | 24 | 2区東 | SX392 | 13F-3E4 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 9.0 | | | | 石・長 | A 灰白 (5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 1/36 | 36/36 | 18/36 | | | | | | | |
| 224 | 257 | 931 | 24 | 2区東 | SX392 | 13F-2E23、2F19 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | III 3 | 15.4 | 8.0 | 7.8 | 51 | 52 | 長・白 | B 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り 後ケズリ | | | 22/36 | 36/36 | 27/36 | 自然釉 | | SD98接合 | | | |
| 224 | 288 | 932 | 24 | 2区東 | SX392 | 13F-2E13 | | 古代 | 須恵器 | 壺蓋 | | 8.8 | | | | | 長・チ・角 | C オリーブ灰 (2.5GY6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 10/36 | | 7/36 | 自然釉 | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|-----|-------|-----------------|----|----|-----|-----|---------|---------|------|-----|------|------|--------------|--------------------|-----------------|---------------|---------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|----|--------------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 224 | 288 | 933 | 24 | 2区東 | SX882 | 13F-1H12 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Ab | 18.0 | | | | | 石 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | ヨコナデ、ハケメ | | | 7/36 | | | | | 934と同一か | |
| 224 | 288 | 934 | 24 | 2区東 | SX882 | 13F-1H12 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | A | | 8.0 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ハケメ、ナデ | ハケメ | | | | 7/36 | | | | 933と同一か | |
| 224 | 288 | 935 | 24 | 2区東 | SX911 | 13F-1G24 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | (11.6) | 6.6 | 3.5 | (30) | (57) | 長 | C 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 4/36 | 4/36 | | | | |
| 224 | 288 | 936 | 24 | 2区東 | SX911 | 13F-1G24 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.6 | | | | 石・長・チ・白 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 左 | | 36/36 | | | | | |
| 224 | 288 | 937 | 24 | 2区東 | SX929 | 13F-3F7 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 13.2 | | | | 長・白 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ミガキ | ナデ | | | | 36/36 | | | | 盤か SK210接合 | |
| 224 | 288 | 938 | 24 | 2区東 | SX929 | 13F-3F6 | | 古代 | 土師器 | 小囊 | Bb | 16.4 | | | | | 長 | 灰黄褐 (10YR6/2) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 10/36 | | | | | SD225接合 | |
| 224 | 288 | 939 | 24 | 2区東 | SX929 | 13F-3F6 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Aa | (22.2) | | | | | 石・長・雲・角 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | 2/36 | | | | | | |
| 225 | 288 | 940 | 24 | 2区東 | SX958 | 13F-3E10、3F6 | | IV | 古代 | 土師器 | 小囊 | Bb | 17.6 | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ハケメ | ロクロナデ、ハケメ、カキメ | | | 5/36 | | | | | | |
| 225 | 288 | 941 | 24 | 2区東 | SX958 | 13F-3E10、3F6 | | IV | 古代 | 土師器 | 小囊 | Bb | 16.0 | | | | 長・雲・角 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ | ロクロナデ、カキメ | | | 13/36 | | | | | | |
| 225 | 288 | 942 | 24 | 2区東 | SD1 | 12F-9H21 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 16.0 | | | | | 長・白 | A 褐灰 (7.5YR6/1) | 還元 | ロクロナデ、ヘラケズリ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | |
| 225 | 288 | 943 | 24 | 2区東 | SD15 | 13F-1F4 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.0 | 7.5 | 3.6 | 28 | 58 | 石・長 | A 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 12/36 | 20/36 | 16/36 | | | | |
| 225 | 288 | 944 | 24 | 2区東 | SD15 | 13F-1E15 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | III 1 | 9.4 | 5.0 | 4.9 | 52 | 53 | 長 | C 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 8/36 | 7/36 | | | 底部外面ヘラ書き「上カ」 | |
| 225 | 288 | 945 | 24 | 2区東 | SD15 | 13F-1F8・18 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 7.2 | | | | 長 | C 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 25/36 | | | | | |
| 225 | 288 | 946 | 24 | 2区東 | SD15 | 13F-1F9 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | | | | | 長 | C 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | | | | | 底部外面ヘラ書き「上カ」 | |
| 225 | 288 | 947 | 24 | 2区東 | SD15 | 13F-1E20、1F8 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 15.8 | | | | | 石・長 | A 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 225 | 288 | 948 | 24 | 2区東 | SD15 | 13F-1F4 | | IV | 古代 | 土師器 | 小囊 | Ba | 16.0 | | | | 長・角 | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | スス | |
| 225 | 288 | 949 | 24 | 2区東 | SD32 | 12F-9H7 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 10.0 | | | | | 長 | C 暗オリーブ褐 (2.5Y3/3) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | 自然釉 | |
| 225 | 288 | 950 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F9・20 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 12.0 | 8.5 | 3.3 | 28 | 71 | 石・長・白 | C 灰白 (10YR8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 4/36 | 20/36 | 9/36 | | | | |
| 225 | 288 | 951 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F14 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 12.0 | 8.2 | 3.5 | 29 | 68 | 長 | A 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 15/36 | 19/36 | 16/36 | | | | |
| 225 | 288 | 952 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F14 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.3 | 8.4 | 3.6 | 29 | 68 | 長 | C 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 10/36 | 15/36 | 14/36 | | | | |
| 225 | 288 | 953 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F14 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.9 | 9.0 | 3.0 | 23 | 70 | 長・チ | C 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 5/36 | 4/36 | | | | |
| 225 | 288 | 954 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F14・19 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 9.0 | | | | 石・長 | A 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 28/36 | | | | | |
| 225 | 288 | 955 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F20 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 12.0 | 7.8 | 3.6 | 30 | 65 | 長・白 | C 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 8/36 | 17/36 | 9/36 | | | | |
| 225 | 288 | 956 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F7・9・14・19 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 3 | 15.5 | 9.0 | 7.5 | 48 | 58 | 石・長 | C 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 22/36 | 9/36 | | | SD128接合 | |
| 225 | 288 | 957 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-3G1・6 | | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 13.0 | | 2.7 | 20 | 長 | C 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | 18/36 | | | | |
| 225 | 289 | 958 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F14・19 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 13.2 | | 2.7 | 20 | 長 | C 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 36/36 | | 36/36 | | | | | |
| 225 | 289 | 959 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F9・19 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 13.7 | | 3.0 | 22 | 長 | C 灰 (10Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 32/36 | | 30/36 | | | | SK178接合 | |
| 225 | 289 | 960 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F19 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.2 | | | | | 石・白 | C 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | |
| 225 | 289 | 961 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F19 | | 古代 | 須恵器 | 壺蓋 | | 11.9 | | 3.4 | 29 | | 石・長・角 | A 灰オリーブ (7.5Y5/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 36/36 | | 35/36 | | | 自然釉 | |
| 225 | 289 | 962 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2G16、4F5 | | 古代 | 須恵器 | 壺蓋 | | | | | | | 長・チ・角 | C 黄灰 (2.5Y4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | 自然釉 | |
| 225 | 289 | 963 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F20 | | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | (25.8) | | | | | 長 | C 灰黄 (2.5Y6/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | 槽形鉢 | |
| 225 | 289 | 964 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-3F19、3G12 | | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | 11.4 | | | | 石・長 | B 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り後ケズリ | | | 12/36 | | | | | |
| 226 | 289 | 965 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-3G18 | | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B II 1 | 11.9 | 5.0 | 4.2 | 35 | 42 | 石・長・白・海 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 15/36 | 31/36 | 29/36 | | | |
| 226 | 289 | 966 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F8 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 1 | 12.0 | 5.0 | 4.3 | 36 | 42 | 白 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 11/36 | 36/36 | 25/36 | | | | |
| 226 | 289 | 967 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F8 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C III 1 | 12.0 | 5.2 | 5.3 | 44 | 43 | 石 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 13/36 | 36/36 | 22/36 | | | | |
| 226 | 289 | 968 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F8 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 16.0 | | | | | 石・白・海 | 橙 (5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | |
| 226 | 289 | 969 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F3 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (16.0) | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ、ケズリ | ミガキ | | | 3/36 | | | | | | |
| 226 | 289 | 970 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F8 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 6.3 | | | | 石 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 34/36 | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|-----|-------|-----------------------|----|----|------|-----------|--------|---------|--------|------|------|-----------|-----------|------------------|-----------------|-----------|----------------------|---------------|--------------------|------------|-------|-------|-------|-------|-----|--|------------------------|---------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 胎土 | 産地 |
| 226 | 289 | 971 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F4 | | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | 6.0 | | | | 石・白 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | | | 8/36 | | | | | | |
| 226 | 289 | 972 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F20 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 20.0 | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | | |
| 226 | 289 | 973 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-3G1 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (36.0) | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | | | | | |
| 226 | 289 | 974 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F8 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 38.0 | | | | 石・長・チ・角・海 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 6/36 | | | | | | | |
| 226 | 289 | 975 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-3G12 | | 1 | 中世 | 青磁 | 椀 | I-1a | (14.0) | | | | | 釉：明緑灰 (7.5GY6/1) | | | | | | | 3/36 | | | | | 龍泉窯系 胎土：灰白 (7.5Y8/1) D期 (12世紀中～後半) | | |
| 226 | 289 | 976 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F14 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 13.0 | | | | 長 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ヨコナデ、指ナデ | ナデ | | | | 5/36 | | | | | | | |
| 226 | 289 | 977 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-3G12 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.2 | 5.9 | 2.8 | 39 | 82 | 長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 36/36 | 36/36 | 36/36 | | | ゆがみあり | | |
| 226 | 289 | 978 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2G21 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.6 | | | | 石・長・雲 | | にぶい橙 (7.5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 14/36 | | | | | | | |
| 226 | 289 | 979 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-3G1 | | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (26.2) | | | | 長・チ・海 | | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | 珠洲Ⅱ期 | | |
| 226 | 289 | 980 | 24 | 2区東 | SD102 | 13F-1E5・9、1F6 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 13.0 | | 2.7 | 21 | | 石・長 | C | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 16/36 | | 26/36 | 自然釉 | SD94接合 | | |
| 226 | 289 | 981 | 24 | 2区東 | SD127 | 13F-4F3 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.1 | 9.0 | 3.6 | 27 | 69 | 石・長 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ? | | ヘラ切り | | 7/36 | 12/36 | 10/36 | | | | |
| 226 | 289 | 982 | 24 | 2区東 | SD127 | 13F-1E23 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 13.3 | | 1.5 | 11 | | 石・長 | C | 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | 29/36 | | 28/36 | | | | |
| 226 | 289 | 983 | 24 | 2区東 | SD127 | 13F-2E4、2F8 | | 古代 | 須恵器 | 壺蓋 | | 10.6 | | 4.2 | 40 | | 長・角 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 25/36 | | 28/36 | 自然釉 | SK177、Pit132接合 | | |
| 227 | 289 | 984 | 24 | 2区東 | SD127 | 13F-1G24、2E4、2F13、2G4 | | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | | | | | 長 | B | 灰 (7.5Y4/1) | 還元 | カキメ | 当て具痕 | D | | | | | | | 自然釉 | SK177、SX911、SD916接合 | | |
| 227 | 290 | 985 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-1E24 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 11.0 | | | | 長 | C | 灰 (5Y4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | 自然釉 | 自然釉 | | |
| 227 | 257 | 986 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-1E25、2E5 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 (三耳瓶) | | 13.5 | 14.2 | 34.2 | 253 | 105 | 石・長 | A | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ、ヘラケズリ | H | ロクロナデ | ヘラ切り後ヘラケズリ | | 28/36 | 36/36 | 30/36 | | | | |
| 227 | 290 | 987 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-1E24 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 1 | 12.0 | 5.0 | 4.6 | 38 | 42 | 石・長 | | 灰白 (2.5Y8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ状の調整 | | 糸切り | 右 | 11/36 | 36/36 | 17/36 | | | | |
| 227 | 290 | 988 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-1E24 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 1 | 12.0 | 5.6 | 4.1 | 34 | 47 | 石・長・角 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、ミガキ | | 糸切り | 右 | 7/36 | 21/36 | 14/36 | | | | |
| 227 | 290 | 989 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-2F6 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | CII 2 | 12.2 | 4.9 | 4.7 | 39 | 40 | 石・長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | 糸切り | 右 | 24/36 | 36/36 | 32/36 | | | | |
| 228 | 290 | 990 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-2E5 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 2 | 12.2 | 5.2 | 4.4 | 36 | 43 | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | 糸切り | | 5/36 | 36/36 | 18/36 | | | | |
| 228 | 290 | 991 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-2E5 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AII 2 | 12.3 | 5.0 | 4.7 | 38 | 41 | 石 | | 褐灰 (10YR5/1) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | 糸切り | 右 | 36/36 | 36/36 | 36/36 | スス | スス | | |
| 228 | 290 | 992 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-2F1 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | 15.0 | | | | | 石・長・海 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 228 | 290 | 993 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-1E19、2F8 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (40.0) | | | | | 石・長・海 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、タタキメ、ヘラケズリ、カキメ | H | ロクロナデ、カキメ | H | | | 3/36 | | | | | SK177接合 |
| 228 | 290 | 994 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-1E19、2E5 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 40.0 | | | | | 石・長・白・角・海 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 7/36 | | | | | | |
| 228 | 290 | 995 | 24 | 2区東 | SD128 | 13F-1E24、2E5、2F1 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bd | (42.0) | | | | | 石 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ、ヘラケズリ | H | ロクロナデ、カキメ、カキメ、当て具痕 | H | | | 2/36 | | | スス | | |
| 228 | 290 | 996 | 24 | 2区東 | SD144 | 13F-2E17 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | 4.0 | | | | | 石・雲・海 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | 糸切り | 右 | 36/36 | | | | | | |
| 228 | 290 | 997 | 24 | 2区東 | SD156 | 13F-2E23 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | I | 12.0 | | 2.1 | 18 | | 石 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 10/36 | | 26/36 | | | 体部外面ヘラ記号「-」 SX392接合 | |
| 228 | 290 | 998 | 24 | 2区東 | SD163 | 13F-2E23 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | AIII 1 | 11.5 | 4.8 | 5.1 | 44 | 42 | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | 糸切り | | 2/36 | 32/36 | 12/36 | | | | |
| 228 | 290 | 999 | 24 | 2区東 | SD163 | 13F-2E23 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | C I 2 | 12.5 | 5.0 | 4.2 | 34 | 40 | 石・長・雲 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | 糸切り | 右 | 17/36 | 36/36 | 27/36 | スス | スス | | |
| 228 | 290 | 1000 | 24 | 2区東 | SD184 | 13F-2F5 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 10.0 | | | | | 石・長 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | |
|-------|---------|--------|------|-----|-------|---------------------|----|----|-----|------|--------|---------|------|-----|------|------|---------|------------------|----------------|---------------|---------------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-----------------------------------|------------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 口径 | 底径 |
| 228 | 290 | 1001 | 24 | 2区東 | SD184 | 13F-1F19 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 12.8 | | | | | 長・チ | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 12/36 | | | | | | | |
| 228 | 290 | 1002 | 24 | 2区東 | SD184 | 13F-1F19 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Aa | 14.0 | | | | | 石・長・チ | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | ヨコナデ、ハケメ | | | | 5/36 | | | | | | | |
| 228 | 290 | 1003 | 24 | 2区東 | SD184 | 13F-1F19・20 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | | | 9.1 | | | | 石 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ハケメ、ヘラケズリ | ハケメ | | | | | 9/36 | | | | | | |
| 229 | 290 | 1004 | 24 | 2区東 | SD184 | 13F-2F5 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | (24.0) | | | | | 石・長・チ・角 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ、ハケメ | | | | 2/36 | | | | | | | |
| 229 | 290 | 1005 | 24 | 2区東 | SD184 | 13F-1F19 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 24.9 | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 5/36 | | | | | | | |
| 229 | 258 | 1006 | 24 | 2区東 | SD190 | 13F-2F21 | | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ab | 22.7 | | | | 石・チ | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 31/36 | | | | | | | |
| 229 | 290 | 1007 | 24 | 2区東 | SD190 | 13F-2F21 | | 中世 | 青白磁 | 合子蓋 | | 5.0 | | 1.2 | 24 | | | 軸：明緑灰 (7.5GY6/1) | | | | | | | 17/36 | | 16/36 | | | 胎土：灰白 (5Y7/1) | | |
| 229 | 290 | 1008 | 24 | 2区東 | SD191 | 13F-3F2 | | 中世 | 青磁 | 椀 | I-1a | | 6.0 | | | | | 軸：灰オリーブ (5Y5/2) | | | | | | | | 13/36 | | | | 龍泉窯系胎土：黄灰 (2.5Y6/1) D期 (12世紀中～後半) | | |
| 229 | 290 | 1009 | 24 | 2区東 | SD213 | 13F-2F19 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | B I 1 | 12.0 | 4.8 | 3.7 | 31 | 40 | 長・白 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 12/36 | 36/36 | 14/36 | | | | | | |
| 229 | 290 | 1010 | 24 | 2区東 | SD213 | 13F-2F18・19・24 | | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | | 20.0 | | | | 石・長・白 | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | | 5/36 | | | | | SD397、Pit875接合 | | |
| 229 | 290 | 1011 | 24 | 2区東 | SD214 | 13F-3F4・8 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Aa | 17.0 | | | | | 石・長・チ・角 | 浅黄 (2.5Y7/3) | 酸化 | ヘラケズリ | ヘラケズリ | | | | 4/36 | | | | | SK217接合 | | |
| 229 | 290 | 1012 | 24 | 2区東 | SD225 | 13F-3F6 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.6 | 9.7 | 3.3 | 23 | 66 | 長・チ・白 | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 7/36 | 5/36 | | | | | | |
| 229 | 290 | 1013 | 24 | 2区東 | SD225 | 13F-3F4 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 14.8 | 8.5 | 3.9 | 26 | 57 | 石・長・白 | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 11/36 | 8/36 | | | | | 底部外面ヘラ記号 | |
| 229 | 290 | 1014 | 24 | 2区東 | SD225 | 13F-3F7 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | 9.6 | | | | 石・長 | D 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 8/36 | | | | | 1015と同一か | | |
| 229 | 290 | 1015 | 24 | 2区東 | SD225 | 13F-2E14・19、3F7、4D5 | | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | 石・長 | D 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | | 1014と同一か | | |
| 229 | 290 | 1016 | 24 | 2区東 | SD225 | 13F-3F7 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ab | (18.6) | | | | | 石・長・白 | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 3/36 | | | | | | | |
| 229 | 291 | 1017 | 24 | 2区東 | SD243 | 13F-2F6・11・12 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.4 | 9.0 | 3.2 | 26 | 73 | 長 | C 灰白 (5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 3/36 | 21/36 | 16/36 | | | | Pit278接合 | |
| 229 | 291 | 1018 | 24 | 2区東 | SD288 | 13F-1F25 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | | 石・長・チ・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 11/36 | | | | | | | |
| 230 | 291 | 1019 | 24 | 2区東 | SD300 | 13F-2E4・9 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 20.0 | | | | | 石・長・チ・白 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | | | SD127接合 | | |
| 230 | 291 | 1020 | 24 | 2区東 | SD355 | 13F-3F19 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.0 | | | | | 石・長・チ | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | | | |
| 230 | 291 | 1021 | 24 | 2区東 | SD358 | 13F-3F8・9 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 12.0 | 6.5 | 2.7 | 23 | 54 | 長 | B 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 16/36 | 27/36 | 18/36 | | | | | |
| 230 | 291 | 1022 | 24 | 2区東 | SD401 | 13F-3F25 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 15.0 | | | | | 石・長・チ・白 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 7/36 | | | | | | | |
| 230 | 291 | 1023 | 24 | 2区東 | SD401 | 13F-3F25、4G1 | | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | | 13.0 | | | | 長・雲 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ、ケズリ | ミガキ | | | | 6/36 | | | | | | | |
| 230 | 291 | 1024 | 24 | 2区東 | SD422 | 13F-3F16 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 13.6 | | | | | 長・白 | C 灰黄 (2.5Y7/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | | | | | | | | |
| 230 | 291 | 1025 | 24 | 2区東 | SD497 | 13F-2G16 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.6 | 8.0 | 4.2 | 33 | 63 | 長・白 | C 灰白 (10YR8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 21/36 | 14/36 | | | | | | |
| 230 | 291 | 1026 | 24 | 2区東 | SD497 | 13F-2G22、2H11、3G1・2 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.6 | | 2.7 | 18 | | | 石・長 | C 灰 (10Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 11/36 | | 16/36 | | | SD98・808接合 | |
| 230 | 291 | 1027 | 24 | 2区東 | SD497 | 13F-2F14、2G16 | | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | (24.0) | | | | | 石・長 | C 灰白 (2.5Y8/2) | 還元 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | SD98接合 括れ鉢 | | |
| 230 | 291 | 1028 | 24 | 2区東 | SD497 | 13F-3G2 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | B I 1 | 11.4 | 4.7 | 3.7 | 32 | 41 | 石 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 16/36 | 18/36 | 18/36 | | | | | | |
| 230 | 291 | 1029 | 24 | 2区東 | SD497 | 13F-2G16 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | C I 1 | 12.0 | 4.6 | 4.1 | 34 | 38 | 石・長 | にぶい濁 (7.5YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 15/36 | 21/36 | 6/36 | | | | | | |
| 230 | 291 | 1030 | 24 | 2区東 | SD497 | 13F-2G22 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A II 2 | 12.3 | 4.3 | 4.5 | 37 | 35 | 石 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 左 | 13/36 | 36/36 | 24/36 | | | | | | |
| 230 | 291 | 1031 | 24 | 2区東 | SD497 | 13F-2F21、2G16 | | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | C II 2 | 12.5 | 5.0 | 4.5 | 36 | 40 | 長・雲 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ、ケズリ | ミガキ | 糸切り後ケズリ | | 5/36 | 9/36 | 13/36 | | | | | |
| 230 | 291 | 1032 | 24 | 2区東 | SD497 | 13F-2G22 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 12.0 | | | | | 石・長 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | | |
| 230 | 291 | 1033 | 24 | 2区東 | SD497 | 13F-2F15 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 15.8 | | | | | 石・長 | 黄灰 (2.5Y6/1) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | 894と同一か | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | |
|-------|---------|--------|------|-----|--------|---------------------------------|----|----|-----|-----|-------|---------|--------|-----|------|------|---------|----|-----------------|----|----------------------|----|----|----------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|----------------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 器高 | 底径 |
| 230 | 291 | 1034 | 24 | 2区東 | SD511 | 13F-2F2 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 11.8 | 7.2 | 3.5 | 30 | 61 | 石・長 | C | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | | ヘラ切り | 右 | 34/36 | 36/36 | 34/36 | 自然釉 | | | |
| 230 | 291 | 1035 | 24 | 2区東 | SD511 | 13F-2F2・14 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | B | | | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、タタキメ、カキメ、ヘラケズリ | H | | | | | | | | | SK302接合 | |
| 231 | 291 | 1036 | 24 | 2区東 | SD539 | 13F-3F22 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A I 1 | 11.9 | 5.7 | 3.7 | 31 | 48 | 石・長・白 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | | | 糸切り | 左 | 17/36 | 36/36 | 25/36 | | | | |
| 231 | 291 | 1037 | 24 | 2区東 | SD539 | 13F-3F22 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.0 | | | | | 石・長・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | | | | | 8/36 | | | | | | |
| 231 | 291 | 1038 | 24 | 2区東 | SD539 | 13F-4F3 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 22.3 | | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | | | | 5/36 | | | | | | |
| 231 | 291 | 1039 | 24 | 2区東 | SD647 | 13F-2G9 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | I | 11.4 | | 3.2 | 28 | | 長 | B | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | | | | 2/36 | | 4/36 | | | | |
| 231 | 291 | 1040 | 24 | 2区東 | SD749 | 13F-2G8 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 15.0 | | | | | 石・長 | C | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | | | | | 4/36 | | | | | | |
| 231 | 291 | 1041 | 24 | 2区東 | SD812 | 12F-10G1、13F-1G14、17・18、2H11、表探 | IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | (11.8) | | | | | 長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | | | | | 1/36 | | | 自然釉 | | | |
| 231 | 291 | 1042 | 24 | 2区東 | SD898 | 12F-10H2 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 14.0 | | | | | 長・チ・白 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | | ヘラ切り | | 4/36 | | | | | | |
| 231 | 291 | 1043 | 24 | 2区東 | SD916 | 13F-1G23、2G1 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 16.2 | | | | | 長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | | | | | 7/36 | | | | | SD288接合 | |
| 231 | 292 | 1044 | 24 | 2区東 | SD918 | 13F-2G2 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.6 | 8.8 | 3.2 | 25 | 70 | 長・白 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | | ヘラ切り | 右 | 26/36 | 36/36 | 32/36 | | | | |
| 231 | 292 | 1045 | 24 | 2区東 | SD918 | 13F-2G2 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 3 | 14.0 | | | | | 石・長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | | | | | 4/36 | | | 自然釉 | | | |
| 231 | 292 | 1046 | 24 | 2区東 | SD930 | 13F-3F19 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 14.1 | 9.2 | 3.8 | 27 | 65 | 長 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | | | ヘラ切り | | 1/36 | 7/36 | 3/36 | 自然釉 | 自然釉 | | |
| 231 | 292 | 1047 | 24 | 2区東 | SD930 | 13F-3F14 | I | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 16.2 | | | | | 長 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | | | | 8/36 | | | | | | |
| 231 | 292 | 1048 | 24 | 2区東 | SD930 | 13F-3F24 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 10.0 | | | | 石・長・角 | | 浅黄 (2.5Y7/3) | 酸化 | ヘラナデ、ハケメ | H | | | | | 12/36 | | | | | |
| 231 | 292 | 1049 | 24 | 2区東 | Pit19 | 12F-9H11・17・18 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | III 2 | 12.5 | 5.9 | 9.6 | 77 | 47 | 長 | A | 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | | | ヘラ切り | | 5/36 | 36/36 | 28/36 | 自然釉 | 自然釉 | | |
| 231 | 292 | 1050 | 24 | 2区東 | Pit57 | 13F-1G12 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 2 | 12.4 | 6.1 | 4.7 | 38 | 49 | 石・長 | C | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | | | ヘラ切り | | 13/36 | 17/36 | 15/36 | | | | |
| 231 | 292 | 1051 | 24 | 2区東 | Pit116 | 13F-1E20 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Aa | 20.0 | | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | | | | | 6/36 | | | | | | |
| 231 | 292 | 1052 | 24 | 2区東 | Pit126 | 13F-1E20 | | 古代 | 土師器 | 盤 | | 15.7 | 12.8 | 1.9 | 12 | 82 | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | | ヘラ切り後ケズリ | 右 | 9/36 | 23/36 | 22/36 | | | 赤彩 | |
| 231 | 292 | 1053 | 24 | 2区東 | Pit132 | 13F-2E4 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 11.3 | 6.5 | 4.2 | 37 | 58 | 石・長 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | | ヘラ切り | | 12/36 | 19/36 | 14/36 | | | | |
| 231 | 292 | 1054 | 24 | 2区東 | Pit264 | 13F-2F7 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | | | | | | 石 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | | | | | 1/36 | | | | | 体部外面墨書「口」 | |
| 231 | 292 | 1055 | 24 | 2区東 | Pit264 | 13F-2F7 | | 古代 | 土師器 | 蓋 | | (13.1) | | | | | 石 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | | | | | 3/36 | | | | | | |
| 231 | 292 | 1056 | 24 | 2区東 | Pit269 | 13F-2F3・8 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 10.4 | 6.0 | 4.4 | 42 | 58 | 石・長 | C | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | | | ヘラ切り | | 20/36 | 3/36 | 12/36 | | | SK177、SD98接合 | |
| 232 | 292 | 1057 | 24 | 2区東 | Pit283 | 13F-2F2・7 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (18.0) | | | | | 石・長・雲 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | H | | | | 2/36 | | | | | SK177、Pit434接合 | |
| 232 | 292 | 1058 | 24 | 2区東 | Pit291 | 13F-2F17 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 12.5 | | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | | | | | 9/36 | | | | | | |
| 232 | 292 | 1059 | 24 | 2区東 | Pit353 | 13F-2E24 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 12.0 | | | | | 石・長・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ | | | | | 9/36 | | | | | | |
| 232 | 292 | 1060 | 24 | 2区東 | Pit361 | 13F-2G6 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 21.0 | | | | | 長・チ | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | | | | | 7/36 | | | | | | |
| 232 | 292 | 1061 | 24 | 2区東 | Pit375 | 13F-2G16 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 12.0 | 8.0 | 3.0 | 25 | 67 | 長 | C | 灰 (5Y4/1) | 還元 | ロクロナデ | | | ヘラ切り | | 4/36 | 10/36 | 9/36 | | | | |
| 232 | 292 | 1062 | 24 | 2区東 | Pit387 | 13F-2F16・22・23 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | II | 13.0 | | 2.3 | 17 | | 長 | C | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | | | | 9/36 | | 9/36 | | | 外面ヘラ記号「一」 | |
| 232 | 292 | 1063 | 24 | 2区東 | Pit492 | 13F-3F6・12 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 8.0 | | | | 石・長 | A | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | | ヘラ切り | 右 | | 14/36 | | | | | |
| 232 | 292 | 1064 | 24 | 2区東 | Pit508 | 13F-3F10、3G6 | IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | 13.8 | | | | | 石・長 | A | 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ、タタキメ | H | | | | 9/36 | | | 自然釉 | | | |
| 232 | 292 | 1065 | 24 | 2区東 | Pit508 | 13F-3F10 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | (18.6) | (11.0) | 5.3 | (28) | (59) | 長・雲・チ・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ヨコナデ、ヘラケズリ、ヘラナデ | | | | | 2/36 | 6/36 | 6/36 | | | 非ロクロ成形 | |
| 232 | 292 | 1066 | 24 | 2区東 | Pit520 | 13F-2F6 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.9 | 7.0 | 1.4 | 18 | 89 | 長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | | 糸切り | 右 | 17/36 | 17/36 | 16/36 | | | | |
| 232 | 292 | 1067 | 24 | 2区東 | Pit577 | 13F-4F9 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ab | 11.0 | | | | | 長 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | | | | | 8/36 | | | | | | |
| 232 | 292 | 1068 | 24 | 2区東 | Pit582 | 13F-4F10 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.4 | 5.4 | 1.8 | 21 | 64 | 長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | | | 糸切り | | 17/36 | 36/36 | 31/36 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | |
|-------|---------|--------|------|-----|--------|---------------|----|----|-----|-----|------|---------|------|-----|------|---------|---------|-----------------|----------------|----------------|-----------|--------------|-------|------|----------|------|-------|-------|-------|-----|-------------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 口縁部 | 底部 |
| 232 | 292 | 1069 | 24 | 2区東 | Pit593 | 13F-3F25 | | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | 11.0 | | | | 長 | C | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、カキメ、タタキメ | H | ロクロナデ、当て具痕 | D | | | 2/36 | | | | 自然釉 | | |
| 232 | 292 | 1070 | 24 | 2区東 | Pit709 | 13F-2H1 | | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | (32.6) | | | | 長 | C | 灰オリーブ (5Y6/2) | 還元 | ロクロナデ、カキメ | | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | 括れ鉢 | |
| 232 | 292 | 1071 | 24 | 2区東 | Pit736 | 13F-1H22 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | (12.8) | | | | 石・長・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | |
| 232 | 292 | 1072 | 24 | 2区東 | Pit758 | 13F-2H3 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 4.8 | | | 石・長・チ・海 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデカキメ状の調整 | | 糸切り | 右 | | 28/36 | | | | | |
| 232 | 292 | 1073 | 24 | 2区東 | Pit841 | 13F-1F24 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 12.0 | 9.0 | 3.9 | 33 | 75 | 長・角 | C | 灰黄 (2.5Y7/2) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 6/36 | 7/36 | 8/36 | | | |
| 232 | 292 | 1074 | 24 | 2区東 | Pit842 | 13F-2H21 | | 古代 | 須恵器 | 高杯 | II | | 13.9 | | | 石・長 | D | 褐灰 (7.5YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | 壺口縁部か | |
| 232 | 292 | 1075 | 24 | 2区東 | Pit855 | 13F-1H17 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | (18.8) | | | | 石・長・雲・チ | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ハケメ | | ヘラケズリ | | | | 1/36 | | | | | | |
| 232 | 292 | 1076 | 24 | 2区東 | Pit910 | 13F-1G20 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.2 | 10.0 | 3.6 | 25 | 70 | 長・チ | A | 褐灰 (5YR4/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 16/36 | 22/36 | 15/36 | 自然釉 | | |
| 232 | 292 | 1077 | 24 | 2区東 | Pit934 | 13F-2E5 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | AI 2 | 12.4 | 5.0 | 4.3 | 35 | 40 | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | 右 | 8/36 | 32/36 | 15/36 | | | |
| 233 | 293 | 1078 | 24 | 2区東 | | 13F-2F19 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 11.8 | 7.6 | 3.6 | 31 | 64 | 長・チ・白 | C | 灰黄 (2.5Y7/2) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 11/36 | 20/36 | 18/36 | | | |
| 233 | 293 | 1079 | 24 | 2区東 | | 13F-2F6 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 12.0 | 9.0 | 3.3 | 28 | 75 | 長・チ・白 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 1/36 | 14/36 | 7/36 | | | |
| 233 | 293 | 1080 | 24 | 2区東 | | 13F-2G19 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 12.0 | 8.5 | 3.0 | 25 | 71 | 長 | C | 灰白 (7.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 右 | 15/36 | 21/36 | 16/36 | | | |
| 233 | 293 | 1081 | 24 | 2区東 | | 13F-3F14・19 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.1 | 8.0 | 3.7 | 31 | 66 | 石・長・チ・白 | A | 灰白 (5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 1/36 | 16/36 | 6/36 | | | |
| 233 | 293 | 1082 | 24 | 2区東 | | 13F-1E23 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.6 | 7.6 | 3.5 | 28 | 60 | 長・チ | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 20/36 | 21/36 | 20/36 | | 体部内面ヘラ記号「=」 | |
| 233 | 293 | 1083 | 24 | 2区東 | | 13F-1F11 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.6 | 8.4 | 3.4 | 27 | 67 | 長・海 | C | 灰 (10Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 9/36 | 12/36 | 8/36 | | | |
| 233 | 293 | 1084 | 24 | 2区東 | | 13F-3B24 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.8 | 8.5 | 3.6 | 28 | 66 | 石・長・白 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 12/36 | 17/36 | 16/36 | | | |
| 233 | 293 | 1085 | 24 | 2区東 | | 13F-4F5 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 9.0 | 3.2 | 25 | 69 | 石・白 | C | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 3/36 | 7/36 | 9/36 | | 酸化炎焼成須恵器 | |
| 233 | 293 | 1086 | 24 | 2区東 | | 13F-2G22 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.2 | 9.3 | 4.1 | 31 | 70 | 石・長・角 | C | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 9/36 | 15/36 | 11/36 | スス | 底部内面ヘラ記号「×」 | |
| 233 | 293 | 1087 | 24 | 2区東 | | 13F-2G9 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.2 | 9.0 | 3.8 | 29 | 68 | 長・角・海 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 12/36 | 12/36 | 10/36 | | | |
| 233 | 293 | 1088 | 24 | 2区東 | | 13F-1G11 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.5 | 8.0 | 4.1 | 30 | 59 | 石・長・白 | C | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 1/36 | 13/36 | 5/36 | | | |
| 233 | 293 | 1089 | 24 | 2区東 | | 13F-3F23 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.0 | 10.2 | 4.0 | 29 | 73 | 石・長・チ・白 | C | 黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 8/36 | 12/36 | 11/36 | | 酸化炎焼成須恵器 | |
| 233 | 293 | 1090 | 24 | 2区東 | | 13F-1G17 | | IV | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 15.0 | 10.0 | 4.4 | 29 | 67 | 長・白 | C | 灰白 (5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 11/36 | 16/36 | 12/36 | | 底部外面ヘラ記号「#」 | |
| 233 | 293 | 1091 | 24 | 2区東 | | 13F-1E5 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 10.2 | 5.2 | 4.9 | 48 | 51 | 長 | C | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 5/36 | 14/36 | 10/36 | | | |
| 233 | 293 | 1092 | 24 | 2区東 | | 13F-1G22・25 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | | | 10.9 | | | | 長 | C | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 13/36 | | | | 自然釉 | |
| 233 | 293 | 1093 | 24 | 2区東 | | 12F-9H11 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 11.0 | 6.0 | 4.6 | 42 | 55 | 石・長 | | 灰黄 (2.5Y7/2) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 2/36 | 8/36 | 6/36 | | | |
| 233 | 293 | 1094 | 24 | 2区東 | | 13F-2H11 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 11.8 | 6.3 | 3.6 | 31 | 53 | 長 | C | 灰 (5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 7/36 | 10/36 | 7/36 | | | |
| 233 | 293 | 1095 | 24 | 2区東 | | 13F-1G17 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 12.0 | 7.0 | 3.9 | 33 | 58 | 長 | C | 灰 (5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 2/36 | 5/36 | 6/36 | | | |
| 233 | 293 | 1096 | 24 | 2区東 | | 13F-1G3 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | 13.4 | 10.0 | 3.6 | 27 | 75 | 石・長・白 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 1/36 | 9/36 | 7/36 | | | |
| 233 | 293 | 1097 | 24 | 2区東 | | 13F-3F10 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 14.0 | 11.6 | 3.8 | 27 | 83 | 長・チ・角 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 5/36 | 4/36 | 4/36 | | | |
| 233 | 293 | 1098 | 24 | 2区東 | | 13F-3F8 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 15.0 | 10.0 | 3.9 | 26 | 67 | 長 | C | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | | 2/36 | 6/36 | 4/36 | | 内面・高台使用痕 | |
| 233 | 293 | 1099 | 24 | 2区東 | | 12F-10H1 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | | 15.0 | | | | | 長 | C | 灰白 (7.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 6/36 | | | | | |
| 233 | 293 | 1100 | 24 | 2区東 | | 13F-1F12 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | | 15.4 | | | | | 長 | D | 灰 (5Y4/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | |
| 233 | 293 | 1101 | 24 | 2区東 | | 12F-10F14 | | IV | 須恵器 | 有台杯 | | 9.0 | | | | | 長 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り後ケズリ | 右 | | 14/36 | | | | |
| 233 | 293 | 1102 | 24 | 2区東 | | 13F-1E25 | | IV | 須恵器 | 杯蓋 | I | 12.0 | | 2.6 | 22 | | 石・長 | A | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | | 7/36 | | 10/36 | | | |
| 233 | 293 | 1103 | 24 | 2区東 | | 13F-2F13 | | IV | 須恵器 | 杯蓋 | II | 12.6 | | 2.0 | 16 | | 長 | C | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 6/36 | | 22/36 | | 体部外面ヘラ記号「-」 | |
| 234 | 293 | 1104 | 24 | 2区東 | | 13F-1E24、2F1 | | IV | 須恵器 | 杯蓋 | II | 12.8 | | 2.5 | 20 | | 石・長 | C | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 7/36 | | 9/36 | 自然釉 | | |
| 234 | 293 | 1105 | 24 | 2区東 | | 13F-1E24 | | IV | 須恵器 | 杯蓋 | II | 13.7 | | 2.4 | 18 | | 石・長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | | 2/36 | | 4/36 | | | |
| 234 | 293 | 1106 | 24 | 2区東 | | 13F-1E24、2H21 | | IV | 須恵器 | 杯蓋 | II | | | | | | 長 | C | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | | ロクロナデ | | | | 1/36 | | 9/36 | | | |
| 234 | 293 | 1107 | 24 | 2区東 | | 13F-1G14 | | IV | 須恵器 | 壺蓋 | | 15.0 | | | | | 石・白・海 | D | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 11/36 | | | | | |
| 234 | 293 | 1108 | 24 | 2区東 | | 13F-1H21 | | IV | 須恵器 | 短頸壺 | | 7.0 | | | | | 石 | C | 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 9/36 | | | 自然釉 | 小型品 | |
| 234 | 293 | 1109 | 24 | 2区東 | | 13F-4F10 | | IV | 須恵器 | 長頸瓶 | | (23.2) | | | | | 長 | B | 褐灰 (7.5YR5/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|-----|-----|--------------|----|----|------|-----|-------|---------|-----|-----|------|-------|-----------|-----------------|-----------------|-----------|-----------------|-----------|-------------|------|-------|-------|-------|-------|-----|----|-----|---------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 口縁部 | 底部 |
| 234 | 293 | 1110 | 24 | 2区東 | | 13F-1G3 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | 12.0 | | | | 石・長 | B | オリーブ黒 (10Y3/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | | |
| 234 | 293 | 1111 | 24 | 2区東 | | 13F-1G10 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | (13.0) | | | | 石 | B | 褐灰 (10YR4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | | |
| 234 | 293 | 1112 | 24 | 2区東 | | 13F-2G7 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | 13.0 | | | | 石 | B | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | | |
| 234 | 293 | 1113 | 24 | 2区東 | | 13F-3E10 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | 7.0 | | | 石・長 | B | 灰 (5Y4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | 16/36 | | | | | 小型品 | |
| 234 | 293 | 1114 | 24 | 2区東 | | 12F-9H4 | IV | 古代 | 須恵器 | 広口壺 | | (22.0) | | | | 石・長 | C | 灰 (10Y4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | | 3/36 | | | | | | | |
| 234 | 293 | 1115 | 24 | 2区東 | | 13F-1F9、2H24 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | 5.6 | | | 石・長 | C | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 14/36 | | | | | | 小型品 | |
| 234 | 293 | 1116 | 24 | 2区東 | | 12F-10F18・20 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | 11.9 | | | | 長 | C | 褐灰 (7.5YR5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、当て具痕 | D | | | 13/36 | | | 自然軸 | 自然軸 | | | |
| 234 | 294 | 1117 | 24 | 2区東 | | 13F-2G10・13 | IV | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | (29.7) | | | | 石 | C | 浅黄 (2.5Y7/4) | 還元 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 2/36 | | | | | | 挿れ鉢 | |
| 234 | 294 | 1118 | 24 | 2区東 | | 13F-3F23 | IV | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | 8.0 | | | | 石・長・チ | A | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 還元 | ヘラケズリ | ロクロナデ、カキメ | | | | | 4/36 | | | | | | |
| 234 | 294 | 1119 | 24 | 2区東 | | 13F-1F2 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 1 | 11.0 | 4.6 | 4.1 | 37 | 42 | 石・長・チ・白 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 10/36 | 27/36 | 15/36 | | | | |
| 234 | 294 | 1120 | 24 | 2区東 | | 13F-4G1 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 2 | 12.8 | 5.0 | 4.4 | 34 | 39 | 石・白 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 左 | | 15/36 | 36/36 | 23/36 | | | | |
| 234 | 294 | 1121 | 24 | 2区東 | | 13F-4F4 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 2 | 13.3 | 6.0 | 4.1 | 31 | 45 | 石・雲・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 13/36 | 19/36 | 15/36 | | | | |
| 234 | 294 | 1122 | 24 | 2区東 | | 13F-3F2 | IV | 古代 | 土師器 | 蓋 | | | | | | 石・長・白 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ | | | | | | | | | | | |
| 234 | 294 | 1123 | 24 | 2区東 | | 13F-4F3・9 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | C I 2 | 13.3 | 5.0 | 4.1 | 31 | 38 | 石・雲・角 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | 糸切り後一部ミガキ | | | 12/36 | 20/36 | 16/36 | | | | |
| 234 | 294 | 1124 | 24 | 2区東 | | 13F-3G18 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | B I 3 | 14.5 | 6.0 | 4.6 | 32 | 41 | 石・白 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | 糸切り後ミガキ | | | 1/36 | 8/36 | 6/36 | | | | |
| 234 | 294 | 1125 | 24 | 2区東 | | 13F-4G1 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | A I 3 | 15.2 | 5.1 | 5.0 | 33 | 34 | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ミガキ | 糸切り後ケズリ、ミガキ | | | 10/36 | 28/36 | 14/36 | | | | |
| 234 | 258 | 1126 | 24 | 2区東 | | 13F-3F23 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 11.6 | 4.0 | 8.0 | 48 | 69 | 石・長・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ヘラケズリ | ロクロナデ | | | | 18/36 | 36/36 | 29/36 | | | | |
| 234 | 294 | 1127 | 24 | 2区東 | | 13F-1H12 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ab | 12.2 | | | | | 石・長・雲・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 6/36 | | | | | | |
| 234 | 294 | 1128 | 24 | 2区東 | | 13F-3F23 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ab | 15.8 | | | | | 石・長・雲・角 | | 明赤褐 (2.5YR5/6) | 酸化 | ハケメ | | | | | 6/36 | | | | | | |
| 234 | 294 | 1129 | 24 | 2区東 | | 13F-3F23 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Aa | 16.2 | | | | | 石・雲・チ・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ハケメ、ヘラケズリ | ハケメ | | | | 7/36 | | | | | | |
| 234 | 294 | 1130 | 24 | 2区東 | | 13F-1E15 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 13.7 | | | | | 石・長・雲・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 235 | 294 | 1131 | 24 | 2区東 | | 13F-1H11 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ab | 19.0 | | | | | 石・長・雲 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 235 | 294 | 1132 | 24 | 2区東 | | 13F-1H11 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Aa | 18.0 | | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 7/36 | | | | | | |
| 235 | 294 | 1133 | 24 | 2区東 | | 13F-1E18・19 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | (18.0) | | | | | 石・長・白 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ハケメ | ロクロナデ、ハケメ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 235 | 294 | 1134 | 24 | 2区東 | | 13F-1H11 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ab | 21.0 | | | | | 石・長・白 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 235 | 294 | 1135 | 24 | 2区東 | | 13F-1G10 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 22.0 | | | | | 石・長・雲・チ・角 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ハケメ | ロクロナデ、ハケメ | | | | 6/36 | | | | | | Pit60接合 |
| 235 | 294 | 1136 | 24 | 2区東 | | 13F-1H11 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | (21.0) | | | | | 石・長・チ・角 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 235 | 294 | 1137 | 24 | 2区東 | | 13F-3F24 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 20.0 | | | | | 石・雲・角 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 235 | 294 | 1138 | 24 | 2区東 | | 13F-3F16 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | B | | 9.0 | | | | 石・長・チ・角 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | 指頭圧痕 | ヘラ切り | | | 11/36 | | | | | | |
| 235 | 294 | 1139 | 24 | 2区東 | | 13F-3F22 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | | | | | 石・長・チ・白・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ヘラケズリ | ハケメ | | | | 36/36 | | | | | | |
| 235 | 294 | 1140 | 24 | 2区東 | | 13F-1H11 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 7.5 | | | | 石 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 36/36 | | | | | | |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 報告 書 No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高 指数 | 底径 指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転 方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-----------|-----------------|----------------|------|-----|-------|---------------------------|-------------------------|----|------|-----|-------|---------|--------|--------|----------|----------|-------------|----------------------|--------------------|-----------------|-----------------------|----------------|------------|----------|------|-------|-------|------|------------|---|---------------------|---------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 235 | 294 | 1141 | 24 | 2区東 | | 13F-1G13 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (36.0) | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、 カキメ | ロクロナデ、 カキメ | | | | 3/36 | | | スス | スス | | | |
| 235 | 294 | 1142 | 24 | 2区東 | | 12F-10G7 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (40.0) | | | | 石・長・チ | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、 カキメ | | | | 3/36 | | | | | | | |
| 235 | 294 | 1143 | 24 | 2区東 | | 13F-4G1 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Ba | (32.0) | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、 ヘラケズリ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | 一部還元か | | |
| 235 | 294 | 1144 | 24 | 2区東 | | 13F-2F16 | IV | 中世 | 白磁 | 椀 | IX | (11.6) | | | | | | 釉：明オリーブ灰 (5GY7/1) | | | | | | | 2/36 | | | | | 胎土：灰白 (5Y7/1) F期 (13世紀中～14世紀 初前後) | | |
| 235 | 294 | 1145 | 24 | 2区東 | | 13F-3E5 | IV | 中世 | 青磁 | 椀 | I-2 | (16.0) | | | | | | 釉：オリーブ灰 (5GY6/1) | | | | | | | 2/36 | | | | | 龍泉窯系 胎土：灰白 (5Y7/1) D期 (12世紀中～後半) | | |
| 235 | 294 | 1146 | 24 | 2区東 | | 13F-2G18 | IV | 中世 | 青磁 | 椀 | I-1b | | | | | | | 釉：オリーブ灰 (10Y5/2) | | | | | | | | | | | | 同安窯系 胎土：灰 (5Y6/1) D期 (12世紀中～後半) | | |
| 236 | 295 | 1147 | 24 | 2区西 | SE9 | 13F-4D10 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.2 | 9.8 | 3.4 | 26 | 74 | 長・海 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 17/36 | 11/36 | | | | | |
| 236 | 295 | 1148 | 24 | 2区西 | SE9 | 13F-4D10 | 3 | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 15.0 | | | | | 石・長 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ、 ケズリ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 236 | 295 | 1149 | 24 | 2区西 | SE9 | 13F-4D15 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 14.0 | | | | | 石・白・角・ 海 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 236 | 295 | 1150 | 24 | 2区西 | SE9 | 13F-4D15 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 7.0 | 6.0 | 1.3 | 19 | 86 | 長 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 1/36 | 8/36 | 2/36 | | | | | |
| 236 | 295 | 1151 | 24 | 2区西 | SE9 | 13F-4D10 | 2 | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 9.0 | | | | 長 | | 灰黄 (2.5Y7/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 10/36 | | | | | | |
| 236 | 295 | 1152 | 24 | 2区西 | SE9 | 13F-4C24、4D15 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 32.0 | | | | | 石・長 | | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、 鉤目 | | | | 5/36 | | | | | 珠洲Ⅱ期 | |
| 236 | 295 | 1153 | 24 | 2区西 | SE9 | 13F-3E10、4D14 | 8、IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (32.8) | | | | | 石・長・海 | | にぶい黄橙 (10YR6/4) | 還元 | ロクロナデ | 1単位10目の 鉤目 | | | | 6/36 | | | | | 口縁端部、研磨具に転用 珠洲Ⅲ期 | |
| 236 | 295 | 1154 | 24 | 2区西 | SE9 | 13F-3D8、4D14 | 4、IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | | 14.0 | | | | 石・長・海 | | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位11目の 鉤目 | 静止糸切 り | | | 5/36 | | | | | | |
| 236 | 295 | 1155 | 24 | 2区西 | SE14 | 13F-4E11 | | 古代 | 土師器 | 無台椀 | | (14.8) | | | | | 長・白 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、 ナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | |
| 236 | 295 | 1156 | 24 | 2区西 | SE14 | 13F-2E14、3G12、 4E11・21 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | | 13.0 | | | | 石・長・海 | | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 還元 | ロクロナデ | 1単位8目の 鉤目 | 静止糸切 り | | | 15/36 | | | | | SD3接合 珠洲Ⅱ期 | |
| 236 | 295 | 1157 | 24 | 2区西 | SE39 | 13F-4E12 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.0 | 9.2 | 3.1 | 22 | 66 | 石・長・白 | D | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 8/36 | 7/36 | | | | | |
| 236 | 295 | 1158 | 24 | 2区西 | SE39 | 13F-4E2・12 | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.8 | 10.0 | 3.6 | 24 | 68 | 長・白 | C | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 6/36 | 6/36 | | | | | |
| 237 | 295 | 1159 | 24 | 2区西 | SE39 | 13F-4E12 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 12.0 | 9.0 | 3.4 | 28 | 75 | 石 | | 灰オリーブ (5Y6/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 5/36 | 36/36 | 20/36 | スス | スス・ 炭化物 | 灯明皿 | | |
| 237 | 295 | 1160 | 24 | 2区西 | SE39 | 13F-4D10、4E12 | | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | 30.0 | | | | | 石・長 | | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位16目の 鉤目 | | | | 8/36 | | | | | SE9接合 珠洲Ⅳ期 | |
| 237 | 295 | 1161 | 24 | 2区西 | SE39 | 13F-2E14、3F2、4E12 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (32.0) | (12.0) | (13.0) | (41) | (38) | 石・長 | | 明黄橙 (10YR7/4) | 還元 | ロクロナデ | 1単位10目の 鉤目 | | | | 2/36 | 3/36 | 3/36 | | | 珠洲Ⅳ期 | |
| 237 | 295 | 1162 | 24 | 2区西 | SE39 | 13F-4E12 | | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (34.0) | | | | | 石・海 | | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ、 鉤目 | | | | 3/36 | | | | | 珠洲Ⅱ期以降 | |
| 237 | 295 | 1163 | 24 | 2区西 | SE63 | 13F-4D15 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.8 | 8.4 | 3.1 | 24 | 66 | 長 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 18/36 | 12/36 | | | | | |
| 237 | 295 | 1164 | 24 | 2区西 | SE63 | 13F-4C9、4D15 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 6.5 | | | | 石・長 | D | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 36/36 | | | 自然釉 | Pit441接合 | | |
| 237 | 295 | 1165 | 24 | 2区西 | SE63 | 13F-4D15 | | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | 10.6 | | | | | 長 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | 自然釉 | | |
| 237 | 258 | 1166 | 24 | 2区西 | SE63 | 13F-3D19、4D8・9・ 15 | 3・6・ 8・ 10、 IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | 13.0 | | | | | 長・白 | B | 黄灰 (2.5Y4/1) | 還元 | ロクロナデ、 タタキメ | H ロクロナデ | ヘラ切り | | | 12/36 | | | | | SE9・230・499接合 |
| 237 | 295 | 1167 | 24 | 2区西 | SE63 | 13F-4D15 | 10 | 古代 | 黒色土器 | 無台椀 | | 14.0 | | | | | 石・長・角 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ、 ミガキ、 ケズリ | ミガキ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 237 | 295 | 1168 | 24 | 2区西 | SE63 | 13F-4D15 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 22.0 | | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、 カキメ、 ハケメ | ロクロナデ、 カキメ | | | | 4/36 | | | | | | |
| 237 | 295 | 1169 | 24 | 2区西 | SE63 | 13F-4E16 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (38.0) | | | | | 石・雲・白・ 角 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、 ヘラケズリ | ロクロナデ、 カキメ | | | | 3/36 | | | | | | |
| 238 | 295 | 1170 | 24 | 2区西 | SE86 | 13F-4C3 | | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (30.0) | | | | | 石・長・白・ 海 | | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | 珠洲Ⅱ期 | |
| 238 | 295 | 1171 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D18・19 | 7 | 古代 | 土師器 | 無台椀 | A I 2 | 13.0 | 5.0 | 4.0 | 31 | 38 | 石・白 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 6/36 | 6/36 | 9/36 | | | | SD359接合 | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 |
|-------|---------|--------|------|-----|-------|-------------------|----------|----|------|-----|-------|---------|------|-----|------|---------|---------|-------------------|------------------|---------------|-----------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|---|-----------|-------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 238 | 295 | 1172 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19、3E21 | 7 | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | 7.0 | | | | 石・長 | | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | ミガキ | | | 26/36 | | | | 内外面黒色処理 | |
| 238 | 295 | 1173 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 3 | 中世 | 白磁 | 碗 | IX | (14.0) | | | | | | 釉：灰白 (7.5Y7/1) | | | | | | 3/36 | | | | 胎土：灰白 (5Y8/1) F期 (13世紀中～14世紀初前後) | | |
| 238 | 295 | 1174 | 24 | 2区西 | SE433 | 13F-4D1 | | 中世 | 青磁 | 碗 | IIb | 16.2 | | | | | | 釉：緑灰 (5G5/1) | | | | | | 8/36 | | | | 龍泉窯系 胎土：灰白 (7.5Y8/1) E期 (13世紀前後～前半) | | |
| 238 | 296 | 1175 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D4・8・10、4E17 | 8 | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | 30.0 | | | | 石・長・白 | C | 灰白 (2.5Y8/2) | 還元 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 8/36 | | | | SE9、SX383接合 括れ鉢 | | |
| 238 | 296 | 1176 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-2D16、4D4・9 | 1・2・4・IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | 長・白 | B | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | | | | SE9、SK294接合 | | |
| 238 | 296 | 1177 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D8・9 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 2 | 12.8 | 6.0 | 4.0 | 31 | 47 | 石・長・雲 | | 黒褐 (2.5Y3/1) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 7/36 | 7/36 | 7/36 | タール | タール | SD3接合 |
| 238 | 296 | 1178 | 24 | 2区西 | SK1 | 13F-4E18・23 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 8.3 | | | 石・長 | A | 灰 (5Y4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 20/36 | | | | SK40接合 | |
| 238 | 296 | 1179 | 24 | 2区西 | SK1 | 13F-4E23 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | 12.7 | 5.2 | 3.8 | 30 | 41 | 石・長・雲 | | にぶい黄橙 (7.5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 6/36 | 36/36 | 20/36 | | | |
| 238 | 258 | 1180 | 24 | 2区西 | SK5 | 13F-5D10、4E23 | 1 | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | 長・白 | B | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | | | | SD2257接合 | | |
| 238 | 296 | 1181 | 24 | 2区西 | SK15 | 13F-4E19 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | A | | 9.2 | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ハケメ、ヘラケズリ | ハケメ | | | | 4/36 | | | | | |
| 238 | 296 | 1182 | 24 | 2区西 | SK89 | 13F-4C24、4D20 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | | 11.0 | | | 石・長・海 | | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | 1単位9目の御目 | 静止糸切り | | | 13/36 | | | | 珠洲III～IV期 | |
| 238 | 296 | 1183 | 24 | 2区西 | SK90 | 13F-4D20 | | 古代 | 土師器 | 小囊 | Bc | 12.0 | | | | 石・長・雲 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 8/36 | | | スス | スス | | |
| 238 | 296 | 1184 | 24 | 2区西 | SK90 | 13F-4D20 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 21.0 | | | | 長・角 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 6/36 | | | | | | |
| 239 | 296 | 1185 | 24 | 2区西 | SK90 | 13F-4D20 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (37.7) | | | | 石・長 | | 橙 (7.5YR7/8) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 239 | 296 | 1186 | 24 | 2区西 | SK90 | 13F-4D20 | | 中世 | 青磁 | 碗 | IV | | 5.6 | | | | | 釉：オリブ灰 (2.5GY5/1) | | | | | | 21/36 | | | | 龍泉窯系 胎土：灰 (7.5Y6/1) 内面見込み 印文「金玉満堂カ」 G期 (14世紀初～後半) | | |
| 239 | 296 | 1187 | 24 | 2区西 | SK351 | 13F-5D3 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 2 | 12.9 | 4.4 | 4.0 | 31 | 34 | 石・長 | | にぶい橙 (5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 24/36 | 36/36 | 32/36 | スス | スス | |
| 239 | 296 | 1188 | 24 | 2区西 | SK351 | 13F-5D3 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Bc | 24.0 | | | | 石・長・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 6/36 | | | | | | |
| 239 | 296 | 1189 | 24 | 2区西 | SK396 | 13F-4A10 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | 12.6 | 6.6 | 3.6 | 29 | 52 | 長・白 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 10/36 | 5/36 | 10/36 | | | |
| 239 | 296 | 1190 | 24 | 2区西 | SK447 | 13F-6B25 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.4 | 6.8 | 2.8 | 23 | 55 | 長 | B | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 17/36 | 20/36 | 18/36 | | | |
| 239 | 296 | 1191 | 24 | 2区西 | SK469 | 13F-4E24 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 11.9 | 8.0 | 3.2 | 27 | 67 | 長・海 | C | 灰 (10Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 8/36 | 5/36 | | | |
| 239 | 296 | 1192 | 24 | 2区西 | SK522 | 13F-3C22、4C8・9 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 3 | 15.2 | 6.2 | 5.8 | 38 | 41 | 石・長・白 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 5/36 | 6/36 | | 自然釉 | |
| 239 | 296 | 1193 | 24 | 2区西 | SK522 | 13F-3C25、4C4・16 | IV | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | | 12.0 | | | 長・白 | C | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ、ヘラケズリ | ヘラナデ、ナデ | ヘラケズリ | | | 4/36 | | | | | |
| 239 | 258 | 1194 | 24 | 2区西 | SK545 | 13F-4D21 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | 石・長・白 | B | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、一部タタキメ | H | ロクロナデ | ヘラ切り後ナデ | | | | | | | |
| 239 | 296 | 1195 | 24 | 2区西 | SX11 | 13F-4E9 | | 古代 | 土師器 | 長囊 | Aa | 21.0 | | | | 石・長・チ・角 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ヨコナデ | ハケメ、ナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 239 | 296 | 1196 | 24 | 2区西 | SX352 | 13F-4E21 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C I 2 | 13.0 | 5.8 | 4.0 | 31 | 45 | 石・長・雲・角 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 15/36 | 36/36 | 26/36 | | SK351接合 | |
| 239 | 296 | 1197 | 24 | 2区西 | SX352 | 13F-4E16 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C | 14.0 | | | | 石・長・雲 | | 灰白 (7.5YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、ミガキ | | | 6/36 | | | | | | |
| 239 | 296 | 1198 | 24 | 2区西 | SX352 | 13F-4E16 | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | (15.0) | | | | 石・長・雲 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 3/36 | | | | | | |
| 240 | 296 | 1199 | 24 | 2区西 | SX354 | 13F-4E1・6 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bb | 42.3 | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ハケメ | ロクロナデ、カキメ | | | 5/36 | | | | | | |
| 240 | 297 | 1200 | 24 | 2区西 | SX383 | 13F-4E16 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 10.0 | | | 長 | C | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 9/36 | | | 酸化炎焼成須恵器 | | |
| 240 | 296 | 1201 | 24 | 2区西 | SX383 | 13F-4E16 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 14.0 | | | | 長 | C | 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | |
| 240 | 296 | 1202 | 24 | 2区西 | SX383 | 13F-4E16・17 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | 13.9 | 8.0 | 3.8 | 27 | 58 | 長・白 | C | 灰 (5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 4/36 | 17/36 | 9/36 | | SK311接合 | |
| 240 | 297 | 1203 | 24 | 2区西 | SX383 | 13F-4E16・17 | 2・3 | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | | 10.0 | | | 石・長 | C | 灰 (6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 35/36 | | | 自然釉 | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | |
|-------|---------|--------|------|-----|-------|-----------------------|----|----|------|-----|---------|---------|------|-----|------|-------------|---------|-----------------|-------------------|----------------|---------------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|-------------|---------|--|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 胎土 | 産地 |
| 240 | 297 | 1204 | 24 | 2区西 | SX383 | 13F-4E17 | 3 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 15.0 | | | | 石・長・チ | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | | |
| 240 | 297 | 1205 | 24 | 2区西 | SX383 | 13F-4E17 | 3 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ab | 15.8 | | | | 石・長・チ・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 2/36 | | | | | | | |
| 240 | 296 | 1206 | 24 | 2区西 | SX383 | 13F-4E17 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 21.2 | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | SK311接合 | | |
| 240 | 297 | 1207 | 24 | 2区西 | SX439 | 13F-5E10 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.2 | 9.2 | 3.1 | 25 | 75 | 長・白 | C | 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 22/36 | 36/36 | 20/36 | | | | | |
| 240 | 297 | 1208 | 24 | 2区西 | SX439 | 13F-5E10 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Aa | 18.0 | | | | 石・長・チ | | 灰黄褐 (10YR6/2) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | ヨコナデ、ハケメ | | | | 8/36 | | | | | | | |
| 240 | 297 | 1209 | 24 | 2区西 | SX439 | 13F-5E10 | 2 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Aa | 23.4 | | | | 石・長・雲・チ・白・角 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 4/36 | | | | | | | |
| 240 | 297 | 1210 | 24 | 2区西 | SX439 | 13F-5E10 | 2 | 古代 | 土師器 | 小甕 | A | | 9.0 | | | 石・長・角 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | | 8/36 | | | | | | | |
| 240 | 297 | 1211 | 24 | 2区西 | SX439 | 13F-5E10 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Ba | 30.0 | | | | 長・雲・チ・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | | |
| 240 | 297 | 1212 | 24 | 2区西 | SX439 | 13F-5E5 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | (14.0) | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (2.5Y7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | 非ロクロ成形 | |
| 240 | 297 | 1213 | 24 | 2区西 | SX445 | 13F-3B22 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.0 | 10.0 | 3.4 | 24 | 71 | 長・白 | C | 灰白 (10YR8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 17/36 | 11/36 | | | | | |
| 240 | 297 | 1214 | 24 | 2区西 | SX445 | 13F-3B22・23 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 14.0 | | | | 長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | 自然釉 | SD359・478接合 | | | |
| 240 | 297 | 1215 | 24 | 2区西 | SX494 | 13F-4B7 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 36.0 | | | | 石・長・白 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | カキメ | | | | 6/36 | | | | | | | |
| 240 | 297 | 1216 | 24 | 2区西 | SX680 | 13F-5C23 | | 古代 | 須恵器 | 壺蓋 | | 6.3 | | | | 石・長 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | | | | | | | | |
| 241 | 297 | 1217 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-5D10 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.0 | 7.7 | 3.3 | 25 | 59 | 石・長 | B | 灰黄 (2.5Y7/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 13/36 | 21/36 | 18/36 | | | | | |
| 241 | 258 | 1218 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-4D8 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | 石・長 | B | 灰 (4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | | | SD483接合 | |
| 241 | 297 | 1219 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-4E16 | | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (22.0) | | | | 長 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 3/36 | | | | | | | |
| 241 | 297 | 1220 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-5E1・6 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (31.6) | | | | 石・長 | C | 灰白 (2.5Y8/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 2/36 | | | | | | | |
| 241 | 297 | 1221 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-5E6 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C I 1 | 12.0 | 4.4 | 3.7 | 31 | 37 | 長・白・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 5/36 | 5/36 | 5/36 | | | | | |
| 241 | 297 | 1222 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-4E22 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 2 | 13.0 | 6.0 | 4.8 | 37 | 46 | 石・長・雲・角 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 3/36 | 36/36 | 15/36 | | | | | |
| 241 | 297 | 1223 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-4E22 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 2 | 13.0 | 6.0 | 3.5 | 27 | 46 | 石・長・白 | | 灰黄 (2.5Y7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 6/36 | 21/36 | 11/36 | | | | | |
| 241 | 297 | 1224 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-4E21 | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | 15.0 | | | | 石・長・雲 | | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | | 6/36 | | | | | | | |
| 241 | 297 | 1225 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-4E21 | | 中世 | 青磁 | 碗 | III -1A | | 4.3 | | | | | | 釉：明緑灰 (10GY6/1) | | | | | | | 12/36 | | | | | 龍泉窯系 胎土：灰白 (10Y8/1) F期 (13世紀中～14世紀初前後) | |
| 241 | 297 | 1226 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-5E6 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 8.0 | 4.0 | 1.9 | 24 | 50 | 長 | | 灰白 (2.5Y8/2) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | | 6/36 | 9/36 | 6/36 | | | | |
| 241 | 297 | 1227 | 24 | 2区西 | SD3 | 13F-4E18・21・23 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 8.0 | | | | 石・長・雲 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ | ロクロナデ | 糸切り | | | 17/36 | | | | | SK40接合 | |
| 241 | 297 | 1228 | 24 | 2区西 | SD54 | 13F-4C1 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 9.3 | 3.4 | 26 | 72 | 石・長 | C | 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 9/36 | 7/36 | | | | | |
| 241 | 297 | 1229 | 24 | 2区西 | SD54 | 13F-3B20 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.8 | 9.0 | 3.8 | 28 | 65 | 石・長 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 9/36 | 6/36 | 自然釉 | | | | |
| 241 | 297 | 1230 | 24 | 2区西 | SD54 | 13F-3B20 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 1 | 10.7 | 5.5 | 4.6 | 43 | 51 | 石・長 | C | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 12/36 | 22/36 | 15/36 | | | | | |
| 241 | 297 | 1231 | 24 | 2区西 | SD54 | 13F-4C1 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 15.0 | | | | 石・長・チ | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 8/36 | | | | | | | |
| 241 | 297 | 1232 | 24 | 2区西 | SD54 | 13F-4C12 | | 中世 | 青磁 | 碗 | II-a | | 5.2 | | | | | | 釉：灰オリーブ (7.5Y5/3) | | | | ヘラ切り | | | 18/36 | | | | | 龍泉窯系 胎土：灰白 (N7/0) E期 (13世紀前後～前半) | |
| 241 | 297 | 1233 | 24 | 2区西 | SD65 | 13F-4E1 | | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | 26.0 | | | | 石・長 | D | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | | | | |
| 241 | 297 | 1234 | 24 | 2区西 | SD65 | 13F-3B20、4E1 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | | | | | 長 | D | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ、タタキメ、カキメ | ロクロナデ、カキメ、カキメ | H | D | | | | | | | | | |
| 241 | 297 | 1235 | 24 | 2区西 | SD143 | 13F-5C19、5D17、6C5、6D2 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | 21.9 | | | | 石・長・角 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、タタキメ | ロクロナデ、タタキメ | H | D | | 7/36 | | | | | | | |
| 241 | 298 | 1236 | 24 | 2区西 | SD143 | 13F-4C18、5C15 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | 9.4 | | | | 長 | C | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 10/36 | | | | | | SD54接合 | |
| 241 | 298 | 1237 | 24 | 2区西 | SD143 | 13F-4C18 | | 中世 | 土師器 | 皿 | | 13.0 | 9.0 | 3.9 | 30 | 69 | 長 | | にぶい橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 33/36 | 20/36 | | | | | |
| 242 | 298 | 1238 | 24 | 2区西 | SD246 | 13F-3D10 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 36.0 | | | | 石・長・角 | | 灰白 (10YR8/1) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | | 4/36 | | | | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | | |
|-------|---------|--------|------|-----|-------|---|----|------|------|-------|---------|--------|-----|------|------|-------------|-----|--------------------|----|------------------------|----|------------------------|---------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-----|---------|---|----------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | | | | | | グリッド | 口径 | 底径 | | | 器高 | 含有物 | | | 産地 | 外面 | 内面 | | 底部 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 胎土 | 産地 |
| 242 | 298 | 1239 | 24 | 2区西 | SD309 | 13F-3D9、4D16 | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 石・長・白 | C | 灰 (5Y5/1) | 還元 | タタキメ | H | ハケメ、 当て具痕 | H、 D、 H | | | | | | | | | 1255と同一か |
| 242 | 298 | 1240 | 24 | 2区西 | SD309 | 13F-3D9・15 | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | AII3 | 17.7 | 7.4 | 6.2 | 35 | 42 | 石・長・白 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、 ミガキ、 ケズリ | | ミガキ | | 糸切り後 ミガキ | | 2/36 | 13/36 | 9/36 | | | SE200接合 | |
| 242 | 298 | 1241 | 24 | 2区西 | SD309 | 13F-3D9 | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 7.0 | | | | 石 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | | 36/36 | | | | | | |
| 242 | 298 | 1242 | 24 | 2区西 | SD309 | 13F-3D9 | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 23.0 | | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、 カキメ | | ロクロナデ、 カキメ | | | 5/36 | | | | | | | |
| 242 | 298 | 1243 | 24 | 2区西 | SD394 | 13F-4B5 | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 8.0 | | | | 石・長・角 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ、 カキメ | | ヘラ切り | | 8/36 | | | | | | |
| 242 | 298 | 1244 | 24 | 2区西 | SD406 | 13F-6C16 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II2 | 12.7 | 8.0 | 3.1 | 24 | 63 | 石・長 | C | 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 2/36 | 10/36 | 5/36 | | | | | |
| 242 | 298 | 1245 | 24 | 2区西 | SD422 | 13F-5C14 | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 10.5 | | | | | 長 | C | 灰 (N4/0) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | | | | |
| 242 | 298 | 1246 | 24 | 2区西 | SD422 | 13F-4C20・21、4D8・ 12・13、5C13、5D9 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | 23.5 | | | | 長・海 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ、 タタキメ、 カキメ | H | ロクロナデ、 当て具痕 | D | | 15/36 | | | | 自然釉 | 自然釉 | | |
| 243 | 298 | 1247 | 24 | 2区西 | SD422 | 13F-5C8 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 2 | 13.1 | 6.0 | 3.8 | 29 | 46 | 長・白 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 5/36 | 13/36 | 7/36 | | | | | |
| 243 | 298 | 1248 | 24 | 2区西 | SD422 | 13F-5C2 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.5 | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | 右 | 34/36 | | | | | 底部外面ヘラ記号「×」 | |
| 243 | 298 | 1249 | 24 | 2区西 | SD422 | 13F-5C13 | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | CII2 | 13.2 | 6.0 | 5.1 | 39 | 45 | 石・長・白 | | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ、 ミガキ | | ミガキ | | 糸切り後 ケズリ | 3/36 | 6/36 | 4/36 | | | | | |
| 243 | 298 | 1250 | 24 | 2区西 | SD422 | 13F-5C13 | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | BII2 | 13.9 | 5.4 | 4.9 | 35 | 39 | 石・長・白 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、 ミガキ | | ミガキ | | ヘラ切り | 4/36 | 13/36 | 6/36 | | | | | |
| 243 | 298 | 1251 | 24 | 2区西 | SD422 | 13F-5C14 | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | AII3 | 18.4 | 6.0 | 6.7 | 36 | 33 | 長・雲・海 | | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ、 ケズリ? | | ミガキ | | | 8/36 | 36/36 | 24/36 | | | | 摩耗著しい | |
| 243 | 298 | 1252 | 24 | 2区西 | SD422 | 13F-5C14 | 古代 | 土師器 | 小甕 | B | | 5.2 | | | | 石・長・雲 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | 右 | 36/36 | | | | | | |
| 243 | 299 | 1253 | 24 | 2区西 | SD422 | 13F-5C13・15 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (40.0) | | | | 石・長 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、 タタキメ | H | ロクロナデ、 当て具痕 | D | | 3/36 | | | | | | | |
| 243 | 299 | 1254 | 24 | 2区西 | SD422 | 13F-5C14 | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 46.0 | | | | | 石・長 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ、 カキメ | | | 4/36 | | | スス | スス | | | |
| 243 | 299 | 1255 | 24 | 2区西 | SD438 | 13F-5F1 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 11.5 | 8.1 | 2.7 | 23 | 70 | 長 | C | 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 6/36 | 17/36 | 11/36 | | | | | |
| 243 | 299 | 1256 | 24 | 2区西 | SD450 | 13F-3D9、4C5、4D16 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | 23.0 | | | | 石・長・白 | C | 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ、 タタキメ | H | ロクロナデ、 ハケメ、 当て具痕 | D、 H | | 6/36 | | | | | | 1238と同一か SD309、Pit542接合 | |
| 243 | 299 | 1257 | 24 | 2区西 | SD450 | 13F-4C5・10 | IV | 古代 | 土師器 | 台付鉢 | | 18.2 | | | | 石・長・雲・ 角 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | | | |
| 244 | 299 | 1258 | 24 | 2区西 | SD454 | 13F-5D1・7 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 14.0 | | | | 長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、 ミガキ | | ロクロナデ、 ミガキ | | | 10/36 | | | | | | | |
| 244 | 299 | 1259 | 24 | 2区西 | SD454 | 13F-5D2 | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | C I 1 | 12.0 | 4.3 | 4.0 | 33 | 36 | 石 | | 黒褐 (10YR3/1) | 酸化 | ロクロナデ、 ミガキ | | ミガキ | | 糸切り後 ミガキ | 13/36 | 36/36 | 20/36 | | | | 内外面黒色処理 | |
| 244 | 299 | 1260 | 24 | 2区西 | SD454 | 13F-5D1 | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | C I 3 | 14.0 | 6.0 | 4.5 | 32 | 43 | 石・長・雲 | | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、 ミガキ | | ミガキ | | 糸切り後 ミガキ | 16/36 | 36/36 | 22/36 | | | | | |
| 244 | 299 | 1261 | 24 | 2区西 | SD454 | 13F-5D2 | I | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | 16.0 | | | | 石・長・雲 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、 ミガキ | | ミガキ | | | 7/36 | | | | | | | |
| 244 | 299 | 1262 | 24 | 2区西 | SD483 | 13F-3B22、4A9・10、 4B3、4D8、5C5 | IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | 10.8 | | | | 長・白 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 6/36 | | | 自然釉 | | SD478接合 | | |
| 244 | 299 | 1263 | 24 | 2区西 | SD483 | 13F-4D8 | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | 12.3 | 4.5 | 3.6 | 29 | 37 | 石・長・雲 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 糸切り | 右 | 7/36 | 36/36 | 15/36 | | | | |
| 244 | 299 | 1264 | 24 | 2区西 | SD483 | 13F-4D8 | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 17.0 | | | | | 石・長・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 9/36 | | | | | | | |
| 244 | 299 | 1265 | 24 | 2区西 | SD519 | 13F-5B2 | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (42.0) | | | | | 石・長・白 | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | | |
| 244 | 299 | 1266 | 24 | 2区西 | SD564 | 13F-4D16 | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II2 | 13.8 | 5.4 | 3.4 | 25 | 39 | 石・長 | B | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | ヘラ切り | 8/36 | 5/36 | 7/36 | | | | | |
| 244 | 299 | 1267 | 24 | 2区西 | SD564 | 13F-4C15・25、4D21 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | 長 | B | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | | | | | 自然釉 | | Pit551・571接合 | |
| 244 | 299 | 1268 | 24 | 2区西 | SD564 | 13F-4C14、4D16 | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 長・白 | C | 灰 (5Y7/1) | 還元 | タタキメ | H | 当て具痕 | H | | | | | | | | SD450接合 | |
| 244 | 258 | 1269 | 24 | 2区西 | SD564 | 13F-4B11・20、4C2・ 14・15・18・19・25、 4D1・8・12・16、 4E1・11、5C8 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | | | | | 長 | C | 灰 (N4/4) | 還元 | ロクロナデ、 カキメ、 タタキメ | H | ロクロナデ、 当て具痕 | D | | | | | | | | SE86・499、SK279、 SD54・65・420・ 422・483、Pit550・ 551接合 | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 |
|-------|---------|--------|------|-----|--------|-----------------------------|----|----|------|------|-------------|---------|------|------|------|------|---------|------------------|--------------------|---------------|-------------|---------|------|-------|-------|-------|------|-----|------------------|----------------------------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 244 | 300 | 1270 | 24 | 2区西 | SD564 | 13F-4D21 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A 1 2 | 12.2 | 5.3 | 4.0 | 33 | 43 | 長・白 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 12/36 | 36/36 | 25/36 | | | | |
| 245 | 300 | 1271 | 24 | 2区西 | SD564 | 13F-4D22 | | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | 12.0 | 6.5 | 2.9 | 24 | 54 | 石・長・雲 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 19/36 | 31/36 | 23/36 | | | | |
| 245 | 300 | 1272 | 24 | 2区西 | SD564 | 13F-4D16・22 | | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | 12.4 | 6.6 | 3.0 | 24 | 53 | 石・長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 10/36 | 2/36 | 14/36 | | | | |
| 245 | 300 | 1273 | 24 | 2区西 | SD564 | 13F-4D21 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 19.0 | | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 10/36 | | | | | | |
| 245 | 300 | 1274 | 24 | 2区西 | SD603 | 13F-5D14 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc (44.0) | | | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、カキメ | | | 2/36 | | | | | | |
| 245 | 300 | 1275 | 24 | 2区西 | SD2257 | 13F-5D10 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 10.2 | 3.9 | 30 | 78 | 長・海 | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 9/36 | 13/36 | 9/36 | | | | |
| 245 | 300 | 1276 | 24 | 2区西 | Pit44 | 13F-5E8・9 | | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | C 1 3 | 14.8 | 5.8 | 4.8 | 32 | 39 | 石・長・白 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | ヘラ切り | | 8/36 | 3/36 | 6/36 | | | |
| 245 | 300 | 1277 | 24 | 2区西 | Pit128 | 13F-4E13 | | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.0 | | 2.3 | | | 石・長 | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | 自然軸 | | |
| 245 | 300 | 1278 | 24 | 2区西 | Pit128 | 13F-4E13 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | (14.0) | | | | | 長 | 黄灰 (2.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 245 | 300 | 1279 | 24 | 2区西 | Pit137 | 13F-4E7 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | | 長 | 灰オリーブ (5Y5/2) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | 自然軸 | 小型品 1280と同一か | |
| 245 | 300 | 1280 | 24 | 2区西 | Pit144 | 13F-4E3 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | 4.5 | | | | 長 | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | 自然軸 | 自然軸 小型品 1279と同一か | |
| 245 | 300 | 1281 | 24 | 2区西 | Pit145 | 13F-3D3、4E3 | | IV | 中世 | 青磁 | 椀 | II-b | 16.2 | | | | | | 軸：オリーブ灰 (2.5GY6/3) | | | | | 4/36 | | | | | | 龍泉窯系 胎土：灰 (5Y5/1) E期 (13世紀前後～前半) |
| 245 | 300 | 1282 | 24 | 2区西 | Pit210 | 13F-3E16 | | | 中世 | 白磁 | 皿 | IX -1d | | 6.2 | | | | | 軸：灰 (7.5Y6/1) | | | | | | | | | | | 胎土：灰白 (5Y7/1) F期 (13世紀中～14世紀初前後) |
| 245 | 300 | 1283 | 24 | 2区西 | Pit221 | 13F-3E11 | | | 中世 | 白磁 | 椀 | IX | 11.6 | | | | | | 軸：灰白 (2.5GY8/1) | | | | | 4/36 | | | | | | 胎土：灰白 (5Y7/1) F期 (13世紀中～14世紀初前後) |
| 245 | 300 | 1284 | 24 | 2区西 | Pit241 | 13F-3E23 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 6.3 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ、ミガキ | 糸切り後ケズリ | | | 29/36 | | | | | 内面一部黒色処理か |
| 245 | 300 | 1285 | 24 | 2区西 | Pit282 | 13F-4E6 | | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | | | | | | 長・白 | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ナデ | ナデ | | | | | | | | | 取手 |
| 245 | 300 | 1286 | 24 | 2区西 | Pit314 | 13F-3D9 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A 1 3 | 14.0 | 5.0 | 4.5 | 32 | 36 | 長・チ | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、一部ミガキ | | | 9/36 | 10/36 | 11/36 | | | | |
| 245 | 300 | 1287 | 24 | 2区西 | Pit316 | 13F-4E11 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 18.0 | | | | | 石 | 橙 (2.5YR6/8) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | | 赤彩 |
| 245 | 300 | 1288 | 24 | 2区西 | Pit361 | 13F-5E10 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 10.0 | | | | 長 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ハケメ | ナデ | ハケメ | | | 2/36 | | | | | |
| 245 | 300 | 1289 | 24 | 2区西 | Pit386 | 13F-4D25 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B 1 2 | 13.0 | 6.5 | 3.4 | 26 | 50 | 石・長・雲・角 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 18/36 | 36/36 | 23/36 | | | | |
| 245 | 300 | 1290 | 24 | 2区西 | Pit465 | 13F-4B16 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 (11.4) | 7.0 | 3.4 | (30) | (61) | | 長・海 | 青灰 (10BG5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 8/36 | 3/36 | | | | |
| 245 | 300 | 1291 | 24 | 2区西 | Pit518 | 13F-5B3 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.7 | 9.0 | 3.0 | 24 | 71 | 石・長 | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 6/36 | 8/36 | | | | |
| 245 | 300 | 1292 | 24 | 2区西 | Pit551 | 13F-4C25 | | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | | 6.1 | | | | 石・長・海 | にぶい黄橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | | 36/36 | | | | | |
| 245 | 258 | 1293 | 24 | 2区西 | Pit557 | 13F-4D21 | | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | 7.0 | | | | 石・長 | 灰 (7.5Y5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り後ナデ | | | 36/36 | | | | | |
| 245 | 300 | 1294 | 24 | 2区西 | Pit569 | 13F-4B3・14、4C10、4D6・13、5E16 | | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | 27.0 | | | | | 石・長 | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 9/36 | | | | | SD420、Pit540接合土師器長甕が還元炎焼成したものと |
| 246 | 300 | 1295 | 24 | 2区西 | Pit570 | 13F-5D2 | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | 14.0 | | | | | 長 | にぶい黄橙 (10YR7/2) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ、ケズリ | ミガキ | | | 6/36 | | | | | | |
| 246 | 300 | 1296 | 24 | 2区西 | Pit577 | 13F-7C2 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 11.5 | 7.0 | 2.8 | 24 | 61 | 長 | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 31/36 | 36/36 | 34/36 | | | | |
| 246 | 300 | 1297 | 24 | 2区西 | Pit581 | 13F-7C3 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 12.0 | | | | | 石・長・角 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 5/36 | | | | | | ス |
| 246 | 300 | 1298 | 24 | 2区西 | Pit643 | 13F-6D1 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc (40.0) | | | | | | 石 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ヘラナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 246 | 300 | 1299 | 24 | 2区西 | Pit648 | 13F-5C9 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 21.2 | | | | | 長・チ・白・角 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | | |
| 246 | 300 | 1300 | 24 | 2区西 | Pit664 | 13F-7C3 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | A | | 6.0 | | | | 石・長・角 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | | 7/36 | | | | | 東北系か |
| 246 | 300 | 1301 | 24 | 2区西 | Pit687 | 13F-5D12 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A 1 2 | 12.0 | 5.4 | 4.1 | 34 | 45 | 長・雲 | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 10/36 | 20/36 | 12/36 | | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|-----|--------|-----------------|----|----|------|-----|--------|---------|--------|------|------|------|---------|-----------------|-------------------|---------------|-----------|---------|----------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|----|-------------|-------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 246 | 300 | 1302 | 24 | 2区西 | Pit727 | 13F-4E3 | | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (36.0) | | | | | 石・長・角 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | | | |
| 246 | 300 | 1303 | 24 | 2区西 | Pit731 | 13F-5D2 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A 1 2 | 12.6 | 5.0 | 4.3 | 34 | 40 | 長・白 | にぶい黄楢 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 7/36 | 12/36 | 12/36 | | | | | | |
| 246 | 301 | 1304 | 24 | 2区西 | Pit738 | 13F-4E3 | | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | CIII 3 | 15.0 | 6.0 | 6.7 | 45 | 40 | 石・長 | 浅黄楢 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ、ケズリ | ロクロナデ、ミガキ | 糸切り後ケズリ | | 11/36 | 25/36 | 13/36 | | | | | SK718接合 | |
| 246 | 301 | 1305 | 24 | 2区西 | Pit740 | 13F-4D5 | | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C 1 2 | 12.6 | 4.6 | 4.2 | 33 | 37 | 石・長・白 | にぶい黄楢 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 5/36 | 16/36 | 8/36 | | | | | | |
| 246 | 301 | 1306 | 24 | 2区西 | | 13F-3B18 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 11.0 | 7.0 | 3.6 | 33 | 64 | 石・長 | A 明青灰 (5B7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 18/36 | 12/36 | | | | | |
| 246 | 301 | 1307 | 24 | 2区西 | | 13F-6B13 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 11.4 | 6.0 | 3.0 | 26 | 53 | 石・長 | B 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 1/36 | 15/36 | 9/36 | | | | | |
| 246 | 301 | 1308 | 24 | 2区西 | | 13F-4B11 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 11.4 | 7.2 | 3.5 | 31 | 63 | 石・長 | C 青灰 (10BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 20/36 | 36/36 | 27/36 | | | | | 使用痕明瞭 |
| 246 | 301 | 1309 | 24 | 2区西 | | 13F-5D7 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 11.8 | 6.4 | 2.6 | 22 | 54 | 石・長 | B 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 16/36 | 9/36 | | | | | 使用痕明瞭 |
| 246 | 301 | 1310 | 24 | 2区西 | | 13F-6C24 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 11.8 | 7.8 | 3.7 | 31 | 66 | 石・長 | C 浅黄楢 (7.5YR8/4) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 1/36 | 18/36 | 18/36 | | | | | |
| 246 | 301 | 1311 | 24 | 2区西 | | 13F-5E3 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 1 | 11.8 | 7.4 | 3.0 | 25 | 68 | 石・長 | C 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 12/36 | 7/36 | | | | | |
| 246 | 301 | 1312 | 24 | 2区西 | | 13F-4E3 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 12.0 | 7.0 | 2.9 | 24 | 58 | 石・長・海 | B 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 9/36 | 7/36 | | | | | |
| 246 | 301 | 1313 | 24 | 2区西 | | 13F-4B7 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 12.0 | 6.4 | 3.5 | 29 | 53 | 石・長 | C 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 23/36 | 36/36 | 27/36 | | | | | 底部外面ヘラ記号「×」 |
| 246 | 301 | 1314 | 24 | 2区西 | | 13F-7C2 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 1 | 12.0 | 7.2 | 2.8 | 23 | 60 | 石・長 | B 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 7/36 | 15/36 | 14/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1315 | 24 | 2区西 | | 13F-4B1・6 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.1 | 7.2 | 3.3 | 27 | 60 | 石・長・雲・海 | C 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 23/36 | 36/36 | 30/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1316 | 24 | 2区西 | | 13F-5D1 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.2 | 7.0 | 2.9 | 24 | 57 | 石・長 | B 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 11/36 | 10/36 | 10/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1317 | 24 | 2区西 | | 13F-7C3 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.4 | 7.0 | 3.4 | 27 | 56 | 石・長 | A にぶい黄楢 (10YR7/3) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 5/36 | 36/36 | 20/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1318 | 24 | 2区西 | | 13F-5E9 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.4 | 8.0 | 3.0 | 24 | 65 | 石・長 | A 青灰 (5PB6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 11/36 | 10/36 | | | | | 使用痕明瞭 |
| 247 | 301 | 1319 | 24 | 2区西 | | 13F-4A10、4B2 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 12.7 | 7.0 | 3.9 | 31 | 55 | 石・長・海 | C 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 32/36 | 36/36 | 35/36 | | | | | 使用痕明瞭 |
| 247 | 301 | 1320 | 24 | 2区西 | | 13F-4B1 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 12.9 | 8.6 | 3.6 | 28 | 67 | 石・長・海 | C 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 12/36 | 15/36 | 22/36 | | | | | 使用痕明瞭 |
| 247 | 301 | 1321 | 24 | 2区西 | | 13F-3B21 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.0 | 7.4 | 3.6 | 28 | 57 | 石・長 | C 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 6/36 | 36/36 | 23/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1322 | 24 | 2区西 | | 13F-5C9 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 9.6 | 3.4 | 26 | 74 | 石・長 | C 青灰 (10BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 9/36 | 14/36 | 13/36 | | | | | 使用痕明瞭 |
| 247 | 301 | 1323 | 24 | 2区西 | | 13F-3C6 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 8.4 | 3.1 | 24 | 65 | 石・長 | A 青灰 (5B5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 7/36 | 4/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1324 | 24 | 2区西 | | 13F-4B7 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.2 | 9.4 | 3.3 | 25 | 71 | 長 | C 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 10/36 | 36/36 | 31/36 | | | | | 使用痕明瞭 |
| 247 | 301 | 1325 | 24 | 2区西 | | 13F-5E11 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.4 | 10.0 | 3.0 | 22 | 75 | 石・長・雲 | D 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 13/36 | 12/36 | 12/36 | | | | | 摩擦著しい |
| 247 | 301 | 1326 | 24 | 2区西 | | 13F-4B6 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.6 | 8.4 | 3.6 | 26 | 62 | 石・長 | C 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 23/36 | 36/36 | 33/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1327 | 24 | 2区西 | | 13F-5C7 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.6 | 8.6 | 3.7 | 27 | 63 | 石・長 | C 青灰 (5B6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 9/36 | 15/36 | 12/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1328 | 24 | 2区西 | | 13F-4B23 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.8 | 8.8 | 3.7 | 27 | 64 | 長・海 | C 灰白 (10YR7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 6/36 | 9/36 | 5/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1329 | 24 | 2区西 | | 13F-4E1 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.0 | 10.2 | 3.4 | 24 | 73 | 石・長 | C 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 6/36 | 18/36 | 13/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1330 | 24 | 2区西 | | 13F-4E3 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.0 | 9.6 | 3.7 | 26 | 69 | 石・長 | C 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 19/36 | 18/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1331 | 24 | 2区西 | | 13F-4E24 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.4 | 10.6 | 3.4 | 24 | 74 | 石・長 | C 青灰 (10BG6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 7/36 | 4/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1332 | 24 | 2区西 | | 13F-4E1 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 3 | 14.6 | 9.0 | 3.5 | 24 | 62 | 石・長 | C 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 27/36 | 36/36 | 33/36 | | | | | |
| 247 | 301 | 1333 | 24 | 2区西 | | 13F-6C20 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 6.4 | 3.4 | | | 石・長 | C 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 15/36 | | | | | | | 底部内面ヘラ記号 |
| 247 | 301 | 1334 | 24 | 2区西 | | 13F-5E21 | | IV | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | | | | 石・長・雲・海 | C 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | | | | | | | 底部外面ヘラ記号「×」 | |
| 247 | 302 | 1335 | 24 | 2区西 | | 13F-5E3 | | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 9.6 | | | | | 長 | C 暗灰 (N3/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | | | | |
| 247 | 302 | 1336 | 24 | 2区西 | | 13F-4B4・21、4C2 | | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | (10.1) | | | | | 石・長・雲 | C 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | | | 外面縦方向の線刻 | |
| 247 | 302 | 1337 | 24 | 2区西 | | 13F-3C19 | | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 11.2 | 5.5 | 3.4 | 30 | 58 | 石・長 | C 緑灰 (7.5GY5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 14/36 | 18/36 | 17/36 | | | | | |
| 248 | 302 | 1338 | 24 | 2区西 | | 13F-5B17・23 | | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 11.9 | 8.2 | 3.5 | 29 | 69 | 石・長 | A 暗緑灰 (10GY4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り後ケズリ | | 7/36 | 16/36 | 15/36 | 自然釉 | | | | |
| 248 | 302 | 1339 | 24 | 2区西 | | 13F-7C3 | | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 11.9 | 6.6 | 3.8 | 32 | 67 | 石・長・雲 | C 明オリブ灰 (5GY7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 2/36 | 22/36 | 14/36 | | | | | |
| 248 | 302 | 1340 | 24 | 2区西 | | 13F-3B20・24、4B1 | | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 1 | 12.0 | 6.2 | 4.1 | 34 | 61 | 石・長 | C 明青灰 (10BG7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 16/36 | 27/36 | 23/36 | | | | | 自然釉 |
| 248 | 302 | 1341 | 24 | 2区西 | | 13F-4C10 | | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 12.2 | | | | | 石・長 | A 暗青灰 (5PB4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 33/36 | 33/36 | 31/36 | | | | | 使用痕著しい |
| 248 | 302 | 1342 | 24 | 2区西 | | 13F-5D4 | | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | (13.6) | 8.2 | 3.7 | (27) | (60) | 石・長 | C 暗緑灰 (7.5GY4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 1/36 | 5/36 | 3/36 | | | | | 使用痕明瞭 |
| 248 | 302 | 1343 | 24 | 2区西 | | 13F-5C2・18 | | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | II 2 | (13.6) | 6.1 | 7.7 | (57) | (53) | 石・長 | C 青灰 (10BG5/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | 4/36 | 4/36 | 自然釉 | 自然釉 | | | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|-----|-----|-------------------|----|----|------|-----|--------|---------|------|-----|------|------|---------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|------|------|-------|-------|-------|-----|--------------------|----------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 248 | 302 | 1345 | 24 | 2区西 | | 13F-4B3・5、4C14 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 14.2 | 7.4 | 4.5 | 32 | 62 | 石・長・海 | C | 緑灰 (10GY6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 15/36 | 8/36 | | | |
| 248 | 302 | 1346 | 24 | 2区西 | | 13F-4F21 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 14.4 | 10.6 | 4.2 | 29 | 74 | 石・長 | A | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 10/36 | 11/36 | 13/36 | | | |
| 248 | 302 | 1347 | 24 | 2区西 | | 13F-4E11 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 8.8 | | | | 石・長・雲 | C | 灰白 (2.5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 11/36 | | | | |
| 248 | 302 | 1348 | 24 | 2区西 | | 13F-4B22 | IV | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | | 8.6 | | | | 石・長 | A | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | | 11/36 | | | | |
| 248 | 302 | 1349 | 24 | 2区西 | | 13F-5E16 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 14.0 | | 2.1 | 15 | | 石・長・角 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 8/36 | | 20/36 | | | |
| 248 | 302 | 1350 | 24 | 2区西 | | 13F-4D24 | IV | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | 石・長 | A | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | | | | | | |
| 248 | 302 | 1351 | 24 | 2区西 | | 13F-4B9 | | 古代 | 須恵器 | 広口壺 | | 12.8 | | | | 長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 7/36 | | 1/36 | | | | |
| 248 | 302 | 1352 | 24 | 2区西 | | 13F-5E16 | IV | 古代 | 須恵器 | 短頸壺 | | (9.8) | | | | 石・長 | C | 褐灰 (10YR6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | 自然釉 | | |
| 248 | 302 | 1353 | 24 | 2区西 | | 13F-4C21 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | (11.2) | | | | 石・長 | A | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 248 | 302 | 1354 | 24 | 2区西 | | 13F-5B23 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | 12.4 | | | 長 | B | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 10/36 | | | | | |
| 248 | 302 | 1355 | 24 | 2区西 | | 13F-3D2、表採 | IV | 古代 | 須恵器 | 長頸瓶 | | | | | | 石・長 | D | 褐灰 (10YR4/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | 13/36 | | | | 小型品 | |
| 248 | 302 | 1356 | 24 | 2区西 | | 13F-4B10 | IV | 古代 | 須恵器 | 獸脚 | | | | | | 長 | C | 灰白 (N5/0) | 還元 | ヘラケズリ | ヘラケズリ | | | | | | | | | |
| 248 | 302 | 1357 | 24 | 2区西 | | 13F-4C5 | IV | 古代 | 須恵器 | 鉢 | | (9.0) | | | | 石・長 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ、ヘラケズリ、カキメ | ロクロナデ、ハケメ、ヘラケズリ | ハケメ、ナデ | | | 2/36 | | | | | |
| 248 | 302 | 1358 | 24 | 2区西 | | 13F-4D6 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (24.6) | | | | 長 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、タタキメ、カキメ | ロクロナデ、当て具痕、カキメ | D | | 4/36 | | | | | | |
| 249 | 302 | 1359 | 24 | 2区西 | | 13F-4E16 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (28.9) | | | | 長 | B | 黄灰 (2.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | |
| 249 | 302 | 1360 | 24 | 2区西 | | 13F-4A15、4B9、5D10 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (30.6) | | | | 石・長 | A | 灰 (5Y4/1) | 還元 | ロクロナデ、タタキメ、カキメ | ロクロナデ、当て具痕 | H | | 2/36 | | | | | | |
| 249 | 302 | 1361 | 24 | 2区西 | | 13F-6D4 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | 10.2 | | | | 石・長 | A | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ、タタキメ | ロクロナデ、当て具痕 | D | | 7/36 | | | | | | |
| 249 | 302 | 1362 | 24 | 2区西 | | 13F-6C16 | IV | 古代 | 須恵器 | 横瓶 | | (13.6) | | | | 長 | C | 黄灰 (2.5Y4/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | | |
| 249 | 302 | 1363 | 24 | 2区西 | | 13F-5E12 | IV | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | 長 | C | 灰 (5Y5/1) | 還元 | タタキメ、カキメ | H 当て具痕 | D | | | | | | | 体部破片溶着 焼台へ転用か | |
| 249 | 302 | 1364 | 24 | 2区西 | | 13F-5E8 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A I 1 | 11.0 | 4.6 | 3.6 | 33 | 42 | 石・長 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 4/36 | 36/36 | 20/36 | | | |
| 249 | 302 | 1365 | 24 | 2区西 | | 13F-5D2 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 2 | 12.1 | 3.6 | 4.5 | 37 | 30 | 石・長・雲・海 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 5/36 | 36/36 | 17/36 | | | 底部内面ヘラ記号 |
| 249 | 302 | 1366 | 24 | 2区西 | | 13F-5E1、5F1 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | 12.2 | 6.2 | 3.6 | 30 | 51 | 石・長 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 8/36 | 17/36 | 12/36 | | | |
| 249 | 302 | 1367 | 24 | 2区西 | | 13F-3B22 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C I 2 | 12.3 | 5.2 | 3.9 | 32 | 42 | 石・長・雲・角 | | 橙 (5YR6/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | 3/36 | 17/36 | 9/36 | | | |
| 249 | 303 | 1368 | 24 | 2区西 | | 13F-5E4 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B II 2 | 12.3 | 4.3 | 4.5 | 36 | 37 | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 35/36 | 36/36 | 35/36 | | | |
| 249 | 303 | 1369 | 24 | 2区西 | | 13F-5D12・13 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | C I 2 | 12.6 | 6.4 | 3.3 | 26 | 51 | 石・長・雲・角 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 7/36 | 36/36 | 23/36 | | | |
| 249 | 303 | 1370 | 24 | 2区西 | | 13F-5E4 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | B I 2 | 12.6 | 5.2 | 4.0 | 32 | 41 | 石・長・海・角 | | にぶい橙 (7.5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 6/36 | 36/36 | 17/36 | | | |
| 249 | 303 | 1371 | 24 | 2区西 | | 13F-5E12 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | A II 2 | 13.6 | 5.1 | 4.8 | 35 | 38 | 石・長 | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | 8/36 | 36/36 | 25/36 | | | |
| 249 | 303 | 1372 | 24 | 2区西 | | 13F-4E21 | IV | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | | 5.6 | | | | 石・長・海 | | にぶい黄橙 (10YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 右 | | 20/36 | | | | |
| 249 | 303 | 1373 | 24 | 2区西 | | 13F-3D14 | IV | 古代 | 土師器 | 有台皿 | | 11.5 | | | | | 石・長・雲 | | 浅黄橙 (7.5YR8/6) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ロクロナデ、ミガキ | ヘラ切り | 右 | 3/36 | 21/36 | | | | |
| 249 | 303 | 1374 | 24 | 2区西 | | 13F-5E21 | IV | 古代 | 土師器 | 有台碗 | | (9.8) | | | | | 石・長・雲 | | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | 須恵器折縁杯模倣か | |
| 249 | 303 | 1375 | 24 | 2区西 | | 13F-6B25 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | (14.4) | | | | | 石・長 | | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 5/36 | | | | | |
| 250 | 303 | 1376 | 24 | 2区西 | | 13F-4D14 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | 16.0 | | | | | 石・長 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | | | 6/36 | | | | 使用痕明瞭 | |
| 250 | 303 | 1377 | 24 | 2区西 | | 13F-3E21 | IV | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | | (16.6) | | | | | 石・長・雲・海 | | 暗灰 (N3/0) | 酸化 | ミガキ | ミガキ | | | 5/36 | | | | 内外面黒色処理 | |
| 250 | 303 | 1378 | 24 | 2区西 | | 13F-5D12 | IV | 古代 | 黒色土器 | 有台碗 | | | 5.8 | | | | 石・長・角 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | ケズリ? | | | 23/36 | | | 施釉陶器模倣 | |
| 250 | 303 | 1379 | 24 | 2区西 | | 13F-5D8 | IV | 古代 | 黒色土器 | 有台碗 | | | 6.6 | | | | 石・長・雲・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | ケズリ | | | 14/36 | | | 施釉陶器模倣 焼成後底部穿孔か | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | |
|-------|---------|--------|------|-----|-----|---------------|----|----|------|------|------|---------|------|------|------|-------|---------------|-----------------|-------|-----------------|---------------|------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|---|------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 器高 |
| 250 | 303 | 1380 | 24 | 2区西 | | 13F-4D14 | IV | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | 11.6 | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | ヘラ切り? | | 11/36 | | | | | | | 施釉陶器模倣 | |
| 250 | 303 | 1381 | 24 | 2区西 | | 13F-5C15 | IV | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | 12.2 | 8.0 | 2.5 | 20 | 66 | 石・長・雲 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、ミガキ | ミガキ | ケズリ | | 6/36 | 5/36 | | | | | 施釉陶器模倣 使用痕明瞭 | |
| 250 | 303 | 1382 | 24 | 2区西 | | 13F-4C21 | IV | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | 12.8 | 6.4 | 2.7 | 21 | 50 | 長・雲 | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ、ミガキ | ミガキ | | | 2/36 | 10/36 | | | | | 施釉陶器模倣 | |
| 250 | 303 | 1383 | 24 | 2区西 | | 13F-4D24 | IV | 古代 | 黒色土器 | 有台皿 | | | 6.6 | | | | 石・長・雲・角 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ミガキ | | | | 12/36 | | | | | 使用痕明瞭 | |
| 250 | 303 | 1384 | 24 | 2区西 | | 13F-4C21 | IV | 古代 | 土師器 | 台付鉢 | | | 16.4 | | | | 石・長・雲・角 | にぶい橙 (7.5YR6/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | | | |
| 250 | 303 | 1385 | 24 | 2区西 | | 13F-5E1 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (8.2) | | | | | 石・長・雲 | 明黄褐 (10YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | | |
| 250 | 303 | 1386 | 24 | 2区西 | | 13F-4A10 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | (14.8) | | | | | 石・長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ヘラケズリ | ロクロナデ、カキメ | | | 4/36 | | | | | | 炭化物 | |
| 250 | 303 | 1387 | 24 | 2区西 | | 13F-4F21 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | 15.2 | | | | | 石・長・雲・角 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 8/36 | | | | | | | |
| 250 | 303 | 1388 | 24 | 2区西 | | 13F-4B6 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bb | 16.6 | | | | | 石・長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 7/36 | | | | | | 炭化物 | |
| 250 | 303 | 1389 | 24 | 2区西 | | 13F-3D22 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | (18.5) | | | | | 石・長・角 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | | | |
| 250 | 303 | 1390 | 24 | 2区西 | | 13F-4E17 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (20.7) | | | | | 長・角 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、ハケメ | | | 6/36 | | | スス | スス | | | |
| 250 | 303 | 1391 | 24 | 2区西 | | 13F-4D25 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (36.4) | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ、ハケメ | | | 3/36 | | | | | | | |
| 250 | 303 | 1392 | 24 | 2区西 | | 13F-4E22 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (37.4) | | | | | 石・長・雲・角 | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | 脚付か | |
| 250 | 303 | 1393 | 24 | 2区西 | | 13F-4E2 | IV | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | (39.4) | | | | | 石・チ・角 | 灰黄褐 (10YR6/2) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ、ハケメ | ロクロナデ、カキメ | | | 3/36 | | | スス | | | | |
| 251 | 303 | 1394 | 24 | 2区西 | | 13F-4E1 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ab | (11.7) | | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR6/3) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | ナデ、ハケメ | | | 3/36 | | | | | | | |
| 251 | 303 | 1395 | 24 | 2区西 | | 13F-4E11 | IV | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ab | 13.9 | | 11.5 | 83 | 0 | 石・長 | 橙 (7.5YR7/6) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | ナデ、ハケメ | | | 7/36 | | 8/36 | | | | | |
| 251 | 303 | 1396 | 24 | 2区西 | | 13F-4E1 | IV | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ab | (19.6) | | | | | 石・長・雲・角 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | ナデ、ハケメ | | | 4/36 | | | | | | 全体に磨耗 | |
| 251 | 303 | 1397 | 24 | 2区西 | | 13F-4B22 | IV | 古代 | 土師器 | 取手 | | | | | | 石・長・角 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | | | | | | | 甕の取手か | | |
| 251 | 303 | 1398 | 24 | 2区西 | | 13F-7C3 | IV | 古代 | 土師器 | 小型土器 | | 7.0 | 5.0 | 4.2 | | | 石・長・角 | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ユビナデ | ユビナデ | | | 3/36 | 36/36 | 25/36 | | | | | |
| 251 | 303 | 1399 | 24 | 2区西 | | 13F-4E21、5E6 | IV | 中世 | 白磁 | 椀 | IX | 12.1 | | | | | | 釉：灰白 (7.5Y7/1) | | | | | | 5/36 | | | | | | 胎土：灰白 (7.5Y7/1) F期 (13世紀中～14世紀初前後) | |
| 251 | 303 | 1400 | 24 | 2区西 | | 13F-4B22 | IV | 中世 | 青磁 | 椀 | II-b | 13.4 | | | | | | 釉：緑灰 (5G5/1) | | | | | | 5/36 | | | | | | 龍泉窯系 胎土：明オリープ灰 (5GY7/1) E期 (13世紀前後～前半) | |
| 251 | 303 | 1401 | 24 | 2区西 | | 13F-4B12 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 7.5 | | | | 石・長 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 18/36 | | | | | | |
| 251 | 303 | 1402 | 24 | 2区西 | | 13F-4B5 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | | 5.0 | | | | 石・長・海 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | | | 12/36 | | | | | | |
| 251 | 303 | 1403 | 24 | 2区西 | | 13F-3B19 | IV | 中世 | 土師器 | 皿 | | 9.1 | 8.0 | 1.4 | 15 | 88 | 長 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ナデ | ナデ | | | 7/36 | 6/36 | 6/36 | | | | | |
| 251 | 303 | 1404 | 24 | 2区西 | | 13F-3D19 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 甕 | | | | | | | 長・チ | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 1/36 | | | 自然釉 | 自然釉 | 珠洲II期 | | |
| 251 | 303 | 1405 | 24 | 2区西 | | 13F-4B12、5B10 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 壺I種 | | | | | | | 石・長 | 灰 (N5/0) | 還元 | タタキメ | 当て具痕 | | | | | | | | | | |
| 251 | 303 | 1406 | 24 | 2区西 | | 13F-5C12・15 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (30.0) | | | | | 長・雲・チ | にぶい橙 (7.5YR6/4) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | | 珠洲III期 | |
| 251 | 303 | 1407 | 24 | 2区西 | | 13F-4D11 | IV | 中世 | 珠洲焼 | 片口鉢 | | (28.0) | | | | | 長・チ | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | | | 珠洲II期 | |
| 252 | 304 | 1408 | 24 | 4 | SD3 | 14F-9F6 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | 12 | 13.4 | 9.0 | 4.0 | 29 | 67 | 長・白 | C 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 22/36 | 36/36 | 27/36 | スス | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1409 | 24 | 4 | SD3 | 14F-9F6 | | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | | 9.0 | | | | 長・白 | 灰 (10Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | 15/36 | | | | | | 4区-3 |
| 252 | 304 | 1410 | 24 | 4 | SD3 | 14F-9F6 | | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | | 12.4 | | | | | 長・白 | C 暗灰 (N3/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | 自然釉 | | 4区-3 | |

| 図版No. | 写真図版No. | 報告書No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高指数 | 底径指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 | | |
|-------|---------|--------|------|---|-----|-------------------|-----|----|------|-----|-------|---------|------|-----|------|------|-------|----|-----------------|----|---------------|---------------|---------|------|-------|-------|-------|-----|-------------------|---------------|------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | 回転方向 | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 遺構名 |
| 252 | 304 | 1411 | 24 | 4 | SD3 | 14F-9E5、9F6 | IVb | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | 13.2 | 7.6 | 3.6 | 27 | 58 | 石・長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 13/36 | 14/36 | 18/36 | 自然釉 | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1412 | 24 | 4 | SD3 | 14F-9F6 | | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (14.5) | | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 2/36 | | | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1413 | 24 | 4 | SD3 | 14F-9F6 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | (20.8) | | | | | 石・チ | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ、カキメ | | | 2/36 | | | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1414 | 24 | 4 | SD3 | 14F-9E10 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 22.0 | | | | | 石・長・チ | | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ、ハケメ | ロクロナデ、カキメ | | | 9/36 | | | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1415 | 24 | 4 | SD3 | 14F-9E10 | | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | (23.0) | | | | | 石・長・角 | | 灰白 (7.5YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | スス | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1416 | 24 | 4 | SD3 | 14F-9E5、9F1・6 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 7.4 | | | | 石・長 | | 黄橙 (7.5YR8/8) | 酸化 | ヘラケズリ、ハケメ | ハケメ | | | | 36/36 | | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1417 | 24 | 4 | SD3 | 14F-9E10、9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 8.0 | | | | 石 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ヘラケズリ、ハケメ | ヘラケズリ、ハケメ | | | | 7/36 | | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1418 | 24 | 4 | | 14F-9E5・10 | IVb | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 12.1 | | | | | 長・白 | B | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 22/36 | | | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1419 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 2 | 13.0 | 8.2 | 3.6 | 28 | 63 | 長・白 | C | 灰 (N6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 12/36 | 15/36 | 13/36 | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1420 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | | 13.0 | | | | | 長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1421 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.0 | 9.0 | 3.7 | 28 | 69 | 長 | C | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 3/36 | 14/36 | 8/36 | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1422 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.0 | 9.5 | 3.5 | 25 | 68 | 長 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 左 | 19/36 | 17/36 | 20/36 | | 底部ヘラ記号「=」 4区-3 | | |
| 252 | 304 | 1423 | 24 | 4 | | 14F-9E5 | IVb | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.5 | 10.5 | 3.7 | 27 | 78 | 石・長 | C | 灰白 (5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 4/36 | 6/36 | 4/36 | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1424 | 24 | 4 | | 14F-9E5・10、9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 2 | 13.5 | 11.0 | 3.7 | 27 | 81 | 長・白 | C | 灰 (5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 14/36 | 25/36 | 19/36 | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1425 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 14.0 | 10.0 | 3.8 | 27 | 71 | 長・白 | C | 灰白 (7.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 2/36 | 18/36 | 8/36 | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1426 | 24 | 4 | | 14F-9F1・4・8 | IVb | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | II 3 | 14.5 | 8.0 | 4.2 | 29 | 55 | 石・長 | C | 灰白 (5Y8/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 5/36 | 12/36 | 10/36 | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1427 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 須恵器 | 無台杯 | I 3 | 15.0 | 10.0 | 3.4 | 23 | 67 | 長・白 | C | 灰白 (5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 8/36 | 6/36 | 6/36 | | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1428 | 24 | 4 | | 14F-9E5 | IVb | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | 13.1 | 6.3 | 4.5 | 34 | 48 | 石・長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 7/36 | 25/36 | 16/36 | 自然釉 | | 4区-3 | |
| 252 | 304 | 1429 | 24 | 4 | | 14F-9E5・10、9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 2 | 13.8 | 7.2 | 3.8 | 28 | 52 | 石・長 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | 14/36 | 16/36 | 13/36 | | | 4区-3 | |
| 253 | 304 | 1430 | 24 | 4 | | 14F-8F21、9E10、9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 14.0 | 6.1 | 4.7 | 33 | 43 | 石・長・白 | C | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 3/36 | 24/36 | 17/36 | スス | | 4区-3 | |
| 253 | 304 | 1431 | 24 | 4 | | 14F-8F21、9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 14.4 | 7.6 | 4.8 | 33 | 52 | 石・長・白 | A | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 13/36 | 18/36 | 17/36 | | | 4区-3 | |
| 253 | 304 | 1432 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 須恵器 | 有台杯 | I 3 | 15.0 | 8.8 | 4.5 | 30 | 59 | 石・長・チ | A | 灰白 (2.5Y7/1) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | 右 | 11/36 | 36/36 | 31/36 | 墨痕 | 底部転用靨 | 4区-3 | |
| 253 | 304 | 1433 | 24 | 4 | | 14F-8F21、9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 15.0 | | 2.5 | 17 | | 石・長・海 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ、ナデ | | | 7/36 | | 12/36 | | 墨痕 | 内面転用靨 | 4区-3 |
| 253 | 304 | 1434 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 15.2 | | | | | 長・海 | C | 灰 (7.5Y6/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ、ナデ | | | 7/36 | | | | 墨痕 | 内面転用靨 | 4区-3 |
| 253 | 304 | 1435 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | III | 16.0 | | | | | 石・長・海 | C | 灰白 (2.5YR7/1) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | 5/36 | | | | 墨痕 | 内面転用靨 | 4区-3 |
| 253 | 304 | 1436 | 24 | 4 | | 14F-9E10 | IVb | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | | 長 | C | 灰 (N6/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | | | | | 4区-3 | |
| 253 | 304 | 1437 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 杯蓋 | | | | | | | 石・長・白 | C | 灰白 (N7/0) | 還元 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | | | | | | | 墨痕 | 内面転用靨 | 4区-3 |
| 253 | 304 | 1438 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | (24.0) | | | | | 長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 2/36 | | | | | 4区-3 | |
| 253 | 304 | 1439 | 24 | 4 | | 14F-8F21、9E5、9F1 | IVb | 古代 | 須恵器 | 大甕 | | | | | | | 長 | C | 灰 (N5/0) | 還元 | タタキメ、カキメ | H 当て具痕、カキメ | D | | | | | | | 4区-3 | |
| 254 | 305 | 1440 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 16.0 | | | | | 石・長 | | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | 酸化炎焼成の須恵器無台杯か | 4区-3 |
| 254 | 305 | 1441 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 無台碗 | | 16.0 | 9.2 | 5.2 | 33 | 58 | 石・長 | | 橙 (2.5YR6/8) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ロクロナデ | ケズリ | | 13/36 | 8/36 | 10/36 | | | 内外面赤彩 | 4区-3 |
| 254 | 305 | 1442 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 黒色土器 | 無台碗 | C I 3 | 19.4 | 7.2 | 6.0 | 31 | 37 | 長 | | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、ケズリ | ミガキ | 糸切り後ケズリ | | 4/36 | 20/36 | 15/36 | | | 4区-3 | |
| 254 | 305 | 1443 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 14.2 | | | | | 石・チ | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 6/36 | | | | | 4区-3 | |
| 254 | 305 | 1444 | 24 | 4 | | 14F-9E10、9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | 16.0 | | | | | 石・チ | | 灰黄褐 (10YR6/2) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 4/36 | | | | | 4区-3 | |
| 254 | 305 | 1445 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (16.0) | | | | | 長 | | 褐灰 (10YR4/1) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | 4区-3 | |
| 254 | 305 | 1446 | 24 | 4 | | 14F-9E5、9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 小甕 | Ba | (16.0) | | | | | 石・長・海 | | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、ヘラケズリ | ロクロナデ、カキメ、ハケメ | | | 3/36 | | | | | 4区-3 | |
| 254 | 305 | 1447 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 土師器 | 小甕 | Aa | (17.0) | | | | | 石・雲・角 | | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ヨコナデ、ハケメ | ハケメ | | | 1/36 | | | | | 4区-3 | |
| 254 | 305 | 1448 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 小甕 | Bc | (18.1) | | | | | 石・チ | | 灰黄褐 (10YR5/2) | 酸化 | ロクロナデ、カキメ | ロクロナデ | | | 3/36 | | | | | 4区-3 | |

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 報告 書 No. | 出土位置 | | | | 層位 | 時期 | 種別 | 器種 | 分類 | 法量 (Cm) | | | 器高 指数 | 底径 指数 | 胎土 | | 色調 | 焼成 | 手法 | | | 回転 方向 | 遺存率 | | | 付着物 | | 備考 |
|-----------|-----------------|----------------|------|---|-----|-----------------|-----|----|-----|----|----|---------|-----|----|----------|---------------|--------------------|-------------------|--|-----------------------|------|-------|----|----------|-------|----|----|------|-----------------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | 含有物 | 産地 | | | 外面 | 内面 | 底部 | | 口縁部 | 底部 | 全体 | 外面 | 内面 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 254 | 305 | 1449 | 24 | 4 | | 14F-8F21、9F1・10 | IVb | 古代 | 土師器 | 小甕 | A | | 5.0 | | | | 石 | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ヘラケズリ | カキメ | ヘラケズリ | | | 23/36 | | | | 外面剥落著しい 4区-3 | |
| 254 | 305 | 1450 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 16.5 | | | | 石・長・雲・ チ | 橙 (5YR7/6) | 酸化 | ロクロナデ、 カキメ | ロクロナデ、 カキメ | | | | 10/36 | | | スス | 4区-3 | | |
| 254 | 305 | 1451 | 24 | 4 | | 14F-9E5 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 17.0 | | | | 石・長 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 5/36 | | | | 4区-3 | | |
| 254 | 305 | 1452 | 24 | 4 | | 14F-9E5 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ba | 21.0 | | | | 石・長・雲・ チ・角 | 浅黄橙 (10YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、 カキメ | ロクロナデ、 ハケメ | | | | 12/36 | | | | 4区-3 | | |
| 254 | 305 | 1453 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | (21.0) | | | | 石・チ | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ロクロナデ、 タタキメ、 カキメ | H ロクロナデ、 カキメ | | | | 3/36 | | | | 4区-3 | | |
| 254 | 305 | 1454 | 24 | 4 | | 14F-9E5 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 22.0 | | | | 石・長 | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、 カキメ | ロクロナデ、 カキメ | | | | 4/36 | | | | 4区-3 | | |
| 254 | 305 | 1455 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bc | 22.0 | | | | 石・長・チ・ 角 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ、 カキメ | ロクロナデ、 ハケメ、 カキメ | | | | 4/36 | | | | 4区-3 | | |
| 255 | 305 | 1456 | 24 | 4 | | 14F-9E5・10 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 22.0 | | | | 石・長・雲 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ロクロナデ、 タタキメ、 カキメ、 ハケメ、 ヘラケズリ | H ロクロナデ、 カキメ | | | | 9/36 | | | | 4区-3 | | |
| 255 | 305 | 1457 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 23.0 | | | | 石・雲・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、 カキメ | | | | 5/36 | | | | 4区-3 | | |
| 255 | 305 | 1458 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 24.0 | | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ、 カキメ | | | | 5/36 | | | | 4区-3 | | |
| 255 | 305 | 1459 | 24 | 4 | | 14F-9E10 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Aa | 25.0 | | | | 石・長 | にぶい褐 (7.5YR7/4) | 酸化 | ハケメ、 ヘラケズリ | ハケメ | | | | 5/36 | | | | 4区-3 | | |
| 255 | 305 | 1460 | 24 | 4 | | 14F-9E5 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Bb | 23.0 | | | | 長・チ | 浅黄橙 (10YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | | | | 4/36 | | | | 4区-3 | | |
| 255 | 305 | 1461 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Ab | 22.0 | | | | 石・長・雲・ 角 | にぶい黄橙 (10YR7/4) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | 4/36 | | | | 4区-3 | | |
| 255 | 305 | 1462 | 24 | 4 | | 14F-9E5 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | Aa | 22.0 | | | | 石・長・雲 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ハケメ | ナデ | | | | 4/36 | | | | 4区-3 | | |
| 255 | 305 | 1463 | 24 | 4 | | 14F-9E5 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 5.0 | | | 石・長 | 漆橙 (5YR8/4) | 酸化 | ヘラケズリ | ナデ | | | | | 36/36 | | | | 4区-3 | |
| 255 | 305 | 1464 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 6.0 | | | 石・長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/3) | 酸化 | ハケメ | ヘラケズリ | | | | | 36/36 | | | | 4区-3 | |
| 255 | 305 | 1465 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 7.0 | | | 石・長・雲 | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ハケメ | ヘラナデ、 ハケメ | | | | | 14/36 | | | | 4区-3 | |
| 255 | 305 | 1466 | 24 | 4 | | 14F-9E5 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | A | | 7.6 | | | 石・雲・角 | 灰白 (10YR8/2) | 酸化 | ハケメ | ハケメ | | | | | 8/36 | | | | 4区-3 | |
| 255 | 305 | 1467 | 24 | 4 | | 14F-9E5 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | B | | 8.0 | | | 石・長・チ | にぶい橙 (7.5YR7/4) | 酸化 | ヘラケズリ | ナデ | ナデ | | | | 12/36 | | | | 4区-3 | |
| 255 | 305 | 1468 | 24 | 4 | | 14F-8F21 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | B | | 9.0 | | | 石・長 | 浅黄橙 (7.5YR8/3) | 酸化 | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り | | | | 36/36 | | | | 4区-3 | |
| 255 | 305 | 1469 | 24 | 4 | | 14F-9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 長甕 | B | | 9.5 | | | 石・長・チ | 浅黄橙 (7.5YR8/4) | 酸化 | ロクロナデ、 ケズリ | ロクロナデ、 カキメ | ヘラ切り | | | | 22/36 | | | | 4区-3 | |
| 255 | 305 | 1470 | 24 | 4 | | 14F-9E5、9F1 | IVb | 古代 | 土師器 | 鍋 | Bc | 39.0 | | | | 長・チ・白 | にぶい黄橙 (10YR7/3) | 酸化 | ロクロナデ、 カキメ | ロクロナデ | | | | | 5/36 | | | | 4区-3 | |

別表5 第19・22・24次調査 沖ノ羽遺跡土製品観察表

Table with columns: 図版No., 写真図版No., 報告書No., 出土位置 (年次, 区, 遺構名, グリッド), 層位, 器種, 法量 (cm) (長さ, 幅, 厚さ), 重量 (g), 手法 (外面, 内面), 備考. Contains 53 rows of data.

別表6 第19・22・24次調査 沖ノ羽遺跡石製品観察表

Table with columns: 図版No., 写真図版No., 報告書No., 出土位置 (年次, 区, 遺構名, グリッド), 層位, 器種, 石材, 法量 (cm) (長さ, 幅, 厚さ), 重量 (g), 備考. Contains 49 rows of data.

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 報告 書 No. | 出土位置 | | | | 層位 | 器種 | 石材 | 法量 (cm) | | | 重量 (g) | 備考 |
|------------|-----------------|----------------|---------|-----------|-----|--------|-----------------|----|-------|---------|------|--------|-----------|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | |
| 259 307 35 | 22 | 1 | SE1949 | 15G-4G5 | 1 | 砥石 | 凝灰岩 | | 11.5 | 8.75 | 5.35 | 523.0 | 荒砥石、被熱 | |
| 259 307 36 | 22 | 1 | SX408 | 15G-7B16 | | 砥石 | 凝灰岩 | | 3.9 | 4.15 | 3.65 | 55.0 | 中砥石 | |
| 259 307 37 | 22 | 1 | SD896 | 15G-7C22 | | 砥石 | 緑色凝灰岩 | | 3.3 | 2.3 | 1.05 | 8.0 | 仕上げ砥石 | |
| 259 307 38 | 22 | 1 | SD1737 | 15G-6F2 | | 砥石 | 凝灰岩 | | 4.7 | 4.3 | 1.5 | 26.0 | 仕上げ砥石 | |
| 260 307 39 | 22 | 1 | Pit277 | 15G-6E17 | | 砥石 | (流紋岩質)凝灰岩 | | 3.8 | 2.4 | 1.05 | 11.0 | 仕上げ砥石 | |
| 260 307 40 | 22 | 1 | Pit1043 | 15G-8D18 | | 軽石製石製品 | 軽石 | | 5.1 | 6.4 | 4.2 | 66.0 | | |
| 260 307 41 | 22 | 1 | Pit1457 | 15G-7E18 | | 不明石製品 | 玉髓質珪質岩 | | 2.1 | 2.2 | 0.7 | 4.0 | 剥片 | |
| 260 307 42 | 22 | 1 | Pit1475 | 15G-7E12 | | 砥石 | 凝灰岩 | | 3.2 | 2.35 | 0.75 | 5.0 | 仕上げ砥石 | |
| 260 307 43 | 22 | 1 | Pit1685 | 15G-6E8 | | 台石 | 花崗岩 | | 11.4 | 7.5 | 6.4 | 580.0 | 荒砥石、被熱 | |
| 260 307 44 | 22 | 1 | Pit1776 | 15G-4F4 | | 砥石 | 凝灰岩 | | 15.75 | 10.7 | 7.2 | 1220.0 | 中砥石 | |
| 260 307 45 | 22 | 1 | | 15G-8B19 | IV | 砥石 | 凝灰岩 | | 7.75 | 4.4 | 2.5 | 72.0 | 中砥石 | |
| 260 307 46 | 22 | 1 | | 15G-8E19 | IV | 砥石 | 凝灰岩 | | 13.6 | 4.3 | 3.5 | 287.0 | 中砥石 | |
| 260 307 47 | 22 | 1 | | 15G-7A19 | IV | 砥石 | 凝灰岩 | | 12.35 | 5.1 | 5.1 | 596.0 | 中砥石 | |
| 261 307 48 | 22 | 2 | | 13B-10H23 | IV | 椎状錘 | 凝灰岩 | | 4.7 | 3.3 | 3.1 | 61.0 | | |
| 261 307 49 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 軽石製石製品 | 軽石 | | 6.3 | 5.4 | 2.75 | 44.0 | | |
| 261 308 50 | 22 | 3 | SK90 | 14D-1G18 | | 軽石製石製品 | 軽石 | | 24.55 | 23.1 | 9.8 | 2490.0 | | |
| 261 307 51 | 24 | 2区東 | SE20 | 12F-10G12 | | 磨石 | 緑色凝灰岩 | | 4.9 | 3.4 | 2.3 | 30.0 | | |
| 261 307 52 | 24 | 2区東 | SE221 | 13F-3F13 | 1 | 砥石 | 凝灰岩 | | 4.0 | 2.2 | 2.4 | 30.0 | 仕上げ砥石 | |
| 261 307 53 | 24 | 2区東 | SX18 | 12F-10F23 | | 台石 | 安山岩 | | 7.55 | 11.1 | 3.35 | 413.0 | 被熱 | |
| 261 307 54 | 24 | 2区東 | SD15 | 13F-1F11 | | 砥石 | 砂岩(アルコース質アレナイト) | | 5.2 | 5.3 | 0.95 | 36.0 | 仕上げ砥石 | |
| 262 308 55 | 24 | 2区東 | SD15 | 12F-10G23 | | 台石 | 安山岩 | | 9.85 | 9.4 | 5.0 | 310.0 | | |
| 262 308 56 | 24 | 2区東 | SD91 | 13F-1F10 | | 磨石 | 凝灰岩 | | 2.95 | 6.0 | 1.2 | 11.0 | | |
| 262 308 57 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F25 | | 台石 | 花崗岩 | | 17.8 | 14.5 | 13.7 | 4130.0 | 被熱 | |
| 262 308 58 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F19 | | 不明石製品 | 凝灰岩 | | 1.8 | 1.6 | 0.6 | 3.0 | 碁石か | |
| 262 308 59 | 24 | 2区東 | SD98 | 13F-2F25 | | 紡錘車 | 緑色凝灰岩 | | 2.0 | 6.0 | 1.4 | 14.0 | | |
| 262 308 60 | 24 | 2区東 | SD180 | 13F-2E14 | | 砥石 | 凝灰岩 | | 3.1 | 3.4 | 1.1 | 12.0 | 仕上げ砥石 | |
| 262 308 61 | 24 | 2区東 | SD243 | 13F-2F17 | | 砥石 | 凝灰岩 | | 5.8 | 4.2 | 2.7 | 48.0 | 仕上げ砥石 | |
| 262 308 62 | 24 | 2区東 | SD355 | 13F-3F14 | | 不明石製品 | 頁岩 | | 1.6 | 1.65 | 0.8 | 2.0 | 碁石か | |
| 262 308 63 | 24 | 2区東 | SD898 | 12F-10H2 | | 砥石 | 凝灰岩 | | 5.0 | 3.65 | 2.3 | 61.0 | 仕上げ砥石 | |
| 262 308 64 | 24 | 2区東 | | 13F-4F10 | IV | 砥石 | 凝灰岩 | | 3.5 | 3.9 | 2.4 | 43.0 | 仕上げ砥石 | |
| 262 308 65 | 24 | 2区東 | | 12F-10H6 | IV | 砥石 | 凝灰岩 | | 5.9 | 5.95 | 3.35 | 94.0 | 中砥石 | |
| 262 308 66 | 24 | 2区西 | SE9 | 13F-4D9 | 2 | 砥石 | 凝灰岩 | | 4.3 | 3.1 | 3.2 | 42.5 | 中砥石 | |
| 262 308 67 | 24 | 2区西 | SE39 | 13F-4E12 | | 砥石 | 凝灰岩 | | 4.7 | 2.9 | 1.6 | 26.0 | 仕上げ砥石、被熱 | |
| 262 308 68 | 24 | 2区西 | SE226 | 13F-3D11 | | 砥石 | 凝灰岩 | | 9.05 | 4.0 | 2.0 | 85.5 | 仕上げ砥石 | |
| 263 308 69 | 24 | 2区西 | SE433 | 13F-4D1 | | 叩石 | 安山岩 | | 9.8 | 7.2 | 5.8 | 518.5 | +磨石 | |
| 263 308 70 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D9 | | 軽石製石製品 | 軽石 | | 3.0 | 3.55 | 1.6 | 6.5 | | |
| 263 308 71 | 24 | 2区西 | SX446 | 13F-5B20 | | 不明石製品 | 玉髓 | | 2.0 | 1.4 | 0.6 | 2.0 | 碁石か | |
| 263 308 72 | 24 | 2区西 | SD143 | 13F-4C23 | | 磨石 | 凝灰岩 | | 7.3 | 3.8 | 2.9 | 79.5 | | |
| 263 308 73 | 24 | 2区西 | SD143 | 13F-4C23 | | 磨石 | 緑色凝灰岩 | | 6.4 | 4.9 | 4.0 | 96.5 | | |
| 263 308 74 | 24 | 2区西 | SD278 | 13F-4E8 | | 軽石製石製品 | 軽石 | | 6.9 | 6.1 | 3.7 | 64.0 | 被熱 | |
| 263 308 75 | 24 | 2区西 | SD407 | 13F-6C16 | | 叩石 | 凝灰岩 | | 10.4 | 4.6 | 4.0 | 183.5 | | |
| 263 308 76 | 24 | 2区西 | Pit704 | 13F-5C5 | | 砥石 | 花崗岩 | | 13.3 | 7.2 | 8.3 | 894.5 | 荒砥石 | |

別表7 第19・22・24次調査 沖ノ羽遺跡木製品観察表

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 報告 書 No. | 出土位置 | | | | 層位 | 器種 | 樹種 | 法量 (cm) | | | | 木取り | 備考 | |
|-------------|-----------------|----------------|-------|----------|-----|------|----|----|--------|---------|------|----|-----|-------|--------------------|--------------|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | 器厚 | | | |
| 264 309 1 | 19 | 5区東 | Pit1 | 14F-9F8 | | 柱根 | | | 78.6 | 21.6 | 22.0 | | 分割材 | 5区東-5 | | |
| 264 309 2 | 19 | 5区東 | | 14F-8G21 | IV | 杭状 | | | 18.9 | 3.4 | 3.2 | | 分割材 | 5区東-5 | | |
| 264 309 3 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 礎状 | | | 43.4 | 29.8 | 5.8 | | 柱目 | 5区東-5 | | |
| 265 309 4 | 19 | 5区東 | | 14F-9F8 | IV | 柱根 | | | 10.5 | 12.0 | 5.4 | | 分割材 | 5区東-5 | | |
| 265 309 5 | 19 | 5区 | 工事立会 | | | 柱根 | | | 26.8 | 11.1 | 7.8 | | 分割材 | | | |
| 265 309 6 | 19 | 5区 | 工事立会 | | | 柱根 | | | 52.7 | 19.9 | 15.2 | | 芯持ち | | | |
| 266 309 7 | 19 | 5区 | 工事立会 | | | 部材 | | | 114.7 | 19.6 | 14.7 | | 分割材 | | | |
| 266 309 8 | 19 | 5区 | 工事立会 | | | 部材 | | | 91.1 | 24.1 | 18.0 | | 分割材 | | | |
| 267 310 9 | 22 | 1 | SE201 | 15G-6E1 | | 箸状 | | | 23.9 | 0.7 | 0.5 | | | 六角形 | | |
| 267 310 10 | 22 | 1 | SE201 | 15G-6E1 | 6 | 箸状 | | | (10.7) | 0.5 | 0.35 | | | 六角形 | | |
| 267 310 11 | 22 | 1 | SE201 | 15G-6E1 | 5 | 部材 | | | 18.0 | 9.5 | 5.1 | | 分割材 | | | |
| 267 310 12 | 22 | 1 | SE375 | 15G-6E21 | 5 | 漆器皿 | | 口径 | 8.5 | 器高 | 1.3 | 底径 | 0.7 | 0.5 | | 総黒色漆(未同定) |
| 267 310 13 | 22 | 1 | SE375 | 15G-6E21 | | 草履芯 | | | 14.3 | 5.0 | 0.2 | | | | | |
| 267 310 14 | 22 | 1 | SE375 | 15G-6E21 | 5 | 箸状 | | | 21.8 | 0.6 | 0.3 | | | | 六角形 | |
| 267 310 15a | 22 | 1 | SE375 | 15G-6E21 | 7 | 棒状 | | | 20.9 | 1.7 | 1.5 | | | | 15abcは同一個体 端部炭化 | |
| 267 310 15b | 22 | 1 | SE375 | 15G-6E21 | 7 | 棒状 | | | 41.1 | 2.0 | 1.8 | | | | 15abcは同一個体 | |
| 267 310 15c | 22 | 1 | SE375 | 15G-6E21 | 7 | 棒状 | | | 34.7 | 2.1 | | | | | 15abcは同一個体 | |
| 267 310 16 | 22 | 1 | SE385 | 15G-7E6 | 8 | 板状 | | | 27.3 | 2.4 | 0.5 | | 柱目 | | | |
| 267 310 17 | 22 | 1 | SE385 | 15G-7E6 | 8 | 箸状 | | | (23.0) | 0.5 | 0.4 | | | | 四角形 | |
| 267 310 18 | 22 | 1 | SE385 | 15G-7D10 | | 箸状 | | | 22.6 | 0.7 | 0.4 | | | | 六角形 | |
| 267 310 19 | 22 | 1 | SE415 | 15G-8C22 | 6 | 箸状 | | | 20.5 | 0.6 | 0.5 | | | | 五角形 | |
| 267 310 20 | 22 | 1 | SE415 | 15G-8C22 | 6 | 箸状 | | | 21.0 | 0.45 | 0.4 | | | | 六角形か | |
| 267 310 21 | 22 | 1 | SE415 | 15G-8C22 | 6 | 箸状 | | | 21.4 | 0.5 | 0.3 | | | | 四角形 | |
| 267 310 22 | 22 | 1 | SE415 | 15G-8C22 | 6 | 箸状 | | | (19.4) | 0.5 | 0.4 | | 柱目 | | 四角形 | |
| 267 310 23 | 22 | 1 | SE415 | 15G-8C22 | 6 | 箸状 | | | 19.3 | 0.6 | 0.5 | | | | 五角形 | |
| 267 310 24 | 22 | 1 | SE415 | 15G-8C22 | 6 | 箸状 | | | (16.1) | 0.6 | 0.5 | | 柱目 | | 六角形 | |
| 267 310 25 | 22 | 1 | SE415 | 15G-8C22 | 6 | 箸状 | | | (15.9) | 0.7 | 0.3 | | 柱目 | | 四角形 | |
| 267 310 26 | 22 | 1 | SE415 | 15G-8C22 | 6 | 箸状 | | | (12.4) | 0.6 | 0.5 | | 柱目 | | 六角形 | |
| 267 310 27 | 22 | 1 | SE415 | 15G-8C22 | 6 | 棒状 | | | (15.8) | 0.7 | 0.6 | | 柱目 | | 四角形 | |
| 267 310 28 | 22 | 1 | SE415 | 15G-8C22 | 6 | 草履芯 | | | 17.5 | 4.3 | 2.5 | | 板目 | | | |
| 268 310 29 | 22 | 1 | SE429 | 15G-8C16 | | 板状 | | | 34.0 | 9.3 | 1.0 | | 柱目 | | 30と組み合って出土 | |
| 268 310 30 | 22 | 1 | SE429 | 15G-8C16 | | 板状 | | | 27.7 | 9.1 | 0.6 | | 柱目 | | 29と組み合って出土 | |
| 268 311 31 | 22 | 1 | SE429 | 15G-8C16 | | 板状 | | | 31.8 | 5.0 | 0.5 | | 柱目 | | | |
| 268 311 32 | 22 | 1 | SE500 | 15G-7C7 | | 木筒 | | | 15.2 | 2.0 | 0.25 | | 板目 | | 1号木筒 上部に切り込み 表表面文字 | |
| 268 311 33 | 22 | 1 | SE500 | 15G-7C2 | 16 | 漆製品 | | 口径 | 8.3 | 器高 | 1.0 | 底径 | 1.6 | 0.8 | | 匙か 総黒色漆(未同定) |
| 268 311 34 | 22 | 1 | SE500 | 15G-7C8 | | 漆器碗 | | 口径 | 14.4 | 器高 | 4.55 | 底径 | 7.4 | 0.58 | | 総黒色漆(未同定) |
| 268 311 35 | 22 | 1 | SE547 | 15G-8D21 | 4 | 折敷 | | | 18.5 | 3.3 | 0.55 | | 柱目 | | | |
| 269 311 36 | 22 | 1 | SE565 | 15G-8C8 | | 部材 | | | 15.8 | 10.6 | 5.7 | | 分割材 | | 井戸側か | |
| 269 311 37 | 22 | 1 | SE573 | 15G-8D7 | 4 | 箸状 | | | 24.2 | 0.4 | 0.4 | | | | 四角形 | |

別 表

| 図版 No. | 写真 図版 No. | 報告 書 No. | 出土位置 | | | | 層位 | 器種 | 樹種 | 法量 (cm) | | | | 木取り | 備考 |
|-----------|-----------------|----------------|------|-----|---------|-------------|----|------|----|---------|---------|--------|------|---|----|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | 器厚 | | |
| 269 | 311 | 38 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D14 | 4 | 部材 | | 39.1 | 3.2 | 1.5 | | | |
| 269 | 311 | 39 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D14 | 4 | 部材 | | 76.0 | 13.3 | 11.8 | | 分割材 | |
| 269 | 311 | 40 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D14 | 4 | 部材 | | 67.0 | 10.9 | 2.6 | | 柱目 | |
| 270 | 312 | 41 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D14 | 4 | 板状 | | 24.5 | 13.0 | 0.8 | | 板目 円形か まな板に転用か 表面一部炭化 | |
| 270 | 312 | 42 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D14 | 3 | 部材 | | 8.7 | 8.8 | 5.5 | | 分割材 | |
| 270 | 312 | 43 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D9 | | 曲物 | スギ | 直径 64.3 | 高さ 12.8 | | 0.4 | 柱目 上部欠損。残存部は側板一重・下籠一重構造。側板内面に上下方向のケビキを入れる。自然乾燥したため、歪みが著しいが、側板の推定径は60cm。 | |
| 271 | 312 | 44 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D9 | | 杭状 | | 19.0 | 3.0 | 2.7 | | 曲物内側から検出 | |
| 271 | 312 | 45 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D9 | | 杭状 | | 23.6 | 3.9 | 2.5 | | 曲物内側から検出 | |
| 271 | 312 | 46 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D9 | | 杭状 | | 25.3 | 2.2 | 1.9 | | 曲物内側から検出 | |
| 271 | 312 | 47 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D9 | | 杭状 | | 47.8 | 2.9 | 2.6 | | 曲物内側から検出 | |
| 271 | 312 | 48 | 22 | 1 | SE601 | 15G-8D14 | 3 | 板状 | | 14.0 | 6.5 | 0.6 | | 柱目 | |
| 271 | 313 | 49 | 22 | 1 | SE1406 | 15G-8E7 | 10 | 棒状 | | 11.9 | 2.3 | 2.0 | | 柄か | |
| 271 | 313 | 50 | 22 | 1 | SE1406 | 15G-8E7 | 10 | 箸状 | | 21.1 | 0.6 | 0.3 | | 四角形 | |
| 271 | 313 | 51 | 22 | 1 | SE1406 | 15G-8E7 | 10 | 箸状 | | 21.2 | 0.6 | 0.5 | | 柱目 五角形 | |
| 271 | 313 | 52 | 22 | 1 | SE1406 | 15G-8E7 | | 部材 | | 33.2 | 4.2 | 3.3 | | 板目 | |
| 271 | 313 | 53 | 22 | 1 | SE1536 | 15G-6D20 | | 木簡 | | 15.1 | 2.5 | 0.4 | | 柱目 2号木簡 下端圭頭状 表面文字 | |
| 271 | 313 | 54 | 22 | 1 | SE1536 | 15G-6D20 | 4 | 棒状 | | 21.0 | 2.6 | 1.5 | | 柱目 | |
| 271 | 313 | 55 | 22 | 1 | SE1536 | 15G-6D15 | 4 | 棒状 | | 21.5 | 1.0 | 0.9 | | 柱目 | |
| 271 | 313 | 56 | 22 | 1 | SE1536 | 15G-6D15 | 4 | 棒状 | | 15.3 | 0.7 | 0.4 | | 四角形 | |
| 271 | 313 | 57 | 22 | 1 | SE1536 | 15G-6D15 | 4 | 箸状 | | (12.3) | 0.6 | 0.4 | | 柱目 五角形 | |
| 271 | 313 | 58 | 22 | 1 | SE1536 | 15G-6D15 | 4 | 箸状 | | (9.6) | 0.6 | 0.4 | | 六角形 | |
| 272 | 313 | 59 | 22 | 1 | SE1593 | 15G-7D9 | 7 | 箸状 | | (24.9) | 0.6 | 0.4 | | 柱目 四角形 | |
| 272 | 313 | 60 | 22 | 1 | SE1593 | 15G-7D9 | 7 | 棒状 | | 23.8 | 1.1 | 0.7 | | 柱目 五角形 | |
| 272 | 313 | 61 | 22 | 1 | SE1593 | 15G-7D9 | 7 | 杭状 | | 11.3 | 5.2 | 4.0 | | 芯持ち 六角形 | |
| 272 | 313 | 62 | 22 | 1 | SE1617 | 15G-6D1 | 9 | 曲物側板 | | 9.2 | 12.4 | 4.5 | | 柱目 内面上下方向にケビキを入れる。 | |
| 272 | 313 | 63 | 22 | 1 | SE1617 | 15G-6D1 | 9 | 漆器皿 | | 口径 8.2 | 器高 0.7 | 底径 7.2 | 0.48 | 総黒色漆(未同定) | |
| 272 | 313 | 64 | 22 | 1 | SE1617 | 15G-6D1 | 9 | 漆器碗 | | 口径 - | 器高 - | 底径 8.2 | 0.5 | 総黒色漆(未同定) 内外面赤色(未同定) 漆絵 | |
| 272 | 313 | 65 | 22 | 1 | SE1617 | 15G-6D2 | 9 | 漆器碗 | | 口径 15.0 | 器高 5.85 | 底径 7.6 | 0.49 | 内赤外黒色漆(未同定) 外面赤色(未同定) 漆絵 | |
| 272 | 313 | 66 | 22 | 1 | SE1617 | 15G-6D7 | 9 | 漆器碗 | | 口径 13.8 | 器高 5.4 | 底径 7.4 | 0.65 | 総黒色漆(未同定) | |
| 272 | 314 | 67 | 22 | 1 | SE1770 | 15G-4G16 | 6 | 箸状 | | (16.0) | 0.6 | 0.4 | | 柱目 五角形 | |
| 272 | 314 | 68 | 22 | 1 | SE1774 | 15G-4F15 | 5 | 漆器碗 | | 口径 13.2 | 器高 3.8 | 底径 8.0 | | 総黒色漆(未同定) | |
| 272 | 314 | 69 | 22 | 1 | SE1774 | 15G-4F14 | 5 | 板状 | | 8.3 | 7.3 | 0.3 | | 柱目 | |
| 272 | 314 | 70 | 22 | 1 | SE1774 | 15G-4F14 | 5 | 板状 | | 12.1 | 4.3 | 0.6 | | 柱目 | |
| 272 | 314 | 71 | 22 | 1 | SE1774 | 15G-4F14 | 5 | 板状 | | 25.6 | 5.5 | 0.5 | | 柱目 | |
| 273 | 314 | 72 | 22 | 1 | SE1774 | 15G-4F14 | 5 | 部材 | | 15.1 | 8.1 | 5.6 | | 分割材 | |
| 273 | 314 | 73 | 22 | 1 | SD108 | 15G-4D15 | | 円板 | | 23.3 | 12.4 | 1.6 | | 板目 | |
| 273 | 314 | 74 | 22 | 1 | Pit140 | 15G-5D15 | | 柱根 | | 12.7 | 10.4 | 5.6 | | 分割材 | |
| 273 | 314 | 75 | 22 | 1 | Pit595 | 15G-7D22 | | 柱根 | | 16.0 | 10.4 | 5.0 | | 分割材 | |
| 273 | 314 | 76 | 22 | 1 | Pit732 | 15G-8D16 | | 柱根 | | 4.7 | 10.1 | 2.9 | | 分割材 | |
| 274 | 314 | 77 | 22 | 1 | Pit742 | 15G-9C4 | | 柱根 | | 26.9 | 11.1 | 8.4 | | 分割材 | |
| 274 | 314 | 78 | 22 | 1 | Pit742 | 15G-9C4 | | 柱根 | | 17.0 | 4.3 | 3.4 | | 分割材 | |
| 274 | 314 | 79 | 22 | 1 | Pit997 | 15G-8C5.8D1 | | 柱根 | | 11.1 | 8.9 | 5.9 | | 分割材 | |
| 274 | 314 | 80 | 22 | 1 | Pit1086 | 15G-8D12 | | 柱根 | | 9.2 | 7.9 | 5.2 | | 分割材 | |
| 275 | 314 | 81 | 22 | 1 | Pit1106 | 15G-8D8 | | 柱根 | | 8.0 | 10.4 | 7.7 | | 分割材 | |
| 275 | 314 | 82 | 22 | 1 | Pit1131 | 15G-8D8 | | 柱根 | | 9.9 | 8.6 | 7.0 | | 分割材 | |
| 275 | 314 | 83 | 22 | 1 | Pit1171 | 15G-7D24 | | 柱根 | | 15.5 | 13.2 | 3.8 | | 分割材 | |
| 275 | 314 | 84 | 22 | 1 | Pit1295 | 15G-9D4 | | 柱根 | | 11.4 | 3.3 | 1.8 | | 分割材 | |
| 275 | 314 | 85 | 22 | 1 | Pit1451 | 15G-7E16 | | 柱根 | | 9.2 | 10.7 | 5.8 | | 分割材 | |
| 275 | 314 | 86 | 22 | 1 | Pit1471 | 15D-7D15 | | 柱根 | | 22.0 | 7.7 | 5.8 | | 分割材 | |
| 276 | 315 | 87 | 22 | 1 | Pit1532 | 15G-7E11 | | 柱根 | | 23.6 | 8.2 | 7.8 | | 分割材 | |
| 276 | 315 | 88 | 22 | 1 | Pit1650 | 15G-5E18 | | 柱根 | | 6.3 | 7.7 | 3.0 | | 分割材 | |
| 276 | 315 | 89 | 22 | 1 | Pit1693 | 15G-6E2 | | 柱根 | | 16.3 | 13.5 | 5.8 | | 分割材 | |
| 276 | 315 | 90 | 22 | 1 | Pit1704 | 15G-6D5 | | 柱根 | | 24.1 | 7.6 | 7.5 | | 分割材 | |
| 277 | 315 | 91 | 24 | 2区東 | SE12 | 12F-10G11 | | 漆器碗 | | 口径 - | 器高 - | 底径 7.0 | | 総黒色漆(未同定) | |
| 277 | 315 | 92 | 24 | 2区東 | SE12 | 12F-10F15 | 4 | 漆製品 | | 口径 7.5 | 器高 1.6 | 底径 4.2 | | 匙・柄杓の受部か 報93と接合か 総黒色漆(未同定) | |
| 277 | 315 | 93 | 24 | 2区東 | SE12 | 12F-10F15 | 4 | 漆製品 | | 12.4 | 2.1 | 2.0 | | 匙・柄杓の柄か 報92と接合か 黒色漆(未同定) | |
| 277 | 315 | 94 | 24 | 2区東 | SE12 | 12F-10G11 | | 箸状 | | 22.0 | 0.6 | 0.5 | | 三角形 | |
| 277 | 315 | 95 | 24 | 2区東 | SE20 | 12F-10G12 | | 円板 | | 20.1 | 5.1 | 1.1 | | 柱目 | |
| 277 | 315 | 96 | 24 | 2区東 | SE77 | 12F-10F20 | | 箸状 | | (17.1) | 0.5 | 0.4 | | 四角形 | |
| 277 | 315 | 97 | 24 | 2区東 | SE162 | 13F-1E14 | | 円板 | | 21.95 | 8.7 | 1.0 | | 柱目 スス付着 | |
| 277 | 315 | 98 | 24 | 2区西 | SE226 | 13F-3D6 | 8 | 棒状 | | 18.8 | 2.2 | 1.0 | | | |
| 277 | 315 | 99 | 24 | 2区西 | SE226 | 13F-3D6 | 8 | 棒状 | | 18.4 | 2.0 | 1.1 | | | |
| 277 | 315 | 100 | 24 | 2区西 | SE226 | 13F-3D6 | 8 | 棒状 | | 17.2 | 1.6 | 0.7 | | | |
| 277 | 315 | 101 | 24 | 2区西 | SE226 | 13F-3D6 | 8 | 箸状 | | (13.2) | 0.5 | 0.5 | | 五角形 | |
| 277 | 315 | 102 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 6 | 箸状 | | 20.7 | 0.7 | 0.45 | | 六角形 | |
| 277 | 315 | 103 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 5 | 箸状 | | (19.7) | 0.6 | 0.45 | | 四角形 | |
| 277 | 315 | 104 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 7 | 箸状 | | (15.8) | 0.55 | 0.4 | | 四角形 | |
| 277 | 315 | 105 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 5 | 箸状 | | (16.4) | 0.4 | 0.4 | | 六角形 | |
| 277 | 315 | 106 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 6 | 箸状 | | (11.7) | 0.6 | 0.5 | | 六角形 | |
| 277 | 315 | 107 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 6 | 箸状 | | (11.5) | 0.7 | 0.4 | | 六角形 | |
| 277 | 315 | 108 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 6 | 箸状 | | (11.8) | 0.5 | 0.3 | | 四角形 | |
| 277 | 315 | 109 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 6 | 箸状 | | (9.2) | 0.5 | 0.3 | | 六角形 | |
| 277 | 315 | 110 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 6 | 箸状 | | (7.7) | 0.6 | 0.5 | | 七角形 | |
| 277 | 315 | 111 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 6 | 棒状 | | 6.1 | 1.0 | 0.8 | | 六角形 | |
| 277 | 315 | 112 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 6 | 棒状 | | 15.1 | 0.9 | 0.5 | | 四角形 | |
| 277 | 315 | 113 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 5 | 部材 | | 35.8 | 1.4 | 1.0 | | 四角形 | |
| 277 | 315 | 114 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 5 | 部材 | | 21.1 | 1.4 | 0.7 | | | |
| 277 | 315 | 115 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 6 | 棒状 | | 10.5 | 0.4 | 0.4 | | 四角形 | |
| 277 | 315 | 116 | 24 | 2区西 | SE230 | 13F-3D19 | 6 | 板状 | | 27.7 | 3.2 | 0.3 | | 柱目 | |
| 278 | 316 | 117 | 24 | 2区西 | SE234 | 13F-3D8 | | 部材 | | 94.5 | 6.0 | 4.5 | | 分割材 | |
| 278 | 316 | 118 | 24 | 2区西 | SE234 | 13F-3D8 | | 部材 | | 39.6 | 3.0 | 1.8 | | 分割材 一部炭化 | |
| 278 | 316 | 119 | 24 | 2区西 | SE234 | 13F-3D8 | | 折敷 | | 12.3 | 11.0 | 0.5 | | 柱目 | |
| 278 | 316 | 120 | 24 | 2区西 | SE234 | 13F-3D8 | | 板状 | | 86.0 | 19.7 | 1.4 | | 柱目 | |
| 278 | 316 | 121 | 24 | 2区西 | SE234 | 13F-3D8 | | 板状 | | 63.7 | 17.1 | 3.3 | | 板目 | |
| 279 | 316 | 122 | 24 | 2区西 | SE301 | 13F-3C5 | 5 | 円板 | | 23.4 | 6.3 | 0.55 | | 柱目 | |

| 図版 No. | 写真 No. | 報告 No. | 出土位置 | | | | 層位 | 器種 | 樹種 | 法量 (cm) | | | | 木取り | 備考 |
|--------|--------|--------|------|------|--------|--------------|----|-----|----|---------|---------|------|-----|-----|---|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | 器厚 | | |
| 279 | 316 | 123 | 24 | 2区西 | SE400 | 13F-5B10 | | 草履芯 | | 18.8 | 8.0 | 0.4 | | 楕目 | |
| 279 | 316 | 124 | 24 | 2区西 | SE400 | 13F-5B10 | | 櫛 | | 4.2 | 11.5 | 1.0 | | 楕目 | 黒色漆(未同定) |
| 279 | 316 | 125 | 24 | 2区西 | SE400 | 13F-5B10 | 9 | 箸状 | | (23.9) | 6.5 | 0.4 | | 楕目 | 四角形 |
| 279 | 317 | 126 | 24 | 2区西 | SE400 | 13F-5B10 | 8 | 曲物 | スギ | 直径 39.1 | 器高 18.9 | | 0.6 | 楕目 | 側板一重・上籬一重・下籬一重構造。側板内面に上下方向のケビキを入れる。側板・下籬を貫通する穴が下部に2箇所。内5か所で木釘が残存。側板の推定径は35.5cm。 |
| 280 | 317 | 127 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D4 | | 箸状 | | 23.4 | 0.6 | 0.4 | | 楕目 | 六角形 |
| 280 | 317 | 128 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D4 | | 箸状 | | 22.3 | 0.7 | 0.4 | | 楕目 | 四角形 |
| 280 | 317 | 129 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D4 | | 箸状 | | 21.6 | 0.7 | 0.4 | | 楕目 | 六角形 |
| 280 | 317 | 130 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D4 | | 箸状 | | 20.4 | 0.6 | 0.4 | | 楕目 | 六角形 |
| 280 | 317 | 131 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D4 | | 箸状 | | (19.6) | 0.7 | 0.5 | | 楕目 | 五角形 |
| 280 | 317 | 132 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D4 | | 箸状 | | 19.8 | 0.5 | 0.4 | | 楕目 | 四角形 |
| 280 | 317 | 133 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D4 | | 箸状 | | (17.9) | 0.7 | 0.4 | | 楕目 | 六角形 |
| 280 | 317 | 134 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D4 | | 箸状 | | (15.0) | 0.6 | 0.4 | | 楕目 | 四角形 |
| 280 | 317 | 135 | 24 | 2区西 | SE499 | 13F-4D4 | | 箸状 | | (10.8) | 0.5 | 0.3 | | 楕目 | 四角形 |
| 280 | 317 | 136 | 24 | 2区西 | Pit296 | 13F-3E17 | | 柱根 | | 33.4 | 12.2 | 11.4 | | 分割材 | |
| 280 | 317 | 137 | 24 | 4 | Pit4 | 14F-9F1 | | 柱根 | | 76.0 | 17.3 | 16.5 | | 分割材 | 4区-3 |
| 281 | 317 | 138 | 24 | 4 | Pit5 | 14F-8F21、9F1 | | 柱根 | | 60.3 | 23.2 | 12.0 | | 分割材 | 広葉樹 4区-3 |
| 281 | 317 | 139 | | 確認調査 | 北地区 | 493T | | 柱根 | | 64.9 | 29.4 | 25.6 | | 分割材 | |

別表8 第22・24次調査 沖ノ羽遺跡金属製品・銭貨観察表

| 図版 No. | 写真 No. | 報告 No. | 出土位置 | | | | 層位 | 器種 | 法量 (cm) | | | 重量 (g) | 備考 |
|--------|--------|--------|------|-----|---------|----------|-----|------|---------|-----|------|--------|---|
| | | | 年次 | 区 | 遺構名 | グリッド | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | |
| 282 | 318 | 1 | 22 | 1 | SE201 | 15G-6E6 | 2 | 釘 | 11.7 | 1.4 | 1.3 | 33.0 | |
| 282 | 318 | 2 | 22 | 1 | SE201 | 15G-6E6 | | 板状不明 | 4.5 | 2.2 | 2.2 | 21.0 | |
| 282 | 318 | 3 | 22 | 1 | SE201 | 15G-6E6 | | 板状不明 | 10.1 | 1.9 | 1.2 | 16.0 | |
| 282 | 318 | 4 | 22 | 1 | SE385 | 15G-7E6 | 10 | 棒状不明 | 19.9 | 0.5 | 0.8 | 48.0 | |
| 282 | 318 | 5 | 22 | 1 | SE565 | 15G-8C8 | 3 | 棒状不明 | 7.3 | 2.5 | 1.7 | 31.0 | |
| 282 | 318 | 6 | 22 | 1 | SE500 | 15G-7C2 | | 刀子 | 26.8 | 2.9 | 0.7 | 60.0 | 身幅2.5cm・背幅0.3cm・茎長8.7cm・茎幅1.8cm |
| 282 | 318 | 7 | 22 | 1 | SE1617 | 15G-6D1 | | 柄付刀子 | 37.0 | 3.9 | 2.7 | 227.9 | 刀子全長30.9cm・身幅2.5cm・背幅0.5cm・茎長11.6cm・茎幅1.7cm 柄一部炭化 |
| 282 | 318 | 8 | 22 | 1 | SX2017 | 15G-3G16 | | 釘 | 9.1 | 2.2 | 1.9 | 36.0 | |
| 282 | 318 | 9 | 22 | 1 | Pit1814 | 15G-5F4 | | 鎌 | 12.6 | 8.8 | 3.7 | 256.5 | |
| 282 | 318 | 10 | 22 | 1 | | 15G-9E16 | IV | 刀子 | 7.6 | 2.9 | 1.5 | 39.0 | |
| 282 | 318 | 11 | 22 | 1 | | 15G-5D14 | IV | 刀子 | 8.2 | 2.8 | 1.7 | 20.0 | |
| 282 | 318 | 12 | 22 | 1 | | 15G-9C1 | IV | 釘 | 11.8 | 2.3 | 2.1 | 46.0 | |
| 282 | 318 | 13 | 22 | 1 | | 15G-8D15 | IV | 鎌 | 12.0 | 4.5 | 2.0 | 98.0 | |
| 282 | 318 | 14 | 22 | 3 | SX71 | 13D-8G17 | | 刀子 | 6.4 | 2.9 | 1.7 | 22.0 | |
| 282 | 318 | 15 | 24 | 2区西 | SD143 | 13F-4C19 | | 銭貨 | 2.45 | 2.4 | 0.5 | 5.0 | 4枚重なる |
| 282 | 318 | 16 | 24 | 2区西 | | 13F-5C5 | III | 銭貨 | 2.3 | 2.0 | 0.55 | 2.0 | 3枚重なる |

別表9 第19・22次調査 沖ノ羽遺跡遺構出土古墳時代土器種構成率

| 年次 | 区 | 遺構名 | 種別 計測法 | 食膳具 土師器 | | 煮炊具 土師器 | | 合計 | |
|----|-----|--------|-----------|------------|---------|------------|---------|-----|---------|
| | | | | 杯 | 高杯 | 甕 | | | |
| 19 | 5区東 | SE17 | 総点数(点) | | | 1 | 100.00% | 1 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 9 | 100.00% | 9 | 100.00% |
| 19 | 5区東 | SX19 | 総点数(点) | 40 | 42.10% | 14 | 43.17% | 41 | 95.00% |
| | | | 総重量(g) | 297 | 31.73% | 227 | 24.25% | 412 | 44.02% |
| 19 | 5区東 | SD15 | 総点数(点) | | | 14 | 100.00% | 14 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 78 | 100.00% | 78 | 100.00% |
| 19 | 5区東 | Pit16 | 総点数(点) | | | 1 | 100.00% | 1 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 36 | 100.00% | 36 | 100.00% |
| 22 | 1 | SE301 | 総点数(点) | | | 4 | 100.00% | 4 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 62 | 100.00% | 62 | 100.00% |
| 22 | 1 | SK1636 | 総点数(点) | | | 1 | 100.00% | 1 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 33 | 100.00% | 33 | 100.00% |
| 22 | 1 | SD1447 | 総点数(点) | | | 1 | 100.00% | 1 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 13 | 100.00% | 13 | 100.00% |
| 22 | 2 | SK24 | 総点数(点) | 2 | 28.57% | 5 | 71.43% | 7 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | 85 | 80.96% | 20 | 19.04% | 105 | 100.00% |
| 22 | 2 | SK40 | 総点数(点) | | | 1 | 100.00% | 1 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 6 | 100.00% | 6 | 100.00% |
| 22 | 2 | SK55 | 総点数(点) | 5 | 100.00% | | | 5 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | 68 | 100.00% | | | 68 | 100.00% |
| 22 | 2 | SK182 | 総点数(点) | | | 7 | 100.00% | 7 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 32 | 100.00% | 32 | 100.00% |
| 22 | 2 | SK186 | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | 1 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | 1 | 100.00% | | | 1 | 100.00% |
| 22 | 2 | SD28 | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | 1 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | 4 | 100.00% | | | 4 | 100.00% |
| 22 | 2 | SD29 | 総点数(点) | | | 5 | 100.00% | 5 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 15 | 100.00% | 15 | 100.00% |
| 22 | 2 | SD30 | 総点数(点) | | | 1 | 100.00% | 1 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 2 | 100.00% | 2 | 100.00% |
| 22 | 2 | SD42 | 総点数(点) | | | 1 | 100.00% | 1 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 8 | 100.00% | 8 | 100.00% |
| 22 | 2 | SD54 | 総点数(点) | 2 | 50.00% | 2 | 50.00% | 4 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | 11 | 55.00% | 9 | 45.00% | 20 | 100.00% |
| 22 | 2 | SD59 | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | 1 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | 6 | 100.00% | | | 6 | 100.00% |
| 22 | 3 | SD78 | 総点数(点) | | | 8 | 100.00% | 8 | 100.00% |
| | | | 総重量(g) | | | 56 | 100.00% | 56 | 100.00% |

別表 10 第 19 次調査 沖ノ羽遺跡遺構出土古代土器器種構成率

凡例 1 遺構から出土した古代の土器(土師器・黒色土器・須恵器)の構成比率を示した表である。
 2 土器の計測法は口縁部残存率法(宇野 1992, 春日 1994)とそれを応用した底部残存率法により計測した。また、併せて口縁数・底部数を示した。
 3 口縁・底部残存率によって得られた数値は¹/₃₆を示し、それぞれ口縁値・底残値と略記した。

| 遺構名 | 種別 計測法 | 食器類 | | | | | | | | | | 煮炊具 | | | | 貯蔵具 | | | 合計 | | |
|----------|-----------|------|---------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|---------|---------|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | 須恵器 | | 杯蓋 | | 土師器 | | 土師器 | | 須恵器 | 須恵器 | | | | | | |
| | | 蓋 | 無台碗 | 無台碗 | 無台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長襖 | 小襖 | 鍋 | 瓶 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | | | | | | | |
| 5区西 SK8 | 口縁値 | 0.25 | 73.54% | | 0.06 | 17.64% | | | | 0.03 | 8.82% | | | | | | | | 0.34 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 6 | 75.00% | | 1 | 12.50% | | | | 1 | 12.50% | | | | | | | | 8 | 100.00% | |
| | 底残値 | | | 0.78 | 87.65% | 0.11 | 12.35% | | | | | | | | | | | | 0.89 | 100.00% | |
| | 底部数(点) | | | 4 | 80.00% | 1 | 20.00% | | | | | | | | | | | | 5 | 100.00% | |
| 5区西 SK9 | 口縁値 | 29 | 48.36% | | 17 | 28.33% | | | | 4 | 6.66% | | | | | 3 | 5.00% | | 60 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 48 | 15.18% | | 104 | 32.94% | 10 | 3.16% | | 30 | 9.49% | 49 | 15.50% | 33 | 10.44% | | | 42 | 13.29% | 316 | 100.00% |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5区西 SD1 | 口縁値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5区西 SD2 | 口縁値 | 3 | 75.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 5 | 8.47% | | | | | | | | | | | | | | | 54 | 91.53% | 59 | 100.00% |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5区西 SD6 | 口縁値 | 0.47 | 56.84% | | 0.03 | 3.61% | | 0.25 | 30.12% | | 0.08 | 9.63% | | | | | | | 0.83 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 8 | 57.16% | | 2 | 14.28% | | 2 | 14.28% | | 2 | 14.28% | | | | | | | 14 | 100.00% | |
| | 底残値 | 1.47 | 78.62% | 0.06 | 3.20% | 0.17 | 9.09% | | | | 0.17 | 9.09% | | | | | | | 1.87 | 100.00% | |
| | 底部数(点) | 11 | 61.12% | 1 | 5.55% | 4 | 22.22% | | | | 2 | 11.11% | | | | | | | 18 | 100.00% | |
| 5区西 SD10 | 口縁値 | 78 | 52.74% | 7 | 4.72% | 7 | 4.72% | 2 | 1.35% | 2 | 1.35% | 30 | 20.27% | 13 | 8.78% | | | 5 | 3.37% | 148 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 190 | 25.81% | 14 | 1.89% | 47 | 6.37% | 17 | 2.30% | 20 | 2.71% | 226 | 30.69% | 65 | 8.81% | 24 | 3.25% | 124 | 16.82% | 737 | 100.00% |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5区西 SD11 | 口縁値 | 0.08 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 0.08 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5区西 河12 | 口縁値 | 0.14 | 37.86% | | | | | 0.06 | 16.21% | | 0.06 | 16.21% | | 0.11 | 29.72% | | | | 0.37 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 4 | 50.00% | | | | | 1 | 12.50% | | 1 | 12.50% | | 2 | 25.00% | | | | 8 | 100.00% | |
| | 底残値 | | | | | | | 0.22 | 11.34% | | | | | 1.72 | 88.66% | | | | 1.94 | 100.00% | |
| | 底部数(点) | 15 | 42.89% | | | | | 1 | 16.66% | | | | | 5 | 83.34% | | | | 6 | 100.00% | |
| 5区東 SE17 | 口縁値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5区東 SK2 | 口縁値 | 0.39 | 13.90% | 0.11 | 3.66% | | 0.39 | 13.00% | 0.11 | 3.66% | 0.56 | 18.66% | 0.72 | 24.02% | 0.69 | 23.00% | 0.03 | 1.00% | 3.00 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 5 | 11.11% | 2 | 4.44% | | 5 | 11.11% | 3 | 6.66% | 7 | 15.55% | 12 | 26.69% | 10 | 22.22% | 5 | 1.22% | 45 | 100.00% | |
| | 底残値 | 0.75 | 18.89% | | 0.31 | 7.80% | 2.36 | 59.47% | 0.08 | 2.01% | | 0.08 | 2.01% | 0.39 | 9.82% | | | | 3.97 | 100.00% | |
| | 底部数(点) | 5 | 26.31% | | 1 | 5.26% | 8 | 42.13% | 2 | 10.52% | | 1 | 5.26% | 2 | 10.52% | | | | 19 | 100.00% | |
| 5区東 SX19 | 口縁値 | 32 | 9.22% | 2 | 0.57% | 11 | 3.17% | 17 | 4.89% | 11 | 3.17% | 9 | 2.59% | 186 | 53.63% | 60 | 17.29% | 19 | 5.47% | 347 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 278 | 5.97% | 49 | 1.05% | 83 | 1.78% | 445 | 9.57% | 76 | 1.63% | 121 | 2.60% | 2,745 | 59.09% | 562 | 12.08% | 290 | 6.23% | 4,649 | 100.00% |
| | 底残値 | 0.03 | 13.63% | | 0.08 | 36.36% | | | | | | | | 0.11 | 50.01% | | | | 0.22 | 100.00% | |
| | 底部数(点) | 1 | 20.00% | | 2 | 40.00% | | | | | | | | 2 | 40.00% | | | | 5 | 100.00% | |
| 5区東 SD4 | 口縁値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5区東 SD5 | 口縁値 | 11 | 15.94% | | | | | | | | | | | | | | | | 69 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 20 | 6.71% | | | | | | | | | | | | | | | | 19 | 6.37% | |
| | 底残値 | 0.03 | 1.80% | | 0.50 | 30.12% | 0.22 | 13.27% | | | | | | 0.19 | 11.44% | | | | 298 | 100.00% | |
| | 底部数(点) | 1 | 4.76% | | 4 | 19.04% | 3 | 14.30% | | | | | | 3 | 14.30% | | | | 21 | 100.00% | |
| 5区東 SD5 | 口縁値 | 0.11 | 10.67% | | 0.69 | 67.01% | | | | | | | | 0.17 | 16.50% | | | | 1.03 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 1 | 14.28% | | 3 | 42.87% | | | | | | | | 1 | 14.28% | | | | 7 | 100.00% | |
| | 底残値 | 21 | 15.44% | | 7 | 5.18% | 3 | 2.20% | | | | | | 76 | 53.66% | 27 | 19.85% | 2 | 1.47% | 139 | 100.00% |
| | 底部数(点) | 16 | 1.50% | | 103 | 9.67% | 28 | 2.63% | | | | | | 643 | 58.80% | 197 | 18.49% | 20 | 1.87% | 1,082 | 100.00% |

| 遺構名 | 種別 | 食器類 | | | | | | | | | | | 煮炊具 | | | | 貯蔵具 | | | 合計 |
|-----------|---|-----|---|--|-------------|-----|-------------|----|-------------|--------------|-----------|---|-----|-----------|-----|--|-----|--------------|-----------|----|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | 須恵器 | | | 土師器 | | | | 須恵器 | | | | | | |
| | | 無台椀 | 蓋 | | 無台椀 | 無台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長巻 | 小巻 | 銅 | 甌 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | | | | | |
| 5 区東 SD7 | 計測法 口残値 口緑数(点) 底残値 底部数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | 0.06 35.29% | 0.11 64.71% | | | | | | | | 0.17 100.00% | | |
| | | | | | | | | | 1 25.00% | 3 75.00% | | | | | | | | 4 100.00% | | |
| | | | | | | | | | | 0.06 100.00% | 1 100.00% | | | | | | | 1 100.00% | | |
| | | | | | | | | | | 13 46.42% | 15 53.58% | | | | | | | 28 100.00% | | |
| | | | | | | | | | | 91 75.84% | 29 24.16% | | | | | | | 120 100.00% | | |
| 5 区東 SD8 | 口残値 口緑数(点) 底残値 底部数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | 0.08 26.66% | | 0.14 46.68% | | | 0.08 26.66% | | | | | | | | 0.30 100.00% | | |
| | | | | | 1 20.00% | | 2 40.00% | | | 2 40.00% | | | | | | | | 5 100.00% | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 1 4.00% | | 2 8.00% | | 11 44.00% | | 7 28.00% | | | 4 16.00% | | | | 25 100.00% | | |
| | | | | | 11 7.18% | | 12 7.84% | | 33 21.56% | | 44 28.75% | | | 53 34.67% | | | | 153 100.00% | | |
| 5 区東 SD12 | 口残値 口緑数(点) 底残値 底部数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 100.00% | 9 100.00% | |
| 6 区 SK1 | 口残値 口緑数(点) 底残値 底部数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 1 100.00% | | | | | | | | | 1 100.00% | |
| | | | | | | | | | | 4 100.00% | | | | | | | | | 4 100.00% | |

別表 11 第 22 次調査 沖ノ羽遺跡遺構出土古代土器器種構成率

- 凡例 1 遺構から出土した古代の土器(土師器・黒色土器・須恵器・緑釉陶器)の構成比率を示した表である。
 2 土器の計測法は口緑部残存率法(宇野 1992、春日 1994)とそれを応用した底部残存率法により計測した。また、併せて口緑数・底部数を示した。
 3 口緑・底部残存率によって得られた数値は*/36を示し、それぞれ口残値・底残値と略記した。

| 遺構名 | 種別 | 食器類 | | | | | | | | | | | 煮炊具 | | | | | 貯蔵具 | | | | | | 合計 | |
|-----------|--------|--------------|-----|---|------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|--------------|----------|----------|-----|---|-----|-----------|-----|----------|-----|---|----|------------|--------------|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | 須恵器 | | | 土師器 | | | | | 須恵器 | | 貯蔵具 | | | | | | | | |
| | | 無台椀 | 有台椀 | 蓋 | 無台椀 | 有台皿 | 蓋 | 無台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台椀 | 長巻 | 小巻 | 銅 | 鉢 | 甌 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 広口甕 | 壺 | 横瓶 | | |
| 1 区 SE92 | 計測法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口緑数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | 0.17 100.00% | | | | | | | | | | | | | 0.17 100.00% |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | 1 25.00% | 1 25.00% | | | | | 2 50.00% | | | | | | | 4 100.00% |
| 1 区 SE96 | 計測法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口緑数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | 1 25.00% | 2 50.00% | 1 25.00% | | | | | | | | | | | 4 100.00% |
| 1 区 SE106 | 計測法 | 0.03 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.03 100.00% |
| | 口残値 | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 口緑数(点) | 0.39 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.39 100.00% |
| | 底残値 | 3 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% |
| | 底部数(点) | 23 62.17% | | | | | | | | | | 13 35.13% | 1 2.70% | | | | | | | | | | | | 37 100.00% |
| | 総重量(g) | 53 66.25% | | | | | | | | | | 25 31.25% | 2 2.50% | | | | | | | | | | | | 80 100.00% |
| 1 区 SE125 | 計測法 | 0.08 72.73% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.11 100.00% |
| | 口残値 | 1 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 口緑数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.03 100.00% |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 総重量(g) | 12 44.46% | | | | | | | | | | 10 37.03% | 3 11.11% | | | | | 2 7.40% | | | | | | | 27 100.00% |
| 1 区 SE126 | 計測法 | 1.17 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1.17 100.00% |
| | 口残値 | 2 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | 口緑数(点) | 27 54.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 50 100.00% |
| | 底残値 | 65 32.82% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 198 100.00% |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 50 100.00% |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | 19 38.00% | 4 8.00% | | | | | 43 37.39% | | | | | | | 115 100.00% |
| 1 区 SE138 | 計測法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口緑数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | 1 50.00% | | | | | | | | 1 50.00% | | | | | 2 100.00% |
| 1 区 SE159 | 計測法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口緑数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | 8 15.38% | | | | | | | | | | | | | 52 100.00% |
| 1 区 SE159 | 計測法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口緑数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | 2 16.66% | 1 8.33% | | | | | | | | | | | | 12 100.00% |
| | | | | | | | | | | | 8 42.12% | 5 26.31% | | | | | | | | | | | | 19 100.00% | |

| 遺構名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | | |
|------------------|--------|------|---------|---|------|-----|---|------|--------|------|--------|-----|----|---|-----|---|---|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|----|---|---------|---------|---------|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | 緑釉陶器 | | 表炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | | | | | |
| | | 黒台碗 | 有台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台碗 | 長棗 | 小棗 | 餅 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大棗 | 長頸瓶 | 須恵器 | | 別類器 | 広口壺 | 壺蓋 | 横瓶 | | | | |
| 1 IK SE201 | 計測法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | 0.44 | 49.45% | | | | | 0.17 | 19.10% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.89 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 9 | 45.00% | | | | | 3 | 15.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 29 | 100.00% | |
| | 底残値 | 0.67 | 34.35% | | | | | 0.28 | 14.35% | 0.31 | 15.89% | | | | | | | | | | | | | | | | 1.95 | 100.00% | |
| | 総重量(g) | 220 | 106.7% | | | | | 1 | 11.11% | 1 | 11.11% | | | | | | | | | | | | | | | 9 | 100.00% | | |
| 1 IK SE300 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | 0.17 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.17 | 100.00% |
| | 底点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 14 | 13.59% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 14 | 100.00% |
| 1 IK SE301 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 12 | 23.07% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 52 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 12 | 4.04% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 297 | 100.00% |
| 1 IK SE315 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 1 | 16.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 1 | 7.14% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 14 | 100.00% |
| 1 IK SE342 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 100.00% |
| 1 IK SE353 | 口残値 | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 2 | 15.38% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 13 | 100.00% |
| 1 IK SE375 | 口残値 | 0.06 | 42.85% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.14 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 30 | 57.71% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 52 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 35 | 26.51% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 132 | 100.00% |
| 1 IK SE385 | 口残値 | 0.14 | 17.94% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 2 | 22.22% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 78 | 100.00% |
| | 底残値 | 0.72 | 37.12% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1.94 | 100.00% |
| | 底点数(点) | 4 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 76 | 15.10% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 47 | 100.00% |
| 1 IK SE412 | 口残値 | 0.03 | 10.71% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 1 | 16.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 100.00% |
| | 底残値 | 0.19 | 24.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 1 | 16.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 53 | 11.30% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 187 | 100.00% |
| 1 IK SE415 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 6 | 20.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 30 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 7 | 7.77% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 90 | 100.00% |
| 1 IK SE429 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | 0.17 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 24 | 21.05% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 114 | 100.00% |
| 1 IK SE433 | 口残値 | 0.11 | 57.90% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 11 | 45.85% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 18 | 19.35% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 93 | 100.00% |
| 1 IK SE490 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 9 | 24.32% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 10 | 4.60% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 37 | 100.00% |
| 1 IK SE500 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | 0.39 | 78.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 3 | 75.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 98 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 472 | 100.00% |
| 1 IK SE502 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | 0.28 | 25.22% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底点数(点) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 48 | 10.16% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 472 | 100.00% |

| 選購名 | 類別 | 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | |
|------------------|----|-----|--------|------|---------|------|-----|---|-----|-----|----|------|----|----|------|--------|----|-----|----|-----|-----|----|-----|----|------|--------|--|------|---------|
| | | | 土鍋器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 緑釉陶器 | | | 土鍋器 | | | 須恵器 | | | 土鍋器 | | | | | | | | |
| | | | 黒台碗 | 有台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台碗 | 長費 | 小費 | 鍋 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大費 | 長頸瓶 | 短頸壺 | | 広口壺 | 壺蓋 | 横瓶 | | | | |
| 1 IK SE511 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | | | | | | | | | | | | 0.39 | 58.21% | | | | | | | | | 0.28 | 41.79% | | 0.67 | 100.00% |
| | | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | 1 | 50.00% | | 2 | 100.00% |
| 1 IK SE536 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE540 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.19 | 36.53% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE547 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.06 | 23.07% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 1 | 20.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE551 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.17 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE552 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.19 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE556 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.22 | 66.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE557 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.25 | 39.08% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 2 | 40.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE558 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.44 | 80.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE565 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.61 | 68.56% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 8 | 88.89% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE572 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.06 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE573 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.61 | 68.56% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 8 | 88.89% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE579 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.61 | 68.56% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 8 | 88.89% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE586 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.61 | 68.56% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 8 | 88.89% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SE590 | | | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 口餘数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底残値 | 0.61 | 68.56% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部数(点) | 8 | 88.89% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|------------------|--------|-----|---|---|------|-----|---|-----|-----|----|------|----|----|-----|---|---|-----|----|-----|-----|----|----|--|----|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 緑釉陶器 | | | 系炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | |
| | | 甗台櫛 | 甗 | 蓋 | 甗台櫛 | 甗台皿 | 蓋 | 甗台杯 | 甗台杯 | 杯蓋 | 甗台櫛 | 長甗 | 小甗 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 大甗 | 長甗 | 別類甗 | 広口甗 | 甗蓋 | 甗蓋 | | |
| 1 K SE599 | 計測法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE600 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE601 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE606 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE785 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE813 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE868 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE1228 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE1244 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE1283 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE1337 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE1406 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE1420 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE1435 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SE1454 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 進捗名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | |
|---------|--------|--------|------|--------|------|-----|---|-----|----|----|-----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|---|----|---|--|------|---------|---------|---------|
| | | 土師器 | | | 黒色土師 | | | 須恵器 | | | 系紋具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | | | | |
| | | 甌 | 有台 | 蓋 | 甌 | 有台皿 | 蓋 | 甌 | 有台 | 杯蓋 | 有台 | 長 | 小 | 餅 | 鉢 | 大 | 長 | 別 | 口 | 蓋 | | 椀 | | | | | |
| 1 IK | SE1504 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.03 | 100.00% | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 12 | 100.00% |
| 1 IK | SE1508 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 19 | 100.00% |
| 1 IK | SE1514 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 | 100.00% |
| 1 IK | SE1517 | 口残値 | 0.06 | 21.42% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.28 | 100.00% |
| | | 口総数(点) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 1 IK | SE1520 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 |
| 1 IK | SE1534 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 119 |
| 1 IK | SE1535 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 63 |
| 1 IK | SE1536 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 107 |
| 1 IK | SE1551 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 82 |
| 1 IK | SE1586 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 107 |
| 1 IK | SE1593 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 111 |
| 1 IK | SE1602 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 114 |
| 1 IK | SE1610 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 114 |
| 1 IK | SE1617 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口総数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 899 |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | |
|--------|--------|--------|------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|---------|---------|--------|----|-------|----|-----|--------|-----|-----|----|----|----|------|---------|---------|---------|---------|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 緑釉陶器 | | 灰灰土器 | | | | | 須恵器 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 甕台碗 | 有台碗 | 蓋 | 甕台碗 | 有台皿 | 蓋 | 甕台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台碗 | 長巻 | 小巻 | 鉢 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 須恵器 | 別類甕 | 広口甕 | 甕蓋 | | 模範 | | | | | |
| 1 K | SE1626 | 口残值 | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | |
| | | 底面数(点) | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | |
| | | 総重量(g) | 22 | 12.79% | | | | | | | | 6 | 33.33% | | | | | | 2 | 11.11% | | | | | | | 18 | 100.00% | | |
| 1 K | SE1628 | 口残值 | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | 5 | 83.34% | 1 | 16.66% | | | | | | | | | | | | 6 | 100.00% | | |
| 1 K | SE1691 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 3 | 18.75% | | | | | 1 | 6.25% | | 12 | 75.00% | | | | | | | | | | | | | | 16 | 100.00% | | |
| 1 K | SE1718 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 7 | 9.58% | | | | | | | | 51 | 69.88% | | | | | | | | | | | | | | 73 | 100.00% | | |
| 1 K | SE1754 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 2 | 28.57% | | | | | | | | 5 | 71.43% | | | | | | | | | | | | | | | 7 | 100.00% | |
| 1 K | SE1769 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 4.34% | | | | | | | | 22 | 95.66% | | | | | | | | | | | | | | 23 | 100.00% | | |
| 1 K | SE1770 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 8 | 18.60% | | | | | | | | 31 | 72.10% | | | | | | | | | | | | | | | 43 | 100.00% | |
| 1 K | SE1774 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 2 | 15.38% | | | | | | | | 7 | 53.86% | 2 | 15.38% | | | | | | | | | | | | | 13 | 100.00% | |
| 1 K | SE1775 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 16 | 20.51% | | | | | | | | 43 | 55.15% | 14 | 17.94% | 1 | 1.28% | | | | | | | | | | | 78 | 100.00% | |
| 1 K | SE1780 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 29 | 3.57% | | | | | | | | 243 | 29.92% | 470 | 57.91% | 31 | 3.81% | | | | | | | | | | | | 812 | 100.00% |
| 1 K | SE1784 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 6.66% | | | | | | | | 14 | 36.84% | 22 | 57.90% | | | | | | | | | | | | | | 38 | 100.00% |
| 1 K | SE1906 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 0.61% | | | | | | | | 10 | 6.13% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SE1937 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 8 | 13.79% | | | | | | | | 2 | 3.44% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SE1949 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 3.33% | | | | | | | | 20 | 80.00% | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% | |
| 1 K | SE1965 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% |

| 遺構名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | |
|------------------|-----|--------|------|---------|------|-----|---|-----|-----|----|-----|----|----|-----|---|----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 須恵器 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | | |
| | | 甗台碗 | 有台碗 | 蓋 | 甗台碗 | 有台皿 | 蓋 | 甗台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台碗 | 長巻 | 小巻 | 鉢 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大甗 | 長頸瓶 | 別頸甗 | 広口甗 | 甗蓋 | | 模範 | |
| 1 IK SK32 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK110 | 計測法 | 口残値 | 0.03 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK143 | 計測法 | 口残値 | 0.22 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 3 | 42.85% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 4 | 57.15% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 40 | 75.48% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK144 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 2 | 20.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 2 | 20.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 2 | 2.35% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK150 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 2 | 2.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK151 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 10.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK157 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 0.14 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 6 | 9.23% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK172 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 2 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 3 | 27.27% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 8 | 72.73% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK178 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 3 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 3 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK210 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 8 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK231 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK256 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 2 | 40.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 3.33% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK263 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 11 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK341 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 4 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 19 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK343 | 計測法 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|----------|--------|-----|---------|---|---|-----|------|---|-----|----|------|---------|----|---|---|----|-----|-------|-----|----|----|----|
| | | 土師器 | | | | | 黒色土器 | | | | | 須恵器 | | | | | 系炊具 | | | | | |
| | | 甗 | 有台榎 | 蓋 | 甗 | 有台皿 | 蓋 | 甗 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台碗 | 長棗 | 小棗 | 餅 | 鉢 | 大棗 | 長短瓶 | 須恵器別類 | 広口甗 | 甗蓋 | 模範 | |
| 1区 SK365 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK410 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | 21 | 100.00% | | | | | | | | | | 21 |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | 66 | 100.00% | | | | | | | | | | 66 |
| 1区 SK414 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK422 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | 0.08 | 57.15% | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | |
| 1区 SK423 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK427 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK428 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK431 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK485 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK487 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK491 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK492 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK494 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK505 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 SK510 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 遺構名 | 種別 | 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | |
|---------|-------|--------|-----|-----|---|------|-----|---|------|-------|----|------|----|----|-----|---|----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|------|---------|---------|
| | | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 緑釉陶器 | | | 系炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | |
| | | | 無台榎 | 有台榎 | 蓋 | 無台榎 | 有台皿 | 蓋 | 無台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台榎 | 長襖 | 小襖 | 鍋 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大襖 | 長頸瓶 | 別頸壺 | 広口壺 | | 壺蓋 | 樽瓶 | | |
| 1 IK | SK575 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.34 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | 0.03 | 8.82% | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 100.00% |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK578 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK580 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK585 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK587 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK588 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK592 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK594 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK597 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK633 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK701 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK724 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK730 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK769 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK | SK780 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | |
|-----|--------|--------|---|---|------|-----|---|-----|-----|----|-----|----|----|-----|---|----|-----|----|-----|-------|-----|----|----|----|--|--|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 須恵器 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | | | |
| | | 甗台櫛 | 蓋 | 甗 | 甗台櫛 | 有台皿 | 蓋 | 甗台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台櫛 | 長棗 | 小棗 | 餅 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大棗 | 長頸瓶 | 須恵器別類 | 広口壺 | | 壺蓋 | 模範 | | |
| 1区 | SK783 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK794 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK832 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK912 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK993 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1010 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1069 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1097 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1098 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1114 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1116 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1210 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1219 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1220 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1227 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | |
|--------|--------|--------|------|---------|------|-----|---|-----|-----|----|-----|----|---------|-----|--------|----|-----|----|--------|-------|-----|----|----|----|----|---------|---------|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 系炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | | | | |
| | | 甗台櫛 | 有台櫛 | 蓋 | 甗台櫛 | 有台皿 | 蓋 | 甗台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台櫛 | 長棗 | 小棗 | 鍋 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大甗 | 長頸甗 | 須恵器別類 | 広口甗 | 甗蓋 | | 模範 | | | |
| 1 K | SK1232 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 8.33% | | | | | | | | 10 | 83.34% | | | | | 1 | 8.33% | | | | | | 12 | 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 4 | 10.25% | | | | | | | | 30 | 76.93% | | | | | 5 | 12.82% | | | | | | | 39 | 100.00% |
| 1 K | SK1233 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | 13 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | 13 | 100.00% |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | 24 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 24 |
| 1 K | SK1240 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 4 | 44.44% | | | | | | | | 4 | 44.44% | 1 | 11.12% | | | | | | | | | | | 9 | 100.00% |
| | | 総重量(g) | 9 | 37.50% | | | | | | | | 13 | 54.17% | 2 | 8.33% | | | | | | | | | | | | 24 |
| 1 K | SK1249 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1251 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1268 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1273 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1302 | 口残値 | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 9.09% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1304 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 14.28% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 4 | 14.28% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1330 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1338 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1342 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1387 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1389 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SK1396 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 遺構名 | 種別 | 資材具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | |
|-------------------|--------|------|---------|------|-------|-----|-----|------|--------|------|------|---------|----|--------|-----|--------|-----|----|--------|-------|-----|----|----|------|---------|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 緑釉陶器 | | 系炊具 | | | 土師器 | | 須恵器 | | | | | | | | |
| | | 無台榺 | 有台榺 | 蓋 | 無台榺 | 有台皿 | 蓋 | 無台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台榺 | 長甕 | 小甕 | 鍋 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 別類甕 | 広口甕 | | 甕蓋 | 模範 | |
| 1 IK SK1434 | 計測法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残值 | | | | | | | | | | 0.03 | 100.00% | | | | | | | | | | | | 0.03 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SK1502 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 7 | 29.16% | | | | | 2 | 8.33% | | 10 | 41.68% | 2 | 8.33% | 3 | 12.50% | | | | | | | | 24 | 100.00% |
| 1 IK SK1527 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 1 | 16.66% | 2 | 2.85% | | | | | | 3 | 50.02% | | | 1 | 16.66% | | 1 | 16.66% | | | | | 6 | 100.00% |
| 1 IK SK1541 | 口残值 | 0.06 | 42.85% | | | | | 0.08 | 57.15% | | | | | | | | | | | | | | | 0.14 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 | 50.00% | | | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 1 | 4.00% | | | | | 1 | 4.00% | | 21 | 84.00% | 2 | 8.00% | | | | | | | | | | 25 | 100.00% |
| 1 IK SK1565 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 3 | 20.00% | | | | | 1 | 6.66% | | 9 | 60.01% | 2 | 13.33% | | | | | | | | | | 15 | 100.00% |
| 1 IK SK1578 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% |
| 1 IK SK1579 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 2 | 33.33% | | | | | | | | 4 | 66.67% | | | | | | | | | | | | 6 | 100.00% |
| 1 IK SK1580 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 6 | 35.29% | | | | | | | | 7 | 41.18% | 3 | 17.64% | | | | | 1 | 5.88% | | | | 17 | 100.00% |
| 1 IK SK1607 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| 1 IK SK1609 | 口残值 | 0.08 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.08 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 6 | 60.00% | | | | | | | | 4 | 40.00% | | | | | | | | | | | | 10 | 100.00% |
| 1 IK SK1610 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 2 | 16.66% | | | | | | | | 6 | 50.01% | 3 | 25.00% | | | | | 1 | 8.33% | | | | 12 | 100.00% |
| 1 IK SK1615 | 口残值 | 0.14 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.14 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| | 底部数(点) | 1.00 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1.00 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 2 | 40.00% | | | | | 1 | 20.00% | | 2 | 40.00% | | | | | | | | | | | | 5 | 100.00% |
| 1 IK SK1619 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 18 | 13.53% | | | | | | | | 6 | 8.21% | | | | | | | | | | | | 73 | 100.00% |
| 1 IK SK1623 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 4 | 44.45% | | | | | 3 | 33.33% | | 2 | 22.22% | | | | | | | | | | | | 9 | 100.00% |
| 1 IK SK1629 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% |

| 通稱名 | 種別 | 食糧具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | |
|-----|--------|--------|------|---------|------|-----|---|-----|-----|----|-----|----|--------|-----|---|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 系炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | |
| | | 甗 | 有台甗 | 蓋 | 甗 | 有台皿 | 蓋 | 甗 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台碗 | 長棗 | 小棗 | 餅 | 鉢 | 大棗 | 長短瓶 | 別類甗 | 広口甗 | 甗蓋 | 模範 | | |
| 1区 | SK1636 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 3 | 18.75% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 5 | 7.81% | | | | | | | | 13 | 81.25% | | | | | | | | | | 16 |
| 1区 | SK1647 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1660 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1666 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 6 | 46.17% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 6 | 35.31% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1667 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1670 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1715 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1725 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 7 | 15.21% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 16 | 5.61% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1732 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1734 | 口残値 | 0.03 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 5 | 31.25% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1740 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1760 | 口残値 | 0.03 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 2 | 33.34% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1765 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 6.25% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1766 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 0.61% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1区 | SK1773 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 遺構名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|------------------|--------|-----|-----|---|------|-----|---|------|---------|----|-----|----|----|-----|---|----|-----|-----|-----|----|----|------|---------|----|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 須恵器 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | |
| | | 無台榺 | 有台榺 | 蓋 | 無台榺 | 有台皿 | 蓋 | 無台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台榺 | 長甕 | 小甕 | 罇 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 別頸甕 | 広口甕 | 甕蓋 | 模範 | | | |
| 1 K SK1782 | 計測法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | 0.14 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | 0.14 | 100.00% | |
| | 底数(点) | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 総重量(g) | | | | | | | 1 | 20.00% | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| 1 K SK1787 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1788 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1800 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1803 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1819 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1834 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1850 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1853 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1880 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1888 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1898 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1903 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1910 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K SK1916 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 遺構名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | |
|------------------|--------|------|--------|------|-------|-----|------|--------|------|--------|--------|----|----|-----|---|---|-----|-----|-----|-----|----|----|----|------|---------|--|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 緑釉陶器 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | | | |
| | | 無台榭 | 有台榭 | 蓋 | 無台榭 | 有台皿 | 蓋 | 無台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台榭 | 長巻 | 小巻 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 須恵器 | 灰口甕 | | 甕蓋 | 模範 | | | |
| 1 IK SD108 | 計測法 | 0.19 | 63.34% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.30 | 100.00% | |
| | 口残値 | 4 | 83.34% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 100.00% | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SD117 | 口残値 | 0.25 | 37.89% | | | | 0.19 | 28.78% | | | | | | | | | | | | | | | | 0.66 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 4 | 40.00% | | | | 3 | 30.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 10 | 100.00% | |
| | 底残値 | 0.31 | 32.63% | | | | 0.64 | 67.37% | | | | | | | | | | | | | | | | 0.95 | 100.00% | |
| | 底部数(点) | 2 | 40.00% | | | | 3 | 60.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 100.00% | |
| | 総重量(g) | 48 | 38.75% | | | | 7 | 5.64% | 1 | 0.80% | | | | | | | | | | | | | | 124 | 100.00% | |
| 1 IK SD352 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% | |
| 1 IK SD354 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 64 | 100.00% | |
| 1 IK SD406 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 85 | 100.00% | |
| 1 IK SD407 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 404 | 100.00% | |
| 1 IK SD411 | 口残値 | 0.06 | 20.68% | | | | 0.06 | 20.68% | 0.03 | 10.34% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 1 | 14.28% | | | | 2 | 28.57% | 1 | 14.28% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | 0.53 | 94.65% | 0.03 | 5.35% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | 2 | 66.67% | 1 | 33.33% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | 58 | 5.93% | 10 | 1.02% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SD413 | 口残値 | 0.11 | 21.56% | | | | 0.06 | 11.76% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 2 | 20.00% | | | | 1 | 10.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | 0.14 | 17.28% | | | | 0.42 | 51.86% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | 2 | 33.33% | | | | 2 | 33.34% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | 25 | 14.36% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SD419 | 口残値 | 0.11 | 21.56% | | | | 0.06 | 11.76% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 2 | 20.00% | | | | 1 | 10.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | 0.14 | 17.28% | | | | 0.42 | 51.86% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | 2 | 33.33% | | | | 2 | 33.34% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | 25 | 14.36% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SD420 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SD430 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SD462 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SD484 | 口残値 | 0.17 | 25.37% | | | | 0.28 | 41.82% | | 0.03 | 4.47% | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 3 | 23.07% | | | | 6 | 38.48% | | 1 | 7.69% | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | 0.25 | 59.53% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | | | | | | 1 | 33.33% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | 11 | 13.92% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SD486 | 口残値 | 0.28 | 47.48% | | | | 0.14 | 23.72% | | 0.3 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 5 | 41.67% | | | | 3 | 25.00% | | 1 | 8.33% | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | 0.19 | 22.89% | | | | 0.22 | 26.50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | 15 | 78.96% | | | | 2 | 10.52% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | | | | | | 10 | 7.19% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 IK SD495 | 口残値 | 0.14 | 8.04% | | | | 1.36 | 78.18% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 4 | 23.52% | | | | 7 | 41.20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | 0.22 | 6.83% | 0.19 | 5.90% | | 1.75 | 54.36% | 0.06 | 1.86% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底部数(点) | 2 | 18.18% | 1 | 9.09% | | 5 | 45.46% | 1 | 9.09% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総重量(g) | 51 | 25.37% | 1 | 0.49% | | 21 | 10.44% | 1 | 0.49% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|--------|--------|--------|-----|---|------|-----|---|-----|-----|----|------|--------------|----|-----|---|----|-----|-----|-----|-----|----|--|--------------|--------------|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 緑釉陶器 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | 土師器 | | | | |
| | | 甗 | 有台甗 | 蓋 | 甗 | 有台甗 | 蓋 | 甗 | 有台甗 | 杯蓋 | 有台甗 | 長甗 | 小甗 | 餅 | 鉢 | 大甗 | 長頸甗 | 別頸甗 | 広口甗 | 甗蓋 | 模範 | | | |
| 1 K | SD1258 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | 1 100.00% | | | | | | | | | | | 1 100.00% | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | 8 100.00% | | | | | | | | | | | | 8 100.00% |
| 1 K | SD1378 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | 0.33 100.00% | | | | | | | | | | | 0.33 100.00% | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | 2 100.00% | | | | | | | | | | | 2 100.00% | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | 0.28 100.00% | | | | | | | | | | | | 0.28 100.00% |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | 2 100.00% | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| 1 K | SD1384 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | 2 50.00% | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | 11 68.75% | | | | | | | | | | | | 16 100.00% |
| 1 K | SD1391 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1392 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1407 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1414 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1433 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1447 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1449 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1459 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1476 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1508 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1521 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 K | SD1524 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 選擇名 | 類別 | 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | |
|---------|-------|--------|------|---------|-----|-----|---|-----|-----|---|-----|-----|----|-----|----|-----|---|-----|---|----|----|----|----|----|----|------|---------|---------|
| | | | 土鍋器 | | 茶碗 | | | 須惠器 | | | 茶碗 | | 茶碗 | | | 土鍋器 | | 須惠器 | | | 茶碗 | | | | | | | |
| | | | 無台櫛 | 有台櫛 | 無台櫛 | 有台櫛 | 蓋 | 無台櫛 | 有台櫛 | 蓋 | 無台櫛 | 有台櫛 | 蓋 | 有台櫛 | 長邊 | 小邊 | 餅 | 鉢 | 鉢 | 大鉢 | 長邊 | 別類 | | 廣口 | 茶蓋 | 模範 | | |
| 2 JK | SK41 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.97 | 100.00% | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| | | 底殘值 | 0.31 | 23.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1.00 | 76.34% |
| | | 底部數(点) | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 50.00% |
| 2 JK | SK43 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK44 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK45 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK46 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK49 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK53 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK55 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK57 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK58 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK83 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK104 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK114 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | 0.17 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK121 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 JK | SK127 | 口殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口餘數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底殘值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部數(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | 茶炊具 | | | | | | | | | | 合計 | |
|---------|-------|--------|------|--------|------|-----|---|-----|------|---------|------|----|-----|------|---------|-----|---|----|------|---------|-----|-----|----|----|-------|------|------|
| | | 土鍋器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 緑釉陶器 | | 土鍋器 | | | 須恵器 | | | 土鍋器 | | | | | | | | |
| | | 無台櫛 | 有台櫛 | 蓋 | 無台櫛 | 有台皿 | 蓋 | 無台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台櫛 | 長巻 | 小巻 | 鍋 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 須恵器 | 別類甕 | 広口甕 | 壺蓋 | 樽瓶 | | | |
| 2 JK | SK137 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | 0.56 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.56 |
| | | 底面数(点) | | | | | | | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 総点数(点) | 1 | 33.33% | | | | | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 2 JK | SK172 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | 1 | 50.00% | | | | 0.03 | 33.33% | | | | | | | | | | | 0.09 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | 2 | 40.00% | | | | 1 | 20.00% | | | | 2 | 40.00% | | | | | | | 5 |
| 2 JK | SK173 | 口残値 | 0.03 | 11.53% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 16.66% | | | | | 0.03 | 11.53% | | | | 0.06 | 23.07% | | | | 0.11 | 42.34% | | | | | | 0.26 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | 1 | 16.66% | | | | | | | | | 1 | 16.66% | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | 7 | 21.21% | | | | | 1 | 3.03% | | | | 1 | 3.03% | | | | 11 | 33.33% | | | | | | 13 | |
| 2 JK | SK184 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | 0.03 | 100.00% | | | | | | | | | | 0.03 | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | 2 | 22.22% | | | | 7 | 77.78% | | | | | | 9 | |
| 2 JK | SK180 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | 1 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | 13 | 100.00% | | | | | | 13 | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.03 | 15.00% | | | | | | 0.20 | |
| 2 JK | SD20 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | 0.17 | 85.00% | | | | 3 | 75.00% | | | | | | 4 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | 4 | 30.76% | | | | 1 | 7.69% | | | | | | 13 | |
| 2 JK | SD26 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | 0.08 | 57.15% | | | | | | | | | | | 0.06 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 2 | 66.67% | | | | 0.42 | 79.25% | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | 2 | 5.88% | | | | | 0.11 | 20.75% | | | | 1 | 33.33% | | | | 1 | 100.00% | | | | | | 3 | |
| 2 JK | SD27 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | 0.17 | 85.00% | | | | 3 | 75.00% | | | | | | 4 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | 2 | 5.88% | | | | | 4 | 30.76% | | | | 19 | 35.84% | | | | 7 | 53.86% | | | | 1 | 7.69% | 13 | |
| 2 JK | SD28 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | 0.08 | 57.15% | | | | | | | | | | | 0.06 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 2 | 66.67% | | | | 0.42 | 79.25% | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | 2 | 5.88% | | | | | 0.11 | 20.75% | | | | 1 | 33.33% | | | | 1 | 100.00% | | | | | | 3 | |
| 2 JK | SD29 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | 0.25 | 42.40% | | | | 0.11 | 18.64% | | | | | | 0.06 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | 0.06 | 10.16% | | | | | | 0.06 | |
| | | 総点数(点) | 3 | 6.52% | | | | | 10 | 21.73% | | | | 20 | 43.50% | | | | 8 | 17.39% | | | | | | 46 | |
| 2 JK | SD30 | 口残値 | 0.11 | 18.64% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 3 | 23.07% | | | | | | | | | | 0.25 | 42.40% | | | | 0.11 | 18.64% | | | | | | 0.59 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | 1 | 100.00% | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | 0.28 | 30.43% | | | | | 4 | 46.58% | | | | 4 | 66.58% | | | | 0.22 | 23.91% | | | | | | 0.92 | |
| 2 JK | SD32 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | 0.11 | 33.33% | | | | 1 | 100.00% | | | | | | 1 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | 1 | 100.00% | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | 1 | 11.11% | | | | | 10 | 21.73% | | | | 2 | 22.22% | | | | 1 | 11.11% | | | | | | 9 | |
| 2 JK | SD33 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | 0.25 | 42.40% | | | | 0.11 | 18.64% | | | | | | 0.42 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | 1 | 100.00% | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | 3 | 6.52% | | | | | 10 | 21.73% | | | | 5 | 10.86% | | | | 20 | 43.50% | | | | | | 46 | |
| 2 JK | SD42 | 口残値 | 0.11 | 18.64% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 3 | 23.07% | | | | | | | | | | 0.25 | 42.40% | | | | 0.11 | 18.64% | | | | | | 0.59 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | 1 | 100.00% | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | 0.28 | 30.43% | | | | | 4 | 46.58% | | | | 4 | 66.58% | | | | 0.22 | 23.91% | | | | | | 0.92 | |
| 2 JK | SD54 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | 0.11 | 33.33% | | | | 1 | 100.00% | | | | | | 1 | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | 1 | 100.00% | | | | | | 1 | |
| | | 総点数(点) | 1 | 11.11% | | | | | 10 | 21.73% | | | | 2 | 22.22% | | | | 1 | 11.11% | | | | | | 9 | |

| 通稱名 | 種別 | 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|--------|-------|--------|-----|-----|---|------|-----|---|-----|-----|----|------|----|----|-----|---|---|-----|-----|-----|-----|----|----|--|----|
| | | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 緑釉陶器 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | |
| | | | 甗台碗 | 甗台碗 | 蓋 | 甗台碗 | 甗台皿 | 蓋 | 甗台杯 | 甗台杯 | 杯蓋 | 甗台碗 | 長巻 | 小巻 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大甗 | 長頸甗 | 別類甗 | 広口甗 | 甗蓋 | 甗蓋 | | |
| 2 K | SD170 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 K | SD171 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 K | SD178 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 K | SD179 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 K | SD181 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 K | SK81 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 K | SK84 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 K | SK85 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 K | SK86 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 K | SK87 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 K | SK90 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 K | SK94 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 K | SK95 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 K | SK96 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 K | SK97 | 口残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残值 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | |
|---------|-------|--------|--------------|------|-----|-----|--------------|----------|----|-----|-------------|-------------|--------------|------------|---|-----|-----|------------|-----|----|----|--------------|--------------|
| | | 土師器 | | 黒色土師 | | 須恵器 | | 緑釉陶器 | | 土師器 | | | 須恵器 | | | 土師器 | | | | | | | |
| 計測法 | 黒台碗 | 有台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 有台碗 | 長巻 | 小巻 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 須恵器 別類器 | 広口甕 | 甕蓋 | 楕瓶 | | |
| 3 JK | SK98 | 口残値 | 0.06 10.71% | | | | 0.08 14.28% | | | | 0.42 75.01% | | | | | | | | | | | 0.56 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 1 8.33% | | | | 2 16.66% | | | | 9 75.01% | | | | | | | | | | | | 12 100.00% |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | 1 0.99% | | | | | 2 1.98% | | | | 93 92.08% | 5 4.95% | | | | | | | | | | 101 100.00% |
| | | 総重量(α) | 7 0.62% | | | | | 7 0.62% | | | | 1097 97.87% | 10 0.89% | | | | | | | | | | |
| 3 JK | SK99 | 口残値 | 0.19 21.34% | | | | 0.14 15.73% | | | | 0.42 47.20% | 0.14 15.73% | | | | | | | | | | 0.89 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 4 28.57% | | | | 1 7.14% | | | | 6 42.87% | 3 21.42% | | | | | | | | | | | 14 100.00% |
| | | 底残値 | | | | | 0.19 70.38% | | | | | 0.08 29.62% | | | | | | | | | | | 0.27 100.00% |
| | | 底点数(点) | 1 50.00% | | | | 1 50.00% | | | | 80 74.79% | 8 7.47% | 10 9.34% | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | | 総重量(α) | 15 1.76% | | | | 1 0.93% | | | | 647 75.95% | 68 7.98% | 98 11.50% | | | | | | | | | | 852 100.00% |
| 3 JK | SK101 | 口残値 | 0.06 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 2 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | 0.08 100.00% | | | | | | | | | | 0.08 100.00% |
| | | 底点数(点) | 2 28.57% | | | | | | | | | | 1 100.00% | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | | 総重量(α) | 2 6.25% | | | | | | | | | | 3 42.86% | 2 28.57% | | | | | | | | | |
| 3 JK | SK103 | 口残値 | 0.06 5.94% | | | | 0.67 66.34% | | | | 0.14 13.86% | 0.14 13.86% | | | | | | | | | | 1.01 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 1 25.00% | | | | 1 25.00% | | | | 1 25.00% | 1 25.00% | | | | | | | | | | | 4 100.00% |
| | | 底残値 | | | | | 1.00 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 1.00 100.00% |
| | | 底点数(点) | 1 100.00% | | | | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | | 総重量(α) | 2 13.33% | | | | 116 46.40% | | | | | 7 46.69% | 4 26.66% | 1 6.66% | | | | | | | | | 15 100.00% |
| 3 JK | SK108 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | 3 42.85% | | | | 4 57.15% | | | | | | | | | | | 7 100.00% |
| | | 総重量(α) | | | | | | 2 10.00% | | | | 18 90.00% | | | | | | | | | | | 20 100.00% |
| 3 JK | SK109 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | 8 66.68% | 2 16.66% | 2 16.66% | | | | | | | | | 12 100.00% |
| | | 総重量(α) | | | | | | | | | | 69 36.89% | 5 2.67% | 113 60.44% | | | | | | | | | 187 100.00% |
| 3 JK | SK114 | 口残値 | 0.22 78.58% | | | | 0.06 21.42% | | | | | | | | | | | | | | | 0.28 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 9 90.00% | | | | 1 10.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 10 100.00% |
| | | 底残値 | | | | | 0.14 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 0.14 100.00% |
| | | 底点数(点) | 1 100.00% | | | | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | | 総重量(α) | 12 24.00% | | | | 4 8.00% | 1 2.00% | | | | 28 56.00% | 3 6.00% | 2 4.00% | | | | | | | | | 50 100.00% |
| 3 JK | SK119 | 口残値 | 0.19 76.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.25 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 3 75.00% | | | | | | | | | | 0.06 24.00% | | | | | | | | | | 4 100.00% |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | 2 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | | 総重量(α) | 15 78.96% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 19 100.00% |
| 3 JK | SK121 | 口残値 | | | | | 0.17 85.00% | | | | | | | | | | | | | | | 0.20 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | 2 66.67% | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% |
| | | 底残値 | 0.58 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.58 100.00% |
| | | 底点数(点) | 2 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | | 総重量(α) | 3 12.50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 24 100.00% |
| 3 JK | SK126 | 口残値 | 0.06 66.67% | | | | 4 16.66% | | | | | | | | | | | | | | | 0.09 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 1 50.00% | | | | 10 7.66% | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | | 総重量(α) | 6 66.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 100.00% |
| 3 JK | SK127 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(α) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 JK | SK129 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(α) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 JK | SK131 | 口残値 | 0.14 50.01% | | | | 0.08 28.57% | | | | | | | | | | | | | | | 0.28 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 2 33.34% | | | | 2 33.33% | | | | | | | | | | | | | | | | 6 100.00% |
| | | 底残値 | 0.14 19.44% | | | | 0.47 65.29% | | | | | | | | | | | | | | | | 0.72 100.00% |
| | | 底点数(点) | 1 25.00% | | | | 2 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 4 100.00% |
| | | 総重量(α) | 10 40.00% | | | | 4 16.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 25 100.00% |
| 3 JK | SK137 | 口残値 | 0.06 14.28% | | | | 34 28.57% | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 2 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(α) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 JK | SK138 | 口残値 | 0.08 50.00% | | | | 0.08 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | 0.16 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 1 50.00% | | | | 1 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(α) | 7 77.78% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 100.00% |

別表 12 第 24 次調査 沖ノ羽遺跡遺構出土古代土器器種構成率

凡例 1 遺構から出土した古代の土器(土師器・黒色土器・須恵器)の構成比率を示した表である。
 2 土器の計測法は口縁部残存率法(守野 1992、春日 1994)とそれを応用した底部残存率法により計測した。また、併せて口縁数・底部数を示した。
 3 口縁・底部残存率によって得られた数値は¹/₃₆を示し、それぞれ口縁値・底残値と略記した。

| 遺構名 | 種別 | 器種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | |
|-----------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|-----|------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|------|--------|--------|--------|-------|------|---------|---------|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | 須恵器 | | 煮炊具 | | | 土師器 | | 須恵器 | | その他 | | | | | | | |
| 計測法 | | 無台碗 | 蓋 | 無台碗 | 有台皿 | 蓋 | 無台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長巻 | 小甕 | 鍋 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 短頸壺 | 壺蓋 | 横瓶 | | |
| 1区 SX10 | 口縁値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | |
| 総重量(g) | 4 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | |
| 1区 SD12 | 口縁値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 50.00% | | | | | | | 2 | 50.00% | | | | | | | | | | | 4 |
| 総重量(g) | 2 | 11.76% | | | | | | | 15 | 88.24% | | | | | | | | | | | 17 | |
| 2区東 SE12 | 口縁値 | | | | | | | | 0.06 | 26.08% | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 2 | 66.67% | | | | | | 1 | 33.33% | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.14 | 100.00% | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 4 | 22.22% | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | 4 | 22.22% | | | | 18 |
| 総重量(g) | 22 | 8.17% | | | | | | 1 | 5.55% | 1 | 5.55% | | | | 3 | 16.66% | | | | 5 | 27.80% | |
| 2区東 SE20 | 口縁値 | | | | | | | | 0.03 | 21.42% | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 1 | 50.00% | | | | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.17 | 100.00% | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 3.50% | | | | | | 5 | 8.77% | | | | | | 3 | 5.26% | 1 | 1.75% | | 1 | 1.75% |
| 総重量(g) | 7 | 1.32% | | | | | | 53 | 10.01% | | | | | | 101 | 19.09% | | | | 18 | 3.40% | |
| 2区東 SE65 | 口縁値 | | | | | | | | 0.17 | 37.80% | 0.08 | 17.77% | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 1 | 33.33% | | | | | | 2 | 28.58% | 1 | 14.28% | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.06 | 18.18% | 0.08 | 24.24% | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 33.34% | | | | | | 1 | 33.33% | 1 | 33.33% | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | 12 | 13.04% | | | | | | 8 | 8.69% | 2 | 2.17% | 4 | 4.34% | | | 47 | 51.14% | 1 | 1.08% | 10 | 10.86% | |
| 2区東 SE77 | 口縁値 | | | | | | | | 0.08 | 72.73% | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 1 | 33.33% | | | | | | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.22 | 100.00% | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 14.28% | | | | | | 3 | 21.42% | | | | | | 9 | 64.30% | | | | 14 | 100.00% |
| 総重量(g) | 6 | 6.45% | | | | | | 29 | 31.18% | | | | | | 58 | 62.37% | | | | 93 | 100.00% | |
| 2区東 SE162 | 口縁値 | | | | | | | | 0.11 | 64.71% | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 0.25 | 64.11% | | | | | | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.14 | 35.89% | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 50.00% | | | | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | 1 | 5.00% | | | | | | 3 | 15.00% | | | | | | 16 | 80.00% | | | | 20 | 100.00% | |
| 2区東 SE203 | 口縁値 | | | | | | | | 0.03 | 50.00% | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | 1 | 50.00% | | | | | | 0.03 | 50.00% | | | | 2 | 100.00% |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.03 | 50.00% | | | | | | 1 | 50.00% | | | | 0.06 | 100.00% |
| | 総点数(点) | 4 | 26.66% | | | | | | 8 | 53.35% | 1 | 6.66% | 2 | 13.33% | | | | | | | | 15 |
| 総重量(g) | 20 | 17.69% | | | | | | 51 | 45.16% | 14 | 12.38% | 28 | 24.77% | | | | | | | | 113 | 100.00% |
| 2区東 SE221 | 口縁値 | | | | | | | | 0.11 | 27.50% | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 0.06 | 15.00% | 0.03 | 7.50% | | | | 0.11 | 27.50% | 0.06 | 15.00% | 0.03 | 7.50% | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.11 | 27.50% | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 20.00% | 1 | 10.00% | | | | 2 | 20.00% | 2 | 20.00% | 1 | 10.00% | | | | | | | | |
| 総重量(g) | 2 | 20.00% | 1 | 10.00% | 0.17 | 14.91% | | 0.44 | 38.61% | 0.17 | 14.91% | | | | 0.22 | 19.29% | | | | 1.14 | 100.00% | |
| 2区東 SE654 | 口縁値 | | | | | | | | 0.03 | 4.68% | 0.08 | 12.50% | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 8 | 57.15% | 0.14 | 21.87% | | | | 1 | 7.14% | | 1 | 7.14% | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.03 | 4.68% | 0.08 | 12.50% | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 75.00% | 4 | 28.57% | | | | 1 | 25.00% | | 1 | 25.00% | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | 63 | 47.04% | 7 | 5.22% | | | | 1 | 0.74% | 9 | 6.71% | | | | 9 | 6.71% | | | | 134 | 100.00% | |
| 2区東 SE704 | 口縁値 | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | 0.03 | 21.42% | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.03 | 21.42% | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 50.00% | | | | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | 4 | 22.22% | | | | | | 2 | 11.11% | | | | | | 2 | 11.11% | | | | 18 | 100.00% | |
| 2区東 SE813 | 口縁値 | | | | | | | | 0.11 | 28.20% | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 0.17 | 43.60% | 0.11 | 28.20% | | | | 0.11 | 28.20% | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.11 | 28.20% | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 4 | 50.00% | 3 | 37.50% | | | | 1 | 12.50% | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | 105 | 37.83% | 14 | 5.03% | | | | 13 | 4.67% | 5 | 1.79% | | | | 14 | 17.50% | 3 | 3.75% | | 1 | 1.25% | |
| 2区東 SE835 | 口縁値 | | | | | | | | 0.09 | 55.32% | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 0.06 | 3.52% | | | | | | 0.14 | 8.23% | 0.14 | 8.23% | 0.42 | 24.70% | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.09 | 55.32% | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 3.84% | | | | | | 2 | 7.69% | 7 | 26.92% | 4 | 15.38% | | | | | | | | |
| 総重量(g) | 4 | 2.32% | | | | | | 131 | 55.28% | | | | | | 1.06 | 44.72% | | | | 2.37 | 100.00% | |
| 2区東 SK8 | 口縁値 | | | | | | | | 0.16 | 0.89% | 1074 | 60.29% | 356 | 19.97% | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 5 | 0.28% | | | | | | 331 | 18.57% | | | | | | | | | | | | |
| | 底残値 | | | | | | | | 0.16 | 0.89% | 1074 | 60.29% | 356 | 19.97% | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 4 | 2.32% | | | | | | 18 | 10.46% | | | | | | 82 | 47.69% | | | | 172 | 100.00% |
| 総重量(g) | 5 | 0.28% | | | | | | 331 | 18.57% | | | | | | 16 | 0.89% | | | | 1074 | 100.00% | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|-----|-------|---|---|-------------------------|-----|-------|--|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---|---|--|----|---|----|-----|---------------------|---|---|--|--|---|
| | | 土師器 | | | | 黒色土師器 | | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | | 土師器 | | | | | | |
| | | 黒台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長器 | 小器 | 鍋 | 鉢 | 伝鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 甕蓋 | 横瓶 | | | |
| 2区東 | SK210 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | 0.31 100.00% 1 100.00% 6 9.23% 46 8.50% | | | | 0.08 20.51% 1 20.00% | | | | | | 0.31 79.49% 4 80.00% | | | | | | | | 0.39 100.00% 5 100.00% 0.31 100.00% 1 100.00% 65 100.00% 541 100.00% | | |
| 2区東 | SK215 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | 0.03 14.28% 2 33.33% 0.17 54.83% 1 50.00% 4 7.84% 10 5.62% | | | | 0.06 28.57% 1 16.66% | 0.14 45.16% 1 50.00% | | 0.06 28.57% 1 16.66% | | | 0.06 28.57% 2 33.33% | | | | | | 2 3.92% 11 60.77% 2 1.10% | | 0.21 100.00% 6 100.00% 0.31 100.00% 2 100.00% 51 100.00% 181 100.00% 3 100.00% 0.19 100.00% 1 100.00% 28 100.00% 82 100.00% 0.23 100.00% 4 100.00% 0.52 100.00% 3 100.00% 39 100.00% 175 100.00% | | |
| 2区東 | SK216 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | 0.11 64.71% 2 66.67% 0.19 100.00% 1 100.00% | | 0.06 35.29% 1 33.33% | | | | | | | | | | 2 3.92% 11 39.30% 2 2.43% 7 25.00% 36 43.93% 21 25.60% | | 0.17 100.00% 3 100.00% 0.19 100.00% 1 100.00% 28 100.00% 82 100.00% 0.23 100.00% 4 100.00% 0.52 100.00% 3 100.00% 39 100.00% 175 100.00% | | |
| 2区東 | SK217 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | 0.03 13.04% 1 25.00% 0.14 26.92% 1 33.33% 7 17.94% 25 14.28% | 0.03 13.04% 1 25.00% | | | 0.19 36.55% 1 33.34% | | | | | | 0.19 36.53% 1 33.33% | | | | | | 1 2.56% 11 28.20% 2 2.43% 7 25.00% 36 43.93% 21 25.60% | | 0.23 100.00% 4 100.00% 0.52 100.00% 3 100.00% 39 100.00% 175 100.00% | | |
| 2区東 | SK222 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 33.33% 4 66.67% 12 57.15% 9 42.85% | | 6 100.00% 21 100.00% 0.29 100.00% 5 100.00% 0.30 100.00% 3 100.00% 103 100.00% 531 100.00% 0.03 100.00% 1 100.00% | |
| 2区東 | SK223 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | 0.06 20.68% 1 20.00% 0.08 26.66% 1 33.33% 3 2.91% 8 1.50% | | | | 0.06 20.68% 1 20.00% 0.08 26.66% 1 33.33% | | | | | | 0.11 37.96% 2 40.00% 0.11 36.68% 1 33.33% | | | | | | 55 53.41% 38 36.89% 1 0.97% 317 59.73% 79 14.87% 61 11.48% | | 0.11 36.66% 1 33.33% 3 2.91% 44 8.28% | 0.29 100.00% 5 100.00% 0.30 100.00% 3 100.00% 103 100.00% 531 100.00% 0.03 100.00% 1 100.00% | |
| 2区東 | SK224 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.03 100.00% 1 100.00% | | 0.03 100.00% 1 100.00% | |
| 2区東 | SK226 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | 0.03 9.67% 1 16.66% 2 4.25% 4 1.80% | | | | 0.06 19.35% 1 16.66% 0.11 100.00% 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | 11 91.67% 28 90.33% 43 91.50% 206 93.23% | | 12 100.00% 31 100.00% 0.11 100.00% 1 100.00% 47 100.00% 221 100.00% 3.23 100.00% 37 100.00% 2.50 100.00% 12 100.00% 266 100.00% 2.838 100.00% | |
| 2区東 | SK227 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | 0.08 2.47% 2 5.40% 0.08 3.20% 1 8.33% 5 1.87% 19 0.66% | 0.11 3.40% 2 5.40% | | | 0.08 3.20% 1 8.33% 33 12.40% 215 7.57% | | 0.39 12.07% 1 2.70% | | 0.73 22.60% 1.00 40.00% 2 16.66% 3 25.00% 166 62.46% 40 15.03% 15 5.63% 186 6.55% 1545 54.48% 295 10.39% 547 19.27% | 0.67 20.74% 0.50 20.00% 6 50.01% 3 25.00% 40 15.03% 15 5.63% 11 0.38% | 0.08 2.47% 2 5.40% | | | | | 1 0.37% 11 0.38% | | 1 0.37% 11 0.38% | 2.838 100.00% | | |
| 2区東 | SK273 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 100.00% 5 100.00% | | 5 100.00% 5 100.00% | |
| 2区東 | SK290 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% 6 100.00% | | 2 100.00% 6 100.00% | |
| 2区東 | SK302 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | 0.03 17.64% 1 33.34% | | | 0.08 47.07% 1 33.33% | | | 0.06 35.29% 1 33.33% | | | | | | | 2 100.00% 6 100.00% | | 0.17 100.00% 3 100.00% 0.20 100.00% 2 100.00% 34 100.00% 288 100.00% 0.42 100.00% 1 100.00% 0.78 100.00% 1 100.00% 16 100.00% 226 100.00% 0.11 100.00% 2 100.00% 0.19 100.00% 1 100.00% 29 100.00% 236 100.00% 0.11 100.00% 2 100.00% 0.06 100.00% 1 100.00% 59 100.00% 351 100.00% | |
| 2区東 | SK316 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | 0.42 100.00% 1 100.00% 0.78 100.00% | | | | | | | | | | | | | 1 6.25% 13 81.25% 47 20.79% 56 24.77% | | 0.42 100.00% 1 100.00% 0.78 100.00% 1 100.00% 16 100.00% 226 100.00% 0.11 100.00% 2 100.00% 0.19 100.00% 1 100.00% 29 100.00% 236 100.00% 0.11 100.00% 2 100.00% 0.06 100.00% 1 100.00% 59 100.00% 351 100.00% | |
| 2区東 | SK346 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | 0.03 27.27% 1 50.00% | | | | | | | | | | | | | 0.08 72.73% 1 50.00% | | 0.11 100.00% 2 100.00% 0.19 100.00% 1 100.00% 29 100.00% 236 100.00% 0.11 100.00% 2 100.00% 0.06 100.00% 1 100.00% 59 100.00% 351 100.00% | |
| 2区東 | SK356 | 口残値 口縁数(点) 底器数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 3.44% 24 82.78% 115 48.75% 67 28.38% | | 0.11 100.00% 2 100.00% 0.06 100.00% 1 100.00% 49 83.07% 8 13.55% 291 82.92% 56 15.95% | 0.11 100.00% 2 100.00% 0.06 100.00% 1 100.00% 59 100.00% 351 100.00% |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|-----|-------|--------------------|--------------|--------------|-----|---------|-------------|-----|--------------|--------------|-------------|---|---|-----|-----------|-----------|-----|-----|----|---|--------------|----|
| | | 土師器 | | | | 須恵器 | | | | 煮炊具 | | | | 土師器 | | | | 須恵器 | | | | |
| | | 黒白陶 | 蓋 | 黒白陶 | 有台皿 | 蓋 | 黒白杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長露 | 小露 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大露 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 帶蓋 | 壺 | | |
| 2区東 | SK357 | 口残値 0.03 33.33% | | | | | | | 0.06 66.67% | | | | | | | | | | | | 0.09 100.00% | |
| | | 口縁数(点) 1 50.00% | | | | | | | 1 50.00% | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | |
| | | 底面数(点) | | | | | 0.19 63.34% | | | 0.11 36.66% | | | | | | | | | | | 0.30 100.00% | |
| | | 総点数(点) | 11 23.40% | 1 2.12% | | | 2 4.25% | | 24 51.10% | 5 10.63% | | | | | 2 4.25% | 2 4.25% | | | | | 47 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 8 4.34% | 5 2.71% | | | 10 5.43% | | 100 54.38% | 14 7.60% | | | | | 23 12.50% | 24 13.04% | | | | | 184 100.00% | |
| 2区東 | SK402 | 口残値 | | | | | | | | 0.11 100.00% | | | | | | | | | | | 0.11 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | 2 100.00% | | | | | | | | | | | 2 100.00% | |
| | | 底面数(点) | | 0.25 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.25 100.00% | |
| | | 総点数(点) | 2 8.33% | 1 4.16% | | | | | 5 20.83% | 16 66.68% | | | | | | | | | | | 24 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 3 5.00% | 13 21.66% | | | | | 15 25.00% | 29 48.34% | | | | | | | | | | | 60 100.00% | |
| 2区東 | SK446 | 口残値 | 0.03 13.63% | | | | 0.08 36.38% | | 0.03 13.63% | 0.08 36.36% | | | | | | | | | | | 0.22 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 1 16.66% | | | | 2 33.34% | | 1 16.66% | 2 33.34% | | | | | | | | | | | 6 100.00% | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 8 25.80% | | | | 2 6.45% | | 17 54.85% | 4 12.90% | | | | | | | | | | | 31 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 13 13.82% | | | | 10 10.63% | | 49 52.15% | 22 23.40% | | | | | | | | | | | 94 100.00% | |
| 2区東 | SK457 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | 4 80.00% | | | | | | | | | | | | 5 100.00% | |
| | | 総重量(g) | | | | | 1 1.75% | | 56 98.25% | | | | | | | | | | | | 57 100.00% | |
| 2区東 | SK500 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 10.00% | | | | | | 3 30.00% | 5 50.00% | | | | | | | | | | | 1 10.00% | |
| | | 総重量(g) | 1 2.17% | | | | | | 11 23.91% | 16 34.79% | | | | | | | | | | | 18 39.13% | |
| 2区東 | SK523 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 7 18.91% | | | 1 2.70% | | | 28 75.69% | 1 2.70% | | | | | | | | | | | 37 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 7 3.39% | | | 5 2.42% | | | 190 92.25% | 4 1.94% | | | | | | | | | | | 206 100.00% | |
| 2区東 | SK557 | 口残値 | | | | | | | 0.03 50.00% | 0.03 50.00% | | | | | | | | | | | 0.06 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | 1 50.00% | 1 50.00% | | | | | | | | | | | 2 100.00% | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 2 6.45% | | | | 2 6.45% | | 22 70.98% | 4 12.90% | | | | | 1 3.22% | | | | | | 31 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 3 2.80% | | | | 5 4.67% | | 90 84.13% | 3 2.80% | | | | | 6 5.60% | | | | | | 107 100.00% | |
| 2区東 | SK571 | 口残値 | | | | | | | 0.06 42.85% | | 0.08 57.15% | | | | | | | | | | 0.14 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | 1 50.00% | | 1 50.00% | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | |
| | | 底面数(点) | 0.08 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.08 100.00% | |
| | | 総点数(点) | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 3 16.66% | | | | 1 5.55% | | 11 61.13% | 2 11.11% | | | | | | | | | | | 18 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 7 9.85% | | | | 3 4.22% | | 6 8.45% | 42 59.18% | 13 18.30% | | | | | | | | | | 71 100.00% | |
| 2区東 | SK581 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 100.00% | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 33 100.00% | |
| 2区東 | SK590 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.08 100.00% | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | |
| 2区東 | SK599 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.17 100.00% | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% | |
| 2区東 | SK615 | 口残値 | 0.06 66.67% | | | | | | 0.03 33.33% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 50.00% | | | | | | 1 50.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 4 40.00% | | | | 1 10.00% | | | | | | | | | | | | | | 5 50.00% | |
| | | 総重量(g) | 7 24.13% | | | | 2 6.89% | | | | | | | | | | | | | | 20 68.98% | |
| 2区東 | SK624 | 口残値 | | | | | | | 0.19 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | 3 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | 0.17 50.01% | 0.03 8.82% | | | | | | | | | | | 0.14 41.17% | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% | |
| 2区東 | SK625 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 106 100.00% | |
| 2区東 | SK627 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 0.11 36.66% | | | | 0.19 63.34% | | | | | | | | | | | | | | 0.30 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 1 50.00% | | | | 1 50.00% | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 1 2.50% | | | | 1 2.50% | | 10 25.00% | 27 67.50% | | | | | | | | | | | 40 100.00% | |
| | | 総重量(g) | 12 4.66% | | | | 1 0.38% | | 19 7.39% | 126 49.05% | 99 38.52% | | | | | | | | | | 257 100.00% | |

| 通稱名 | 類別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | |
|-----|-------|--------|------|---------|-----|---|-----|------|--------|-----|------|---------|-----|---|---|-------|-----|-----|-------|---|------|---------|---------|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | |
| | | 黒台榎 | 蓋 | 黒台榎 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長器 | 小器 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大器 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 甕 | 壺 | | | |
| 2区東 | SK628 | 口残値 | 0.28 | 71.80% | | | | | | | 0.11 | 28.20% | | | | | | | | | 0.39 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 4 | 80.00% | | | | | | | 1 | 20.00% | | | | | | | | | | 5 | 100.00% |
| | | 底器数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| | | 総点数(点) | 11 | 55.00% | | | | | | | 5 | 25.00% | | | | | | 1 | 5.00% | | | 20 | 100.00% |
| 2区東 | SK631 | 口残値 | 0.08 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.08 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 5 | 38.48% | | | | | | | 4 | 30.76% | | | 1 | 7.69% | | | | | 13 | 100.00% | |
| 2区東 | SK641 | 口残値 | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 8.33% | | | | | | | 0.17 | 100.00% | | | | | | | | | 0.17 | 100.00% | |
| 2区東 | SK642 | 口残値 | 0.11 | 64.71% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.17 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 50.00% | | | | 0.06 | 35.29% | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | |
| | | 底器数(点) | 1 | 10.00% | | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | 10 | 100.00% | |
| | | 総点数(点) | 5 | 11.11% | | | | 7 | 15.55% | | | | | | | | | | | | 33 | 73.34% | |
| 2区東 | SK645 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK646 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | 0.56 | 54.37% | | 0.47 | 45.63% | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | 1 | 50.00% | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK658 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK662 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK675 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK690 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK695 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK729 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK745 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK762 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK766 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | |
|-----|-----------|---|---|-----|-------|---|-----------|--------------------|----|----|-----|---|---|-----|---|----|-----|-----|----|----|-----------|--------------------|--|
| | | 土師器 | | | 黒色土師器 | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | |
| | | 黒台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長露 | 小甕 | 鍋 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 甕蓋 | 樽蓋 | | | |
| 2区東 | SK781 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | 0.11 2 | 100.00% 100.00% | | | | | | | | | | | | | 0.11 2 | 100.00% 100.00% | |
| 2区東 | SK787 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK790 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK807 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK823 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK829 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK833 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK834 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK849 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK854 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK857 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK859 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK865 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK880 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK881 | 口残値 口縁数(点) 底面数(点) 総点数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | |
|-----|-----------|--------|------|---------|------|---|-----|-----|------|---------|---------|---|------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|----|------|---------|---------|---------|
| | | 土師器 | | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | |
| | | 黒白陶 | 蓋 | 黒白陶 | 有台皿 | 蓋 | 黒白杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長器 | 小器 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大器 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 壺蓋 | 壺蓋 | | | | |
| 2区東 | SK886 | 口残値 | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 3.84% | | | | | 1 | 3.84% | | | | | | | | | | | | 26 | 100.00% | |
| 2区東 | SK887 | 口残値 | | | | | | | 0.22 | 41.50% | | | | 0.31 | 58.50% | | | | | | 0.53 | 100.00% | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | 3 | 60.00% | | | | 2 | 40.00% | | | | | | 5 | 100.00% | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 2 | 2.24% | | | | | 3 | 3.37% | | | | 68 | 76.42% | 14 | 15.73% | 2 | 2.24% | | | 89 | 100.00% | |
| 2区東 | SK888 | 口残値 | 0.03 | 33.33% | | | | | 0.06 | 66.67% | | | | | | | | | | | 0.09 | 100.00% | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 50.00% | | | | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 5 | 9.25% | | | | | | 1 | 1.85% | | | 40 | 74.09% | 8 | 14.81% | | | | | 54 | 100.00% | |
| 2区東 | SK890 | 口残値 | 5 | 2.11% | | | | | 9 | 3.81% | | | | 179 | 75.86% | 43 | 18.22% | | | | | 236 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 5 | 2.11% | | | | | | 0.06 | 42.85% | | 0.08 | 57.15% | | | | | | | | 0.14 | 100.00% | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | 1 | 50.00% | | | 1 | 50.00% | | | | | | | 2 | 100.00% | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | 22 | 88.00% | 3 | 12.00% | | | | | 25 | 100.00% | |
| 2区東 | SK891 | 口残値 | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | 1 | 5.55% | | | 9 | 50.01% | 8 | 44.44% | | | | | | 18 | 100.00% |
| 2区東 | SK893 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK895 | 口残値 | 0.03 | 6.81% | | | | | 0.08 | 18.18% | | | | 0.25 | 56.83% | | 0.08 | 18.18% | | | | 0.44 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 14.28% | | | | | 2 | 28.57% | | | | 3 | 42.87% | | 1 | 14.28% | | | | 7 | 100.00% | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 7 | 10.29% | | | | | 2 | 2.94% | | | 45 | 66.19% | 12 | 17.64% | | 1 | 1.47% | | 1 | 1.47% | 68 | 100.00% |
| 2区東 | SK897 | 口残値 | 12 | 3.60% | | | | | 4 | 1.20% | | | 183 | 54.98% | 66 | 19.81% | | | | | | 333 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK906 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK907 | 口残値 | 0.19 | 8.87% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 2 | 10.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 3 | 0.90% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK927 | 口残値 | 80 | 4.01% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK928 | 口残値 | 0.08 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 14.28% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK933 | 口残値 | 3 | 6.12% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 2 | 18.18% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK936 | 口残値 | 8 | 10.12% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SK937 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | |
|-----------|-----------|------|--------|-----|-----|---|------|-----|----|----|----|-----|---|---|---|----|-----|-----|----|------|---------|---------|--|
| | | 土師器 | | | | | 黒色土器 | | | | | 須恵器 | | | | | 煮炊具 | | | | | | |
| | | 黒台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長藤 | 小甕 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 甕蓋 | 椀蓋 | | | |
| 2区東 SX958 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.19 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.56 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | |
| 2区東 SD1 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.17 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | 0.19 | 38.77% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.49 | 38.77% | | |
| | 総点数(点) | 1 | 33.33% | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% | | |
| 2区東 SD2 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.20 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.75 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 15 | 12.82% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 117 | 100.00% | |
| 2区東 SD5 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 25 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 13 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.03 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 3 | 12.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| 2区東 SD6 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 18 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 135 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD7 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 34 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.03 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 4 | 40.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | 100.00% | |
| 2区東 SD11 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.47 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.08 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 10 | 16.12% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 62 | 100.00% | |
| 2区東 SD13 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 207 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.11 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 1 | 11.11% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 37 | 100.00% | |
| 2区東 SD14 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 195 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3.06 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1.63% | |
| | 総点数(点) | 10 | 16.12% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3.83 | 100.00% | |
| 2区東 SD15 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 702 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 65 | 1.43% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4.523 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 160 | 3.98% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | |
| 2区東 SD16 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.17 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 1 | 9.09% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | 100.00% | |
| 2区東 SD27 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 80 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.14 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 4 | 33.33% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 12 | 100.00% | |
| 2区東 SD28 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD29 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.50 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 25 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 12 | 48.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 250 | 100.00% | |
| 2区東 SD31 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.09 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 3 | 8.10% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 37 | 100.00% | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|--------|------|---------|-----|-------|------|-----|-----|-------|----|-------|---|-------|-----|--------|-----|---|----|-----|-----|----|----|--|------|---------|-----|---------|---------|---------|--|--|--|
| | | 土師器 | | | | | 黒色土器 | | | | | 須恵器 | | | | | 煮炊具 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 計測品 | 黒台榎 | 蓋 | 黒台榎 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長露 | 小甕 | 鍋 | 鉢 | 土師器 | 鉢 | 土師器 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 甕蓋 | 樽蓋 | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD214 | 口残値 | 0.39 | 35.82% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1.09 | 100.00% | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 9 | 40.93% | 2 | 9.09% | | | 2 | 9.09% | 1 | 4.54% | 2 | 9.09% | 3 | 13.63% | | | | | | | | | | | 22 | 100.00% | | | | | |
| | | 底面数(点) | 1.39 | 70.56% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 157 | 100.00% | | | | |
| | | 総重量(g) | 4 | 57.15% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | 100.00% | | | | |
| 2区東 | SD225 | 口残値 | 0.36 | 24.82% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 184 | 100.00% | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 5 | 22.72% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 22 | 100.00% | | | | |
| | | 底面数(点) | 0.53 | 18.72% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 283 | 100.00% | | | | |
| | | 総重量(g) | 31 | 8.95% | 2 | 0.57% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 100.00% | | | | |
| 2区東 | SD243 | 口残値 | 0.08 | 9.09% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 346 | 100.00% | | | | |
| | | 口縁数(点) | 2 | 14.28% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 48 | 1.89% | | | | |
| | | 底面数(点) | 0.69 | 24.33% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2,539 | 100.00% | | | |
| | | 総重量(g) | 69 | 2.71% | 8 | 0.31% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.88 | 100.00% | | | |
| 2区東 | SD268 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD288 | 口残値 | 0.19 | 25.33% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 3 | 27.27% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 0.19 | 24.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 18 | 2.14% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD300 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 0.09% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD315 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD344 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD345 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 8 | 28.57% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD348 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 12 | 11.53% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD355 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 9 | 6.29% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD358 | 口残値 | 0.11 | 15.27% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 12.50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 1.00 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 32 | 45.70% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD368 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 6 | 18.75% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD397 | 口残値 | 0.22 | 52.40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 4 | 57.16% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 0.42 | 87.50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 6 | 4.41% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD401 | 口残値 | 0.06 | 6.74% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 6.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 0.17 | 26.56% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 25 | 3.20% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|--------|------|---------|------|--------|------|--------|--------|-----|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|---------|---------|--------|-----|-------|--|--|--|--|-----|-------|-------|---------|---------|--|
| | | 土師器 | | 黒色土師器 | | | | 須恵器 | | 煮炊具 | | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計測法 | | 黒白陶 | 青 | 黒白陶 | 有白土 | 青 | 黒白杯 | 有白杯 | 杯首 | 長葦 | 小葦 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 大葦 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 壺蓋 | 壺蓋 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD403 | 口残値 | | | | | 0.08 | 36.36% | | | | | 0.14 | 63.64% | | | | | | | 0.22 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | 1 | 33.33% | | | | | | 2 | 66.67% | | | | | | 3 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.39 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 2 | 5.00% | | | | 1 | 2.50% | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 4 | 1.61% | | | | 10 | 4.04% | | | | | | | | | | | | | 10 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD404 | 口残値 | 0.44 | 63.78% | | | | | | | | | 0.19 | 27.53% | 0.06 | 8.69% | | | | | | 0.69 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 6 | 60.00% | | | | | | | | | | 3 | 30.00% | | | | | | | 10 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | 0.25 | 80.65% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.31 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 24 | 23.22% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 108 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD405 | 口残値 | 0.06 | 17.64% | | | | | | | | | 0.22 | 64.72% | 0.06 | 17.64% | | | | | | 0.34 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | 2 | 50.00% | 1 | 25.00% | | | | 4 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.19 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 4 | 7.69% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 6 | 2.70% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 52 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD406 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 7.69% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 13 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 1 | 1.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 60 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD422 | 口残値 | 0.11 | 30.55% | | | | | | | | 0.08 | 22.22% | 0.11 | 30.57% | 0.06 | 16.66% | | | | | 0.36 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 3 | 42.87% | | | | | | | | | | 1 | 14.28% | | | | | | | 7 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.25 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 27 | 27.83% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 61 | 9.13% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 97 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD439 | 口残値 | | | 0.08 | 47.07% | | | | | | | | | | | | | | | | 0.17 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | 1 | 33.34% | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 2 | 5.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 40 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD470 | 口残値 | 0.06 | 28.57% | | | | | | | | | 0.06 | 28.57% | 0.03 | 14.28% | | | | | | 0.21 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | 1 | 25.00% | 1 | 25.00% | | | | | 4 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.19 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 5 | 8.06% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 6 | 3.55% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 62 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD497 | 口残値 | 1.69 | 62.62% | | | 0.11 | 4.07% | | | | | 0.08 | 2.96% | 0.14 | 5.18% | 0.42 | 15.55% | 0.03 | 1.11% | | 2.70 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 18 | 52.96% | | | 2 | 5.88% | | | | | | 1 | 2.94% | 3 | 8.82% | 5 | 14.70% | 1 | 2.94% | 34 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | 4.33 | 83.28% | | | 0.06 | 1.15% | | | | | | | | | | | | | | 5.20 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 14 | 70.00% | | | 1 | 5.00% | | | | | | | | | | | | | | 20 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 184 | 42.17% | | | 6 | 1.37% | | | | | | | | | | | | | | 2 | 0.45% | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD511 | 口残値 | 603 | 24.37% | | | 35 | 1.41% | | | | | 0.08 | 7.27% | 0.94 | 85.46% | | | | | 15 | 0.60% | 619 | 25.07% | 127 | 5.14% | | | | | 110 | 4.45% | 2,474 | 100.00% | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | | 底葦数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD512 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | 0.28 | 66.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 29 | 42.64% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD529 | 口残値 | 0.47 | 55.97% | | | | | | | | | 0.14 | 16.66% | 0.11 | 13.09% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 8 | 53.35% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | 1.11 | 67.70% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 4 | 57.16% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 88 | 34.92% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD539 | 口残値 | 0.64 | 48.87% | | | | | | | | | 0.03 | 2.29% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 4 | 30.79% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | 1.19 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 18 | 23.37% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD622 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD635 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD636 | 口残値 | 0.17 | 34.00% | | | | | | | | | 0.03 | 6.00% | 0.03 | 6.00% | 0.08 | 16.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 4 | 33.34% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底葦数(点) | 0.36 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総点数(点) | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 46 | 26.58% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | |
|-----------|-----------|-------------|---|-------|-----|-----------|-------------|---------|-------------|------------|------------|---|---|-----------|----------|----|-----|-----|-----------|----------|---------|---------|
| | | 土師器 | | 黒色土師器 | | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | |
| | | 黒台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長露 | 小露 | 鍋 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大露 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 壺蓋 | 壺 | | |
| 2区東 SD643 | 口残値 | | | | | | 0.03 25.00% | | | | | | | | | | | | | | 0.12 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | 1 25.00% | | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 11 19.64% | | | | | 2 3.57% | | | 1 1.78% | 35 62.51% | | | | 7 12.50% | | | | | | 56 | 100.00% |
| 総重量(g) | 18 12.16% | | | | | 3 2.02% | | | 1 0.67% | 111 75.02% | | | | 15 10.13% | | | | | | | 148 | 100.00% |
| 2区東 SD647 | 口残値 | 0.11 25.00% | | | | | 0.19 43.19% | | | | | | | | | | | | | | 0.44 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 2 28.57% | | | | | 3 42.87% | | | | | | | | | | | | | | 7 | 100.00% |
| | 底面数(点) | | | | | | 0.17 34.00% | | 0.11 22.00% | | | | | | | | | | | | 0.50 | 100.00% |
| | 総点数(点) | 5 3.54% | | | | | 1 33.33% | | 1 33.33% | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% |
| 総重量(g) | 14 2.31% | | | | | 12 8.51% | | 4 2.83% | 1 0.70% | 113 80.19% | | | | 2 1.41% | | | | | | 141 | 100.00% | |
| 2区東 SD651 | 口残値 | 0.28 75.69% | | | | | 61 10.09% | | 13 2.15% | 34 5.62% | 435 72.06% | | | | 15 2.48% | | | | | 21 3.47% | 0.37 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 3 50.01% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 100.00% |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 13 34.21% | | | | | 1 2.63% | | | | 19 50.01% | | | | 3 7.89% | | | | | 1 2.63% | | 38 |
| 総重量(g) | 8 8.33% | | | | | 14 14.58% | | | | 1 1.04% | | | | 58 60.42% | | | | | 13 13.54% | | 96 | 100.00% |
| 2区東 SD663 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD743 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD749 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD756 | 口残値 | 0.11 39.28% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 2 40.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 18 41.86% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | 24 18.60% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD786 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD788 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD798 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD808 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD810 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD812 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD853 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 SD898 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | |
|--------|-------|--------|------|---------|-----|---|-------|---------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|-----|--------|----|-----|---------|---------|---------|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | 須恵器 | | | | | | | |
| | | 黒白陶 | 青 | 黒白陶 | 有白里 | 青 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長蓋 | 小甕 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 甕蓋 | 樽蓋 | | | | |
| 2区東 | SD905 | 口残値 | | | | | 0.03 | 33.33% | | | 0.06 | 66.67% | | | | | | | | | 0.09 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | 1 | 50.00% | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | 2 | 100.00% |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | 0.22 | 100.00% | | | | | | 0.22 | 100.00% |
| | | 総点数(点) | 2 | 6.66% | | | | 1 | 3.33% | | 1 | 3.33% | 22 | 73.35% | | | | | | | | 30 | 100.00% |
| 総重量(g) | 3 | 2.04% | | | | 1 | 0.68% | | 3 | 2.04% | 105 | 71.44% | | | | | | | | 147 | 100.00% | | |
| 2区東 | SD916 | 口残値 | | | | | 0.14 | 35.89% | | | 0.22 | 56.42% | 0.03 | 7.69% | | | | | | | 0.39 | 100.00% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | 3 | 50.01% | | | 2 | 33.33% | 1 | 16.66% | | | | | | | 6 | 100.00% | |
| | | 底面数(点) | | | | | 1 | 68.00% | | | 1 | 33.33% | | | 0.08 | 32.00% | | | | | 0.25 | 100.00% | |
| | | 総点数(点) | | | | | 1 | 33.33% | | | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | 3 | 100.00% |
| 総重量(g) | | | | | | 7 | 7.86% | 2 | 2.24% | 2 | 2.24% | 35 | 39.37% | 33 | 37.07% | | | | | 89 | 100.00% | | |
| 2区東 | SD917 | 口残値 | | | | | 44 | 7.97% | 15 | 2.71% | 73 | 13.22% | 152 | 27.59% | 57 | 10.32% | 74 | 13.40% | | | 1 | 1.12% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | 0.03 | 13.04% | | | 0.06 | 26.08% | 0.06 | 26.08% | | | | | | | 1 | 1.12% | |
| | | 底面数(点) | | | | | 1 | 20.00% | | | 1 | 20.00% | 1 | 20.00% | 2 | 40.00% | | | | | 6 | 1.08% | |
| | | 総重量(g) | | | | | 5.00 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 5.00 | 100.00% |
| 2区東 | SD918 | 口残値 | | | | | 4 | 4.44% | 1 | 1.11% | 3 | 3.33% | 27 | 30.00% | 47 | 52.24% | | | | | 3 | 3.33% | |
| | | 口縁数(点) | | | | | 18 | 3.62% | 4 | 0.80% | 37 | 7.44% | 138 | 27.76% | 166 | 33.43% | 89 | 17.90% | | | 4 | 4.44% | |
| | | 底面数(点) | | | | | 1.03 | 74.11% | | | 0.17 | 12.23% | 0.11 | 7.91% | 0.08 | 5.75% | | | | | 43 | 8.65% | |
| | | 総重量(g) | | | | | 6 | 54.55% | | | 0.19 | 14.61% | 2 | 18.18% | 2 | 18.18% | 1 | 9.09% | | | | | 1 |
| 2区東 | SD924 | 口残値 | | | | | 1.11 | 85.39% | | | 0.19 | 14.61% | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | 5 | 83.34% | | | 1 | 16.66% | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | 12 | 13.04% | | | 1 | 1.08% | 3 | 3.26% | 70 | 76.11% | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | 208 | 29.00% | | | 37 | 5.16% | 29 | 4.04% | 408 | 56.94% | | | | | | | |
| 2区東 | SD930 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区東 | SD938 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 | SE4 | 口残値 | 0.06 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 | SE9 | 口残値 | 0.19 | 9.79% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 13 | 31.75% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 2 | 5.18% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 105 | 14.48% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 | SE14 | 口残値 | 0.19 | 76.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 3 | 75.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 7 | 20.58% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 | SE39 | 口残値 | 0.08 | 8.79% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 2 | 16.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 57 | 32.59% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 | SE63 | 口残値 | 1.89 | 51.40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 34 | 57.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 14 | 63.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 183 | 25.53% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 | SE86 | 口残値 | 0.08 | 8.79% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 2 | 16.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 57 | 32.59% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 | SE187 | 口残値 | 0.11 | 57.90% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | 12 | 19.04% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | 24 | 13.11% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 | SE200 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | | | |
|----------|-----------|------|---------|------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|--------|-----|--------|--------|--------|-------|--|--|--|---|-------|---------|---------|---------|
| | | 土師器 | | | | 須恵器 | | | | 煮炊具 | | | | 土師器 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 黒台榎 | 蓋 | 黒台榎 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長鏝 | 小鏝 | 鏝 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大鉢 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 甕 | 樽 | | | | | | | | | | |
| 2区西 SK1 | 口残値 | 1.17 | 83.59% | | 0.08 | 5.71% | | | | 0.06 | 4.28% | 0.06 | 4.28% | 0.03 | 2.14% | | | | | | | | | | | | 1.40 | 100.00% | | |
| | 口縁数(点) | 18 | 78.29% | | 2 | 8.69% | | | | 1 | 4.34% | 1 | 4.34% | 1 | 4.34% | | | | | | | | | | | | 23 | 100.00% | | |
| | 底面数(点) | 0.31 | 38.75% | | 0.08 | 10.00% | | 0.08 | 10.00% | 0.22 | 27.50% | | | 0.11 | 13.75% | | | | | | | | | | | | 0.80 | 100.00% | | |
| | 総点数(点) | 1 | 20.00% | | 1 | 20.00% | | 1 | 20.00% | 1 | 20.00% | | | 1 | 20.00% | | | | | | | | | | | | | 5 | 100.00% | |
| | 総重量(g) | 24 | 30.76% | | 7 | 8.97% | | 4 | 5.12% | 1 | 1.28% | 1 | 1.28% | 27 | 34.65% | | | | | | | | | | | | 78 | 100.00% | | |
| 2区西 SK5 | 口残値 | 86 | 13.25% | | 20 | 3.08% | | | | 27 | 4.16% | 32 | 4.93% | 4 | 0.61% | | | | | | | | | | | | 649 | 100.00% | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 23.07% | | | | | | | | | | | | 2 | 15.38% | | | | | | | | | | | 8 | 61.55% | | |
| | 総重量(g) | 3 | 0.74% | | | | | | | | | | | | 14 | 3.48% | | | | | | | | | | | 385 | 95.78% | | |
| 2区西 SK8 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 0.14 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.14 | 100.00% | | |
| | 底面数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | |
| | 総点数(点) | 7 | 26.92% | | 2 | 7.69% | | | | | | | | | 16 | 61.55% | | | | | | | | | | | 26 | 100.00% | | |
| | 総重量(g) | 24 | 26.66% | | 8 | 8.88% | | | | | | | | | 49 | 54.40% | | | | | | | | | | | 90 | 100.00% | | |
| 2区西 SK15 | 口残値 | | | | | | | | 0.08 | 33.33% | 0.08 | 33.33% | 0.08 | 33.34% | | | | | | | | | | | | | 0.24 | 100.00% | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | 1 | 25.00% | 1 | 25.00% | 2 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | 0.17 | 100.00% | | | | | | | | | | | | 0.17 | 100.00% | | |
| | 総点数(点) | 1 | 3.44% | | | | | | 3 | 10.34% | 1 | 3.44% | 22 | 75.89% | 2 | 6.89% | | | | | | | | | | | 29 | 100.00% | | |
| | 総重量(g) | 1 | 0.53% | | | | | | 16 | 8.55% | 4 | 2.13% | 156 | 83.45% | 10 | 5.34% | | | | | | | | | | | 187 | 100.00% | | |
| 2区西 SK17 | 口残値 | 0.31 | 34.48% | 0.03 | 3.33% | 0.14 | 15.55% | | 0.17 | 18.88% | | 0.14 | 15.55% | 0.08 | 8.88% | | | | 0.03 | 3.33% | | | | | | | 0.90 | 100.00% | | |
| | 口縁数(点) | 4 | 33.36% | | 1 | 8.33% | 2 | 16.66% | | 2 | 16.66% | | 1 | 8.33% | | | | | 1 | 8.33% | | | | | | | 12 | 100.00% | | |
| | 底面数(点) | 0.53 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.53 | 100.00% | | |
| | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | |
| | 総重量(g) | 26 | 21.13% | | 6 | 4.87% | 2 | 1.62% | | 5 | 4.06% | 1 | 0.81% | 1 | 0.81% | 61 | 49.64% | | 17 | 13.82% | 3 | 2.43% | | | | 1 | 0.81% | 123 | 100.00% | |
| 2区西 SK18 | 口残値 | 85 | 16.06% | | 16 | 3.02% | | 16 | 3.02% | | 2 | 0.37% | 12 | 2.26% | 307 | 58.09% | | 26 | 4.91% | 48 | 9.07% | | | | | | 529 | 100.00% | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 12.50% | | | | | | | | | | | | 7 | 87.50% | | | | | | | | | | | 8 | 100.00% | | |
| | 総重量(g) | 8 | 19.04% | | | | | | | | | | | | 34 | 80.96% | | | | | | | | | | | 42 | 100.00% | | |
| 2区西 SK40 | 口残値 | 0.08 | 72.73% | | | | | | 0.03 | 27.27% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.11 | 100.00% | | |
| | 口縁数(点) | 2 | 66.67% | | | | | | 1 | 33.33% | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | 0.08 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.08 | 100.00% | | |
| | 総点数(点) | 8 | 28.57% | | 3 | 10.71% | | | | 1 | 100.00% | | | | 9 | 32.16% | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | |
| | 総重量(g) | 9 | 10.84% | | 10 | 12.04% | | | | 11 | 13.25% | | | | 28 | 33.76% | | | | | | | | | | | 2 | 7.14% | 83 | 100.00% |
| 2区西 SK41 | 口残値 | 1.28 | 79.02% | 0.28 | 17.28% | | | | | | | 0.06 | 3.70% | | | | | | | | | | | | | | 1.62 | 100.00% | | |
| | 口縁数(点) | 16 | 76.20% | | 4 | 19.04% | | | | | | 1 | 4.76% | | | | | | | | | | | | | | 21 | 100.00% | | |
| | 底面数(点) | 1.81 | 50.57% | | 1.08 | 30.16% | | | | | | | | | 0.69 | 19.27% | | | | | | | | | | | 3.58 | 100.00% | | |
| | 総点数(点) | 6 | 60.00% | | 3 | 30.00% | | | | | | | | | 1 | 10.00% | | | | | | | | | | | 10 | 100.00% | | |
| | 総重量(g) | 45 | 40.58% | | 10 | 9.00% | | | | 1 | 0.90% | 1 | 0.90% | 31 | 27.92% | 10 | 9.00% | | 9 | 8.10% | | | | | | | 1 | 0.90% | 111 | 100.00% |
| 2区西 SK43 | 口残値 | 212 | 13.58% | | 73 | 4.67% | | | | 10 | 0.64% | 4 | 0.25% | 175 | 11.21% | 79 | 5.06% | 57 | 3.65% | | | | | | | | 69 | 4.42% | 1,560 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | 0.06 | 66.67% | | | | 0.03 | 33.33% | | | | | | | | | | | | 0.09 | 100.00% | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | 2 | 66.67% | | | | 1 | 33.33% | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% | | |
| | 総点数(点) | 4 | 17.39% | | | | | | 2 | 8.69% | 1 | 4.34% | | | 10 | 43.51% | | 4 | 17.39% | | | | | | | | 1 | 4.34% | 23 | 100.00% |
| | 総重量(g) | 8 | 8.98% | | | | | | 5 | 5.61% | 5 | 5.61% | | | 49 | 55.09% | | 12 | 13.48% | | | | | | | | 6 | 6.74% | 89 | 100.00% |
| 2区西 SK46 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | 1 | 25.00% | | | | | 3 | 75.00% | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | 2 | 25.00% | | | | | 6 | 75.00% | | | | | | | | | | | | 8 | 100.00% | |
| 2区西 SK75 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | 6 | 85.72% | | | | 1 | 14.28% | | | | | | | 7 | 100.00% | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | | 25 | 86.21% | | | | 4 | 13.79% | | | | | | | 29 | 100.00% | |
| 2区西 SK76 | 口残値 | | | | | | | | 0.03 | 50.00% | | | | 0.03 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | 1 | 50.00% | | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | 1 | 12.50% | | | | 7 | 87.50% | | | | | | | | | | | | | 8 | 100.00% | |
| | 総重量(g) | | | | | | | | 2 | 6.25% | | | | 30 | 93.75% | | | | | | | | | | | | | 32 | 100.00% | |
| 2区西 SK87 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|-----------|-----------|------|---------|------|---------|---------|------|---------|--------|-----|----|---|------|--------|------|--------|--------|----|----|------|---------|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | | |
| | | 黒台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長蓋 | 小甕 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 甕蓋 | 横蓋 | | |
| 2区西 SK91 | 口残値 | 0.08 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.08 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 2 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 60.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 100.00% |
| 2区西 SK92 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | 1 | 33.33% | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% |
| 2区西 SK95 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% |
| | 総点数(点) | 2 | 50.00% | | | | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% |
| 2区西 SK106 | 口残値 | 0.03 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.03 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| | 底面数(点) | | | 0.28 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | 0.28 | 100.00% |
| | 総点数(点) | 6 | 50.01% | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 12 | 100.00% |
| 2区西 SK124 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | 4 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% |
| | 総点数(点) | 12 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 12 | 100.00% |
| 2区西 SK151 | 口残値 | | | | | | 0.08 | 50.00% | | | | | 0.08 | 50.00% | | | | | | 0.16 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | 1 | 50.00% | | | | | 1 | 50.00% | | | | | | 2 | 100.00% |
| | 底面数(点) | 0.19 | 76.00% | | | | | | | | | | | | 0.06 | 24.00% | | | | 0.25 | 100.00% |
| | 総点数(点) | 4 | 16.00% | | | | 4 | 16.00% | | | | | 16 | 64.00% | | 1 | 50.00% | | | 25 | 100.00% |
| 2区西 SK152 | 口残値 | 0.08 | 57.15% | | | | | 0.06 | 42.85% | | | | | | 40 | 39.61% | | | | 101 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 | 50.00% | | | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | 2 | 100.00% |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 5 | 22.72% | | 2 | 9.09% | | 3 | 13.63% | | | | 6 | 27.28% | | 6 | 27.28% | | | 22 | 100.00% |
| 2区西 SK154 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | 0.25 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.25 | 100.00% |
| | 総点数(点) | 7 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | 100.00% |
| 2区西 SK167 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% |
| | 総点数(点) | | | | | | 2 | 15.38% | | | | | | | | | | | | 13 | 100.00% |
| 2区西 SK171 | 口残値 | 0.06 | 66.67% | | | | | 0.03 | 33.33% | | | | | | | | | | | 0.09 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 2 | 66.67% | | | | | 1 | 33.33% | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 12 | 57.15% | | 1 | 4.76% | | 1 | 4.76% | | | | 7 | 33.33% | | | | | | 21 | 100.00% |
| 2区西 SK173 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 SK177 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 SK199 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 SK203 | 口残値 | 0.08 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.08 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 4 | 19.04% | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.00% |
| 2区西 SK207 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 16.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | |
|-----------|--------|------|---------|-----|-------|---|------|---------|------|---------|----|-----|---|---|------|--------|-----|-----|----|----|-------|---------|---------|
| | | 土師器 | | | | | 黒色土器 | | | | | 須恵器 | | | | | 煮炊具 | | | | | | |
| | | 黒白陶 | 蓋 | 黒白陶 | 有台皿 | 蓋 | 黒白杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長蓋 | 小甕 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸甕 | 短頸甕 | 甕蓋 | 樽蓋 | | | |
| 2区西 SK211 | 口残値 | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 9.09% | 1 | 9.09% | | | | 9 | 81.82% | | | | | | | | | | | 11 | 100.00% | |
| 2区西 SK215 | 口残値 | 2 | 6.66% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 6.66% | | | | | | 7 | 100.00% | | | | | | | | | | | 7 | 100.00% | |
| 2区西 SK216 | 口残値 | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | 1 | 33.33% | | | | | | | 1 | 33.34% | | | | | 3 | 100.00% | |
| 2区西 SK228 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | | | | | | | | | | | 0.06 | 100.00% | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 1 | 5.88% | 1 | 5.88% | | | | 2 | 11.76% | | | | | 12 | 70.60% | | | | 1 | 5.88% | 17 | 100.00% |
| 2区西 SK242 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 50.00% | | | | | | | | | | | | 2 | 50.00% | | | | | 4 | 100.00% | |
| 2区西 SK243 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 37.50% | | | | | | | | | | | | 5 | 62.50% | | | | | 8 | 100.00% | |
| 2区西 SK245 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | | | 2 | 50.00% | | | | | 4 | 100.00% | |
| 2区西 SK248 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 50.00% | | | | | | | | | | | | 2 | 50.00% | | | | | 4 | 100.00% | |
| 2区西 SK271 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 8 | 38.09% | | | | | | | | | | | | 13 | 61.91% | | | | | 21 | 100.00% | |
| 2区西 SK279 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | 1 | 25.00% | | | | | 2 | 50.00% | |
| 2区西 SK280 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 16.66% | | | | | | | | | | | | 4 | 66.66% | | | | | 6 | 100.00% | |
| 2区西 SK288 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 6.66% | | | | | | | | | | | | 13 | 86.66% | | | | | 15 | 100.00% | |
| 2区西 SK291 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 3.03% | | | | | | | | | | | | 29 | 87.88% | | | | | 33 | 100.00% | |
| 2区西 SK294 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 0.14 | 38.88% | | | | | | 0.17 | 85.00% | | | | | 0.03 | 15.00% | | | | | 0.20 | 100.00% | |
| 2区西 SK299 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 50.00% | | | | | | | | | | | | 2 | 50.00% | | | | | 4 | 100.00% | |
| 2区西 SK299 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 7.14% | | | | | | | | | | | | 15 | 53.58% | | | | | 17 | 100.00% | |
| 2区西 SK299 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 14 | 7.90% | | | | | | | | | | | | 56 | 31.63% | | | | | 70 | 100.00% | |
| 2区西 SK307 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| 2区西 SK307 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% | |

| 通稱名 | 種別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|-----------|--------|--------------|---|------|-----|---|-----|-----|----|----|-----|---|---|-----|---|-----|-----|-----|----|----|--------------|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | 須恵器 | | | | | |
| | | 黒台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長蓋 | 小甕 | 鍋 | 鉢 | 仏鉢 | 鉢 | 大甕 | 長頸甕 | 短頸甕 | 甕蓋 | 壺蓋 | |
| 2区西 SK308 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% |
| 2区西 SK310 | 口残値 | 0.06 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 4 30.76% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 100.00% |
| 2区西 SK311 | 口残値 | 0.03 21.42% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.03 21.42% |
| | 口縁数(点) | 1 33.33% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 7.50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% |
| 2区西 SK319 | 口残値 | 0.25 35.71% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.25 35.71% |
| | 口縁数(点) | 4 33.33% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 100.00% |
| | 底面数(点) | 4 80.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 100.00% |
| | 総点数(点) | 28 34.14% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 28 100.00% |
| 2区西 SK320 | 口残値 | 0.06 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.06 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 50.01% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% |
| 2区西 SK334 | 口残値 | 0.36 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.36 100.00% |
| | 口縁数(点) | 3 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% |
| | 底面数(点) | 5 27.77% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 100.00% |
| | 総点数(点) | 27 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 27 100.00% |
| 2区西 SK347 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 6.25% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 2区西 SK351 | 口残値 | 1.00 85.48% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1.00 85.48% |
| | 口縁数(点) | 9 81.82% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 100.00% |
| | 底面数(点) | 4 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 100.00% |
| | 総点数(点) | 35 57.40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 35 100.00% |
| 2区西 SK356 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 1.81% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 2区西 SK393 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 6.25% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 2区西 SK395 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% |
| 2区西 SK396 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 10.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| 2区西 SK401 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 10.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| 2区西 SK404 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 10.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| 2区西 SK408 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 10.52% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |

| 通稱名 | 類別 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|-----------|--------|-----|---------|------|--------|---|-----|-----|----|----|-----|---|---|-----|--------|-----|-----|----|---|----|--------|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | | 須恵器 | | | | |
| | | 黒台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長器 | 小器 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 大器 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 壺蓋 | 壺 | | |
| 2区西 SK426 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 66.67% | | | | | | | | | | | 1 | 33.33% | | | | | | |
| 2区西 SK447 | 口残値 | | | 0.03 | 6.00% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | 1 | 25.00% | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 14 | 38.92% | 1 | 2.77% | | | | | | | | | 12 | 33.33% | | | | | 1 | 2.77% |
| 2区西 SK448 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 36 | 6.42% | 7 | 1.25% | | | | | | | | | 127 | 22.67% | | | | | 47 | 8.39% |
| 2区西 SK469 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 SK503 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 SK514 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 16.66% | | | | | | | | | | | 2 | 33.34% | | | | | 2 | 33.34% |
| 2区西 SK522 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 5 | 6.94% | | | | | | | | | | | 3 | 27.27% | | | | | 2 | 18.18% |
| 2区西 SK533 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 14 | 87.50% | | | | | | | | | | | 1 | 33.34% | | | | | 1 | 33.33% |
| 2区西 SK535 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 SK545 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 37.50% | | | | | | | | | | | 3 | 37.50% | | | | | 1 | 50.00% |
| 2区西 SK565 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 6 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2区西 SK600 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 11.53% | | | | | | | | | | | 11 | 42.33% | | | | | 9 | 34.61% |
| 2区西 SK621 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 2.59% | | | | | | | | | | | 44 | 57.17% | | | | | 16 | 20.77% |
| 2区西 SK628 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 27.27% | | | | | | | | | | | 7 | 63.64% | | | | | 79 | 79.00% |
| 2区西 SK636 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 通稱名 | 種別 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | |
|-----------|-----------|--------------|---|-------------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|-----------|----------|-----------|---------|-----|---------|---------|---------------|---------------|--------------|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | 須恵器 | | | | | | |
| | | 黒白陶 | 蓋 | 黒白陶 | 有白皿 | 蓋 | 黒白杯 | 有白杯 | 杯蓋 | 長器 | 小器 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 大器 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 壺蓋 | | 壺 | |
| 2区西 SK640 | 口残値 | | | | | | | | 0.08 100.00% | | | | | | | | | | | | 0.08 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | 0.17 100.00% | | | | | | | | | | | 0.17 100.00% |
| | 総点数(点) | 1 3.22% | | | | | 5 16.12% | | | 1 3.22% | 13 41.96% | 9 29.03% | | | 2 6.45% | | | | | 31 100.00% | |
| 2区西 SK668 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.17 100.00% |
| | 口縁数(点) | 0.17 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 底器数(点) | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| | 総点数(点) | 2 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 100.00% |
| 2区西 SK679 | 口残値 | | | | | | 0.06 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 0.06 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | 1 50.00% | | | | | | | | 2 100.00% |
| | 総点数(点) | | | | | | 1 50.00% | | | | | | 7 77.78% | | | | | | | | 9 100.00% |
| 2区西 SK718 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.11 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 100.00% |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 総点数(点) | | | 3 6.66% | | | | | 28 62.24% | 12 26.66% | 1 2.22% | | | | | | | | 1 2.22% | | 45 100.00% |
| 2区西 SK720 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.19 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | 0.19 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| | 総点数(点) | | | | | | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 45 100.00% |
| 2区西 SK734 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | | 9 100.00% | | | | | | | | | | | | | 9 100.00% |
| 2区西 SX11 | 口残値 | 0.11 27.50% | | 0.06 15.00% | | | 0.06 15.00% | 0.03 7.50% | 0.14 35.00% | | | | | | | | | | | 0.40 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 2 28.58% | | 1 14.28% | | 1 14.28% | 1 14.28% | | 2 28.58% | | | | | | | | | | | 7 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | 0.08 36.36% | | | | | | 0.14 63.64% | | | | | | | | | | 0.22 100.00% | |
| | 総点数(点) | 13 13.00% | | 3 3.00% | | 1 1.00% | 2 2.00% | | 67 67.00% | 9 9.00% | | | | 1 1.00% | 2 2.00% | | 1 1.00% | 1 1.00% | 100 100.00% | | |
| 2区西 SX185 | 口残値 | 0.08 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.08 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 6 50.00% | | | | | | | 6 50.00% | | | | | | | | | | | | 12 100.00% |
| 2区西 SX323 | 口残値 | 0.08 29.62% | | 0.11 40.76% | | | | | | | | | | | | | | | | 0.27 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 2 28.57% | | 3 42.86% | | | | | | | | | | | | | | | | 7 100.00% | |
| | 底器数(点) | 0.44 63.78% | | | | 0.19 27.53% | | | | 0.06 8.69% | | | | | | | | | | 0.69 100.00% | |
| | 総点数(点) | 2 50.00% | | 3 4.10% | | 4 5.47% | | 47 64.44% | 9 12.32% | 1 25.00% | | | | 4 5.47% | 1 1.36% | | | | | 73 100.00% | |
| 2区西 SX352 | 口残値 | 0.86 54.11% | | 0.08 5.03% | | 0.42 26.41% | | 0.17 10.69% | 0.03 1.88% | 0.03 1.88% | | | | | | | | | | 1.59 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 15 53.58% | | 1 3.57% | | 7 25.00% | | 3 10.71% | 1 3.57% | 1 3.57% | | | | | | | | | | 28 100.00% | |
| | 底器数(点) | 0.42 21.00% | | | | 1.50 75.00% | | | | 0.08 4.00% | | | | | | | | | | 2.00 100.00% | |
| | 総点数(点) | 3 50.01% | | 1 0.84% | | 2 33.33% | | 43 36.44% | 8 6.77% | 1 0.84% | | | | 3 2.54% | | | | | | 118 100.00% | |
| 2区西 SX354 | 口残値 | 0.08 40.00% | | | | 0.06 30.00% | | | | | | | | | | | | | | 0.20 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 1 25.00% | | | | 2 50.00% | | | | | | | | 1 25.00% | | | | | | 4 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | 0.28 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 0.28 100.00% | |
| | 総点数(点) | 3 6.81% | | | | 2 100.00% | | | | | 24 54.57% | 10 22.72% | 2 4.54% | | | | | | | 2 100.00% | |
| 2区西 SX383 | 口残値 | 0.83 49.12% | | | | 0.42 24.85% | | 0.06 3.55% | 0.19 11.24% | 0.19 11.24% | | | | | | | | | | 1.69 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 9 39.15% | | | | 7 30.43% | | 1 4.34% | 3 13.04% | 3 13.04% | | | | | | | | | | 23 100.00% | |
| | 底器数(点) | 0.36 15.06% | | | | 0.39 16.31% | | 0.97 40.60% | | | | | | | | | | | | 2.39 100.00% | |
| | 総点数(点) | 1 16.66% | | | | 2 33.34% | | 2 33.34% | | | | | | | | | | | | 6 100.00% | |
| 2区西 SX439 | 口残値 | 15 8.15% | | | | 12 6.52% | | 3 1.63% | 77 41.86% | 61 33.15% | | 8 4.35% | | | | | | | | 184 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 105 5.04% | | | | 142 6.82% | | 171 8.21% | 604 29.06% | 238 11.33% | 273 13.42% | | 20 0.96% | | | | | | | 2,081 100.00% | |
| | 底器数(点) | 0.08 5.34% | | | | 0.72 48.35% | | 0.58 38.94% | 0.08 5.34% | 0.03 2.03% | | | | | | | | | | 1.41 100.00% | |
| | 総点数(点) | 1 7.69% | | | | 1 7.69% | | 8 61.54% | 2 15.39% | 1 7.69% | | | | | | | | | | 12 100.00% | |
| 2区西 SX445 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1.25 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | 2 66.67% | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% | |
| | 底器数(点) | 8 4.23% | | 2 1.05% | | 3 1.58% | | 146 77.25% | 23 12.16% | 5 2.64% | | | | 2 1.05% | | | | | 189 100.00% | | |
| | 総点数(点) | 59 2.93% | | 5 0.24% | | 183 9.10% | | 1,447 72.06% | 108 5.37% | 89 4.43% | | | | 118 5.87% | | | | | 2,009 100.00% | | |
| 2区西 SX446 | 口残値 | | | | | | 0.44 74.60% | 0.03 5.08% | 0.06 10.16% | 0.06 10.16% | | | | | | | | | | | 0.59 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | 7 63.64% | 1 9.09% | | | | | | | | | | | | | 11 100.00% |
| | 底器数(点) | | | | | | 0.42 60.00% | | | | | | | | | | | | | 0.70 100.00% | |
| | 総点数(点) | 1 1.51% | | | | 1 25.00% | | 7 10.60% | 2 3.03% | 42 63.65% | 14 21.21% | | | | | | | | | 66 100.00% | |
| 2区西 SX446 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 559 100.00% |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | |
| 総重量(g) | 2 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | |

| 通稱名 | 種別 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | |
|-----------|-----------|--------------|------------|------------|-----|---|-------------|-------------|----|-------------|-------------|--------------|------------|-------------|------------|------------|----------|-----------|----------|-------------|--------------|--|
| | | 土師器 | | 黒色土器 | | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | 須恵器 | | | | | | |
| | | 黒台碗 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 長器 | 小器 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 大器 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 壺蓋 | 壺 | | | |
| 2区西 SX494 | 口残値 | | | | | | 0.03 12.00% | | | | 0.03 12.00% | | | 0.14 56.00% | | | | | | | 0.25 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | 1 25.00% | | | | 1 25.00% | | | 2 50.00% | | | | | | | 4 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | 2 4.44% | | | | 23 51.13% | | 12 26.66% | 8 17.77% | | | | | | | 45 100.00% | |
| 2区西 SX634 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 16.66% | | | | | | | | | 4 66.68% | | | | 1 16.66% | | | | | | 6 100.00% | |
| 2区西 SX666 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 66.67% | | | | | | | | | 1 33.33% | | | | | | | | | | 3 100.00% | |
| 2区西 SX680 | 口残値 | 0.08 20.00% | | | | | 0.06 15.00% | | | | 0.06 15.00% | | | 0.06 15.00% | | | | | | 0.14 35.00% | 0.40 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 3 37.50% | | | | | 1 12.50% | | | | 1 12.50% | | | 2 25.00% | | | | | 1 12.50% | | 8 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | 0.17 100.00% | | | | | | | | | 0.17 100.00% | |
| | 総点数(点) | 25 47.20% | | | | | 2 3.77% | | | | 14 26.41% | | 4 7.54% | | 1 1.88% | | | | 1 1.88% | | 53 100.00% | |
| 2区西 SD3 | 口残値 | 6.64 79.68% | 0.58 6.95% | 0.06 0.71% | | | 0.69 8.27% | | | | 0.17 2.03% | | | 0.03 0.35% | 0.08 0.95% | 0.06 0.71% | | | 1 1.88% | 9 3.32% | 271 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 100 77.56% | 11 8.52% | 1 0.77% | | | 10 7.75% | | | | 3 2.32% | | | 1 0.77% | 1 0.77% | 1 0.77% | | | | | 129 100.00% | |
| | 底器数(点) | 1039 78.55% | 150 11.33% | | | | 0.98 7.40% | | | | 0.36 2.72% | | | | | | | | | | 1323 100.00% | |
| | 総点数(点) | 39 76.00% | 4 8.00% | | | | 6 12.00% | | | | 2 4.00% | | | | | | | | | | 50 100.00% | |
| 2区西 SD7 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | 0.19 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.19 100.00% | |
| | 底器数(点) | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | |
| | 総点数(点) | 2 9.09% | | | | | | 1 4.54% | | | 16 72.74% | | 2 9.09% | | | | | | 1 4.54% | | 22 100.00% | |
| 2区西 SD34 | 口残値 | 0.06 66.67% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.09 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 1 50.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 37.50% | | | | | | | | | 3 37.50% | | | | | | | | 2 25.00% | | 8 100.00% | |
| 2区西 SD54 | 口残値 | 0.25 17.60% | | | | | 0.28 19.71% | 0.33 23.27% | | | 0.22 15.49% | 0.25 17.60% | 0.06 4.22% | | | | | | | 0.03 2.11% | 1.42 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 3 16.66% | | | | | 5 27.79% | 1 5.55% | | | 5 27.79% | 2 11.11% | 1 5.55% | | | | | | 1 5.55% | | 18 100.00% | |
| | 底器数(点) | 1.00 20.44% | | | | | 2.03 41.54% | 0.69 14.11% | | | 2.03 41.54% | 1.00 20.44% | | | 0.17 3.47% | | | | | | 4.89 100.00% | |
| | 総点数(点) | 5 25.00% | | | | | 11 55.00% | 2 10.00% | | | 11 55.00% | 1 5.00% | | | 1 5.00% | | | | | | 20 100.00% | |
| 2区西 SD65 | 口残値 | 0.14 31.12% | | | | | 0.06 13.33% | | | | 0.14 31.11% | | | | | | | | | | 0.45 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 3 33.33% | | | | | 1 11.11% | | | | 4 44.45% | | | | | | | | | | 9 100.00% | |
| | 底器数(点) | 0.19 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.19 100.00% | |
| | 総点数(点) | 1 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | |
| 2区西 SD143 | 口残値 | 0.06 4.47% | | 0.03 2.23% | | | 0.61 45.56% | | | 0.17 12.68% | 0.08 5.97% | 0.14 10.44% | | | | | | | | 0.25 18.65% | 1.34 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 1 5.88% | | 1 5.88% | | | 8 47.08% | | | 2 11.76% | 2 11.76% | 2 11.76% | | | | | | | | 1 5.88% | 17 100.00% | |
| | 底器数(点) | 0.58 36.02% | | | | | 0.72 44.73% | | | | | 0.31 19.25% | | | | | | | | | 1.61 100.00% | |
| | 総点数(点) | 4 33.33% | | | | | 6 50.01% | | | | | 2 16.66% | | | | | | | | | 12 100.00% | |
| 2区西 SD198 | 口残値 | 16 8.16% | | 1 0.51% | | | 17 8.67% | 1 0.51% | | 3 1.53% | 103 52.57% | 20 13.26% | 4 2.04% | | 1 0.51% | 20 10.20% | 2 1.02% | | | 2 1.02% | 196 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 96 50.8% | | 7 0.37% | | | 142 7.52% | 2 0.10% | | 18 0.95% | 582 30.82% | 85 4.50% | 185 9.79% | | 1 0.05% | 665 35.27% | 31 1.64% | | | 74 3.91% | 1888 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | 0.03 20.00% | | | | 0.06 40.00% | | | | | | | | | | 0.15 100.00% | |
| | 総点数(点) | | | | | | 1 33.33% | | | | 1 33.33% | | | | | | | | | | 3 100.00% | |
| 2区西 SD246 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 5 10.41% | | 1 2.08% | | | 2 4.16% | | | 1 2.08% | 27 56.28% | 11 22.91% | | | 1 2.08% | | | | | | 48 100.00% | |
| 2区西 SD275 | 口残値 | 0.06 30.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.20 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 1 33.34% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 9 32.14% | | 1 3.57% | | | 1 3.57% | | | | 11 39.30% | 1 3.57% | 4 14.28% | | 1 3.57% | | | | | | 28 100.00% | |
| 2区西 SD278 | 口残値 | 16 4.51% | | | | | 3 0.84% | | | | | | | | | | | | | | 354 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 9 50.01% | | 4 22.22% | | | 2 11.11% | | | | 5 27.77% | | | | | | | | | | 18 100.00% | |
| 2区西 SD297 | 口残値 | 15 35.71% | | | | | 8 19.04% | | | | | | | | | | | | | | 42 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 6.66% | | | | | | | | | 13 86.68% | | | | 1 6.66% | | | | | | 15 100.00% | |
| 2区西 SD297 | 口残値 | 1 0.97% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 103 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 10.00% | | 1 10.00% | | | 2 20.00% | | | | 1 10.00% | 3 30.00% | | | 1 10.00% | | | | 1 10.00% | | 10 100.00% | |
| 2区西 SD297 | 口残値 | 2 1.68% | | | | | 4 3.36% | | | | | | | | | | | | | | 119 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 1.68% | | 4 3.36% | | | 24 20.16% | | | | 24 20.16% | 14 11.76% | | | 30 25.24% | | | 21 17.64% | | | 119 100.00% | |

| 通稱名 | 種別 計測法 | 食器具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | |
|------------|-----------|------|--------|------|---------|--------|------|---------|-------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|-----|----|------|---------|---------|
| | | 土師器 | | | | 黒色土器 | | | | 須恵器 | | | 煮炊具 | | | 土師器 | | | | | | | 須恵器 | |
| | | 黒台椀 | 蓋 | 黒台碗 | 有台皿 | 蓋 | 黒台杯 | 有台杯 | 杯蓋 | 杯蓋 | 杯蓋 | 長露 | 小露 | 鍋 | 鉢 | 鉢 | 鉢 | 大露 | 長頸瓶 | 短頸瓶 | 甕 | 壺 | | |
| 2区西 SD603 | 口残値 | 0.08 | 22.22% | | | | 0.14 | 38.90% | | | 0.06 | 16.66% | | | | | | | | | | 0.36 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 1 | 16.66% | | | | 2 | 33.34% | | | 1 | 16.66% | | | | | | | | | | 4 | 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | 0.22 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.22 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 19 | 31.66% | | | | 3 | 5.00% | | | 30 | 50.01% | | | | | 3 | 5.00% | | | | 60 | 100.00% | |
| 2区西 SD606 | 口残値 | 30 | 6.78% | | 20 | 4.52% | | | | | | | | | | | | | | | | 442 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | 0.08 | 100.00% | | | | | | | | | | | 0.08 | 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | | | | | | 1 | 8.33% | | | 8 | 66.67% | | | | | 3 | 25.00% | | | | 12 | 100.00% | |
| 2区西 SD622 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 52 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 50.00% | | | | | | | | 8 | 66.67% | | | | | 3 | 25.00% | | | | 12 | 100.00% | |
| 2区西 SD623 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 2 | 50.00% | | | | | | | | 8 | 66.67% | | | | | 3 | 25.00% | | | | 12 | 100.00% | |
| 2区西 SD629 | 口残値 | 0.06 | 23.07% | | | | 0.06 | 23.07% | | | 0.06 | 23.07% | | 0.08 | 30.79% | | | | | | | 0.26 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 1 | 20.00% | | | | 1 | 20.00% | | | 1 | 20.00% | | 1 | 20.00% | | | | | | | 5 | 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.25 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 2 | 5.00% | | 1 | 2.50% | | 1 | 2.50% | | 18 | 45.00% | | 15 | 37.50% | | | | | | | 40 | 100.00% | |
| 2区西 SD630 | 口残値 | 3 | 1.82% | | 2 | 1.21% | | | | | 5 | 3.04% | | | | | | | | | | 10 | 6.09% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 27.27% | | | | | | | | 6 | 54.55% | | | | | | | | | | 2 | 18.18% | |
| 2区西 SD631 | 口残値 | | | | | | 0.11 | 100.00% | | | 10 | 50.00% | | | | | | | | | | 8 | 40.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 3.33% | | 2 | 6.66% | | 1 | 3.33% | | 14 | 46.69% | | 10 | 33.33% | | | | | | | 30 | 100.00% | |
| 2区西 SD632 | 口残値 | 1 | 0.65% | | 4 | 2.63% | | 5 | 3.28% | | 63 | 41.47% | | 23 | 15.13% | | | | | | | 56 | 36.84% | |
| | 口縁数(点) | 1 | 33.33% | | 1 | 33.33% | | | | | 0.11 | 55.00% | | | | | | | | | | 0.20 | 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | 3 | 5.26% | | 3 | 5.26% | | 2 | 3.50% | | 35 | 61.43% | | 12 | 21.05% | | | | | | | 57 | 100.00% | |
| 2区西 SD673 | 口残値 | 4 | 1.75% | | 3 | 1.31% | | | 37 | 16.22% | | 121 | 53.11% | | 36 | 15.78% | | | | | | 5 | 2.19% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| 2区西 SD721 | 口残値 | 0.08 | 47.07% | | | | | | | 0.06 | 35.29% | | 0.03 | 17.64% | | | | | | | | | 0.17 | 100.00% |
| | 口縁数(点) | 1 | 33.33% | | | | | | | 1 | 33.33% | | 1 | 33.34% | | | | | | | | | 3 | 100.00% |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 3 | 9.37% | | | | 2 | 6.25% | | 1 | 3.12% | | 11 | 34.37% | | 14 | 43.77% | | | | | 32 | 100.00% | |
| 2区西 SD726 | 口残値 | 10 | 8.26% | | | | 5 | 4.13% | | 2 | 1.65% | | 63 | 52.08% | | 22 | 18.18% | | | | | 19 | 15.70% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | 0.08 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 0.08 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | | | | | | 1 | 100.00% | | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.00% | |
| 2区西 SD728 | 口残値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 4 | 22.22% | | | | | | | | 13 | 72.23% | | | | | | | | | | 1 | 5.55% | |
| 2区西 SD732 | 口残値 | 2 | 2.40% | | | | | | | | 61 | 73.51% | | | | | | | | | | 20 | 24.09% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底器数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総点数(点) | 1 | 7.69% | | | | | | | | 10 | 76.93% | | | | | | | | | | 1 | 7.69% | |
| 2区西 SD2257 | 口残値 | 2 | 0.78% | | | | | | | | 102 | 40.00% | | | | | | | | | | 15 | 5.88% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | 0.28 | 77.78% | | | 0.08 | 22.22% | | | | | | | | | | | 0.36 | 100.00% |
| | 底器数(点) | | | | | | 1 | 33.33% | | | 1 | 50.00% | | | | | | | | | | | 0.75 | 100.00% |
| | 総点数(点) | 1 | 50.00% | | | | 1 | 50.00% | | | 13 | 31.73% | | 11 | 26.82% | | | | | | | 7 | 17.08% | |
| 4区 SD3 | 口残値 | 8 | 19.51% | | | | 82 | 17.94% | | | 73 | 15.97% | | 20 | 4.37% | | | | | | | 22 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | 34 | 7.43% | | | | 0.61 | 38.63% | | 0.44 | 27.84% | | 0.47 | 29.74% | | 0.06 | 3.79% | | | | | 227 | 49.70% | |
| | 底器数(点) | | | | | | 4 | 25.00% | | 5 | 31.25% | | 6 | 37.50% | | 1 | 6.25% | | | | | 21 | 4.59% | |
| | 総点数(点) | | | | | | 1.50 | 87.21% | | | 0.22 | 12.79% | | | | | | | | | | 1.72 | 100.00% | |
| 4区 SD3 | 口残値 | | | | | | 6 | 54.55% | | 4 | 36.36% | | 1 | 9.09% | | | | | | | | 11 | 100.00% | |
| | 口縁数(点) | | | | | | 6 | 24.00% | | 8 | 32.00% | | 10 | 40.00% | | 1 | 4.00% | | | | | 25 | 100.00% | |
| | 底器数(点) | | | | | | 236 | 35.92% | | 138 | 21.00% | | 271 | 41.26% | | 12 | 1.82% | | | | | 657 | 100.00% | |
| | 総点数(点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

別表 13 第 22・24 次調査 沖ノ羽遺跡遺構出土中世土器・陶磁器器種構成率

| 調査区 | 遺構名 | 種別 計測法 | 日用品 | | | | | | | | | | 特殊品 | | 合計 | |
|-----|-----|-----------|------------------|---------|---------|-----|-----|---|------------|--------------|--|------------|-----------|----------|-------------|-------------|
| | | | 食器具 | | | 貯蔵具 | | | 調理具 | | | | 青白磁 合子 | 土脚器 皿 | | |
| | | | 白磁 椀 | 青磁 椀 | 青磁 杯 | 器R種 | 器T種 | 甕 | 珠洲焼 片口鉢 | 北越産陶器 片口鉢 | | | | | | |
| 22次 | 1 | SE92 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SE96 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 14 100.00% | | | 3 60.00% | 14 100.00% |
| 22次 | 1 | SE106 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 2 40.00% | | | 5 2.68% | 186 100.00% |
| 22次 | 1 | SE125 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 181 97.32% | | | 4 100.00% | 16 100.00% |
| 22次 | 1 | SE126 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 16 100.00% | 16 100.00% |
| 22次 | 1 | SE138 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 34 100.00% | | | 10 62.50% | 34 100.00% |
| 22次 | 1 | SE159 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 3 18.75% | | | 85 19.90% | 427 100.00% |
| 22次 | 1 | SE201 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 70 16.39% | | | 26 6.08% | 246 57.63% |
| 22次 | 1 | SE300 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 16.66% | | | 31 62.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SE315 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 5 12.19% | | | 5 12.19% | 224 26.38% |
| 22次 | 1 | SE375 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 71 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SE385 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 25.00% | | | 18 10.58% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SE412 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 4.54% | | | 8 8.42% | 21 95.46% |
| 22次 | 1 | SE429 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 2 11.11% | | | 25 19.68% | 87 91.58% |
| 22次 | 1 | SE433 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 7.69% | | | 74 42.79% | 3 100.00% |
| 22次 | 1 | SE490 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 20.00% | | | 28 54.91% | 11 100.00% |
| 22次 | 1 | SE500 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 126 100.00% | 3 100.00% |
| 22次 | 1 | SE502 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 2 11.11% | | | 25 19.68% | 14 77.78% |
| 22次 | 1 | SE511 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 7.69% | | | 74 42.79% | 35 27.55% |
| 22次 | 1 | SE536 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 4.34% | | | 1 4.34% | 1 7.69% |
| 22次 | 1 | SE540 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 3.57% | | | 67 38.72% | 32 18.49% |
| 22次 | 1 | SE547 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 4 100.00% | 9 100.00% |
| 22次 | 1 | SE551 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 5 21.73% | | | 2 8.69% | 1 4.34% |
| 22次 | 1 | SE552 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 336 31.25% | | | 52 4.83% | 98 9.11% |
| 22次 | 1 | SE556 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 3.57% | | | 98 9.11% | 375 34.91% |
| 22次 | 1 | SE572 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 12 7.59% | | | 23 14.55% | 25 89.29% |
| 22次 | 1 | SE573 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 5.88% | | | 58 36.70% | 158 100.00% |
| 22次 | 1 | SE579 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 26 100.00% | 26 100.00% |
| 22次 | 1 | SE586 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 13 20.63% | | | 91 100.00% | 91 100.00% |
| 22次 | 1 | SE599 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 3 12.00% | | | 16 94.12% | 17 100.00% |
| 22次 | 1 | SE601 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 4.00% | | | 50 79.37% | 63 100.00% |
| 22次 | 1 | SE606 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 419 59.96% | | | 21 84.00% | 25 100.00% |
| 22次 | 1 | SE785 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 60 100.00% | | | 150 21.45% | 699 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1228 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 6.25% | | | 1 100.00% | 60 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1244 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 291 52.93% | | | 14 2.54% | 147 26.72% |
| 22次 | 1 | SE1283 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 3.57% | | | 23 82.15% | 1 3.57% |
| 22次 | 1 | SE1337 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 0.69% | | | 21 0.69% | 2945 98.03% |
| 22次 | 1 | SE1406 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 68 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1420 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 68 100.00% | | | 1 100.00% | 113 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1435 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 113 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1454 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 9 100.00% | 9 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1504 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 9 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1517 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 45 100.00% | | | 45 100.00% | 45 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1520 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 6 100.00% | | | 6 100.00% | 6 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1534 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 89 100.00% | | | 89 100.00% | 89 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1535 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 11.11% | | | 5 55.55% | 9 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1551 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 29 5.95% | | | 439 90.15% | 19 3.90% |
| 22次 | 1 | SE1586 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 3 100.00% | 3 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1590 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 4 100.00% | | | 4 100.00% | 4 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1593 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 4 100.00% | | | 4 100.00% | 4 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1602 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 8 100.00% | | | 8 100.00% | 8 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 33 100.00% | | | 33 100.00% | 33 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 4 100.00% | 4 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 4 100.00% | | | 4 100.00% | 4 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 2 100.00% | | | 2 100.00% | 2 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 20.00% | | | 4 80.00% | 5 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | 18 100.00% | 18 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 2 100.00% | | | 2 100.00% | 2 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 20.00% | | | 4 80.00% | 5 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 56 81.16% | | | 13 18.84% | 69 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 2 33.33% | | | 4 66.67% | 6 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 166 93.26% | | | 12 6.74% | 178 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 50.00% | | | 1 50.00% | 2 100.00% |
| 22次 | 1 | SE1616 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 54 94.74% | | | 3 5.26% | 57 100.00% |

別 表

| 調査区 | 通稱名 | 種別 計測法 | 日常品 | | | | | | | | | | 特殊品 | | 合計 |
|-----|-----|-----------|------------------|---------------------|-----------------------|-----|-------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------|----------|----------------------------|----------------------------|----|
| | | | 食器具 | | | 貯蔵具 | | | 調理具 | | 特殊品 | | | | |
| | | | 白磁 碗 | 青磁 碗 | 坏 | 徳R種 | 徳T種 珠洲焼 | 裏 | 珠洲焼 片口鉢 | 北越窯前陶器 片口鉢 | 青白磁 合子 | 土師器 皿 | | | |
| 22次 | 1 | SE1617 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | 2 7.40% 110 19.13% | 3 11.11% 144 25.04% | 4 14.81% 108 18.78% | | | 18 66.68% 213 37.05% | 27 100.00% 575 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1628 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 68 100.00% | 1 100.00% 68 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1691 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | 1 7.69% 115 37.58% | 1 7.69% 12 3.92% | | | 11 84.62% 179 58.50% | 13 100.00% 306 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1718 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 4 100.00% 7 100.00% | 4 100.00% 7 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1754 | 破片数(点) 総重量(g) | 2 25.00% 7 1.22% | 1 12.50% 58 10.14% | | | | 1 12.50% 304 53.16% | 2 25.00% 189 33.04% | | | 2 25.00% 14 2.44% | 8 100.00% 572 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1769 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | 2 18.18% 50 73.53% | | | 9 81.82% 18 26.47% | 11 100.00% 68 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1770 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | 1 5.00% 4 5.71% | | | | 19 95.00% 66 94.29% | 20 100.00% 70 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1774 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | 2 25.00% 20 43.47% | | | | | | 6 75.00% 26 56.53% | 8 100.00% 46 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1780 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | 2 100.00% 89 100.00% | | | | 2 100.00% 89 100.00% | 2 100.00% 89 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1906 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | 1 6.66% 137 16.76% | 8 53.35% 650 79.58% | | | | 6 39.99% 30 3.66% | 15 100.00% 817 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1937 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | 1 10.00% 210 86.07% | | | | 9 90.00% 34 13.33% | 10 100.00% 244 100.00% | |
| 22次 | 1 | SE1949 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | 1 20.00% 13 16.45% | | | | 4 80.00% 66 83.55% | 5 100.00% 79 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK43 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 2 100.00% 22 100.00% | 2 100.00% 22 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK151 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 2 100.00% 4 100.00% | 2 100.00% 4 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK157 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 3 100.00% 8 100.00% | 3 100.00% 8 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK414 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 5 100.00% | 1 100.00% 5 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK423 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 3 100.00% 75 100.00% | 3 100.00% 75 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK431 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 3 100.00% | 1 100.00% 3 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK529 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 2 100.00% 6 100.00% | 2 100.00% 6 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK531 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 1 100.00% | 1 100.00% 1 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK550 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | 1 16.66% 31 68.89% | | | | 5 83.34% 14 31.11% | 6 100.00% 45 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK567 | 破片数(点) 総重量(g) | 1 8.33% 3 10.34% | | | | | | | | | 11 91.67% 26 89.66% | 12 100.00% 29 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK575 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | 1 100.00% 43 100.00% | | | 1 100.00% 43 100.00% | 1 100.00% 43 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK597 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | 1 20.00% 312 23.47% | 4 80.00% 1017 76.53% | | | 5 100.00% 1,329 100.00% | 5 100.00% 1,329 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK701 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 1 100.00% | 1 100.00% 1 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK724 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 1 100.00% | 1 100.00% 1 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK730 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | 1 100.00% 3 100.00% | | | | 1 100.00% 3 100.00% | 1 100.00% 3 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK752 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 2 100.00% | 1 100.00% 2 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK783 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 1 100.00% | 1 100.00% 1 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1069 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 2 100.00% | 1 100.00% 2 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1098 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 1 100.00% | 1 100.00% 1 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1114 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 4 100.00% 5 100.00% | 4 100.00% 5 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1229 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | 1 100.00% 17 100.00% | | | 1 100.00% 17 100.00% | 1 100.00% 17 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1249 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 2 100.00% | 1 100.00% 2 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1269 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 1 100.00% | 1 100.00% 1 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1273 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 7 100.00% | 1 100.00% 7 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1387 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 1 100.00% | 1 100.00% 1 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1396 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 4 100.00% | 1 100.00% 4 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1434 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 1 100.00% | 1 100.00% 1 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1565 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | 1 100.00% 24 100.00% | | | 1 100.00% 24 100.00% | 1 100.00% 24 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1609 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | 1 100.00% 7 100.00% | | | | | 1 100.00% 7 100.00% | 1 100.00% 7 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1615 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 2 100.00% | 1 100.00% 2 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1666 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 2 100.00% 6 100.00% | 2 100.00% 6 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1732 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 2 100.00% 18 100.00% | 2 100.00% 18 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1734 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | 1 33.33% 5 41.66% | | | | | 2 66.67% 7 58.34% | 3 99.99% 12 99.99% | |
| 22次 | 1 | SK1760 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 7 100.00% | 1 100.00% 7 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1766 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | 1 33.33% 28 51.85% | | | | 2 66.66% 26 48.14% | 3 100.00% 54 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1788 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | 1 25.00% 5 31.25% | | | | 3 75.00% 11 68.75% | 4 100.00% 16 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1819 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | 1 50.00% 30 90.91% | | | | | 1 50.00% 3 9.09% | 2 100.00% 33 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1834 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 3 100.00% 20 100.00% | 3 100.00% 20 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1880 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 4 100.00% 18 100.00% | 4 100.00% 18 100.00% | |
| 22次 | 1 | SK1916 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | 1 100.00% 2 100.00% | 1 100.00% 2 100.00% | |
| 22次 | 1 | SX408 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | 3 16.66% 172 40.96% | 2 11.11% 57 13.57% | 2 11.11% 146 34.76% | | | | 11 61.12% 45 10.71% | 18 100.00% 420 100.00% | |
| 22次 | 1 | SX409 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | 1 100.00% 32 100.00% | | | | | | | 1 100.00% 32 100.00% | |
| 22次 | 1 | SX534 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | 1 100.00% 13 100.00% | | | 1 100.00% 13 100.00% | 1 100.00% 13 100.00% | |

| 調査 | 区 | 通稱名 | 種別 計測法 | 日 常 品 | | | | | | | | | 特 殊 品 | | 合計 | | |
|-----|-----|--------|------------------|---------|-----------|---|-------|---------|---|------------|---------------|--|-----------|----------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | 食 器 具 | | | 貯 藏 具 | | | 調 理 具 | | | 青白磁 合子 | 土師器 皿 | | | |
| | | | | 白磁 碗 | 青磁 碗 | 坏 | 徳R種 | 徳T種 | 裏 | 珠洲焼 片口鉢 | 北越高前陶器 片口鉢 | | | | | | |
| 22次 | 1 | SX1640 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SX1648 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 3 100.00% | 3 100.00% | 3 100.00% |
| 22次 | 1 | SX1783 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | 2 100.00% | 2 100.00% |
| 22次 | 1 | SX1785 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 3 100.00% | 3 100.00% | 3 100.00% |
| 22次 | 1 | SX1805 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 10 100.00% | 10 100.00% | 10 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SD108 | 破片数(点) 総重量(g) | | 1 3.22% | | | | | | | | | | 28 90.34% | 31 100.00% | 25 100.00% |
| 22次 | 1 | SD117 | 破片数(点) 総重量(g) | | 19 10.91% | | | | | | | | | | 103 59.21% | 174 100.00% | 40 100.00% |
| 22次 | 1 | SD354 | 破片数(点) 総重量(g) | | 2 5.00% | | | 1 2.50% | | | | | | | 37 92.50% | 215 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SD407 | 破片数(点) 総重量(g) | | 18 8.37% | | | 8 3.72% | | | | | | | 1 100.00% | 5 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SD411 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 29 100.00% | 29 100.00% | 6 100.00% |
| 22次 | 1 | SD503 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 2 20.00% | 8 80.00% | 22 100.00% |
| 22次 | 1 | SD509 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 113 84.34% | 21 15.66% | 134 100.00% |
| 22次 | 1 | SD525 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 6 100.00% | 19 100.00% | 6 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1138 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 8 100.00% | 2 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1213 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | 14 100.00% | 3 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1247 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 3 100.00% | 3 100.00% | 6 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1248 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 6 100.00% | 6 100.00% | 2 66.67% |
| 22次 | 1 | SD1392 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 4 23.52% | 17 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1447 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 28 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1449 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 28 100.00% | 28 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1505 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 50.00% | 1 50.00% | 6 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1562 | 破片数(点) 総重量(g) | | 1 100.00% | | | | | | | | | | 14 100.00% | 14 100.00% | 14 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1604 | 破片数(点) 総重量(g) | | 1 100.00% | | | | | | | | | | 1 50.00% | 2 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1627 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 35 94.60% | 2 5.40% | 37 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1673 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1737 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1747 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 24 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1812 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 24 100.00% | 24 100.00% | 1 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1836 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 63 100.00% | 63 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1847 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 4 100.00% | 4 100.00% | 25 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1950 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 25 100.00% | 25 100.00% | 1 50.00% |
| 22次 | 1 | SD1967 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 25 92.60% | 2 7.40% | 27 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1971 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 50.00% | 1 50.00% | 1 50.00% |
| 22次 | 1 | SD1973 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 30 78.95% | 8 21.05% | 38 100.00% |
| 22次 | 1 | SD1994 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 14.28% | 6 85.72% | 7 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SE20 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 3 16.66% | 15 83.34% | 18 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SE65 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | 2 100.00% | 2 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SE221 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 16 100.00% | 16 100.00% | 16 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SE650 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | 2 100.00% | 10 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SE654 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 8 100.00% | 8 100.00% | 8 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SE813 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 107 100.00% | 107 100.00% | 4 80.00% |
| 24次 | 2区東 | SK129 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 4 80.00% | 19 11.11% | 171 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SK154 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 6.25% | 2 12.50% | 11 68.75% |
| 24次 | 2区東 | SK178 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 23 5.48% | 227 54.20% | 43 10.26% |
| 24次 | 2区東 | SK599 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 6.25% | 1 6.25% | 91 21.71% |
| 24次 | 2区東 | SK766 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 35 8.35% |
| 24次 | 2区東 | SD2 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 1 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SD98 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 1 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SD156 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 50.00% | 12 14.28% | 14 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SD190 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 1 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SD191 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 100.00% | 1 100.00% | 1 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SD225 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | 2 100.00% | 2 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SD439 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 13 100.00% | 13 100.00% | 2 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SD529 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 2 100.00% | 1 100.00% | 1 100.00% |
| 24次 | 2区東 | SD529 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | 1 50.00% | 19 43.18% | 2 100.00% |

別 表

| 調査区 | 通稱名 | 種別 計測法 | 日用品 | | | | | | | | | | 特殊品 | | 合計 |
|---------|-------|------------------|----------|-------------|--------|----------|-----|------------|------------|---------------|-------------|----------|-----|------------|---------------|
| | | | 食器具 | | | 貯蔵具 | | | 調理具 | | 特殊品 | | | | |
| | | | 白磁 碗 | 青磁 碗 | 珐 瑯 | 磁R種 | 磁T種 | 裏 | 珠洲焼 片口鉢 | 北越高前陶器 片口鉢 | 青白磁 合子 | 土師器 皿 | | | |
| 24次 2区東 | SD647 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | | 1 100.00% |
| 24次 2区西 | SE9 | 破片数(点) 総重量(g) | | 1 5.00% | | | | | | | 6 100.00% | | | 5 25.00% | 20 100.00% |
| 24次 2区西 | SE14 | 破片数(点) 総重量(g) | | 2 0.12% | | | | | | | 1485 96.19% | | | 57 3.69% | 1,544 100.00% |
| 24次 2区西 | SE39 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | 1 100.00% | | | | 1 100.00% |
| 24次 2区西 | SE86 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | 1 16.66% | | 4 66.68% | | | 2 66.67% | | | 1 33.33% | 3 100.00% |
| 24次 2区西 | SE226 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | 21 8.57% | | 197 80.41% | | | 1 16.66% | | | 117 43.82% | 267 100.00% |
| 24次 2区西 | SE230 | 破片数(点) 総重量(g) | 1 12.50% | 4 50.00% | | | | | | 1 12.50% | | | | | 6 100.00% |
| 24次 2区西 | SE234 | 破片数(点) 総重量(g) | 7 7.95% | 38 43.20% | | | | 25 28.40% | | | | | | | 8 100.00% |
| 24次 2区西 | SE301 | 破片数(点) 総重量(g) | | 1 9.09% | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 24次 2区西 | SE392 | 破片数(点) 総重量(g) | | 5 12.82% | | | | | | | | | | | 5 100.00% |
| 24次 2区西 | SE398 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 24次 2区西 | SE400 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 24次 2区西 | SE431 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 24次 2区西 | SE433 | 破片数(点) 総重量(g) | | 1 10.00% | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 24次 2区西 | SE547 | 破片数(点) 総重量(g) | 1 10.00% | 94 79.00% | | | | | | | | | | | 10 100.00% |
| 24次 2区西 | SK40 | 破片数(点) 総重量(g) | 6 0.84% | | | | | | | | | | | | 7 100.00% |
| 24次 2区西 | SK89 | 破片数(点) 総重量(g) | | 1 50.00% | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| 24次 2区西 | SK90 | 破片数(点) 総重量(g) | | 15 8.24% | | | | | | | | | | | 18 100.00% |
| 24次 2区西 | SK154 | 破片数(点) 総重量(g) | | 2 100.00% | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| 24次 2区西 | SK319 | 破片数(点) 総重量(g) | | 110 100.00% | | | | | | | | | | | 110 100.00% |
| 24次 2区西 | SK387 | 破片数(点) 総重量(g) | | 1 100.00% | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 24次 2区西 | SK404 | 破片数(点) 総重量(g) | | 2 100.00% | | | | | | | | | | | 2 100.00% |
| 24次 2区西 | SK522 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 24次 2区西 | SD3 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | 13 100.00% |
| 24次 2区西 | SD54 | 破片数(点) 総重量(g) | | 1 12.50% | | | | | | | | | | | 8 100.00% |
| 24次 2区西 | SD143 | 破片数(点) 総重量(g) | | 22 7.88% | | | | | | | | | | | 80 28.67% |
| 24次 2区西 | SD359 | 破片数(点) 総重量(g) | | 2 11.11% | | | | | | | | | | | 16 88.89% |
| 24次 2区西 | SD630 | 破片数(点) 総重量(g) | | 64 21.33% | | | | | | | | | | | 236 78.67% |
| 24次 2区西 | SD630 | 破片数(点) 総重量(g) | | 1 7.69% | | | | | | | | | | | 8 61.55% |
| 24次 2区西 | SD630 | 破片数(点) 総重量(g) | | 4 1.77% | | | | | | | | | | | 47 20.88% |
| 24次 2区西 | SD630 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | 3 100.00% |
| 24次 2区西 | SD630 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | 14 100.00% |
| 24次 2区西 | SD630 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | 1 100.00% |
| 24次 2区西 | SD630 | 破片数(点) 総重量(g) | | | | | | | | | | | | | 4 100.00% |

報告書抄録

| ふりがな | おきのはいせきろく だい19・22・24じちょうさ | | | | | | | | |
|---------------|---|-----------------------|------------------------------------|--|--------------------|----------------------------|-----------|------------------|--------|
| 書名 | 沖ノ羽遺跡VI 第19・22・24次調査 | | | | | | | | |
| 副書名 | 一県営ほ場整備事業（担い手育成型）満日地区に伴う沖ノ羽遺跡第12・15・17次発掘調査報告書一 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | 新潟市埋蔵文化財発掘調査報告書 | | | | | | | | |
| シリーズ番号 | | | | | | | | | |
| 編著者名 | 遠藤恭雄・澤野慶子・穴澤義功・相澤央・日鉄住金テクノロジー（株）八幡事業所TACセンター（大澤正巳・鈴木瑞穂）・（株）火山灰考古学研究所・（財）元興寺文化財研究所・（株）加速器分析研究所 | | | | | | | | |
| 編集機関 | 新潟市文化スポーツ部 文化財センター | | | | | | | | |
| 所在地 | 〒950-1122 新潟県新潟市西区木場2748番地1 TEL025-378-0480 | | | | | | | | |
| 発行年月日 | 2016年2月12日 | | | | | | | | |
| ふりがな 所収遺跡名 | ふりがな 所在地 | コード | | 北緯 ° ' " | 東経 ° ' " | 発掘期間 | 発掘面積 ㎡ | 発掘原因 | |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | | |
| おきのは 沖ノ羽遺跡 | にいがたけんにいがたし 新潟県新潟市 あきはくのかまち 秋葉区七日町 あざおきの 字沖ノ羽 5518番地 他 | 15105 | 149 | 37° 49' 17" | 139° 07' 38" | 第19次 20060729～ 20061220 | 3947.9 | 県営ほ場整備事業に伴う本発掘調査 | |
| | | | | | | 第22次 20070611～ 20071228 | | | 4692.0 |
| | | | | | | 第24次 20080609～ 20081203 | | | 3321.5 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | | 特記事項 | | | |
| 沖ノ羽遺跡 | 集落遺跡 | 古墳時代中・後期 (5世紀・6世紀) | 土坑・溝・小土坑・ 性格不明遺構など | 土師器 | | | | | |
| | | 古代(8世紀前半 ～10世紀前半) | 掘立柱建物・井戸・ 土坑・溝・小土坑・ 性格不明遺構など | 須恵器・土師器・黒色土器・施釉陶器・土製品・石製品・金属製品・鍛冶関連遺物・木製品 | | | | | |
| | | 中世(12世紀～ 15世紀前半) | 掘立柱建物・井戸・ 土坑・溝・小土坑・ 性格不明遺構など | 珠洲焼・珠洲系陶器・中世土師器・輸入陶磁器(青白磁・白磁・青磁)・瀬戸美濃焼・土製品・石製品・木製品・金属製品・鍛冶関連遺物 | | 中世の鍛冶工房跡を確認 | | | |
| 要約 | <p>沖ノ羽遺跡は、越後平野の中央やや南東寄り、東を阿賀野川、西を能代川に囲まれた沖積地内の微高地上に立地し、現標高は約4.5mである。調査地は遺跡の中央北寄りに位置し、第19次調査は1～7区（本書では5・6区を掲載）、第22次調査は1～4区、第24次調査は1・2・4区に分かれる。今回の調査では5世紀代から15世紀前半までの遺構・遺物が確認された。古墳時代の遺物は6世紀代（古墳時代後期）に比定されるものが大半を占め、5世紀代（古墳時代中期）の土器はわずかである。古墳時代の遺構は土坑2基、溝1条、小土坑2基、性格不明遺構1基にとどまる。古代は、掘立柱建物・井戸・溝・土坑等で構成される集落跡で、8世紀前半から10世紀前半までの出土遺物がある。主体は8世紀後半から9世紀後半で、一般集落であったと考えられる。今回の調査では8世紀代の土器がまとまって出土しており、この時期から集落が安定的に営まれていたことが確認された。中世は12世紀代から15世紀前半までの出土遺物がある。主体は12世紀後半から13世紀代で、第22次調査1区、第24次調査2区西を中心に、古代の集落と重複する位置で掘立柱建物・井戸・溝などが確認された。第24次調査2区西では鍛冶関連遺物が大量に出土し、鍛冶工房と推定される掘立柱建物1基とそれに伴う複数の土坑が検出された。鍛冶工房内では精錬鍛冶から鍛錬鍛冶までの各工程が行われていたと想定される。</p> | | | | | | | | |

沖ノ羽遺跡VI 第19・22・24次調査

一県営ほ場整備事業（担い手育成型）満日地区に伴う沖ノ羽遺跡第12・15・17次発掘調査報告書一

本文編

2016年2月8日印刷

2016年2月12日発行

編集 新潟市文化財センター

〒950-1122 新潟市西区木場2748番地1

TEL 025 (378) 0480

発行 新潟市教育委員会

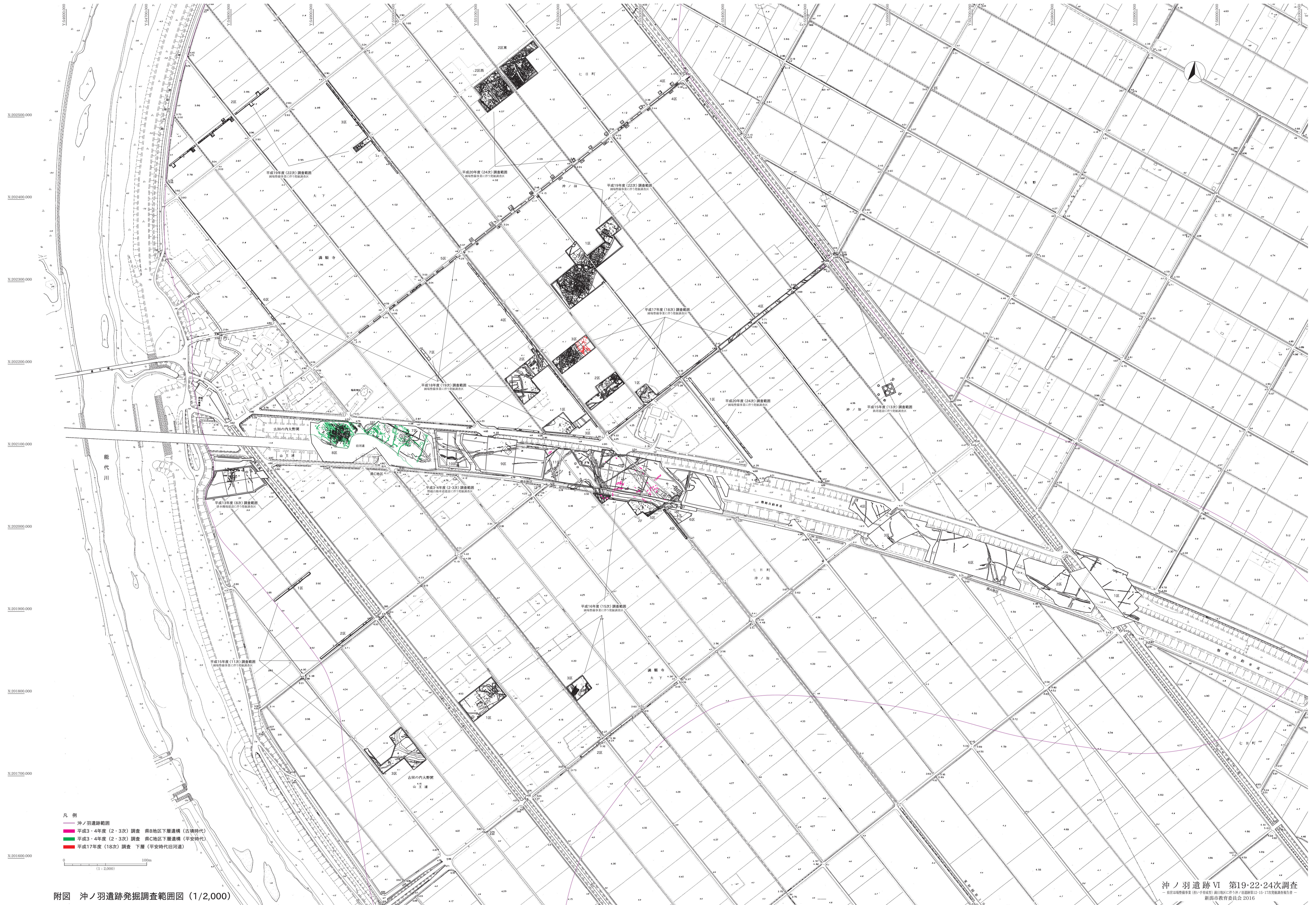
〒951-8550 新潟市中央区学校町通一番町602番地1

TEL 025 (228) 1000

印刷・製本 株式会社ウィザップ

〒950-0963 新潟市中央区南出来島2丁目1番25号

TEL 025 (285) 3311



凡例
 沖ノ羽遺跡範囲
 平成3・4年度(2・3次)調査 Ⅱ地区下層遺構(古墳時代)
 平成3・4年度(2・3次)調査 Ⅲ地区下層遺構(平安時代)
 平成17年度(18次)調査 下層(平安時代旧河道)

0 100m
 (1:2,000)

附図 沖ノ羽遺跡発掘調査範囲図 (1/2,000)

附 図

沖ノ羽遺跡発掘調査範囲図 (1/2,000)

沖ノ羽遺跡Ⅵ 第19・22・24次調査

－ 県営ほ場整備事業(担い手育成型) 満日地区に伴う沖ノ羽遺跡第12・15・17次発掘調査報告書 －

新潟市教育委員会 2016